

新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード 資料集

第 43 回 (2021 年 7 月 14 日)

目 次

1. 議事概要	2
2. 直近の感染状況の評価等	13
3. 感染状況等に関するデータ	29
4. 最近の感染状況等について	68
5. 新規陽性者数の推移 (HER-SYS データ)	107
6. 全国の新規陽性者数等及び高齢者・医療従事者のワクチン接種率	151
7. 押谷先生提出資料：全国・県別エピカーブ (2020/06/15-2021/7/12)	162
8. 鈴木先生提出資料：年齢群分布の推移、全国の実効再生産数	212
9. 西浦先生提出資料：推定日 7 月 13 日 / 最新推定感染日 6 月 28 日	255
10. 西田先生提出資料：都内主要繁華街の滞留人口モニタリング	352
11. 高山先生提出資料：陽性者数の推移と実効再生産数	396
12. 前田先生提出資料：東京都特別区発生状況分析	408
13. 新型コロナウイルス感染症(変異株)の状況について	420
14. 飲食店における感染対策チェックリストの遵守状況とクラスター発生との関連についての調査	455
15. 参考資料 1:新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長及び区域変更	462
16. 参考資料 2:新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示の全部を変更する公示	463
17. 参考資料 3:新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針変更	464
18. 参考資料 4:「令和 3 年 6 月 21 日以降における取組」についての実施状況	531
19. 参考資料 5:医療機関・高齢者施設等への抗原簡易キット配布事業の状況	540

新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（第43回）

議事概要

1 日時

令和3年7月14日（水）14:30～16:45

2 場所

厚生労働省省議室

3 出席者

座長	脇田 隆字	国立感染症研究所長
構成員	阿南 英明	神奈川県医療危機対策統括官
	今村 顕史	東京都立駒込病院感染症科部長
	太田 圭洋	日本医療法人協会副会長
	岡部 信彦	川崎市健康安全研究所長
	押谷 仁	東北大学大学院医学系研究科微生物学分野教授
	尾身 茂	独立行政法人地域医療機能推進機構理事長
	釜范 敏	公益社団法人日本医師会 常任理事
	河岡 義裕	東京大学医科学研究所感染症国際研究センター長
	川名 明彦	防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器）教授
	鈴木 基	国立感染症研究所感染症疫学センター長
	舘田 一博	東邦大学微生物・感染症学講座教授
	田中 幹人	早稲田大学大学院政治学研究科教授
	中山 ひとみ	霞ヶ関総合法律事務所弁護士
	武藤 香織	東京大学医科学研究所公共政策研究分野教授
	吉田 正樹	東京慈恵会医科大学感染症制御科教授

座長が出席を求める関係者

大曲 貴夫	国立国際医療研究センター病院国際感染症センター長
齋藤 智也	国立保健医療科学院健康危機管理研究部長
中島 一敏	大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学学科教授
西浦 博	京都大学大学院医学研究科教授
西田 淳志	東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター長
前田 秀雄	東京都北区保健所長
矢澤 知子	東京都福祉保健局理事
和田 耕治	国際医療福祉大学医学部公衆衛生学医学研究科教授

高山 義浩 沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科副部長

厚生労働省	田村 憲久	厚生労働大臣
	山本 博司	厚生労働副大臣
	大隈 和英	厚生労働大臣政務官
	こやり隆史	厚生労働大臣政務官
	樽見 英樹	厚生労働事務次官
	福島 靖正	医務技監
	迫井 正深	医政局長
	正林 督章	健康局長
	佐原 康之	危機管理・医療技術総括審議官
	間 隆一郎	大臣官房審議官（医政、医薬品等産業振興、精神保健医療担当）
	宮崎 敦文	審議官（健康、生活衛生、アルコール健康障害対策担当）
	中村 博治	内閣審議官
	浅沼 一成	生活衛生・食品安全審議官
	佐々木 裕介	地域保健福祉施策特別分析官
	江浪 武志	健康局結核感染症課長
	三宅 邦明	健康局結核感染症課参与

4 議題

1. 現時点における感染状況等の分析・評価について
2. その他

5 議事概要

（厚生労働大臣）

本日もお忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。心から厚く御礼申し上げます。

新規感染者の状況ですが、昨日2,378人、全国の1週間移動平均で2,146人と増加が続いております。特に首都圏の増加は顕著で、東京はご承知のとおり昨日は830人、1週間移動平均を見ても791人といよいよ800人に近づきつつある。東京だけではなく、周辺の3県も増加が続いているということでございます。

一方で、沖縄は引き続き減少が続いているのですが、特に重症者がまだ50%を超えており、引き続き病床使用率は厳しい状況であります。関西、北海道、愛知、福岡でも増加に転じる動きが見られており、やはり感染の再拡大が全国的に広がっております。

12日月曜日から東京においては再度緊急事態措置となり、国民の皆様方、特に都民の方々

には再び大変なご負担をお願いしなければならないということで心苦しい状況でございます。一方で、普段会わない方々と会うなど帰省や旅行の季節になってまいります、慎重を期していただきたいということを改めてお願いしたいと思っております。

酒類の提供自粛が長期に及んでおりますが、飲食店の皆様方にご負担をおかけいたしております。特に協力金は時間がかかって手元に来ないというお話もあり、資金繰りの厳しい状況もありますので、先渡しをして何とか御協力をいただきたいと考えております。前回、鈴木先生からお話もございましたが、感染リスクの高いという意味では、やはり3人以上で複数回会食等をやっている方々は、そうでない方々と比べてパイロット調査でも高い可能性があるということでございます。やはり飲食を伴うところ、大人数、こういうところで徹底的にリスクを避けていくということで国民の皆様方にご協力をお願いさせていただきたいと思っております。

併せて、後ほど事務局から報告があると思っておりますが、感染対策チェックリストの遵守率が低い飲食店はやはりクラスターが起こっている率が高いということも結果として報告がありましたので、そういうこともしっかりと我々としては広報していかなければならないと思っております。よくクラスターの話で、飲食店だけでなく、会社や家庭でもクラスターが起こっているではないかというお声もあるのですが、もともと家庭や会社から急にコロナウイルスが生まれてくるわけではありませんので、どこから持ち込まれて広がっていくということを考えれば、感染をまず持ち込む端緒となっているのがやはりお酒を出すところ、ふだん会わない方々との接触を大人数で行い、そして持ち込むということが想定されるわけございまして、そういう意味ではリスクの高い行為、場所、そういうものに関してしっかりとした対応、協力を求めてまいりたいと思っております。

ワクチンについては、いよいよ約6,200万回となり、6,000万回を超えてまいりました。そういう意味では、想定より速いペースで、本当に各自治体にご協力をいただき、また医療関係者の方々にお力をいただき、大変なスピードで今進んでおります。一方で、そのためにワクチンの供給が十分に間に合っていないということでご迷惑をおかけいたしているところもございます。ミスマッチ等をなくすべく、最大の努力をしてまいりたいと思っておりますが、厚生労働省といたしましても8月前半のワクチンの供給量をお示したところであり、今後もきめの細かい調整をしっかりと進めてまいりたいと思っております。

この緊急事態宣言下、何とか感染の拡大を抑えてまいりたいと思っておりますが、4回目ということで、国民の皆様方にも疲れがあるというのは事実であろうと思っております。しっかりとしたメッセージを国から出していかなければなりませんし、ワクチン接種も進んでいる中で、感染の状況、病床、重症者の病床、また残念ながらお亡くなりになられる方々、こういう方々がワクチンの接種の中でどのように推移していくのかということもしっかり分析していく必要があります。急にという訳にはいきませんが、国民の皆様方に徐々に日常生活を取り戻していただくために、どのようなことをこれから考えていかなければならないか、これからこの緊急事態宣言中の3週間、いろいろなデータを分析していくことが

大切だと思っております。また先生方からいろいろとご提言を賜ればありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。

<議題1 現時点における感染状況の評価・分析について>

事務局より資料2-1、2-2、2-3、押谷構成員より資料3-1、鈴木構成員より資料3-2、西浦参考人より資料3-3、西田参考人より資料3-4、矢澤参考人より投影にて東京都の状況を説明、高山参考人より資料3-5、前田参考人より資料3-6にて説明、事務局より資料4①、②、③、資料5、最後に資料1についての説明を行った。

(脇田座長)

○今後の首都圏の状況をどのように考えるか。都内は1,000人以上になってくる可能性もあるということだが、デルタ割合が増加しており、急増の可能性もある。それが医療にどういった負荷をもたらすのかというところだ。

(尾身構成員)

○夜間の人流をどのぐらいまで下げれば、最悪の事態が回避できるのか。

(西田参考人)

○とても難しい質問である。第4波では連休が重なり、人流が減少し、感染状況が収束していった。一方、その際には英国株に7割程度置き換わっていた。今回も4連休があるが、そこでどこまで人流を押さえ込めるかどうかだ。地方に散らばるリスクもあり、首都圏を中心にステイホームしていただくことが必要。人流についての過剰な報道があるのも事実であり、一定程度協力が得られているといった発信も大切だ。

(尾身構成員)

○新しい要素として、オリンピックを夜家で見るというファクターが入れられるかどうか。

(西田参考人)

○これまでのステイホームを繰り返すということではなかなか協力を得られにくいと思う。今回はオリンピックといった家にいて楽しむものがあるというポイントがあるので、家族以外と外で見ることは控え、家で楽しんでいただくことを徹底するキャンペーン、推奨などができるとよいが。

(脇田座長)

○家にて家族でオリンピックを観戦することを推奨するという。それは非常に有効な

可能性があるので、ぜひ勧めたいと思う。今後の見通しが都内も含めて感染が拡大していく蓋然性が高く、その際にこういったプランBを準備すべきという点、西浦先生如何か。

(西浦参考人)

○最近のクラスターを見ると、これまでと疫学的な様相が変わっている。高校生以上の学校内や、企業内の伝播が中心。丁寧にクラスターの情報を見て、できる対策を考えておくことが重要だ。デルタに置き換わる中なので、データ分析を急ぐことが重要だ。

(岡部構成員)

○東京都で学校・教育関係が増加と聞いたが、小中高大のどの辺にあるのか。

○東京都は23区内のことが問題になっているが、島嶼部の状態はどうか。

○飲食の制限を全面的にやるというよりは、むしろメリハリをつけたほうがよいのではないか。今の全面禁止が果たしてそれでよいかどうか議論すべきではないか。

○認証制度をどのように使っていくか。東京都はどのようなプランニングがあるのか。

○今の東京都内の病棟の状況はどうか、臨床の先生に聞きたい。

○東京都の人流について、人流を抑えるような努力をさせていただいている部分ももっと正確に伝えることも必要ではないか。

(前田参考人)

○学校についてはかなり高校が多かった印象があるが、徐々に年代が少し下がってきており、最近では保育園での発症が見られる。また、事例によってはかなり大規模に、数十人の生徒が感染するようなものも見られており、要警戒ではないか。保育園等に移ってきたときに、園児間感染が非常に厳しい。保育士への職種接種も進めたものの、今ワクチン打止めになっており、この夏にかけてもまだ残る保育園等の対策が必要である。

(矢沢参考人)

○島嶼部は大きなクラスターが出ており、外国人が多く勤務している建設会社でクラスターが発生した。7月に入ってから続々と陽性者が出ており、島嶼から都内の病院に搬送されており、現時点で26名の陽性者数である。

○東京都飲食店の認証制度は、検討中と聞いている。これまでのステッカーとか自主管理に加えて、第三者認証のようなことも検討の俎上に上がっていると聞いている。

(脇田座長)

○東京都の感染者数がかかなり多くなってきていて、65歳以下の入院者数も増加してきているということだが、病棟の状況はどうか。

(今村構成員)

○入院患者数は全体で2,000床近くになっているので、急速に増えることによってベッドが埋まってきている。都立・公社は枠を広げているので、患者数が増えている。年齢層が全体的に下がった結果入院期間が短めになっているが、退院後それ以上に入院する状況である。今の状況でいくと、2,600床を超え調整がかなり困難になってくる。現時点で調整が難しい例が増え始めている。今回の波では重症病床が埋まる前に入院ベッドのほうに埋まり、調整困難が起きて、自宅待機の中から40代、50代の重症者がさらに増えるのではないかと。

○職場や同居の家族等からの感染で4,50代の感染者が続いていた。見えない50代というのがかかり増えているのではないかと。その結果50代の重症者が増えており、今後どう抑えるかが重要で、メリハリとして連休とかお盆にて集中して抑えることができるとよい。

(大曲参考人)

○人工呼吸、ECMO等の重症者は62人いるが、今週に人工呼吸がついた方が42人もいる。多くは50代以下だが、これはかなりの数。そういうことが1週間で起こるということは大事な事実だ。その裏には、人工呼吸が必要になる人は今185人いるということ、つまり重症になってどんどん挿管されているという状況があり、注意しておく必要がある。

○今は関係者の尽力によって回っている病棟、また非常に頑張って入れていただいているホテル療養のサイクルがうまく回っているうちに収まってくれればと本当に願っている。

(押谷構成員)

○人流を下げるのが目的ではなくて、ふだん会わない人たちとのコンタクト、いわゆるランダムコンタクトを減らしていくことが大事だ。この4連休から夏休みは、地方に広がり、都内も含めて危険な状況になり得る、そういう注意喚起は必要である。そこで一気に増えてしまうと、年末年始と同じようなことが起こる。

○うちでオリンピック観戦というのも、本当にそれで大丈夫か。友達みんなでどこかの自宅に集まってというコンタクトが増えることになって、感染拡大の大きな場になってしまう可能性がある。飲食店についても、ランダムコンタクトという観点からすると、5つの場面と言っていたような、大人数、長時間、メリハリの利いた形で制御できるようになっていかないとなかなか難しい。そういうコンテクストの中で宅飲みとかが増えていることは各データからも出ており、それをどうやって制御していくか。オリンピックを自宅で感染というのも宅飲み推奨になってしまうとかえって逆効果となる虞あり。

(健康局長)

○メリハリ対策については同じ問題意識を持っている。今までも精緻な疫学調査をやって、できるだけ具体的な対策に結びつけたいと言ってきた。資料5は当省職員がお店にガイドライン遵守状況を一軒一軒電話の上調べたものであるが、概括的にはガイドラインの遵守

率によってクラスターの発生の度合いが変わってくるというもの、細かな一つ一つの項目についても有意差のあるもの、ないものが出てきており、メリハリのついた対策が必要なのではないか。守っていないところに対してはより厳しく、また協力金を出していくことが大事だが、次のステップとしてガイドラインをしっかりと守ってもらうインセンティブを出していく。そのための認証制度も大事なのではないか。対策に結びつくしっかりとした疫学調査を全国の保健所にて実施、もっとリクエストレベルを高くする。ダイヤモンドプリンセス事例のように環境調査とか、感染源から検体を取ってPCRにかけてといったことをやりつつ、メリハリのある対策を行うことできちんとした情報発信ができるのではないか。

(前田参考人)

○保健所は飲食業者といろいろコンタクトがある。緊急事態宣言で対策を遵守している店は素直に時間短縮しており、大いに矛盾を感じている。東京都でいえば星つきの認証店には一定程度、少し自粛の時間を緩めていただくようなインセンティブがつけられないか。今後そうでないところが増えていくことにならぬよう対策が必要ではないか。

○保健所での調査の話があり、また都内で少し深掘りをした調査をやろうとして進めていたが、根本的に保健所の情報機能を強化しないと難しい。保健所が様々な情報の通過点となって、それを総合的に集約すれば様々な地域の健康課題等の分析ができるが、その為の能力はもう少し深い形で人員を強化しなければいけない。これは次のパンデミックに備えて保健所の機能強化をぜひ本格的にしていきたい。

(和田参考人)

○東京都には今後急増するということにどう準備してもらうかが重要である。療養者数が増えたとき、訪問看護や療養施設を速やかにこの急増の中で備えていくことが重要なのだろう。各自治体においては計画等をつくることが必要な時期なのではないか。

○地域によっては都道府県版Go Toイートが始まっているようで、特に熊本県は非常に顕著だが、夏の中で人の移動が出てくると患者さんが増加する可能性がある中で、そういった地域は非常に心配をしている。

○医療従事者でワクチン接種を2回して2週間たったような方々が濃厚接触者になった場合にどうするか答えを出してほしいといった声が出ている。この対応についてはどうか。

(田中構成員)

○従ってくれない人に注目するのではなく、協力してくれている人達に注目して、そこを称揚していくことが大事なポイントではないか。リスク認知の研究だと、実はメディア効果はかなり副次的。例えば飲食店では感染対策ルールを守っている店が割を食ってしまっているが、こうした努力のお陰で感染を抑えられていると訴えたほうが実は全体の感染対策行動に効くというのは様々な研究でも出ており、そこをプッシュしていくべきだ。

○以前、有志の会としてオリンピック・パラリンピックに関して報道様式を考えてほしいということを報道各社に申し入れた。一部の放送局などは既にガイドラインをつくっていて、人流を抑制するためにどうやって報道で工夫するかとか、自宅での応援スタイルをどうやって応援していくかを報道のガイドラインとして内部通知していると聞いている。マスコミに更にプッシュしていくと広まっていくことを期待できるのではないか。この点もお願いしたい。

(脇田座長)

○医療従事者のワクチン接種が終わった人の濃厚接触者の考え方について、今後のスケジュール感も含めて、事務局での考え方はどうか。

(結核感染症課長)

○ワクチン接種が行われた方が濃厚接触者になった場合の取扱いについては、感染症研究所の先生方にてデータを整理していただいている段階と聞いている。ワクチン接種によって完全に他の人に感染を広げるリスクがなくなるということではないようなので、意見も聞きながら検討していきたい。

(脇田座長)

○感染研からの積極的疫学調査の実施要領、環境感染学会からの推奨というのは既に出ている。ウイルスの感染性のものを完全にブロックすることができない中で、それをどういうふう考えていくかということをもとめることは必要である。どのように考えるかだ。

(結核感染症課長)

○予防接種を受けた医療従事者の方が防護対策を取っていない場面において暴露した場合に、濃厚接触者として待機を求めなかった場合にどういったメリットとデメリットがあるのか。そういった観点も含めて相談していきたい。

(西浦参考人)

○先に資料5の件に関してこれで公表していいものかどうかは疑問に思う。世の中で沢山のカウンターが起こってくるのではないかと。一番重要なことは資料5の結果・考察の部分であるが、ここでは感染対策の遵守率とクラスター発生に関する頻度の関連があるということ結論づけている。であれば遵守をするとクラスターが発生しないということにつながっていかないとけないが、この調査はそれを保証していない。感染者を含むようなお客さんがそもそも来やすいようなお店か否かといった状況により異なる。コーザルであるということが、この研究、サンプルサイズ、このコントロールの取り方からは匂わすことはできない。この研究自体はとても重要だが、疫学研究としてこのレベルでこのケースコ

ントロールを出すことに関しては一定のリザーベーションを置いておく必要がある。

（押谷構成員）

○クラスター発生場所の環境調査、データをシステマティックに国が集めて、特にクラスターに関する解析すべきとはずっと言い続けてきたこと。それができていないので有効な対策ができていない。どうしたらできるのか。自治体や保健所が持っているデータに感染研がシステマティックにアクセスができないことが問題なので、これを整理しないとけない。もう少し国が中心にて解決する努力をしていかなければいけないのではないかな。

（鈴木構成員）

○今よりも深掘りの積極的疫学調査をする、そのデータを体系的に集めて分析をする、例えばどういった条件であれば居酒屋を開けていいのか、あるいはワクチンを受けて事前に検査を受けていれば飲み会に行ってもいいのかという問いに対して、積極的疫学調査をどうやっても、恐らく答え切れない。結局、クラスターが分かって現場に行けるのはもう1週間経ってからのなので、その感染した瞬間の情報はそこに残っていない。この問いに本当に答えようとする、やはり実験をするしかないのではないかな。環境調査もしながら宴会してみて、どういった条件であればクラスターが発生するかということをやると。どこかで答えを明確にするためには覚悟を決めてやるしかないのではないかなと思う。

（脇田座長）

○イギリスがものすごく大規模な社会実験をやっているが、それほどでなくてもクエスチョンをつくって実験をするということ。これも新しい提案だと思う。

（尾身構成員）

○大体リスクの高い状況は分かっている。5つの場面は、実は現場のいろいろな人の疫学情報を中心に分析してやったもの。さらに精緻な研究法で大きなところで間違っていない。どこで感染が起きているか、どういう状況で起きているかというのは、もう十分状況証拠的なこともあるし、比較的しっかりしたスタディーもある。これはエビデンスがあるのにマネージできていないということだ。それで、認証制度をどうするかという話はずっと言われているが、それが徹底できていない。

○今度新しいステージの考え方を改めて、医療の逼迫のインジケータをつくったが、それを補足するような追加的な医療逼迫のインジケータというものがあるのか。医療の逼迫の状況がわかるようなものを臨床家の先生たちに検討して欲しい。

○資料2-3 HER-SYSデータに、感染の場が飲食店等の記載があり、年代別にこれをブレイクダウンしている。東京都の4つの年齢群に分けたものがあると非常に有効だと思う。今どんなところで感染が起きているのかイメージで分かるよう検討してもらいたい。

(鈴木構成員)

○分析は可能だが、データ自体の精度に関してはいろいろ留保が必要である。

(事務局)

○都道府県別、年代別に分けて入力されている件数ベースのもの。作成可能か検討したい。

(協田座長)

○東京都がかなり多いので、そこは一度トライをしてもらうということ。臨床の先生方に医療逼迫を補足するような指標があればという提案があったので、検討してもらいたい。あとは年齢別の感染場所のデータを作成するという事。

(岡部構成員)

○軽症、中等症であっても、かなり後遺症的な症状に悩まれている人が多い。ウイルスの影響なのか、PTSDみたいなものであったり、あるいは慢性疲労性症候群に近いものであったり、ポストHBワクチンに似ているところもあるのではないかと思う。臨床的な研究をグループとして国としてまとめているのか、あるいはまとめようとしているのか、もしそうでなければやったほうがいいのではないかと思うが如何。

(結核感染症課長)

○コロナウイルス感染症感染後の後遺症の関係に関して3つの研究班を動かしている。中間報告等に関してはアドバイザーボードにも報告している。これまでの研究では、新型コロナウイルス感染症に感染した後どういう症状が実際に出て、それが例えば3か月後とか6か月後ぐらいにどれぐらい持続してということを確認するような研究デザインで動かしているものである。2つの研究事業は今年度も継続しており、残る1つの研究についても学会でフォローアップをされるので、その結果も併せてアドバイザーボードで報告したい。また、各自治体や大学などで専門外来を設けているような場合に、その取組についても調べる必要性もあると考えており、いろいろな情報を集めながら、症状の改善に資するような研究を推進していきたいと考える。

(大曲参考人)

○Long Covidの問題はかなり大きい。ただ、日本ではまだその疾病負荷という形で定量化されていない、問題の大きさがなかなか見えてきていないという課題がある。調査がしにくいということも問題の一つだ。英国もしくは米国からレセプト研究である程度それを描写するようなものが出たが、そうした形でアプローチをして、まず問題の大きさを見る必要がある。

○多くのコロナを診ている医療機関の先生方が、この患者さんの症状であるとか健康の問

題を受け止めて、ちゃんと調べ上げて対応するということは実は物すごくエネルギーと時間の必要。しかも、分からないことが多いので、なかなか実を結ばないというところがある。これらに関してまずは状況をよく見ていった上で、受け皿をちゃんとつくっていくことが日本でも必要だと考える。

(押谷構成員)

○資料1について。これまでの宣言や重点措置が中心に書かれているが、ずっと増加傾向にあって、その傾向が今日も続いている。宮城県はかなり増えており、実効再生産数も高い状態がずっと続き、今日も40を超えた。このまま4連休、夏休みに突入していくとかなり危ない。同じようなことは福島県とか石川県にも言えて、その辺の注意喚起をしなくていいのか。関西圏も三重とか滋賀というところも軒並み増加傾向に転じており、全国的に危険な状況にあるのだということを注意喚起しないといけないのではないかと。

(脇田座長)

○書き加えるのはやぶさかでないので、ぜひ書き加えたいと思う。あとは職場や学校の感染、特に職場が重要であるということは間違いないので、職場での感染対策、健康管理をしっかりとやっていただくことが重要。これから4連休も含めてお盆で会社が休みになる、そこでステイホームをしてもらうということが重要になる。それから、東京の入院病床の状況は、さらにここから厳しくなってくる可能性が非常に高いという話があった。あとは、オリンピックを家で見る。ただ、メッセージの出し方が大切だというのがあった。

(健康局長)

○資料5は西浦先生ご指摘の通りだが、数か所の県と保健所に声をかけて、おのずとそういう交絡要因が入っている可能性は覚悟の上で実施したもの。多少なりともエビデンスらしきものが出てきているので、リミテーションがあるということを言いながら発表させてもらうとよいのではないかと。

○保健所の機能については結構根深く、国と地方のありようの話である。20数年前に保健所に対しては補助金が全部カットされ、全て一般財源化され、職員を増やすとか質を担保するというのは都道府県とか政令市、特別区の仕事になってしまった。おのずと限界があるが、保健所をどうするかというのは我々も考えており、それは国と地方のありようとしてどうなのかという大きな議論につながっていくので、今後考えていきたい。

(脇田座長)

○ほかにはないかと。本日もありがとうございました。

以上

＜感染状況について＞

- ・ 全国の新規感染者数は、報告日別では、増加が続き、直近の1週間では10万人あたり約12、今週先週比も1以上が2週間継続している。特に、東京を中心とする首都圏の感染拡大が顕著で、周辺や全国への影響が懸念されるが、関西圏も7月に入り感染拡大が明確になっており、その他の地域でも新規感染者数が増加に転じる動きが見られている。一方で、重症者数、死亡者数の減少傾向は継続。また、感染者に占める高齢者割合は引き続き低下傾向。

実効再生産数：全国的には、直近（6/27時点）で1.05と1を上回す水準となっており。首都圏では1.10、関西圏では1.13となっている。

＜感染状況の分析【地域の動向等】＞ ※新規感染者数の数値は、報告日ベースの直近1週間合計の対人口10万人の値。

首都圏 (1都3県)	東京では、新規感染者数は増加が続き、約40、今週先週比は1.32。感染者は20-40代が多く、65歳以上は増加がみられるものの、割合は4%程度まで低下。50代以下を中心に、入院者数は増加傾向が継続しているが、重症者数は増加傾向から直近は横ばい。埼玉、千葉、神奈川でも新規感染者数は増加が続き、それぞれ約14、19、24で、今週先週比の1以上が2週間以上継続。夜間滞留人口は、東京では緩やかな減少が継続。一方、埼玉、千葉、神奈川では夜間・昼間とも滞留人口が増加。東京でも宣言解除後の1週目で急増しており、東京を中心に少なくとも当面は感染が拡大することが強く懸念される。現状では、全国の新規感染者数の約3分の2を首都圏が占めている状況であるが、周辺や全国への拡大を波及させないためにも、対策の徹底が必要。
沖縄	新規感染者数は減少傾向が続き、約23。20-30代が中心だが、60歳以上も2割弱。新規感染者数の減少に伴い、病床使用率は低下し、自宅療養、入院等調整中は減少傾向となっているが、重症病床では厳しい状況が継続。夜間滞留人口は増加が止まり横ばいとなっているが、新規感染者数の減少が継続するか注視が必要。
関西圏	大阪では、新規感染者数は増加傾向となり、約13。病床使用率、重症病床使用率は2割を切る水準が継続。夜間滞留人口は再び増加に転じ、3月半ばと同様の高い水準となっており、感染拡大が続くことが懸念される。京都、兵庫でも、新規感染者数の増加の動きが見られ、いずれも、約6。
上記以外	まん延防止等重点措置が解除された北海道、愛知、福岡では、新規感染者数が増加に転じる動きがみられ、それぞれ約8、6、6。北海道、愛知では夜間滞留人口の増加もみられ、リバウンドが懸念される。その他の地域でも新規感染者数の増加が見られており、岩手、宮城、福島、茨城、石川などでは、留意が必要。

＜変異株に関する分析＞

- ・ B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）は、クラスターが複数報告され、市中での感染も観察されている。スクリーニング検査での陽性率（機械的な試算）は、全国的には11%程度で上昇が見られる。B.1.1.7系統の変異株（アルファ株）よりも感染性が高いことが示唆されており、今後置き換わりが進むことが予測され、注視していく必要がある。
- ・ ワクチンについては、変異株に対しても二回接種後には有効性を示す研究結果も報告されている。引き続き、分析を進めていく必要がある。

直近の感染状況の評価等

＜今後の見通しと必要な対策＞

- 今後、4連休や夏休み、お盆などを迎えるが、普段会わない人と会う機会は、感染拡大のリスクが高くなり、必要最小限にすることが必要。また、首都圏での感染拡大を各地での感染につなげないためにも、帰省や旅行での県境を越えるような移動には、慎重を期していただくこと等が必要であり、そうしたメッセージがしっかりと伝わるよう発信をしていくことが必要。
- 7月8日に、東京を緊急事態措置地域とし、埼玉、千葉、神奈川、大阪、沖縄でのそれぞれの措置を延長することが決定された。7月8日に改訂された基本的対処方針に基づく対策の徹底により、感染拡大を早期に抑えることが求められる。大人数や長時間での飲食や、飲酒を伴う会食に複数回参加することで感染リスクが高まることも示唆されており、そうした感染がその後の家庭や会社等での感染につながることも考慮し、宅飲みや路上飲みを含めた飲食の場面への対策を徹底すること。職場においてはテレワークの徹底と健康観察・感染対策の徹底。また、不要不急の外出・移動は自粛するとともに、そうした取組をしっかりと発信していくことが重要。
- 東京では、入院者数は増加傾向で、40代・50代の重症者数は前回の感染拡大期と同水準となっている。措置の強化に伴う効果が出てくるまで少なくとも2週間程度はかかることが見込まれ、今後もしばらくの間、感染拡大が続くことが予想される。このため、そうした状況を前提とした医療提供・公衆衛生体制の確保・連携が求められる。
- その他の地域でも、新規感染者数が増加に転じた地域がある。高齢者のワクチン接種が進む中で、重症者数と死亡者数の減少傾向が続いている。このことが、医療提供体制の状況への評価に及ぼす影響について検討が必要だが、感染者数が急増すれば重症病床より先に入院病床がひっ迫するとの予測も示されており、感染拡大の予兆があれば機動的な介入により急拡大を抑制することが必要である。
- 医療機関や高齢者施設でのクラスターが減少する一方、職場や学校・教育施設などでの発生が見られており、こうした場での感染予防の徹底等の対応が必要。
- ワクチンの接種が高齢者中心に進む中、高齢者の新規感染者数の割合が昨年秋以降で最も低い水準となるなど、ワクチンの効果が示唆されてきており、引き続き接種を着実に進めることが必要。また、ハイリスクな感染の場や感染経路に着目した戦略的なワクチン接種を進めることも流行制御に重要と考えられる。その際、特に若年層を中心に、懸念や不安の払拭が必要。
- ワクチンについては、発症予防、重症化予防とともに、感染予防効果を示唆する報告もある。接種進展に伴う効果について適切に分析・評価するとともに、ワクチン接種が十分に進んだ後の適切な感染防止策等の在り方について検討していくことが必要。
- 置き換わりも懸念されるデルタ株については、L452R変異株スクリーニングにより全国的な監視体制を強化するとともに、変異株に対する積極的疫学調査や検査の徹底等により、感染拡大を可能な限り抑えていくことが必要。また、水際対策についても、各国の感染状況等も踏まえ、引き続き迅速に対応することが必要。

直近の感染状況等（1）

○新規感染者数の動向（対人口10万人（人））

○検査体制の動向（検査数、陽性者割合）

	6/23～6/29		6/30～7/6		7/7～7/13		6/14～6/20		6/21～6/27		6/28～7/4	
全国	8.25人	(10,413人) ↑	8.99人	(11,348人) ↑	11.91人	(15,024人) ↑	484,833件↓	2.1% ↓	446,860件↓	2.3% ↑	448,871件↑	2.5% ↑
北海道	4.44人	(233人) ↓	4.48人	(235人) ↑	7.73人	(406人) ↑	17,776件↓	4.9% ↓	16,079件↓	1.5% ↓	12,862件↓	1.7% ↑
埼玉	8.87人	(652人) ↑	11.28人	(829人) ↑	14.44人	(1,061人) ↑	50,389件↑	1.1% ↓	52,526件↑	1.2% ↑	52,847件↑	1.4% ↑
千葉	13.02人	(815人) ↑	15.85人	(992人) ↑	19.17人	(1,200人) ↑	28,706件↓	2.4% ↑	28,965件↑	2.6% ↑	19,556件↓	4.9% ↑
東京	24.88人	(3,464人) ↑	30.29人	(4,216人) ↑	39.75人	(5,534人) ↑	113,884件↑	2.3% ↓	100,133件↓	3.3% ↑	123,157件↑	3.3% →
神奈川	15.46人	(1,422人) ↑	16.39人	(1,508人) ↑	24.07人	(2,214人) ↑	25,526件↑	5.2% ↓	22,445件↓	6.0% ↑	24,291件↑	6.2% ↑
愛知	5.26人	(397人) ↓	4.34人	(328人) ↓	5.83人	(440人) ↑	12,440件↓	7.5% ↑	10,765件↓	4.3% ↓	9,872件↓	3.3% ↓
京都	3.72人	(96人) ↓	4.57人	(118人) ↑	6.43人	(166人) ↑	6,323件↓	3.5% ↑	4,963件↓	1.8% ↓	6,030件↑	1.9% ↑
大阪	7.79人	(686人) ↑	8.96人	(789人) ↑	12.67人	(1,116人) ↑	49,769件↓	1.7% ↓	50,490件↑	1.4% ↓	42,849件↓	1.7% ↑
兵庫	2.52人	(138人) ↓	3.44人	(188人) ↑	5.67人	(310人) ↑	15,013件↓	1.9% ↓	12,706件↓	1.2% ↓	12,715件↑	1.3% ↑
福岡	4.17人	(213人) ↓	4.23人	(216人) ↑	6.41人	(327人) ↑	13,164件↓	2.3% ↑	12,158件↓	1.8% ↓	11,983件↓	1.7% ↓
沖縄	33.31人	(484人) ↓	26.91人	(391人) ↓	23.06人	(335人) ↓	13,863件↓	6.5% ↑	10,230件↓	4.9% ↓	13,053件↑	3.1% ↓

※ ↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

直近の感染状況等（2）

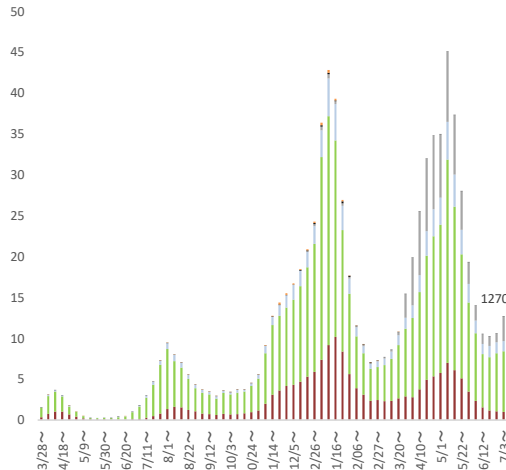
○入院患者数の動向（入院者数（対受入確保病床数））

○重症者数の動向（入院者数（対受入確保病床数））

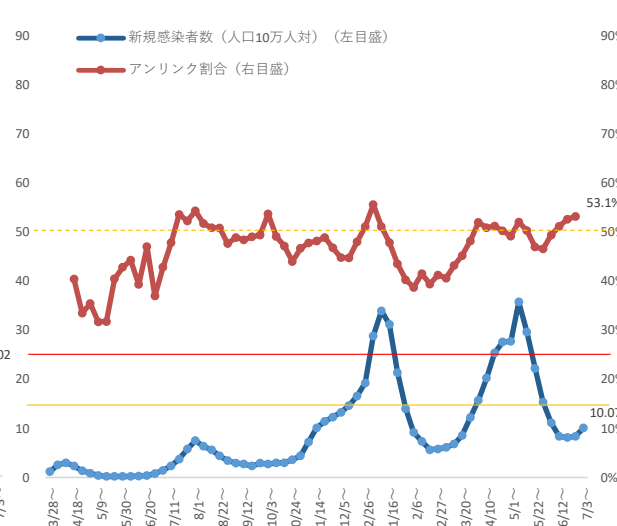
	6/22	6/29	7/6	6/22	6/29	7/6
全国	7,277人(20.3%) ↓	6,378人(17.8%) ↓	5,568人(16.4%) ↓	942人(19.1%) ↓	858人(17.5%) ↓	856人(17.2%) ↓
北海道	747人(35.8%) ↓	484人(23.2%) ↓	333人(15.9%) ↓	24人(15.9%) ↓	30人(19.9%) ↑	18人(11.9%) ↓
埼玉	307人(18.5%) ↓	293人(17.6%) ↓	338人(20.3%) ↑	23人(14.0%) ↓	14人(8.5%) ↓	21人(12.7%) ↑
千葉	320人(25.1%) ↓	359人(28.1%) ↑	368人(28.9%) ↑	17人(16.8%) ↓	17人(16.8%) →	16人(15.8%) ↓
東京	1,263人(20.9%) ↓	1,514人(25.0%) ↑	1,671人(27.6%) ↑	344人(28.5%) ↓	385人(31.9%) ↑	467人(38.7%) ↑
神奈川	455人(25.4%) ↓	420人(23.5%) ↓	416人(23.2%) ↓	37人(18.6%) ↓	41人(20.6%) ↑	32人(16.1%) ↓
愛知	505人(33.3%) ↓	317人(20.9%) ↓	222人(14.7%) ↓	43人(29.5%) ↓	26人(17.8%) ↓	12人(8.2%) ↓
京都	102人(20.5%) ↓	69人(13.9%) ↓	49人(9.8%) ↓	15人(17.4%) ↓	11人(12.8%) ↓	5人(5.8%) ↓
大阪	597人(22.0%) ↓	450人(16.6%) ↓	437人(15.3%) ↓	194人(23.1%) ↓	149人(17.7%) ↓	134人(14.5%) ↓
兵庫	200人(17.4%) ↓	136人(11.8%) ↓	148人(12.9%) ↑	28人(20.6%) ↓	16人(11.8%) ↓	16人(11.8%) →
福岡	274人(19.5%) ↓	187人(13.3%) ↓	137人(9.7%) ↓	25人(12.4%) ↓	13人(6.5%) ↓	13人(6.5%) →
沖縄	511人(71.5%) ↓	444人(62.3%) ↓	297人(41.7%) ↓	64人(69.6%) ↓	58人(66.7%) ↓	46人(62.2%) ↓

※ 「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。
 ↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

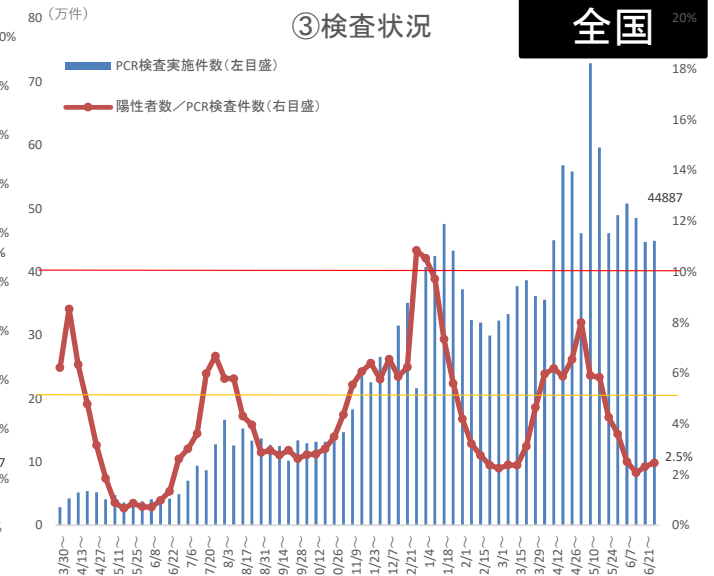
①新規感染者報告数
 ■60歳- ■20-59歳 ■19歳以下 ■調査中 ■非公表 ■不明
 (千人)



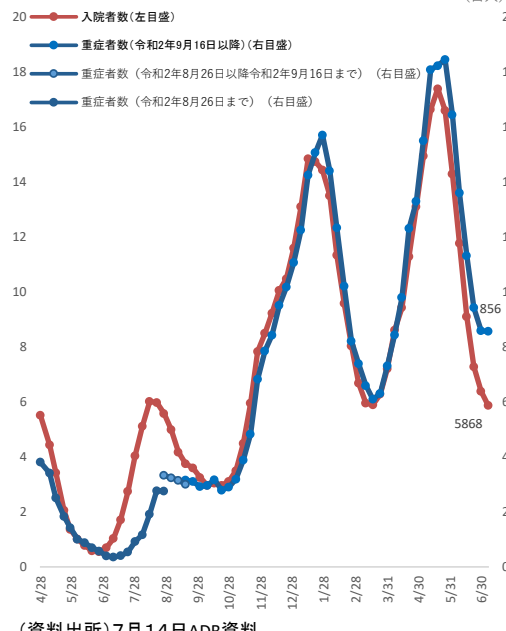
②新規感染者数(人口10万人対) / アンリンク割合
 ●新規感染者数(人口10万人対) (左目盛)
 ●アンリンク割合 (右目盛)



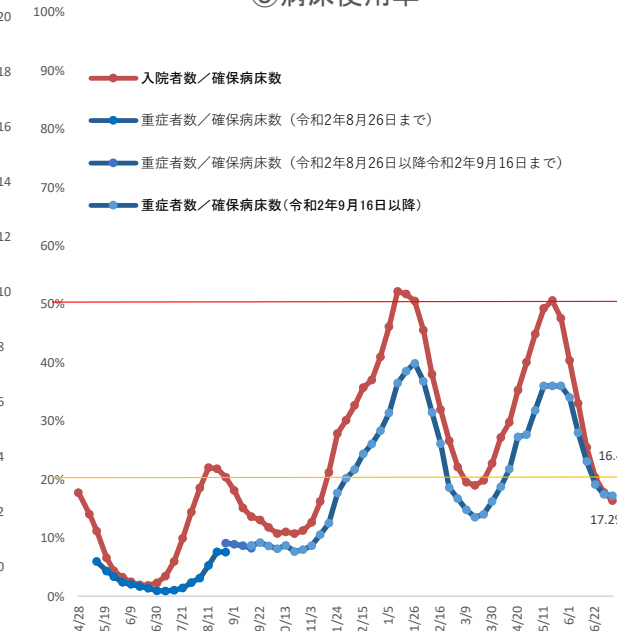
③検査状況



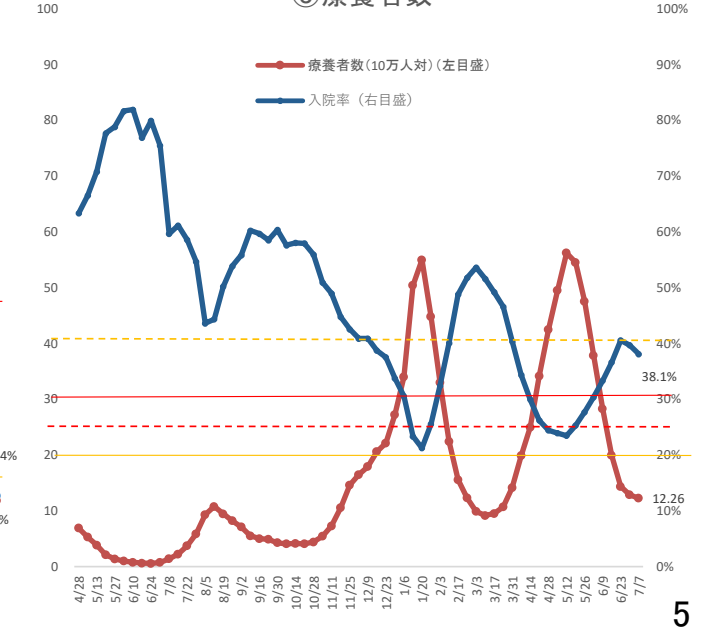
④入院者数 / 重症者数
 ●入院者数(左目盛)
 ●重症者数(令和2年9月16日以降)(右目盛)
 ●重症者数(令和2年8月26日以降令和2年9月16日まで)(右目盛)
 ●重症者数(令和2年8月26日まで)(右目盛)



⑤病床使用率

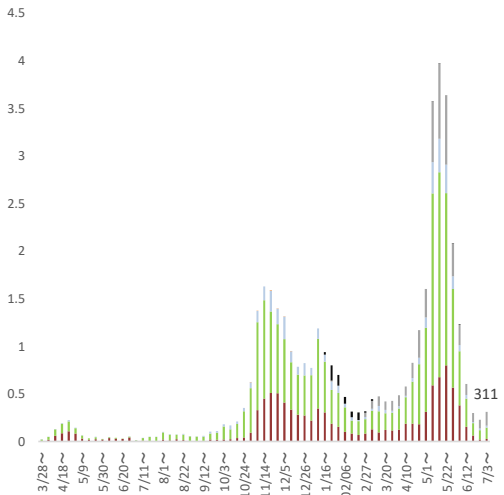


⑥療養者数

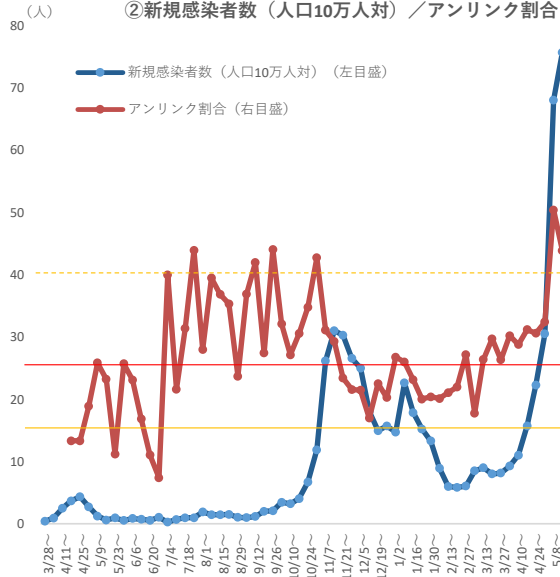


(資料出所) 7月14日 ADB資料

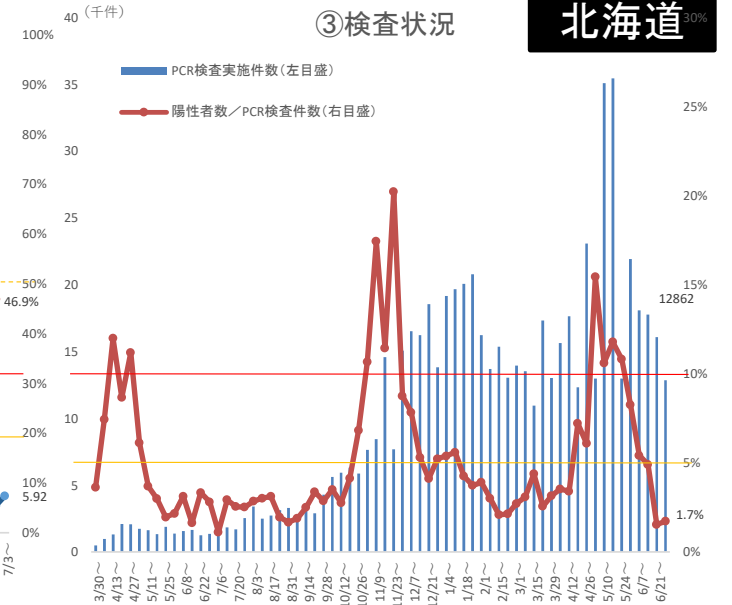
①新規感染者報告数
 ■ 60歳以上 ■ 20-59歳 ■ -19歳 ■ 調査中 ■ 非公表 ■ 不明 (千人)



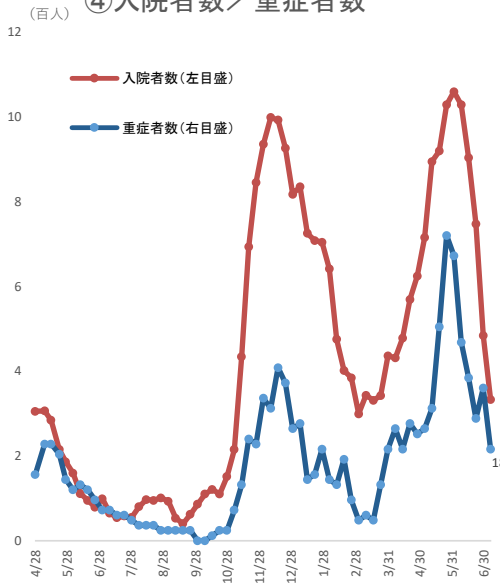
②新規感染者数(人口10万人対) / アンリンク割合



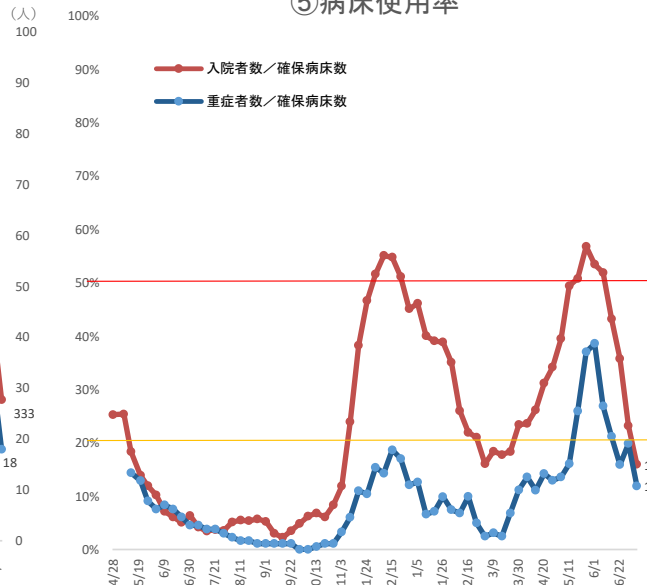
③検査状況



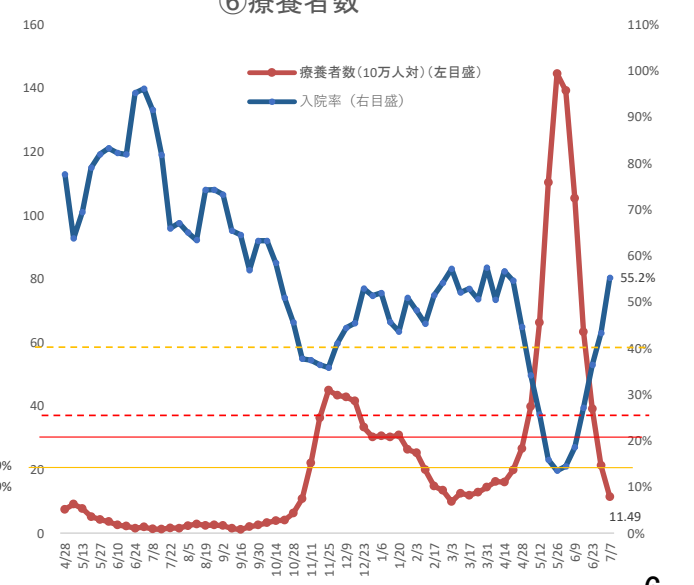
④入院者数 / 重症者数



⑤病床利用率

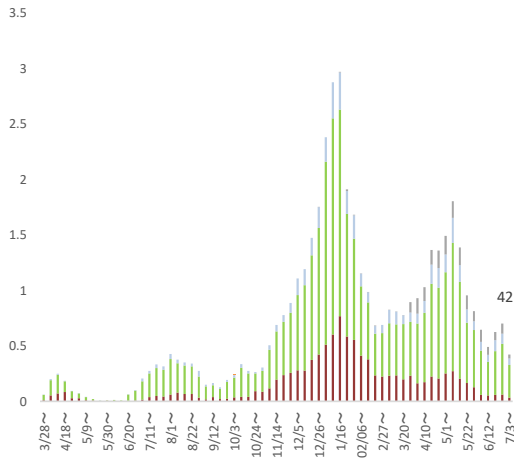


⑥療養者数

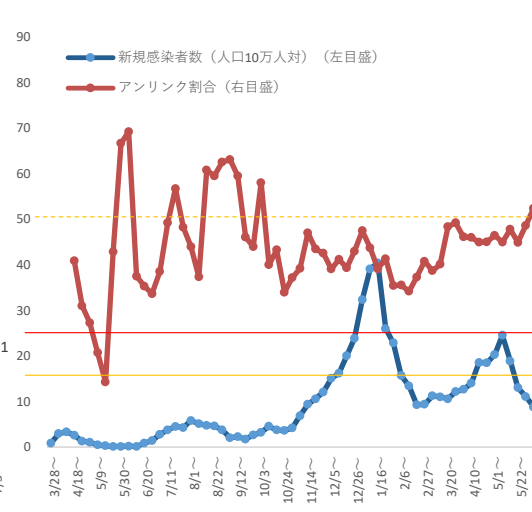


(資料出所) 7月14日ADB資料

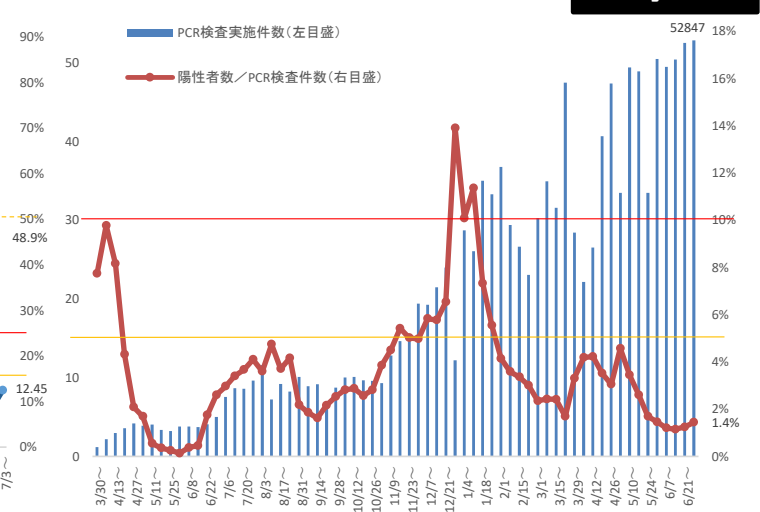
①新規感染者報告数



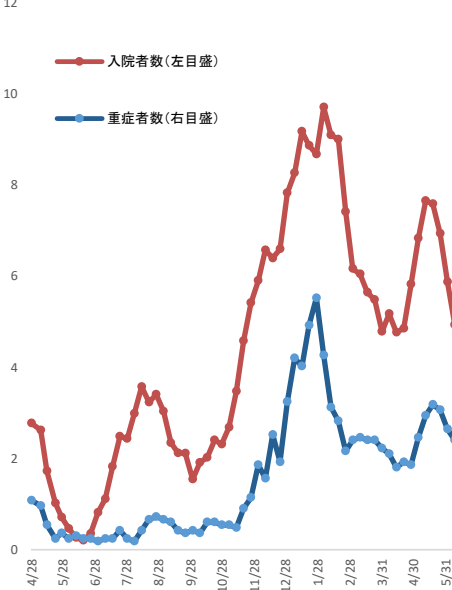
②新規感染者数（人口10万人対）／アンリンク割合



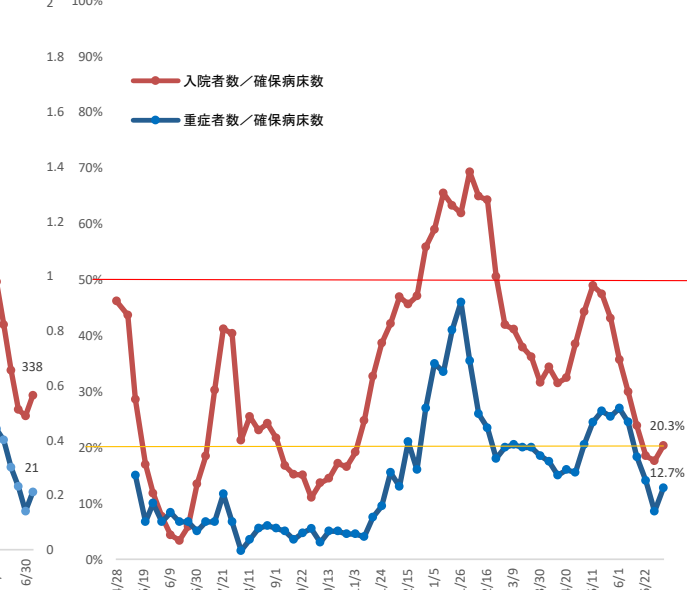
③検査状況



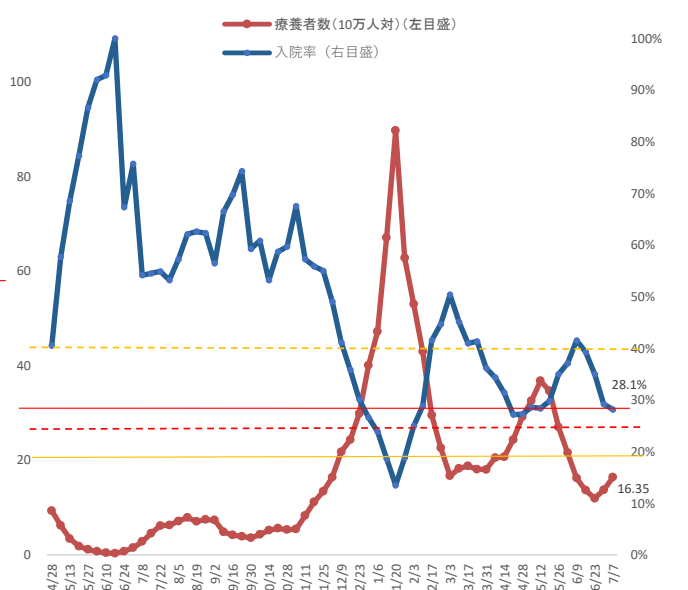
④入院者数／重症者数



⑤病床使用率

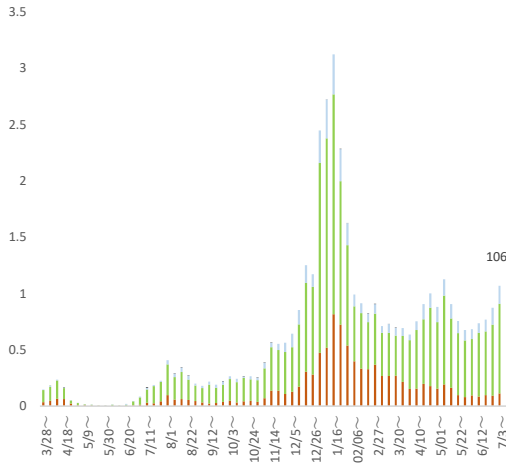


⑥療養者数

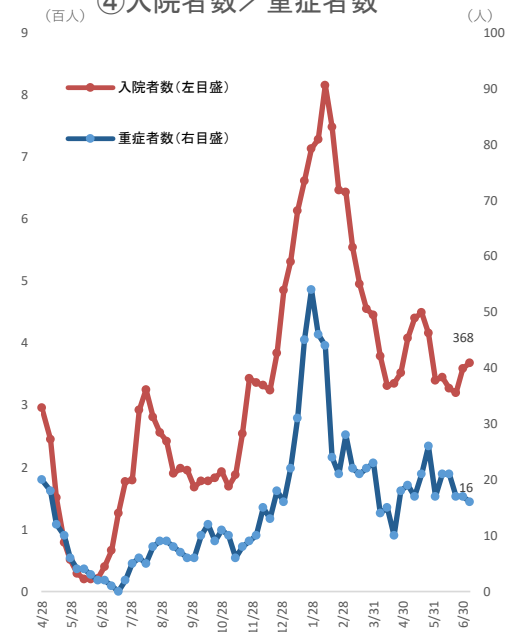


(資料出所) 7月14日ADB資料

①新規感染者報告数
 60歳-19歳 20-59歳
 非公表 調査中
 不明

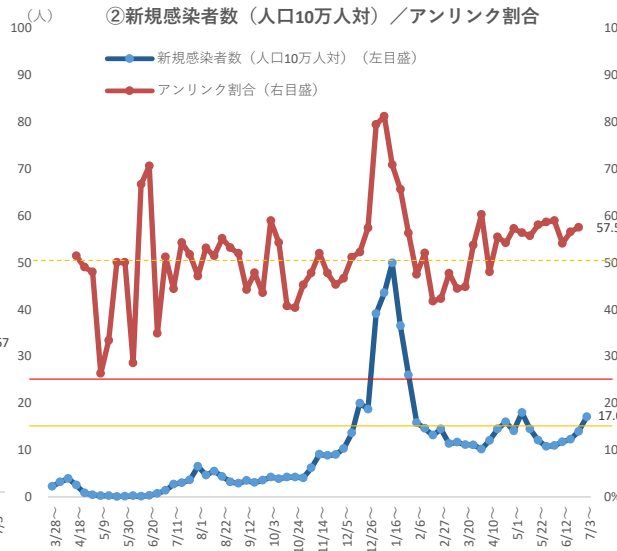


④入院者数／重症者数

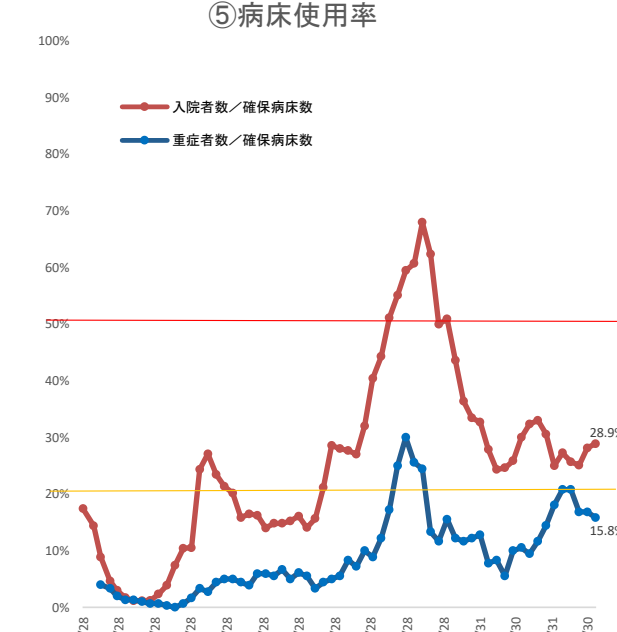


(資料出所) 7月14日 ADB資料

②新規感染者数(人口10万人対)／アリンク割合



⑤病床利用率



③検査状況

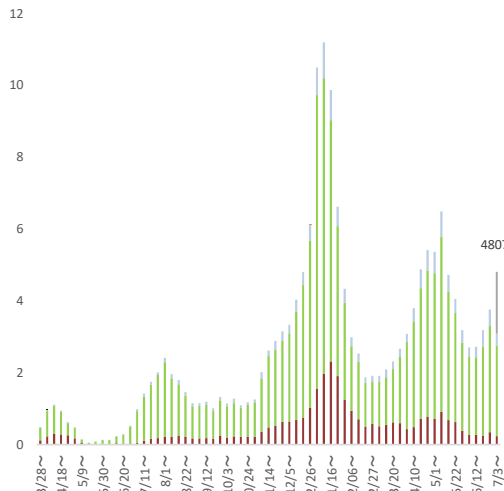


⑥療養者数

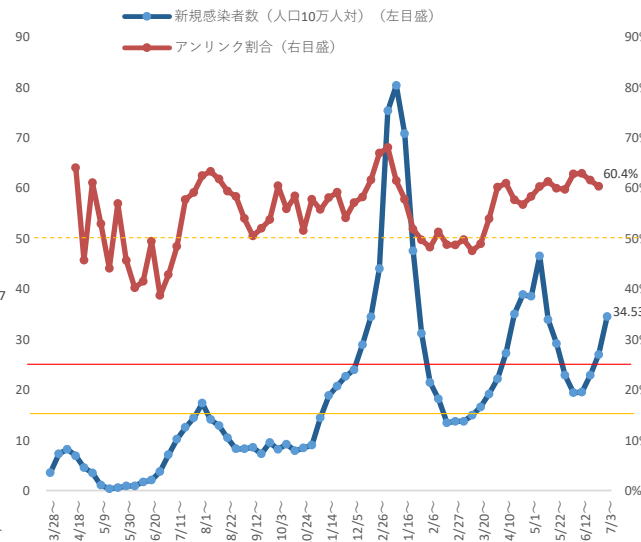


千葉 20%

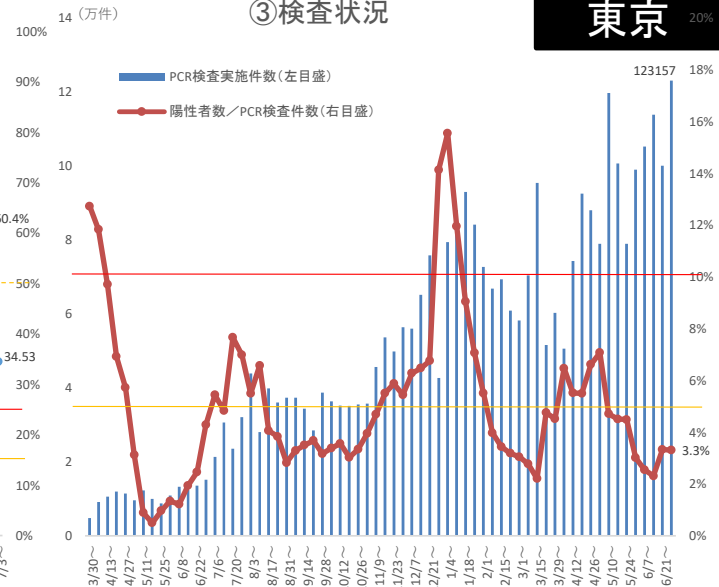
①新規感染者報告数
 ■ 60歳- ■ 20-59歳 ■ 調査中
 ■ 19歳 ■ 調査中 ■ 不明
 ■ 非公表
 (千人)



②新規感染者数(人口10万人対) / アンリンク割合
 (人)

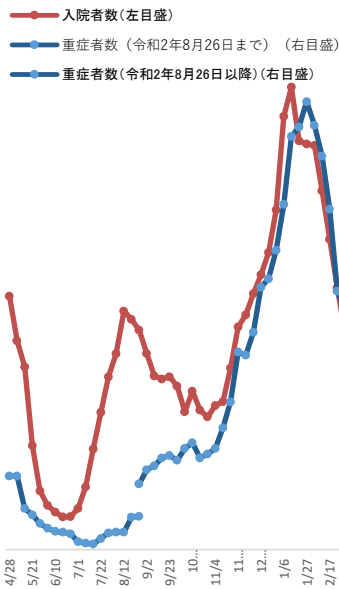


③検査状況



東京 20%

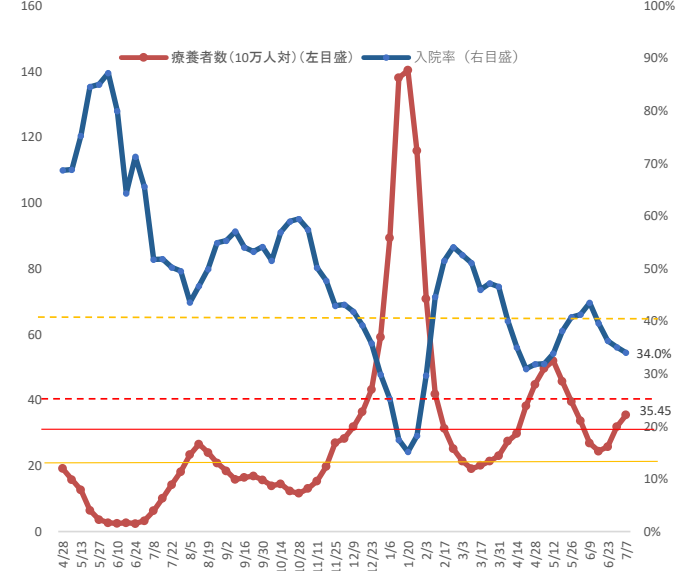
④入院者数 / 重症者数
 (百人)



⑤病床使用率
 (百人) 7

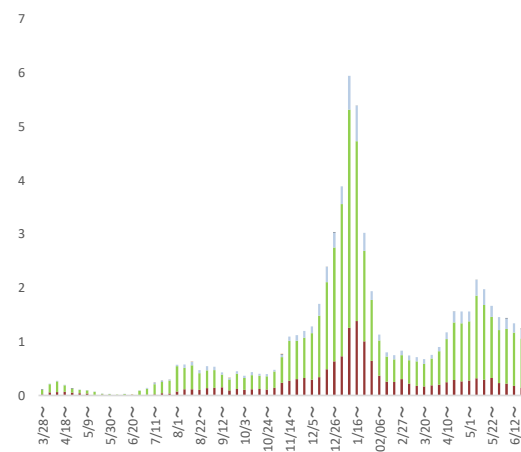


⑥療養者数
 (百人) 160

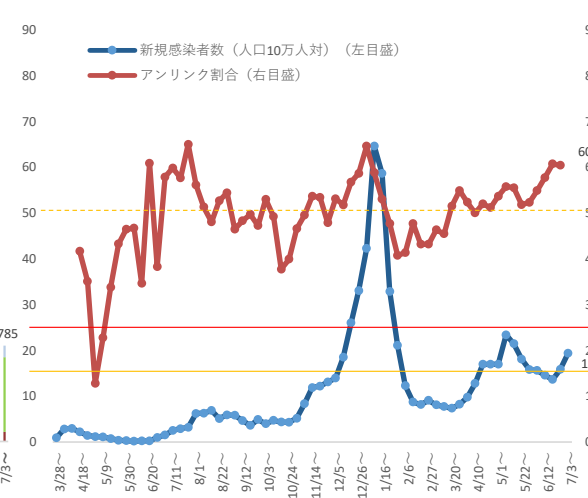


(資料出所) 7月14日ADB資料

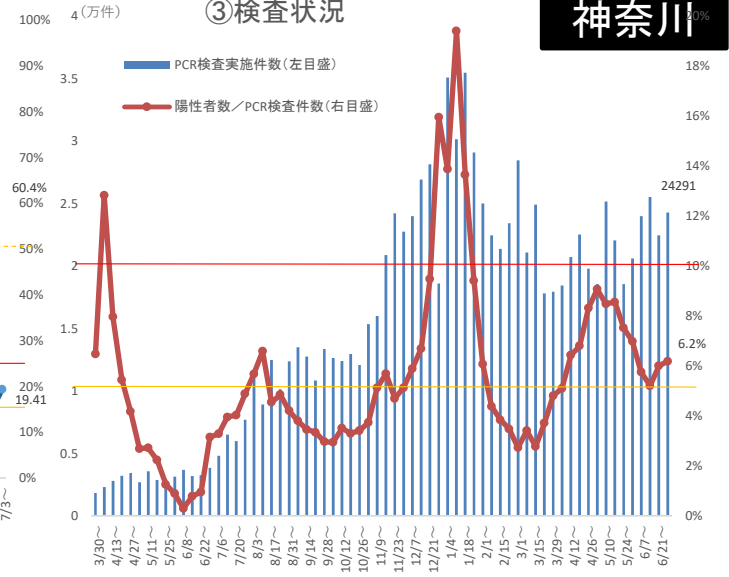
①新規感染者報告数
 ■ 60歳- 20-59歳
 ■ 19歳 調査中
 (千人)



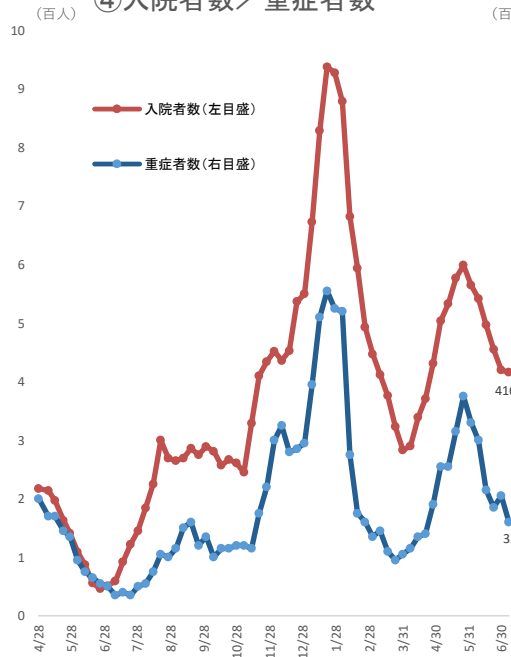
②新規感染者数 (人口10万人対) / アンリンク割合



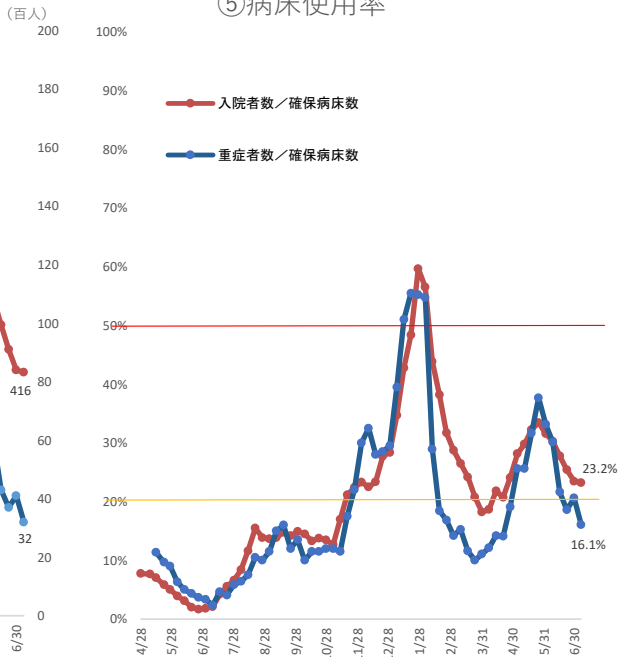
③検査状況



④入院者数 / 重症者数



⑤病床利用率

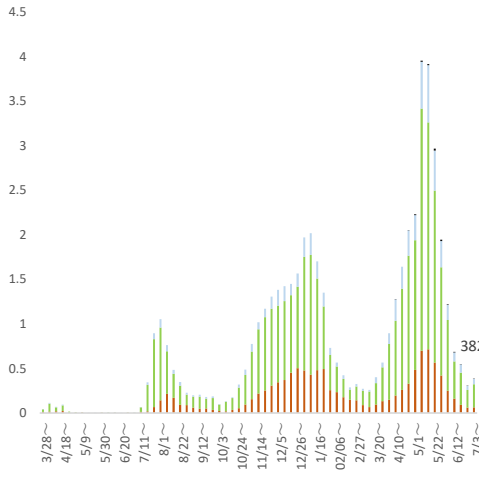


⑥療養者数

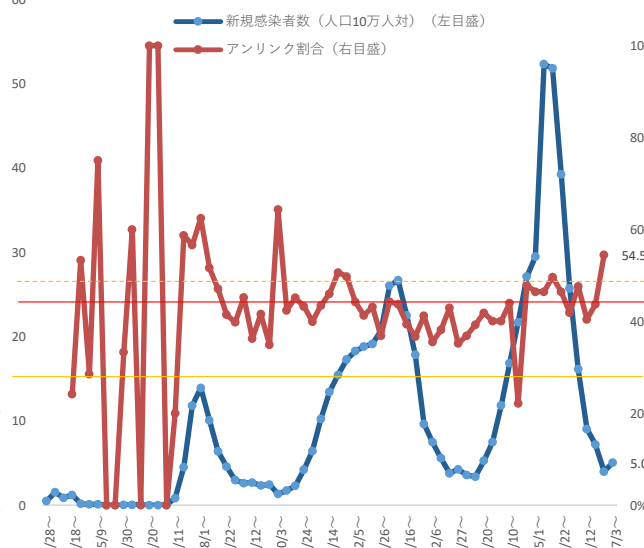


(資料出所) 7月14日ADB資料

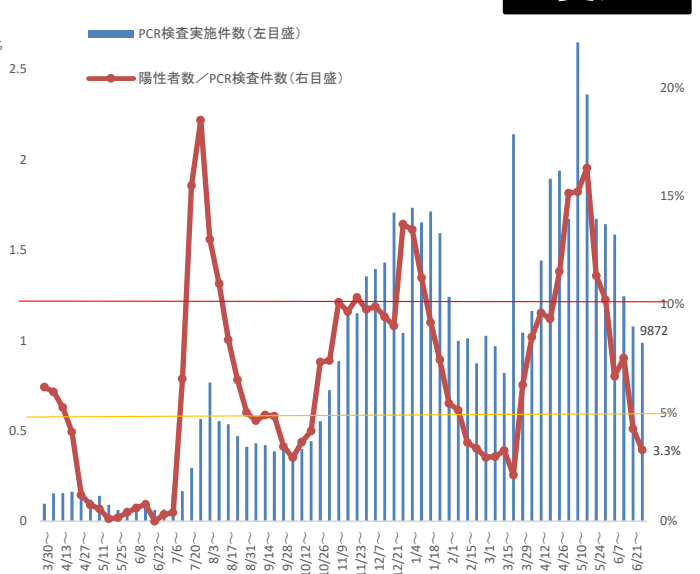
①新規感染者報告数
 60歳以上 20-59歳 調査中
 -19歳 非公表 不明



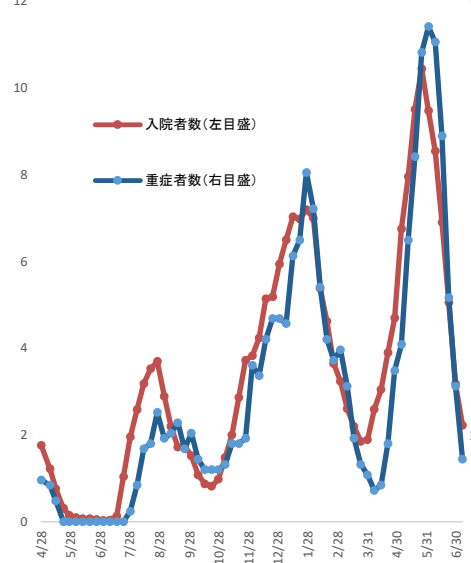
②新規感染者数（人口10万人対）／アンリンク割合



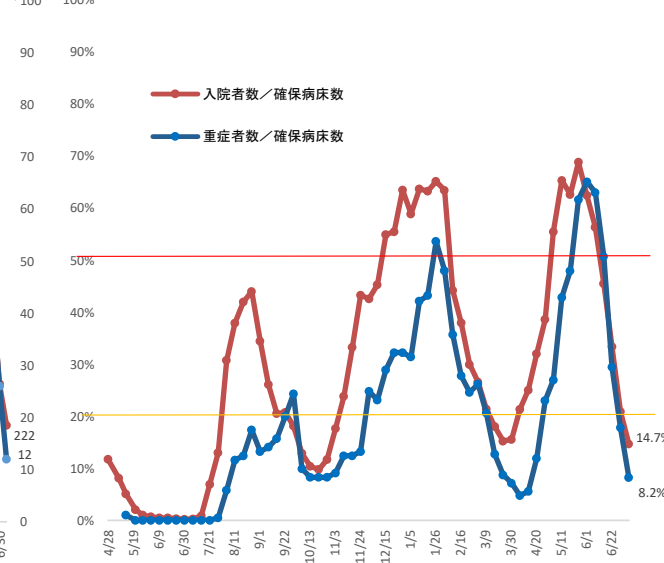
③検査状況



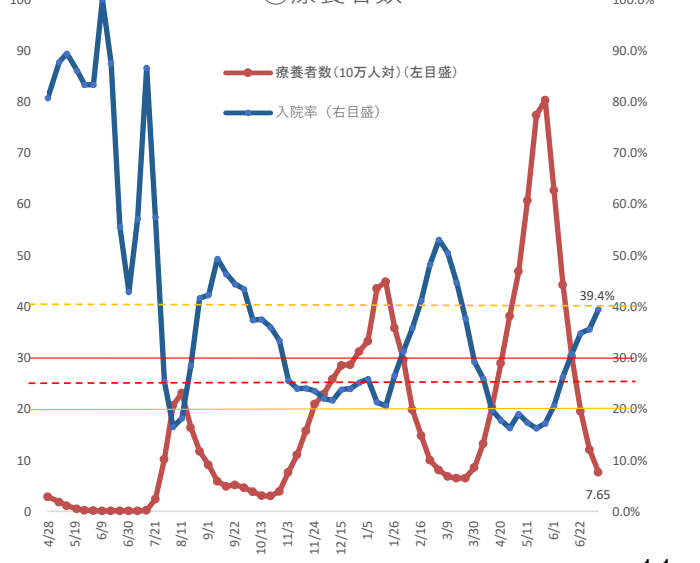
④入院者数／重症者数



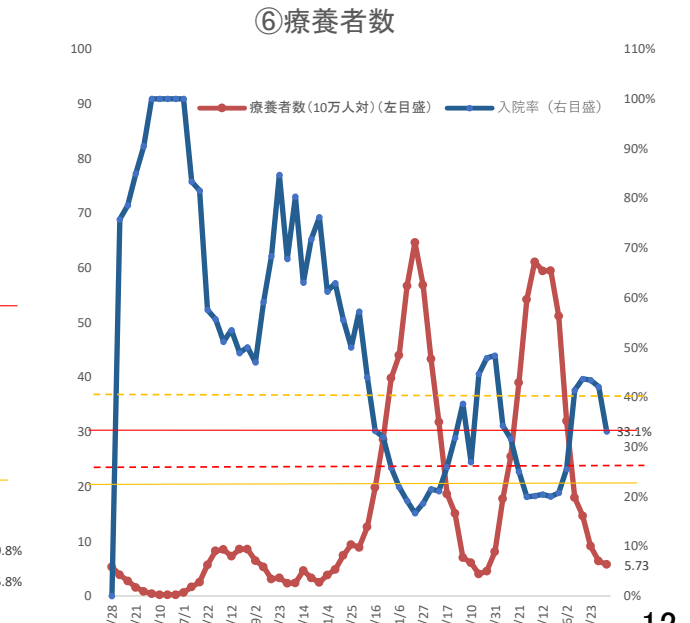
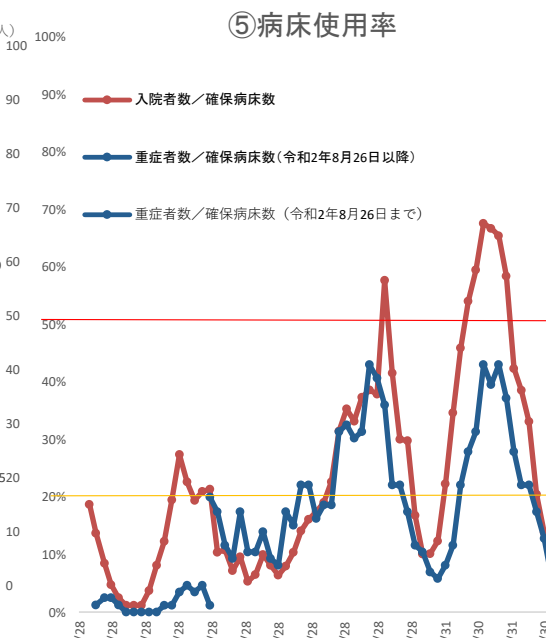
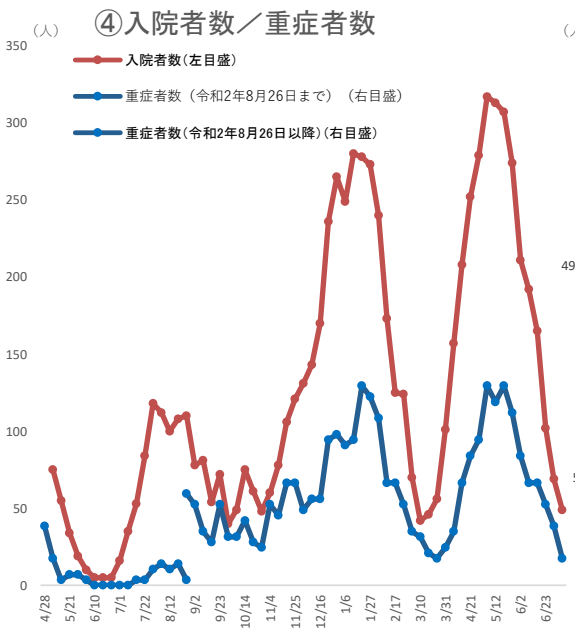
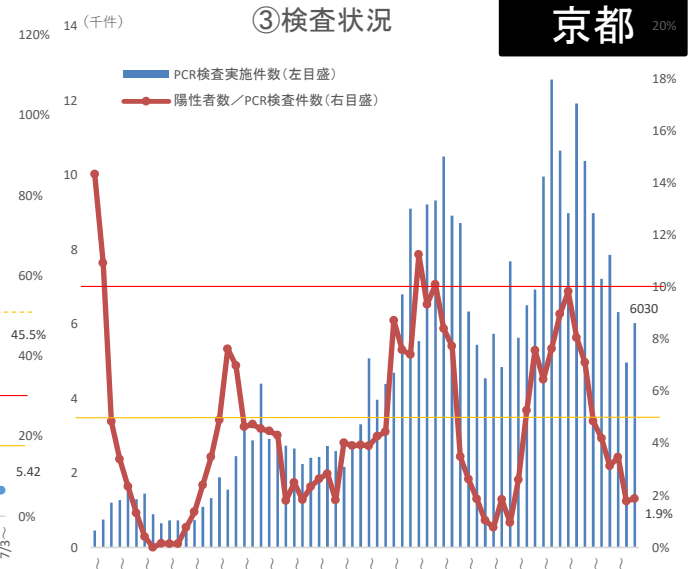
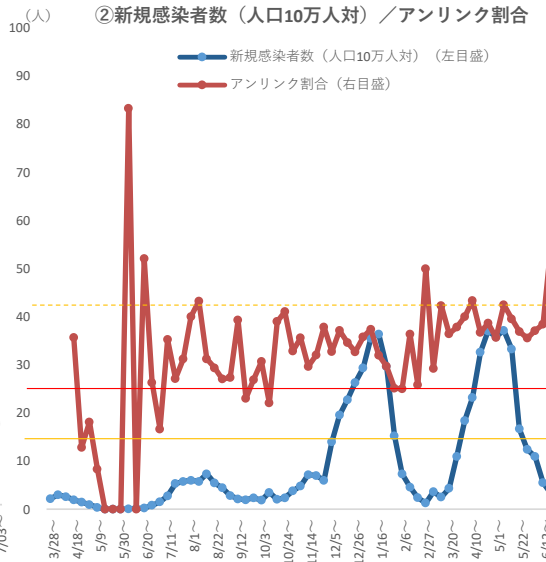
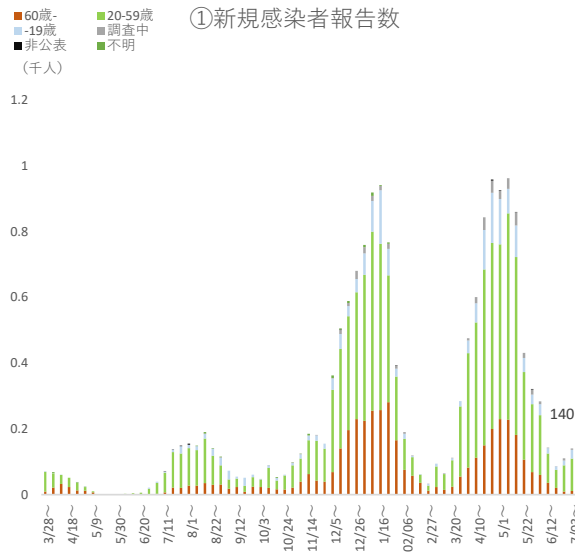
⑤病床使用率



⑥療養者数

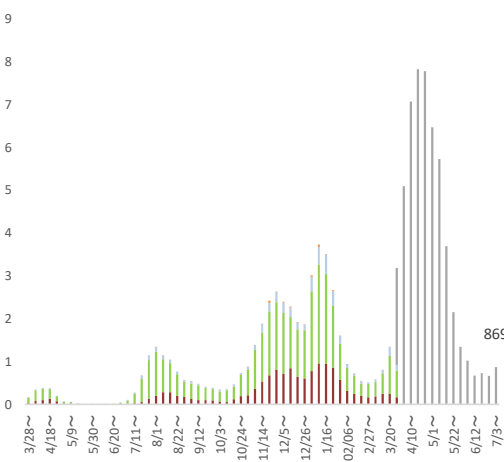


(資料出所) 7月14日ADB資料

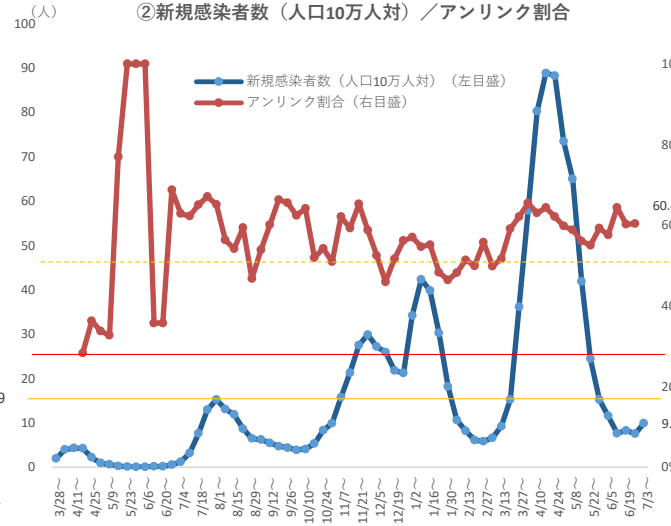


(資料出所) 7月14日ADB資料

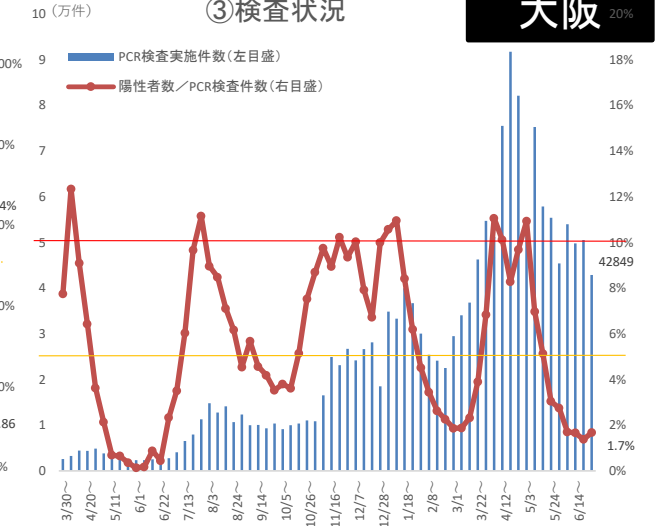
①新規感染者報告数



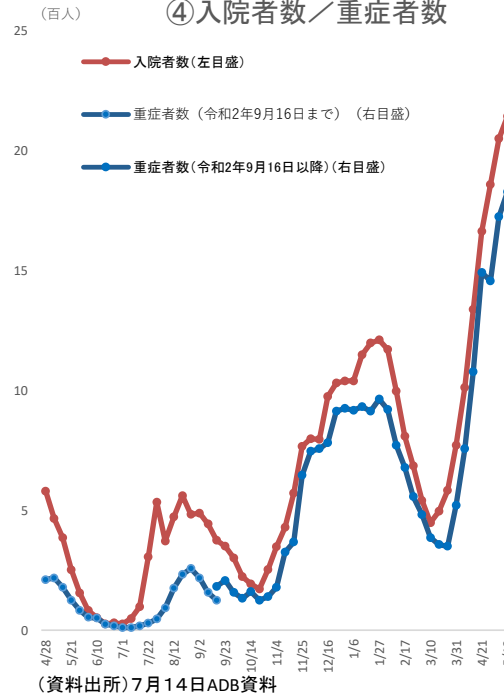
②新規感染者数 (人口10万人対) / アンリンク割合



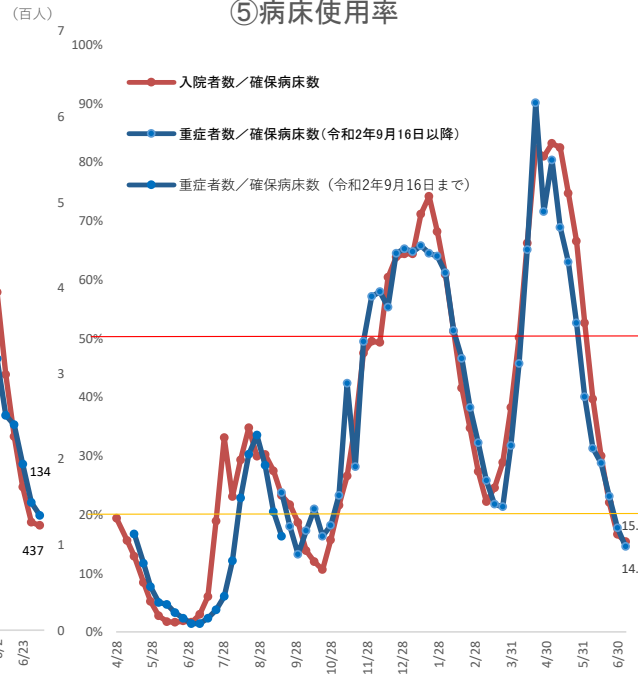
③検査状況



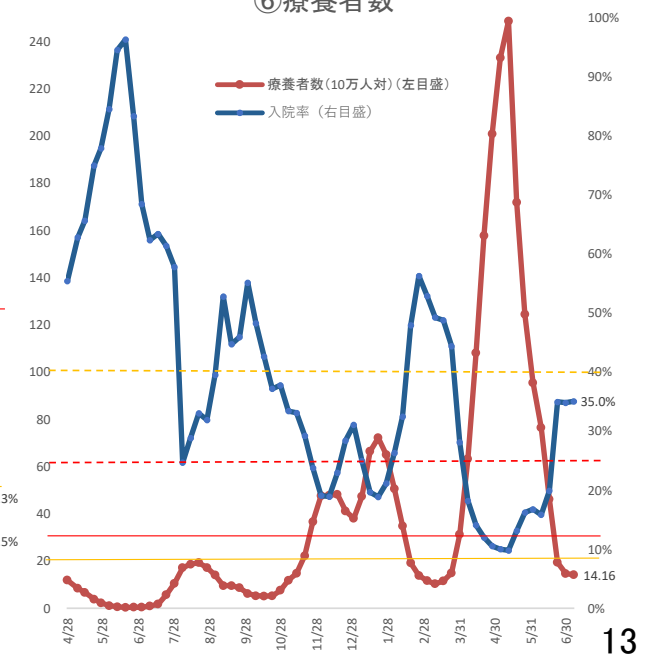
④入院者数/重症者数



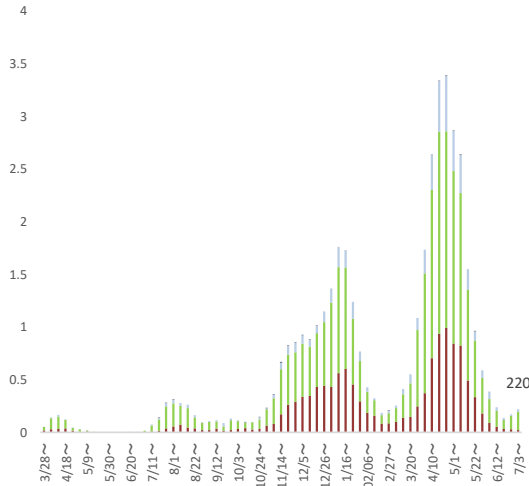
⑤病床使用率



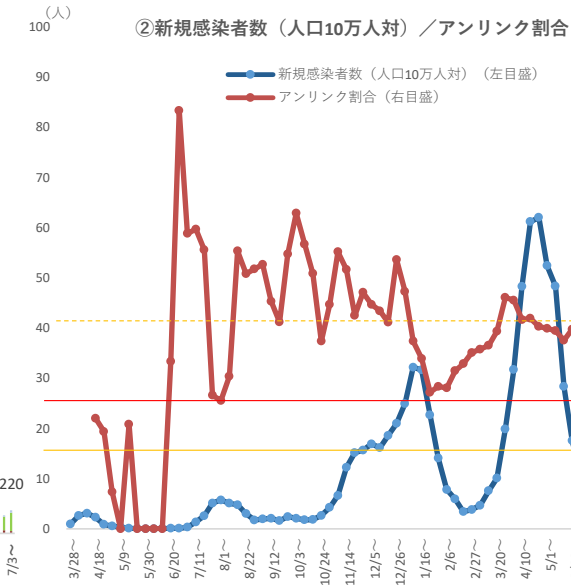
⑥療養者数



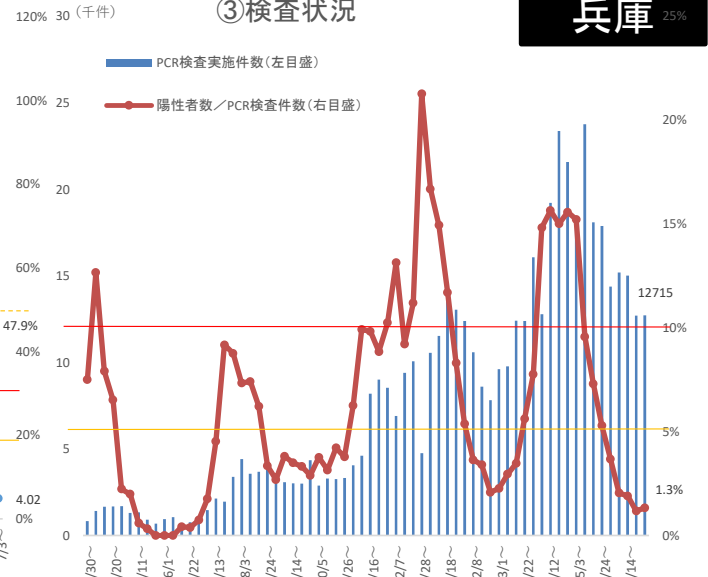
①新規感染者報告数
 ■60歳- ■20-59歳 ■調査中
 ■-19歳 ■非公表 ■不明
 (千人)



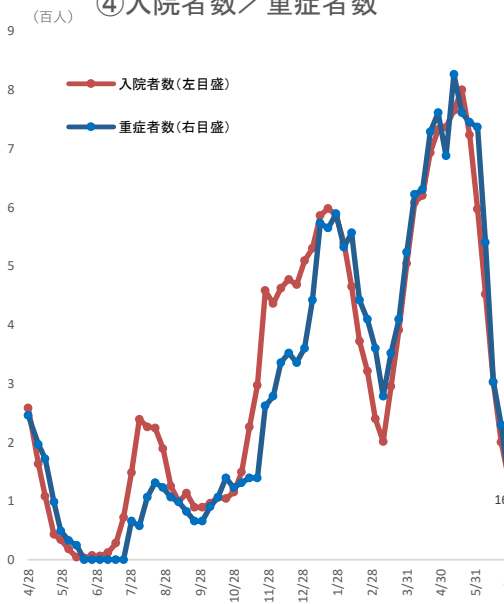
②新規感染者数(人口10万人対) / アンリンク割合



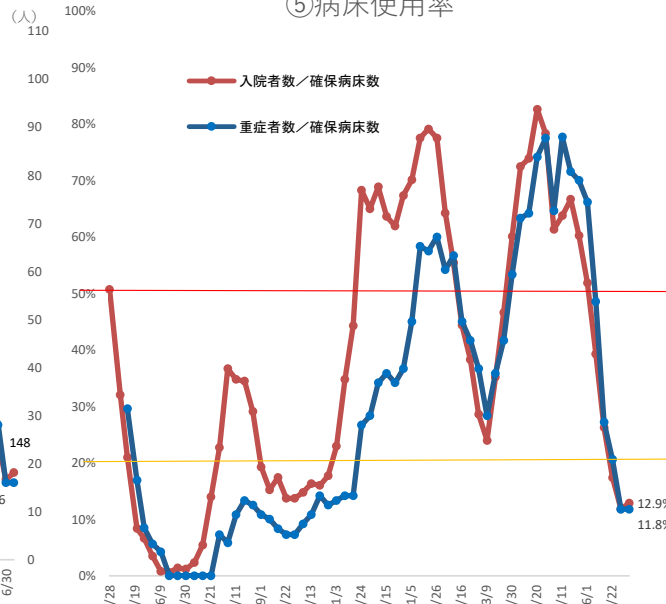
③検査状況



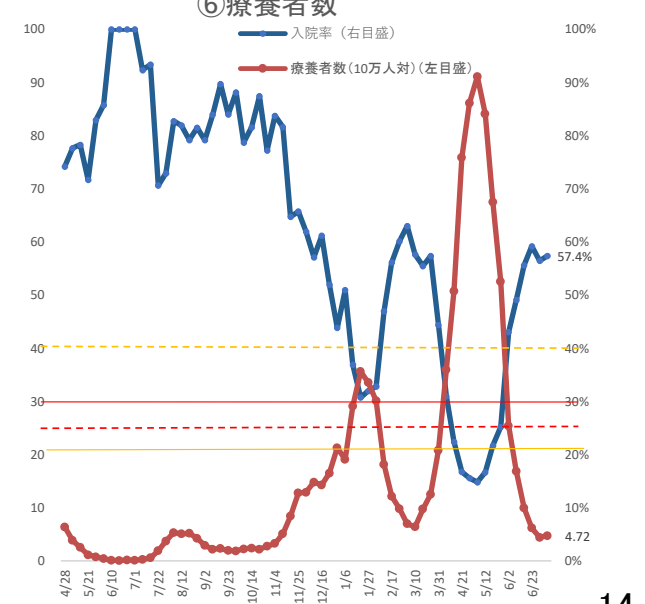
④入院者数 / 重症者数



⑤病床利用率



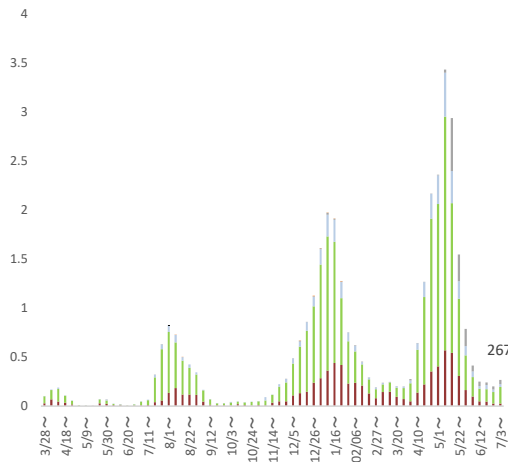
⑥療養者数



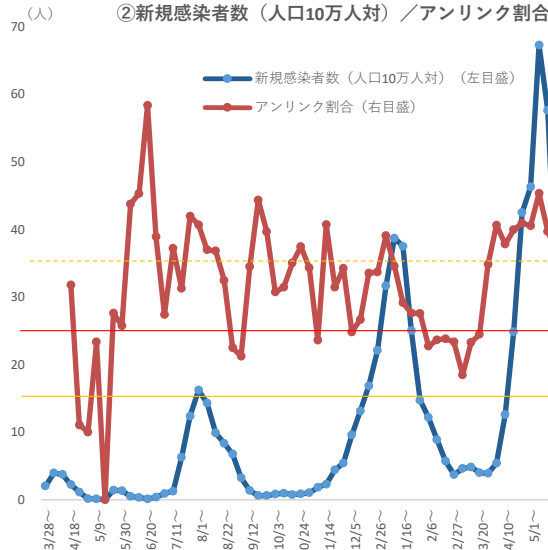
(資料出所) 7月14日ADB資料

①新規感染者報告数

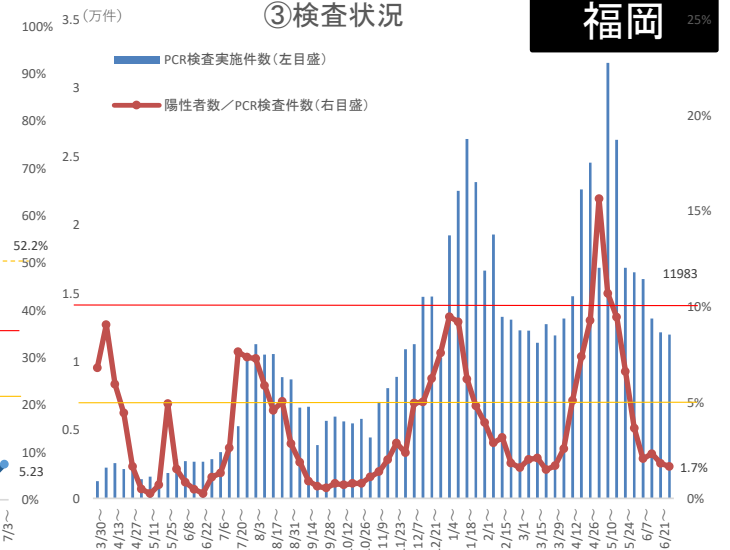
- 60歳以上
- 19歳以下
- 非公表
- 20-59歳
- 調査中
- 不明



②新規感染者数（人口10万人対）／アンリンク割合

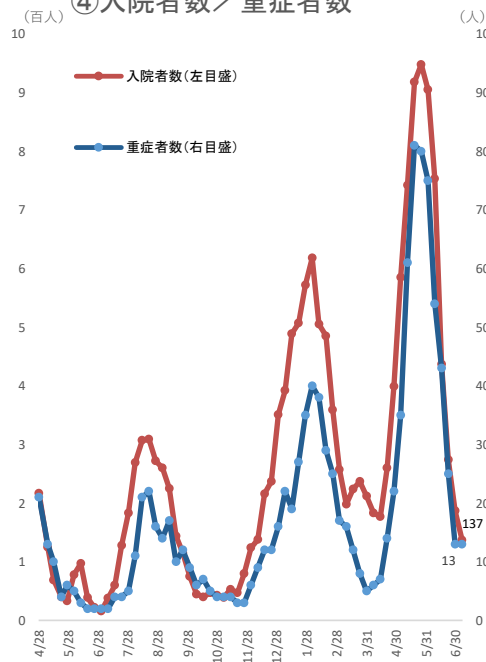


③検査状況

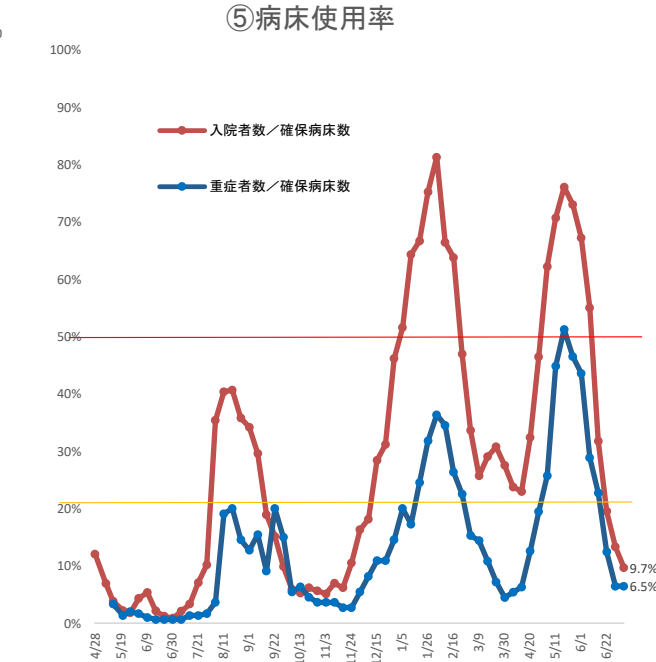


福岡 25%

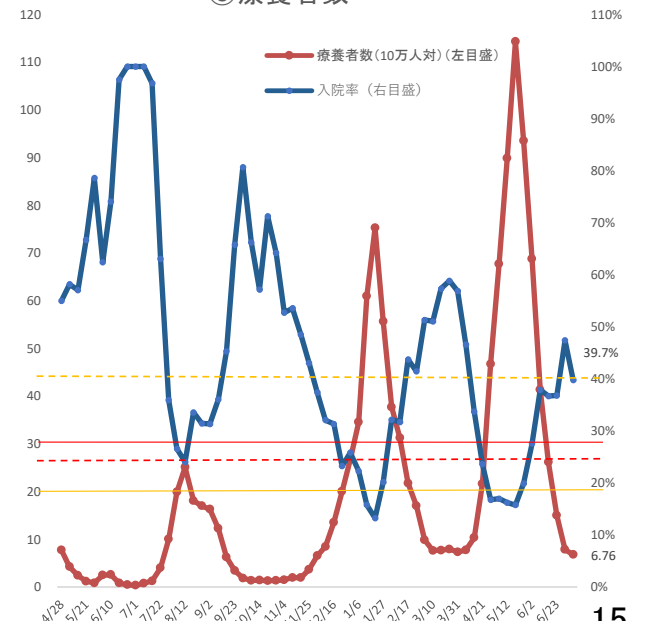
④入院者数／重症者数



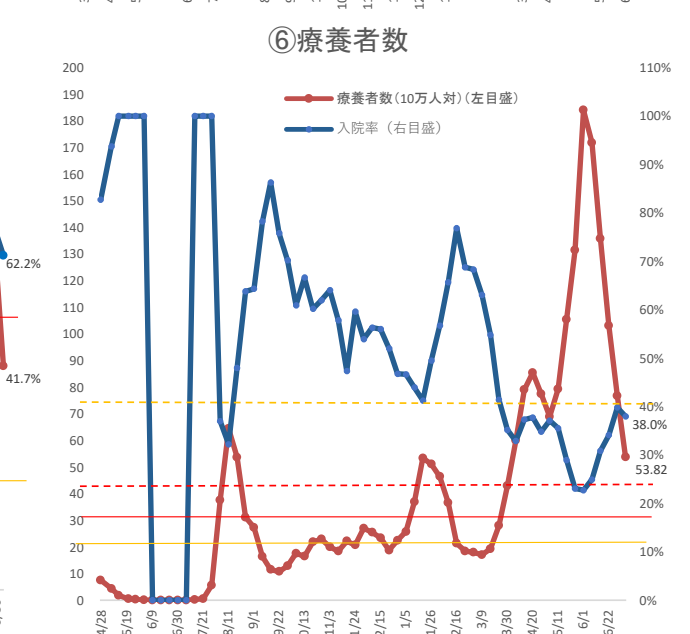
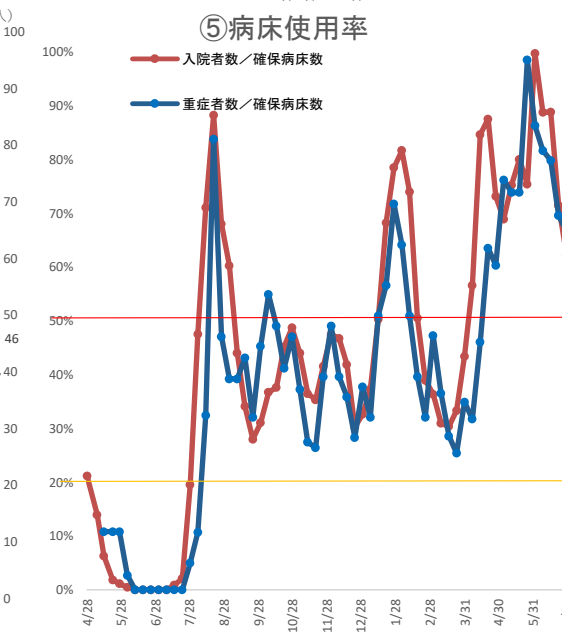
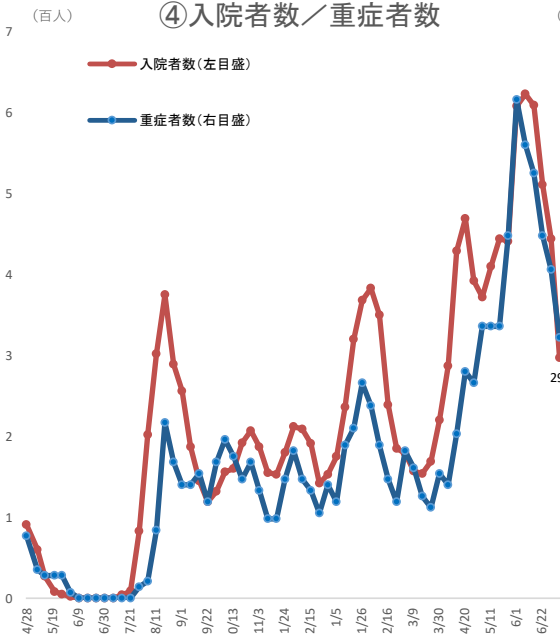
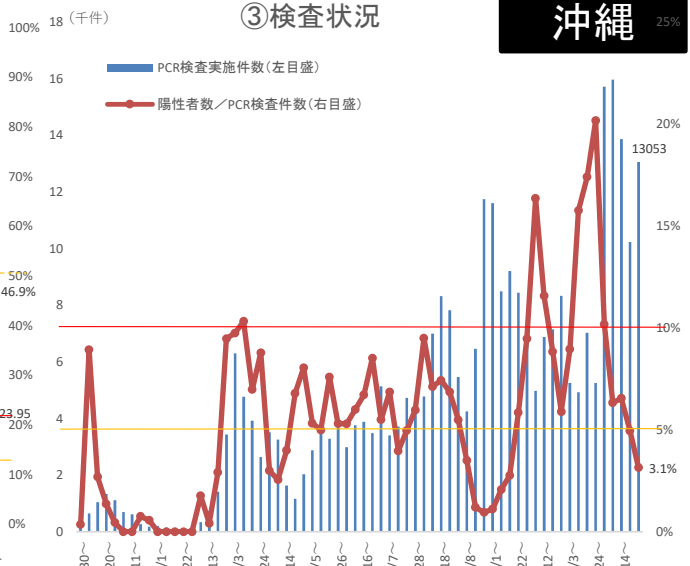
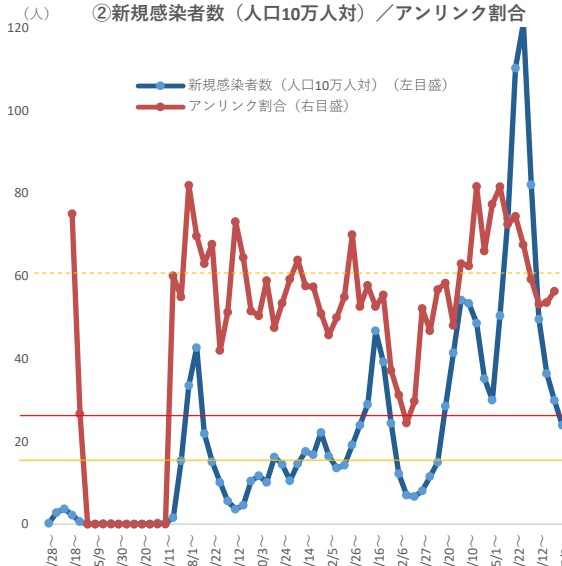
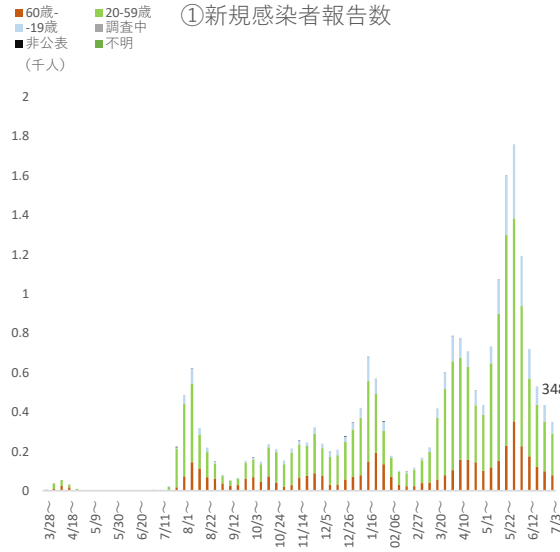
⑤病床使用率



⑥療養者数



(資料出所) 7月14日ADB資料



(資料出所) 7月14日 ADB資料

感染状況等に関するデータ

1. 感染状況等の推移に関するデータ

- ① 都道府県別の感染者数の推移 1
- ② 入院患者・重症者等の推移 5
 - (1) 入院者数、受入確保病床数に占める入院者数の割合 5
 - (2) 重症者数、重症患者受入確保病床数に占める重症者数の割合 10
 - (3) 宿泊療養者数、宿泊施設受入可能室数に占める宿泊療養者数の割合 16
 - (4) 自宅療養者数、社会福祉施設等療養者数、確認中の人数 23
- ③ 都道府県別 PCR 等検査実施状況の推移 29

2. 直近の感染状況等

- ① 全国の感染状況等 33
- ② 都道府県の医療提供体制等の状況 35
- ③ 療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査について 37

	8月8日～8月14日		8月15日～8月21日		8月22日～8月28日		8月29日～9月4日		9月5日～9月11日		9月12日～9月18日		9月19日～9月25日		9月26日～10月2日		10月3日～10月9日		10月10日～10月16日		10月17日～10月23日		10月24日～10月30日		10月31日～11月6日		11月7日～11月13日		11月14日～11月20日		11月21日～11月27日		11月28日～12月4日		12月5日～12月11日		12月12日～12月18日		12月19日～12月25日	
	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク
全国	8028	52%	7070	51%	5554	51%	4314	48%	3693	49%	3459	48%	2946	49%	3658	49%	3439	54%	3746	49%	3784	47%	4539	44%	5598	47%	9148	48%	12763	48%	14377	49%	15512	47%	16736	45%	18494	45%	20904	48%
北海道	77	49%	76	46%	79	44%	54	30%	52	46%	61	52%	105	34%	109	55%	182	40%	168	34%	212	38%	352	43%	624	53%	1374	39%	1629	37%	1590	29%	1395	27%	1313	27%	948	21%	785	28%
青森	1	0%	0	-	2	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	2	0%	0	-	46	7%	75	4%	64	6%	47	6%	6	0%	5	20%	7	43%	34	17%	43	21%	26	12%	24	29%
岩手	2	100%	3	33%	8	13%	3	0%	1	-	0	-	0	-	1	0%	2	50%	1	100%	0	-	2	100%	28	24%	61	19%	61	7%	34	18%	39	10%	75	1%	26	12%		
宮城	3	67%	7	100%	7	56%	33	35%	59	36%	61	37%	34	21%	33	53%	56	13%	48	27%	43	33%	134	15%	135	19%	139	33%	102	29%	106	23%	91	43%	191	40%	232	34%	274	46%
秋田	10	0%	7	57%	3	33%	2	50%	0	-	1	100%	2	50%	0	-	5	0%	1	0%	2	50%	0	100%	6	20%	3	0%	4	33%	15	13%	1	0%	0	100%	4	25%	19	17%
山形	0	-	1	100%	0	-	1	100%	0	-	0	-	0	-	0	-	3	33%	0	-	3	33%	2	0%	0	-	8	0%	13	18%	9	40%	36	14%	73	10%	77	11%	56	24%
福島	7	71%	20	35%	29	24%	22	23%	27	56%	18	33%	24	38%	21	48%	32	51%	52	26%	32	35%	8	27%	23	27%	18	53%	38	37%	24	32%	25	34%	67	23%	100	26%	162	21%
茨城	75	33%	47	47%	48	38%	29	59%	39	44%	16	44%	10	80%	36	42%	32	44%	23	35%	14	43%	27	41%	32	31%	110	47%	233	35%	302	36%	336	32%	158	33%	163	24%	155	38%
栃木	31	39%	19	37%	14	50%	7	71%	19	32%	48	8%	49	33%	7	50%	10	27%	16	33%	18	53%	11	23%	9	38%	13	50%	41	49%	57	51%	112	31%	120	28%	150	39%	176	51%
群馬	59	54%	91	24%	71	46%	39	64%	46	49%	112	31%	67	28%	23	52%	28	54%	19	37%	73	63%	55	67%	24	58%	33	45%	65	48%	132	45%	193	39%	231	35%	295	38%	230	38%
埼玉	375	37%	350	61%	341	60%	274	63%	149	63%	166	60%	128	46%	194	44%	237	58%	335	40%	274	43%	265	34%	306	37%	505	39%	689	47%	778	43%	886	43%	1107	39%	1190	41%	1474	39%
千葉	289	53%	342	51%	270	55%	199	53%	179	52%	217	44%	190	48%	221	43%	264	59%	241	54%	262	41%	264	40%	252	45%	385	48%	566	52%	552	48%	562	45%	644	47%	853	51%	1250	52%
東京	1962	63%	1796	62%	1457	59%	1153	58%	1155	54%	1197	51%	1012	52%	1326	54%	1144	60%	1282	56%	1100	58%	1179	52%	1260	58%	2014	56%	2624	58%	2886	59%	3154	54%	3338	57%	4031	58%	4802	62%
神奈川	579	51%	632	48%	471	53%	544	54%	538	46%	432	48%	333	50%	453	47%	368	53%	435	49%	402	38%	399	40%	477	47%	771	50%	1094	54%	1122	53%	1203	48%	1285	53%	1702	52%	2394	57%
新潟	3	0%	9	33%	4	20%	3	67%	3	0%	14	7%	7	29%	2	0%	6	14%	4	33%	0	-	3	0%	4	50%	38	5%	61	11%	41	12%	24	12%	30	13%	48	17%	58	15%
富山	30	27%	35	29%	34	47%	31	18%	7	33%	1	50%	1	50%	11	30%	1	-	0	-	1	0%	1	100%	1	100%	15	13%	13	63%	8	25%	9	78%	15	47%	54	18%		
石川	94	21%	107	35%	81	29%	68	21%	43	34%	20	26%	27	35%	6	60%	3	33%	8	23%	10	50%	9	54%	10	44%	11	33%	4	80%	15	62%	18	65%	35	56%	48	28%	63	32%
福井	1	0%	3	0%	49	4%	35	0%	3	0%	0	-	0	-	0	-	5	20%	5	20%	2	0%	0	-	1	0%	14	7%	27	15%	14	0%	9	0%	10	0%	6	0%	6	0%
山梨	12	42%	24	29%	9	78%	2	67%	5	50%	1	100%	1	100%	12	42%	3	67%	3	100%	4	50%	10	30%	16	35%	52	19%	24	48%	35	44%	54	35%	54	30%	27	41%	42	36%
長野	18	80%	18	86%	56	15%	65	14%	12	60%	3	60%	4	50%	8	11%	7	13%	5	17%	7	60%	9	20%	12	25%	78	14%	138	13%	103	27%	104	22%	135	17%	114	24%	65	24%
岐阜	65	38%	33	34%	18	24%	13	67%	10	38%	22	18%	15	44%	16	38%	5	60%	10	33%	26	24%	13	43%	45	21%	70	32%	94	42%	124	44%	181	27%	211	28%	276	29%	251	37%
静岡	54	35%	34	39%	48	29%	9	36%	17	10%	15	20%	9	18%	25	19%	14	43%	10	62%	13	46%	58	17%	61	29%	115	23%	294	26%	363	29%	394	45%	237	39%	215	35%	189	27%
愛知	762	52%	484	47%	346	41%	226	40%	199	45%	204	36%	178	42%	186	35%	101	64%	132	42%	175	45%	319	43%	487	40%	774	43%	1017	46%	1169	51%	1306	50%	1382	44%	1422	41%	1446	43%
三重	63	35%	56	18%	34	18%	34	9%	56	2%	14	14%	20	25%	36	11%	10	20%	11	18%	9	67%	8	25%	24	4%	23	13%	74	15%	113	16%	130	20%	101	12%	94	18%	76	21%
滋賀	51	22%	50	12%	63	25%	25	39%	9	78%	8	63%	10	50%	17	59%	8	50%	9	56%	16	40%	12	50%	46	35%	53	17%	74	28%	53	34%	35	43%	44	34%	51	39%	110	28%
京都	149	52%	190	38%	141	35%	115	32%	73	33%	55	47%	51	28%	61	32%	48	37%	90	27%	53	47%	61	49%	98	39%	125	43%	185	36%	181	38%	155	45%	362	39%	505	45%	588	42%
大阪	1152	56%	1043	54%	760	59%	569	47%	547	54%	480	60%	415	66%	387	66%	342	62%	357	64%	466	52%	731	54%	874	51%	1385	62%	1874	59%	2423	65%	2631	59%	2394	53%	2284	46%	1919	52%
兵庫	278	36%	261	66%	164	61%	95	62%	106	63%	114	54%	87	49%	132	66%	114	75%	96	68%	100	61%	144	45%	232	54%	362	66%	668	62%	828	51%	855	56%	924	54%	882	52%	1014	49%
奈良	62	32%	109	19%	36	33%	23	35%	14	62%	7	0%	9	44%	15	40%	20	60%	15	40%	14	43%	16	40%	74	28%	99	35%	136	52%	130	47%	172	45%	162	48%	162	35%	209	45%
和歌山	17	16%	33	7%	5	43%	3	0%	5	0%	0	-	2	0%	4	0%	8	0%	5	0%	14	0%	6	20%	6	20%	29	17%	64	14%	56	14%	57	16%	60	14%	27	26%	19	35%
鳥取	0	-	1	100%	0	-	0	-	1	100%	12	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3	33%	4	75%	10	30%	1	100%	5	20%	3	67%	6	33%	1	100%	16	17%
島根	103	2%	2	0%	3	0%	0	-	0	-	0	-	3	67%	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0%	0	-	0	-	1	100%	3	50%	7	14%	13	25%	13	14%	12	27%
岡山	16	31%	10	50%	12	60%	1	0%	0	-	2	0%	2	25%	7	33%	6	20%	7	60%	24	24%	79	11%	50	33%	44	45%	91	43%	110	35%	66	52%	84	65%	193	36%	306	20%
広島	37	44%	14	71%	8	44%	3	50%	5	43%	11	22%	30	13%	83	22%	34	26%	25	21%	7	67%	5	29%	11	50%														

	12月26日～1月1日		1月2日～1月8日		1月9日～1月15日		1月16日～1月22日		1月23日～1月29日		1月30日～2月5日		2月6日～2月12日		2月13日～2月19日		2月20日～2月26日		2月27日～3月5日		3月6日～3月12日		3月13日～3月19日		3月20日～3月26日		3月27日～4月2日		4月3日～4月9日		4月10日～4月16日		4月17日～4月23日		4月24日～4月30日		5月1日～5月7日		5月8日～5月14日			
	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク	感染者数	アラインク
全国	24282	51%	36388	56%	42820	51%	39296	48%	26947	43%	17699	40%	11556	39%	9265	41%	7119	39%	7325	41%	7722	41%	8582	43%	10798	45%	15417	48%	19851	52%	25523	51%	31973	51%	34810	50%	34968	49%	45086	52%		
北海道	825	25%	774	33%	1188	32%	938	29%	799	25%	698	26%	469	25%	315	26%	306	27%	318	34%	446	22%	473	33%	420	37%	428	33%	487	38%	579	36%	826	39%	1170	38%	1602	41%	3573	63%		
青森	78	18%	62	27%	68	21%	46	17%	34	24%	36	14%	56	5%	18	6%	4	0%	4	0%	24	13%	46	2%	39	28%	129	9%	86	12%	129	9%	162	11%	141	16%	149	25%	201	34%		
岩手	36	22%	21	52%	44	16%	31	23%	10	30%	16	25%	8	13%	30	17%	4	0%	2	50%	3	67%	25	12%	18	33%	72	21%	64	18%	37	16%	37	38%	101	11%	147	16%	119	28%		
宮城	252	49%	267	61%	377	39%	327	36%	177	30%	87	30%	35	50%	49	48%	50	57%	134	53%	268	53%	498	59%	885	59%	913	50%	703	46%	504	20%	346	36%	208	46%	218	42%	230	49%		
秋田	30	17%	22	29%	24	17%	46	4%	25	11%	9	0%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	5	14%	7	33%	7	44%	32	26%	36	19%	46	16%	53	22%	103	19%	111	26%		
山形	32	13%	35	8%	15	31%	16	7%	39	21%	24	15%	12	50%	6	40%	5	33%	1	-	10	0%	41	30%	197	33%	209	31%	158	29%	154	20%	104	17%	102	10%	70	6%	98	17%		
福島	112	27%	184	32%	233	29%	175	22%	159	19%	61	26%	50	19%	49	9%	52	12%	141	7%	109	12%	98	26%	168	26%	120	38%	219	25%	153	36%	221	30%	225	26%	344	33%	436	31%		
茨城	235	30%	459	42%	670	30%	568	39%	502	31%	348	21%	281	20%	184	17%	213	11%	231	16%	209	22%	195	29%	224	23%	233	32%	231	29%	291	41%	408	45%	414	37%	316	42%	426	34%		
栃木	369	48%	720	50%	758	47%	475	41%	244	40%	123	27%	84	33%	74	31%	66	31%	67	43%	97	39%	148	39%	114	37%	187	37%	200	33%	136	46%	146	50%	178	43%	171	48%	262	40%		
群馬	242	34%	396	42%	411	39%	399	35%	230	30%	290	24%	148	36%	140	32%	106	34%	119	22%	86	35%	119	34%	130	30%	152	32%	143	34%	216	35%	213	44%	377	44%	489	39%	584	37%		
埼玉	1752	43%	2379	47%	2875	44%	2970	39%	1909	41%	1680	35%	1152	36%	984	34%	682	37%	689	41%	824	39%	810	40%	777	48%	894	49%	929	46%	1029	46%	1365	45%	1358	45%	1491	46%	1802	45%		
千葉	1170	57%	2446	79%	2723	81%	3122	71%	2283	66%	1625	56%	990	47%	913	52%	822	42%	905	42%	905	42%	709	48%	729	44%	697	45%	692	54%	636	60%	753	48%	905	55%	1000	54%	880	57%	1126	56%
東京	6129	67%	10494	68%	11195	61%	9859	58%	6622	52%	4340	50%	2988	48%	2532	51%	1875	49%	1915	49%	1915	50%	2079	48%	2312	49%	2670	54%	3086	60%	3794	61%	4881	58%	5414	57%	5365	58%	6484	60%		
神奈川	3040	59%	3887	65%	5943	59%	5391	53%	3023	48%	1941	41%	1135	41%	803	48%	752	43%	836	43%	746	46%	713	45%	678	51%	758	55%	900	52%	1176	50%	1562	52%	1561	51%	1564	54%	2151	56%		
新潟	59	18%	82	25%	127	17%	77	16%	69	23%	44	13%	50	7%	35	15%	42	11%	35	6%	69	19%	71	32%	120	20%	152	31%	165	27%	201	26%	226	26%	178	27%	195	27%	294	31%		
富山	27	59%	125	37%	96	32%	56	32%	29	37%	12	55%	7	29%	11	20%	7	33%	2	0%	2	67%	6	14%	15	21%	14	44%	75	8%	83	37%	129	22%	90	37%	69	42%	77	53%		
石川	74	40%	109	37%	95	32%	117	26%	48	54%	68	45%	117	31%	124	24%	82	31%	35	38%	3	33%	12	60%	9	38%	30	43%	84	24%	134	30%	161	30%	159	35%	256	30%	406	37%		
福井	12	17%	32	0%	49	0%	35	0%	38	0%	10	0%	9	0%	14	7%	2	33%	1	-	1	0%	4	25%	18	6%	29	3%	50	8%	56	2%	128	2%	44	5%	59	10%	44	5%		
山梨	61	38%	136	48%	118	39%	52	55%	20	30%	9	67%	17	59%	10	89%	4	25%	2	100%	7	57%	8	38%	2	100%	26	65%	35	31%	40	45%	59	40%	95	32%	73	56%	102	46%		
長野	118	25%	294	25%	376	15%	253	20%	139	14%	60	27%	17	25%	9	8%	9	17%	5	40%	31	37%	97	20%	155	22%	204	15%	262	29%	296	21%	262	21%	179	15%	177	10%	240	21%		
岐阜	415	30%	520	34%	498	30%	407	21%	300	21%	212	14%	155	14%	111	17%	59	17%	45	27%	25	30%	30	33%	70	41%	87	34%	118	35%	196	35%	235	42%	338	42%	534	40%	895	40%		
静岡	203	38%	399	39%	627	28%	426	40%	356	29%	184	26%	99	38%	154	33%	137	16%	122	25%	153	19%	91	25%	141	33%	166	39%	156	35%	186	26%	157	33%	195	32%	257	34%	549	43%		
愛知	1564	37%	1968	44%	2018	44%	1700	39%	1349	37%	729	41%	566	36%	423	38%	287	43%	323	35%	271	37%	257	39%	400	42%	566	40%	895	40%	1274	44%	1641	22%	2049	48%	2228	46%	3953	46%		
三重	99	23%	174	20%	246	16%	219	15%	210	19%	152	22%	72	21%	84	12%	55	9%	45	16%	39	33%	41	29%	51	33%	118	19%	138	27%	184	17%	293	28%	347	25%	279	17%	317	33%		
滋賀	186	25%	265	32%	234	38%	209	32%	191	28%	118	30%	78	26%	69	24%	83	19%	94	23%	97	21%	46	39%	44	34%	99	42%	114	40%	199	41%	298	39%	292	33%	321	38%	364	41%		
京都	680	39%	759	43%	918	45%	940	38%	766	36%	394	30%	190	30%	119	44%	62	31%	33	60%	94	35%	65	51%	112	44%	284	45%	475	48%	600	52%	843	44%	957	46%	925	43%	960	51%		
大阪	1866	56%	3012	57%	3729	55%	3506	55%	2662	48%	1600	46%	936	48%	720	51%	537	50%	513	56%	582	50%	811	52%	1343	59%	3184	62%	5095	65%	7067	63%	7824	64%	7776	62%	6470	60%	5725	59%		
兵庫	1147	64%	1363	57%	1759	45%	1730	41%	1239	33%	769	34%	426	34%	324	38%	185	39%	209	42%	254	43%	412	44%	551	47%	1087	55%	1733	55%	2640	50%	3344	50%	3390	48%	2865	48%	2641	47%		
奈良	225	38%	225	41%	252	47%	264	37%	185	38%	171	38%	74	42%	79	36%	27	48%	35	49%	53	38%	47	31%	97	42%	272	36%	485	55%	520	59%	663	60%	594	60%	568	59%	522	54%		
和歌山	38	21%	104	16%	103	16%	129	15%	82	22%	51	14%	42	19%	18	6%	3	33%	6	0%	5	40%	19	20%	48	18%	80	12%	179	16%	201	16%	280	24%	179	16%	165	15%	131	26%		
鳥取	35	11%	43	17%	13	31%	14	21%	9	11%	8	25%	1	0%	1	100%	2	50%	0	-	0	-	0	-	1	0%	64	9%	17	47%	38	17%	22	36%	21	33%	17	24%	35	20%		
島根	20	11%	12	45%	12	40%	9	50%	22	17%	10	18%	6	50%	1	100%	3	67%	0	-	0	-	1	0%	1	100%	2	33%	3	33%	5	67%	28	63%	23	29%	21	53%	52	25%		
岡山	173	35%	305	29%	307	25%	201	36%	112	32%	6																															

	5月15日～5月21日		5月22日～5月28日		5月29日～6月4日		6月5日～6月11日		6月12日～6月18日		6月19日～6月25日		6月26日～7月2日		7月3日～7月9日		3週間前 6/15-6/21		3週間前 6/22-6/28		前々週 6/29-7/5		直近1週間 7/6-7/12		直近1週間 7/13-7/19		人口
	感染者数	アンリンク%	感染者数	アンリンク%	感染者数	アンリンク%	感染者数	アンリンク%	感染者数	アンリンク%	感染者数	アンリンク%	感染者数	アンリンク%	感染者数	アンリンク%	感染者数	10万人対	感染者数	10万人対	感染者数	10万人対	感染者数	10万人対	感染者数	10万人対	
全国	37343	50%	28040	47%	19331	47%	14027	49%	10541	51%	10258	53%	10590	53%	12702		9962	7.90	10469	8.30	11066	8.77	14304	11.34	126167		
北海道	3974	55%	3632	38%	2083	31%	1232	32%	605	36%	299	42%	228	47%	311		486	9.26	239	4.55	224	4.27	380	7.24	5250		
青森	202	20%	187	25%	91	15%	38	18%	8	13%	13	15%	46	30%	27		5	0.40	26	2.09	42	3.37	20	1.61	1246		
岩手	135	22%	94	51%	74	35%	83	41%	61	30%	32	50%	36	44%	73		34	2.77	34	2.77	63	5.13	70	5.70	1227		
宮城	208	36%	125	65%	126	44%	63	64%	51	47%	38	60%	64	62%	109		33	1.43	45	1.95	78	3.38	141	6.11	2306		
秋田	64	9%	22	13%	5	0%	1	100%	3	33%	40	10%	93	14%	34		13	1.35	72	7.45	60	6.21	33	3.42	966		
山形	139	13%	120	21%	43	30%	21	29%	13	31%	3	-	2	14%	22		9	0.83	0	0.00	8	0.74	39	3.62	1078		
福島	246	39%	143	38%	81	38%	75	51%	56	38%	68	45%	105	46%	122		67	3.63	79	4.28	110	5.96	125	6.77	1846		
茨城	415	26%	342	33%	224	33%	163	33%	194	20%	188	41%	185	46%	172		129	4.51	215	7.52	173	6.05	194	6.78	2860		
栃木	247	53%	249	43%	172	47%	179	49%	134	55%	141	60%	179	61%	128		118	6.10	172	8.89	157	8.12	118	6.10	1934		
群馬	382	36%	297	37%	139	27%	69	21%	27	54%	21	62%	25	28%	29		22	1.13	25	1.29	24	1.24	38	1.96	1942		
埼玉	1386	48%	956	45%	814	49%	645	52%	489	50%	624	51%	701	49%	915		504	6.86	669	9.10	768	10.45	1019	13.86	7350		
千葉	906	56%	754	58%	674	59%	683	59%	734	54%	767	57%	873	57%	1067		766	12.24	797	12.73	946	15.11	1158	18.50	6259		
東京	4723	61%	4060	60%	3185	60%	2705	63%	2723	63%	3186	62%	3760	60%	4807		2743	19.70	3423	24.59	4099	29.44	5297	38.05	13921		
神奈川	1975	55%	1666	52%	1456	52%	1436	55%	1344	58%	1256	61%	1458	60%	1785		1265	13.75	1404	15.26	1491	16.21	2104	22.87	9198		
新潟	209	29%	178	24%	117	24%	64	26%	43	15%	11	46%	14	20%	55		20	0.90	14	0.63	29	1.30	65	2.92	2223		
富山	179	32%	197	21%	69	41%	42	50%	51	38%	34	33%	8	33%	15		53	5.08	20	1.92	8	0.77	14	1.34	1044		
石川	252	33%	310	17%	119	22%	59	32%	33	39%	26	50%	14	68%	67		34	2.99	15	1.32	36	3.16	80	7.03	1138		
福井	34	6%	24	8%	17	13%	10	10%	26	8%	134	6%	93	10%	36		73	9.51	121	15.76	72	9.38	62	8.07	768		
山梨	67	51%	79	37%	64	47%	220	30%	99	52%	157	22%	40	45%	40		157	19.36	88	10.85	32	3.95	46	5.67	811		
長野	264	19%	212	16%	102	23%	71	24%	34	42%	58	15%	25	6%	20		42	2.05	50	2.44	13	0.63	22	1.07	2049		
岐阜	795	36%	477	38%	408	28%	181	41%	114	38%	79	25%	33	43%	29		93	4.68	62	3.12	33	1.66	31	1.56	1987		
静岡	518	42%	480	43%	290	46%	255	40%	185	37%	192	38%	189	32%	178		178	4.88	210	5.76	155	4.25	204	5.60	3644		
愛知	3915	50%	2966	46%	1943	42%	1221	48%	684	40%	545	44%	302	54%	382		621	8.22	444	5.88	325	4.30	422	5.59	7552		
三重	295	29%	180	37%	175	31%	104	32%	63	29%	61	20%	29	31%	53		42	2.36	58	3.26	32	1.80	68	3.82	1781		
滋賀	319	41%	263	38%	260	34%	140	35%	90	45%	61	33%	28	36%	44		81	5.73	46	3.25	29	2.05	60	4.24	1414		
京都	859	47%	431	44%	321	43%	283	45%	143	46%	86	65%	110	45%	140		109	4.22	93	3.60	113	4.37	168	6.50	2583		
大阪	3689	56%	2153	55%	1340	59%	1016	58%	671	64%	727	60%	664	60%	869		651	7.39	692	7.86	754	8.56	1027	11.66	8809		
兵庫	1548	45%	961	48%	588	50%	389	52%	237	54%	137	58%	171	48%	220		205	3.75	140	2.56	179	3.27	264	4.83	5466		
奈良	387	55%	174	49%	138	43%	75	46%	76	48%	105	57%	117	49%	73		81	6.09	128	9.62	86	6.47	94	7.07	1330		
和歌山	88	25%	53	20%	38	35%	16	6%	8	33%	15	13%	19	10%	13		8	0.86	16	1.73	17	1.84	19	2.05	925		
鳥取	21	24%	17	24%	3	33%	0	-	0	-	0	-	19	14%	10		0	0.00	0	0.00	28	5.04	2	0.36	556		
島根	75	18%	40	23%	16	40%	3	50%	3	0%	0	100%	2	100%	7		1	0.15	1	0.15	1	0.15	8	1.19	674		
岡山	962	48%	502	39%	200	33%	89	42%	38	25%	13	28%	11	75%	14		29	1.53	8	0.42	8	0.42	26	1.38	1890		
広島	1495	55%	1006	40%	484	39%	235	31%	187	28%	117	27%	49	43%	51		150	5.35	79	2.82	48	1.71	54	1.93	2804		
山口	308	24%	236	23%	100	20%	77	20%	37	19%	30	21%	27	19%	19		42	3.09	22	1.62	27	1.99	15	1.10	1358		
徳島	57	16%	22	24%	5	33%	6	40%	11	11%	4	0%	2	0%	4		6	0.82	3	0.41	2	0.27	9	1.24	728		
香川	158	40%	82	34%	44	39%	35	43%	20	60%	9	50%	7	63%	14		16	1.67	10	1.05	7	0.73	19	1.99	956		
愛媛	56	23%	43	34%	25	45%	13	40%	11	31%	5	100%	3	0%	0		13	0.97	3	0.22	3	0.22	3	0.22	1339		
高知	71	42%	183	36%	155	39%	92	40%	60	33%	72	38%	64	36%	39		66	9.46	77	11.03	42	6.02	46	6.59	698		
福岡	2938	57%	1548	52%	786	47%	414	49%	249	54%	241	45%	201	52%	267		242	4.74	223	4.37	199	3.90	320	6.27	5104		
佐賀	208	32%	100	28%	46	35%	13	46%	6	40%	11	55%	10	70%	7		7	0.86	9	1.10	11	1.35	5	0.61	815		
長崎	133	43%	54	42%	86	31%	89	33%	59	31%	41	32%	66	19%	20		47	3.54	51	3.84	51	3.84	12	0.90	1327		
熊本	595	44%	349	42%	146	42%	65	41%	39	47%	40	32%	17	24%	9		36	2.06	40	2.29	15	0.86	9	0.51	1748		
大分	334	35%	207	32%	115	28%	36	19%	15	20%	16	19%	1	0%	12		18	1.59	5	0.44	3	0.26	11	0.97	1135		
宮崎	175	19%	80	24%	26	26%	10	46%	11	22%	9	42%	23	24%	8		8	0.75	13	1.21	20	1.86	10	0.93	1073		
鹿児島	264	31%	184	31%	179	26%	119	28%	76	16%	17	41%	42	40%	38		43	2.68	30	1.87	32	2.00	41	2.56	1602		
沖縄	1073	60%	1602	62%	1759	56%	1192	49%	720	44%	529	45%	435	47%	348		596	41.02	498	34.27	413	28.42	332	22.85	1453		

② (1) 入院者数、受入確保病床数に占める入院者数の割合

Table with columns for dates from 4月28日 to 7月29日 and rows for 47 prefectures and Tokyo, showing hospitalization numbers and occupancy rates.

(資料) 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査結果」を基に作成
注1: 「入院者数」は、記載日の0時時点において入院中の者及び入院確定者...
注2: 「病床数」は、ピーク時に新型コロナウイルス感染症患者が利用する病床として、各都道府県が医療機関と調整を行い、確保している病床数...
注3: 「入院者数/病床数」は、「入院者数」(注1)を「病床数」(注2)で除したものである。

	8月5日			8月12日			8月19日			8月26日			9月2日			9月9日			9月16日			9月23日			9月30日			10月7日			10月14日			10月21日			10月28日			11月4日		
	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数			
日本	5,112	27,537	19%	6,009	27,298	22%	5,973	27,345	22%	5,576	27,350	20%	4,994	27,585	18%	4,174	27,585	15%	3,754	27,577	14%	3,601	27,577	13%	3,249	27,579	12%	2,963	27,580	11%	3,040	27,580	11%	2,966	27,649	11%	3,108	27,646	11%	3,495	27,646	13%
北海道	80	1,558	5%	97	1,767	5%	95	1,767	5%	101	1,767	6%	93	1,767	5%	53	1,767	3%	40	1,767	2%	62	1,767	4%	86	1,767	5%	110	1,767	6%	121	1,767	7%	110	1,811	6%	151	1,811	8%	215	1,811	12%
青森県	2	225	1%	2	225	1%	1	225	0%	0	225	0%	2	225	1%	2	225	1%	2	225	1%	0	225	0%	1	225	0%	1	225	0%	2	225	1%	46	225	20%	56	225	25%	55	225	24%
岩手県	3	382	1%	6	350	2%	5	350	1%	6	350	2%	12	350	3%	5	350	1%	1	350	0%	0	350	0%	0	350	0%	1	350	0%	2	350	1%	3	350	1%	4	350	1%	4	350	1%
宮城県	20	450	4%	14	450	3%	7	450	2%	3	450	1%	9	450	2%	34	450	8%	63	450	14%	45	450	10%	25	450	6%	34	450	8%	34	450	8%	31	450	7%	98	450	22%	52	450	12%
秋田県	2	235	1%	15	235	6%	12	235	5%	5	235	2%	4	235	2%	2	235	1%	0	235	0%	0	235	0%	0	235	0%	1	235	0%	2	235	1%	1	235	0%	2	235	1%	4	235	2%
山形県	1	215	0%	1	215	0%	0	215	0%	1	215	0%	2	215	1%	2	215	1%	2	215	1%	2	215	1%	2	215	1%	2	215	1%	3	215	1%	1	215	0%	5	215	2%	4	215	2%
福島県	4	350	1%	11	350	3%	19	350	5%	36	350	10%	58	350	17%	50	350	14%	45	350	13%	38	350	11%	38	350	11%	49	350	14%	68	350	19%	77	350	22%	41	350	12%	28	350	8%
茨城県	50	500	10%	59	500	12%	54	500	11%	36	500	7%	38	500	8%	36	500	7%	32	500	6%	22	500	4%	26	500	5%	40	500	8%	31	500	6%	18	500	4%	9	500	2%	22	500	4%
栃木県	74	311	24%	57	311	18%	44	311	14%	31	311	10%	21	311	7%	21	311	7%	63	311	20%	92	311	30%	51	313	16%	25	313	8%	22	313	7%	29	313	9%	28	313	9%	26	313	8%
群馬県	33	330	10%	53	330	16%	104	330	32%	93	330	28%	70	330	21%	71	330	22%	93	330	28%	127	330	38%	45	330	14%	36	330	11%	34	330	10%	36	330	11%	46	330	14%	31	330	9%
埼玉県	298	1,400	21%	357	1,400	26%	323	1,400	23%	340	1,400	24%	303	1,400	22%	234	1,400	17%	212	1,400	15%	211	1,400	15%	154	1,400	11%	191	1,400	14%	202	1,400	14%	240	1,400	17%	231	1,400	17%	268	1,400	19%
千葉県	292	1,200	24%	325	1,200	27%	281	1,200	23%	256	1,200	21%	242	1,200	20%	190	1,200	16%	198	1,200	17%	195	1,200	16%	168	1,200	14%	178	1,200	15%	178	1,200	15%	183	1,200	15%	193	1,200	16%	169	1,200	14%
東京都	1,416	4,000	35%	1,725	4,000	43%	1,665	4,000	42%	1,588	4,000	40%	1,418	4,000	35%	1,255	4,000	31%	1,234	4,000	31%	1,250	4,000	31%	1,182	4,000	30%	996	4,000	25%	1,146	4,000	29%	1,008	4,000	25%	960	4,000	24%	1,042	4,000	26%
神奈川県	184	2,200	8%	225	1,939	12%	300	1,939	15%	269	1,939	14%	265	1,939	14%	269	1,939	14%	286	1,939	15%	275	1,939	14%	289	1,939	15%	281	1,939	14%	257	1,939	13%	267	1,939	14%	261	1,939	13%	245	1,939	13%
新潟県	20	456	4%	12	456	3%	11	456	2%	11	456	2%	8	456	2%	7	456	2%	7	456	2%	20	456	4%	9	456	2%	2	456	0%	6	456	1%	1	456	0%	3	456	1%	4	456	1%
富山県	20	500	4%	41	500	8%	48	500	10%	43	500	9%	50	500	10%	22	500	4%	12	500	2%	5	500	1%	9	500	2%	9	500	2%	2	500	0%	0	500	0%	0	500	0%	0	500	0%
石川県	16	258	6%	70	254	28%	125	254	49%	138	254	54%	131	254	52%	101	254	40%	65	254	26%	68	254	27%	40	254	16%	26	254	10%	20	254	8%	22	254	9%	9	254	4%	18	254	7%
福井県	19	350	5%	18	190	9%	6	190	3%	18	190	9%	65	190	34%	53	190	28%	24	190	13%	9	190	5%	2	190	1%	2	190	1%	4	190	2%	8	215	4%	2	215	1%	1	215	0%
山梨県	18	250	7%	27	250	11%	23	250	9%	35	250	14%	15	250	6%	10	250	4%	9	250	4%	4	250	2%	6	250	2%	7	250	3%	4	250	2%	1	250	0%	8	250	3%	14	250	6%
長野県	35	350	10%	39	350	11%	29	350	8%	48	350	14%	86	350	25%	40	350	11%	18	350	5%	10	350	3%	5	350	1%	11	350	3%	5	350	1%	8	350	2%	8	350	2%	16	350	5%
岐阜県	146	625	23%	134	625	21%	65	625	10%	45	625	7%	27	625	4%	18	625	3%	37	625	6%	19	625	3%	31	625	5%	17	625	3%	11	625	2%	17	625	3%	28	625	4%	42	625	7%
静岡県	91	400	23%	68	450	15%	51	450	11%	37	450	8%	34	450	8%	27	450	6%	16	450	4%	9	450	2%	8	450	2%	17	450	4%	5	450	1%	9	450	2%	23	450	5%	34	450	8%
愛知県	258	839	31%	318	839	38%	352	839	42%	369	839	44%	289	839	34%	219	839	26%	172	839	21%	174	839	21%	152	839	18%	108	839	13%	87	839	10%	82	839	10%	98	839	12%	148	839	18%
三重県	69	358	19%	125	358	35%	82	358	23%	76	363	21%	46	363	13%	84	363	23%	78	363	21%	79	363	22%	83	363	23%	53	363	15%	23	363	6%	16	363	4%	10	349	3%	20	349	6%
滋賀県	72	450	16%	116	450	26%	90	450	20%	89	450	20%	81	450	18%	47	450	10%	34	450	8%	20	450	4%	28	450	6%	16	450	4%	16	450	4%	14	450	3%	21	450	5%	22	450	5%
京都府	112	495	23%	100	515	19%	108	515	21%	110	515	21%	78	750	10%	81	750	11%	54	750	7%	72	750	10%	40	750	5%	49	750	7%	75	750	10%	61	750	8%	48	750	6%	60	750	8%
大阪府	372	1,615	23%	473	1,615	29%	561	1,615	35%	483	1,615	30%	488	1,615	30%	443	1,615	27%	375	1,615	23%	350	1,615	22%	301	1,615	19%	223	1,615	14%	193	1,615	12%	171	1,615	11%	253	1,615	16%	348	1,615	22%
兵庫県	239	652	37%	226	650	35%	224	650	34%	189	650	29%	125	650	19%	99	650	15%	113	650	17%	89	650	14%	89	650	14%	96	650	15%	106	650	16%	104	650	16%	115	650	18%	149	650	23%
奈良県	69	500	14%	76	500	15%	87	500	17%	86	500	17%	38	500	8%	34	500	7%	19	500	4%	18	500	4%	14	500	3%	17	500	3%	27	500	5%	21	500	4%	17	500	3%	49	500	10%
和歌山県	45	400	11%	18	400	5%	33	400	8%	31	400	8%	7	400	2%	3	400	1%	5	400	1%	4	400	1%	6	400	2%	4	400	1%	10	400	3%	12	400	3%	12	400	3%	6	400	2%
鳥取県	14	322	4%	15	300	5%	10	300	3%	3	300	1%	0	300	0%	0	300	0%	12	300	4%	13	300	4%	5	300	2%	4	300	1%	1	300	0%	0	300	0%	3	300	1%	2	300	1%
島根県	1	253	0%	42	253	17%	25	253	10%	5	253	2%	2	253	1%	0	253	0%	0	253	0%	0	253	0%	3	253	1%	0	253	0%	0	253	0%	0	253	0%	1	253	0%	0	253	0%
岡山県	32	250	13%	20	250	8%	16	250	6%	11	250	4%	4	250	2%	1	250	0%	1	250	0%	1	250	0%	8	250	3%	7	250	3%	10	250	4%	16	250	6%	44	250	18%	87	250	35%
広島県	117	553	21%	82	500	16%	31	500	6%	22	500	4%	12	500	2%	12	500	2%	11	500	2%	15	500	3%	92	500	18%	70	500	14%	43	500	9%	30	500	6%	12	500	2%	12		

	11月11日			11月18日			11月25日			12月2日			12月9日			12月16日			12月23日			12月30日			1月6日			1月13日			1月20日			1月27日			2月3日			2月10日				
	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数	入院者数	病床数	入院者数/病床数					
日本	4,484	27,646	16%	5,951	28,070	21%	7,826	28,093	28%	8,488	28,188	30%	9,222	28,226	33%	10,047	28,134	36%	10,470	28,272	37%	11,585	28,271	41%	13,093	28,396	46%	14,825	28,415	52%	14,724	28,469	52%	14,417	28,542	51%	13,489	29,612	46%	11,325	29,802			
北海道	434	1,811	24%	693	1,811	38%	845	1,811	47%	935	1,811	52%	998	1,811	55%	992	1,811	55%	926	1,811	51%	817	1,811	45%	835	1,811	46%	725	1,811	40%	708	1,811	39%	704	1,811	39%	641	1,827	35%	475	1,827			
青森県	50	225	22%	29	225	13%	14	225	6%	22	225	10%	32	225	14%	35	225	16%	18	225	8%	34	225	15%	39	225	17%	35	225	16%	41	225	18%	33	225	15%	38	225	17%	30	225			
岩手県	7	350	2%	35	374	9%	79	374	21%	71	374	19%	53	374	14%	87	374	23%	85	374	23%	56	374	15%	48	374	13%	65	374	17%	66	374	18%	28	385	7%	21	385	5%	19	385			
宮城県	65	450	14%	68	450	15%	68	450	15%	47	450	10%	63	450	14%	88	450	20%	100	450	22%	91	450	20%	82	450	18%	105	450	23%	129	450	29%	134	450	30%	74	450	16%	60	450			
秋田県	6	235	3%	7	235	3%	4	235	2%	4	235	2%	1	235	0%	3	235	1%	4	235	2%	18	235	8%	17	235	7%	18	235	8%	32	235	14%	42	235	18%	41	235	17%	34	235			
山形県	10	215	5%	13	216	6%	17	216	8%	31	216	14%	56	216	26%	94	216	44%	81	216	38%	78	216	36%	55	216	25%	59	216	27%	38	216	18%	38	216	18%	55	216	25%	39	216			
福島県	34	350	10%	45	469	10%	52	469	11%	48	475	10%	63	475	13%	125	469	27%	163	469	35%	156	469	33%	220	469	47%	269	469	57%	280	469	60%	213	469	45%	186	469	40%	130	469			
茨城県	30	500	6%	71	546	13%	121	546	22%	165	550	30%	180	550	33%	150	550	27%	118	550	21%	119	545	22%	162	545	30%	230	500	46%	279	500	56%	261	600	44%	260	600	43%	218	600			
栃木県	22	313	7%	35	313	11%	88	313	28%	123	313	39%	144	313	46%	123	313	39%	139	313	44%	158	317	50%	155	317	49%	201	317	63%	207	337	61%	186	337	55%	150	377	40%	128	377			
群馬県	23	330	7%	29	330	9%	79	330	24%	144	335	43%	165	335	49%	167	335	50%	207	335	62%	185	335	55%	180	335	54%	211	335	63%	219	335	65%	181	335	54%	197	341	58%	157	341			
埼玉県	347	1,400	25%	458	1,400	33%	541	1,400	39%	590	1,400	42%	657	1,400	47%	639	1,400	46%	659	1,400	47%	782	1,400	56%	826	1,400	59%	917	1,400	66%	886	1,400	63%	867	1,400	62%	970	1,400	69%	909	1,400			
千葉県	188	1,200	16%	254	1,200	21%	343	1,200	29%	336	1,200	28%	332	1,200	28%	324	1,200	27%	384	1,200	32%	485	1,200	40%	531	1,200	44%	613	1,200	51%	661	1,200	55%	713	1,200	59%	728	1,200	61%	815	1,200			
東京都	1,070	4,000	27%	1,312	4,000	33%	1,611	4,000	40%	1,698	4,000	42%	1,851	4,000	46%	1,987	4,000	50%	2,148	4,000	54%	2,457	4,000	61%	3,134	4,000	78%	3,345	4,000	84%	2,957	4,000	74%	2,933	4,000	73%	2,924	4,900	60%	2,595	4,900			
神奈川県	329	1,939	17%	410	1,939	21%	434	1,939	22%	452	1,939	23%	436	1,939	22%	453	1,939	23%	537	1,939	28%	550	1,939	28%	673	1,939	35%	829	1,939	43%	938	1,939	48%	928	1,555	60%	879	1,555	57%	682	1,555			
新潟県	18	456	4%	69	456	15%	94	456	21%	83	456	18%	71	456	16%	65	456	14%	57	456	13%	75	456	16%	71	456	16%	115	456	25%	104	456	23%	96	456	21%	83	456	18%	68	456			
富山県	2	500	0%	5	500	1%	16	500	3%	17	500	3%	6	500	1%	15	500	3%	28	500	6%	29	500	6%	55	500	11%	68	500	14%	75	500	15%	52	500	10%	36	500	7%	17	500			
石川県	16	254	6%	6	258	2%	7	258	3%	22	258	9%	30	258	12%	53	258	21%	82	258	32%	101	258	39%	128	258	50%	128	258	50%	140	258	54%	95	258	37%	67	258	26%	97	258			
福井県	10	215	5%	19	215	9%	30	215	14%	22	215	10%	17	215	8%	16	215	7%	12	215	6%	17	215	8%	18	215	8%	39	255	15%	71	255	28%	77	255	30%	64	255	25%	42	255			
山梨県	31	250	12%	52	285	18%	53	285	19%	49	285	17%	77	285	27%	40	285	14%	41	285	14%	56	285	20%	81	285	28%	141	285	49%	91	285	32%	58	285	20%	21	285	7%	19	285			
長野県	48	350	14%	71	350	20%	104	350	30%	99	350	28%	118	350	34%	161	350	46%	132	350	38%	91	350	26%	137	350	39%	223	350	64%	235	350	67%	146	350	42%	99	434	23%	61	434			
岐阜県	88	625	14%	103	625	16%	134	625	21%	200	625	32%	247	625	40%	287	625	46%	268	625	43%	305	625	49%	325	625	52%	373	625	60%	404	625	65%	364	675	54%	301	694	43%	248	694			
静岡県	78	450	17%	84	450	19%	160	450	36%	195	472	41%	164	472	35%	176	450	39%	177	450	39%	180	450	40%	155	450	34%	177	470	38%	173	467	37%	171	467	37%	149	453	33%	97	466			
愛知県	200	839	24%	286	860	33%	372	860	43%	382	897	43%	423	934	45%	513	934	55%	518	934	55%	593	934	63%	649	1,102	59%	702	1,102	64%	697	1,102	63%	718	1,102	65%	699	1,102	63%	537	1,215			
三重県	41	349	12%	41	349	12%	128	349	37%	175	349	50%	167	349	48%	180	349	52%	126	349	36%	145	349	42%	171	357	48%	214	357	60%	183	357	51%	250	357	70%	220	373	59%	200	373			
滋賀県	45	450	10%	48	450	11%	75	450	17%	61	450	14%	50	450	11%	54	280	19%	60	280	21%	144	280	51%	192	280	69%	205	280	73%	167	347	48%	179	349	51%	145	349	42%	121	349			
京都府	78	750	10%	106	750	14%	121	750	16%	131	750	17%	143	750	19%	170	750	23%	236	750	31%	265	750	35%	249	750	33%	280	750	37%	278	720	39%	273	720	38%	240	416	58%	173	416			
大阪府	429	1,615	27%	571	1,615	35%	767	1,615	47%	799	1,615	49%	796	1,615	49%	975	1,615	60%	1,031	1,615	64%	1,040	1,615	64%	1,040	1,615	64%	1,149	1,615	71%	1,198	1,615	74%	1,211	1,776	68%	1,172	1,926	61%	997	1,948			
兵庫県	226	650	35%	297	671	44%	458	671	68%	436	671	65%	462	671	69%	477	750	64%	468	756	62%	509	756	67%	530	756	70%	586	756	78%	598	756	79%	586	756	78%	539	839	64%	465	839			
奈良県	96	500	19%	133	500	27%	161	500	32%	160	500	32%	187	500	37%	161	500	32%	212	500	42%	248	500	50%	234	500	47%	205	500	41%	235	500	47%	209	500	42%	174	500	35%	132	500			
和歌山県	21	400	5%	52	400	13%	84	400	21%	84	400	21%	71	400	18%	67	400	17%	34	400	9%	27	400	7%	98	400	25%	133	400	33%	144	400	36%	136	400	34%	100	400	25%	61	400			
鳥取県	11	300	4%	11	313	4%	5	313	2%	6	313	2%	8	313	3%	9	313	3%	9	313	3%	43	313	14%	73	313	23%	57	313	18%	46	313	15%	36	313	12%	21	313	7%	18	313			
島根県	0	253	0%	1	253	0%	3	253	1%	6	253	2%	11	253	4%	16	253	6%	22	253	9%	32	253	13%	22	253	9%	21	253	8%	16	25												

	2月17日			2月24日			3月3日			3月10日			3月17日			3月24日			3月31日			4月7日			4月14日			4月21日			4月28日			5月5日			5月12日					
	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数
日本	38%	9,575	29,983	32%	8,032	30,194	27%	6,683	30,255	22%	5,947	30,457	20%	5,895	31,028	19%	6,275	31,627	20%	7,196	31,638	23%	8,602	31,629	27%	9,423	31,643	30%	11,279	31,992	35%	13,089	32,693	40%	14,927	33,273	45%	16,620	33,747	49%		
北海道	26%	401	1,827	22%	384	1,827	21%	299	1,863	16%	343	1,863	18%	331	1,863	18%	342	1,863	18%	436	1,863	23%	431	1,826	24%	478	1,826	26%	569	1,826	31%	624	1,826	34%	715	1,809	40%	894	1,809	49%		
青森県	13%	54	225	24%	39	225	17%	26	225	12%	19	225	8%	31	225	14%	28	225	12%	37	225	16%	31	225	14%	46	225	20%	55	225	24%	73	225	32%	76	225	34%	81	225	36%		
岩手県	5%	26	385	7%	13	385	3%	2	385	1%	1	385	0%	16	385	4%	25	385	6%	22	385	6%	84	385	22%	52	385	14%	36	393	9%	96	393	24%	129	393	33%	155	393	39%		
宮城県	13%	46	450	10%	36	450	8%	29	450	6%	40	450	9%	60	450	13%	117	450	26%	161	450	36%	197	450	44%	209	450	46%	186	450	41%	143	450	32%	124	450	28%	116	450	26%		
秋田県	14%	17	235	7%	6	235	3%	1	235	0%	1	235	0%	1	235	0%	6	235	3%	6	235	3%	18	235	8%	20	235	9%	31	235	13%	24	235	10%	38	235	16%	52	235	22%		
山形県	18%	19	216	9%	12	216	6%	13	216	6%	8	216	4%	22	216	10%	71	222	32%	94	222	42%	86	222	39%	83	222	37%	83	222	37%	88	222	40%	97	222	44%	85	222	38%		
福島県	28%	106	469	23%	86	469	18%	149	469	32%	225	469	48%	237	469	51%	248	469	53%	221	469	47%	262	469	56%	194	469	41%	212	469	45%	223	469	48%	268	469	57%	362	469	77%		
茨城県	36%	175	619	28%	163	619	26%	149	619	24%	144	619	23%	135	619	22%	106	619	17%	105	619	17%	126	619	20%	129	619	21%	143	619	23%	187	619	30%	199	600	33%	220	600	37%		
栃木県	34%	96	377	25%	83	377	22%	59	377	16%	48	409	12%	56	409	14%	67	409	16%	88	409	22%	107	409	26%	97	409	24%	110	409	27%	92	409	22%	139	409	34%	140	409	34%		
群馬県	46%	107	361	30%	95	371	26%	94	379	25%	77	400	19%	71	400	18%	82	400	21%	81	400	20%	94	422	22%	80	422	19%	122	422	29%	128	422	30%	188	422	45%	270	432	63%		
埼玉県	65%	900	1,400	64%	741	1,466	51%	616	1,469	42%	604	1,469	41%	564	1,487	38%	548	1,515	36%	478	1,512	32%	517	1,504	34%	476	1,511	32%	485	1,493	32%	582	1,511	39%	683	1,543	44%	765	1,563	49%		
千葉県	68%	748	1,200	62%	646	1,293	50%	643	1,264	51%	554	1,271	44%	495	1,361	36%	455	1,361	33%	445	1,361	33%	379	1,361	28%	331	1,361	24%	335	1,361	25%	352	1,361	26%	408	1,361	30%	440	1,361	32%		
東京都	53%	2,244	5,000	45%	1,894	5,000	38%	1,566	5,000	31%	1,353	5,048	27%	1,286	5,474	23%	1,404	6,044	23%	1,491	6,044	25%	1,528	6,044	25%	1,450	6,044	24%	1,643	6,044	27%	1,979	6,044	33%	2,203	6,044	36%	2,444	6,044	40%		
神奈川県	44%	594	1,555	38%	493	1,555	32%	447	1,555	29%	412	1,555	26%	376	1,555	24%	323	1,555	21%	283	1,555	18%	290	1,555	19%	339	1,555	22%	371	1,790	21%	431	1,790	24%	504	1,790	28%	533	1,790	30%		
新潟県	15%	70	456	15%	70	555	13%	56	555	10%	53	555	10%	82	555	15%	99	555	18%	118	555	21%	161	555	29%	189	555	34%	156	555	28%	165	555	30%	215	555	39%	193	555	35%		
富山県	3%	22	500	4%	20	500	4%	8	500	2%	9	500	2%	7	500	1%	12	500	2%	19	500	4%	43	500	9%	57	500	11%	73	500	15%	77	500	15%	81	500	16%	82	500	16%		
石川県	38%	116	258	45%	112	258	43%	72	258	28%	33	258	13%	14	258	5%	17	258	7%	21	258	8%	87	258	34%	118	258	46%	191	258	74%	224	355	63%	296	368	80%	306	373	82%		
福井県	16%	19	255	7%	14	255	5%	4	255	2%	3	255	1%	3	255	1%	7	255	3%	32	255	13%	68	255	27%	72	255	28%	111	255	44%	157	255	62%	103	255	40%	85	255	33%		
山梨県	7%	16	285	6%	13	285	5%	5	285	2%	1	285	0%	7	285	2%	1	285	0%	10	285	4%	21	285	7%	31	285	11%	44	285	15%	60	285	21%	79	285	28%	80	285	28%		
長野県	14%	31	434	7%	14	434	3%	10	434	2%	17	434	4%	24	434	6%	63	434	15%	92	434	21%	140	434	32%	178	434	41%	208	434	48%	217	434	50%	192	434	44%	174	434	40%		
岐阜県	36%	207	694	30%	156	694	22%	136	694	20%	97	694	14%	61	694	9%	67	694	10%	120	694	17%	122	694	18%	108	694	16%	185	694	27%	231	739	31%	335	739	45%	435	739	59%		
静岡県	21%	73	466	16%	101	467	22%	80	480	17%	70	480	15%	110	480	23%	63	480	13%	53	480	11%	66	480	14%	78	487	16%	84	493	17%	90	511	18%	98	525	19%	143	537	27%		
愛知県	44%	461	1,215	38%	364	1,215	30%	323	1,215	27%	260	1,215	21%	219	1,215	18%	185	1,215	15%	189	1,215	16%	259	1,215	21%	304	1,215	25%	389	1,215	32%	469	1,215	39%	674	1,215	55%	794	1,215	65%		
三重県	54%	131	373	35%	140	384	36%	124	392	32%	83	392	21%	81	392	21%	70	392	18%	104	392	27%	146	392	37%	163	392	42%	205	392	52%	208	392	53%	242	392	62%	205	437	47%		
滋賀県	35%	102	351	29%	104	351	30%	94	351	27%	107	351	30%	83	351	24%	67	351	19%	53	351	15%	108	351	31%	130	351	37%	184	351	52%	230	351	66%	216	359	60%	255	370	69%		
京都府	42%	125	416	30%	124	416	30%	70	416	17%	42	416	10%	46	453	10%	56	453	12%	101	453	22%	157	453	35%	208	453	46%	252	466	54%	279	469	59%	317	469	68%	313	469	67%		
大阪府	51%	809	1,949	42%	685	1,975	35%	541	1,980	27%	448	2,021	22%	496	2,021	25%	583	2,021	29%	772	2,021	38%	1,013	2,021	50%	1,338	2,021	66%	1,664	2,022	82%	1,860	2,297	81%	2,051	2,466	83%	2,144	2,599	82%		
兵庫県	55%	372	839	44%	321	839	38%	240	839	29%	201	839	24%	295	839	35%	391	839	47%	504	839	60%	608	839	72%	620	839	74%	693	839	83%	732	935	78%	736	1,200	61%	765	1,200	64%		
奈良県	26%	104	500	21%	89	372	24%	40	372	11%	38	372	10%	50	372	13%	71	372	19%	156	372	42%	233	376	62%	257	376	68%	275	384	72%	288	389	74%	283	395	72%	290	401	72%		
和歌山県	15%	50	400	13%	17	400	4%	10	400	3%	7	400	2%	17	400	4%	43	400	11%	91	400	23%	158	400	40%	257	400	64%	343	400	86%	315	400	79%	273	400	68%	190	470	40%		
鳥取県	6%	3	313	1%	2	313	1%	3	313	1%	1	313	0%	1	313	0%	0	313	0%	30	313	10%	54	313	17%	73	313	23%	75	313	24%	48	313	15%	32	313	10%	39	313	12%		
島根県	6%	6	253	2%	6	253	2%	4	253	2%	1	253	0%	1	253	0%	0	253	0%	3	253	1%	4	253	2%	7	253	3%	9	253	4%	41	253	16%	36	253	14%	35	253	14%		
岡山県	16%	63	401	16%	43	406	11%	42	406	10%	63	406	16%	54	406	13%	41	406	10%	47	412	11%	80	412	19%	91	412	22%	165	412	40%	221	412	54%	289	412	70%	309	412	75%		
広島県	23%	69	500	14%	40	500	8%	24	500	5%	31	500	6%	32	500	6%	31	500	6%	36	500	7%	45	500	9%	47	500	9%	76	500	15%	112	500	22%	187	500	37%	286	500	57%		
山口県	21%	86	475	18%	62	475	13%	45	475	9%	28	475	6%	19	475	4%	15	475	3%	22	475	5%	33	480	7%	41	480	9%	110	480	23%	198	520	38%	200	520	38%	272	520	52%		
徳島県	15%	47	200	24%	34	200	17%	23	200	12%	20	200	10%	15	200	8%	23	200	12%	67	200	34%	93	200	47%	132	200	66%	171	235	73%	161	256	63%	154	256	60%	139	2			

	5月19日			5月26日			6月2日			6月9日			6月16日			6月23日			6月30日			7月7日		
	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	入院者数	病床数	入院者数 /病床数	確保病床に入院 している者	病床数	入院者数 /病床数	確保病床に入院 している者	病床数	入院者数 /病床数	確保病床に入院 している者	病床数	入院者数 /病床数	確保病床に入院 している者	病床数	入院者数 /病床数	確保病床に入院 している者	病床数	入院者数 /病床数	確保病床に入院 している者	病床数	入院者数 /病床数
日本	17,372	34,322	51%	16,581	34,856	48%	14,280	35,393	40%	11,753	35,580	33%	9,092	35,700	25%	7,277	35,840	20%	6,378	35,850	18%	5,868	35,853	16%
北海道	919	1,809	51%	1,028	1,809	57%	1,059	1,981	53%	1,028	1,981	52%	903	2,088	43%	747	2,088	36%	484	2,088	23%	333	2,088	16%
青森県	83	225	37%	80	225	36%	84	227	37%	75	261	29%	46	261	18%	20	261	8%	12	261	5%	22	261	8%
岩手県	125	393	32%	110	393	28%	76	350	22%	59	350	17%	61	350	17%	43	350	12%	33	350	9%	66	350	19%
宮城県	115	450	26%	105	450	23%	76	350	22%	63	358	18%	50	361	14%	37	361	10%	27	361	7%	33	361	9%
秋田県	75	235	32%	78	235	33%	32	230	14%	18	230	8%	13	230	6%	9	230	4%	18	230	8%	24	230	10%
山形県	81	237	34%	95	237	40%	81	237	34%	54	237	23%	42	237	18%	23	237	10%	12	237	5%	14	237	6%
福島県	345	469	74%	254	496	51%	176	513	34%	125	496	25%	91	496	18%	95	496	19%	103	496	21%	142	496	29%
茨城県	220	600	37%	207	600	35%	177	600	30%	137	600	23%	118	600	20%	93	600	16%	108	600	18%	105	600	18%
栃木県	157	409	38%	160	409	39%	157	448	35%	136	448	30%	123	448	27%	103	448	23%	118	448	26%	101	448	23%
群馬県	274	432	63%	234	432	54%	187	459	41%	126	459	27%	76	459	17%	50	459	11%	36	459	8%	25	459	5%
埼玉県	758	1,597	47%	693	1,607	43%	587	1,644	36%	493	1,646	30%	393	1,647	24%	307	1,661	18%	293	1,666	18%	338	1,666	20%
千葉県	449	1,361	33%	416	1,361	31%	340	1,361	25%	345	1,266	27%	327	1,273	26%	320	1,277	25%	359	1,277	28%	368	1,275	29%
東京都	2,421	6,044	40%	2,241	6,044	37%	1,899	6,044	31%	1,592	6,044	26%	1,312	6,044	22%	1,263	6,044	21%	1,514	6,044	25%	1,671	6,044	28%
神奈川県	577	1,790	32%	599	1,790	33%	565	1,790	32%	542	1,790	30%	497	1,790	28%	455	1,790	25%	420	1,790	23%	416	1,790	23%
新潟県	230	555	41%	207	555	37%	165	555	30%	119	555	21%	93	555	17%	51	555	9%	37	555	7%	35	555	6%
富山県	106	500	21%	128	500	26%	128	500	26%	80	500	16%	45	500	9%	56	500	11%	34	500	7%	19	500	4%
石川県	278	373	75%	216	373	58%	197	435	45%	125	435	29%	68	435	16%	53	435	12%	25	435	6%	40	270	15%
福井県	56	255	22%	48	255	19%	29	255	11%	21	304	7%	23	304	8%	92	304	30%	148	304	49%	110	304	36%
山梨県	88	285	31%	70	285	25%	71	305	23%	86	305	28%	104	305	34%	83	305	27%	69	305	23%	37	305	12%
長野県	191	434	44%	233	434	54%	143	490	29%	108	490	22%	73	490	15%	47	490	10%	44	490	9%	27	490	6%
岐阜県	529	739	72%	524	781	67%	418	783	53%	377	783	48%	213	783	27%	150	783	19%	95	783	12%	50	783	6%
静岡県	186	540	34%	177	544	33%	170	582	29%	135	589	23%	121	589	21%	93	606	15%	85	606	14%	94	606	16%
愛知県	949	1,515	63%	1,043	1,515	69%	946	1,515	62%	853	1,515	56%	689	1,515	45%	505	1,515	33%	317	1,515	21%	222	1,515	15%
三重県	191	437	44%	151	437	35%	136	433	31%	124	435	29%	82	435	19%	51	435	12%	65	435	15%	50	436	11%
滋賀県	265	370	72%	249	370	67%	260	374	70%	237	374	63%	158	374	42%	126	374	34%	69	374	18%	37	374	10%
京都府	307	469	65%	274	469	58%	211	498	42%	192	498	39%	165	498	33%	102	498	20%	69	498	14%	49	498	10%
大阪府	1,985	2,657	75%	1,776	2,670	67%	1,410	2,680	53%	1,067	2,692	40%	808	2,698	30%	597	2,710	22%	450	2,710	17%	437	2,847	15%
兵庫県	800	1,200	67%	723	1,200	60%	597	1,151	52%	452	1,151	39%	302	1,151	26%	200	1,151	17%	136	1,151	12%	148	1,151	13%
奈良県	295	406	73%	238	430	55%	162	443	37%	119	443	27%	94	445	21%	80	448	18%	111	448	25%	82	448	18%
和歌山県	156	470	33%	133	470	28%	68	470	14%	32	470	7%	19	470	4%	11	470	2%	19	470	4%	15	470	3%
鳥取県	47	313	15%	40	313	13%	29	323	9%	11	323	3%	4	323	1%	2	328	1%	5	328	2%	27	328	8%
島根県	78	253	31%	96	253	38%	63	324	19%	27	324	8%	12	324	4%	4	324	1%	3	324	1%	2	324	1%
岡山県	348	412	84%	314	482	65%	254	492	52%	166	492	34%	102	492	21%	54	492	11%	24	492	5%	13	492	3%
広島県	361	500	72%	465	709	66%	479	704	68%	320	705	45%	213	706	30%	166	710	23%	99	710	14%	60	726	8%
山口県	388	520	75%	375	520	72%	276	527	52%	170	527	32%	133	527	25%	77	527	15%	50	527	9%	43	527	8%
徳島県	119	246	48%	72	234	31%	37	234	16%	19	234	8%	20	234	9%	12	234	5%	5	234	2%	4	234	2%
香川県	135	215	63%	114	215	53%	77	230	33%	53	230	23%	40	230	17%	27	230	12%	16	230	7%	10	230	4%
愛媛県	58	270	21%	46	270	17%	33	218	15%	26	218	12%	10	218	5%	12	218	6%	6	218	3%	4	218	2%
高知県	44	200	22%	86	200	43%	109	226	48%	88	226	39%	63	226	28%	57	232	25%	56	232	24%	46	232	20%
福岡県	918	1,206	76%	948	1,298	73%	905	1,346	67%	753	1,368	55%	437	1,375	32%	274	1,403	20%	187	1,403	13%	137	1,413	10%
佐賀県	172	356	48%	136	356	38%	98	365	27%	49	365	13%	18	365	5%	8	367	2%	13	367	4%	15	367	4%
長崎県	256	424	60%	154	424	36%	79	351	23%	78	421	19%	55	421	13%	39	421	9%	33	421	8%	25	421	6%
熊本県	282	505	56%	314	505	62%	280	598	47%	181	598	30%	91	598	15%	64	598	11%	49	605	8%	21	605	3%
大分県	212	432	49%	207	438	47%	149	438	34%	99	438	23%	59	438	13%	41	438	9%	25	438	6%	13	438	3%
宮崎県	83	281	30%	79	281	28%	50	285	18%	28	285	10%	15	285	5%	12	301	4%	11	301	4%	8	307	3%
鹿児島県	216	378	57%	204	397	51%	147	419	35%	142	419	34%	102	421	24%	55	421	13%	42	421	10%	33	421	8%
沖縄県	444	555	80%	441	585	75%	608	610	100%	623	702	89%	609	686	89%	511	715	71%	444	713	62%	297	713	42%

	6月9日			6月16日			6月23日			6月30日			7月7日		
	確保病床に入院している重症者数	病床数	重症者数/病床数	確保病床に入院している重症者数	病床数	重症者数/病床数	確保病床に入院している重症者数	病床数	重症者数/病床数	確保病床に入院している重症者数	病床数	重症者数/病床数	確保病床に入院している重症者数	病床数	重症者数/病床数
日本	1,359	4,856	28%	1,131	4,905	23%	942	4,921	19%	858	4,916	17%	856	4,976	17%
北海道	39	145	27%	32	151	21%	24	151	16%	30	151	20%	18	151	12%
青森県	4	31	13%	1	31	3%	0	31	0%	0	31	0%	0	31	0%
岩手県	0	45	0%	1	45	2%	2	45	4%	2	45	4%	1	45	2%
宮城県	8	45	18%	7	45	16%	4	45	9%	3	45	7%	2	45	4%
秋田県	1	22	5%	1	22	5%	1	22	5%	1	22	5%	1	22	5%
山形県	4	26	15%	3	26	12%	3	26	12%	2	26	8%	1	26	4%
福島県	5	49	10%	4	49	8%	5	49	10%	4	49	8%	4	49	8%
茨城県	9	70	13%	11	70	16%	5	70	7%	4	70	6%	5	70	7%
栃木県	9	46	20%	12	46	26%	11	46	24%	12	46	26%	8	46	17%
群馬県	13	76	17%	9	76	12%	7	76	9%	5	76	7%	3	76	4%
埼玉県	40	163	25%	30	164	18%	23	164	14%	14	164	9%	21	165	13%
千葉県	21	101	21%	21	101	21%	17	101	17%	17	101	17%	16	101	16%
東京都	424	1,207	35%	353	1,207	29%	344	1,207	29%	385	1,207	32%	467	1,207	39%
神奈川県	60	199	30%	43	199	22%	37	199	19%	41	199	21%	32	199	16%
新潟県	5	112	4%	5	112	4%	4	112	4%	3	112	3%	0	112	0%
富山県	8	36	22%	2	36	6%	2	36	6%	1	36	3%	1	36	3%
石川県	5	39	13%	2	39	5%	1	39	3%	0	39	0%	1	37	3%
福井県	0	24	0%	0	24	0%	0	24	0%	0	24	0%	1	24	4%
山梨県	1	24	4%	2	24	8%	0	24	0%	1	24	4%	0	24	0%
長野県	3	42	7%	2	42	5%	2	42	5%	1	42	2%	0	42	0%
岐阜県	21	59	36%	12	59	20%	9	59	15%	3	59	5%	3	59	5%
静岡県	6	50	12%	4	58	7%	4	58	7%	5	58	9%	6	58	10%
愛知県	92	146	63%	74	146	51%	43	146	29%	26	146	18%	12	146	8%
三重県	9	57	16%	9	57	16%	4	57	7%	4	57	7%	3	50	6%
滋賀県	14	52	27%	7	52	13%	8	52	15%	8	52	15%	5	52	10%
京都府	19	86	22%	19	86	22%	15	86	17%	11	86	13%	5	86	6%
大阪府	251	803	31%	240	835	29%	194	841	23%	149	841	18%	134	922	15%
兵庫県	66	136	49%	37	136	27%	28	136	21%	16	136	12%	16	136	12%
奈良県	11	32	34%	11	34	32%	8	34	24%	2	34	6%	8	34	24%
和歌山県	1	26	4%	2	26	8%	2	26	8%	1	26	4%	1	26	4%
鳥取県	0	47	0%	0	47	0%	0	47	0%	0	47	0%	0	47	0%
島根県	2	25	8%	1	25	4%	1	25	4%	1	25	4%	0	25	0%
岡山県	7	58	12%	4	58	7%	8	58	14%	4	58	7%	1	58	2%
広島県	20	56	36%	16	58	28%	16	58	28%	13	58	22%	10	58	17%
山口県	3	47	6%	2	47	4%	1	47	2%	2	47	4%	1	47	2%
徳島県	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%	0	25	0%
香川県	5	28	18%	4	28	14%	2	28	7%	0	28	0%	2	28	7%
愛媛県	4	19	21%	4	19	21%	3	19	16%	3	19	16%	2	19	11%
高知県	12	58	21%	12	58	21%	5	58	9%	7	58	12%	4	58	7%
福岡県	54	187	29%	43	189	23%	25	201	12%	13	201	6%	13	201	6%
佐賀県	1	48	2%	1	48	2%	0	48	0%	0	48	0%	0	48	0%
長崎県	1	38	3%	1	38	3%	0	38	0%	0	38	0%	0	38	0%
熊本県	13	56	23%	8	56	14%	8	56	14%	5	56	9%	1	56	2%
大分県	3	43	7%	1	43	2%	1	43	2%	0	43	0%	0	43	0%
宮崎県	3	33	9%	1	33	3%	0	33	0%	0	33	0%	0	33	0%
鹿児島県	2	41	5%	2	41	5%	1	41	2%	1	41	2%	1	41	2%
沖縄県	80	98	82%	75	94	80%	64	92	70%	58	87	67%	46	74	62%

	6月23日			6月30日			7月7日		
	宿泊療養者数①	受入可能室数②	①/②	宿泊療養者数①	受入可能室数②	①/②	宿泊療養者数①	受入可能室数②	①/②
日本	3,123	30,821	10%	3,382	30,510	11%	3,729	30,199	12%
北海道	127	2,395	5%	81	2,395	3%	63	2,385	3%
青森県	1	310	0%	6	310	2%	11	310	4%
岩手県	13	85	15%	13	85	15%	16	85	19%
宮城県	11	1,000	1%	24	1,000	2%	48	850	6%
秋田県	9	12	75%	64	304	21%	35	304	12%
山形県	0	134	0%	0	134	0%	0	134	0%
福島県	9	277	3%	8	277	3%	11	277	4%
茨城県	60	300	20%	80	300	27%	67	300	22%
栃木県	37	557	7%	68	557	12%	74	557	13%
群馬県	13	429	3%	11	429	3%	12	429	3%
埼玉県	235	1,237	19%	275	1,237	22%	320	1,237	26%
千葉県	268	1,012	26%	285	1,012	28%	362	1,012	36%
東京都	881	3,030	29%	1,134	3,030	37%	1,412	2,800	50%
神奈川県	259	1,657	16%	334	1,657	20%	382	1,657	23%
新潟県	4	300	1%	0	300	0%	4	300	1%
富山県	17	250	7%	6	250	2%	0	250	0%
石川県	4	560	1%	2	560	0%	10	560	2%
福井県	0	70	0%	17	95	18%	8	95	8%
山梨県	103	449	23%	47	449	10%	13	449	3%
長野県	12	523	2%	12	523	2%	6	523	1%
岐阜県	29	411	7%	16	265	6%	6	265	2%
静岡県	81	636	13%	69	636	11%	53	636	8%
愛知県	111	1,109	10%	79	1,109	7%	65	1,109	6%
三重県	2	240	1%	4	240	2%	7	240	3%
滋賀県	30	400	8%	8	400	2%	18	400	5%
京都府	45	826	5%	40	826	5%	50	826	6%
大阪府	227	2,166	10%	211	1,878	11%	235	1,878	13%
兵庫県	67	1,475	5%	40	1,475	3%	60	1,475	4%
奈良県	51	711	7%	57	711	8%	24	711	3%
和歌山県	0	137	0%	0	137	0%	0	137	0%
鳥取県	0	141	0%	0	141	0%	0	141	0%
島根県	0	98	0%	0	98	0%	0	98	0%
岡山県	15	404	4%	1	404	0%	8	404	2%
広島県	64	1,037	6%	25	843	3%	16	843	2%
山口県	0	483	0%	3	483	1%	1	483	0%
徳島県	0	276	0%	0	276	0%	0	276	0%
香川県	0	201	0%	1	201	0%	3	201	1%
愛媛県	3	233	1%	0	233	0%	0	233	0%
高知県	31	221	14%	46	221	21%	22	140	16%
福岡県	95	2,106	5%	106	2,106	5%	122	2,106	6%
佐賀県	3	472	1%	1	472	0%	3	472	1%
長崎県	27	406	7%	33	406	8%	25	406	6%
熊本県	12	520	2%	11	520	2%	9	680	1%
大分県	4	150	3%	0	150	0%	0	150	0%
宮崎県	1	50	2%	4	50	8%	6	50	12%
鹿児島県	23	762	3%	7	762	1%	16	762	2%
沖縄県	139	563	25%	153	563	27%	126	563	22%

	6月9日			6月16日			6月23日			6月30日			7月7日		
	自宅療養者数	うち社会福祉施設等療養者数	療養先調整中の人数	自宅療養者数	うち社会福祉施設等療養者数	療養先調整中の人数	自宅療養者数	うち社会福祉施設等療養者数	療養先調整中の人数	自宅療養者数	うち社会福祉施設等療養者数	療養先調整中の人数	自宅療養者数	うち社会福祉施設等療養者数	療養先調整中の人数
日本	14,115	357	5,118	8,823	208	3,534	4,857	149	2,786	4,134	48	2,266	4,001	40	1,846
北海道	1,943	170	2,181	1,064	119	1,088	630	46	549	155	19	398	76	1	131
青森県	20	1	13	2	0	1	0	0	0	19	0	4	24	0	4
岩手県	0	0	8	0	0	5	0	0	2	0	0	3	0	0	2
宮城県	22	0	7	15	0	8	10	0	4	9	0	0	12	0	9
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	3
山形県	12	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	1	0	11	3	0	2	2	0	2	0	0	6	1	0	9
茨城県	89	0	0	58	0	0	49	0	0	54	0	0	59	0	0
栃木県	32	0	20	21	0	21	19	0	22	29	0	13	25	0	17
群馬県	0	0	19	0	0	7	0	0	4	0	0	0	0	0	0
埼玉県	252	0	205	174	0	192	108	0	227	214	0	223	272	0	272
千葉県	212	0	128	227	0	131	251	0	121	249	0	130	359	0	75
東京都	835	0	511	680	0	598	712	1	696	954	0	793	1099	1	747
神奈川県	949	5	30	916	3	20	748	2	36	956	1	25	956	1	69
新潟県	35	0	3	18	0	5	0	0	3	1	0	0	7	0	5
富山県	2	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
石川県	21	7	1	9	0	2	4	0	1	0	0	0	0	0	4
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	42	42	0	35	35	0	34	34	0	4	4	0	4	4	0
長野県	9	0	0	11	0	0	11	0	0	14	0	0	8	0	0
岐阜県	0	0	32	0	0	18	0	0	6	0	0	6	0	0	3
静岡県	171	7	30	113	13	41	65	11	42	94	4	24	64	22	33
愛知県	1986	97	175	1304	20	100	752	15	98	459	9	49	233	0	52
三重県	83	0	0	56	0	0	26	26	0	13	0	0	8	0	0
滋賀県	33	1	7	13	0	0	2	0	1	11	0	3	5	0	1
京都府	184	0	1	138	0	0	88	0	0	55	0	0	49	0	0
大阪府	4450	0	916	2280	0	716	465	0	419	332	0	300	367	0	208
兵庫県	221	0	107	87	0	46	46	0	25	45	0	20	31	0	19
奈良県	0	0	19	0	0	15	0	0	23	0	0	33	0	0	26
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	1
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	31	0	0	14	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0
広島県	206	14	68	46	17	45	42	13	2	23	11	1	20	11	3
山口県	18	8	16	1	0	7	1	0	5	0	0	5	0	0	1
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	1	0	4	3	0	1	3	0	0	0	0	3	0	0	0
愛媛県	5	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0
高知県	0	0	26	0	0	13	0	0	22	0	0	5	0	0	6
福岡県	1003	5	54	661	1	50	257	1	131	90	0	14	64	0	22
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	20	0	0	8	0	0	7	0	0	15	0	0	9	0	0
熊本県	22	0	4	8	0	4	5	0	2	2	0	0	2	0	0
大分県	5	0	6	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	1	0	1	2	0	0	0	0	2	10	0	3	5	0	2
鹿児島県	0	0	9	0	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0	4
沖縄県	1199	0	506	849	0	388	515	0	333	324	0	194	241	0	118

③都道府県別のPCR等検査実施状況の推移

	3月30日～4月5日		4月6日～4月12日		4月13日～4月19日		4月20日～4月26日		4月27日～5月3日		5月4日～5月10日		5月11日～5月17日		5月18日～5月24日		5月25日～5月31日		6月1日～6月7日		6月8日～6月14日		6月15日～6月21日		6月22日～6月28日		6月29日～7月5日		7月6日～7月12日		7月13日～7月19日		7月20日～7月26日	
	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数
日本	28215	6.2%	42092	8.5%	51272	6.3%	53506	4.8%	51736	3.2%	40827	1.8%	47599	0.9%	36083	0.7%	33627	0.9%	37821	0.7%	40762	0.7%	38837	1.0%	41896	1.3%	48776	2.6%	70180	3.0%	93577	3.6%	86562	6.0%
北海道	496	3.6%	981	7.4%	1,309	12.0%	2088	8.7%	2073	11.2%	1730	6.1%	1625	3.7%	1336	3.0%	1889	2.0%	1390	2.2%	1567	3.1%	1654	1.6%	1260	3.3%	1352	2.8%	1523	1.1%	1844	2.9%	1687	2.5%
青森県	89	4.5%	202	5.4%	147	0.0%	92	0.0%	147	2.7%	79	0.0%	68	0.0%	32	0.0%	66	0.0%	34	0.0%	95	0.0%	17	0.0%	202	0.0%	84	0.0%	123	2.4%	230	0.4%	103	0.0%
岩手県	36	0.0%	66	0.0%	81	0.0%	66	0.0%	61	0.0%	51	0.0%	48	0.0%	45	0.0%	37	0.0%	36	0.0%	40	0.0%	35	0.0%	29	0.0%	20	0.0%	117	0.0%	36	0.0%	59	0.0%
宮城県	464	4.5%	533	5.4%	924	3.5%	604	0.3%	577	0.3%	382	0.0%	388	0.0%	256	0.0%	256	0.0%	350	0.0%	369	0.0%	555	0.2%	479	1.0%	443	0.9%	745	1.1%	822	3.2%	795	1.3%
秋田県	188	3.7%	115	3.5%	192	0.5%	91	0.0%	49	0.0%	31	0.0%	24	0.0%	17	0.0%	8	0.0%	12	0.0%	15	0.0%	10	0.0%	5	0.0%	9	0.0%	74	0.0%	28	0.0%	29	6.9%
山形県	262	3.8%	487	4.9%	669	3.4%	493	1.0%	337	0.3%	153	0.7%	172	0.0%	132	0.0%	112	0.0%	101	0.0%	92	0.0%	94	0.0%	164	0.0%	97	1.0%	211	0.5%	349	1.1%	153	0.0%
福島県	163	8.6%	357	6.2%	458	5.2%	459	1.5%	551	1.6%	637	0.3%	755	0.0%	713	0.0%	628	0.0%	626	0.0%	662	0.0%	532	0.2%	518	0.0%	644	0.0%	693	0.1%	767	0.1%	608	0.3%
茨城県	1046	4.6%	1070	4.2%	1,085	2.6%	1,320	1.7%	1,342	0.3%	1,098	0.3%	1,334	0.0%	1,078	0.0%	944	0.0%	1,067	0.0%	1,111	0.0%	995	0.2%	1,099	0.3%	1,281	0.8%	1,615	1.0%	1,819	1.4%	1,608	1.1%
栃木県	394	0.5%	378	5.6%	514	1.9%	456	1.5%	515	0.0%	451	0.4%	622	0.6%	458	0.9%	462	0.2%	591	0.2%	587	0.0%	494	0.0%	601	1.3%	901	1.4%	1,154	0.7%	1,113	3.4%	1,202	2.5%
群馬県	910	0.9%	394	16.2%	495	5.9%	794	2.4%	706	0.7%	377	0.3%	441	0.0%	334	0.6%	296	0.0%	330	0.6%	387	0.0%	319	0.0%	392	0.3%	475	0.6%	706	0.0%	944	1.3%	793	1.5%
埼玉県	1175	7.7%	2,169	9.8%	2,955	8.2%	3,566	4.3%	4,177	2.1%	3,903	1.7%	4,052	0.5%	3,377	0.4%	3,208	0.2%	3,781	0.1%	3,782	0.4%	3,733	0.5%	4,061	1.7%	4,991	2.6%	7,555	3.0%	8,643	3.4%	8,605	3.7%
千葉県	2,413	3.2%	3,229	6.7%	2,820	6.1%	2,780	4.5%	2,913	1.4%	2,260	0.9%	2,858	0.6%	2,116	0.3%	1,994	0.3%	1,829	0.3%	1,845	0.7%	1,897	0.3%	2,895	0.9%	4,514	1.3%	4,348	2.5%	6,592	2.7%	4,688	3.8%
東京都	4,774	12.7%	9,125	11.8%	10,617	9.7%	12,004	6.9%	11,451	5.7%	9,631	3.1%	12,311	0.9%	9,969	0.5%	8,772	1.0%	10,925	1.3%	13,243	1.2%	12,409	1.9%	13,561	2.5%	15,195	4.3%	21,350	5.4%	30,666	4.8%	23,525	7.7%
神奈川県	1,836	6.5%	2,299	12.8%	2,800	8.0%	3,217	5.4%	3,429	4.2%	2,678	2.7%	3,569	2.7%	2,870	2.2%	2,950	1.3%	3,150	0.9%	3,676	0.3%	3,192	0.8%	3,256	1.0%	3,838	3.2%	4,818	3.3%	6,500	4.0%	5,973	4.0%
新潟県	414	0.2%	419	2.4%	469	3.0%	642	2.0%	625	1.1%	376	0.0%	499	0.2%	373	0.0%	265	0.0%	253	0.0%	291	0.0%	284	0.4%	338	0.0%	310	0.3%	458	0.4%	506	0.6%	366	1.1%
富山県	230	4.3%	510	3.9%	416	9.6%	466	12.7%	400	9.3%	473	1.9%	439	0.9%	345	0.6%	330	0.0%	268	0.0%	292	0.0%	245	0.0%	184	0.0%	255	0.4%	386	0.5%	318	0.3%	304	1.3%
石川県	192	17.7%	369	19.0%	517	12.6%	720	7.1%	379	9.2%	330	4.2%	365	2.5%	210	3.8%	158	1.9%	120	0.8%	90	0.0%	81	0.0%	72	1.4%	68	0.0%	108	0.0%	209	1.4%	340	2.9%
福井県	197	19.3%	451	8.2%	429	5.6%	454	2.0%	504	0.2%	250	0.0%	221	0.0%	143	0.0%	109	0.0%	32	0.0%	112	0.0%	2	0.0%	1	0.0%	2	0.0%	339	0.3%	472	0.6%	435	0.7%
山梨県	594	1.5%	685	3.2%	983	1.4%	918	0.2%	1,182	0.3%	1,007	0.0%	979	0.1%	1,020	0.3%	1,003	0.4%	1,133	0.3%	1,226	0.3%	1,156	0.1%	1,031	0.2%	1,072	0.1%	969	0.1%	1,050	0.2%	1,022	0.8%
長野県	321	1.2%	437	3.9%	420	4.8%	419	3.1%	377	1.1%	404	1.2%	356	0.3%	267	0.0%	229	0.0%	266	0.0%	229	0.0%	211	0.5%	256	0.0%	237	0.0%	432	0.2%	357	1.7%	589	1.4%
岐阜県	381	7.6%	646	8.5%	933	3.4%	585	0.9%	390	0.3%	253	0.0%	249	0.0%	223	0.0%	234	0.0%	268	0.4%	335	0.6%	480	0.6%	370	0.0%	175	2.3%	587	0.3%	1,176	1.3%	1,678	3.2%
静岡県	720	0.8%	729	4.3%	848	1.3%	752	1.5%	886	1.1%	557	0.0%	683	0.0%	549	0.4%	465	0.2%	511	0.0%	534	0.4%	553	0.5%	764	0.0%	993	0.6%	1,271	0.6%	1,125	1.2%	1,545	5.0%
愛知県	971	6.2%	1,543	6.0%	1,561	5.3%	1,628	4.1%	1,241	1.2%	1,191	0.8%	1,406	0.6%	908	0.1%	615	0.2%	739	0.4%	824	0.6%	899	0.8%	625	0.0%	651	0.3%	1,506	0.4%	1,663	6.6%	2,946	15.5%
三重県	349	1.1%	266	1.5%	447	4.3%	430	2.1%	303	0.0%	185	0.0%	181	0.0%	99	0.0%	59	0.0%	49	0.0%	71	0.0%	130	0.8%	85	0.0%	91	0.0%	98	4.1%	359	1.9%	419	3.1%
滋賀県	156	7.7%	298	6.7%	451	7.3%	490	4.7%	340	0.0%	225	1.3%	282	0.7%	246	0.8%	233	0.0%	244	0.0%	238	0.0%	232	0.4%	233	0.0%	244	0.8%	366	0.8%	385	1.0%	192	22.4%
京都府	454	14.3%	751	10.9%	1,200	4.8%	1,271	3.4%	1,582	2.3%	1,293	1.3%	1,447	0.4%	889	0.0%	647	0.2%	728	0.1%	729	0.1%	651	0.8%	737	1.4%	1,089	2.4%	1,327	3.5%	1,882	4.9%	1,549	7.6%
大阪府	2,585	7.7%	3,267	12.3%	4,399	9.1%	4,371	6.4%	4,852	3.6%	3,808	2.1%	4,373	0.7%	3,088	0.6%	2,506	0.4%	2,354	0.1%	2,298	0.2%	2,521	0.9%	2,719	0.4%	2,751	2.3%	4,082	3.5%	6,515	6.0%	7,950	9.7%
兵庫県	839	7.5%	1,422	12.7%	1,668	7.9%	1,686	6.5%	1,697	2.2%	1,304	2.0%	1,338	0.6%	922	0.3%	690	0.0%	955	0.0%	1,061	0.0%	711	0.4%	771	0.4%	933	0.8%	1,467	1.8%	2,138	4.5%	1,961	9.2%
奈良県	240	5.8%	311	5.1%	490	4.3%	496	2.8%	555	1.8%	356	1.1%	513	0.0%	307	0.0%	321	0.3%	334	0.0%	295	0.0%	294	0.0%	227	0.0%	275	1.1%	1,646	1.5%	1,919	1.8%	922	5.5%
和歌山県	361	2.2%	708	1.3%	503	1.2%	882	1.4%	624	0.6%	419	0.0%	326	0.6%	205	0.0%	158	0.0%	137	0.0%	93	0.0%	67	0.0%	106	0.9%	128	0.0%	538	3.0%	640	1.4%	849	3.9%
鳥取県	98	0.0%	155	0.6%	388	0.5%	314	0.0%	139	0.0%	86	0.0%	101	0.0%	146	0.0%	146	0.0%	177	0.0%	149	0.0%	118	0.0%	193	0.0%	460	0.2%	363	0.3%	372	0.0%	218	0.5%
島根県	42	0.0%	218	3.2%	358	2.5%	169	3.0%	111	1.8%	88	0.0%	143	0.0%	113	0.0%	54	0.0%	62	0.0%	40	0.0%	10	0.0%	31	0.0%	20	0.0%	26	0.0%	622	0.2%	404	0.7%
岡山県	244	3.3%	223	2.2%	199	2.5%	230	0.9%	226	0.4%	140	0.7%	273	0.4%	170	0.0%	136	0.0%	145	0.0%	165	0.0%	123	0.0%	216	0.5%	165	1.2%	274	0.0%	489	2.7%	514	3.9%
広島県	467	2.1%	756	5.3%	1,433	2.0%	980	0.9%	966	1.1%	622	0.6%	526	0.2%	325	0.3%	177	0.0%	267	0.4%	208	0.0%	324	0.0%	248	0.0%	183	0.5%	546	1.8%	1,005	3.0%	1,498	3.5%
山口県	180	1.1%	289	5.2%	503	1.4%	124	0.8%	125	3.2%	224	0.9%	104	0.0%	47	0.0%	55	0.0%	63	0.0%	51	0.0%	120	0.0%	204	0.0%	172	0.0%	242	0.0%	150	3.3%	132	5.3%
徳島県	70	2.9%	76	0.0%	116	0.0%	111	0.9%	98	0.0%	88	0.0%	64	0.0%	36	0.0%	40	0.0%	37	0.0%	48	0.0%	37	0.0%	76	1.3%	70	0.0%	264	1.5%	248	0.0%	101	2.0%
香川県	153	0.7%	176	3.4%	672	2.4%	351	0.3%	251	0.0%	178	0.0%	153	0.0%	116	0.0%	93	0.0%	87	0.0%	91	0.0%	93	0.0%	94	0.0%	135	0.0%	186	0.5%	864	1.7%	355	0.3%
愛媛県	188	4.3%	265	6.8%	255	5.9%	252	0.8%	238	0.4%	56	0.0%	433	5.3%	250	3.6%	293	0.7%	305	0.0%	88	0.0%	55	0.0%	90	0.0%	35	0.0%	121	0.0%	102	0.0%	126	2.4%
高知県	234	7.3%	411	7.1%	332	2																												

	7月27日～8月2日		8月3日～8月9日		8月10日～8月16日		8月17日～8月23日		8月24日～8月30日		8月31日～9月6日		9月7日～9月13日		9月14日～9月20日		9月21日～9月27日		9月28日～10月4日		10月5日～10月11日		10月12日～10月18日		10月19日～10月25日		10月26日～11月1日		11月2日～11月8日		11月9日～11月15日		11月16日～11月22日	
	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数
日本	127700	6.7%	166094	5.8%	125891	5.8%	152389	4.3%	133493	4.0%	136868	2.9%	126734	2.9%	124970	2.8%	101820	3.0%	133770	2.6%	129212	2.8%	131554	2.8%	131595	3.0%	138332	3.5%	146467	4.4%	182720	5.5%	235426	6.1%
北海道	2540	2.5%	3402	2.9%	2488	3.0%	2722	3.1%	3122	2.0%	3294	1.7%	2548	1.9%	3354	2.5%	2903	3.4%	4294	2.9%	5619	3.5%	5941	2.8%	6324	4.1%	5878	6.8%	7653	10.7%	8449	17.4%	14587	11.4%
青森県	48	2.1%	111	0.0%	72	1.4%	76	0.0%	78	2.6%	88	0.0%	37	0.0%	122	0.0%	216	0.0%	199	1.0%	152	0.0%	627	10.7%	909	8.3%	1369	4.2%	981	3.8%	786	0.6%	575	0.3%
岩手県	132	2.3%	294	1.0%	170	1.2%	364	0.5%	173	1.2%	217	1.8%	222	0.0%	216	0.0%	168	0.0%	218	0.5%	217	0.0%	261	0.8%	216	0.5%	223	0.0%	311	1.0%	1068	3.7%	1308	4.3%
宮城県	1138	2.3%	1285	1.1%	751	0.3%	910	0.9%	900	1.3%	1250	3.0%	1713	4.0%	1691	3.4%	1264	2.0%	1891	1.9%	1616	3.6%	1780	2.2%	1834	4.1%	2337	6.0%	2178	5.7%	2756	4.5%	2726	4.1%
秋田県	89	0.0%	334	3.9%	140	5.0%	224	1.3%	164	2.4%	103	1.0%	111	0.0%	358	0.8%	329	0.0%	196	2.6%	192	0.5%	161	0.0%	215	0.9%	196	1.0%	334	1.2%	396	1.5%	504	0.2%
山形県	146	0.7%	236	0.0%	131	0.0%	215	0.5%	182	0.5%	237	0.0%	185	0.0%	138	0.0%	140	0.0%	234	0.0%	130	2.3%	254	0.0%	212	1.4%	326	0.6%	210	0.5%	506	1.4%	704	0.7%
福島県	948	0.3%	948	0.7%	944	1.0%	1241	1.6%	1619	2.0%	1488	1.3%	1380	2.2%	1770	0.7%	1392	1.9%	1643	1.2%	1924	2.4%	2376	2.0%	2420	1.0%	1947	0.1%	3108	0.9%	3056	0.7%	2585	1.6%
茨城県	2598	3.2%	4170	1.8%	3780	1.5%	4075	1.3%	3844	1.1%	3482	1.1%	3952	0.7%	3567	0.3%	2677	0.5%	4127	0.9%	4177	0.8%	4601	0.4%	3978	0.3%	4087	0.7%	3964	1.2%	4995	3.0%	8081	3.5%
栃木県	1581	2.3%	1597	2.9%	1596	1.9%	1259	1.0%	1053	1.3%	1037	0.7%	1049	2.7%	1512	3.2%	1563	2.6%	1255	0.8%	1194	0.7%	1310	1.5%	1362	0.9%	1292	0.9%	1605	0.6%	1807	1.0%	2997	1.9%
群馬県	1055	1.2%	1191	2.9%	1121	6.6%	1649	5.0%	1673	3.4%	1593	2.8%	2001	3.3%	3625	3.2%	1583	2.3%	1779	1.6%	1929	1.6%	1973	0.8%	2446	3.8%	4155	0.8%	1763	1.4%	1451	2.1%	1958	4.5%
埼玉県	9609	4.1%	11608	3.6%	7230	4.7%	9201	3.7%	8214	4.2%	10108	2.2%	8896	1.9%	9150	1.6%	6942	2.2%	8721	2.5%	10004	2.8%	10098	2.9%	9667	2.6%	9589	2.8%	9301	3.8%	12794	4.5%	14629	5.4%
千葉県	6179	4.9%	6821	5.7%	4836	6.2%	6542	4.8%	5153	5.2%	6589	2.7%	6708	2.9%	6348	3.7%	5452	3.1%	7515	3.2%	7319	3.6%	6645	3.3%	6264	4.5%	7161	3.4%	6232	4.7%	7570	5.6%	9354	5.9%
東京都	32065	7.0%	43887	5.5%	28074	6.6%	39882	4.1%	36090	3.8%	37362	2.8%	37369	3.3%	34379	3.5%	28525	3.7%	38758	3.2%	36339	3.4%	35215	3.6%	35157	3.0%	35496	3.3%	35724	4.0%	45644	4.7%	53648	5.5%
神奈川県	7703	4.9%	11495	5.7%	8912	6.6%	12473	4.5%	10140	4.9%	12364	4.2%	13488	3.8%	12754	3.5%	10833	3.3%	13354	3.0%	12643	2.9%	12382	3.5%	12954	3.3%	12069	3.4%	15348	3.7%	15998	5.1%	20886	5.7%
新潟県	845	2.6%	964	1.2%	603	0.2%	902	1.2%	640	0.5%	865	0.5%	658	0.6%	924	1.7%	497	1.0%	669	0.0%	730	1.2%	894	0.1%	543	0.4%	552	0.4%	768	1.6%	1673	1.9%	1175	6.6%
富山県	533	1.7%	866	5.2%	833	2.6%	884	3.7%	876	4.9%	726	2.6%	650	1.2%	577	0.3%	348	0.6%	775	1.3%	500	0.0%	630	0.2%	535	0.0%	505	0.2%	573	0.2%	679	0.1%	708	2.0%
石川県	375	2.7%	443	9.3%	699	13.2%	1109	9.9%	1117	5.2%	1264	6.3%	861	3.0%	880	2.7%	787	2.8%	1014	0.1%	917	0.3%	959	1.6%	911	0.4%	1081	1.3%	1023	0.9%	1241	0.6%	1183	0.4%
福井県	368	3.0%	825	1.7%	427	0.2%	884	0.9%	1255	4.7%	1212	1.7%	499	0.2%	414	0.0%	301	0.0%	431	0.0%	416	1.2%	523	1.3%	680	0.0%	395	0.3%	365	0.5%	1445	0.9%	1741	1.7%
山梨県	1340	1.3%	1763	1.5%	1601	0.6%	1249	2.2%	1831	0.3%	1213	0.2%	1253	0.3%	1127	0.1%	1025	0.2%	1500	0.8%	1375	0.2%	1219	0.2%	1321	0.3%	1547	0.8%	3036	0.8%	2706	1.6%	1512	2.4%
長野県	1329	1.9%	1223	1.1%	837	2.0%	986	2.4%	1213	6.3%	1852	2.1%	836	1.1%	666	0.8%	537	0.7%	950	0.8%	839	0.8%	860	0.7%	1082	0.7%	851	1.1%	1001	2.7%	1708	5.3%	2678	5.4%
岐阜県	1560	7.7%	2163	5.3%	1372	3.4%	798	3.4%	1035	1.5%	869	1.0%	804	3.5%	959	0.5%	667	2.8%	711	2.0%	639	0.6%	601	1.3%	1027	2.9%	674	2.2%	913	5.3%	1726	4.3%	1917	5.7%
静岡県	2811	4.3%	2792	2.0%	2389	2.2%	2977	0.9%	2985	1.3%	1969	0.7%	1849	0.5%	2522	0.8%	1702	0.6%	2214	1.2%	1735	0.5%	1844	0.7%	1790	0.8%	2381	2.9%	2929	3.1%	3149	3.9%	5386	6.3%
愛知県	5661	18.5%	7663	13.0%	5535	10.9%	5359	8.4%	4707	6.5%	4110	5.0%	4315	4.6%	4204	4.9%	3861	4.8%	4265	3.4%	3479	2.9%	3998	3.7%	4429	4.2%	5532	7.3%	7246	7.4%	8851	10.1%	11564	9.7%
三重県	1001	5.4%	1905	6.0%	1041	4.4%	1293	4.5%	812	3.2%	937	6.0%	716	5.0%	601	1.8%	665	3.6%	1012	3.5%	751	1.1%	508	2.2%	484	1.2%	572	1.9%	779	3.9%	1097	2.2%	1527	6.6%
滋賀県	389	8.0%	363	29.5%	820	5.6%	871	6.3%	1597	3.4%	1091	1.7%	753	1.2%	547	1.3%	693	2.5%	623	1.6%	573	1.6%	750	1.3%	639	2.2%	581	2.6%	432	11.1%	854	7.4%	966	7.6%
京都府	2451	7.0%	3391	4.6%	2879	4.7%	4395	4.6%	2911	4.5%	2948	4.3%	2732	1.8%	2659	2.5%	2243	1.8%	2407	2.3%	2432	2.6%	2726	2.8%	2589	1.8%	2167	4.0%	2691	3.9%	3310	3.9%	5079	3.9%
大阪府	11287	11.1%	14788	9.0%	12718	8.5%	14090	7.1%	10634	6.2%	12294	4.5%	9986	5.7%	10057	4.6%	9280	4.2%	10353	3.5%	9131	3.8%	9972	3.6%	10358	5.1%	11049	7.5%	10821	8.7%	16483	9.7%	24930	8.9%
兵庫県	3398	8.8%	4412	7.3%	3573	7.4%	3679	6.2%	4172	3.4%	3414	2.7%	3090	3.8%	3025	3.5%	3000	3.3%	4350	2.9%	2896	3.8%	3297	3.2%	3269	4.2%	3328	3.8%	4054	6.3%	4616	9.9%	8188	9.8%
奈良県	986	6.0%	1651	4.0%	1404	4.6%	1338	7.2%	1001	2.5%	1276	1.8%	796	1.0%	740	1.2%	743	1.1%	1052	1.8%	1005	1.8%	814	1.7%	755	1.6%	1033	3.4%	1140	6.8%	1743	6.1%	2420	5.7%
和歌山県	969	4.6%	1026	1.2%	877	1.9%	1140	2.5%	461	1.1%	447	0.7%	329	0.9%	259	0.0%	345	1.2%	351	0.6%	532	1.5%	392	1.5%	513	3.3%	462	0.6%	478	2.7%	936	4.2%	1711	3.4%
鳥取県	841	1.3%	870	0.3%	484	0.0%	512	0.2%	291	0.0%	242	0.0%	261	3.8%	465	0.9%	239	0.0%	414	0.0%	326	0.0%	330	0.0%	256	0.8%	436	0.2%	424	1.2%	488	1.8%	436	0.2%
島根県	641	0.2%	266	35.0%	918	1.1%	358	0.8%	184	1.6%	104	0.0%	88	0.0%	73	0.0%	154	1.3%	157	0.0%	91	0.0%	81	0.0%	90	1.1%	101	0.0%	41	0.0%	90	0.0%	305	0.3%
岡山県	760	3.6%	1070	2.1%	1060	1.4%	945	1.3%	773	0.9%	736	0.1%	650	0.0%	655	0.3%	640	0.8%	1035	0.5%	887	0.6%	975	1.0%	1553	1.9%	2941	3.0%	2787	1.7%	2739	2.1%	3260	3.1%
広島県	1669	5.8%	1875	2.7%	1206	2.4%	1661	0.8%	1000	0.7%	695	0.1%	837	1.1%	91																			

	11月23日～11月29日		11月30日～12月6日		12月7日～12月13日		12月14日～12月20日		12月21日～12月27日		12月28日～1月3日		1月4日～1月10日		1月11日～1月17日		1月18日～1月24日		1月25日～1月31日		2月1日～2月7日		2月8日～2月14日		2月15日～2月21日		2月22日～2月28日		3月1日～3月7日		3月8日～3月14日		3月15日～3月21日	
	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数
日本	225194	6.4%	265568	5.8%	268288	6.5%	314999	5.9%	350698	6.2%	216103	10.8%	407529	10.5%	424725	9.7%	475366	7.3%	433315	5.6%	372020	4.2%	323495	3.2%	319692	2.8%	299132	2.4%	322618	2.2%	333137	2.4%	376903	2.4%
北海道	7691	20.2%	15079	8.8%	16522	7.8%	16224	5.3%	18545	4.1%	13830	5.2%	19160	5.4%	19668	5.6%	20059	4.3%	20791	3.7%	16223	3.9%	13708	3.0%	15368	2.1%	13035	2.1%	13954	2.7%	13536	3.1%	10958	4.4%
青森県	579	1.2%	1369	3.1%	1167	3.7%	1284	1.3%	1067	3.6%	1030	7.6%	1478	3.7%	1395	5.9%	1282	2.7%	1859	2.2%	1486	1.8%	1235	4.9%	966	0.7%	684	0.6%	869	0.5%	1575	2.5%	1242	3.0%
岩手県	2669	2.0%	1815	1.6%	1954	4.2%	2204	1.5%	1769	2.1%	1031	2.1%	2023	1.7%	1826	2.1%	1850	1.1%	1411	0.6%	1453	1.2%	1224	0.6%	2296	1.4%	1139	0.1%	1029	0.1%	1174	0.8%	1694	1.4%
宮城県	2059	5.0%	2262	4.9%	3482	6.2%	4671	5.3%	4616	6.3%	2346	7.7%	4955	7.6%	5220	6.2%	6237	5.1%	5649	2.6%	4356	1.6%	3432	0.8%	3731	1.5%	3627	1.7%	5437	3.1%	5563	5.5%	7159	8.8%
秋田県	475	3.4%	382	0.0%	286	1.4%	236	0.4%	787	3.8%	459	4.6%	626	4.3%	559	5.9%	1332	3.1%	1002	1.4%	628	1.3%	442	0.0%	488	0.0%	482	0.0%	558	0.0%	409	0.0%	482	1.7%
山形県	637	3.6%	1475	2.6%	1714	3.8%	2440	2.3%	1832	2.2%	1036	2.3%	1509	1.8%	1363	0.7%	2416	0.5%	2043	1.7%	2644	0.9%	1236	0.6%	1079	0.3%	1224	0.5%	1253	0.0%	1120	1.0%	1635	5.6%
福島県	2275	1.0%	2809	1.1%	3962	1.8%	5303	2.3%	6539	2.4%	3579	2.7%	7605	3.2%	8132	2.7%	8426	1.9%	7325	1.6%	5975	0.9%	6707	0.8%	7953	0.5%	6945	1.4%	6939	2.1%	8158	1.3%	8925	1.3%
茨城県	7058	4.1%	8774	3.4%	6433	2.4%	6702	2.2%	7245	2.4%	4674	5.4%	9758	5.9%	10293	6.5%	17025	3.2%	16149	2.8%	11661	2.8%	8800	2.6%	10206	2.1%	8532	2.0%	8919	2.6%	11175	1.7%	10103	2.1%
栃木県	2443	2.5%	3108	3.7%	3196	3.8%	3301	4.6%	3519	6.1%	2494	17.1%	5707	14.9%	5859	11.1%	5487	7.2%	4743	4.5%	4676	2.4%	3516	2.3%	4586	1.6%	5110	1.1%	5232	1.4%	4774	2.5%	4616	3.0%
群馬県	1944	7.7%	3024	6.4%	4104	6.4%	4690	6.0%	4260	5.6%	1893	12.7%	5432	8.5%	4786	8.7%	6214	5.1%	5143	5.1%	4838	5.1%	4016	3.8%	4103	2.7%	3449	3.7%	3904	2.5%	3784	2.4%	4142	3.0%
埼玉県	14989	5.0%	19396	5.0%	19267	5.8%	21478	5.8%	23992	6.5%	12205	13.9%	28690	10.1%	26069	11.4%	35006	7.3%	33300	5.5%	36780	4.1%	29377	3.6%	26615	3.4%	23065	3.0%	30257	2.3%	34932	2.4%	31579	2.4%
千葉県	8367	6.6%	10593	5.0%	10084	7.2%	13495	6.4%	16261	6.3%	7172	20.1%	19028	11.8%	19689	13.9%	22047	12.2%	22145	9.4%	19552	7.4%	15196	5.6%	15515	6.4%	16531	5.0%	20615	4.1%	20700	3.5%	30886	2.2%
東京都	49873	5.9%	56447	5.4%	56033	6.3%	65182	6.5%	75882	6.8%	42661	14.1%	79433	15.6%	88047	12.0%	93010	9.1%	84189	7.1%	72706	5.5%	66882	4.0%	69374	3.4%	60909	3.2%	58226	3.1%	70433	2.8%	95480	2.2%
神奈川県	24204	4.7%	22753	5.1%	23999	5.9%	26911	6.7%	28141	9.5%	18588	16.0%	35101	13.9%	30142	19.4%	35464	13.7%	29078	9.4%	25011	6.1%	22455	4.4%	21372	3.8%	23431	3.5%	28446	2.7%	21071	3.4%	24919	2.8%
新潟県	907	3.4%	1356	1.8%	1268	3.5%	1609	2.5%	1711	3.8%	1172	4.9%	2112	4.5%	2513	4.2%	2495	3.1%	2463	2.7%	2847	1.5%	3587	1.4%	3072	0.9%	3203	1.5%	2427	1.5%	3143	2.1%	2897	3.2%
富山県	1131	1.4%	915	0.4%	858	0.5%	1412	1.3%	1748	1.5%	952	1.1%	2380	0.8%	2278	0.3%	1740	2.6%	1603	1.6%	1455	0.6%	1100	0.6%	1155	1.2%	1028	0.3%	1033	0.4%	1036	0.3%	968	0.9%
石川県	1269	1.2%	1570	1.4%	1614	2.4%	1959	2.6%	2302	3.2%	1580	4.5%	3607	3.4%	3170	3.2%	3400	2.9%	2762	1.4%	3081	3.3%	3480	3.4%	3113	3.5%	3614	1.7%	2618	1.0%	2629	0.3%	2187	0.4%
福井県	848	1.4%	918	0.8%	485	2.3%	687	0.7%	1186	0.8%	675	1.9%	1822	2.1%	1920	2.6%	1706	1.9%	1894	1.8%	1414	0.5%	1033	0.9%	1611	0.7%	926	0.3%	617	0.0%	613	0.2%	763	0.9%
山梨県	1787	1.1%	1859	4.5%	1475	2.0%	1185	3.1%	1379	2.7%	714	8.8%	2407	6.6%	1997	5.0%	1482	2.6%	1363	1.2%	1024	1.2%	1029	1.5%	1149	0.7%	964	0.5%	1106	0.2%	1183	0.8%	1106	0.5%
長野県	2198	4.4%	2090	4.8%	2892	5.3%	2771	3.2%	3069	2.6%	4127	2.8%	6374	5.8%	9343	4.1%	5060	3.9%	4767	2.2%	3166	1.5%	2913	0.3%	2771	0.5%	2950	0.2%	3127	0.3%	2583	1.7%	4428	2.6%
岐阜県	2015	6.8%	3181	6.0%	2755	9.2%	3743	6.2%	3991	7.3%	2616	16.0%	5748	10.4%	5746	8.2%	6254	5.4%	5227	5.3%	4383	4.8%	3394	4.3%	3729	2.4%	4260	1.2%	4523	1.1%	3382	0.6%	2900	1.1%
静岡県	6274	6.5%	6830	4.7%	6133	3.6%	6016	3.1%	5880	3.4%	3186	6.9%	9115	6.3%	9150	5.9%	8806	4.0%	10787	3.0%	9310	1.7%	6722	1.5%	7091	2.2%	7257	1.9%	7260	1.6%	6912	2.1%	7101	1.4%
愛知県	11500	10.3%	13543	9.8%	13950	9.9%	14305	9.4%	17075	9.0%	10418	13.7%	17335	13.4%	16519	11.2%	17128	9.2%	15941	7.4%	12411	5.4%	9975	5.1%	10115	3.6%	8730	3.3%	10257	2.9%	9683	3.0%	8192	3.3%
三重県	1867	6.6%	1101	9.6%	932	11.3%	842	10.6%	803	10.1%	641	15.4%	1287	18.6%	1142	19.3%	1333	16.3%	1451	13.0%	1532	9.3%	1225	4.7%	1120	7.8%	1146	4.5%	1213	3.1%	962	4.2%	1225	3.0%
滋賀県	1217	3.7%	949	3.9%	1732	2.7%	1190	5.1%	1978	8.2%	703	24.6%	3407	8.4%	2751	7.3%	2953	7.5%	2906	5.4%	2671	4.3%	1183	6.6%	1659	4.1%	1302	6.4%	1827	5.0%	1401	6.0%	1103	4.5%
京都府	3969	4.3%	4393	4.4%	4697	8.7%	6796	7.6%	9103	7.4%	5545	11.2%	9212	9.3%	9318	10.1%	10503	8.4%	8911	7.7%	8712	3.5%	6340	2.6%	5440	1.9%	4540	1.0%	5736	0.8%	4842	1.8%	7687	0.9%
大阪府	23115	10.2%	26714	9.3%	24168	10.0%	26617	7.9%	28136	6.7%	18482	10.0%	34828	10.6%	33269	11.0%	39962	8.4%	36653	6.2%	29995	4.5%	25372	3.4%	24108	2.6%	22487	2.3%	29460	1.9%	34057	1.9%	36778	2.3%
兵庫県	9015	8.9%	8534	10.2%	6913	13.1%	9402	9.2%	10066	11.2%	4760	21.3%	10563	16.7%	11535	14.9%	13550	11.7%	13054	8.3%	12392	5.4%	10585	3.6%	8605	3.4%	7821	2.1%	9606	2.3%	9769	3.0%	12409	3.5%
奈良県	2190	5.9%	2672	6.7%	2728	6.6%	2780	5.7%	4134	5.4%	2297	9.8%	4250	5.9%	4156	5.7%	4276	5.8%	3801	4.4%	3356	4.7%	2040	3.3%	1819	3.6%	1573	1.5%	1926	2.3%	2752	1.8%	6852	0.8%
和歌山県	1587	3.9%	1386	4.1%	1527	3.3%	1249	1.9%	1157	1.6%	888	6.3%	2220	5.0%	2152	4.7%	2514	5.1%	2187	3.2%	2666	1.7%	2314	1.7%	1389	0.9%	1277	0.3%	1026	0.4%	1038	1.1%	1236	1.9%
鳥取県	362	1.4%	555	0.9%	567	0.7%	479	0.4%	657	4.0%	431	7.4%	1316	2.9%	718	1.7%	1528	1.2%	1804	0.2%	1317	0.6%	876	0.0%	905	0.1%	1150	0.2%	1068	0.0%	745	0.0%	749	0.0%
島根県	294	1.4%	304	3.6%	372	0.8%	579	2.6%	275	7.6%	253	5.1%	248	5.2%	308	2.6%	504	1.4%	1202	2.2%	370	2.2%	451	0.9%	317	0.3%	378	0.8%	378	0.0%	354	0.3%	301	0.0%
岡山県	3314	2.8%	3568	1.8%	3713	3.3%	6958	4.4%	5553	3.3%	3998	4.4%	6286	5.8%	6404	4.1%	6110	2.6%	5967	1.8%														

	3月22日～3月28日		3月29日～4月4日		4月5日～4月11日		4月12日～4月18日		4月19日～4月25日		4月26日～5月2日		5月3日～5月9日		5月10日～5月16日		5月17日～5月23日		5月24日～5月30日		5月31日～6月6日		6月7日～6月13日		6月14日～6月20日		6月21日～6月27日		6月28日～7月4日	
	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数	検査実施 件数	陽性者数/ 検査件数
日本	38623	3.1%	361390	4.7%	355880	6.0%	449683	6.2%	567849	5.9%	557911	6.5%	460602	8.0%	729049	5.9%	595933	5.8%	597295	4.3%	488963	3.6%	507487	2.5%	484833	2.1%	446860	2.3%	448871	2.5%
北海道	17328	2.6%	13015	3.2%	15633	3.5%	17642	3.4%	12325	7.2%	23085	6.1%	12985	15.4%	35076	10.6%	35447	11.8%	28642	10.8%	21926	8.3%	18085	5.4%	17776	4.9%	16079	1.5%	12862	1.7%
青森県	1492	3.2%	2836	4.8%	1956	4.2%	2389	5.9%	2568	6.9%	3751	3.7%	2787	5.8%	3174	5.4%	3930	5.2%	4963	3.7%	2747	2.8%	1905	1.6%	1241	1.2%	1335	1.8%	1413	3.0%
岩手県	1741	1.2%	3180	3.0%	2201	2.2%	1639	1.6%	2313	3.0%	2846	4.3%	4334	2.8%	3752	3.5%	4645	2.6%	3572	2.6%	1893	3.5%	2193	4.0%	1790	5.0%	1645	2.1%	1816	2.5%
宮城県	11295	8.1%	12466	6.9%	11448	5.8%	9480	4.4%	7360	4.3%	5929	3.7%	5461	4.0%	7546	2.8%	6528	2.7%	5016	2.4%	4815	2.6%	4746	1.2%	3860	1.6%	3862	1.1%	4114	1.9%
秋田県	832	0.7%	900	2.0%	1282	2.3%	809	4.4%	992	4.7%	1012	7.7%	849	12.2%	3145	2.9%	1993	2.7%	1164	1.2%	1236	0.4%	1045	0.3%	1165	0.3%	1571	4.2%	1656	4.3%
山形県	2875	7.8%	3447	4.9%	2987	5.5%	3555	3.8%	3373	3.3%	3122	2.9%	1852	3.7%	3718	3.1%	3317	5.0%	3398	2.2%	2379	1.8%	1764	0.6%	1822	0.7%	1347	0.0%	1576	0.5%
福島県	10682	1.4%	8629	1.7%	8725	2.3%	8355	2.1%	11544	1.8%	9364	2.8%	9281	4.3%	15270	2.5%	17077	1.2%	14259	0.9%	11708	0.6%	11731	0.6%	8146	0.7%	7791	1.0%	7277	1.5%
茨城県	8759	2.9%	8391	2.7%	13294	1.8%	11863	2.7%	15171	3.0%	11310	3.4%	12121	2.4%	19187	2.3%	15342	2.5%	15037	2.1%	10577	2.0%	10970	1.9%	9308	2.1%	7369	2.8%	8579	2.0%
栃木県	4236	2.9%	4922	4.3%	3781	4.5%	3937	3.6%	4883	3.3%	5251	3.4%	4646	4.3%	6646	3.7%	5031	4.7%	5487	4.5%	4547	3.5%	4284	4.3%	4147	4.3%	4465	3.8%	4652	3.5%
群馬県	3749	3.3%	4012	4.2%	4970	3.0%	4981	4.4%	5620	4.3%	5989	7.5%	6141	8.6%	8549	5.8%	6817	5.6%	6175	3.8%	4309	2.4%	3695	1.7%	3275	1.7%	3080	0.7%	3262	0.8%
埼玉県	47465	1.7%	28424	3.3%	22144	4.2%	26524	4.2%	40663	3.5%	47349	3.0%	33463	4.6%	49388	3.4%	48913	2.6%	52420	1.7%	50477	1.5%	49471	1.2%	50389	1.1%	52526	1.2%	52847	1.4%
千葉県	34797	2.0%	16328	4.4%	15470	4.0%	24597	3.5%	33003	2.7%	22973	4.3%	14720	6.2%	32847	3.3%	31673	2.7%	31110	2.4%	18032	3.8%	31305	2.1%	28706	2.4%	28965	2.6%	19556	4.9%
東京都	51632	4.8%	60277	4.5%	50609	6.5%	74339	5.5%	92527	5.5%	88076	6.6%	78972	7.1%	119747	4.7%	100722	4.5%	87081	4.5%	99050	3.0%	105266	2.6%	113884	2.3%	100133	3.3%	123157	3.3%
神奈川県	17798	3.7%	17942	4.8%	18448	5.1%	20708	6.4%	22523	6.8%	19795	8.3%	18559	9.1%	25153	8.5%	22046	8.6%	21558	7.5%	20595	7.0%	23997	5.8%	25526	5.2%	22445	6.0%	24291	6.2%
新潟県	4162	2.9%	5574	2.9%	6042	2.8%	6643	3.2%	7456	3.2%	7972	2.0%	6555	3.5%	9094	3.1%	8312	2.4%	7390	2.1%	6703	1.5%	5637	1.2%	6300	1.0%	5826	0.2%	3938	0.7%
富山県	1149	1.1%	1505	1.3%	2341	3.9%	2425	4.2%	2731	4.0%	2051	4.7%	1727	3.4%	2434	4.2%	3702	6.2%	3349	3.8%	2630	2.2%	1964	1.9%	2154	1.5%	3711	0.8%	4445	0.1%
石川県	2271	0.3%	2600	2.0%	3338	2.9%	5012	2.7%	5909	3.1%	4954	3.9%	5039	6.1%	8147	4.5%	7383	3.2%	11506	2.2%	10142	1.1%	12446	0.3%	6639	0.5%	5148	0.3%	3406	0.8%
福井県	1001	1.7%	2068	2.2%	2380	1.7%	2750	2.6%	4078	2.9%	2734	1.8%	2614	2.1%	3596	1.0%	2020	1.6%	1356	1.3%	1336	1.3%	1260	0.7%	1527	0.9%	4509	2.9%	2767	2.7%
山梨県	970	0.6%	1329	2.0%	1224	3.2%	1536	2.8%	1694	4.0%	1656	6.1%	1870	4.0%	1911	4.7%	1754	4.1%	1524	4.5%	3341	3.9%	5270	3.2%	4535	3.0%	4474	2.4%	3670	1.0%
長野県	5318	3.4%	5661	3.9%	6033	4.4%	6385	4.8%	7526	3.1%	4989	3.7%	4807	4.1%	6545	3.6%	6600	4.1%	6664	2.4%	4888	2.0%	4831	1.2%	4366	1.2%	4075	1.4%	3094	0.4%
岐阜県	3820	2.4%	3784	2.3%	3389	3.7%	4374	4.9%	5687	4.9%	5487	7.2%	5873	10.3%	9421	9.8%	9823	7.0%	8277	5.4%	6612	5.4%	4613	3.4%	4442	3.0%	3967	1.6%	3272	1.0%
静岡県	6899	2.2%	7378	2.5%	6468	2.1%	7139	2.7%	7647	2.1%	6410	3.6%	7878	3.7%	10134	6.3%	8779	5.4%	8050	5.3%	7547	3.7%	7491	3.0%	6744	3.1%	6021	3.6%	6020	2.5%
愛知県	21406	2.1%	10430	6.3%	11632	8.5%	14419	9.6%	18951	9.3%	19402	11.5%	16722	15.1%	26484	15.2%	23611	16.3%	22715	11.3%	16428	10.2%	15855	6.7%	12440	7.5%	10765	4.3%	9872	3.3%
三重県	992	6.6%	1569	8.6%	1309	11.5%	1978	9.2%	2281	15.4%	2521	13.4%	1762	16.1%	2732	11.5%	3275	7.5%	11021	1.7%	12167	1.3%	14698	0.7%	16178	0.5%	12691	0.5%	10280	0.3%
滋賀県	1485	2.8%	1579	7.2%	1632	7.2%	2207	11.0%	2841	11.2%	2176	13.6%	2179	15.8%	2943	11.8%	2836	10.1%	3295	8.6%	3127	7.1%	2100	5.3%	2370	4.3%	1727	2.7%	1538	2.0%
京都府	5632	2.6%	6504	5.3%	6928	7.6%	9968	6.5%	12570	7.6%	10661	9.0%	8983	9.8%	11923	8.1%	10378	7.1%	8034	4.8%	7213	4.2%	7859	3.1%	6323	3.5%	4963	1.8%	6030	1.9%
大阪府	46260	3.9%	54671	6.8%	51155	11.1%	75477	10.1%	91676	8.3%	82102	9.7%	55338	10.9%	75211	7.0%	57808	5.1%	62011	3.0%	45396	2.7%	53970	1.7%	49769	1.7%	50490	1.4%	42849	1.7%
兵庫県	12394	5.6%	16075	7.8%	12792	14.8%	19221	15.6%	23362	15.0%	21580	15.6%	17882	15.2%	23752	9.6%	18097	7.3%	15463	5.3%	14377	3.7%	15201	2.1%	15013	1.9%	12706	1.2%	12715	1.3%
奈良県	5778	2.5%	4349	6.6%	5641	9.8%	6032	9.0%	6931	9.9%	5273	11.2%	4186	13.2%	5831	8.5%	5058	5.9%	3049	4.8%	2867	4.6%	2579	2.6%	2646	2.7%	2964	4.1%	2901	3.3%
和歌山県	2100	2.2%	2343	4.4%	2991	6.7%	3725	6.1%	4875	5.2%	3980	4.7%	3552	3.9%	3892	3.2%	4233	1.9%	3167	1.7%	2713	0.7%	2196	0.7%	1870	0.8%	1779	0.7%	2008	1.0%
鳥取県	786	0.3%	2338	2.8%	1995	1.2%	2397	1.7%	1769	1.0%	2112	0.7%	1509	1.8%	1899	1.8%	1775	1.1%	1100	0.9%	895	0.1%	904	0.0%	782	0.0%	792	0.0%	1349	1.9%
島根県	329	0.3%	423	0.5%	456	0.7%	426	1.4%	1142	3.1%	689	3.5%	603	4.1%	1213	4.8%	1250	5.2%	1770	2.4%	481	1.0%	491	1.0%	381	1.0%	349	0.3%	419	0.2%
岡山県	4246	0.6%	4286	2.6%	6102	3.1%	7242	3.7%	10045	3.9%	9784	5.5%	10047	8.5%	13374	8.6%	12664	6.3%	8781	4.4%	6463	2.4%	6215	1.2%	5082	1.2%	4154	0.2%	4719	0.2%
広島県	5311	0.7%	4241	2.0%	6507	1.2%	9314	1.6%	27053	1.0%	34898	1.3%	33111	2.4%	80521	1.8%	21527	6.4%	64280	1.3%	15280	2.5%	10778	2.1%	11047	1.8%	10085	0.9%	8239	0.6%
山口県	1156	0.8%	1607	2.0%	1870	1.2%	2046	4.5%	3543	4.7%	4466	3.8%	2658	6.5%	3935	9.1%	3827	8.2%	3001	5.8%	2873	2.9%	2704	2.7%	2194	3.0%	1350	1.8%	1497	1.8%
徳島県	2352	2.1%	2179	3.2%	1577	6.8%	1717	12.2%	2117	12.1%	4601	3.9%	3432	4.1%	3440	2.7%	2846	1.7%	1476	0.9%	819	0.6%	1307	0.8%	1363	0.8%	691	0.7%	966	0.2%
香川県	1932	0.7%	2926	3.8%	4627	1.8%	5640	1.3%	6379	1.5%	7308	2.1%	5404	4.7%	10132	2.4%	6380	2.1%	4380	1.3%	3318	1.2%	4359	0.6%	3148	1.0%	2156	0.5%	4399	0.2%
愛媛県	1735	11.2%	1513	13.7%	2116	10.7%	2580	9.5%	3051	7.8%	2037	9.3%	1486	8.1%	1934	6.2%	1422	3.3%	1612	2.9%	1268	1.2%	954	1.0%	1153	0.5%	767	0.4%	810	0.4%
高知県	504	0.4%	549	1.6%	574	4.0%	587	2.9%	756	3.6%	1049	7.4%	953	5.8%	936	3.2%	1136	10.2%	1649	11.0%	1398	10.9%	863	7.1%	1028	6.4%	1612	4.5%	1729	3.1%
福岡県	12754	1.5%	11915	1.7%	13150	2.6%	14793	5.1%	22607	7.4%	24553	9.3%	16862	15.7%	31847	10.7%	26223	9.5%	19872	6.6%	16536	3.7%	16041	2.1%	13164	2.3%	12158	1.8%	11983	1.7%
佐賀県	952	2.0%	1115	3.4%	1570	2.9%	1280	5.6%	2730	6.8%	2134	6.3%	2823	10.4%	3824	7.1%	2777	6.7%	1557	5.7%	1269	2.2%	951	0.9%	869	0.7%	728	1.2%	817	1.3%
長崎県	3285	0.3%	3207	0.6%	3758	0.4%	5183	2.1%	6020	3.0%	4406	4.4%	4297	7.9%	7349	3.3%	8015	1.2%												

(1) 感染の状況 (疫学的状況)

(2) ①医療提供体制 (療養状況)

資料2-1-2 ①

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
	人口	直近1週間 累積陽性者数	対人口10万人 B/(A/100)	その前1週間 累積陽性者数	直近1週間と その前1週間の比 (B/D)	感染経路不明 な者の割合 (アンリンク割合)	確保病床に 入院している 者の数	確保病床に 入院している 重症者数	確保病床に 入院している 者の数	確保病床に 入院している 重症者数	宿泊療養者数	
時点	2019.10	~7/12(1W)	~7/12(1W)	~7/5(1W)		~7/2(1W)	7/6	7/6	6/29	6/29	7/6	6/29
単位	千人	人		人		人	人	人	人	人	人	人
北海道	5,250	380	7.24	224	1.70	47%	333	18	484	30	63	81
青森県	1,246	20	1.61	42	0.48	30%	22	0	12	0	11	6
岩手県	1,227	70	5.70	63	1.11	44%	66	1	33	2	16	13
宮城県	2,306	141	6.11	78	1.81	62%	33	2	27	3	48	24
秋田県	966	33	3.42	60	0.55	14%	24	1	18	1	35	64
山形県	1,078	39	3.62	8	4.88	14%	14	1	12	2	0	0
福島県	1,846	125	6.77	110	1.14	46%	142	4	103	4	11	8
茨城県	2,860	194	6.78	173	1.12	46%	105	5	108	4	67	80
栃木県	1,934	118	6.10	157	0.75	61%	101	8	118	12	74	68
群馬県	1,942	38	1.96	24	1.58	28%	25	3	36	5	12	11
埼玉県	7,350	1,019	13.86	768	1.33	49%	338	21	293	14	320	275
千葉県	6,259	1,158	18.50	946	1.22	57%	368	16	359	17	362	285
東京都	13,921	5,297	38.05	4,099	1.29	60%	1,671	467	1,514	385	1,412	1,134
神奈川県	9,198	2,104	22.87	1,491	1.41	60%	416	32	420	41	382	334
新潟県	2,223	65	2.92	29	2.24	20%	35	0	37	3	4	0
富山県	1,044	14	1.34	8	1.75	33%	19	1	34	1	0	6
石川県	1,138	80	7.03	36	2.22	68%	40	1	25	0	10	2
福井県	768	62	8.07	72	0.86	10%	110	1	148	0	8	17
山梨県	811	46	5.67	32	1.44	45%	37	0	69	1	13	47
長野県	2,049	22	1.07	13	1.69	6%	27	0	44	1	6	12
岐阜県	1,987	31	1.56	33	0.94	43%	50	3	95	3	6	16
静岡県	3,644	204	5.60	155	1.32	32%	94	6	85	5	53	69
愛知県	7,552	422	5.59	325	1.30	54%	222	12	317	26	65	79
三重県	1,781	68	3.82	32	2.13	31%	50	3	65	4	7	4
滋賀県	1,414	60	4.24	29	2.07	36%	37	5	69	8	18	8
京都府	2,583	168	6.50	113	1.49	45%	49	5	69	11	50	40
大阪府	8,809	1,027	11.66	754	1.36	60%	437	134	450	149	235	211
兵庫県	5,466	264	4.83	179	1.47	48%	148	16	136	16	60	40
奈良県	1,330	94	7.07	86	1.09	49%	82	8	111	2	24	57
和歌山県	925	19	2.05	17	1.12	10%	15	1	19	1	0	0
鳥取県	556	2	0.36	28	0.07	14%	27	0	5	0	0	0
島根県	674	8	1.19	1	8.00	100%	2	0	3	1	0	0
岡山県	1,890	26	1.38	8	3.25	75%	13	1	24	4	8	1
広島県	2,804	54	1.93	48	1.13	43%	60	10	99	13	16	25
山口県	1,358	15	1.10	27	0.56	19%	43	1	50	2	1	3
徳島県	728	9	1.24	2	4.50	0%	4	0	5	0	0	0
香川県	956	19	1.99	7	2.71	63%	10	2	16	0	3	1
愛媛県	1,339	3	0.22	3	1.00	0%	4	2	6	3	0	0
高知県	698	46	6.59	42	1.10	36%	46	4	56	7	22	46
福岡県	5,104	320	6.27	199	1.61	52%	137	13	187	13	122	106
佐賀県	815	5	0.61	11	0.45	70%	15	0	13	0	3	1
長崎県	1,327	12	0.90	51	0.24	19%	25	0	33	0	25	33
熊本県	1,748	9	0.51	15	0.60	24%	21	1	49	5	9	11
大分県	1,135	11	0.97	3	3.67	0%	13	0	25	0	0	0
宮崎県	1,073	10	0.93	20	0.50	24%	8	0	11	0	6	4
鹿児島県	1,602	41	2.56	32	1.28	40%	33	1	42	1	16	7
沖縄県	1,453	332	22.85	413	0.80	47%	297	46	444	58	126	153
全国	126,167	14,304	11.34	11,066	1.29	53%	5,868	856	6,378	858	3,729	3,382

※：人口推計 第4表 都道府県，男女別人口及び人口性比－総人口，日本人人口（2019年10月1日現在）

※：累積陽性者数は、感染症法に基づく陽性者数の累積（各都道府県の発表日ベース）を記載。自治体に確認を得ていない暫定値であることに留意。

※：確保病床に入院している者の数、確保病床に入院している重症者数及び宿泊患者数（G列～L列）は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとりまとめている。

※：重症者数は、集中治療室（ICU）等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者数。

※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週の値が前週公表の値と一致しない場合がある。

※：東京都、滋賀県、京都府、福岡県及び沖縄県の重症者数については、これまで都府県独自の基準に則って報告された数値を掲載していたが、8/21公表分からは、国の基準に則って、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者も含めた数値が報告されている。

※：2020年12月18日以降に新たに厚生労働省が公表している岡山県のアンリンク割合については、木曜日から水曜日までの新規感染者について翌週に報告されたものであり、他の都道府県と対象の期間が異なる点に留意。

(2) ②医療提供体制(病床確保等)

	M	N	O	P	Q	R
	新型コロナ対策協議会の設置状況	患者受入れ調整本部の設置状況	周産期医療の協議会開催状況	即応病床数	確保病床数	宿泊施設即応居室数
時点	5/1	5/1	5/19	7/6	7/6	7/6
単位				床	床	室
北海道	済	済	済	2,088	2,088	2,385
青森県	済	済	済	247	261	310
岩手県	済	済	済	250	350	85
宮城県	済	済	済	359	361	850
秋田県	済	済	済	135	230	304
山形県	済	済	予定	237	237	134
福島県	済	済	済	496	496	277
茨城県	済	済	済	300	600	300
栃木県	済	済	済	371	448	557
群馬県	済	済	済	284	459	429
埼玉県	済	済	済	1,666	1,666	1,237
千葉県	済	済	済	1,275	1,275	1,012
東京都	済	済	済	5,594	6,044	2,800
神奈川県	済	済	済	1,530	1,790	1,657
新潟県	済	済	済	555	555	300
富山県	済	済	済	83	500	250
石川県	済	済	済	153	270	560
福井県	済	済	済	239	304	95
山梨県	済	済	済	210	305	449
長野県	済	済	済	342	490	523
岐阜県	済	済	済	326	783	265
静岡県	済	済	済	595	606	636
愛知県	済	済	済	1,515	1,515	1,109
三重県	済	済	済	436	436	240
滋賀県	済	済	済	372	374	400
京都府	済	済	済	498	498	826
大阪府	済	済	済	2,191	2,847	1,878
兵庫県	済	済	予定	1,151	1,151	1,475
奈良県	済	済	済	372	448	711
和歌山県	済	済	済	400	470	137
鳥取県	済	済	済	264	328	141
島根県	済	済	済	115	324	98
岡山県	済	済	済	395	492	404
広島県	済	済	済	510	726	843
山口県	済	済	済	427	527	483
徳島県	済	済	済	234	234	276
香川県	済	済	済	175	230	201
愛媛県	済	済	済	218	218	233
高知県	済	済	済	232	232	140
福岡県	済	済	済	1,291	1,413	2,106
佐賀県	済	済	済	172	367	472
長崎県	済	済	済	258	421	406
熊本県	済	済	済	506	605	680
大分県	済	済	済	438	438	150
宮崎県	済	済	済	185	307	50
鹿児島県	済	済	済	288	421	762
沖縄県	済	済	済	559	713	563
全国	-	-	-	30,537	35,853	30,199

(3) 検査体制の構築

	S	T	U	V	W
	最近1週間のPCR検査件数	2週間前のPCR検査件数	変化率(S/T)	(参考)それぞれの週の陽性者数	
	~7/4(1W)	~6/27(1W)		~7/4(1W)	~6/27(1W)
	件	件		人	人
	12,862	16,079	0.80	222	249
	1,413	1,335	1.06	43	24
	1,816	1,645	1.10	46	34
	4,114	3,862	1.07	79	42
	1,656	1,571	1.05	72	66
	1,576	1,347	1.17	8	0
	7,277	7,791	0.93	111	76
	8,579	7,369	1.16	175	206
	4,652	4,465	1.04	161	169
	3,262	3,080	1.06	25	23
	52,847	52,526	1.01	760	654
	19,556	28,965	0.68	955	761
	123,157	100,133	1.23	4,074	3,342
	24,291	22,445	1.08	1,503	1,347
	3,938	5,826	0.68	26	13
	4,445	3,711	1.20	5	28
	3,406	5,148	0.66	26	16
	2,767	4,509	0.61	76	133
	3,670	4,474	0.82	37	106
	3,094	4,075	0.76	12	56
	3,272	3,967	0.82	34	64
	6,020	6,021	1.00	153	214
	9,872	10,765	0.92	324	459
	10,280	12,691	0.81	33	60
	1,538	1,727	0.89	30	46
	6,030	4,963	1.21	113	88
	42,849	50,490	0.85	716	694
	12,715	12,706	1.00	170	150
	2,901	2,964	0.98	95	121
	2,008	1,779	1.13	20	13
	1,349	792	1.70	26	0
	419	349	1.20	1	1
	4,719	4,154	1.14	8	9
	8,239	10,085	0.82	52	87
	1,497	1,350	1.11	27	24
	966	691	1.40	2	5
	4,399	2,156	2.04	7	10
	810	767	1.06	3	3
	1,729	1,612	1.07	54	72
	11,983	12,158	0.99	200	223
	817	728	1.12	11	9
	4,171	4,195	0.99	53	51
	1,908	2,506	0.76	16	41
	1,499	1,499	1.00	3	10
	2,550	2,145	1.19	21	12
	2,900	3,014	0.96	36	27
	13,053	10,230	1.28	410	506
	448,871	446,860	1.00	11,034	10,344

※：即応病床数、確保病床数、宿泊施設即応居室数は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入れ病床数等に関する調査」による。

同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとりまとめている。

※：即応病床数は、現在のフェーズにおいて、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ要請があれば、即時患者受入れを行うことが可能な病床数。実際には受入れ患者の重症度等により、変動する可能性がある。

※：確保病床数は、いずれかのフェーズにおいて、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ要請があれば、患者受入れを行うことについて医療機関と調整済の病床数であり、変動しうる点に特に留意が必要。また、実際には受入れ患者の重症度等により、変動する可能性がある。

※：宿泊施設確保数は、受け入れが確実な宿泊施設の部屋として都道府県が判断し、厚生労働省に報告した室数。都道府県の運用によっては、事務職員の宿泊や物資の保管、医師・看護師の控室のために使用する居室等として、一部使われる場合がある。(居室数が具体的に確認できた場合、数値を置き換えることにより数値が減る場合がある。) 数値を非公表としている県又は調整中の県は「-」で表示。

※：PCR検査件数は、①各都道府県から報告があった地方衛生研究所・保健所のPCR検査件数（PCR検査の体制整備にかかる国への報告について（依頼）（令和2年3月5日））、②厚生労働省から依頼した民間検査会社、大学、医療機関のPCR検査件数を計上。一部、未報告の検査機関があったとしても、現時点で得られている検査件数を計上している。

※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週の値が前週公表の値と一致しない場合がある。

【 医療提供体制等の負荷 】 【 感染の状況 】 【 参考 】

時点	人口	①医療の逼迫具合				②療養者数	③PCR陽性率 (最近1週間)			④新規陽性者数 (最近1週間)		⑤感染経路不明割合		直近1週間とその前1週間の比	
		入院医療		重症者用病床			③PCR陽性率 (最近1週間)	④新規陽性者数 (最近1週間)	⑤感染経路不明割合	直近1週間とその前1週間の比					
		確保病床使用率	入院率(注)	確保病床使用率【重症患者】	入院率(注)										
2019.10		7/6	7/6	7/6	7/6	~7/4(1W)	~7/8(1W)	~7/2(1W)	~7/8(1W)						
単位	千人	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	% (前週差)	(前週差)						
ステージⅢの指標		20%	40%	20%	20	5%	15	50%	-						
ステージⅣの指標		50%	25%	50%	30	10%	25	50%	-						
北海道	5,250	15.9% (▲7.2)	55.2% (+11.9)	11.9% (▲7.9)	11.5 (▲9.8)	1.7% (+0.2)	5.47 (+1.0)	46.9% (+5.1)	1.22 (+0.53)						
青森県	1,246	8.4% (+3.8)	(参考: 36.1%) (+6.8)	0.0% (+0.0)	4.9 (+1.6)	3.0% (+1.2)	2.89 (▲0.2)	30.4% (+15.1)	0.92 (▲2.62)						
岩手県	1,227	18.9% (+9.4)	(参考: 78.6%) (+11.2)	2.2% (▲2.2)	6.8 (+2.9)	2.5% (+0.5)	5.95 (+3.7)	44.4% (▲5.6)	2.61 (+1.76)						
宮城県	2,306	9.1% (+1.7)	(参考: 32.4%) (▲12.6)	4.4% (▲2.2)	4.4 (+1.8)	1.9% (+0.8)	4.64 (+2.5)	61.9% (+1.9)	2.18 (+0.74)						
秋田県	966	10.4% (+2.6)	(参考: 38.7%) (+16.8)	4.5% (+0.0)	6.4 (▲2.1)	4.3% (+0.1)	4.04 (▲6.1)	13.9% (+3.9)	0.40 (▲3.10)						
山形県	1,078	5.9% (+0.8)	(参考: 100.0%) (+0.0)	3.8% (▲3.8)	1.3 (+0.2)	0.5% (+0.5)	1.11 (+1.1)	14.3% -	-						
福島県	1,846	28.6% (+7.9)	(参考: 87.1%) (▲0.9)	8.2% (+0.0)	8.8 (+2.5)	1.5% (+0.5)	6.72 (+1.8)	46.0% (+1.3)	1.36 (+0.12)						
茨城県	2,860	17.5% (▲0.5)	(参考: 45.5%) (+0.8)	7.1% (+1.4)	8.1 (▲0.4)	2.0% (▲0.8)	5.59 (▲2.0)	46.2% (+4.7)	0.73 (▲0.69)						
栃木県	1,934	22.5% (▲3.8)	46.5% (▲5.2)	17.4% (▲8.7)	11.2 (▲0.6)	3.5% (▲0.3)	7.24 (▲1.9)	60.8% (+0.7)	0.79 (▲0.50)						
群馬県	1,942	5.4% (▲2.4)	(参考: 67.6%) (▲9.0)	3.9% (▲2.6)	1.9 (▲0.5)	0.8% (+0.0)	1.49 (+0.3)	28.0% (▲33.9)	1.21 (▲0.05)						
埼玉県	7,350	20.3% (+2.7)	(参考: 28.1%) (▲1.0)	12.7% (+4.2)	16.4 (+2.7)	1.4% (+0.2)	12.11 (+2.9)	48.9% (▲1.9)	1.32 (+0.17)						
千葉県	6,259	28.9% (+0.7)	(参考: 32.1%) (▲2.9)	15.8% (▲1.0)	18.7 (+2.3)	4.9% (+2.3)	16.55 (+3.0)	57.5% (+1.0)	1.22 (+0.12)						
東京都	13,921	27.6% (+2.6)	34.0% (▲0.2)	38.7% (+6.8)	35.5 (+3.6)	3.3% (▲0.0)	33.37 (+7.1)	60.4% (▲1.2)	1.27 (+0.08)						
神奈川県	9,198	23.2% (▲0.2)	(参考: 22.8%) (▲1.4)	16.1% (▲4.5)	19.8 (+1.0)	6.2% (+0.2)	18.05 (+2.3)	60.4% (▲0.3)	1.15 (+0.00)						
新潟県	2,223	6.3% (▲0.4)	(参考: 68.6%) (▲28.7)	0.0% (▲2.7)	2.3 (+0.6)	0.7% (+0.4)	2.43 (+1.9)	20.0% (▲26.2)	4.91 (+3.81)						
富山県	1,044	3.8% (▲3.0)	(参考: 100.0%) (+17.1)	2.8% (+0.0)	1.8 (▲2.1)	0.1% (▲0.6)	1.34 (+0.1)	33.3% (+0.0)	1.08 (+0.78)						
石川県	1,138	14.8% (+9.1)	(参考: 74.1%) (▲18.5)	2.7% (+2.7)	4.7 (+2.4)	0.8% (+0.5)	5.18 (+4.4)	68.2% (+18.2)	6.56 (+6.27)						
福井県	768	36.2% (▲12.5)	93.2% (+3.5)	4.2% (+4.2)	15.4 (▲6.1)	2.7% (▲0.2)	6.12 (▲6.3)	9.7% (+3.7)	0.49 (▲0.25)						
山梨県	811	12.1% (▲10.5)	(参考: 68.5%) (+11.0)	0.0% (▲4.2)	6.7 (▲8.1)	1.0% (▲1.4)	4.69 (▲1.1)	45.0% (+22.7)	0.81 (+0.54)						
長野県	2,049	5.5% (▲3.5)	(参考: 65.9%) (+3.0)	0.0% (▲2.4)	2.0 (▲1.4)	0.4% (▲1.0)	0.83 (▲0.6)	6.3% (▲8.3)	0.57 (+0.05)						
岐阜県	1,987	6.4% (▲5.7)	(参考: 84.7%) (+3.5)	5.1% (+0.0)	3.0 (▲2.9)	1.0% (▲0.6)	1.61 (+0.0)	42.9% (+17.9)	1.00 (+0.66)						
静岡県	3,644	15.5% (+1.5)	(参考: 38.5%) (+7.3)	10.3% (+1.7)	6.7 (▲0.8)	2.5% (▲1.0)	4.28 (▲1.6)	31.7% (▲6.2)	0.72 (▲0.52)						
愛知県	7,552	14.7% (▲6.3)	(参考: 39.4%) (+4.6)	8.2% (▲9.6)	7.7 (▲4.4)	3.3% (▲1.0)	4.77 (+0.5)	54.5% (+10.8)	1.11 (+0.56)						

【 医療提供体制等の負荷 】 【 感染の状況 】 【 参考 】

時点	人口	①医療の逼迫具合				②療養者数	③PCR陽性率 (最近1週間)			④新規陽性者数 (最近1週間)	⑤感染経路不明割合	直近1週間 とその前1週間の比
		入院医療		重症者用病床			③PCR陽性率 (最近1週間)	④新規陽性者数 (最近1週間)	⑤感染経路不明割合			
		確保病床利用率	入院率(注)	確保病床利用率 【重症患者】	重症者用病床							
2019.10		7/6	7/6	7/6	7/6	~7/4(1W)	~7/8(1W)	~7/2(1W)	~7/8(1W)			
単位	千人	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	% (前週差)	(前週差)			
ステージⅢの指標		20%	40%	20%	20	5%	15	50%	-			
ステージⅣの指標		50%	25%	50%	30	10%	25	50%	-			
三重県	1,781	11.5% (▲3.5)	(参考: 76.9%) (▲2.3)	6.0% (▲1.0)	3.6 (▲1.0)	0.3% (▲0.2)	2.47 (▲0.1)	31.0% (+11.0)	0.98 (+0.13)			
滋賀県	1,414	9.9% (▲8.6)	(参考: 60.7%) (▲15.2)	9.6% (▲5.8)	4.3 (▲2.1)	2.0% (▲0.7)	2.83 (+0.4)	35.7% (+2.9)	1.14 (+0.49)			
京都府	2,583	9.8% (▲4.0)	(参考: 33.1%) (▲9.0)	5.8% (▲7.0)	5.7 (▲0.6)	1.9% (+0.1)	4.65 (+0.5)	45.5% (▲19.7)	1.13 (+0.00)			
大阪府	8,809	15.3% (▲1.3)	35.0% (+0.2)	14.5% (▲3.2)	14.2 (▲0.5)	1.7% (+0.3)	9.64 (+2.1)	60.4% (+0.2)	1.28 (+0.32)			
兵庫県	5,466	12.9% (+1.0)	(参考: 57.4%) (+0.9)	11.8% (+0.0)	4.7 (+0.3)	1.3% (+0.2)	3.92 (+1.0)	47.9% (▲10.2)	1.35 (+0.31)			
奈良県	1,330	18.3% (▲6.5)	(参考: 62.1%) (+6.9)	23.5% (+17.6)	9.9 (▲5.2)	3.3% (▲0.8)	5.26 (▲3.5)	49.2% (▲8.1)	0.60 (▲0.55)			
和歌山県	925	3.2% (▲0.9)	(参考: 100.0%) (+0.0)	3.8% (+0.0)	1.6 (▲0.4)	1.0% (+0.3)	1.19 (▲0.8)	9.5% (▲3.0)	0.61 (▲0.51)			
鳥取県	556	8.2% (+6.7)	(参考: 96.4%) (+63.1)	0.0% (+0.0)	5.0 (+2.3)	1.9% (+1.9)	2.34 (▲0.5)	13.6% -	0.81 -			
島根県	674	0.6% (▲0.3)	(参考: 100.0%) (+0.0)	0.0% (▲4.0)	0.3 (▲0.1)	0.2% (▲0.0)	0.45 (+0.1)	100.0% (+0.0)	1.50 -			
岡山県	1,890	2.6% (▲2.2)	(参考: 59.1%) (▲36.9)	1.7% (▲5.2)	1.2 (▲0.2)	0.2% (▲0.0)	0.74 (+0.4)	75.0% (+47.2)	2.00 (+1.56)			
広島県	2,804	8.3% (▲5.7)	(参考: 60.6%) (▲5.8)	17.2% (▲5.2)	3.5 (▲1.8)	0.6% (▲0.2)	1.71 (▲0.2)	43.1% (+16.1)	0.89 (+0.49)			
山口県	1,358	8.2% (▲1.3)	(参考: 95.6%) (+9.3)	2.1% (▲2.1)	3.3 (▲1.0)	1.8% (+0.0)	1.77 (▲0.1)	18.5% (▲2.2)	0.92 (+0.03)			
徳島県	728	1.7% (▲0.4)	(参考: 100.0%) (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.5 (▲0.1)	0.2% (▲0.5)	0.27 (+0.0)	0.0% (+0.0)	1.00 (+0.50)			
香川県	956	4.3% (▲2.6)	(参考: 76.9%) (▲3.1)	7.1% (+7.1)	1.4 (▲0.7)	0.2% (▲0.3)	0.94 (▲0.3)	62.5% (+12.5)	0.75 (▲1.25)			
愛媛県	1,339	1.8% (▲0.9)	(参考: 100.0%) (+25.0)	10.5% (▲5.3)	0.3 (▲0.3)	0.4% (▲0.0)	0.07 (▲0.2)	0.0% (▲100.0)	0.25 (▲0.55)			
高知県	698	19.8% (▲4.3)	62.2% (+9.8)	6.9% (▲5.2)	10.6 (▲4.7)	3.1% (▲1.3)	6.59 (▲2.4)	35.9% (▲1.6)	0.73 (▲0.18)			
福岡県	5,104	9.7% (▲3.6)	(参考: 39.7%) (▲7.2)	6.5% (+0.0)	6.8 (▲1.1)	1.7% (▲0.2)	4.53 (+0.3)	52.2% (+7.0)	1.08 (+0.15)			
佐賀県	815	4.1% (+0.5)	(参考: 83.3%) (▲9.5)	0.0% (+0.0)	2.2 (+0.5)	1.3% (+0.1)	1.72 (+1.3)	70.0% (+15.5)	4.67 (+4.39)			
長崎県	1,327	5.9% (▲1.9)	(参考: 42.4%) (+1.6)	0.0% (+0.0)	4.4 (▲1.7)	1.3% (+0.1)	1.96 (▲3.1)	18.6% (▲13.3)	0.39 (▲1.17)			
熊本県	1,748	3.5% (▲4.6)	(参考: 65.6%) (▲13.4)	1.8% (▲7.1)	1.8 (▲1.7)	0.8% (▲0.8)	0.51 (▲0.8)	23.5% (▲8.0)	0.39 (▲0.18)			
大分県	1,135	3.0% (▲2.7)	(参考: 100.0%) (+0.0)	0.0% (+0.0)	1.1 (▲1.1)	0.2% (▲0.5)	0.79 (+0.5)	0.0% (▲18.8)	3.00 (+2.79)			
宮崎県	1,073	2.6% (▲1.0)	(参考: 38.1%) (▲1.2)	0.0% (+0.0)	2.0 (▲0.7)	0.8% (+0.3)	1.21 (▲0.8)	23.8% (▲17.9)	0.59 (▲1.61)			
鹿児島県	1,602	7.8% (▲2.1)	(参考: 62.3%) (▲21.7)	2.4% (+0.0)	3.3 (+0.2)	1.2% (+0.3)	2.37 (+0.3)	40.5% (▲0.7)	1.15 (▲0.22)			
沖縄県	1,453	41.7% (▲20.6)	38.0% (▲1.8)	62.2% (▲4.5)	53.8 (▲22.9)	3.1% (▲1.8)	24.36 (▲7.0)	46.9% (+2.3)	0.78 (▲0.08)			
全国	126,167	16.4% (▲1.4)	38.1% (▲1.3)	17.2% (▲0.3)	12.3 (▲0.6)	2.5% (+0.1)	9.68 (+1.3)	53.1% (+0.6)	1.16 (+0.13)			

注: 入院率の指標については療養者数が人口10万人あたり10人以上の場合に適用する。また、新規陽性者が、発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している旨、都道府県から報告があった場合には入院率を適用しない。このため、適用しない都道府県については(参考)としている。

- ※: 人口推計 第4表 都道府県, 男女別人口及び人口性比-総人口, 日本人人口 (2019年10月1日現在)
- ※: 確保病床利用率、入院率、療養者数は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとりまとめている。
- ※: 重症者数は、集中治療室 (ICU) 等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心肺補助 (ECMO) による管理が必要な患者数。

- ※: 陽性者数は、感染症法に基づく陽性者数の累積 (各都道府県の発表日ベース) を記載。自治体に確認を得てない暫定値であることに留意。
- ※: PCR検査件数は、厚生労働省において把握した、地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等及び医療機関における検査件数の合計値。
- ※: 各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週差が前週公表の値との差と一致しない場合がある。
- ※: ⑤と⑥について、分母が0の場合は、「-」と記載している。
- ※: 2020年12月18日以降に新たに厚生労働省が公表している岡山県のアンリンク割合については、木曜日から水曜日までの新規感染者について翌週に報告されたものであり、他の都道府県と対象の期間が異なる点に留意。

(参考) 都道府県の医療提供体制等の状況(医療提供体制等の負荷・感染の状況)

資料2-1-2 ②

		【 医療提供体制等の負荷 】				【 感染の状況 】			【 参考 】	
	人口	①医療の逼迫具合		②療養者数	③PCR陽性率 (最近1週間)	④新規陽性者数 (最近1週間)	⑤感染経路不明割合	直近1週間 とその前1週間の比		
		入院医療	重症者用病床							
時点	2019.10	7/12	7/12	7/12	~7/4(1W)	~7/13(1W)	~7/2(1W)	~7/13(1W)		
単位	千人	%(前週差)	%(前週差)	%(前週差)	対人口10万人 (前週差)	対人口10万人 (前週差)	%(前週差)	(前週差)		
ステージⅢの指標		20%	40%	20%	20	5%	15	50%	-	
ステージⅣの指標		50%	25%	50%	30	10%	25	50%	-	
北海道	5,250	13.8% (▲2.1)	48.0% (▲4.3)	7.3% (▲4.6)	11.5 (▲0.7)	1.7% (+0.2)	7.73 (+3.3)	46.9% (+5.1)	1.73	(+0.72)
埼玉県	7,350	24.6% (+4.3)	(参考: 28.5%) (+0.4)	13.9% (+1.2)	19.6 (+3.2)	1.4% (+0.2)	14.44 (+3.2)	48.9% (▲1.9)	1.28	(+0.01)
千葉県	6,259	34.4% (+5.5)	(参考: 31.7%) (+0.3)	15.8% (+0.0)	22.0 (+3.3)	4.9% (+2.3)	19.17 (+3.3)	57.5% (+1.0)	1.21	(▲0.01)
東京都	13,921	30.8% (+3.2)	31.6% (▲2.3)	43.3% (+4.6)	44.3 (+8.8)	3.3% (▲0.0)	39.75 (+9.5)	60.4% (▲1.2)	1.31	(+0.10)
神奈川県	9,198	29.9% (+6.6)	(参考: 22.1%) (▲1.8)	19.1% (+3.0)	26.3 (+7.4)	6.2% (+0.2)	24.07 (+7.7)	60.4% (▲0.3)	1.47	(+0.41)
愛知県	7,552	13.9% (▲0.8)	(参考: 32.3%) (▲3.8)	11.0% (+2.7)	8.6 (+0.5)	3.3% (▲1.0)	5.83 (+1.5)	54.5% (+10.8)	1.34	(+0.52)
京都府	2,583	12.9% (+3.0)	(参考: 34.0%) (▲1.5)	4.7% (▲1.2)	7.3 (+1.9)	1.9% (+0.1)	6.43 (+1.9)	45.5% (▲19.7)	1.41	(+0.18)
大阪府	8,809	17.8% (+2.5)	31.6% (▲3.5)	12.8% (▲1.7)	18.2 (+4.1)	1.7% (+0.3)	12.67 (+3.7)	60.4% (+0.2)	1.41	(+0.26)
兵庫県	5,466	13.3% (+0.4)	(参考: 45.4%) (▲12.2)	11.8% (+0.0)	6.2 (+1.5)	1.3% (+0.2)	5.67 (+2.2)	47.9% (▲10.2)	1.65	(+0.29)
福岡県	5,104	9.8% (+0.1)	(参考: 32.5%) (▲8.8)	4.5% (▲2.0)	8.4 (+1.9)	1.7% (▲0.2)	6.41 (+2.2)	52.2% (+7.0)	1.51	(+0.50)
沖縄県	1,453	35.1% (▲6.6)	40.5% (+2.5)	63.8% (+1.6)	42.5 (▲11.3)	3.1% (▲1.8)	23.06 (▲3.9)	46.9% (+2.3)	0.86	(+0.05)

注: 入院率の指標については療養者数が人口10万人あたり10人以上の場合に適用する。また、新規陽性者が、発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している旨、都道府県から報告があった場合には入院率を適用しない。このため、適用しない都道府県については(参考)としている。なお、入院率の適用の判断は、7月9日時点のもの。

※: 人口推計 第4表 都道府県、男女別人口及び人口性比-総人口、日本人人口(2019年10月1日現在)

※: 療養者数は、厚生労働省で把握した数値による。

※: 重症者数は、集中治療室(ICU)等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心肺補助(ECMO)による管理が必要な患者数。

※: 確保病床利用率は、厚生労働省で把握した2021年7月12日時点(北海道、京都府、兵庫県、福岡県の入院患者数・重症患者数は2021年7月11日時点)の数値を用いている。入院患者数、重症患者数には、確保病床に入院している者以外の者も含まれている。

また、確保病床利用率の前週差は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」(令和3年7月9日公表)との差である。

※: 陽性者数は、感染症法に基づく陽性者数の累積(各都道府県の発表日ベース)を記載。自治体に確認を得てない暫定値であることに留意。

※: PCR検査件数は、厚生労働省において把握した、地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等及び医療機関における検査件数の合計値。

※: 各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週差が前週公表の値との差と一致しない場合がある。

※: ⑤と⑥について、分母が0の場合は、「-」と記載している。

※: 2020年12月18日以降に新たに厚生労働省が公表している岡山県のアンリンク割合については、木曜日から水曜日までの新規感染者について翌週に報告されたものであり、他の都道府県と対象の期間が異なる点に留意。

新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査結果（7月7日0時時点）

令和3年7月9日公表

都道府県名	(1) 療養者数 (注1)	(2) ①-1 入院者数	(2) ①-2 うち、確保 病床に入院 している者	病床数					(2) ②-1 うち重症者 数	(2) ②-2 うち、確保 病床に入院 している重 症者	重症者用病床数				(3) 宿泊 療養者数	居室数				(4) ①-1 自宅療養者 等数	(4) ①-2 うち、社会 福祉施設等 療養者数	(5) ①-1 療養先調整 中の人数 (注10)	(5) ①-2 うち、入院 先調整中の 人数 (注11)
				現フェーズ/ 最終フェーズ (注2)	即応病床数 (注3)	確保病床数 (注4)	確保病床 使用率 (注5)	入院率 (注6)			現フェーズ/ 最終フェーズ (注2)	即応病床数 (注3)	確保病床数 (注4)	確保病床 使用率 (注5)		現フェーズ/ 最終フェーズ (注2)	即応居室数 (注7)	確保居室数 (注8)	確保居室 使用率 (注9)				
				01 北海道	603	333	333	3 / 3			2,088	2,088	16%	55%		18	18	3 / 3	151				
02 青森県	61	22	22	2 / 4	247	261	8%	36%	0	0	2 / 4	31	31	0%	11	4 / 4	310	310	4%	24	0	4	0
03 岩手県	84	66	66	2 / 3	250	350	19%	79%	1	1	2 / 3	30	45	2%	16	2 / 3	85	381	4%	0	0	2	2
04 宮城県	102	33	33	5 / 5	359	361	9%	32%	2	2	5 / 5	45	45	4%	48	5 / 5	850	850	6%	12	0	9	0
05 秋田県	62	24	24	4 / 6	135	230	10%	39%	1	1	4 / 6	13	22	5%	35	4 / 6	304	304	12%	0	0	3	2
06 山形県	14	14	14	3 / 4	237	237	6%	100%	1	1	3 / 4	26	26	4%	0	3 / 4	134	134	0%	0	0	0	0
07 福島県	163	142	142	4 / 4	496	496	29%	87%	4	4	4 / 4	45	49	8%	11	4 / 4	277	277	4%	1	0	9	6
08 茨城県	231	105	105	2 / 4	300	600	18%	45%	5	5	2 / 4	40	70	7%	67	4 / 6	300	630	11%	59	0	0	0
09 栃木県	217	101	101	2 / 3	371	448	23%	47%	8	8	2 / 3	27	46	17%	74	1 / 3	557	638	12%	25	0	17	0
10 群馬県	37	25	25	2 / 4	284	459	5%	68%	3	3	2 / 4	21	76	4%	12	2 / 4	429	1,300	1%	0	0	0	0
11 埼玉県	1,202	338	338	4 / 4	1,666	1,666	20%	28%	21	21	4 / 4	165	165	13%	320	3 / 4	1,237	1,986	16%	272	0	272	0
12 千葉県	1,172	376	368	2 / 3	1,275	1,275	29%	32%	17	16	2 / 3	101	101	16%	362	2 / 3	1,012	1,012	36%	359	0	75	0
13 東京都	4,935	1,677	1,671	4 / 4	5,594	6,044	28%	34%	467	467	4 / 4	1,207	1,207	39%	1,412	4 / 4	2,800	2,800	50%	1,099	1	747	78
14 神奈川県	1,823	416	416	3 / 4	1,530	1,790	23%	23%	32	32	3 / 4	162	199	16%	382	1 / 1	1,657	1,657	23%	956	1	69	0
15 新潟県	51	35	35	2 / 3	555	555	6%	69%	0	0	2 / 3	112	112	0%	4	2 / 3	300	300	1%	7	0	5	5
16 富山県	19	19	19	1 / 4	83	500	4%	100%	1	1	1 / 4	12	36	3%	0	1 / 4	250	250	0%	0	0	0	0
17 石川県	54	40	40	1 / 3	153	270	15%	74%	1	1	1 / 3	32	37	3%	10	1 / 3	560	560	2%	0	0	4	0
18 福井県	118	110	110	4 / 5	239	304	36%	93%	1	1	4 / 5	22	24	4%	8	4 / 5	95	146	5%	0	0	0	0
19 山梨県	54	37	37	3 / 4	210	305	12%	69%	0	0	3 / 4	24	24	0%	13	3 / 4	449	449	3%	4	4	0	0
20 長野県	41	27	27	2 / 3	342	490	6%	66%	0	0	2 / 3	34	42	0%	6	2 / 3	523	523	1%	8	0	0	0
21 岐阜県	59	50	50	1 / 3	326	783	6%	85%	3	3	1 / 3	53	59	5%	6	1 / 3	265	1,097	1%	0	0	3	0
22 静岡県	244	94	94	4 / 5	595	606	16%	39%	6	6	4 / 5	57	58	10%	53	4 / 5	636	736	7%	64	22	33	0
23 愛知県	578	228	222	4 / 4	1,515	1,515	15%	39%	12	12	4 / 4	146	146	8%	65	4 / 4	1,109	1,300	5%	233	0	52	0
24 三重県	65	50	50	3 / 3	436	436	11%	77%	3	3	3 / 3	50	50	6%	7	3 / 3	240	240	3%	8	0	0	0
25 滋賀県	61	37	37	4 / 4	372	374	10%	61%	5	5	4 / 4	52	52	10%	18	4 / 4	400	400	5%	5	0	1	0
26 京都府	148	49	49	3 / 3	498	498	10%	33%	5	5	3 / 3	86	86	6%	50	3 / 3	826	826	6%	49	0	0	0
27 大阪府	1,247	437	437	3 / 4	2,191	2,847	15%	35%	134	134	3 / 4	822	922	15%	235	2 / 4	1,878	3,986	6%	367	0	208	0
28 兵庫県	258	148	148	6 / 6	1,151	1,151	13%	57%	16	16	6 / 6	136	136	12%	60	6 / 6	1,475	1,475	4%	31	0	19	7
29 奈良県	132	82	82	2 / 3	372	448	18%	62%	8	8	2 / 3	27	34	24%	24	2 / 3	711	711	3%	0	0	26	0
30 和歌山県	15	15	15	2 / 3	400	470	3%	100%	1	1	2 / 3	26	26	4%	0	2 / 3	137	137	0%	0	0	0	0
31 鳥取県	28	27	27	2 / 3	264	328	8%	96%	0	0	2 / 3	44	47	0%	0	1 / 1	141	141	0%	0	0	1	1
32 島根県	2	2	2	1 / 5	115	324	1%	100%	0	0	1 / 5	5	25	0%	0	1 / 5	98	98	0%	0	0	0	0
33 岡山県	22	13	13	3 / 4	395	492	3%	59%	1	1	3 / 4	47	58	2%	8	3 / 4	404	404	2%	1	0	0	0
34 広島県	99	60	60	3 / 4	510	726	8%	61%	10	10	3 / 4	48	58	17%	16	3 / 4	843	1,748	1%	20	11	3	0
35 山口県	45	43	43	3 / 4	427	527	8%	96%	1	1	3 / 4	30	47	2%	1	3 / 4	483	1,044	0%	0	0	1	1
36 徳島県	4	4	4	3 / 4	234	234	2%	100%	0	0	3 / 4	25	25	0%	0	3 / 4	276	276	0%	0	0	0	0
37 香川県	13	10	10	2 / 3	175	230	4%	77%	2	2	2 / 3	20	28	7%	3	2 / 3	201	201	1%	0	0	0	0
38 愛媛県	4	4	4	3 / 3	218	218	2%	100%	2	2	3 / 3	19	19	11%	0	3 / 3	233	233	0%	0	0	0	0
39 高知県	74	46	46	5 / 5	232	232	20%	62%	5	4	5 / 5	24	58	7%	22	5 / 5	140	221	10%	0	0	6	3
40 福岡県	345	137	137	4 / 5	1,291	1,413	10%	40%	13	13	4 / 5	188	201	6%	122	4 / 5	2,106	2,106	6%	64	0	22	0
41 佐賀県	18	15	15	1 / 5	172	367	4%	83%	0	0	1 / 5	8	48	0%	3	1 / 4	472	472	1%	0	0	0	0
42 長崎県	59	25	25	3 / 4	258	421	6%	42%	0	0	3 / 4	20	38	0%	25	3 / 4	406	406	6%	9	0	0	0
43 熊本県	32	21	21	1 / 2	506	605	3%	66%	1	1	1 / 2	51	56	2%	9	2 / 2	680	680	1%	2	0	0	0
44 大分県	13	13	13	1 / 4	438	438	3%	100%	0	0	1 / 4	43	43	0%	0	1 / 4	150	1,014	0%	0	0	0	0
45 宮崎県	21	8	8	1 / 3	185	307	3%	38%	0	0	1 / 3	21	33	0%	6	1 / 3	50	300	2%	5	0	2	0
46 鹿児島県	53	33	33	3 / 4	288	421	8%	62%	1	1	3 / 4	19	41	2%	16	3 / 4	762	762	2%	0	0	4	0
47 沖縄県	782	297	297	5 / 5	559	713	42%	38%	46	46	5 / 5	74	74	62%	126	5 / 5	563	700	18%	241	0	118	0
合計	15,464	5,888	5,868		30,537	35,853			858	856		4,441	4,976		3,729		30,199	38,606		4,001	40	1,846	108

注1：入院者数、宿泊療養者数、自宅療養者数、療養先調整中の人数の合計

注2：病床・宿泊療養施設確保計画における現在のフェーズを記載。最終フェーズにある場合には赤色、最終フェーズの一つ前のフェーズにある場合には黄色に着色。（フェーズの設定が2つしかない都道府県については、最終フェーズに移行した場合のみ着色）

注3：現在のフェーズにおいて、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ要請があれば、即時患者受入れを行うことが可能な病床数

注4：いずれかのフェーズにおいて、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ要請があれば、患者受入れを行うことについて医療機関と調整済の病床数

注5：確保病床数に対する当該病床に入院している者（(2)①-2または(2)②-2）の割合

注6：療養者数に対する入院者数（(2)①-1）の割合

注7：現在のフェーズにおいて、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ要請があれば、即時患者受入れを行うことが可能な宿泊療養施設居室数

注8：借り上げなど契約等に基づき確保している居室数と協定等に基づき確保している居室数の合計

注9：確保居室数に対する宿泊療養者数の割合

注10：療養場所の種別を調整中の人数と、療養場所の種別は決定したが、具体的な受入先を調整中の人数の合計

注11：療養場所の種別が「入院」と決定したが、調査時点で受入れ医療機関が決定していない人数

最近の感染状況等について

新型コロナウイルス感染症の発生状況

【国内事例】括弧内は前日比

※令和3年7月13日24時時点

	PCR検査 実施人数(※3)	陽性者数	入院治療等を要する者		退院又は療養解除と なった者の数	死亡者数	確認中(※4)
				うち重症者			
国内事例(※1,※5) (チャーター便帰国 者を除く)	16,424,357 (+103,897)	821,313 (+2,378)※2	18,873 (+519)	412 (-12) ※6	786,765 (+1,764)	14,966 (+12)	1,311 (+11)
空港・海港検疫	812,819 (+3,066)※7	3,261 (+9)	131 (-1)	0	3,125 (+10)	5	0
チャーター便 帰国者事例	829	15	0	0	15	0	0
合計	17,238,005 (+106,963)	824,589 (+2,387)※2	19,004 (+518)	412 (-12) ※6	789,905 (+1,774)	14,971 (+12)	1,311 (+11)

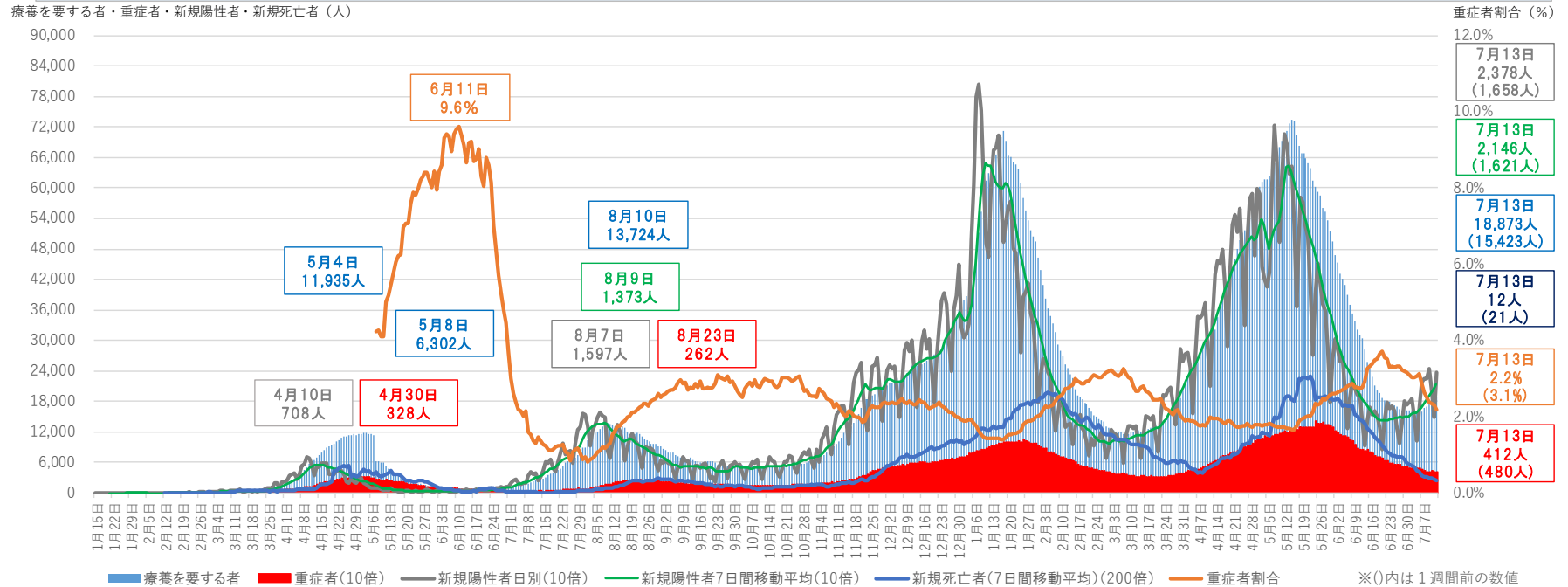
- ※1 チャーター便を除く国内事例については、令和2年5月8日公表分から（退院者及び死亡者については令和2年4月21日公表分から）、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。
- ※2 新規陽性者数は、各自治体がプレスリリースしている個別の事例数（再陽性例を含む）を積み上げて算出したものであり、前日の総数からの増減とは異なる場合がある。
- ※3 一部自治体については件数を計上しているため、実際の人数より過大となっている。件数ベースでウェブ掲載している自治体については、前日比の算出にあたって件数ベースの差分としている。前日の検査実施人数が確認できない場合については最終公表時点の数値との差分を計上している。
- ※4 PCR検査陽性者数から入院治療等を要する者の数、退院又は療養解除となった者の数、死亡者の数を減じて厚生労働省において算出したもの。なお、療養解除後に再入院した者を陽性者数として改めて計上していない県があるため、合計は一致しない。
- ※5 国内事例には、空港・海港検疫にて陽性が確認された事例を国内事例としても公表している自治体の当該事例数は含まれていない。
- ※6 一部の都道府県における重症者数については、都府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。
- ※7 令和2年7月29日から順次、抗原定量検査を実施しているため、同検査の件数を含む。なお、空港・海港検疫の検査実施人数等については、公表日の前日の0時時点で計上している。

【上陸前事例】括弧内は前日比

	PCR検査陽性者 ※【 】は無症状病原体保有者数	退院等している者	人工呼吸器又は集中治療室 に入院している者 ※4	死亡者
クルーズ船事例 (水際対策で確認) (3,711人) ※1	712 ※2 【331】	659 ※3	0 ※6	13 ※5

- ※1 那覇港出港時点の人数。うち日本国籍の者1,341人
- ※2 船会社の医療スタッフとして途中乗船し、PCR陽性となった1名は含めず、チャーター便で帰国した40名を含む。国内事例同様入院後に有症状となった者は無症状病原体保有者数から除いている。
- ※3 退院等している者659名のうち有症状364名、無症状295名。チャーター便で帰国した者を除く。
- ※4 37名が重症から軽～中等症へ改善（うち37名は退院）
- ※5 この他にチャーター便で帰国後、令和2年3月1日に死亡したとオーストラリア政府が発表した1名がいる。
- ※6 新型コロナウイルス関連疾患が軽快後、他疾患により重症の者が1名いる。

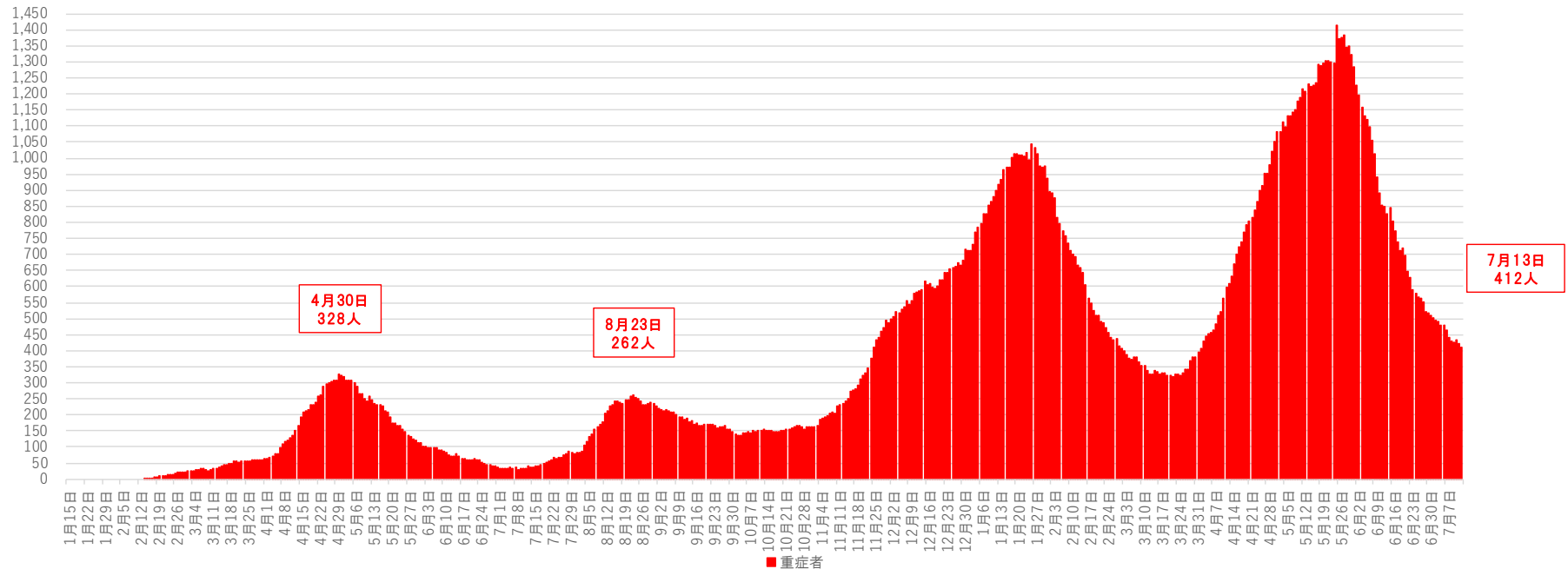
重症者・新規陽性者数等の推移



- ※1 チャーター便を除く国内事例。令和2年5月8日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。
- ※2 重症者割合は、集計方法を変更した令和2年5月8日から算出している。重症者割合は「療養を要する者」に占める重症者の割合。
- ※3 療養を要する者・重症者と新規陽性者及び新規死亡者は表示上のスケールが異なるので（新規陽性者及び重症者数は10倍、新規死亡者は200倍に拡大して表示）、比較の場合には留意が必要。
- ※4 一部の都道府県においては、重症者数については、都道府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。
- ※5 集計方法の主な見直し：令和3年5月19日公表分から沖縄県について、令和3年5月26日公表分から大阪府・京都府について、重症者の定義を従来の自治体独自の基準から国の基準に変更し集計を行った。

重症者の推移

重症者（人）



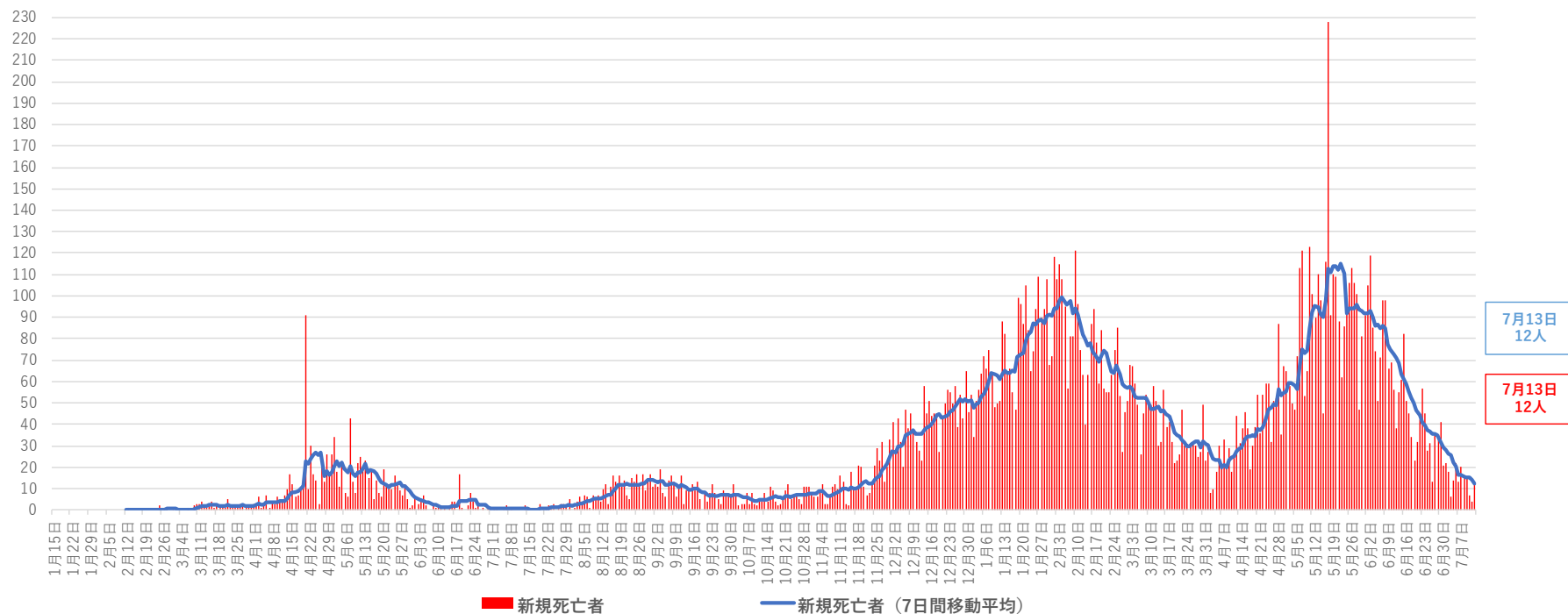
※1 チャーター便を除く国内事例。令和2年5月8日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更した。

※2 一部の都道府県においては、重症者数については、都道府県独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者は含まれていない。

※3 集計方法の主な見直し：令和3年5月19日公表分から沖縄県について、令和3年5月26日公表分から大阪府・京都府について、重症者の定義を従来の自治体独自の基準から国の基準に変更し集計を行った。

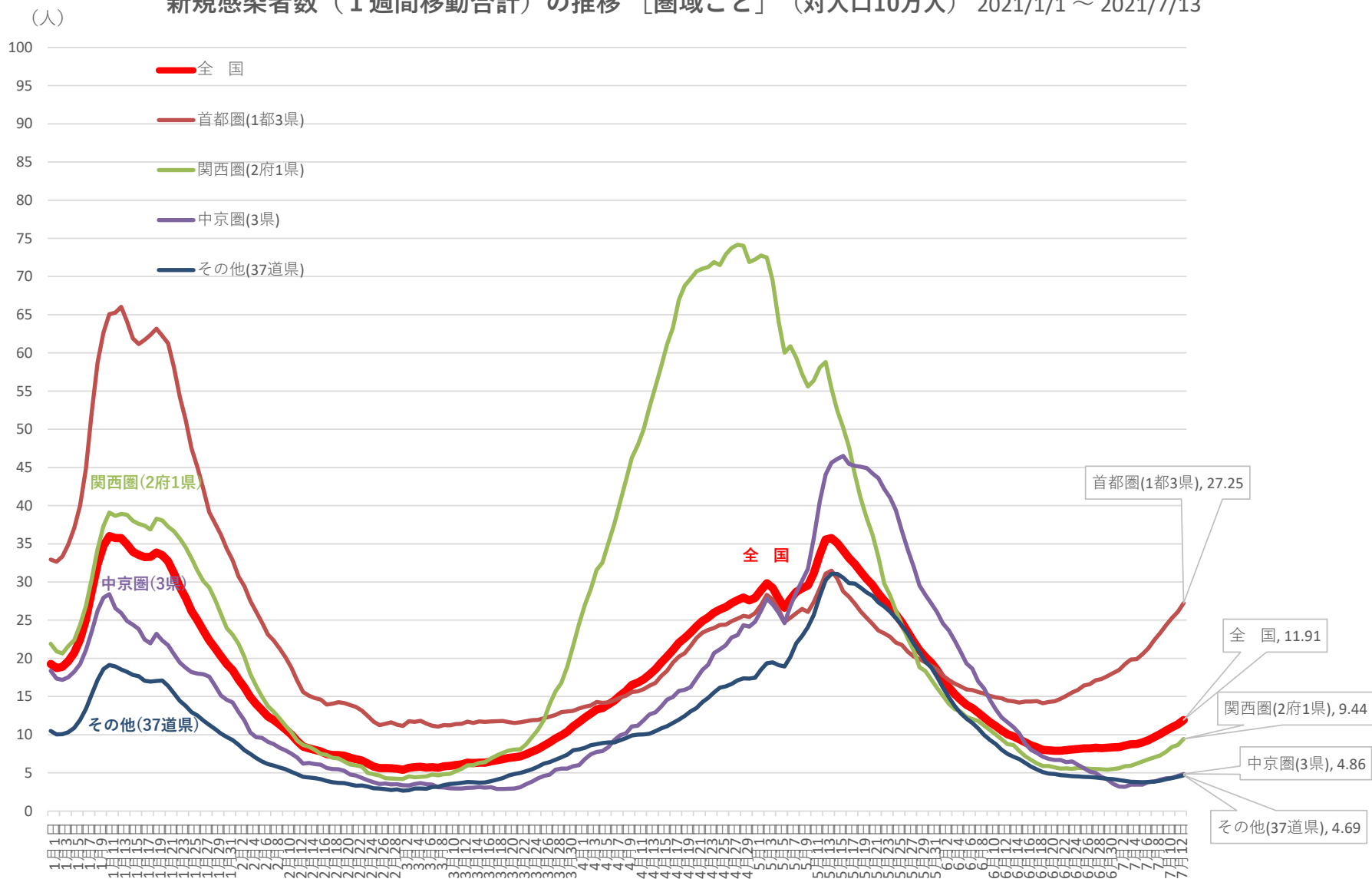
新規死亡者の推移

新規死亡者（人）



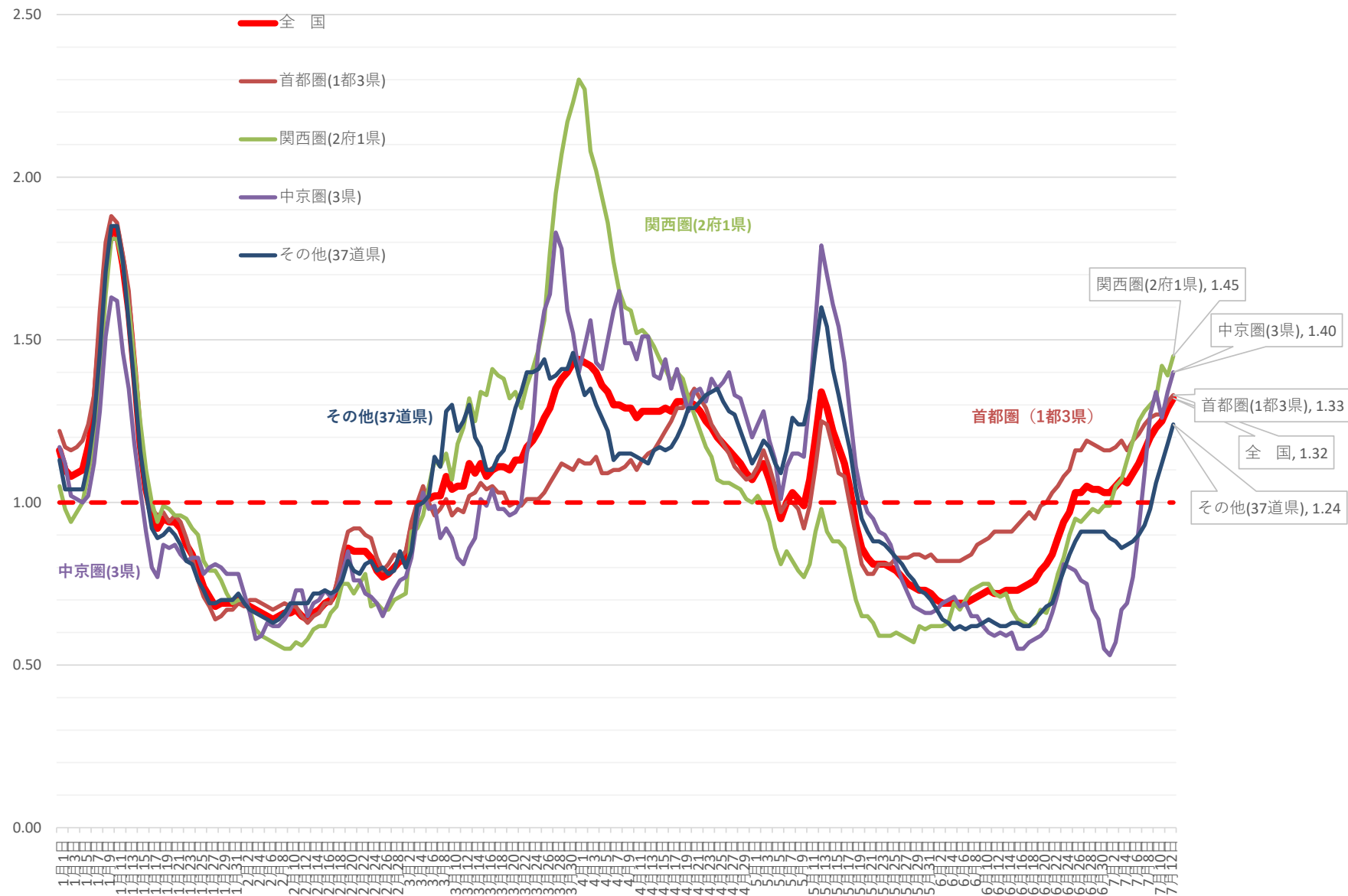
※ チャーター便を除く国内事例。令和2年4月21日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイト公表している数等を積み上げたものに変更した。

新規感染者数（1週間移動合計）の推移〔圏域ごと〕（対人口10万人） 2021/1/1～2021/7/13

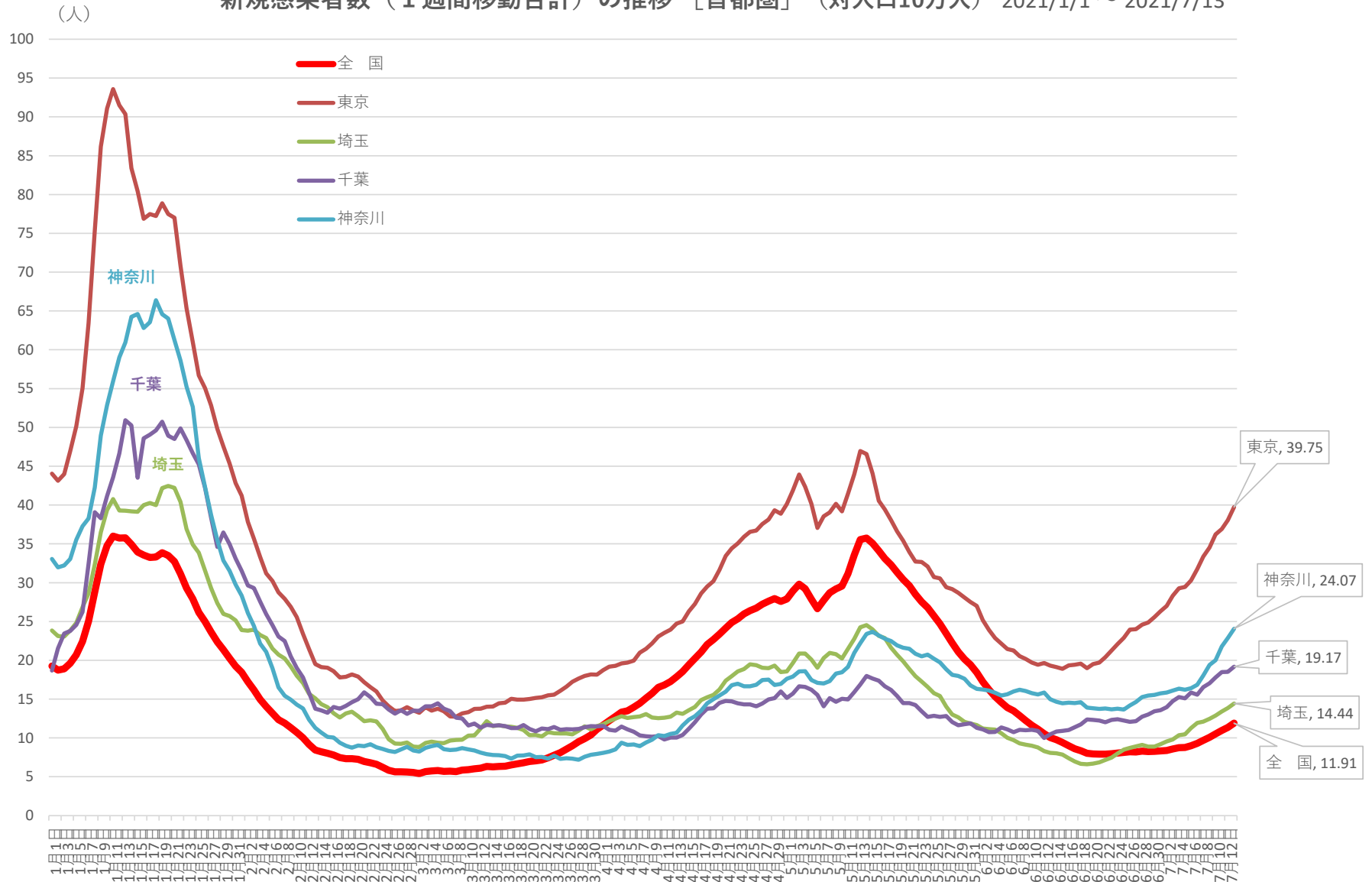


※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の1週間前との増減比〔圏域ごと〕 2021/1/1～2021/7/13

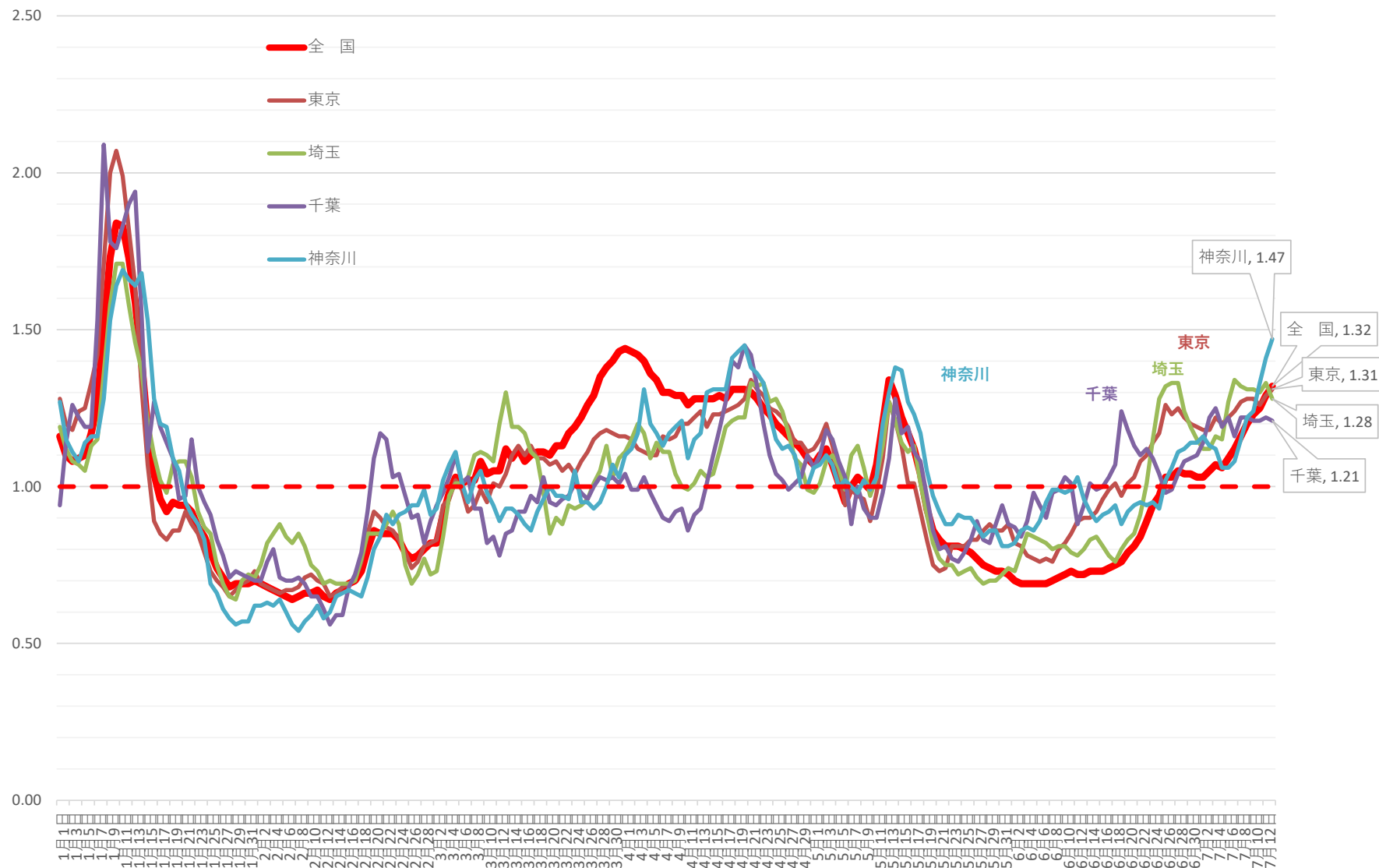


新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [首都圏]（対人口10万人） 2021/1/1～2021/7/13

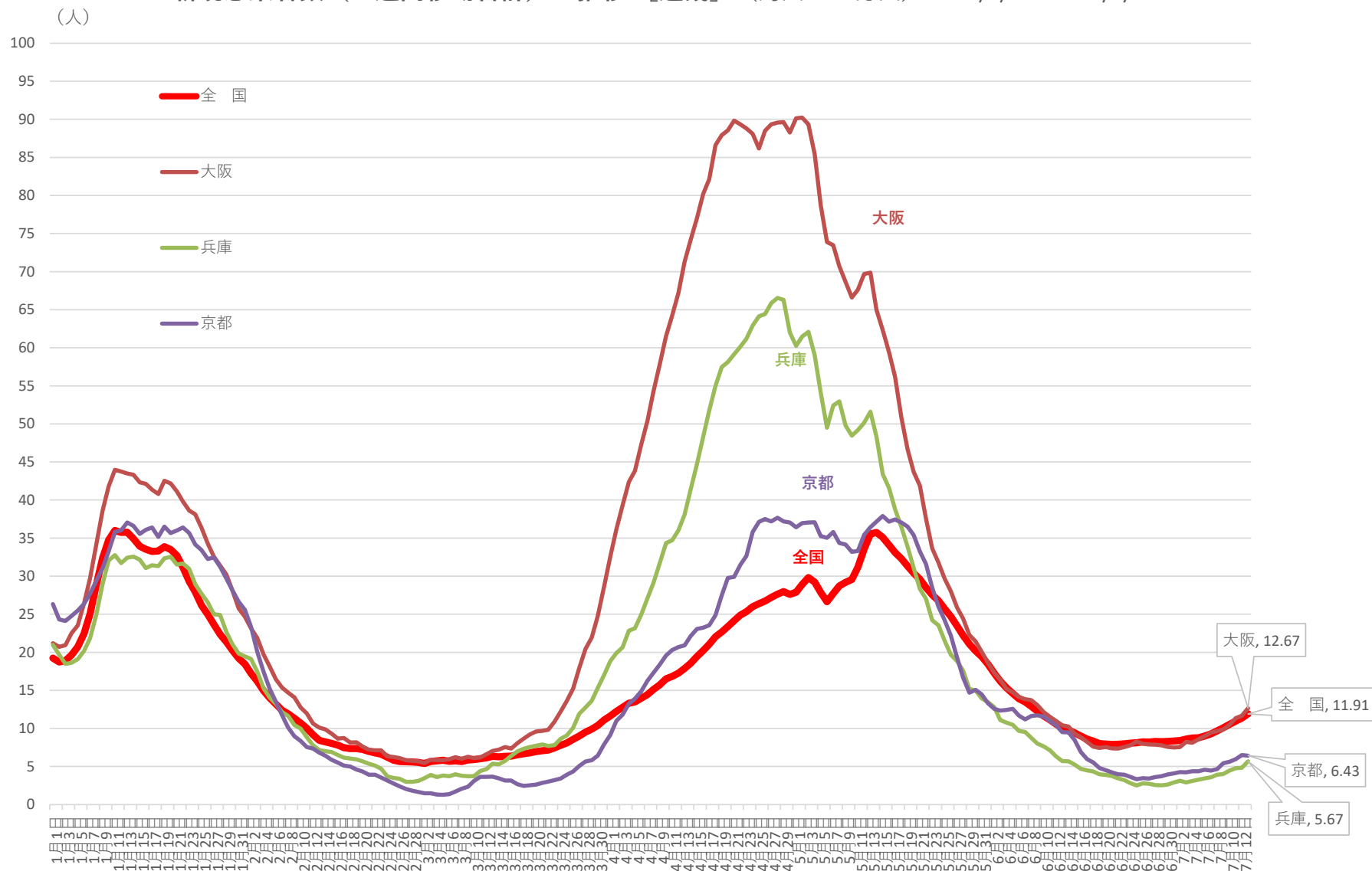


※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の1週間前との増減比〔首都圏〕 2021/1/1～2021/7/13

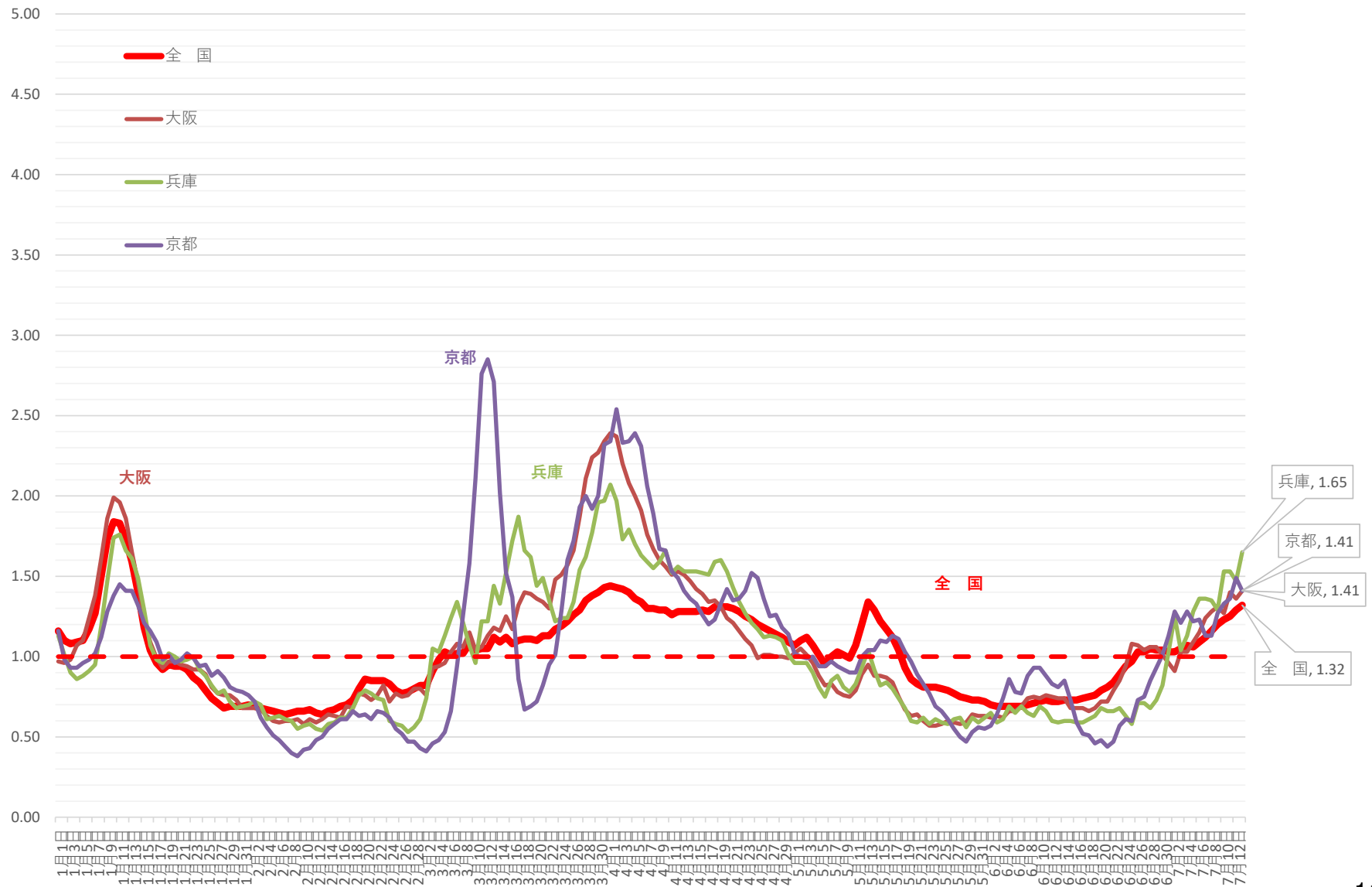


新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [近畿]（対人口10万人） 2021/1/1～2021/7/13

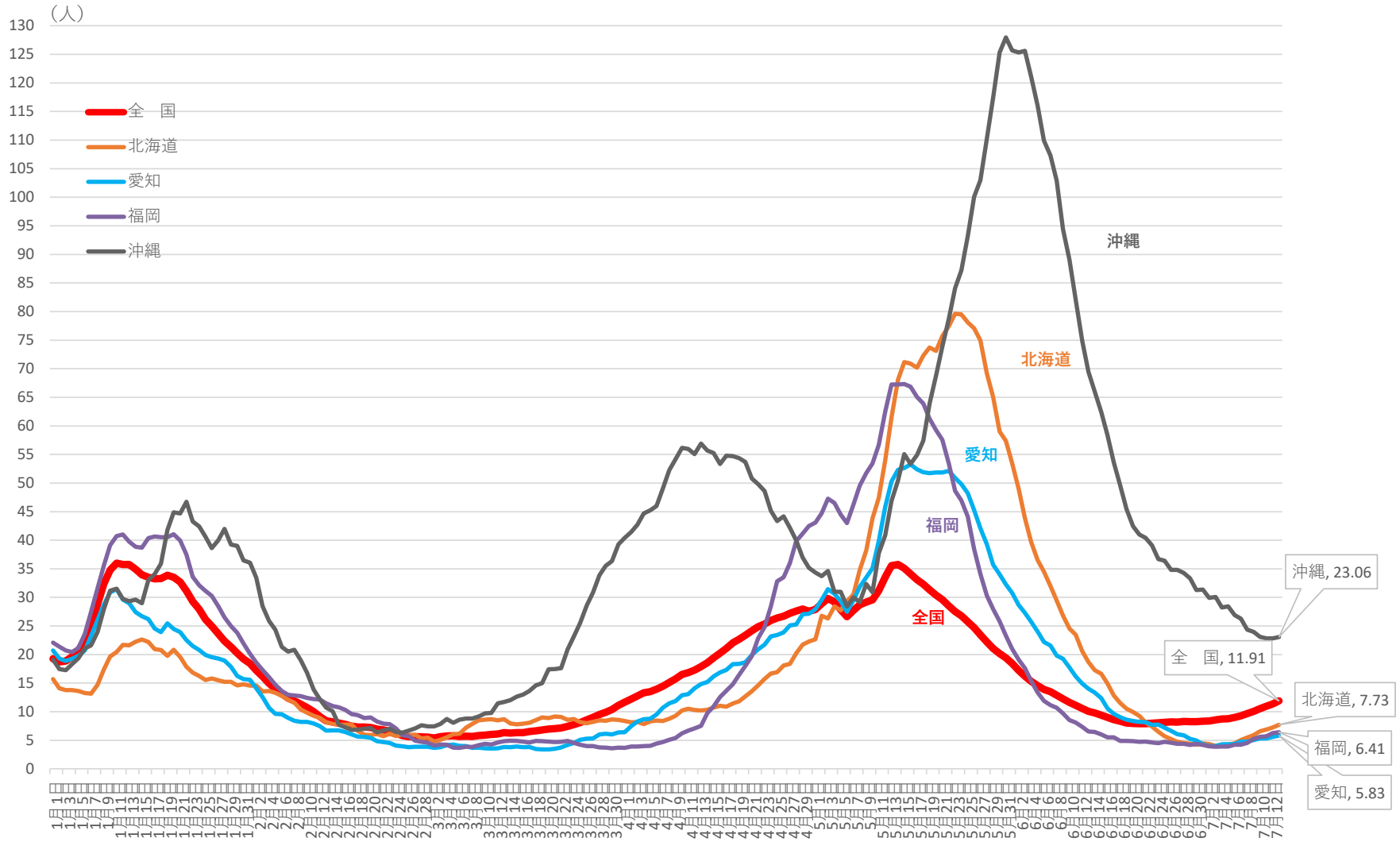


※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の1週間前との増減比 [近畿] 2021/1/1 ~ 2021/7/13

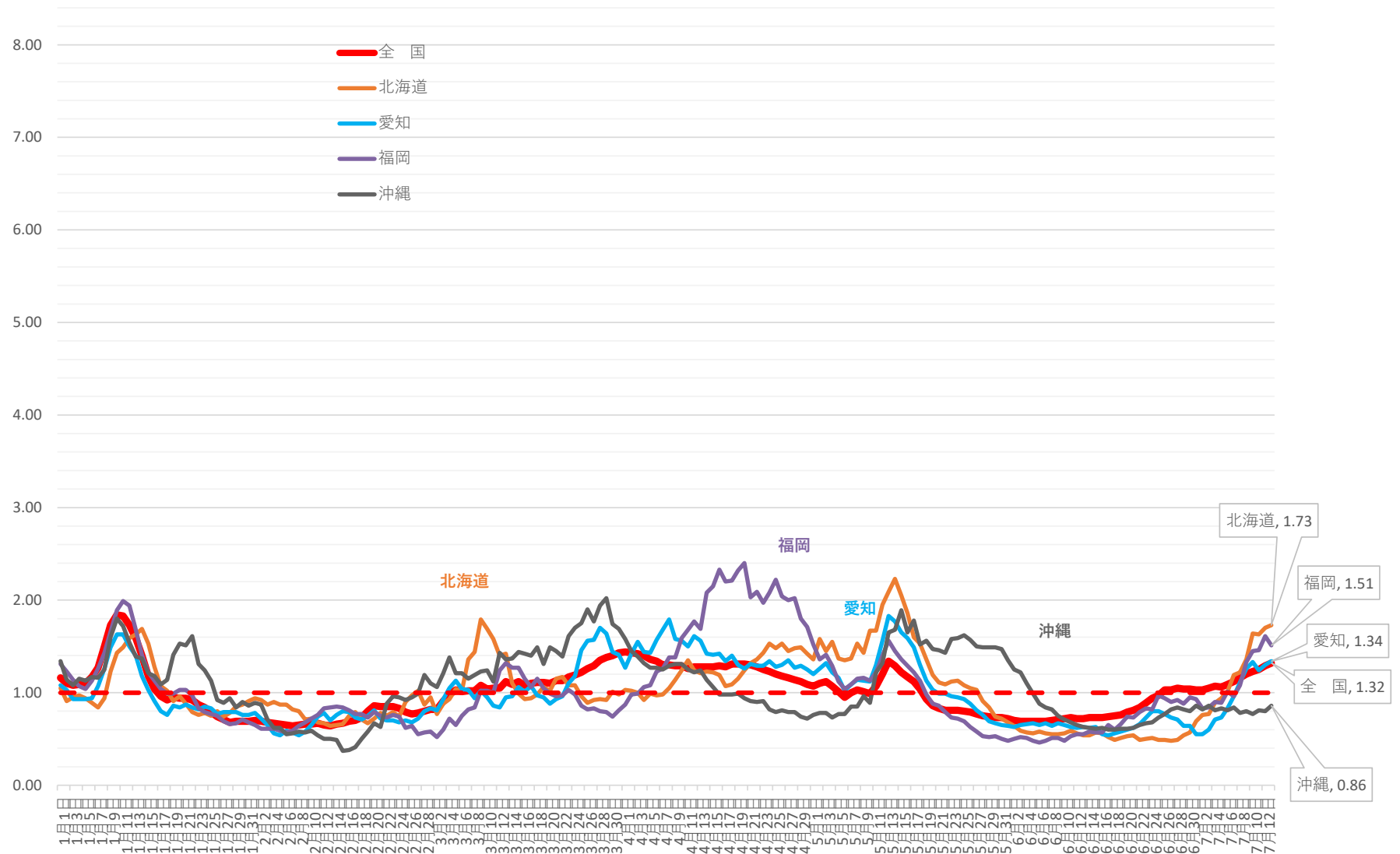


新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [その他]（対人口10万人） 2021/1/1～2021/7/13

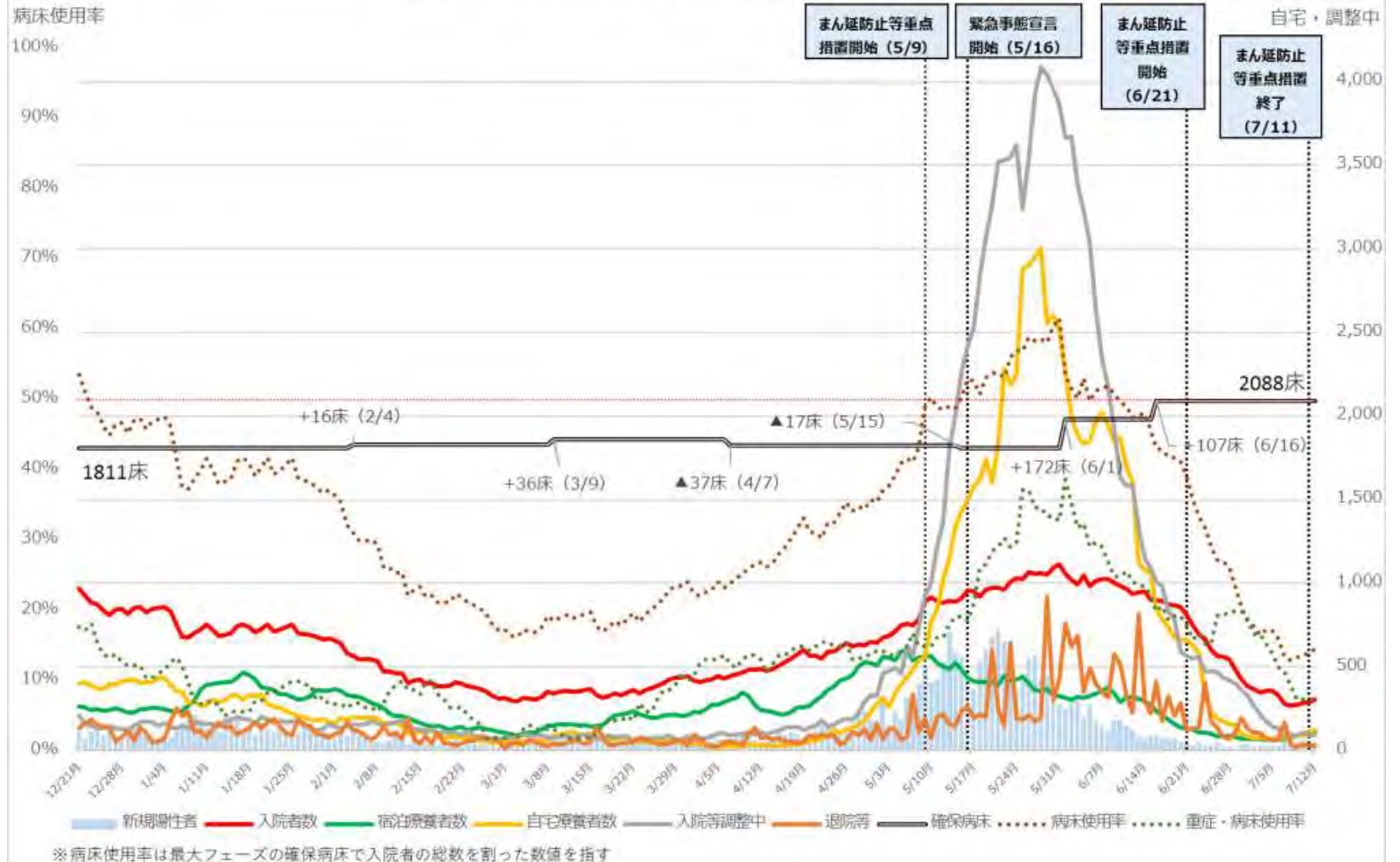


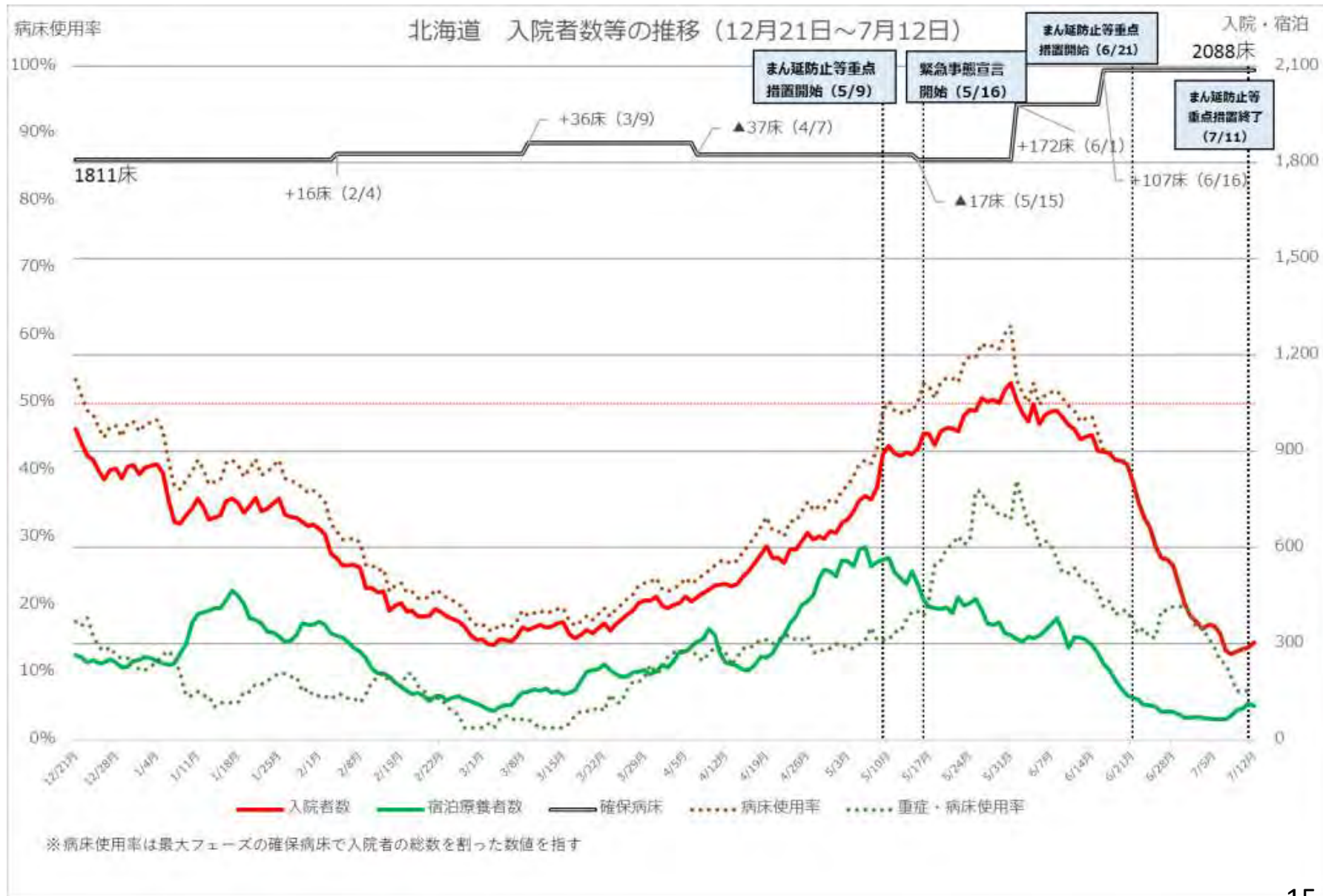
※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口(総務省)により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の1週間前との増減比 [その他] 2021/1/1 ~ 2021/7/13

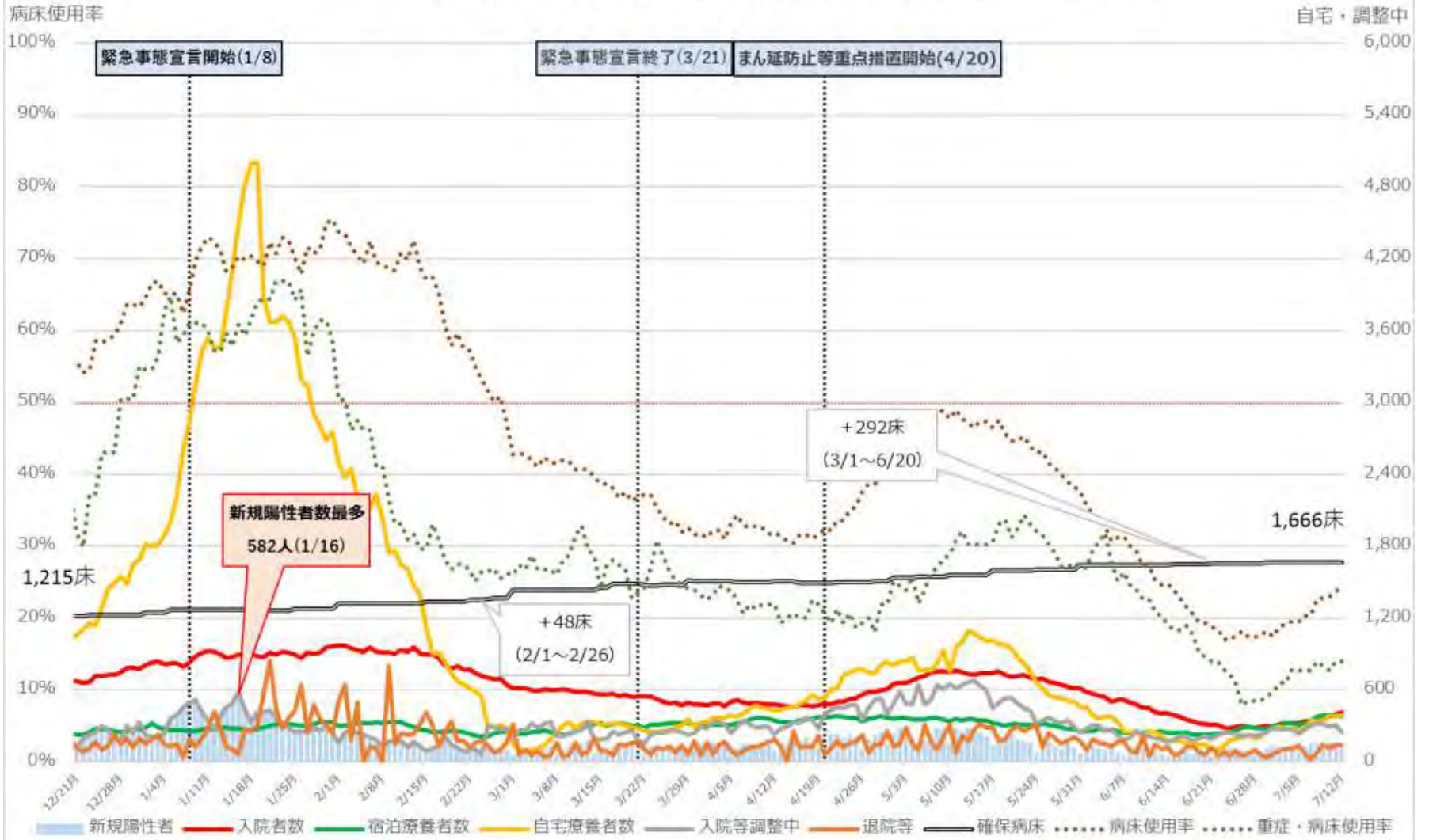


北海道 新規陽性者・入院者数等の推移（12月21日～7月12日）





埼玉県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月21日～7月12日)



※ 病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す。

埼玉県 入院者数等の推移 (12月21日～7月12日)

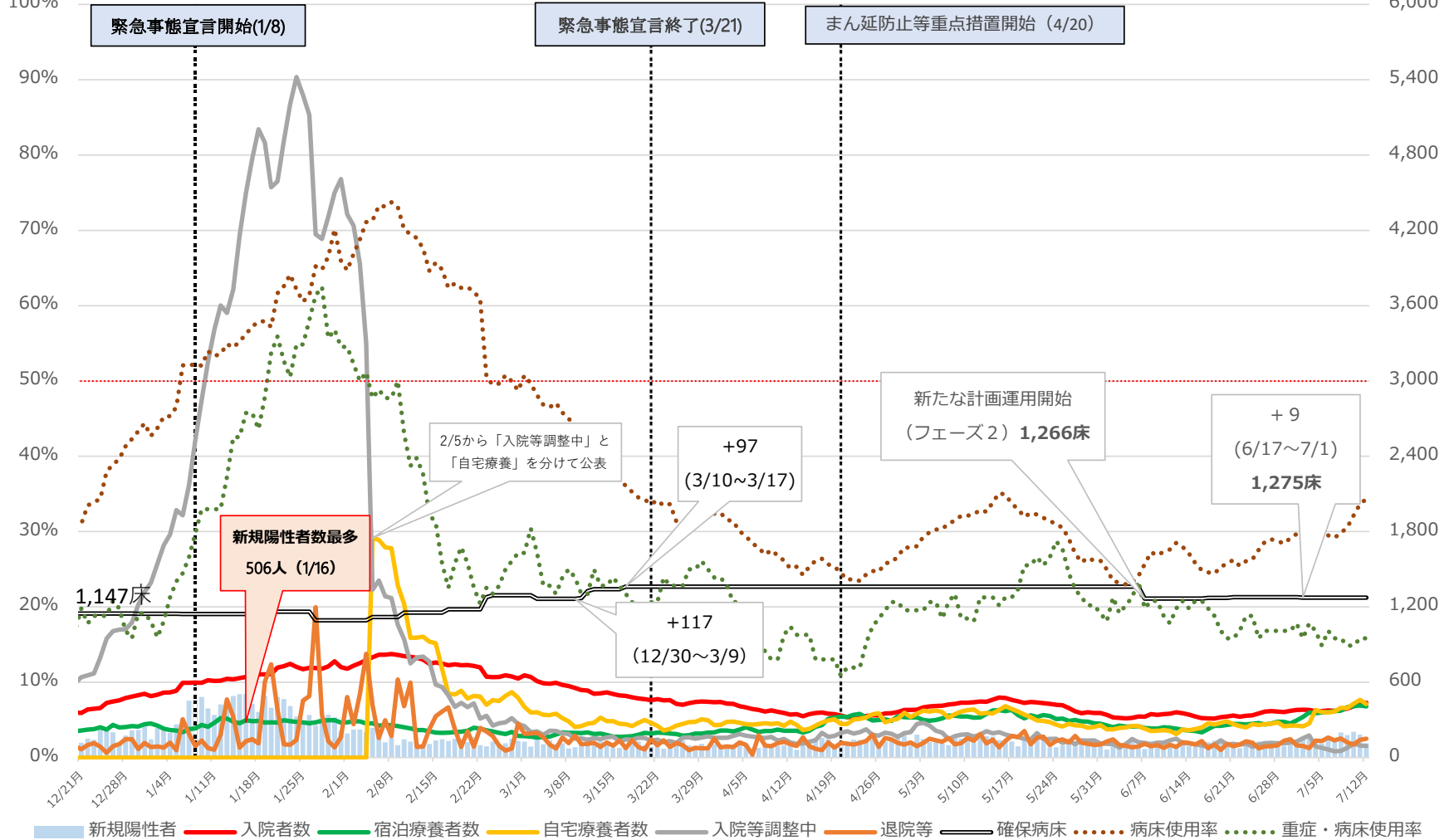


千葉県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月21日～7月12日)

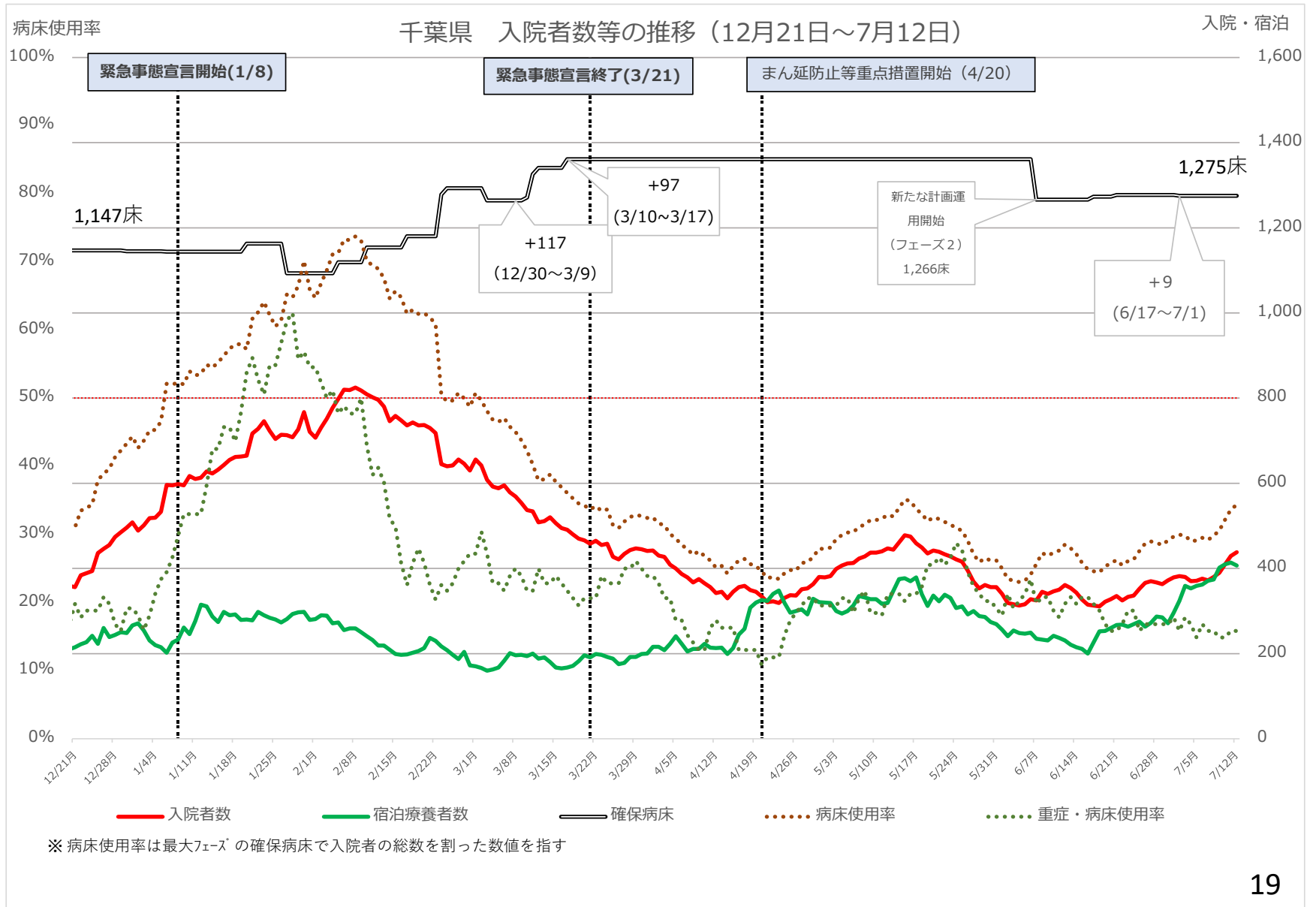
入院・宿泊

自宅・調整中
6,000

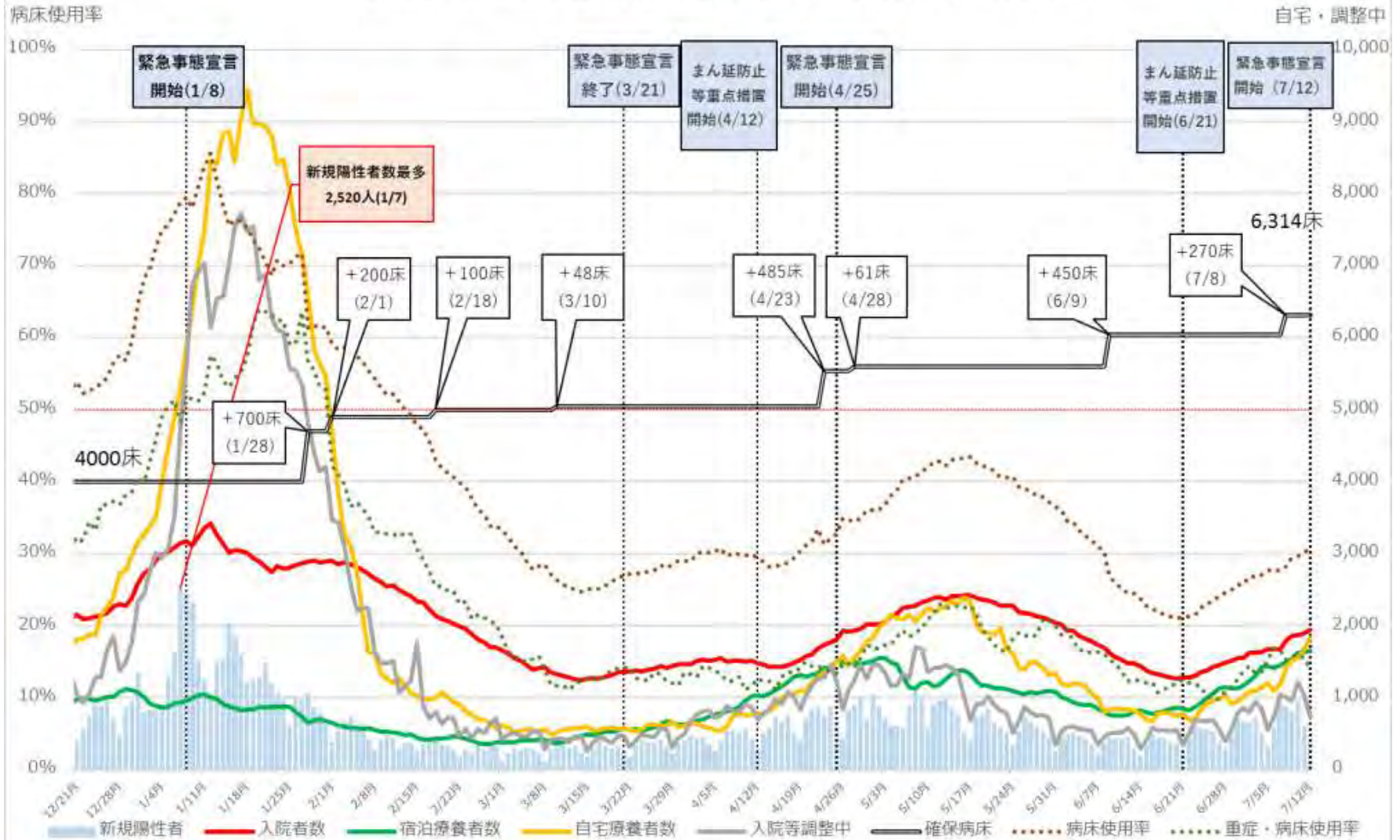
病床使用率
100%



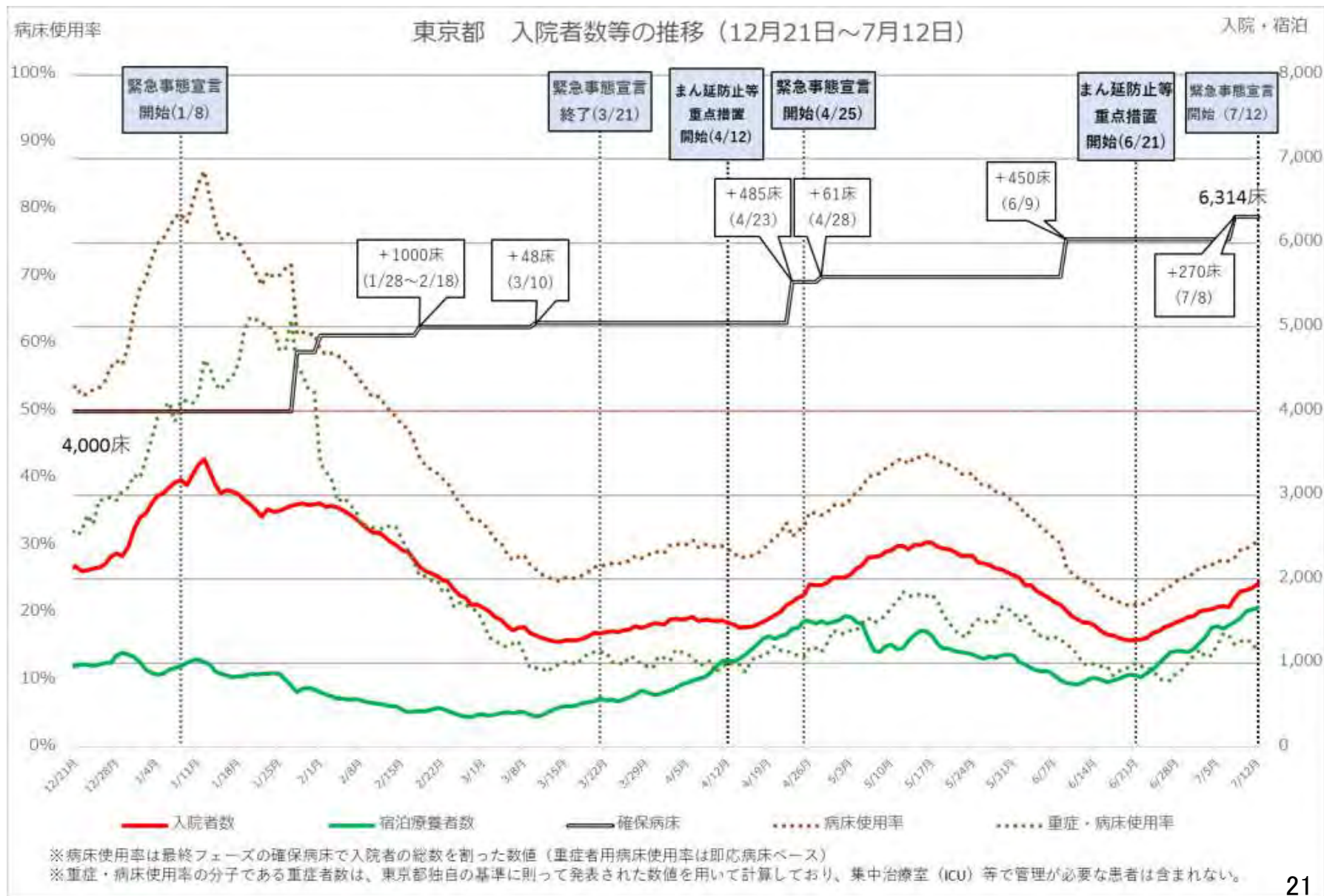
※病床使用率は確保病床ベース



東京都 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月21日～7月12日)



※ 病床使用率は最終フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値 (重症者用病床使用率は即応病床ベース)
 ※ 重症・病床使用率の分子である重症者数は、東京都独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、集中治療室 (ICU) 等で管理が必要な患者は含まれない。



神奈川県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日～7月12日)

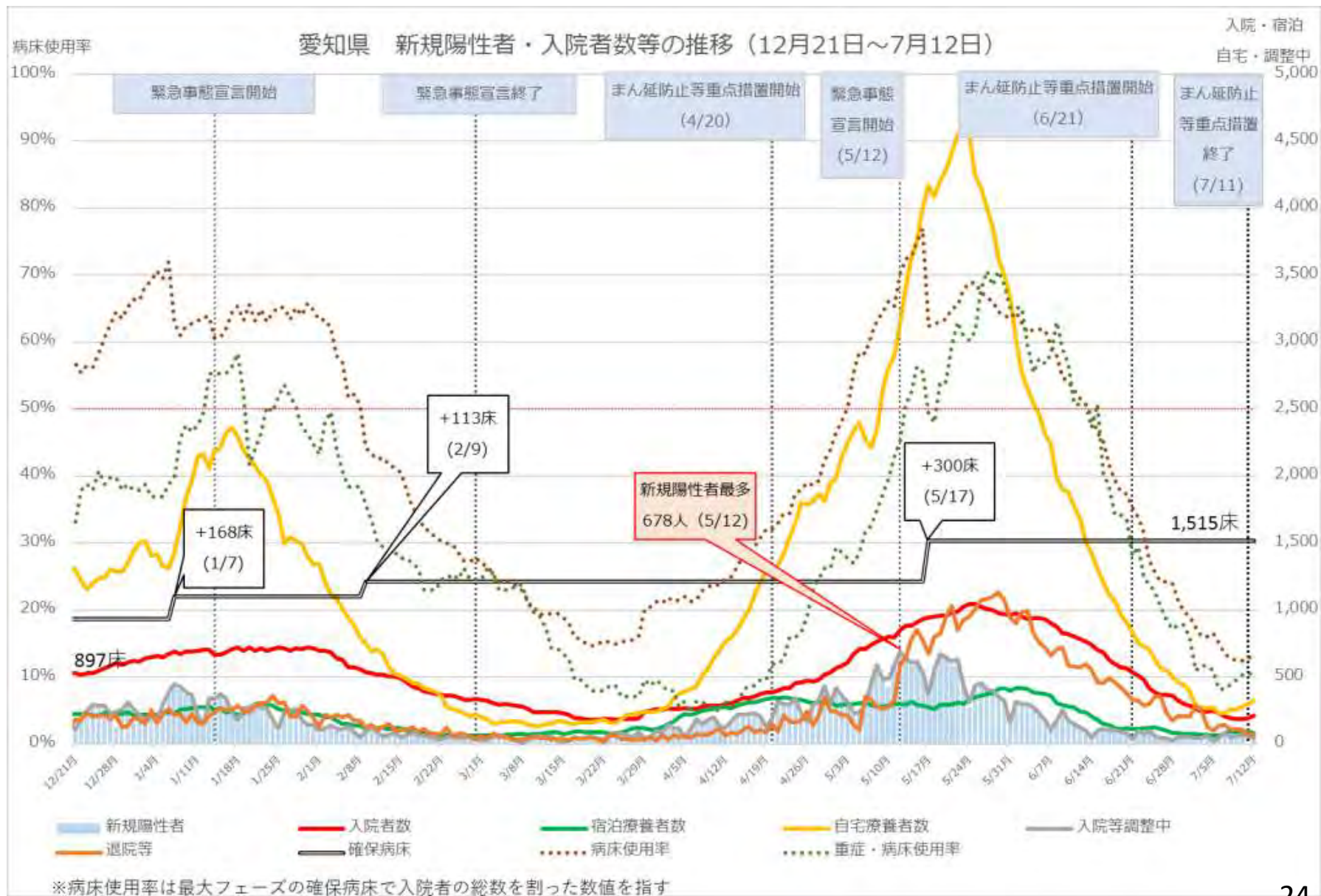


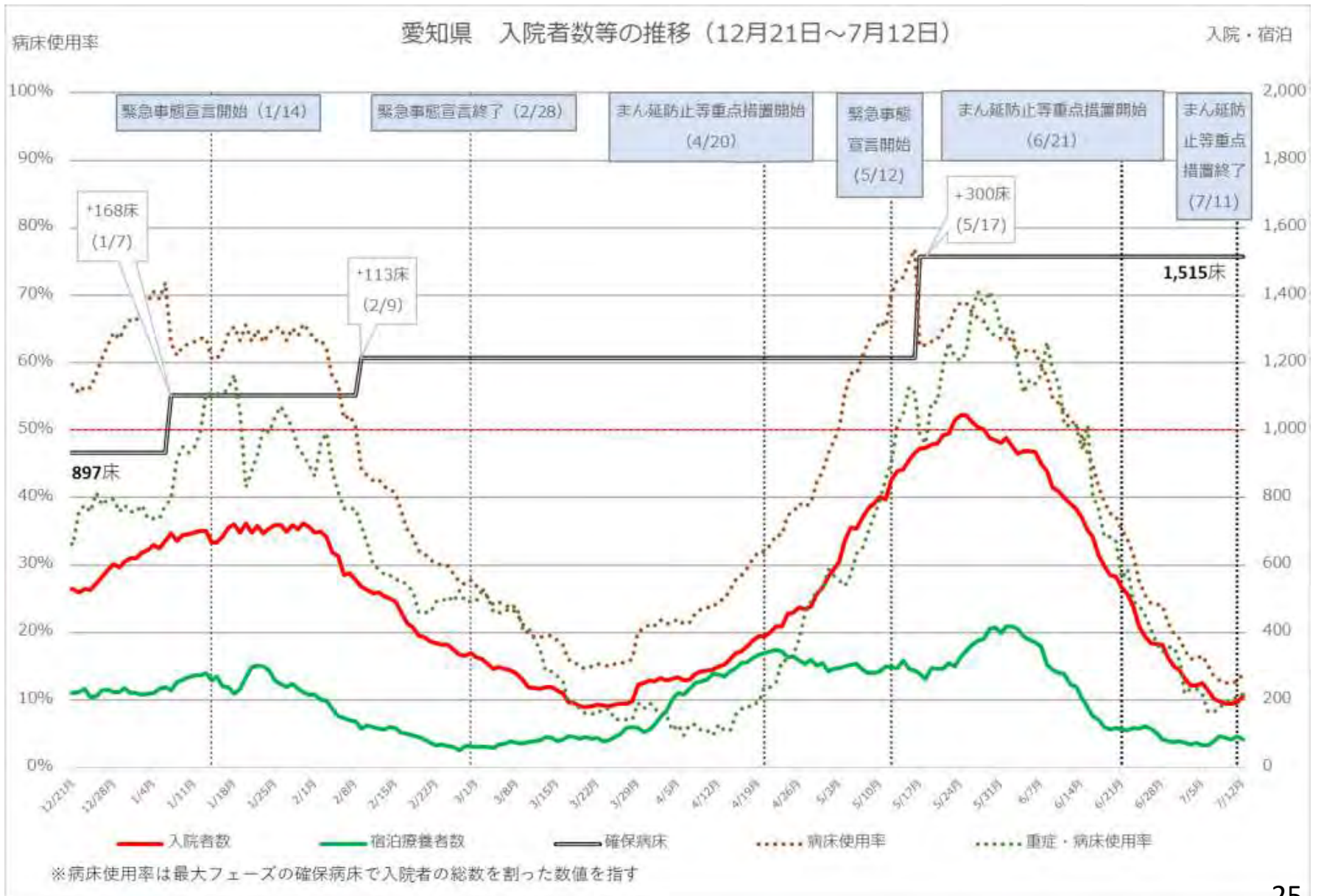
※1 病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す。
 ※2 県は入院等調整中の内訳を公表していない。

神奈川県 入院者数等の推移 (12月21日~7月12日)

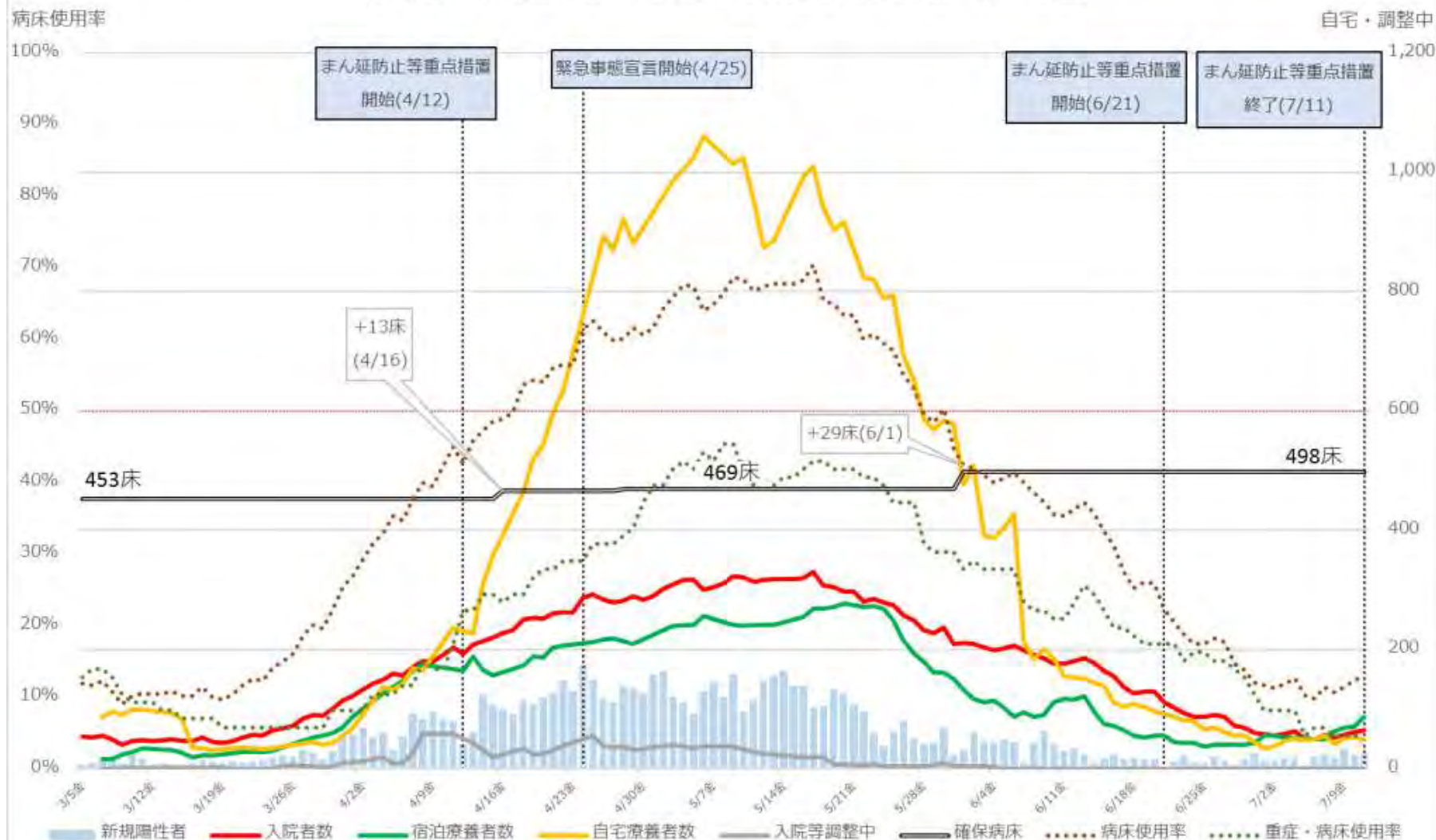


※1 病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す。
 ※2 県は入院等調整中の内訳を公表していない。



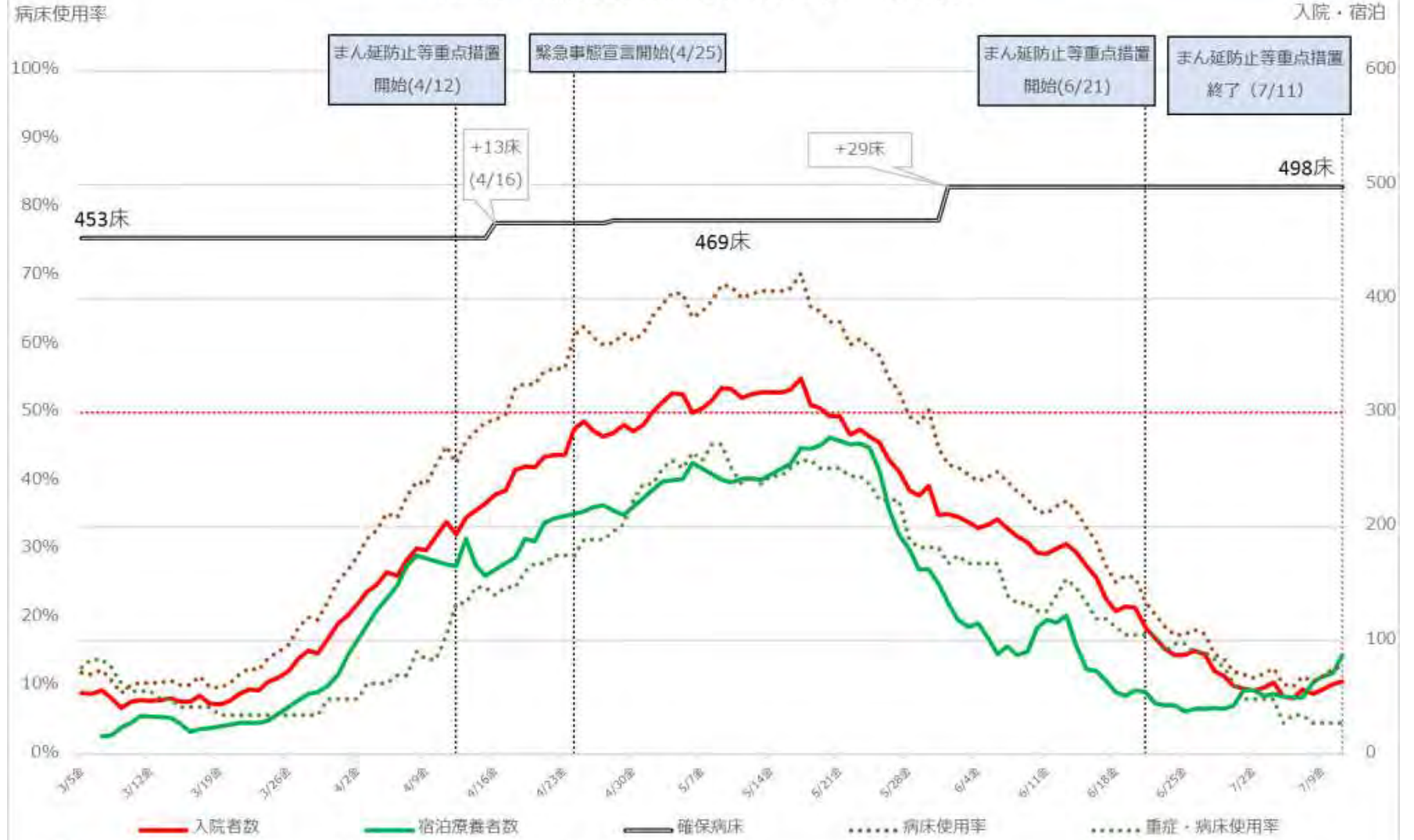


京都府 新規陽性者・入院者数等の推移 (3月5日~7月11日)



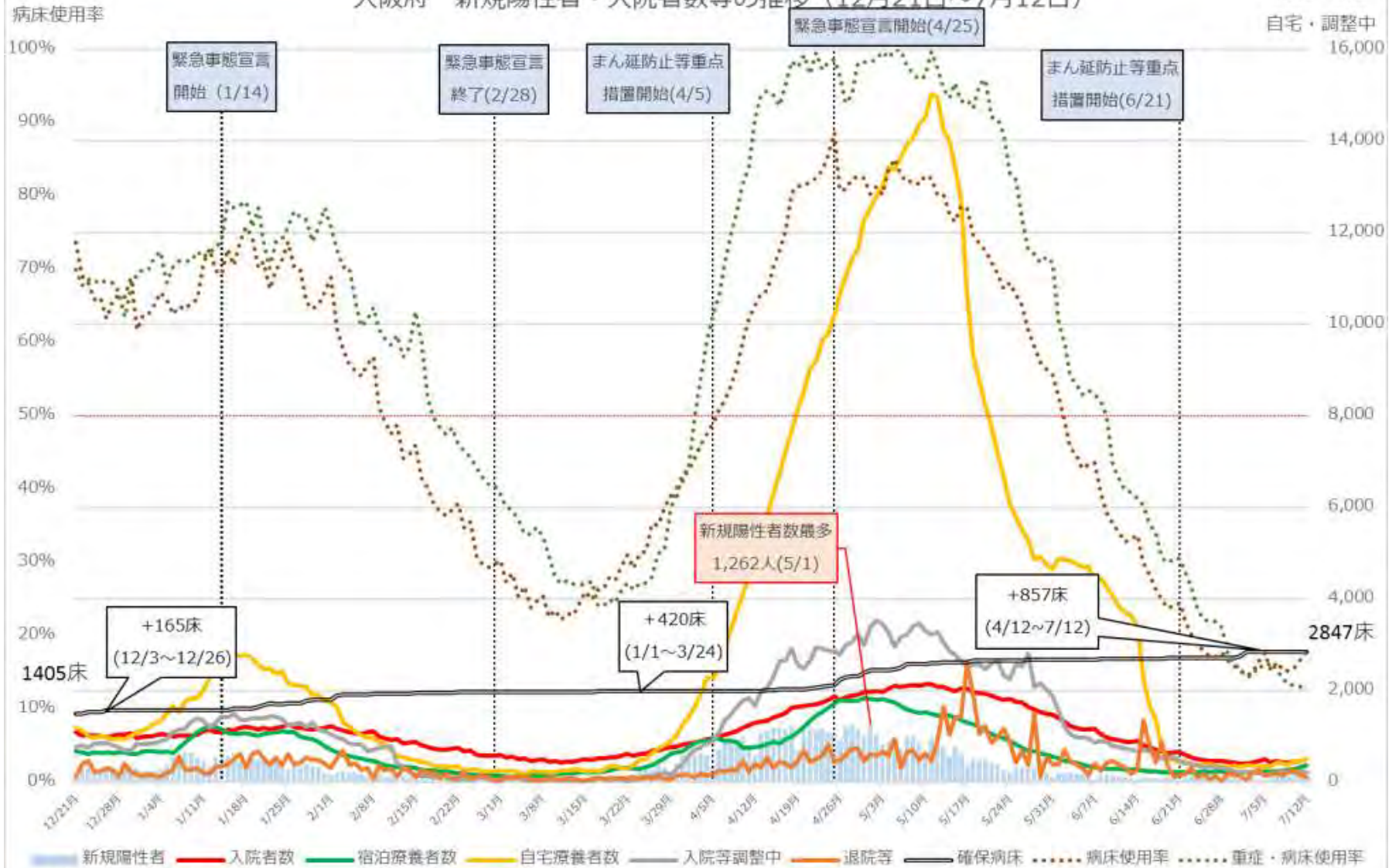
※病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数で割った数値を指す
 ※原則金曜日と土曜日については検査数などが非公表なため、木曜日と日曜日の数字を実線で結んでいる

京都府 入院者数等の推移 (3月5日~7月11日)

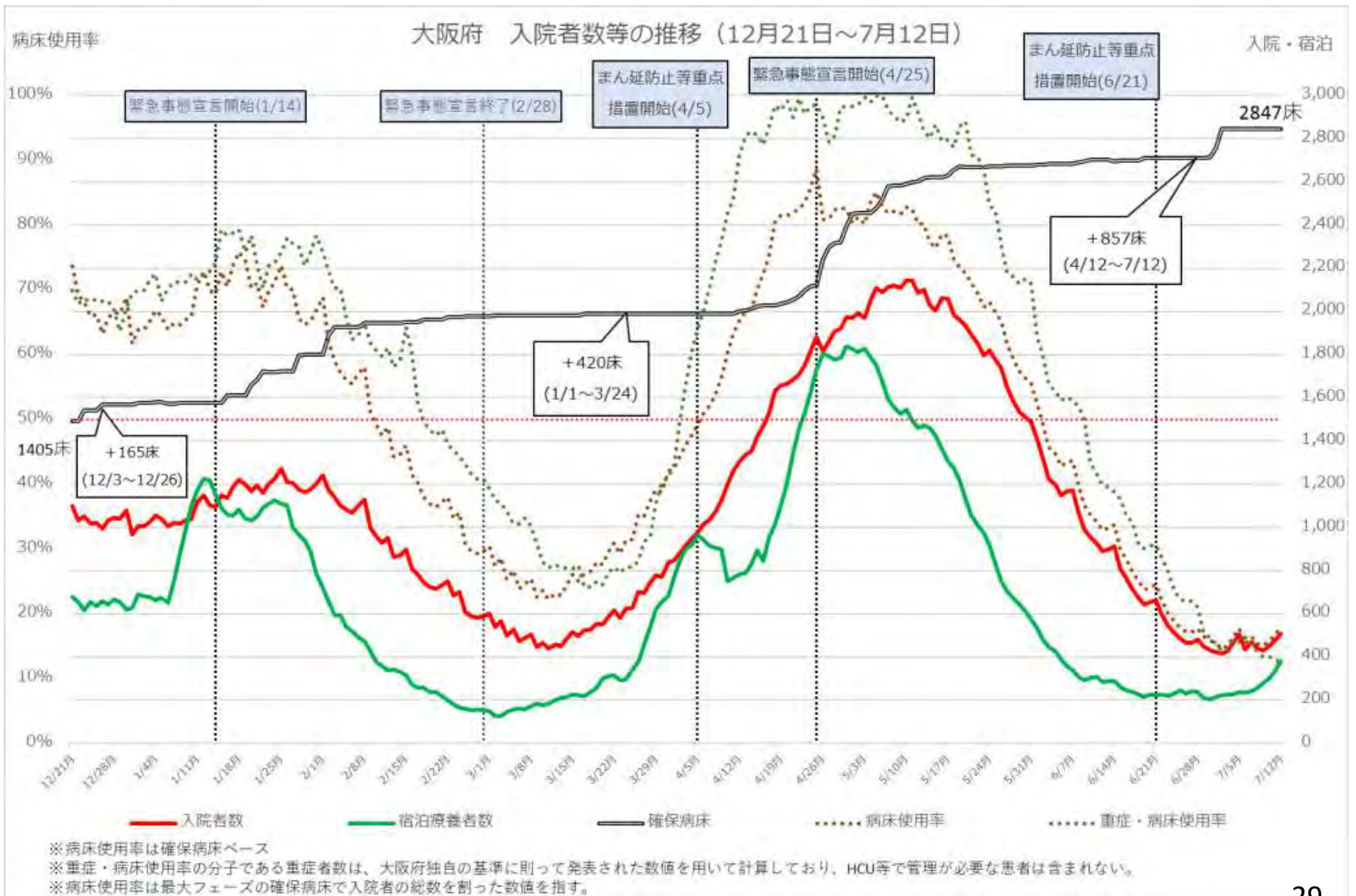


※病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数で割った数値を指す
 ※原則金曜日と土曜日については検査数などが非公表なため、木曜日と日曜日の数字を実線で結んでいる

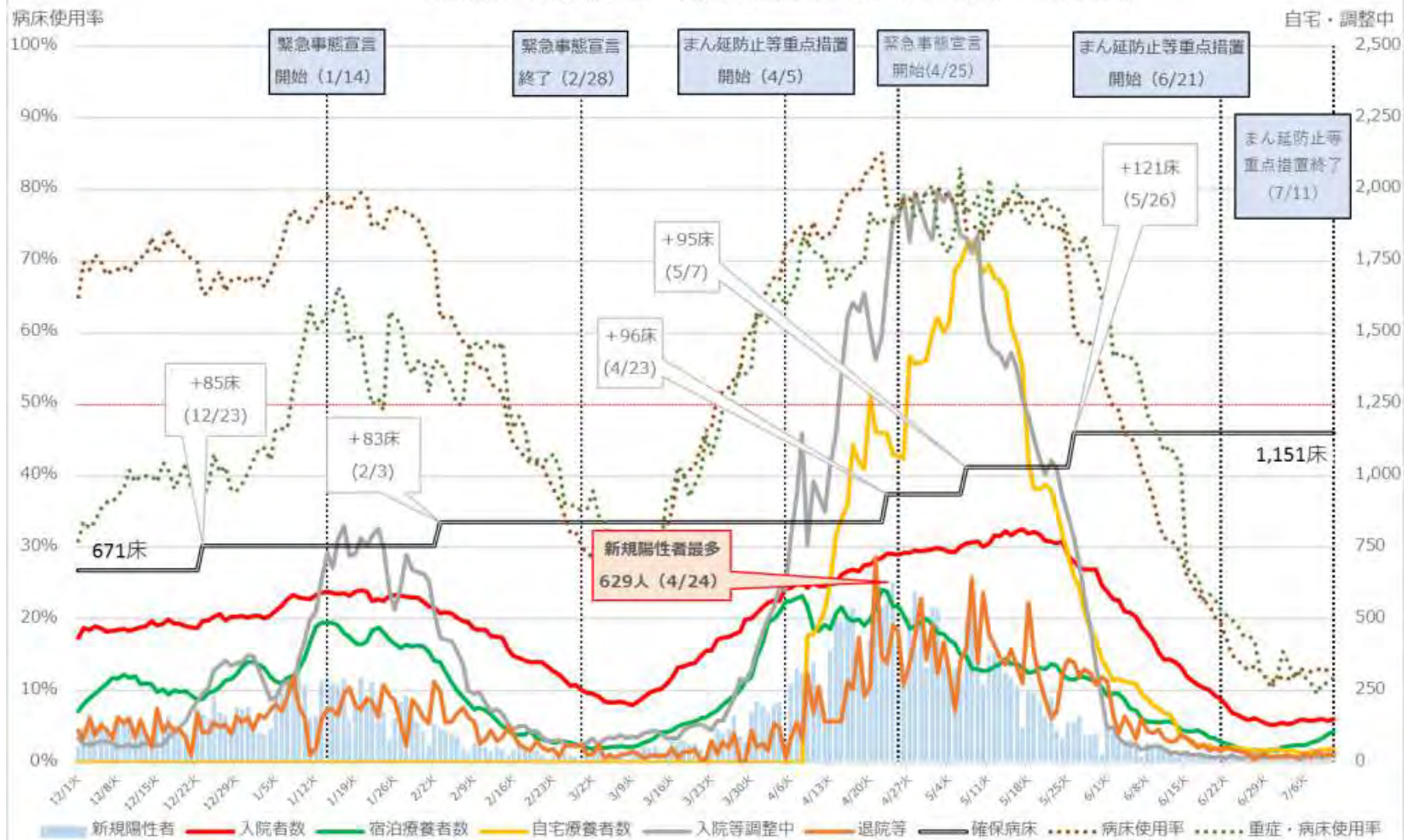
大阪府 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月21日~7月12日)



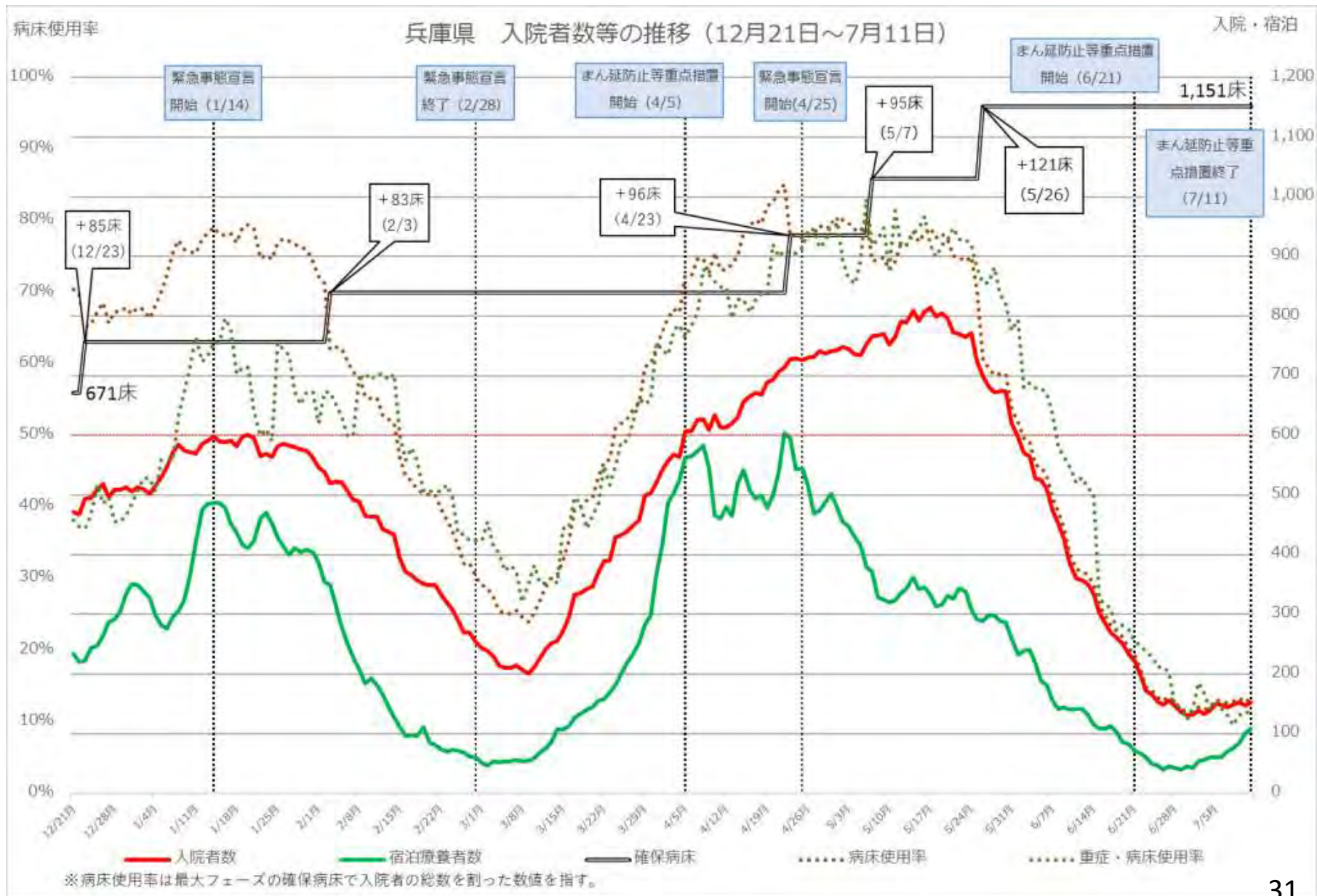
※病床使用率は確保病床ベース
 ※重症・病床使用率の分子である重症者数は、大阪府独自の基準に則って発表された数値を用いて計算しており、HCU等で管理が必要な患者は含まれない。
 ※病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す。



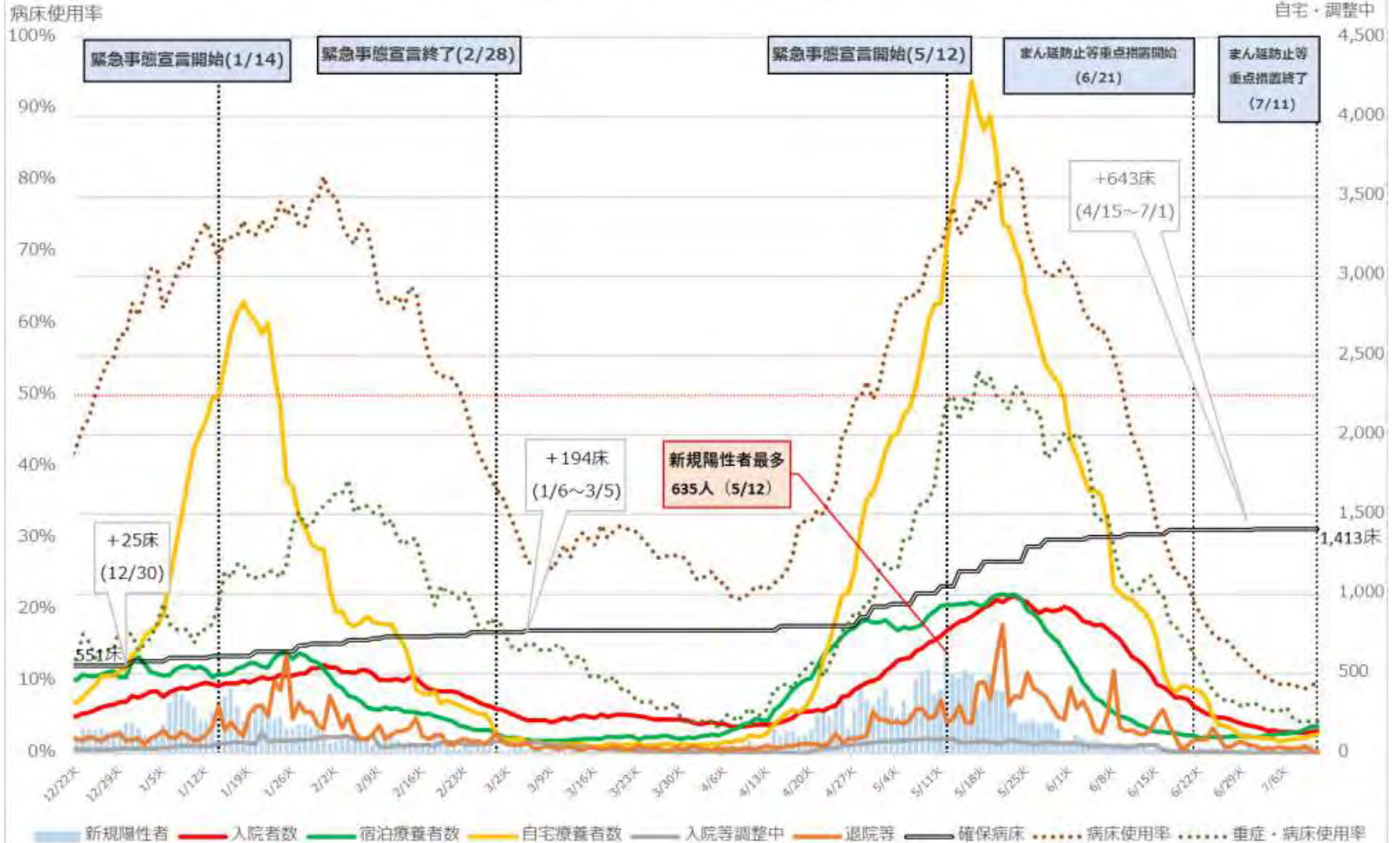
兵庫県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月1日～7月11日)



※病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す。



福岡県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月21日～7月11日)

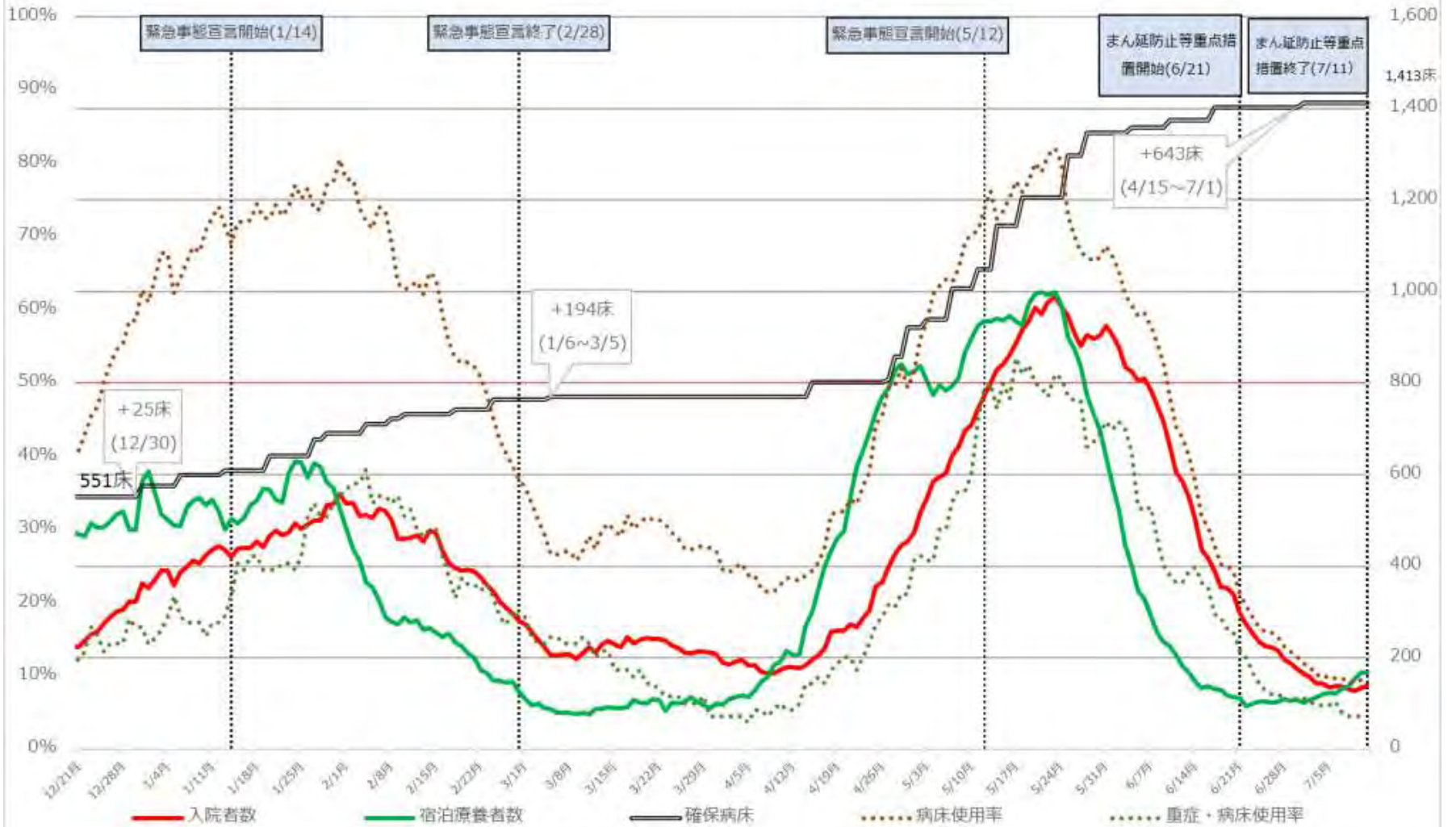


※病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す

福岡県 入院者数等の推移 (12月21日～7月11日)

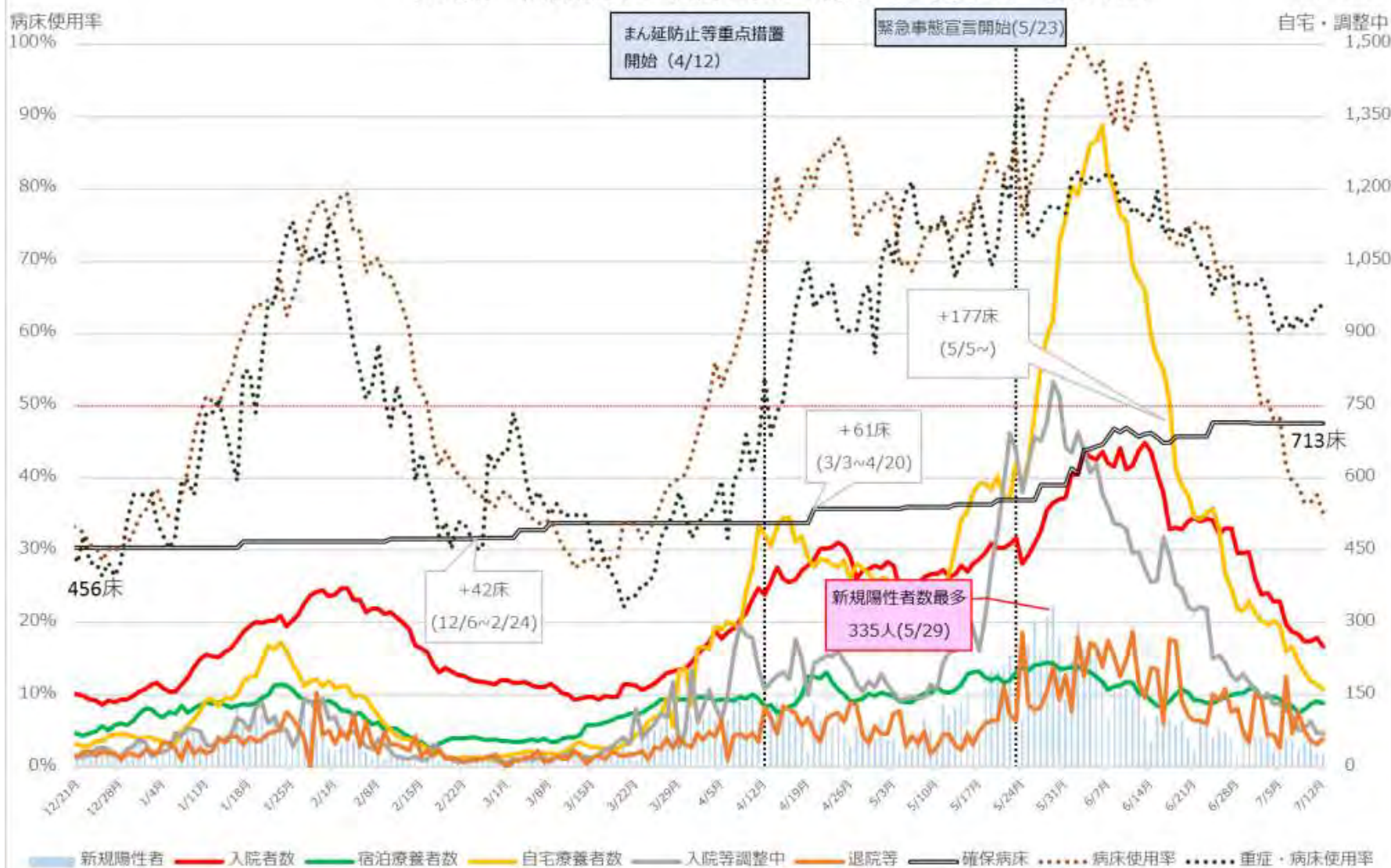
病床使用率

入院・宿泊



※病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す

沖縄県 新規陽性者・入院者数等の推移 (12月21日～7月12日)



※ 病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す

沖縄県 入院者数等の推移 (12月21日～7月12日)



※病床使用率は最大フェーズの確保病床で入院者の総数を割った数値を指す

直近の医療提供体制

(※入院患者・重症者の使用率は7月12日時点（北海道、京都府、兵庫県、福岡県の入院患者・重症者は7月11日時点）、宿泊施設の使用率は7月7日時点の数値)

	入院患者の 病床使用率(※1)	うち重症者の 病床使用率(※1)	宿泊施設の 使用率(※1)		入院患者の 病床使用率(※1)	うち重症者の 病床使用率(※1)	宿泊施設の 使用率(※1)
北海道	13.8%↓(※2) (289/2088)	7.3%↓(※2) (11/151)	2.6% (63/2385)	京都	12.9%→ (64/498)	4.7%↓ (4/86)	6.1% (65/826)
埼玉	24.6%↑ (410/1666)	13.9%↑ (23/165)	16.1% (320/1986)	大阪	17.8%→ (507/2847)	12.8%↓ (118/922)	5.9% (235/3986)
千葉	34.4%↑ (438/1275)	15.8%→ (16/101)	35.8% (362/1012)	兵庫	13.3%↑ (153/1151)	11.8%→ (16/136)	4.1% (60/1475)
東京	30.8%↑ (1947/6314)	43.3%↑(※3) (523/1207)	50.4% (1412/2800)	福岡	9.8%→ (139/1413)	4.5%↓ (9/201)	5.8% (122/2106)
神奈川	29.9%↑ (535/1790)	19.1%↑ (38/199)	23.1% (382/1657)	沖縄	35.1%↓ (250/713)	63.8%↑ (44/69)	18.0% (126/700)
愛知	13.9%↓ (210/1515)	11.0%→ (16/146)	5.0% (65/1300)				

※1 最終フェーズにおける確保病床・確保居室に占める入院又は療養を必要とする者の割合

※2 病床使用率の横の矢印は、7月7日時点の都道府県公表の数値と比較して上昇していれば↑、低下していれば↓を記載

※3 東京都の重症者数523（7月11日時点）は国基準による集計値。東京都の基準によれば、7月12日時点の重症病床使用率は14.0%（55人／392床）

これまでのワクチン総接種回数（医療従事者等、都道府県別）

7月9日時点

（参考）7月2日時点

都道府県名	接種回数	内1回目	内2回目
合計	11,447,510	6,187,797	5,259,713
01 北海道	580,306	314,908	265,398
02 青森県	119,037	64,273	54,764
03 岩手県	129,006	69,608	59,398
04 宮城県	247,475	141,687	105,788
05 秋田県	98,621	54,610	44,011
06 山形県	108,354	57,616	50,738
07 福島県	187,384	99,621	87,763
08 茨城県	257,851	140,623	117,228
09 栃木県	153,260	81,839	71,421
10 群馬県	183,009	100,123	82,886
11 埼玉県	547,132	297,370	249,762
12 千葉県	480,861	262,092	218,769
13 東京都	1,091,420	589,802	501,618
14 神奈川県	692,046	372,043	320,003
15 新潟県	203,437	115,106	88,331
16 富山県	102,967	54,203	48,764
17 石川県	120,937	64,457	56,480
18 福井県	90,697	48,301	42,396
19 山梨県	77,513	42,726	34,787
20 長野県	184,467	100,392	84,075
21 岐阜県	193,122	101,035	92,087
22 静岡県	291,151	158,292	132,859
23 愛知県	594,218	325,107	269,111
24 三重県	162,249	85,649	76,600
25 滋賀県	113,417	60,155	53,262
26 京都府	245,579	134,197	111,382
27 大阪府	718,506	389,647	328,859
28 兵庫県	478,863	256,762	222,101
29 奈良県	133,320	70,554	62,766
30 和歌山県	97,126	52,297	44,829
31 鳥取県	61,491	32,385	29,106
32 島根県	72,372	39,181	33,191
33 岡山県	227,831	128,064	99,767
34 広島県	276,576	148,368	128,208
35 山口県	167,426	91,283	76,143
36 徳島県	95,477	50,341	45,136
37 香川県	97,452	52,316	45,136
38 愛媛県	151,498	79,878	71,620
39 高知県	81,315	42,903	38,412
40 福岡県	489,038	261,995	227,043
41 佐賀県	110,627	58,790	51,837
42 長崎県	147,077	77,754	69,323
43 熊本県	230,169	119,579	110,590
44 大分県	129,499	69,488	60,041
45 宮崎県	110,037	58,433	51,604
46 鹿児島県	192,563	104,157	88,406
47 沖縄県	123,731	67,817	55,914

都道府県名	接種回数	内1回目	内2回目
合計	10,964,351	5,977,868	4,986,483
01 北海道	548,235	300,156	248,079
02 青森県	114,688	62,375	52,313
03 岩手県	122,207	65,515	56,692
04 宮城県	229,136	135,464	93,672
05 秋田県	92,381	51,758	40,623
06 山形県	103,399	55,104	48,295
07 福島県	179,159	96,477	82,682
08 茨城県	246,115	135,551	110,564
09 栃木県	147,363	79,482	67,881
10 群馬県	176,915	97,079	79,836
11 埼玉県	523,466	286,035	237,431
12 千葉県	460,088	253,947	206,141
13 東京都	1,048,177	570,744	477,433
14 神奈川県	659,583	360,112	299,471
15 新潟県	194,444	109,995	84,449
16 富山県	100,237	53,562	46,675
17 石川県	115,750	62,367	53,383
18 福井県	88,835	47,295	41,540
19 山梨県	74,816	41,395	33,421
20 長野県	171,830	92,902	78,928
21 岐阜県	187,480	98,037	89,443
22 静岡県	277,807	152,513	125,294
23 愛知県	577,950	317,543	260,407
24 三重県	156,789	83,102	73,687
25 滋賀県	109,335	57,988	51,347
26 京都府	236,302	130,666	105,636
27 大阪府	680,919	374,362	306,557
28 兵庫県	453,757	246,288	207,469
29 奈良県	128,892	68,789	60,103
30 和歌山県	93,207	50,461	42,746
31 鳥取県	59,623	31,569	28,054
32 島根県	70,906	38,480	32,426
33 岡山県	215,183	119,242	95,941
34 広島県	268,672	148,042	120,630
35 山口県	157,935	85,906	72,029
36 徳島県	93,924	49,592	44,332
37 香川県	93,344	50,594	42,750
38 愛媛県	146,816	78,956	67,860
39 高知県	78,854	42,205	36,649
40 福岡県	469,667	255,725	213,942
41 佐賀県	108,083	57,466	50,617
42 長崎県	141,797	75,654	66,143
43 熊本県	225,914	117,825	108,089
44 大分県	124,882	66,202	58,680
45 宮崎県	106,715	57,559	49,156
46 鹿児島県	185,358	101,497	83,861
47 沖縄県	117,416	64,290	53,126

注：ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）への報告（17時時点）を接種実施機関所在地の都道府県別に集計（高齢者等を除く）。

4月9日までの接種実績は厚生労働省の「新型コロナウイルスワクチン接種実績」のページをご覧ください。

これまでのワクチン総接種回数（一般接種（高齢者含む）、都道府県別）

7月11日時点

（参考）7月4日時点

都道府県名	接種回数	内1回目	内2回目
合計	48,809,782	31,414,202	17,395,580
01 北海道	1,938,252	1,287,985	650,267
02 青森県	516,586	331,928	184,658
03 岩手県	481,933	314,825	167,108
04 宮城県	868,285	546,378	321,907
05 秋田県	451,044	322,854	128,190
06 山形県	581,923	388,299	223,624
07 福島県	829,505	521,174	308,331
08 茨城県	1,046,959	681,186	365,773
09 栃木県	656,082	436,310	219,772
10 群馬県	830,202	552,719	277,483
11 埼玉県	2,483,544	1,617,044	866,500
12 千葉県	2,177,782	1,414,208	763,574
13 東京都	4,589,278	2,996,415	1,592,863
14 神奈川県	3,149,669	2,104,615	1,045,054
15 新潟県	1,035,271	649,424	385,847
16 富山県	467,905	293,441	174,464
17 石川県	523,969	324,358	199,611
18 福井県	356,790	225,827	130,963
19 山梨県	346,533	222,573	123,960
20 長野県	893,225	569,539	323,686
21 岐阜県	966,135	595,543	370,592
22 静岡県	1,313,895	874,975	438,920
23 愛知県	2,765,538	1,700,545	1,064,993
24 三重県	761,713	473,006	288,707
25 滋賀県	527,987	340,802	187,185
26 京都府	1,025,535	639,158	386,377
27 大阪府	2,986,673	1,944,316	1,042,357
28 兵庫県	2,239,258	1,480,335	758,923
29 奈良県	580,844	381,689	199,155
30 和歌山県	504,745	308,748	195,997
31 鳥取県	259,672	159,196	100,476
32 島根県	303,400	184,735	118,665
33 岡山県	858,853	530,037	328,816
34 広島県	1,062,387	690,562	371,825
35 山口県	723,891	450,050	273,841
36 徳島県	354,642	217,602	137,040
37 香川県	386,807	242,145	144,662
38 愛媛県	601,693	391,311	210,382
39 高知県	358,971	222,963	136,008
40 福岡県	2,010,628	1,293,515	717,113
41 佐賀県	419,668	254,085	165,583
42 長崎県	597,585	381,884	215,701
43 熊本県	836,885	527,396	309,489
44 大分県	519,647	326,804	192,843
45 宮崎県	505,753	312,243	193,510
46 鹿児島県	675,998	432,284	243,714
47 沖縄県	436,242	287,171	149,071

都道府県名	接種回数	内1回目	内2回目
合計	38,158,596	25,643,906	12,514,690
01 北海道	1,345,078	934,722	410,356
02 青森県	412,964	265,196	147,768
03 岩手県	372,618	250,314	122,304
04 宮城県	679,217	457,359	221,858
05 秋田県	346,071	252,413	93,658
06 山形県	481,673	314,683	166,990
07 福島県	677,914	440,032	237,882
08 茨城県	806,254	541,672	264,582
09 栃木県	495,669	345,881	149,788
10 群馬県	655,238	456,950	198,288
11 埼玉県	1,913,062	1,321,302	591,760
12 千葉県	1,741,557	1,181,816	559,741
13 東京都	3,503,604	2,358,952	1,144,652
14 神奈川県	2,404,551	1,715,972	688,579
15 新潟県	814,236	542,315	271,921
16 富山県	375,978	244,194	131,784
17 石川県	432,147	271,352	160,795
18 福井県	294,996	189,066	105,830
19 山梨県	276,918	186,569	90,349
20 長野県	715,389	473,022	242,367
21 岐阜県	786,633	506,536	280,097
22 静岡県	1,008,175	689,296	318,879
23 愛知県	2,256,832	1,471,592	785,240
24 三重県	614,636	403,625	211,011
25 滋賀県	389,965	268,001	121,964
26 京都府	805,562	516,463	289,099
27 大阪府	2,228,920	1,554,940	673,980
28 兵庫県	1,709,448	1,204,365	505,083
29 奈良県	450,387	313,913	136,474
30 和歌山県	409,595	253,367	156,228
31 鳥取県	218,682	134,303	84,379
32 島根県	249,773	159,221	90,552
33 岡山県	687,480	431,686	255,794
34 広島県	833,046	578,027	255,019
35 山口県	604,446	378,907	225,539
36 徳島県	285,174	178,984	106,190
37 香川県	284,086	187,124	96,962
38 愛媛県	445,544	310,077	135,467
39 高知県	304,553	190,982	113,571
40 福岡県	1,624,245	1,066,578	557,667
41 佐賀県	352,276	218,983	133,293
42 長崎県	479,357	315,143	164,214
43 熊本県	650,404	421,385	229,019
44 大分県	428,866	276,919	148,947
45 宮崎県	423,793	263,881	159,912
46 鹿児島県	537,724	363,833	173,891
47 沖縄県	346,960	241,993	104,967

注：ワクチン接種記録システム(VRS)への報告を居住地の都道府県別に集計。

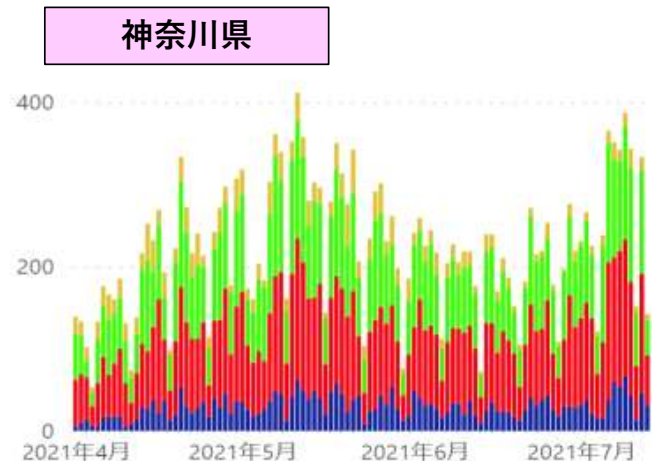
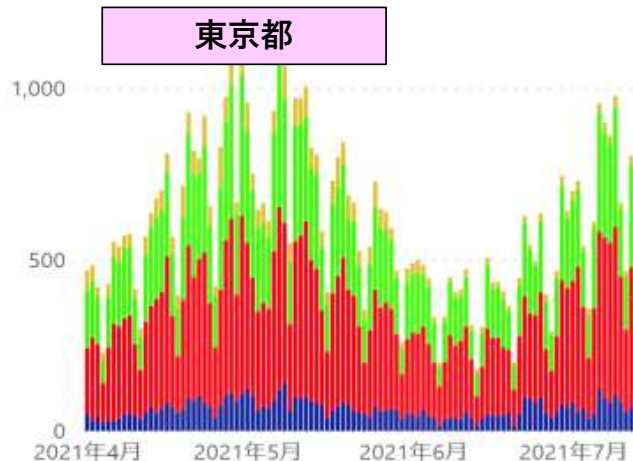
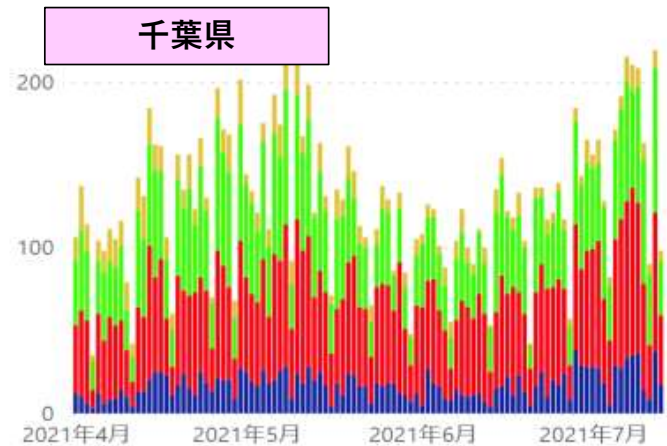
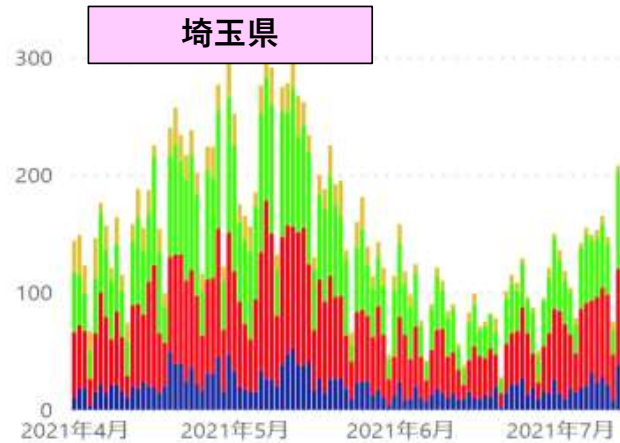
新規陽性者数の推移等 (HER-SYSデータ)

(目次)

①新規陽性者数の推移（報告日別）	3
②新規陽性者数の推移（発症日別）	7
③発症日～診断日までの日数（中央値）	11
④発症日～報告日までの日数（中央値）	12
⑤感染経路確度別新規陽性者数	13
⑥新規陽性者の感染場所	17
⑦新規陽性者に占める65歳以上の割合の推移（全国・1都3県）	25
⑧都道府県別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移	26
⑨1都3県・大阪府・沖縄県の人口10万人当たり 7日間累積新規陽性者数（5歳刻み）	29
⑩保健所別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移	35
⑪発生届提出時点における入院割合の推移（全国・東京）	41
⑫HER-SYS上で死亡場所が「自宅」とされている事例について	43

新規陽性者数の推移（報告日別、HER-SYSデータ）

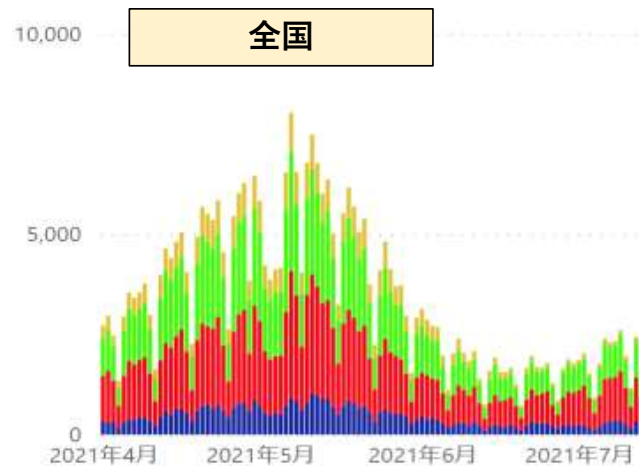
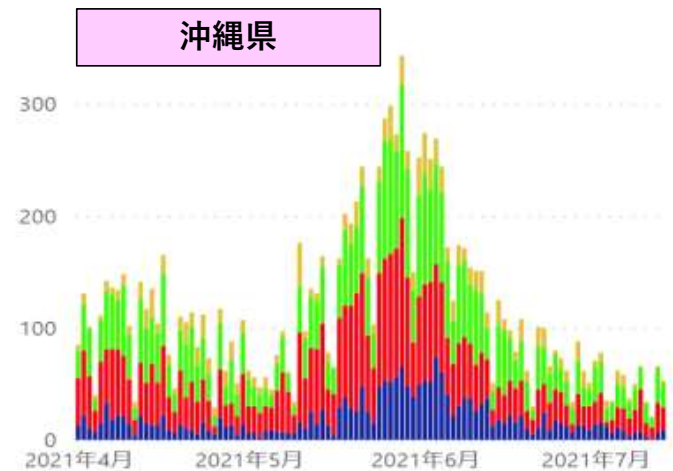
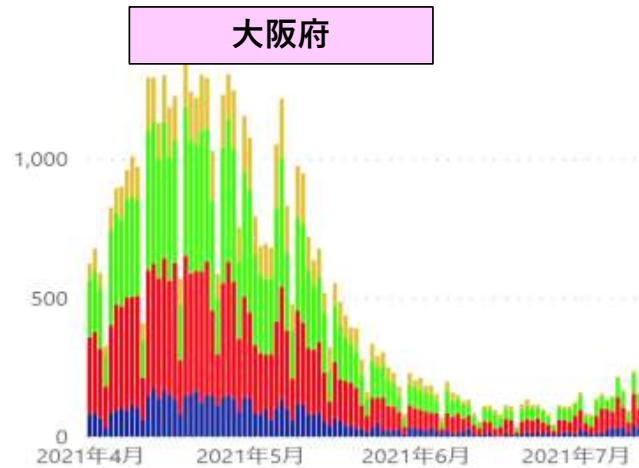
- **報告日**が4/1以降のデータを抽出（**陽性者の実数**を年齢階級別に**積み上げ**）
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県と「全国」の数字をグラフ化している。



* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。 ● 20歳未満 ● 20代～30代 ● 40代～60代 ● 70代以上

新規陽性者数の推移（報告日別、HER-SYSデータ）

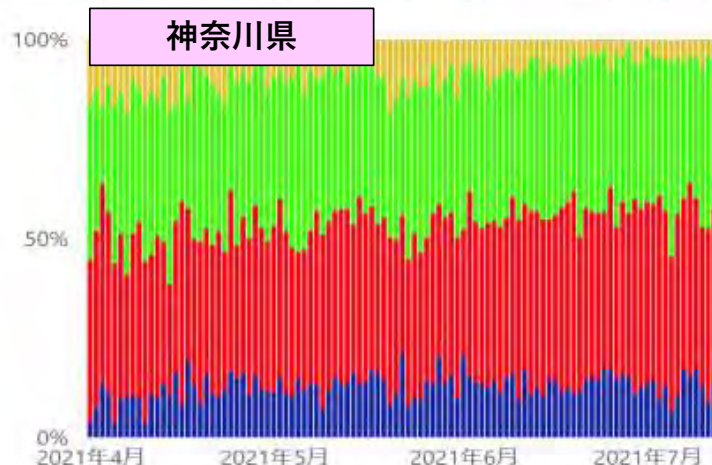
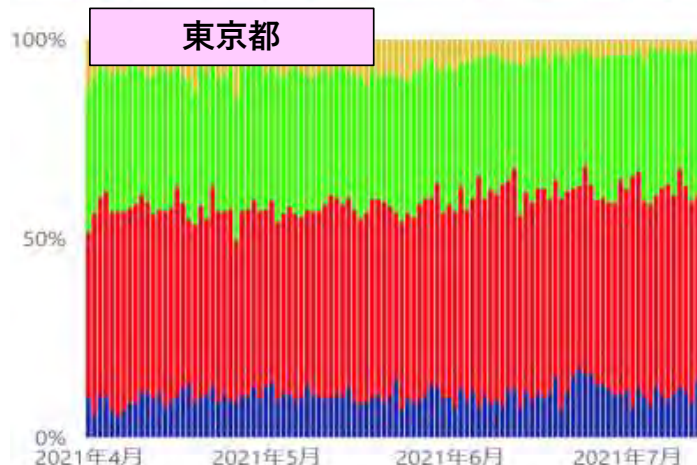
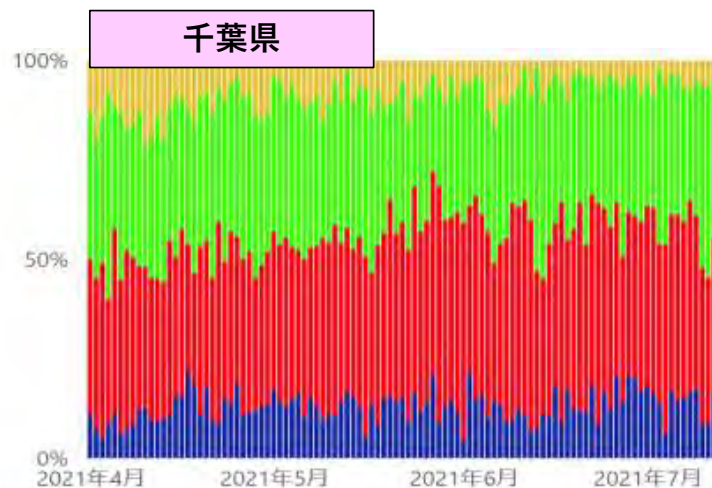
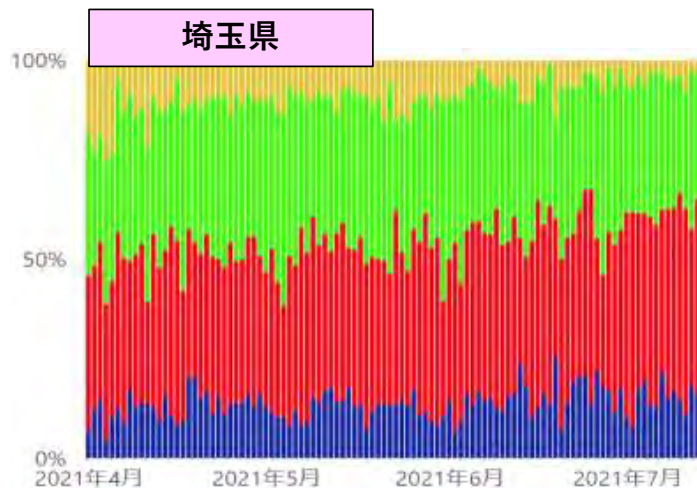
- **報告日**が4/1以降のデータを抽出（**陽性者の実数**を年齢階級別に**積み上げ**）
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県と「全国」の数字をグラフ化している。



* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。 ● 20歳未満 ● 20代～30代 ● 40代～60代 ● 70代以上

新規陽性者の年齢階級別内訳（報告日別、HER-SYSデータ）

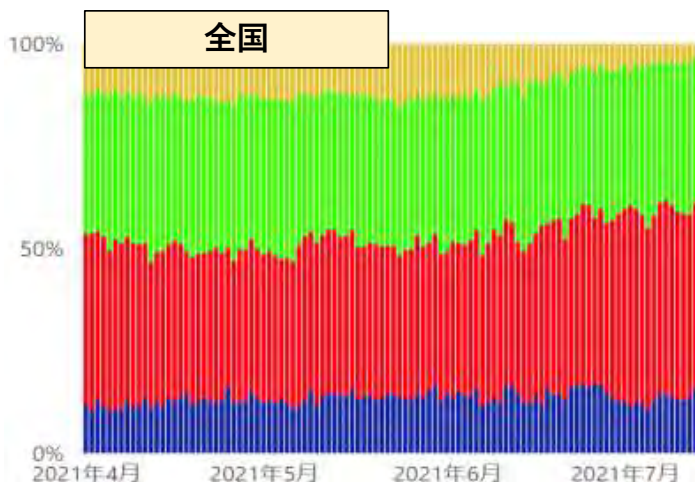
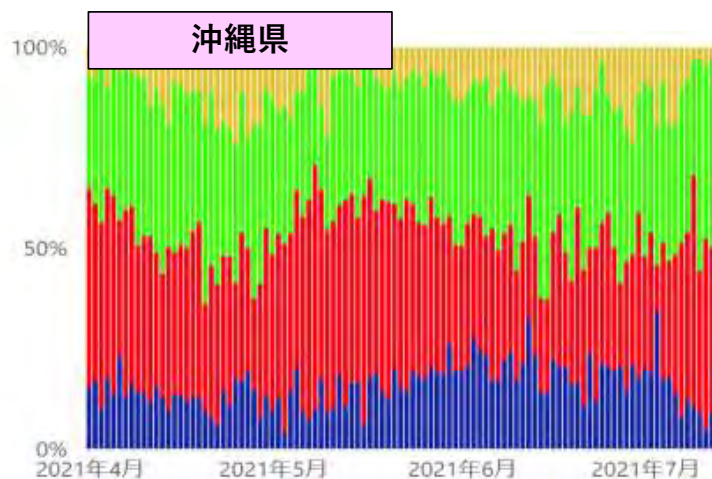
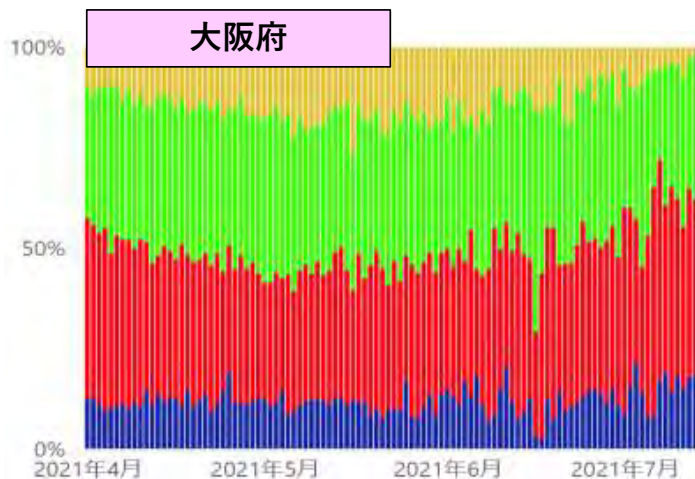
- **報告日**が4/1以降のデータを抽出（陽性者の年齢階級別内訳を**百分率でグラフ化**）
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県と「全国」の数字をグラフ化している。



* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。 ● 20歳未満 ● 20代~30代 ● 40代~60代 ● 70代以上

新規陽性者の年齢階級別内訳（報告日別、HER-SYSデータ）

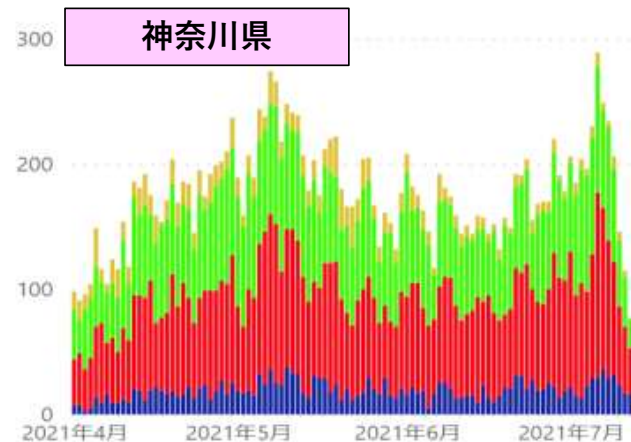
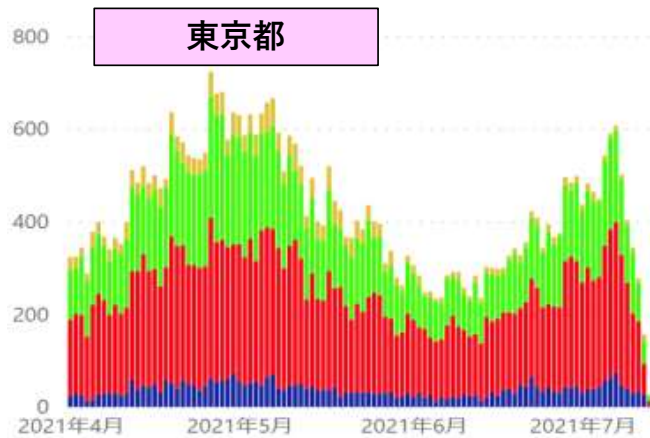
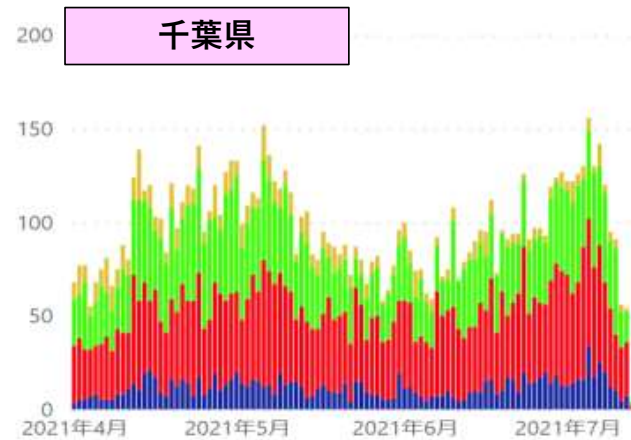
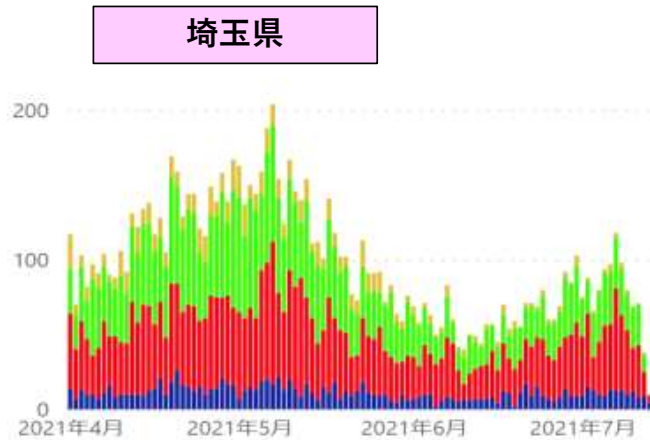
- **報告日**が4/1以降のデータを抽出（陽性者の年齢階級別内訳を**百分率でグラフ化**）
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県と「全国」の数字をグラフ化している。



* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。 ● 20歳未満 ● 20代~30代 ● 40代~60代 ● 70代以上

新規陽性者数の推移（発症日別、HER-SYSデータ）

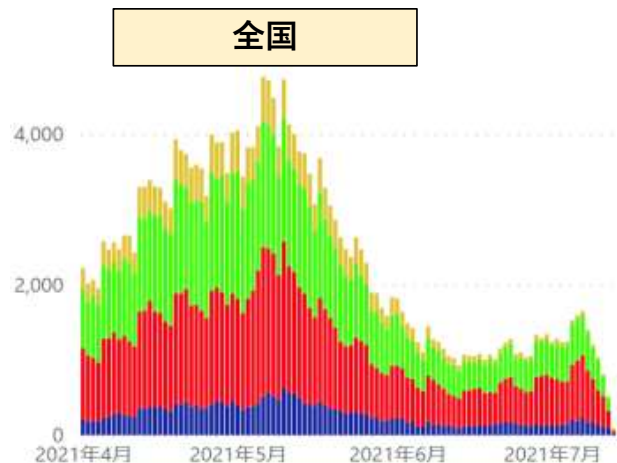
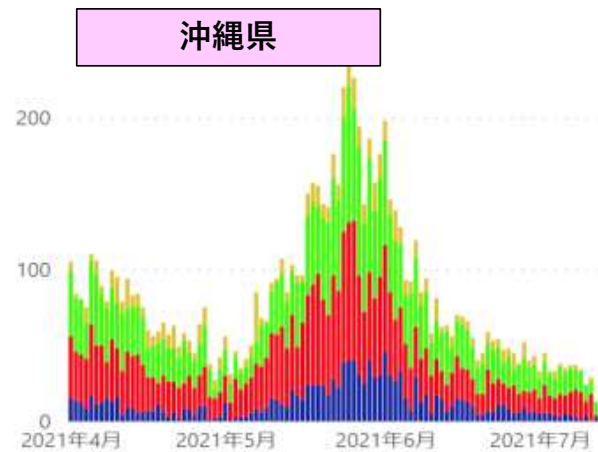
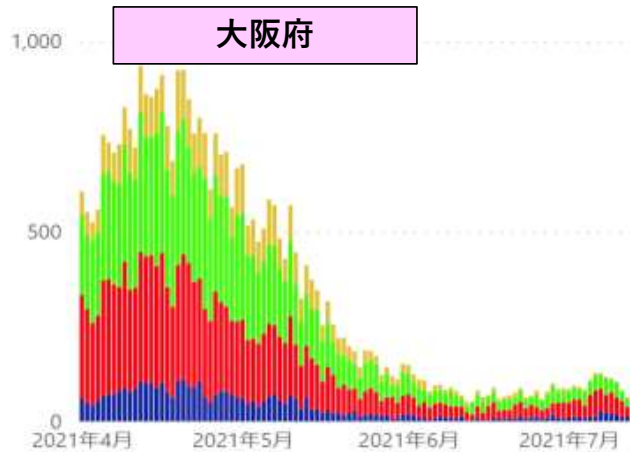
- **発症日**が4/1以降のデータを抽出（**陽性者の実数**を年齢階級別に**積み上げ**）
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県と「全国」の数字をグラフ化している。



* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。 ● 20歳未満 ● 20代~30代 ● 40代~60代 ● 70代以上

新規陽性者数の推移（発症日別、HER-SYSデータ）

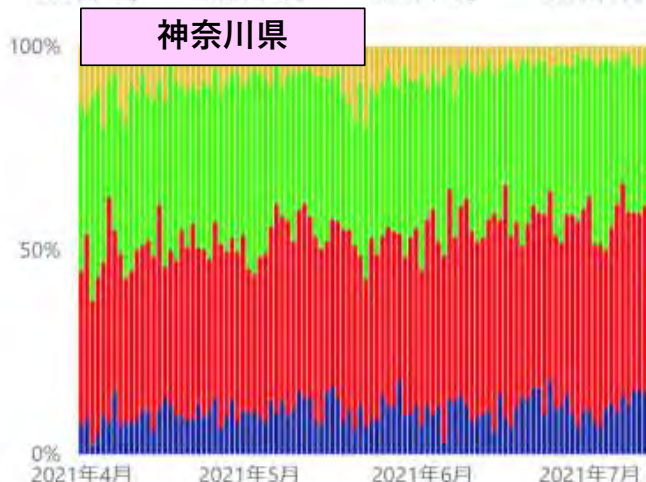
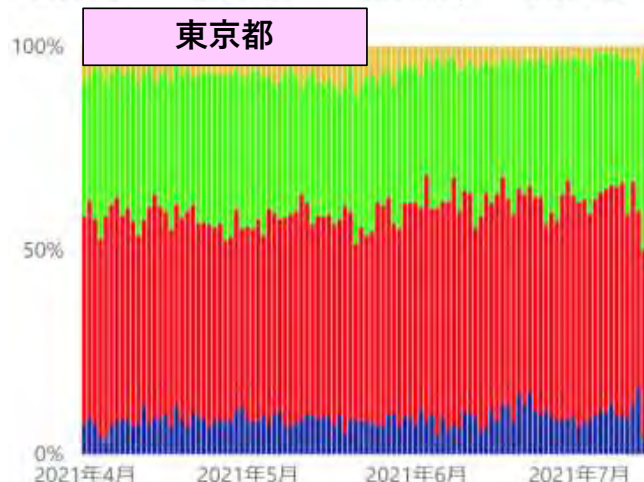
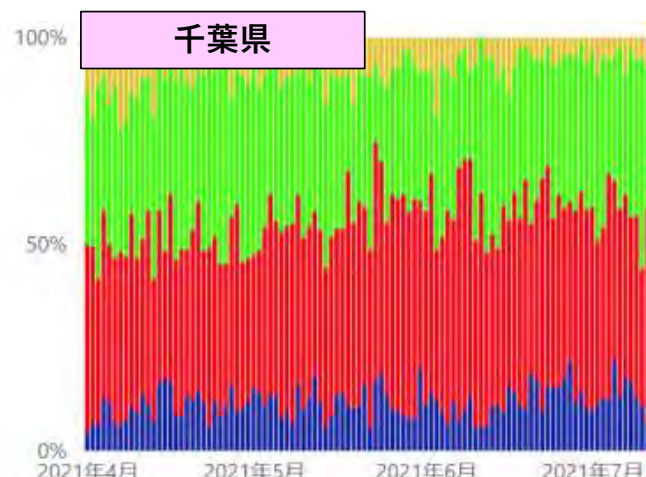
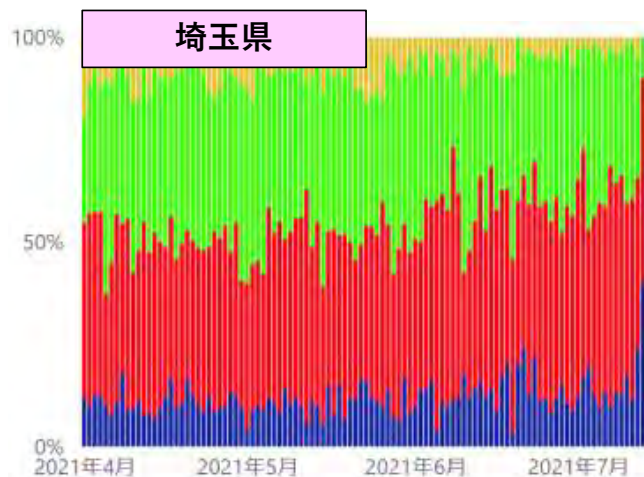
- **発症日**が4/1以降のデータを抽出（**陽性者の実数**を年齢階級別に**積み上げ**）
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県と「全国」の数字をグラフ化している。



* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。 ● 20歳未満 ● 20代~30代 ● 40代~60代 ● 70代以上

新規陽性者の年齢階級別内訳（発症日別、HER-SYSデータ）

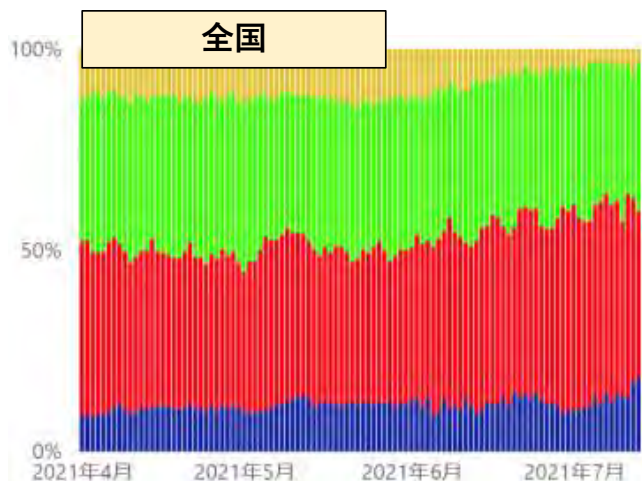
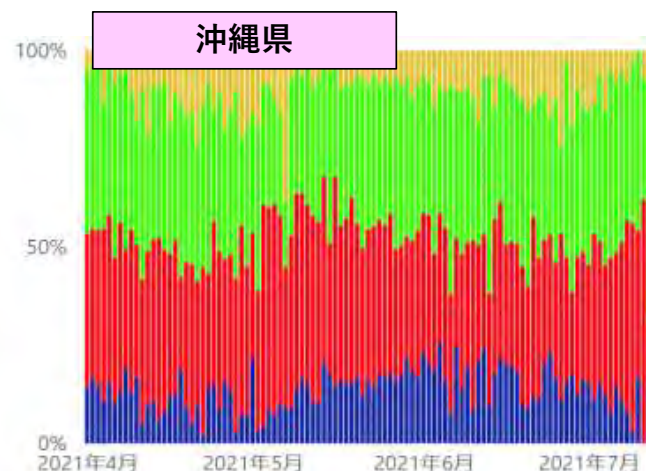
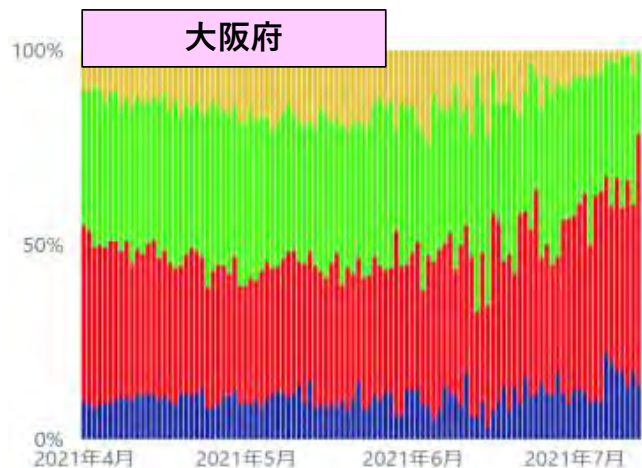
- **発症日**が4/1以降のデータを抽出（陽性者の年齢階級別内訳を**百分率でグラフ化**）
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県と「全国」の数字をグラフ化している。



* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。 ● 20歳未満 ● 20代~30代 ● 40代~60代 ● 70代以上

新規陽性者の年齢階級別内訳（発症日別、HER-SYSデータ）

- **発症日**が4/1以降のデータを抽出（陽性者の年齢階級別内訳を**百分率でグラフ化**）
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県と「全国」の数字をグラフ化している。



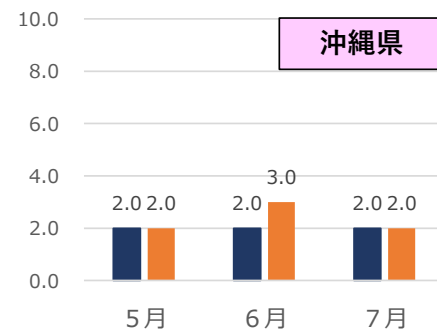
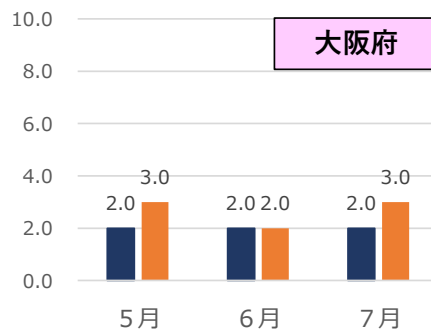
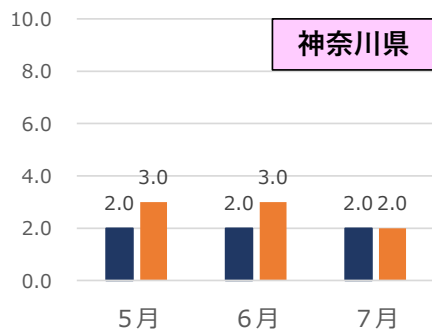
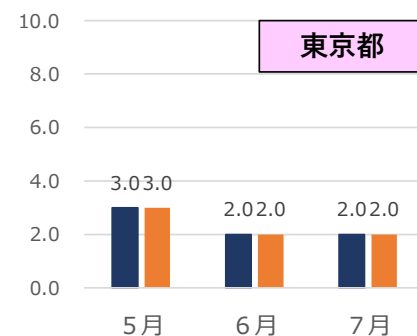
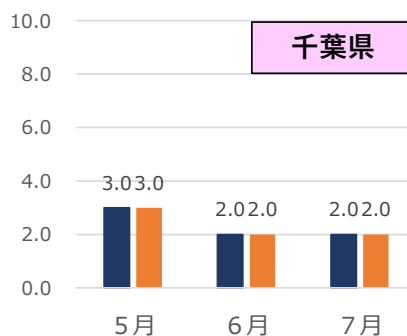
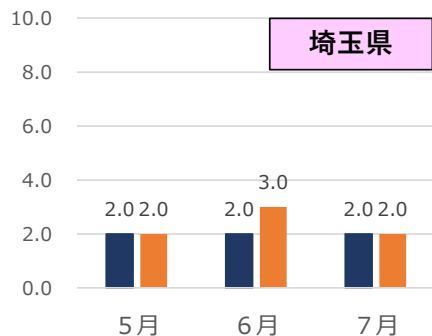
* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。 ● 20歳未満 ● 20代～30代 ● 40代～60代 ● 70代以上

発症日～診断日までの日数（中央値、HER-SYSデータ）

- 報告日が4/1以降のデータについて、「発症→診断」までの日数（中央値）を抽出
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県の数字をグラフ化している。

青：従来株・変異株の合計
オレンジ：変異株陽性者のみ

全国平均 = 2日（7月） * 従来株・変異株の合計
= 2日（7月） * 変異株陽性者のみ



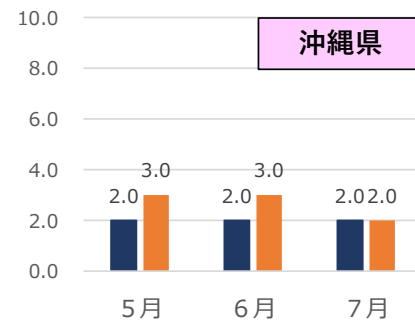
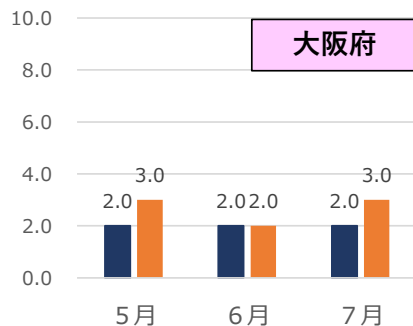
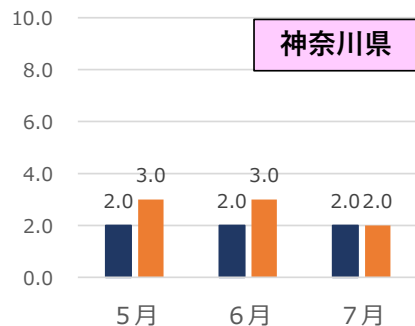
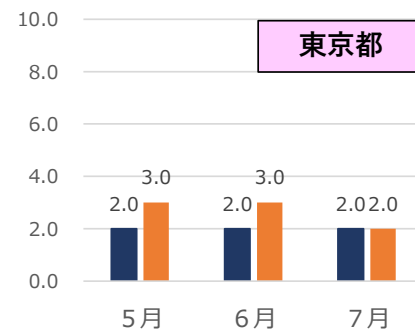
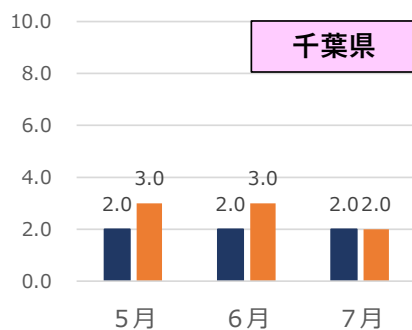
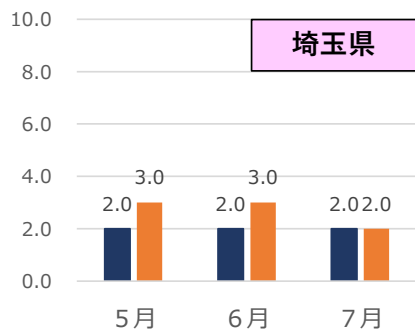
* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出、変異株はVOC

発症日～報告日までの日数（中央値、HER-SYSデータ）

- 報告日が4/1以降のデータについて、「**発症→報告**」までの日数（中央値）を抽出
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県の数字をグラフ化している。

青：従来株・変異株の合計
オレンジ：変異株陽性者のみ

全国平均 = 2日（7月） * 従来株・変異株の合計
= 2日（7月） * 変異株陽性者のみ

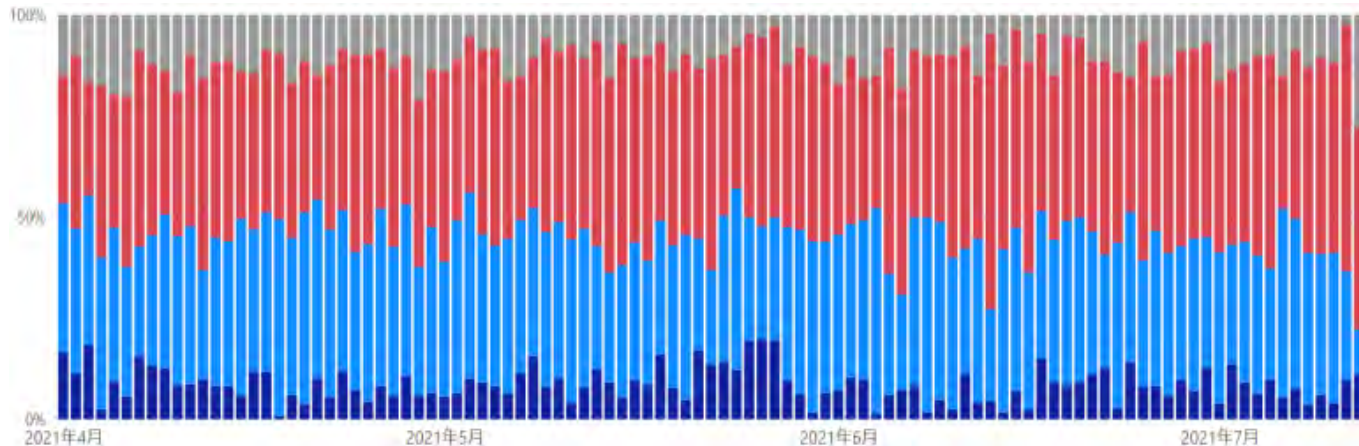


* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出、変異株はVOC

感染経路確度別新規陽性者数（発症日別、HER-SYSデータ、100分率）

- **発症日**が4/1以降のデータについて、**感染経路「確定」「推定」「不明」の割合を百分率でグラフ化**
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県の数字をグラフ化している。

埼玉県



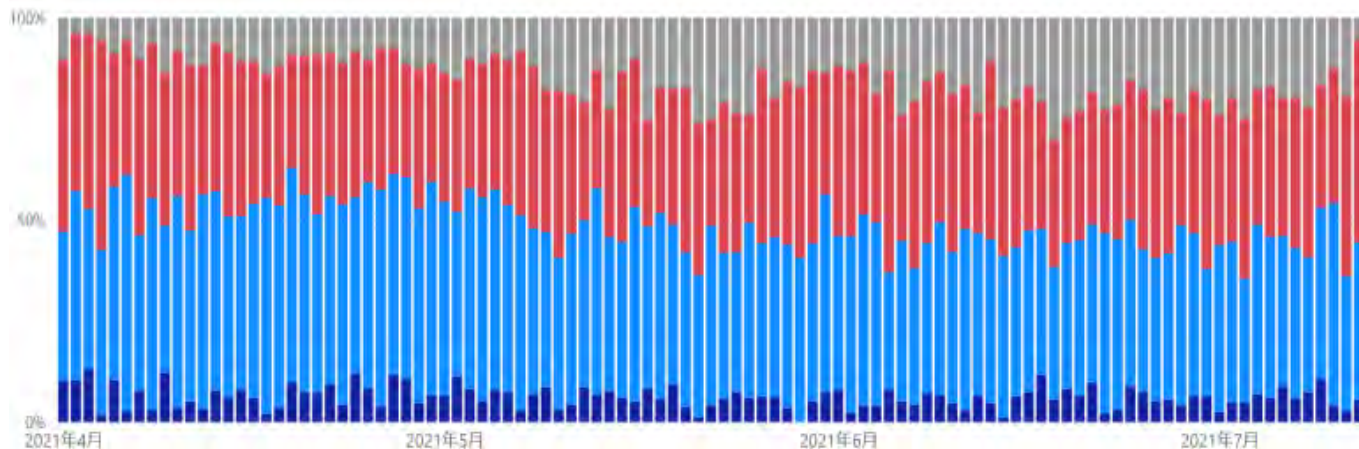
未入力

感染経路不明

感染経路推定

感染経路確定

千葉県

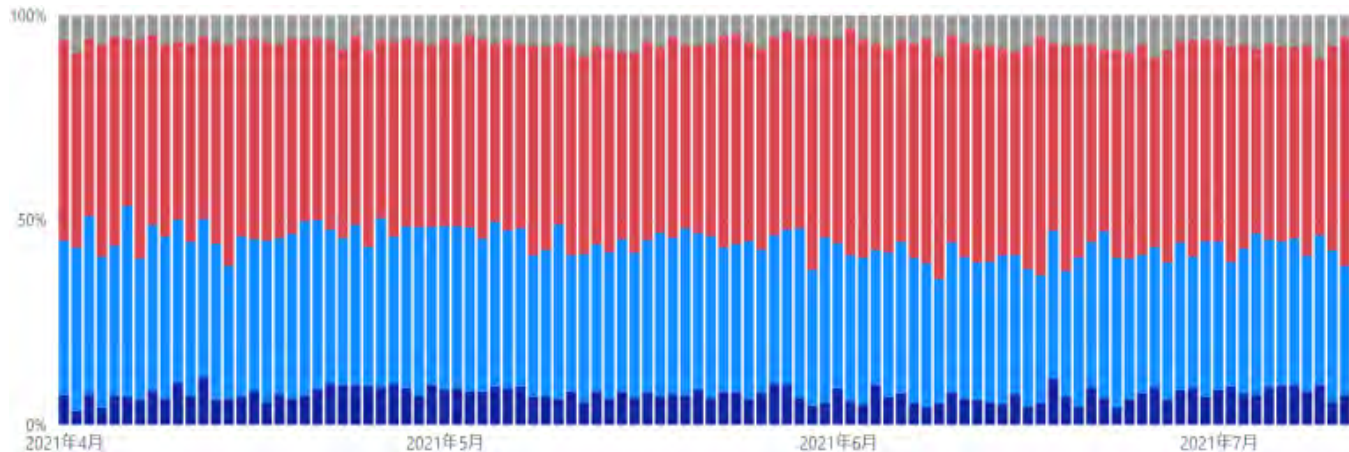


* 発症届の「感染経路」が「確定・推定・不明」となっている数字をそれぞれ抽出。（感染経路：飛沫・飛沫核感染／接触感染／その他）
 * 7/13 10:00時点で発症日がHER-SYSに入力されているデータをグラフ化したもの。
 * 発症届の入力結果をグラフ化したものであり、積極的疫学調査の結果とは必ずしも一致しない可能性がある。

感染経路確度別新規陽性者数（発症日別、HER-SYSデータ、100分率）

- **発症日**が4/1以降のデータについて、**感染経路「確定」「推定」「不明」の割合を百分率でグラフ化**
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県の数字をグラフ化している。

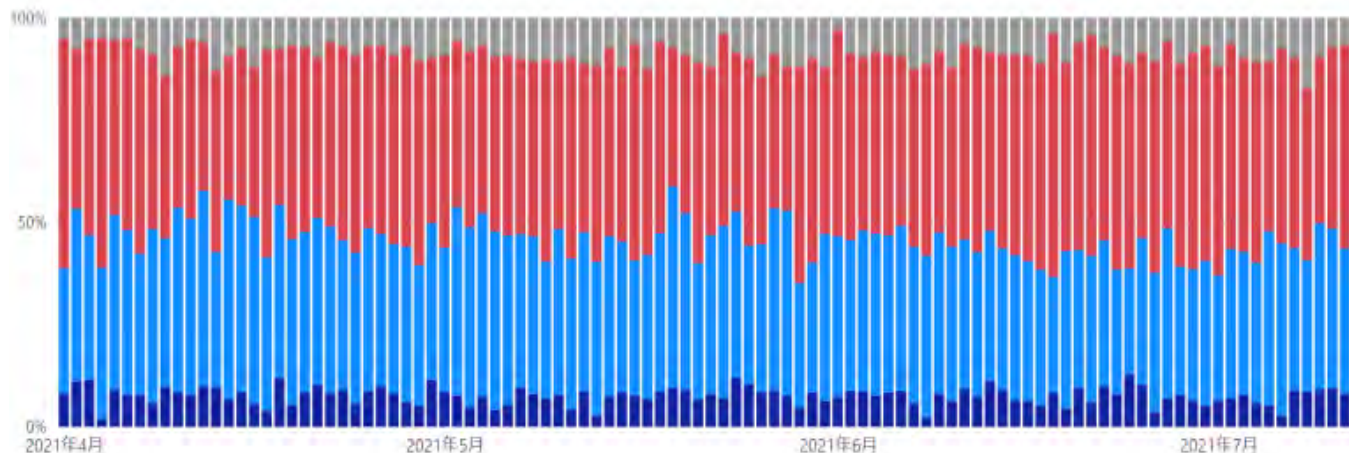
東京都



未入力

感染経路不明

神奈川県



感染経路推定

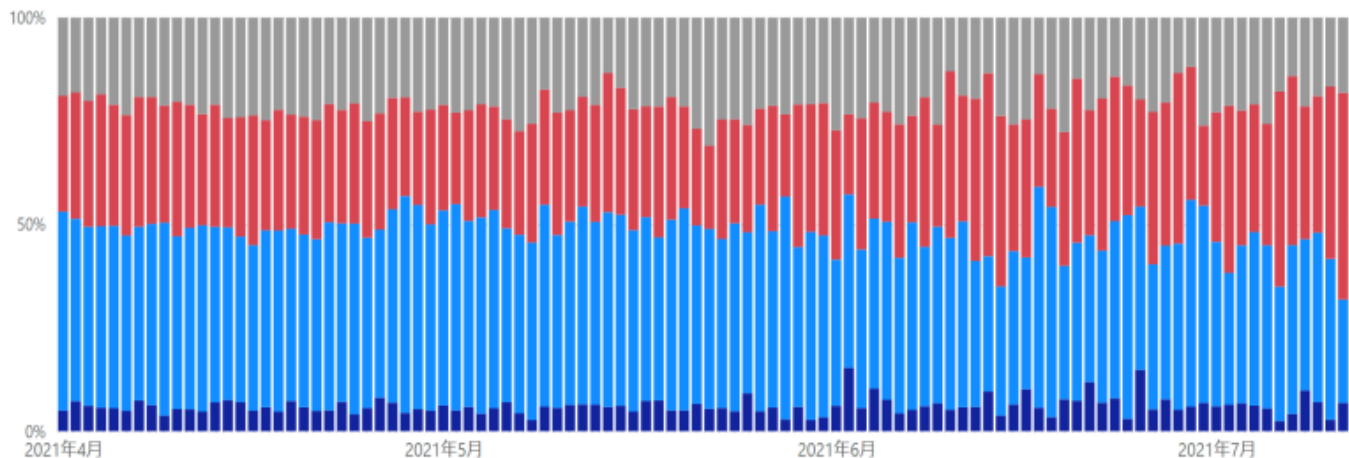
感染経路確定

* 発症届の「感染経路」が「確定・推定・不明」となっている数字をそれぞれ抽出。（感染経路：飛沫・飛沫核感染／接触感染／その他）
 * 7/13 10:00時点で発症日がHER-SYSに入力されているデータをグラフ化したもの。
 * 発症届の入力結果をグラフ化したものであり、積極的疫学調査の結果とは必ずしも一致しない可能性がある。

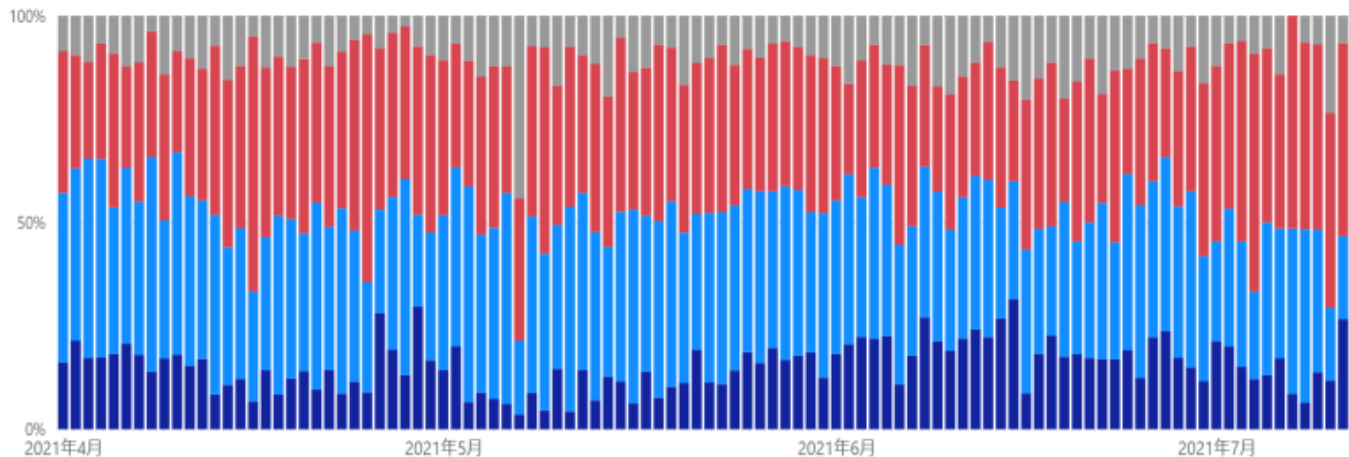
感染経路確度別新規陽性者数（発症日別、HER-SYSデータ、100分率）

- **発症日**が4/1以降のデータについて、**感染経路「確定」「推定」「不明」の割合を百分率でグラフ化**
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県の数字をグラフ化している。

大阪府



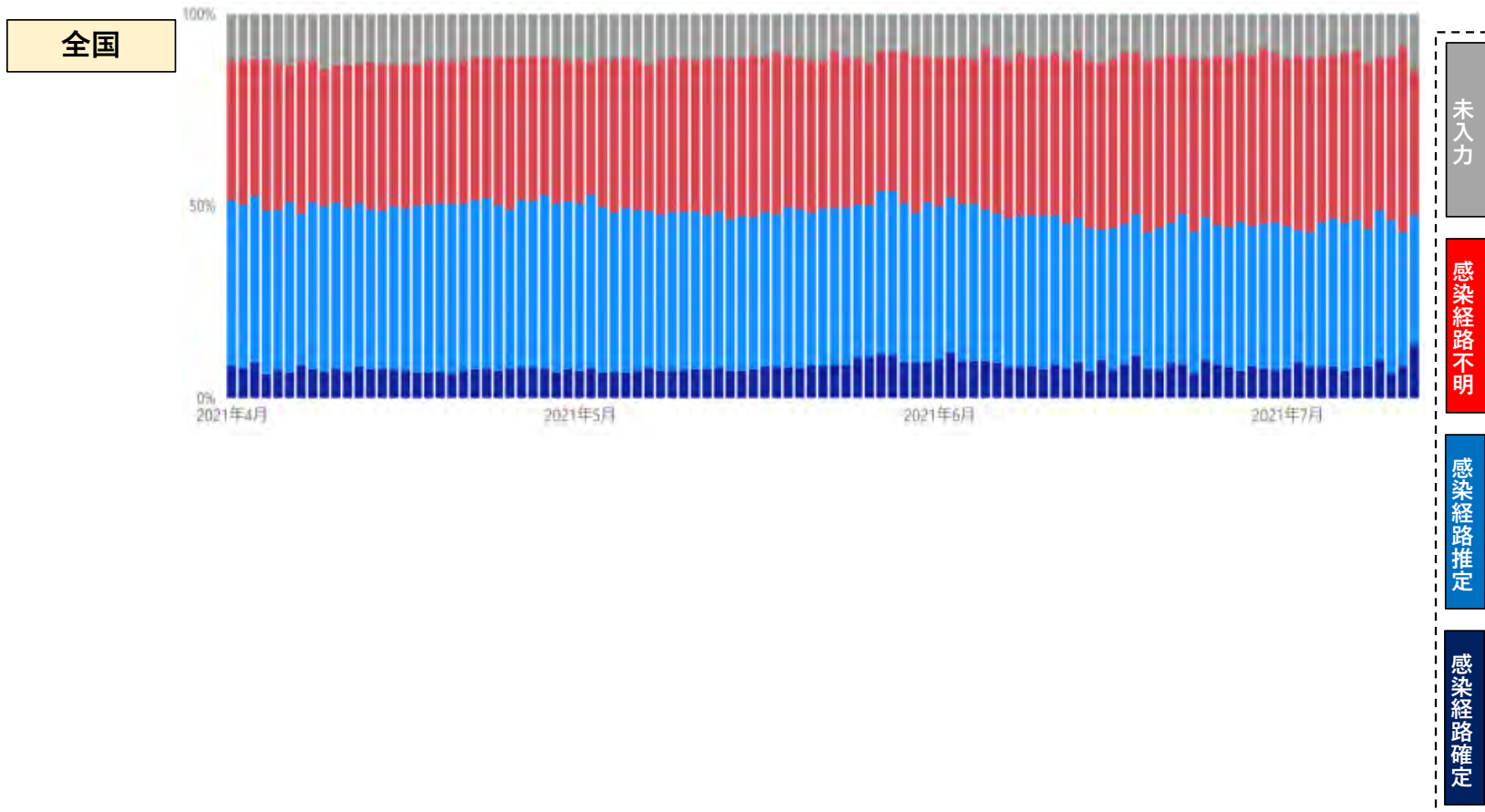
沖縄県



* 発症届の「感染経路」が「確定・推定・不明」となっている数字をそれぞれ抽出。（感染経路：飛沫・飛沫核感染／接触感染／その他）
 * 7/13 10:00時点で発症日がHER-SYSに入力されているデータをグラフ化したもの。
 * 発生届の入力結果をグラフ化したものであり、積極的疫学調査の結果とは必ずしも一致しない可能性がある。

感染経路確度別新規陽性者数（発症日別、HER-SYSデータ、100分率）

- **発症日**が4/1以降のデータについて、**感染経路「確定」「推定」「不明」の割合を百分率でグラフ化**
- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置区域である「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」「大阪」「沖縄」の各都府県の数字をグラフ化している。

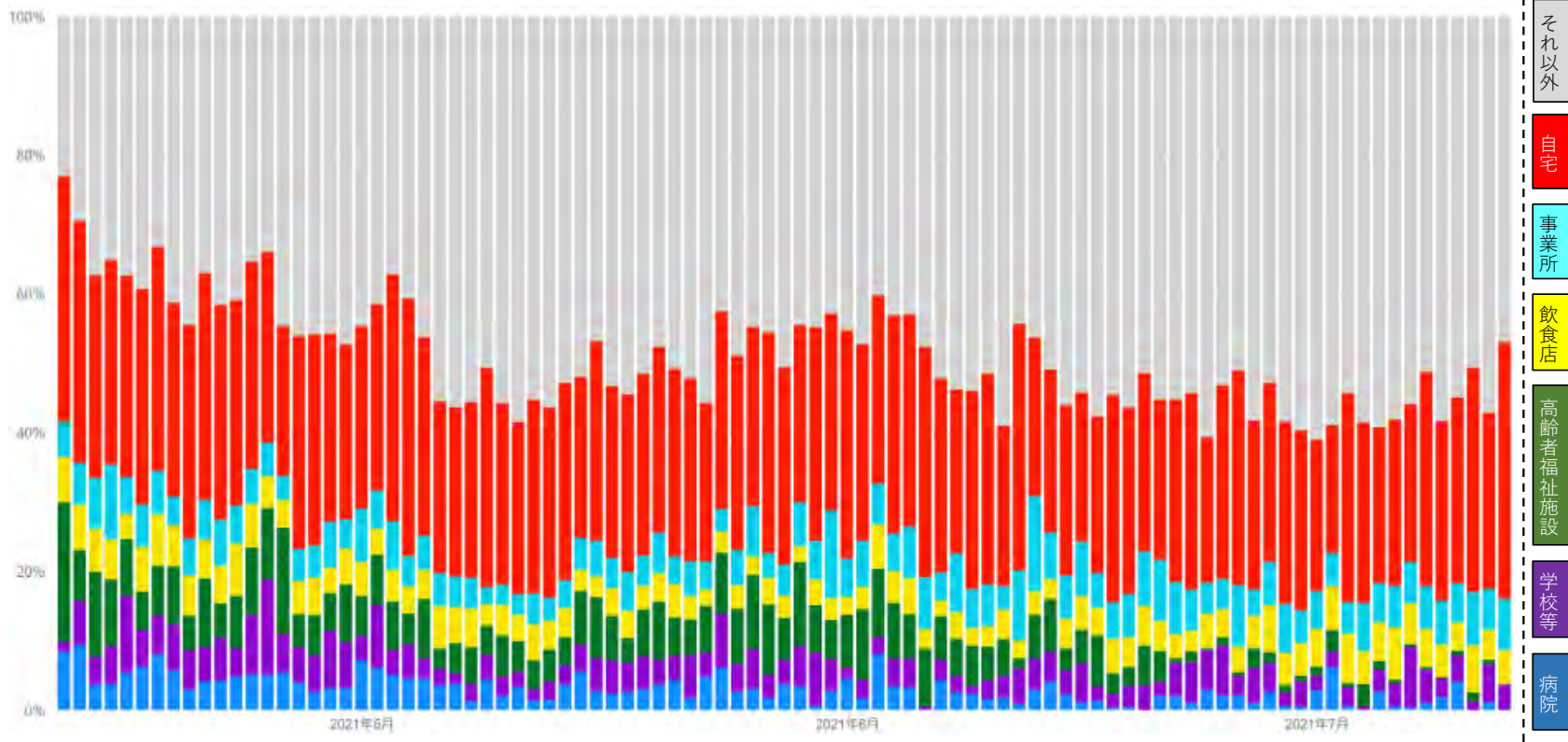


* 発生届の「感染経路」が「確定・推定・不明」となっている数字をそれぞれ抽出。（感染経路：飛沫・飛沫核感染／接触感染／その他）
 * 7/13 10:00時点で発症日がHER-SYSに入力されているデータをグラフ化したもの。
 * 発生届の入力結果をグラフ化したものであり、積極的疫学調査の結果とは必ずしも一致しない可能性がある。

新規陽性者の感染場所（報告日別、HER-SYSデータ、100分率）

- ・ **場所区分が入力されている全てのデータ**を機械的に集計し、**百分率でグラフ化**したもの。（場所区分の入力徹底を依頼した4/12以降のデータを抽出）
- ・ 場所区分の入力は任意であり、保健所・医療機関における入力状況の差は大きいこと等から、**データの解釈には十分な留意が必要**。（以下の場所区分毎の新規感染者数には、未入力分は含まれていない。）

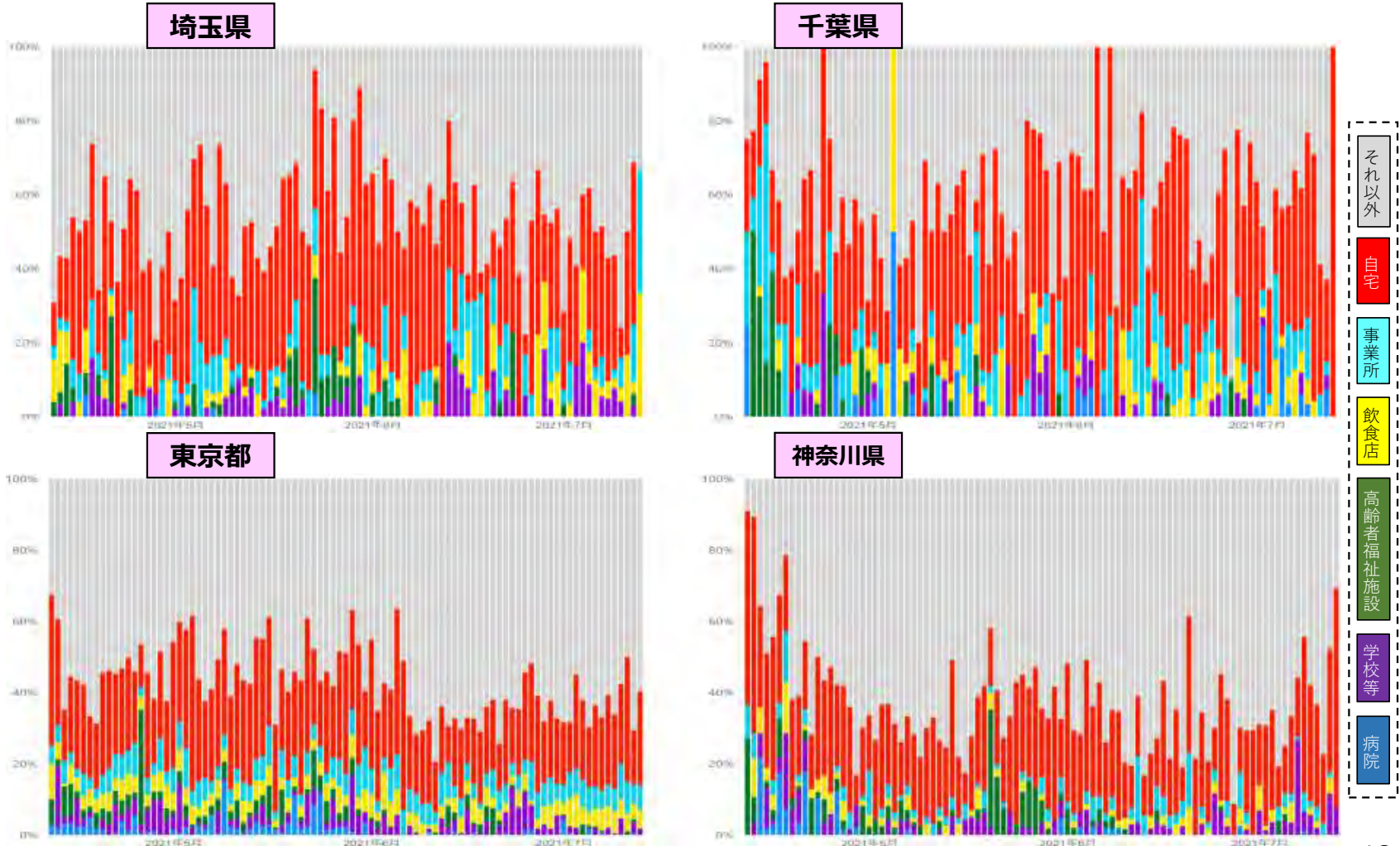
全国



* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

新規陽性者の感染場所（報告日別、HER-SYSデータ、100分率）

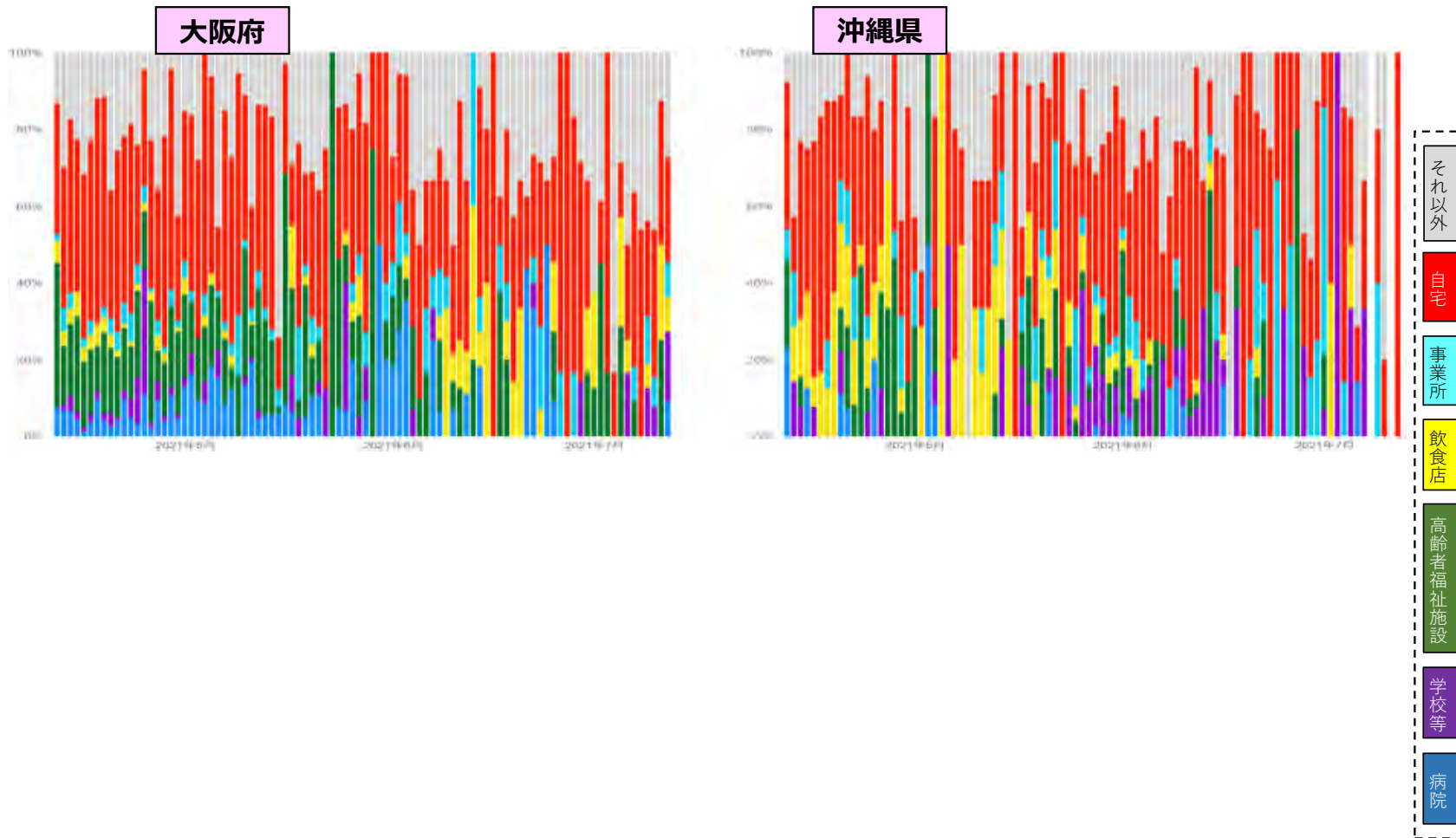
- ・ 場所区分の入力は任意であり、保健所・医療機関における入力状況の差は大きいこと等から、データの解釈には十分な留意が必要。（以下の場所区分毎の新規感染者数には、未入力分は含まれていない。）



* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

新規陽性者の感染場所（報告日別、HER-SYSデータ、100分率）

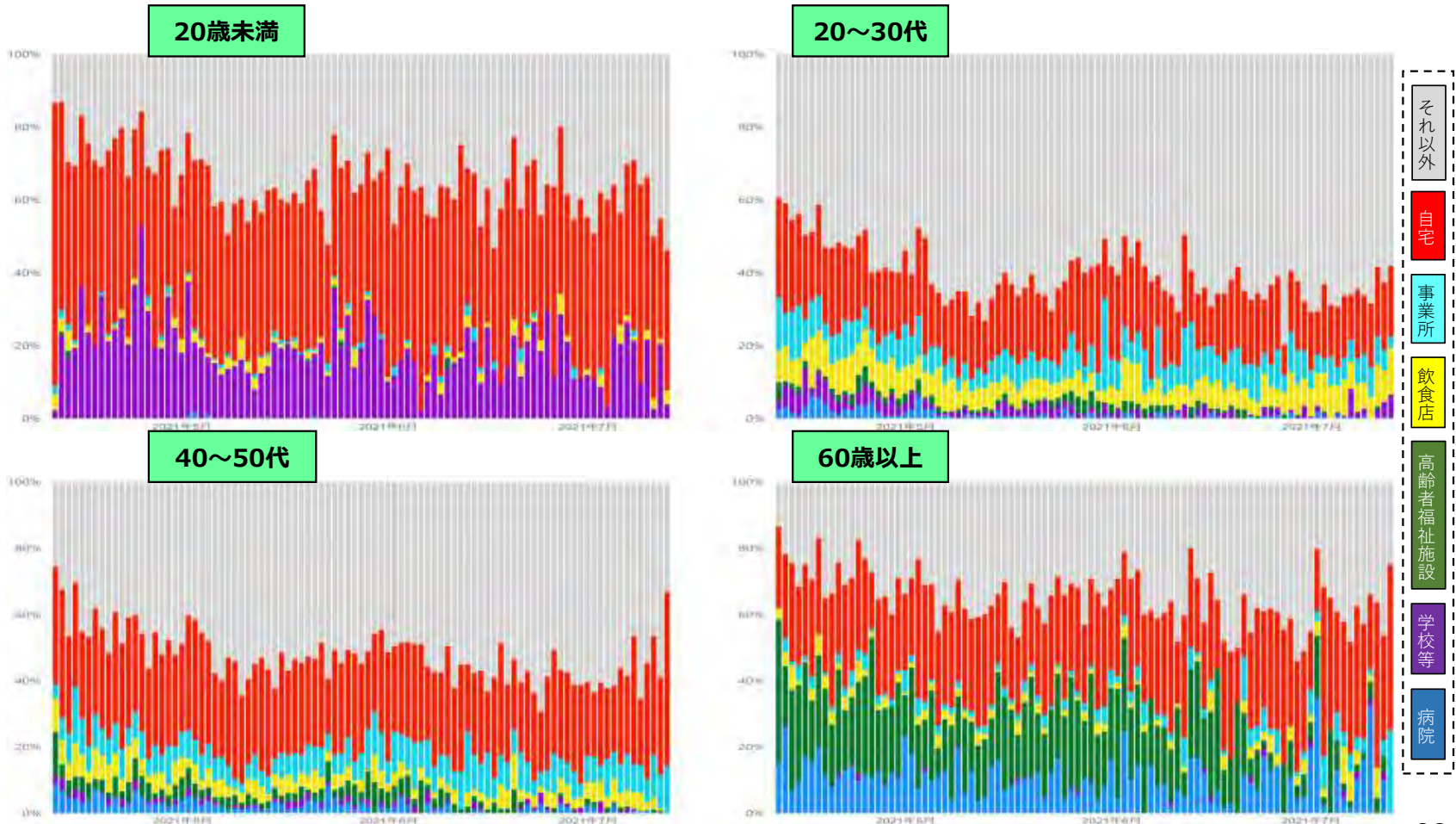
- ・ 場所区分の入力は任意であり、保健所・医療機関における入力状況の差は大きいこと等から、データの解釈には十分な留意が必要。（以下の場所区分毎の新規感染者数には、未入力分は含まれていない。）



* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

新規陽性者の感染場所（報告日別、HER-SYSデータ、100分率）

- ・ **新規陽性者の感染場所を年代別に整理**。（入力数の関係上、4/12以降の**全国データのみを表示**）
- ・ 場所区分の入力は任意であり、保健所・医療機関における入力状況の差は大きいこと等から、データの解釈には十分な留意が必要。（以下の場所区分毎の新規感染者数には、未入力分は含まれていない。）

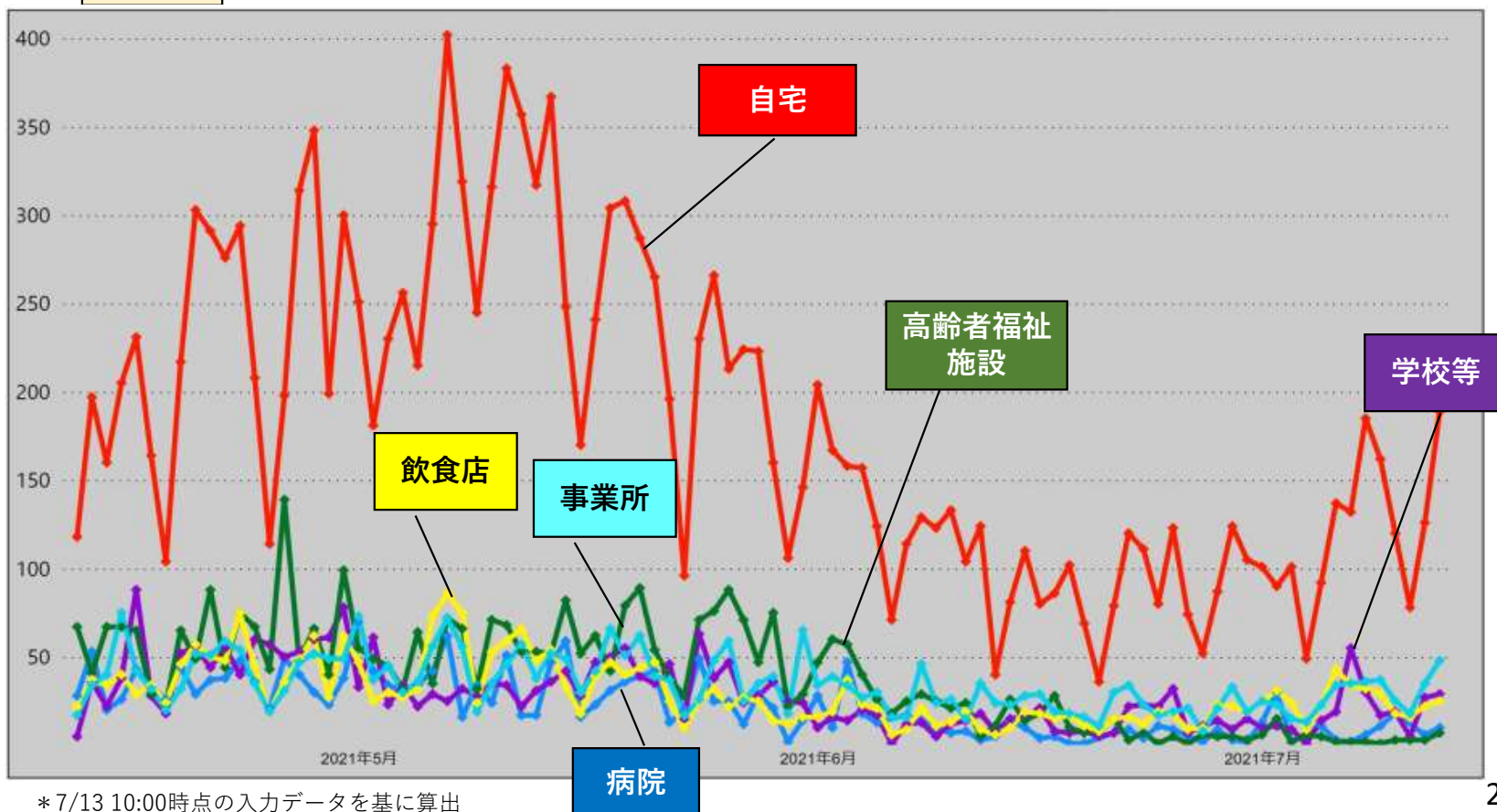


* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

新規陽性者の感染場所（報告日別、HER-SYSデータ、実数）

- ・ **感染場所（場所区分）が「病院」「学校等」「高齢者福祉施設」「飲食店」「事業所」「自宅」とされているもの**について、「割合」ではなく**「実数」をグラフ化**したもの。（場所区分の入力徹底を依頼した4/12以降のデータを抽出）
- ・ 場所区分の入力は任意であり、保健所・医療機関における入力状況の差は大きいこと等から、**データの解釈には十分な留意が必要**。（以下の場所区分毎の新規感染者数には、未入力分は含まれていない。）

全国

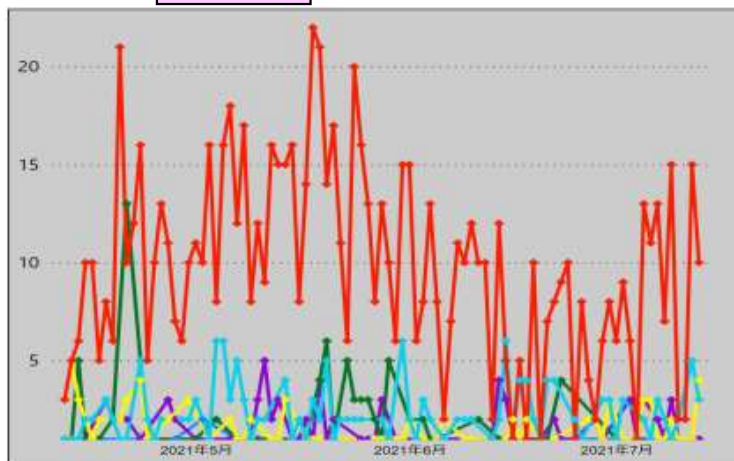


* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

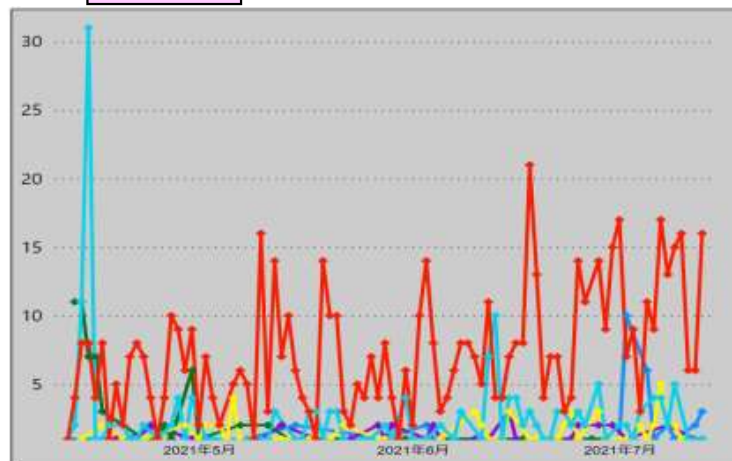
新規陽性者の感染場所（報告日別、HER-SYSデータ、実数）

- ・ 場所区分の入力は任意であり、保健所・医療機関における入力状況の差は大きいこと等から、データの解釈には十分な留意が必要。（以下の場所区分毎の新規感染者数には、未入力分は含まれていない。）

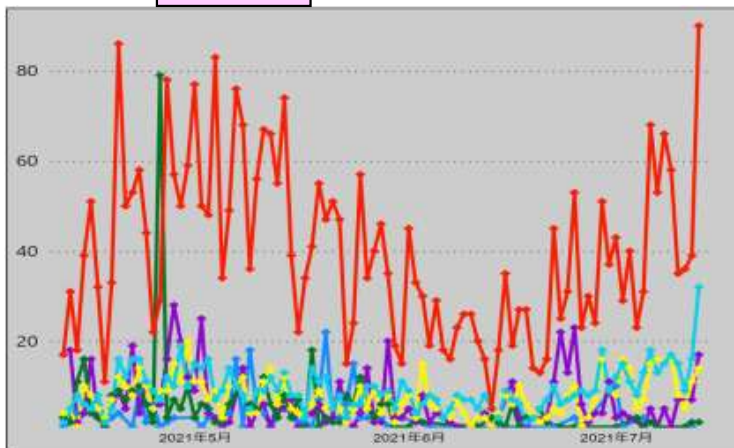
埼玉県



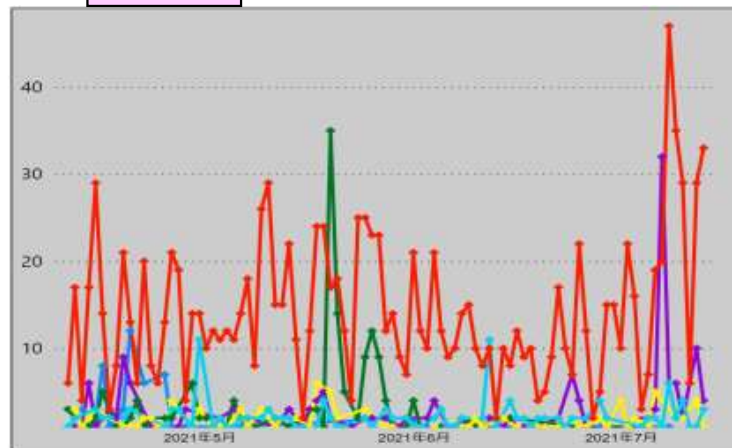
千葉県



東京都



神奈川県

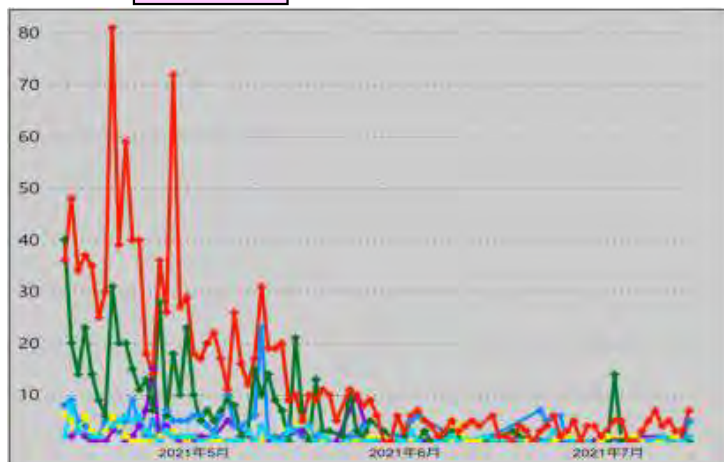


* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

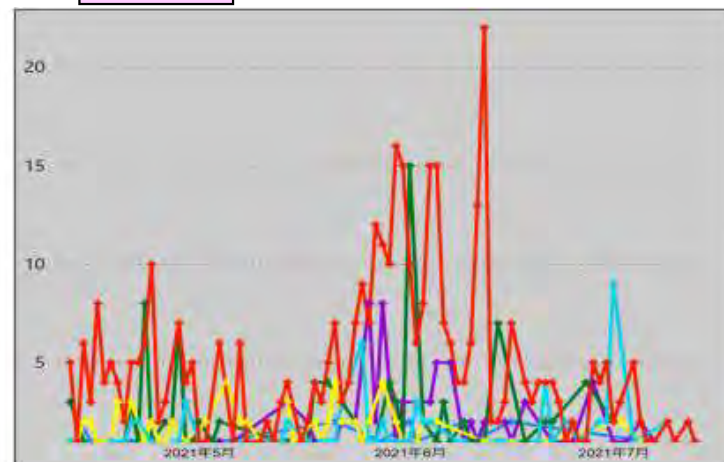
新規陽性者の感染場所（報告日別、HER-SYSデータ、実数）

- ・ 場所区分の入力は任意であり、保健所・医療機関における入力状況の差は大きいこと等から、データの解釈には十分な留意が必要。（以下の場所区分毎の新規感染者数には、未入力分は含まれていない。）

大阪府



沖縄県



自宅

事業所

飲食店

高齢者福祉施設

学校等

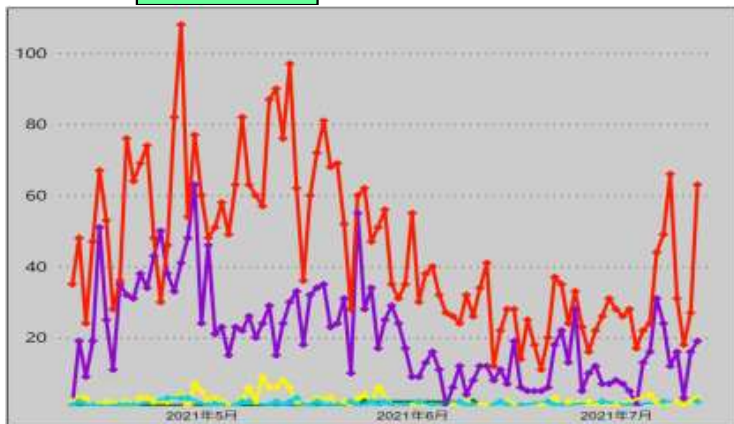
病院

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

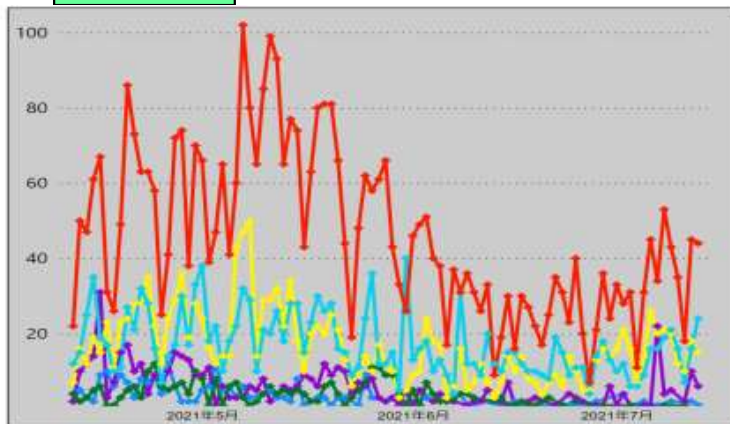
新規陽性者の感染場所（報告日別、HER-SYSデータ、実数）

- ・ **新規陽性者の感染場所を年代別に整理**。（入力数の関係上、4/12以降の**全国データのみを表示**）
- ・ 場所区分の入力は任意であり、保健所・医療機関における入力状況の差は大きいこと等から、データの解釈には十分な**留意が必要**。（以下の場所区分毎の新規感染者数には、未入力分は含まれていない。）

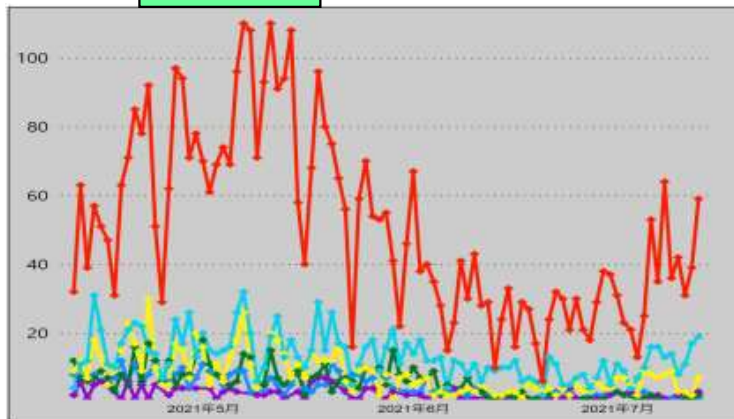
20歳未満



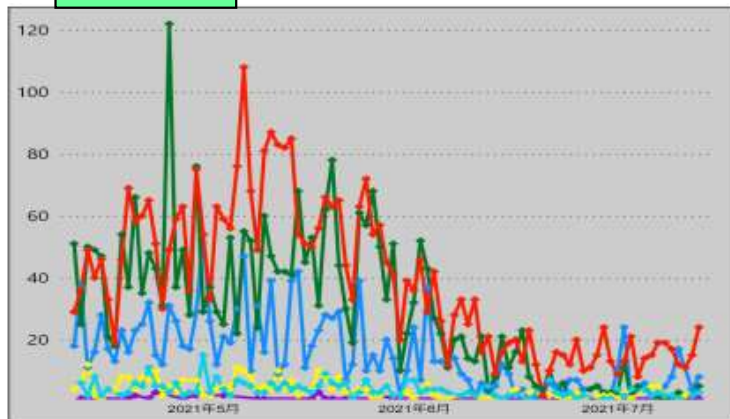
20～30代



40～50代



60歳以上



自宅

事業所

飲食店

高齢者福祉施設

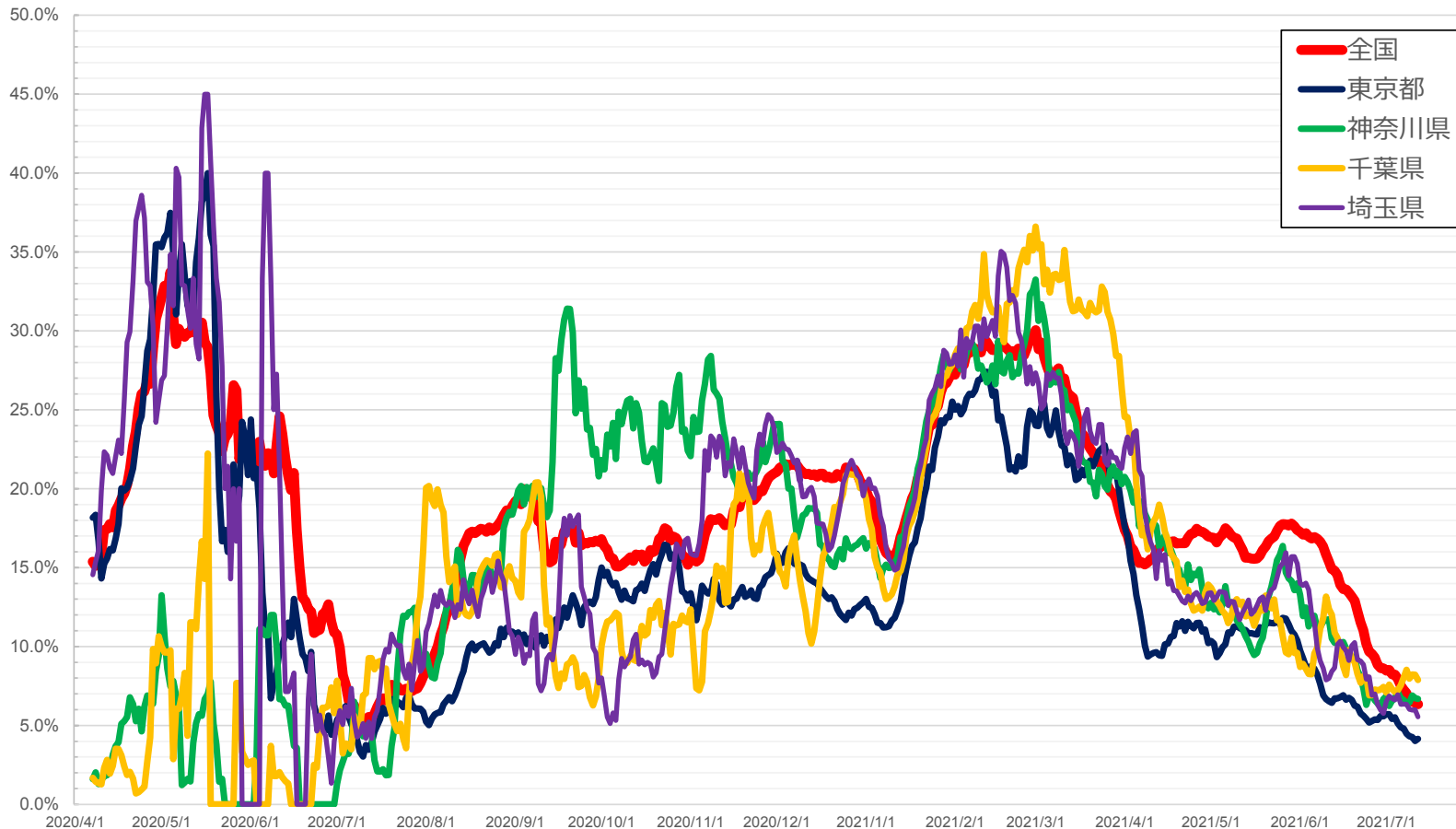
学校等

病院

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

新規陽性者に占める65歳以上の割合の推移（報告日別、HER-SYSデータ）

- **新規陽性者に占める65歳以上の割合**を時系列で整理したもの。（全国 + 1都3県）
- 足元では、7日間移動平均で見ると、全国平均で6%台、東京都で4%台となっている。

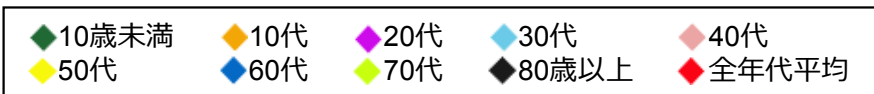


* 7/13 9:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。

* 新規陽性者、65歳以上の者ともに7日間移動平均を使用。

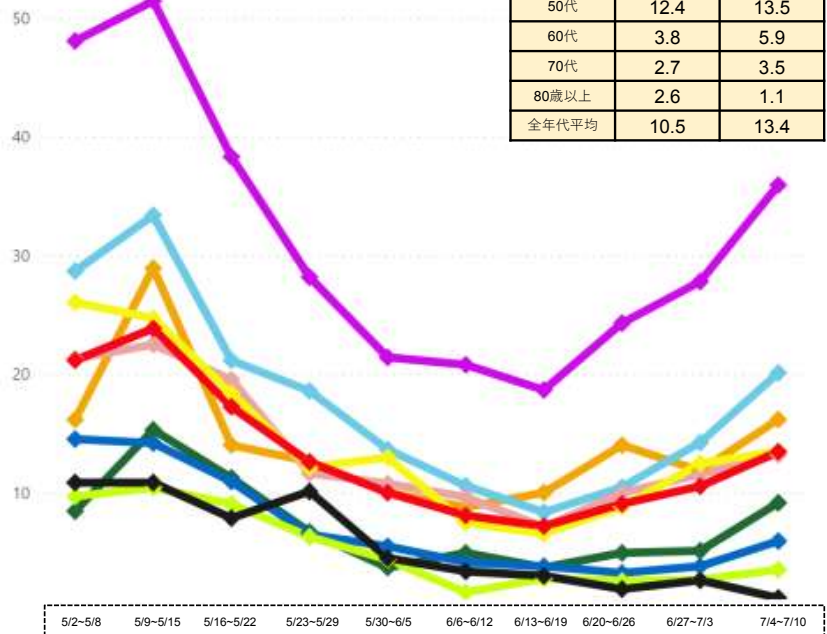
都道府県別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (年代別、HER-SYSデータ)

○ 年代別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(10歳刻み)



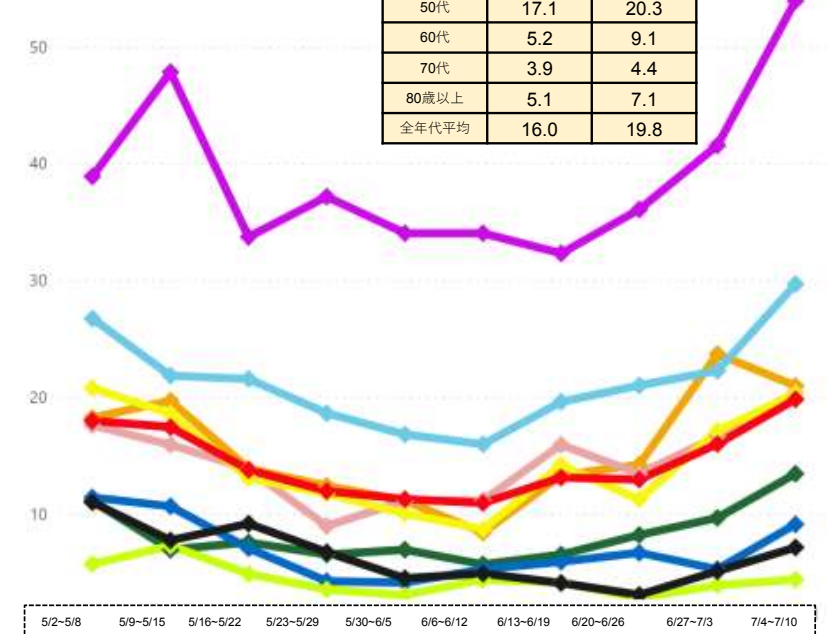
埼玉県

	6/27~7/3	7/4~7/10
10歳未満	5.1	9.1
10代	11.8	16.2
20代	27.8	35.9
30代	14.2	20.1
40代	11.5	13.2
50代	12.4	13.5
60代	3.8	5.9
70代	2.7	3.5
80歳以上	2.6	1.1
全年代平均	10.5	13.4



千葉県

	6/27~7/3	7/4~7/10
10歳未満	9.6	13.4
10代	23.7	20.9
20代	41.5	53.9
30代	22.2	29.7
40代	16.6	20.4
50代	17.1	20.3
60代	5.2	9.1
70代	3.9	4.4
80歳以上	5.1	7.1
全年代平均	16.0	19.8



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。
(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

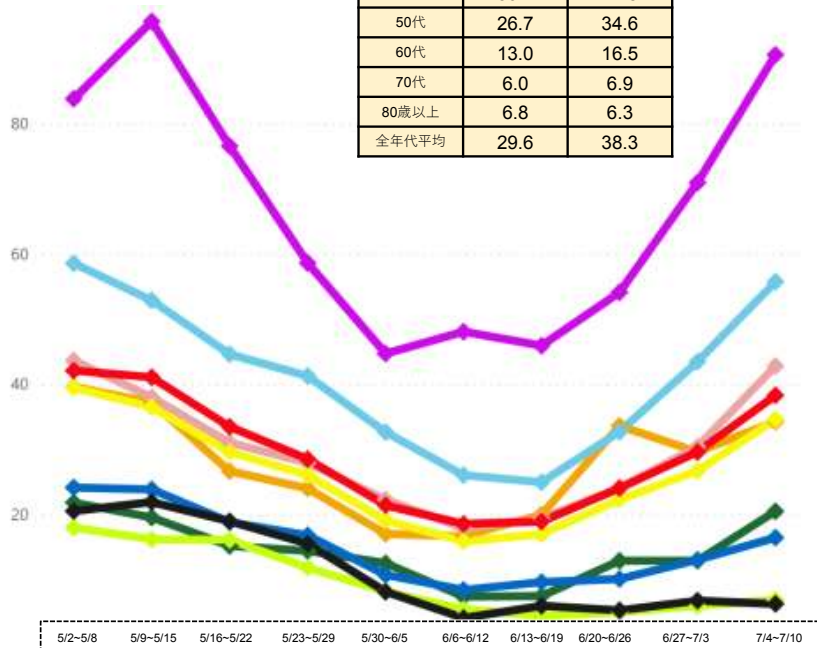
都道府県別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (年代別、HER-SYSデータ)

○ 年代別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(10歳刻み)

◆ 10歳未満 ◆ 10代 ◆ 20代 ◆ 30代 ◆ 40代
◆ 50代 ◆ 60代 ◆ 70代 ◆ 80歳以上 ◆ 全年代平均

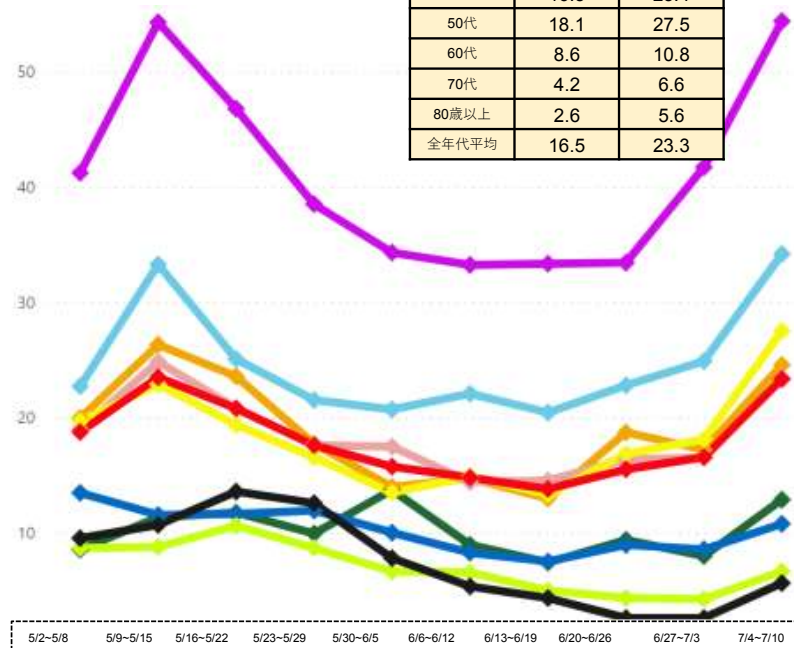
東京都

	6/27-7/3	7/4-7/10
10歳未満	12.9	20.5
10代	29.6	34.3
20代	70.9	90.5
30代	43.4	55.7
40代	30.4	42.8
50代	26.7	34.6
60代	13.0	16.5
70代	6.0	6.9
80歳以上	6.8	6.3
全年代平均	29.6	38.3



神奈川県

	6/27-7/3	7/4-7/10
10歳未満	8.0	12.9
10代	17.2	24.6
20代	41.7	54.4
30代	24.9	34.2
40代	16.5	23.4
50代	18.1	27.5
60代	8.6	10.8
70代	4.2	6.6
80歳以上	2.6	5.6
全年代平均	16.5	23.3



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

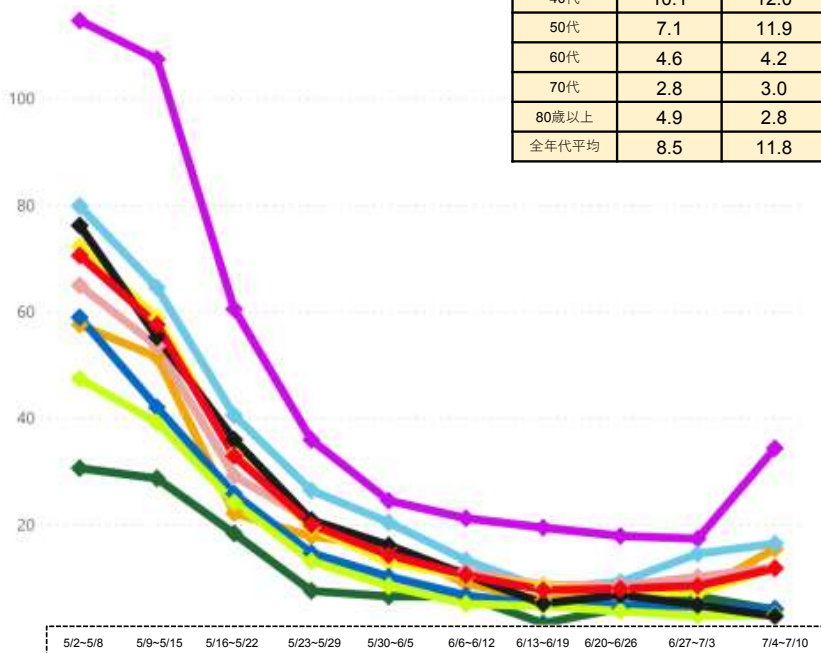
都道府県別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (年代別、HER-SYSデータ)

○ 年代別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(10歳刻み)

◆ 10歳未満 ◆ 10代 ◆ 20代 ◆ 30代 ◆ 40代
◆ 50代 ◆ 60代 ◆ 70代 ◆ 80歳以上 ◆ 全年代平均

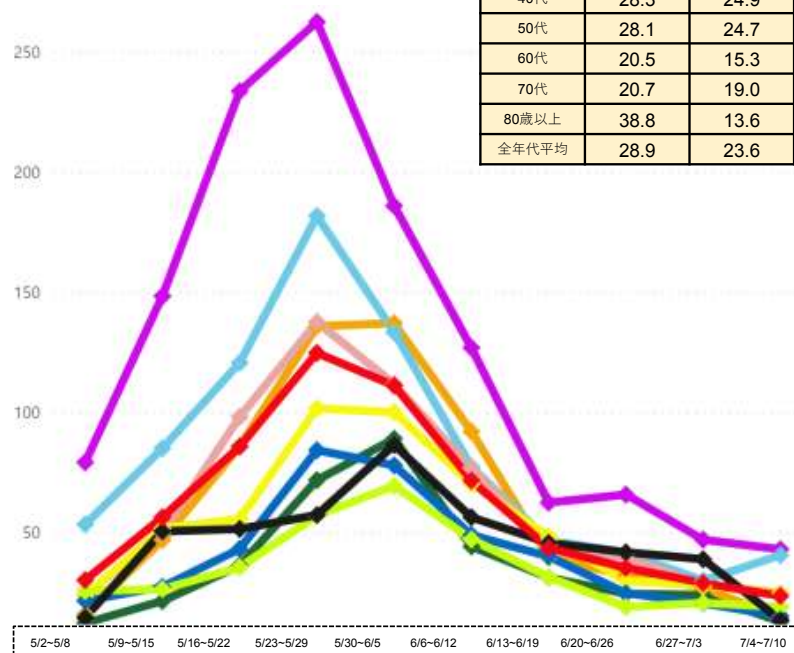
大阪府

	6/27~7/3	7/4~7/10
10歳未満	6.5	4.0
10代	7.3	15.4
20代	17.3	34.3
30代	14.5	16.4
40代	10.1	12.0
50代	7.1	11.9
60代	4.6	4.2
70代	2.8	3.0
80歳以上	4.9	2.8
全年代平均	8.5	11.8



沖縄県

	6/27~7/3	7/4~7/10
10歳未満	23.9	12.9
10代	27.2	14.2
20代	47.0	43.0
30代	30.0	40.6
40代	28.3	24.9
50代	28.1	24.7
60代	20.5	15.3
70代	20.7	19.0
80歳以上	38.8	13.6
全年代平均	28.9	23.6



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

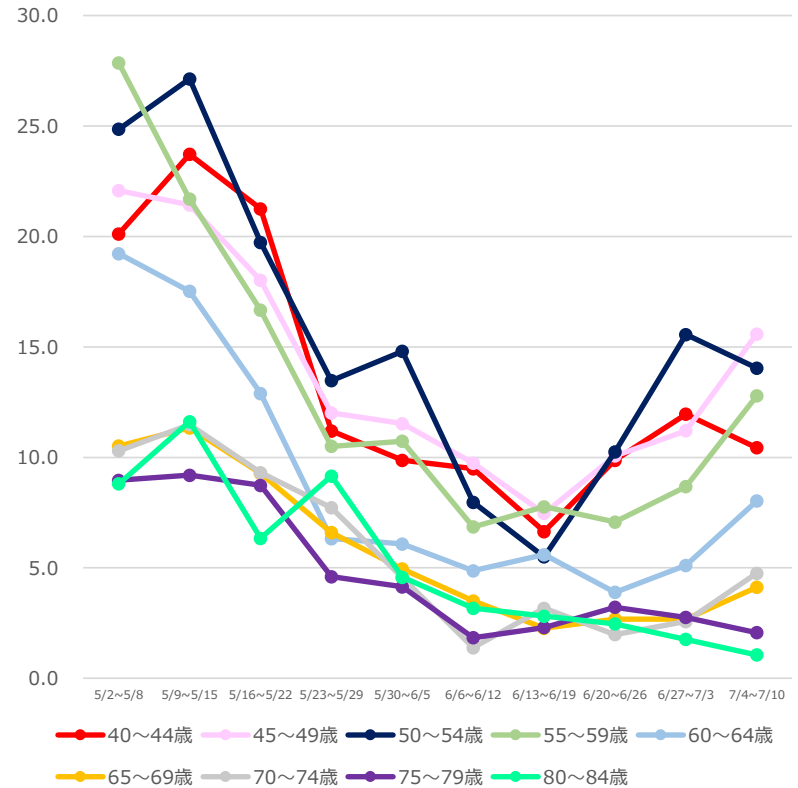
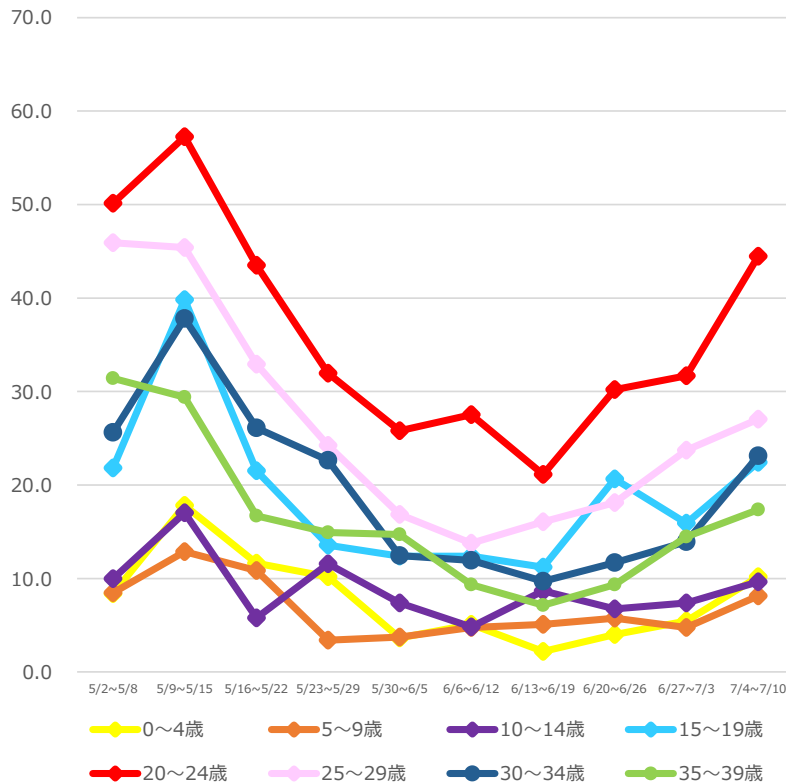
埼玉県の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数 (5歳刻み、HER-SYSデータ)

○ 埼玉県の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(5歳刻み)

埼玉県

0～39歳

40歳以上



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

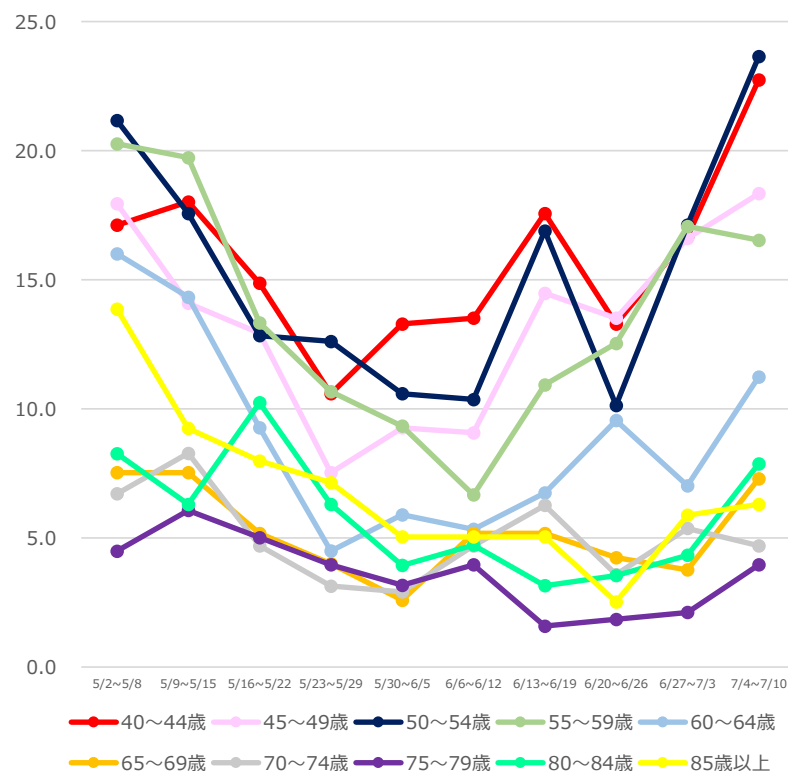
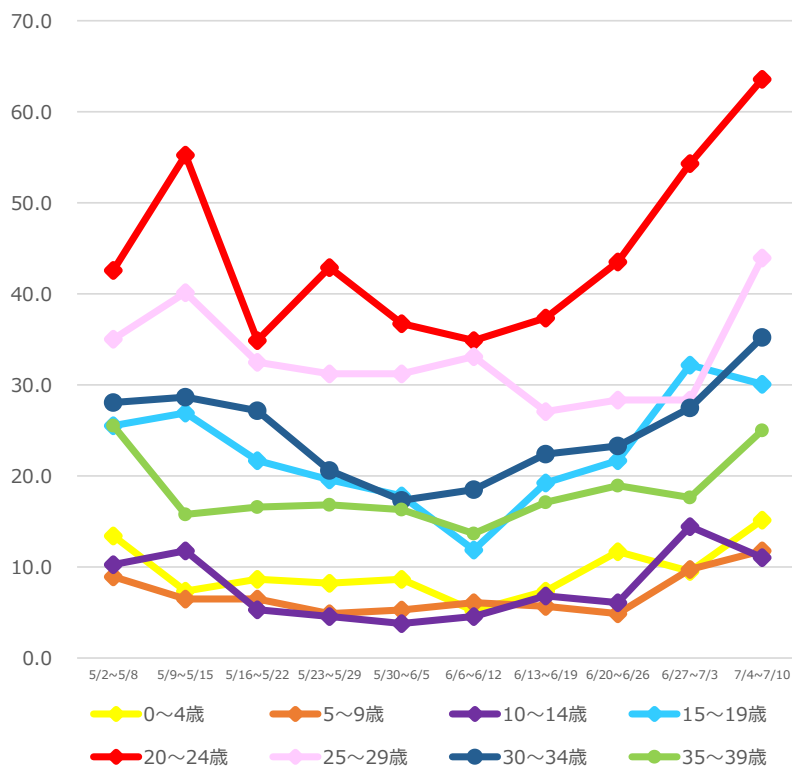
千葉県の人10万人当たり7日間累積新規陽性者数 (5歳刻み、HER-SYSデータ)

○ 千葉県の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(5歳刻み)

千葉県

0～39歳

40歳以上



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

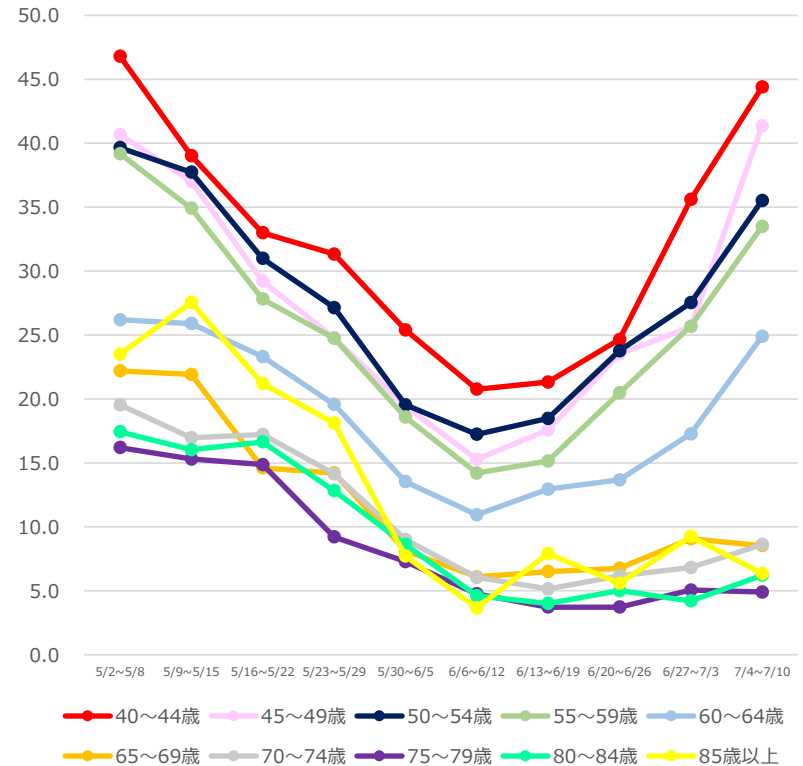
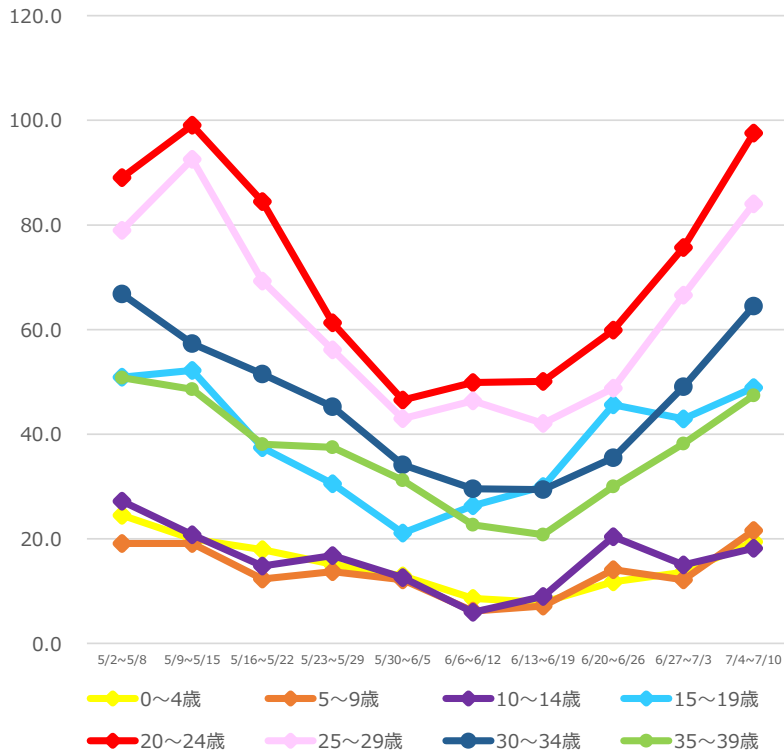
東京都の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数 (5歳刻み、HER-SYSデータ)

○ 東京都の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(5歳刻み)

東京都

0～39歳

40歳以上



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

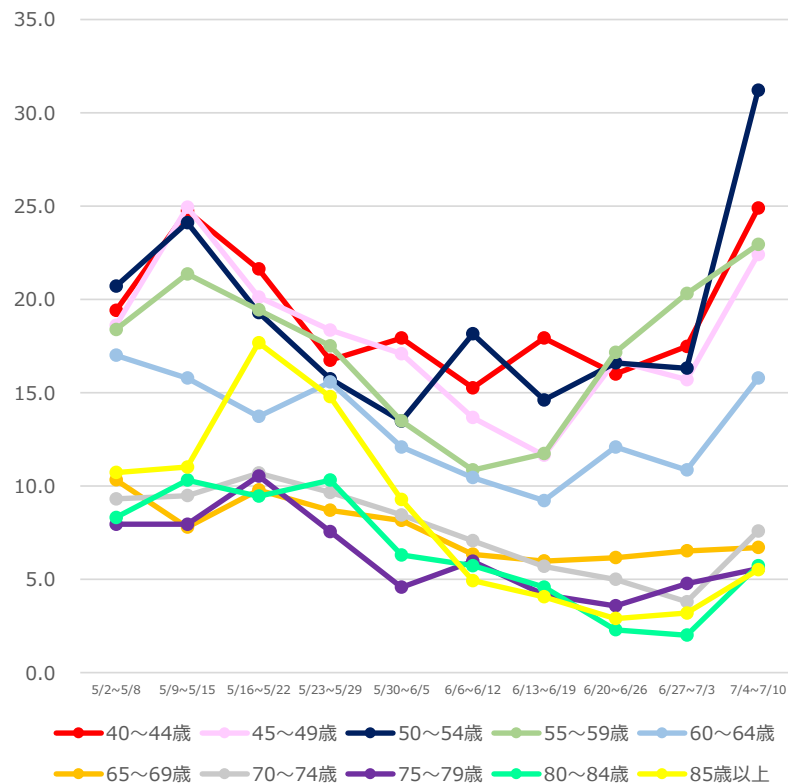
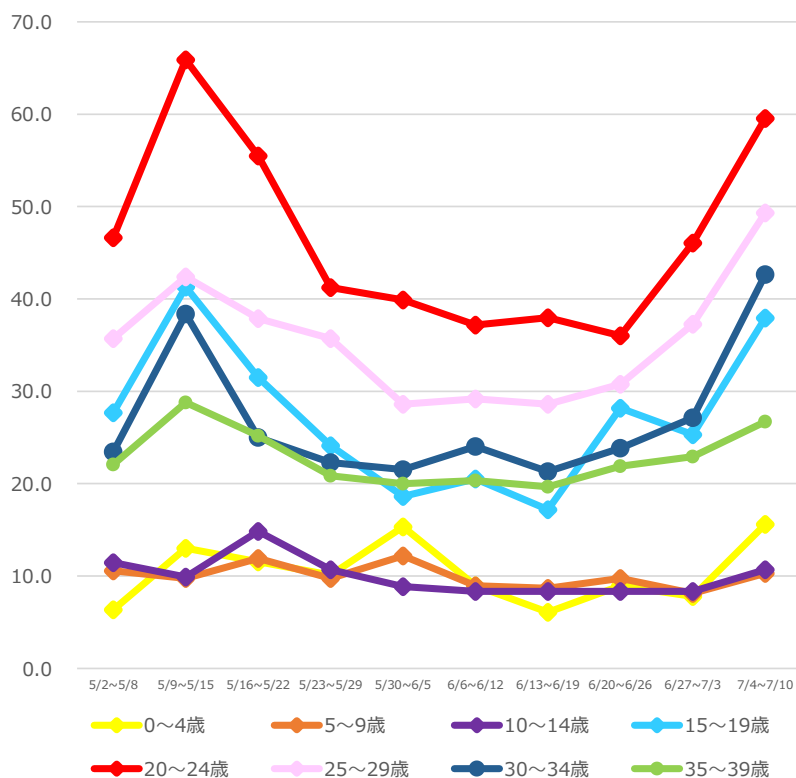
神奈川県の人10万人当たり7日間累積新規陽性者数 (5歳刻み、HER-SYSデータ)

○ 神奈川県の人10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(5歳刻み)

神奈川県

0～39歳

40歳以上



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

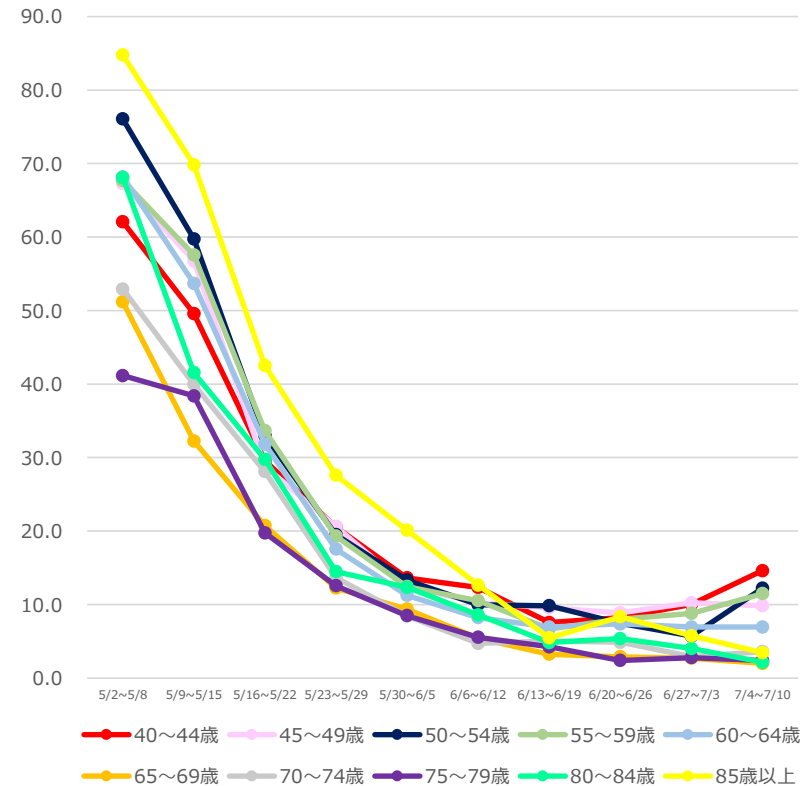
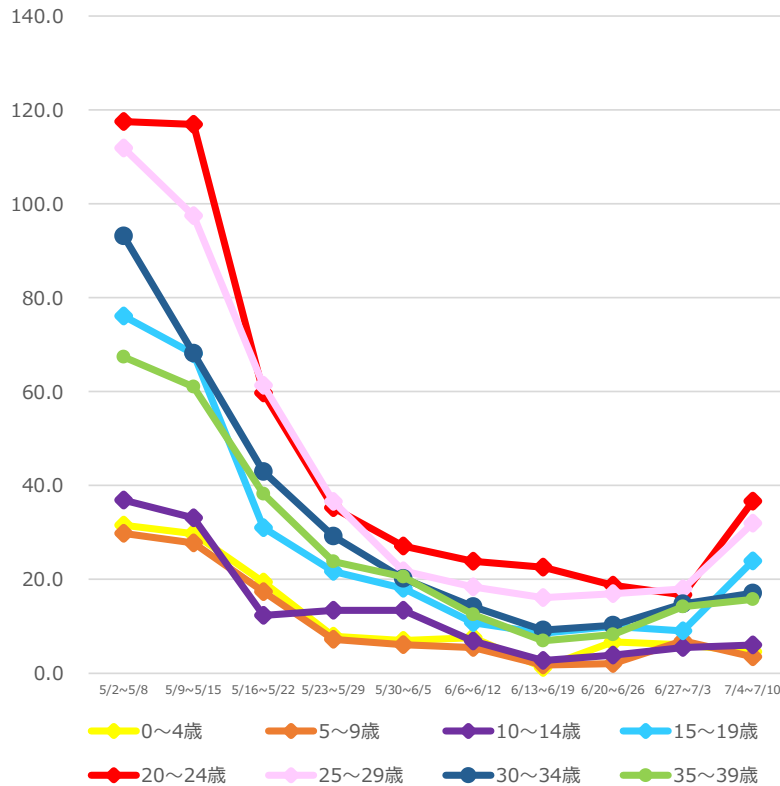
大阪府の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数 (5歳刻み、HER-SYSデータ)

○ 大阪府の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(5歳刻み)

大阪府

0～39歳

40歳以上



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

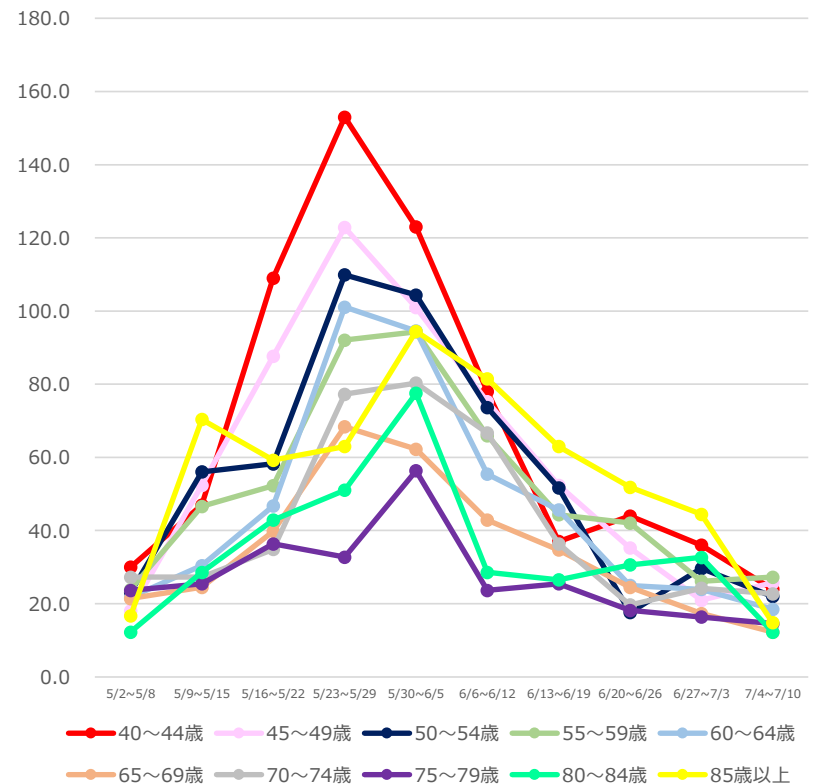
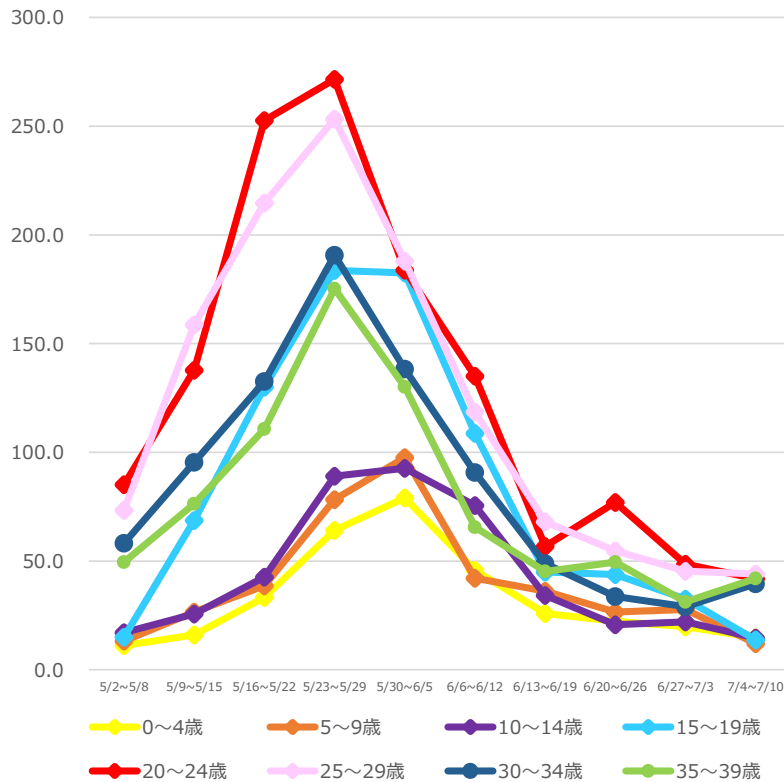
沖縄県の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数 (5歳刻み、HER-SYSデータ)

○ 沖縄県の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数を時系列で整理したもの。(5歳刻み)

沖縄県

0～39歳

40歳以上



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

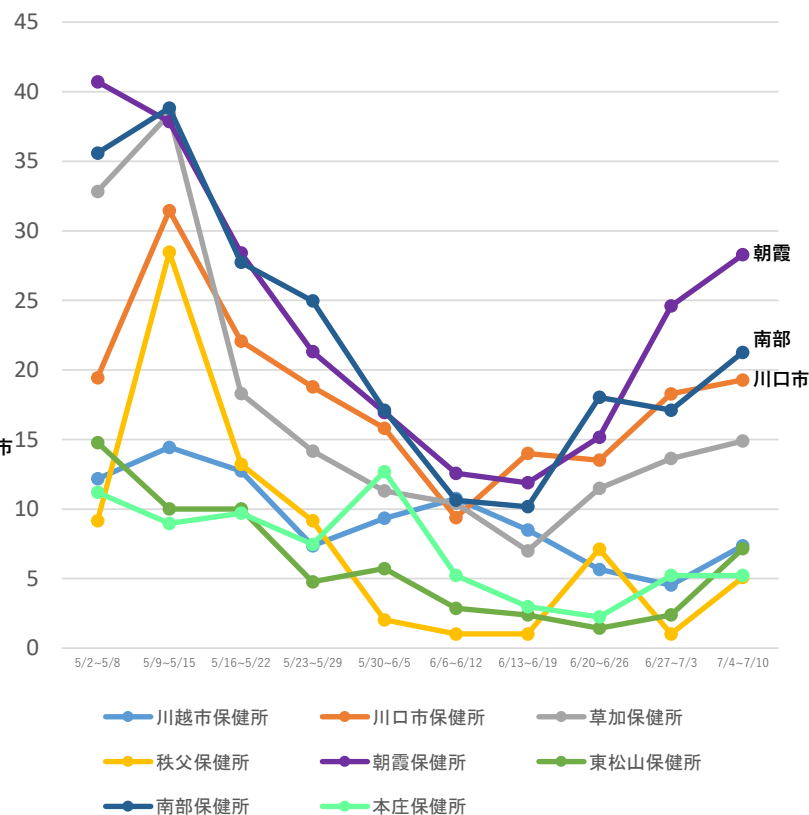
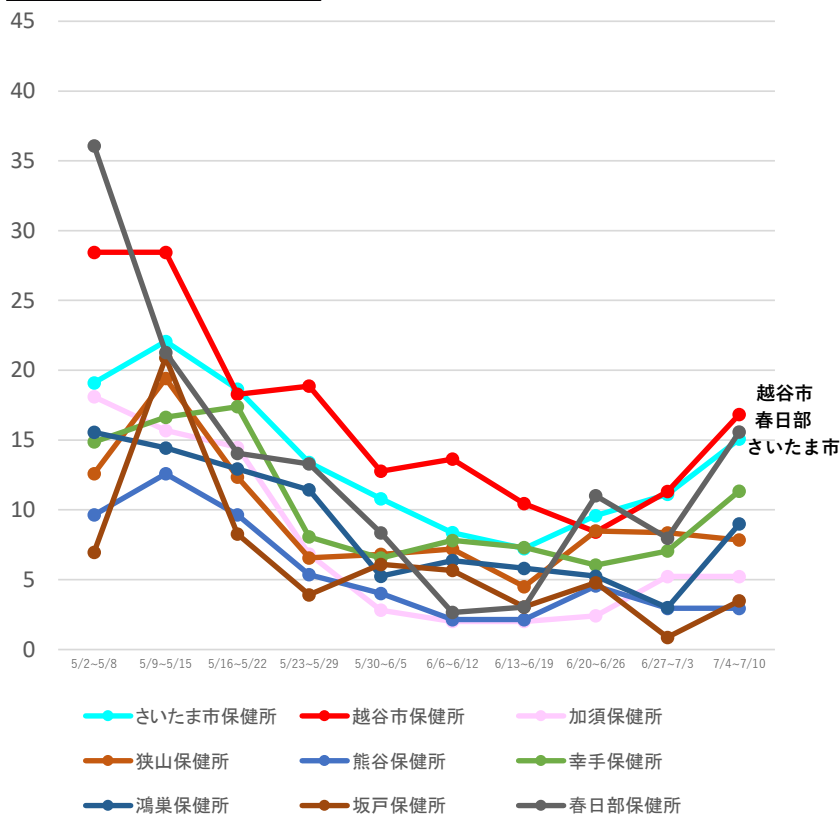
(注2) 計算に用いた人口は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口。

* 7/13 10:00時点の入力データを基に算出

保健所別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (HER-SYSデータ)

○ **保健所別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数**を時系列で整理したもの。(届出保健所ベース)

埼玉県



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各保健所に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

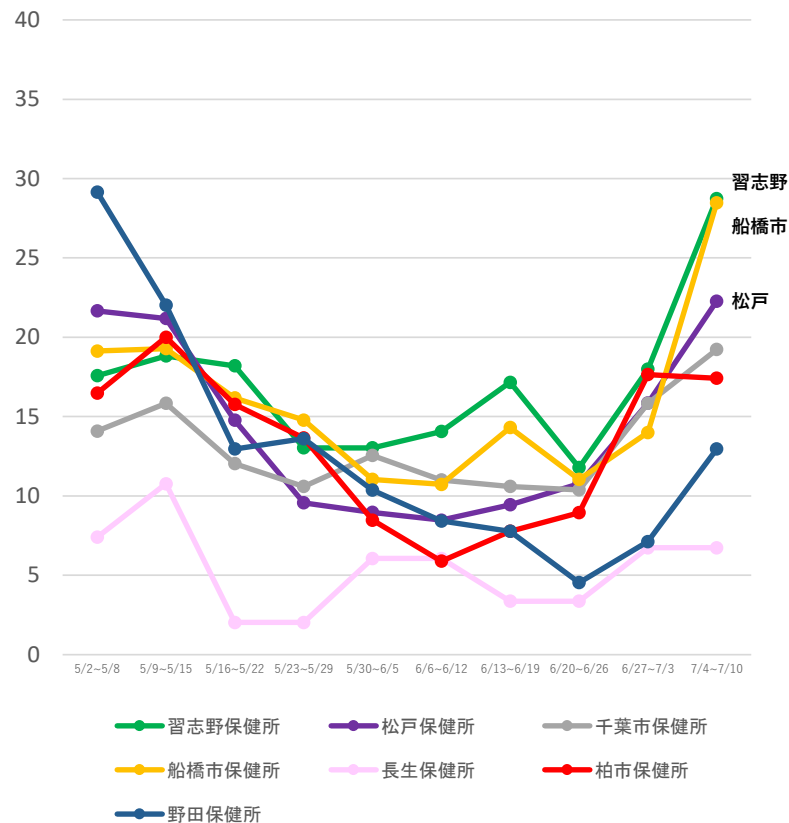
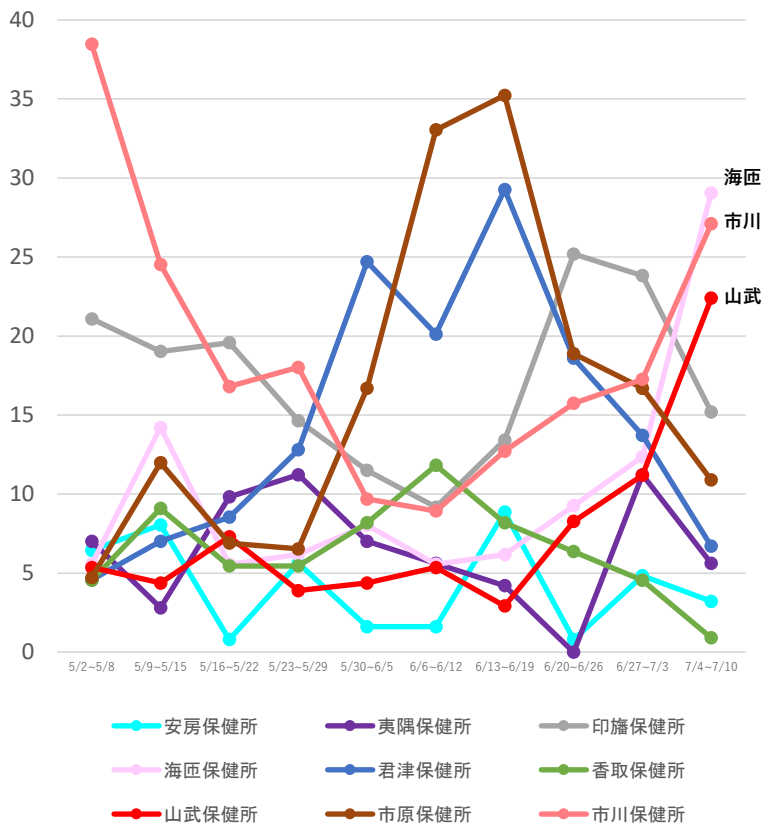
(注2) 計算に用いた人口は、住民基本台帳に基づく人口(令和2年1月1日現在)。

* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出

保健所別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (HER-SYSデータ)

○ **保健所別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数**を時系列で整理したもの。(届出保健所ベース)

千葉県



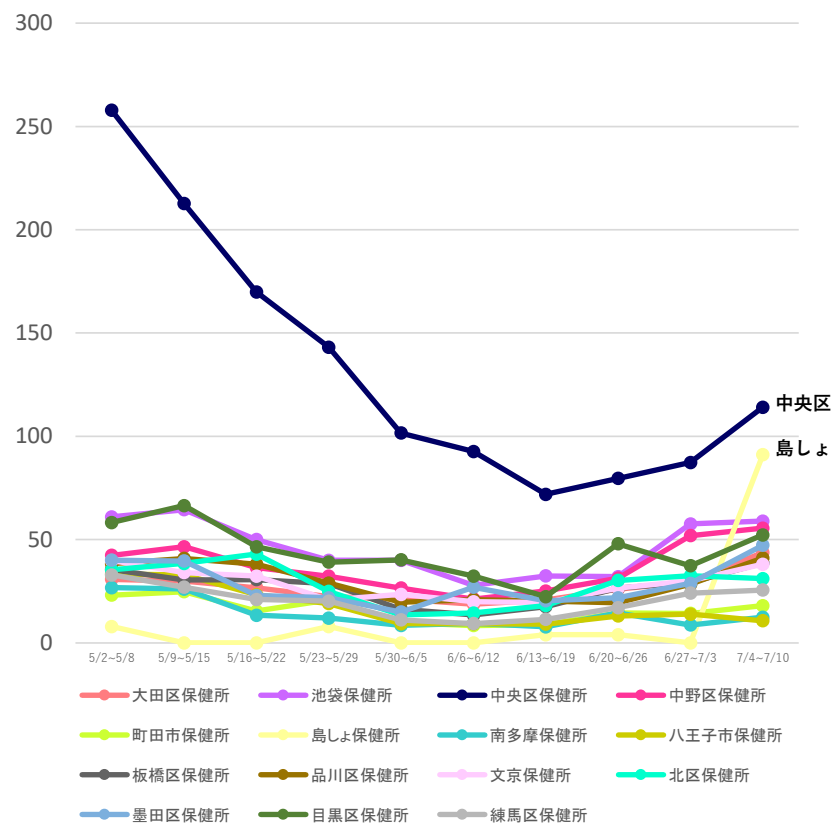
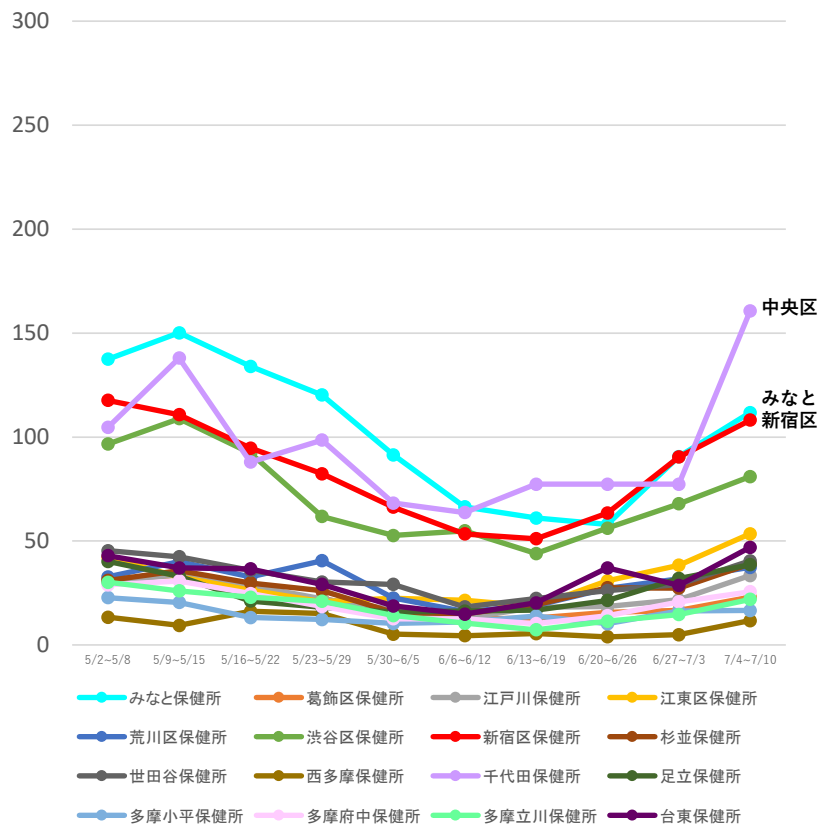
(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各保健所に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。
(注2) 計算に用いた人口は、住民基本台帳に基づく人口(令和2年1月1日現在)。

* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出

保健所別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (HER-SYSデータ)

○ **保健所別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数**を時系列で整理したもの。(届出保健所ベース)

東京都



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各保健所に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

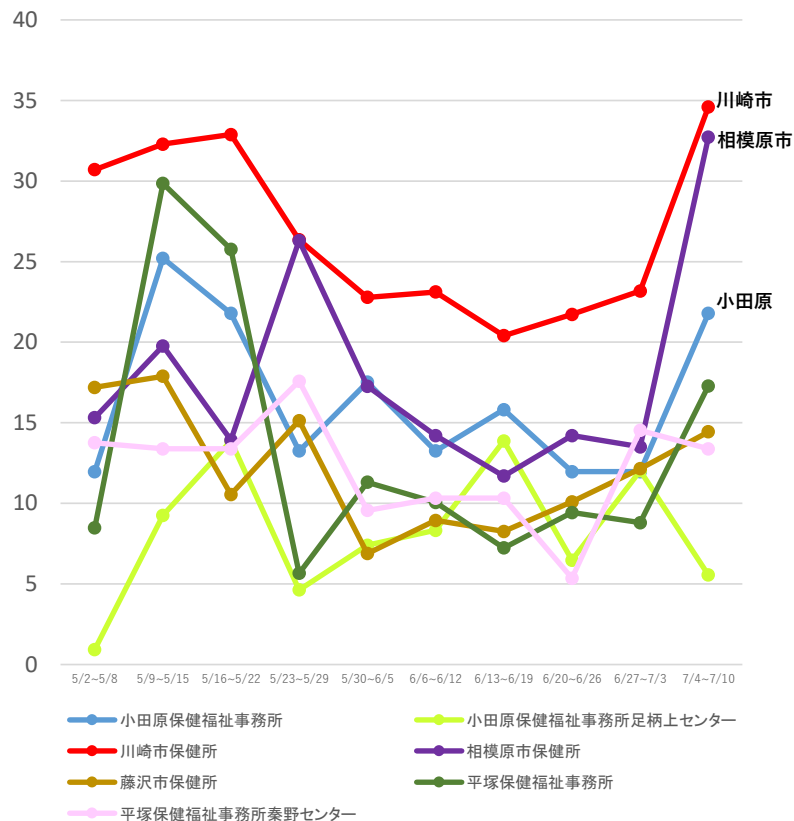
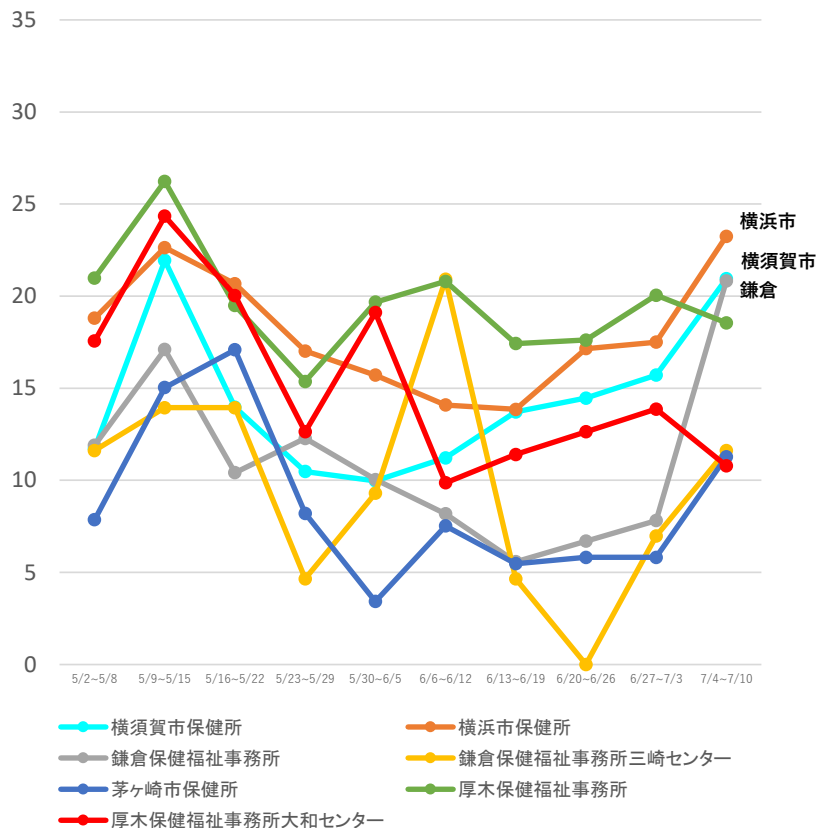
(注2) 計算に用いた人口は、住民基本台帳に基づく人口(令和2年1月1日現在)。

* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出

保健所別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (HER-SYSデータ)

○ **保健所別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数**を時系列で整理したもの。(届出保健所ベース)

神奈川県



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各保健所に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

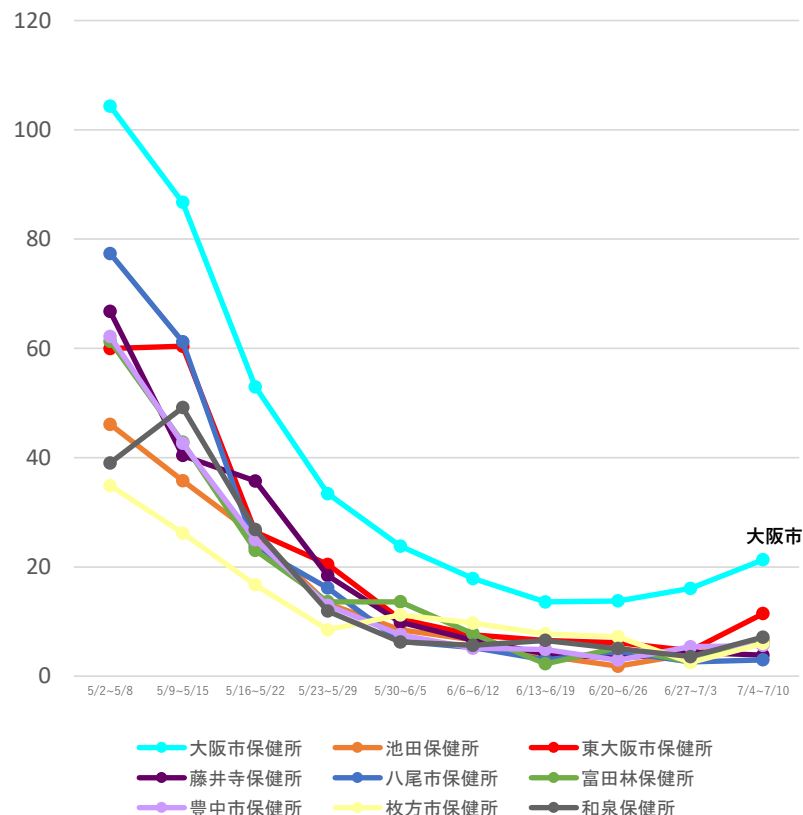
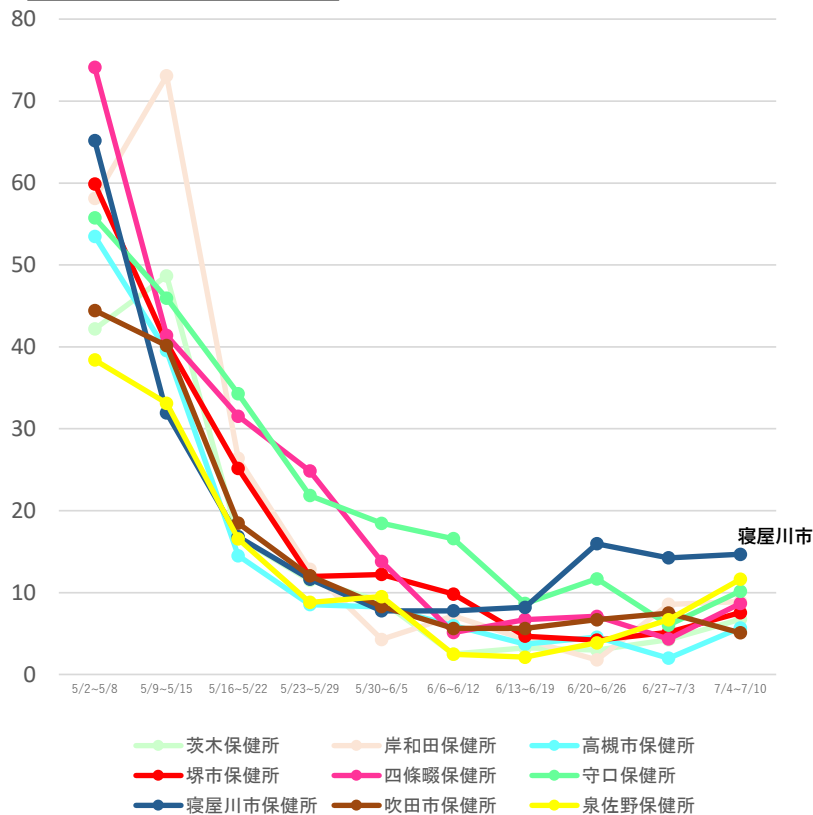
(注2) 計算に用いた人口は、住民基本台帳に基づく人口(令和2年1月1日現在)。

* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出

保健所別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (HER-SYSデータ)

○ **保健所別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数**を時系列で整理したもの。(届出保健所ベース)

大阪府



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各保健所に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

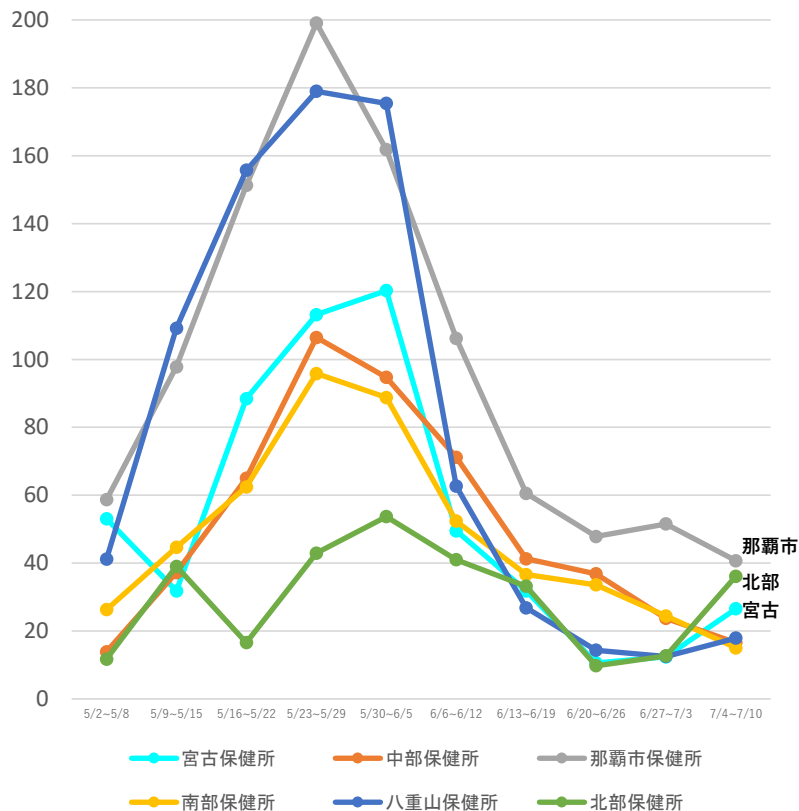
(注2) 計算に用いた人口は、住民基本台帳に基づく人口(令和2年1月1日現在)。

* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出

保健所別人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数の推移 (HER-SYSデータ)

○ **保健所別の人口10万人当たり7日間累積新規陽性者数**を時系列で整理したもの。(届出保健所ベース)

沖縄県



(注1) 当該期間(週)中の新規陽性者数の合計を、各保健所に属する人口で除した上で、人口10万人対比で相対化している。

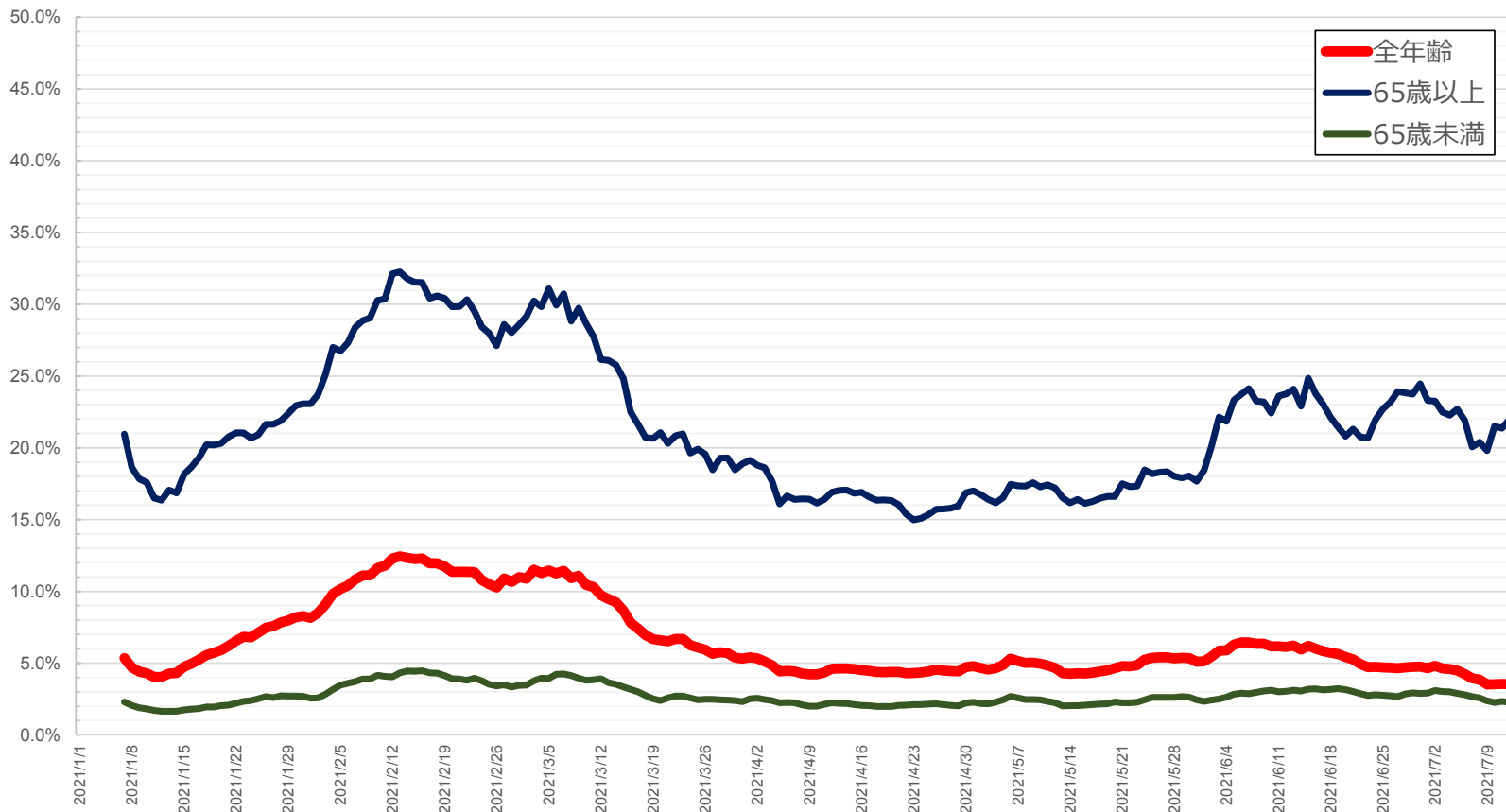
(注2) 計算に用いた人口は、住民基本台帳に基づく人口(令和2年1月1日現在)。

* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出

発生届提出時点における入院割合の推移（報告日別、HER-SYSデータ）

○ 発生届提出時点における入院の有無を抽出し、**発生届提出時点における入院者の割合**を時系列で整理したもの。

全国



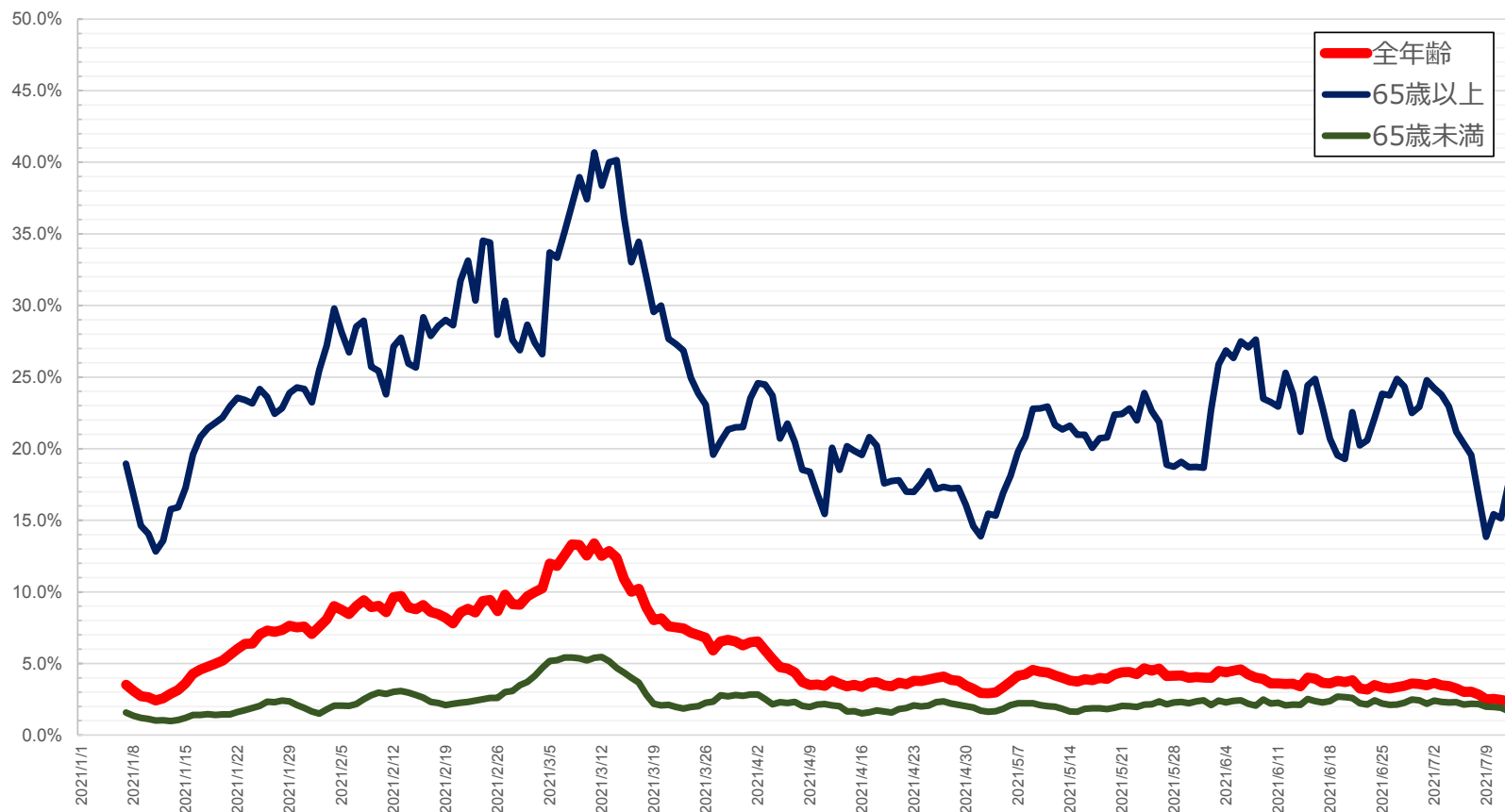
* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。

* 陽性者、入院者ともに7日間移動平均を使用。

発生届提出時点における入院割合の推移（報告日別、HER-SYSデータ）

○ 発生届提出時点における入院の有無を抽出し、**発生届提出時点における入院者の割合**を時系列で整理したもの。

東京都



* 7/13 12:00時点の入力データを基に算出。年齢不詳は除いている。

* 陽性者、入院者ともに7日間移動平均を使用。

HER-SYS上で死亡場所が「自宅」とされている事例について

○ HER-SYS上、令和3年1月1日～6月30日までの間に発生届の提出があり、最終的に死亡となった事例のうち、死亡場所が「自宅」と入力されたものが84件。

<①年齢構成>

10歳未満	0
10代	0
20代	1
30代	3
40代	1
50代	7
60代	11
70代	24
80代以上	36
不詳	1

<②性別>

男性	57
女性	27

<③診断から報告までの日数>

日数	人数
0日	65
1～4日	17
5～9日	1
10日以上	1

←診断後、同日中に報告

←最長は「10日」

報告～死亡までの日数が
1～9日の人数を細分化

<④報告から死亡までの日数>

日数	人数
0未満	5
0	4
1～9日	36
10～19日	11
20日以上	4
不明	24

←報告時点では既に亡くなっていたケース

←報告日＝死亡日のケース

←最長は「30日」

←死亡日が空欄のケース

報告から死亡までの日数		(参考) 診断から報告までの日数
日数	人数	
1日	7	0日：7人
2日	4	0日：4人
3日	3	0日：3人
4日	5	0日：3人、1日：2人
5日	0	－
6日	4	0日：3人、1日：1人
7日	5	0日：5人
8日	2	0日：2人
9日	6	0日：6人

(参考) 警察庁 新型コロナウイルス陽性死体取扱い状況(令和3年4月・5月)

警察庁から提供いただいた情報及び厚生労働省において集計したものの

	4月		5月	
		うち生前		うち生前
全国	96 (64)	39 (26)	97(60)	39(24)
大阪府	39 (31)	18 (14)	24(17)	12(8)
兵庫県	21 (17)	12 (10)	12(10)	6(4)
東京都	10 (2)	4 (1)	10(4)	1(1)
北海道	4 (4)	1 (1)	10(9)	5(5)
京都府	2 (1)		5(2)	3(2)
千葉県	3 (3)		3(1)	1(1)
愛知県	3 (0)		3(2)	2(1)
福岡県			6(2)	5(1)
沖縄県	1 (1)		5(4)	1(1)
神奈川県			4(0)	1(0)
奈良県	3 (1)	2 (0)	1(0)	
栃木県	1 (0)	1 (0)	2(1)	1(0)
宮城県	2 (0)			
石川県	2 (1)	1 (0)		
熊本県	2 (0)			
埼玉県等	※1		※2	

※1 4月：1件・・・埼玉県、徳島県、大分県

※2 5月：1件・・・岩手県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、富山県、長野県、岐阜県、広島県、山口県、長崎県、鹿児島県

※ () 内は新型コロナウイルス陽性死体のうち、死因が新型コロナウイルス感染症とされたもの。

(監察医等からの聞き取りにより把握されたもの。新型コロナウイルス感染疑いがあるとされたものを含む。)

<年齢構成> ※4・5月計

10歳未満	0 (0)
10代	0 (0)
20代	1 (0)
30代	5 (2)
40代	13 (6)
50代	26 (18)
60代	35 (23)
70代	51 (37)
80代以上	62 (38)

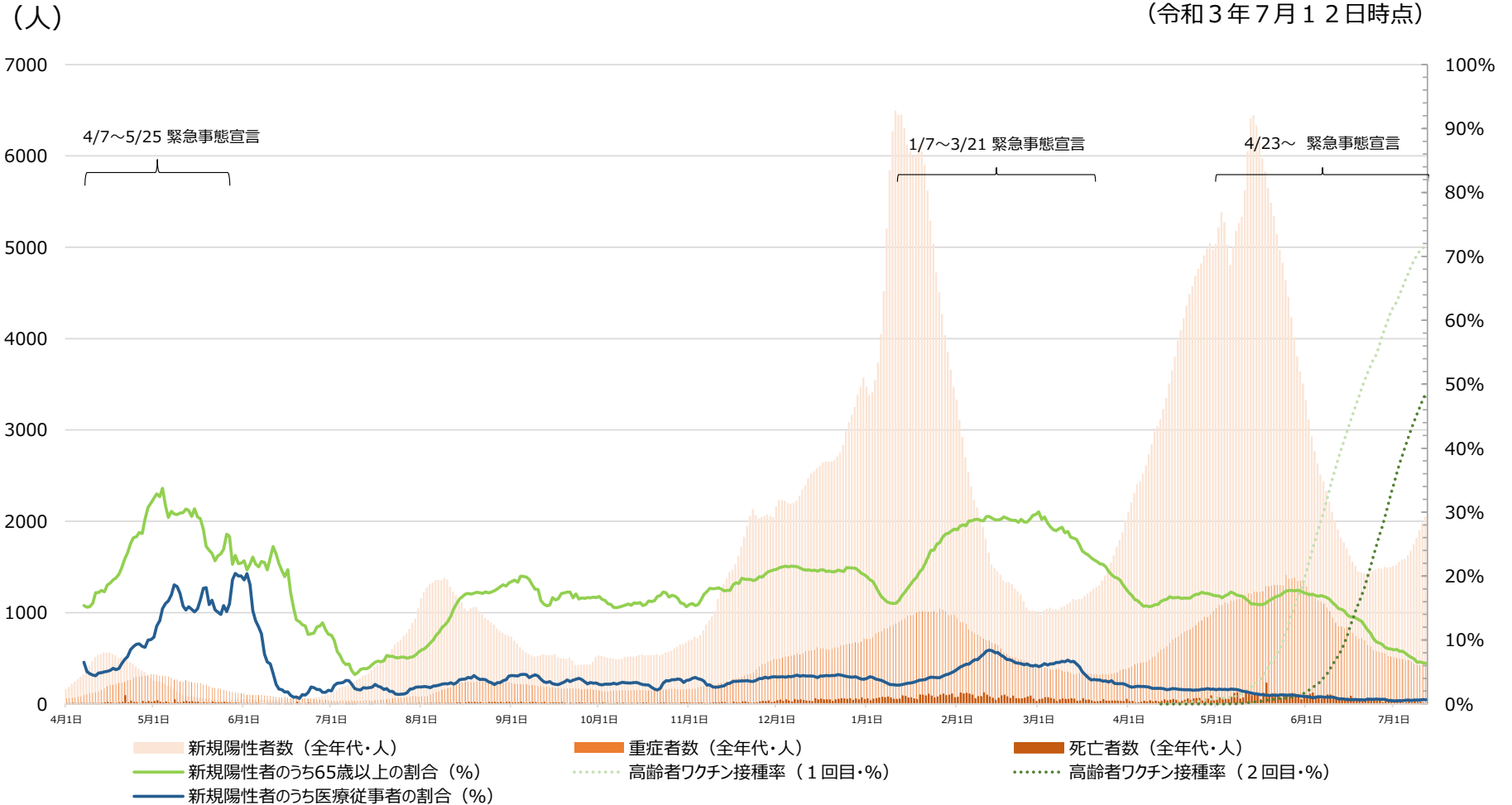
<性別> ※4・5月計

男性 118 (73)

女性 75 (51)

全国の新規陽性者数等及び高齢者のワクチン接種率

資料 2 - 4



※新規陽性者数、重症者数及び死亡者数については、令和2年5月8日から（死亡者については同年4月21日から）、データソースを厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイトで公表している数等を積み上げたものに変更。

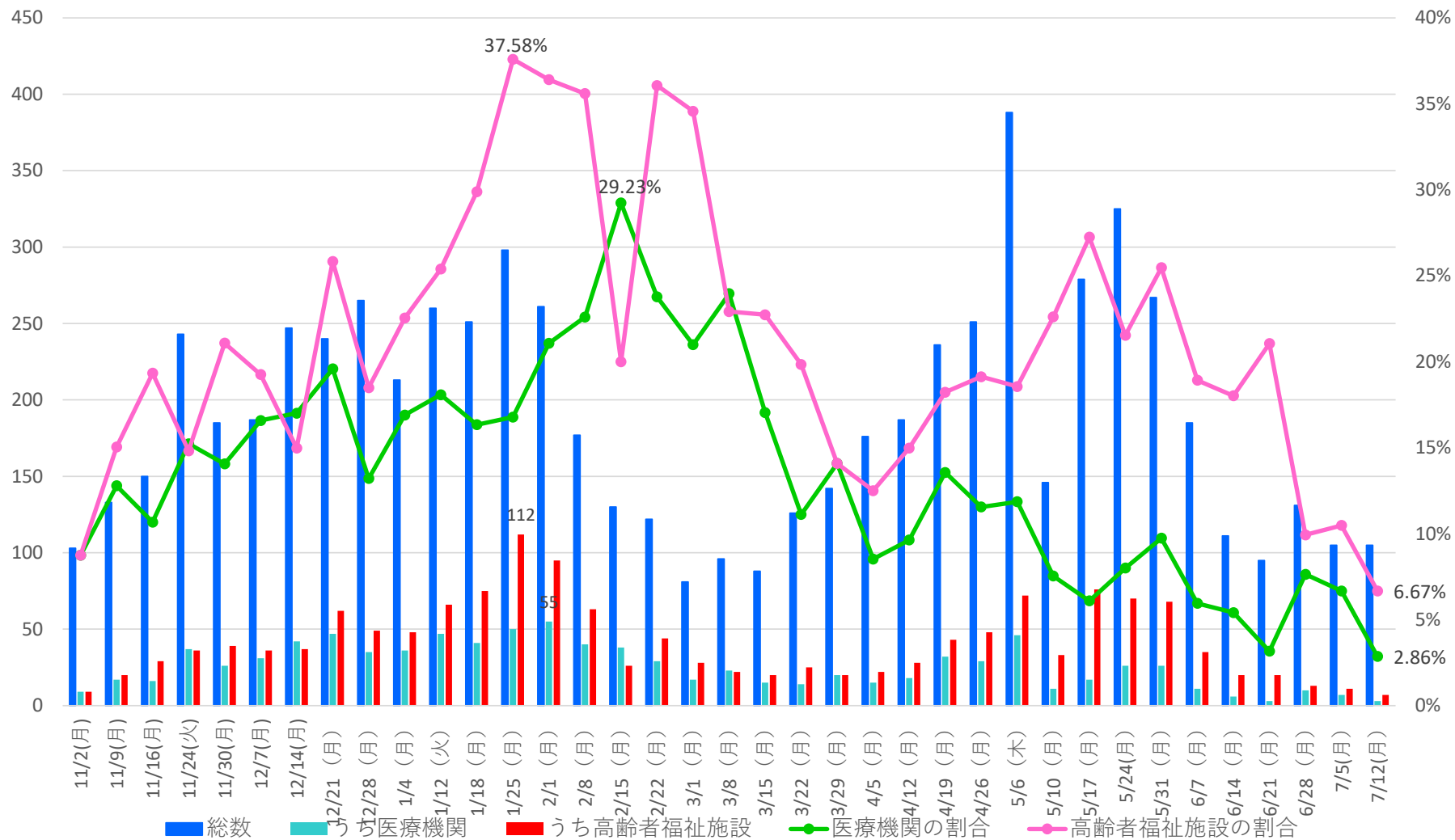
※「新規陽性者数のうち65歳以上の割合」は、HER-SYSに登録されている陽性者のうち、65歳以上の者の割合。

※「新規陽性者のうち医療従事者の割合」は、HER-SYSに登録されている陽性者であって、職業欄に何らかの記載がある陽性者のうち、職業が「医師・歯科医師」、「看護師・准看護師」又は「医療従事者」と入力されている者の割合。

※新規陽性者数（全年代）、新規陽性者のうち65歳以上の割合、新規陽性者のうち医療従事者の割合は、直近7日間の移動平均の値。

※「高齢者ワクチン接種率」は、65歳以上に対するワクチン接種回数を65歳以上人口（出典：令和2年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別））で除したものとす。

クラスター発生件数（週ごと）に占める医療機関・高齢者福祉施設の割合

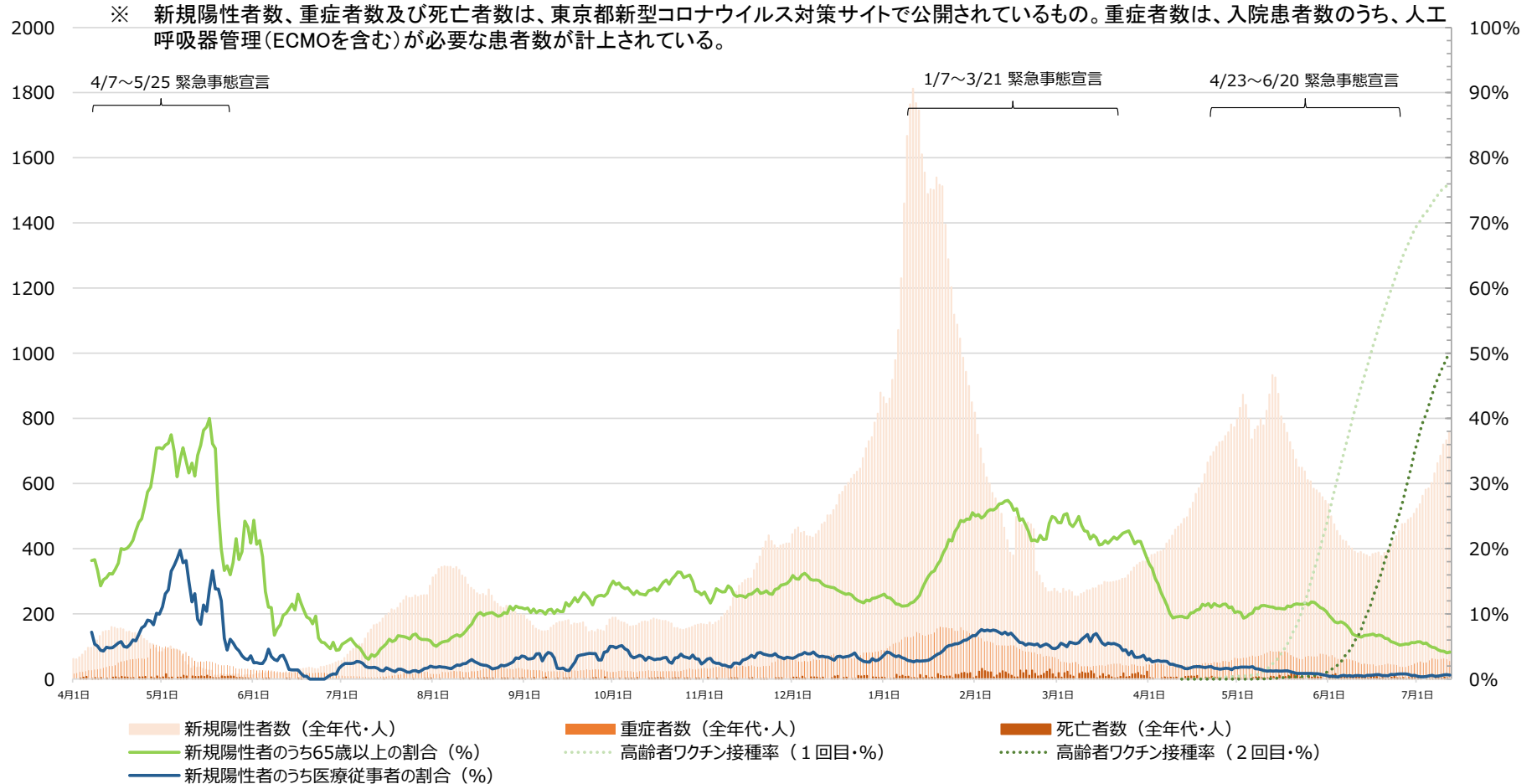


(注1) 自治体のプレスリリース等をもとに、同一の場で2名以上の感染者が出たと報道等された事案(家族内感染を除く)の件数を集計したもの
 (注2) 件数は、当該日を含む1週間に報道された件数(速報値)
 (注3) 7月5日(月)の週としてカウントされていた医療機関1件が重複計上されていたため修正(7/12)

東京都の新規陽性者数等及び高齢者のワクチン接種率

(人)

(令和3年7月12日時点)



※「新規陽性者数のうち65歳以上の割合」は、HER-SYSに登録されている陽性者のうち、65歳以上の者の割合。

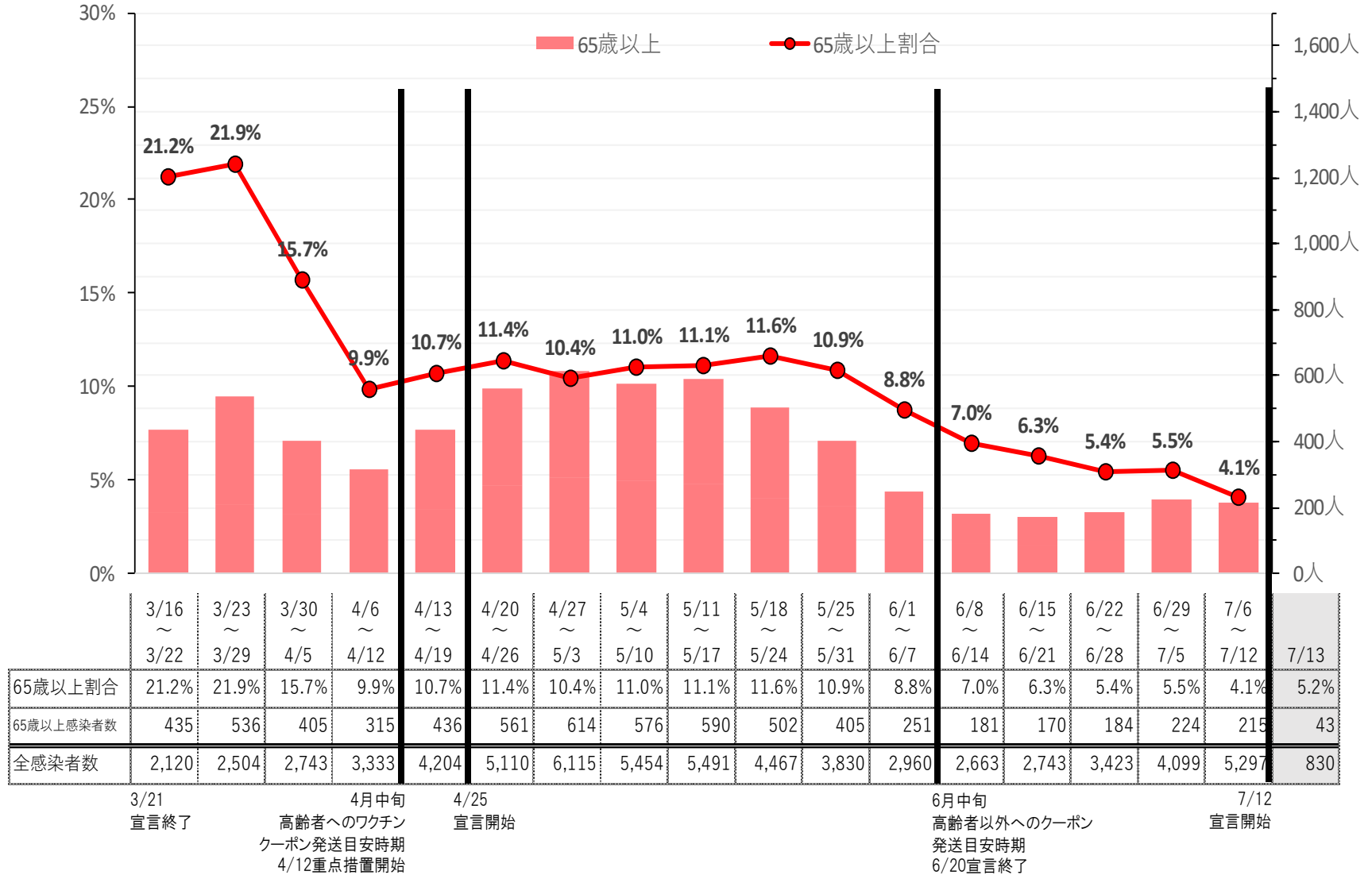
※「新規陽性者のうち医療従事者の割合」は、HER-SYSに登録されている陽性者であって、職業欄に何らかの記載がある陽性者のうち、職業が「医師・歯科医師」、「看護師・准看護師」又は「医療従事者」と入力されている者の割合。

※新規陽性者数 (全年代)、新規陽性者のうち65歳以上の割合、新規陽性者のうち医療従事者の割合は、直近7日間の移動平均の値。

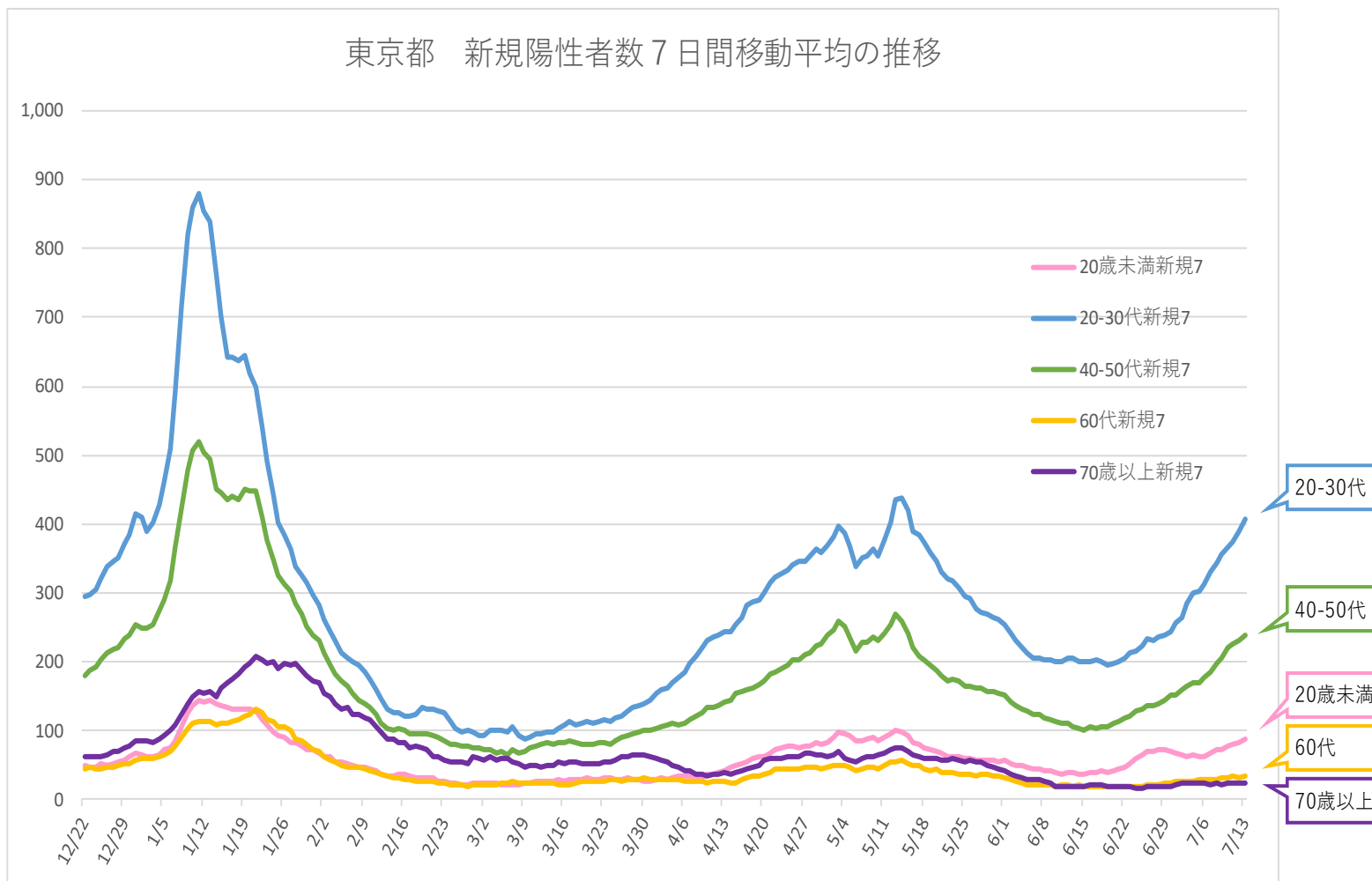
※「高齢者ワクチン接種率」は、65歳以上に対するワクチン接種回数を65歳以上人口(出典:令和2年住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別))で除したものの。

東京都 新規陽性者数（65歳以上の割合）

東京都モニタリング会議資料を加工

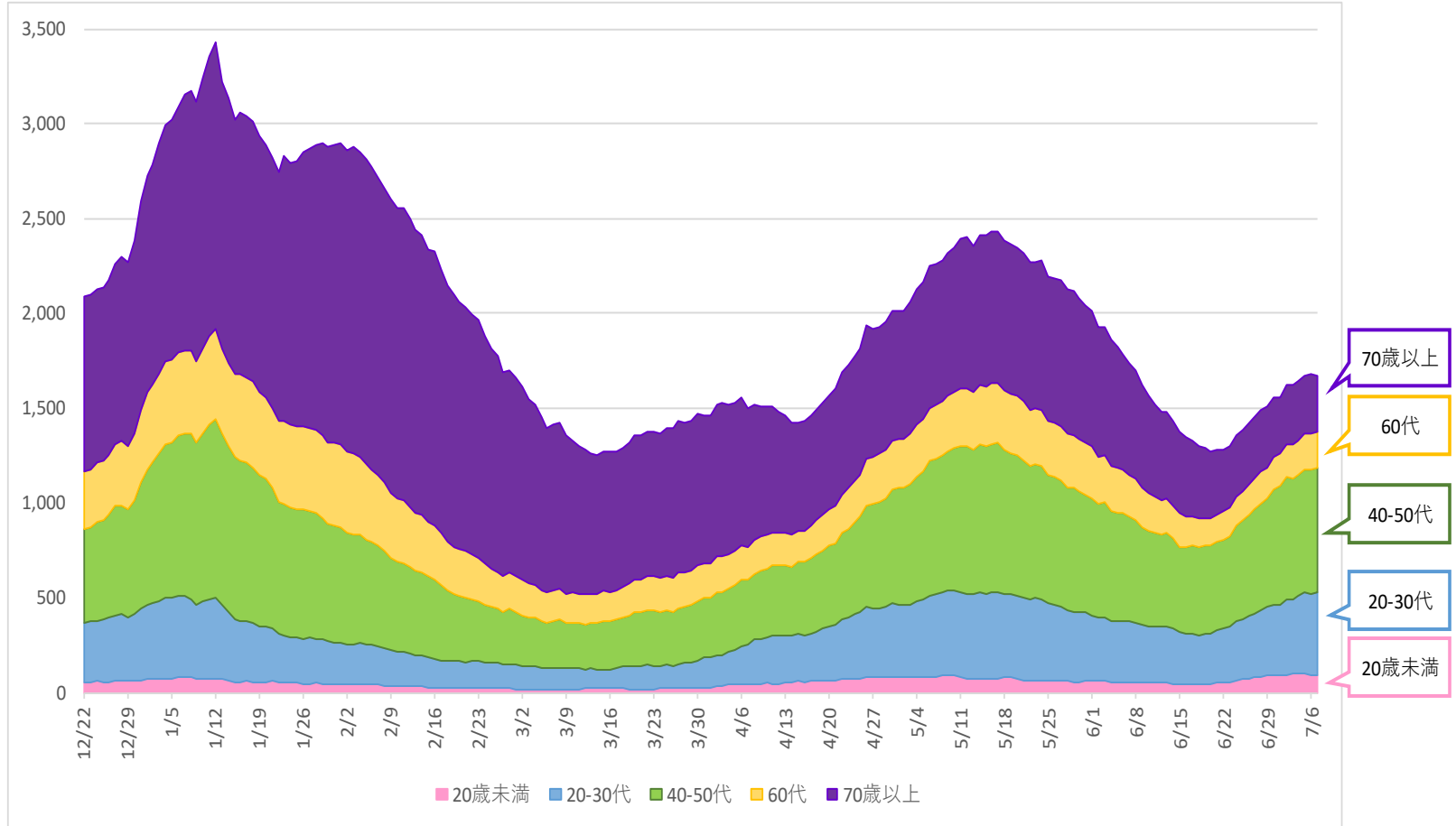


東京都 新規陽性者数 7日間移動平均の推移



	12/22火	1/1金	2/1月	3/1月	4/1木	5/1土	6/9水	6/16水	6/23水	6/30水	7/7水	7/13火
総数	630.0	865.1	818.0	271.9	372.3	798.3	401.6	384.6	422.7	508.4	631.7	790.6
うち60代以上	107.6	143.1	239.0	80.9	89.1	109.4	43.1	39.1	37.6	44.4	49.4	58.1
割合	17%	17%	29%	30%	24%	14%	11%	10%	9%	9%	8%	7%

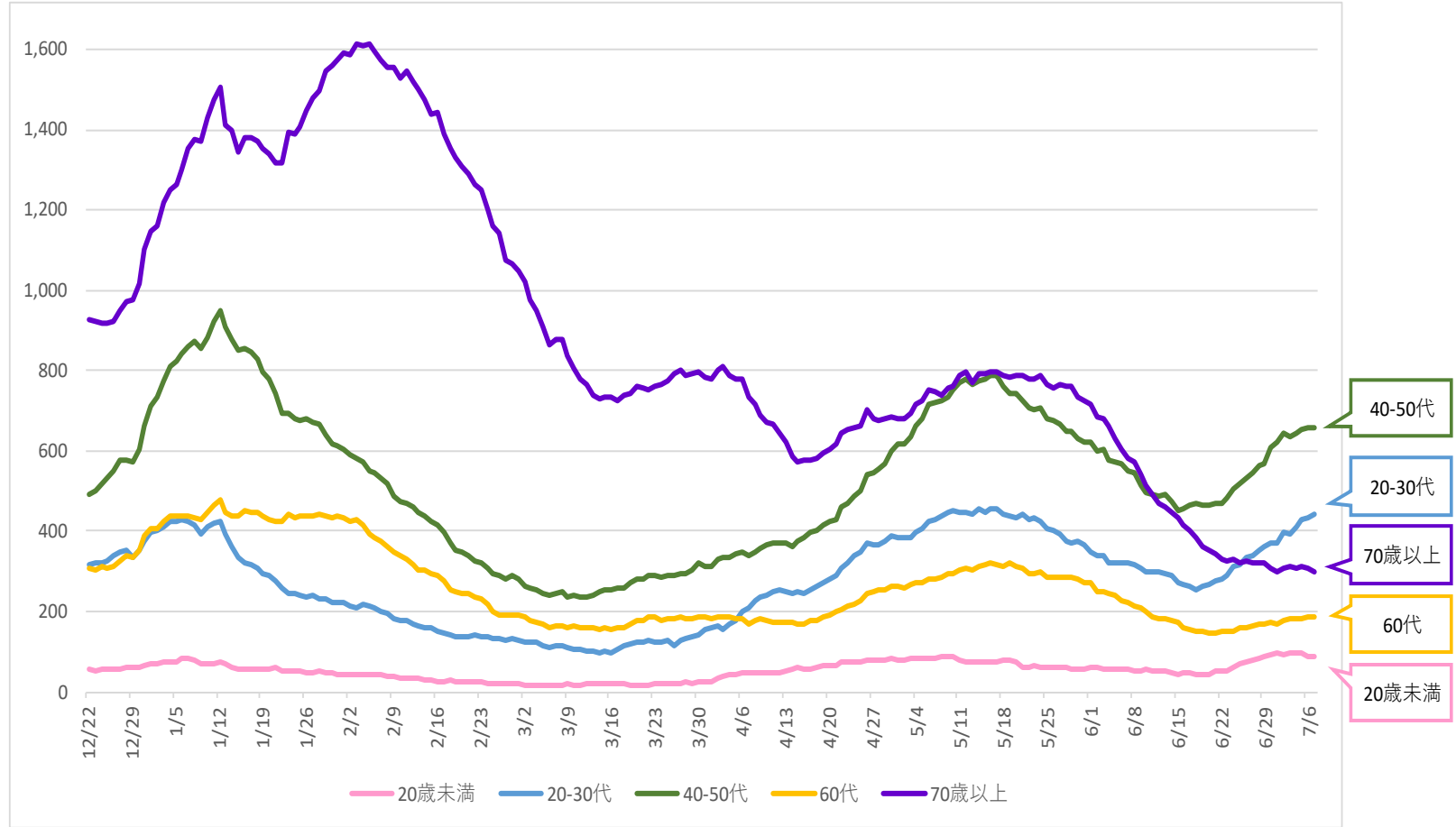
東京都 入院患者数の年代別内訳



日付	12/22火	1/1金	2/1月	3/1月	4/1木	5/1土	6/9水	6/16水	6/23水	6/30水	7/7水
入院患者総数	2,093	2,730	2,899	1,663	1,462	2,018	1,626	1,346	1,301	1,553	1,673
うち60歳以上	1,235	1,556	2,029	1,231	965	948	748	579	481	481	485
割合	59%	57%	70%	74%	66%	47%	46%	43%	37%	31%	29%

※年代別の入院患者数は公表日の入院者数の年代別比率を用いて推計

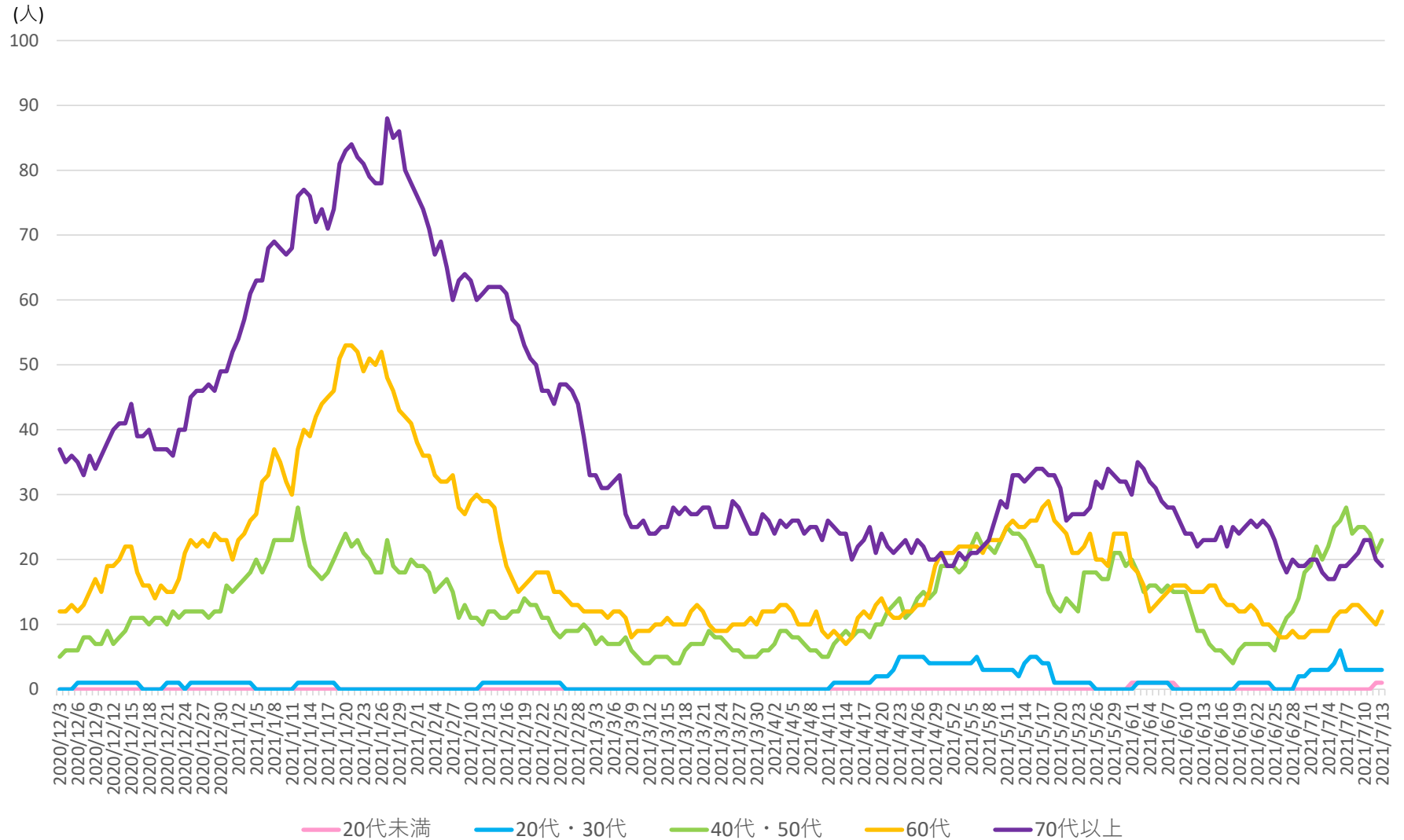
東京都 入院患者数の年代別内訳



日付	12/22火	1/1金	2/1月	3/1月	4/1木	5/1土	6/9水	6/16水	6/23水	6/30水	7/7水
入院患者総数	2,093	2,730	2,899	1,663	1,462	2,018	1,626	1,346	1,301	1,553	1,673
うち60歳以上	1,235	1,556	2,029	1,231	965	948	748	579	481	481	485
割合	59%	57%	70%	74%	66%	47%	46%	43%	37%	31%	29%

※年代別の入院患者数は公表日の入院者数の年代別比率を用いて推計

東京都における重症者数の推移(年齢階級別)

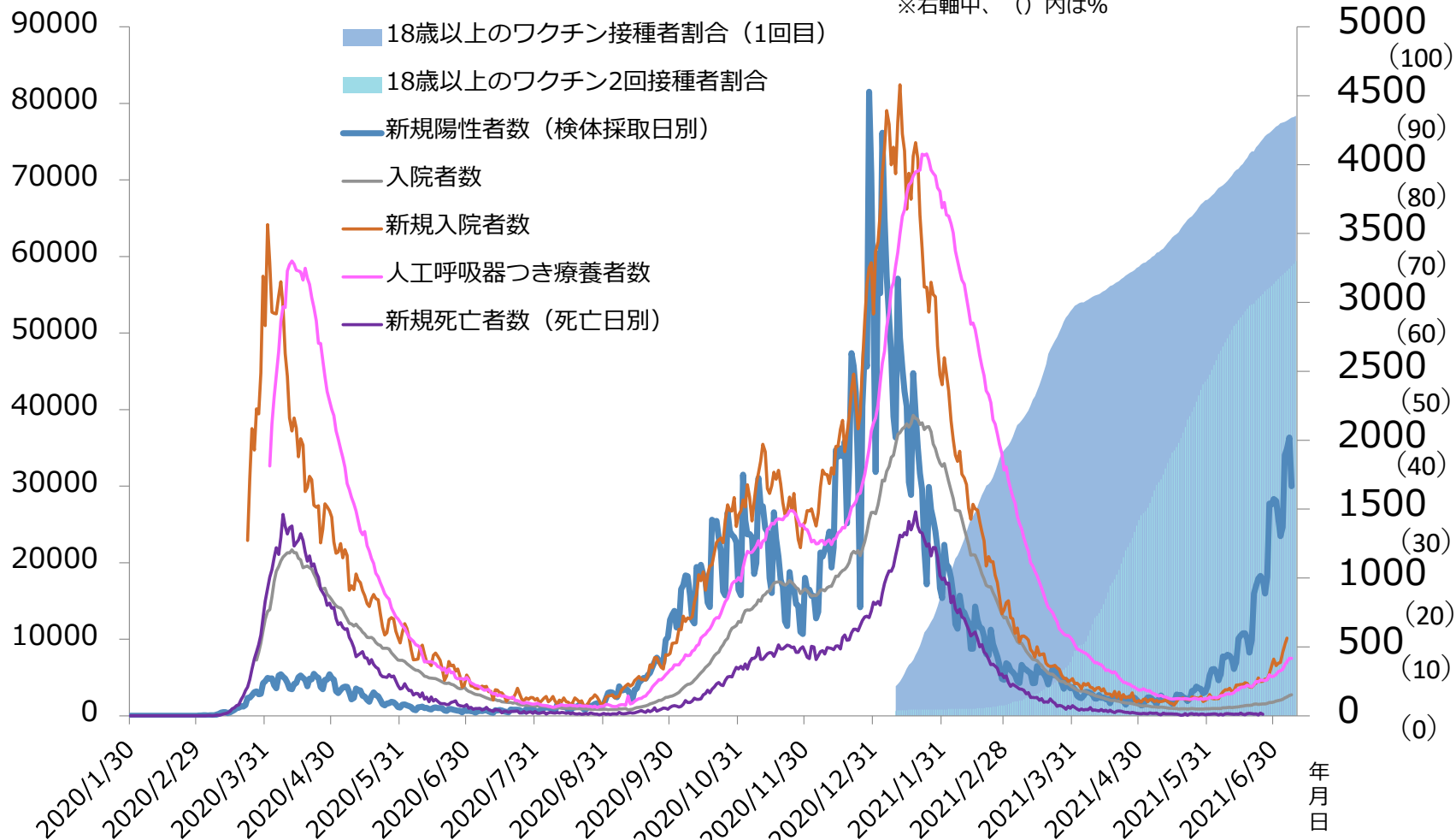


注: 東京都HPで公開されている年齢階級別の重症者数

参考：【英国】新規陽性者数等とワクチン接種者数の推移

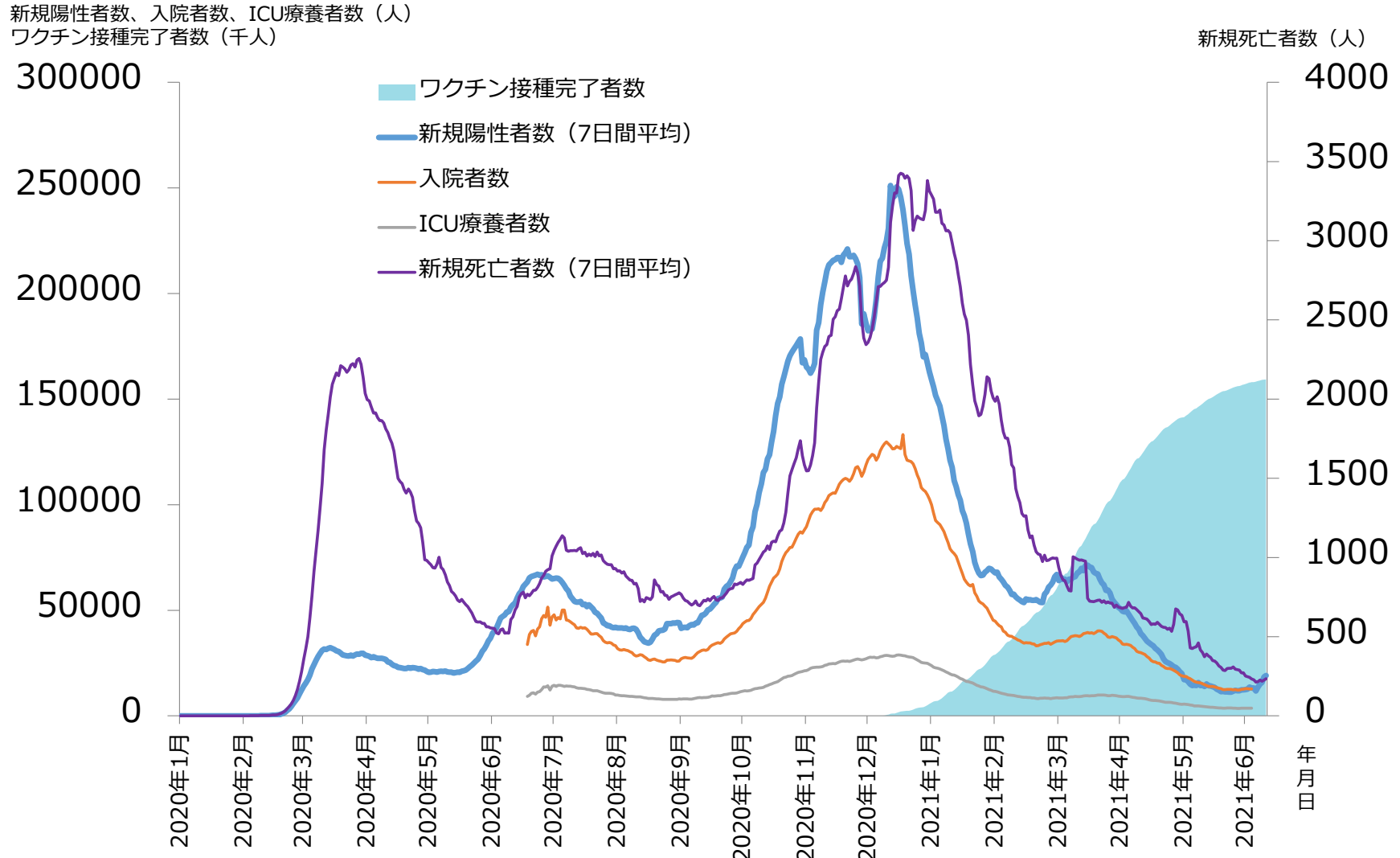
新規陽性者数、入院者数（人）

新規入院者数、人工呼吸器つき療養者数、新規死亡者数（人）
18歳以上のワクチン接種割合（%）
※右軸中、（）内は%



(※) 7月12日時点のGOV.UKホームページ上のデータを厚生労働省において加工。

参考：【米国】新規陽性者数等とワクチン接種者数の推移

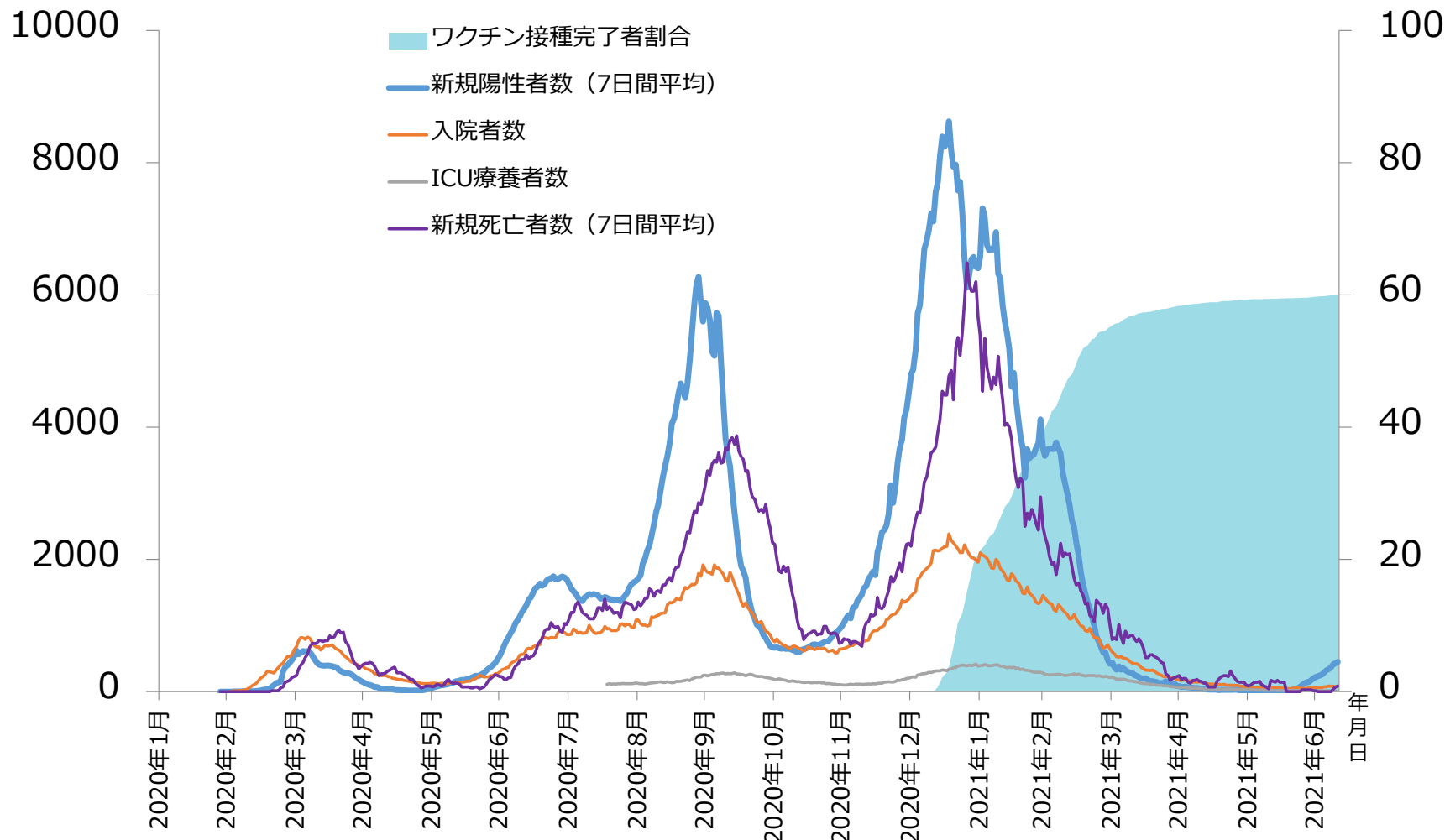


(※) 7月12日時点のCDCホームページ（ワクチン2回接種者）及びour world in dataホームページ（新規陽性者数等）のデータを厚生労働省において加工。

参考：【イスラエル】新規陽性者数等とワクチン接種者数の推移

新規陽性者数、新規入院者数、ICU療養者数（人）

新規死亡者数（人）
ワクチン接種完了者割合（%）



(※) 7月12日時点のour world in dataホームページ上のデータを厚生労働省において加工。

都道府県別エピカーブ (2020/11/1から2021/7/12まで)

▪ 集計方法：

- 確定日は「陽性判明日」、それが不明な場合「自治体発表日」
- 無症状例は上段に含まれない
- リンク不明の場合は「孤発例」としてカウント
- 上段の薄灰色の発症日不明例は確定日から推定した発症日でカウント
- 東京都・大阪府の発症日に基づくエピカーブは全てリンクなしとしてカウント

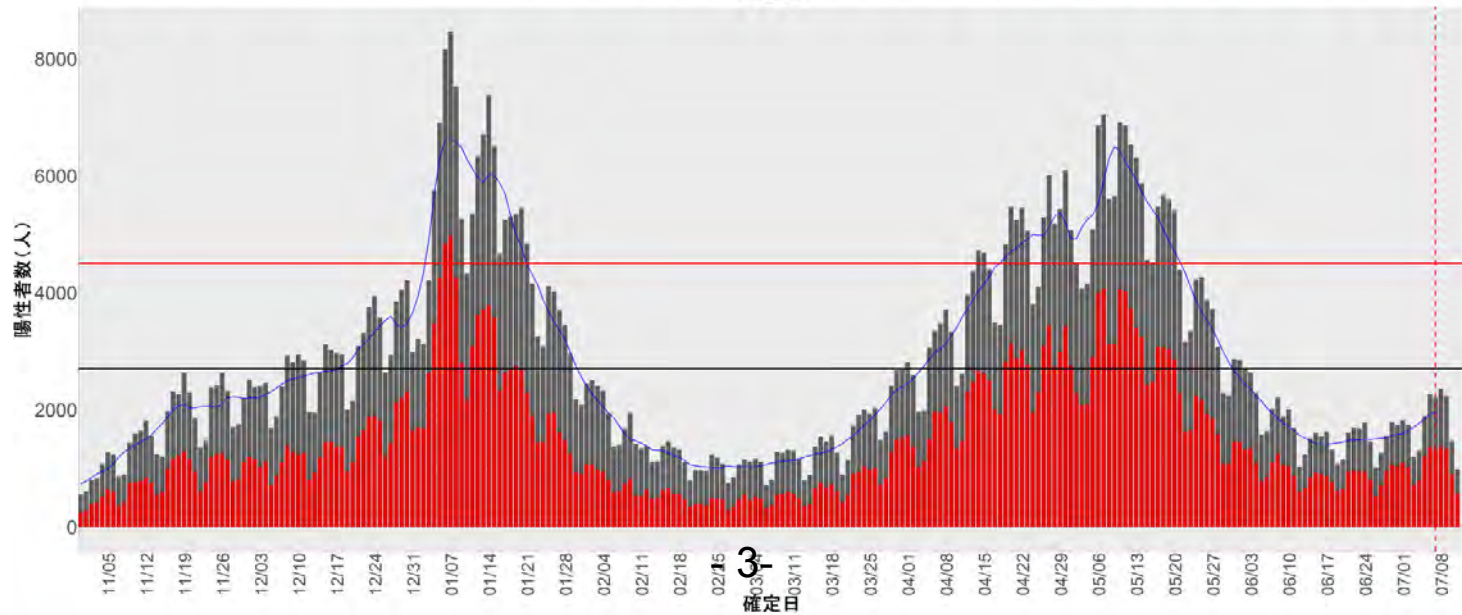
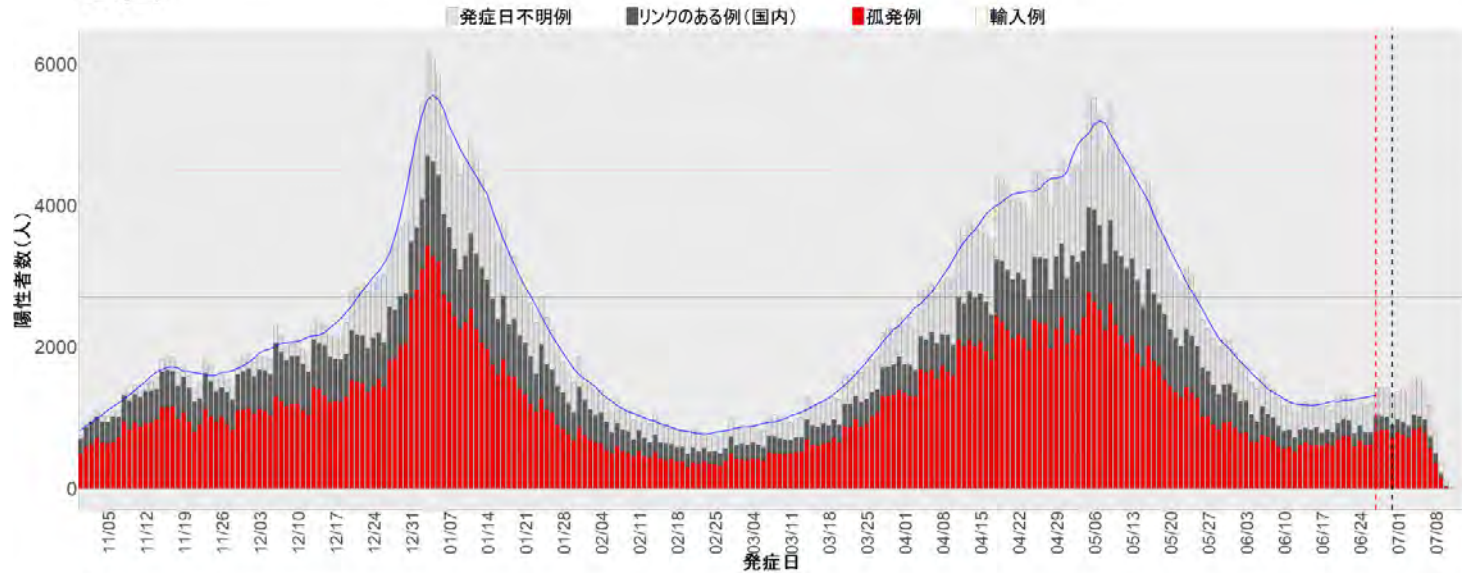
▪ 補助線：

- 上段の赤垂直線は14日前、黒垂直線は11日前、下段の赤垂直線は4日前を示す
- 赤水平線は、1週間の累積症例数が人口10万人あたり25に相当する数を1日あたりの症例数に換算したもの。同様に、黒水平線は人口10万人あたり15人に相当する
- 青線は7日間の移動平均であり、上段の移動平均には発症日不明例も含まれる

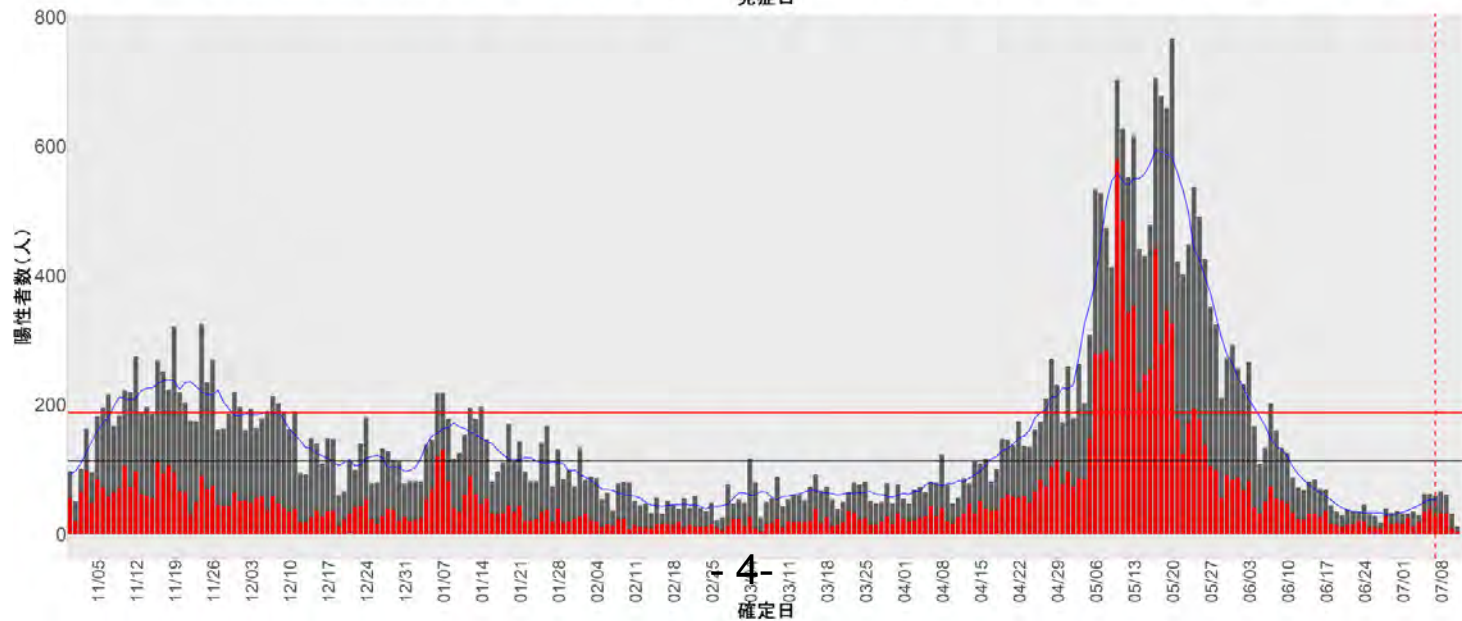
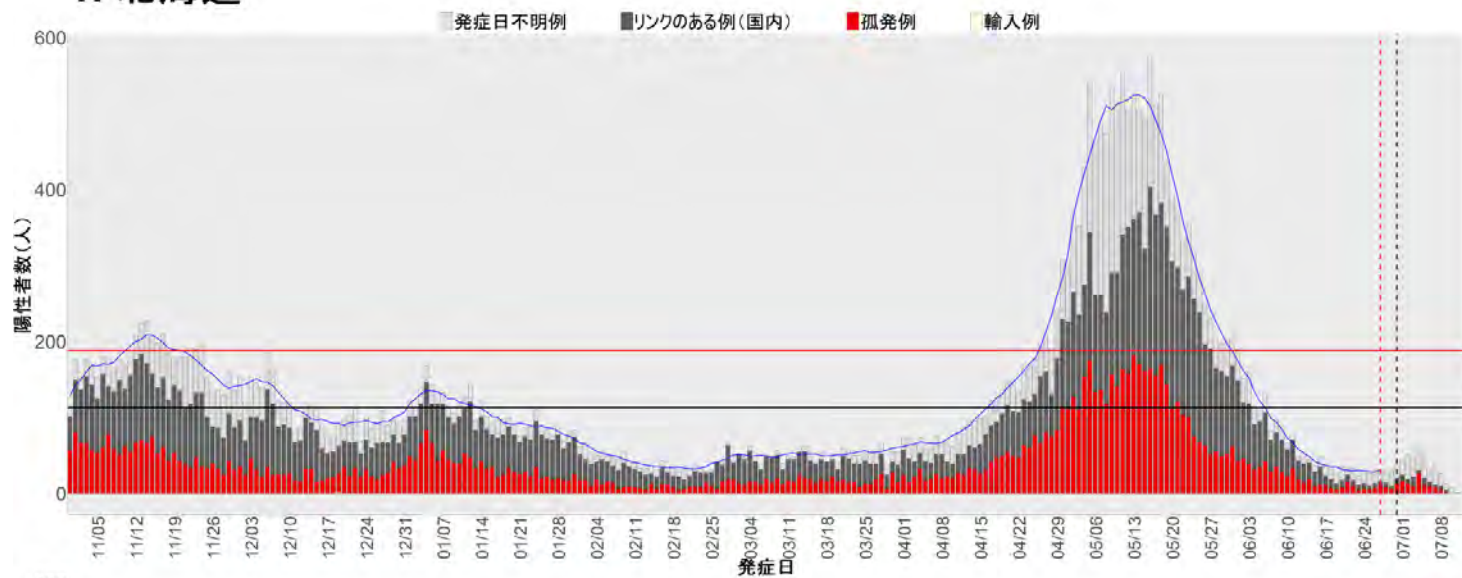
▪ 注意事項：

- データは全て自治体公表情報から取得
- 2020-11-01から2021-07-12までに報告された症例が含まれる
- 詳細情報の発表がない一部の自治体ではエピカーブにリンクの有無を反映出来ていない
- 大阪府では3-4日前までの発症日データが含まれる

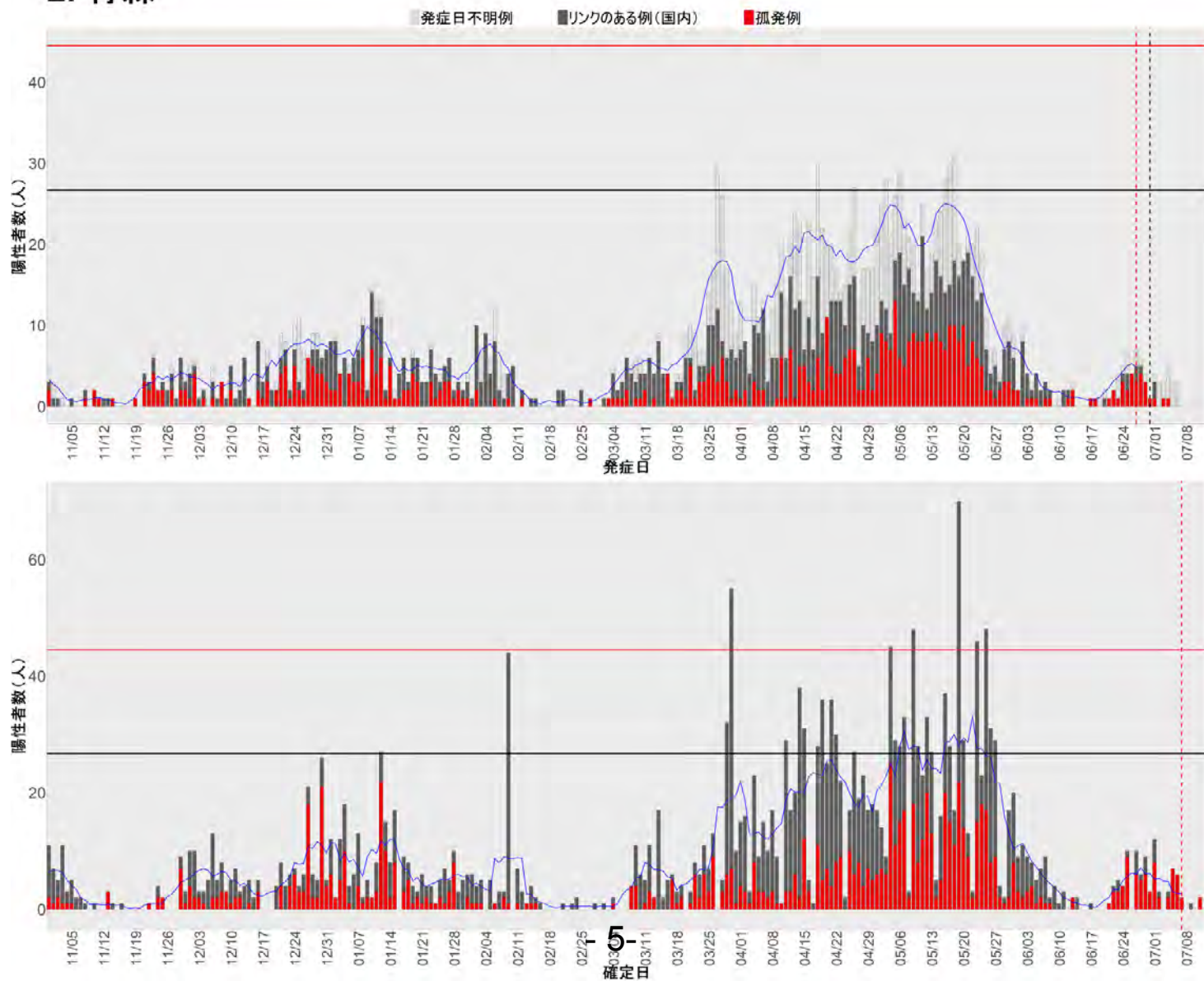
全国



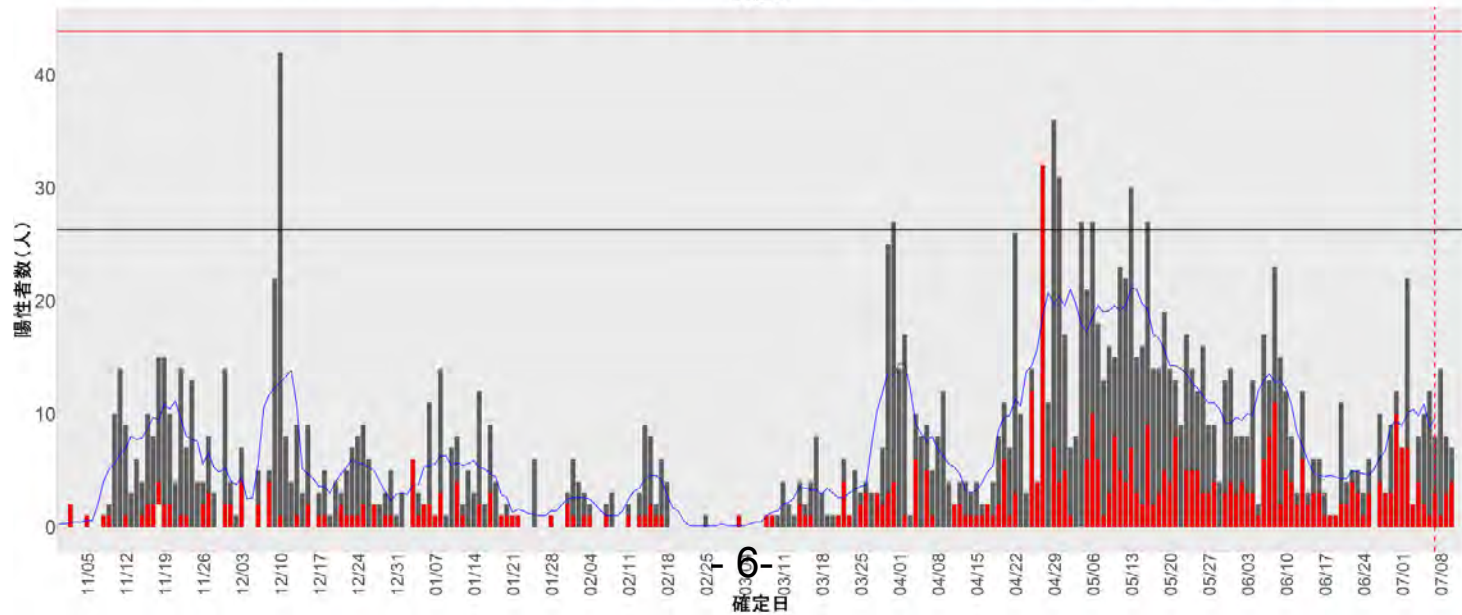
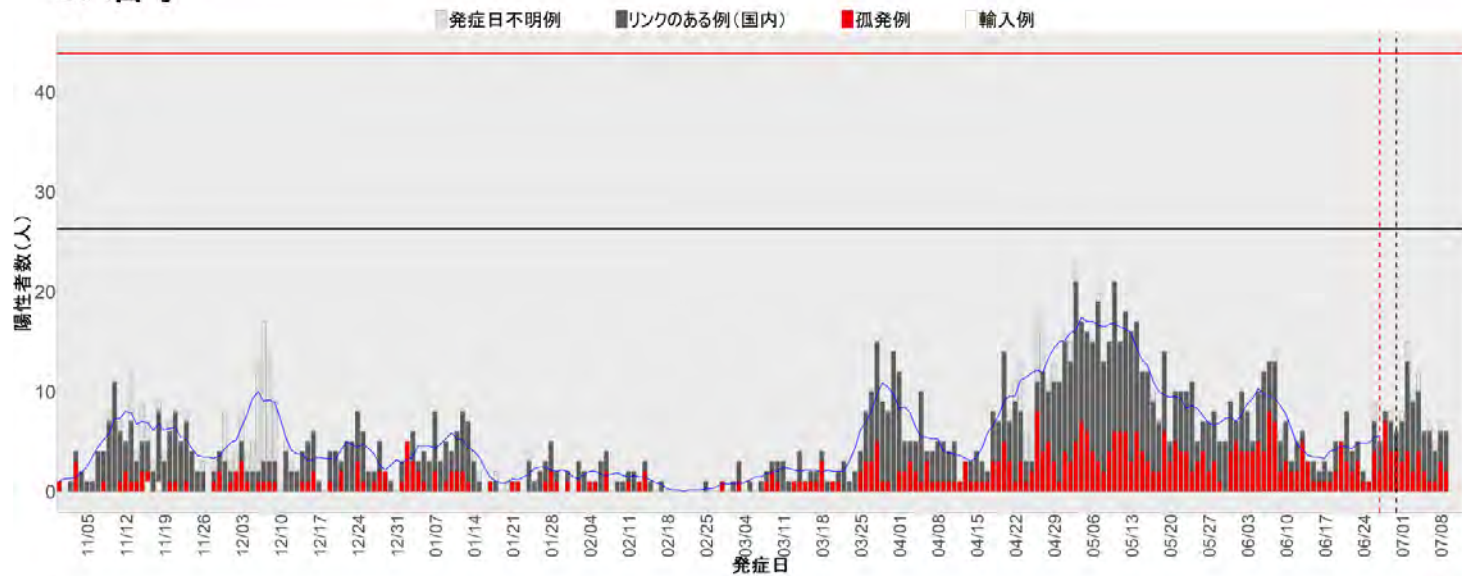
1. 北海道



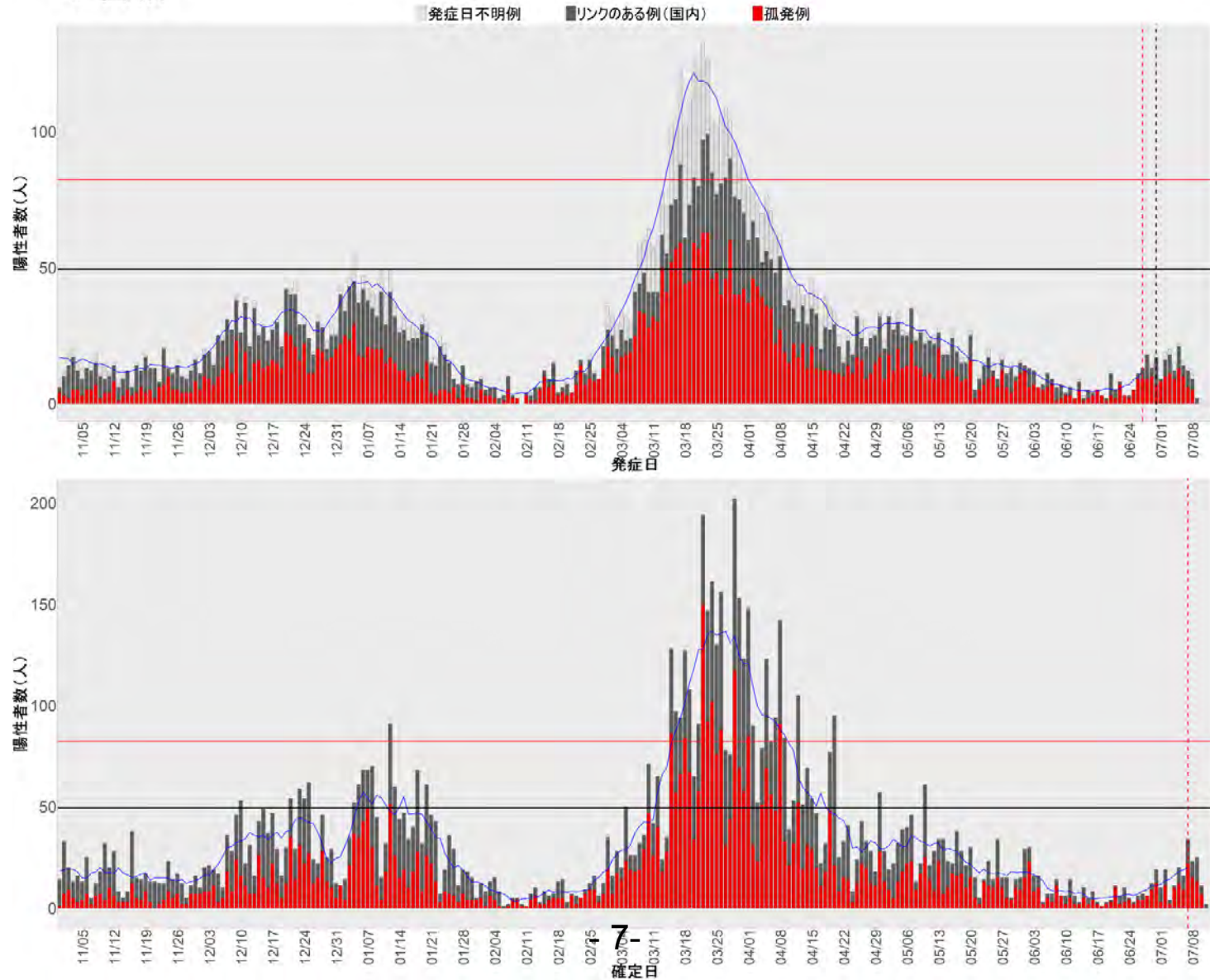
2. 青森



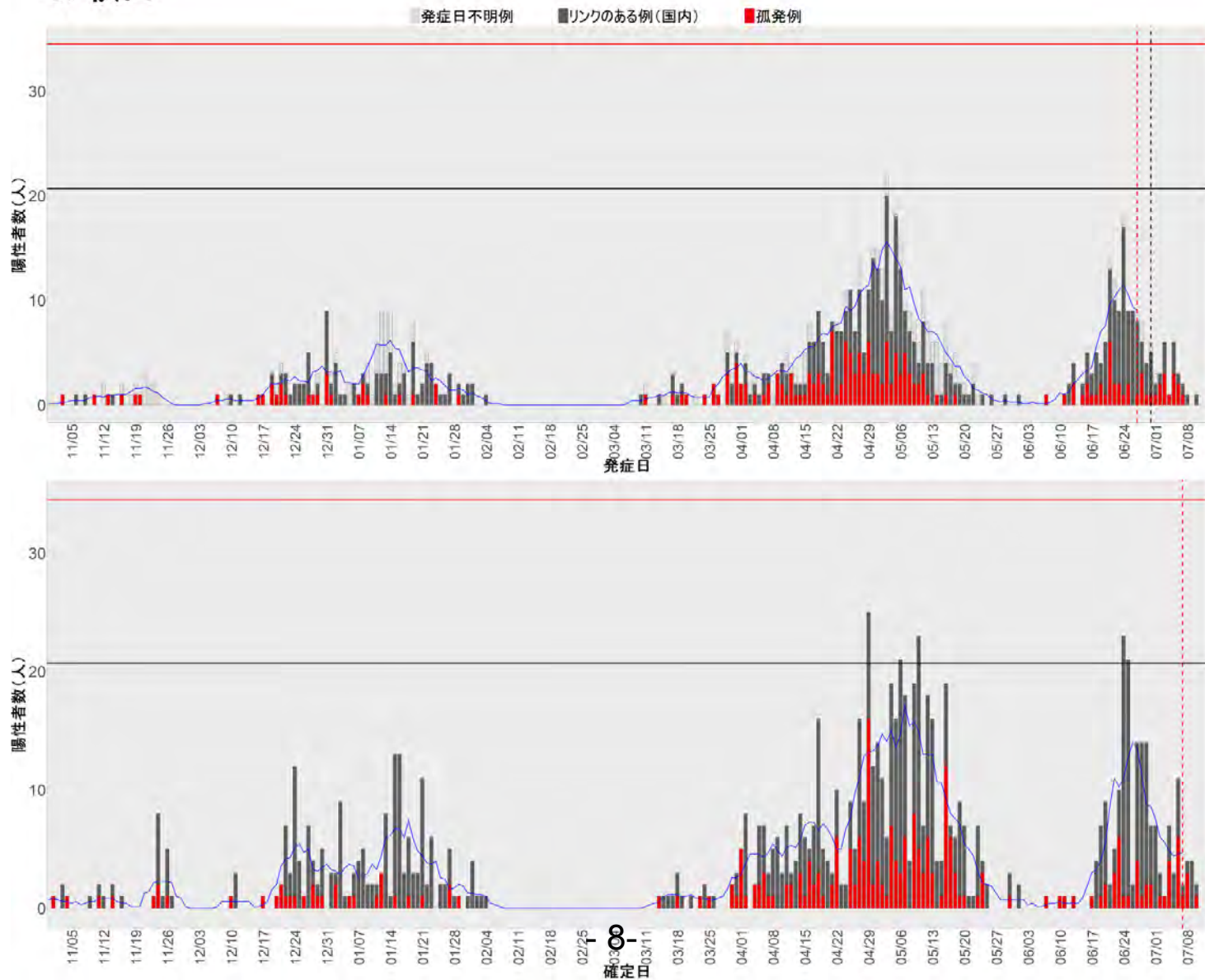
3. 岩手



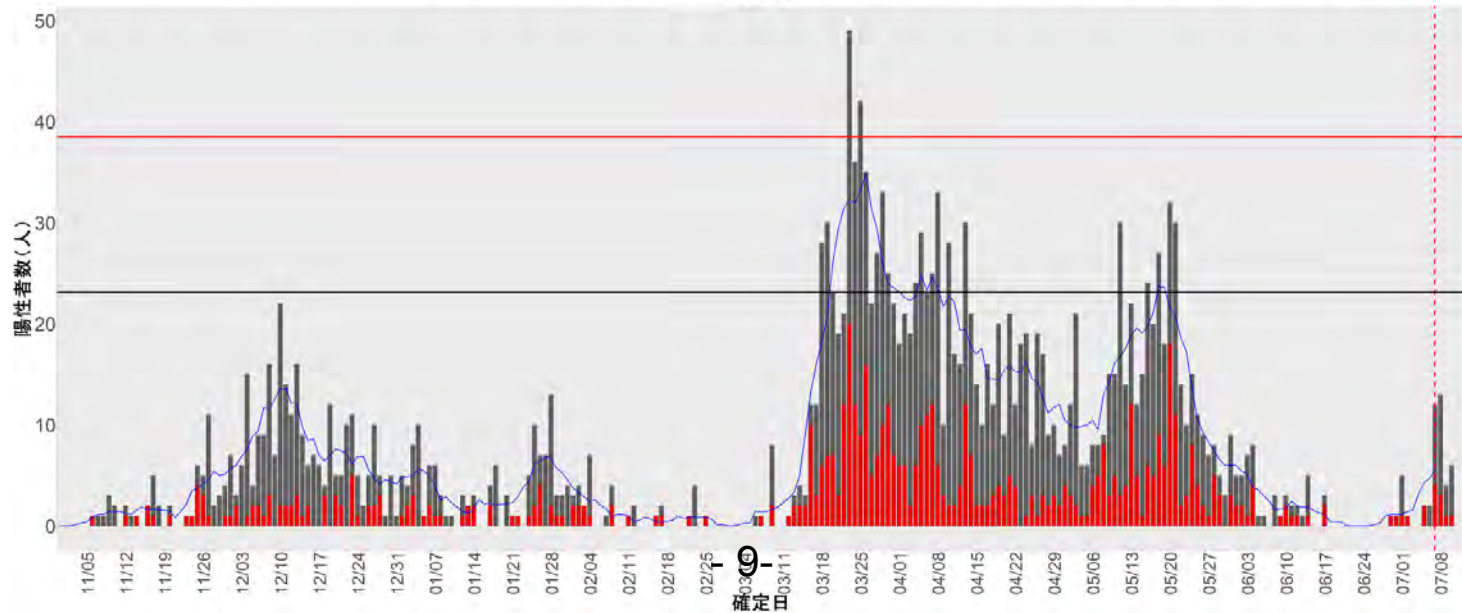
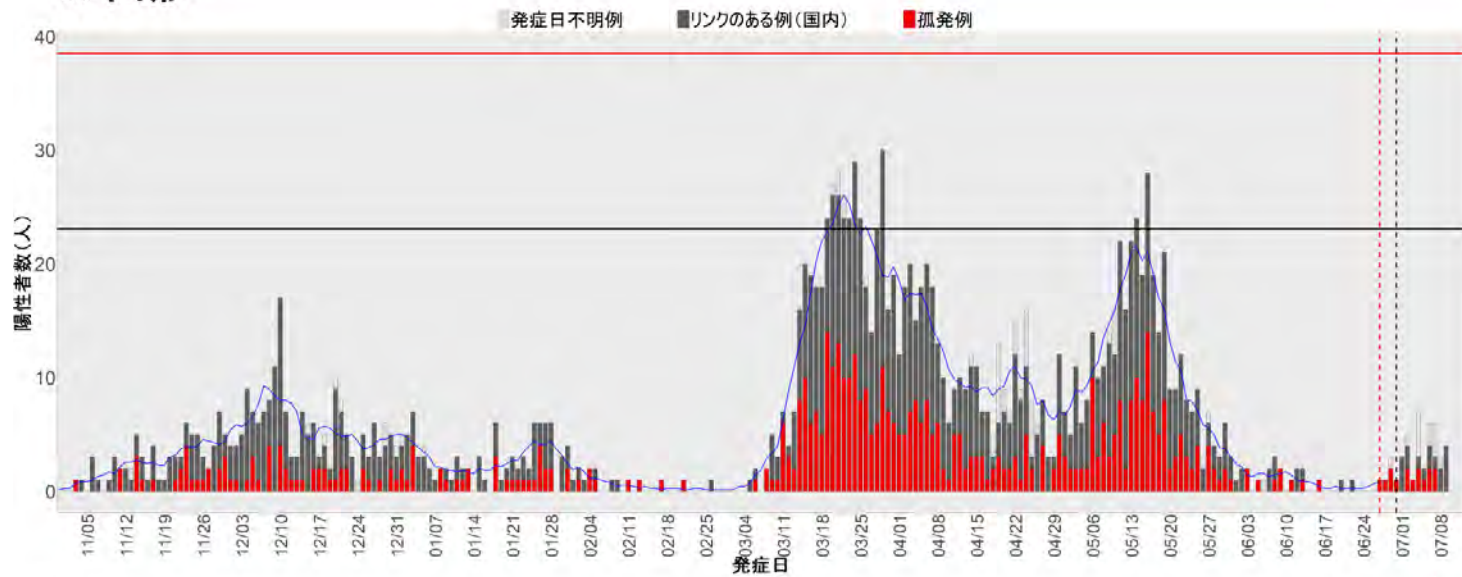
4. 宮城



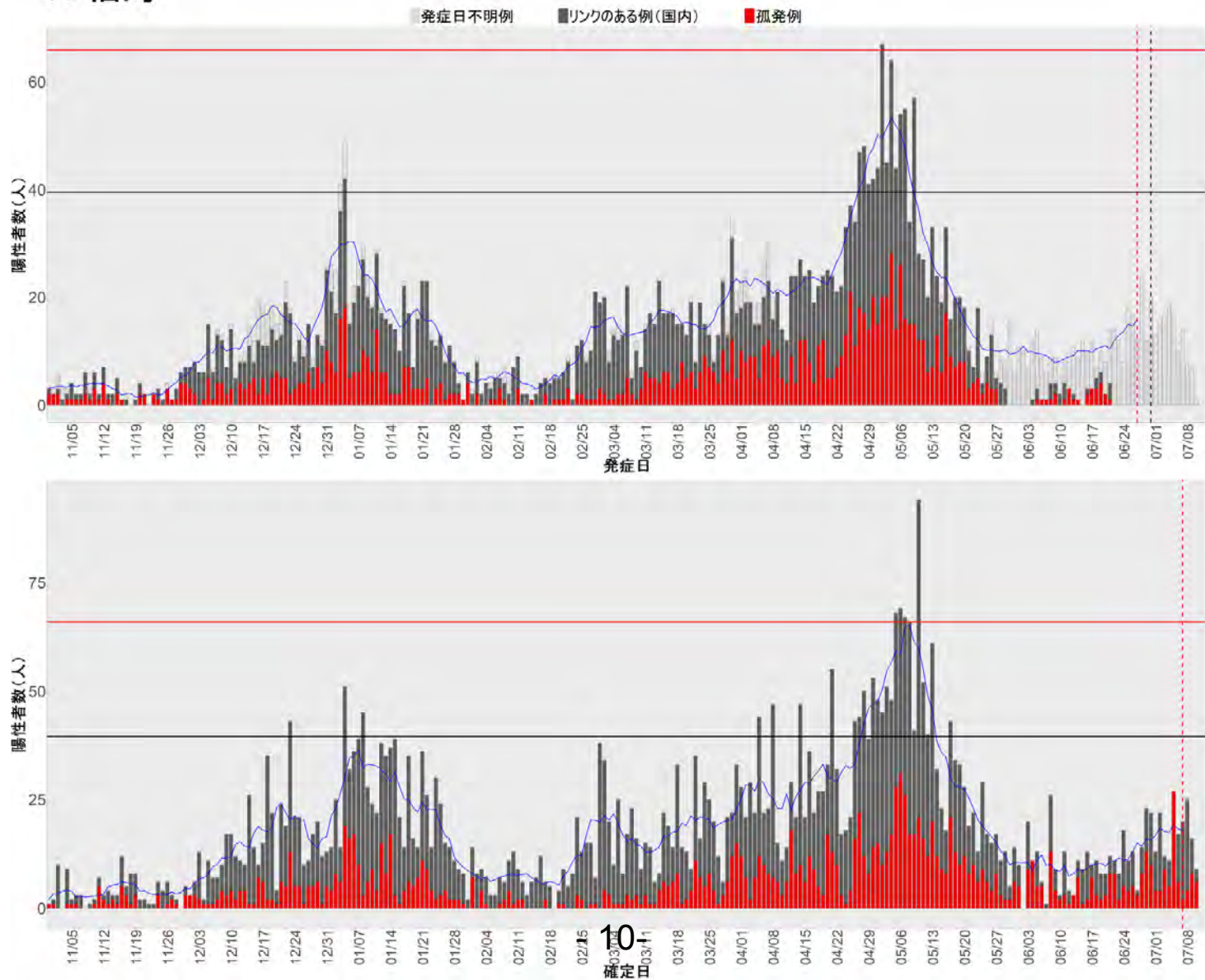
5. 秋田



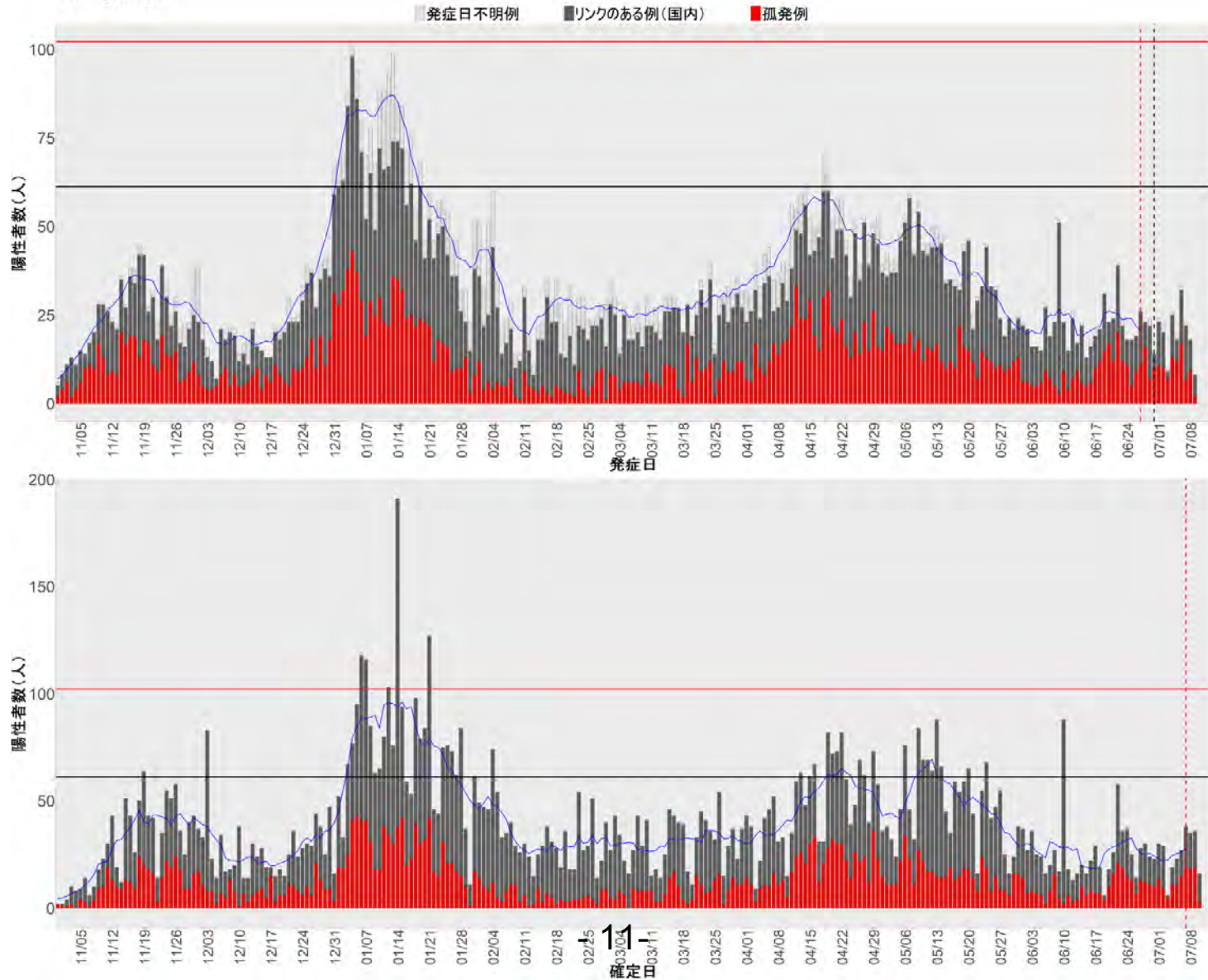
6. 山形



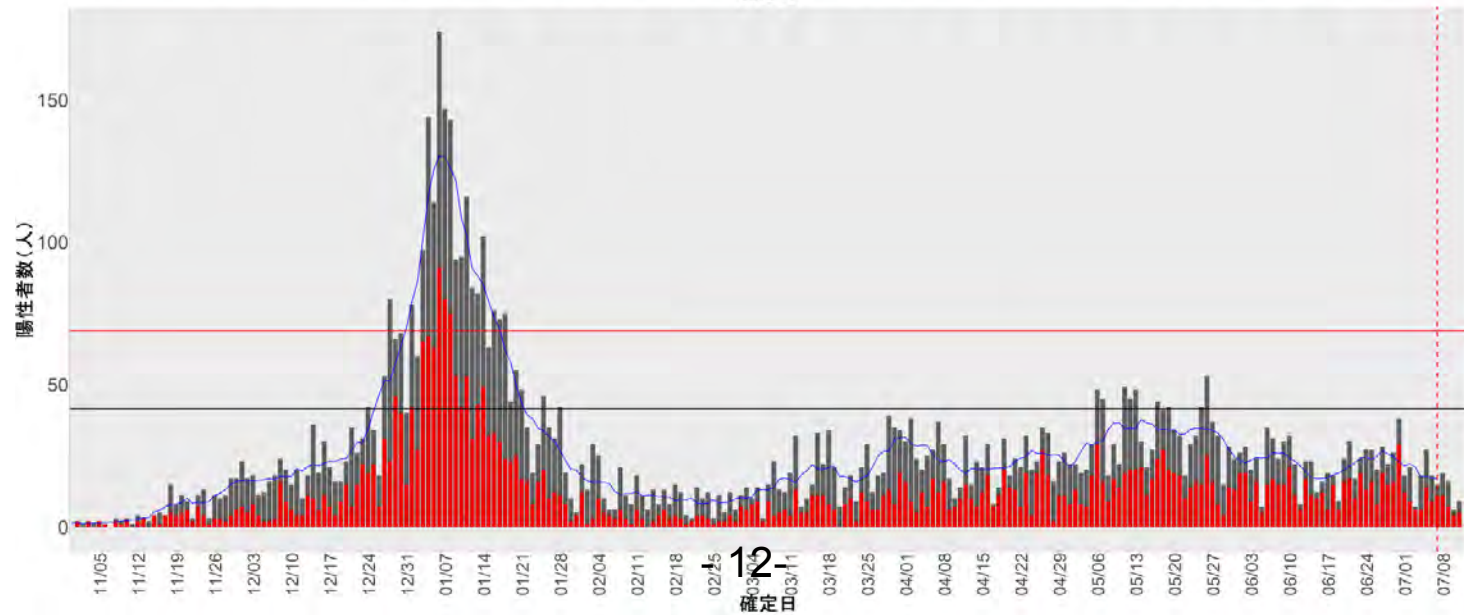
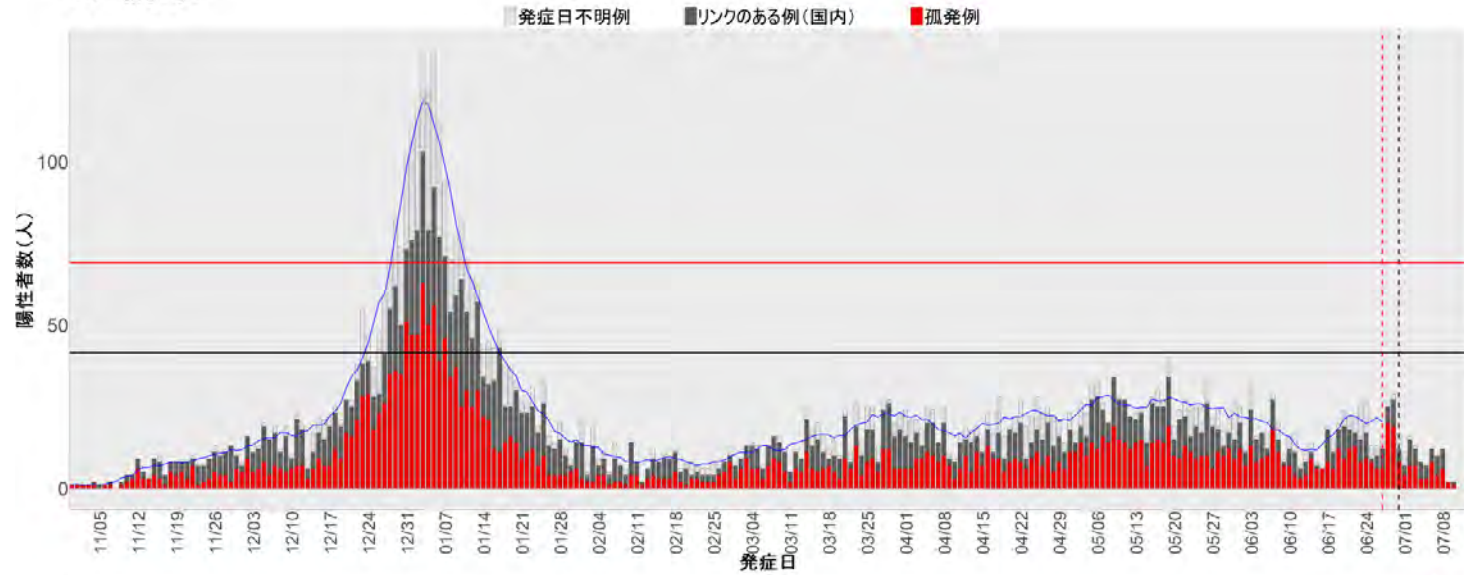
7. 福島



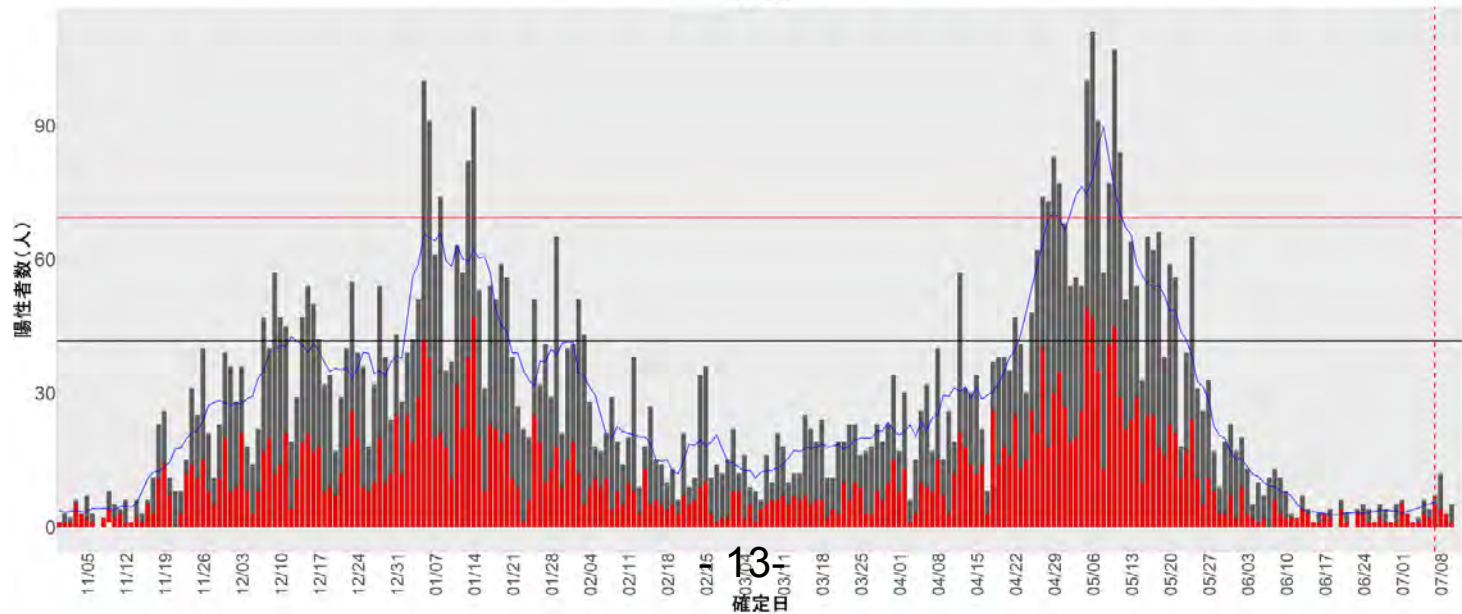
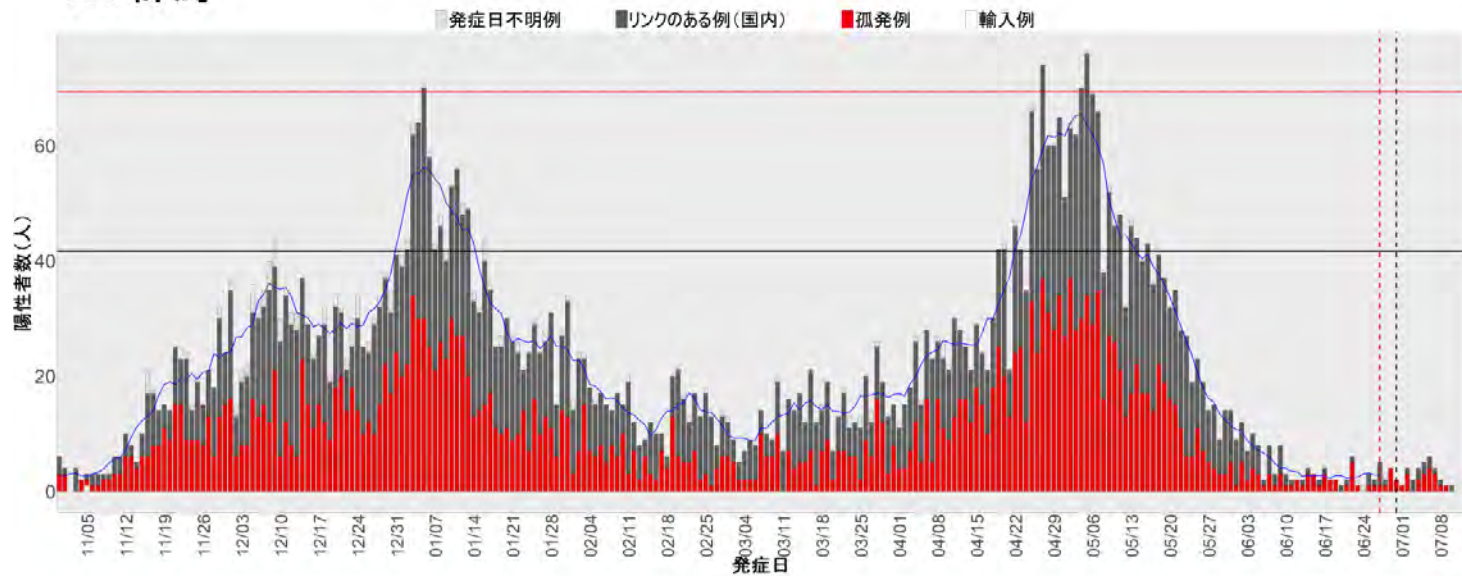
8. 茨城



9. 栃木

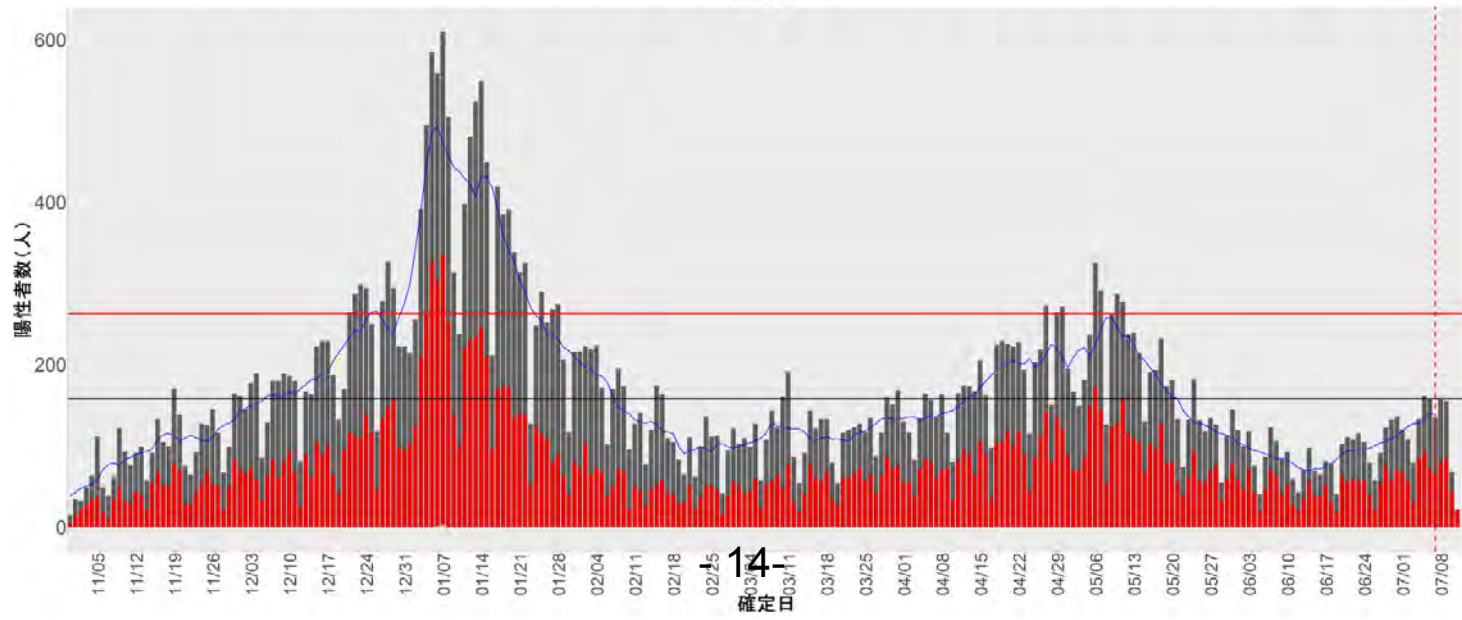
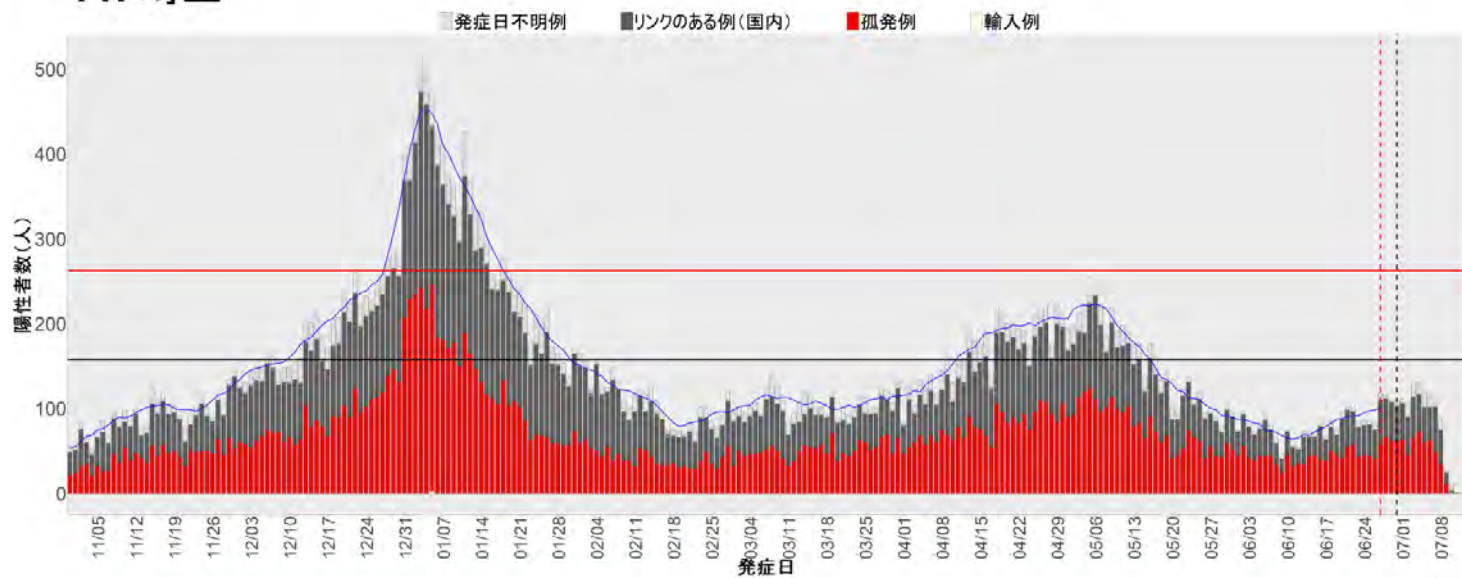


10. 群馬

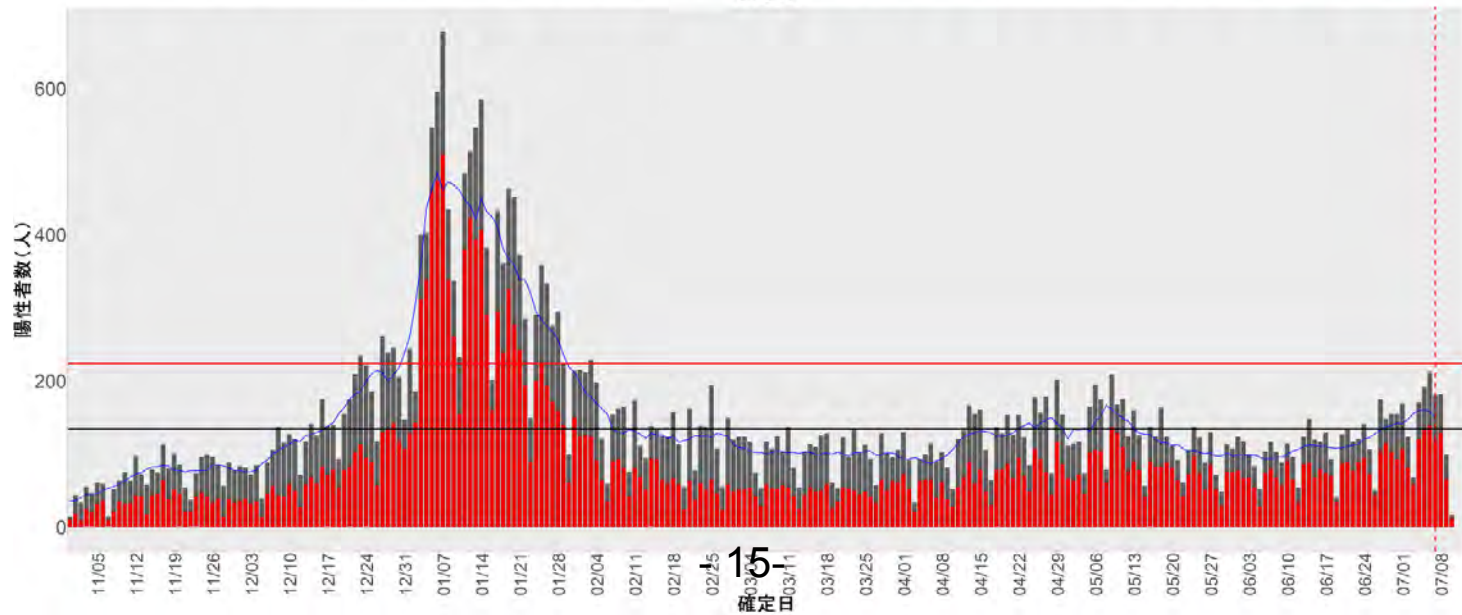
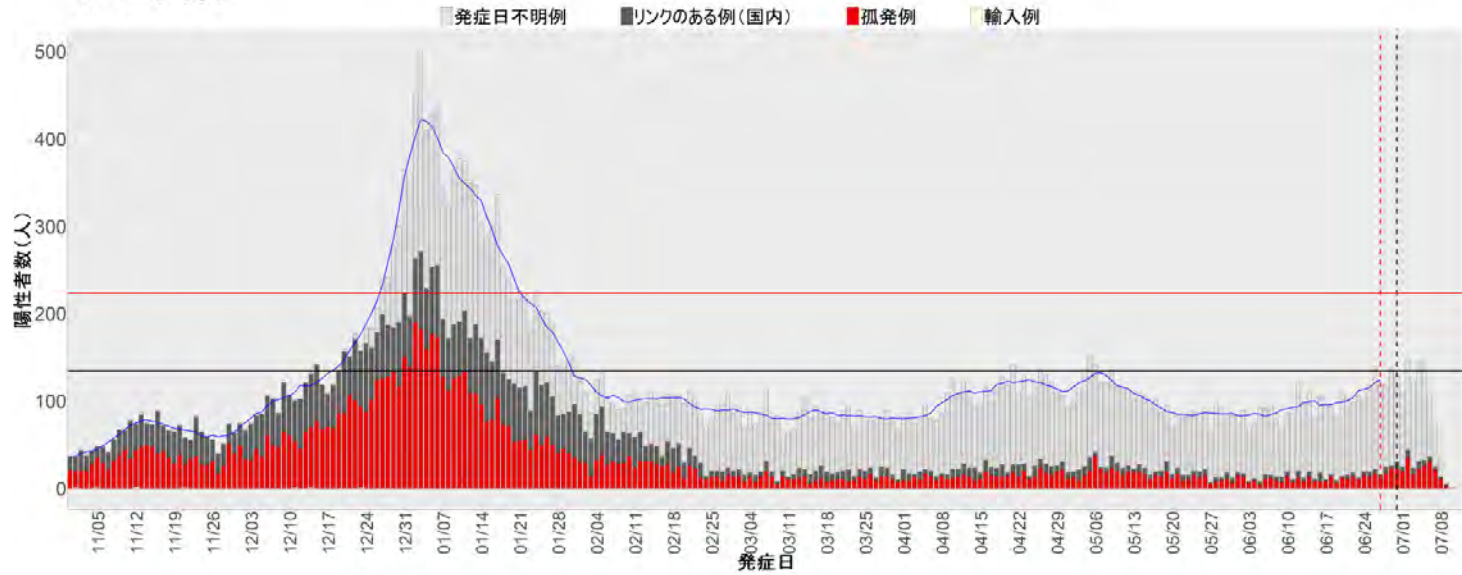


13
確定日

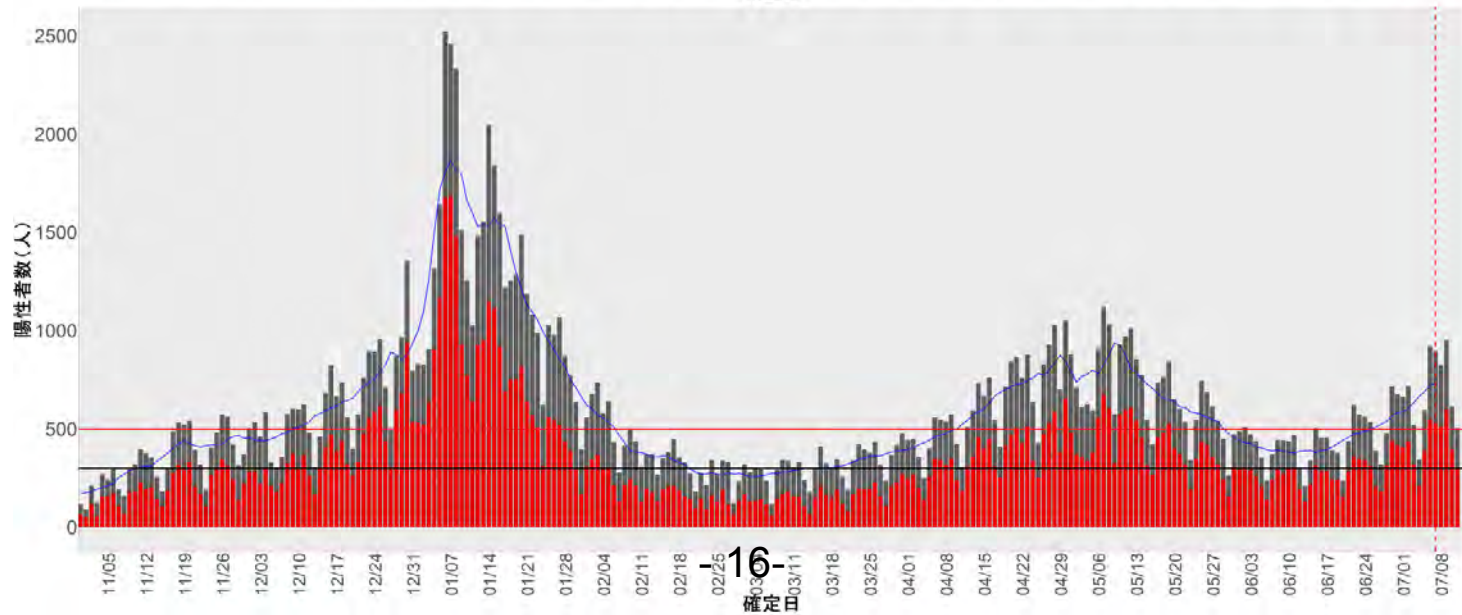
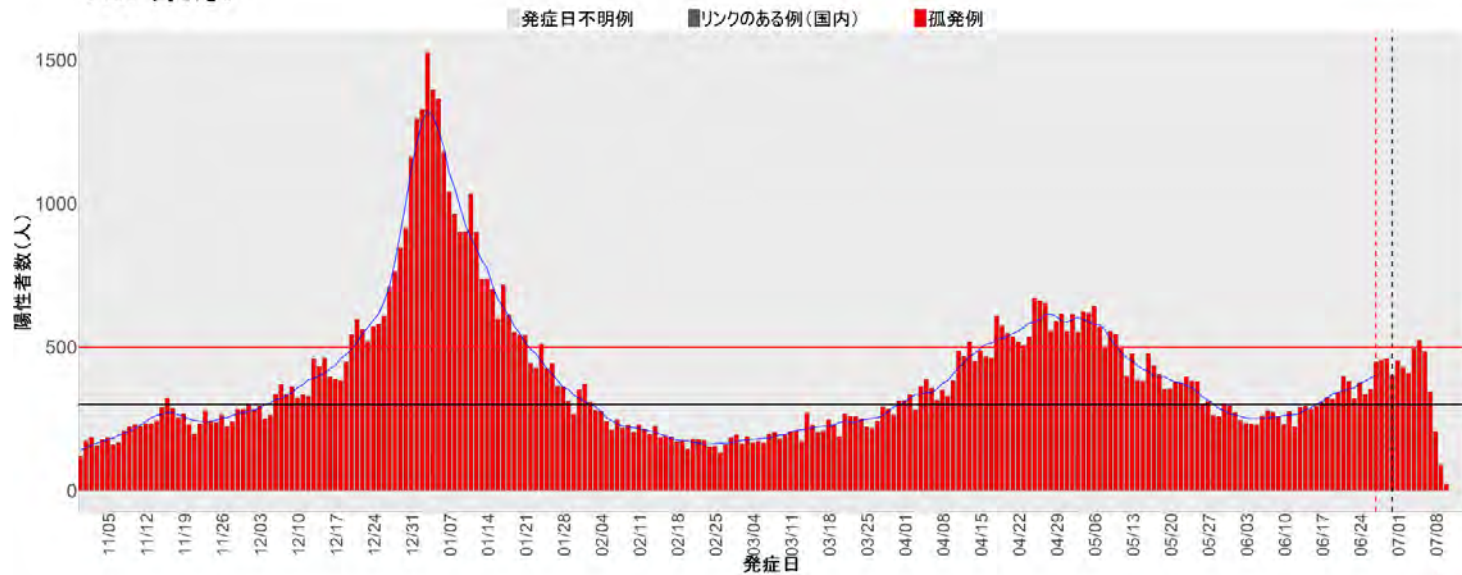
11. 埼玉



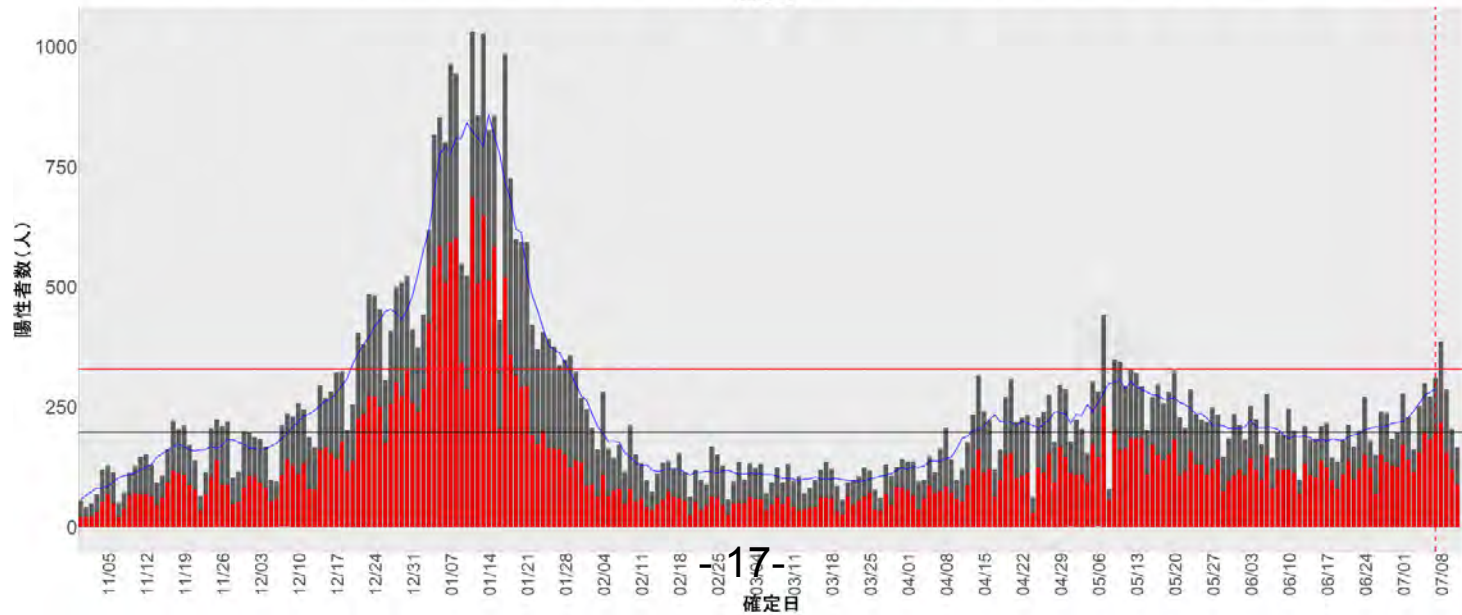
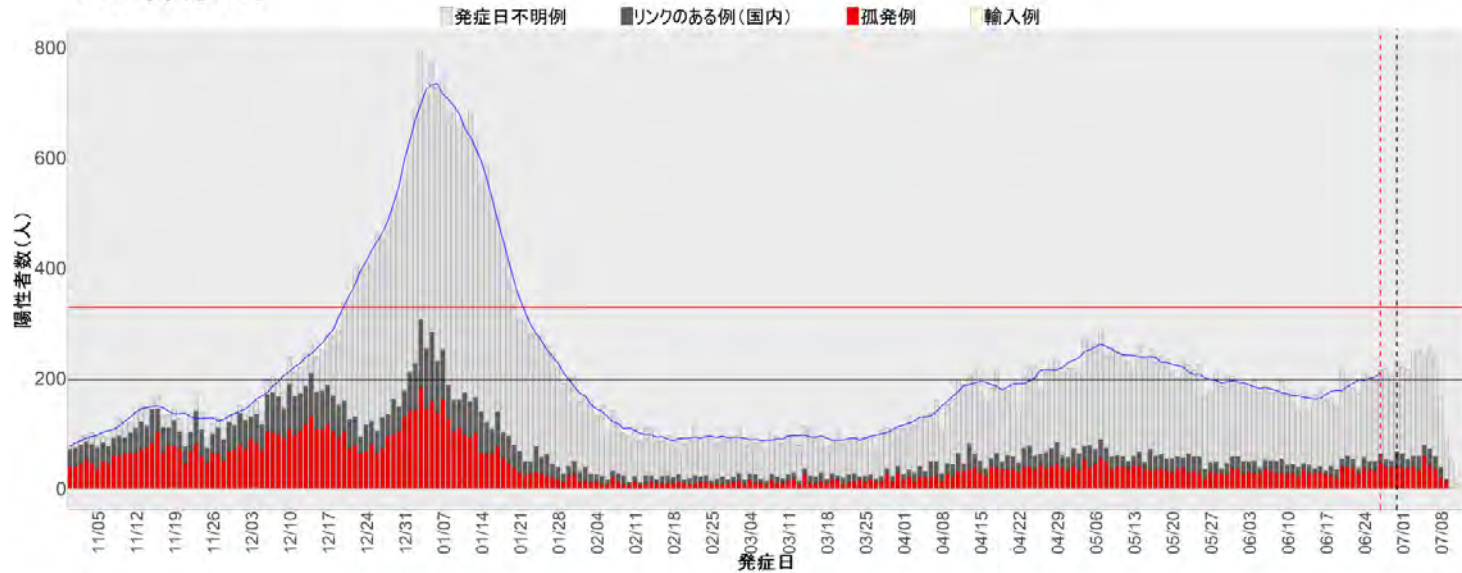
12. 千葉



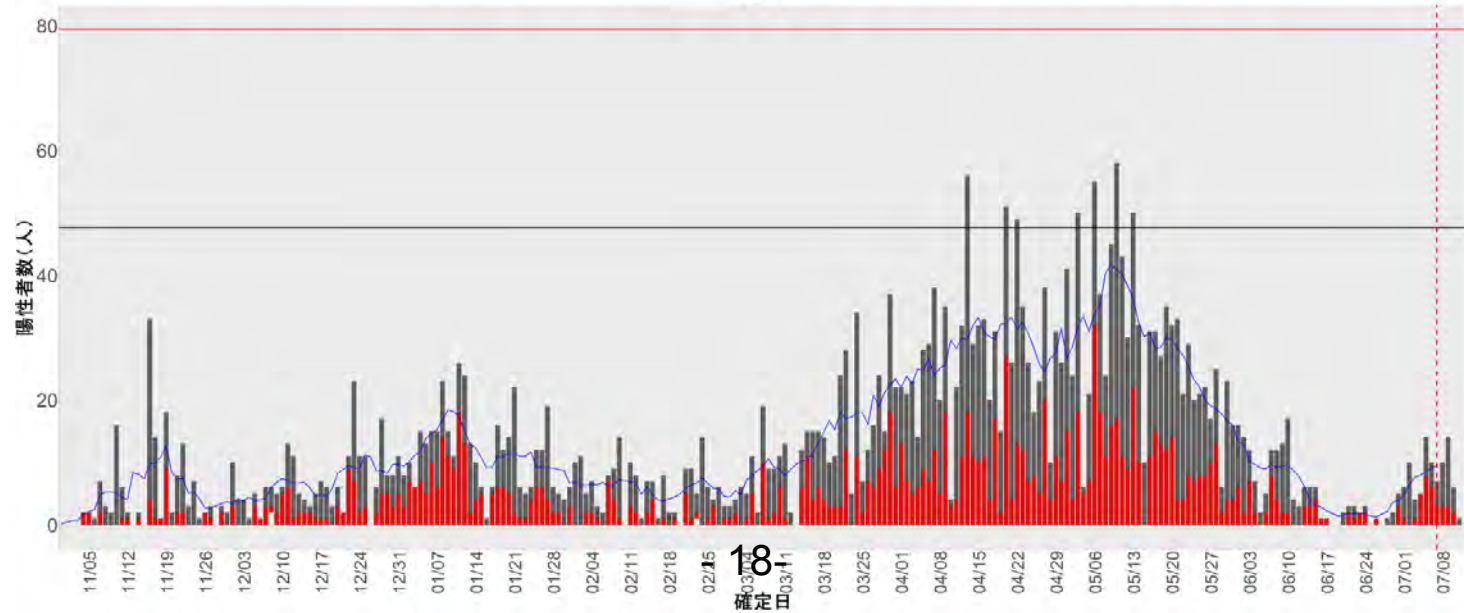
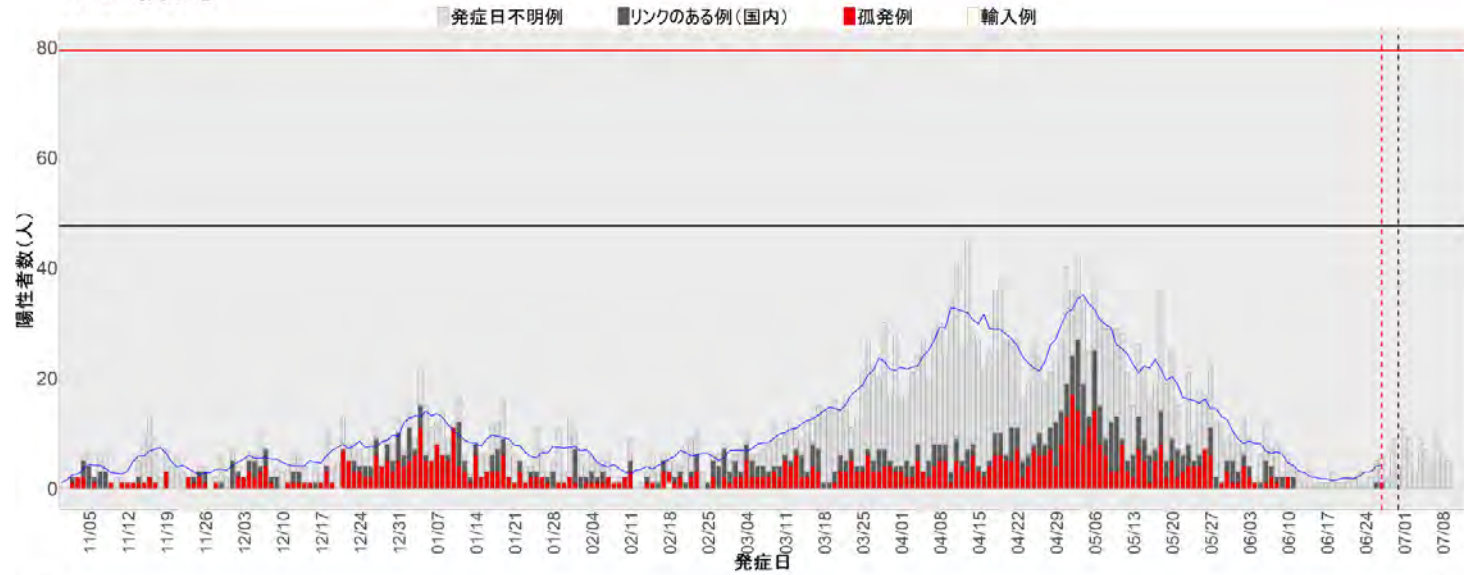
13. 東京



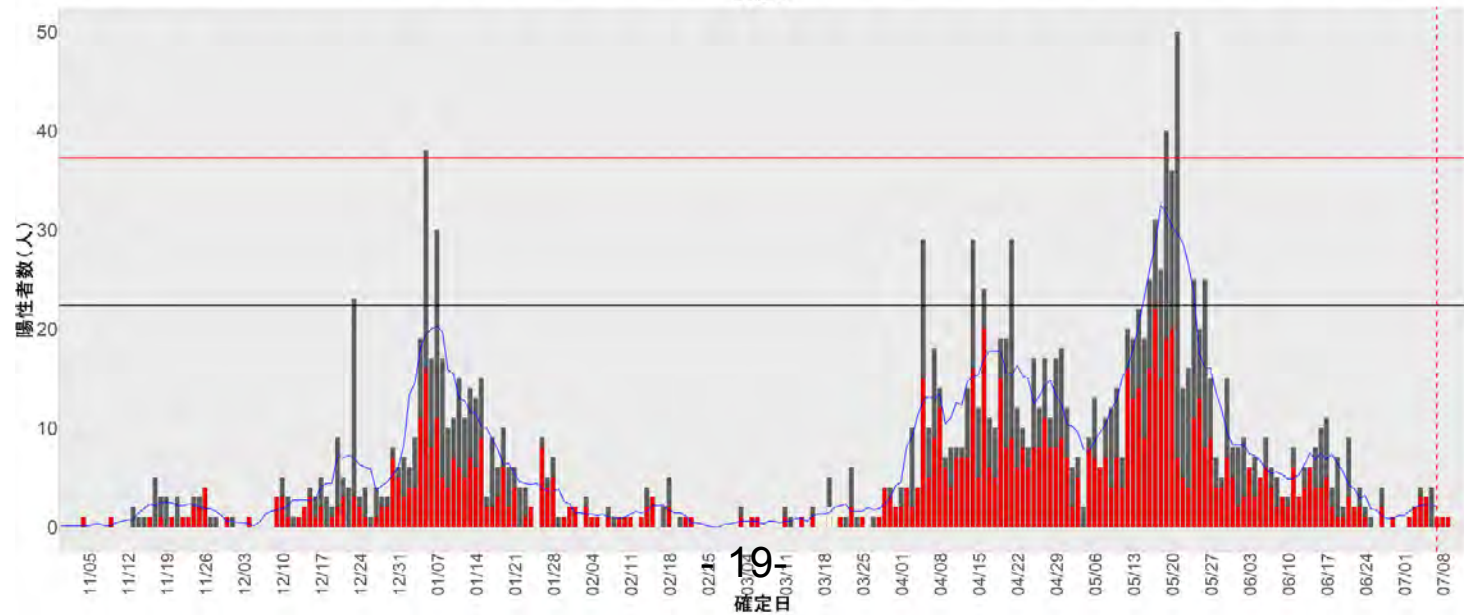
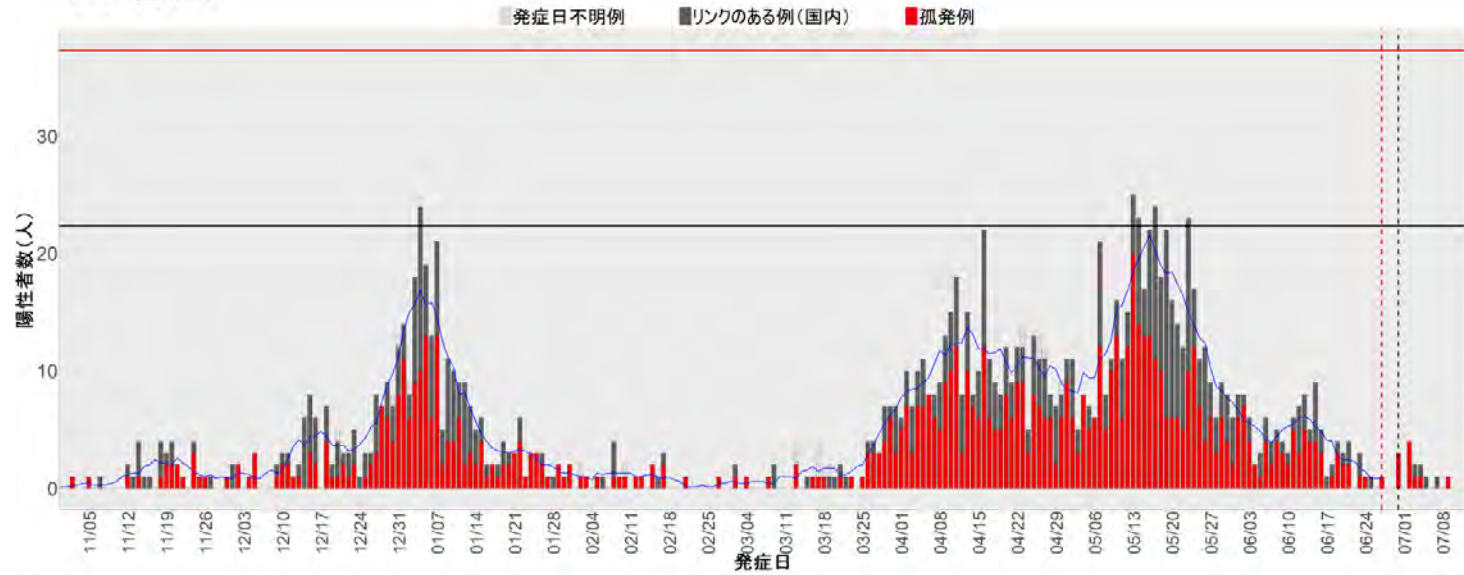
14. 神奈川



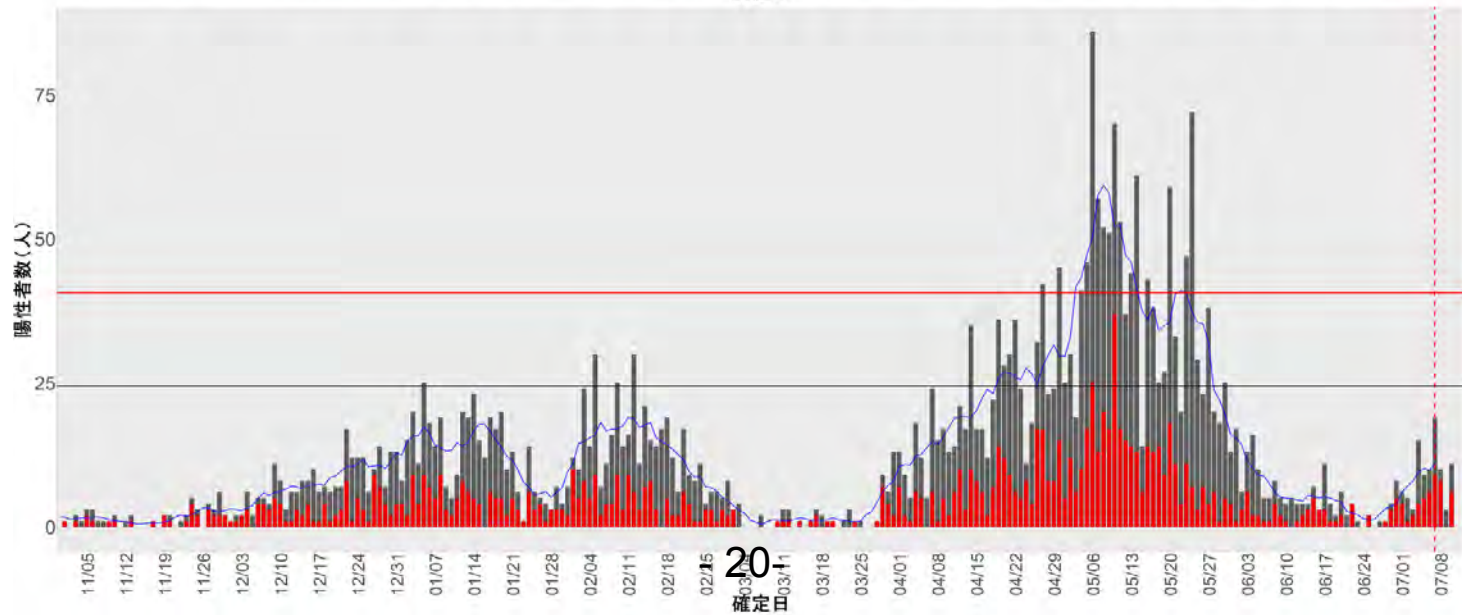
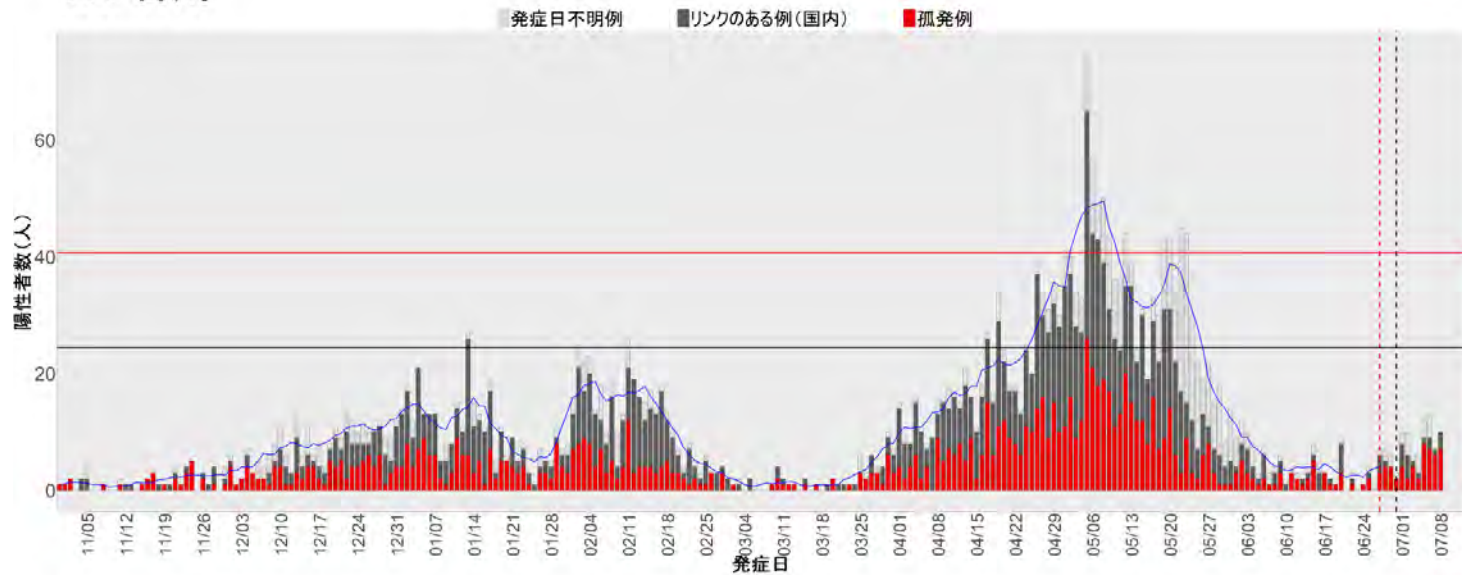
15. 新潟



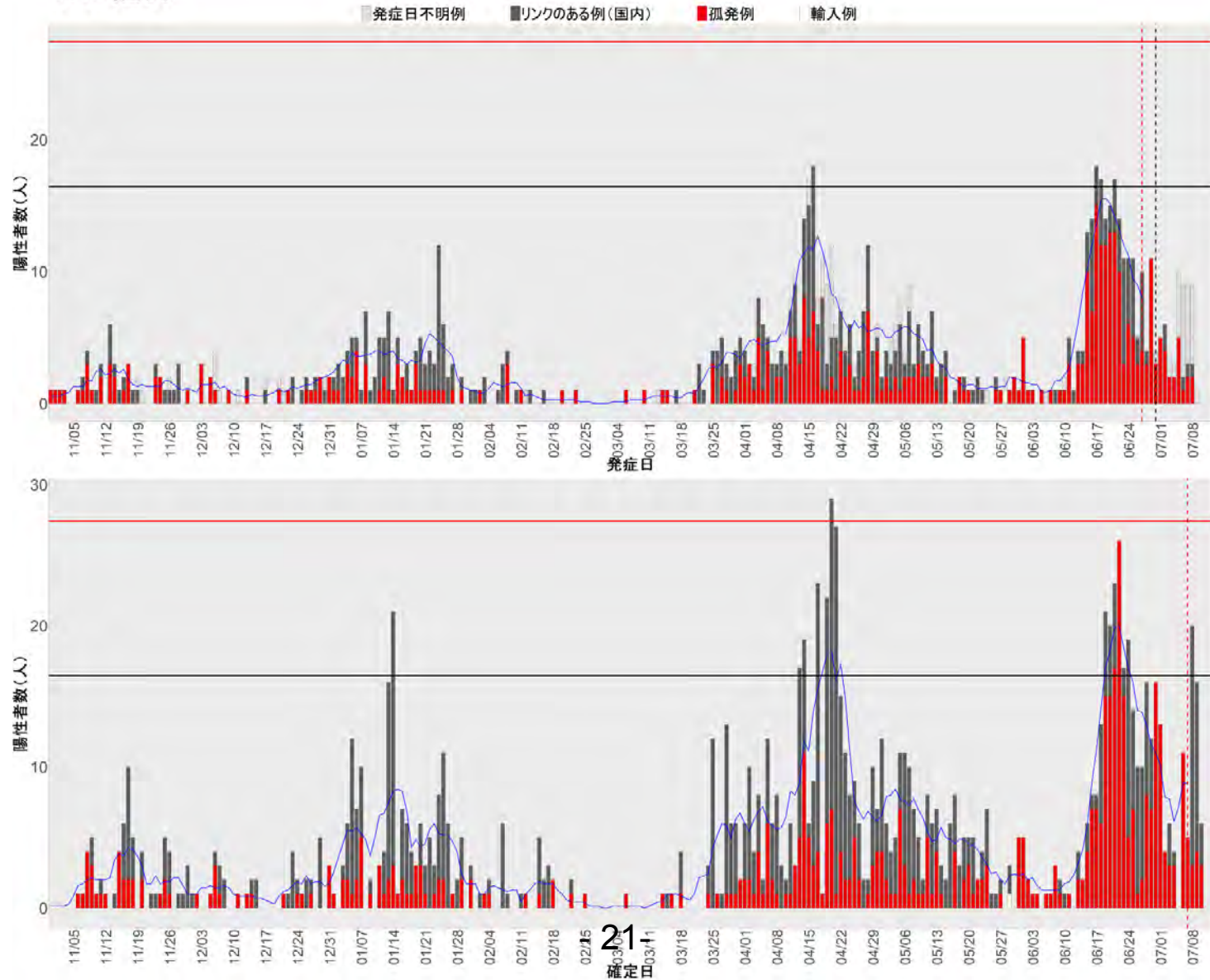
16. 富山



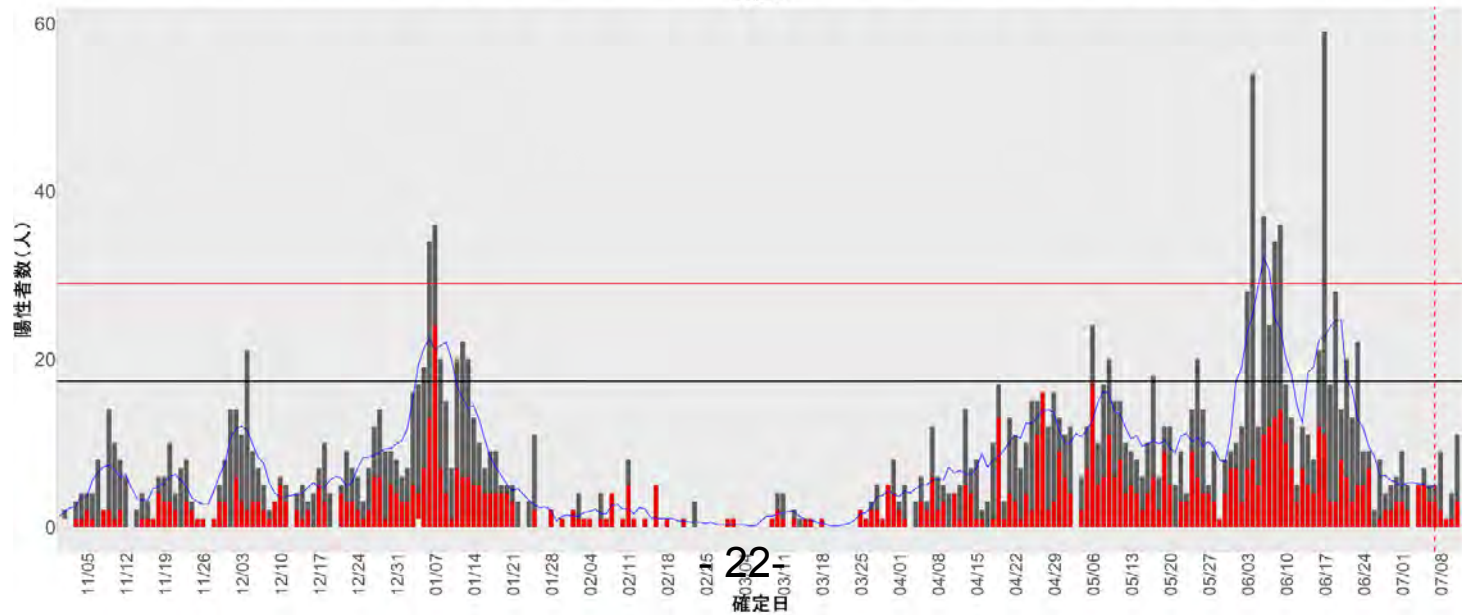
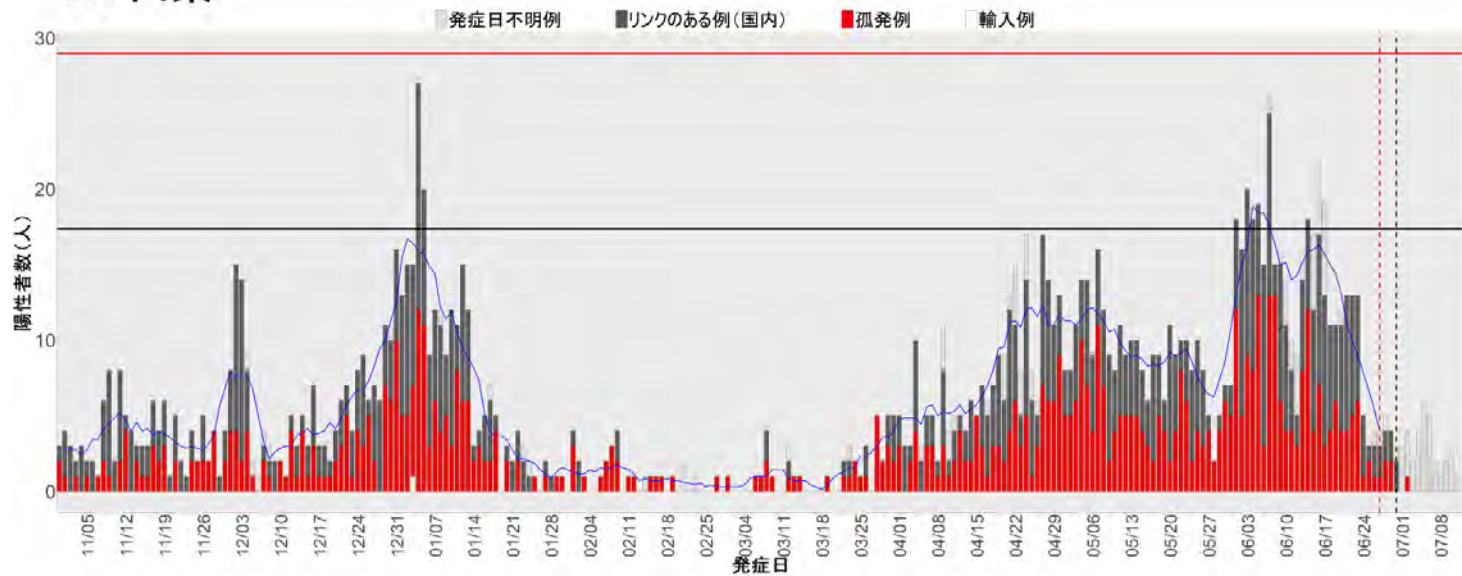
17. 石川



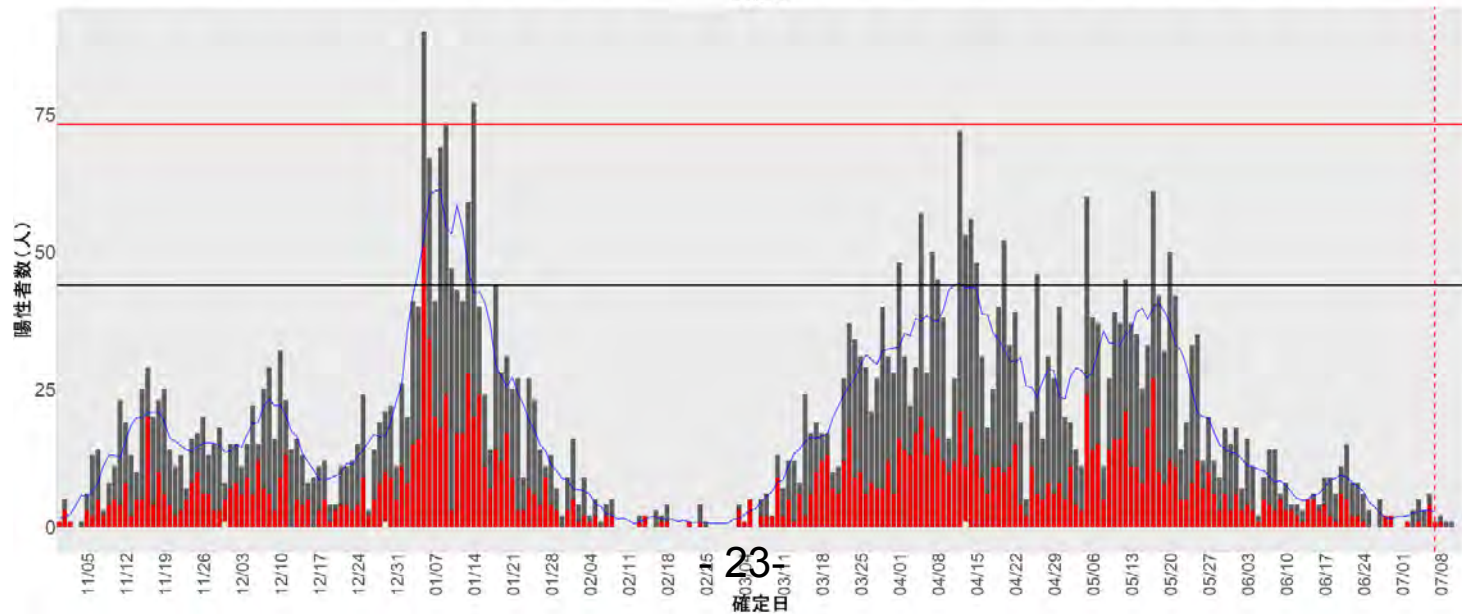
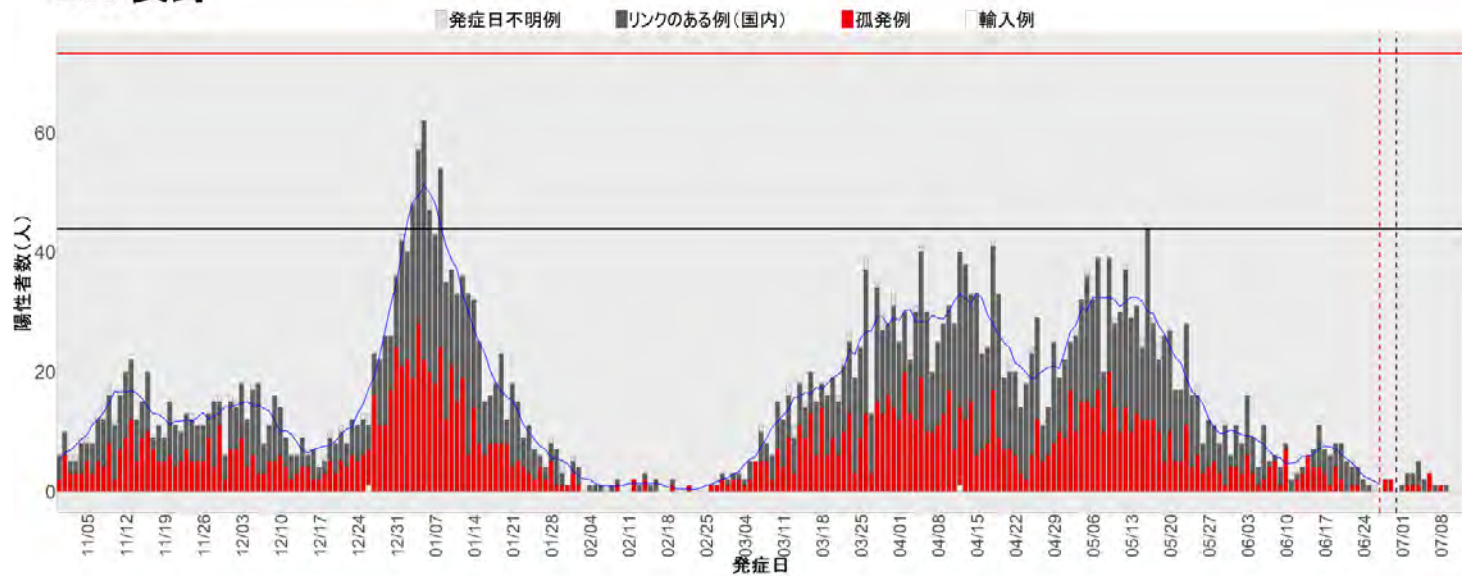
18. 福井



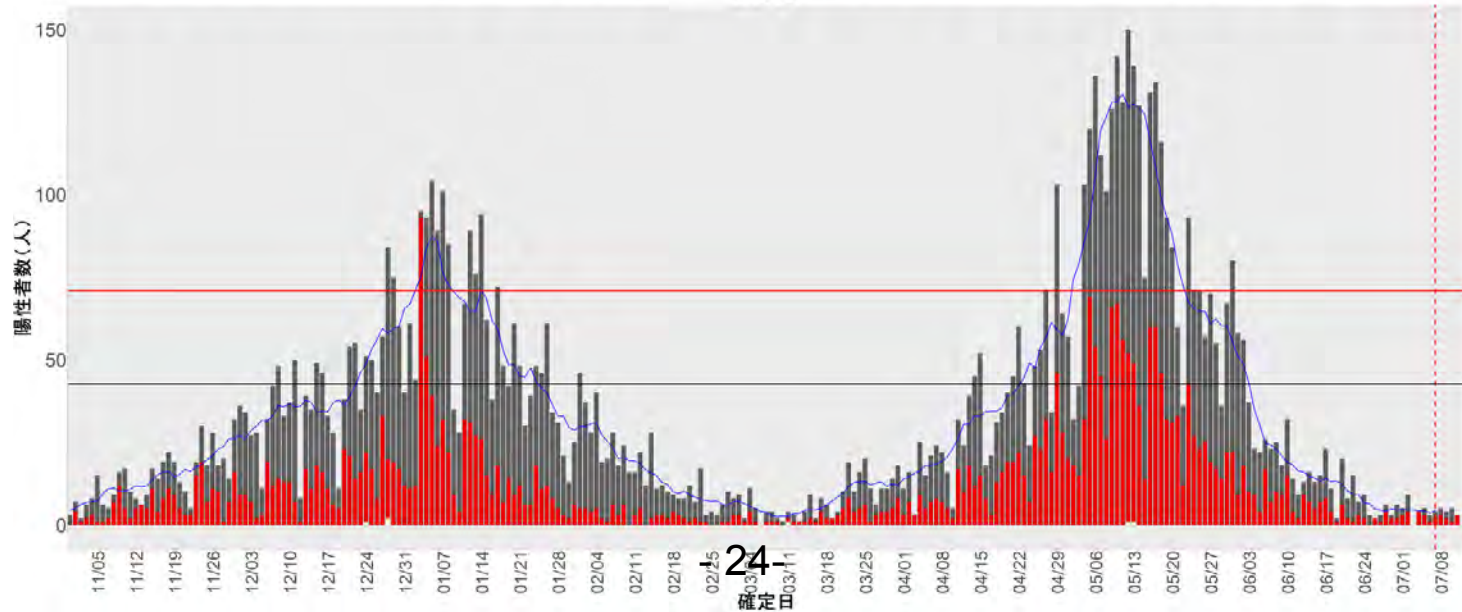
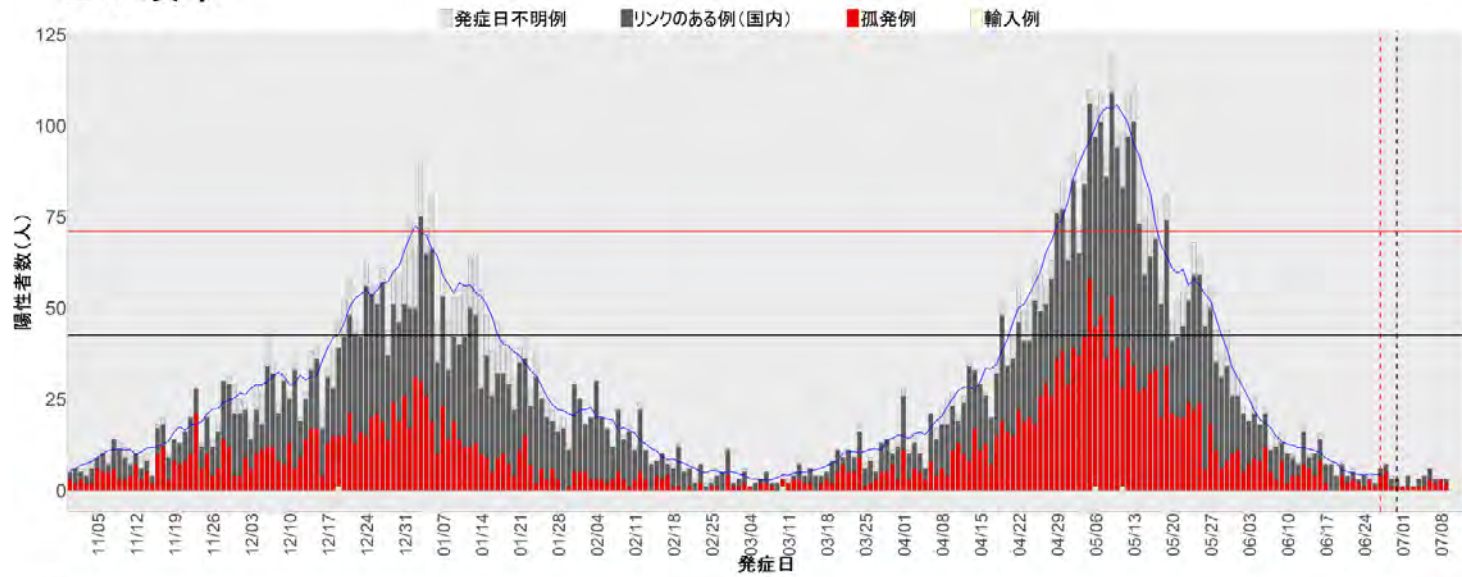
19. 山梨



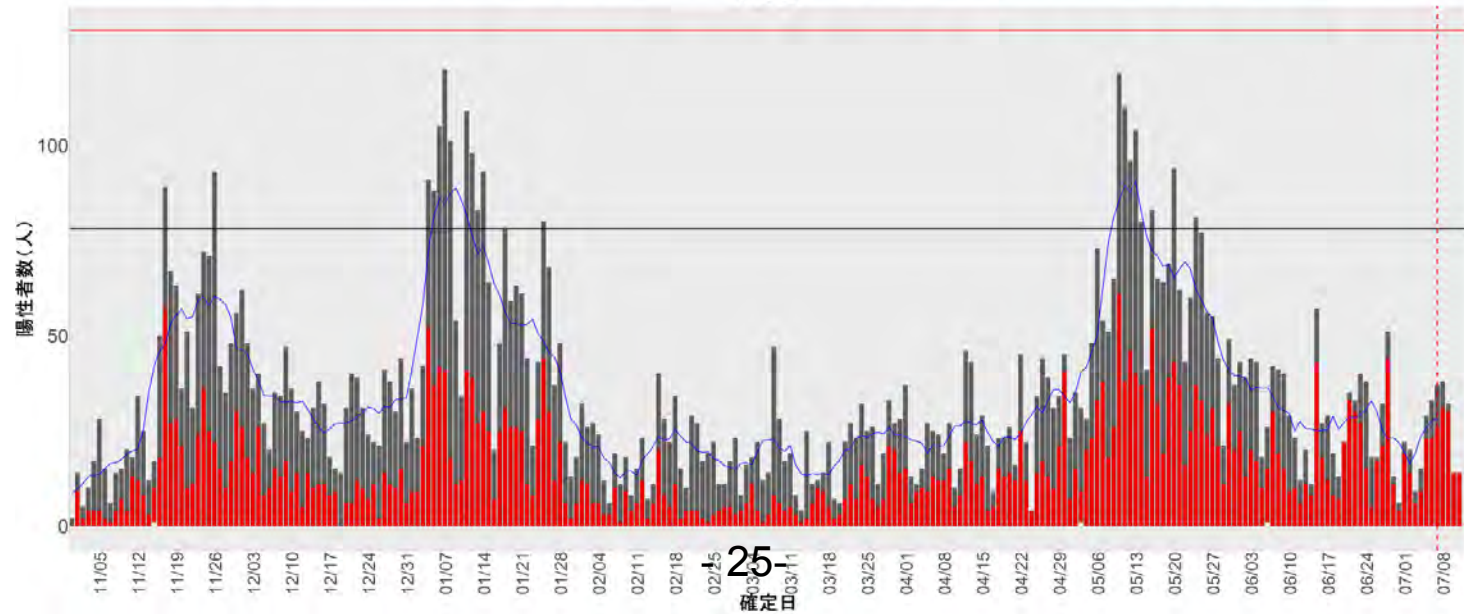
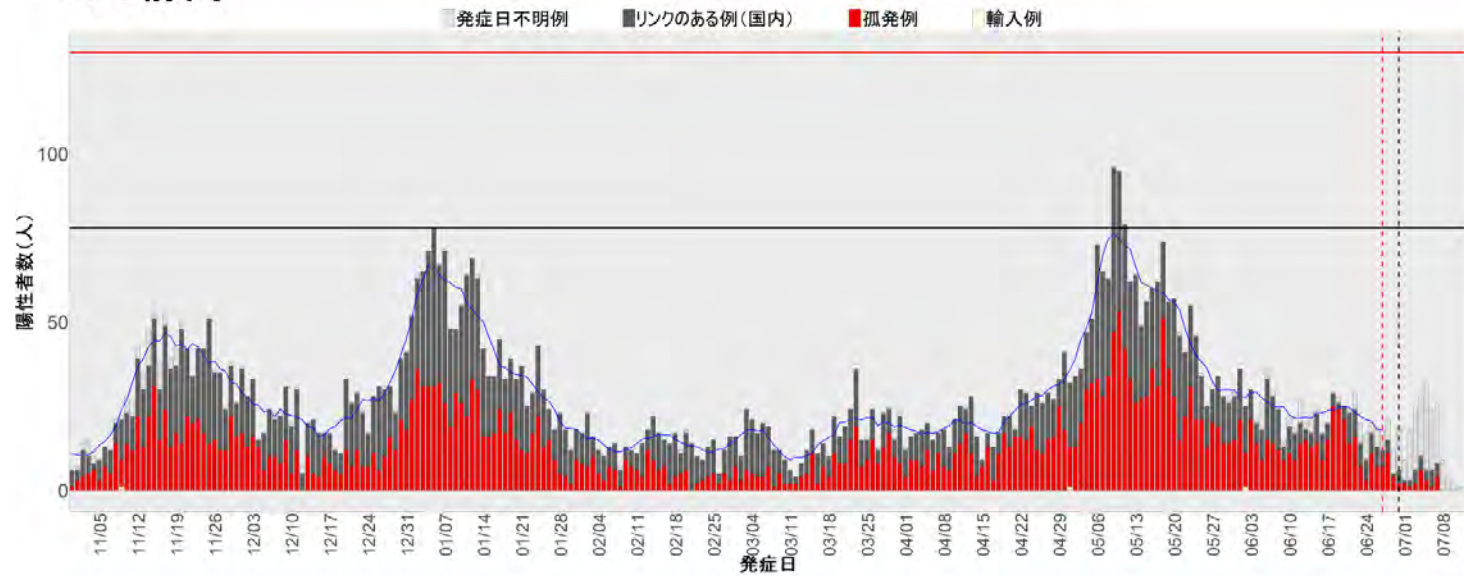
20. 長野



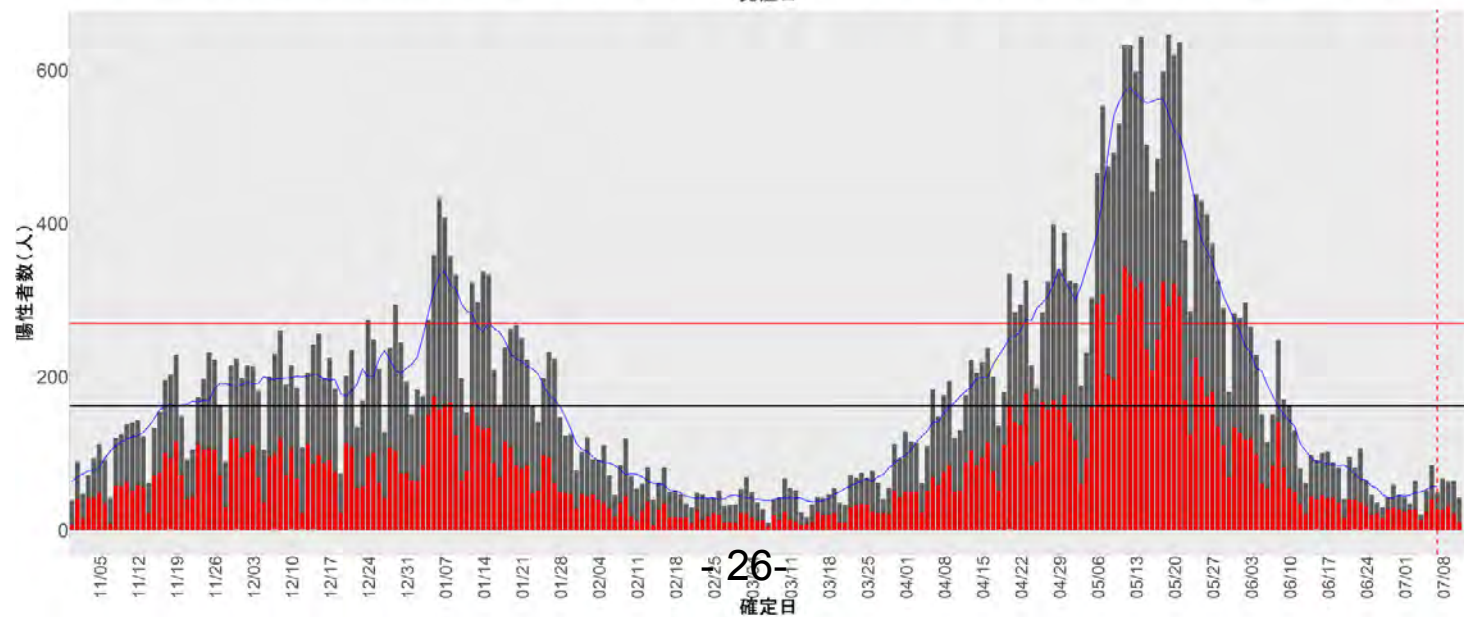
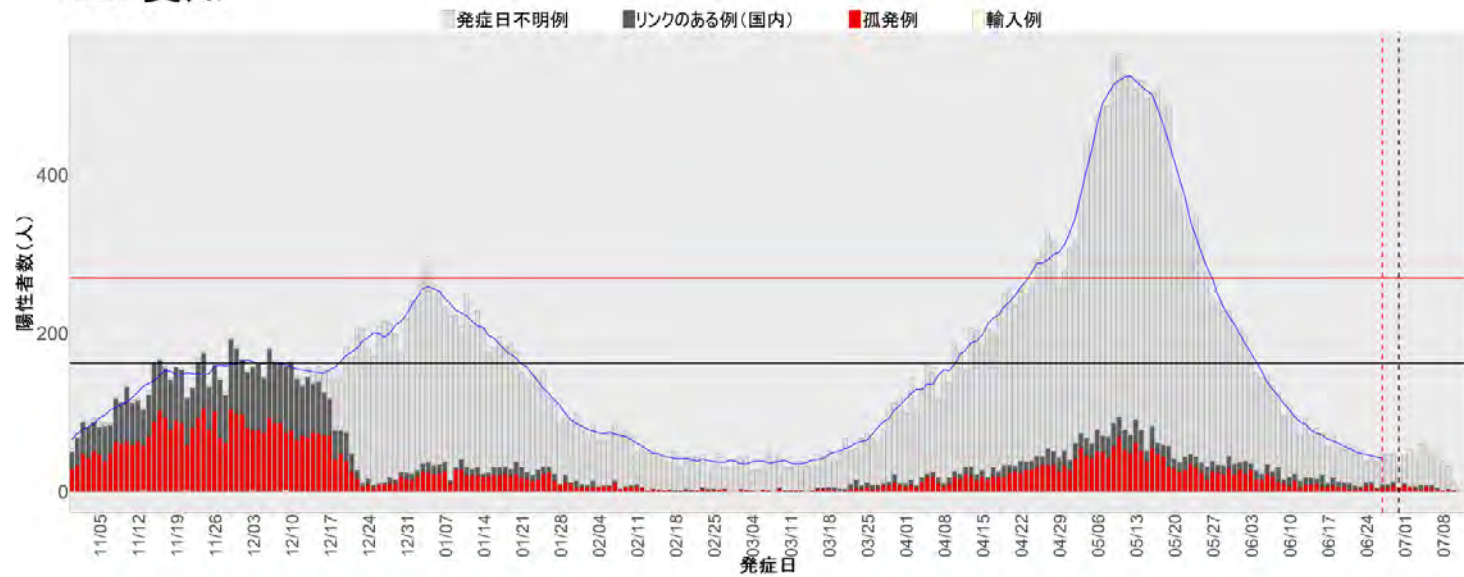
21. 岐阜



22. 静岡

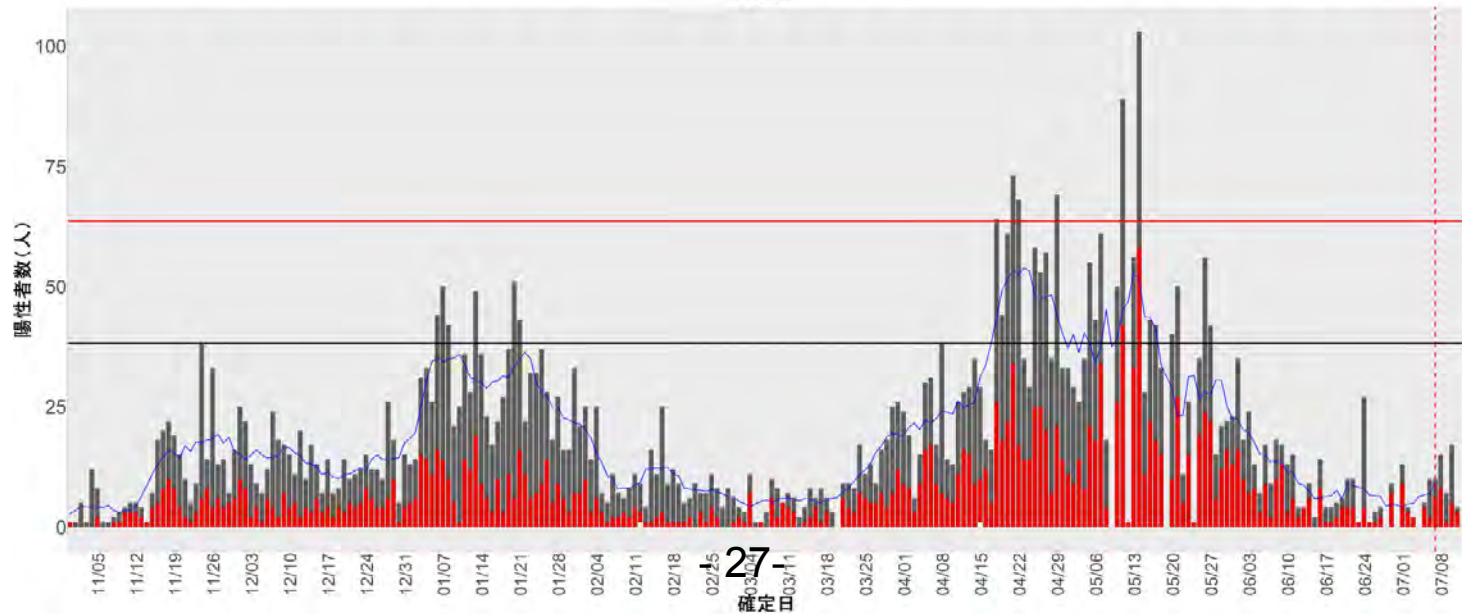
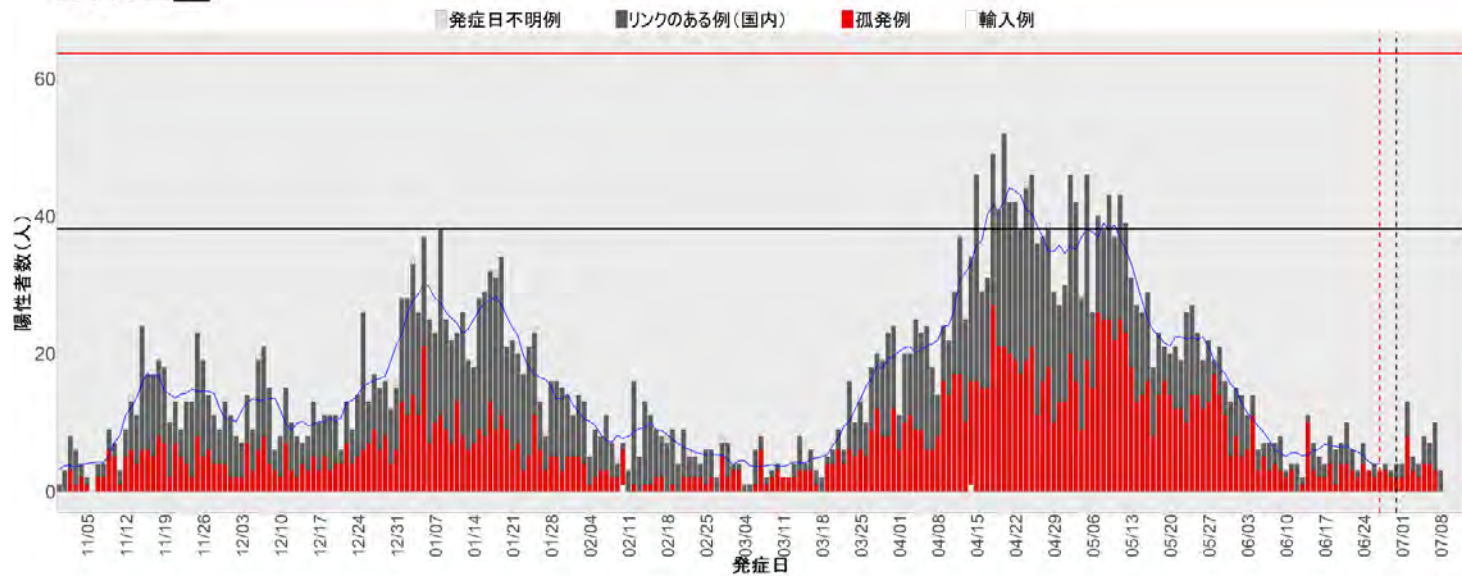


23. 愛知

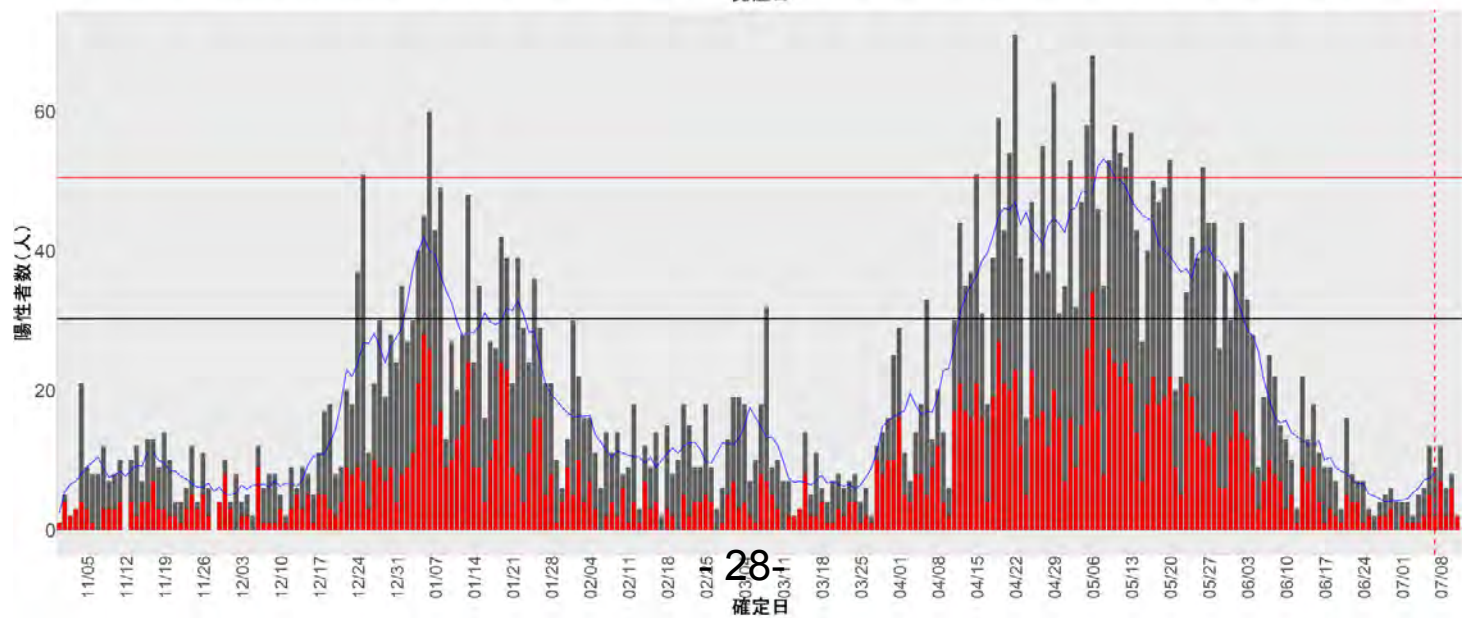
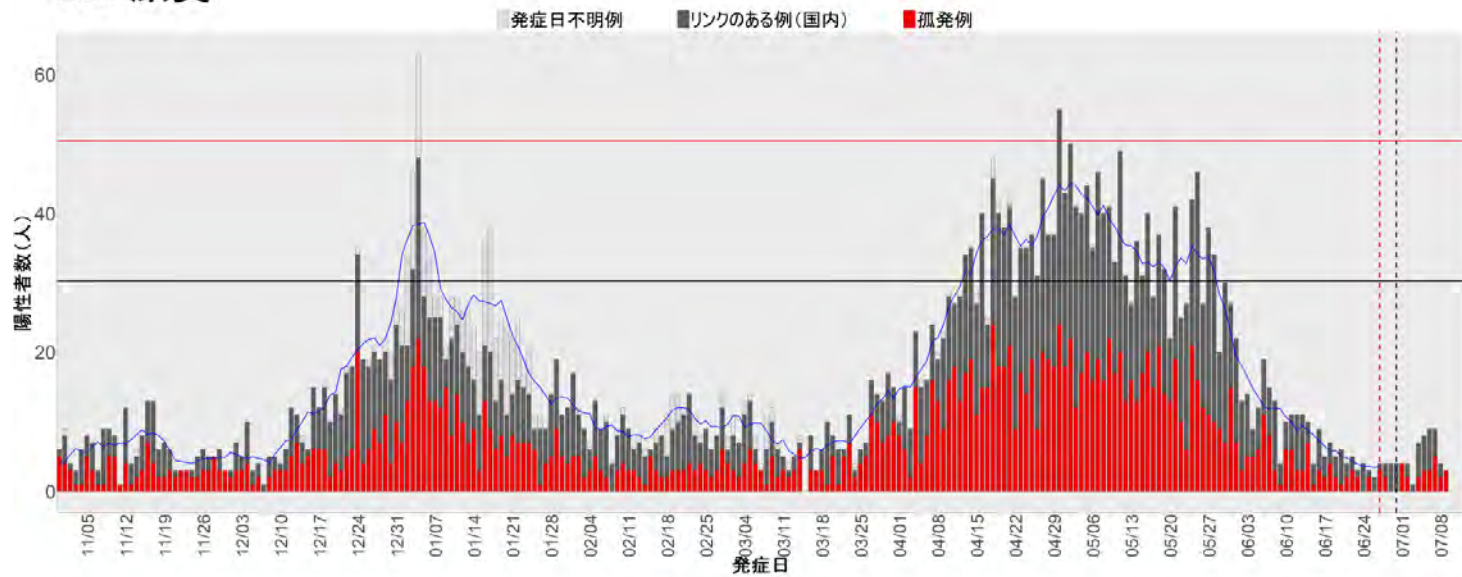


26

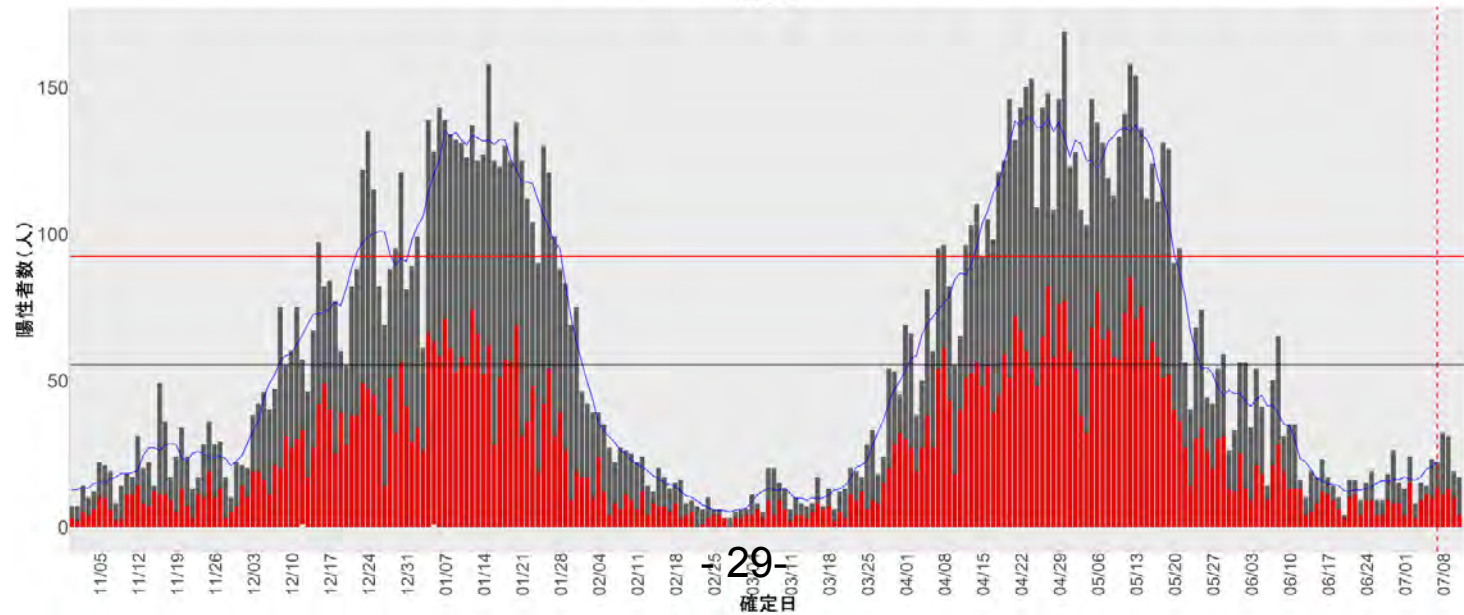
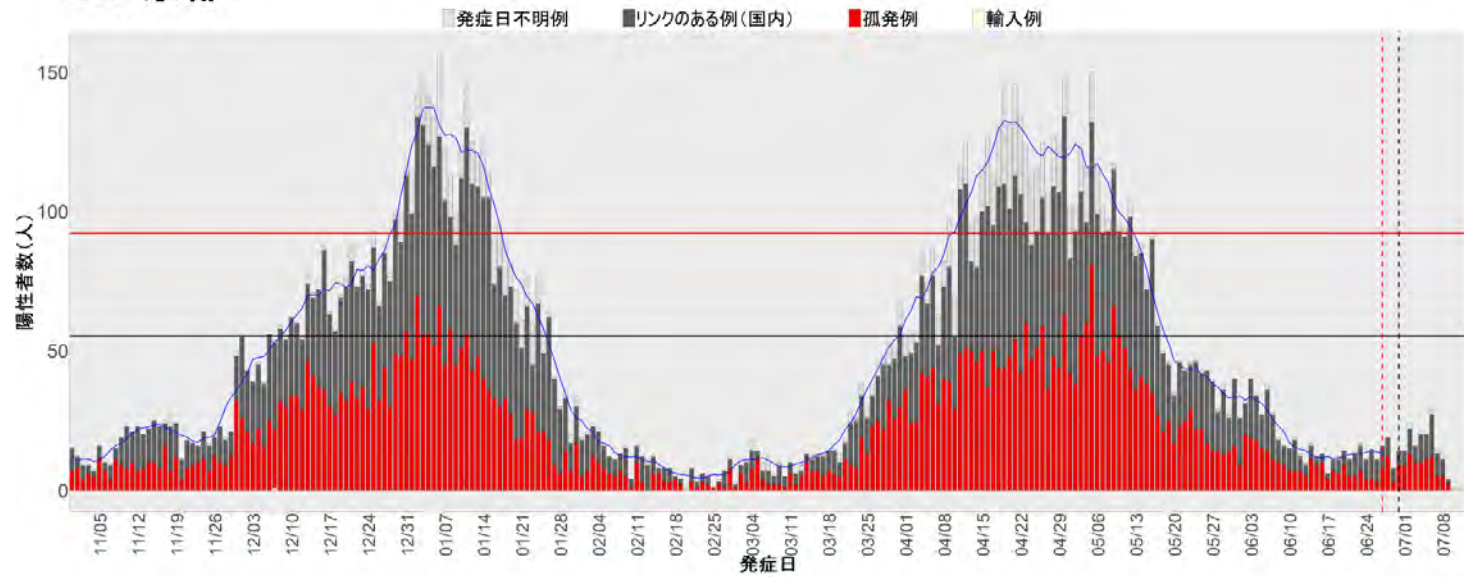
24. 三重



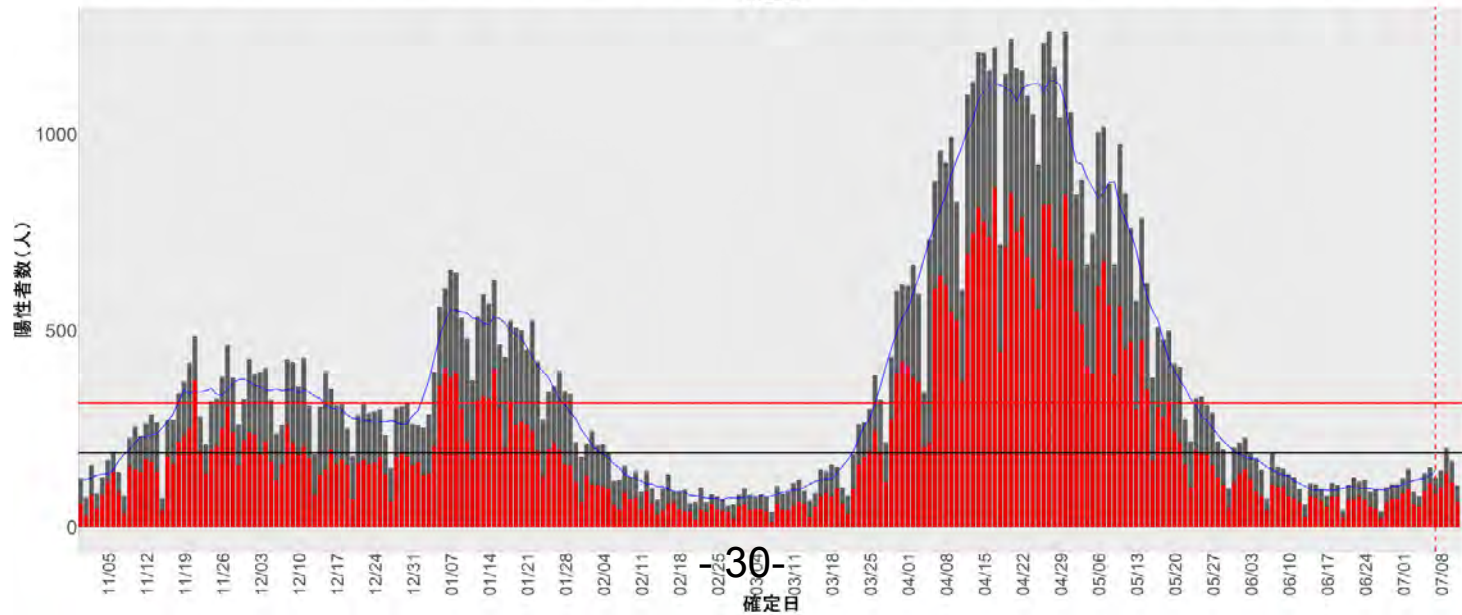
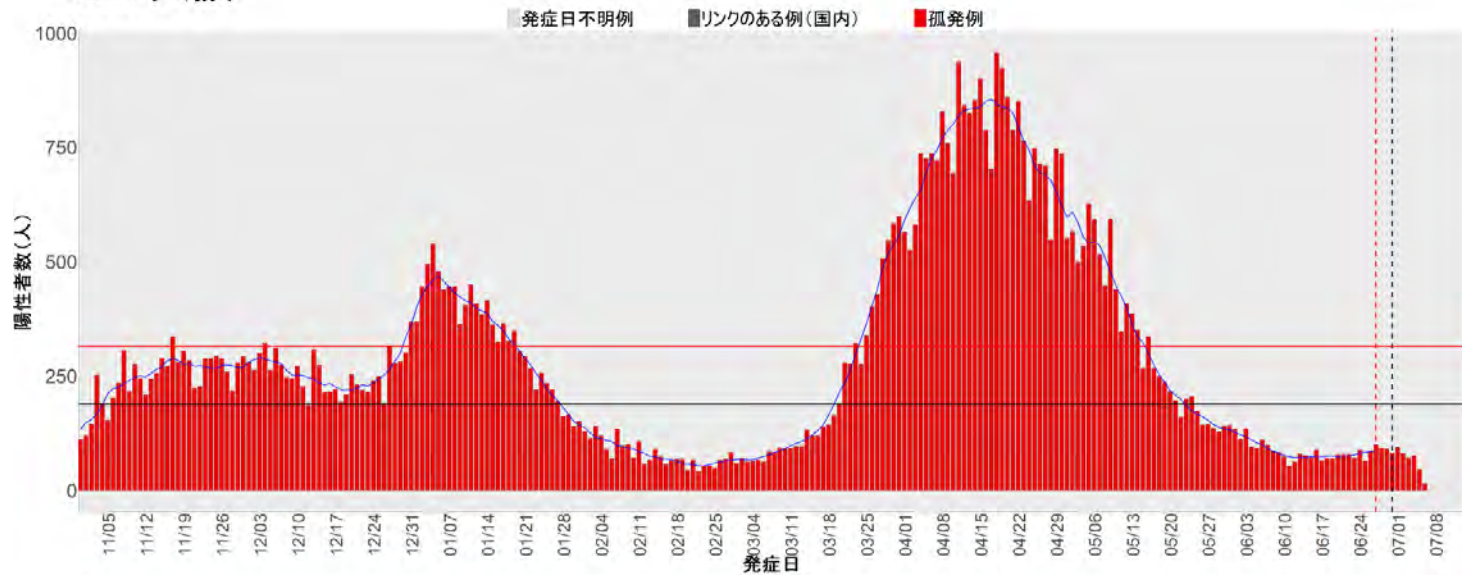
25. 滋賀



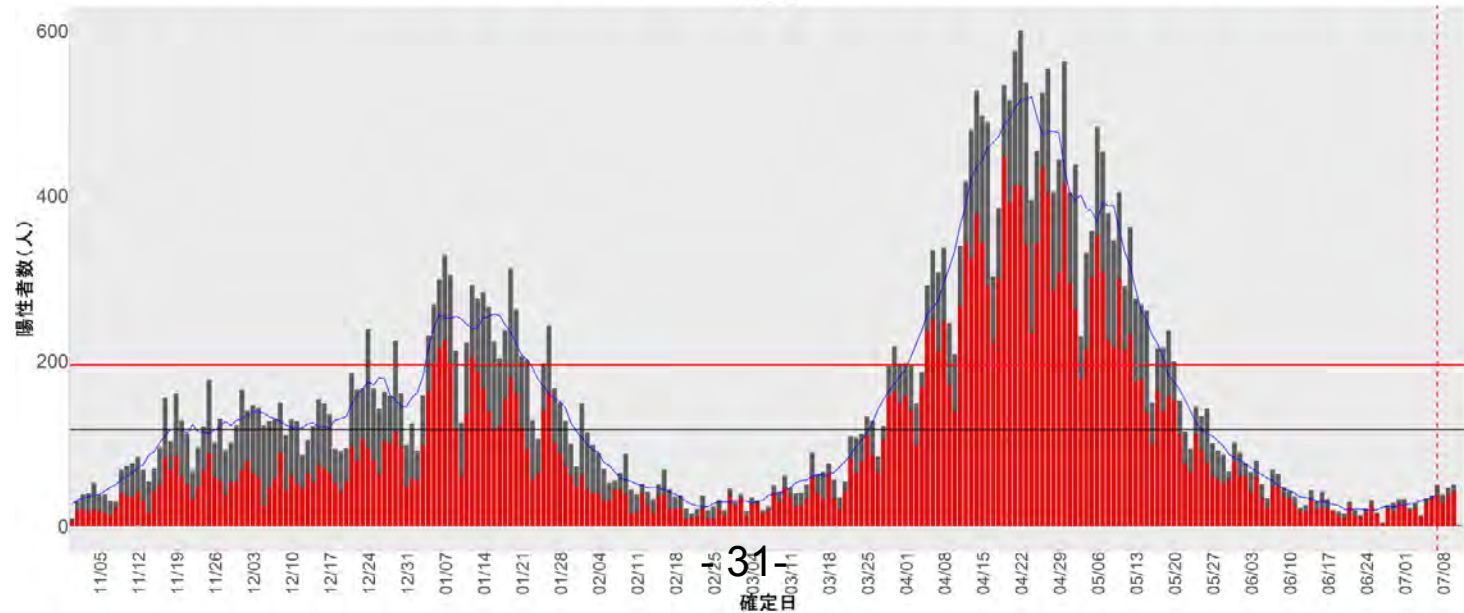
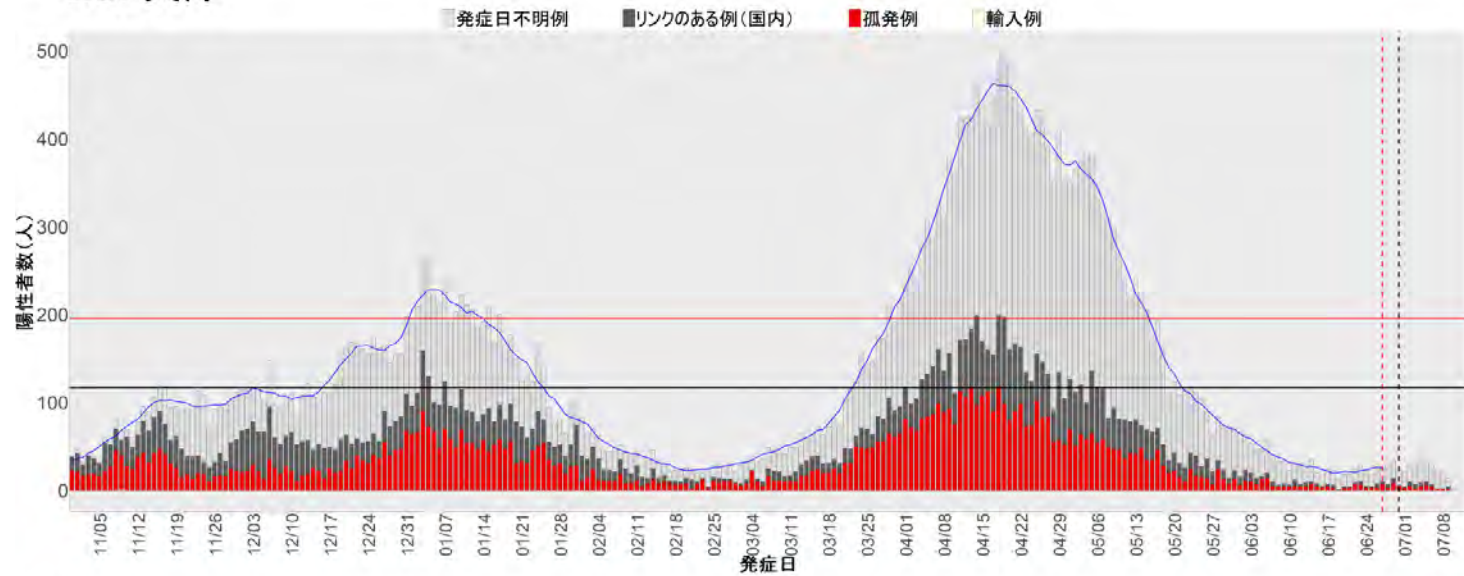
26. 京都



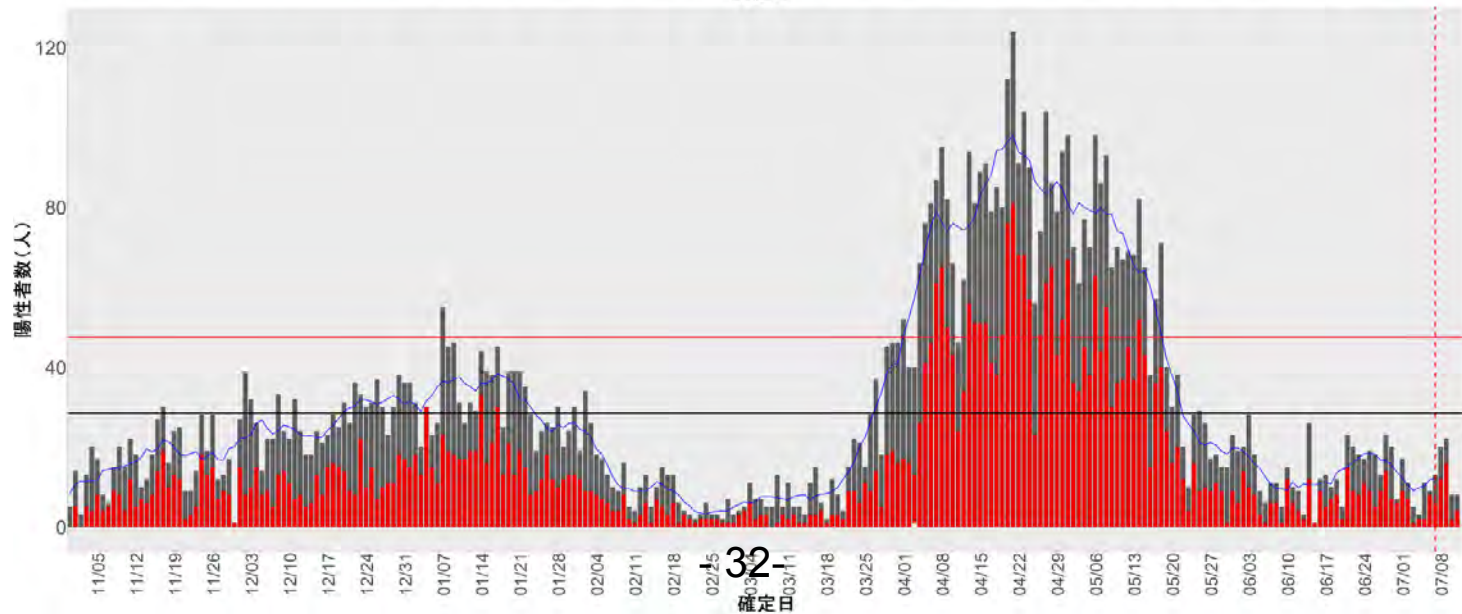
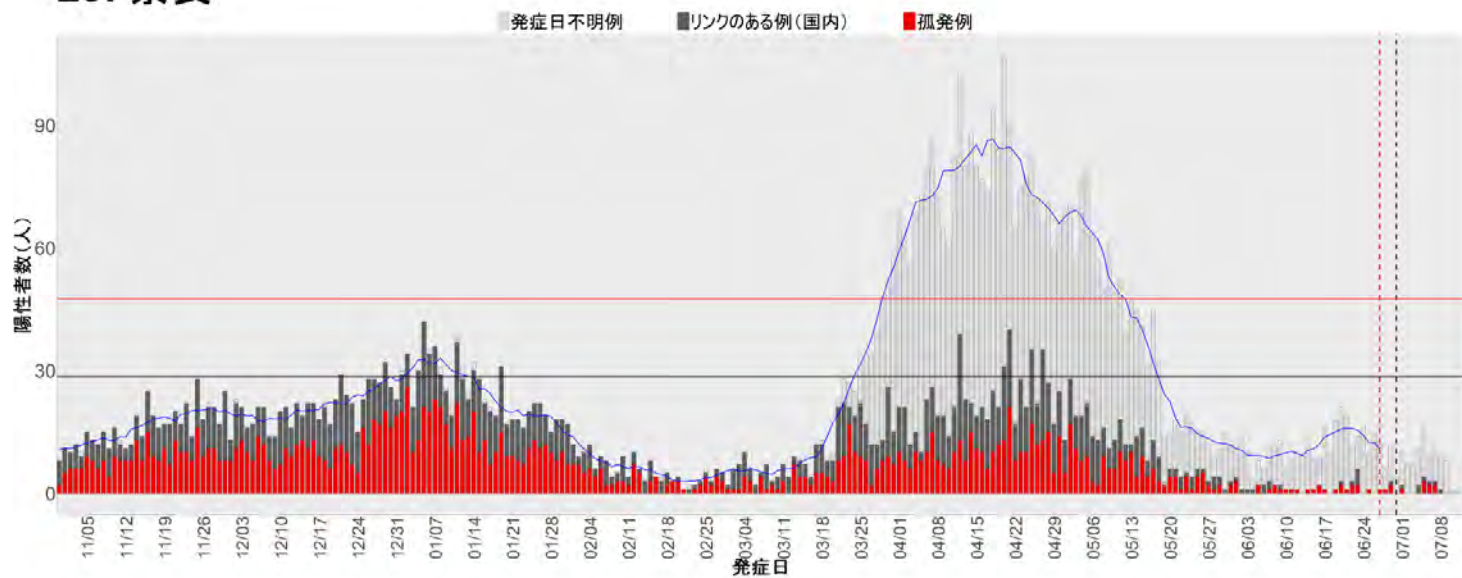
27. 大阪



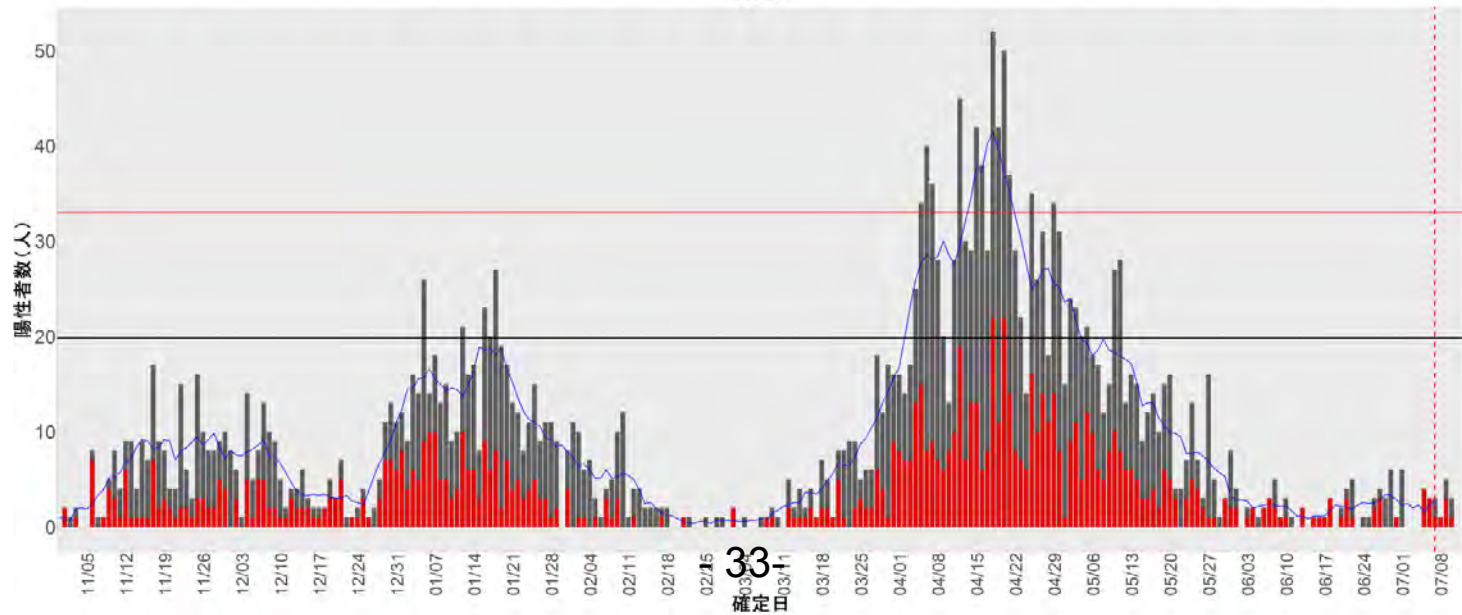
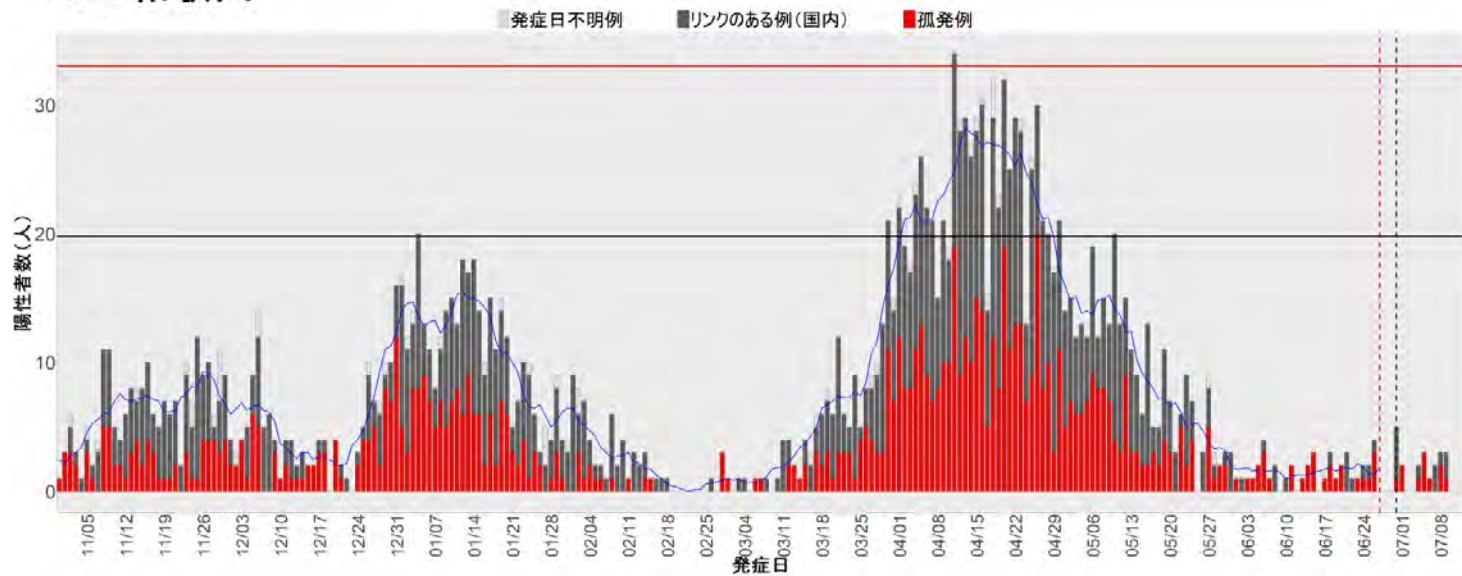
28. 兵庫



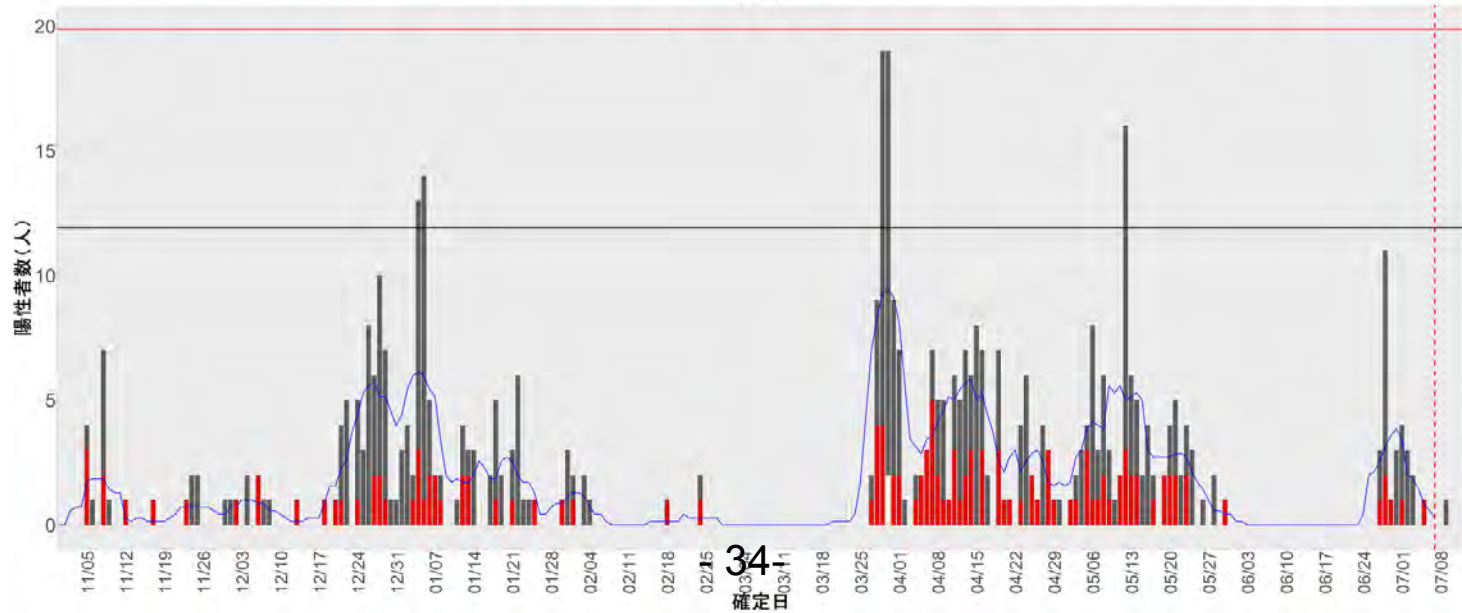
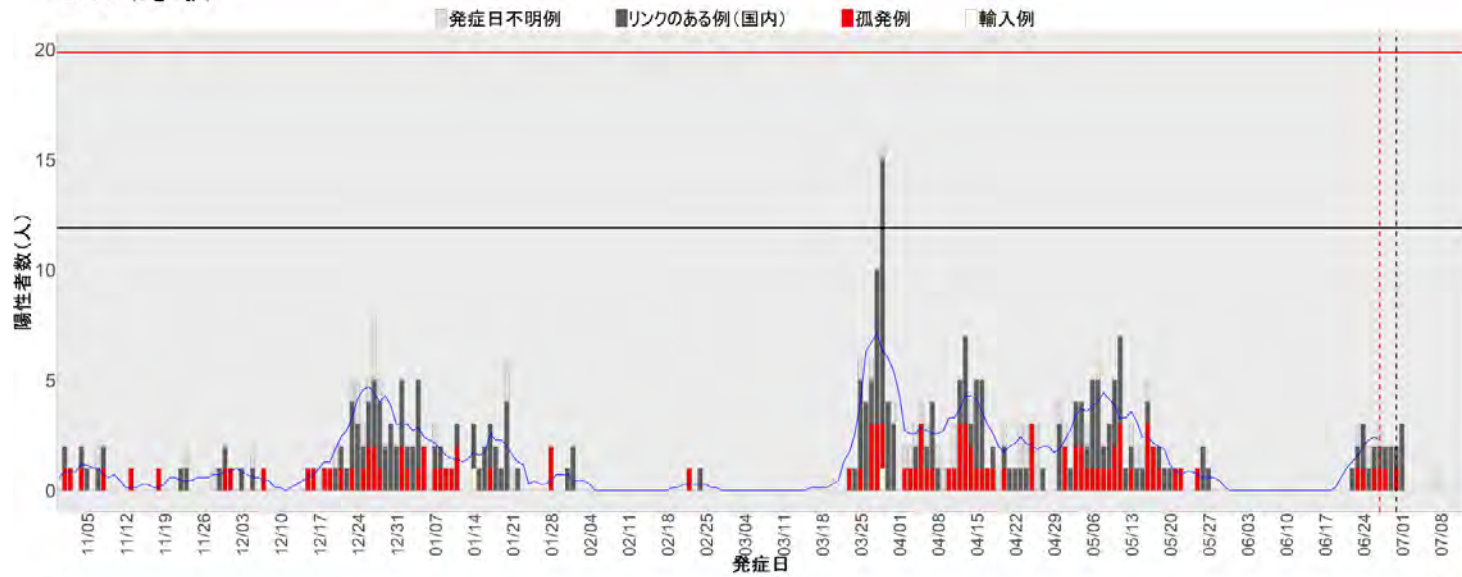
29. 奈良



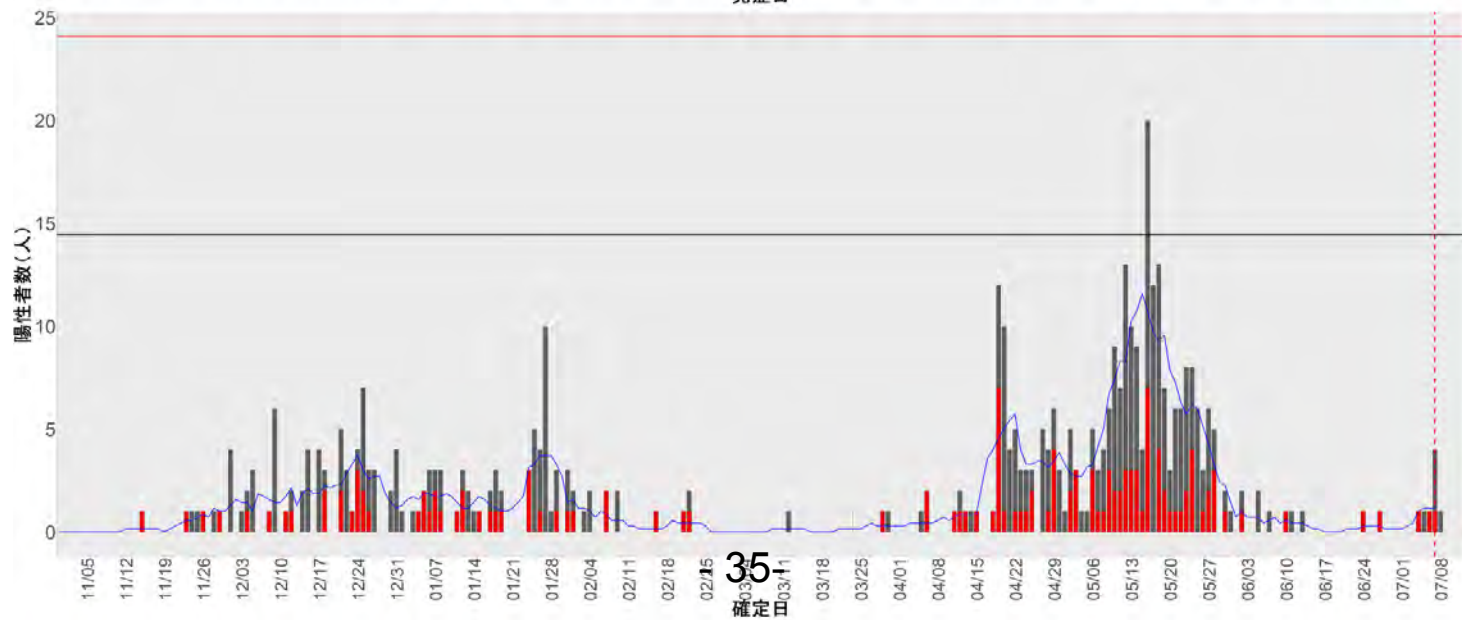
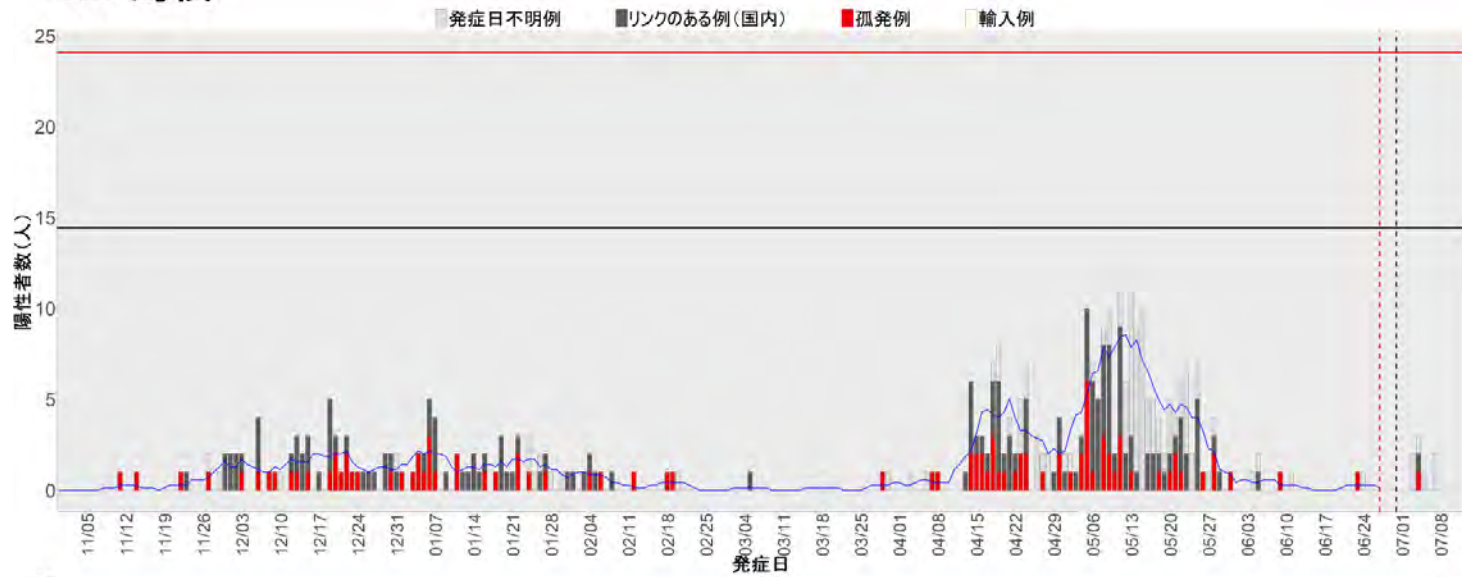
30. 和歌山



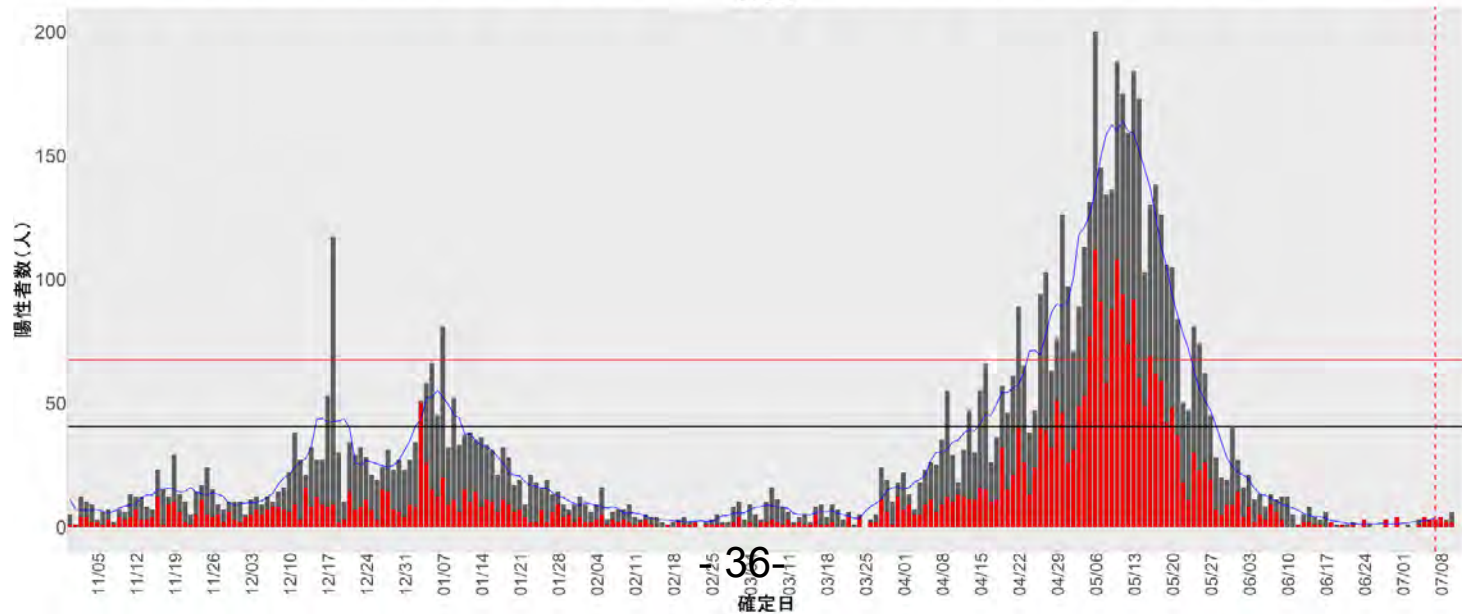
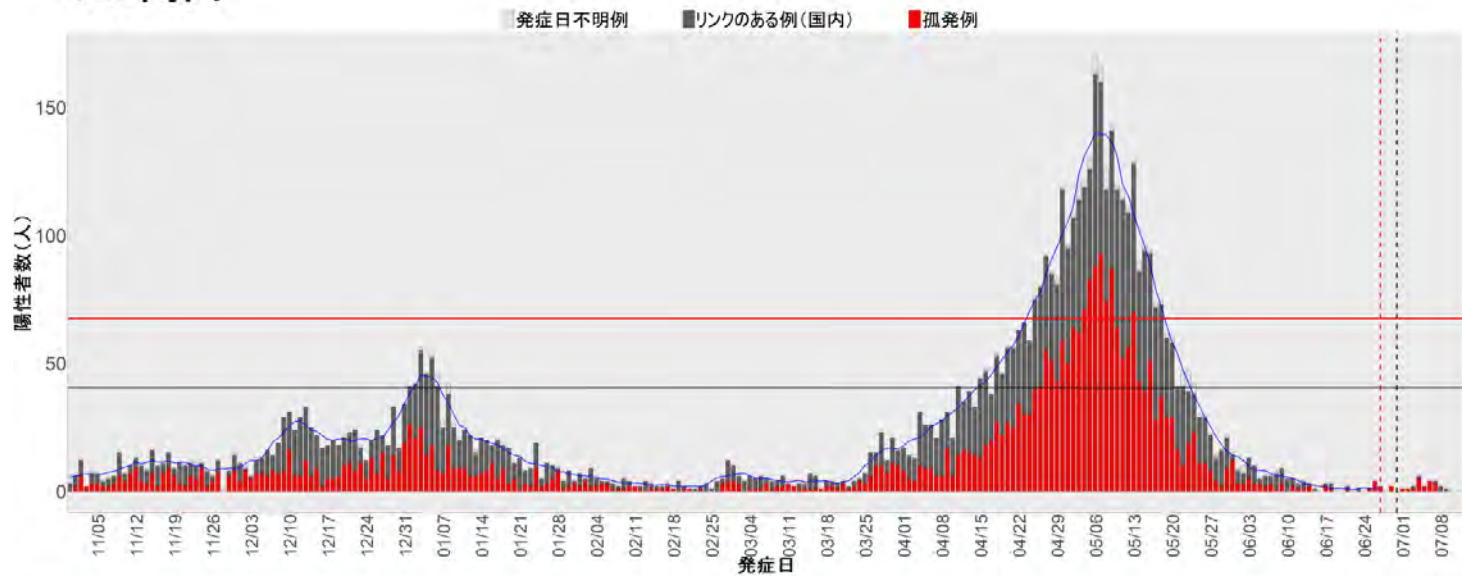
31. 鳥取



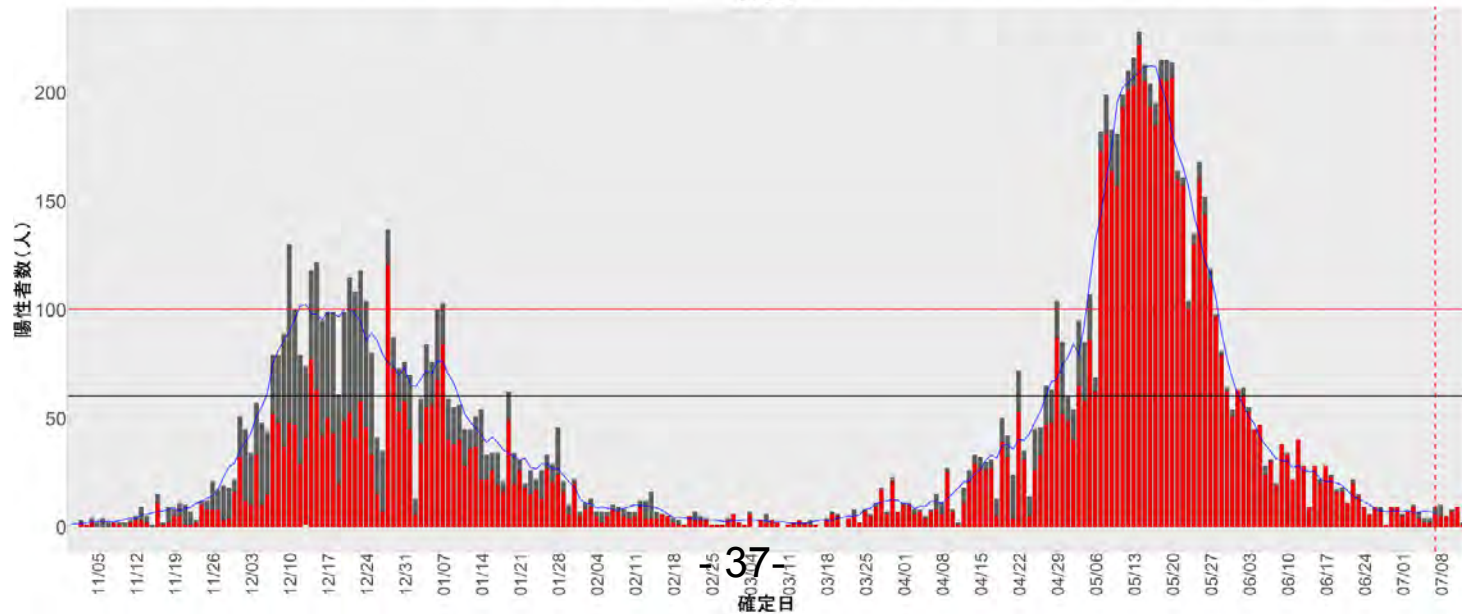
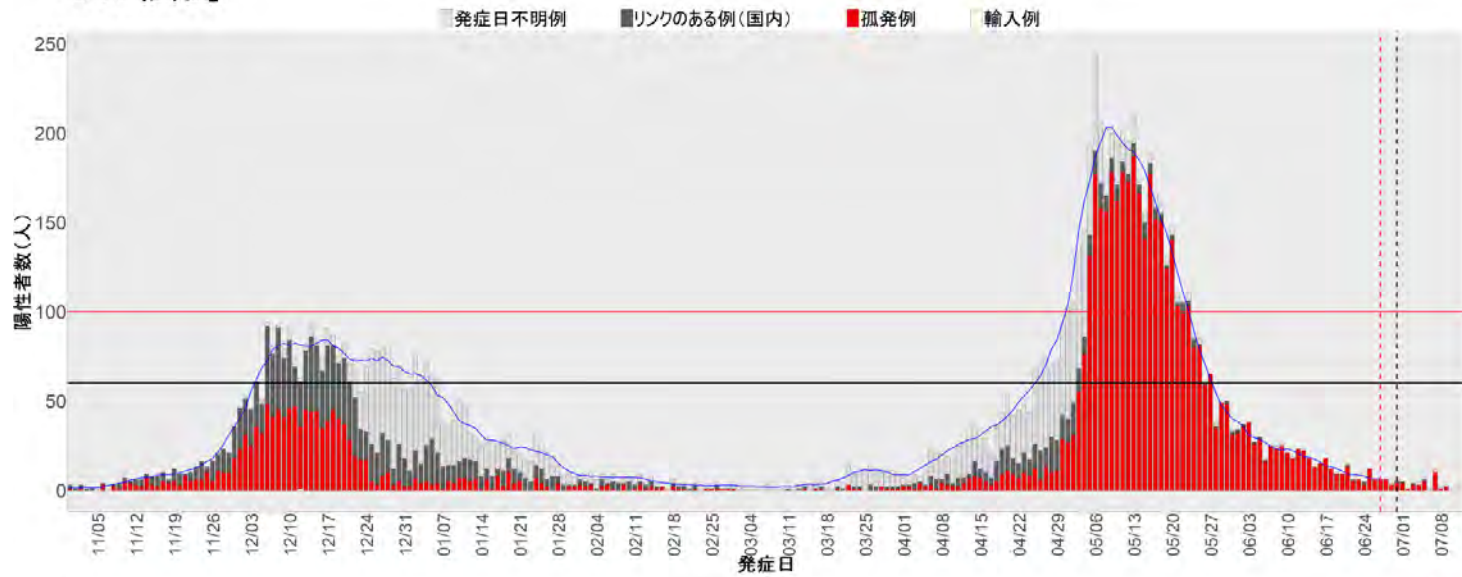
32. 島根



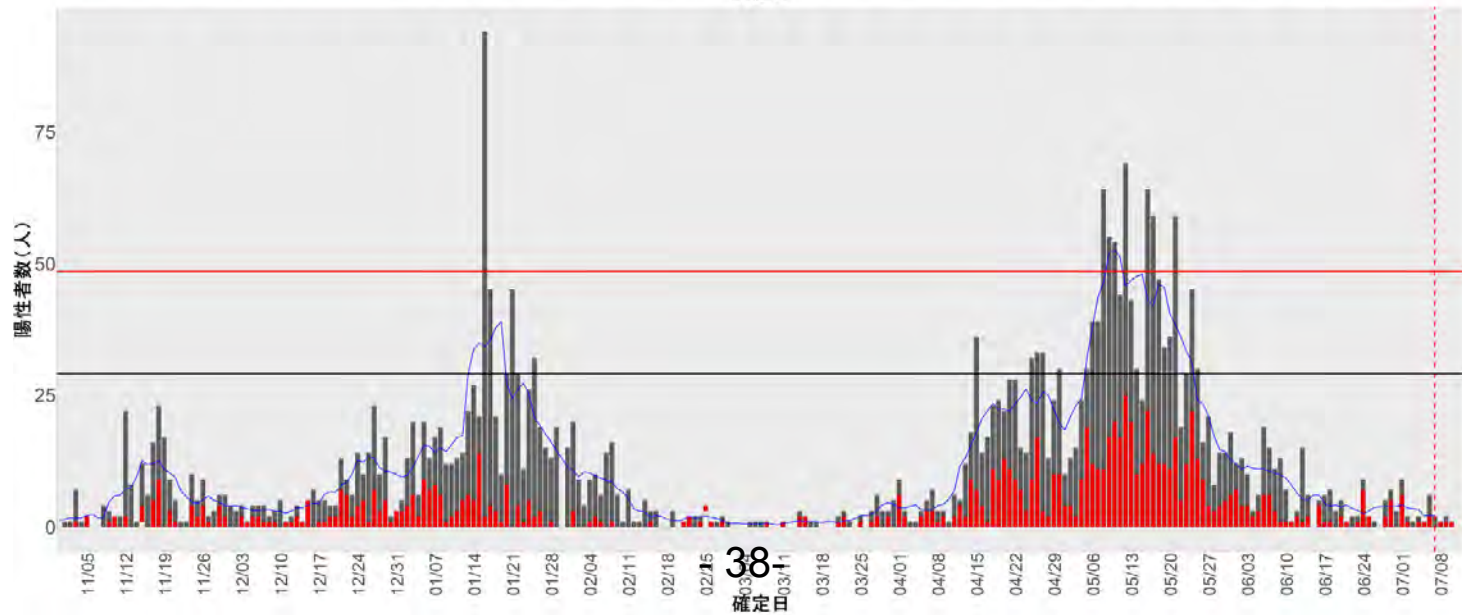
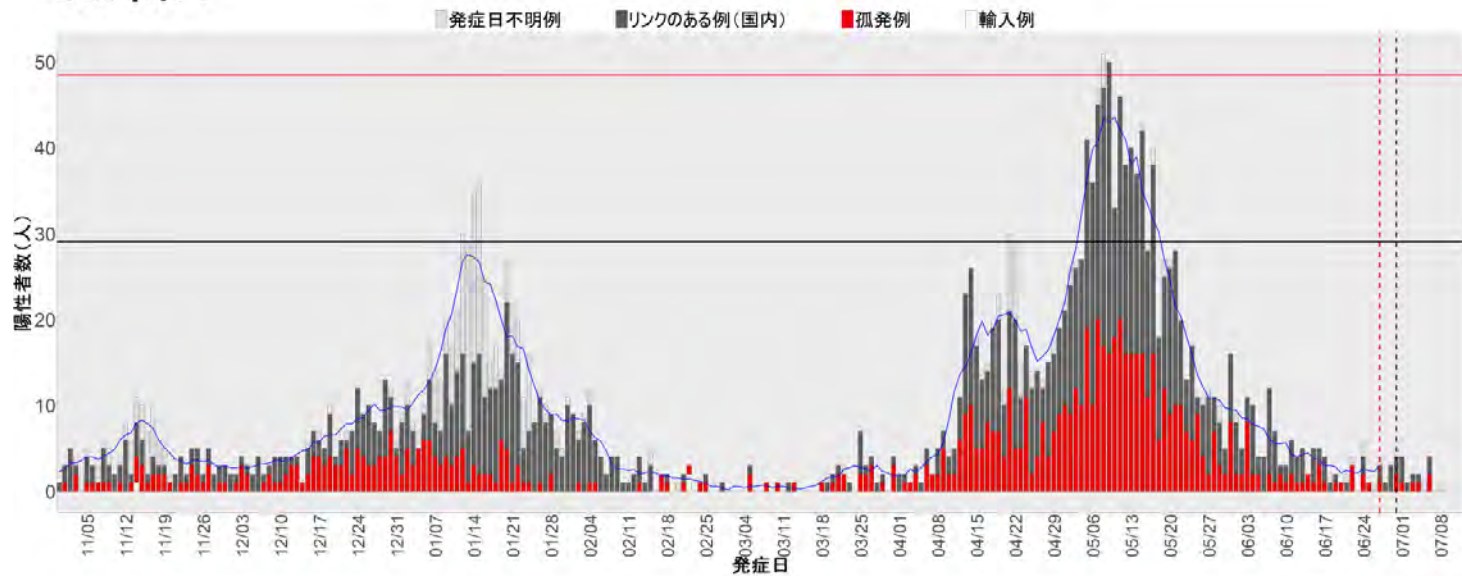
33. 岡山



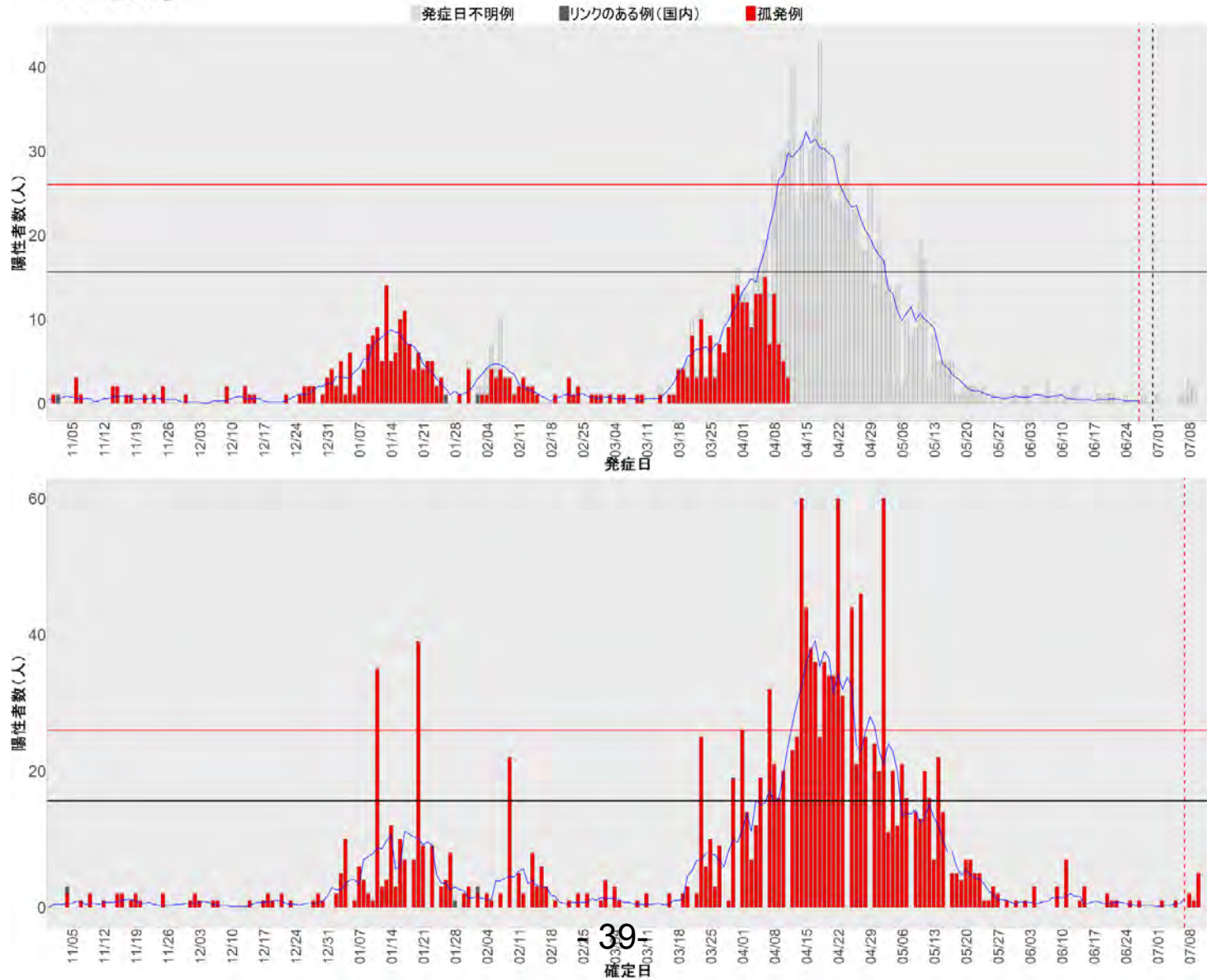
34. 広島



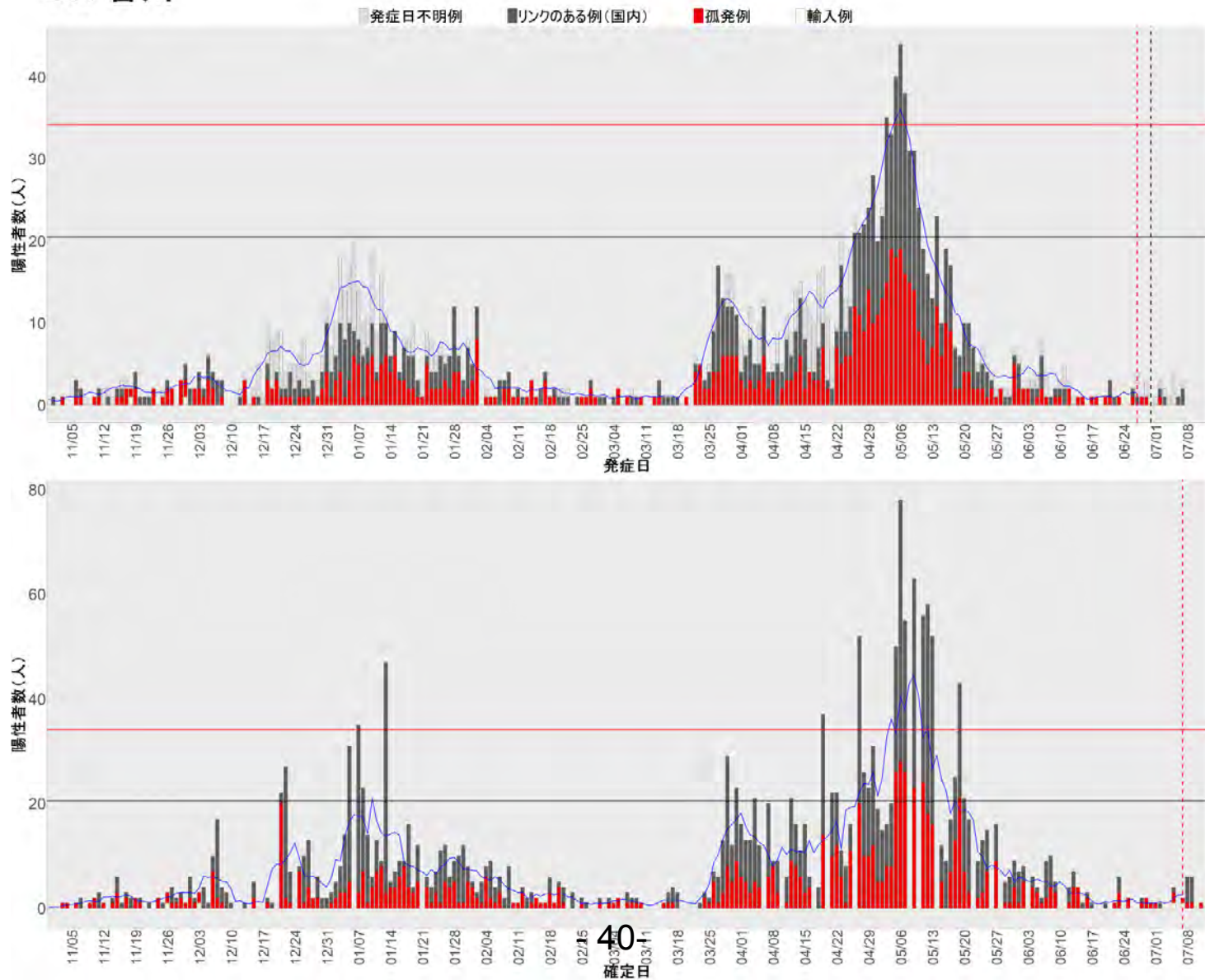
35. 山口



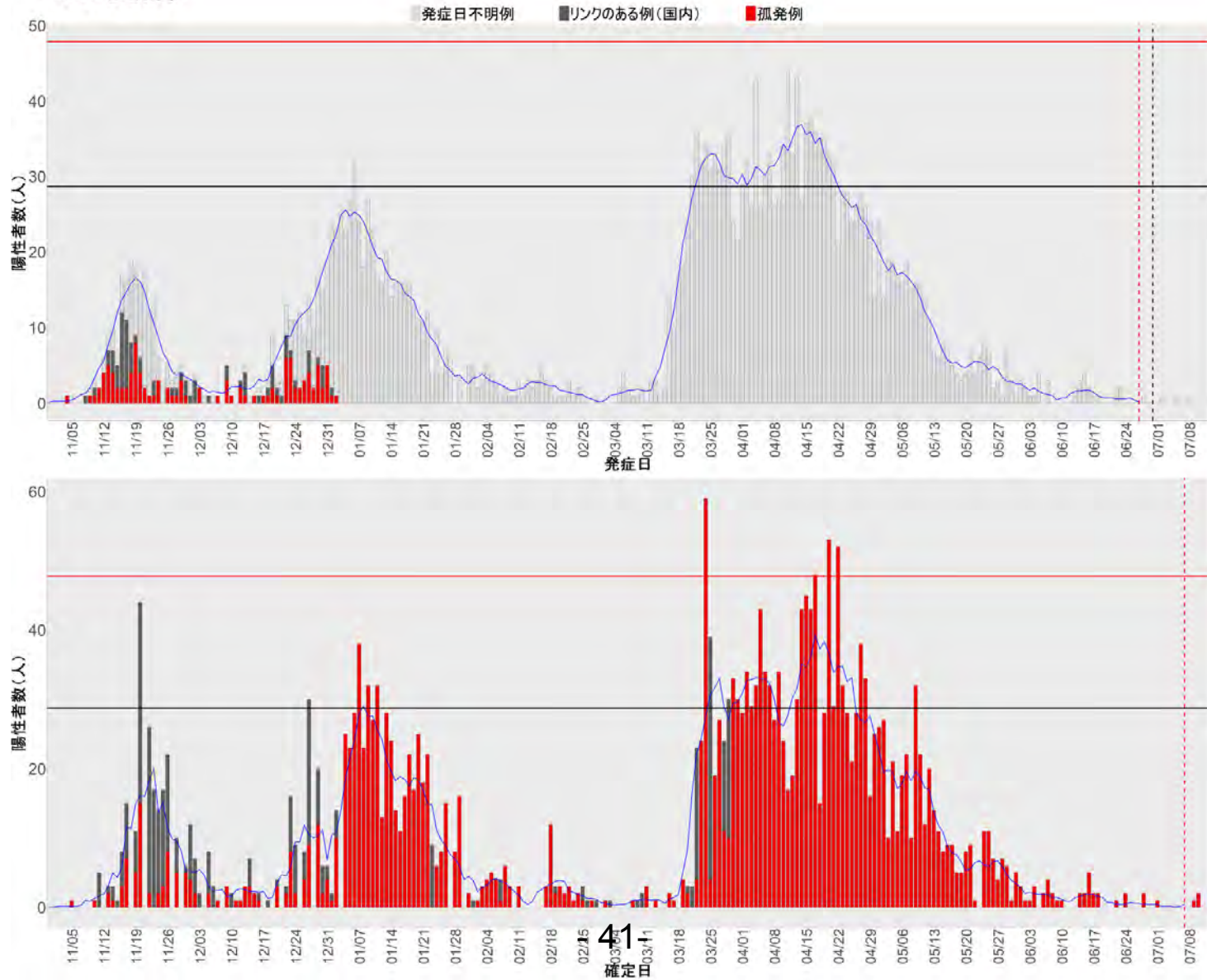
36. 徳島



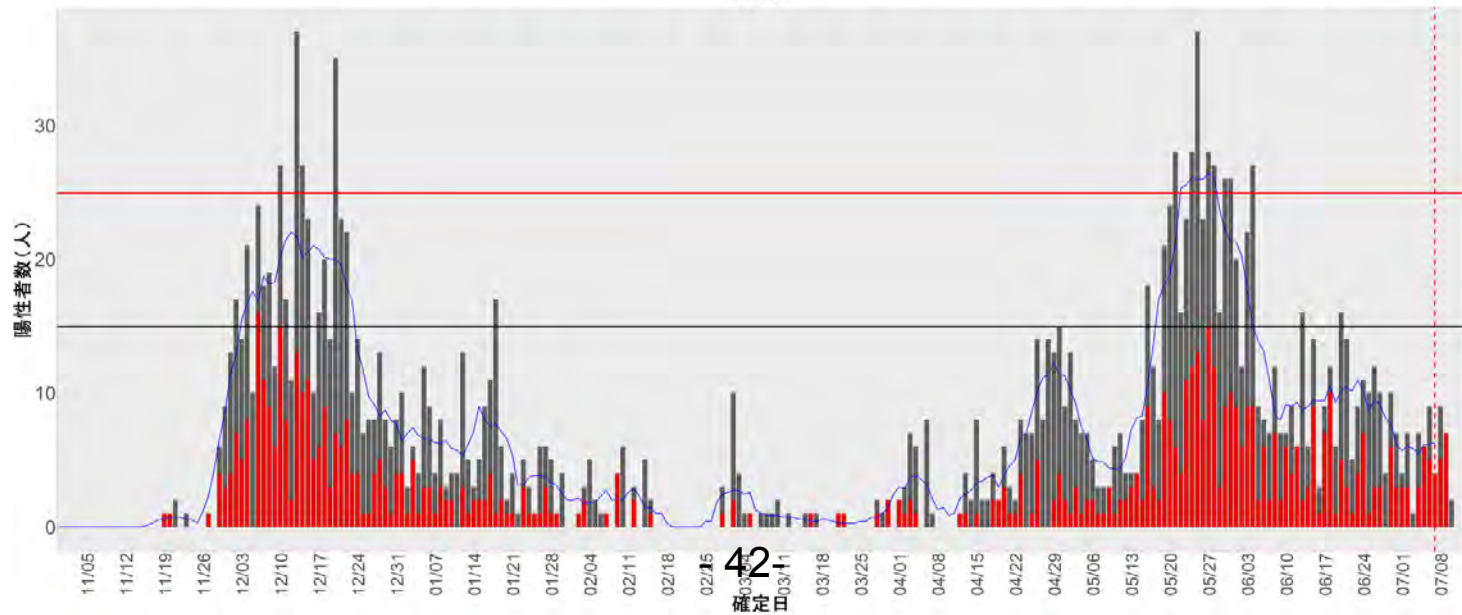
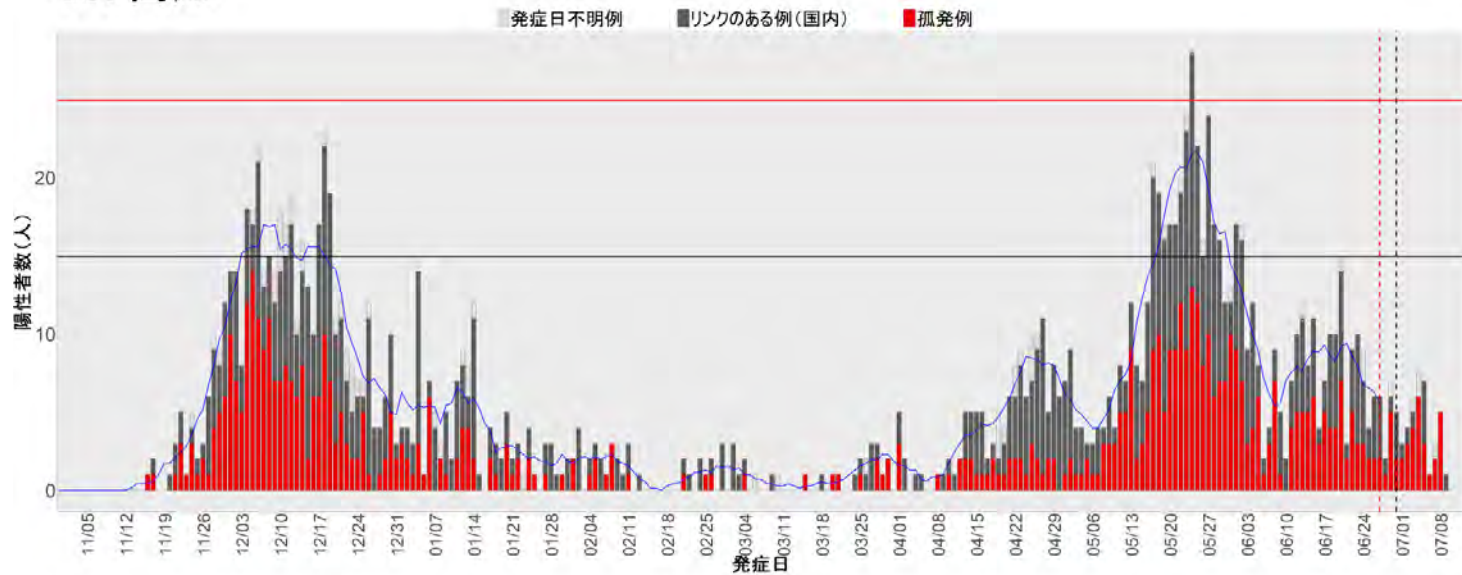
37. 香川



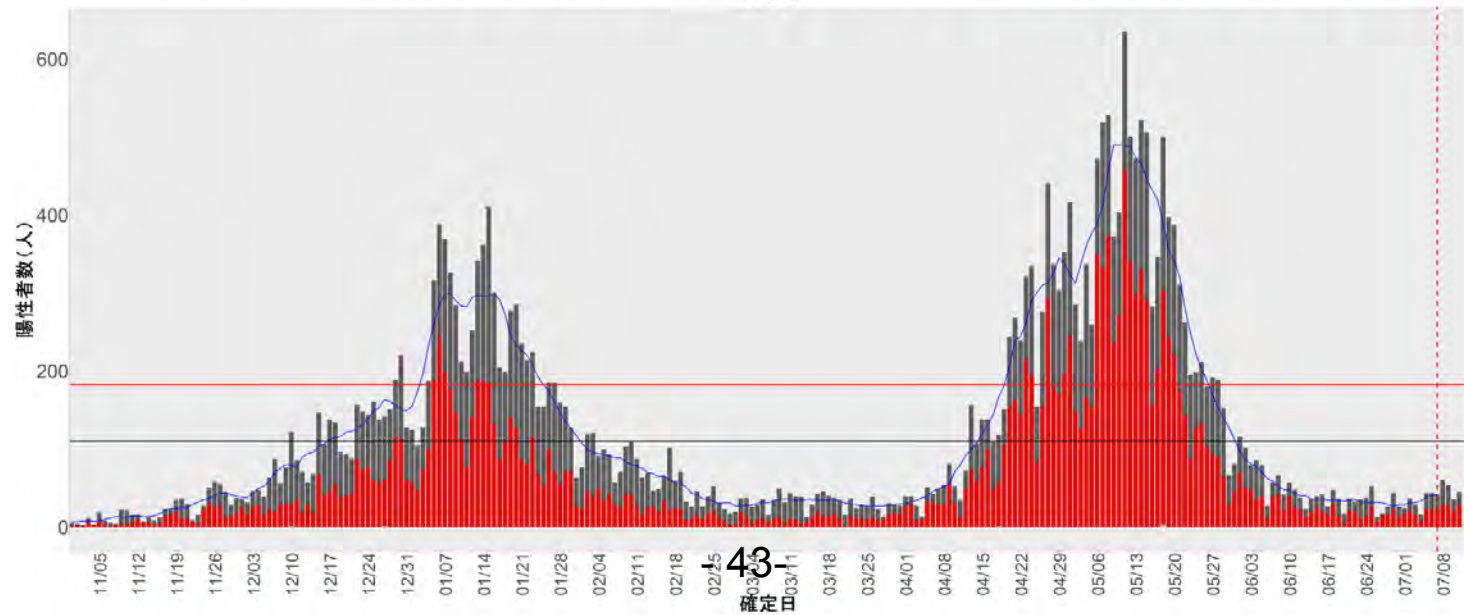
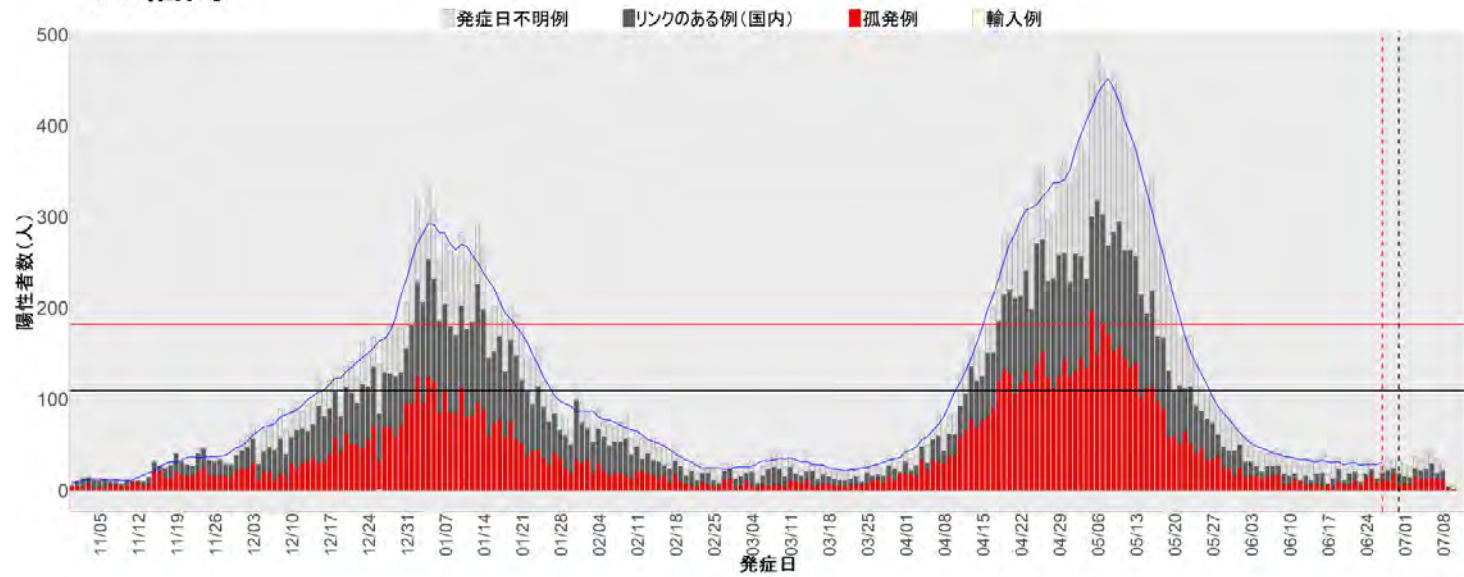
38. 愛媛



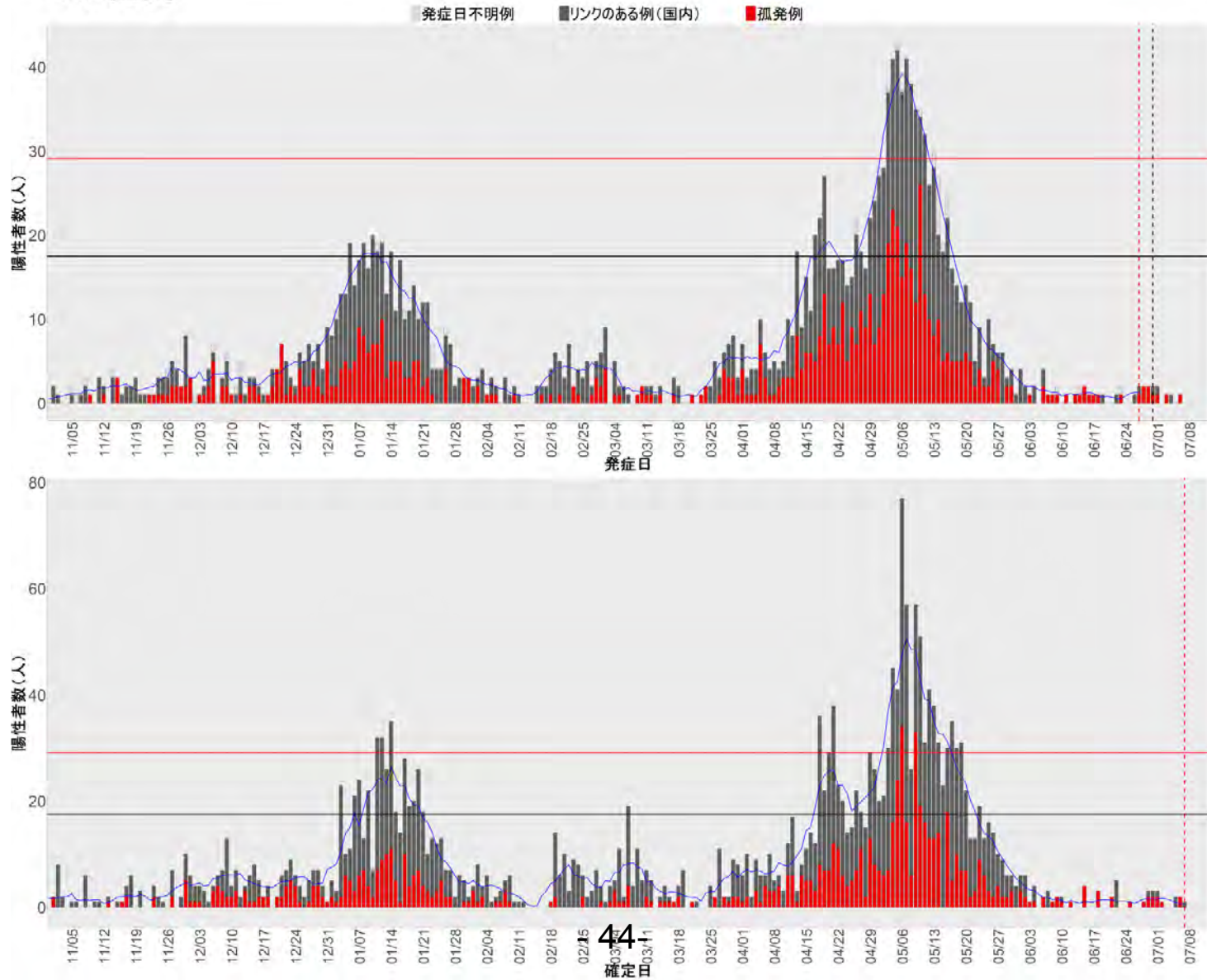
39. 高知



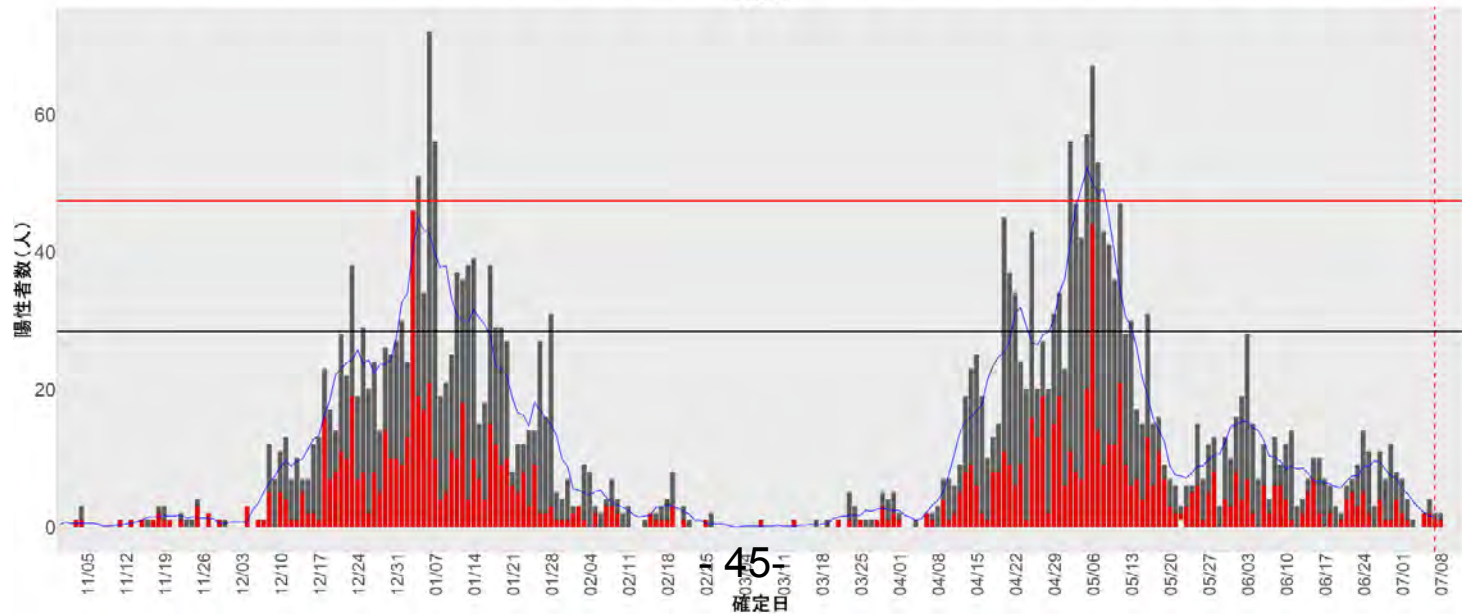
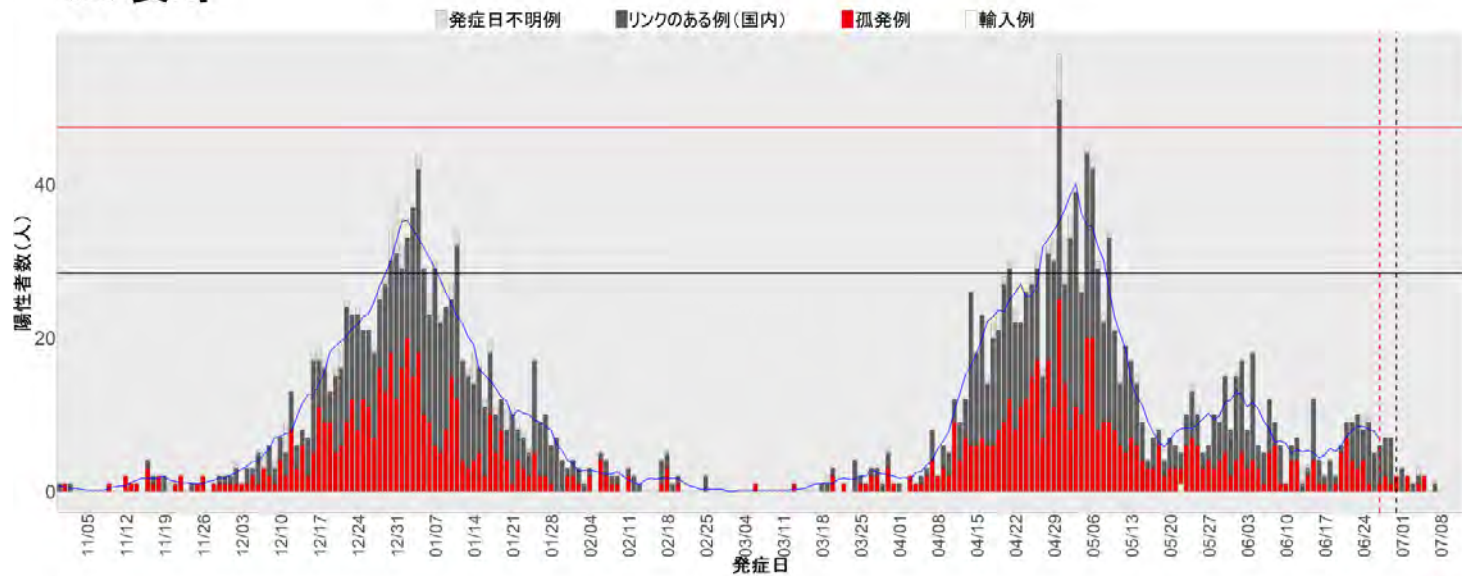
40. 福岡



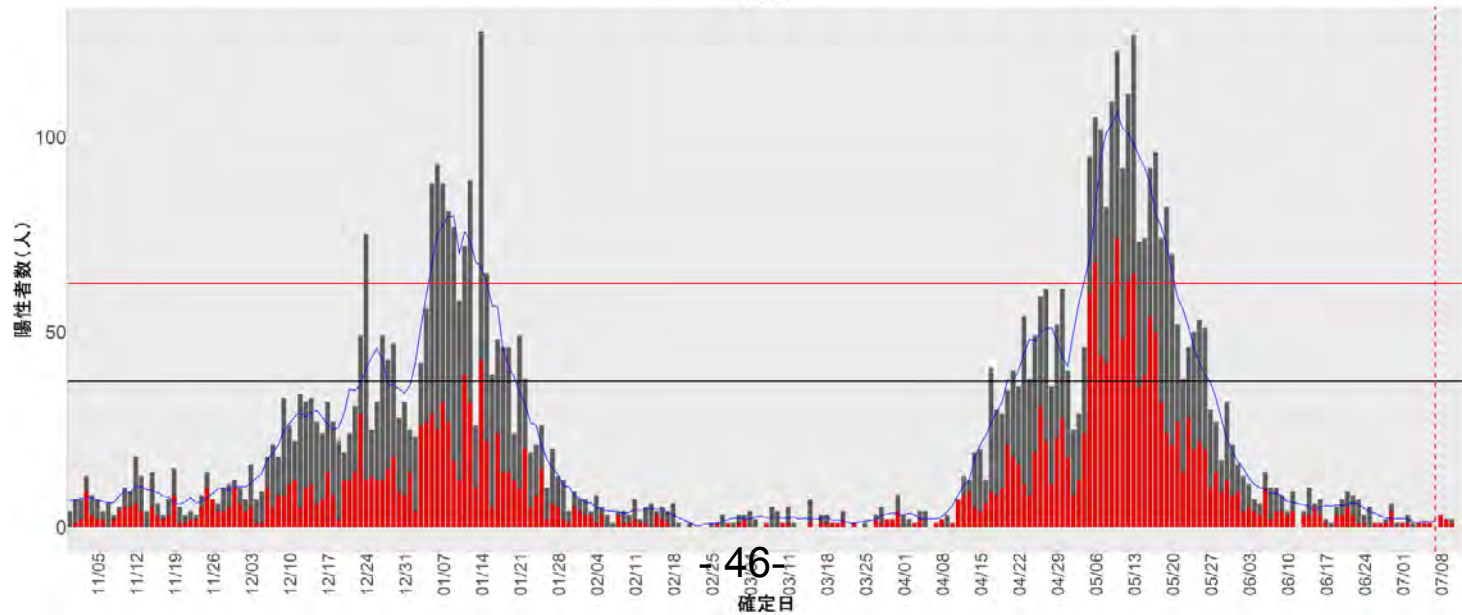
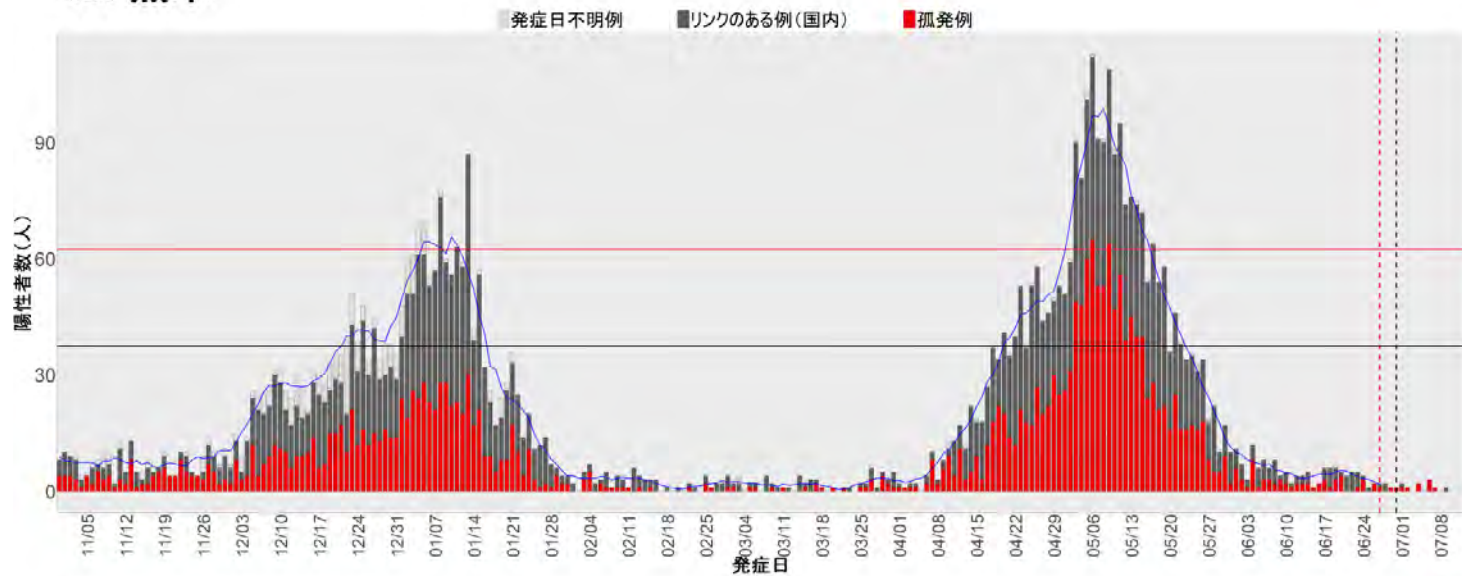
41. 佐賀



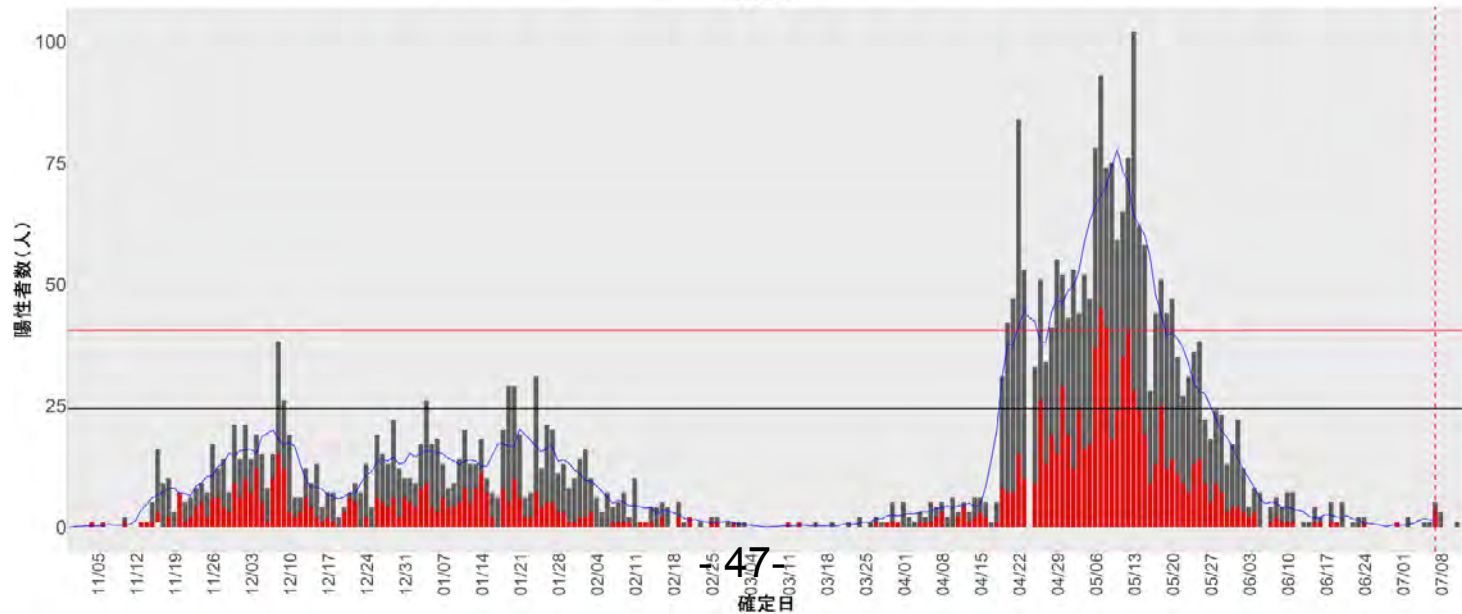
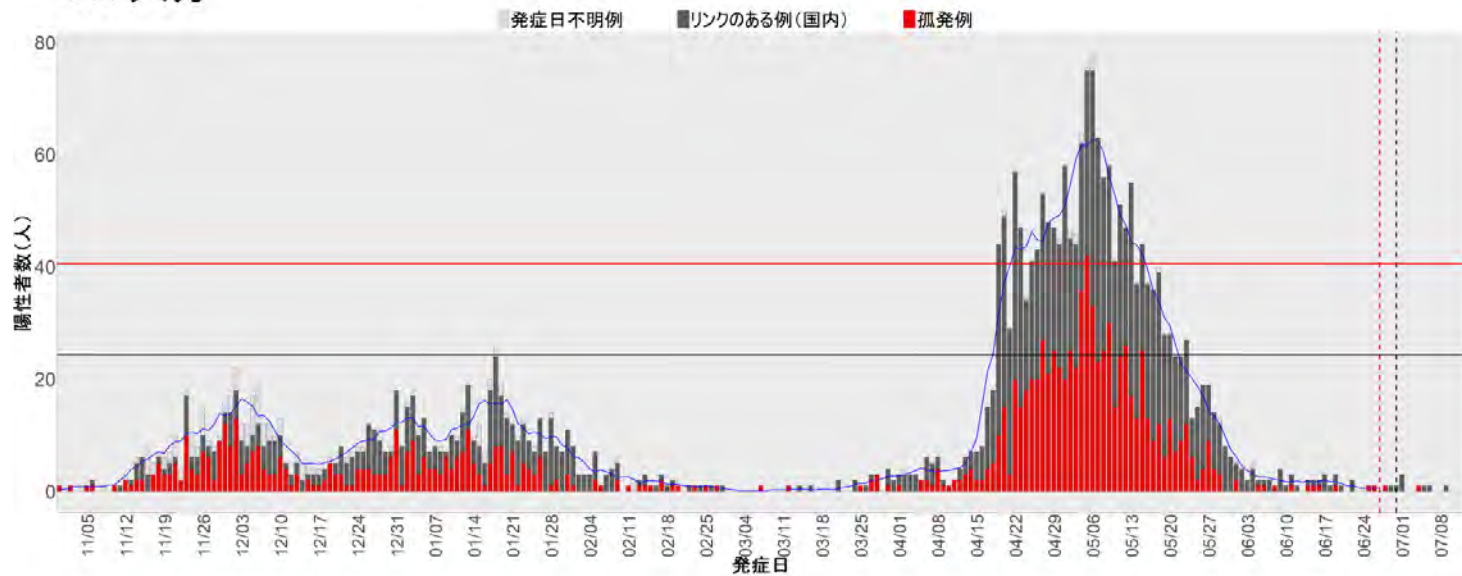
42. 長崎



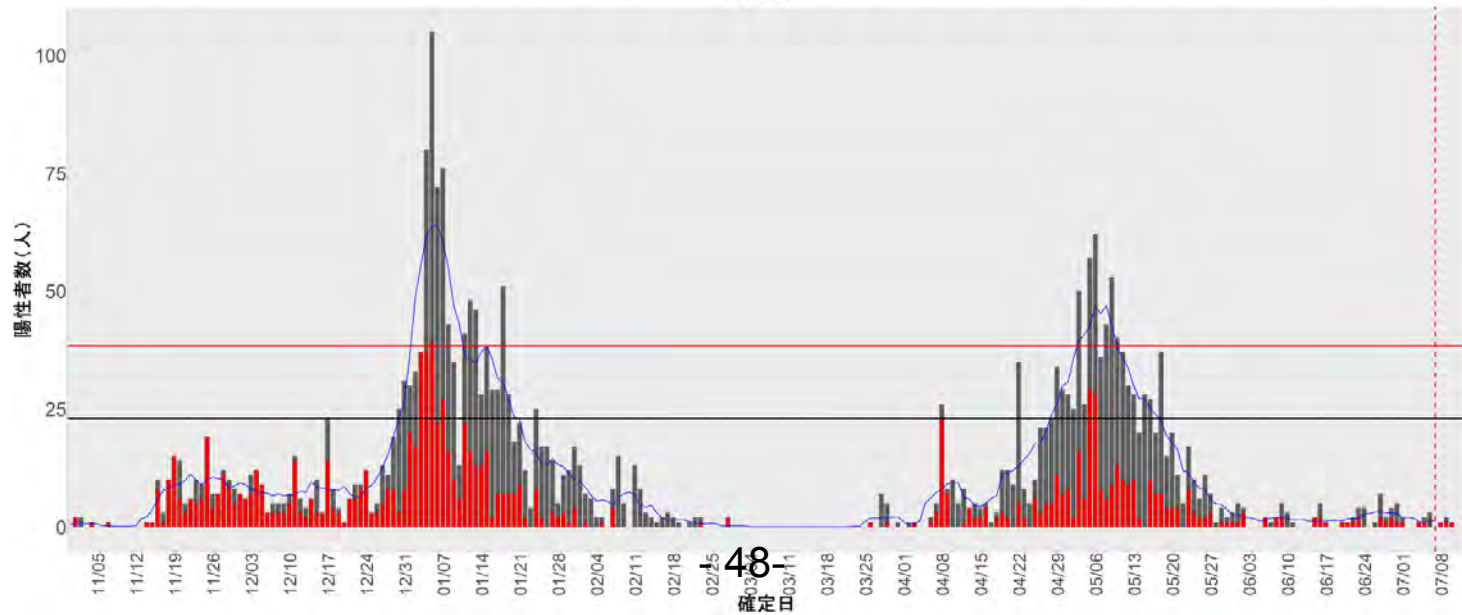
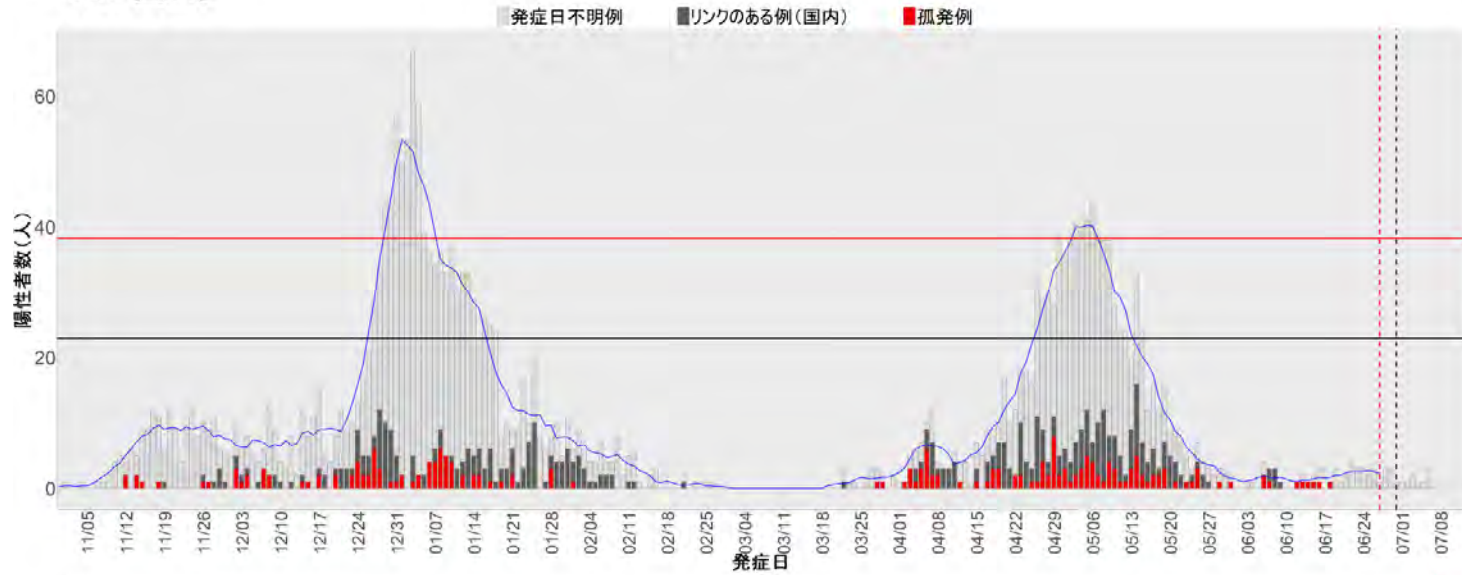
43. 熊本



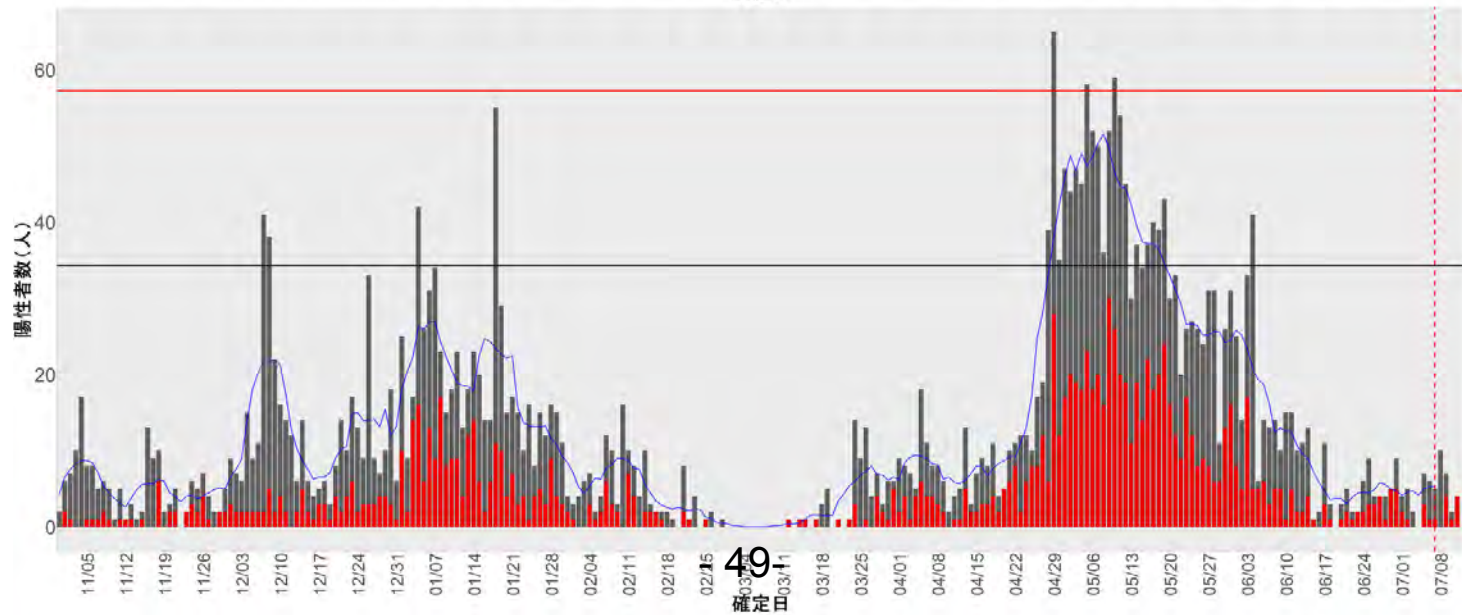
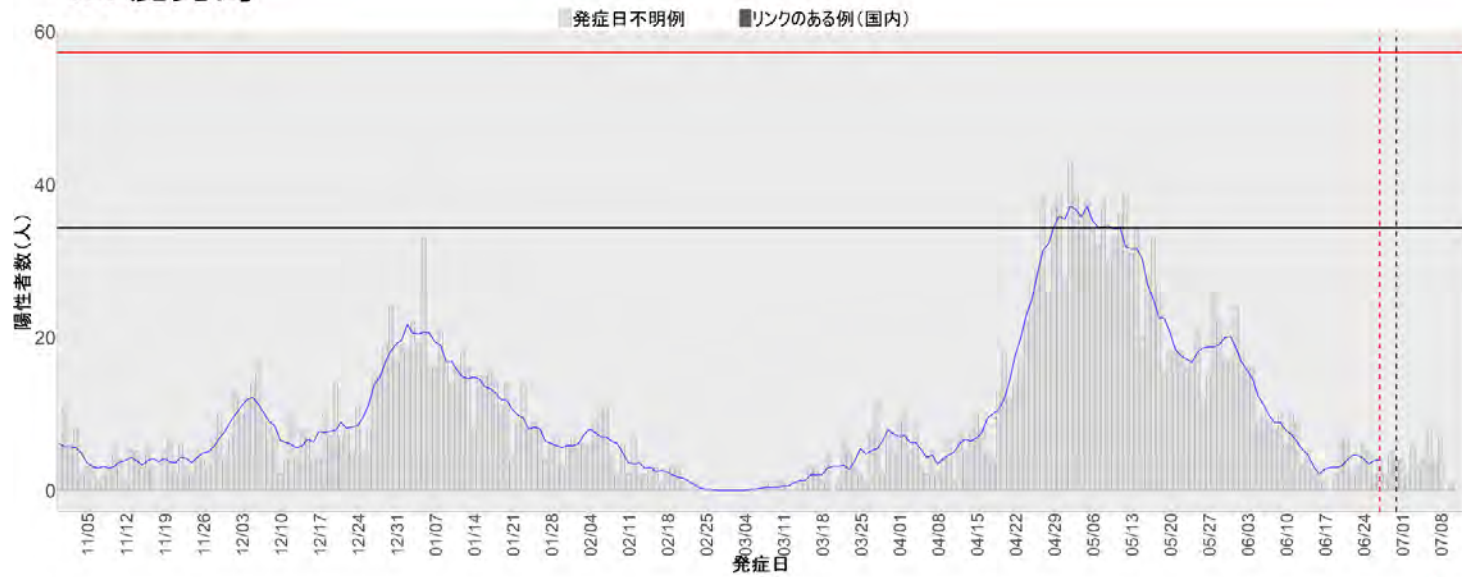
44. 大分



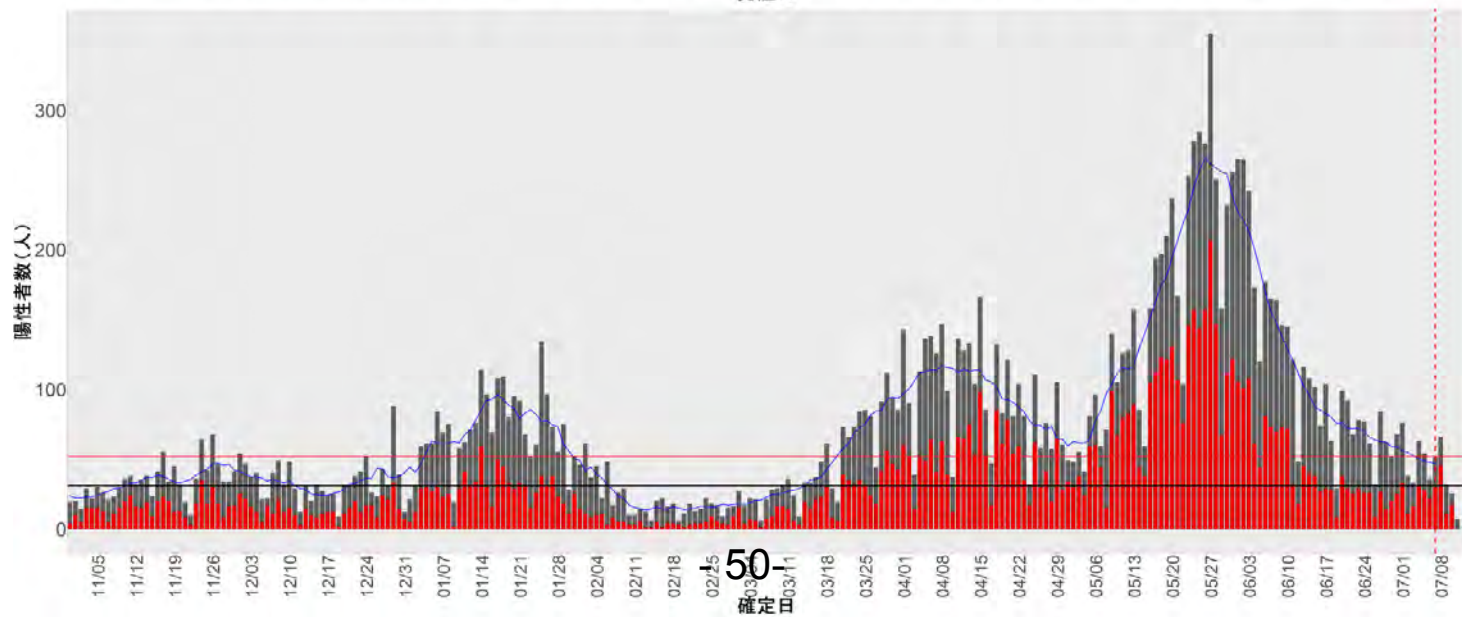
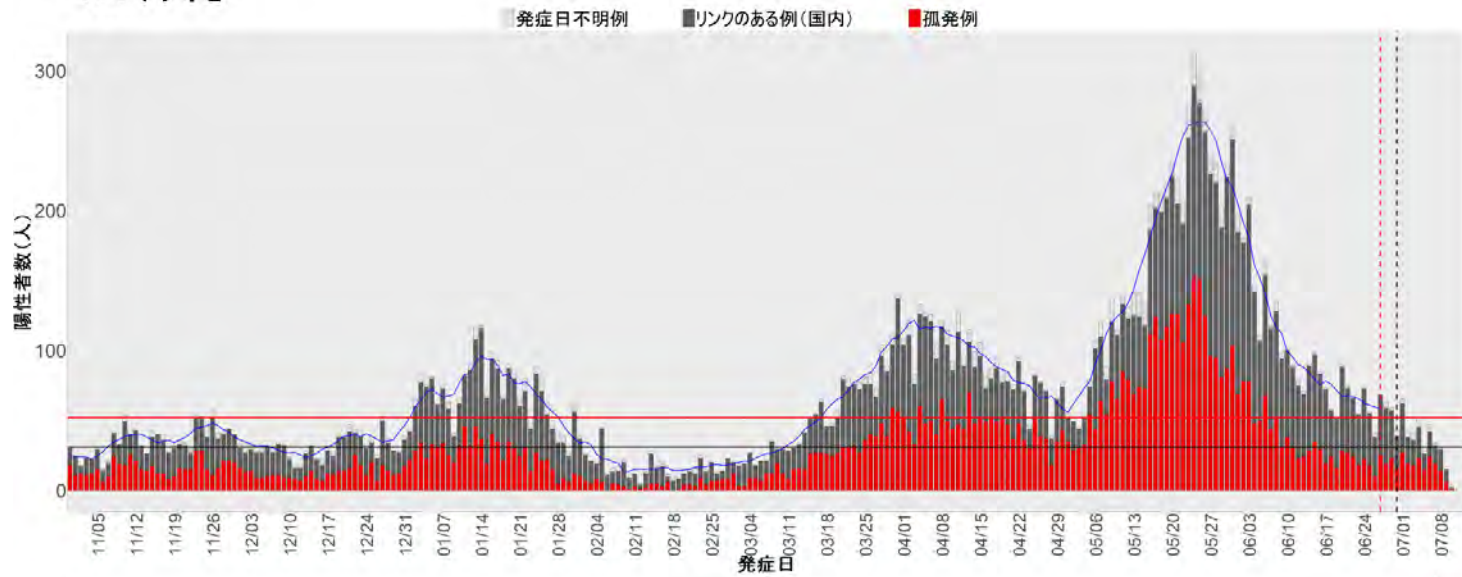
45. 宮崎



46. 鹿児島



47. 沖縄



資料の要点：2021年7月13日時点

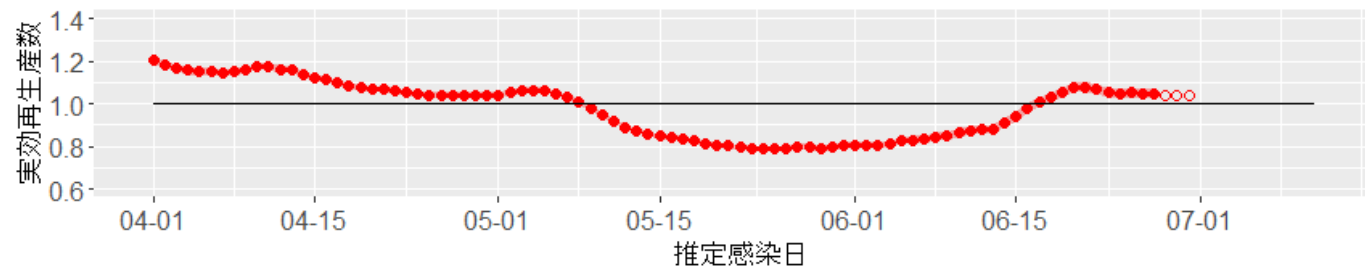
- 全国的に実効再生産数は1を上回った状況が続き、概ね値が確定した6月27日時点では1.05であった。首都圏、関西圏ともに1を上回った状況が続いている。P2-4
- 注目すべき都道府県*：東京、千葉。首都圏では20-30歳代がステージ4相当であり、0-10歳代の増加も目立つ。(P13, P30)。一部地域でHER-SYSの入力が遅れている。P5-30
- 東京都では、高齢者を除く全世代で症例数が増加傾向である (P7, P31-32)。都心部ではStage4相当の地区が拡大している (P22-23)。引き続き全体に占める高齢者の割合は低いレベルである (P33)。東京を含む首都圏では新規症例数の増加が続く可能性がある (P34)。
- 7月中旬時点で陽性例に占めるデルタ株の割合は、関東地方で40%以上、関西地方で20%以上と推定される。P35-43

*実効再生産数と新規症例数を用いたアルゴリズムに基づいて抽出

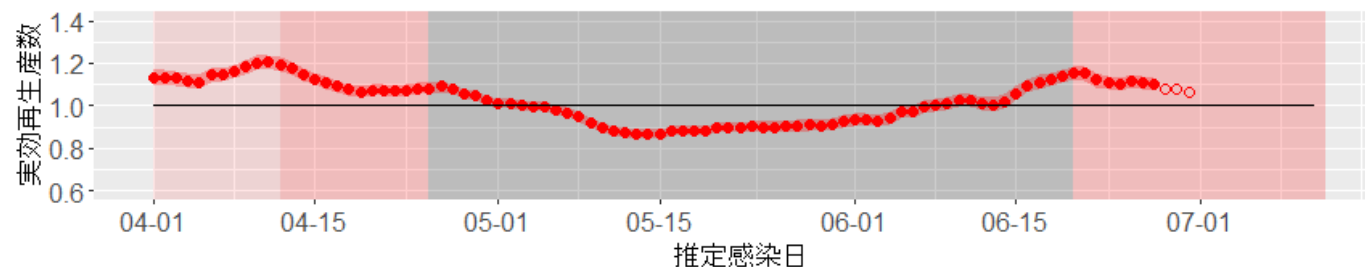
国立感染症研究所 感染症疫学センター サーベイランスグループ
協力：新潟大学 菖蒲川由郷 (GIS)

全国の実効再生産数（推定感染日毎）：7月13日作成

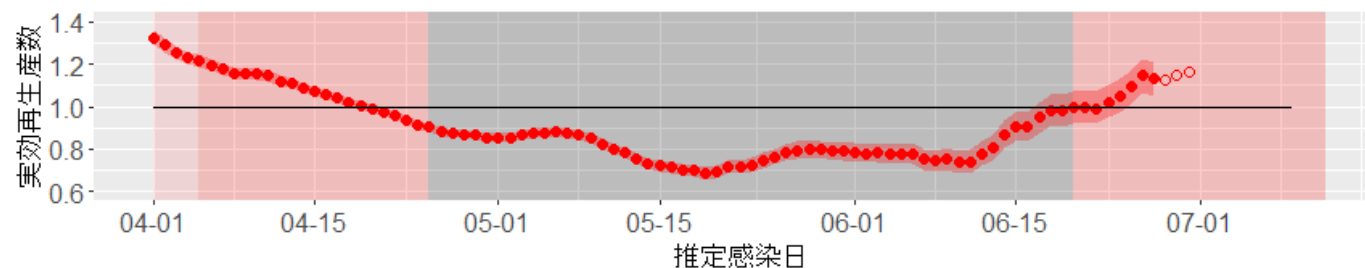
全国
 6月27日時点Rt=1.05 (1.02-1.07)



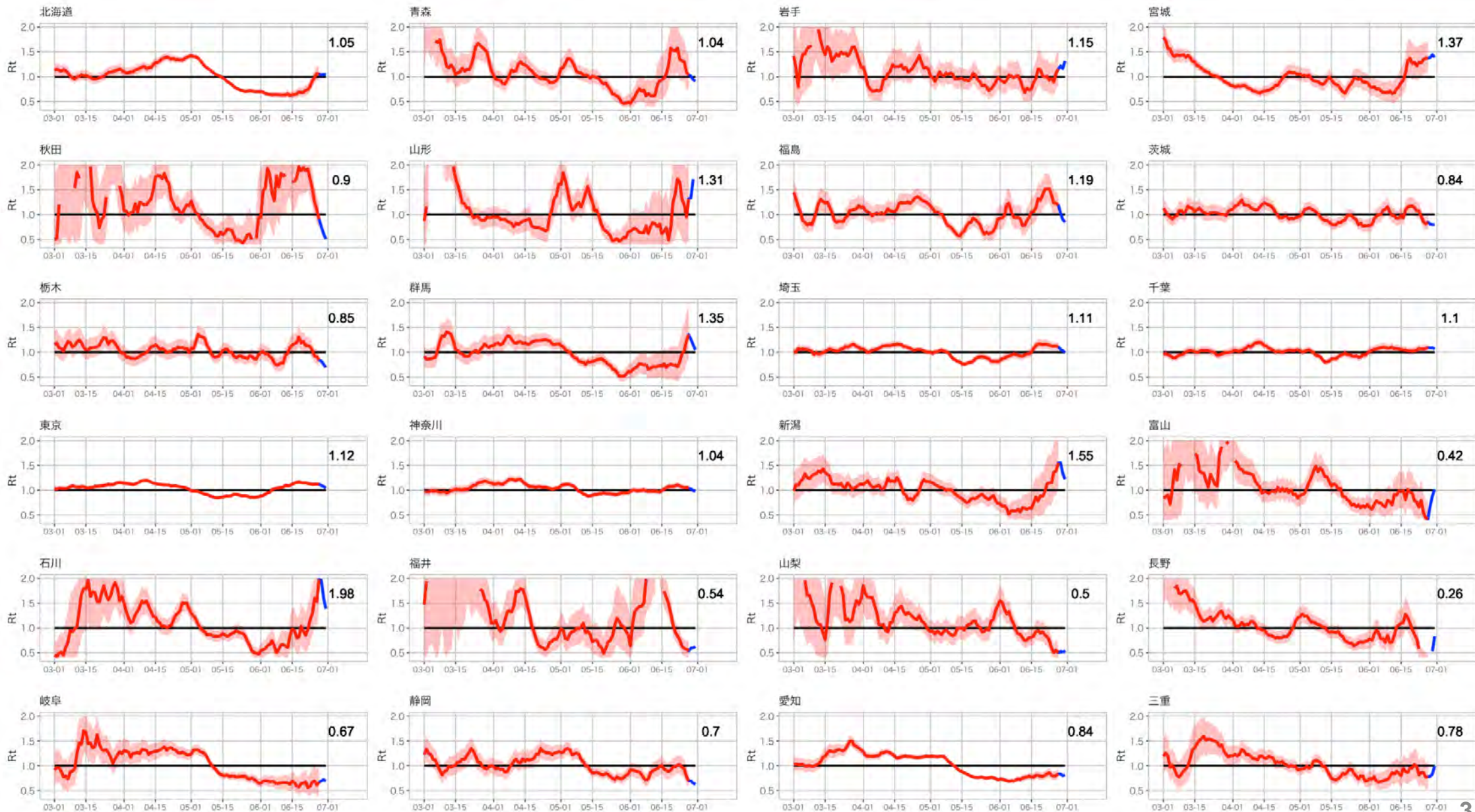
首都圏：東京、神奈川、千葉、埼玉
 6月27日時点Rt=1.10 (1.07-1.13)

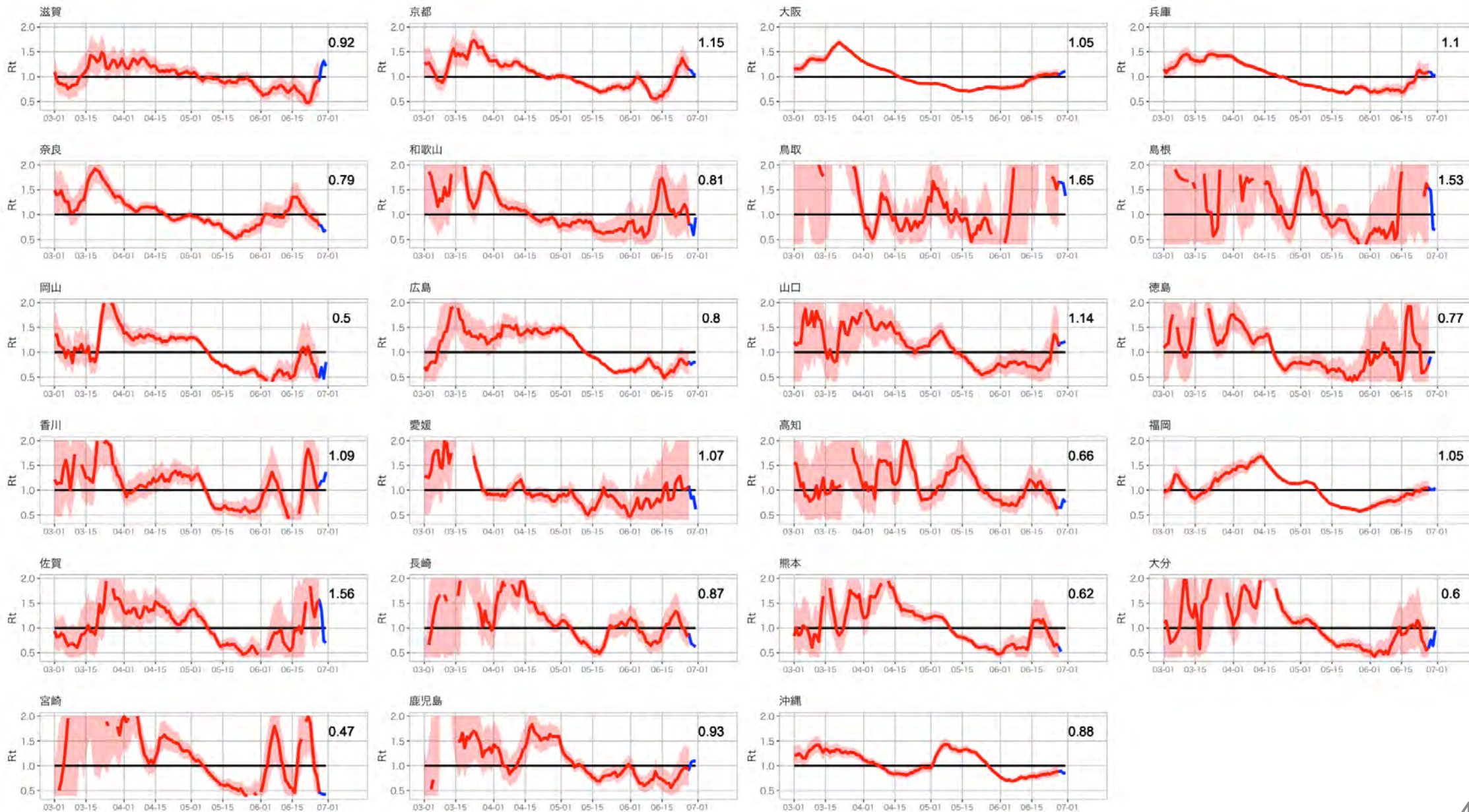


関西圏：大阪、京都、兵庫
 6月27日時点Rt=1.13 (1.05-1.21)



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法（window time=7）で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。
なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。





人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数の推移：年齢群別



使用データ

HER-SYSと自治体公開情報データ（7月12日時点）

まとめ

北海道：20・30代と40-60代で増加傾向であり、全ての年代でステージ3相当を下回っている*。

宮城県：10代以下、20・30代、40-60代で増加傾向であり、全ての年代においてステージ3相当を下回っている*。

首都圏：埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県では10代以下、20・30代、40-60代で増加傾向であり、20・30代においてステージ4相当を上回っている。10代以下と40-60代においては神奈川県と千葉県でステージ3相当を、東京都でステージ4相当を上回っている。

東海圏：愛知県では全ての年代で横ばい～微増傾向、岐阜県では20・30代で増加傾向であり、愛知県と岐阜県共に全ての年代でステージ3相当を下回っている*。

関西圏：10代以下では京都府、兵庫県、大阪府で増加傾向、20・30代では京都府、奈良県、兵庫県、大阪府で増加傾向であり、大阪府と奈良県では20・30代でステージ3相当を上回っている。

中国：岡山県では20・30代で増加傾向、広島県では20・30代で微増傾向であり、岡山県と広島県共に全ての年代でステージ3相当を下回っている。

九州：福岡では10代以下と20・30代で増加傾向、その他の年代では横ばい傾向であり、全ての年代でステージ3相当を下回っている。

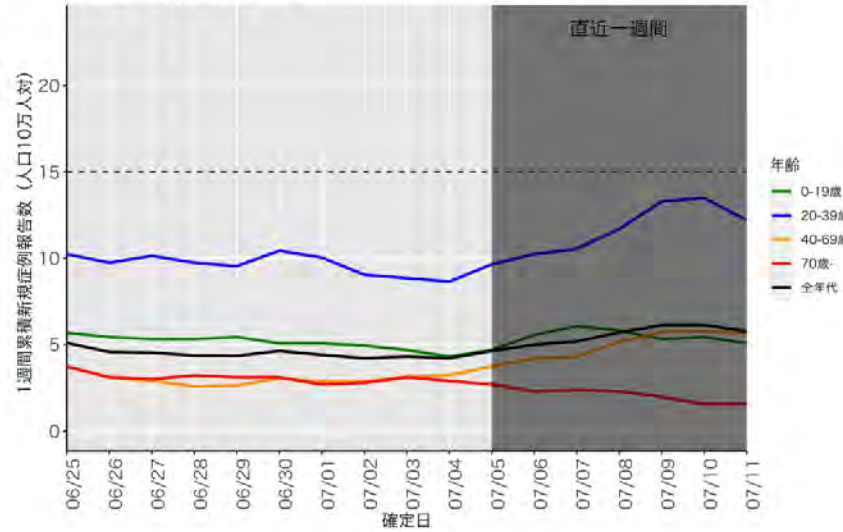
沖縄：20・30代では増加傾向、その他の年代では減少傾向であり、20・30代では依然としてステージ4相当を超え、40-60代と高齢者ではステージ3相当を超えている。

（*はHER-SYSまたは自治体公開情報のどちらかのみでのレベルを示す。）

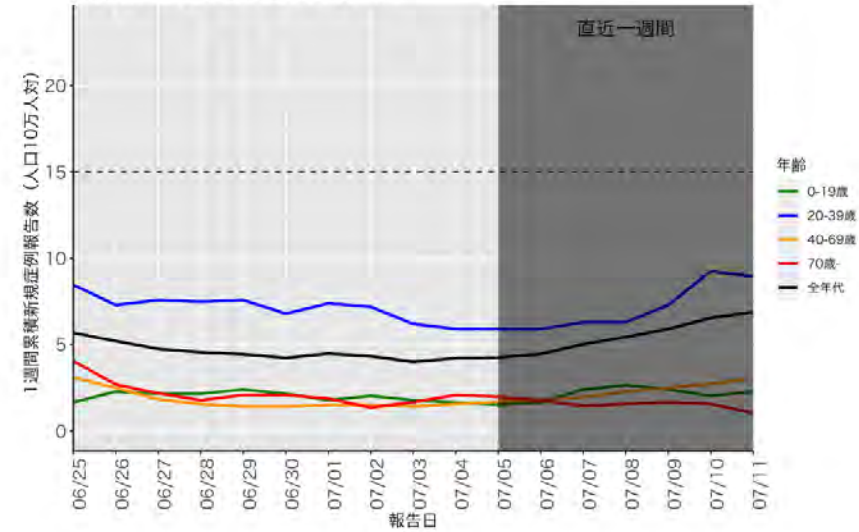
解釈時の注意点

- HER-SYSに基づく値は、特に直近1週間については報告遅れのために過小評価となっている可能性があり、その程度は自治体によって差がある（図の灰色部分）
- 自治体公開情報データに基づく年代別の値は、年代を非公表としている症例が多い自治体については過小評価となる
- どちらのデータも完全ではないため、両者を用いた評価が必要である

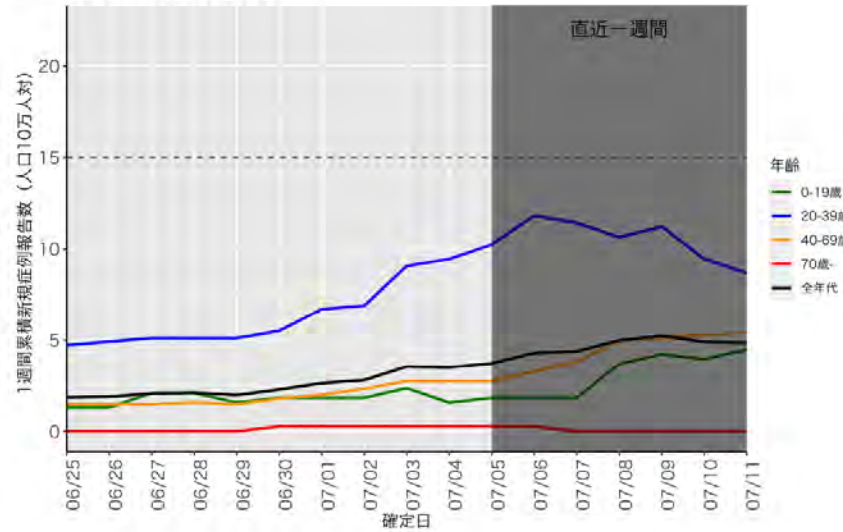
北海道 (HER-SYS)



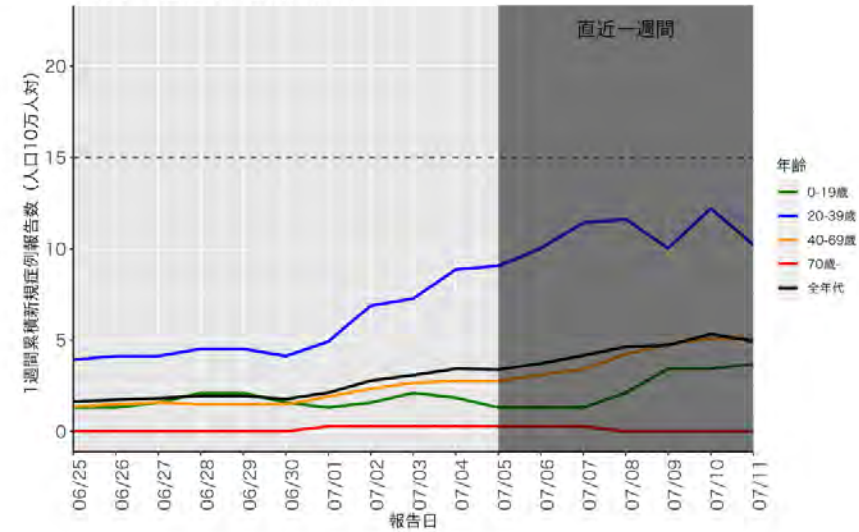
北海道 (自治体公開情報)



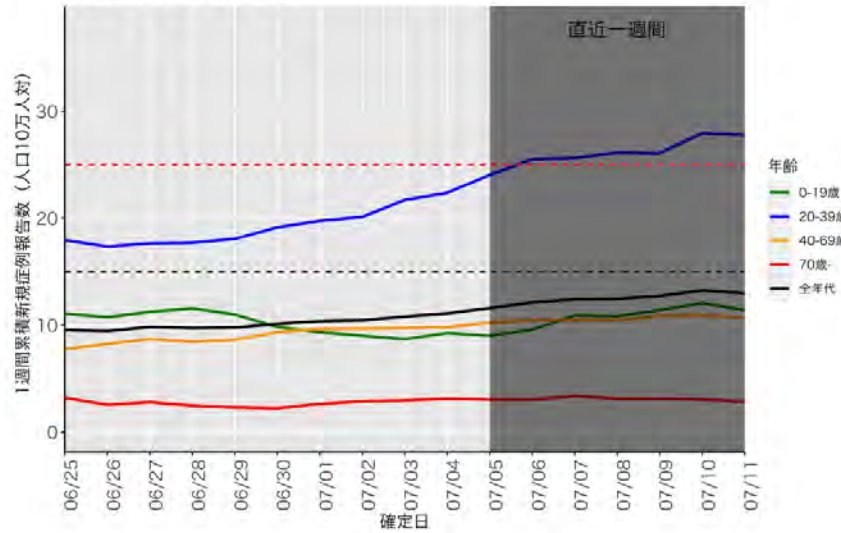
宮城 (HER-SYS)



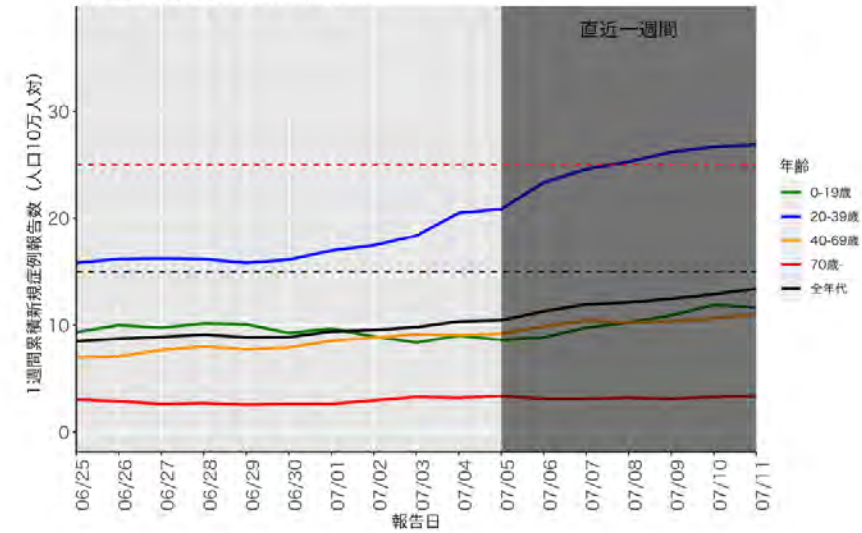
宮城 (自治体公開情報)



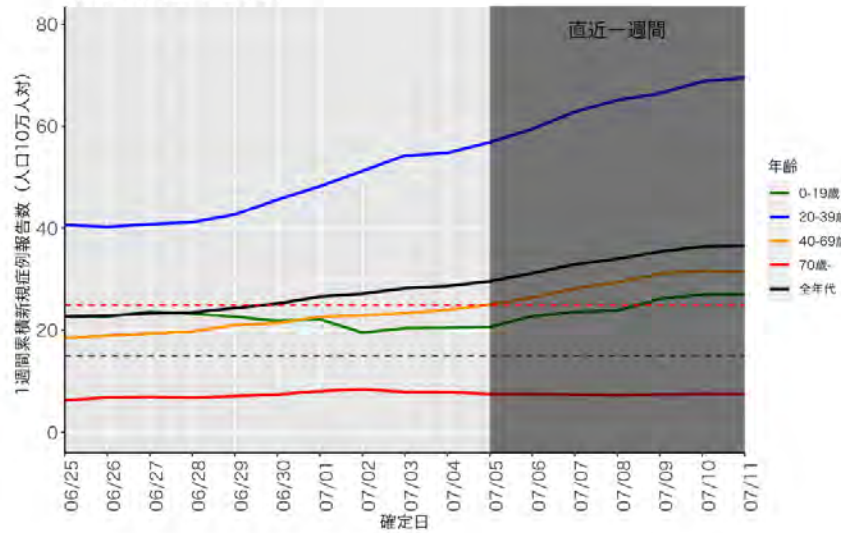
埼玉 (HER-SYS)



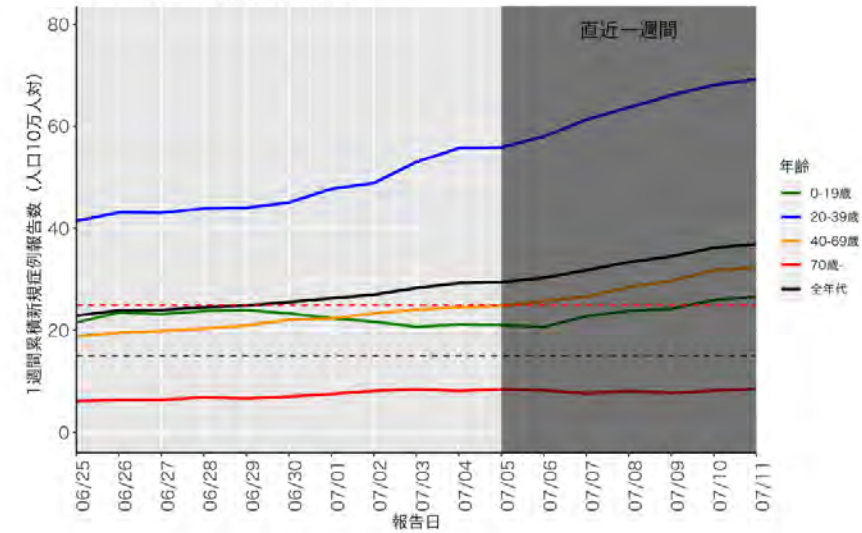
埼玉 (自治体公開情報)



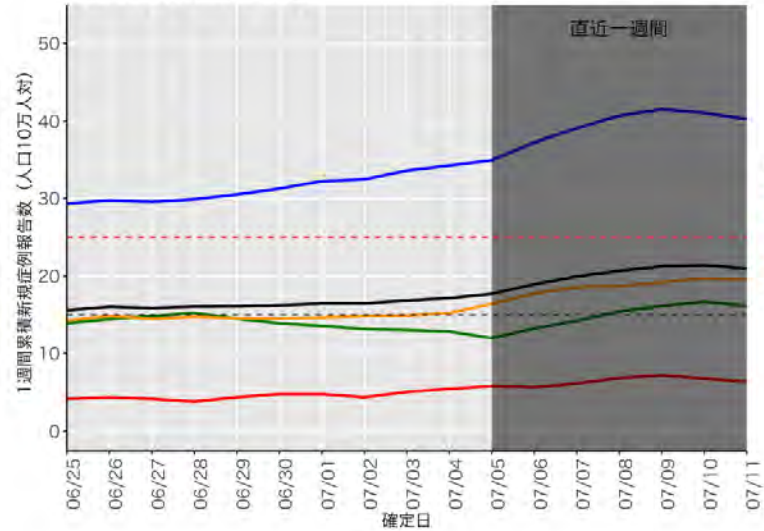
東京 (HER-SYS)



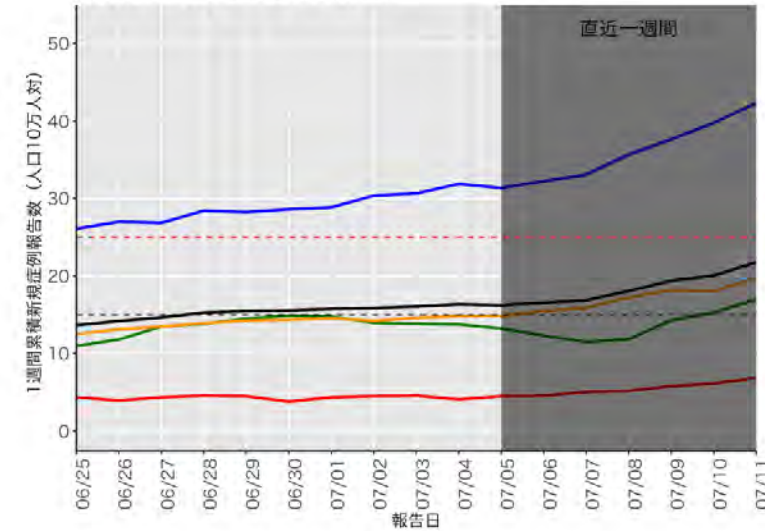
東京 (自治体公開情報)



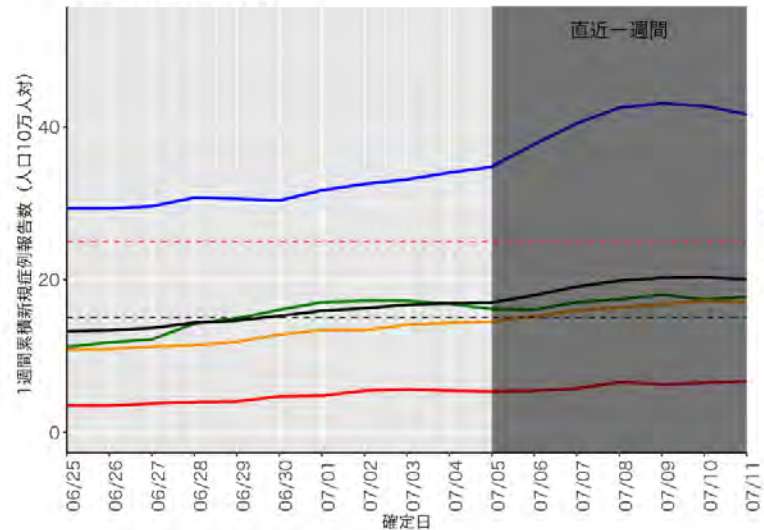
神奈川 (HER-SYS)



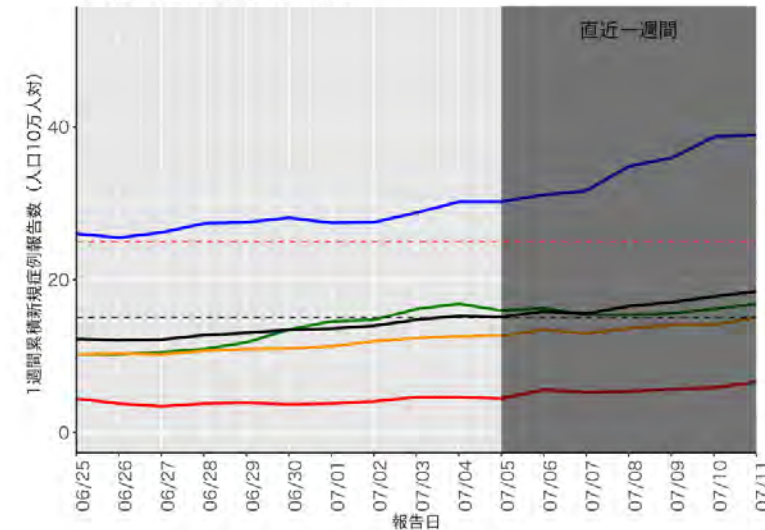
神奈川 (自治体公開情報)

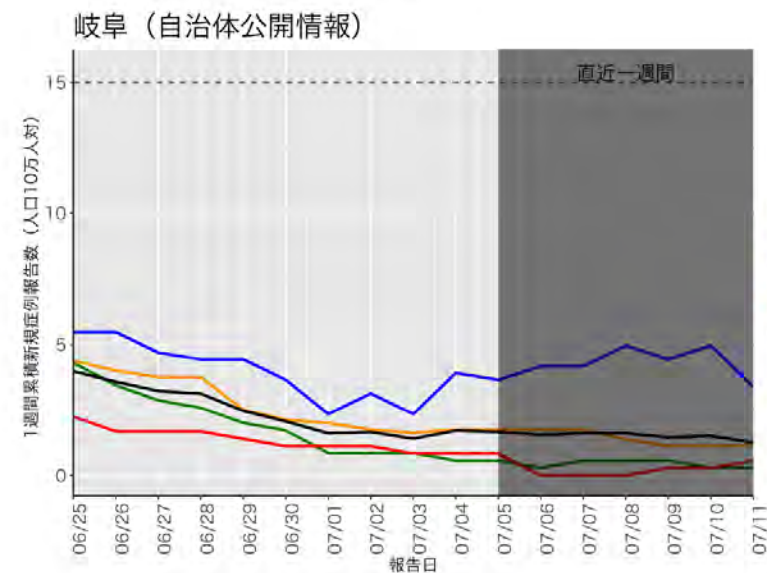
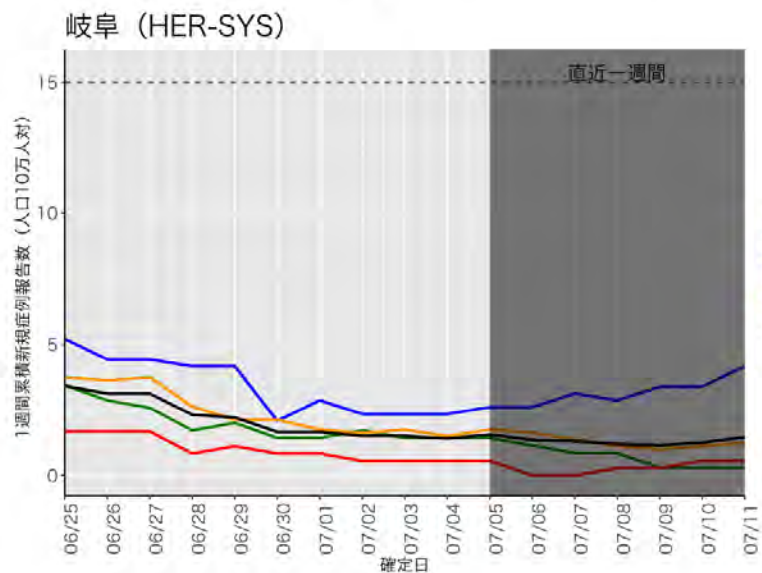
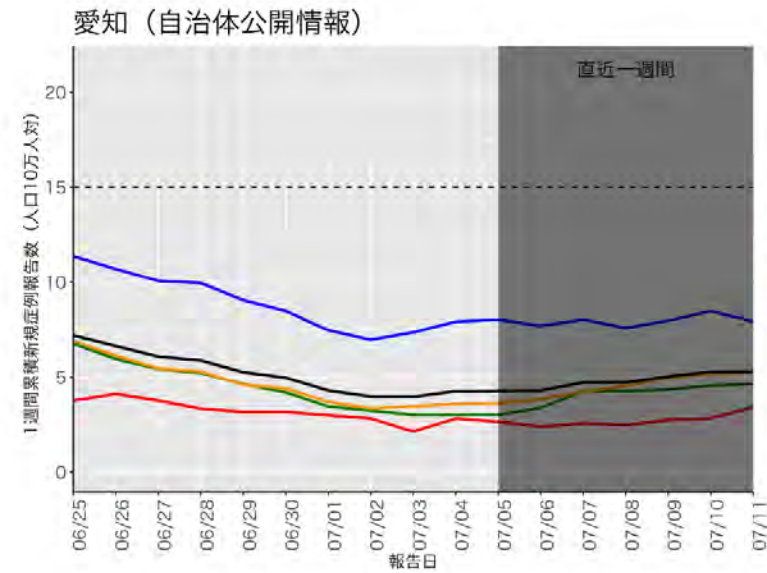
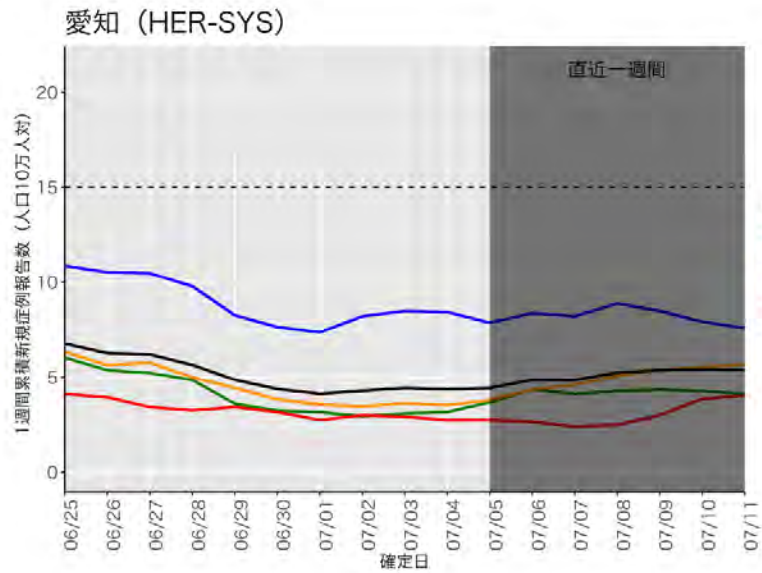


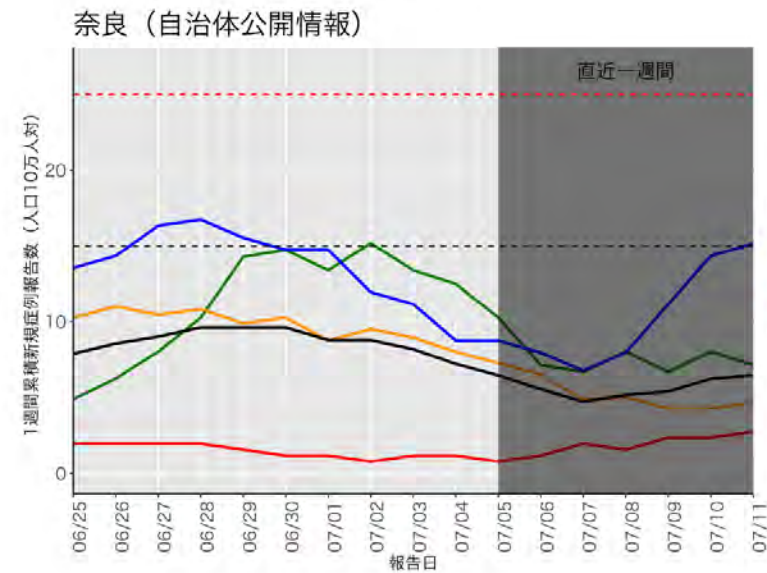
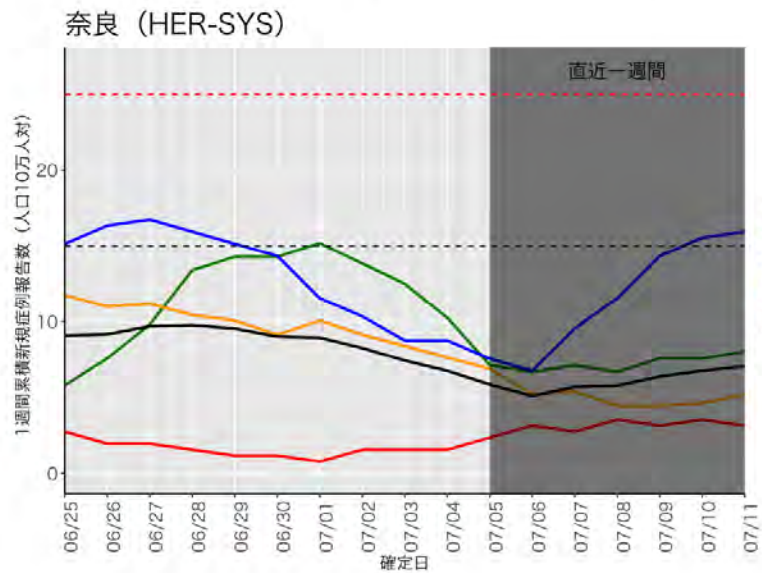
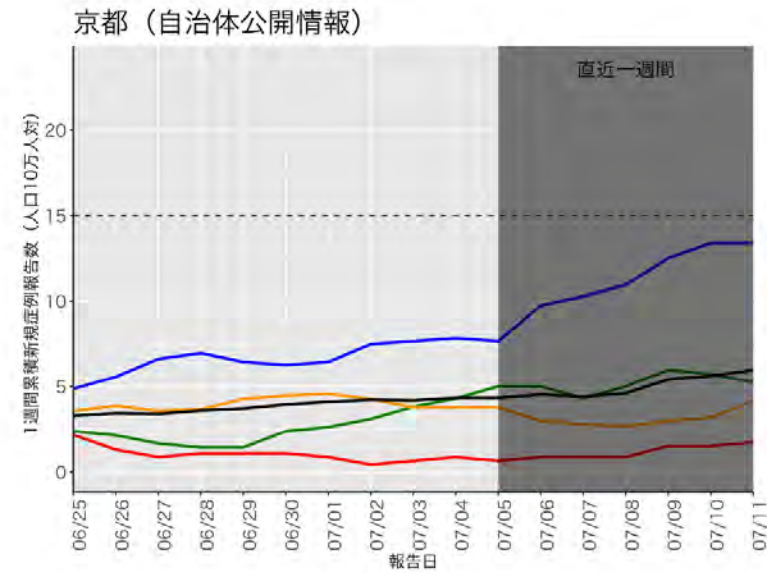
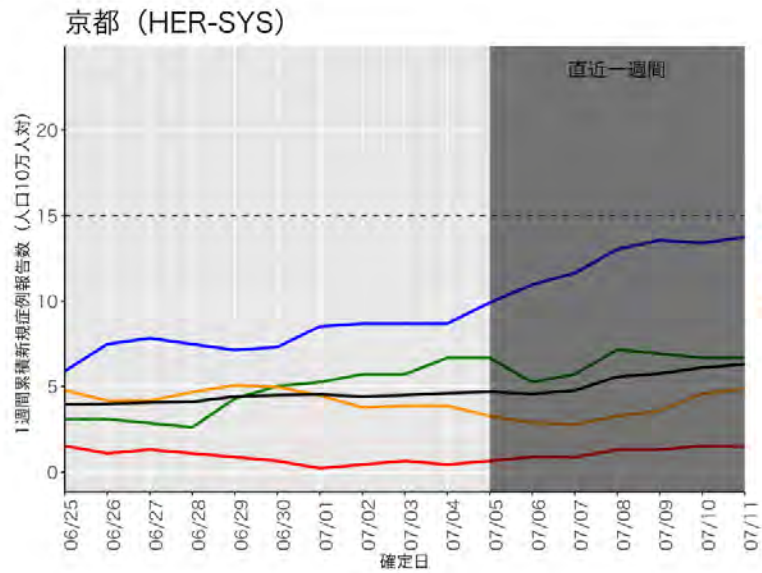
千葉 (HER-SYS)

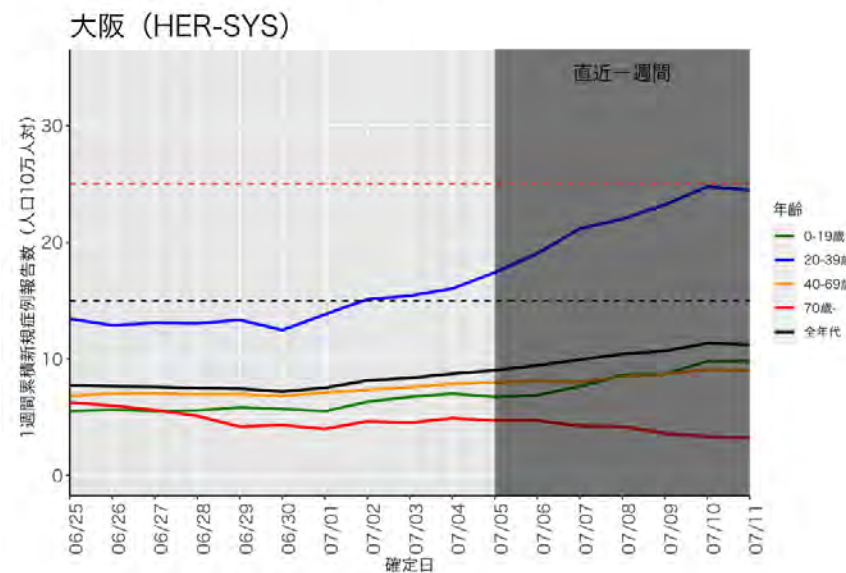
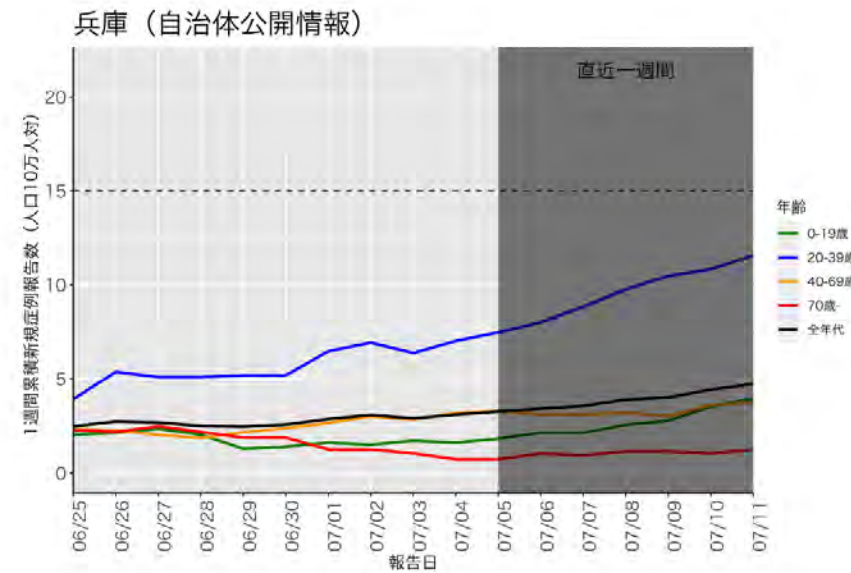
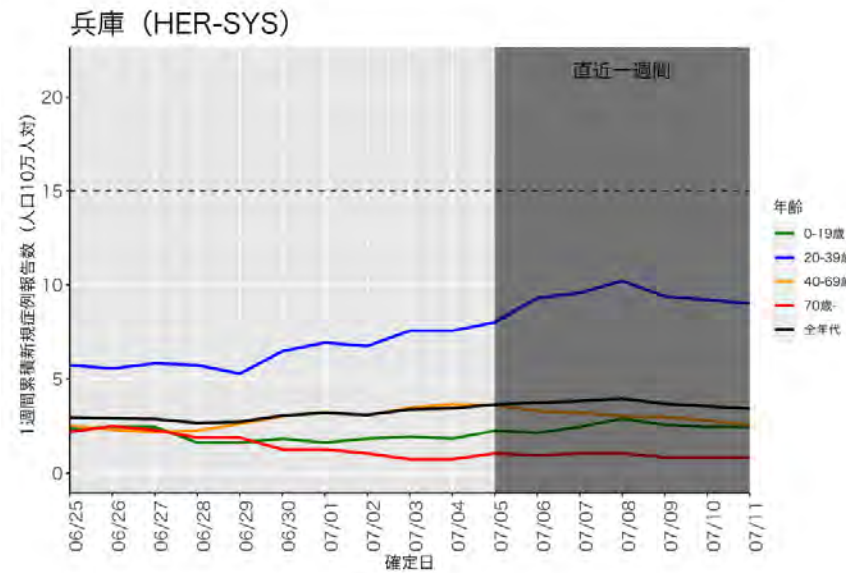


千葉 (自治体公開情報)

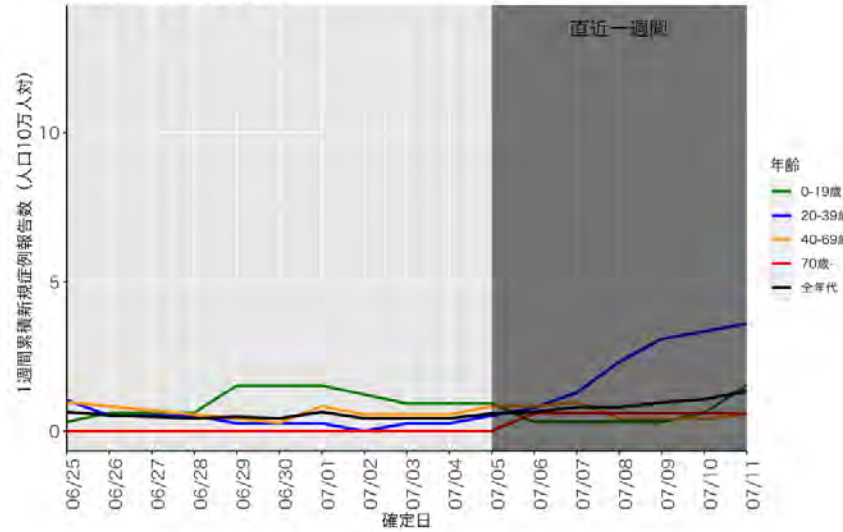




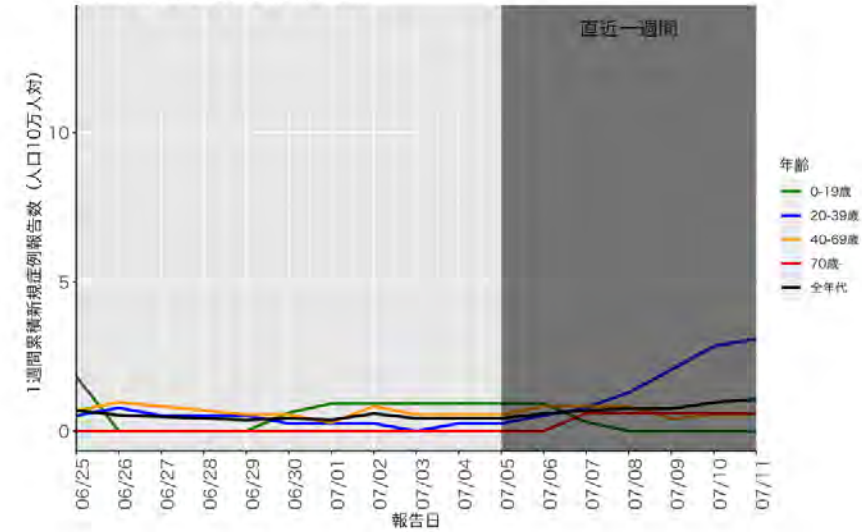




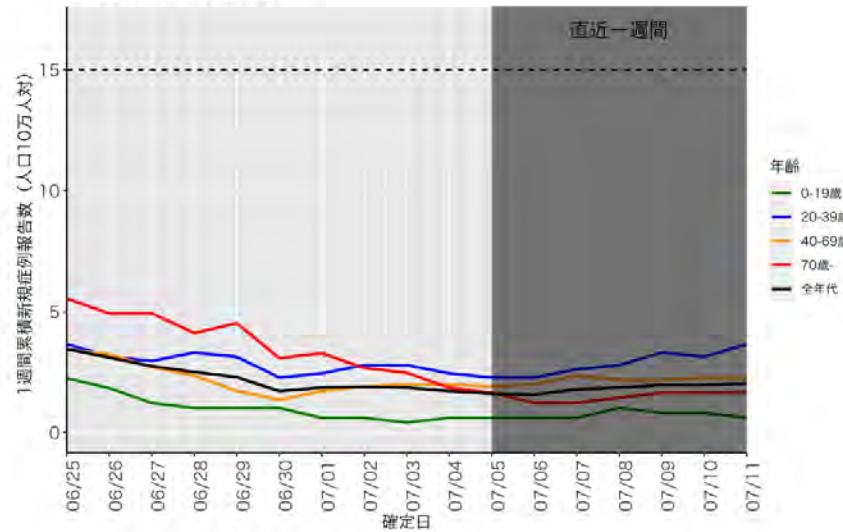
岡山 (HER-SYS)



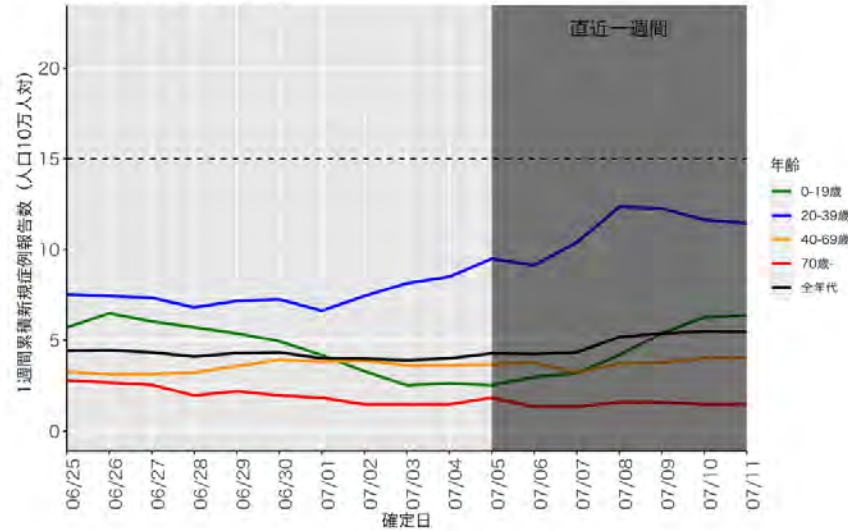
岡山 (自治体公開情報)



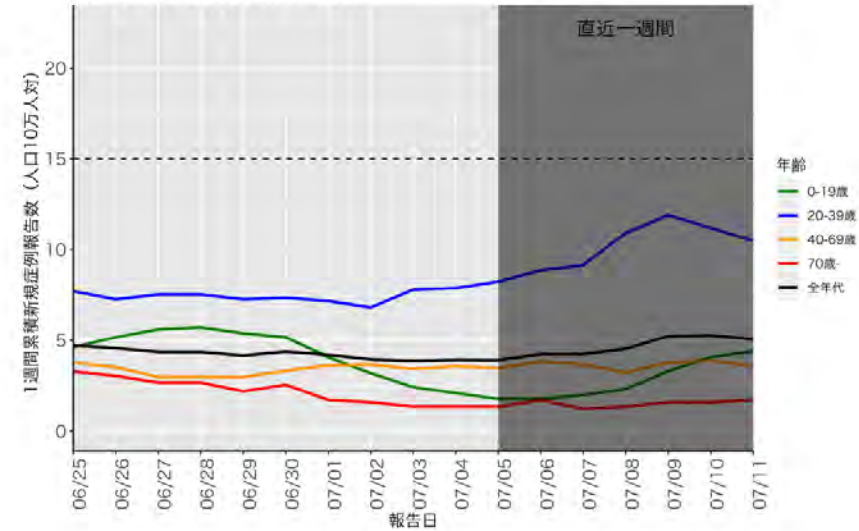
広島 (HER-SYS)



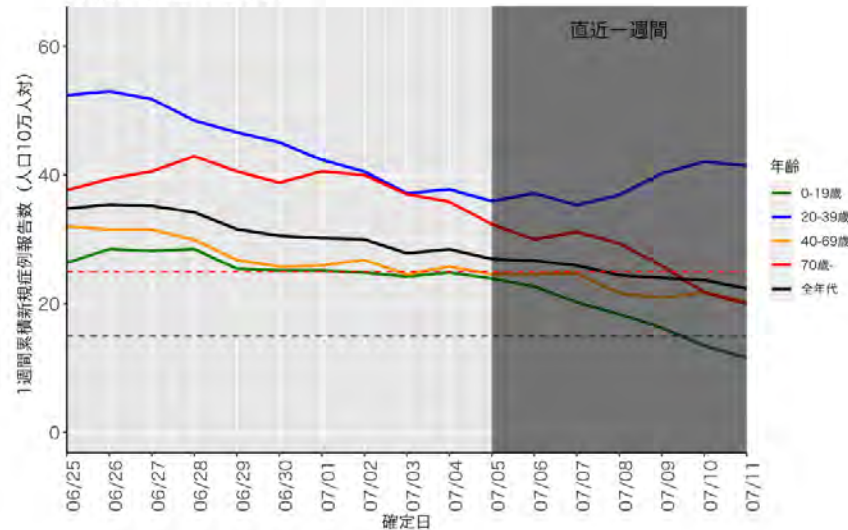
福岡 (HER-SYS)



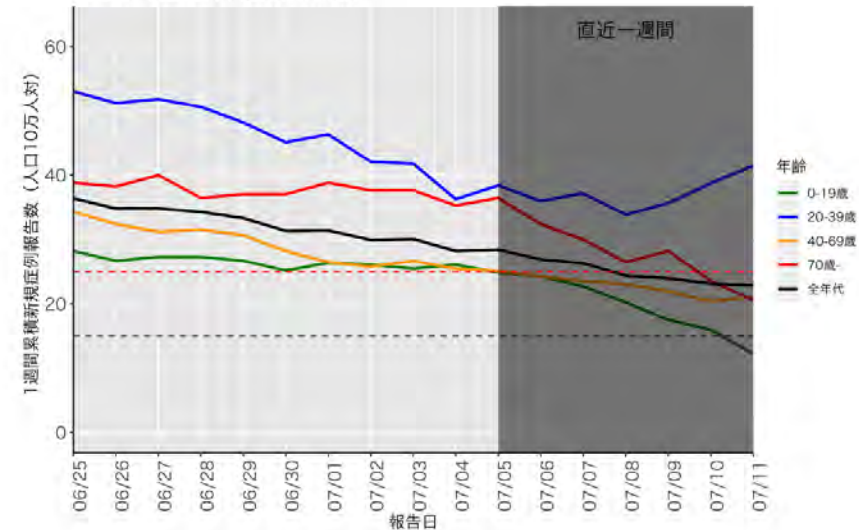
福岡 (自治体公開情報)



沖縄 (HER-SYS)



沖縄 (自治体公開情報)



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ

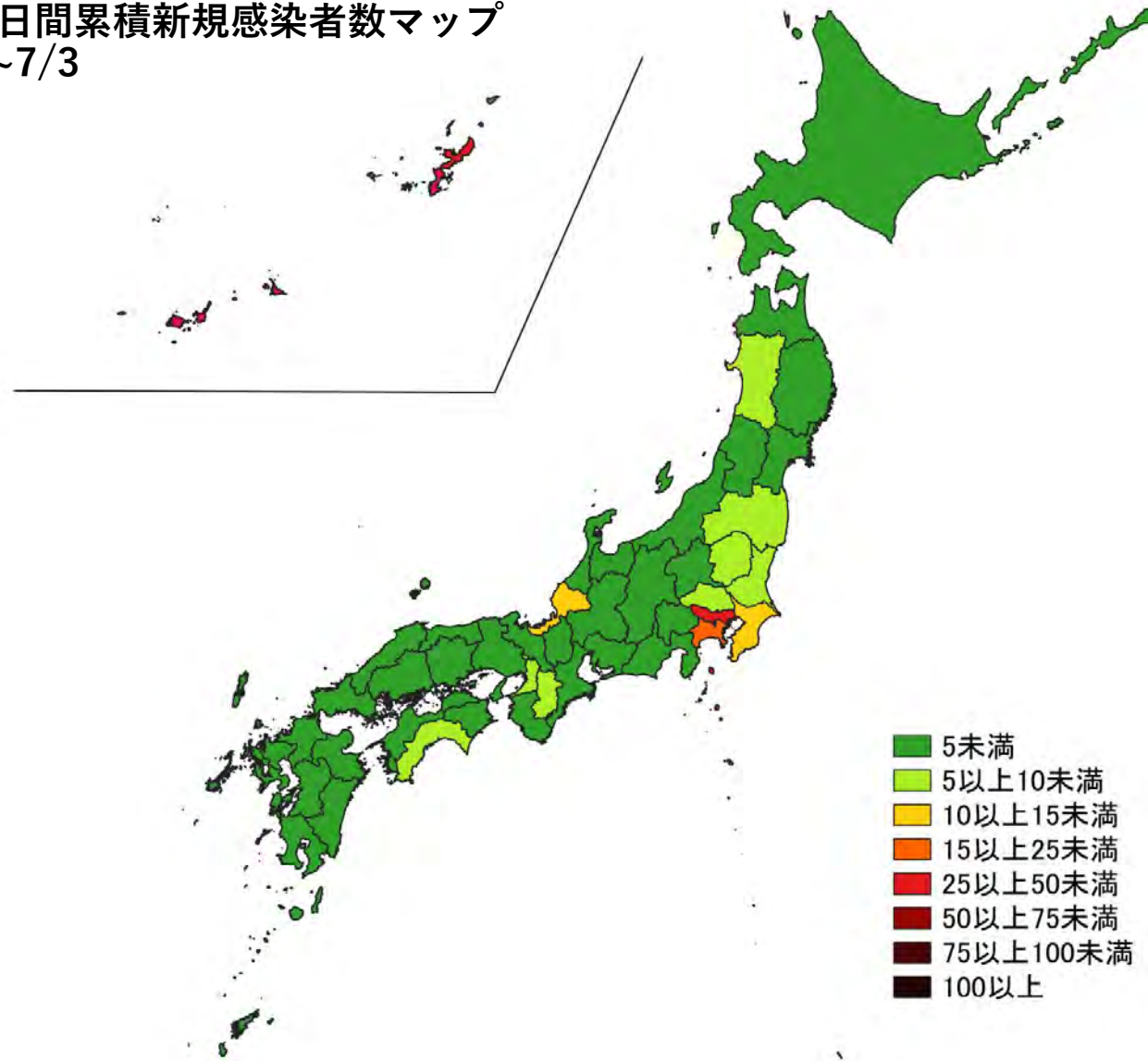
使用データ

- 2021年7月12日時点（7月11日公表分まで）の自治体公開情報を用いて、直近1週間（7/4～7/10）、1週間前（6/27～7/3）の人口10万人あたり7日間累積新規症例報告数（報告日）を都道府県別に図示した。
- 同様に、2021年7月12日時点のHER-SYSデータを用いて保健所管区別の分析（診断日）を行った。
- 集計は日曜日から土曜日であり、疫学週（月曜日から日曜日）とは異なる。
- **データ入力や公表の遅れを考慮し、直近1週間は参考資料とする。**

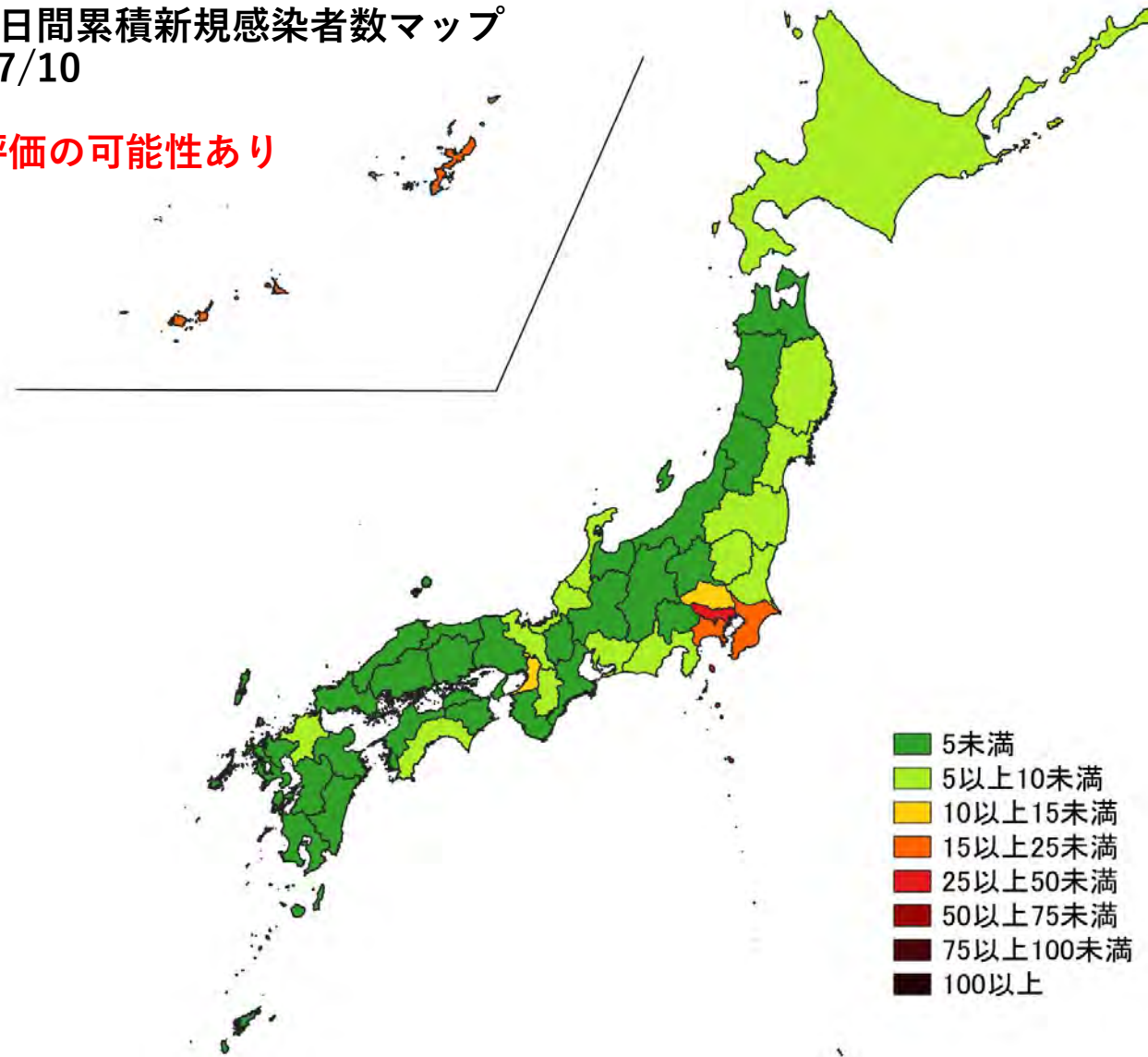
まとめ

- 直近では、東京がステージ4相当、千葉、神奈川、沖縄がステージ3相当。多くの都道府県でレベルの上昇がみられる。
- 保健所管区レベルでは、ステージ4相当は首都圏と沖縄に集中しており、ステージ3相当の地域は緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象都道府県以外でも増加傾向（一部はクラスターの発生が報告されている地域）。
- 首都圏ではステージ4相当の地域が東京中心部から神奈川、千葉へ拡大し、さらにその周辺にステージ3相当の地域が拡大している。
- 関西・中京圏では大都市部周辺でレベルが上昇傾向。
- 沖縄では離島を含めた全域でステージ3～4相当。
- その他の地域では低いレベルが保たれている。

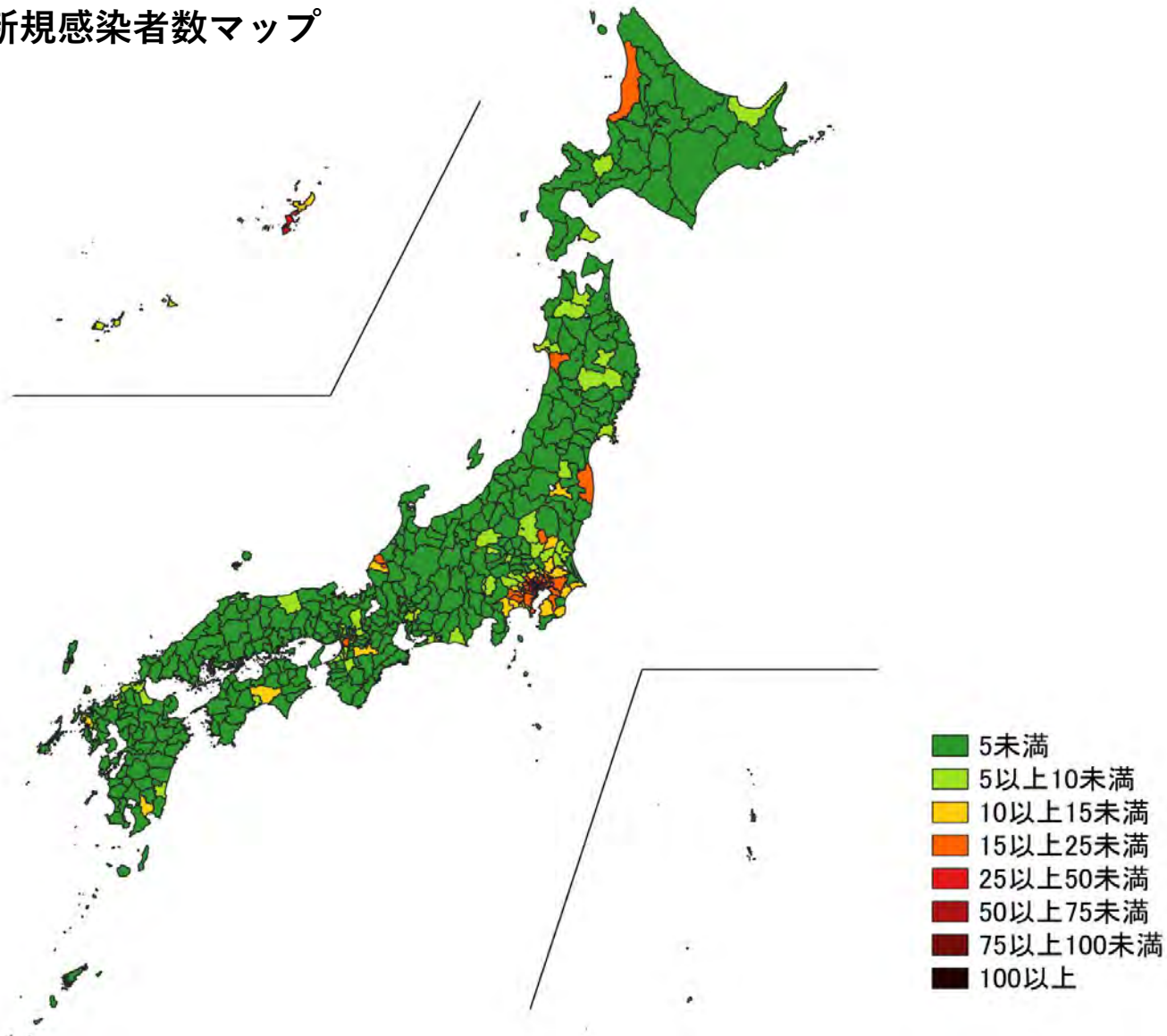
人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ
都道府県単位 6/27~7/3
(自治体公開情報)



人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ
都道府県単位 7/4~7/10
(自治体公開情報)
公表遅れによる過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ
都道府県単位 6/27~7/3
(自治体公開情報)

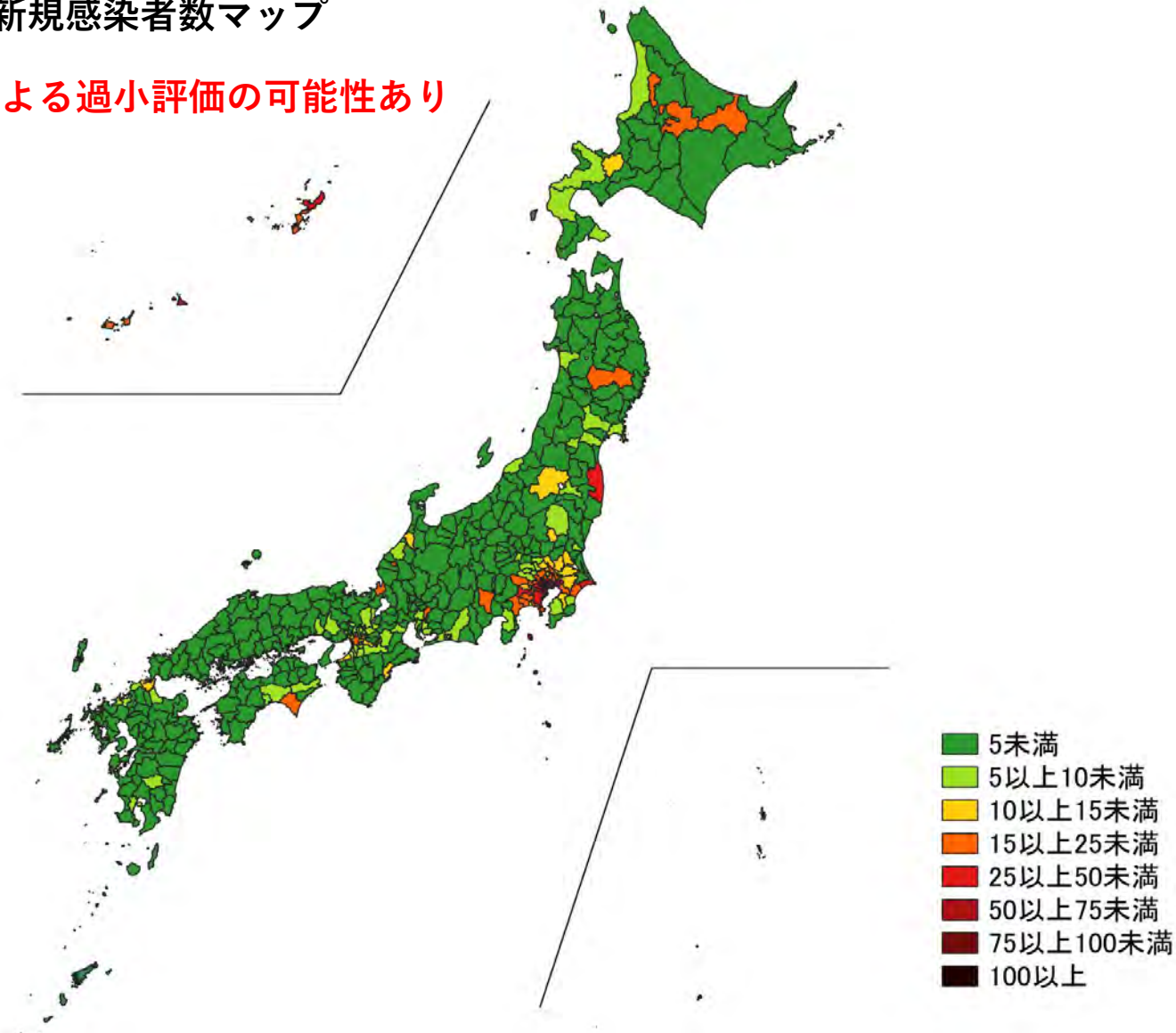


ステージ3相当の保健所管区*

- 北海道留萌保健所
- 秋田県秋田市保健所
- 福島県相双保健所
- 栃木県宇都宮市保健所
- 福井県坂井保健所
- 福井県福井保健所

*緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象
都府県を除く

人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ
都道府県単位 7/4~7/10
(自治体公開情報) 公表遅れによる過小評価の可能性あり



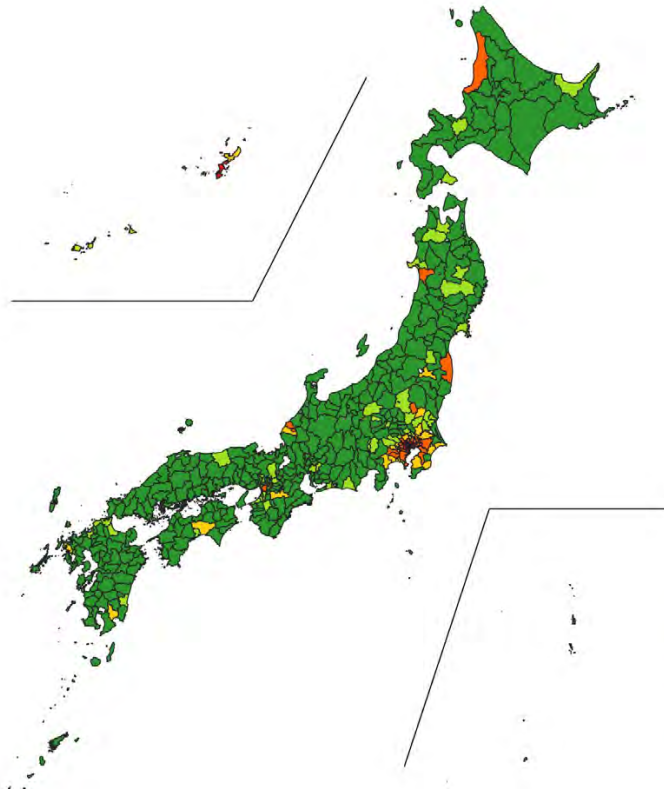
ステージ4相当の保健所管区

- 福島県相双保健所

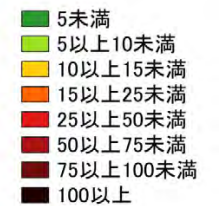
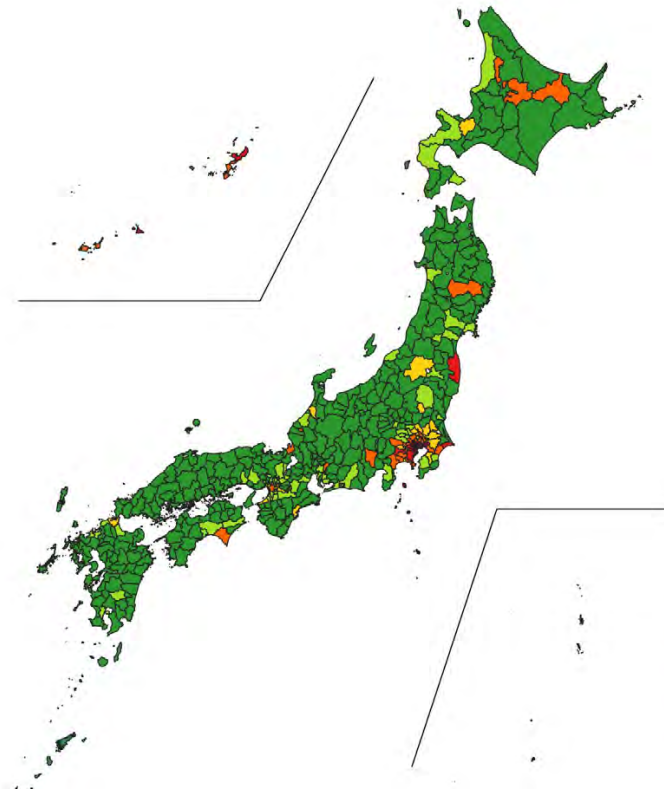
ステージ3相当の保健所管区*

- 北海道上川保健所
- 北海道北見保健所
- 岩手県中部保健所
- 福井県二州保健所
- 福井県福井保健所
- 山梨県峡南保健所
- 愛知県瀬戸保健所
- 高知県安芸福祉保健所

*緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象
都府県を除く



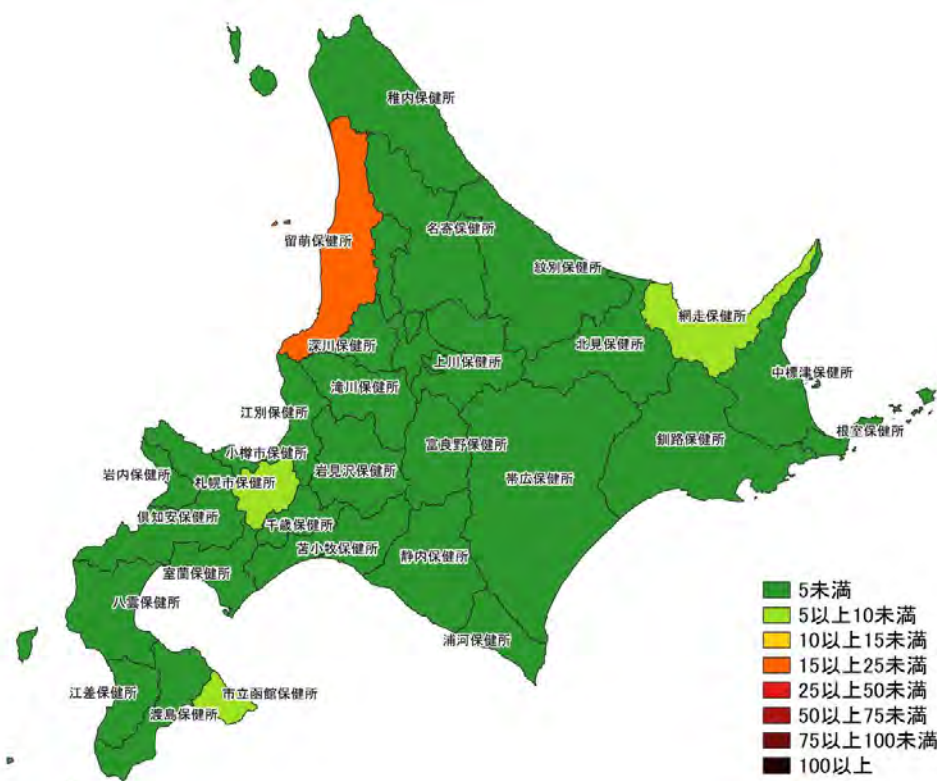
6/27~7/3



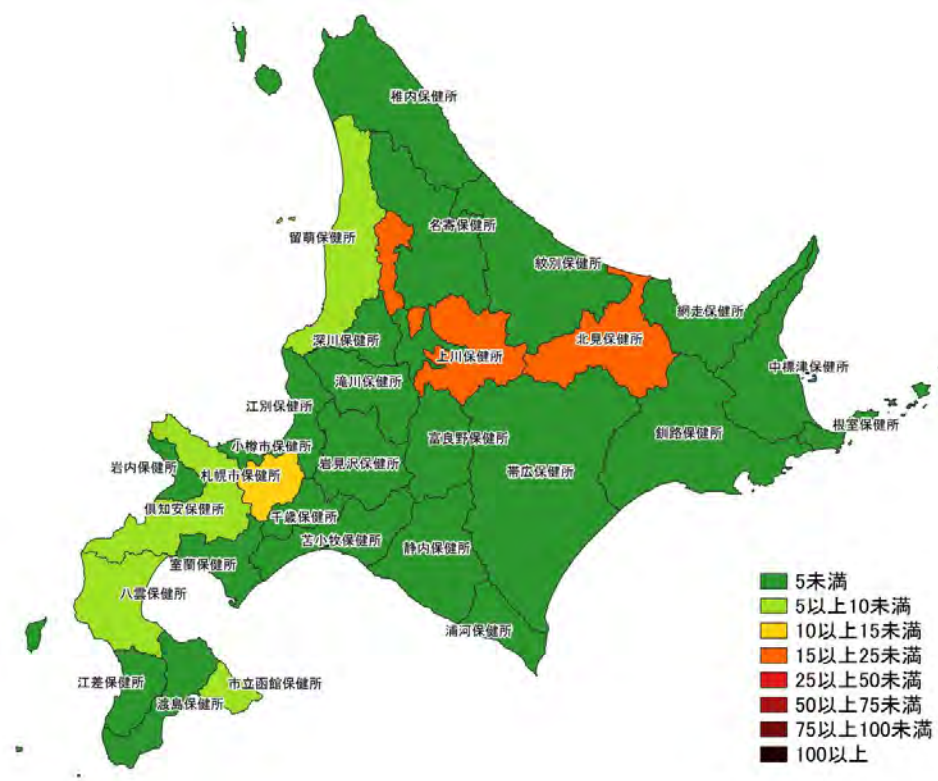
7/4~7/10

入力遅れによる
過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
保健所単位 (HER-SYS情報)



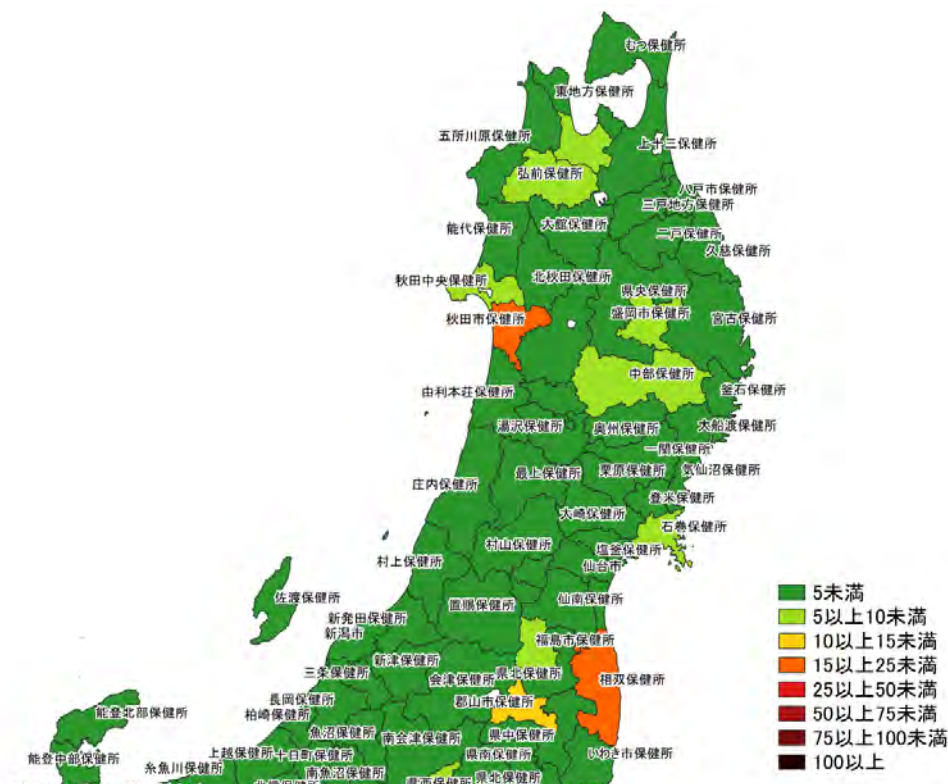
6/27~7/3



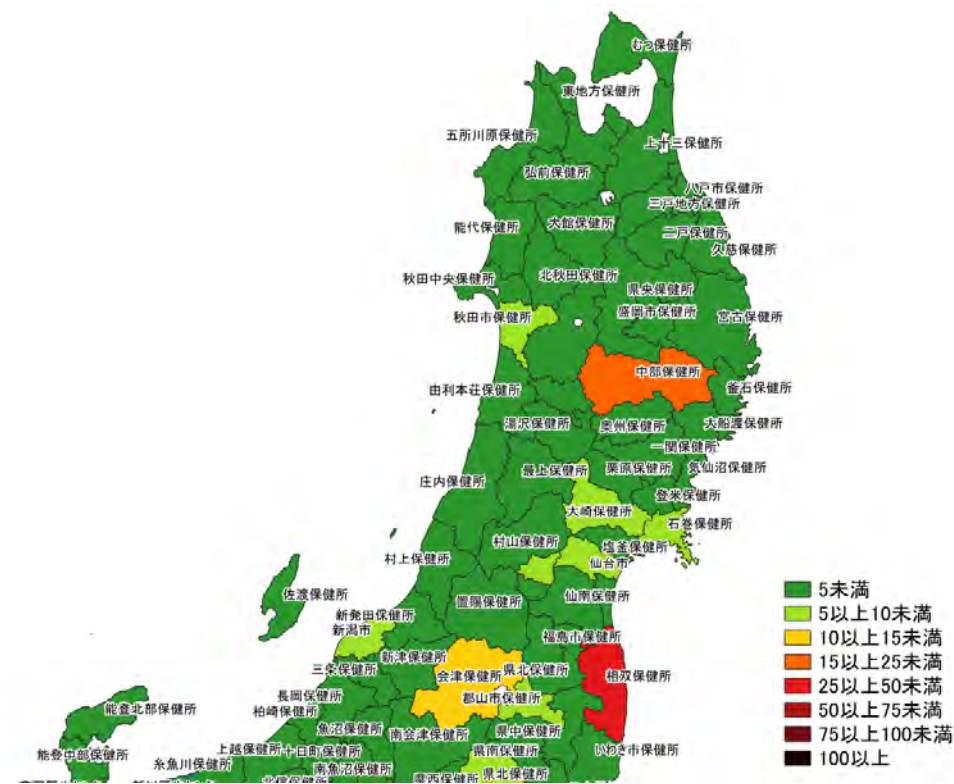
7/4~7/10

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
北海道 (HER-SYS情報)



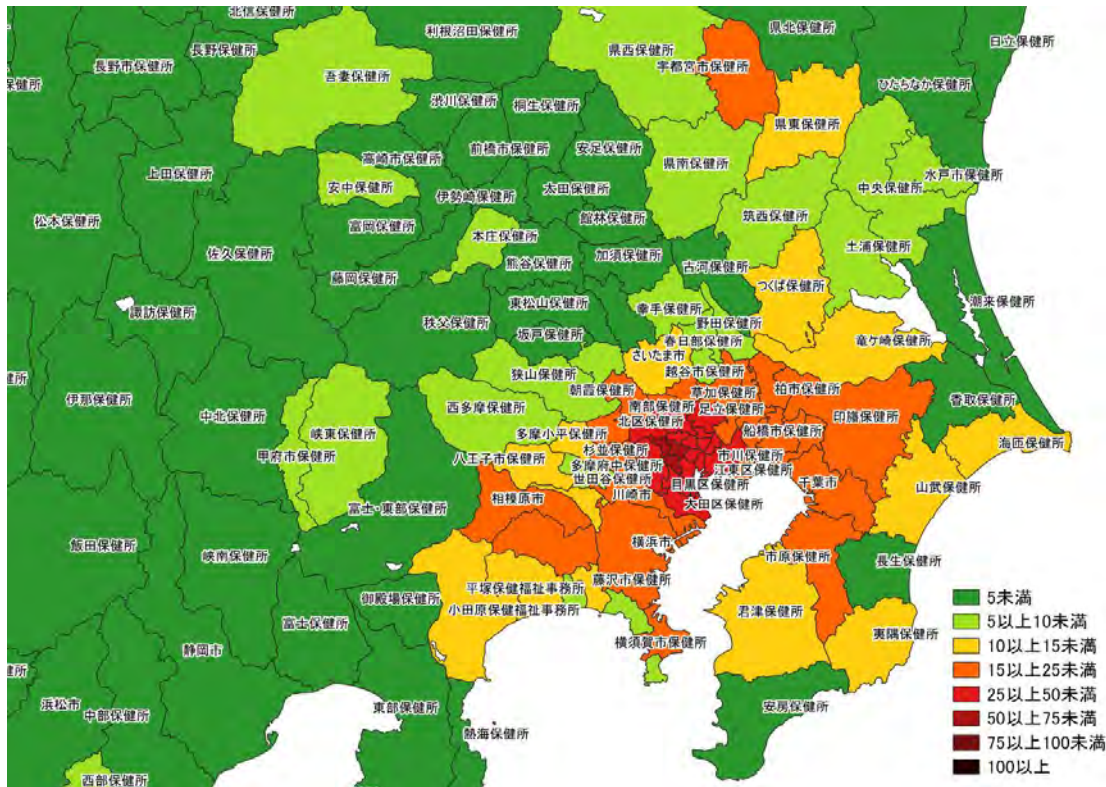
6/27~7/3



7/4~7/10

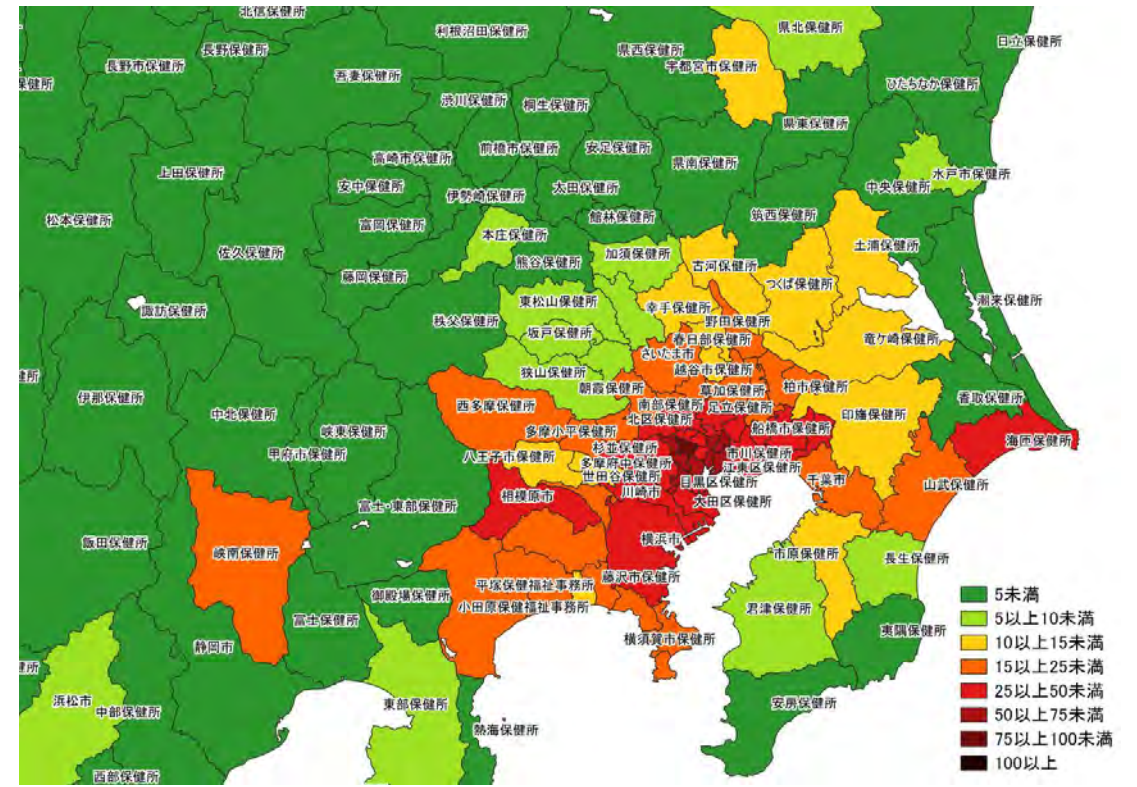
入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ 東北地域 (HER-SYS情報)



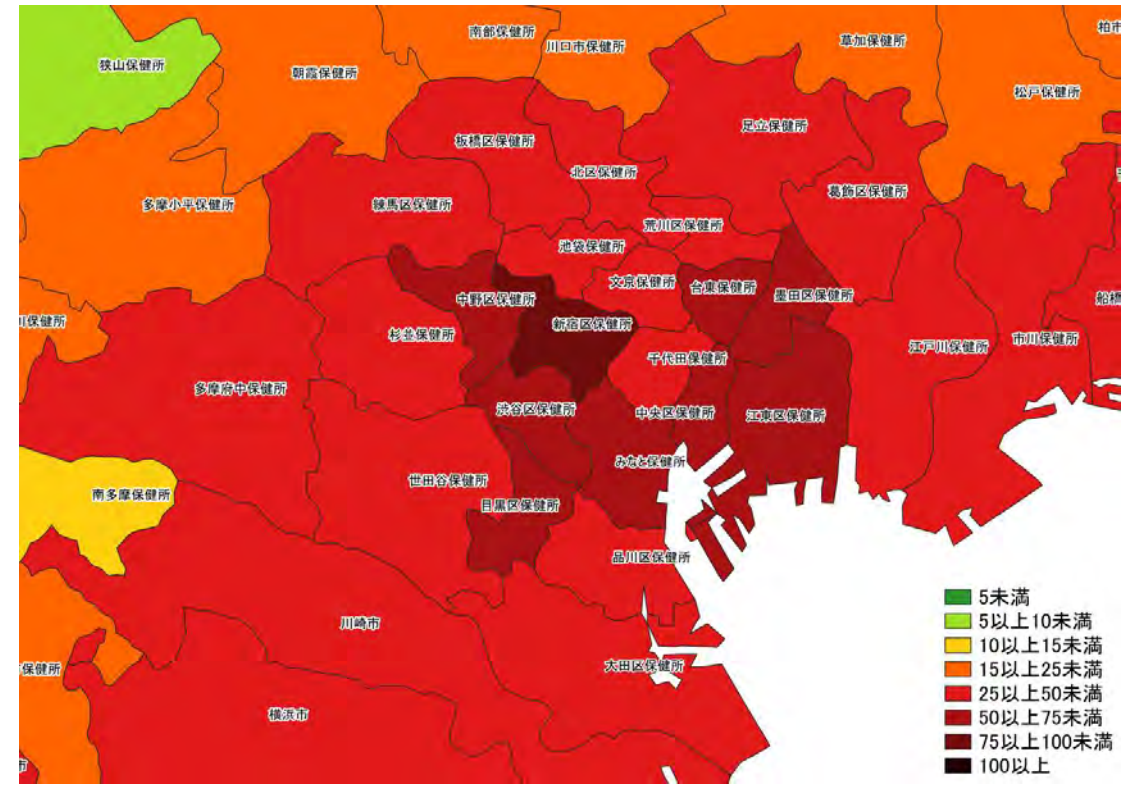
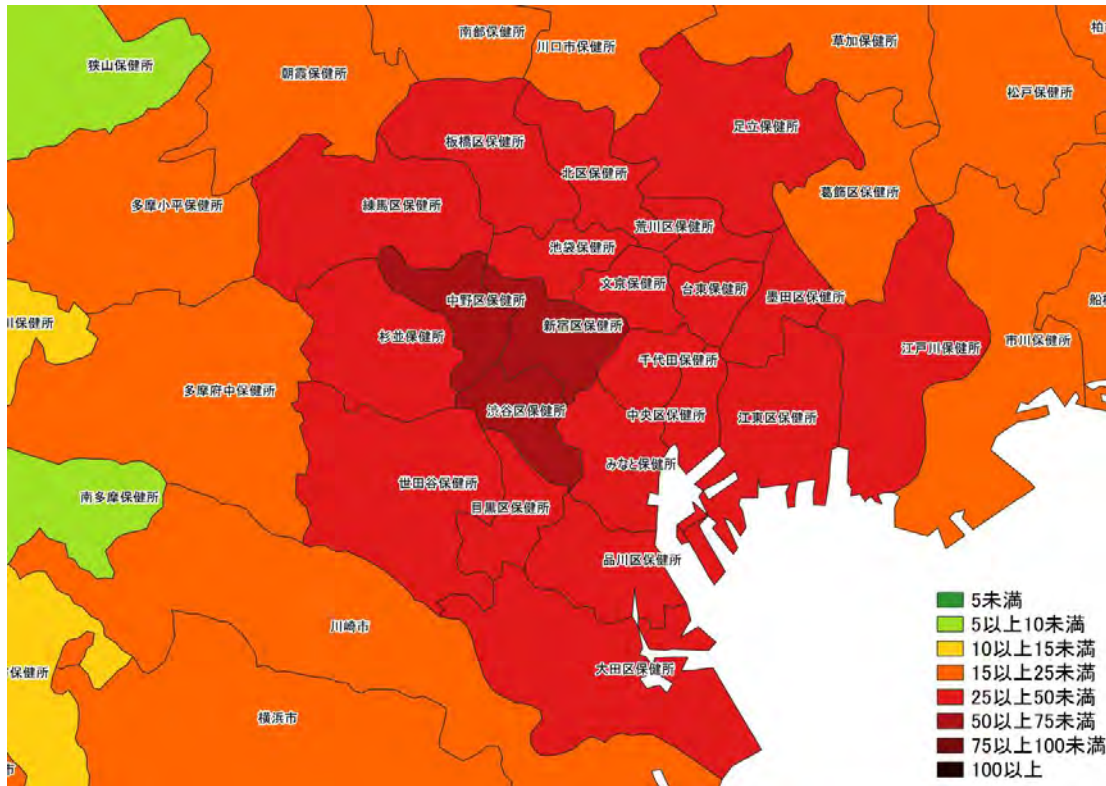
6/27~7/3

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
首都圏 (HER-SYS情報)

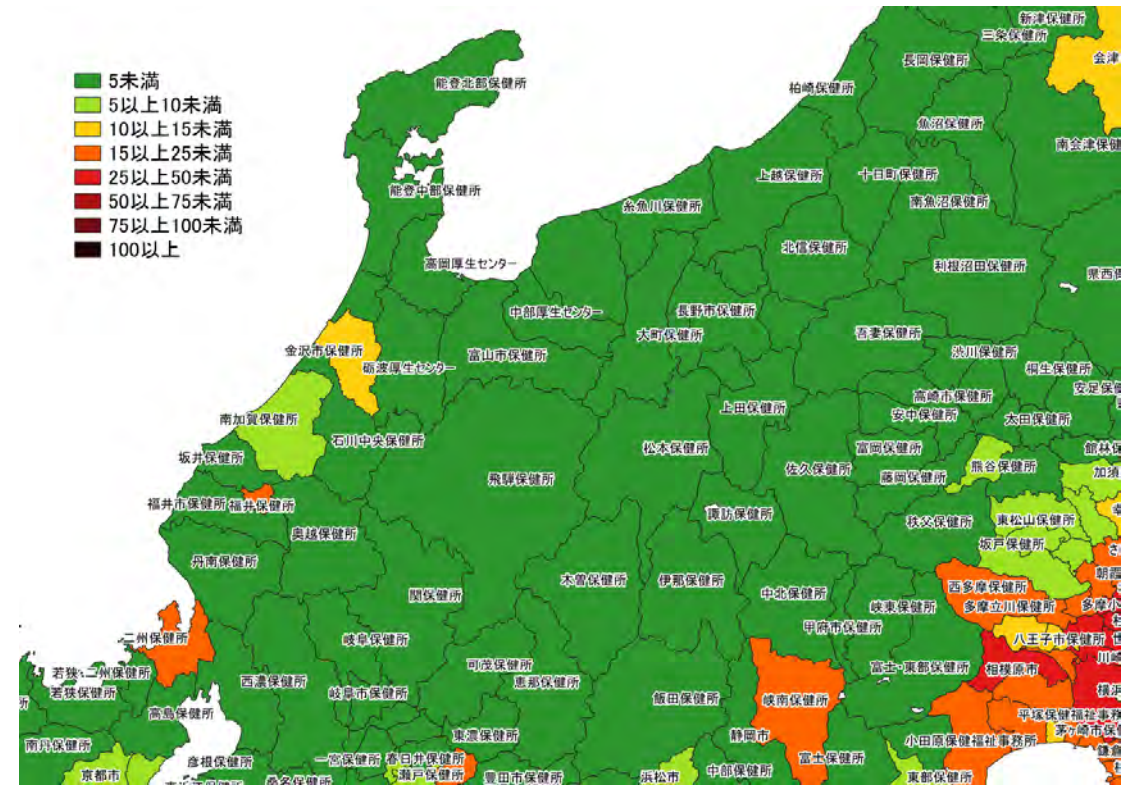
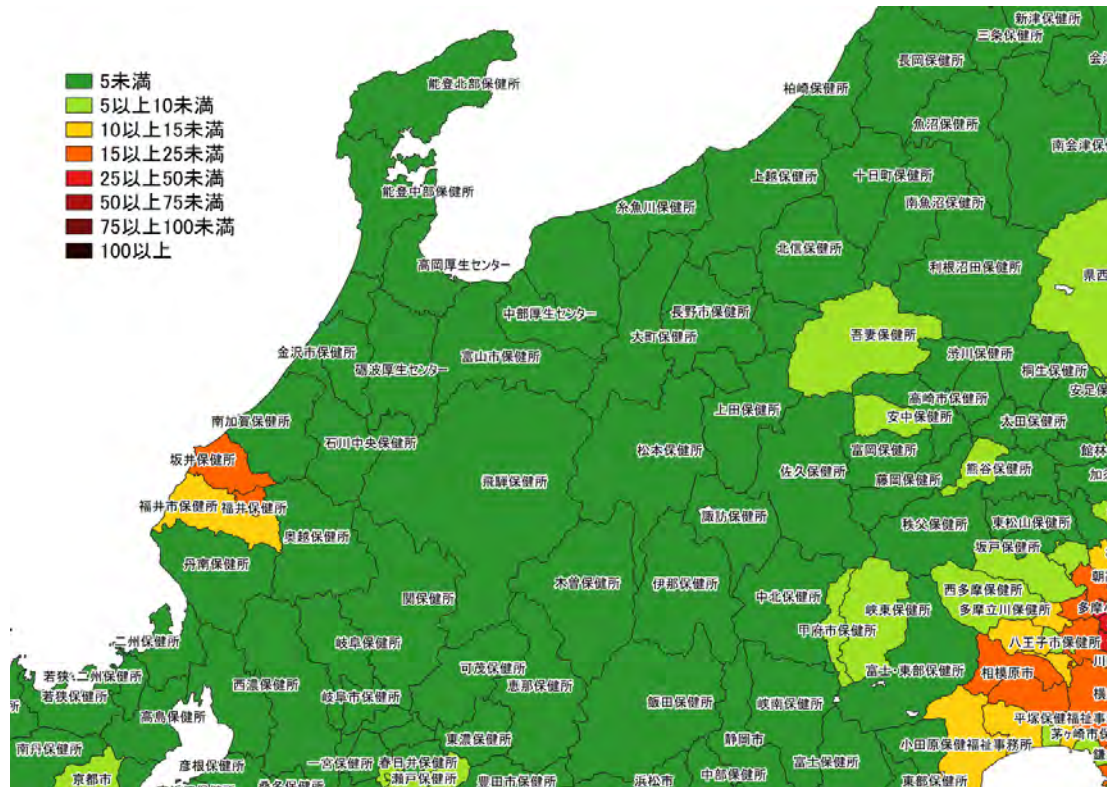


7/4~7/10

入力遅れによる過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
東京周辺（HER-SYS情報）

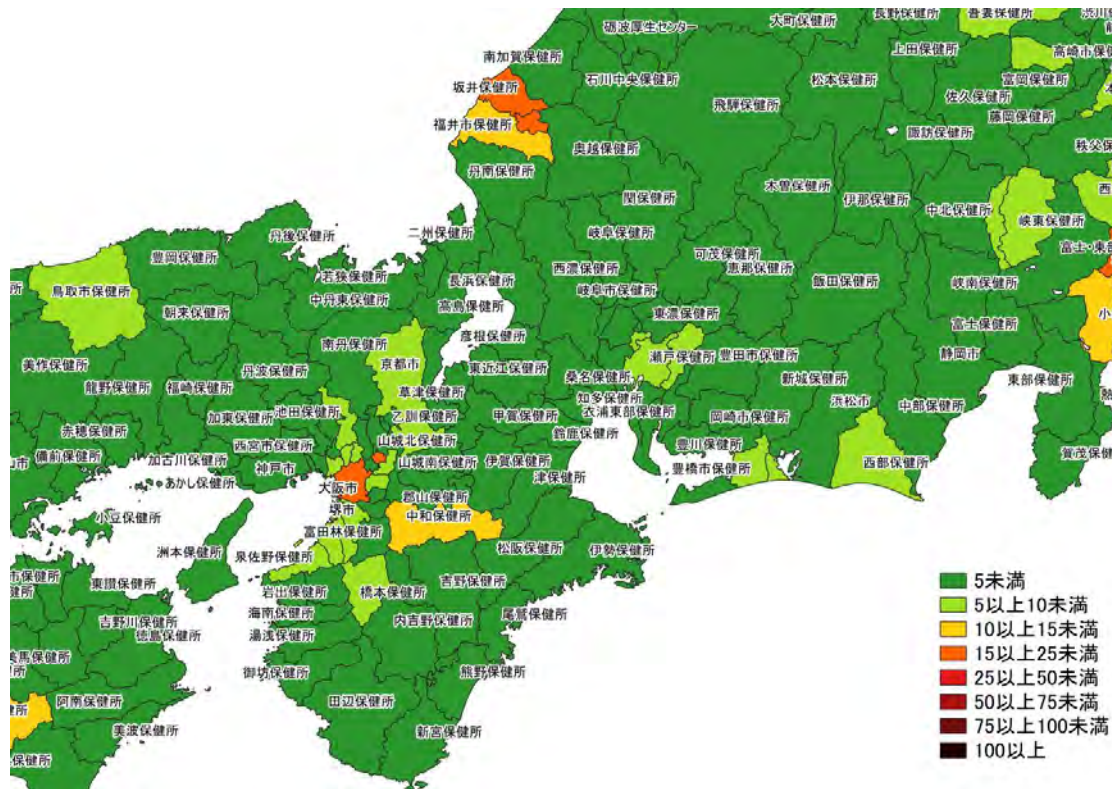


6/27~7/3

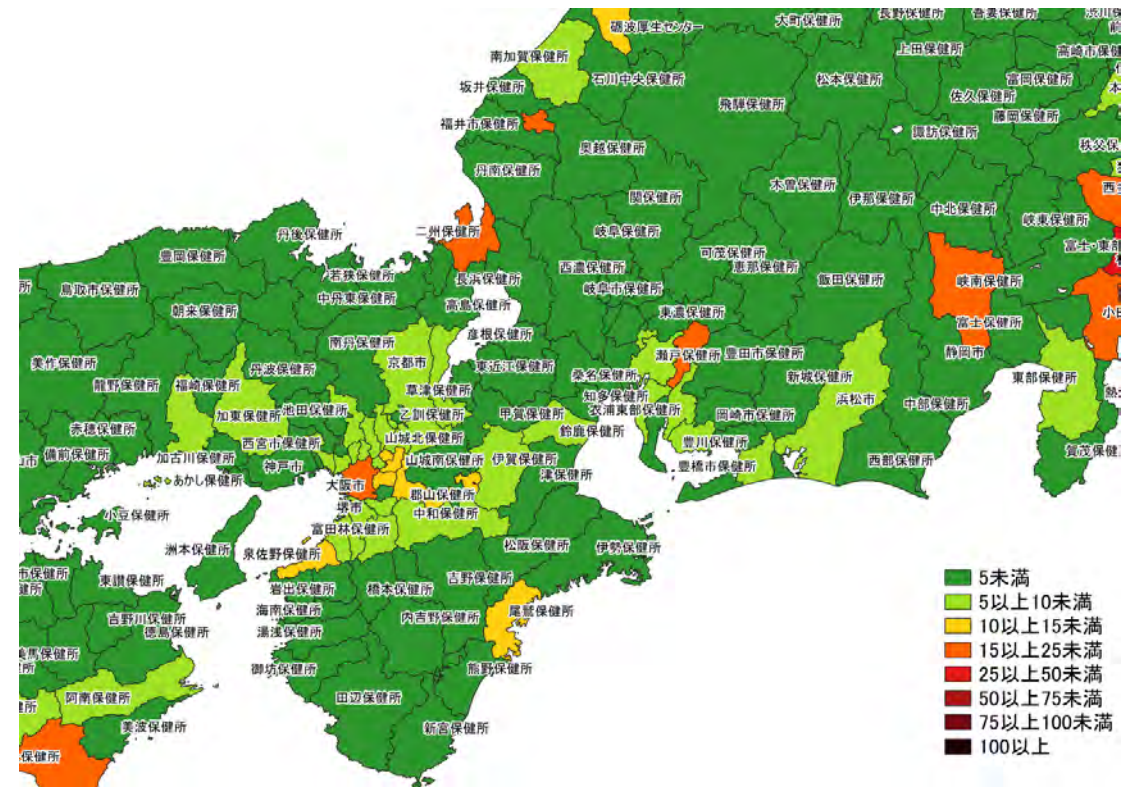
7/4~7/10

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
北陸・中部地域 (HER-SYS情報)



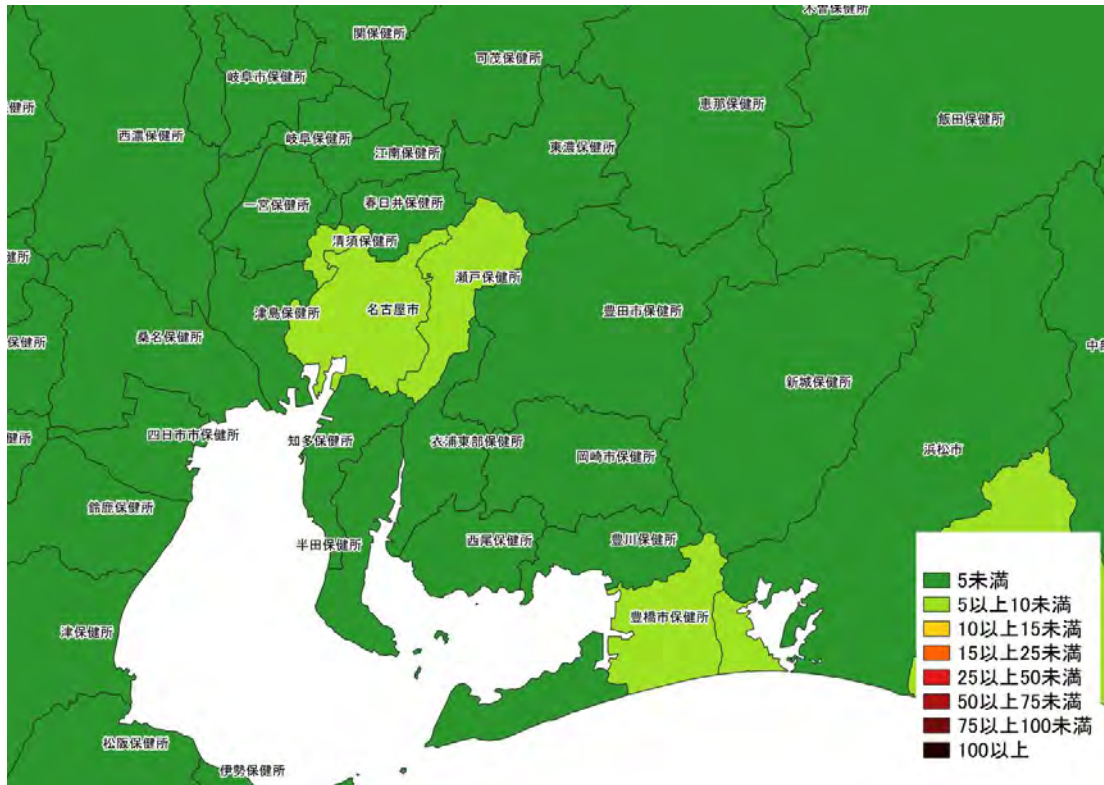
6/27~7/3



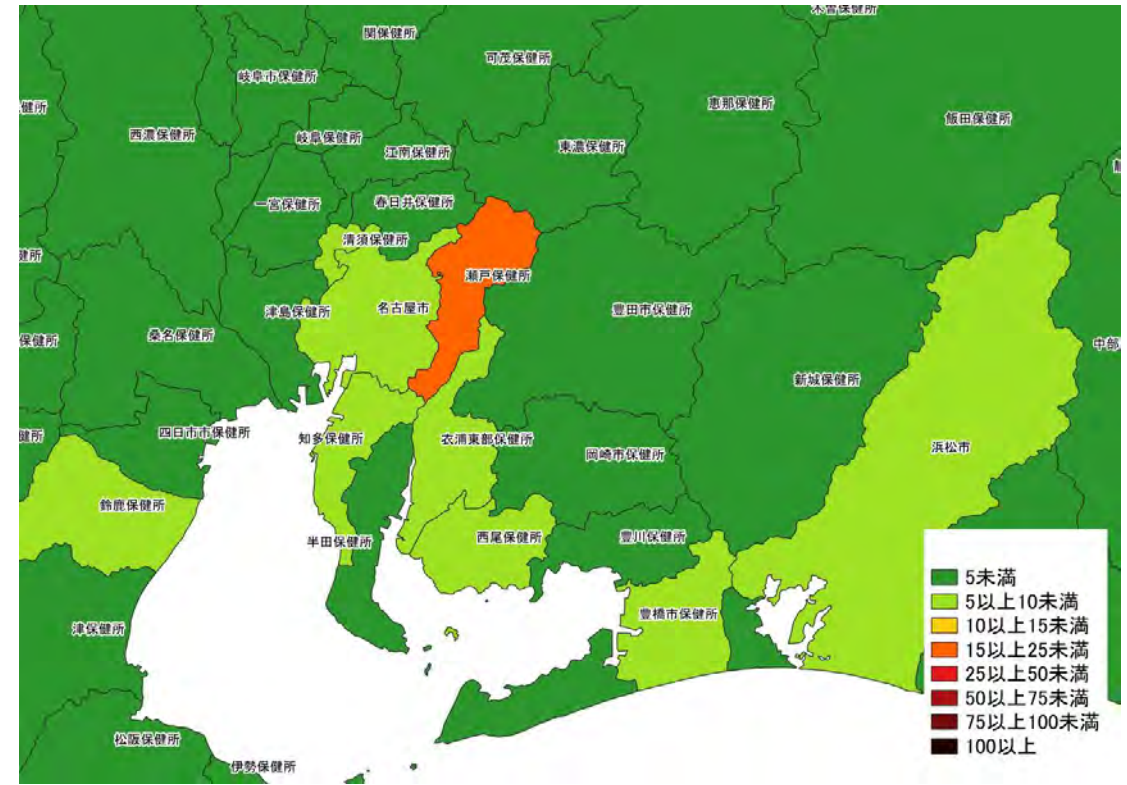
7/4~7/10

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
 関西・中京圏 (HER-SYS情報)



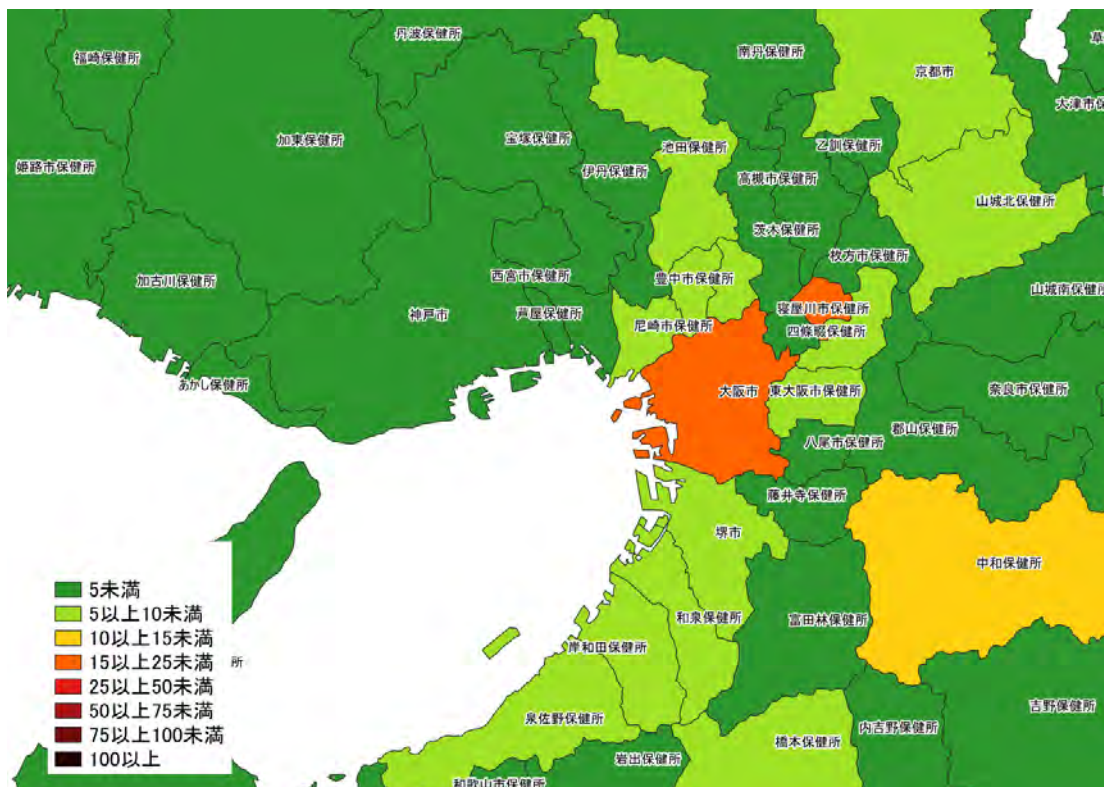
6/27~7/3



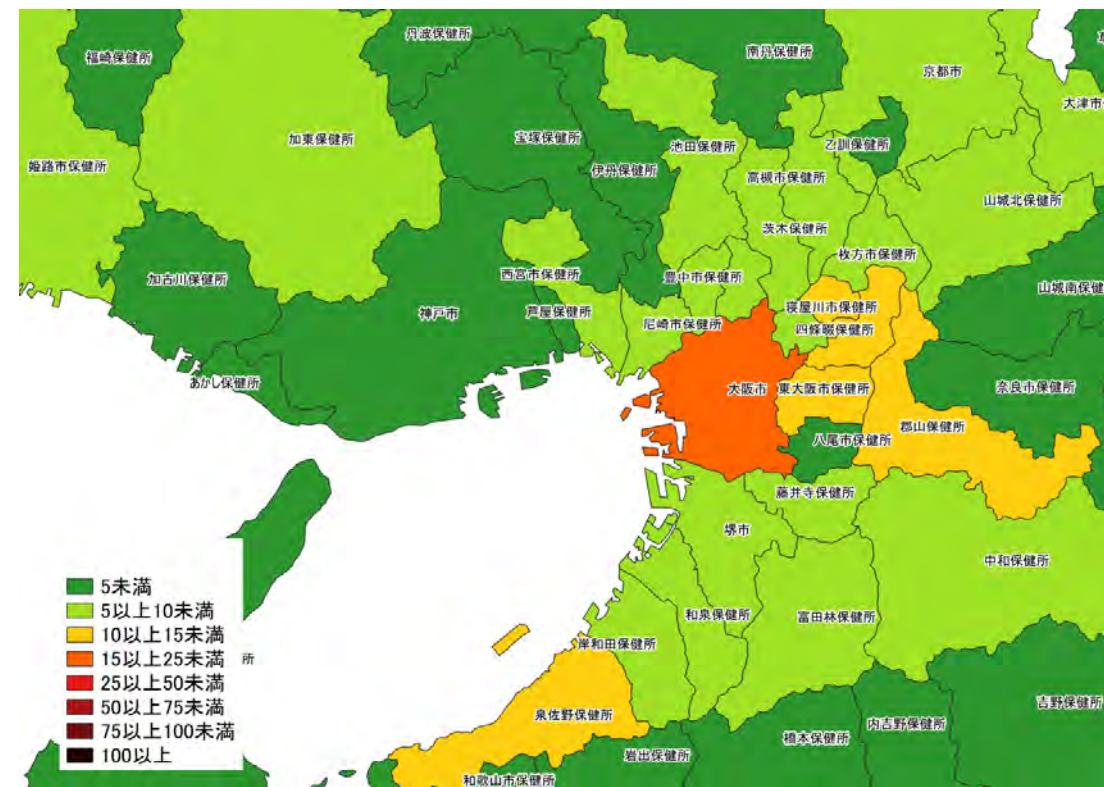
7/4~7/10

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
名古屋周辺（HER-SYS情報）



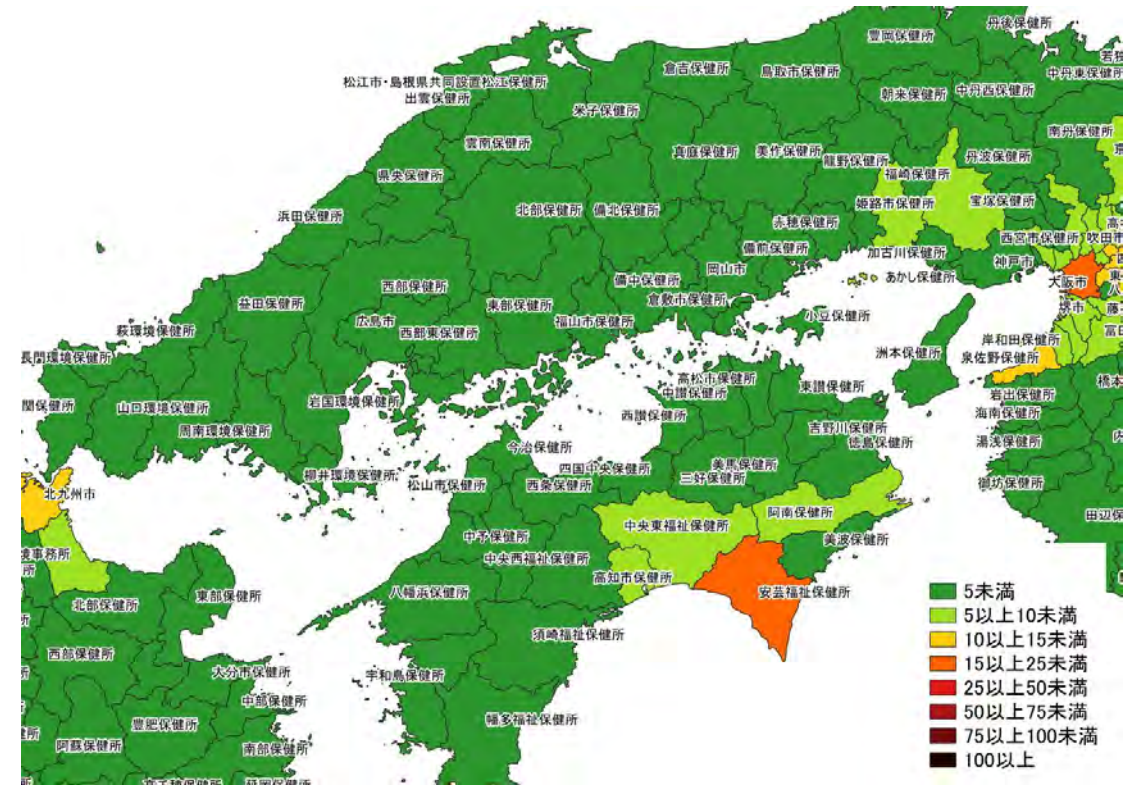
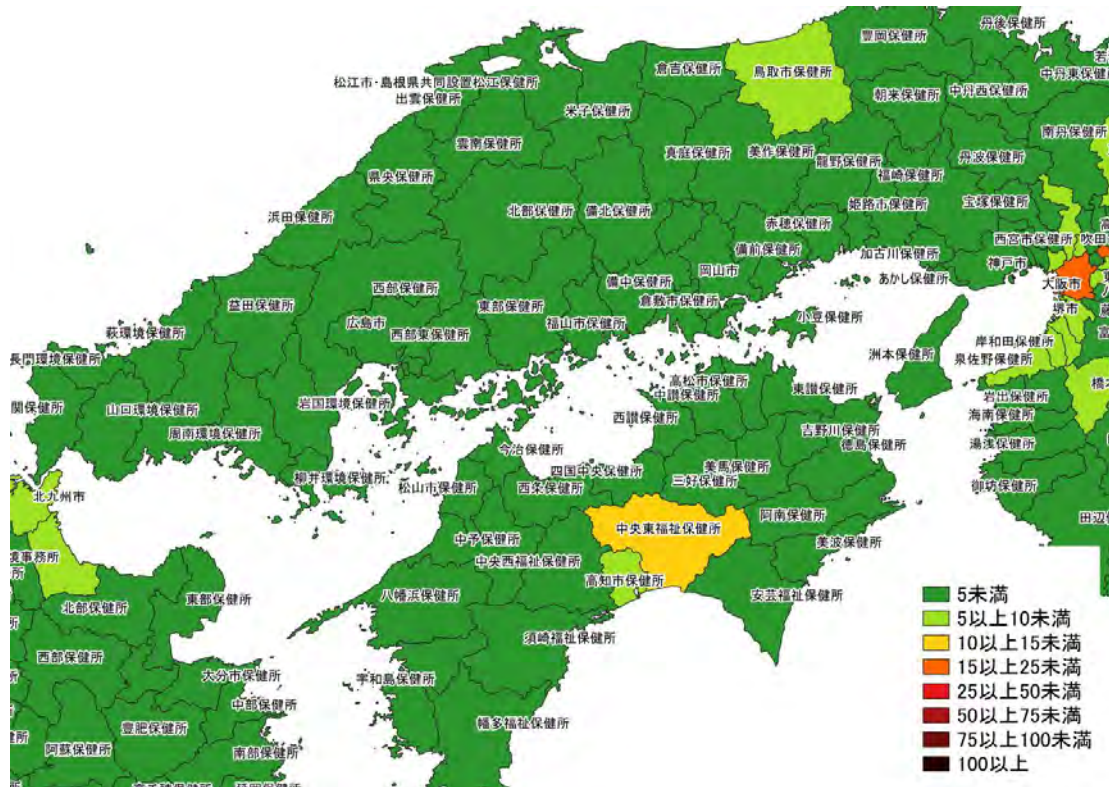
6/27~7/3



7/4~7/10

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
大阪周辺（HER-SYS情報）

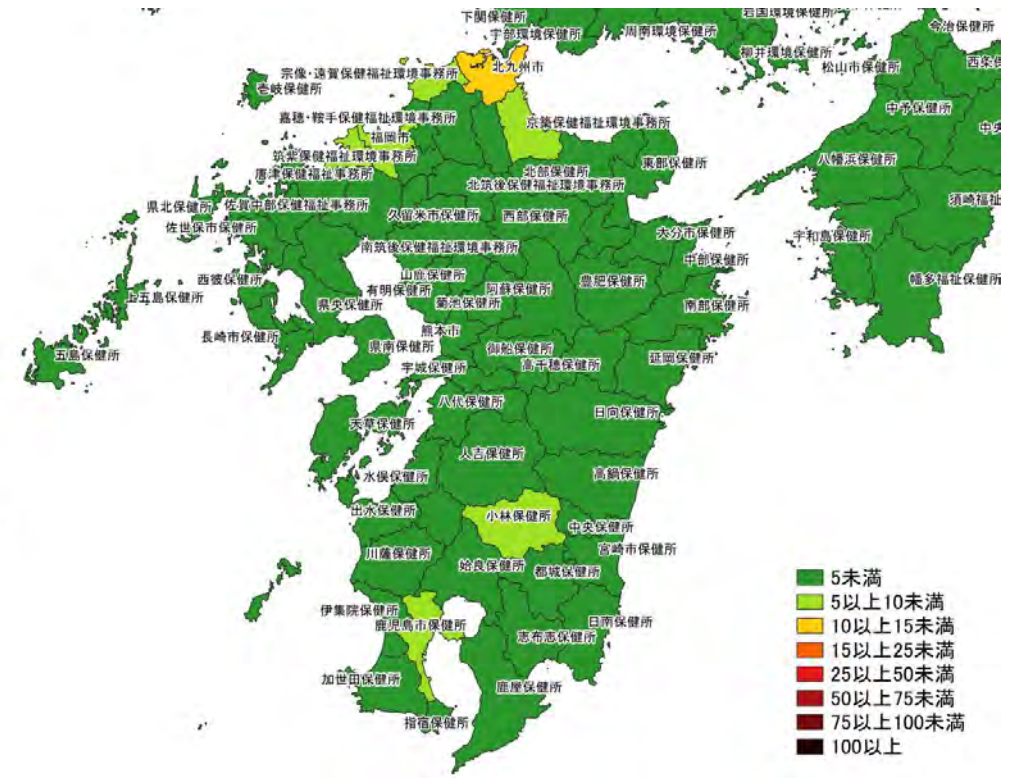
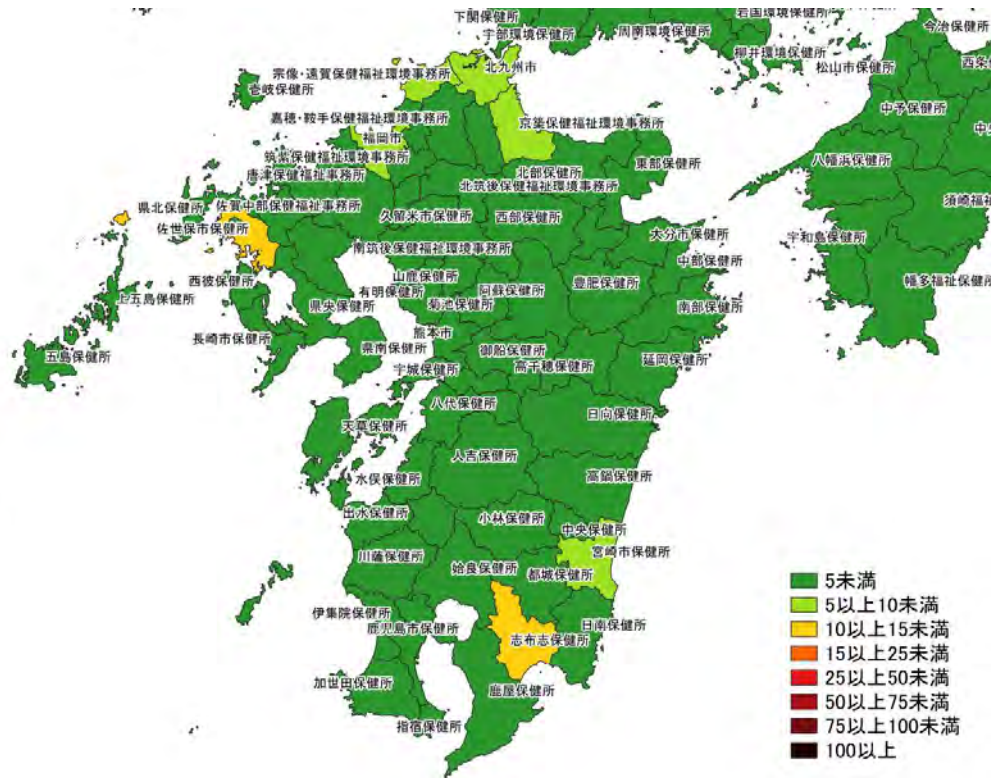


6/27~7/3

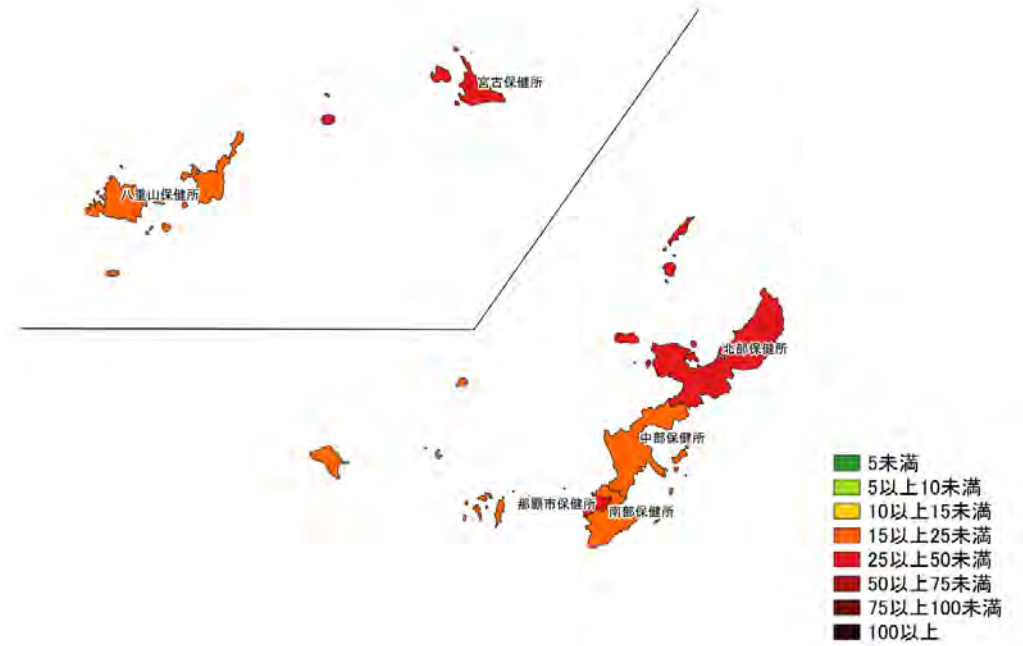
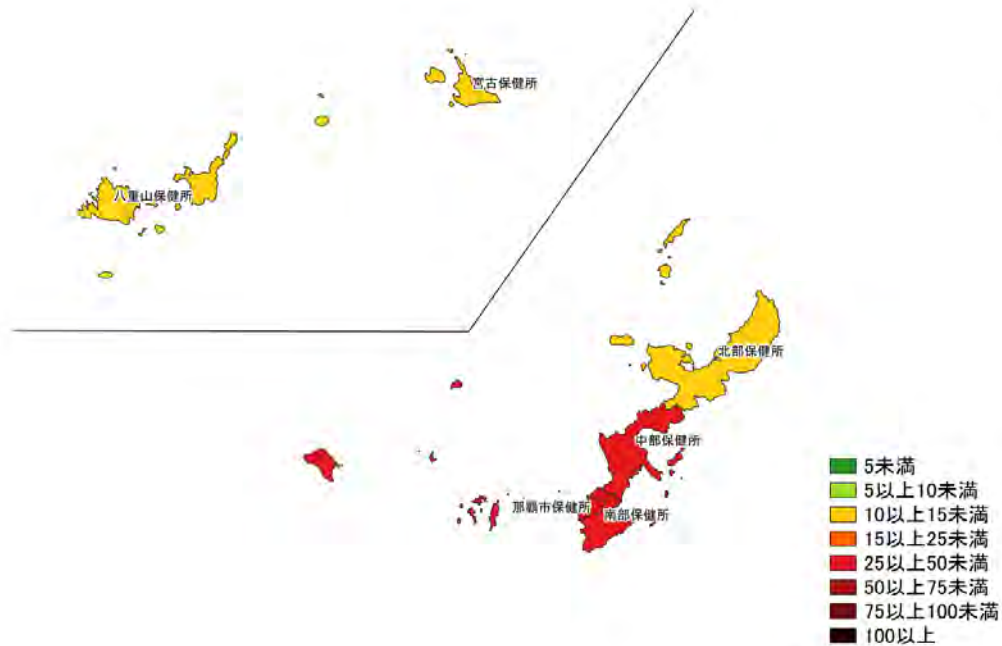
7/4~7/10

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
中国・四国地域 (HER-SYS情報)

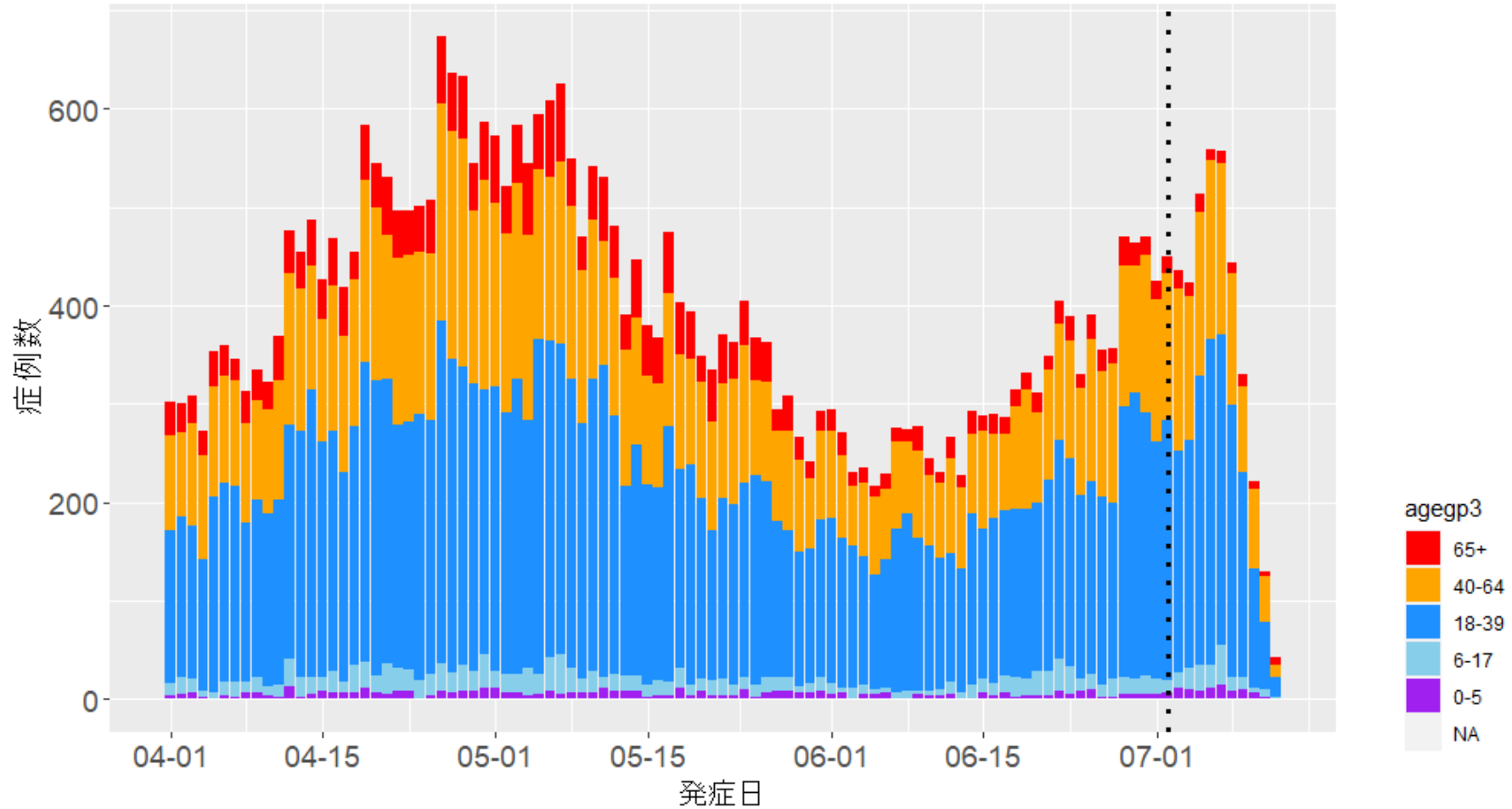


人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
九州地域（HER-SYS情報）

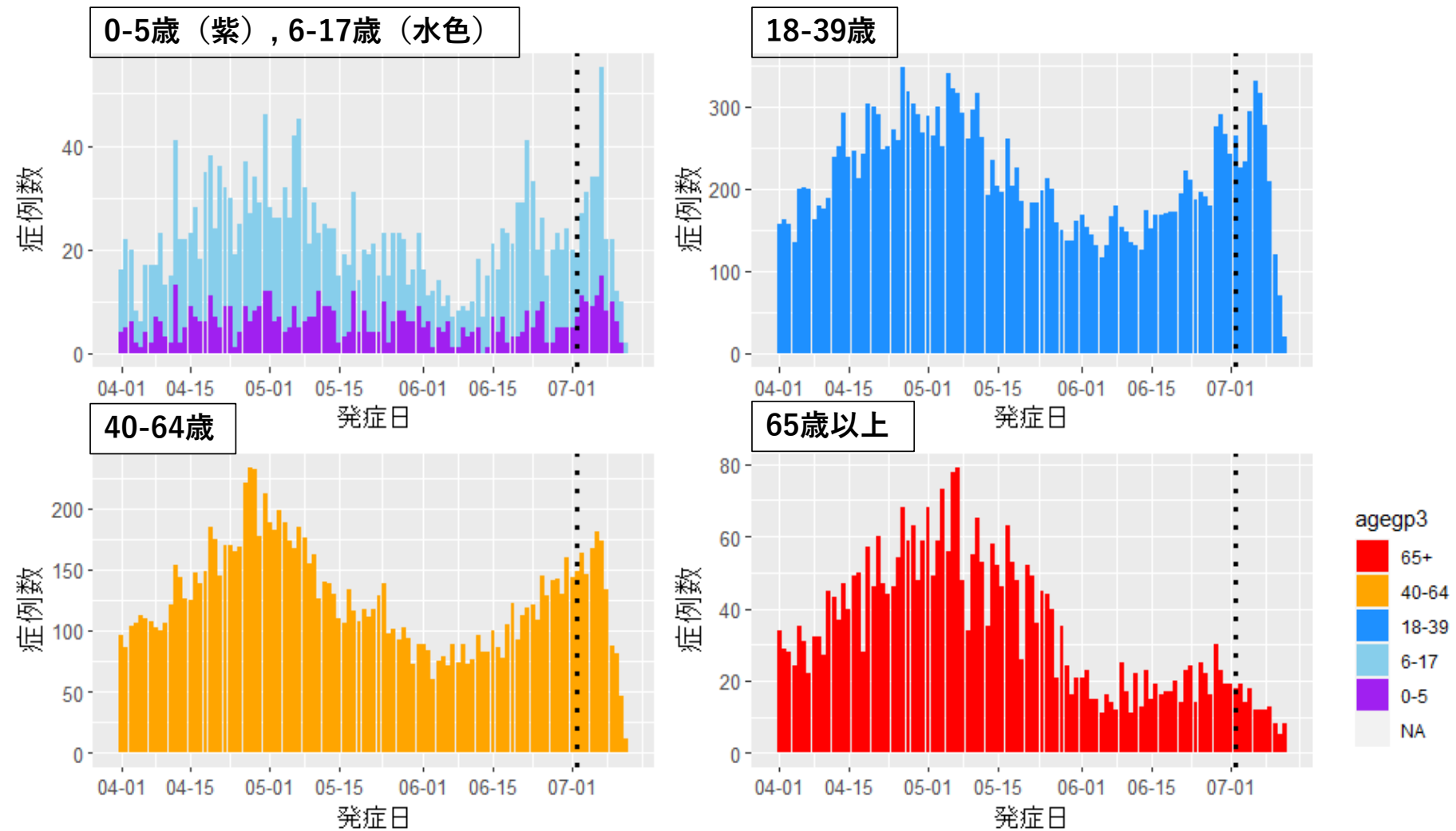


人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
沖縄（HER-SYS情報）

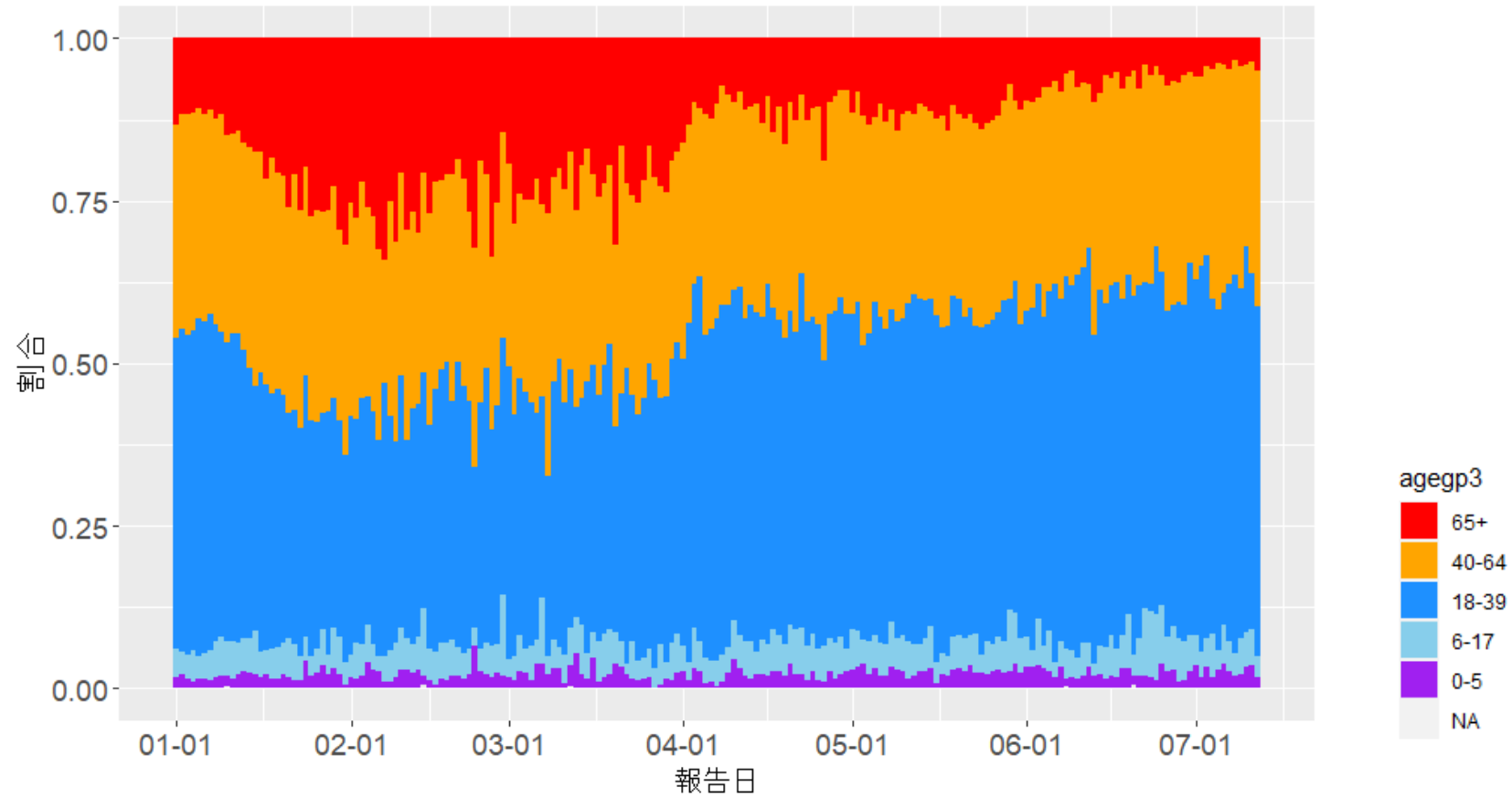
東京都の発症日別流行曲線：7月13日作成



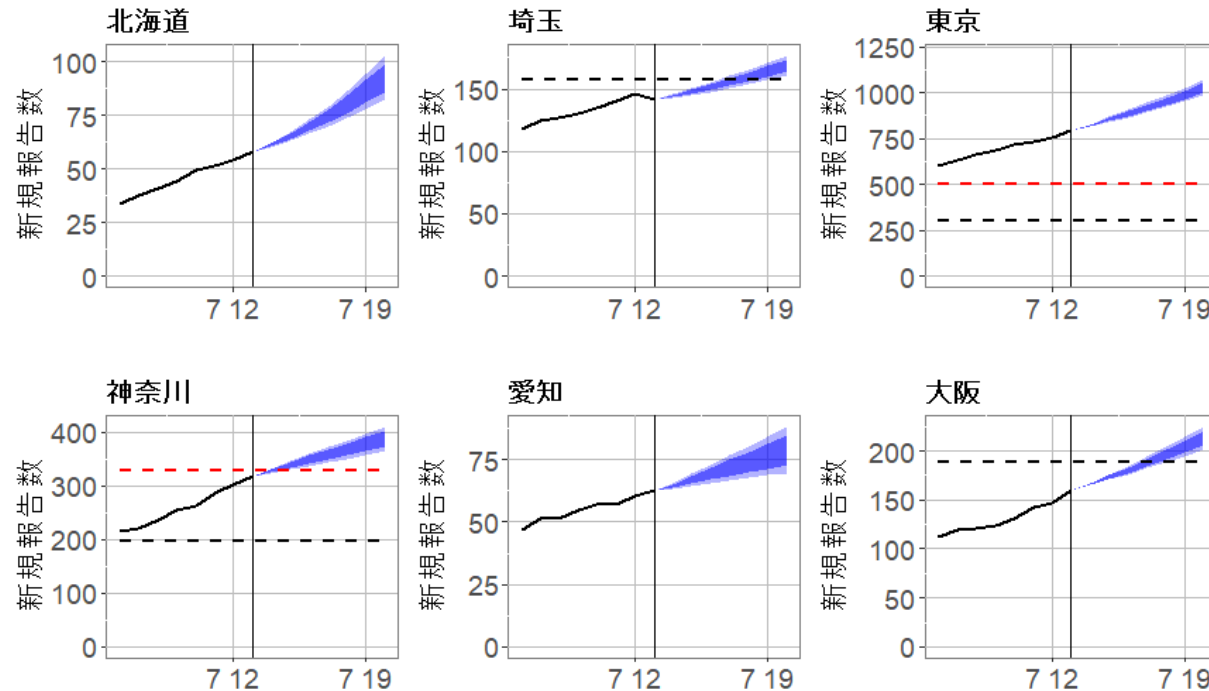
東京都の発症日別流行曲線：年代別、7月13日作成



東京都の症例の年代分布：報告日別、7月13日作成



新規患者数（7日間移動平均）のシミュレーション：7月13日作成



都道府県ごとに、新規症例数（報告日別）を用いてCori et al. AJE 2013の方法（window time=7）で実効再生産数を推定した。次に実効再生産数が8日前の人流、気温と関係するという想定のもとに時系列回帰分析を行い、これに基づいて今後7日間の実効再生産数の予測を行った。作成日時点の新規症例数の7日間移動平均値を起点として、予測実効再生産数の80%および95%予測区間の上限値と下限値を用いて今後7日間の予測症例数を算出した（図中の青帯）。点線はそれぞれ人口10万対7日間累積症例数が25相当、15相当をあらわす。人流データはGoogle社のCOVID-19：コミュニティモビリティレポート（<https://www.google.com/covid19/mobility/>）、気象データは気象庁の公開データを用いた。デルタ株の影響は考慮していない。

HER-SYSに登録された新規変異株症例のまとめ（7月13日時点）



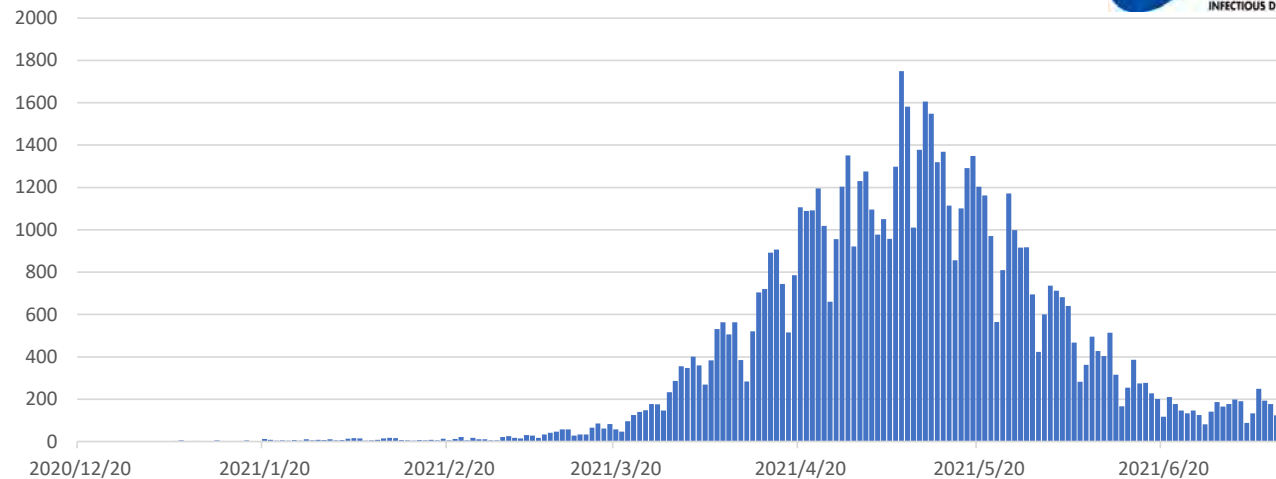
		ゲノム解析		
		実施	未実施	計
変異株 PCR	陽性	15,569	54,682	
	未実施	530		
	判定不能	79		
計		16,178	54,682	70,860
株		N=70,860		
B.1.1.7系統 (アルファ株)		13,967		
B.1.351系統 (ベータ株)		24		
P.1系統 (ガンマ株)		84		
B.1.617系統 (デルタ株等)		416		
その他		1,443		
空欄		54,926		

性別	N=70,860
男性	37,854
女性	32,884
不明	122
症状/発症届	N=70,860
肺炎	1,893
重篤な肺炎	223
ARDS	86
多臓器不全	22
死亡*	793

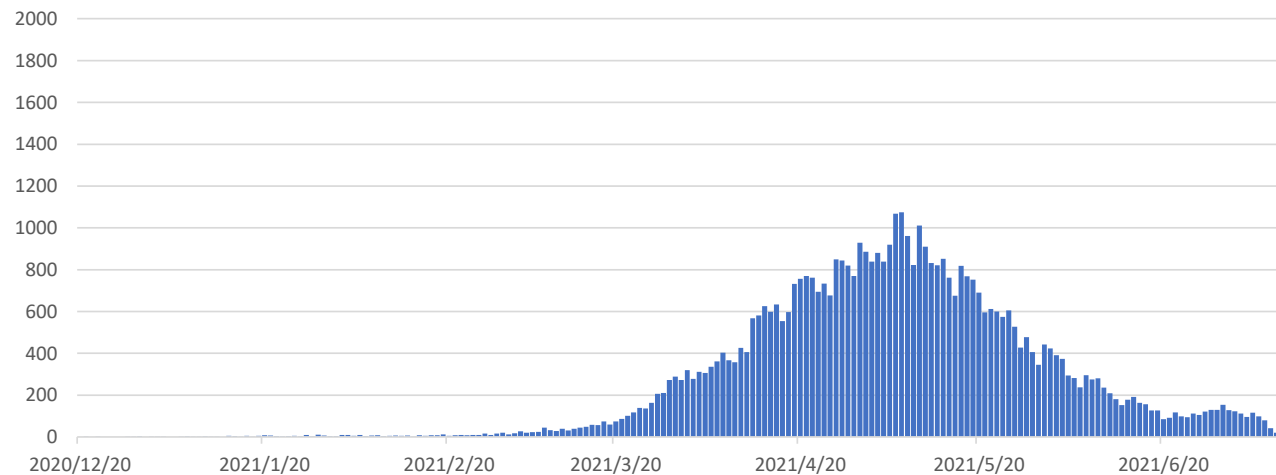
年齢	度数 N=70,860	割合
10歳未満	3,436	5%
10代	6,901	10%
20代	16,568	23%
30代	10,553	15%
40代	10,498	15%
50代	8,885	13%
60代	5,495	8%
70代	4,299	6%
80代	2,714	4%
90代以上	1,013	1%
不明	498	

*措置判定記録として死亡年月日があるもの

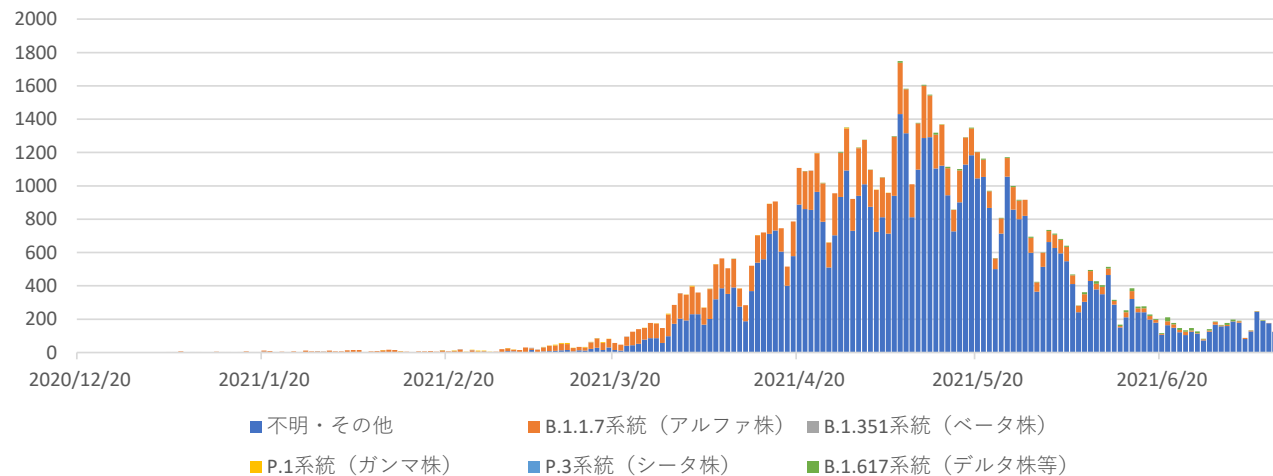
報告日別新規変異株症例届出数
(2020年12月20日～2021年7月12日) n=70,860



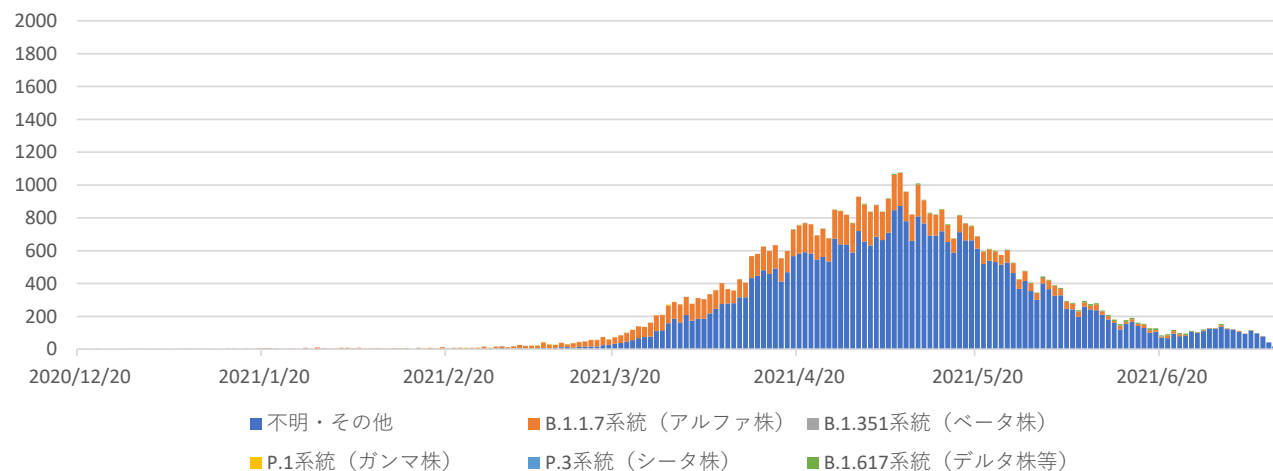
発症日別新規変異株症例届出数
(2020年12月20日～2021年7月12日) n=49,927



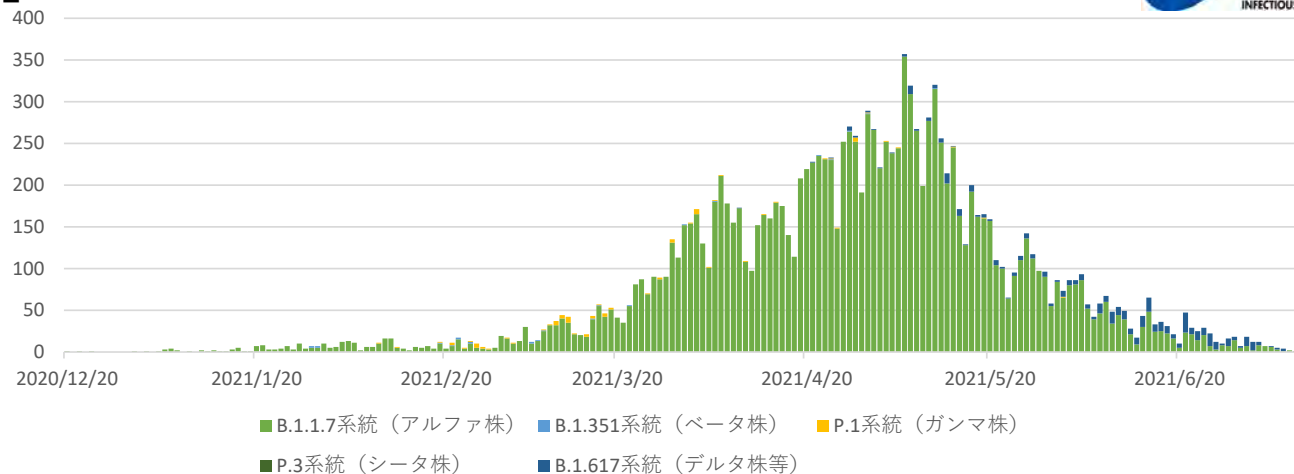
報告日別新規変異株症例届出数
 (2020年12月20日～2021年7月12日) n=70,860



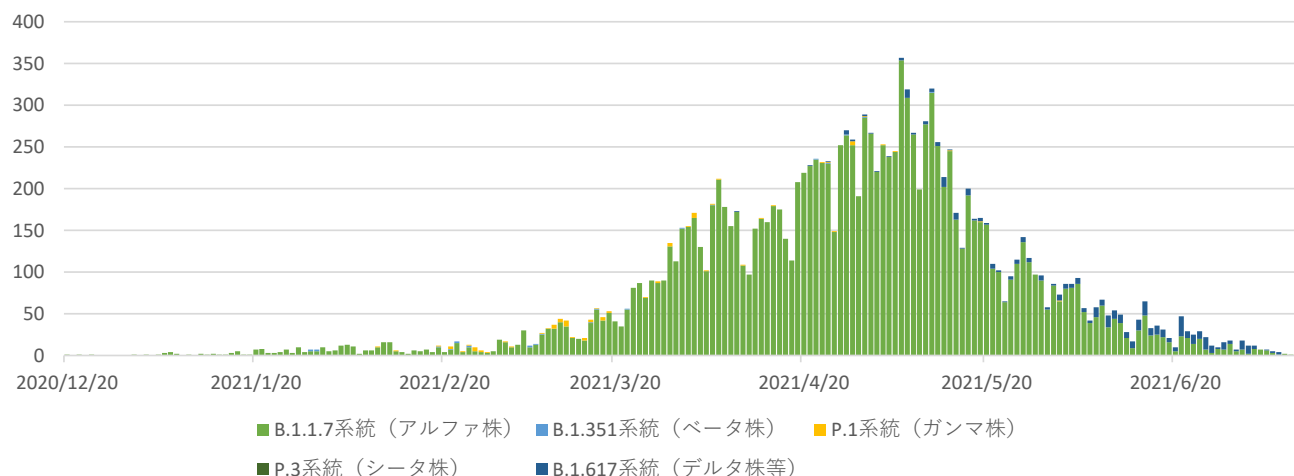
発症日別新規変異株症例届出数
 (2020年12月20日～2021年7月12日) n=49,927



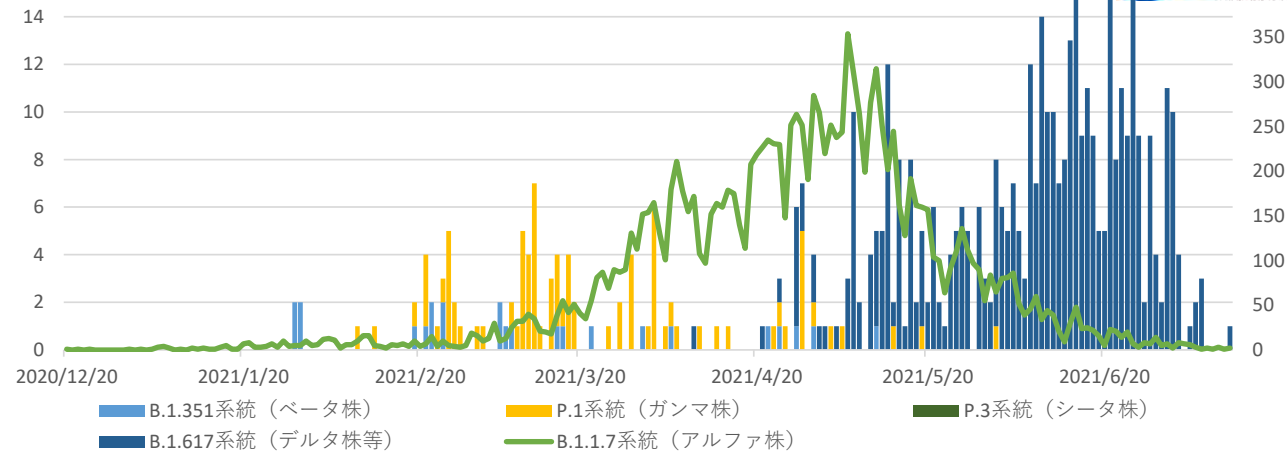
報告日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）
（2020年12月20日～2021年7月12日） n=14,491



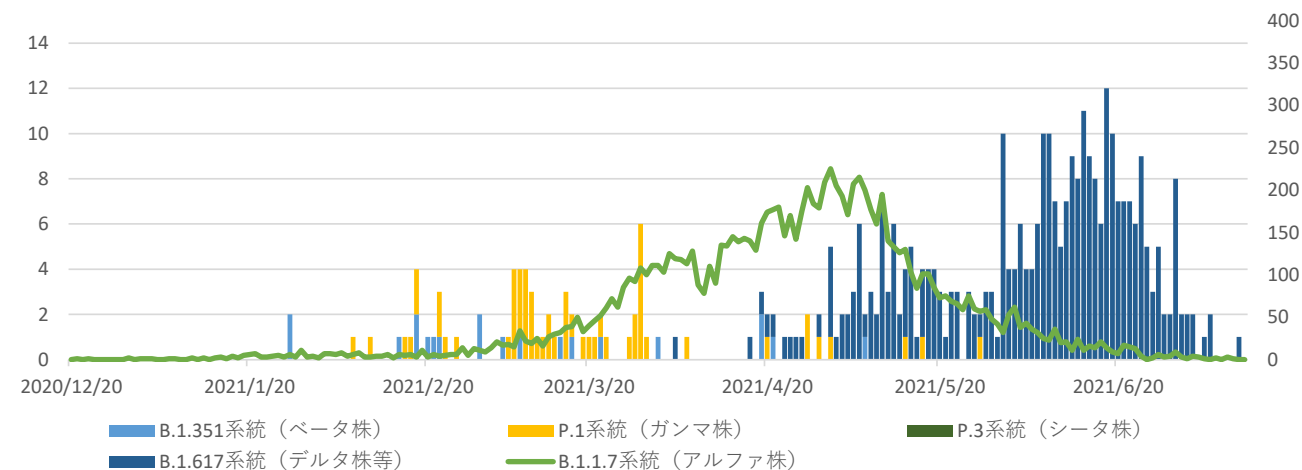
発症日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）
（2020年12月20日～2021年7月12日） n=10,561



報告日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）
（2020年12月20日～2021年7月12日） n=14,491



発症日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）
（2020年12月20日～2021年7月12日） n=10,561



HER-SYSに登録された新規変異株症例（2021年7月13日時点）（診断日2021年4月9日以降）
 B.1.1.7系統（アルファ株）と B.1.617系統（デルタ株等）のみ



性別	B.1.1.7系統 (アルファ株) n=10,809	B.1.617系統 (デルタ株等) n=416
男性	5,663	216
女性	5,130	200
不明	16	0

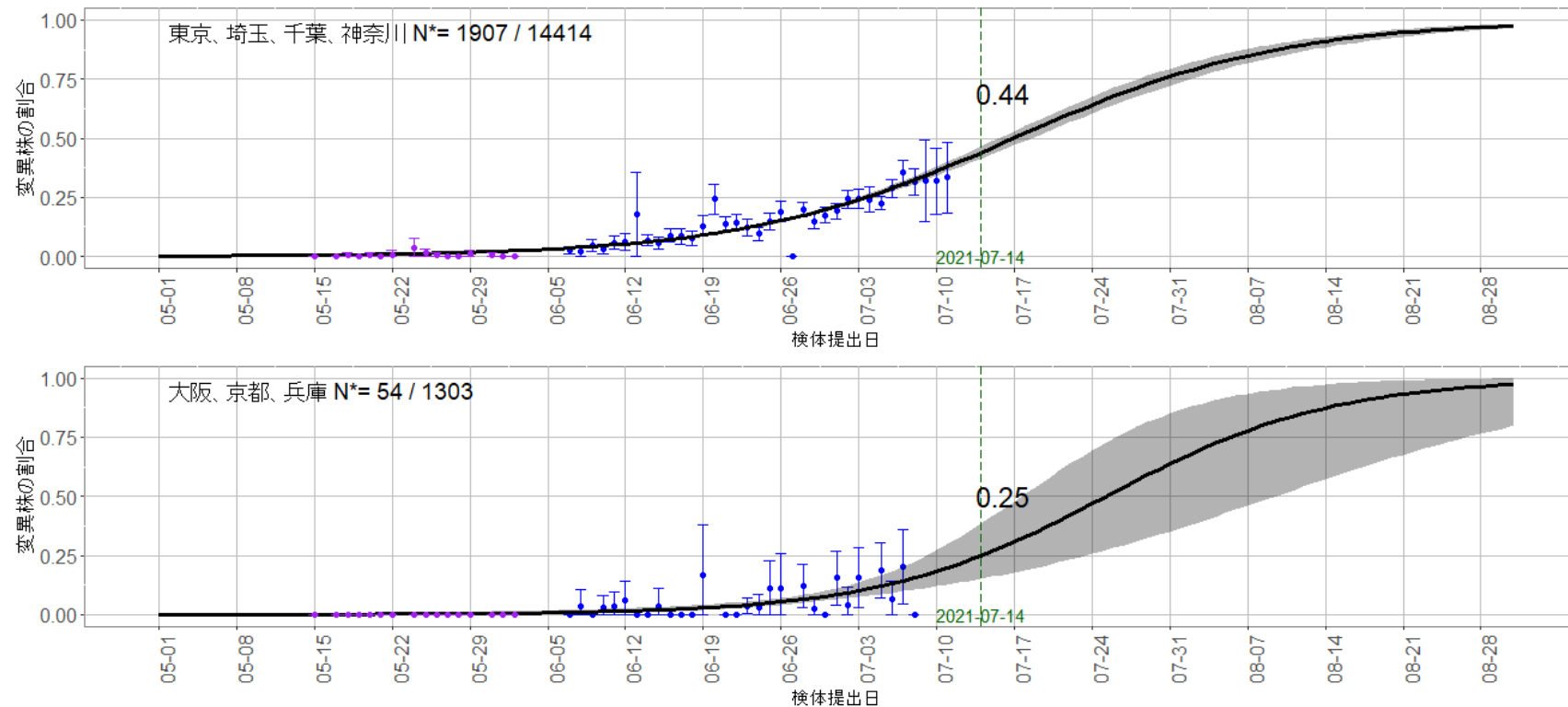
症状/発生届	B.1.1.7系統 (アルファ株) n=10,809	B.1.617系統 (デルタ株等) n=416
肺炎	293	10
重篤な肺炎	29	0
ARDS	12	0
多臓器不全	4	0
死亡*	143	3

年齢	B.1.1.7系統 (アルファ株) n=10,809	割合	B.1.617系統 (デルタ株等) n=416	割合
10歳未満	466	4%	36	9%
10代	1,025	9%	49	12%
20代	2,255	21%	89	21%
30代	1,515	14%	82	20%
40代	1,634	15%	60	14%
50代	1,397	13%	48	12%
60代	987	9%	28	7%
70代	810	7%	8	2%
80代	483	4%	10	2%
90代以上	186	2%	4	1%
不明	51		2	

*措置判定記録として死亡年月日があるもの

SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：7月12日時点

*L452R変異検出数/変異株スクリーニング件数

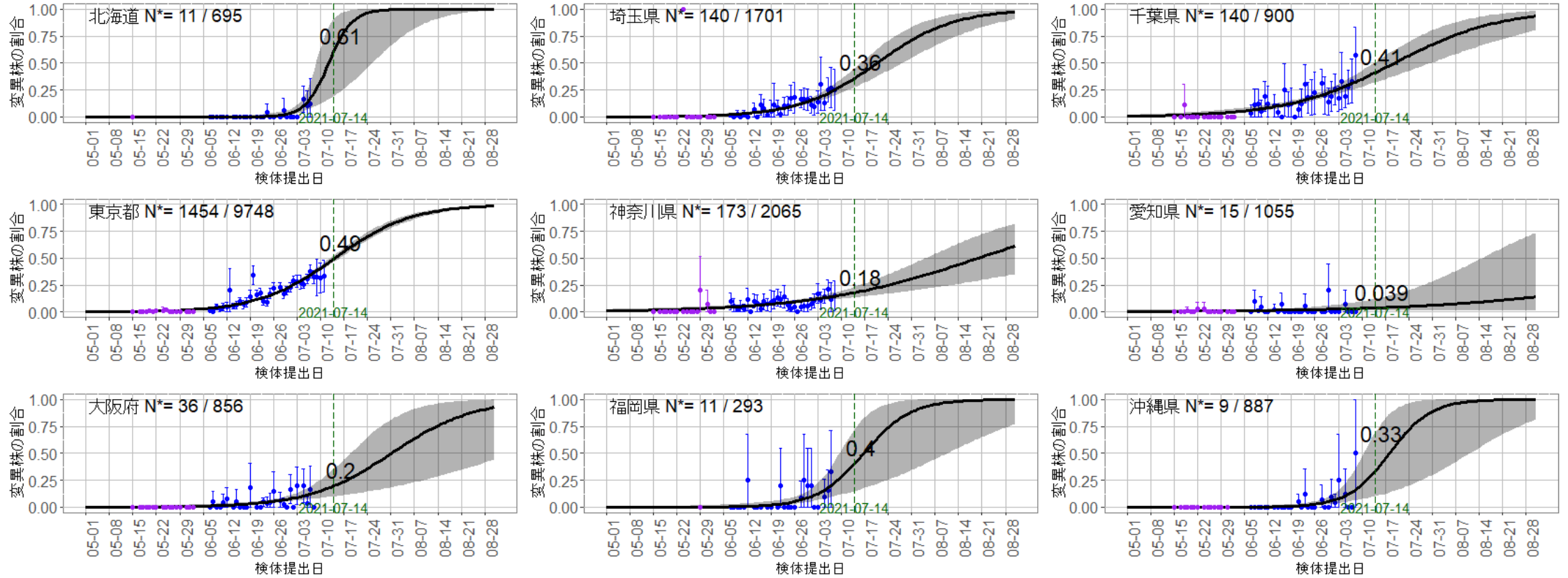


データは民間検査会社（6社）の変異株スクリーニング検査の結果を用いた。6月6日以前は原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てN501Y-PCR検査が実施され、N501Y陰性検体についてL452R-PCR検査が実施された（分母は全N501Y-PCR検査実施数）。6月7日以降は原則各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てL452R-PCR検査が実施された（分母は全L452R-PCR検査実施数）。図中の点は検体提出日ごとのL452R変異割合の点推定値、バーは95%信頼区間の上限と下限を表す。なお、スクリーニング体制の変更があったことから、6月6日以前を紫色、6月7日以降を青色で区別している。分析に際しては、最終的にすべてのウイルスがL452R変異を有するウイルスに置き換わることを前提としている。推定には不確実性があり（図中では推定ラインの95%信頼区間をグレーで示している）、今後、スクリーニング件数が増えることで値や形状が変化する可能性がある。

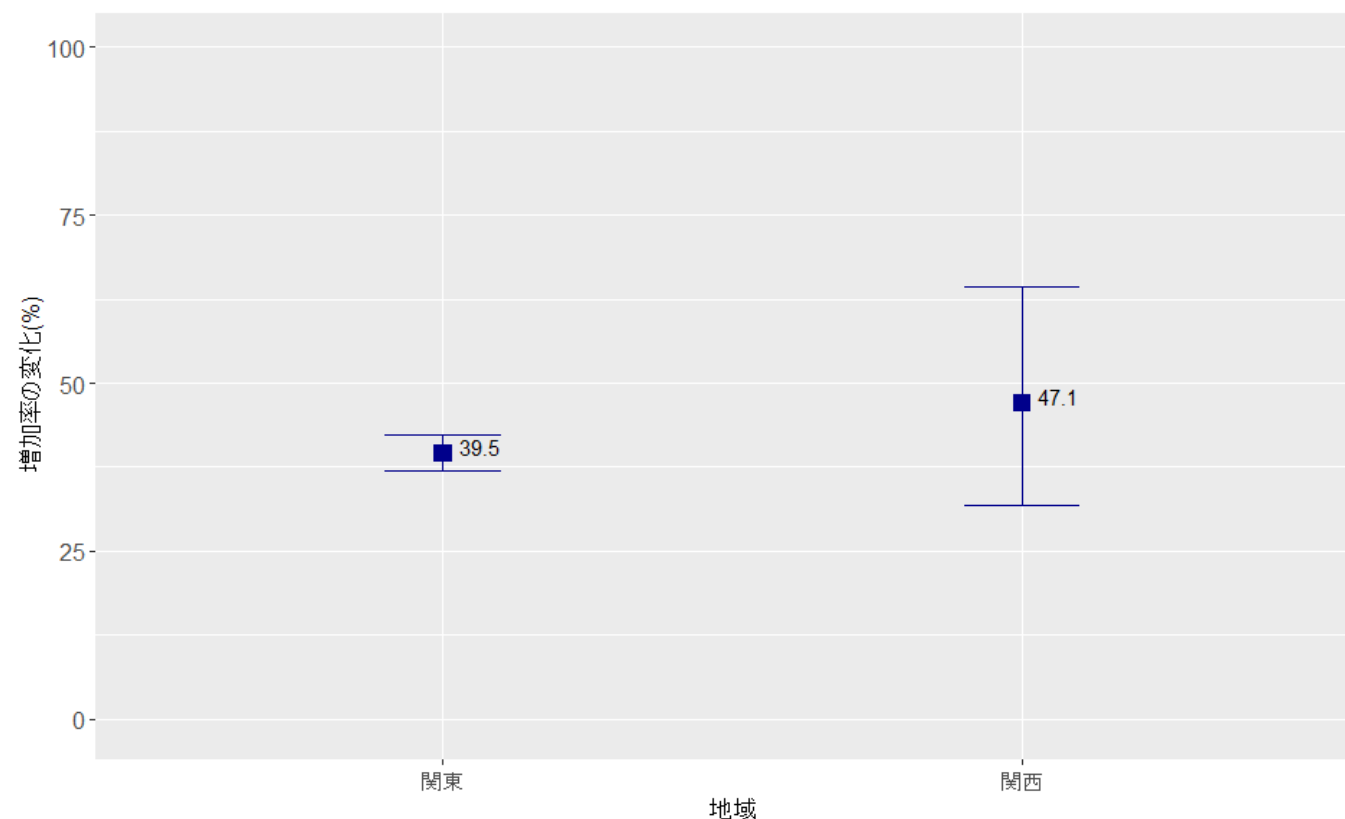
SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：7月12日時点（一部都道府県抜粋）



*L452R変異検出数/変異株スクリーニング件数



L452R変異ウイルスによる感染・伝播性の増加：7月12日時点推定値



データは民間検査会社（6社）のL452R-PCRスクリーニング検査の結果を用いた。6月6日以前は原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てN501Y-PCR検査が実施され、N501Y陰性検体についてL452Rスクリーニング検査が実施された。6月7日以降N501Y-PCRスクリーニングはL452R-PCRスクリーニングに切り替えられ、原則各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てL452R-PCR検査が実施された。図中の値はL452R変異ウイルスの感染・伝播性（transmissibility）が従来流行していたウイルス（N501Y変異ウイルス等）のそれに比べてどれだけ増加したかを表し、観察期間中のN501Y変異ウイルスの実効再生産数が1であるという想定の下に算出した推定値である。推定値には不確実性があり（図には95%信頼区間を示す）、今後、スクリーニング件数が増えることで値が変化する可能性がある。推定に用いた方法は以下文献を参照のこと：Erik Volz, et al. medRxiv 2020.12.30.20249034; doi: <https://doi.org/10.1101/2020.12.30.20249034>

実効再生産数の推定

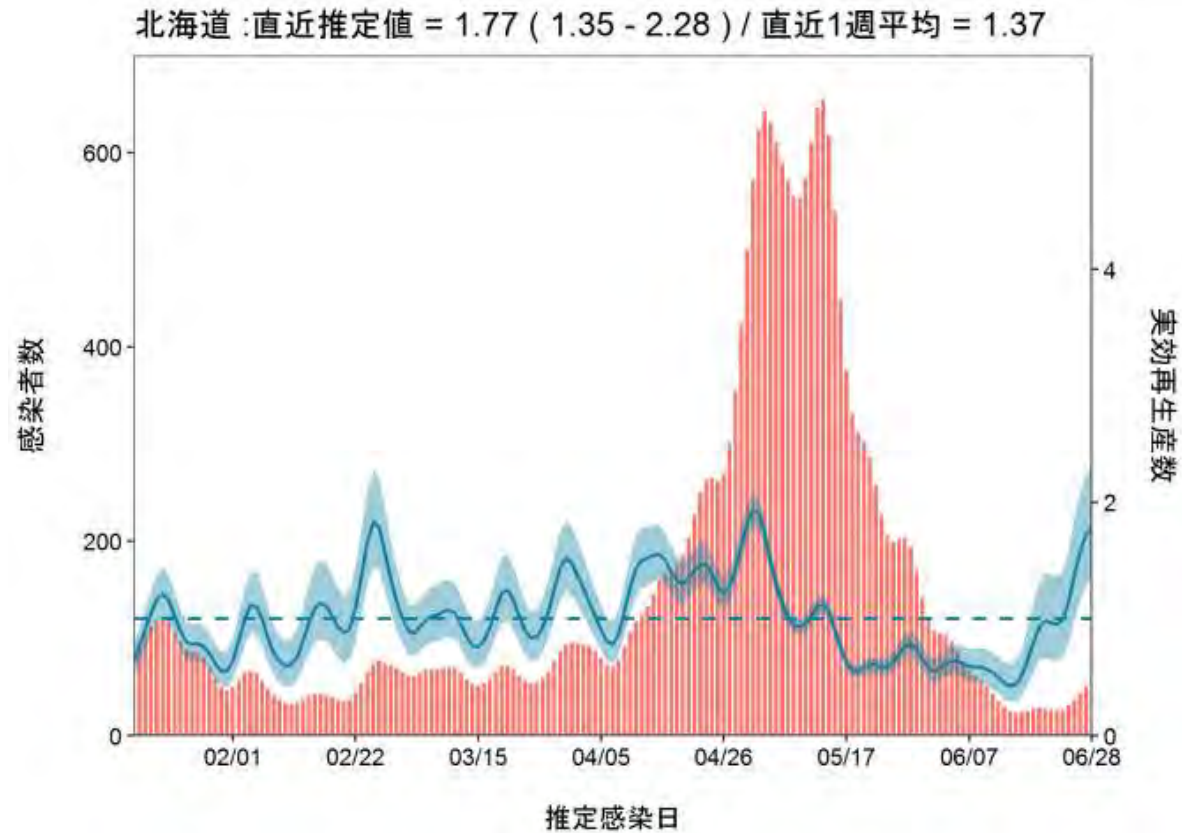
- ・分析対象地域 => **HERSYS**データによる分析
（一部自治体が完全移行下で突然にプレスリリース情報の中止がある、あるいは、近日の報告の遅れを避けるため）
- ・赤色バーは**HERSYS**データに基づく推定感染時刻。推定日データの最新観察日から起算して、報告の遅れがほぼ影響しない**14**日前までの推定を実施。

リアルタイム予測

- ・約**2週間**を要する感染から報告までの遅れを実効再生産数の時系列データで補間してナウキャストイングを試みたもの
- ・**Rt**の時系列データは時系列情報に依存。極端な行動の変化などに対応していない。**Rt**の時系列パターンに依存しており、変異株による置き換え・急増などを加味したリアルタイム予測ではない。
- ・変異株流行下での、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言に係る措置の効果は不確実性が高く予測困難のため、加味していない

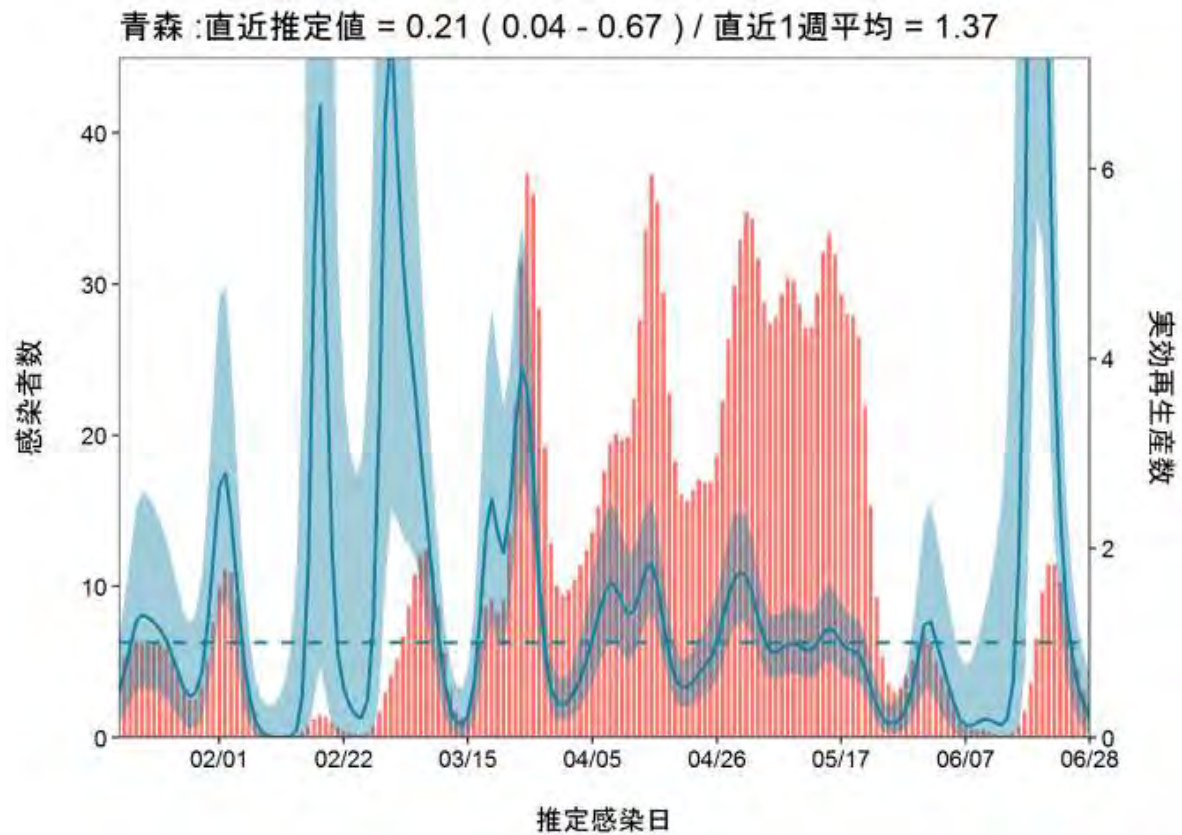
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



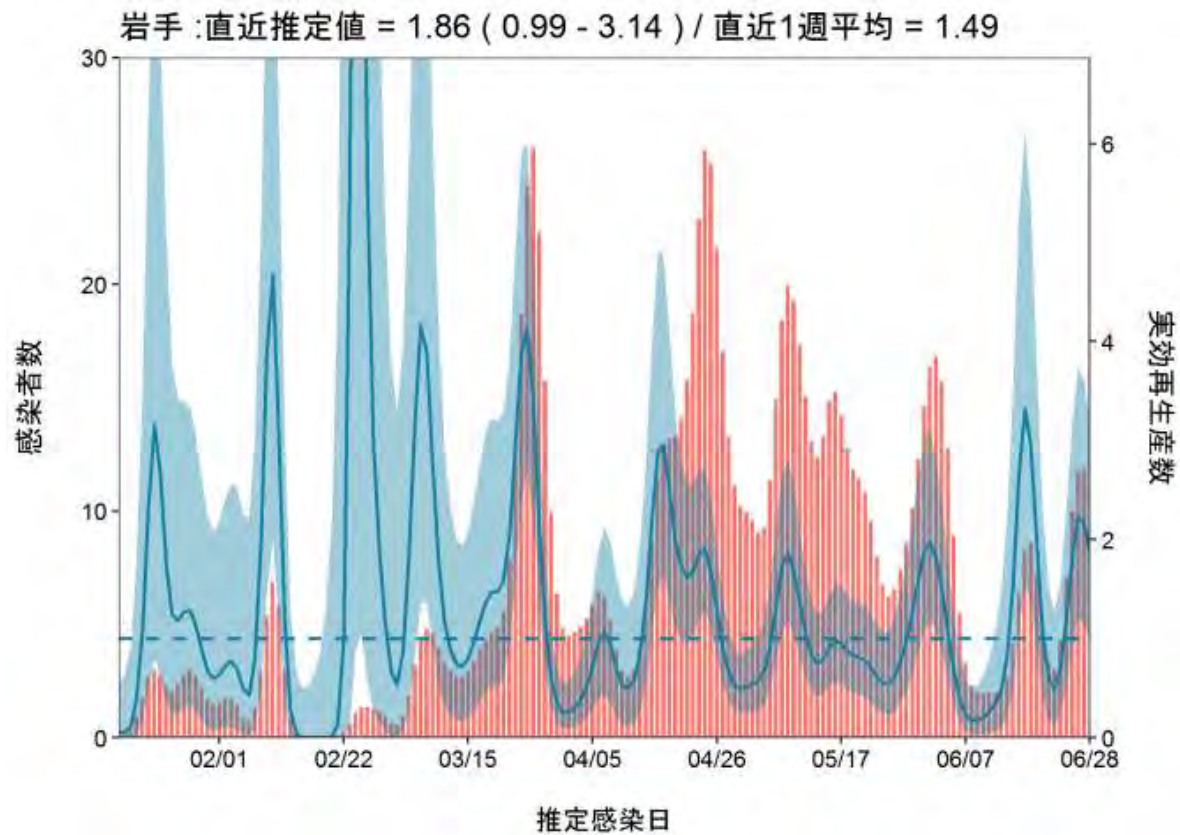
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



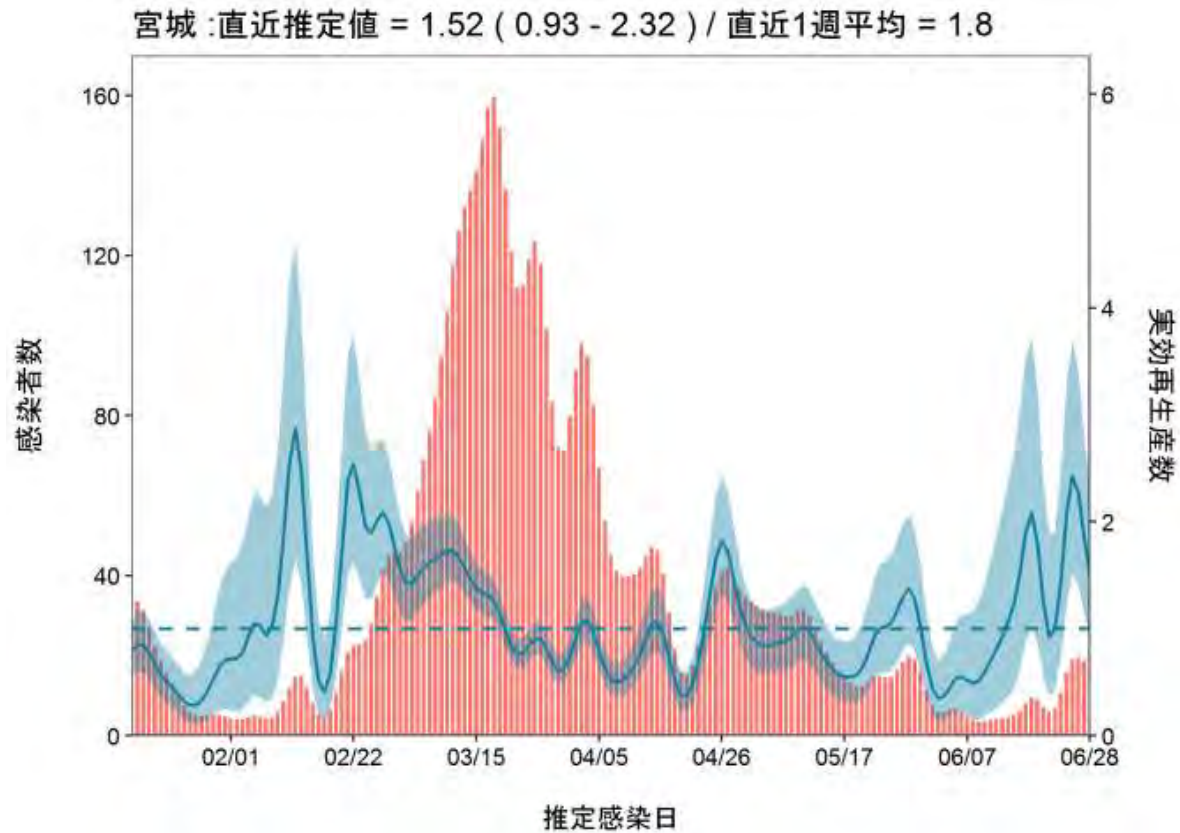
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



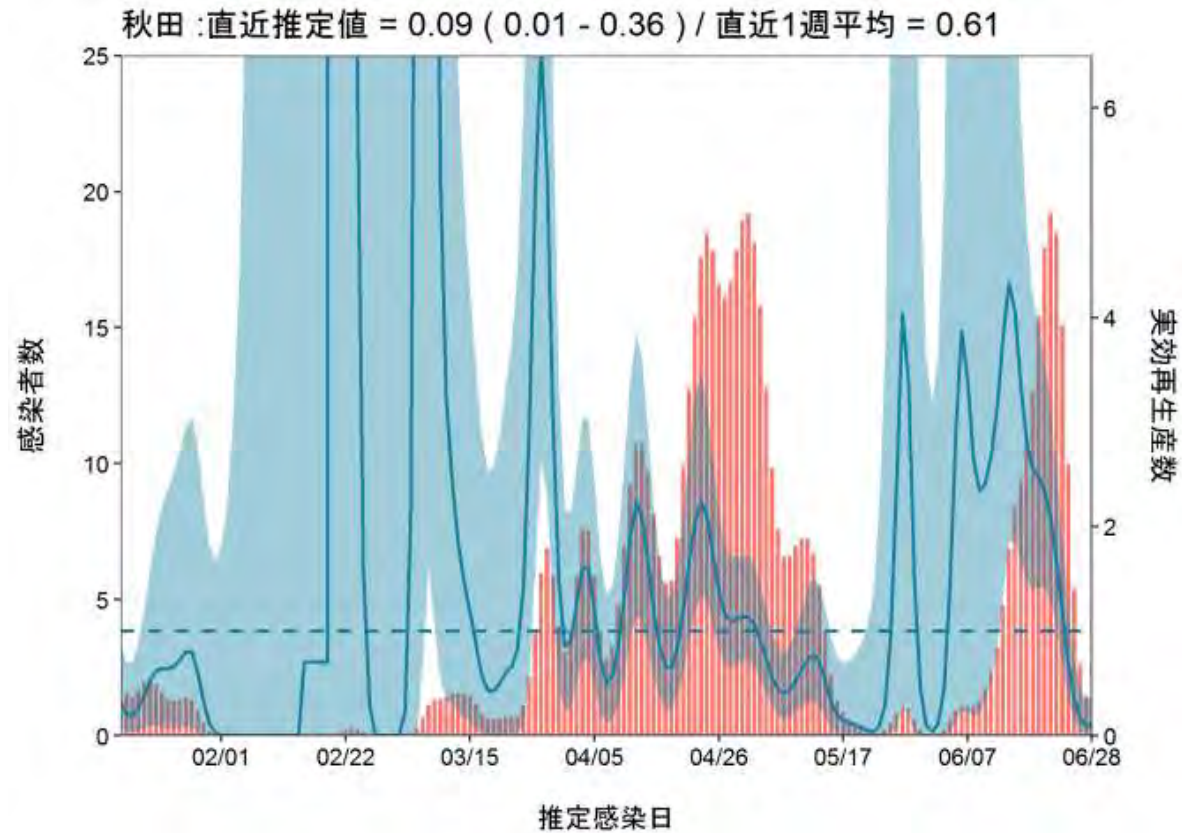
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



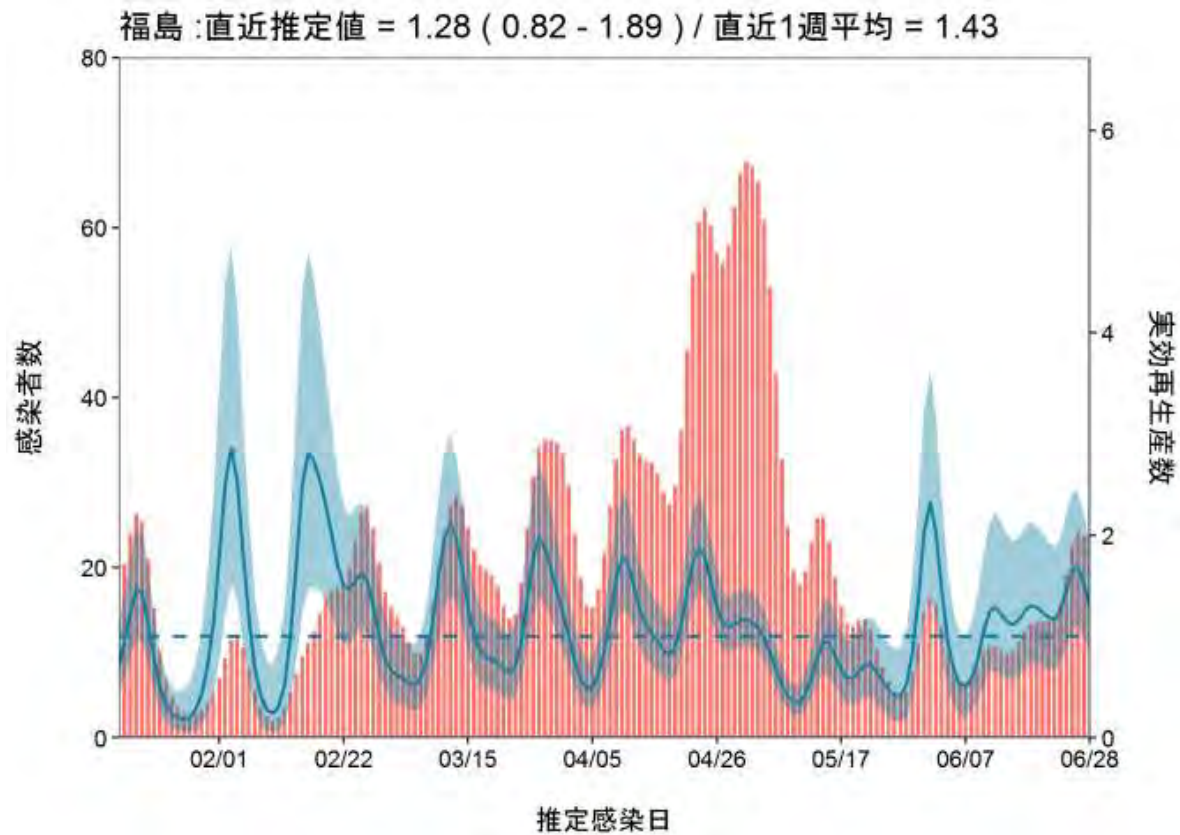
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

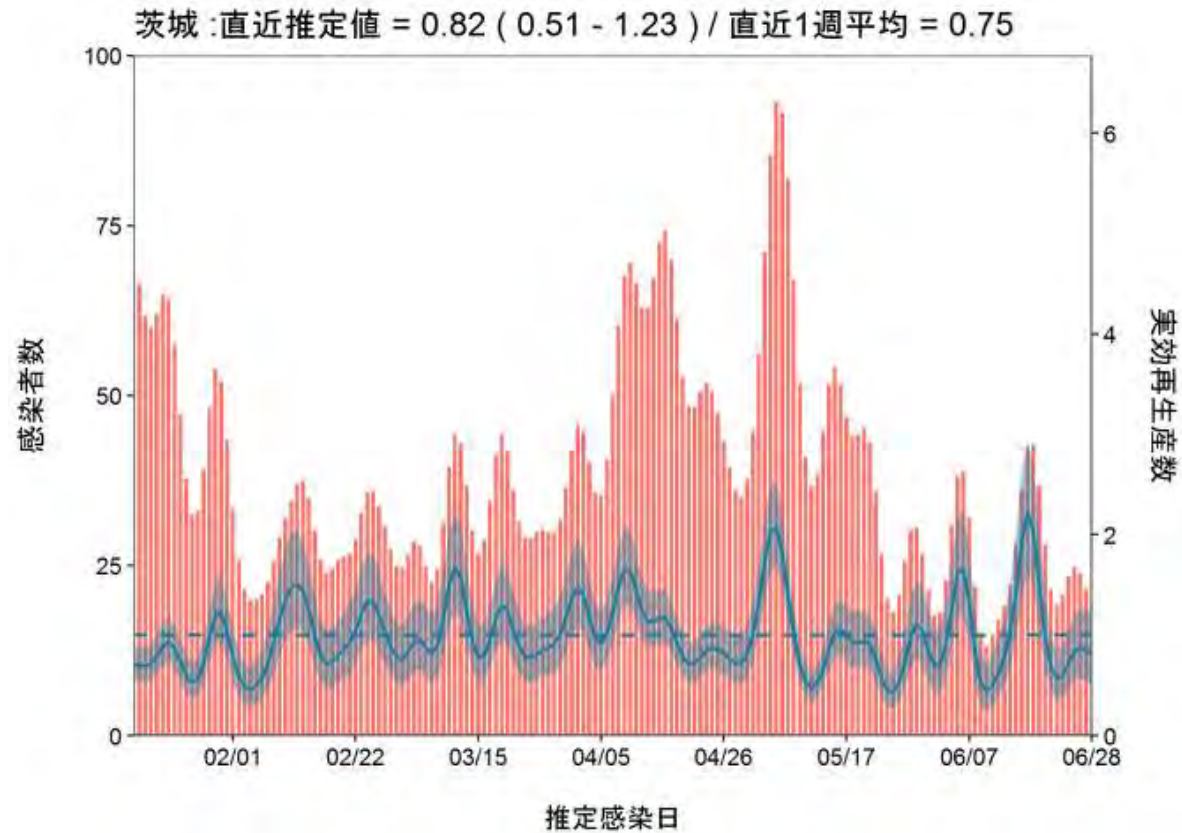


推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

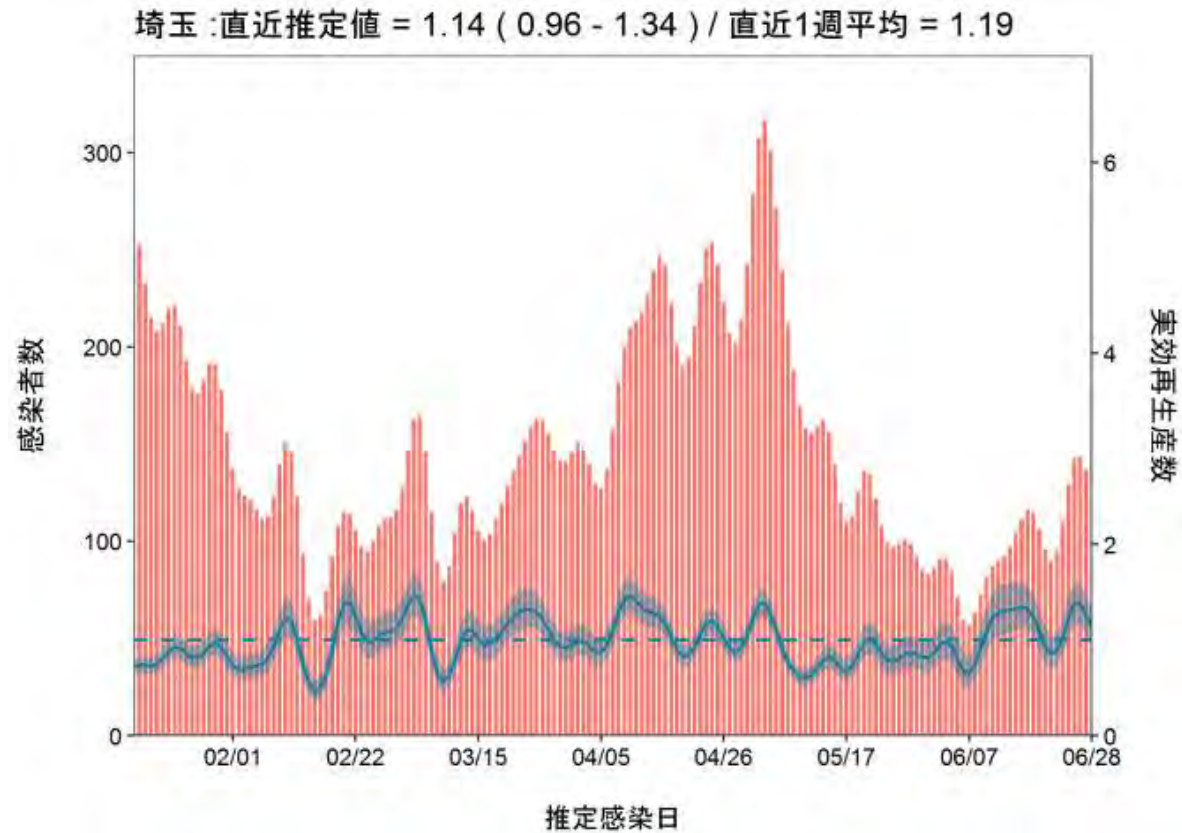


推定日 7月13日
最新推定感染日付 6月28日



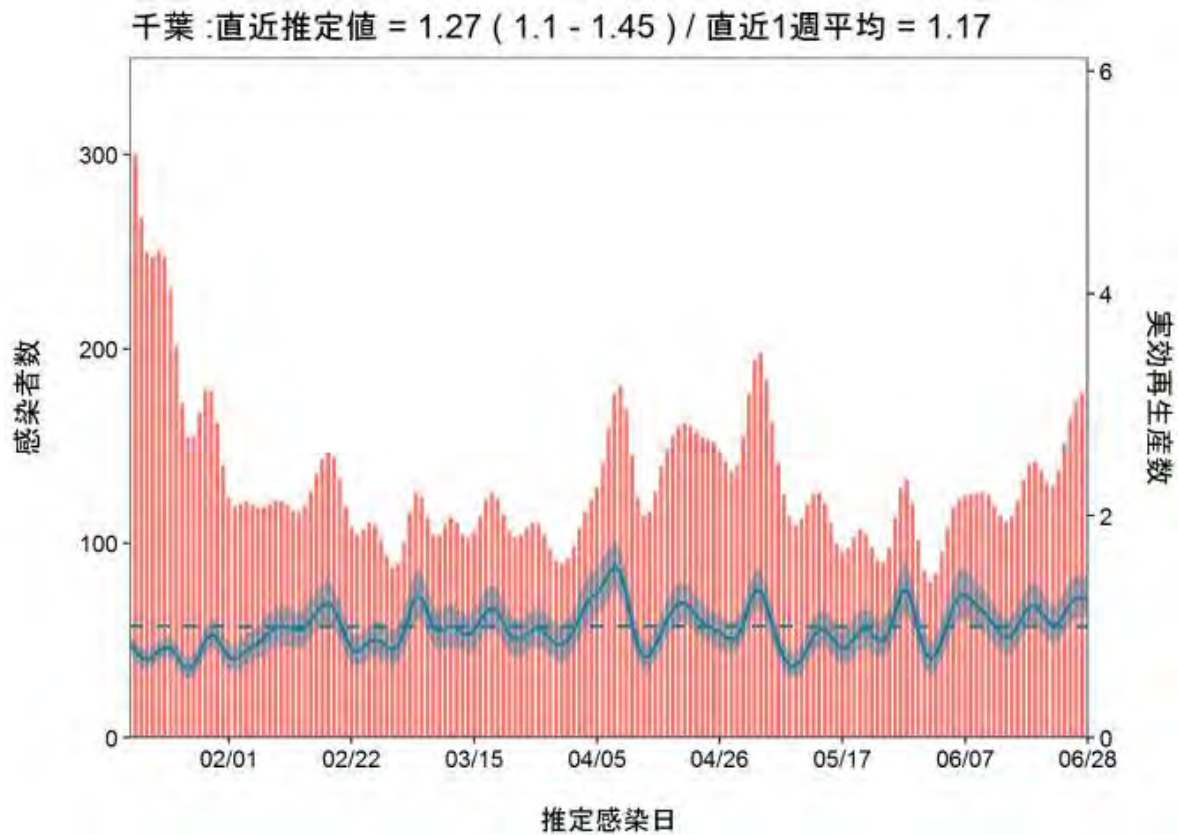
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

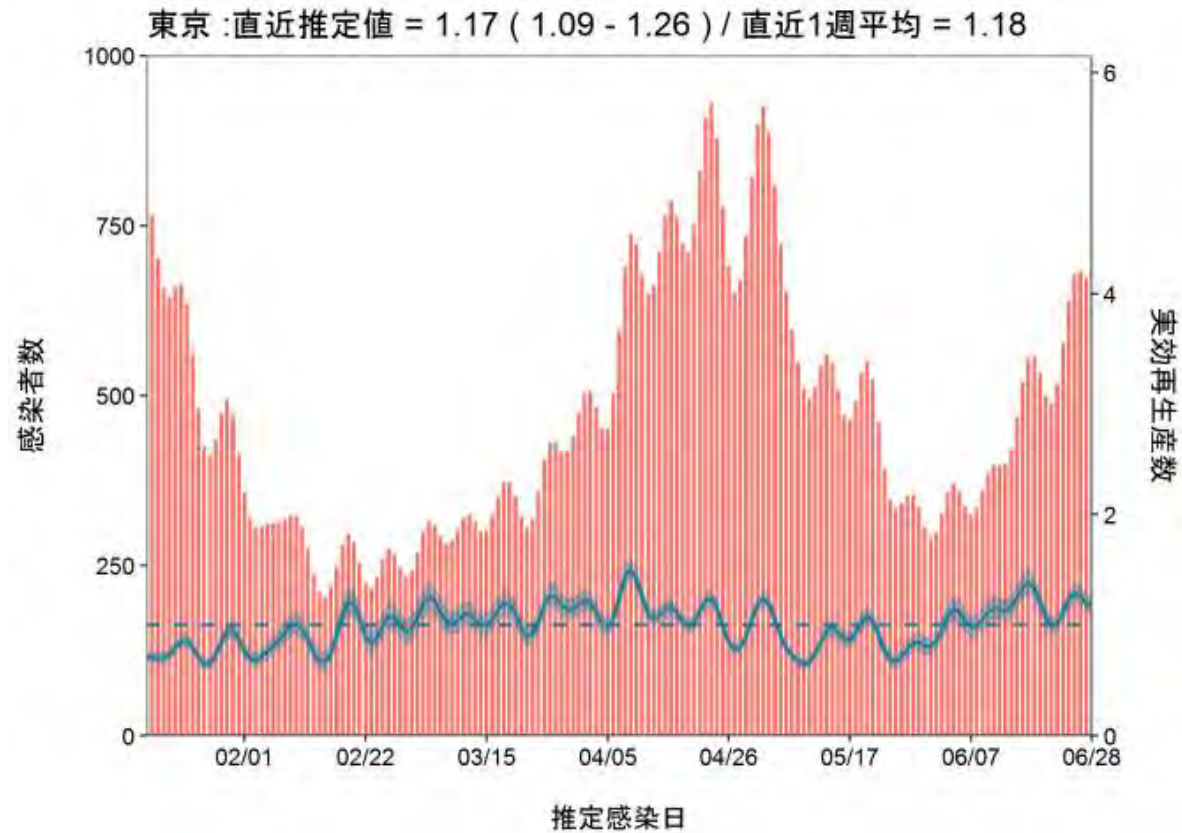


推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

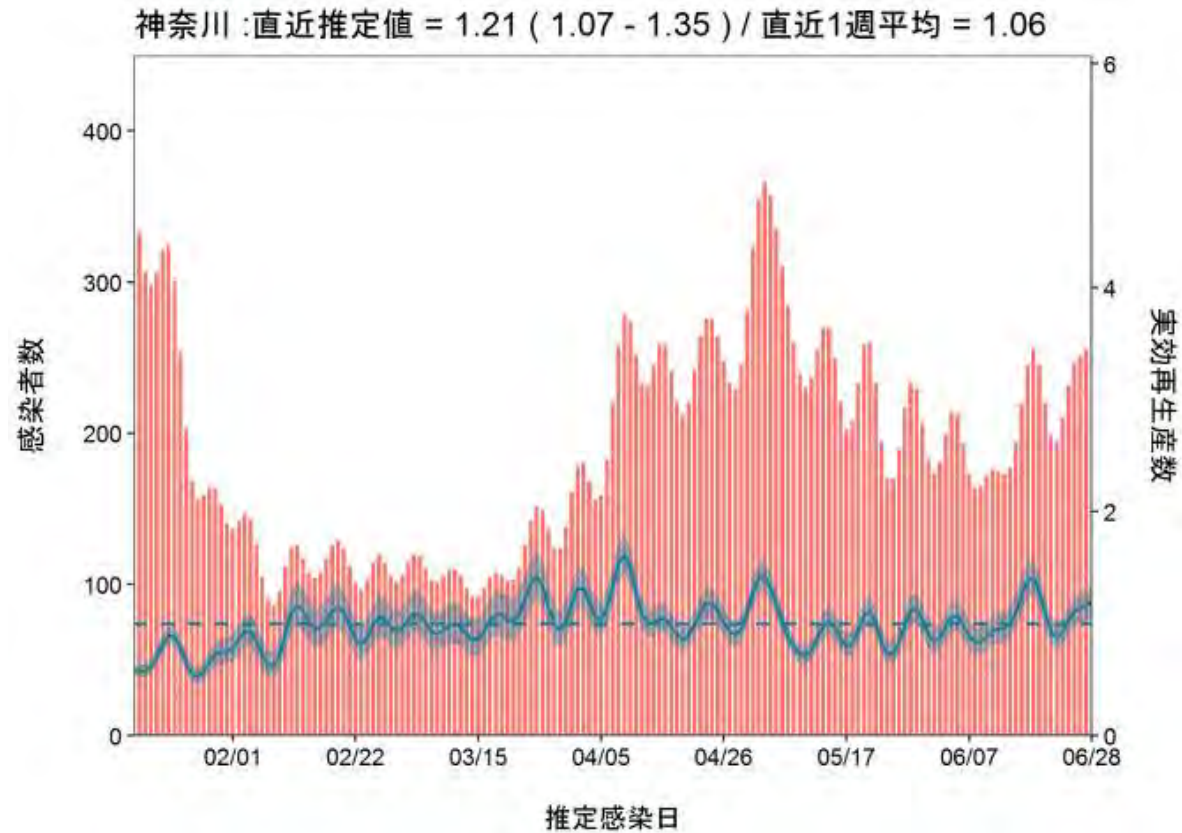


推定日 7月13日
最新推定感染日付 6月28日



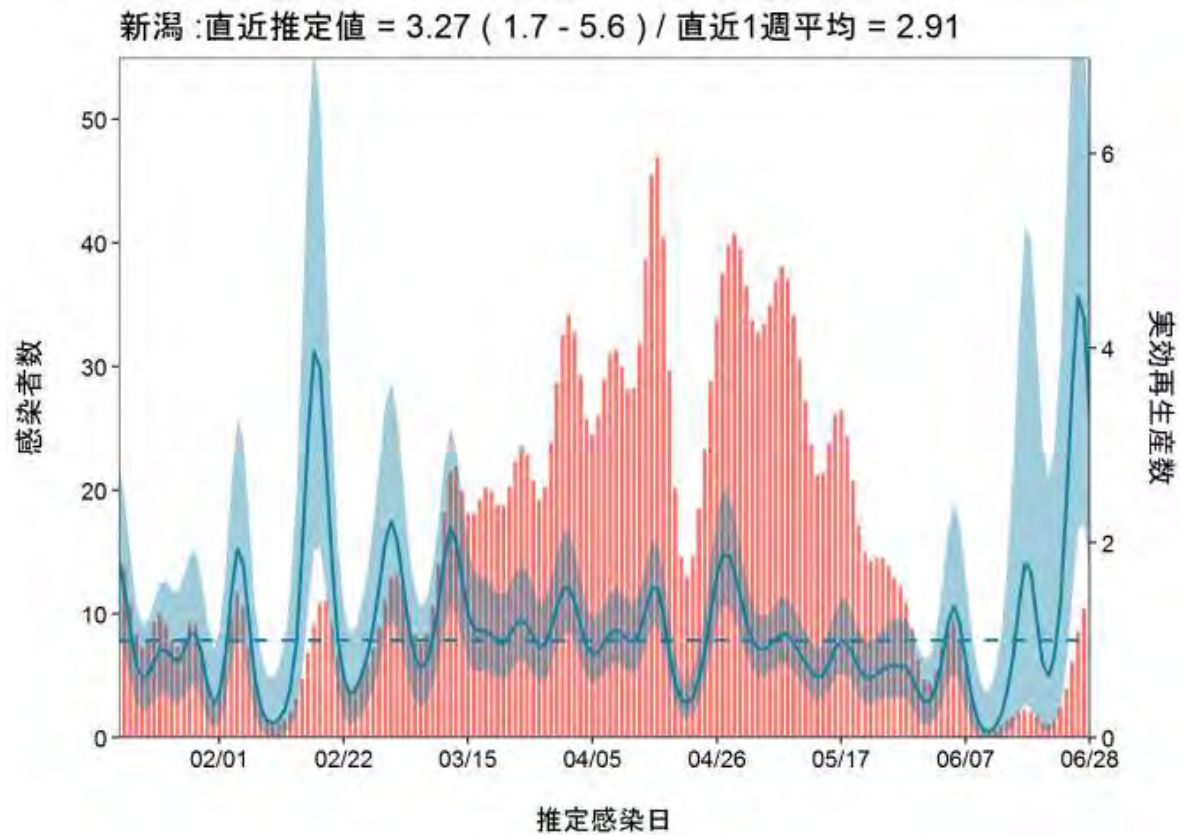
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



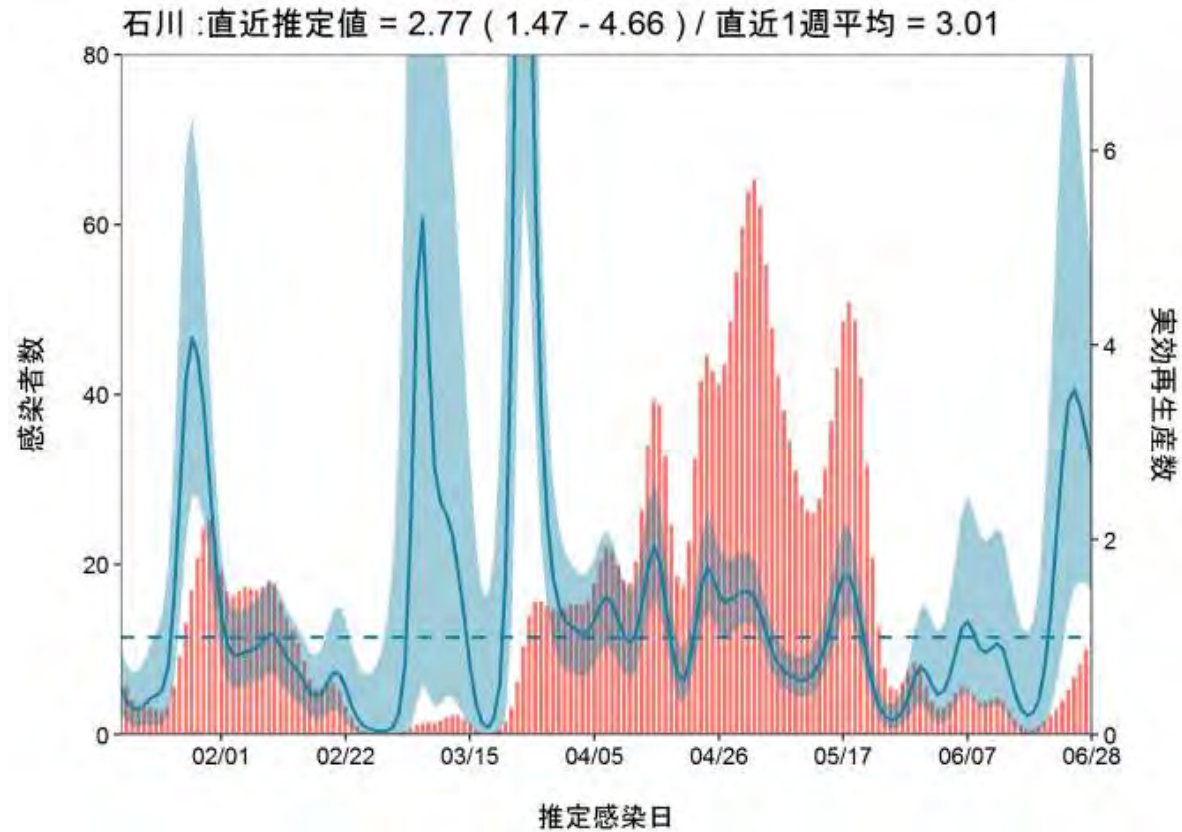
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

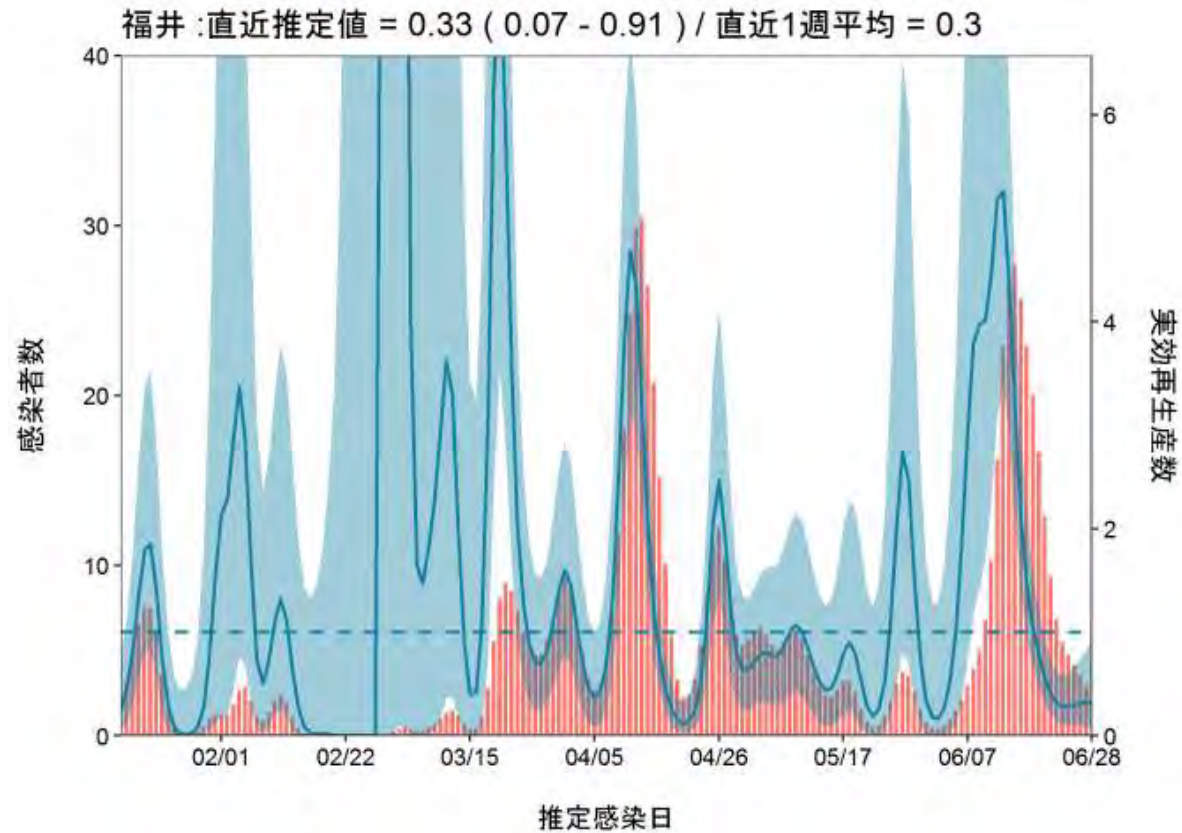


推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

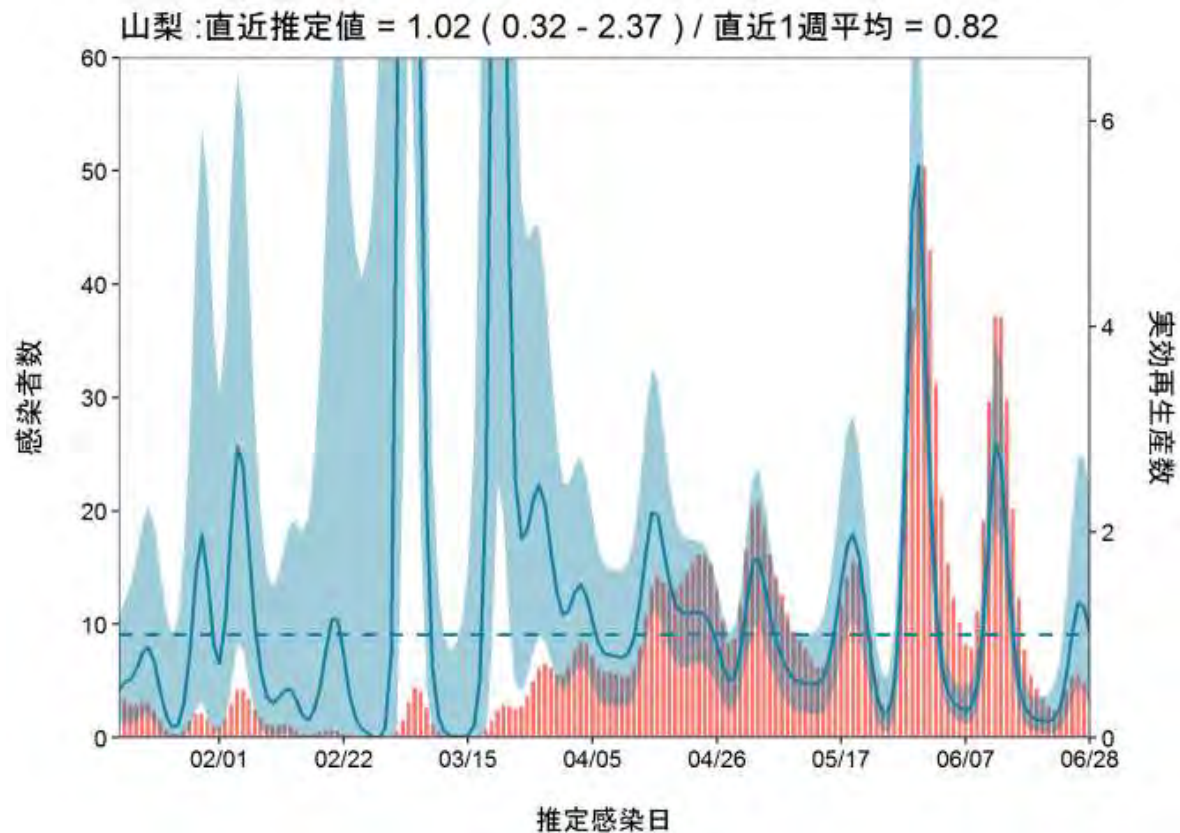


推定日 7月13日
最新推定感染日付 6月28日



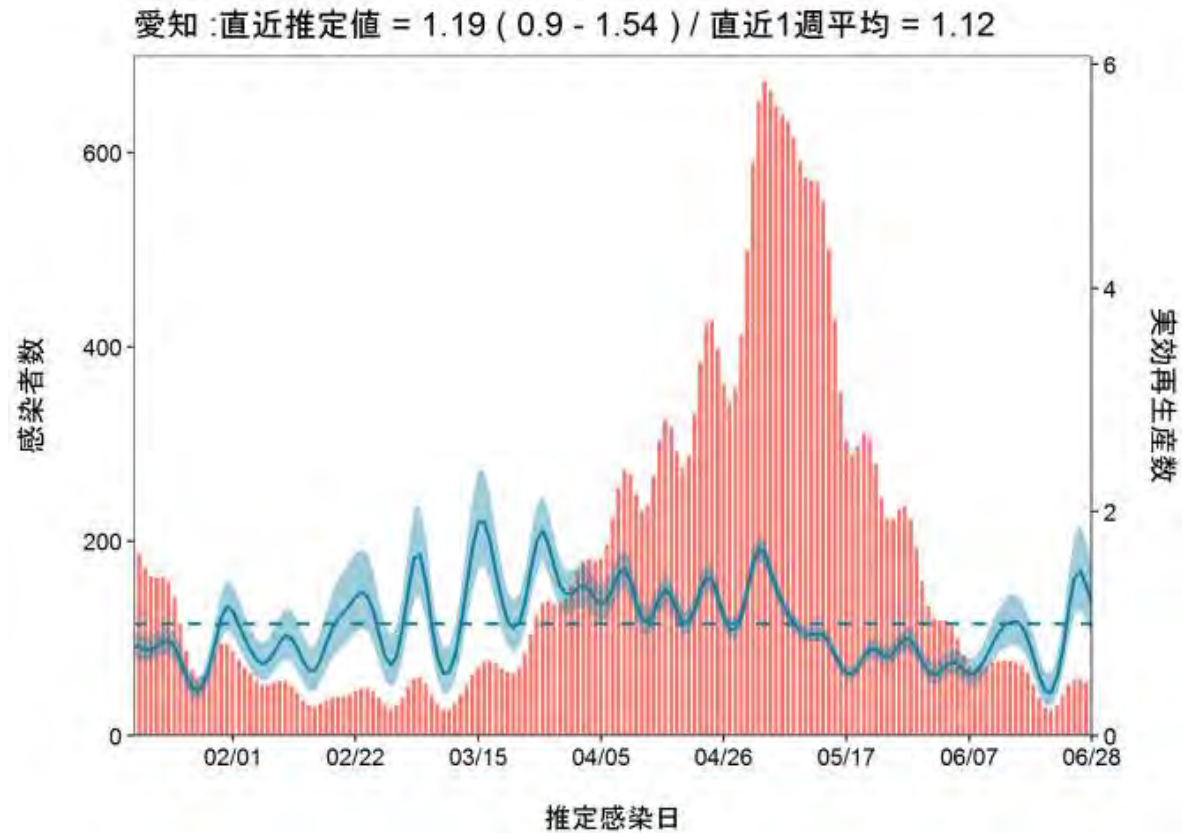
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



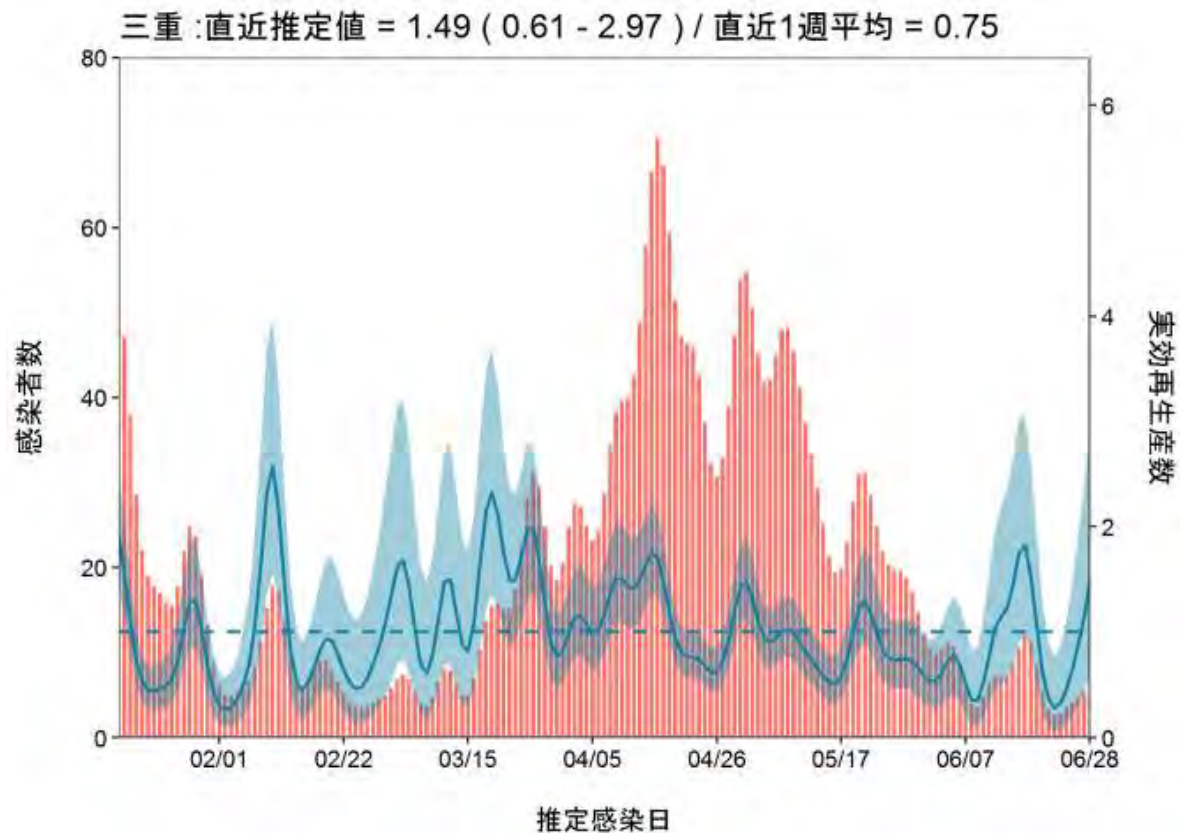
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



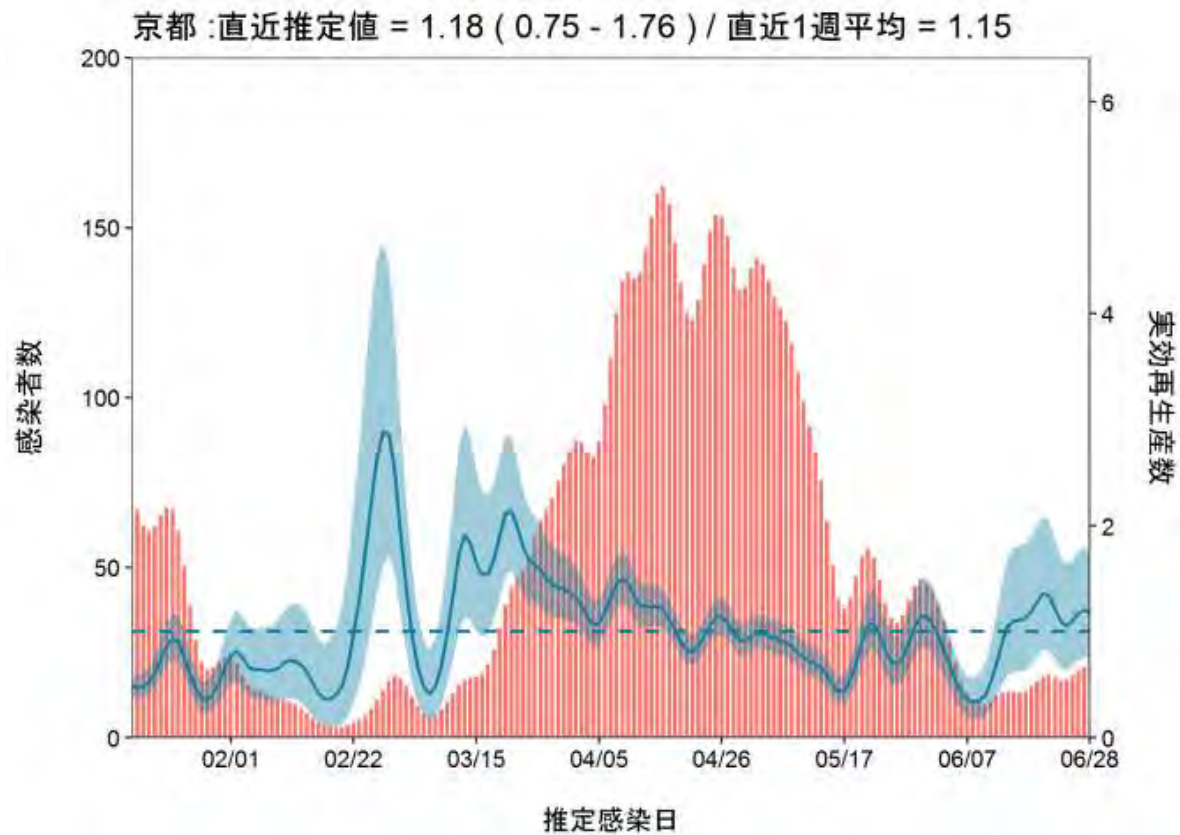
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

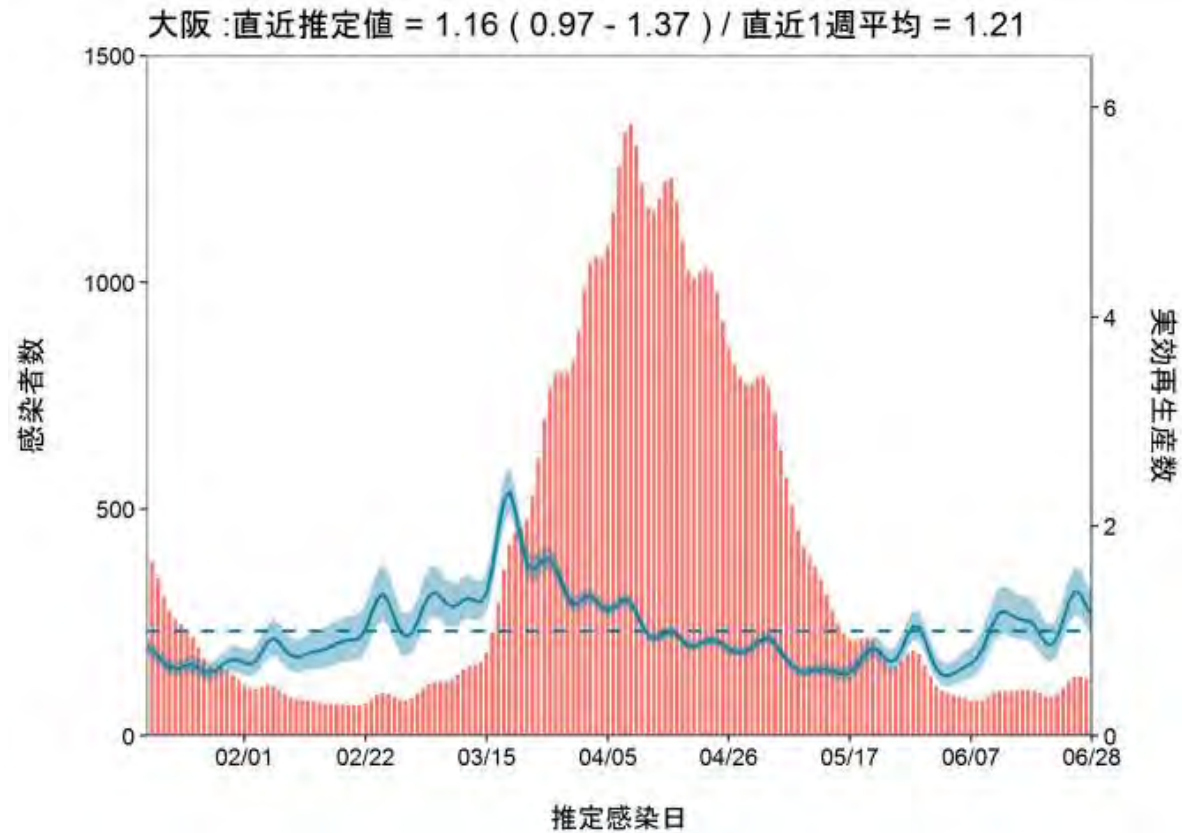


推定日 7月13日

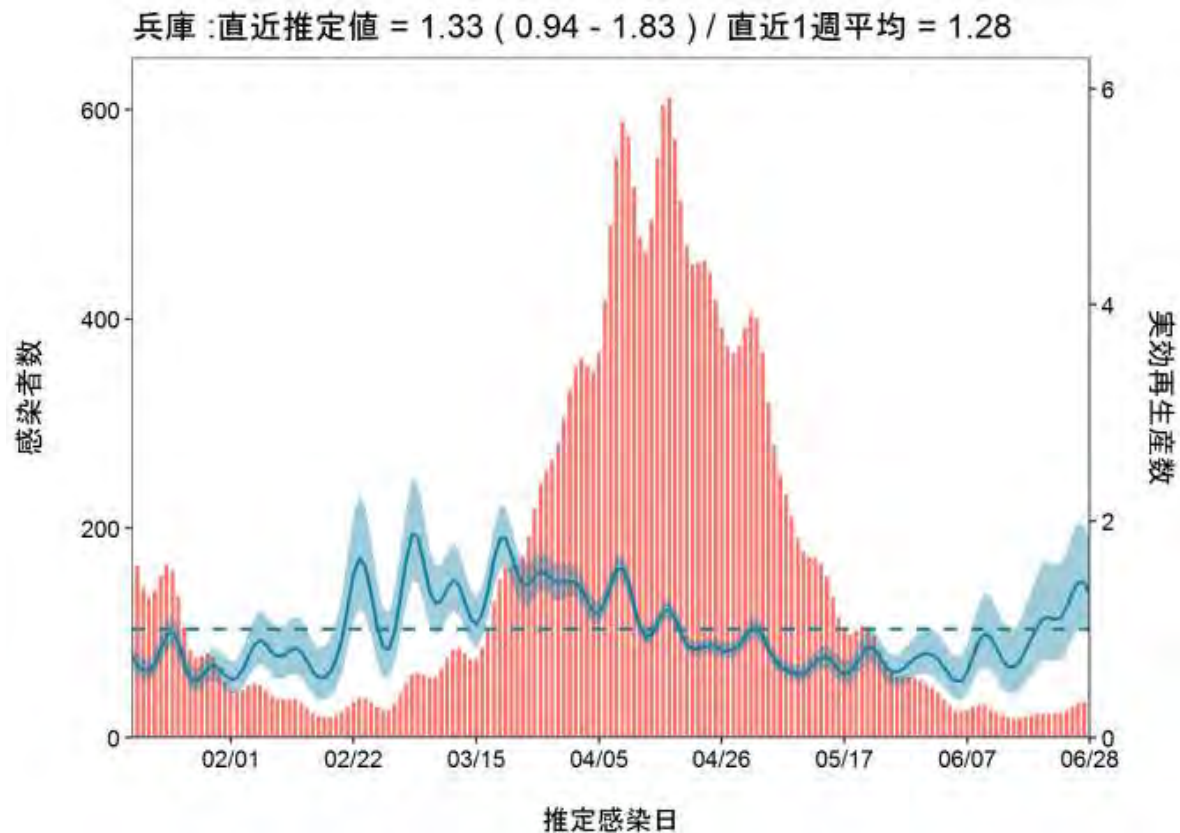
最新推定感染日付 6月28日



推定日 7月13日
最新推定感染日付 6月28日

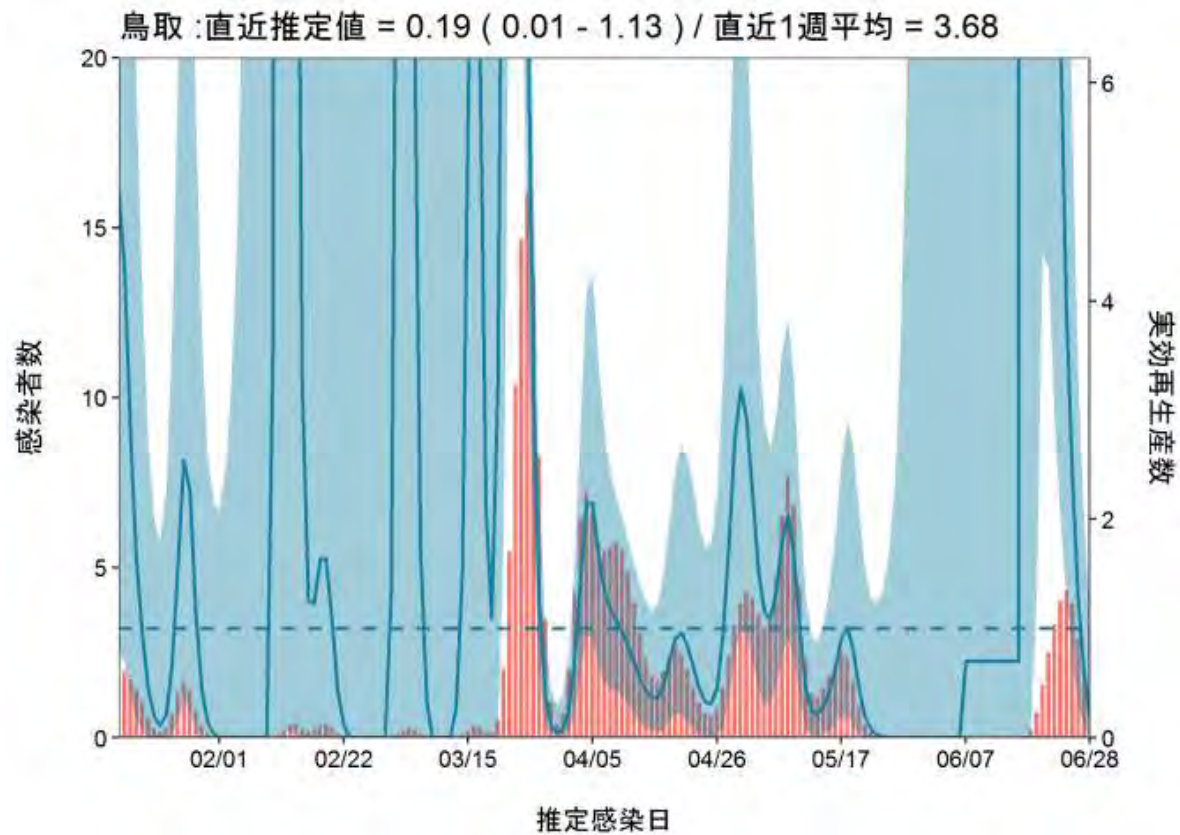


推定日 7月13日
最新推定感染日付 6月28日



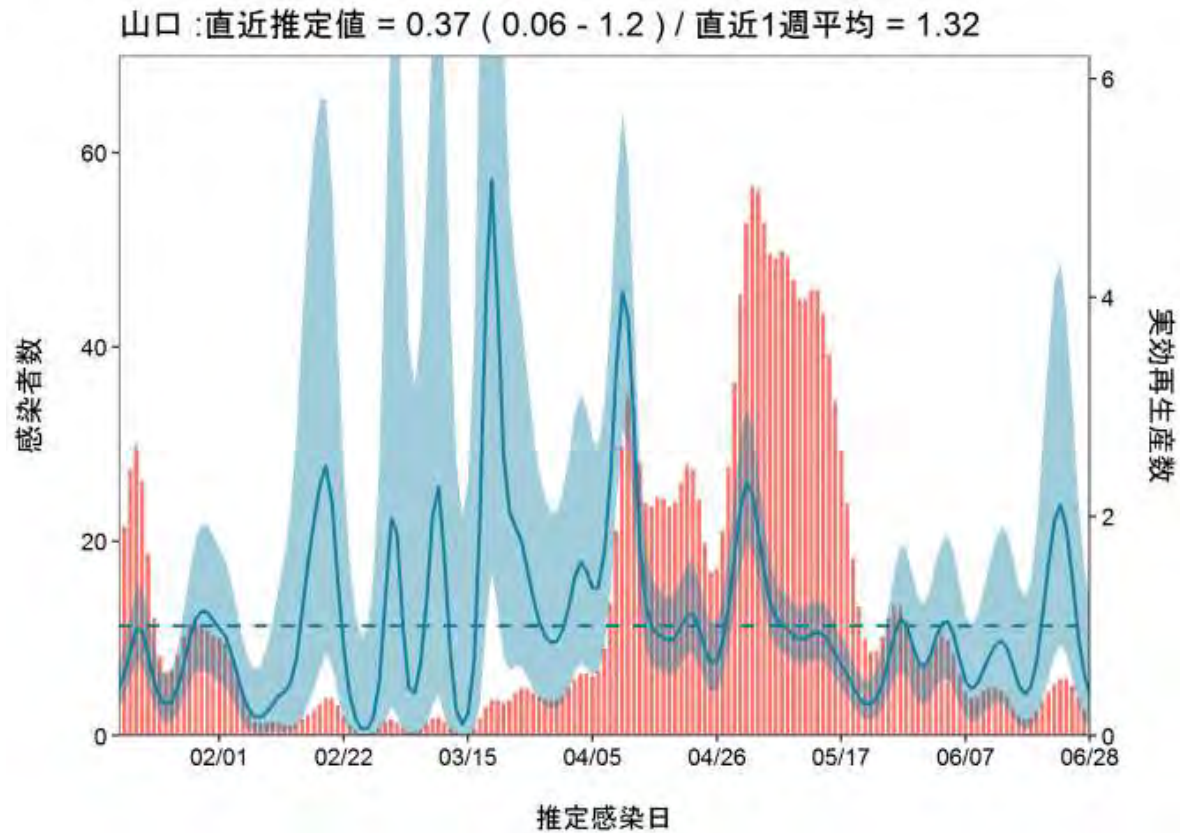
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

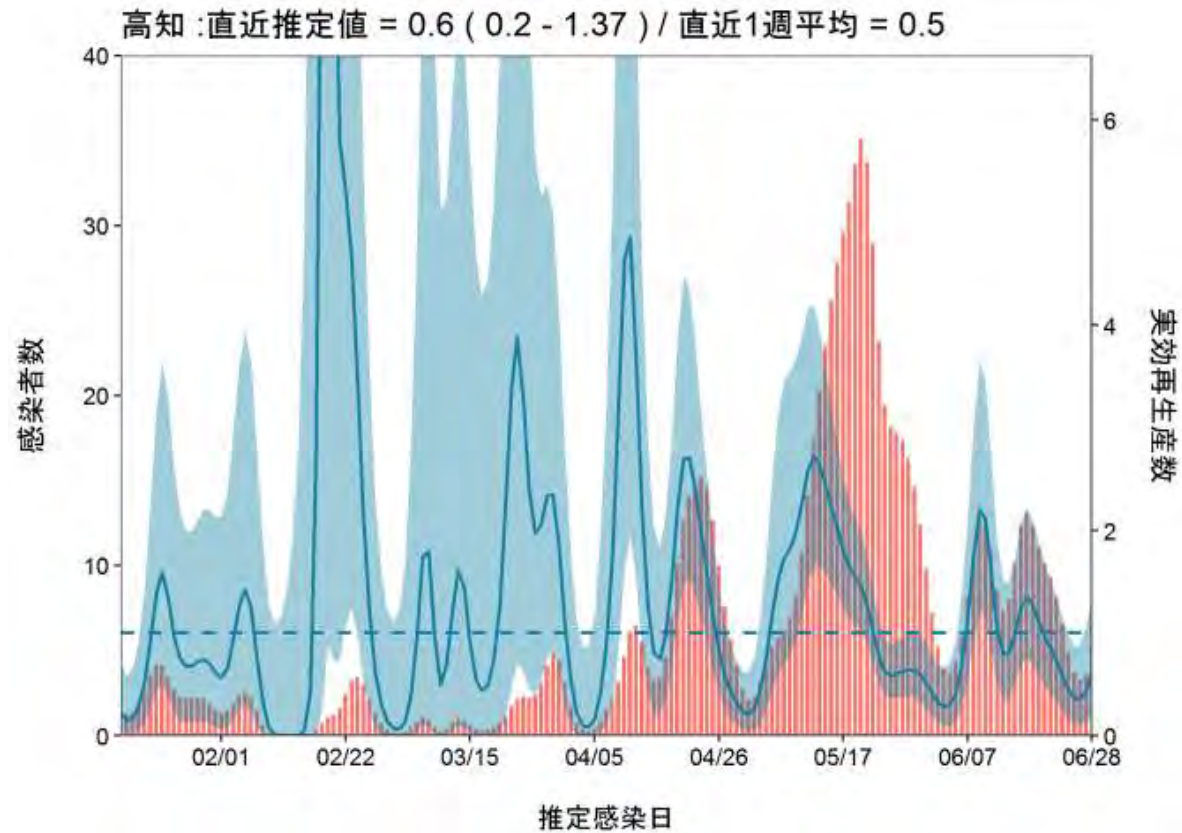


推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

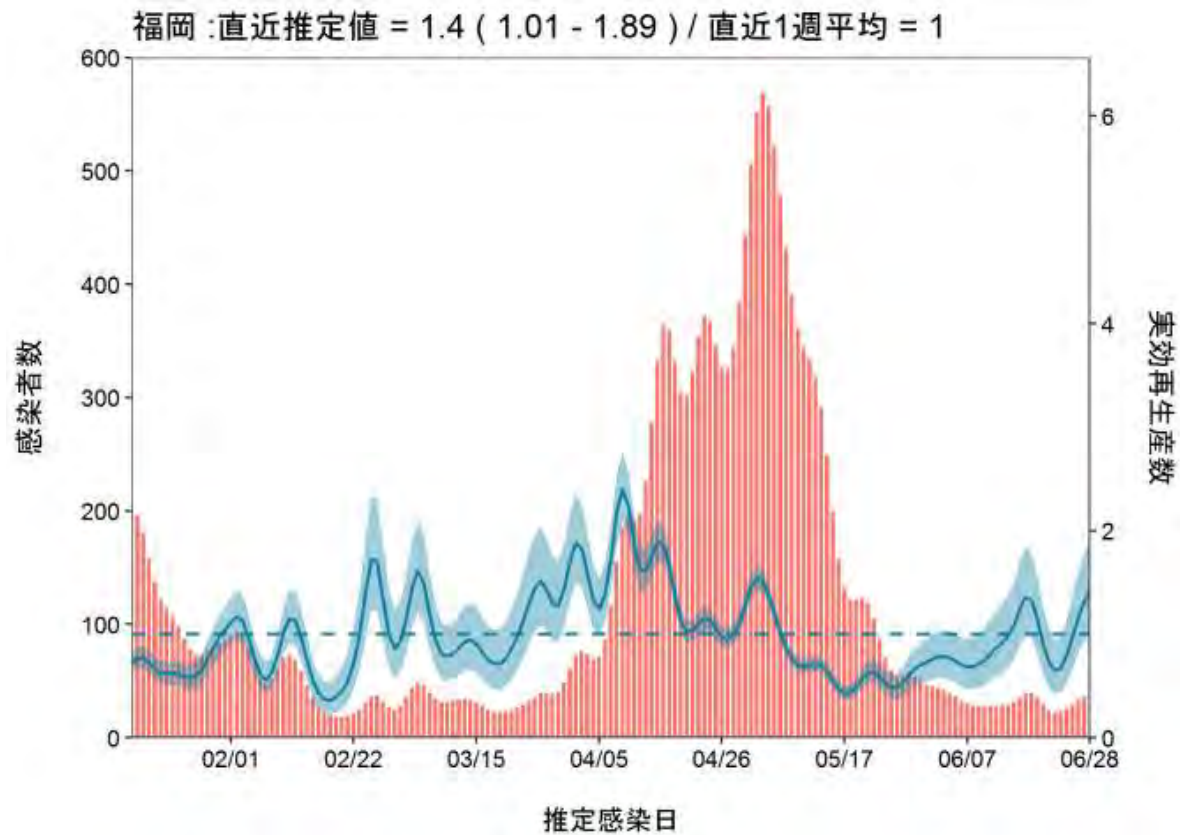


推定日 7月13日
最新推定感染日付 6月28日



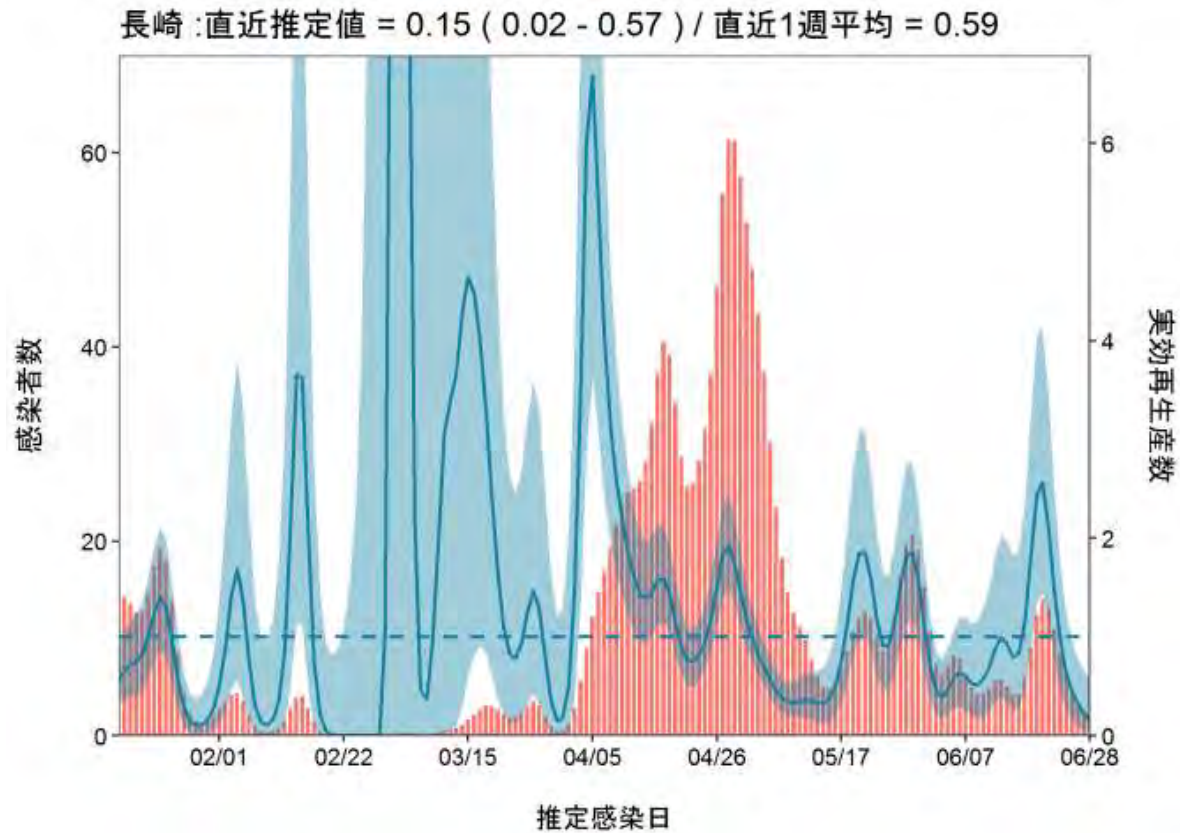
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



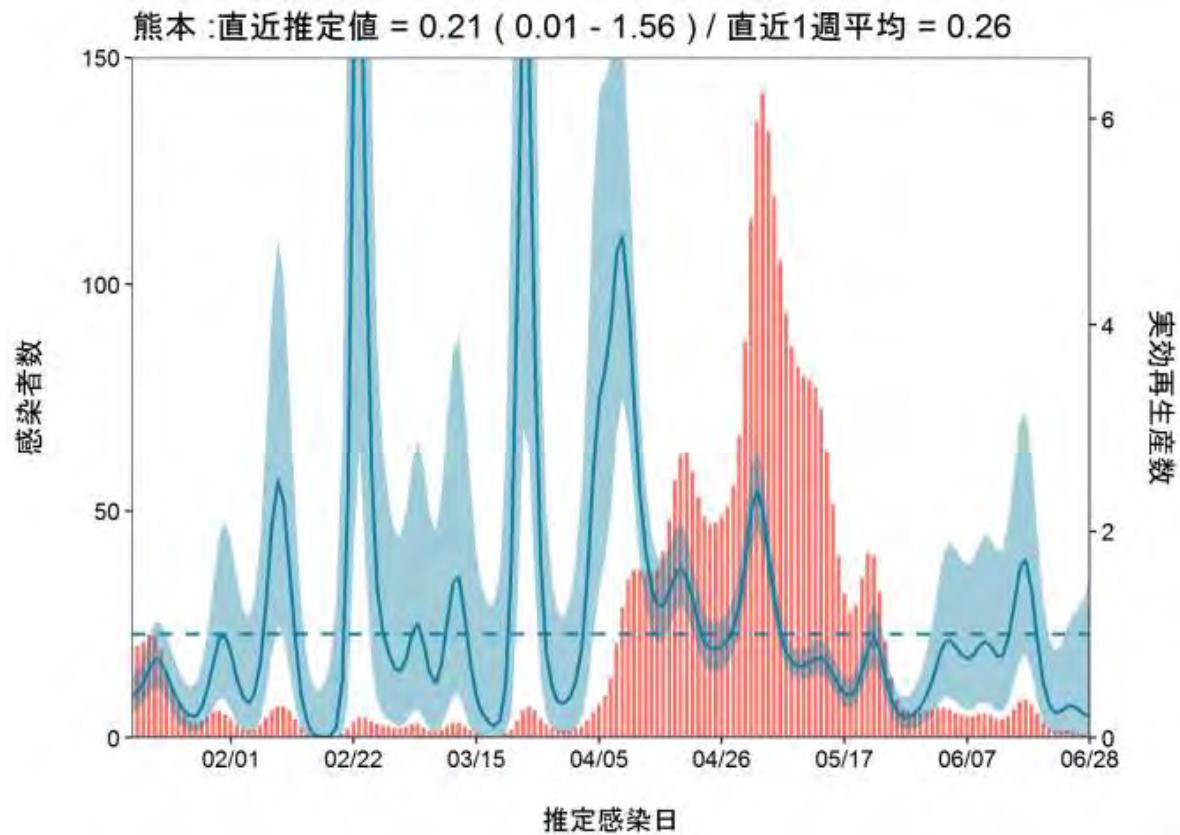
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日



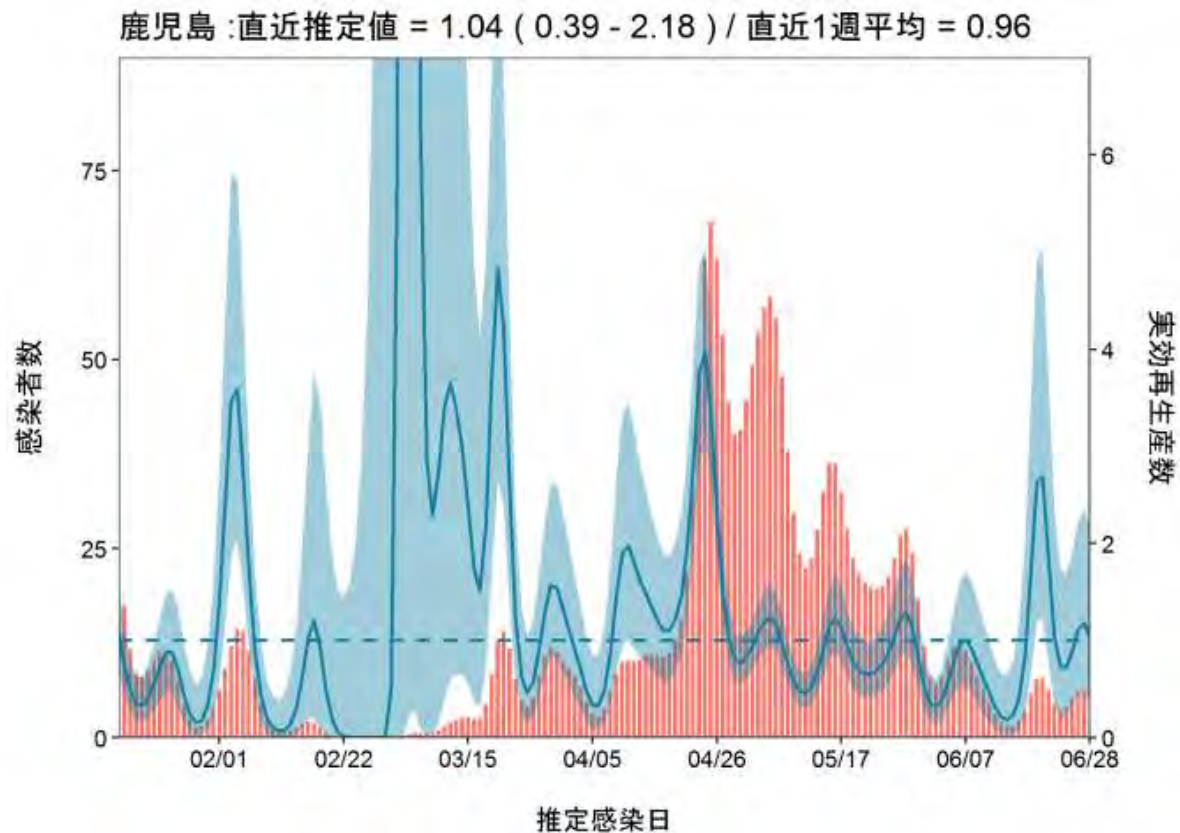
推定日 7月13日

最新推定感染日付 6月28日

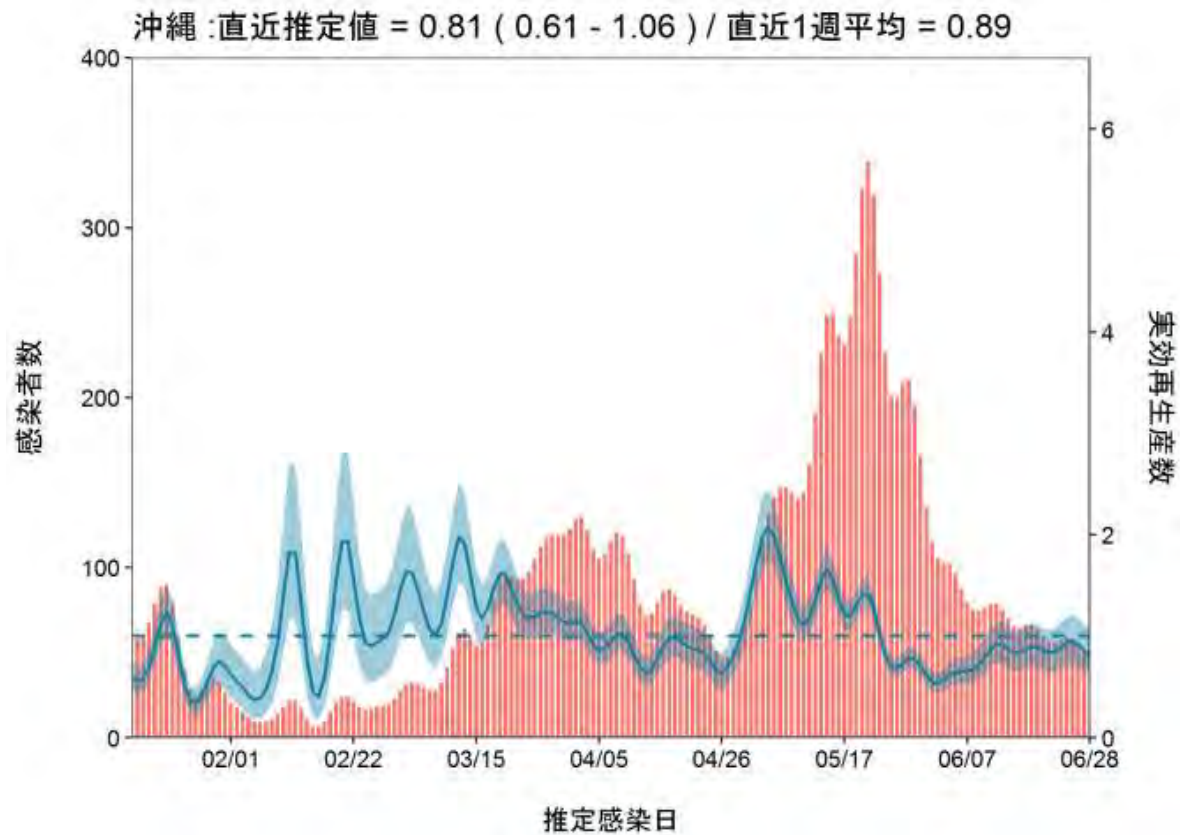


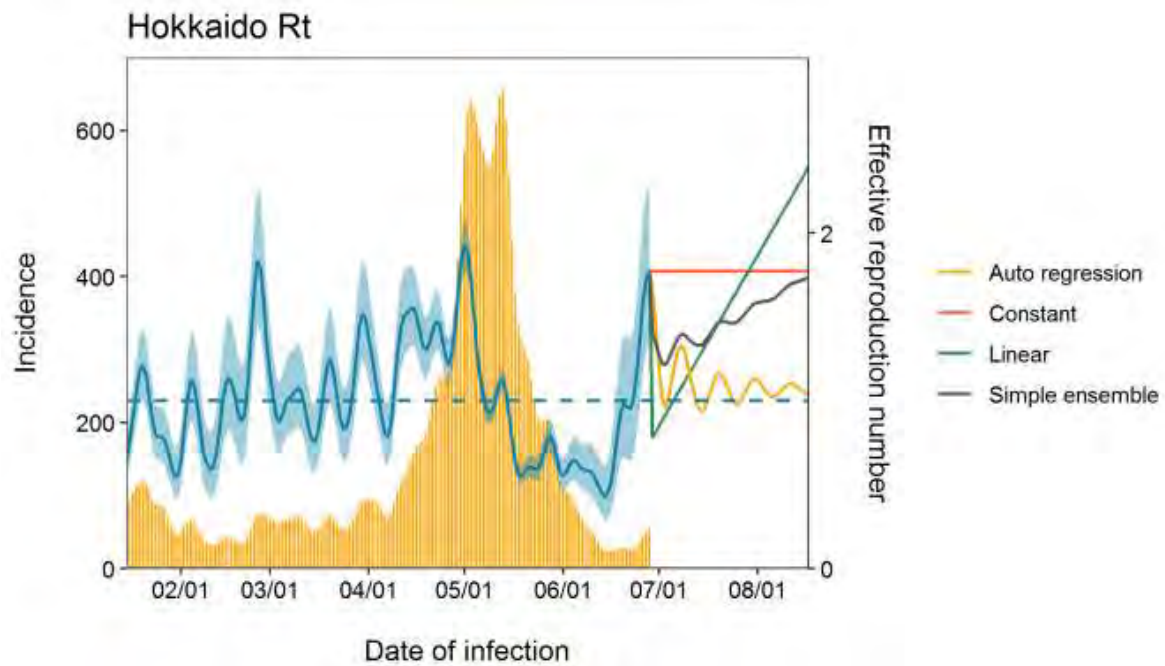
推定日 7月13日

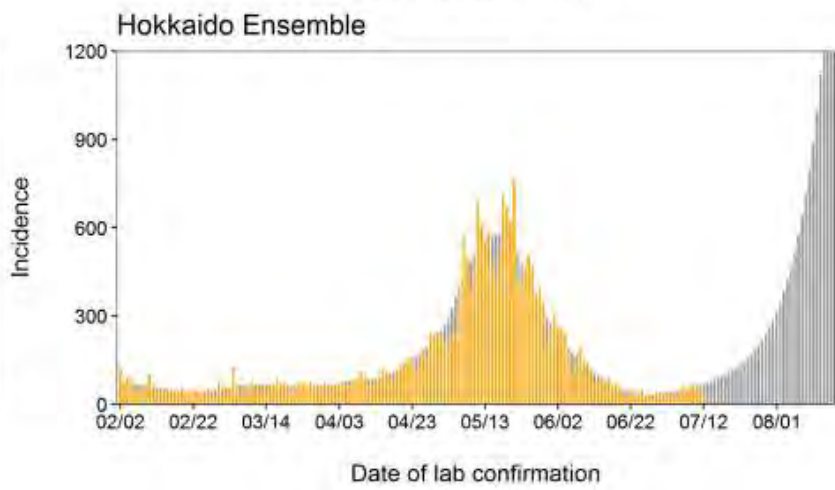
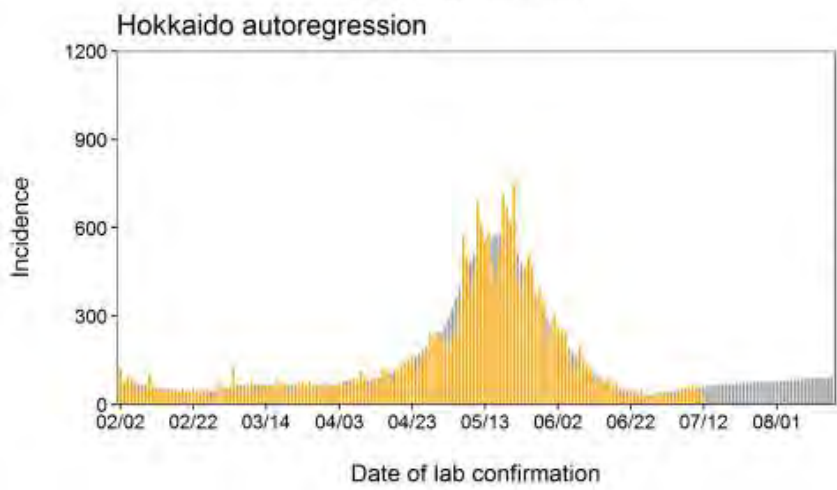
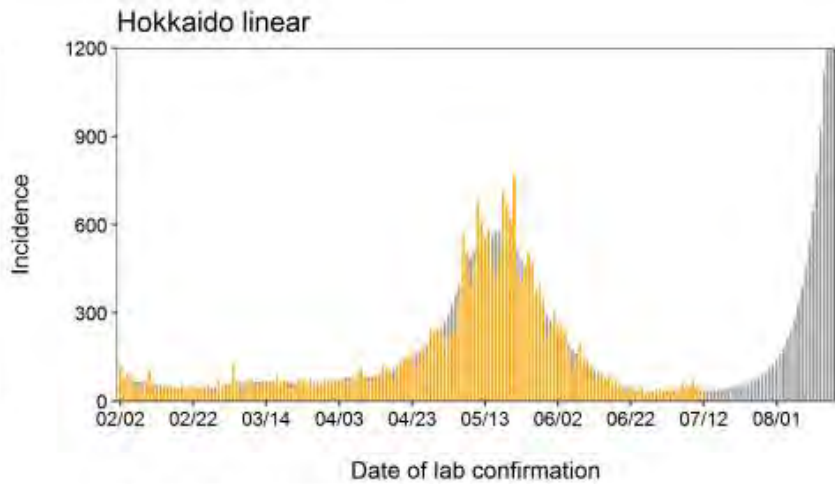
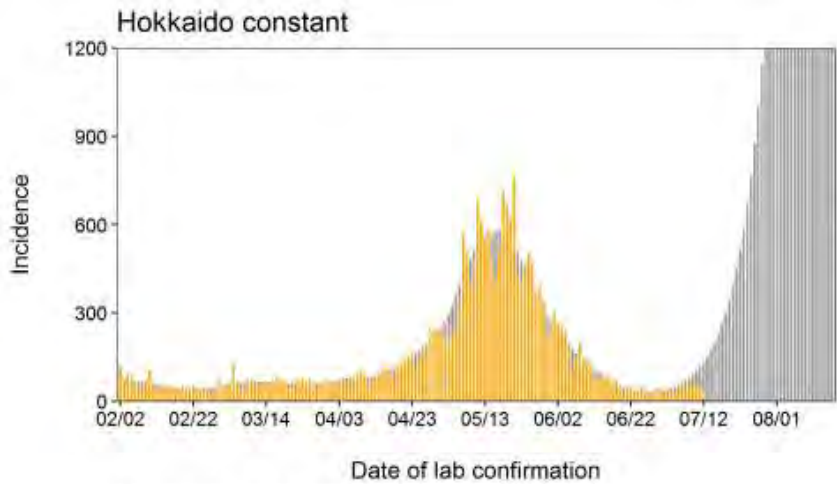
最新推定感染日付 6月28日

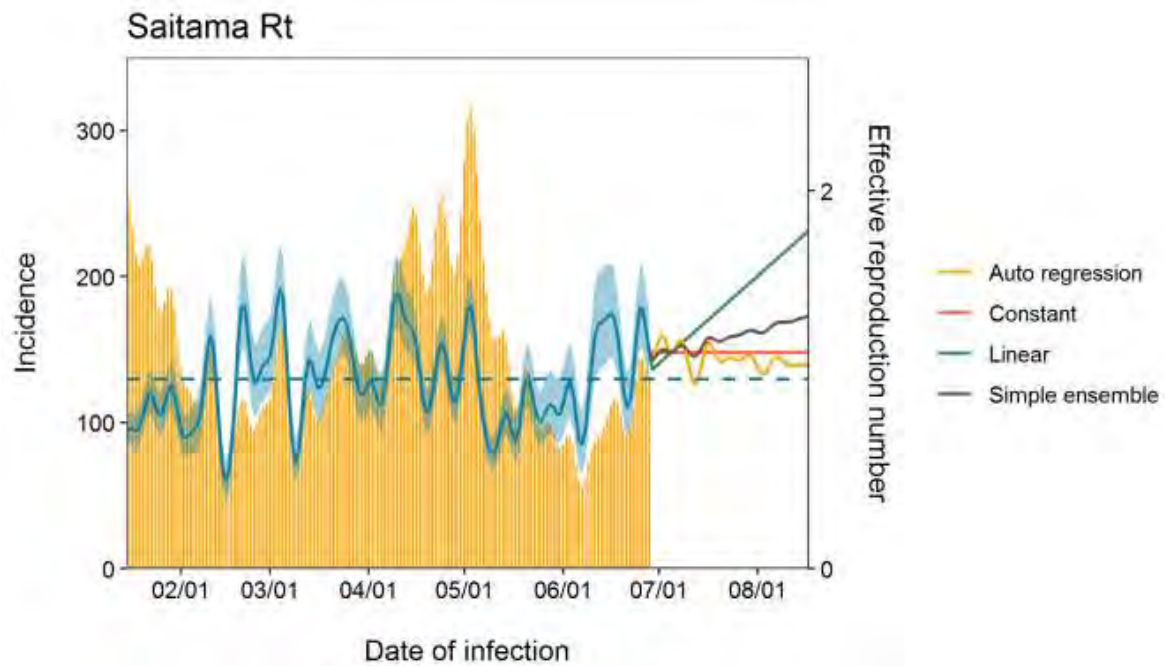


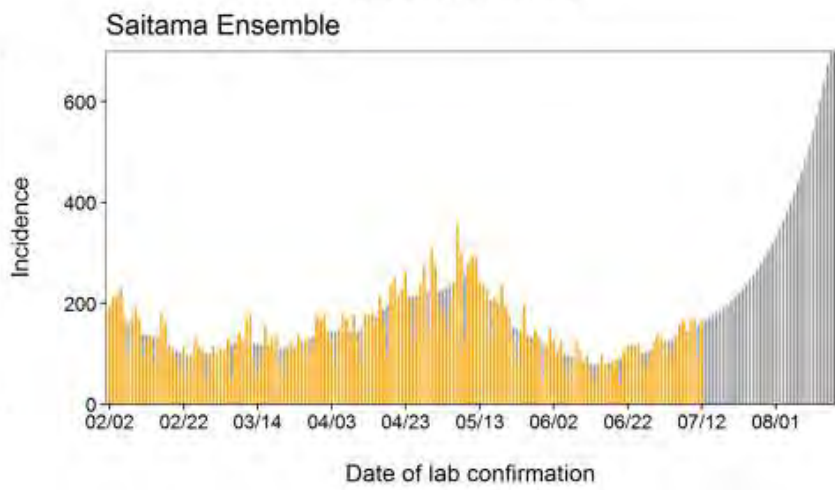
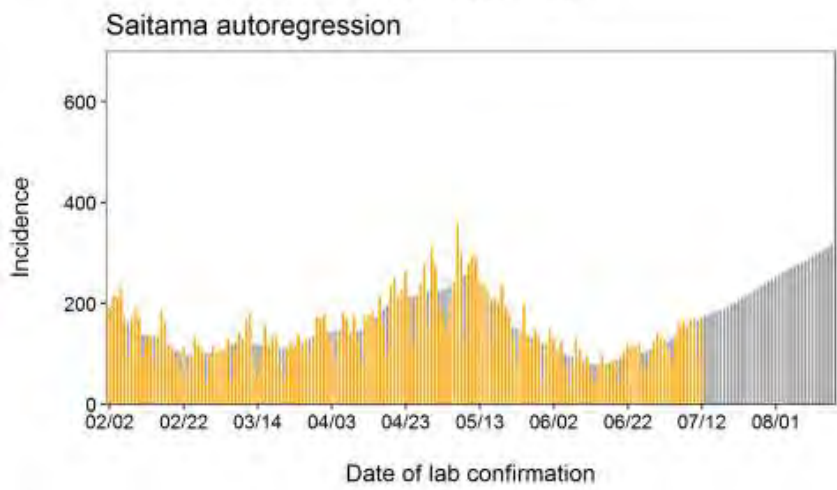
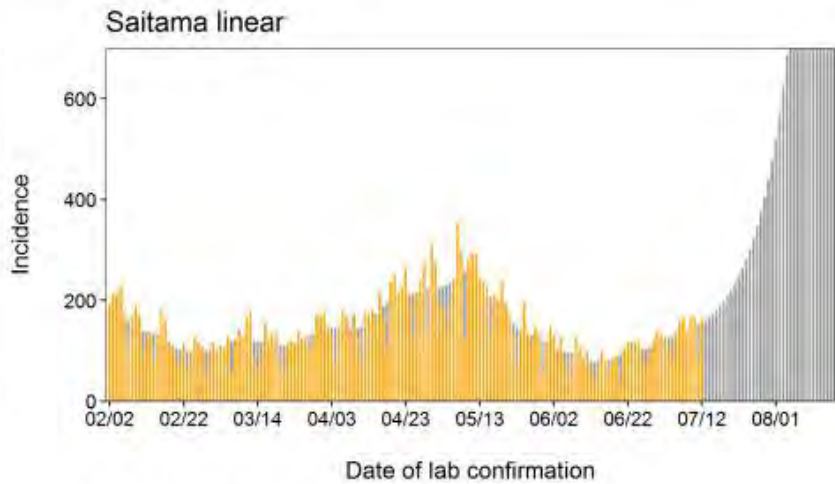
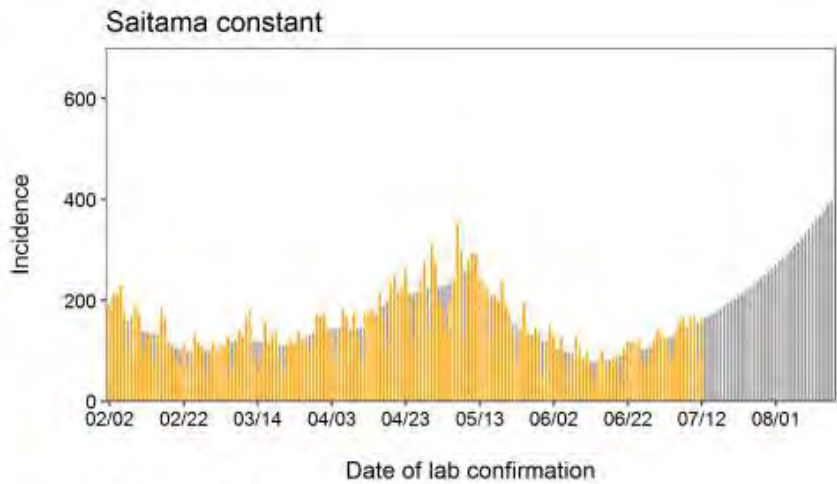
推定日 7月13日
最新推定感染日付 6月28日

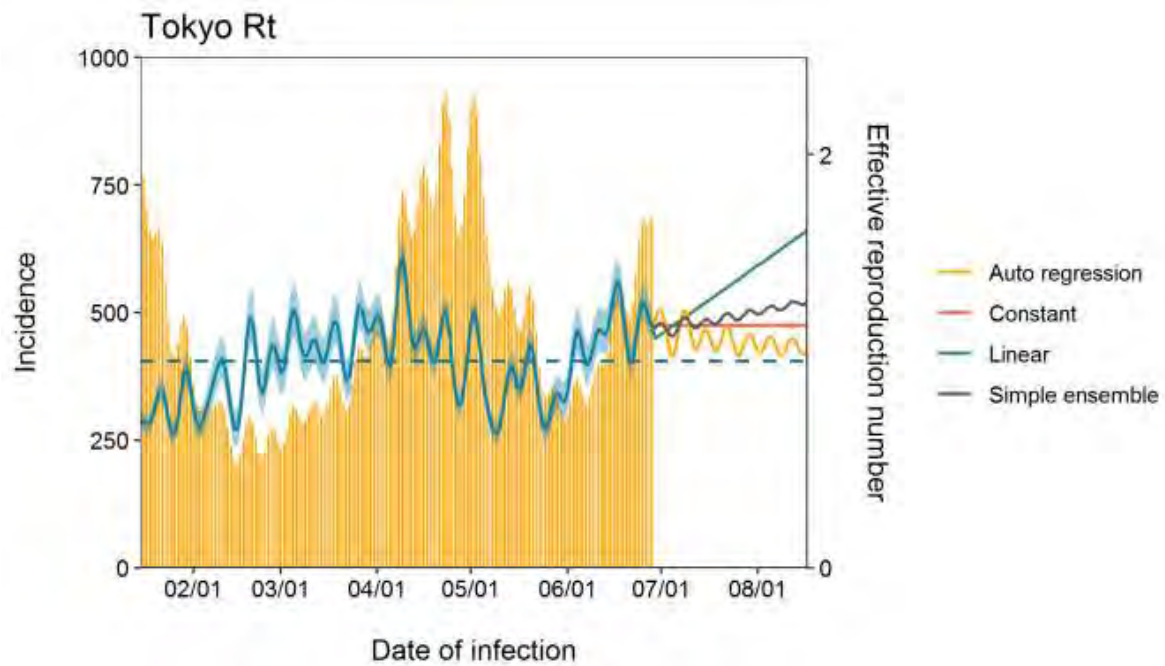


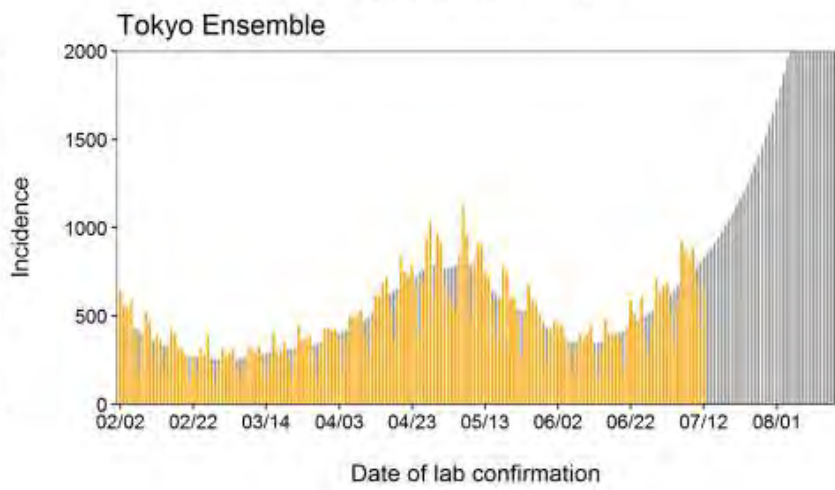
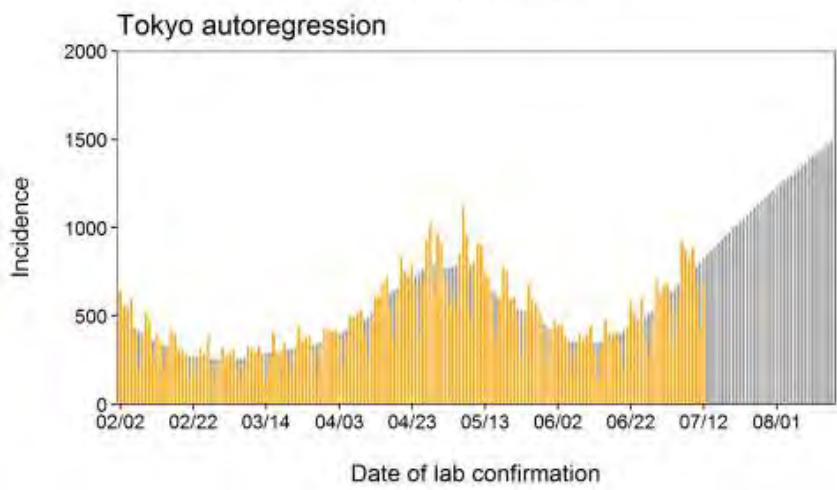
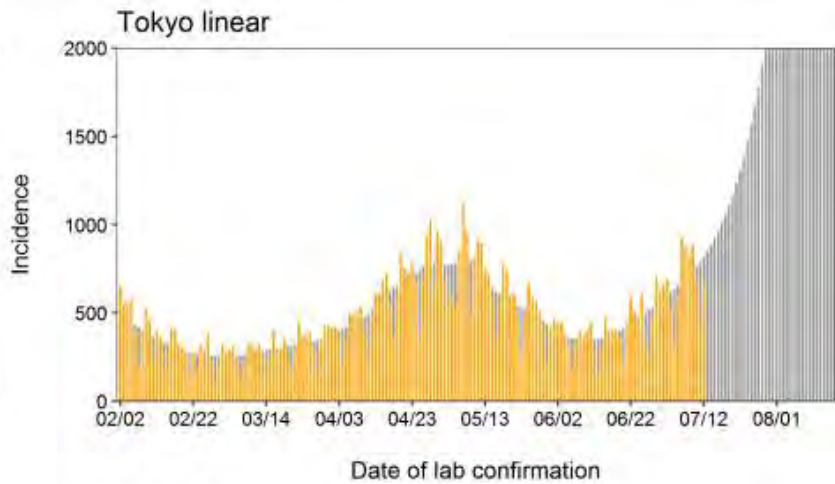
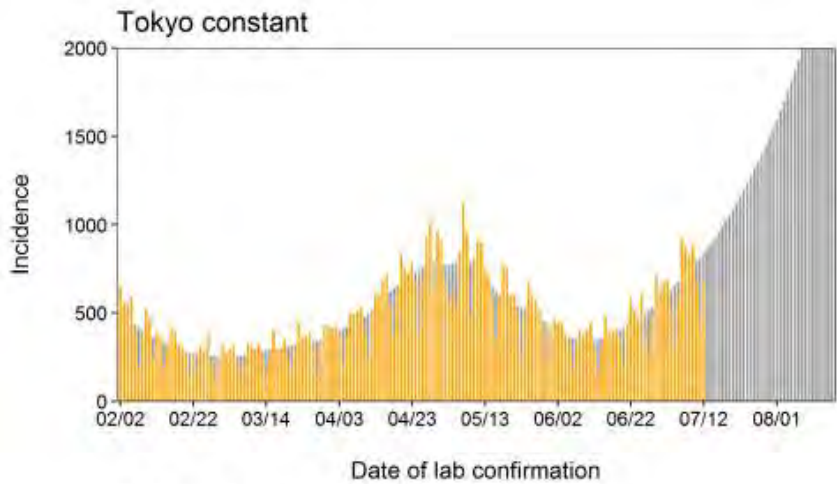


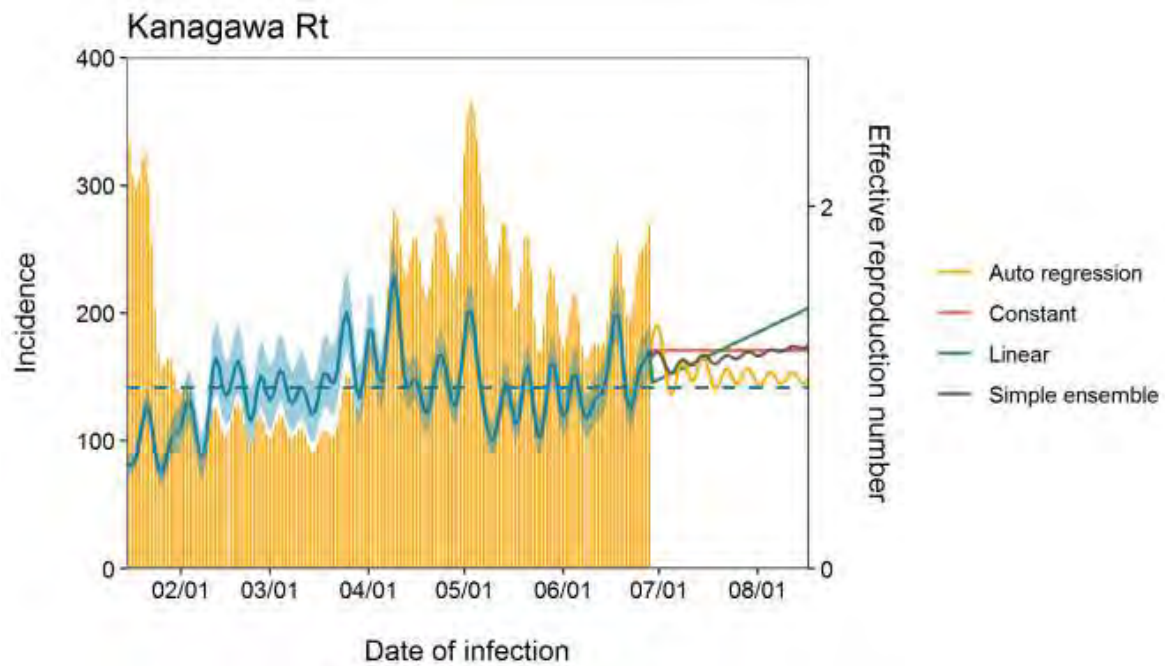


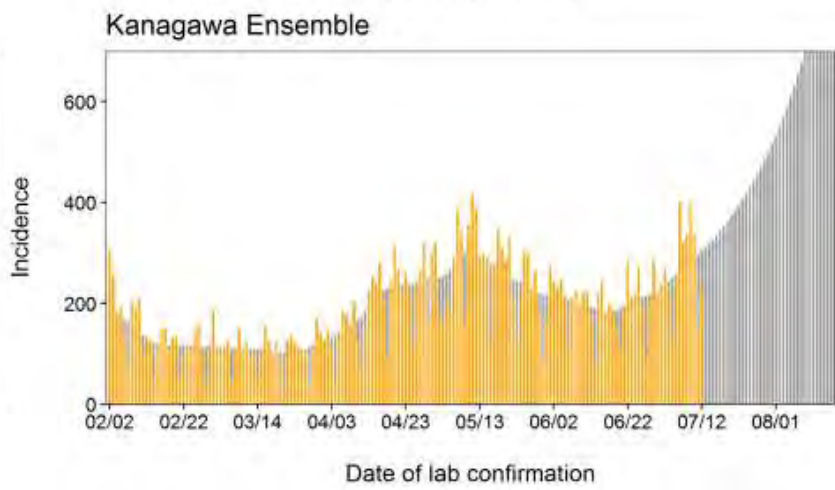
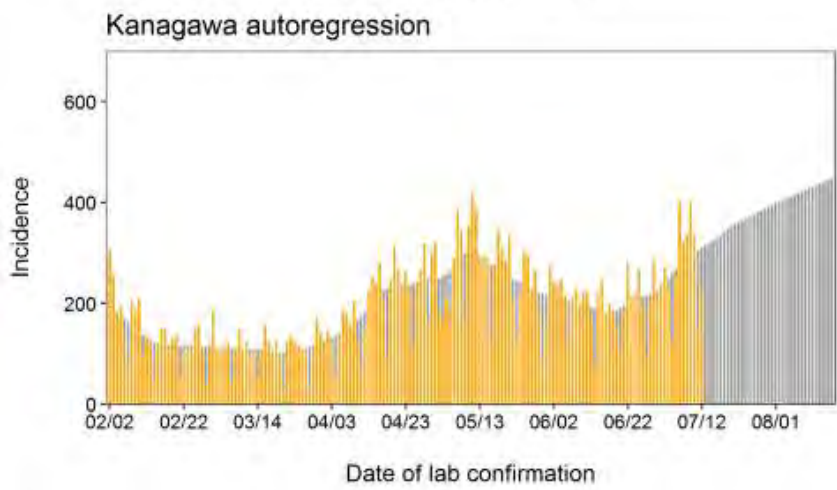
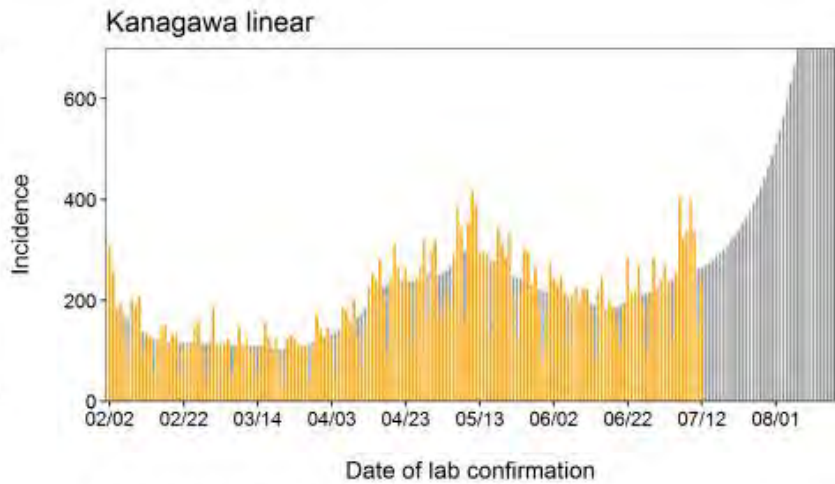
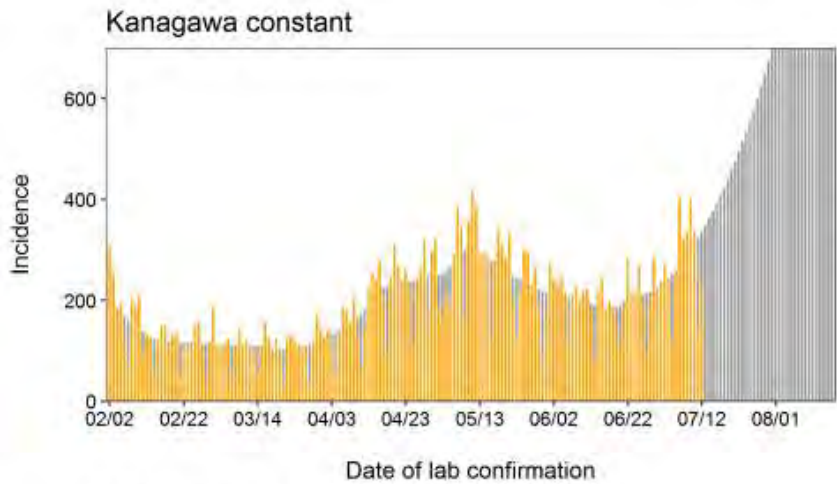


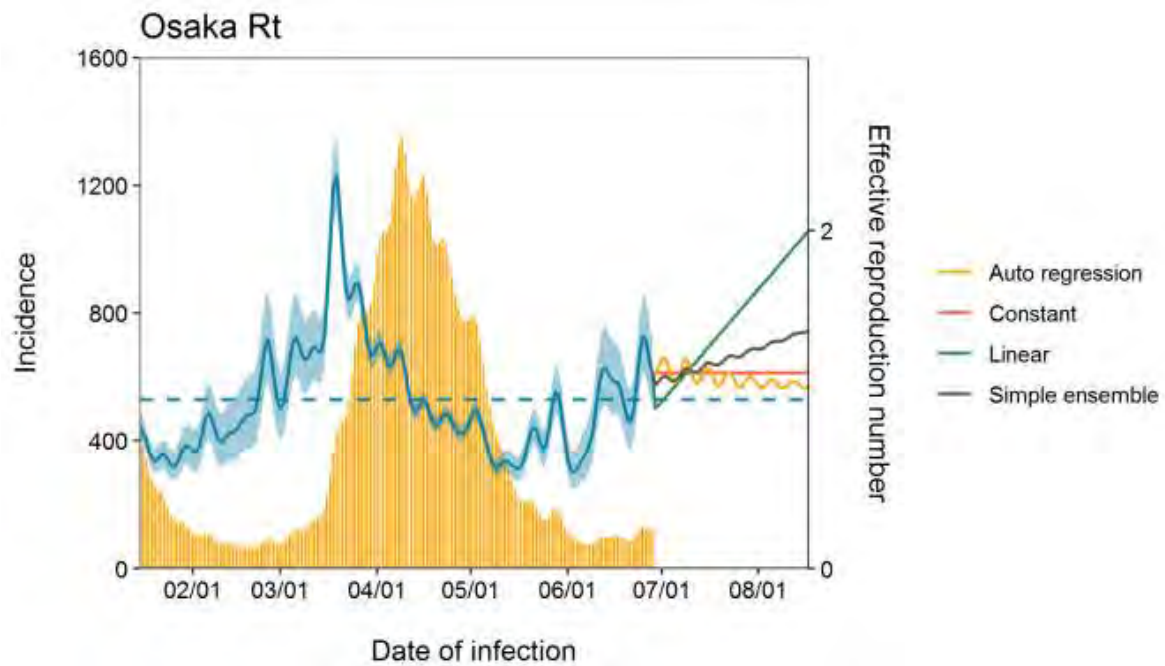


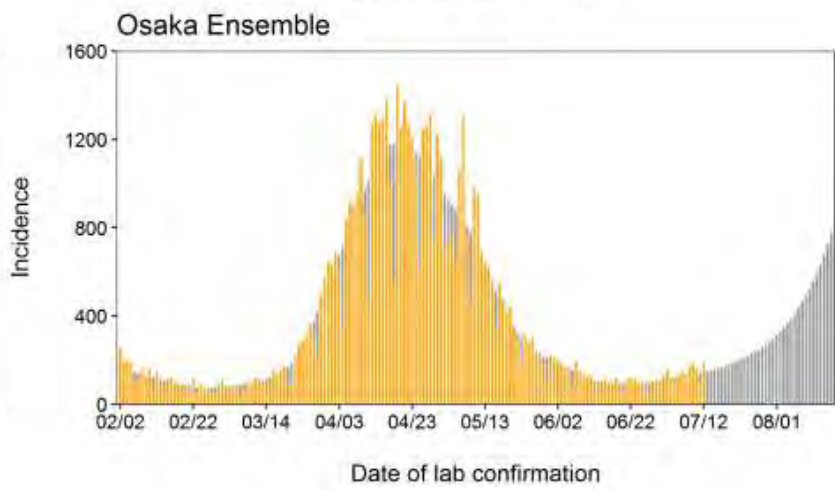
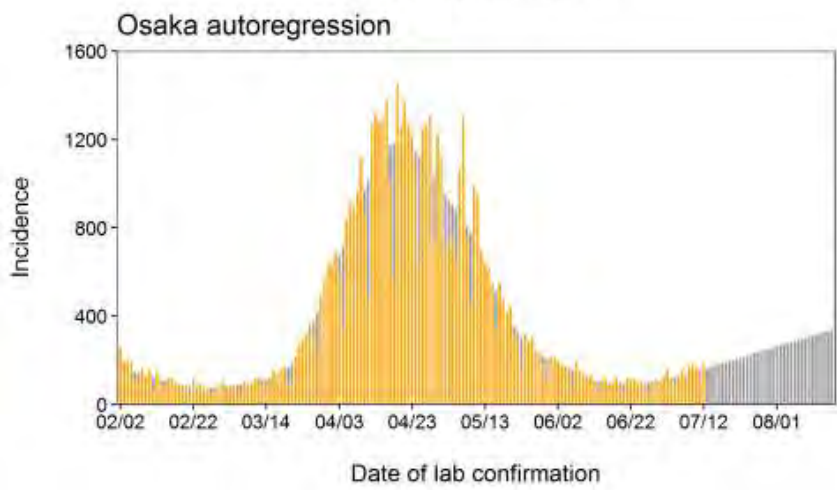
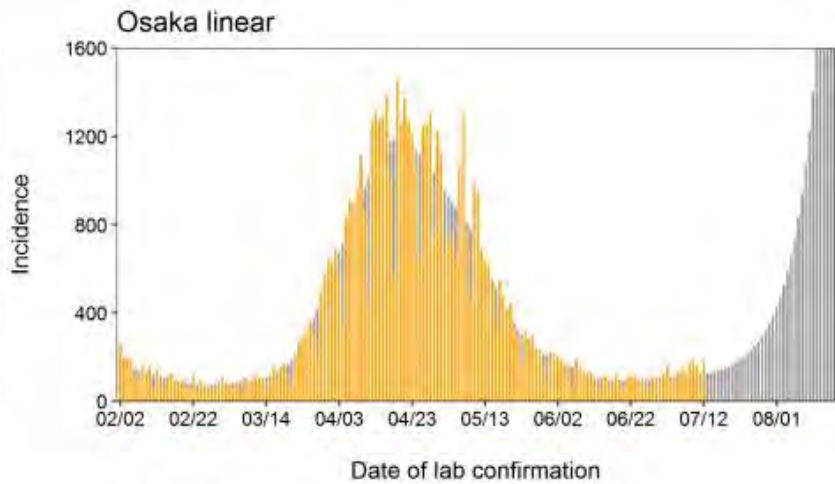
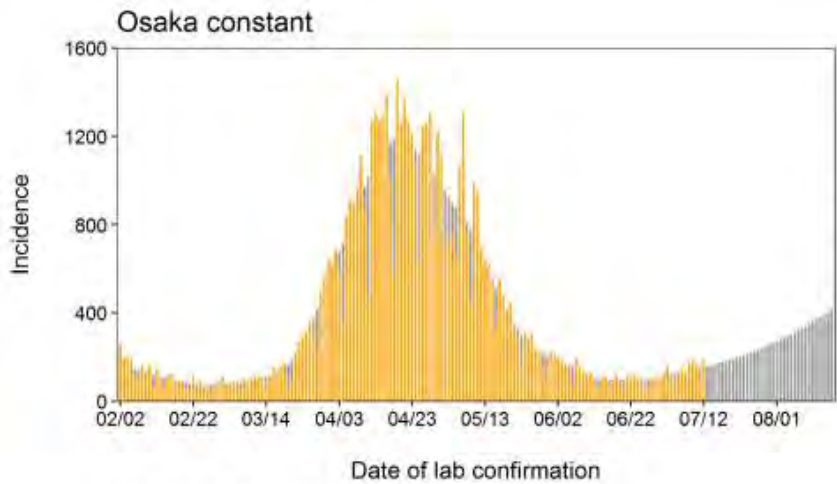


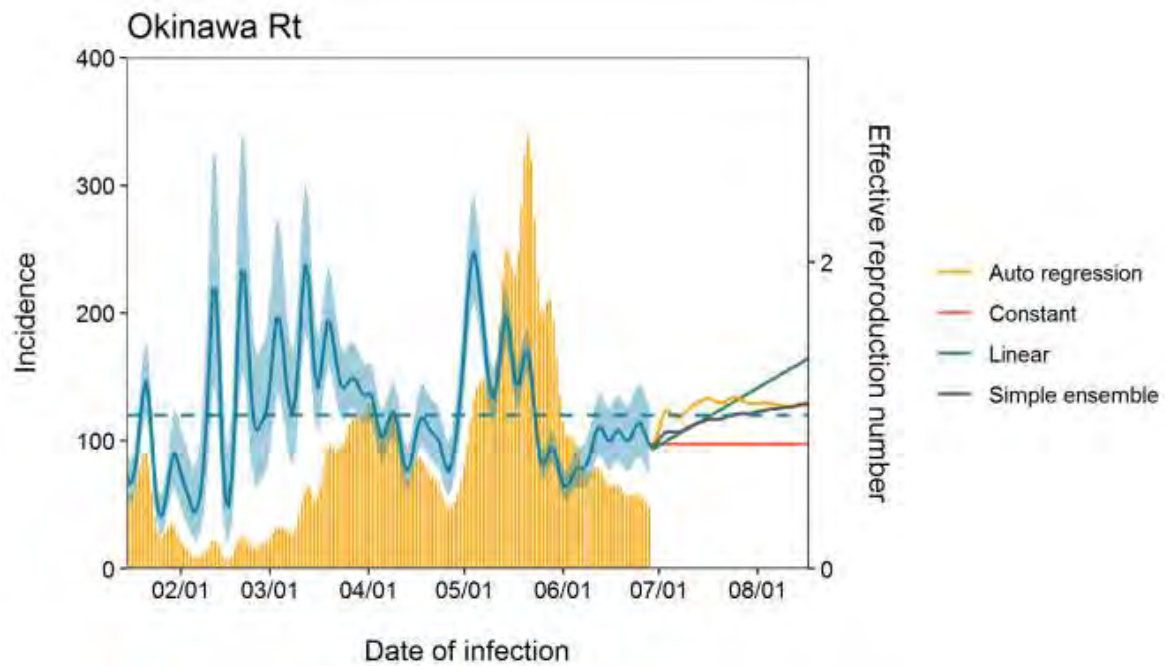


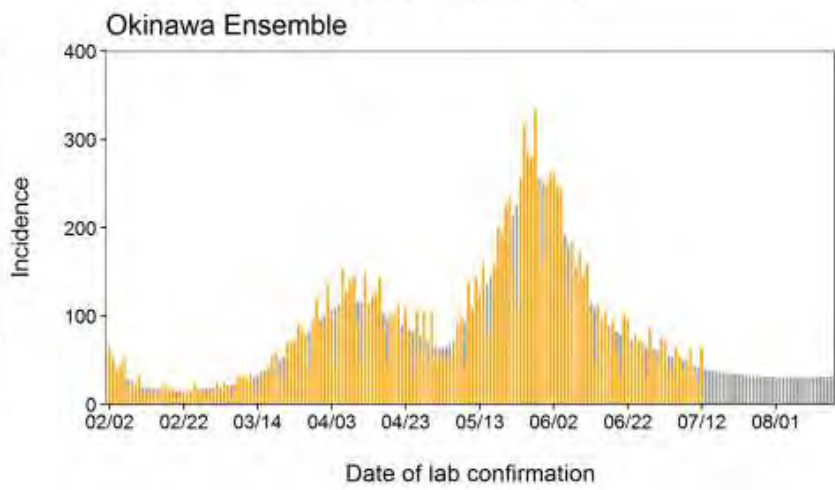
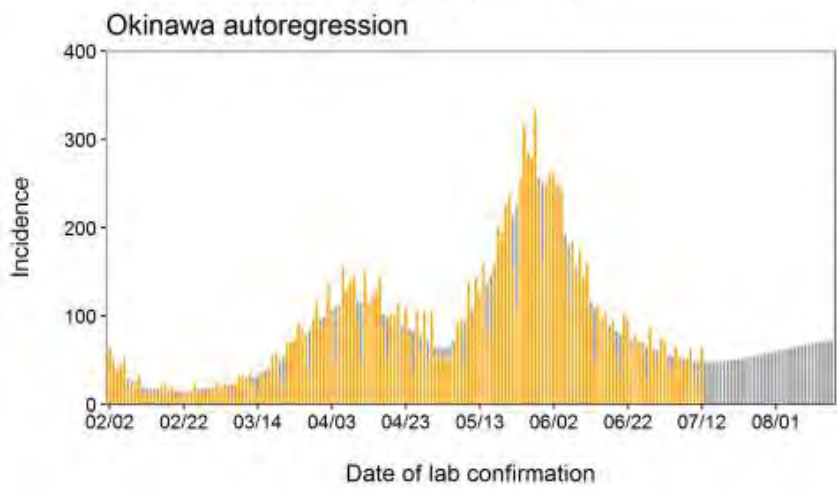
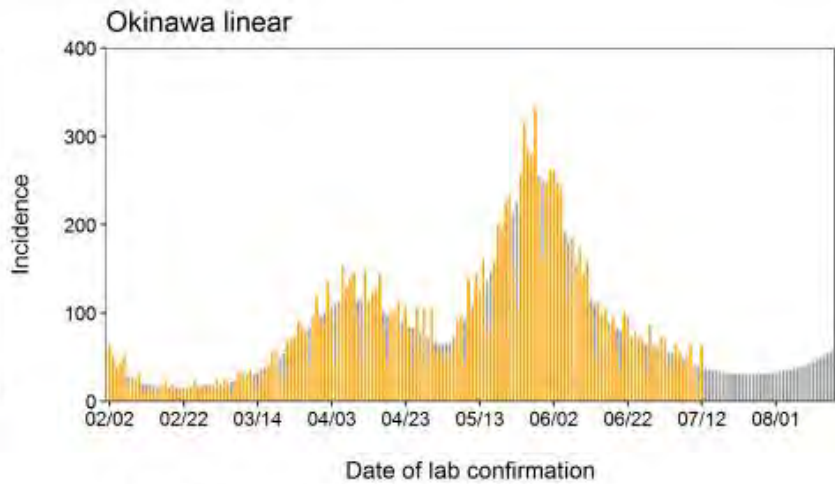
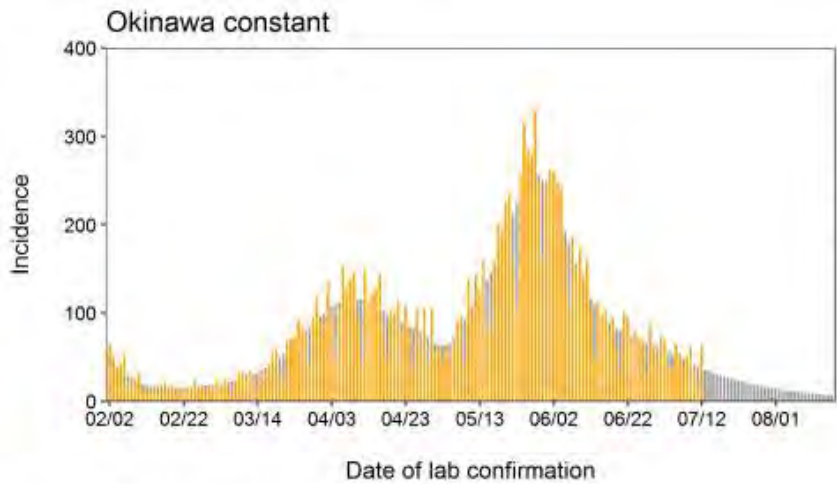






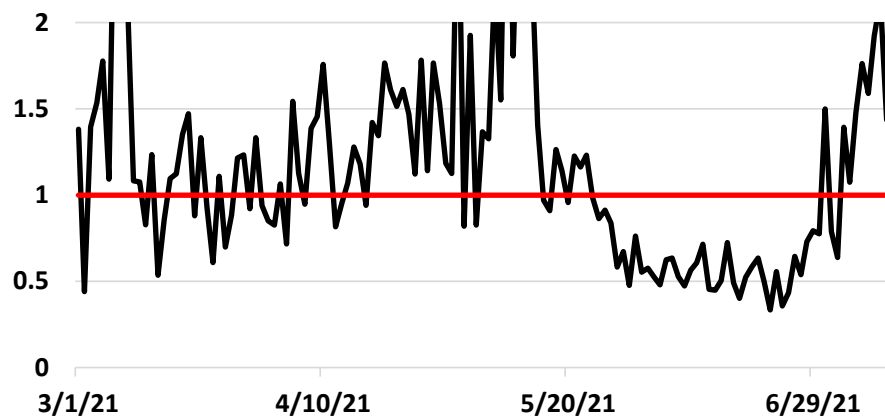






報告日別感染者数の同曜日の 今週先週比

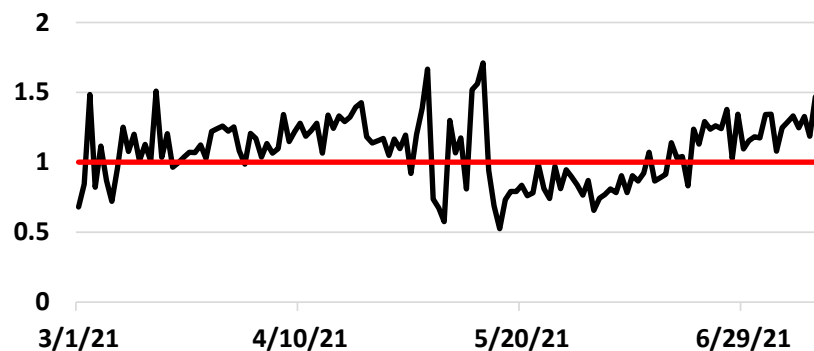
北海道



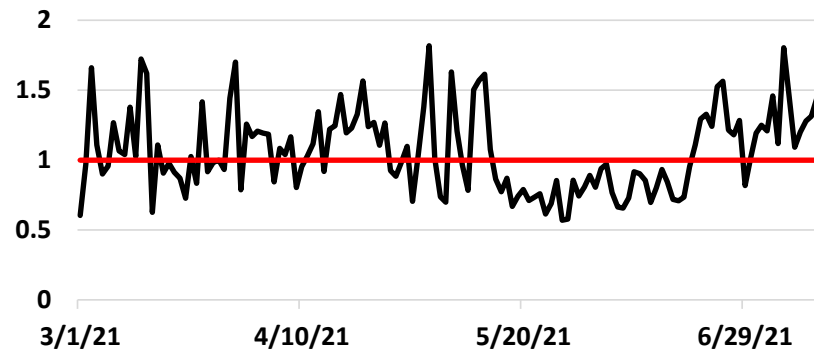
出典：自治体公表データ 42

報告日別感染者数の同曜日の 今週先週比

東京都



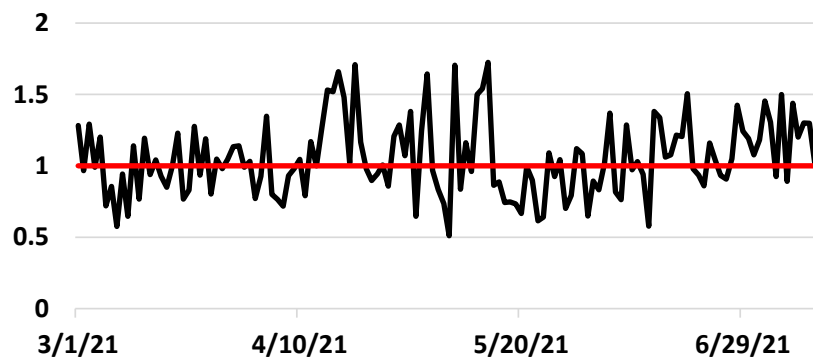
埼玉県



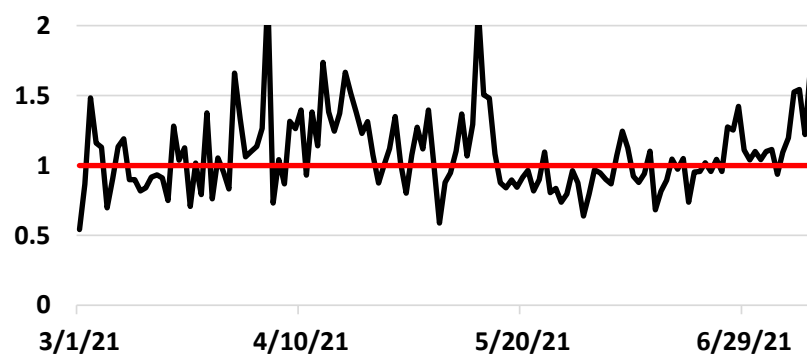
出典：自治体公表データ 43

報告日別感染者数の同曜日の 今週先週比

千葉県



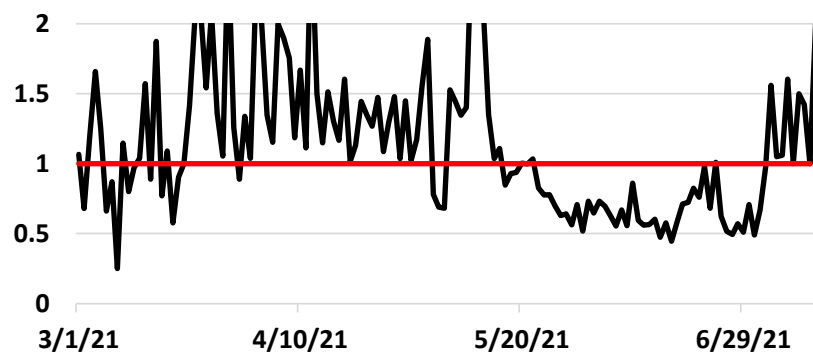
神奈川県



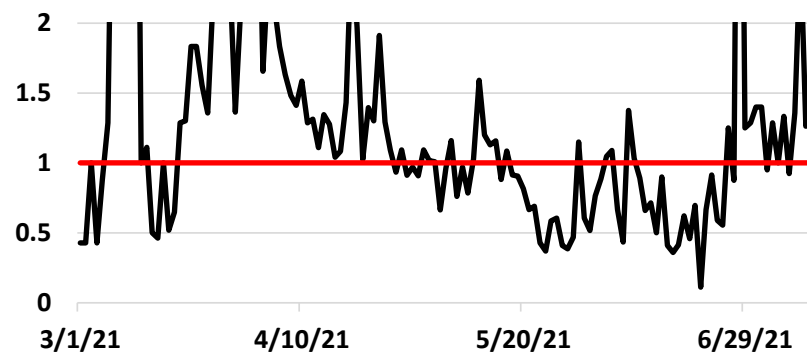
出典：自治体公表データ 44

報告日別感染者数の同曜日の 今週先週比

愛知県



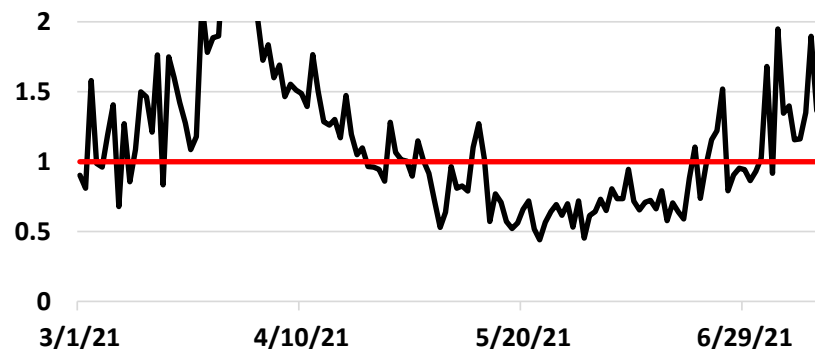
京都府



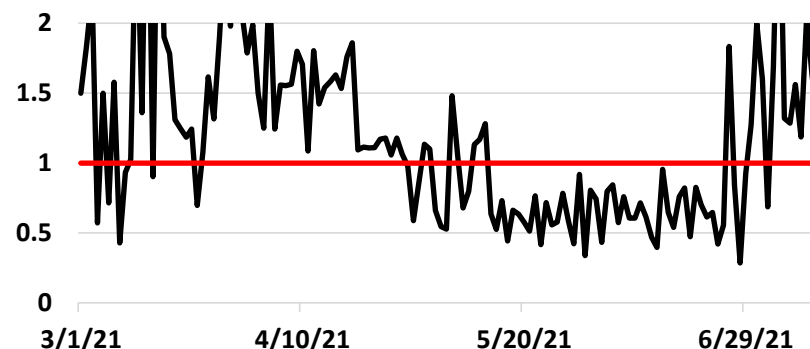
出典：自治体公表データ

報告日別感染者数の同曜日の 今週先週比

大阪府



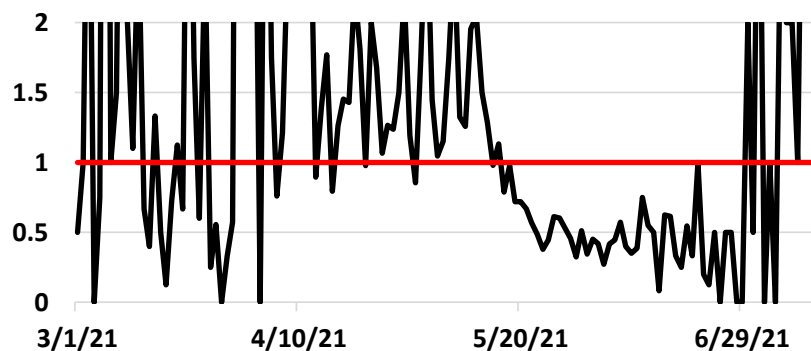
兵庫県



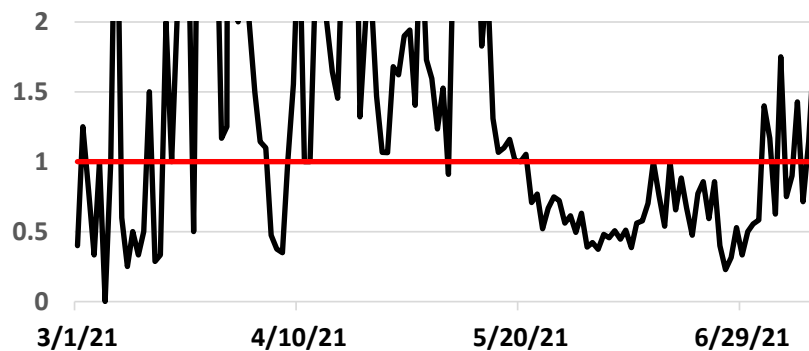
出典：自治体公表データ 46

報告日別感染者数の同曜日の 今週先週比

岡山県



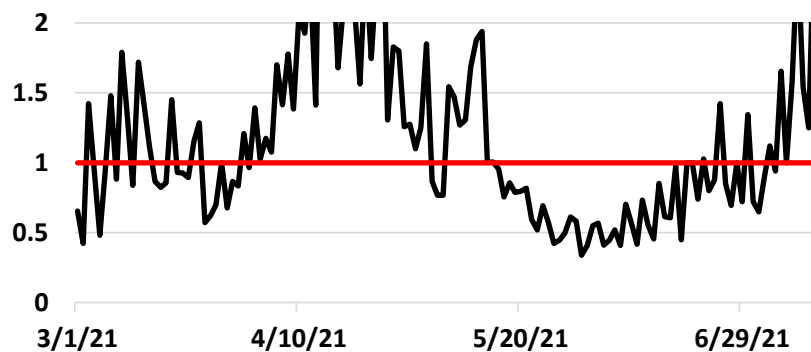
広島県



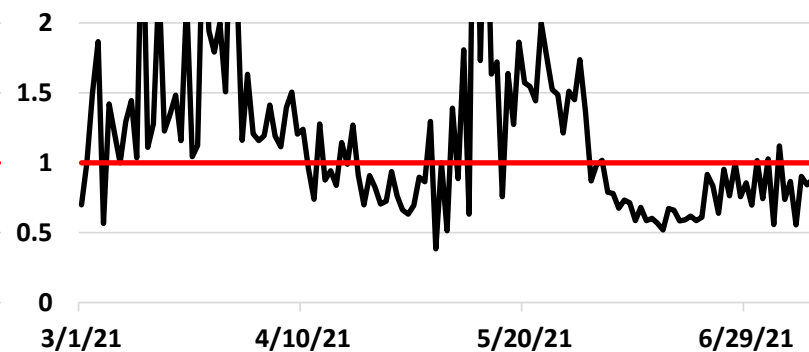
出典：自治体公表データ 47

報告日別感染者数の同曜日の 今週先週比

福岡県



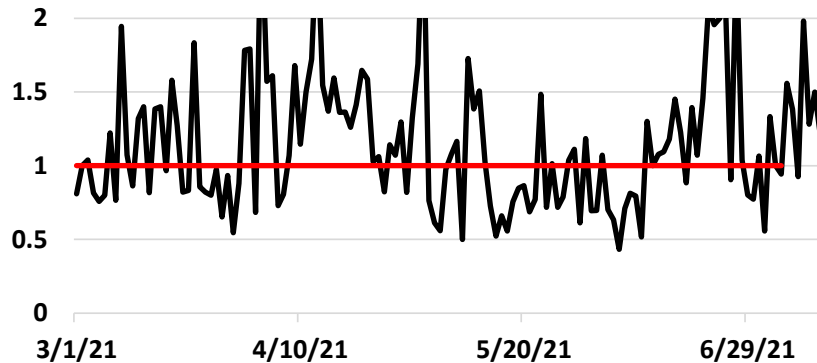
沖縄県



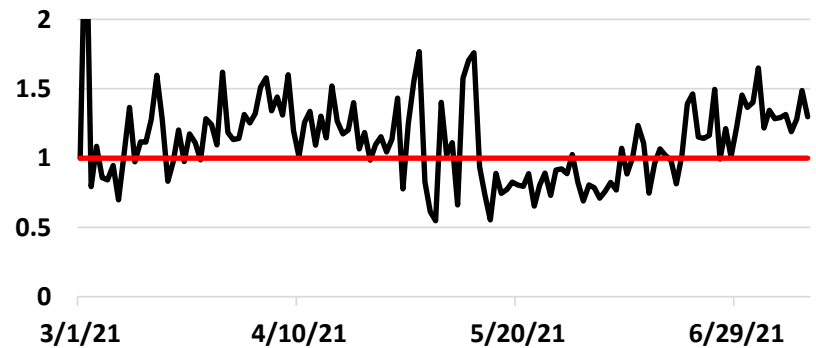
出典：自治体公表データ 48

報告日別感染者数の同曜日の年齢群別 今週先週比（東京都）

0-19歳



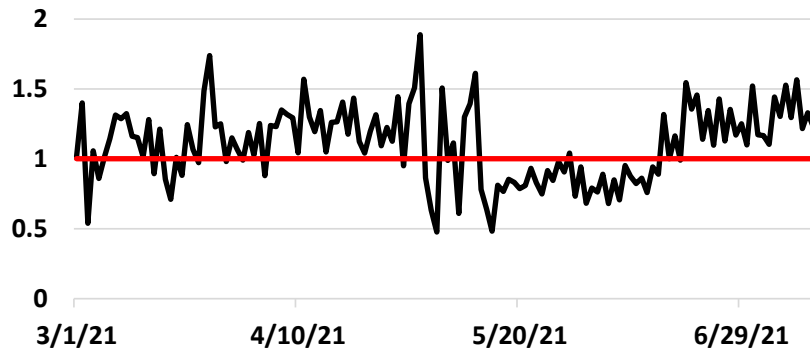
20-39歳



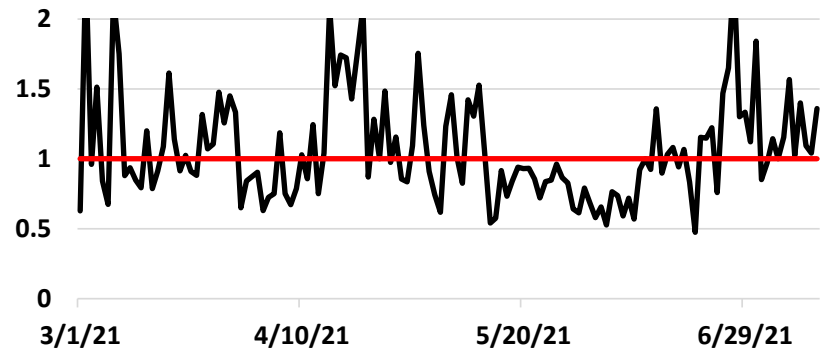
出典：HERSYSデータ

報告日別感染者数の同曜日の年齢群別 今週先週比（東京都）

40-59歳



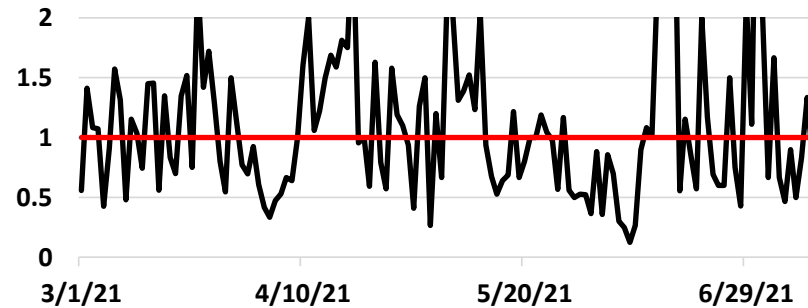
60-79歳



出典：HERSYSデータ

報告日別感染者数の同曜日の年齢群別 今週先週比（東京都）

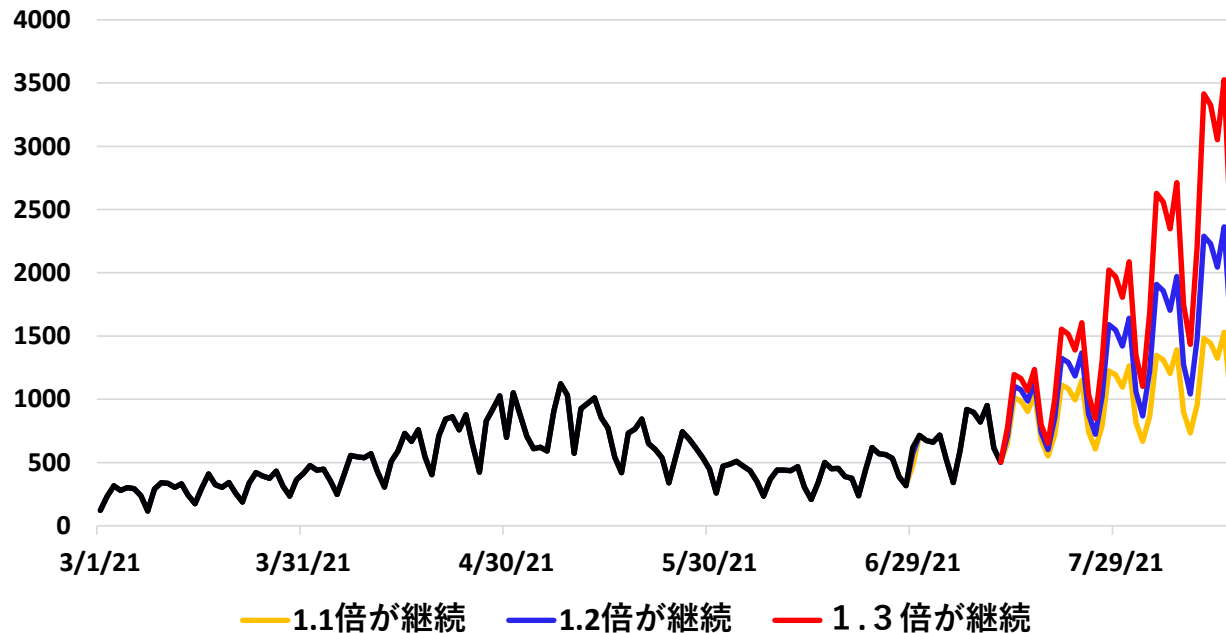
80歳以上



出典：HERSYSデータ

報告日別感染者数の推移 (今週先週比1.1、1.2、1.3 が継続した場合)

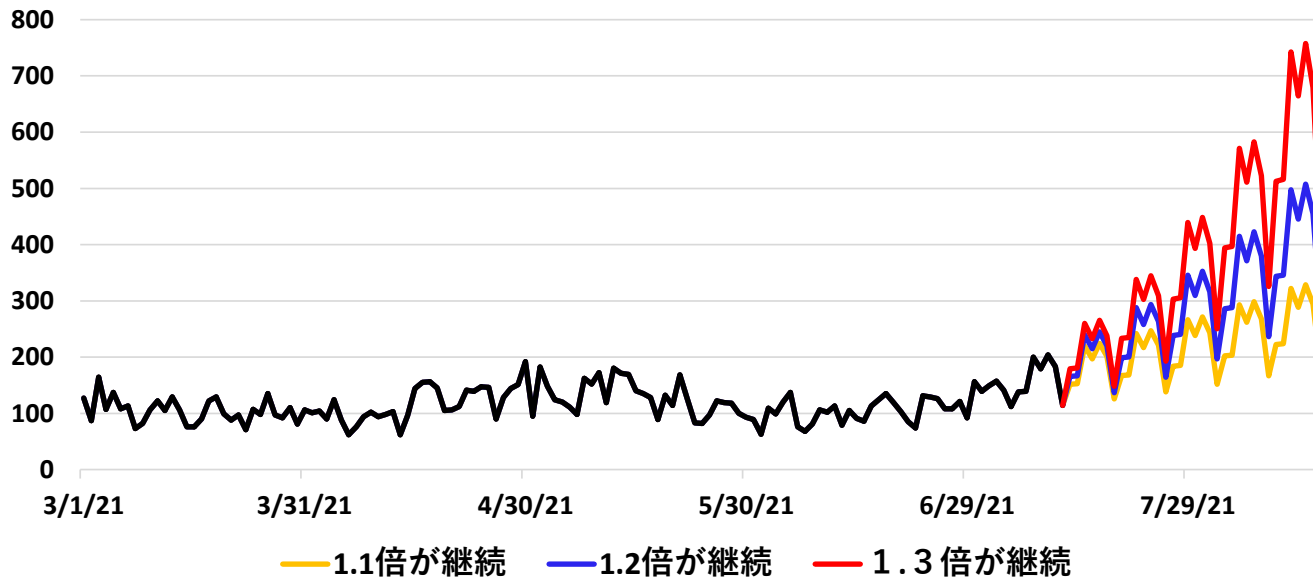
東京都



出典：自治体公表データ 52

報告日別感染者数の推移 (今週先週比1.1、1.2、1.3 が継続した場合)

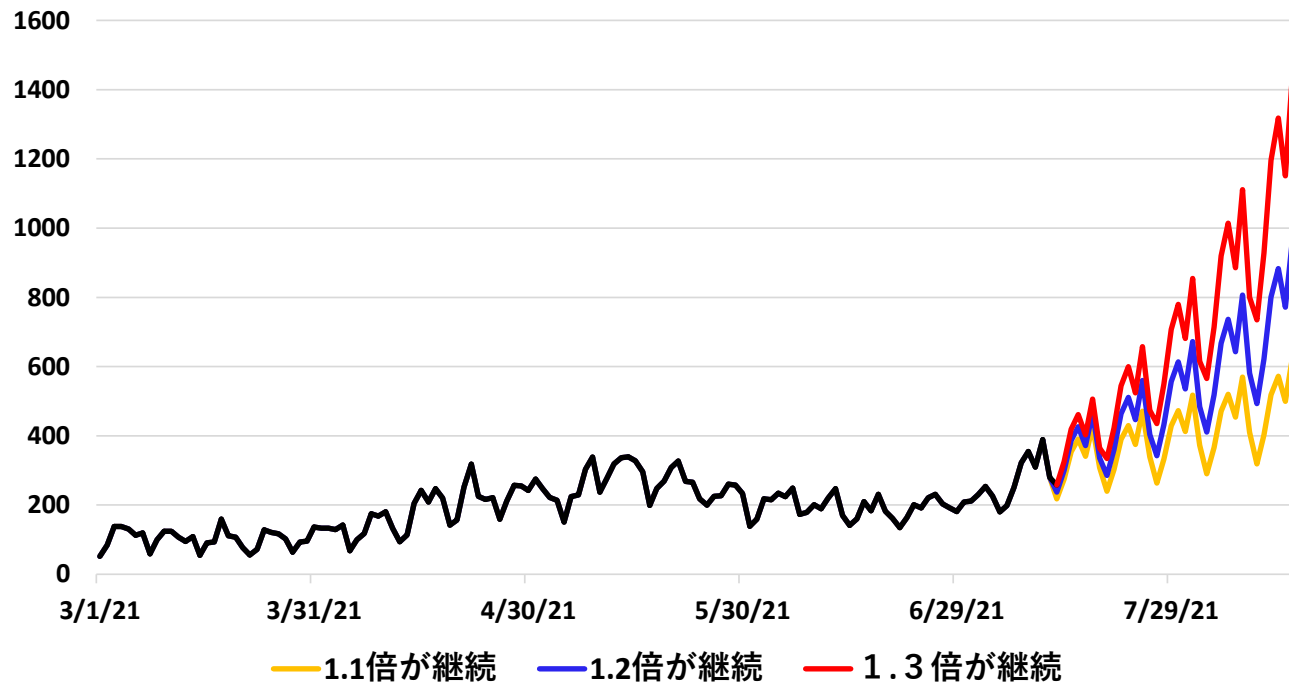
千葉県



出典：自治体公表データ 53

報告日別感染者数の推移 (今週先週比1.1、1.2、1.3 が継続した場合)

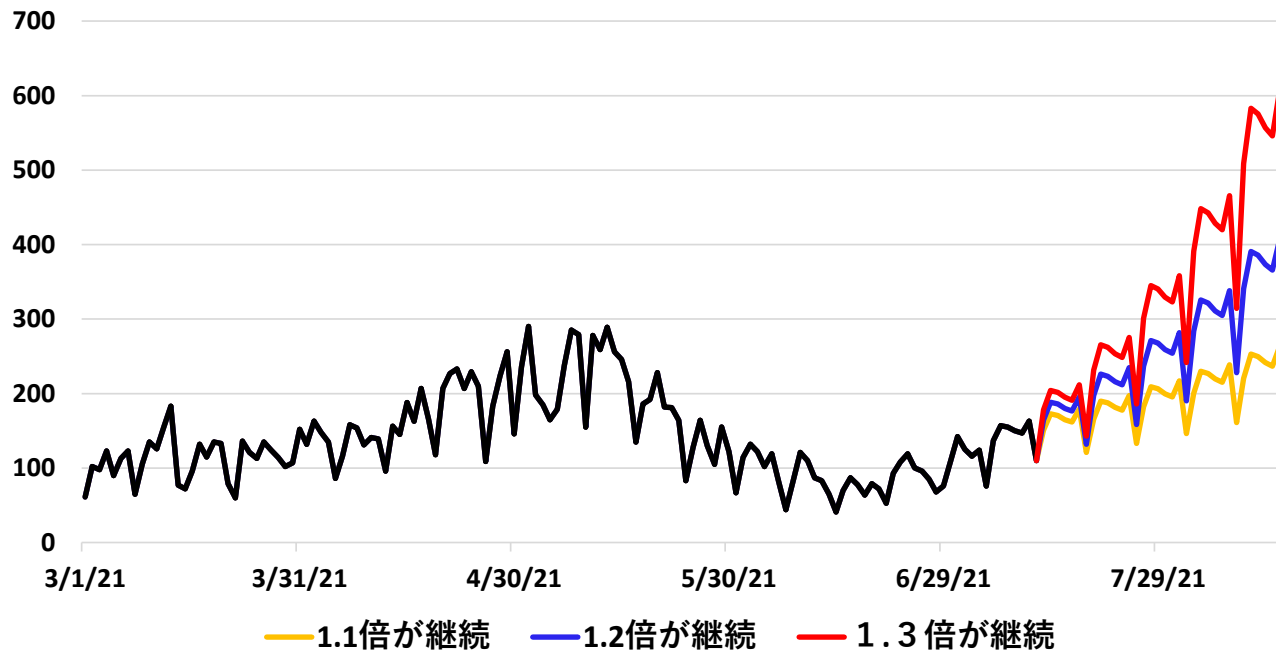
神奈川県



出典：自治体公表データ 54

報告日別感染者数の推移 (今週先週比1.1、1.2、1.3 が継続した場合)

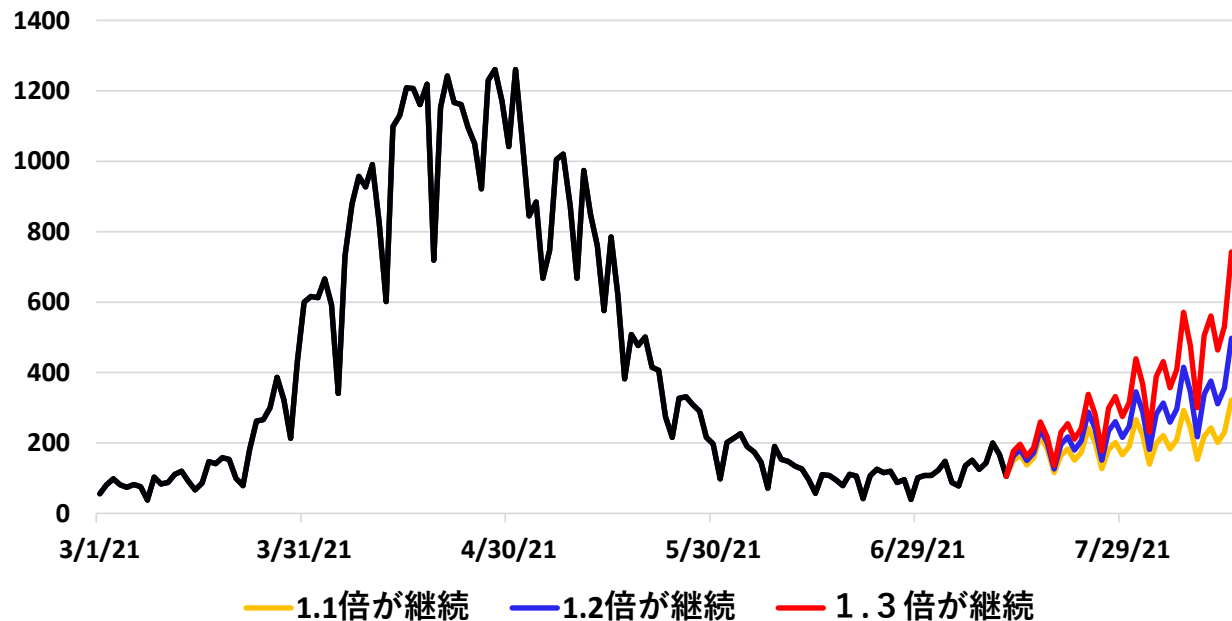
埼玉県



出典：自治体公表データ 55

報告日別感染者数の推移 (今週先週比1.1、1.2、1.3 が継続した場合)

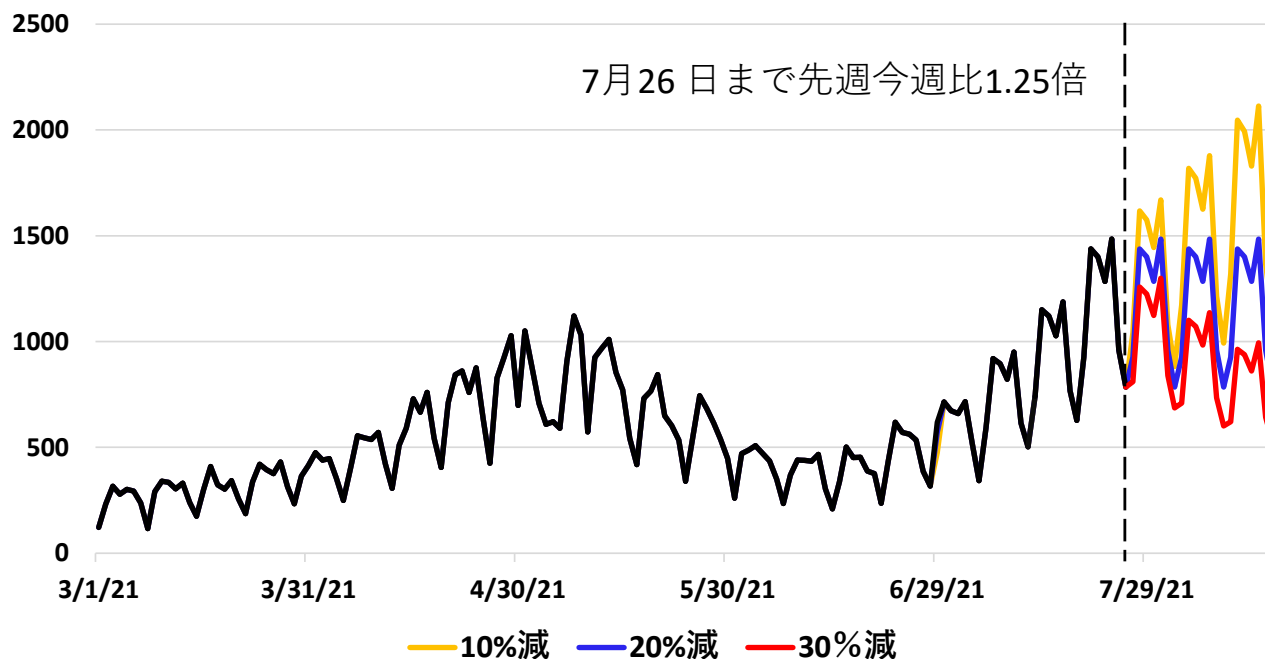
大阪府



出典：自治体公表データ 56

報告日別感染者数の推移 (7月26日以降今週先週比が減少した場合)

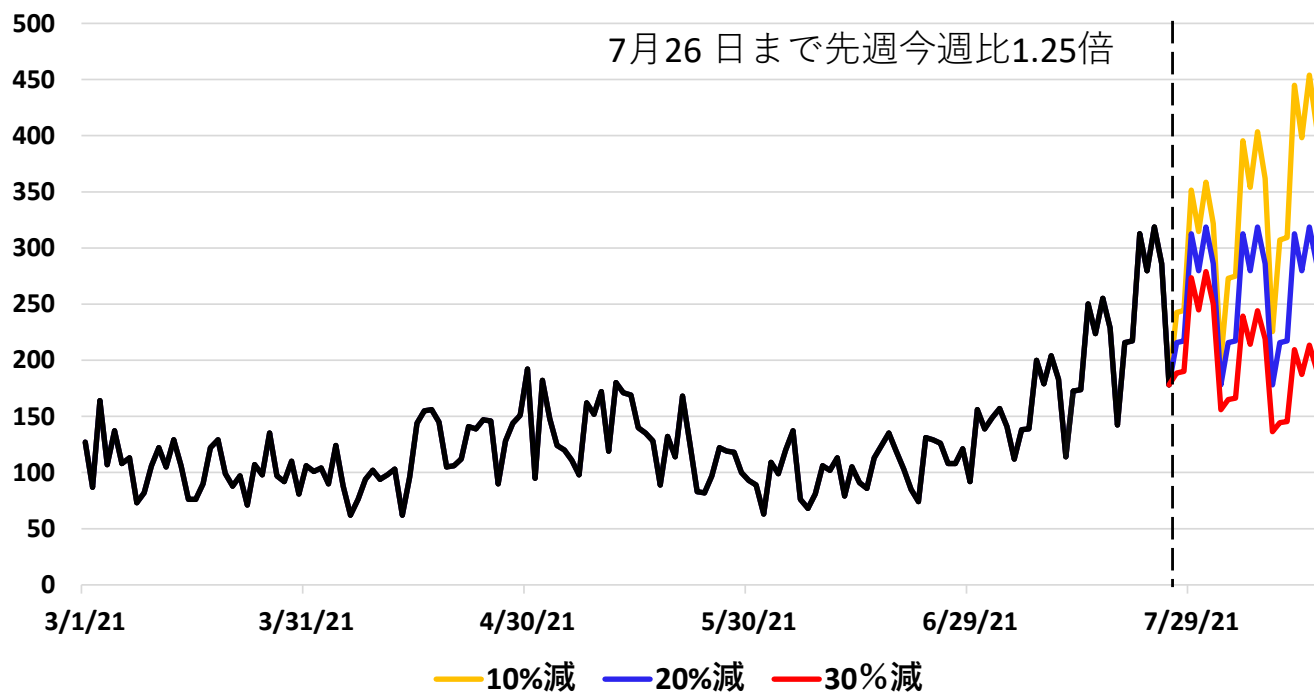
東京都



出典：自治体公表データ 57

報告日別感染者数の推移 (7月26日以降今週先週比が減少した場合)

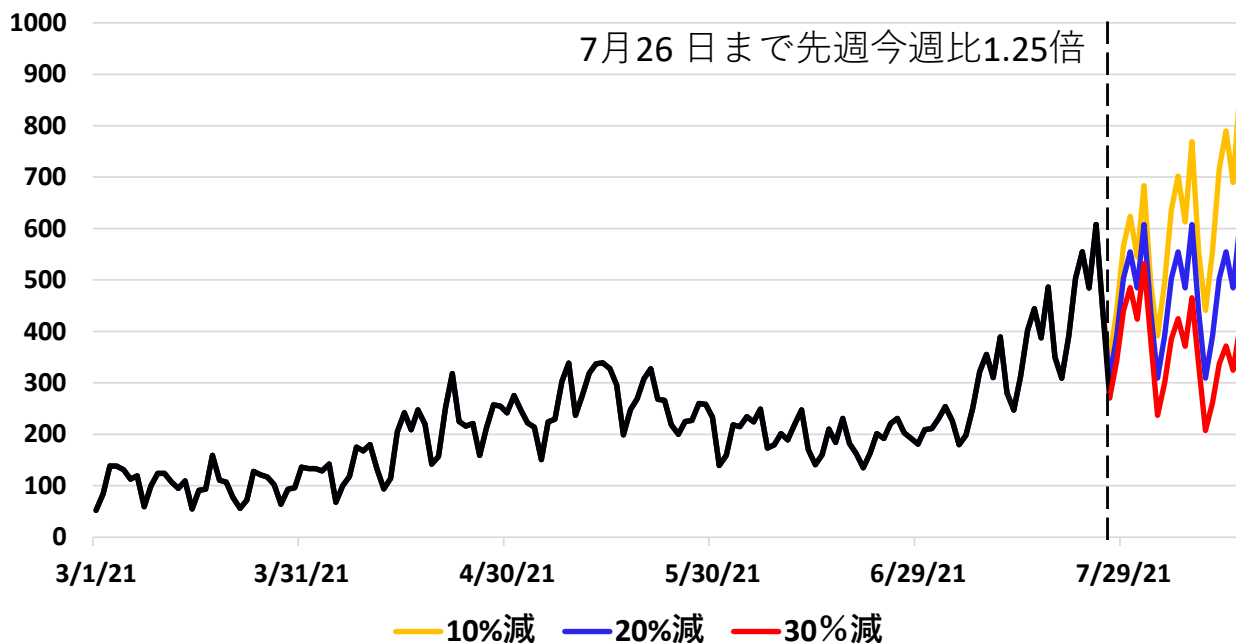
千葉県



出典：自治体公表データ 58

報告日別感染者数の推移 (7月26日以降今週先週比が減少した場合)

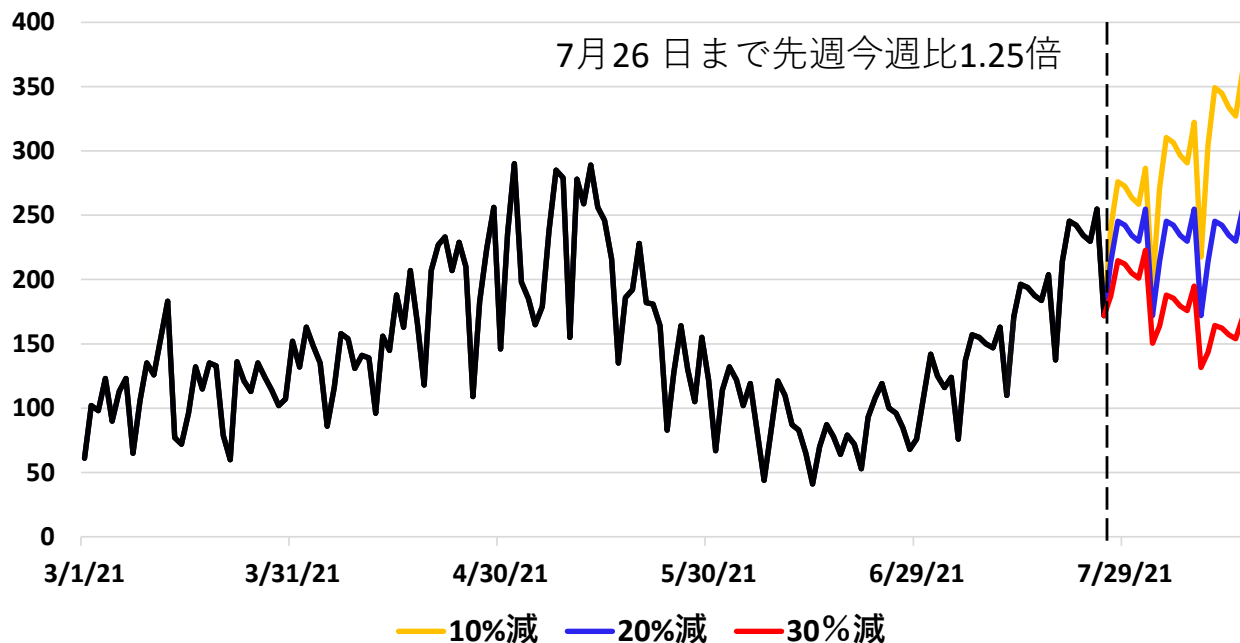
神奈川県



出典：自治体公表データ 59

報告日別感染者数の推移 (7月26日以降今週先週比が減少した場合)

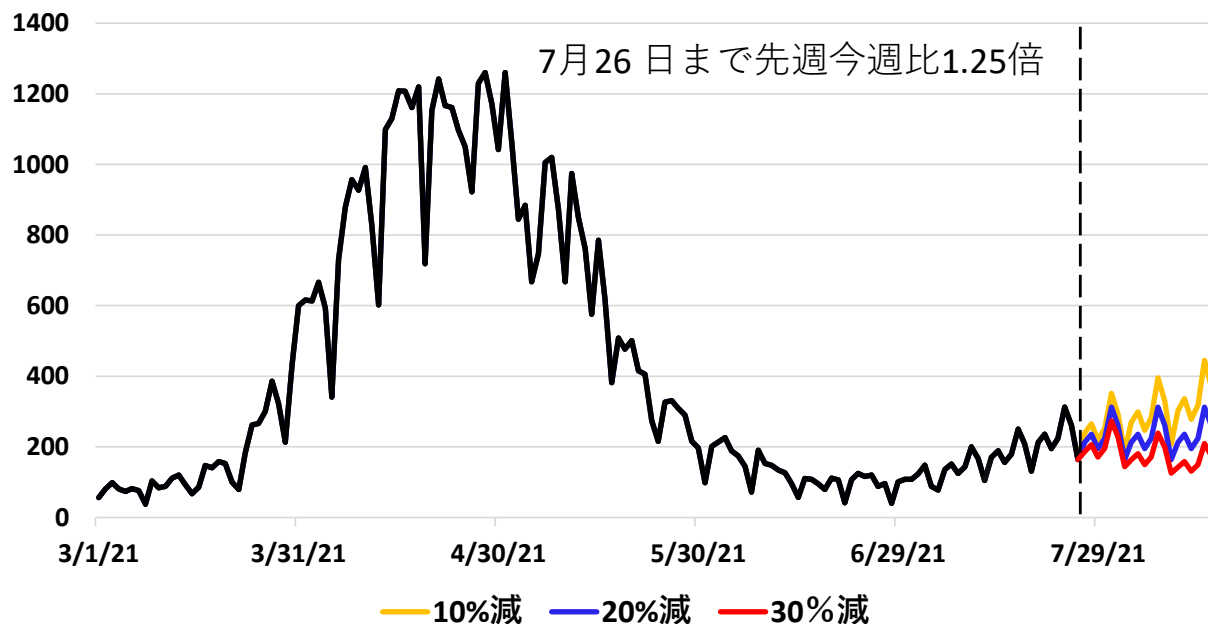
埼玉県



出典：自治体公表データ 60

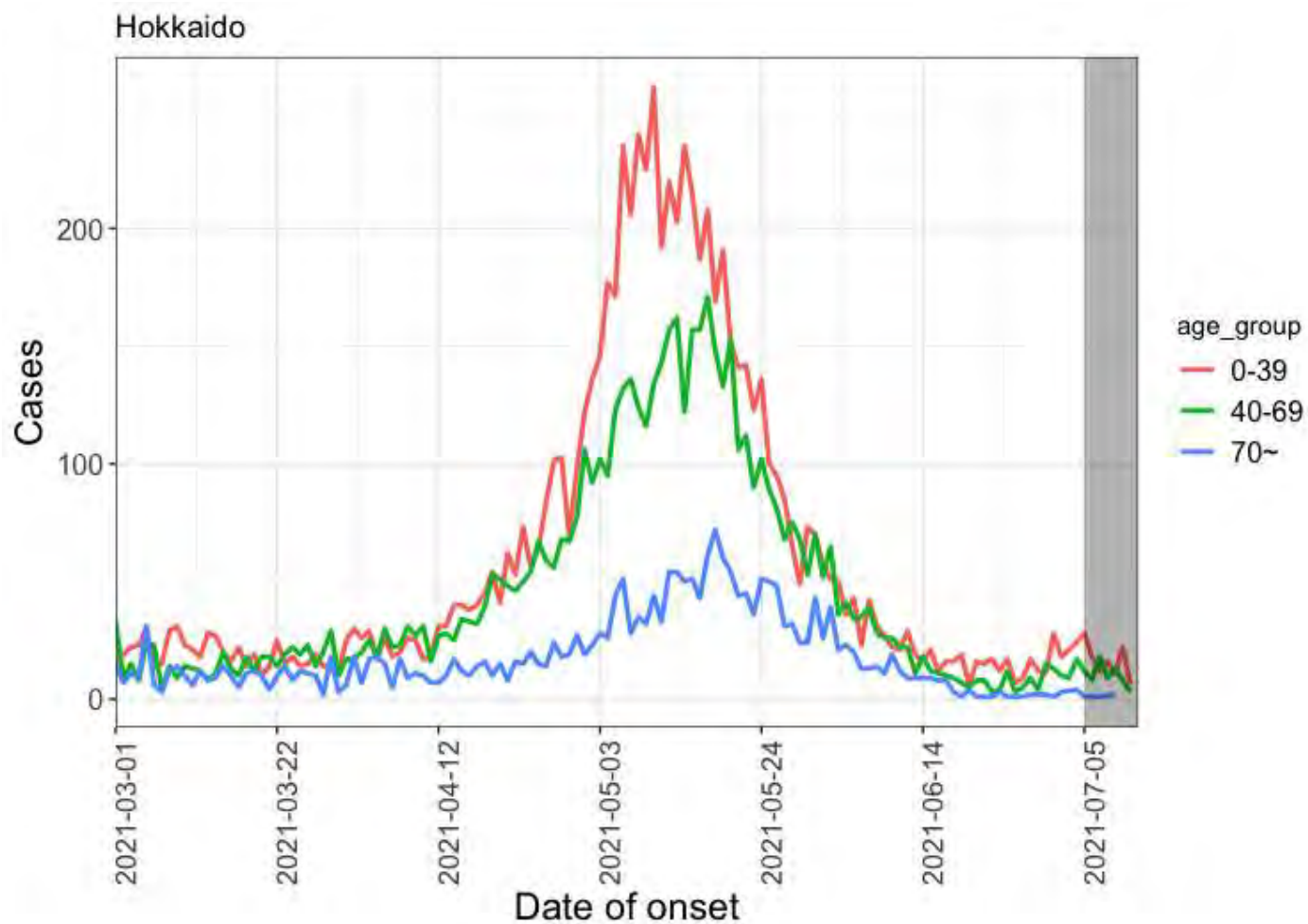
報告日別感染者数の推移 (7月26日以降今週先週比が減少した場合)

大阪府

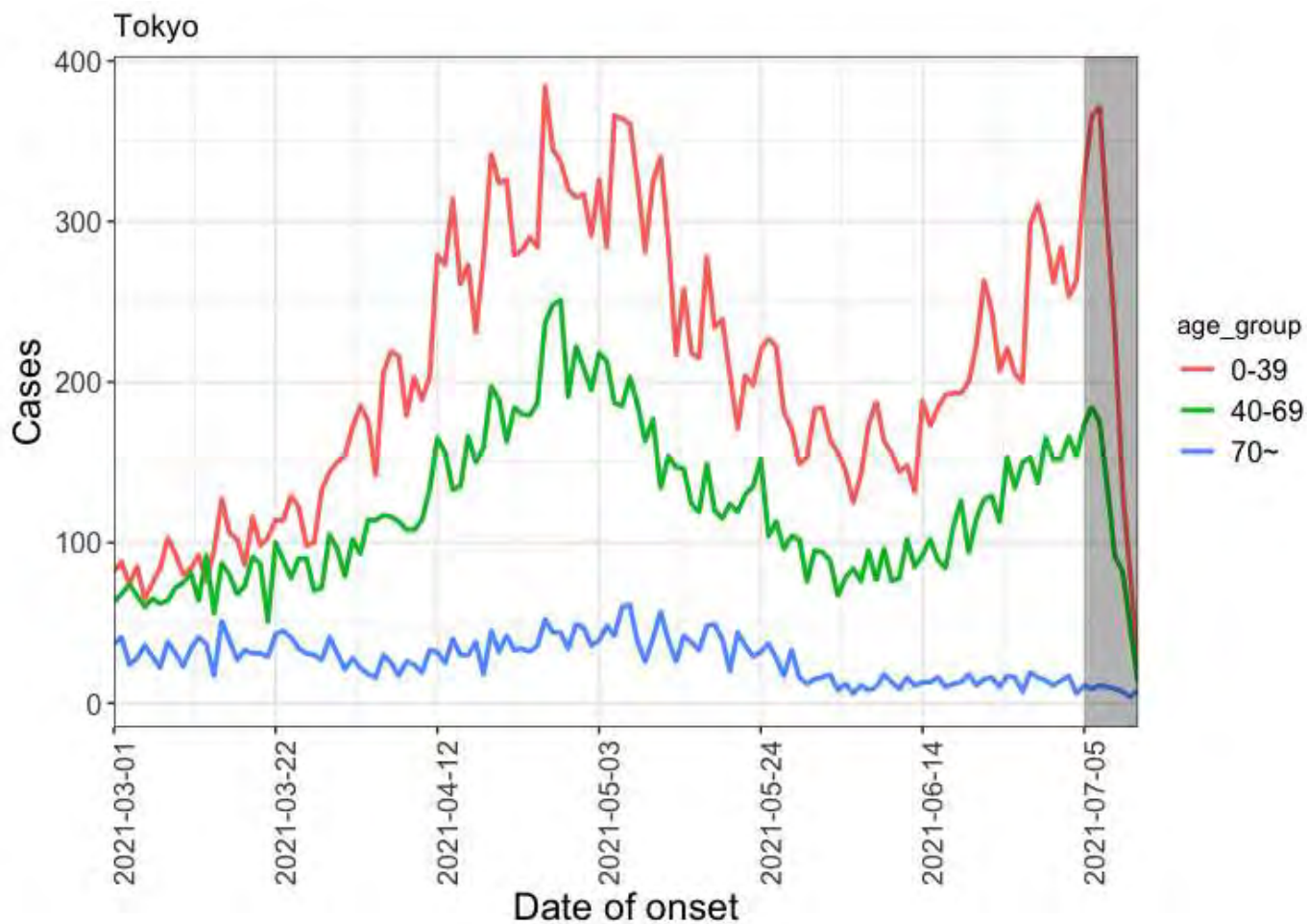


出典：自治体公表データ 61

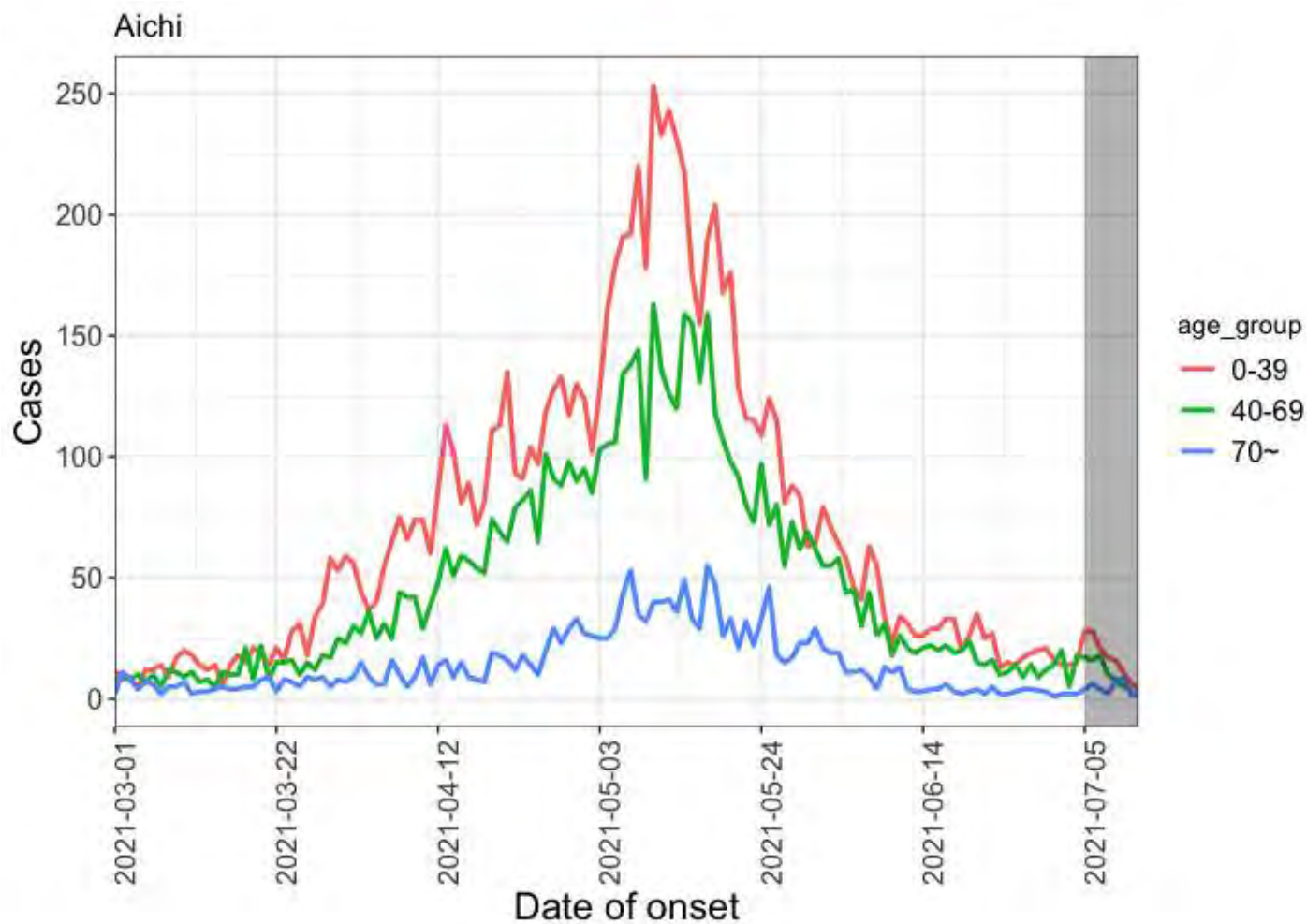
年齢群別発症日別感染者数（北海道）



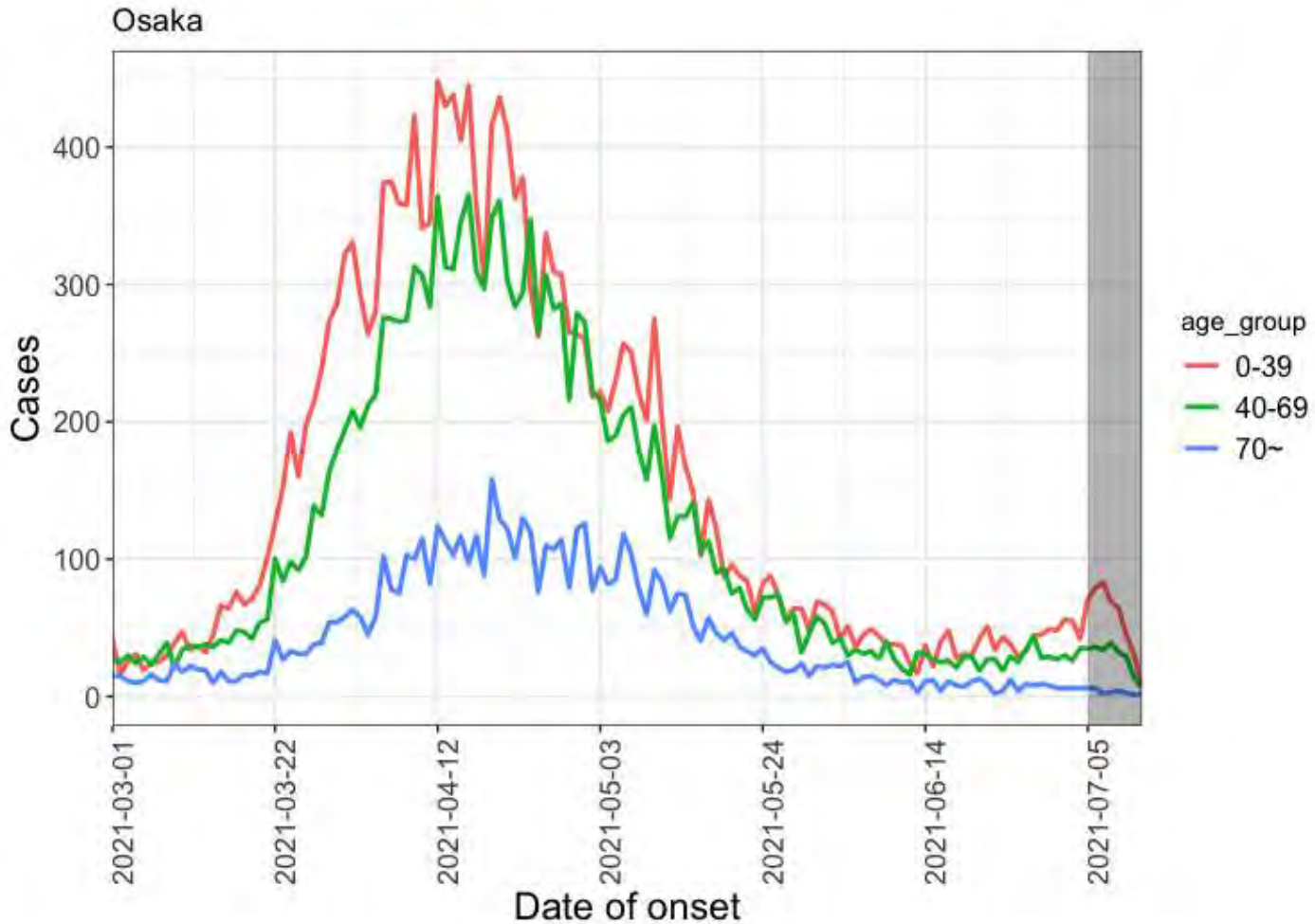
年齢群別発症日別感染者数（東京都）



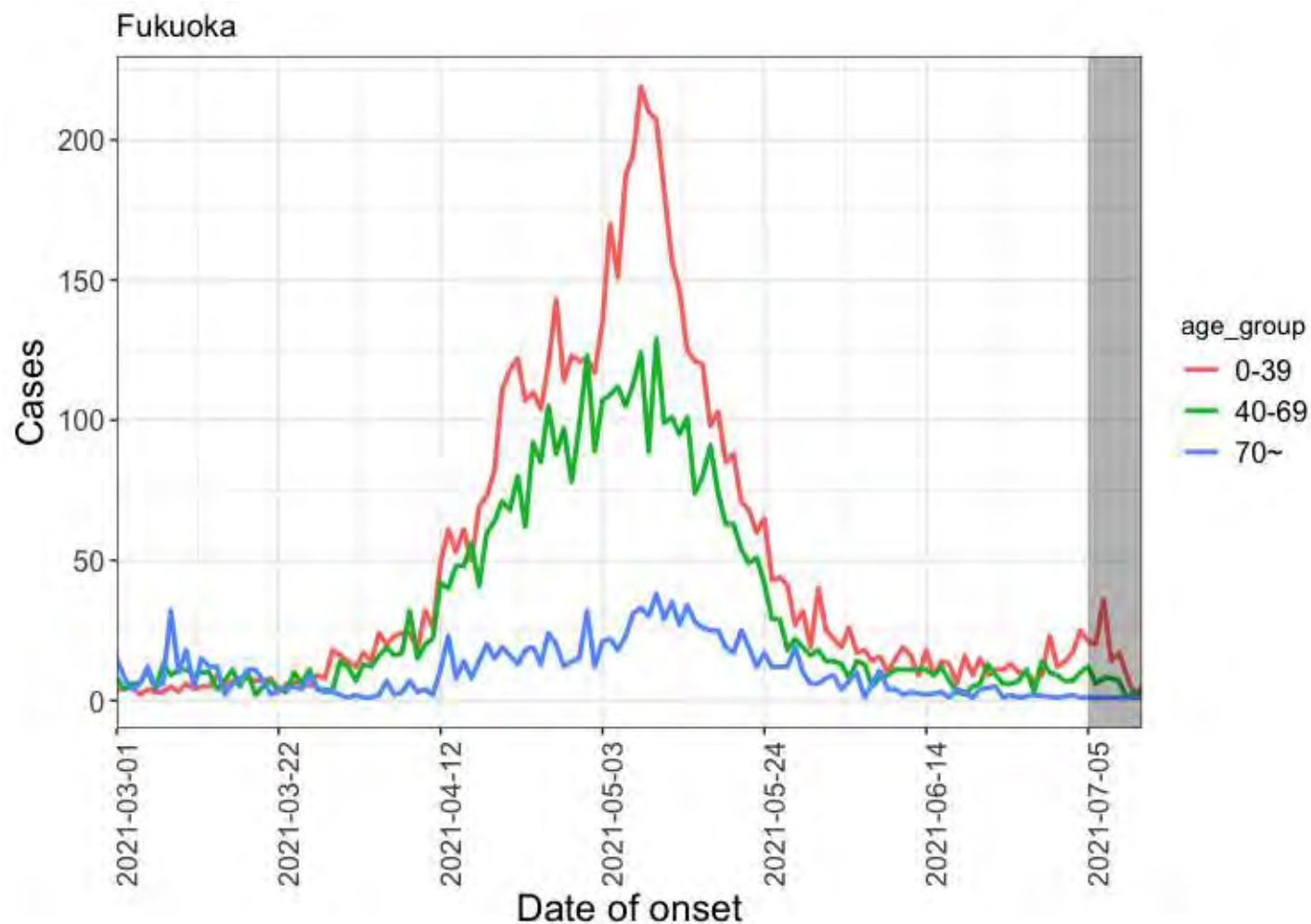
年齢群別発症日別感染者数（愛知県）



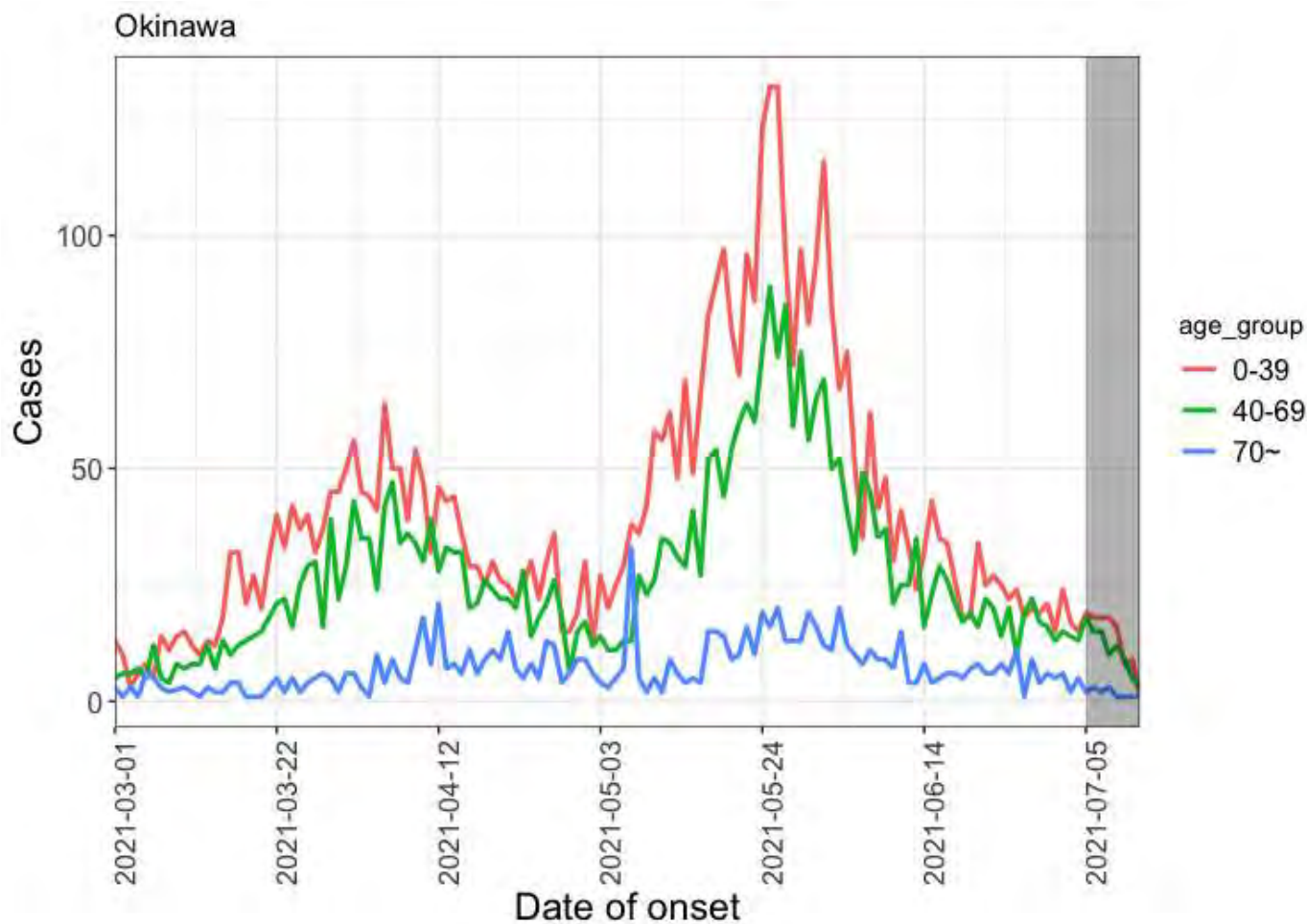
年齢群別発症日別感染者数（大阪府）

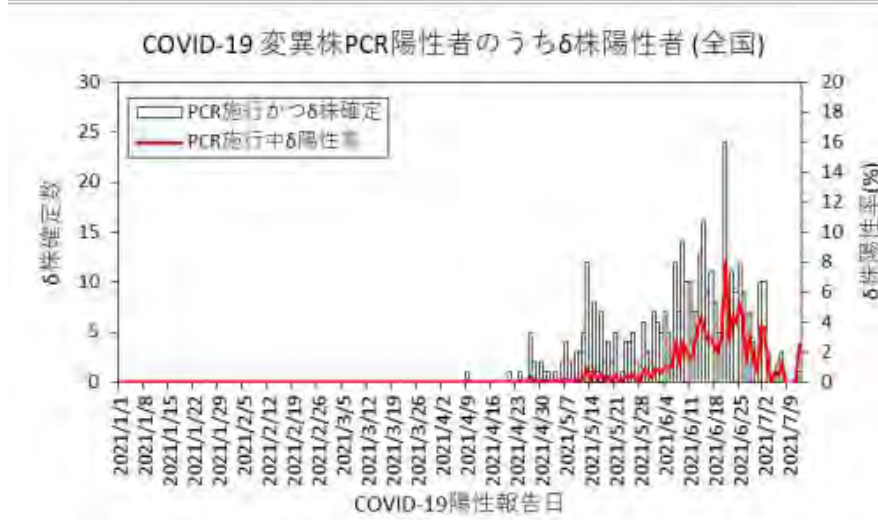
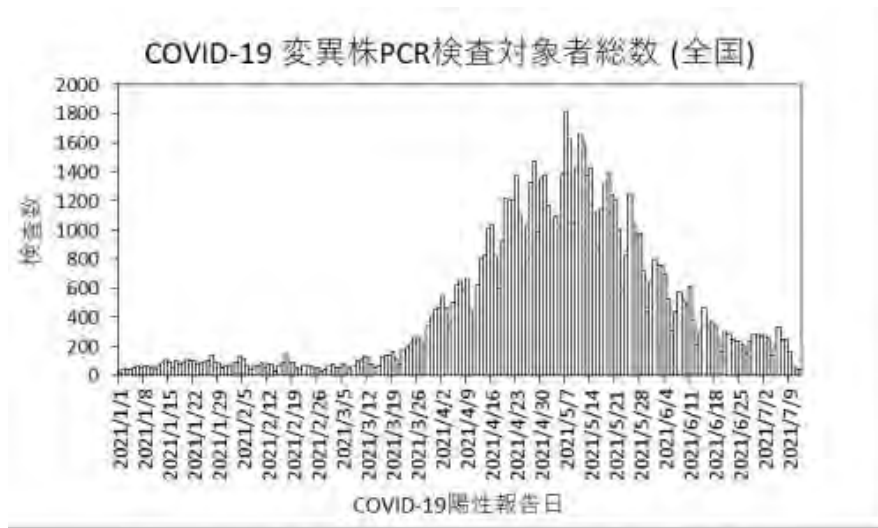


年齢群別発症日別感染者数（福岡県）

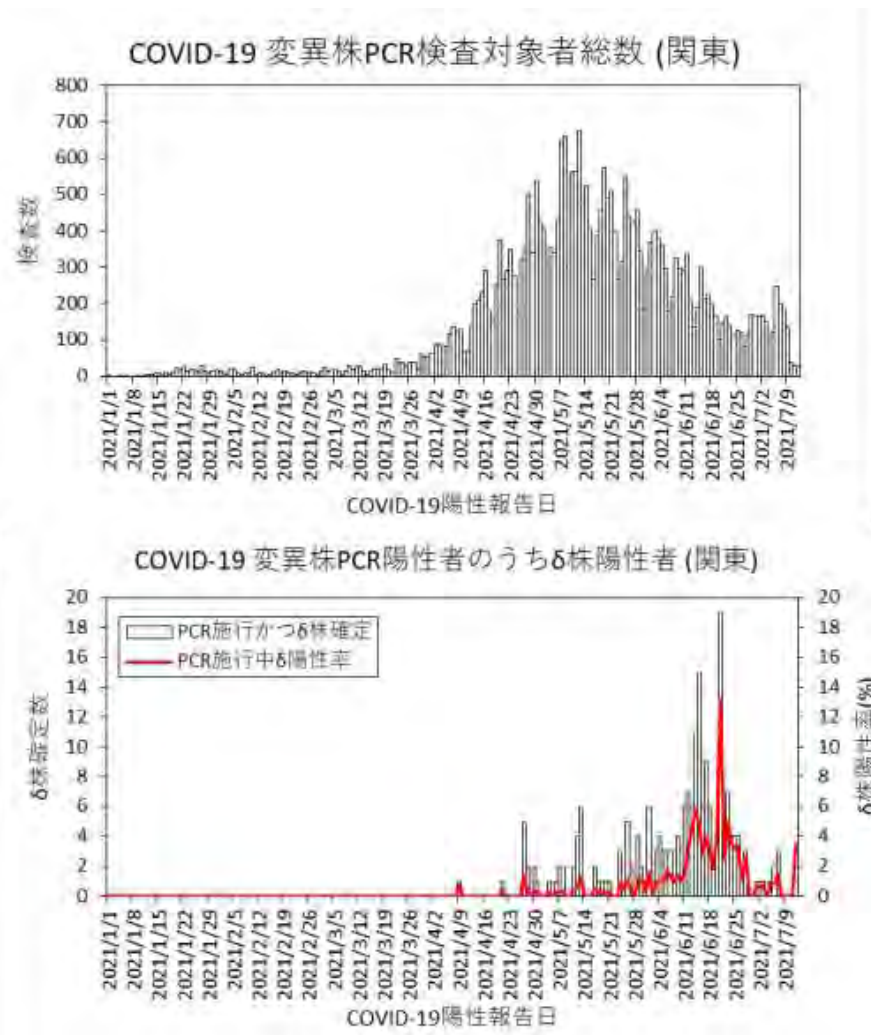


年齢群別発症日別感染者数（沖縄県）

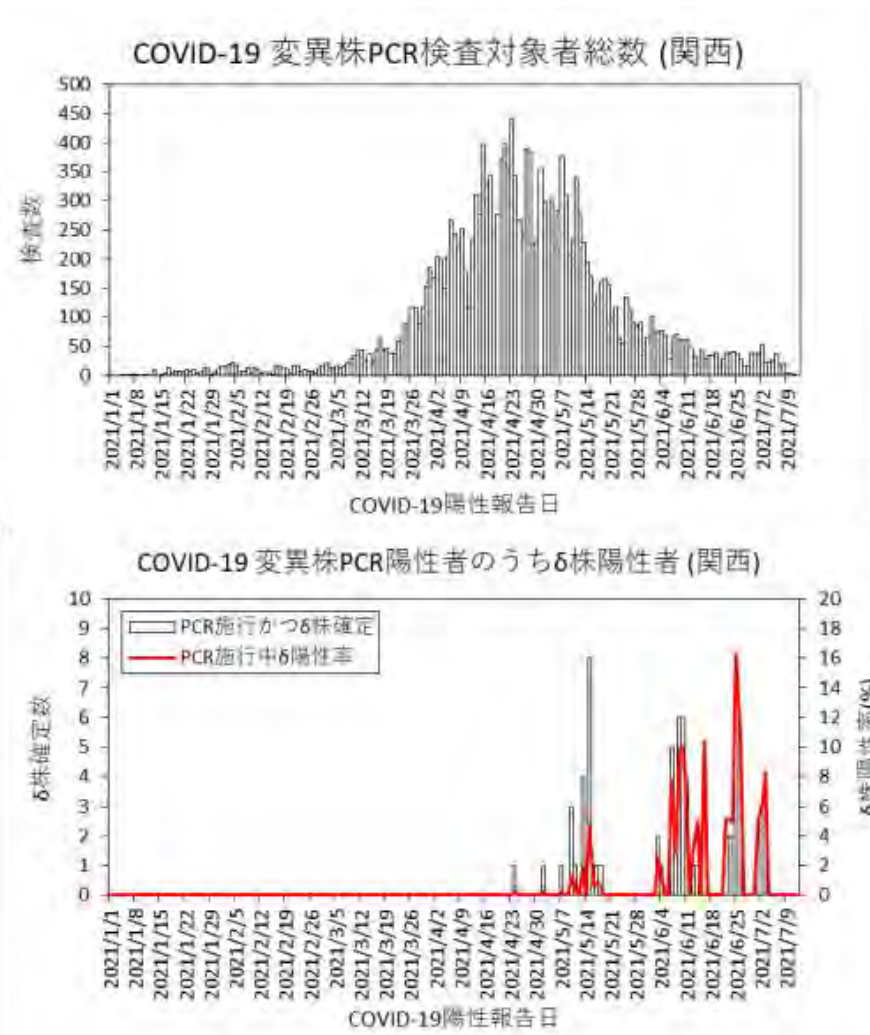




出典：HER-SYSにおけるL452R変異スクリーニング検査結果



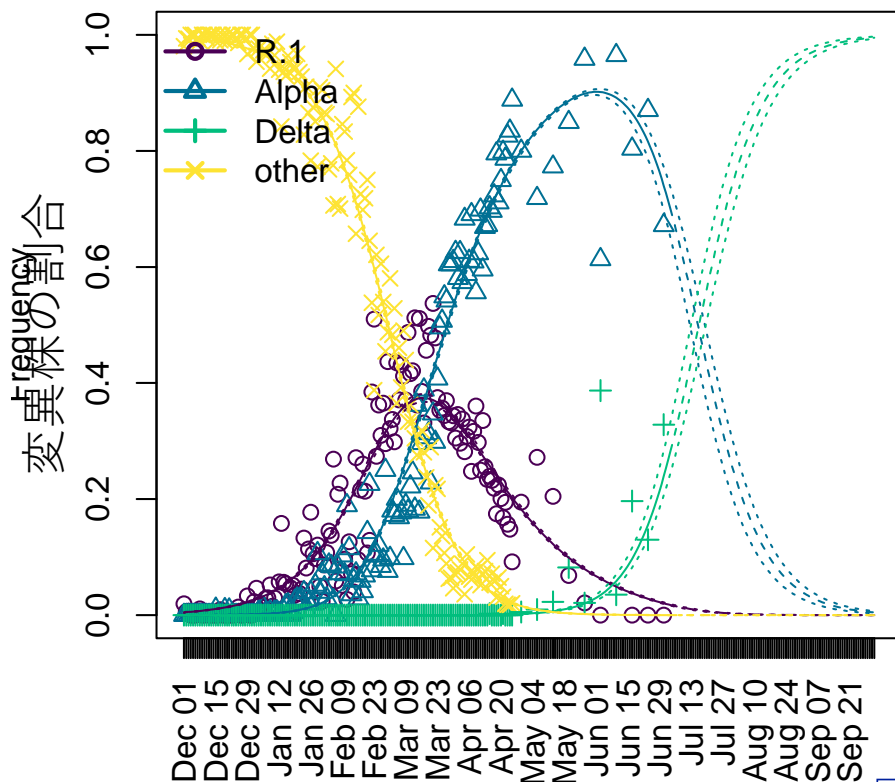
出典：HER-SYSにおけるL452R変異スクリーニング検査結果



出典：HER-SYSにおけるL452R変異スクリーニング検査結果 70

変異株の割合の推移の予測(東京)

変異株の再生産数の超過率



Parameter	Estimate
R.1	24.5%
Alpha	43.9%
Delta	94.6%

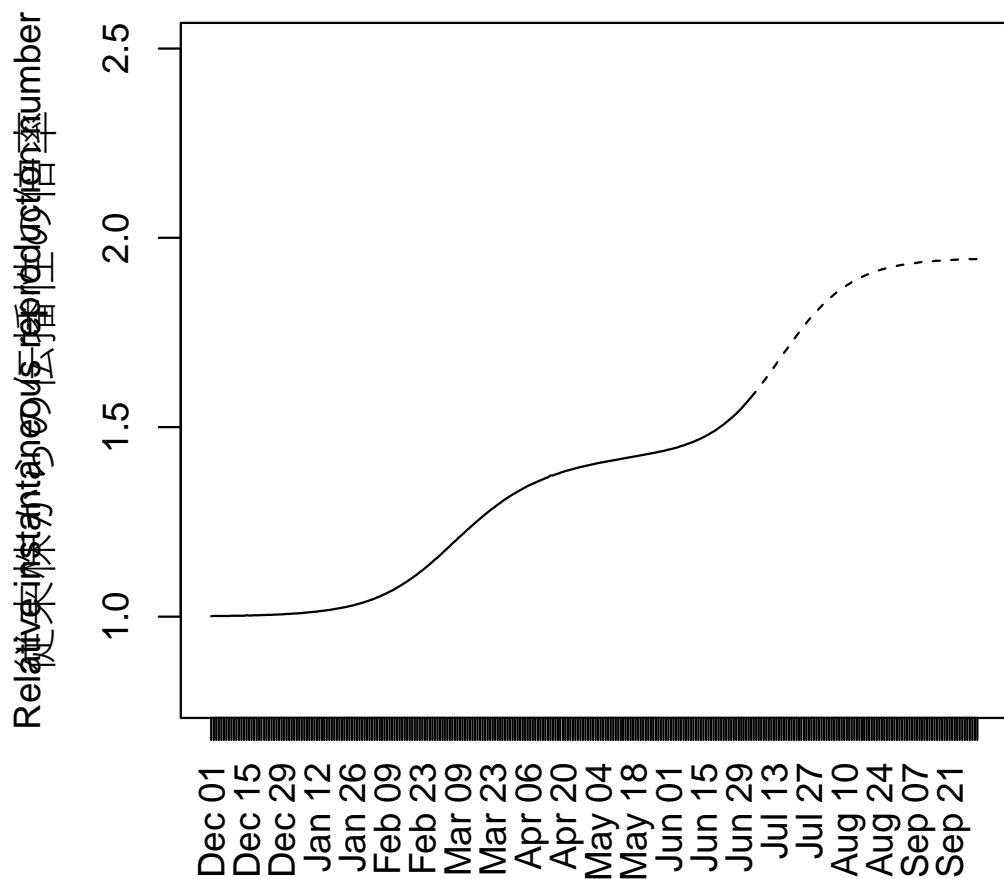
GISAIDの日本（空港検疫を除く）の株（～4/25）及び東京変異株PCR検査データ（4/26～7/4）を解析した結果。7/17（95%CI: 7/13–7/20）にDelta株が半数を超える。オリンピック開会式(7/23)時点で、デルタ株は61.5%（95%CI:56.0–67.8%）を占める。

AMED伊藤班(JP20fk0108535) 共同研究
北大・伊藤公人教授の分析結果

Ito, Piantham, Nishiura, *Eurosurveillance*,
doi:10.2807/1560-7917.ES.2021.26.27.2100570
に最新データを追加した結果

71

相対的な伝播力の推移 (東京)



Delta株の増加に伴い、
東京のCOVID-19の伝播
性が急増中であると考
えられる。

8月17日にDelta株が90%
を超え、東京のCOVID-
19の伝播性は従来株と比
べて1.90倍、アルファ株
と比べ、1.31倍となる。

AMED伊藤班(JP20fk0108535) 共同研究
北大・伊藤公人教授の分析結果

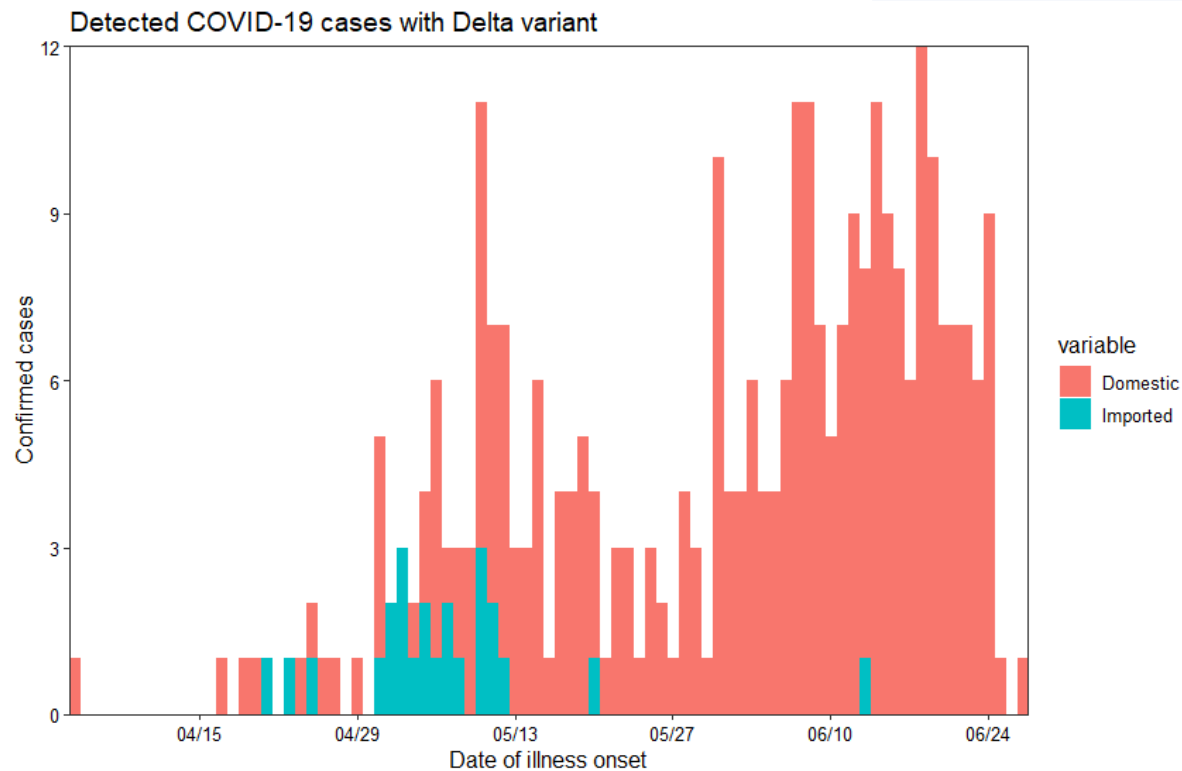
全国

Variant δ 発症日 2021-04-04 – 2021-06-27

Variant δ 発症日 2021-04-04 – 2021-06-16 (前回)

R

1.13 (95% CI: 1.12 – 1.14)



推定手法の出典：Nishiura et al. Theor Biol Med Model 2013;10:30. doi: 10.1186/1742-4682-10-30.

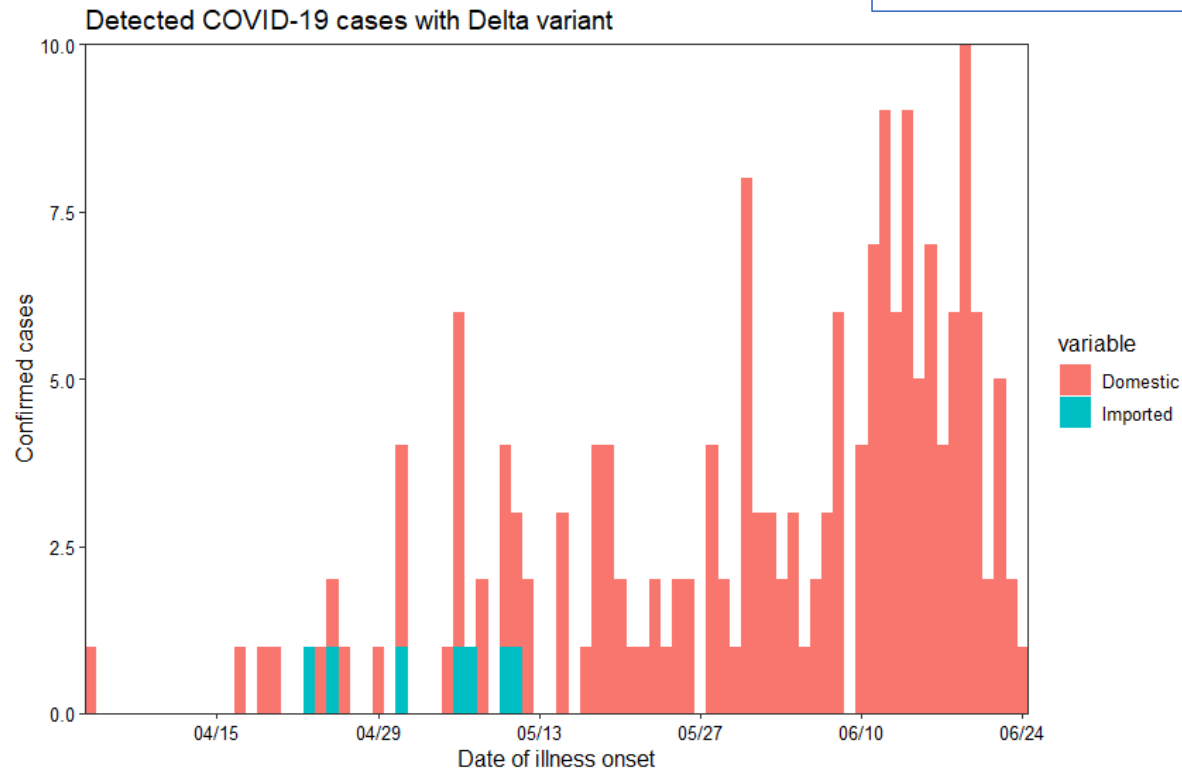
関東：東京、千葉、埼玉、神奈川

Variant δ 発症日 2021-04-04 – 2021-06-24

Variant δ 発症日 2021-04-04 – 2021-06-16 (前回)

R

1.30 (95% CI: 1.28 – 1.32)



推定手法の出典：Nishiura et al. Theor Biol Med Model 2013;10:30. doi: 10.1186/1742-4682-10-30.

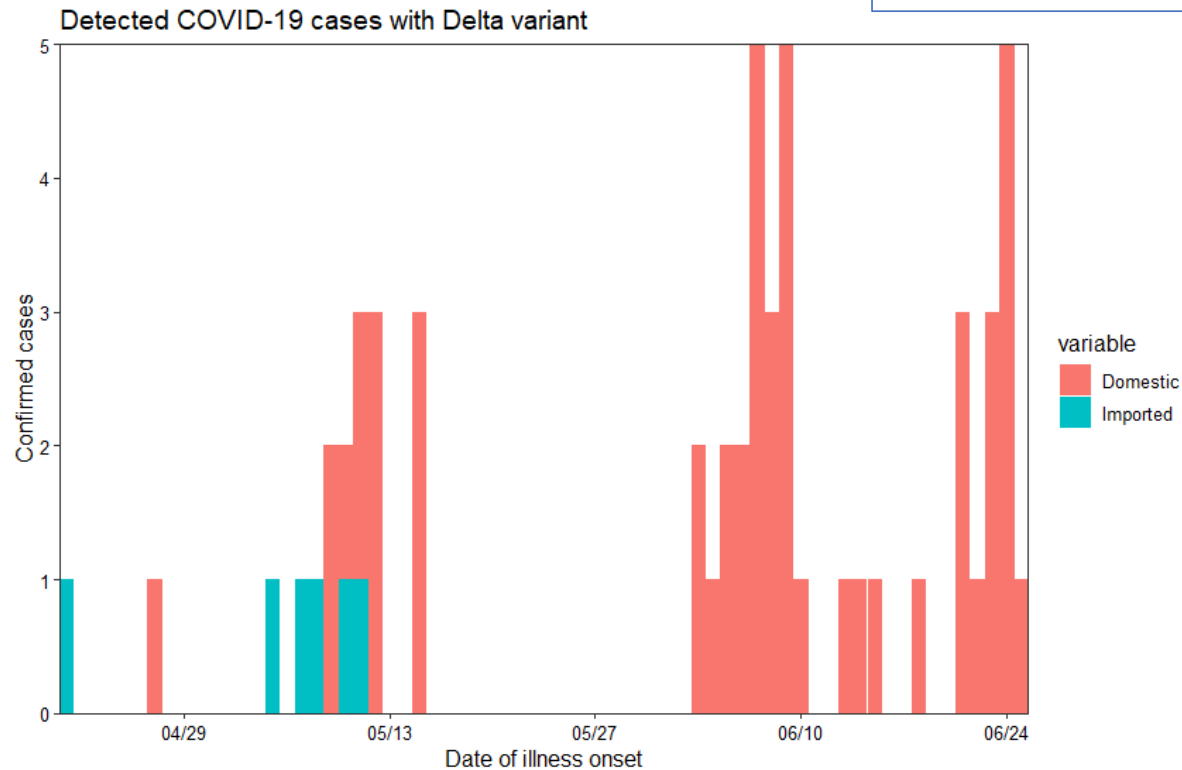
関西：京都、大阪、兵庫

Variant δ 発症日 2021-04-21 – 2021-06-21

Variant δ 発症日 2021-04-21 – 2021-06-15 (前回)

R

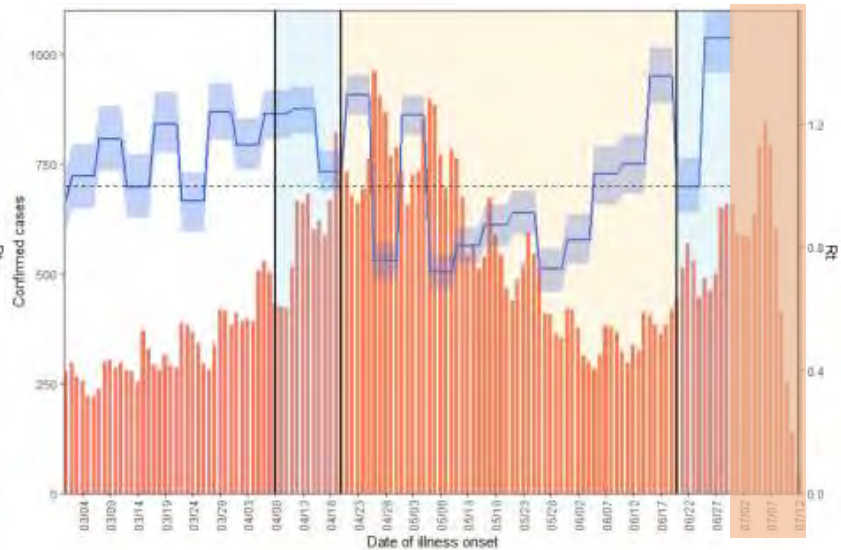
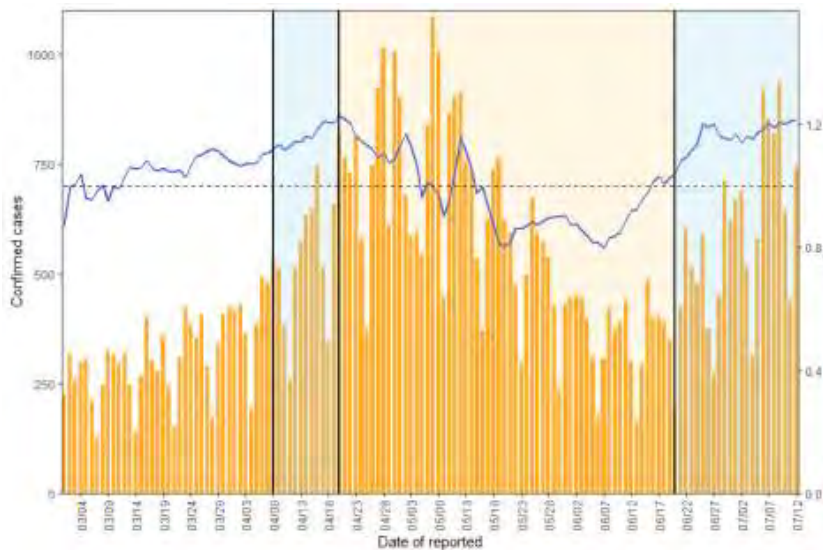
1.04 (95% CI: 1.02 – 1.07)



推定手法の出典：Nishiura et al. Theor Biol Med Model 2013;10:30. doi: 10.1186/1742-4682-10-30.

東京 Rt 全PCR陽性者

発令日	措置・呼び掛け
4月8日	「まん延防止等重点措置」要請
4月12日	「まん延防止等重点措置」適用
4月20日	「緊急事態宣言」要請
4月25日	「緊急事態宣言」実施（後に6月20日まで延長）
6月20日	「緊急事態宣言」解除 翌日「重点措置」実施
7月12日	「緊急事態宣言」実施（8月22日まで予定）



直近報告日は7月12日（重点措置要請の4月8日、緊急事態宣言要請の4月20日、解除の6月20日、緊急事態宣言実施の7月12日に垂直線）

発病時刻に基づく簡易手法

（Nishiura et al., J R Soc Interface 2010）

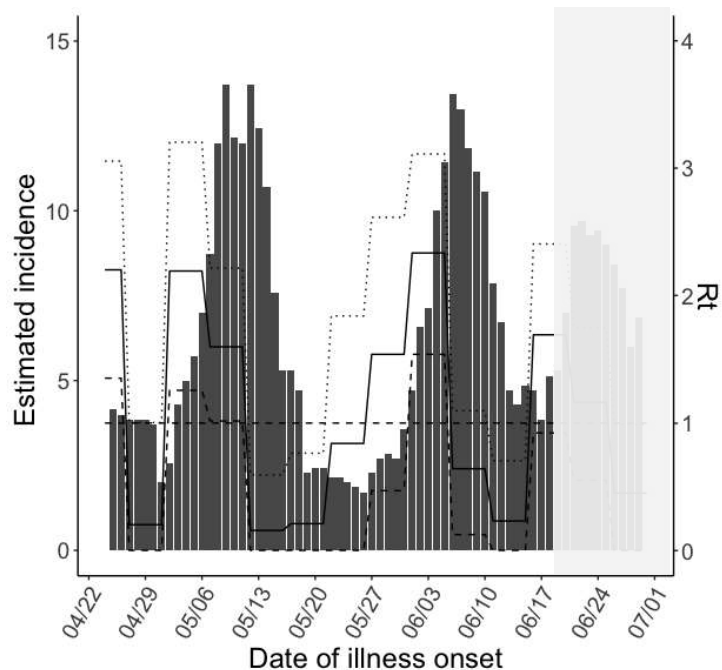
直近感染日は6月30日（重点措置要請の4月8日、緊急事態宣言要請の4月20日、解除の6月20日、緊急事態宣言実施の7月12日に垂直線）

直近推定区間は6月25日 - 6月30日（ $R = 1.48$ ）、以降はシェード

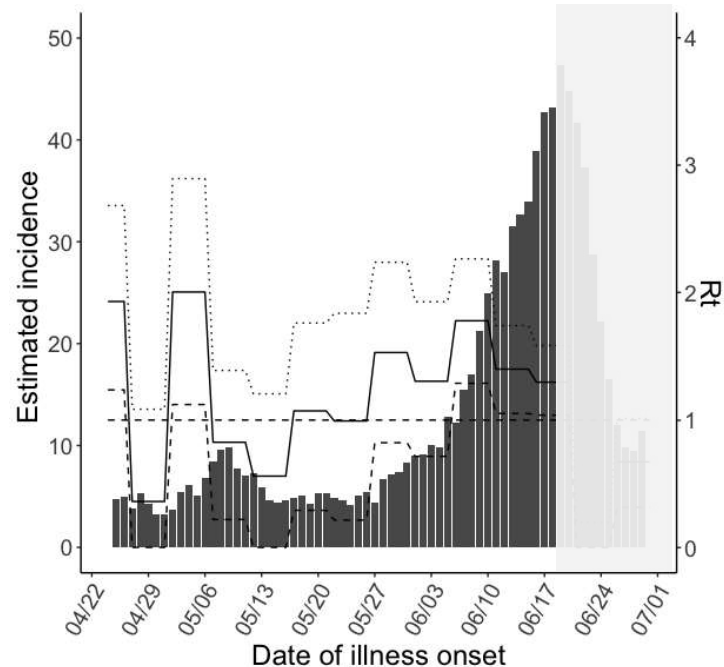
再生産方程式と感染性プロファイルを利用した方法（Nakajo & Nishiura. J Clin Med 2021）

Variant δ のみの R_t 評価（7月13日までの発症日に関する報告データを使用。
直近区間のみ若干の過少評価の可能性あり）
最終推定区間：6月26－6月30日(デルタ株ゲノム検査にかかる時間・HERSYS入力遅れの影響で直近の値は過小評価がある。次週以降修正手法を試みる。)

大阪・兵庫・京都delta



東京・神奈川・千葉・埼玉delta

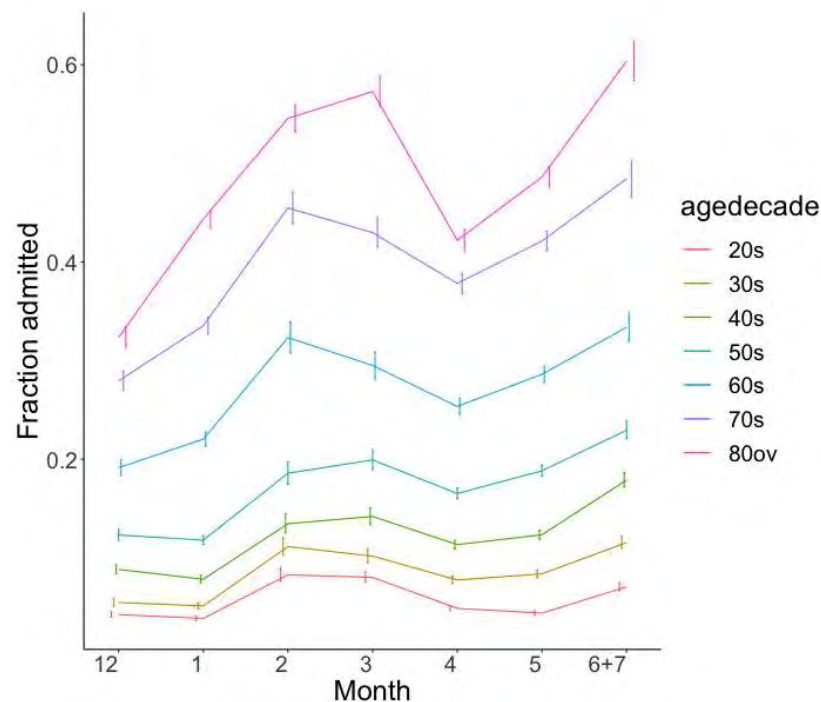


推定手法の出典：Nakajo & Nishiura. J Clin Med 2021;10(6):1256.
doi: 10.3390/jcm10061256.

全感染者（7月13日までの発症日に関する報告データを使用）

参考：全国

6-7月の入院化率は、今後入院する可能性のあるcase及び直近のHERSYSへの入力遅延を加味すると過小評価の可能性あり。
(次頁以降も同様)

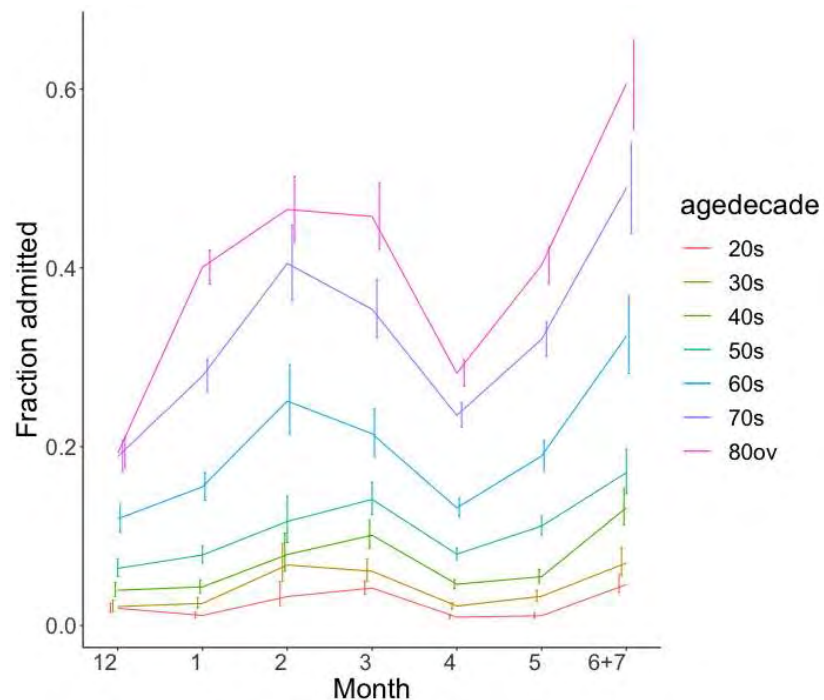
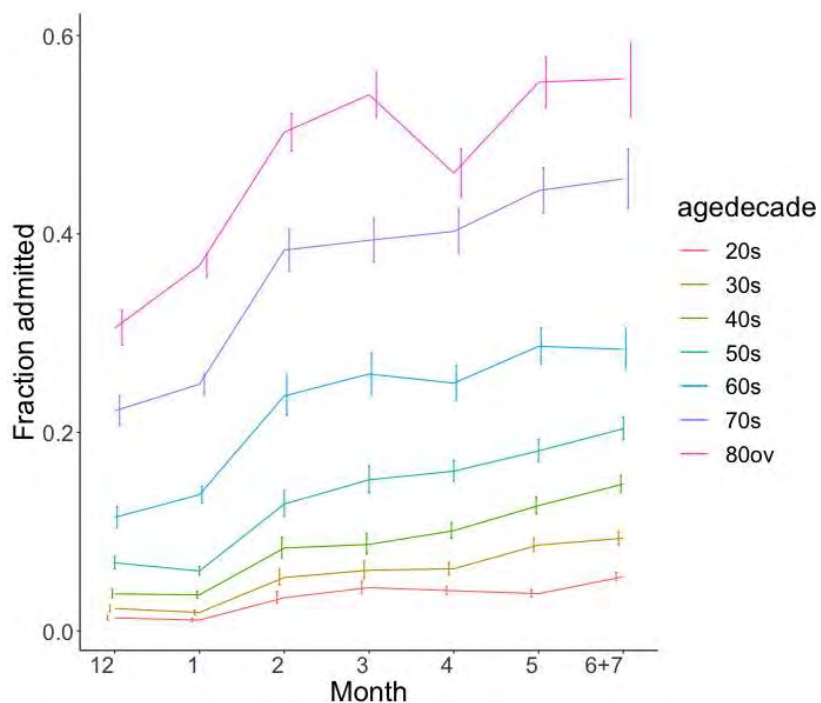


出典：HERSYSにおける転帰情報

全感染者（7月13日までの発症日に関する報告データを使用）

東京神奈川千葉埼玉 入院化率

大阪兵庫京都 入院化率

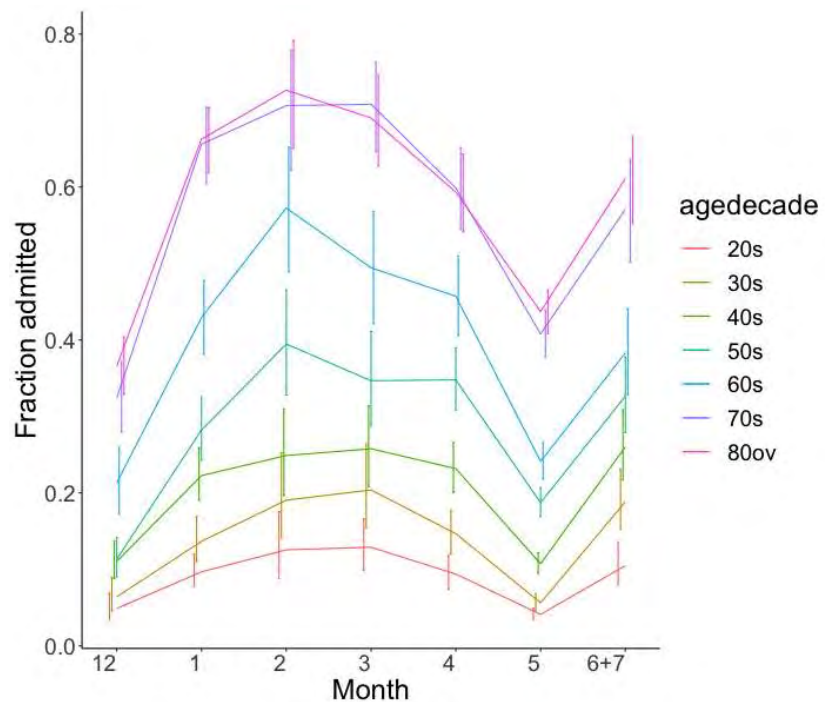
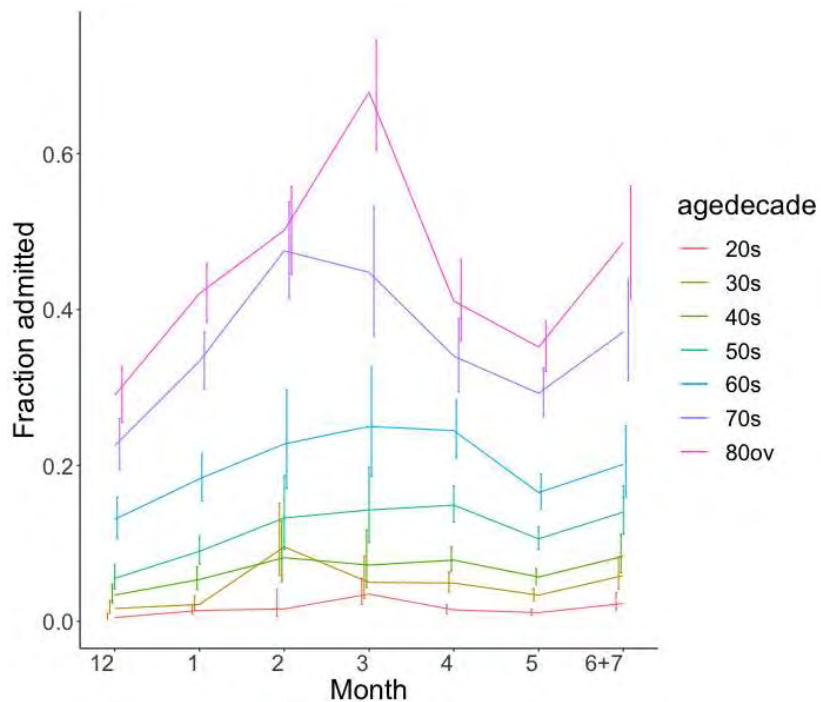


出典：HERSYSにおける転帰情報

全感染者（7月13日までの発症日に関する報告データを使用）

愛知 入院化率

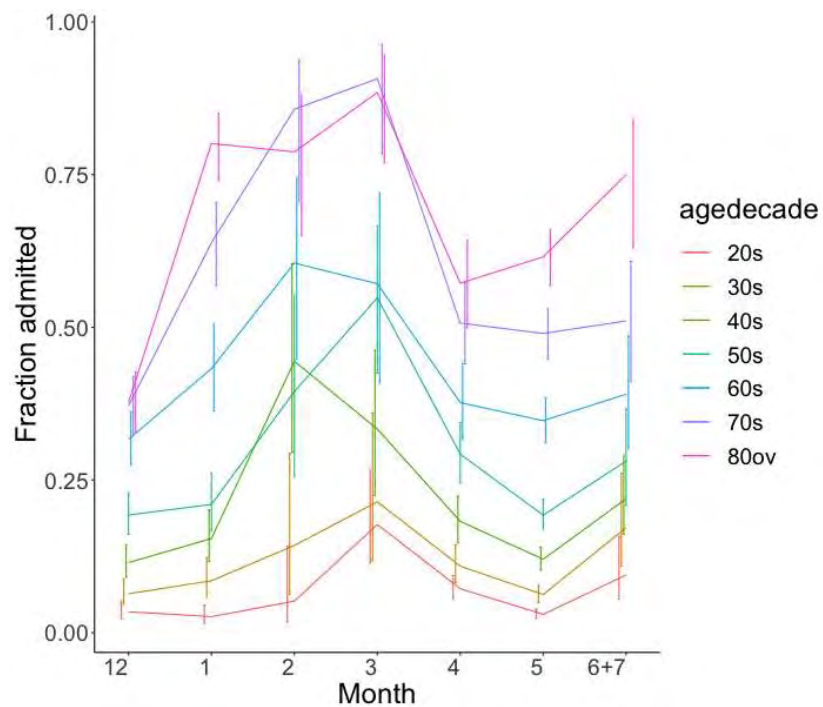
北海道 入院化率



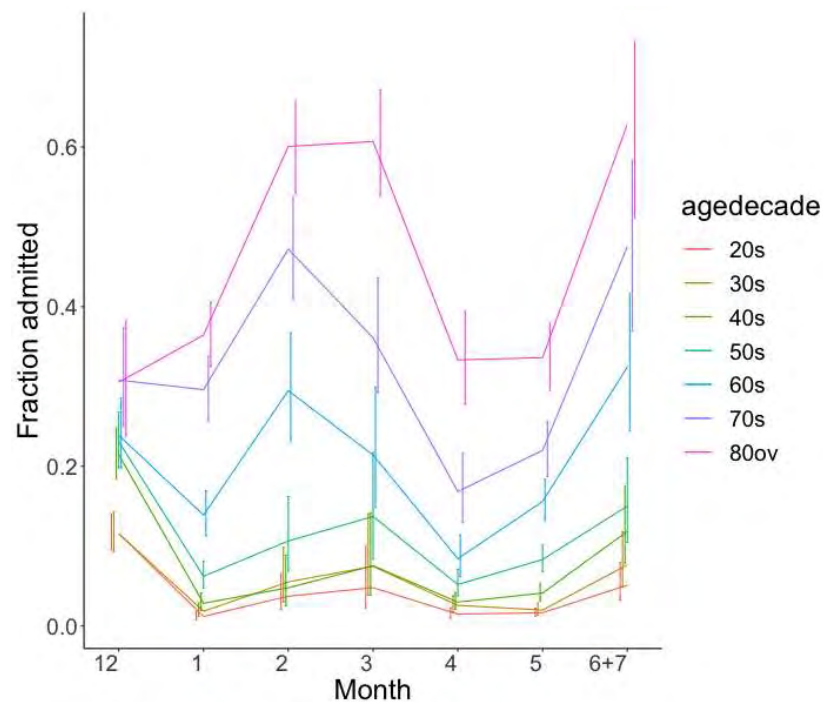
出典：HERSYSにおける転帰情報

全感染者（7月13日までの発症日に関する報告データを使用）

広島岡山 入院化率



福岡 入院化率



出典：HERSYSにおける転帰情報

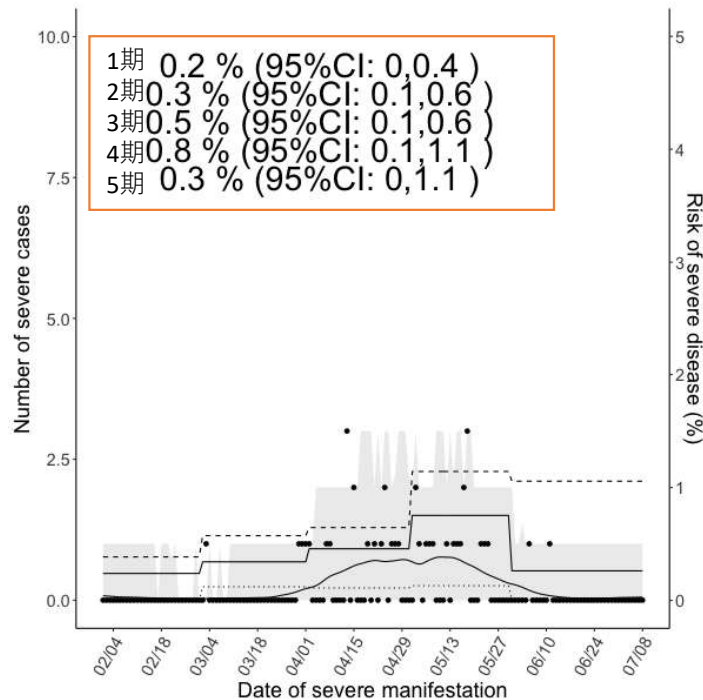
発症日別 (d=1, 2, 3,4 and 5) :

- 1期 第3波 : 11/16-2/28
- 2期 第4波 : 3/1-3/31
- 3期 第4波増大 : 4/1-4/30
- 4期 第4波 : 5/1-5/31
- 5期 第4派 : 6/1以降

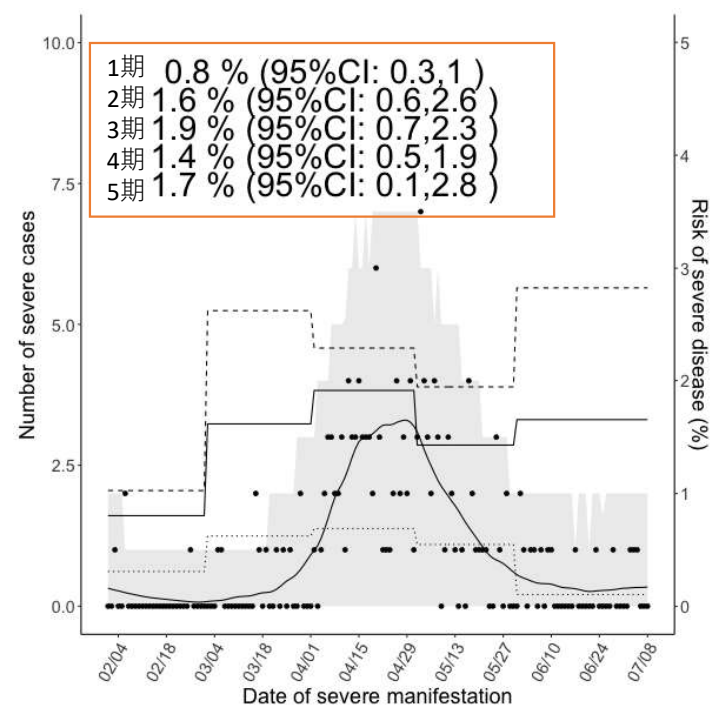
$$s(t) = \int_0^{\infty} \sum_{d=d_1, d_2, d_3, d_4, d_5} p_{di}(t-s)f(s)ds,$$

$f(s)$ は発症から重症化までのpdf

大阪重症化率 30代



大阪重症化率 40代



出典：大阪府公開データ

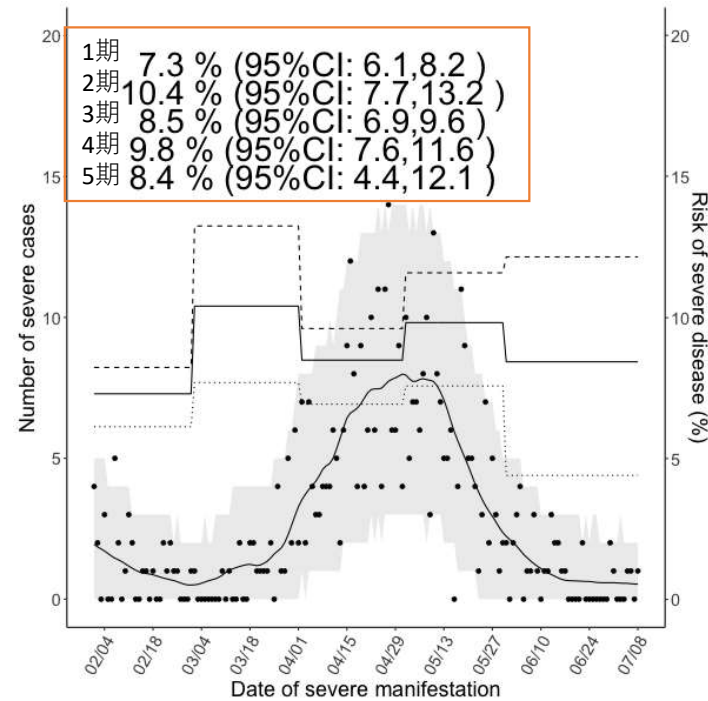
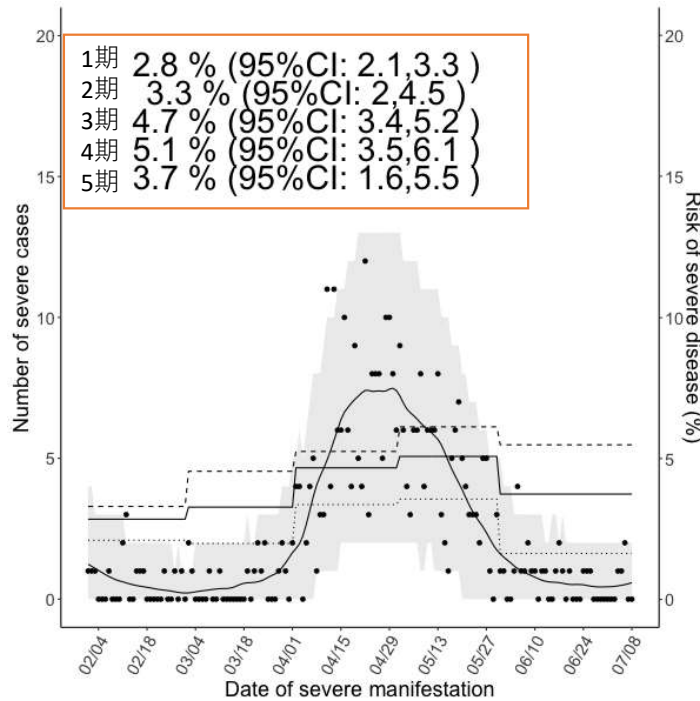
- 発症日別 (d=1, 2, 3,4 and 5) :
- 1期 第3波 : 11/16-2/28
 - 2期 第4波 : 3/1-3/31
 - 3期 第4波増大 : 4/1-4/30
 - 4期 第4波 : 5/1-5/31
 - 5期 第4派 : 6/1以降

$$s(t) = \int_0^{\infty} \sum_{d=d1,d2,d3,d4,d5} p_{di}(t-s)f(s)ds,$$

$f(s)$ は発症から重症化までのpdf

大阪重症化率 50代

大阪重症化率 60代



出典：大阪府公開データ

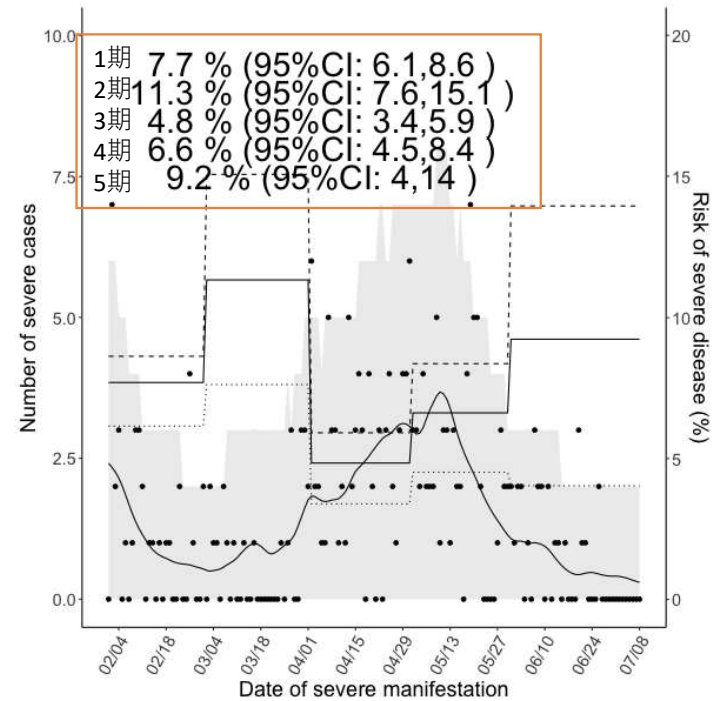
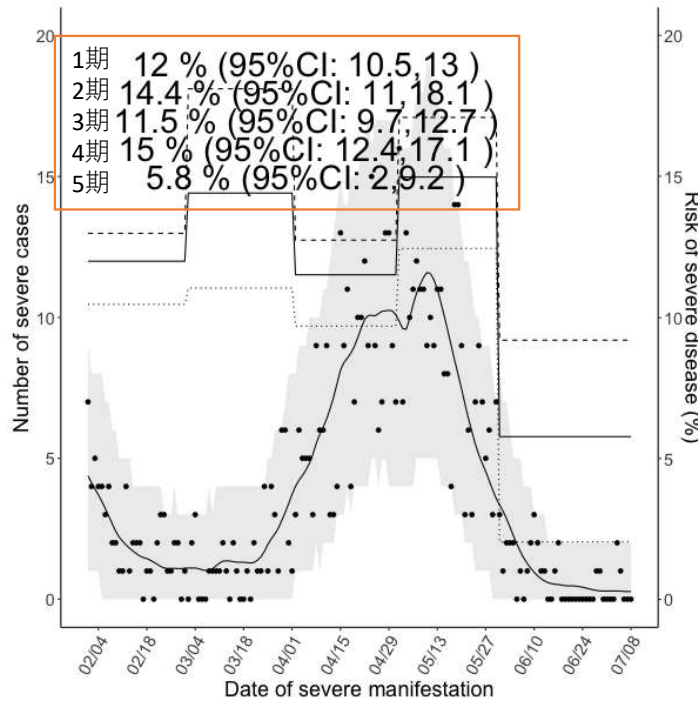
- 発症日別 (d=1, 2, 3,4 and 5) :
- 1期 第3波 : 11/16-2/28
 - 2期 第4波 : 3/1-3/31
 - 3期 第4波増大 : 4/1-4/30
 - 4期 第4波 : 5/1-5/31
 - 5期 第4派 : 6/1以降

$$s(t) = \int_0^{\infty} \sum_{d=d_1, d_2, d_3, d_4, d_5} p_{di}(t-s)f(s)ds,$$

$f(s)$ は発症から重症化までのpdf

大阪重症化率 70代

大阪重症化率 80代以上

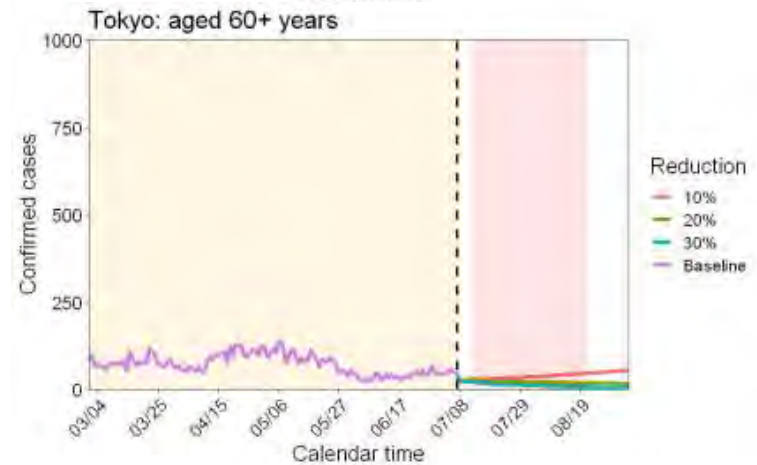
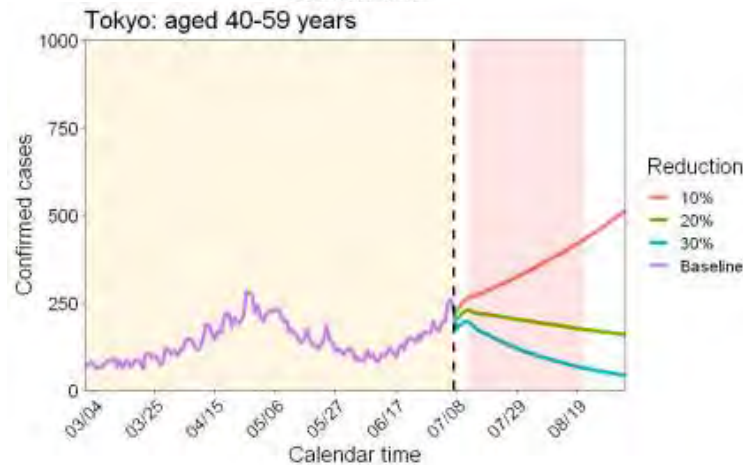
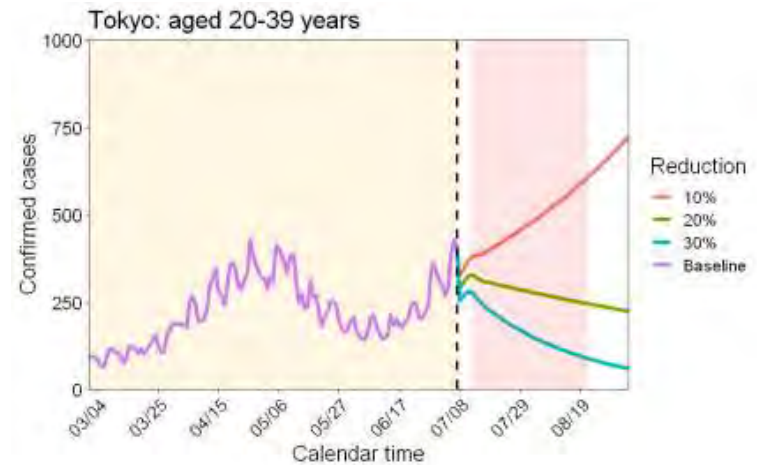
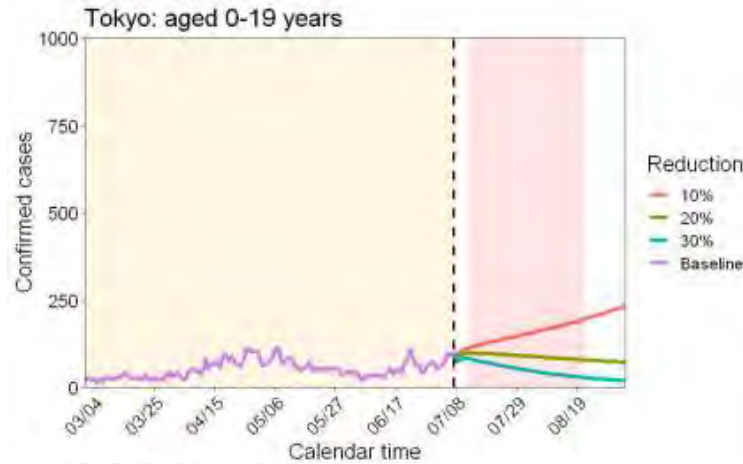


出典：大阪府公開データ

東京都プロジェクト更新

- 次世代行列を現在の R_t に合わせて**1.2**に設定
- 緊急事態宣言による R_t の相対的減少の効果を**10%減、20%減、30%減**と仮定して分析
 - 参考：まん延防止等重点措置と緊急事態宣言が新型コロナウイルス感染症の流行動態に及ぼした効果に関する定量的評価
- 東京都の年齢群別の入院日数を**HER-SYS**のデータから求め、入院期間の年齢群による違いを組み込み（累積分布関数：ガンマ分布）

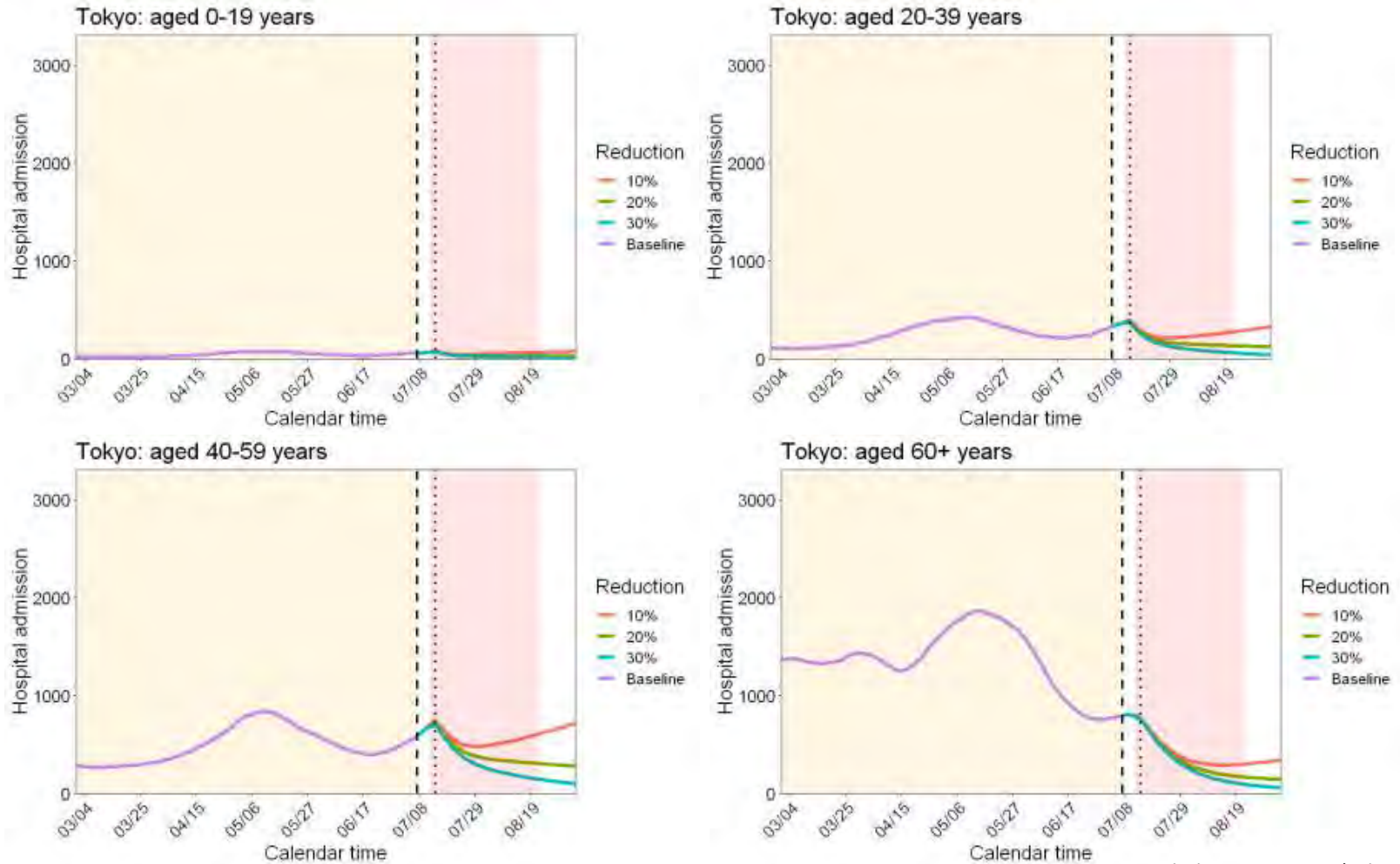
東京都における年齢群別患者数のリアルタイムプロジェクション（発病日別）



Learning periodのデータ出典：HER-SYSデータ

Learning periodは7月7日時点までの発症者データ（9月5日までプロジェクション） 86

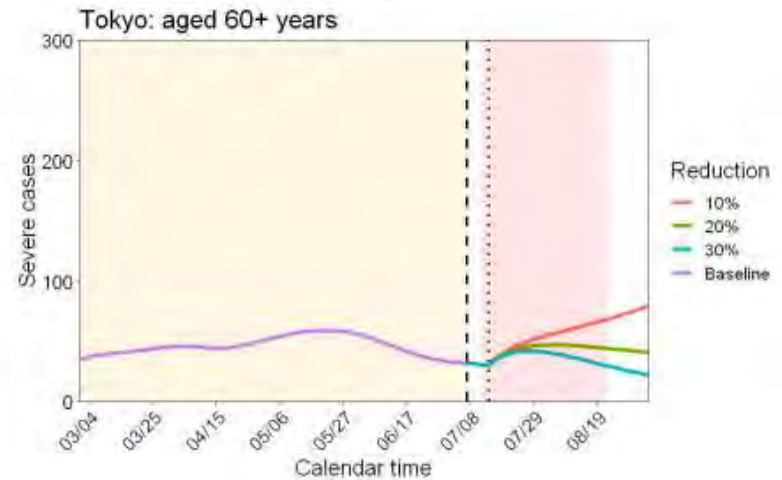
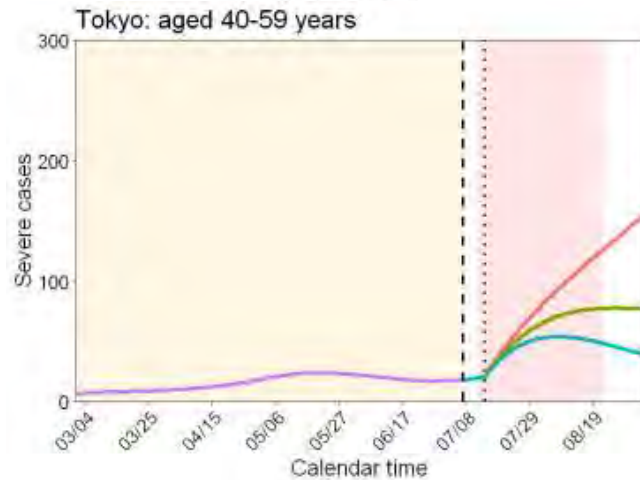
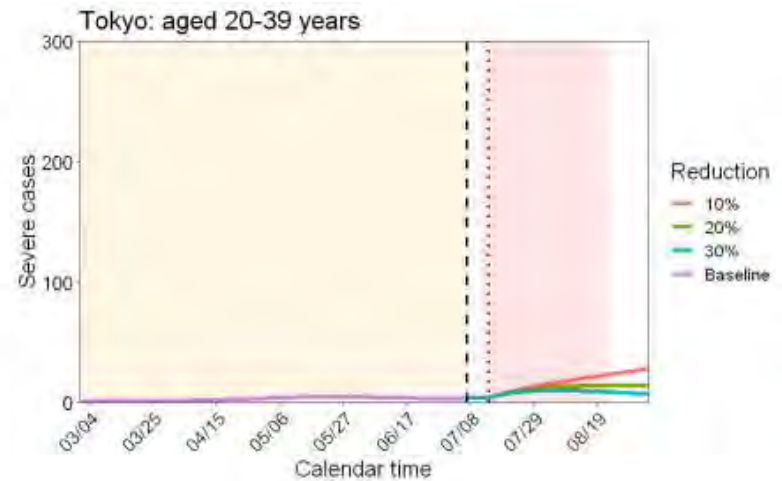
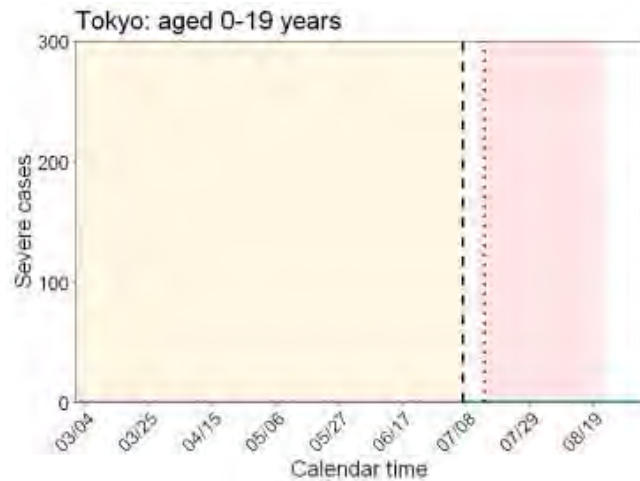
東京都における年齢群別入院患者数のリアルタイムプロジェクション（時点入院患者数）



Learning periodのデータ出典：HER-SYSデータ

Learning periodは7月7日時点までの発症者データ（9月5日までプロジェクション） 87

東京都における年齢群別入院患者数のリアルタイムプロジェクトン（時点重症患者数）

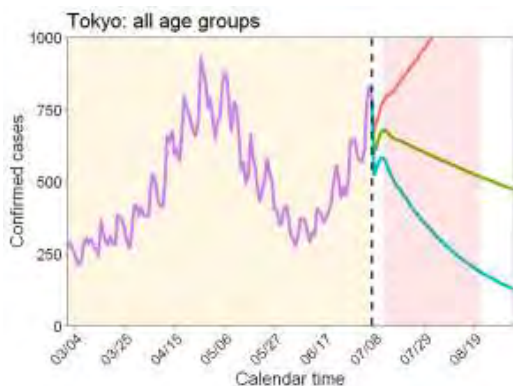


Learning periodのデータ出典：HER-SYSデータ

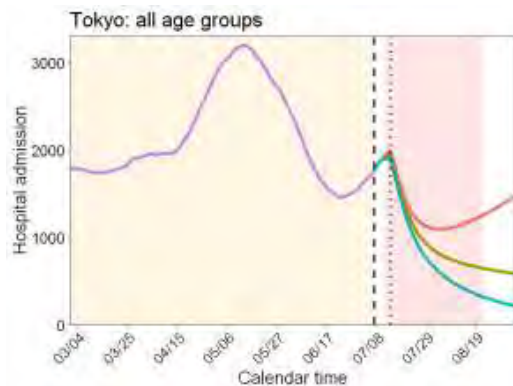
Learning periodは7月7日時点までの発症者データ（9月5日までプロジェクトン） 88

東京都におけるトータル患者数推移に関するリアルタイムプロジェクト

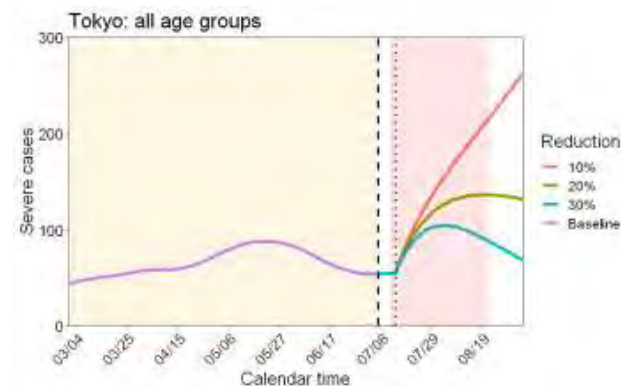
確定患者数（新規）



時点入院患者数



時点重症患者数



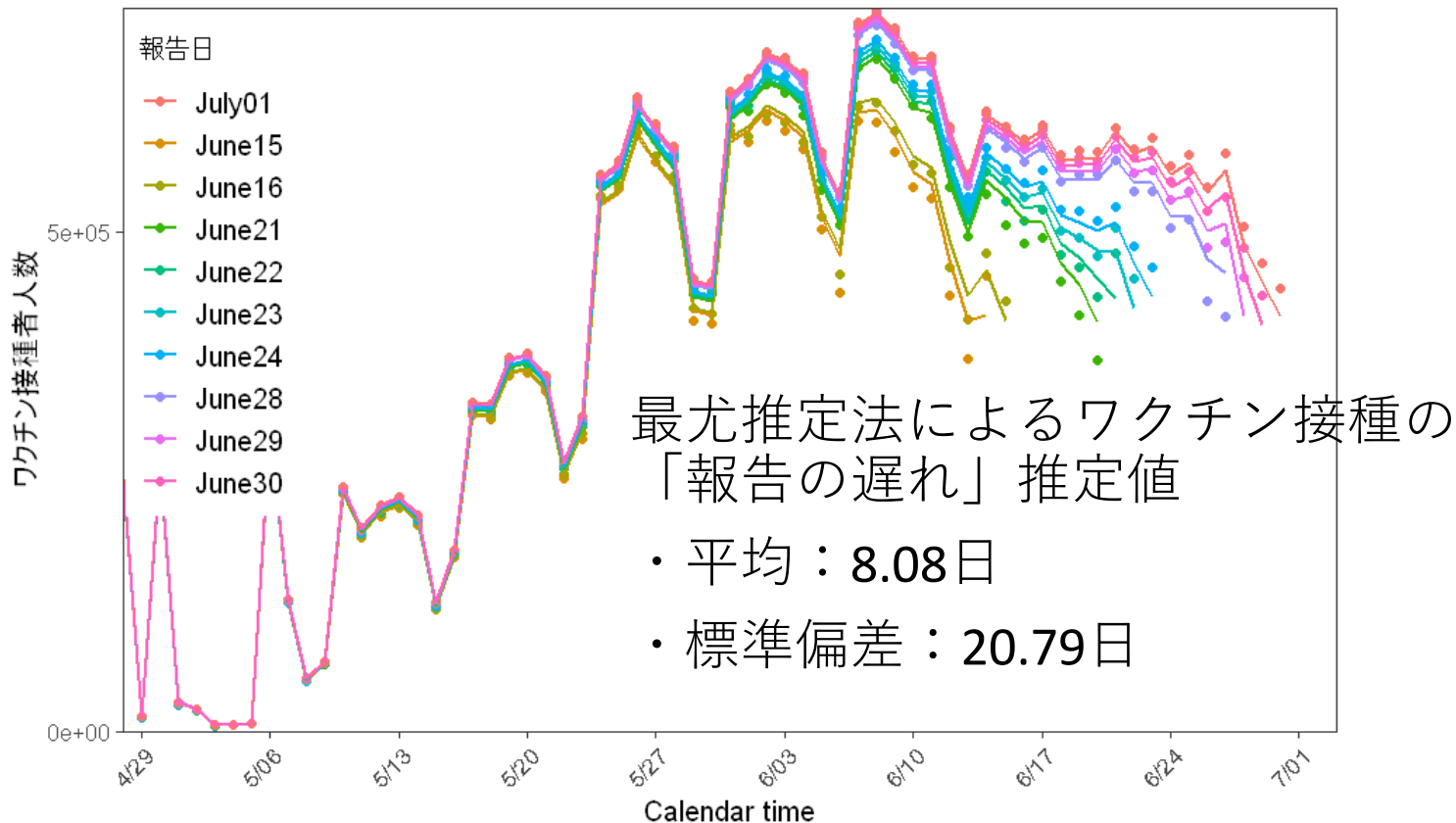
東京都：
確保病床 5882床
(7月12日時点)
 (新計画の最大確保病床 6314床)

東京都：
重症用病床 392床
(7月12日時点)
 (重症者のための病床は1207床)

Learning periodのデータ出典：
 HER-SYSデータ

Learning periodは7月7日時点までの発症者データ
 (9月5日までプロジェクト)

VRSによけるワクチン接種報告の遅れ (1回目接種)

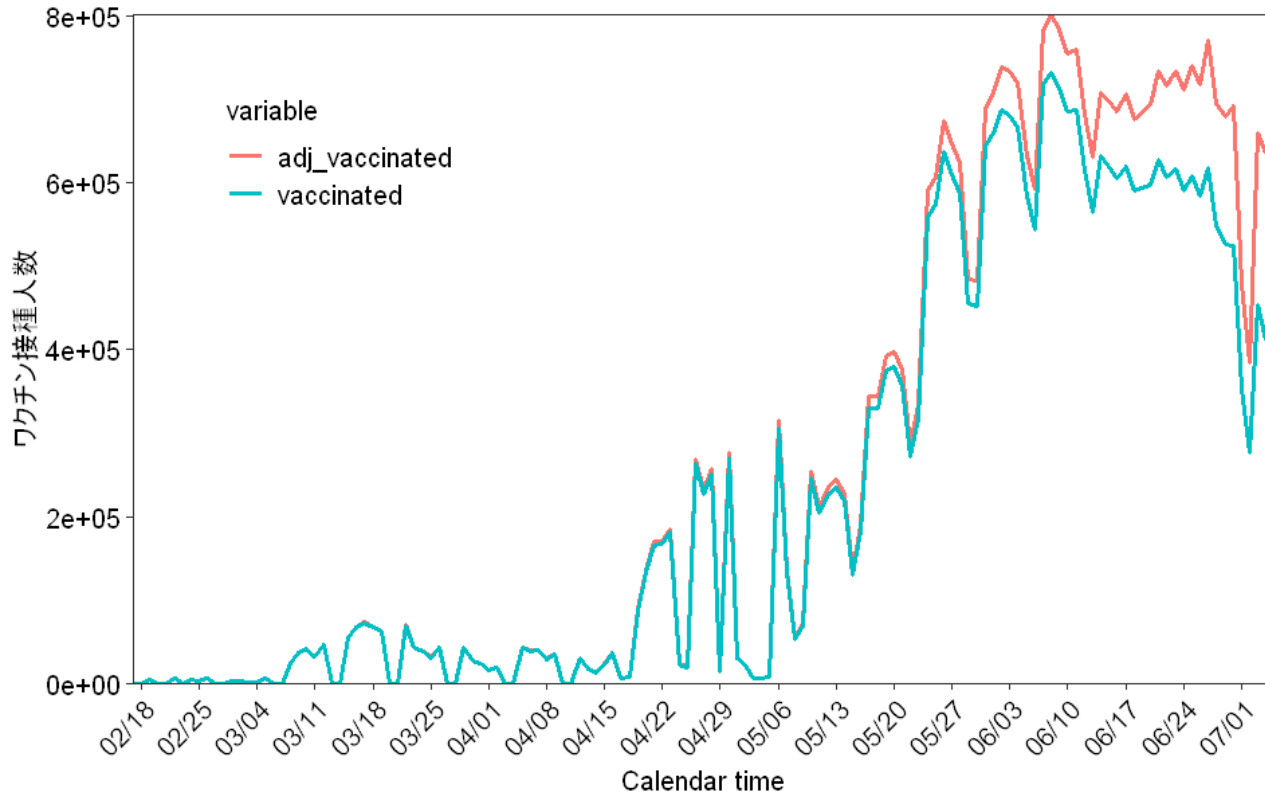


推定手法の出典：Tsuzuki et al. Euro Surveill 2017;22:46.
doi: 10.2807/1560-7917.ES.2017.22.46.17-00710

時刻とともに遅れの分布は有意に変化なし
(7月5日までの状況)

報告の遅れを補正した現時点（7月5日） までの接種者の推定（1回目接種）

$$c'_t = \frac{c_t}{F(T-t+1)}$$

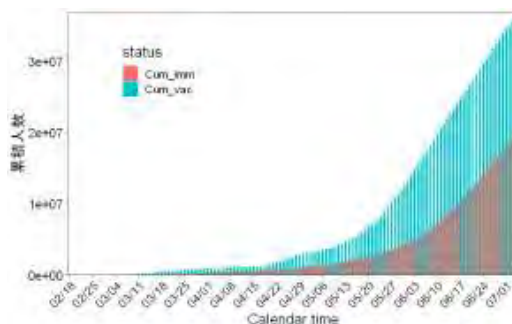
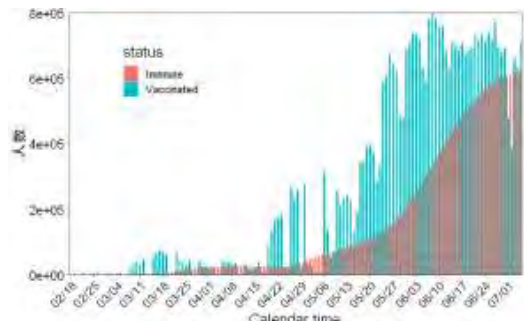


免疫のBuild-upを考慮した免疫保持者の推定（報告遅れを補正） 7月5日現在

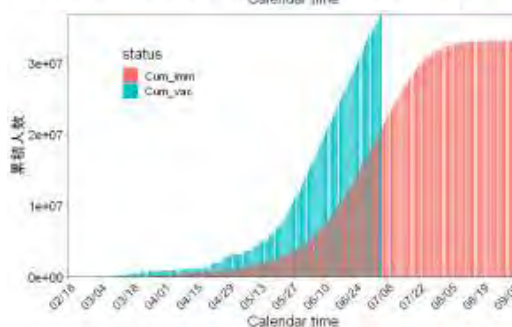
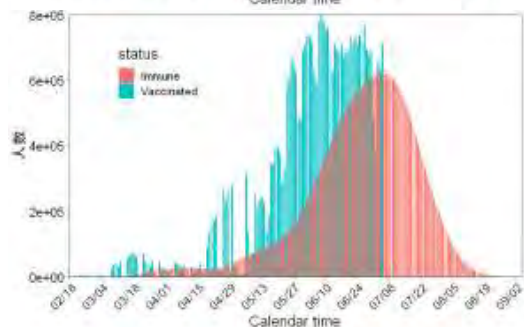
仮定

- **Build-up**の動態はファイザー製ワクチンを参考 (Dagan et al., N Engl J Med. 2021)
 - 免疫上昇はWeibull分布に従うと仮定し、最小二乗法でパラメーター推定
- 1回目を接種した人が**100%2回目接種**を受ける
- **Vaccine efficacy**は**90%**
- 接種状況や接触の年齢による異質性等は加味せず

$$Immune_t = v_e \sum_{\tau=1}^{t-1} c_{t-\tau} f_{\beta, \tau}$$



7月5日時点における推定
感受性保持者：



1 - (推定累積免疫保持者：7月5日時点 / 日本の総人口) × 100
= **83.9%**

2021年6月前半までの医療従事者の予防接種とクラスター発生の関連分析：暫定版結果（京大西浦研）

【目的】

日本では、まず最初に医療従事者における優先的な予防接種が実施された。本分析は、医療機関および高齢者福祉施設でのクラスター発生に対して、その優先的な予防接種が果たした効果を定量的に推定することである。

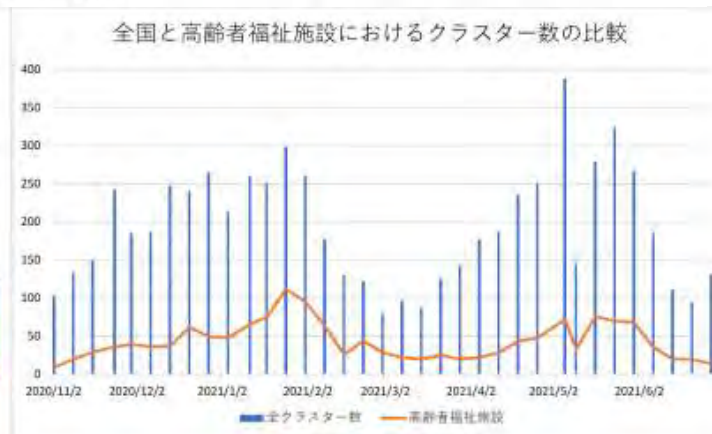
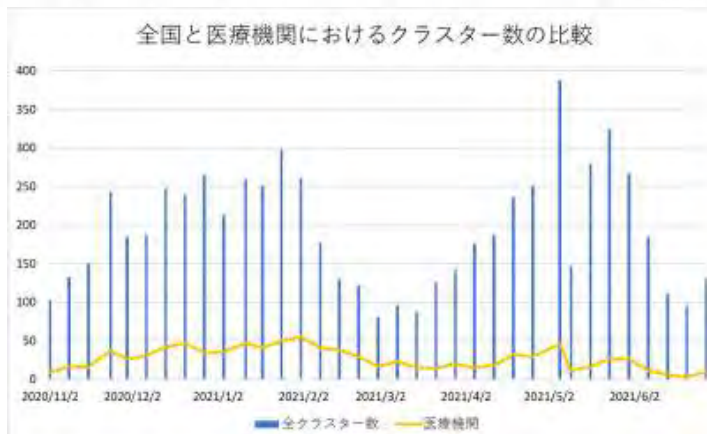
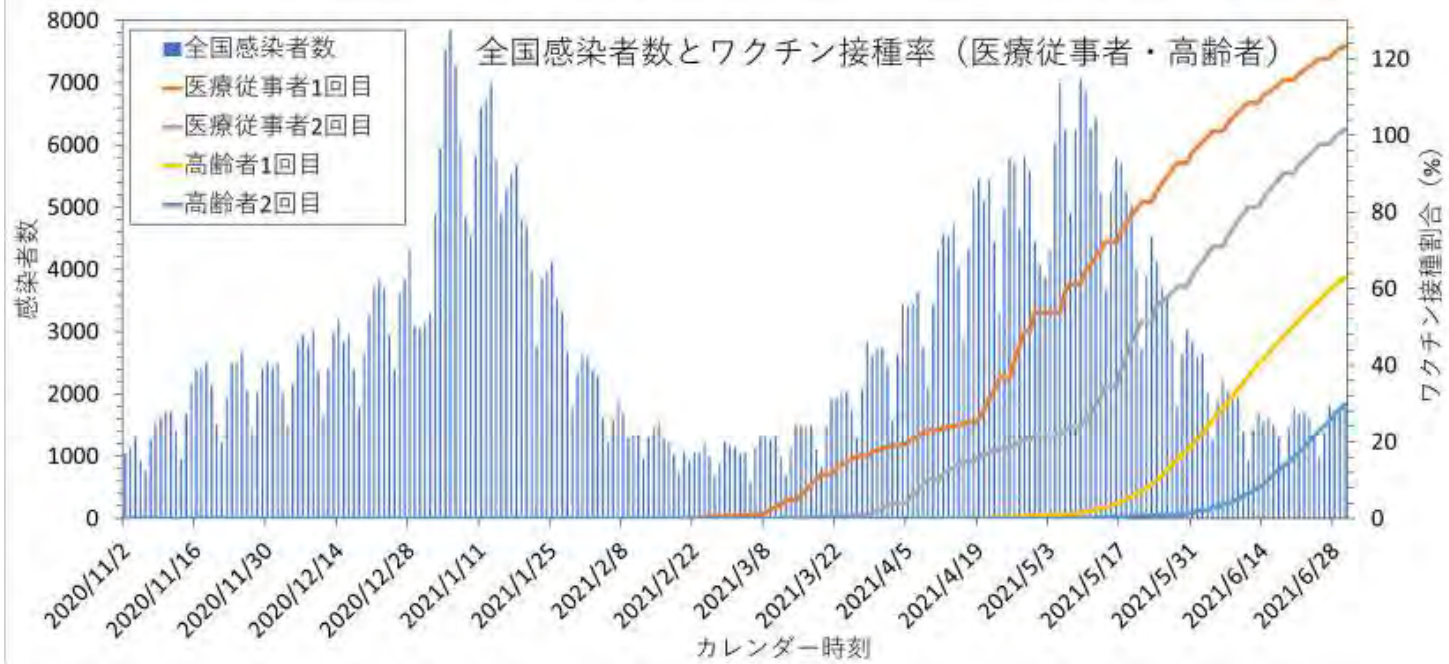
【方法の骨子】

- ・ 医療機関と高齢者福祉施設でのクラスター発生数は、これまで全国の報告日別の感染者数に比例すると仮定（クラスター発生数のデータは報道を基準にしているため、報告日別感染者数から2週間の時間遅れを考慮）
- ・ 医療従事者へのワクチン接種に比例してクラスター発生のハザードが減少することを想定したモデルを構築
- ・ 2020年11月2日から2021年6月28日までの流行曲線を使用。
- ・ 評価指標： 予防接種によるクラスター発生減少効果（統計モデルのパラメータ）、および、ワクチン接種が仮に行われなかった場合を仮定した結果（反事実シナリオ）と比較したときの予防接種によって免れたクラスター数の推定値。

【計算手続き】

- ・ VRSで報告される医療従事者のワクチン接種数を使用（高齢者へのワクチン接種は今回は加味しない）。医療従事者数を480万人と仮定すると、2021年6月に1回目の接種率が100%を超えるが、以降は100%として計算。
- ・ 高齢者接種は6月初旬は開始当初のため、その影響は無視できると想定。
- ・ ワクチン接種から感染防御までにかかる日数を加味（方法は前回ADB資料）。

使用した観察データ： 2021年6月前半までの医療従事者の予防接種とクラスター発生の関連分析（京大西浦研）



データ出典：厚生労働省オープンデータ（流行曲線）、首相官邸（予防接種率）、クラスター数（公表データに基づく集計；94疫学データ班）

2021年6月前半までの医療従事者の予防接種と クラスター発生の関連分析：統計モデルの提示

【クラスター発生数の期待値】

・ある週 t におけるクラスター発生数を $E(\lambda_t)$ は、2週前の全国のCOVID-19報告日別の患者数 c_{t-2} の定数 k 倍と仮定。医療従事者の接種によって予防されるクラスター発生のリスクを ϵ とすると、以下の式で表される。

$$E(\lambda_t) = \begin{cases} kc_{t-2} & \text{without vaccination} \\ (1 - \epsilon)kc_{t-2} & \text{with vaccination} \end{cases}$$

【ワクチン効果 ϵ_t 】

・予防接種率による免疫獲得が時刻と共に変化するため、予防されたリスクを ϵ_t のように週 t の関数とする：

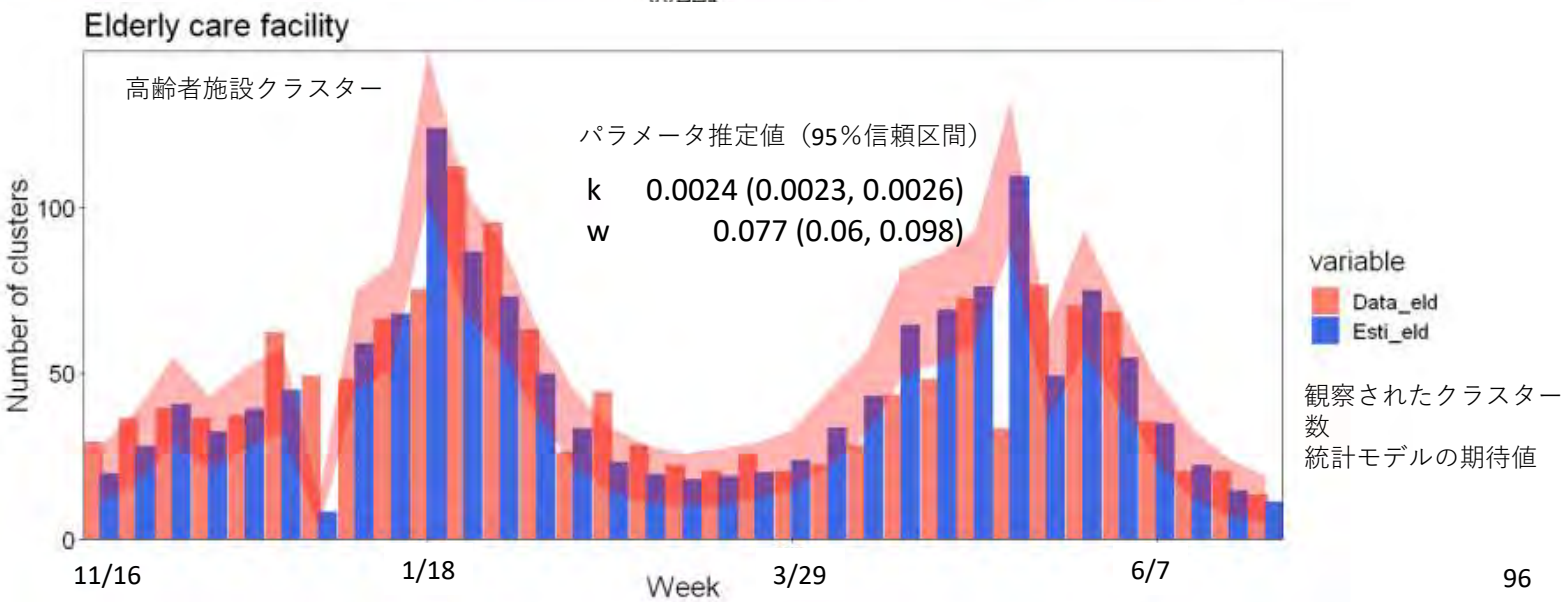
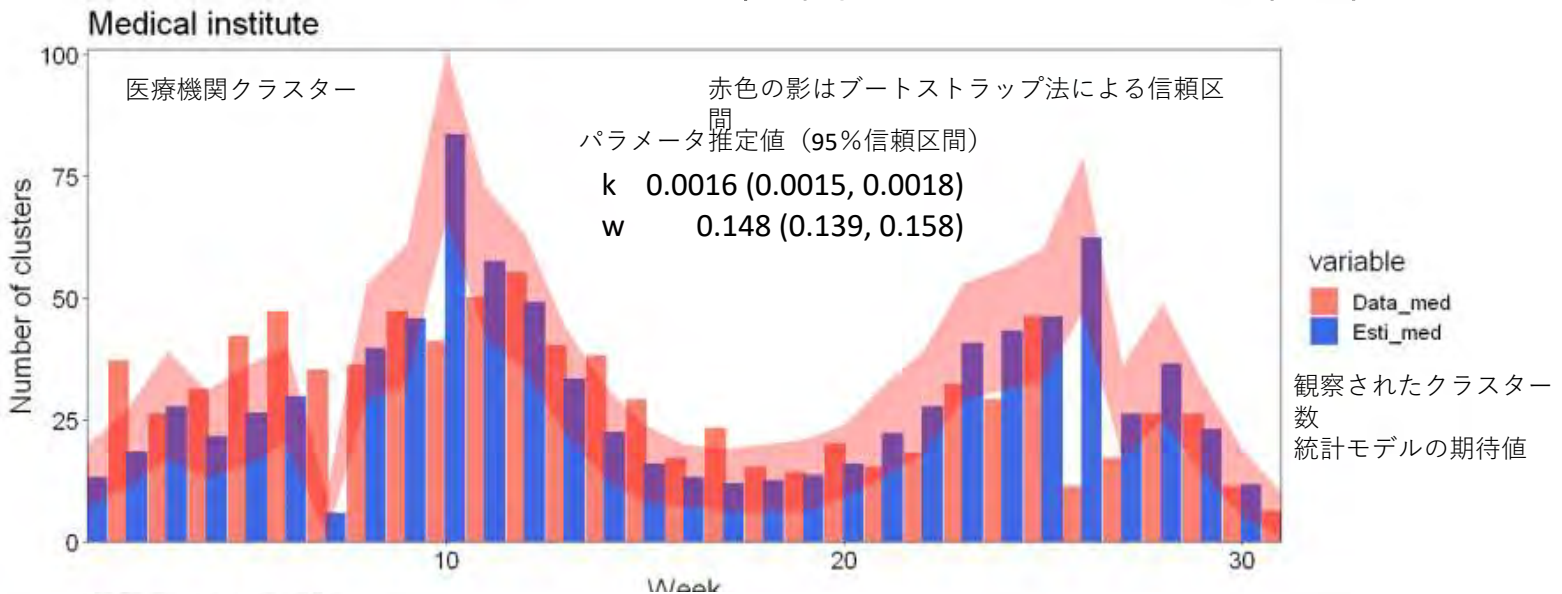
$$\epsilon_t = \omega \left\{ q_1 \sum_{x=0}^{t-1} (v_{1,t-x} - v_{2,t-x}) F_x + q_2 \sum_{x=0}^{t-1} v_{2,t-x} F_x \right\}$$

・ q_1 と q_2 はそれぞれワクチン1回目、2回目完了で獲得される最大の効果。感染の抑止によって決定されると仮定して、 $q_1=0.8$ (Hunter&Brainard, medRxiv. 2021) , $q_2=0.92$ (Dagan et al., N Engl J Med. 2021) を仮定。

・ F_x は免疫のbuild-upの確率分布関数（方法は前回ADB資料）。

・ ω は医療従事者のワクチン接種に伴うクラスター発生リスクの減少効果（推定したいもの）。

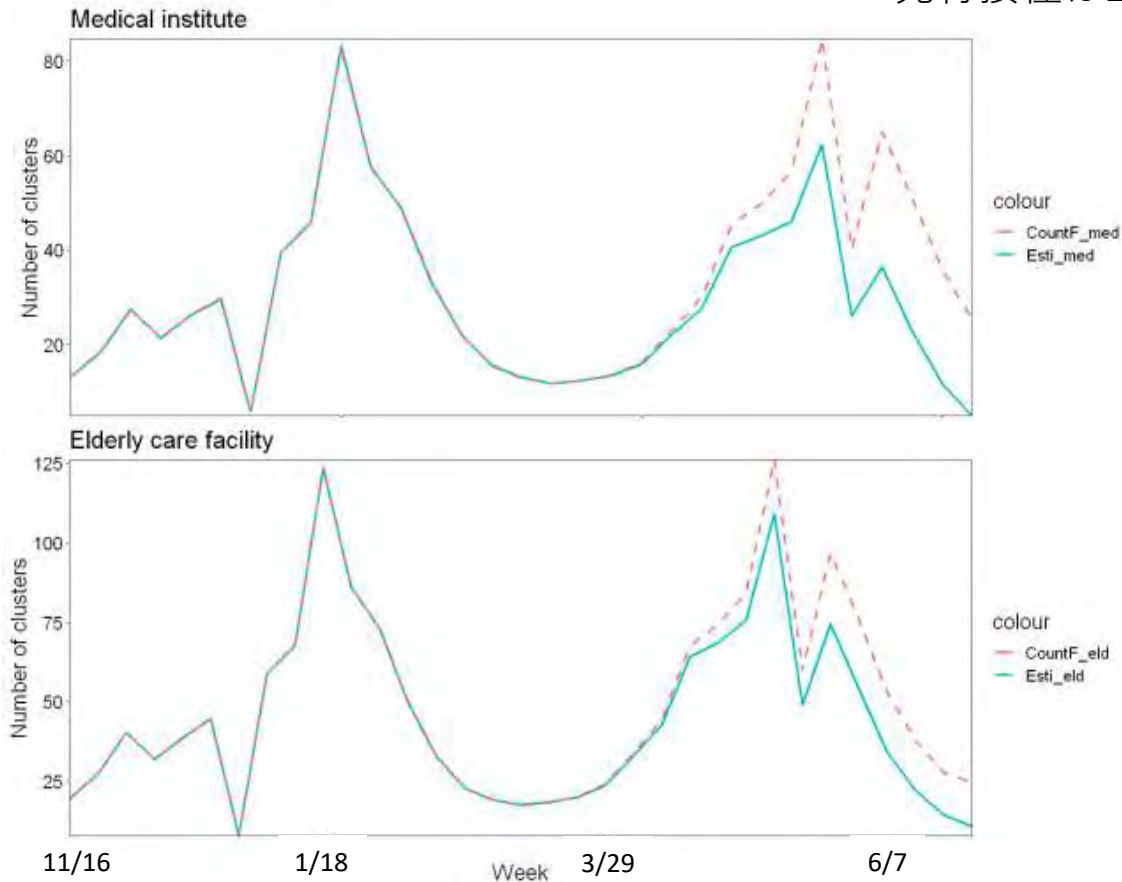
クラスター発生数への統計モデルの適合結果



予防接種によって免れたクラスター発生数

赤点線：反実仮想値
青実線：推定値

2020年11月16日から2021年6月28日までの観察データの分析結果（医療従事者への先行接種は2月17日から開始）



医療施設	クラスター数
推定値	896
反実仮想値	1060
その差	164

高齢者施設	クラスター数
推定値	1476
反実仮想値	1631
その差	155

主要繁華街の滞留人口モニタリング

< 2021/07/11 までのデータ >

【緊急事態宣言発令地域】

沖縄・東京都

【重点措置適応地域】

神奈川県・千葉県・埼玉県・大阪府

【重点措置解除地域】

兵庫県・京都府・愛知県・福岡県・北海道
宮城県・愛媛県・群馬県・石川県・熊本県・岡山県・広島県・岐阜県・三重県

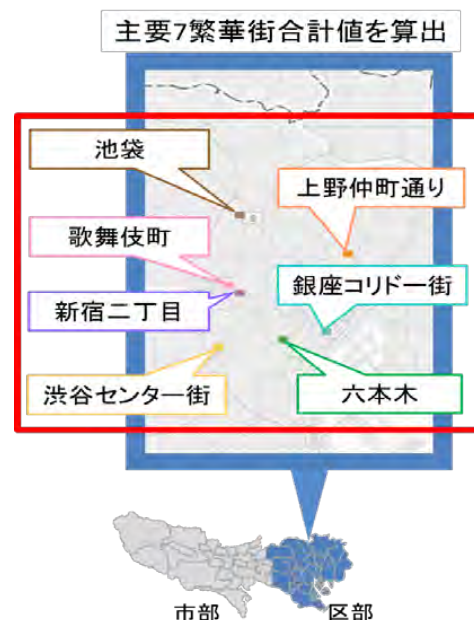
ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定**※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- LocationMind ⇒ 都医学研



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。



※レジャー目的の滞留人口をより正確に把握するため2021年7月²より繁华街滞留人口の推定方法をバージョンアップしている。

主要繁華街 滞留人口モニタリング 2021/07/11 まで（宣言および重点措置の適応地域）

【沖縄】＜緊急事態宣言中＞：

- 宣言4週目（6月13日～の週）以降、3週連続で増加していた夜間滞留人口は、直近1週間で増加が止まり横ばい。夕方の滞留人口は減少しているが、昼間滞留人口の増加は続いている。

【東京】＜緊急事態宣言中＞：

- 夜間滞留人口は2週連続で緩やかに減少（前週比：2.5% 減少）。昼間滞留人口も直近1週間で減少に転じる（前週比：4.2% 減）。ハイリスクな深夜帯（22～24時）の滞留人口も2週連続でわずかに減少してはいるものの、依然として高い水準（前回の宣言発令時と同水準）で推移。前回の宣言直前に見られた“かけこみ会食”と思われる現象は、今回は見られず。

【神奈川・千葉・埼玉】＜重点措置中＞：

- 首都圏3県の直近1週間の繁華街滞留人口は、連日の雨にも関わらず、昼・夜ともに増加。特に、千葉県、埼玉県では昼・夜ともに繁華街滞留人口の増加が顕著。3県ともに実効再生産数は1.1以上となっており、今後も夜間滞留人口の増加が続くと感染状況がさらに悪化する可能性。

【大阪】＜重点措置中＞：

- 前週は雨の影響等で夜間滞留人口は減少していたが、直近1週間で再び、増加に転じている。昼間滞留人口も高い水準で横ばいで推移。夜間滞留人口、実効再生産数ともに、第4波に本格的に突入する直前の水準（3月14日～の週）に達しており、今後の急激な感染状況の悪化が懸念される。

主要繁華街 滞留人口モニタリング

2021/07/11 まで（宣言および重点措置の解除地域）

【兵庫】（解除）：

- 前週わずかに減少に転じていた夜間滞留人口は、直近1週間で再び増加に転じている。昼間滞留人口も高い水準で横ばいで推移。

【京都】（解除）：

- 3週連続で増加していた夜間滞留人口は、直近1週間で増加が止まり横ばいで推移。夕方・昼間の滞留人口も高い水準で横ばいで推移している。

【愛知】（解除）：

- 宣言期間中、低い水準を維持していた夜間滞留人口は、解除後3週連続で増加している。夕方・昼間の滞留人口も高い水準で横ばいで推移している。

【福岡】（解除）：

- 宣言解除後も、急増することなく低い水準を維持していた夜間滞留人口は、直近1週間で微減。

【北海道】（解除）：

- 宣言解除後、3週連続で夜間滞留人口・昼間滞留人口ともに増加。特に、ハイリスクな深夜帯の滞留人口の増加が目立つ。感染状況が悪化した4月下旬の人流水準をすでに上回る。

【宮城】（解除）：

- 2週前から新規感染者数が増加に転じて以来、夜間滞留人口は増加が止まる。ただ、前回の重点措置適応前の高い水準で横ばいで推移しており、今後の感染状況の悪化が懸念される。

【愛媛】（解除）：

- 感染者数の減少が続く中、夜間滞留人口は高い水準で推移。天候の影響で2週連続で減少していた昼間滞留人口は直近1週間で再び増加に転じている。

【群馬】（解除）：

- 重点措置解除以降（6月13日以降）、夜間滞留人口の増加が続いていたが、増加がとまり2週連続で横ばい。重点措置適応前の夜間滞留人口の水準に戻っている。

【石川】（解除）：

- 2週前から新規感染者数が増加に転じて以来、夜間滞留人口は増加が止まる。4月中旬に感染状況が急激に悪化した際と同じ、高い水準で夜間滞留人口が推移しており、今後の感染状況の悪化が懸念される。

【熊本】（解除）：

- 6月28日に時短要請も解除となり、深夜帯の夜間滞留人口が直近2週間で激増している。

【岡山】（解除）：

- 宣言解除後（6月20日）、夕方・夜間の滞留人口は3週続けて急増。深夜帯の滞留人口の増加が目立つ。昼は横ばい。

【広島】（解除）：

- 宣言解除後（6月20日）、1週目で急増した夜間滞留人口は、2週目以降、雨の影響でわずかに減少。直近1週間では、昼間滞留人口も減少。

【岐阜】（解除）：

- 先週、わずかに減少に転じていた夜間滞留人口は、時短要請解除の影響により、直近1週間で再び急増。微減に転じる。深夜帯の滞留人口の増加が目立つ。

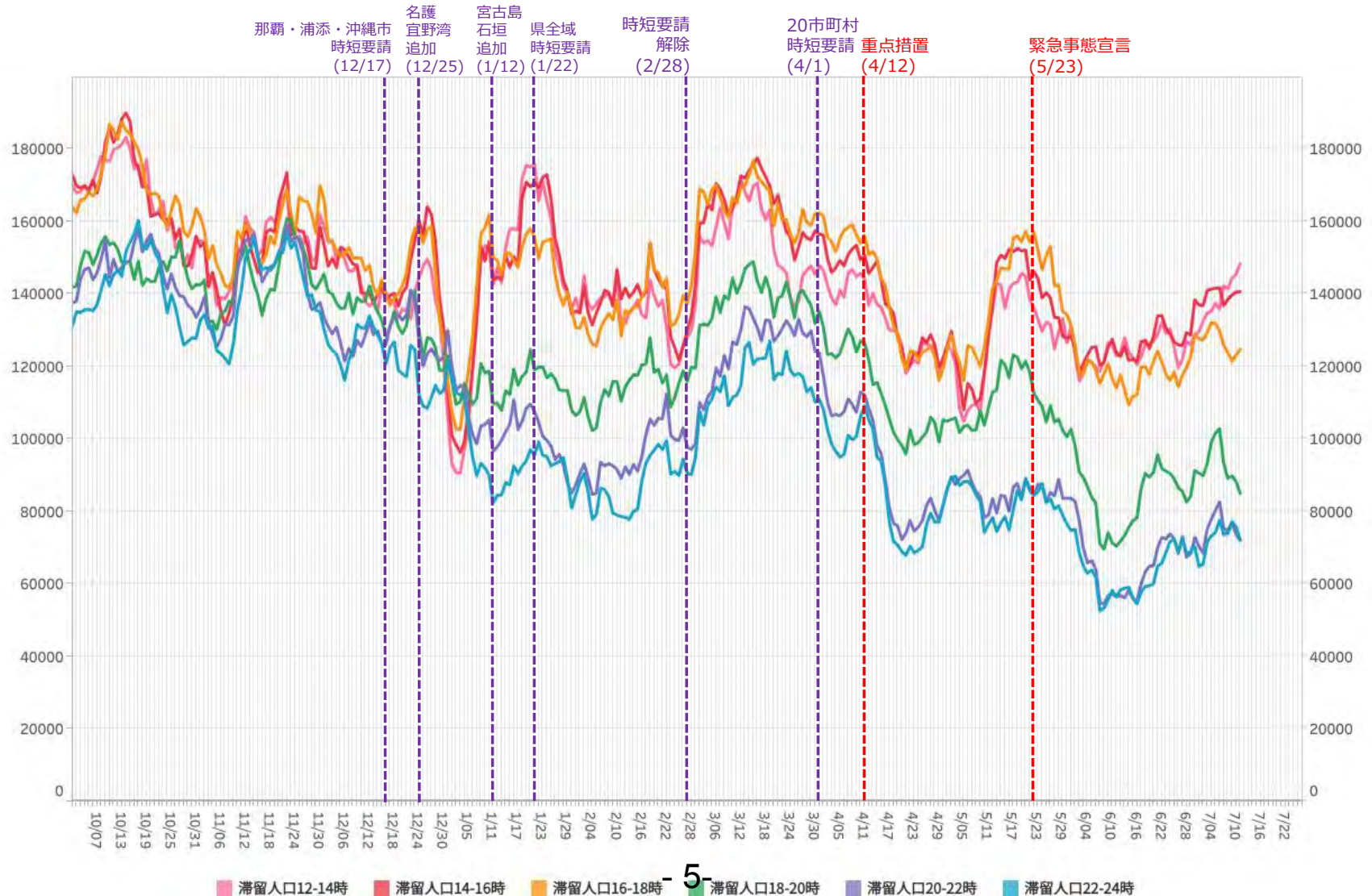
【三重】（解除）：

- 重点措置解除後（6月20日）、夜間滞留人口は増加が続いている。昼間滞留人口は高い水準で横ばい。

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：沖縄（2020年10月1日～2021年7月11日）

緊急事態5/23-

繁華街
滞留
人口
(人)

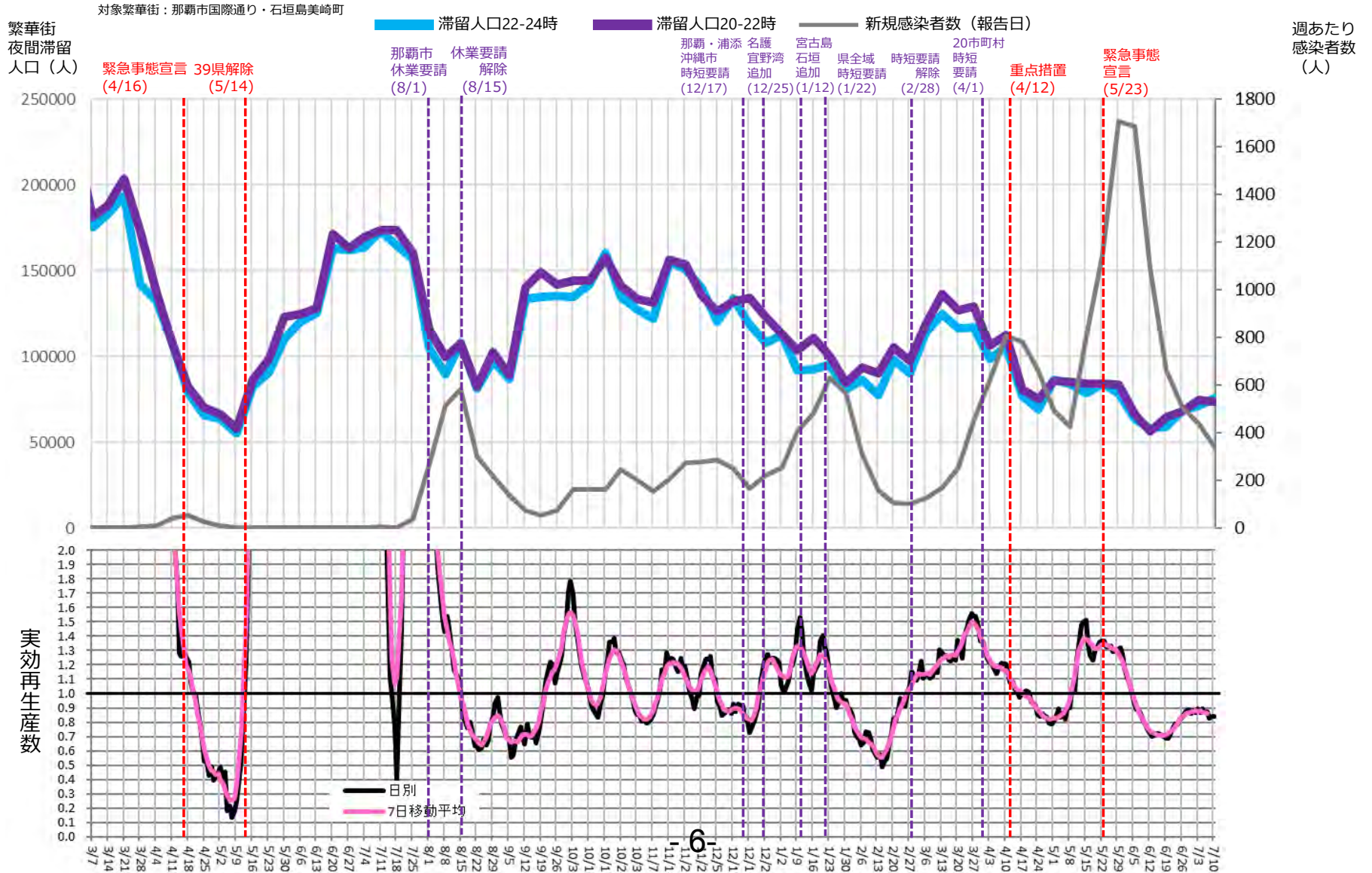


※対象繁華街は石垣島美崎町・那覇市国際通り

LocationMind xPop © LocationMind Inc

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:沖縄 (2020年3月1日~2021年7月10日)

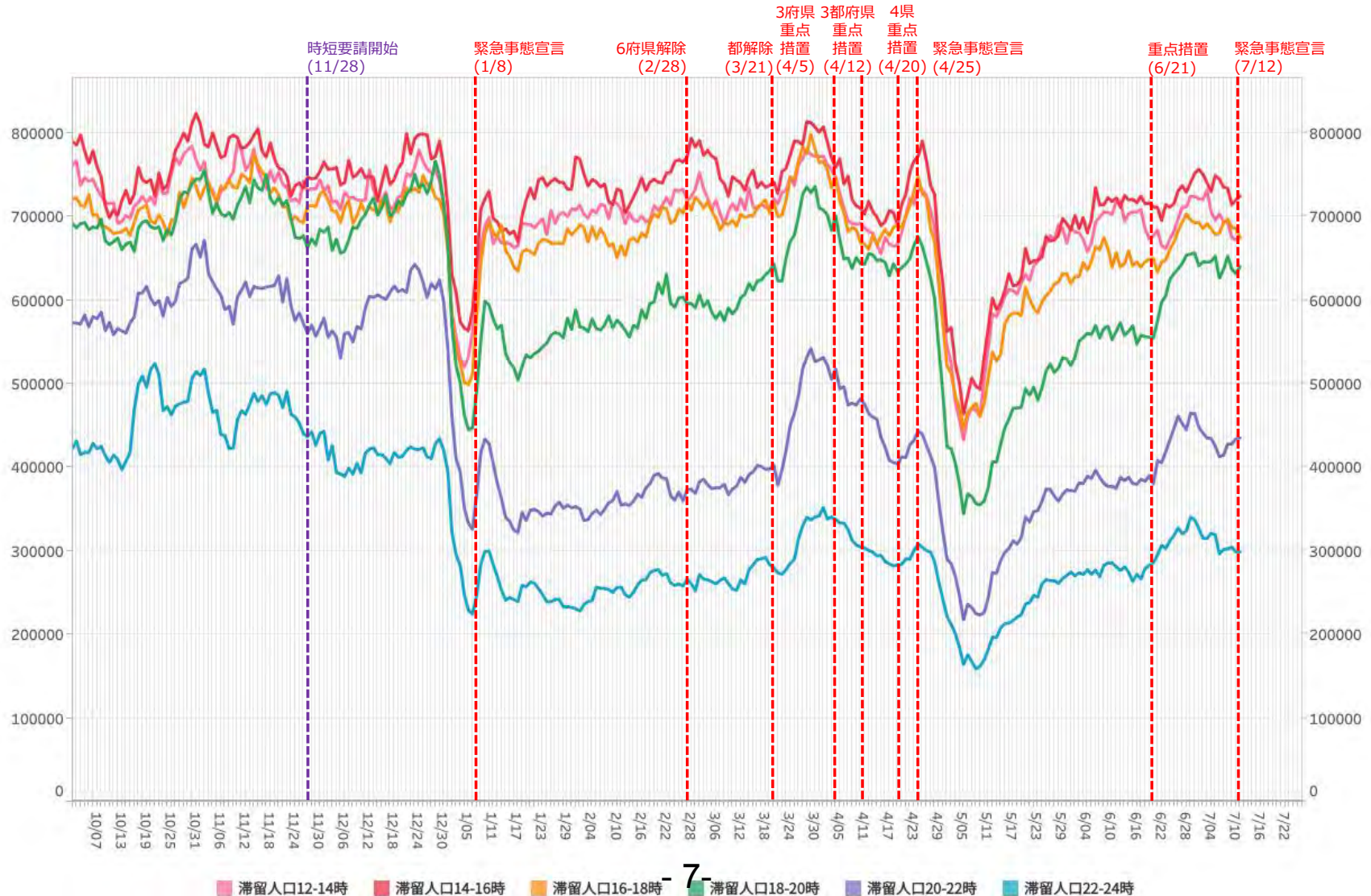
緊急事態5/23-



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年7月11日）

緊急事態7/12-

繁華街
滞留
人口
(人)

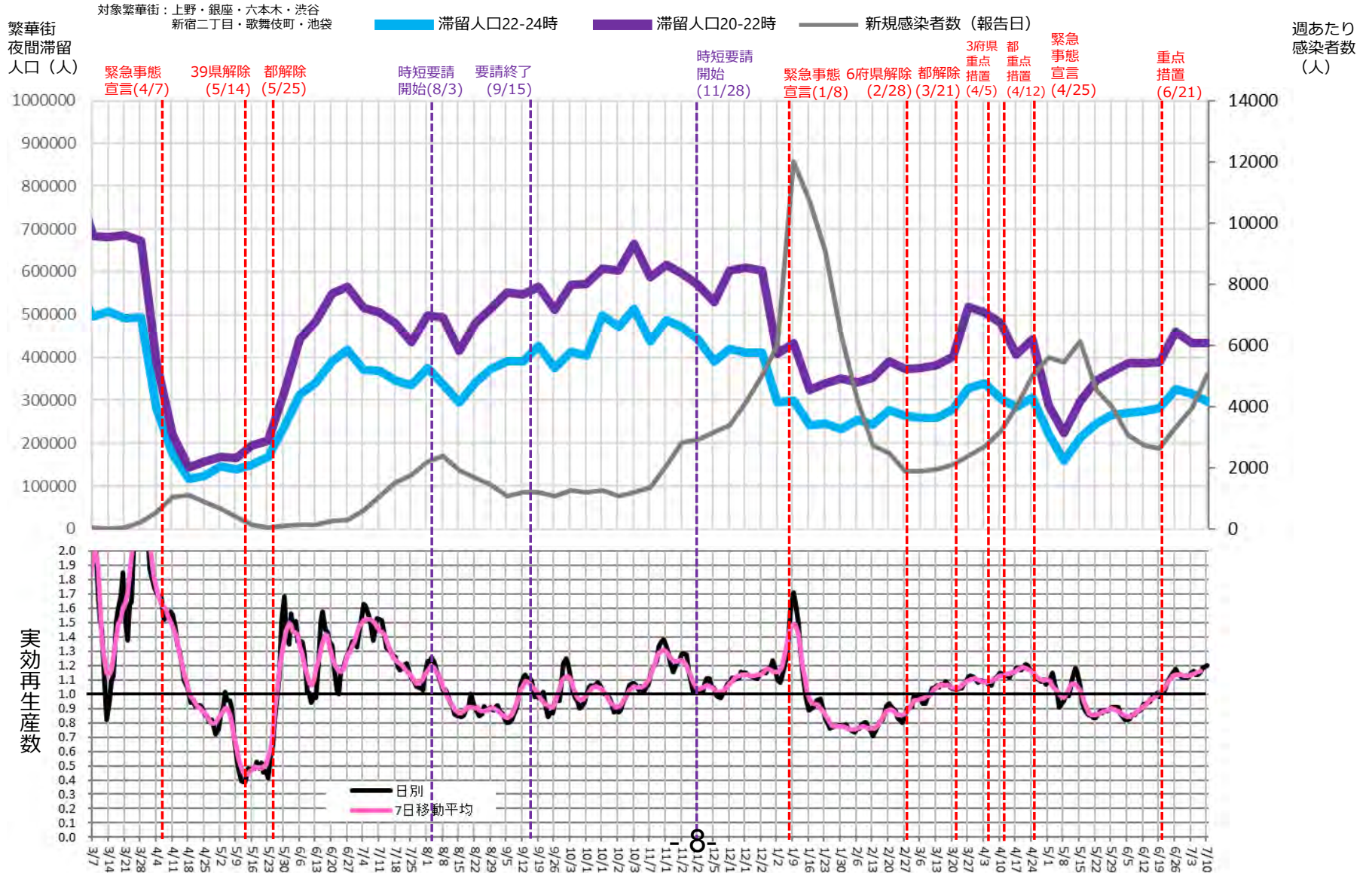


※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

LocationMind xPop © LocationMind Inc

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年7月10日)

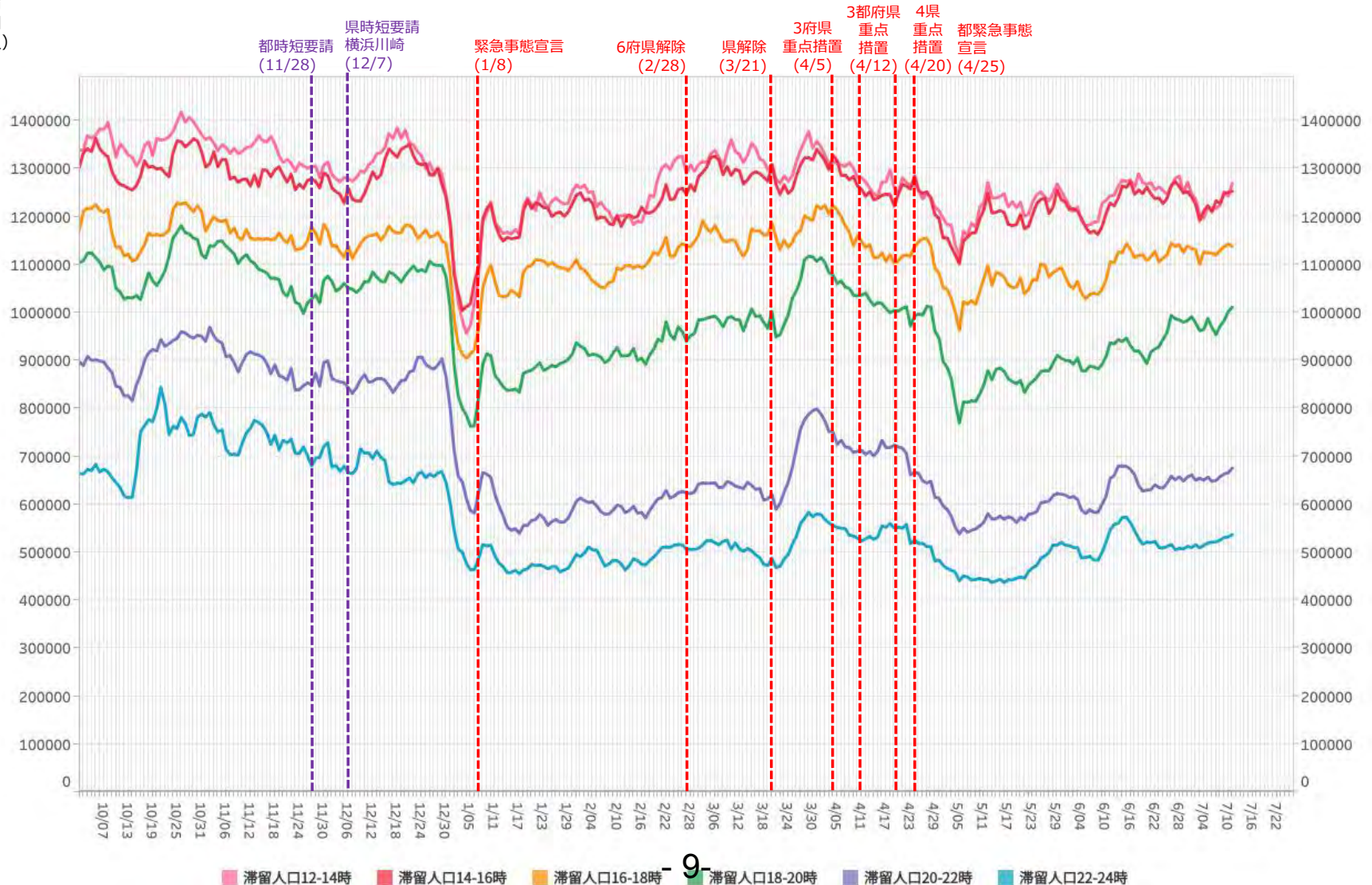
緊急事態7/12-



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：神奈川（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置4/20-

繁華街
滞留
人口
(人)



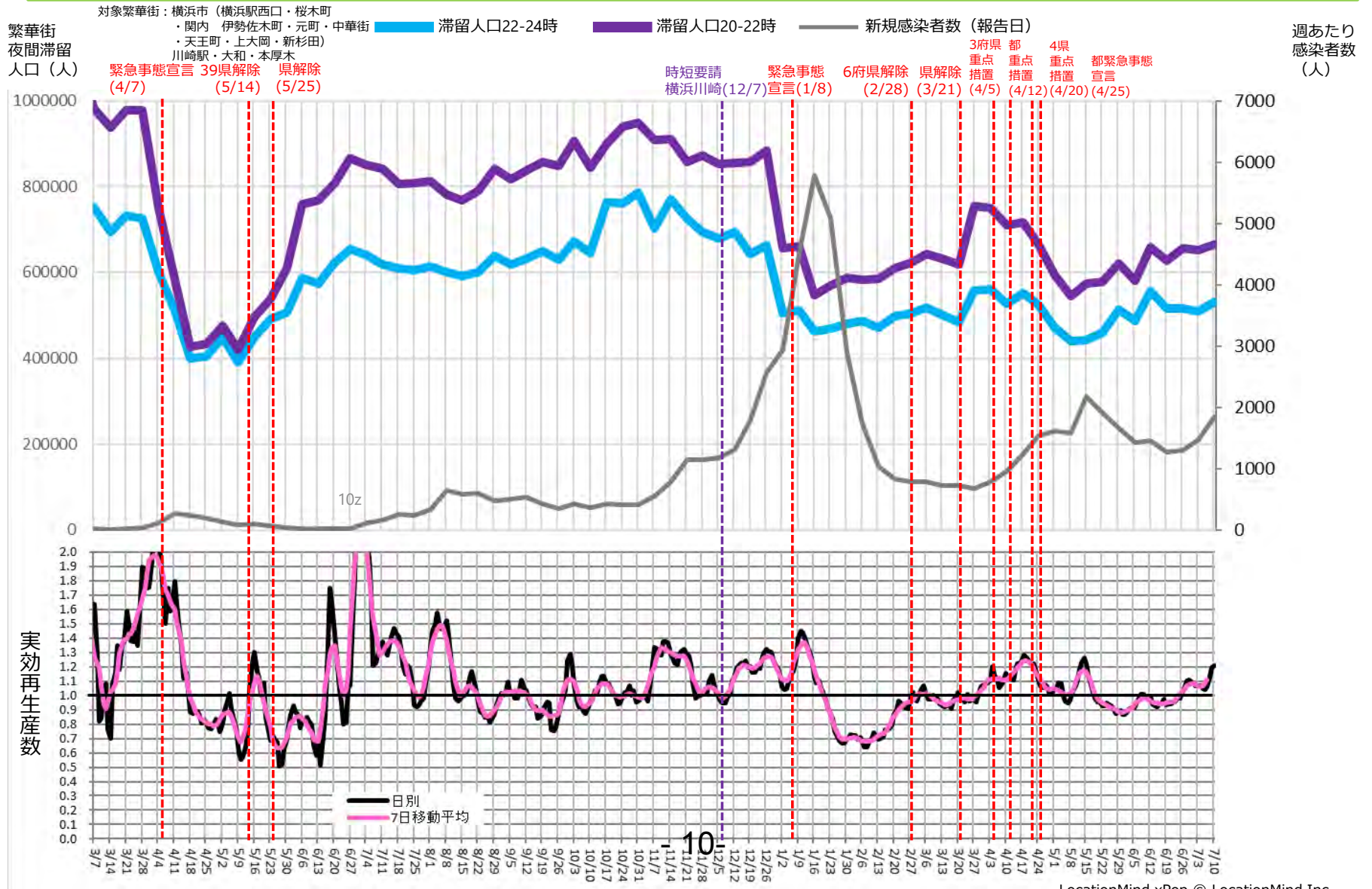
■ 滞留人口12-14時
 ■ 滞留人口14-16時
 ■ 滞留人口16-18時
 ■ 滞留人口18-20時
 ■ 滞留人口20-22時
 ■ 滞留人口22-24時

※対象繁華街は横浜駅・元町・中華街・桜木町・関内・伊勢佐木町・上大岡駅・新杉田駅・川崎駅・大和駅・天王町・本厚木駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:神奈川 (2020年3月1日~2021年7月10日)

重点措置4/20-

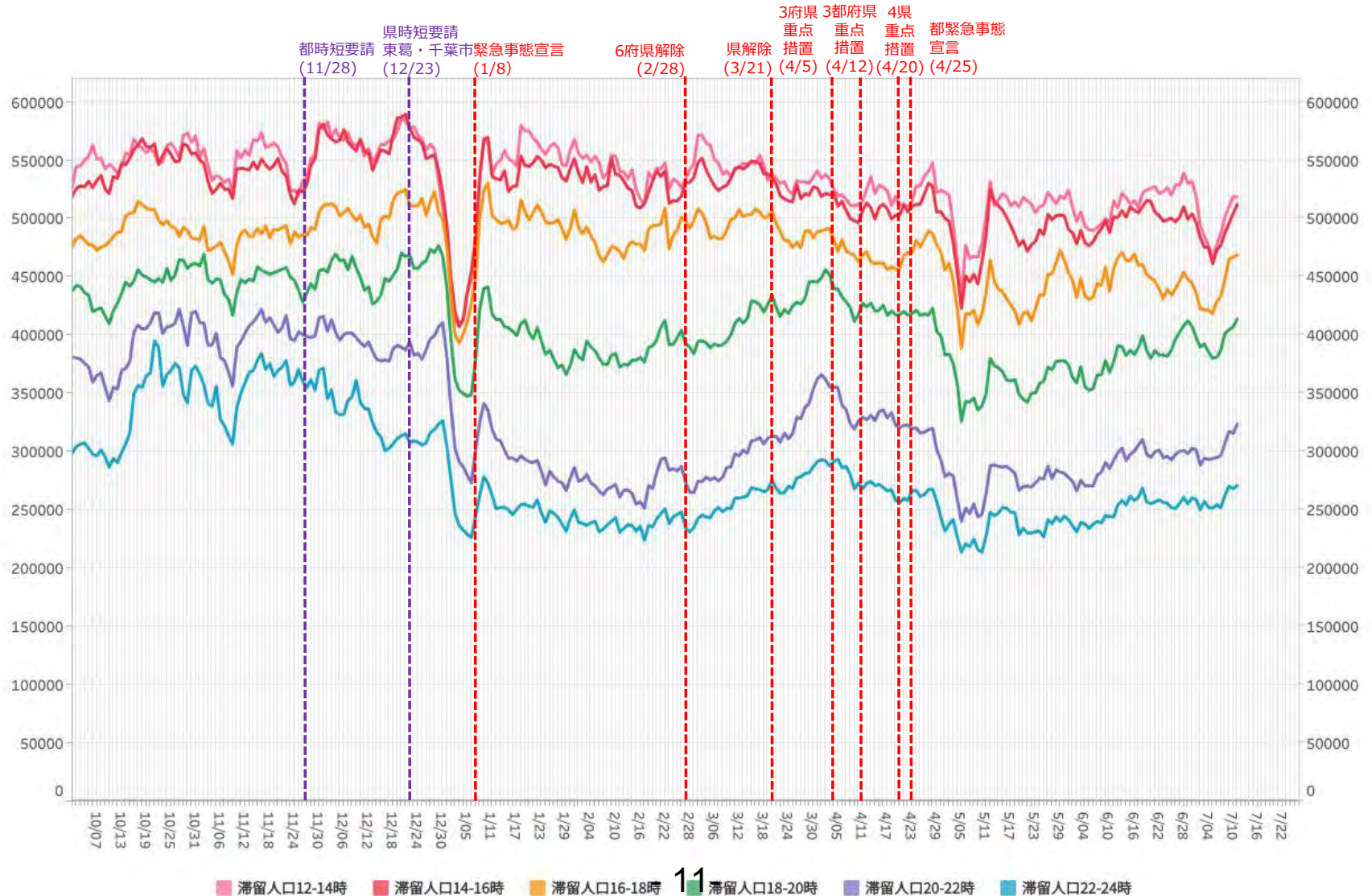


LocationMind xPop © LocationMind Inc.

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：千葉（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置4/20-

繁華街
滞留
人口
(人)

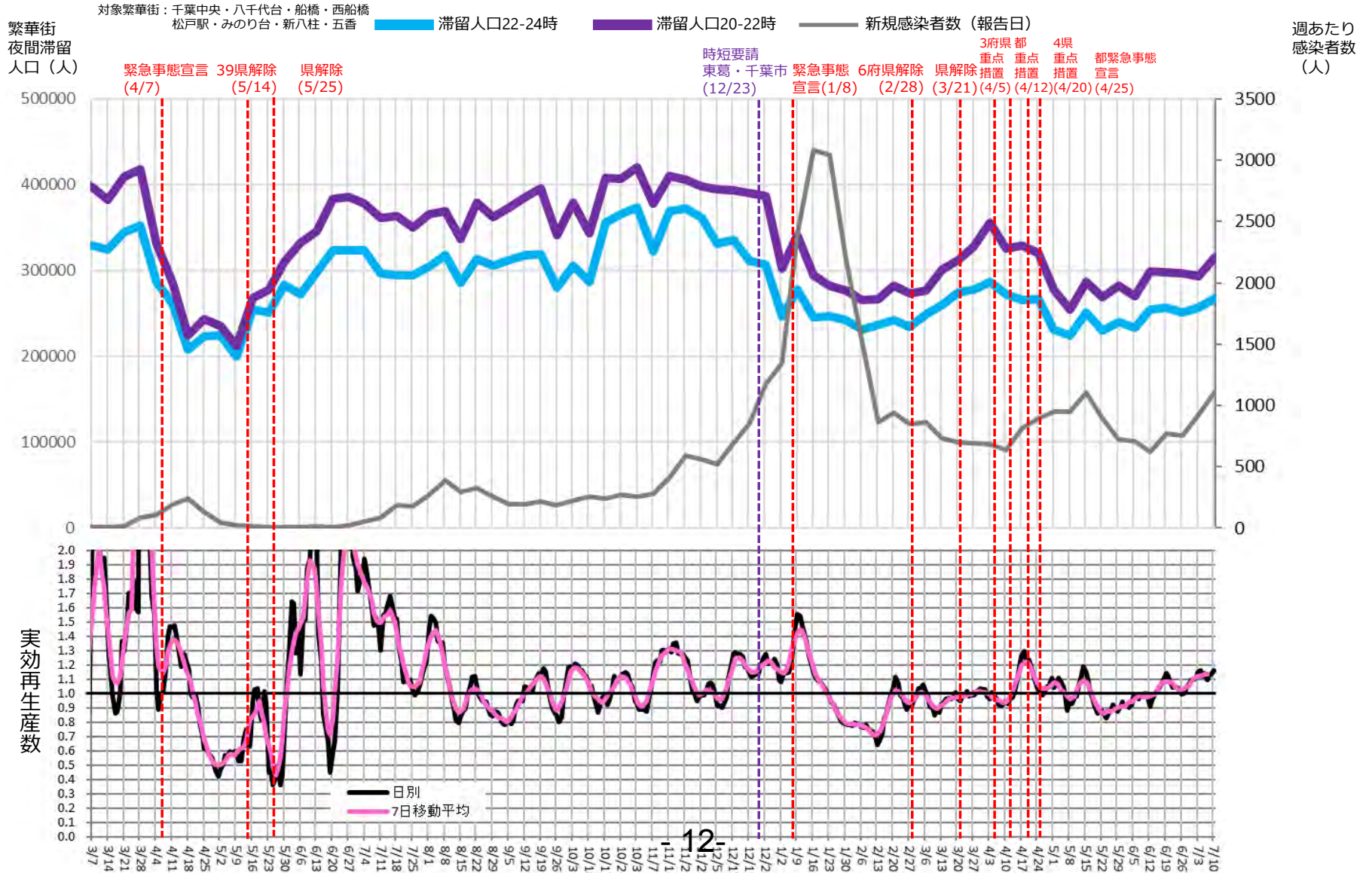


※対象繁華街はみのり台駅・八柱駅・五香駅・松戸駅・西船橋駅・千葉市中心街・船橋駅・八千代台駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:千葉 (2020年3月1日~2021年7月10日)

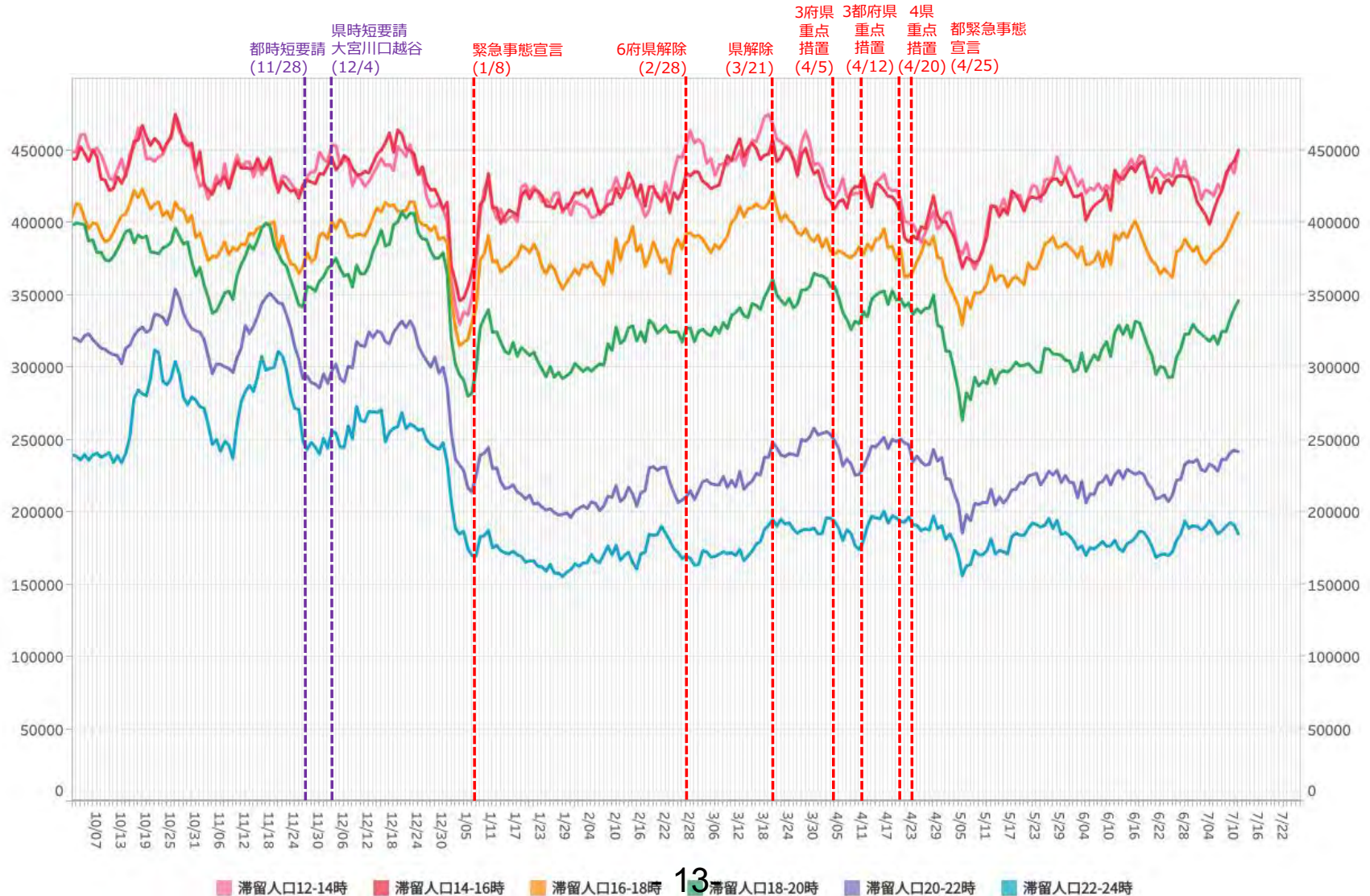
重点措置4/20-



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：埼玉（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置4/20-

繁華街
滞留
人口
(人)

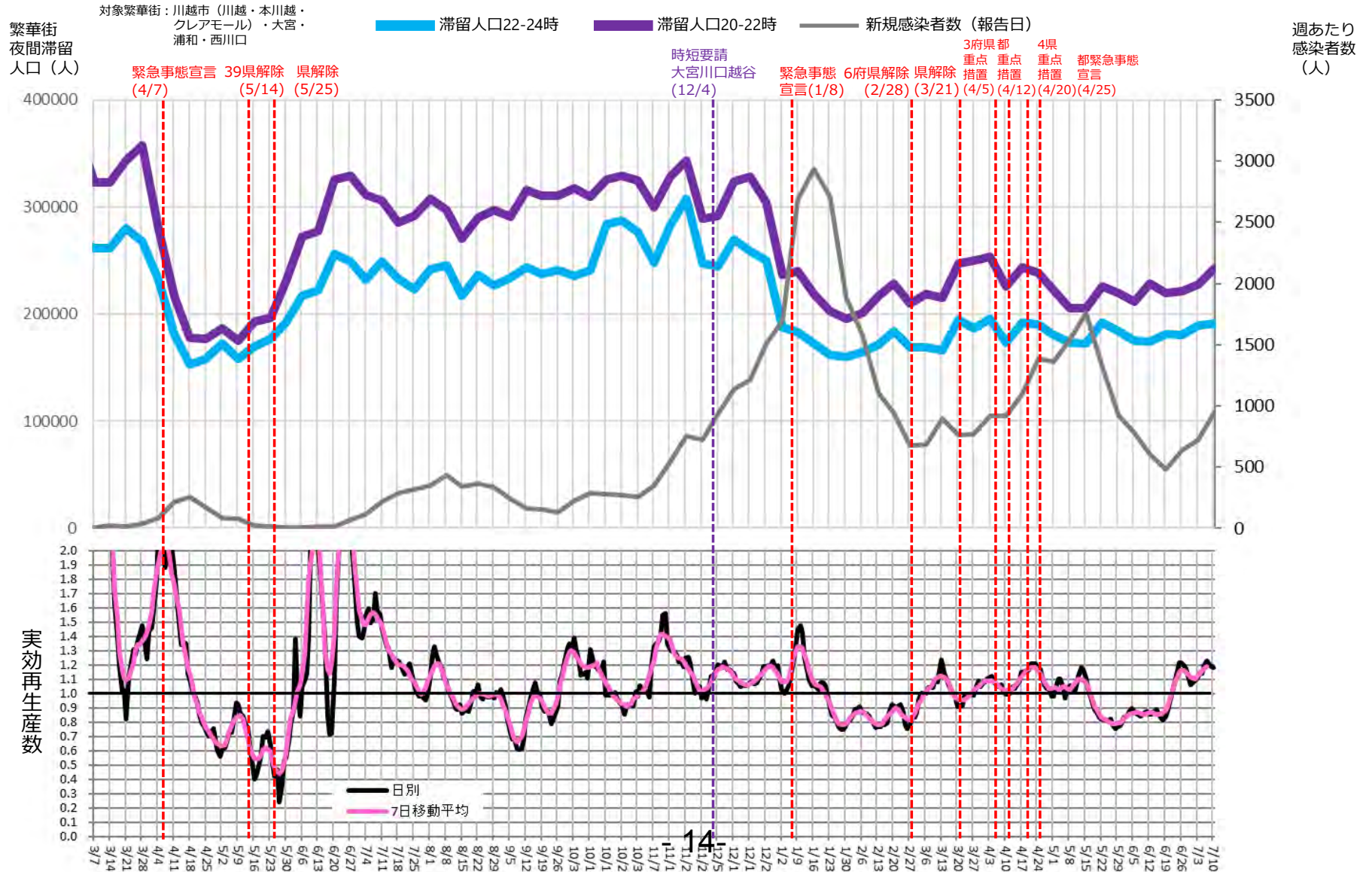


※対象繁華街は浦和駅・仲町・西川口駅・川越駅・本川越駅・クレアモール・大宮駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:埼玉 (2020年3月1日~2021年7月10日)

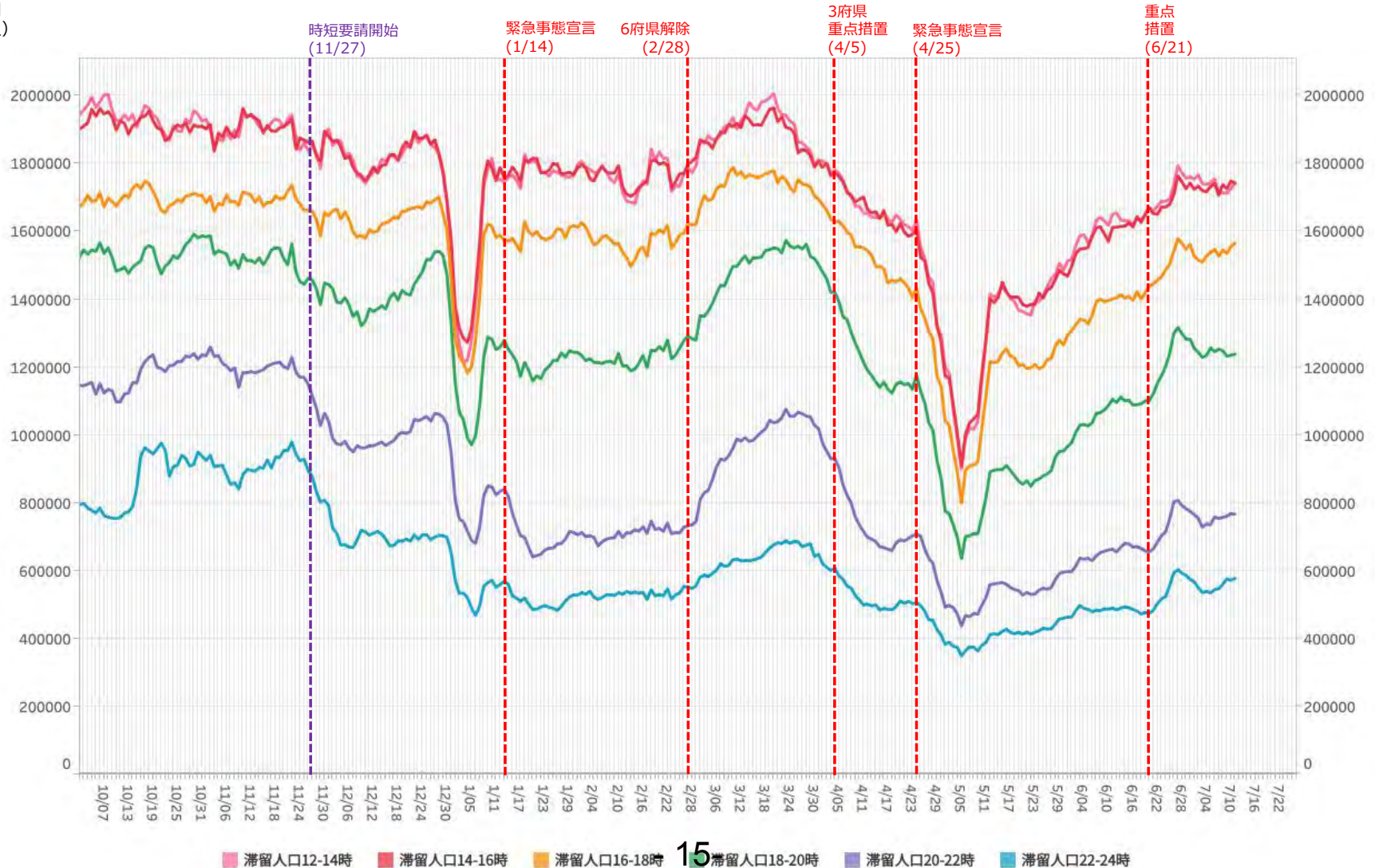
重点措置4/20-



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：大阪（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置6/21-

繁華街
滞留
人口
(人)

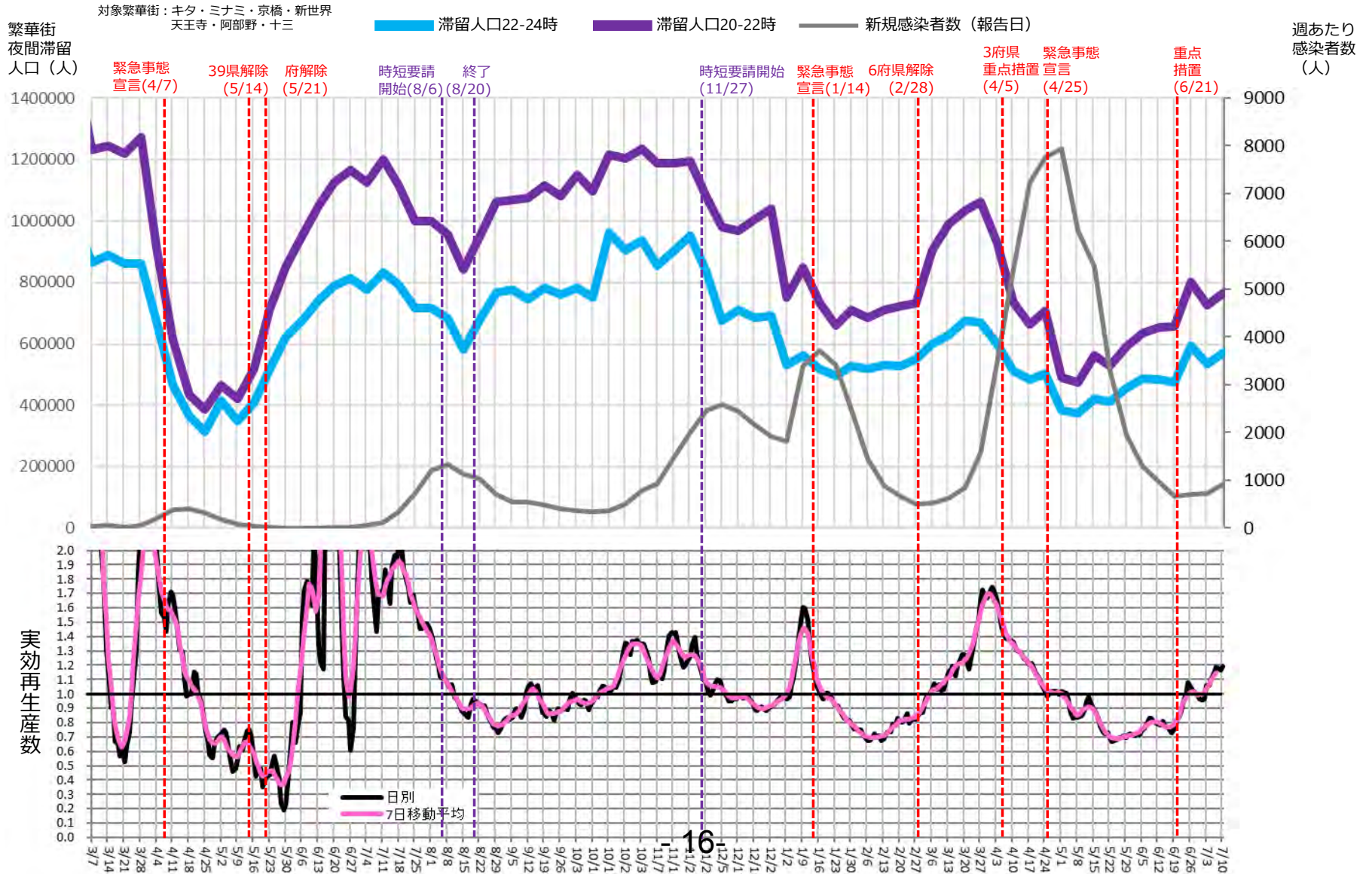


※対象繁華街は京橋・十三・新世界・天王寺・阿倍野・大阪キタ・大阪ミナミ

LocationMind xPop © LocationMind Inc

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:大阪 (2020年3月1日~2021年7月10日)

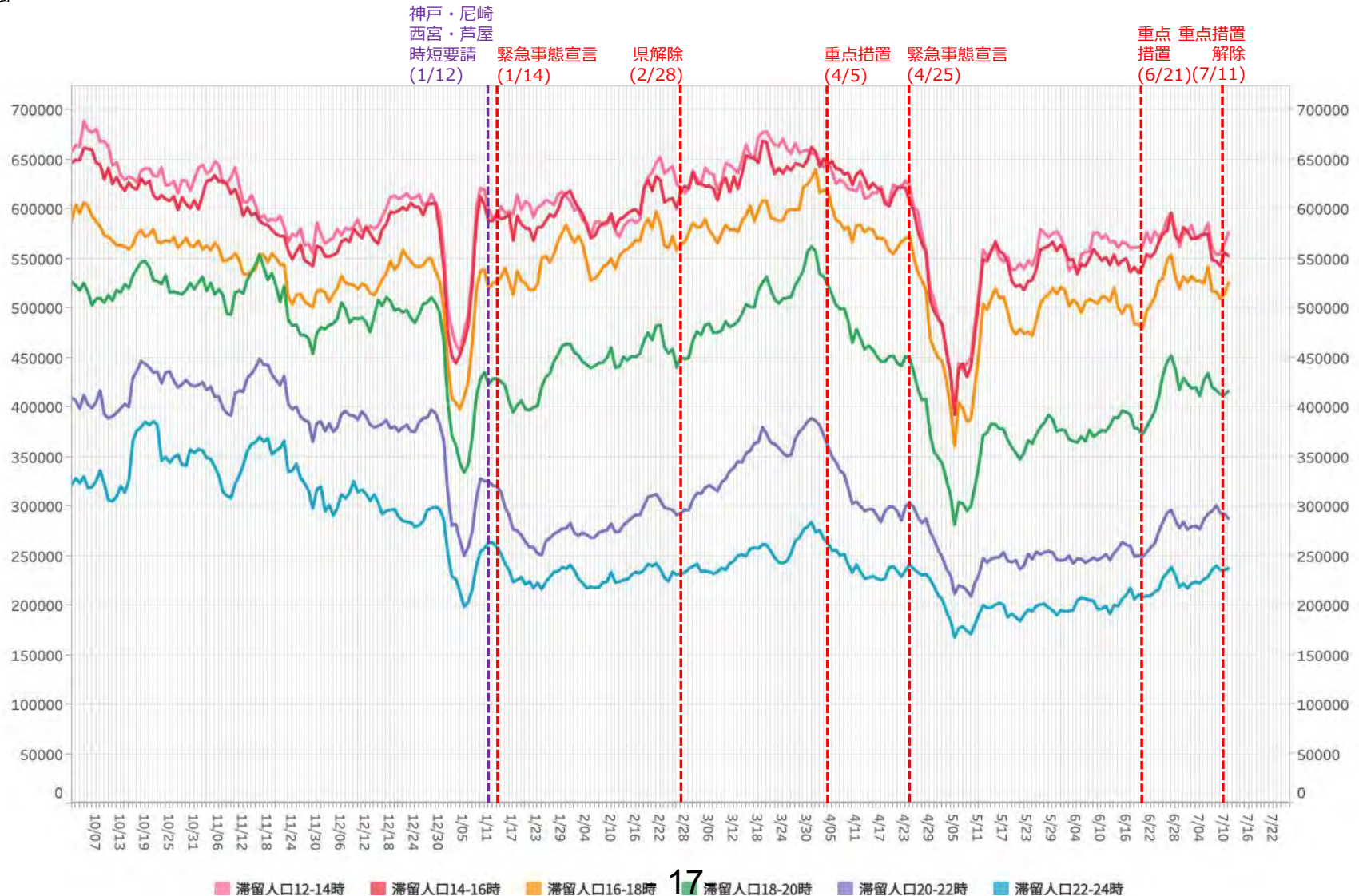
重点措置6/21-



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：兵庫（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
6/21-7/11

繁華街
滞留
人口
(人)

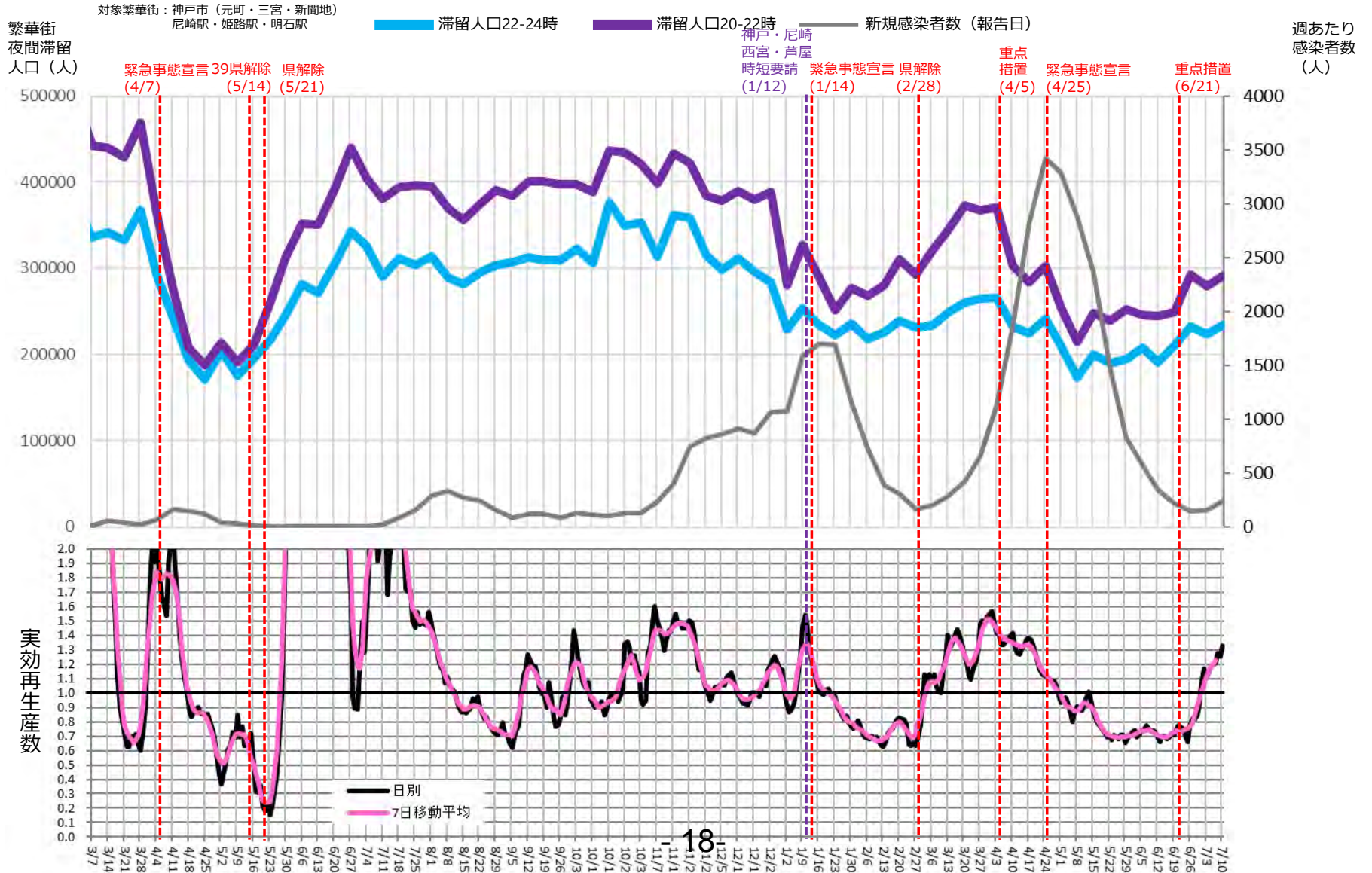


※対象繁華街は神戸市元町・神戸市三宮・神戸市新開地・尼崎駅・姫路駅・明石駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc. 17

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:兵庫 (2020年3月1日~2021年7月10日)

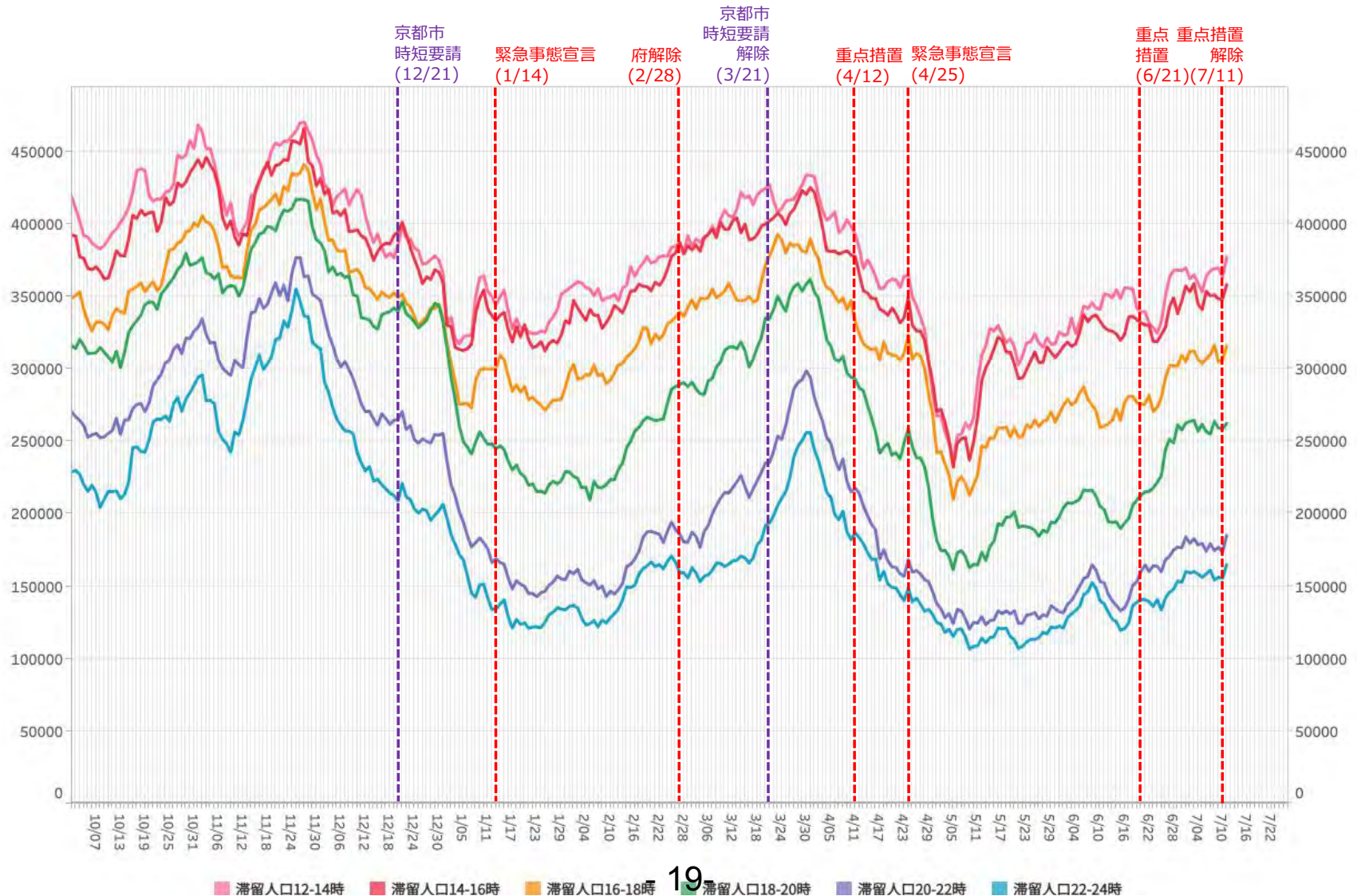
重点措置
6/21-7/11



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：京都（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
6/21-7/11

繁華街
滞留
人口
(人)



*対象繁華街は京都駅・京都市三条・四条河原町・京都市伏見大手筋

LocationMind xPop © LocationMind Inc

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:京都 (2020年3月1日~2021年7月10日)

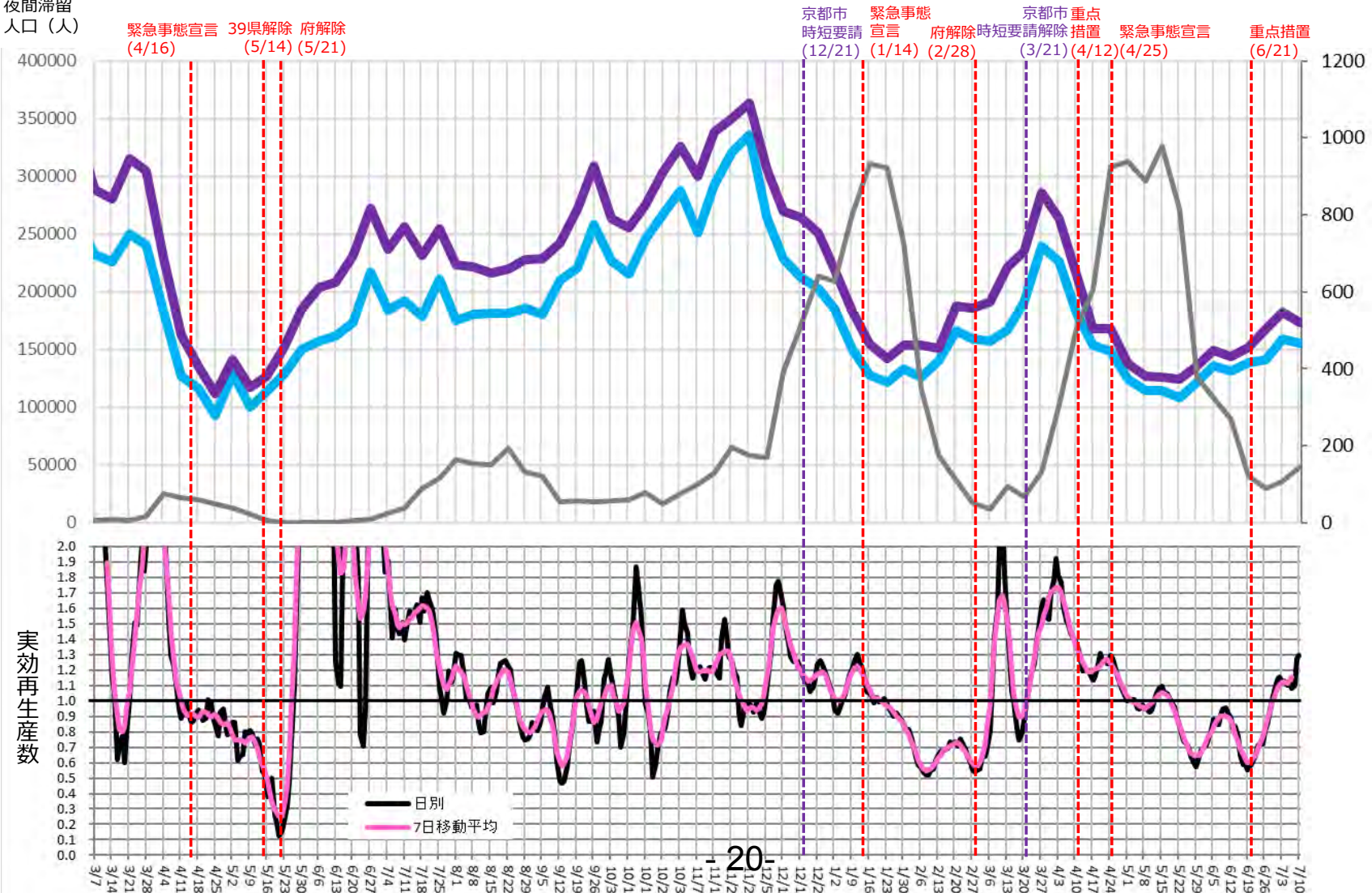
重点措置
6/21-7/11

対象繁華街: 京都駅・京都市三条・四条河原町
伏見大手筋

繁華街
夜間滞留
人口(人)

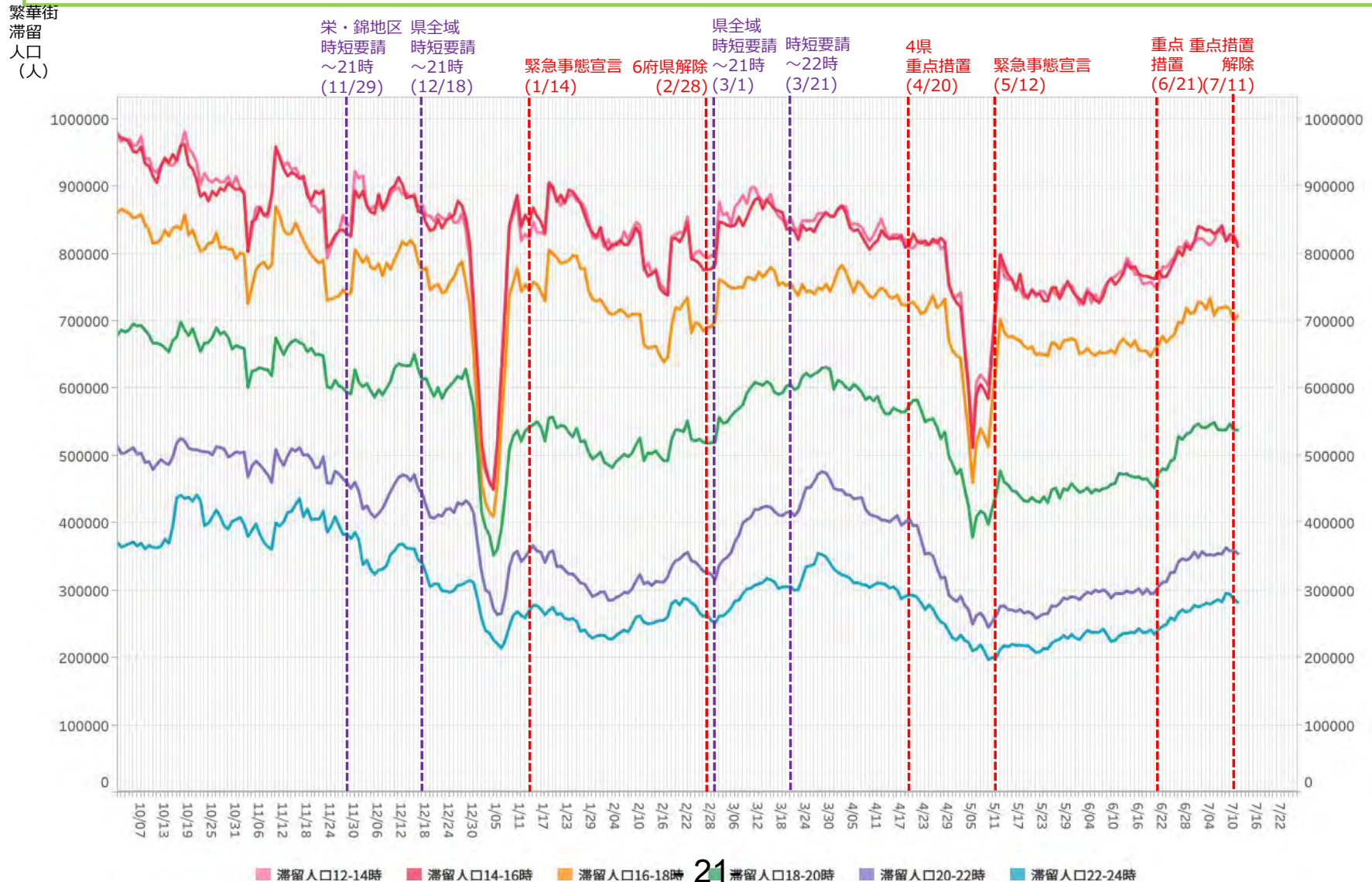
滞留人口22-24時 (青線) 滞留人口20-22時 (紫線) 新規感染者数(報告日) (黒線)

週あたり
感染者数
(人)



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：愛知（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
6/21-7/11

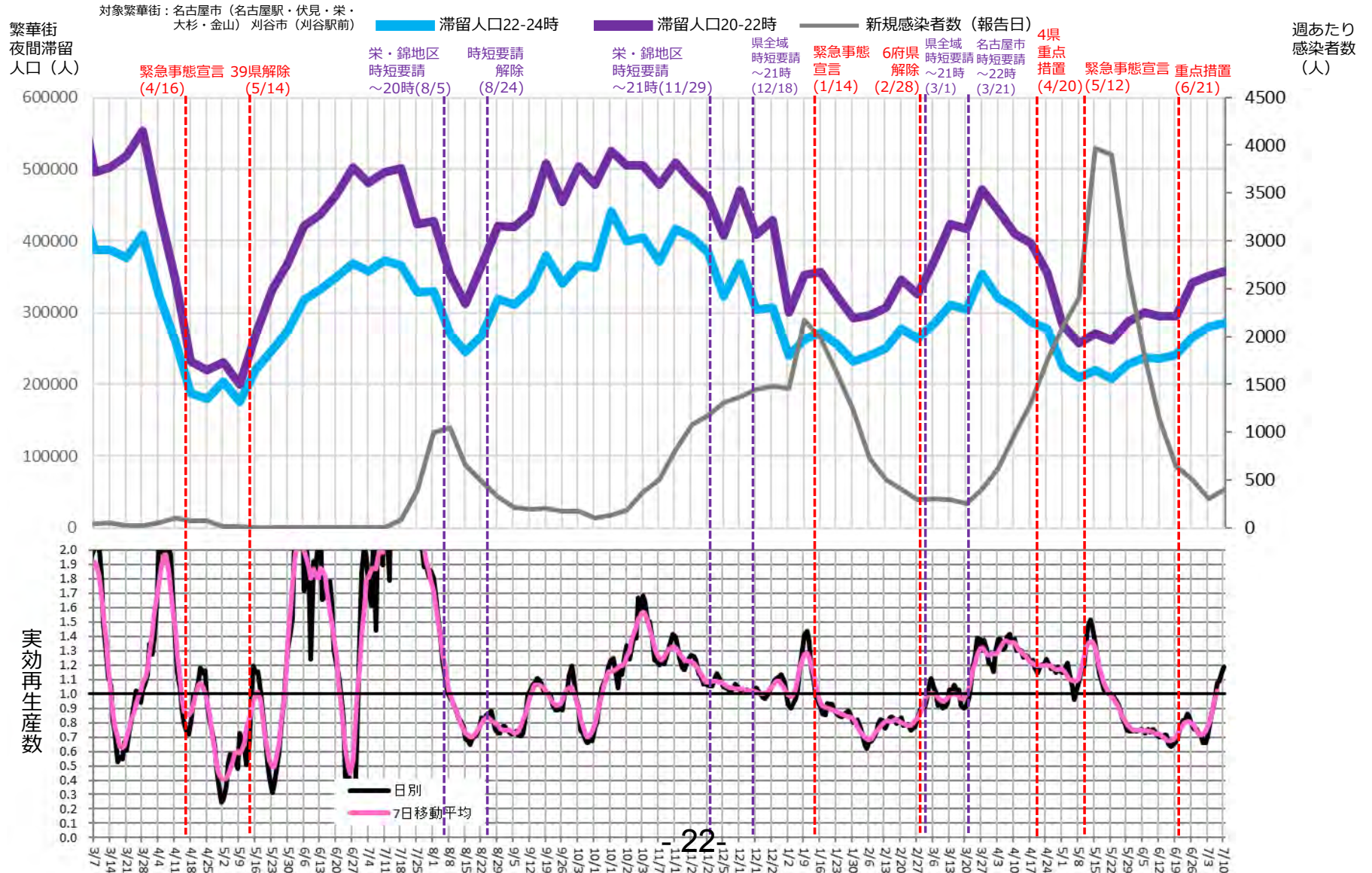


※対象繁華街は刈谷駅・名古屋駅・伏見・名古屋栄・名古屋市金山・名古屋大杉

LocationMind xPop © LocationMind Inc. 21

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:愛知 (2020年3月1日~2021年7月10日)

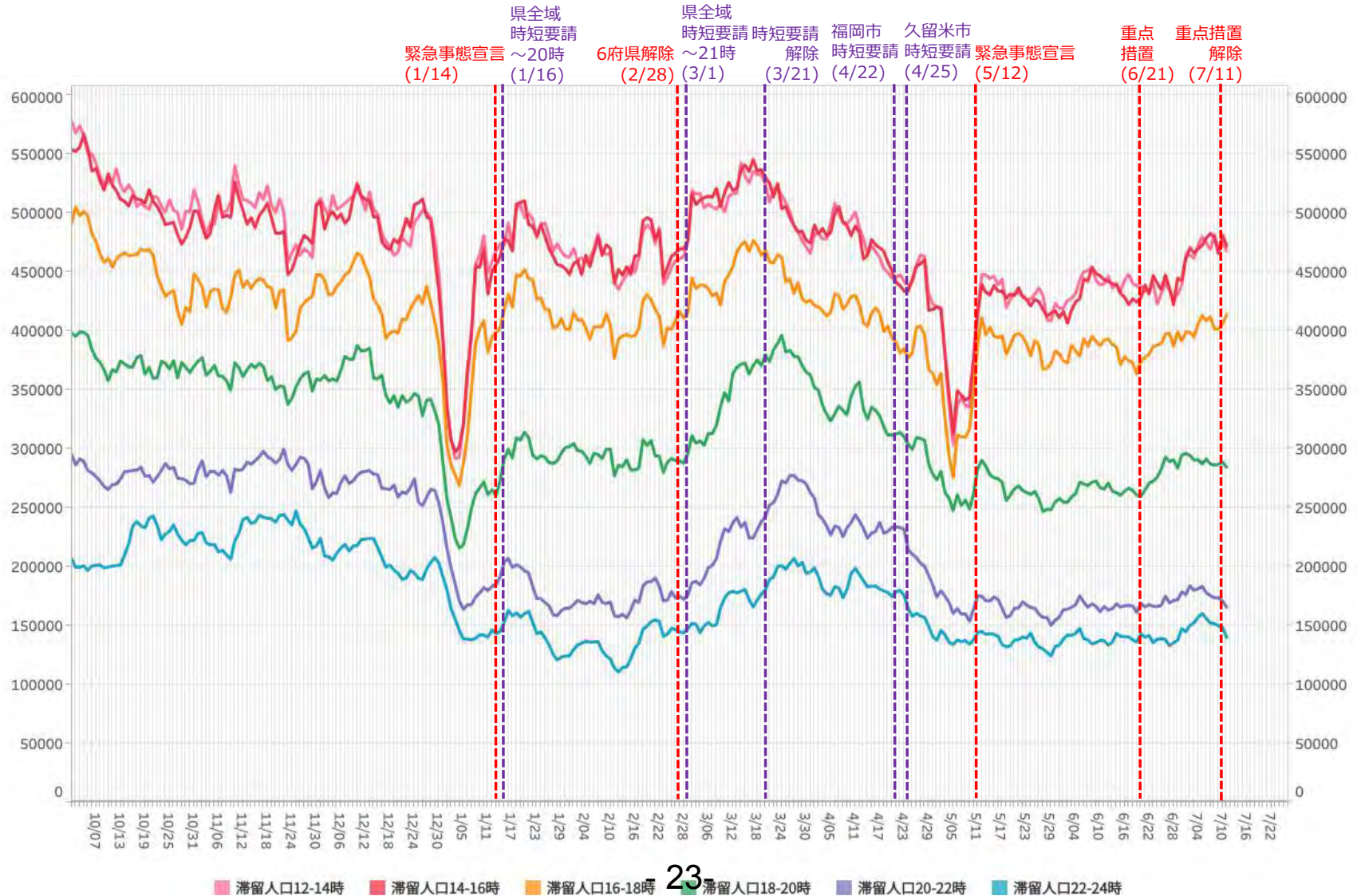
重点措置
6/21-7/11



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：福岡（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
6/21-7/11

繁華街
滞留
人口
(人)



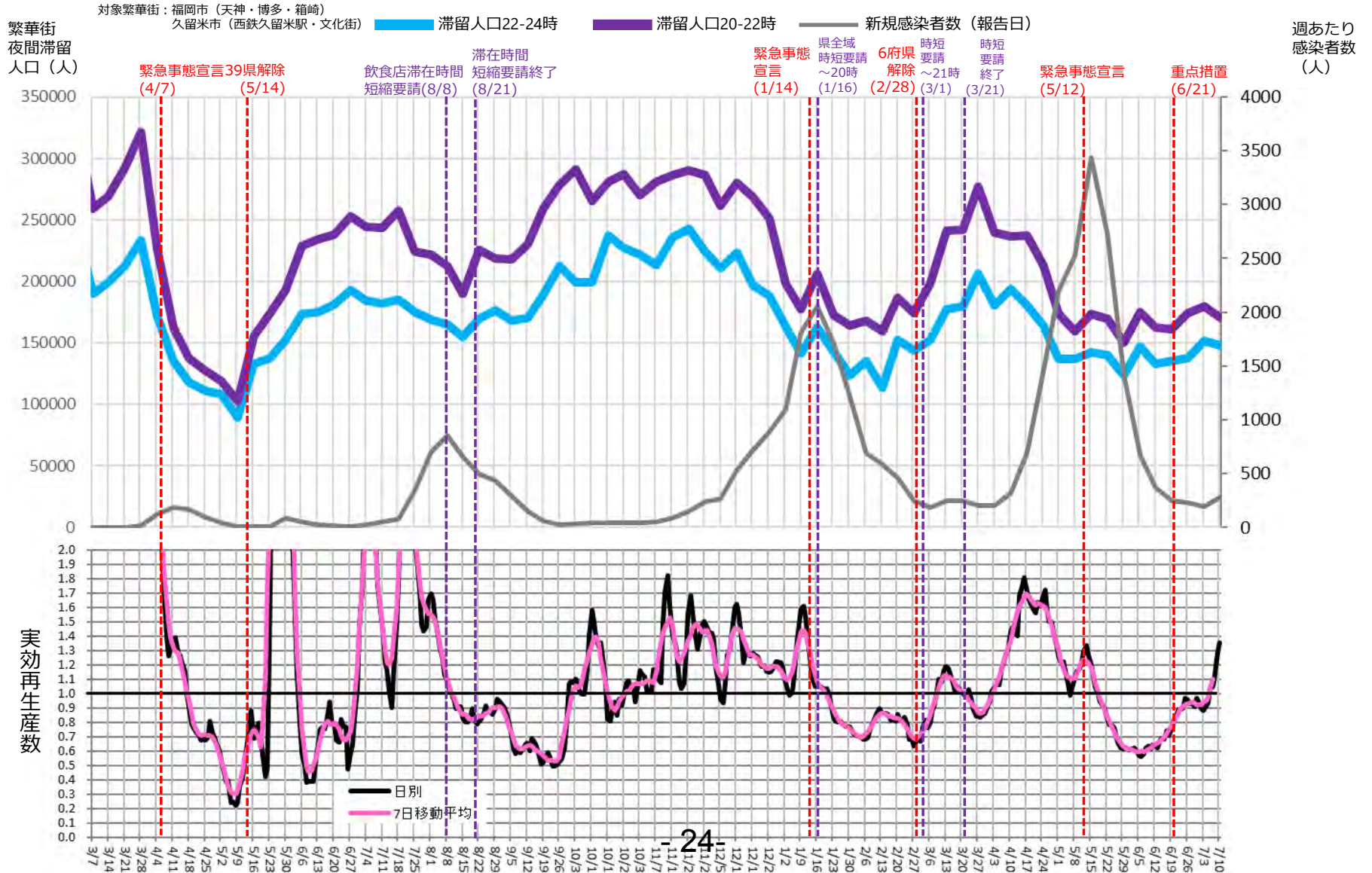
23

※対象繁華街は西鉄久留米駅・文化街・福岡市天神・福岡市博多・福岡市箱崎

LocationMind xPop © LocationMind Inc. 23

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:福岡 (2020年3月1日~2021年7月10日)

重点措置
6/21-7/11

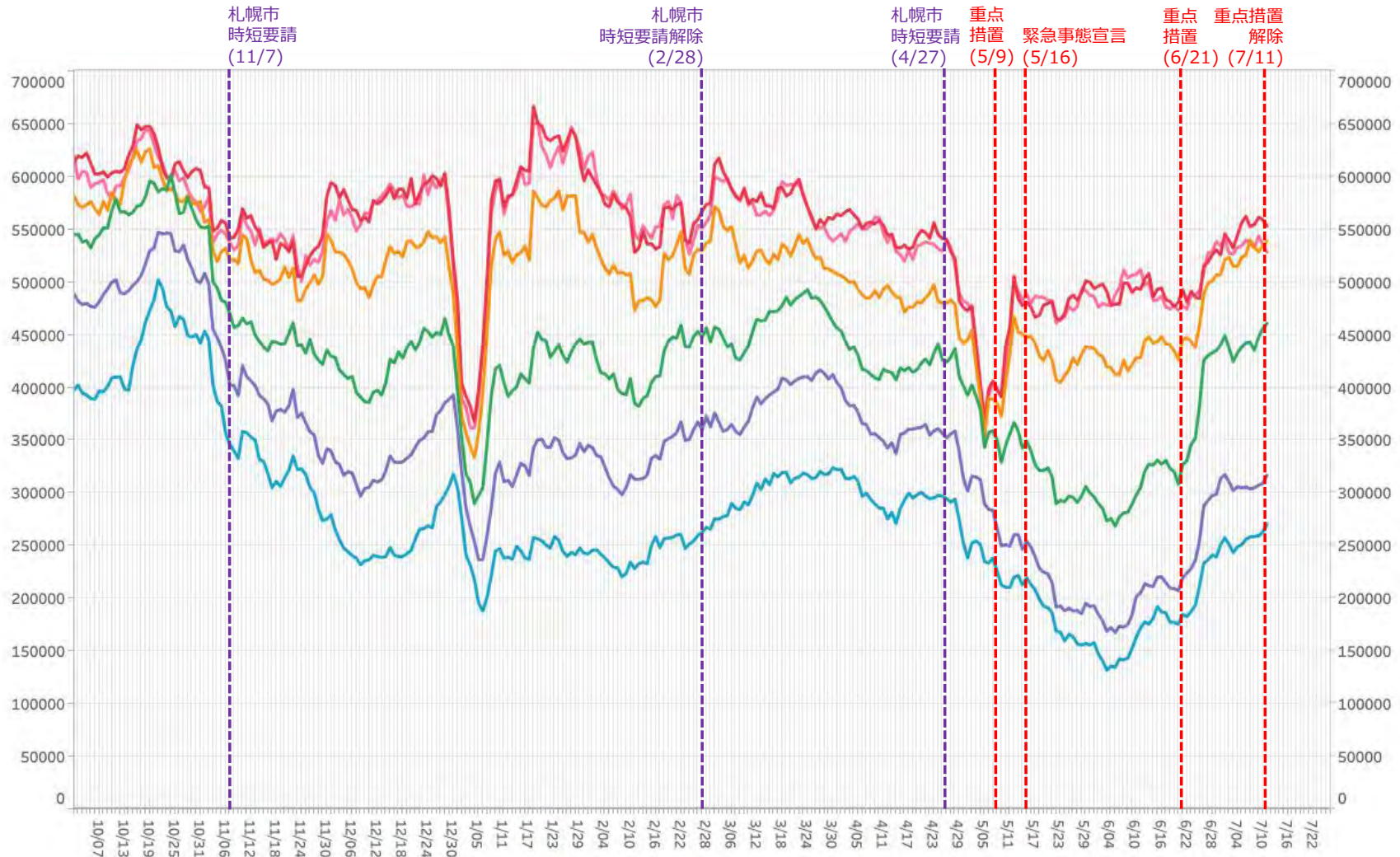


-24-

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：北海道（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
6/21-7/11

繁華街
滞留
人口
(人)



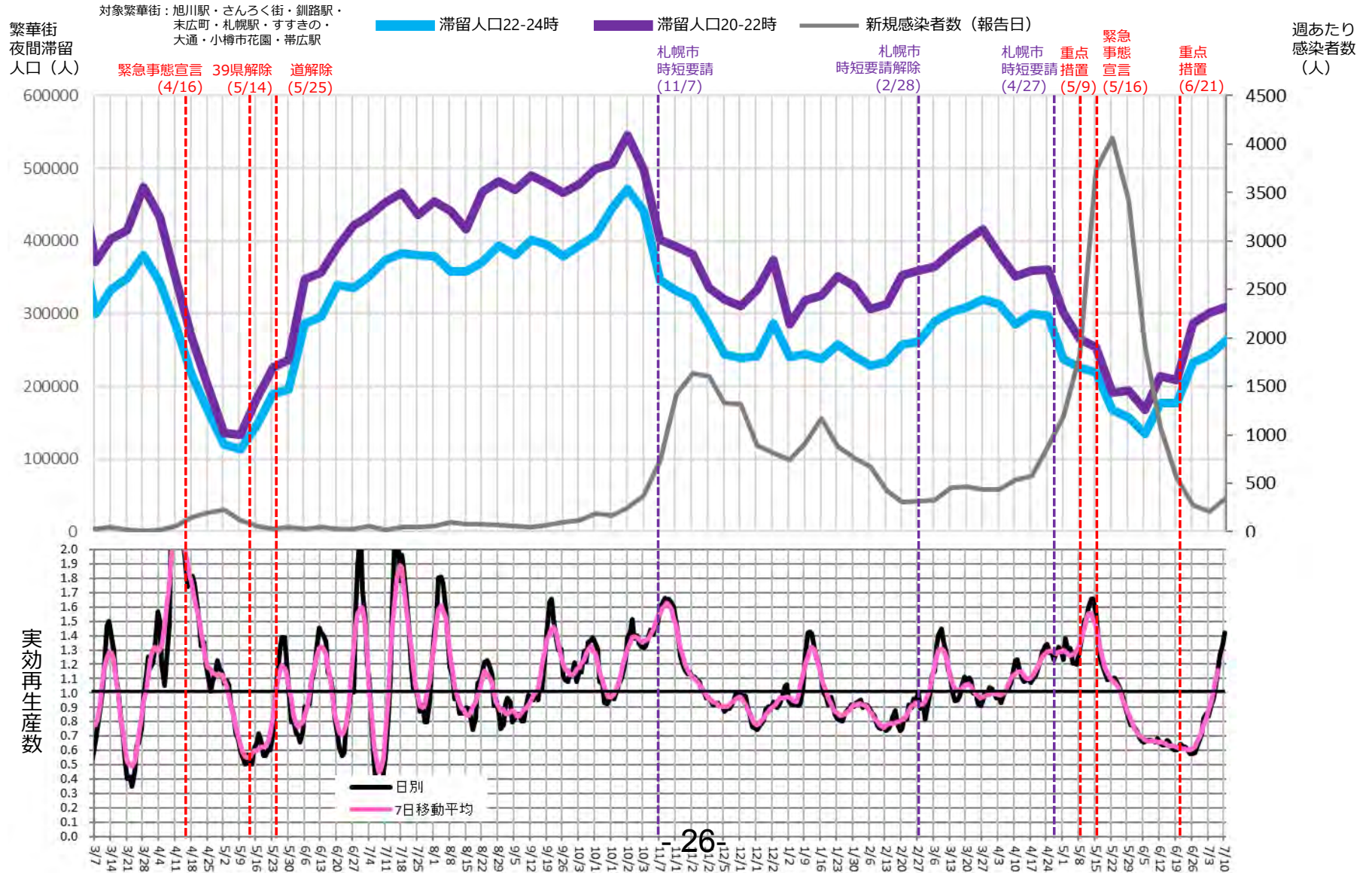
■ 滞留人口12-14時
 ■ 滞留人口14-16時
 ■ 滞留人口16-18時
 ■ 滞留人口18-20時
 ■ 滞留人口20-22時
 ■ 滞留人口22-24時

※対象繁華街は旭川駅・さんろく街・釧路駅・未広町・札幌駅・札幌市すすきの・大通・小樽市花園・帯広駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc.25

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:北海道 (2020年3月1日~2021年7月10日)

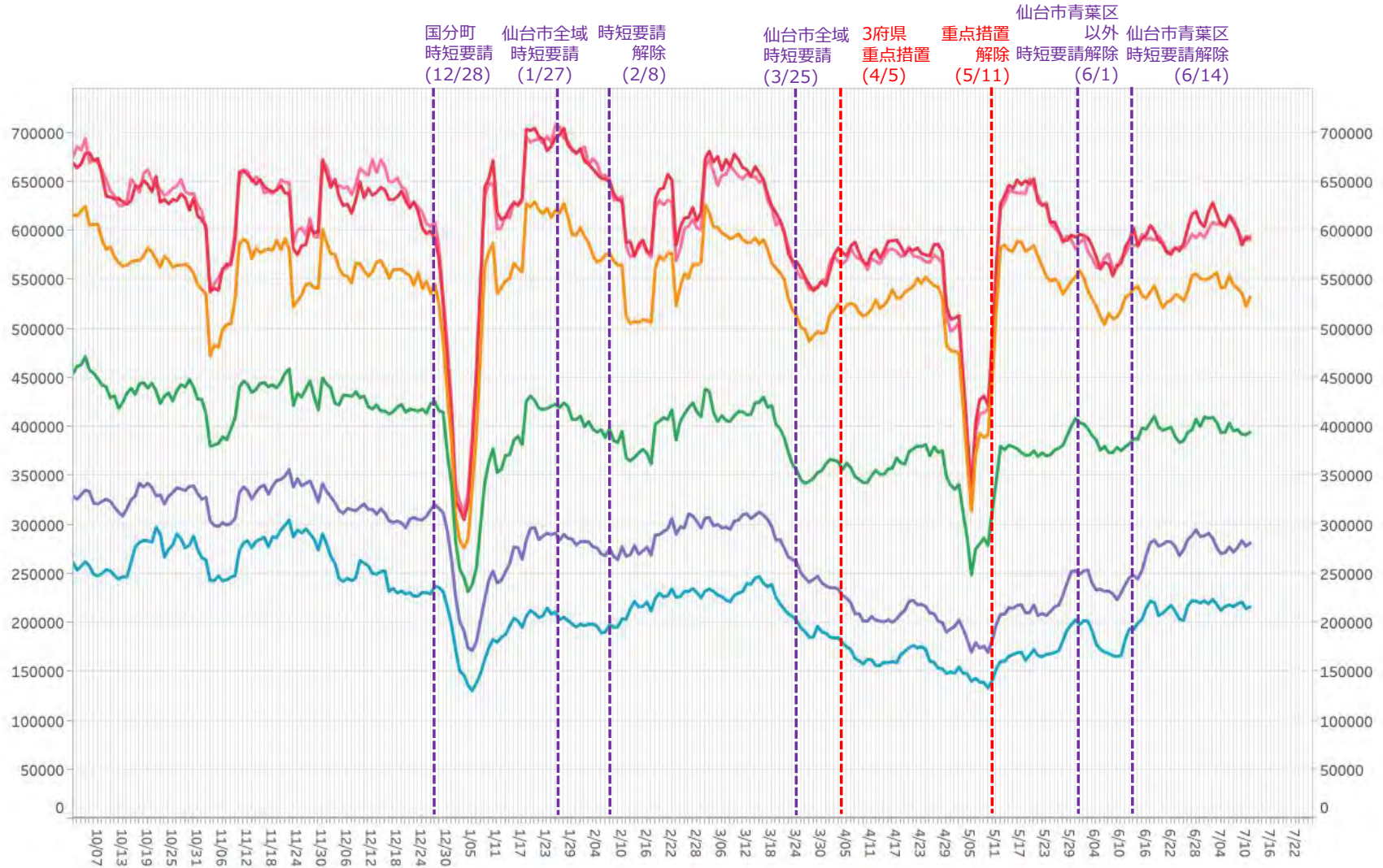
重点措置
6/21-7/11



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：宮城（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
4/5-5/11

繁華街
滞留
人口
(人)



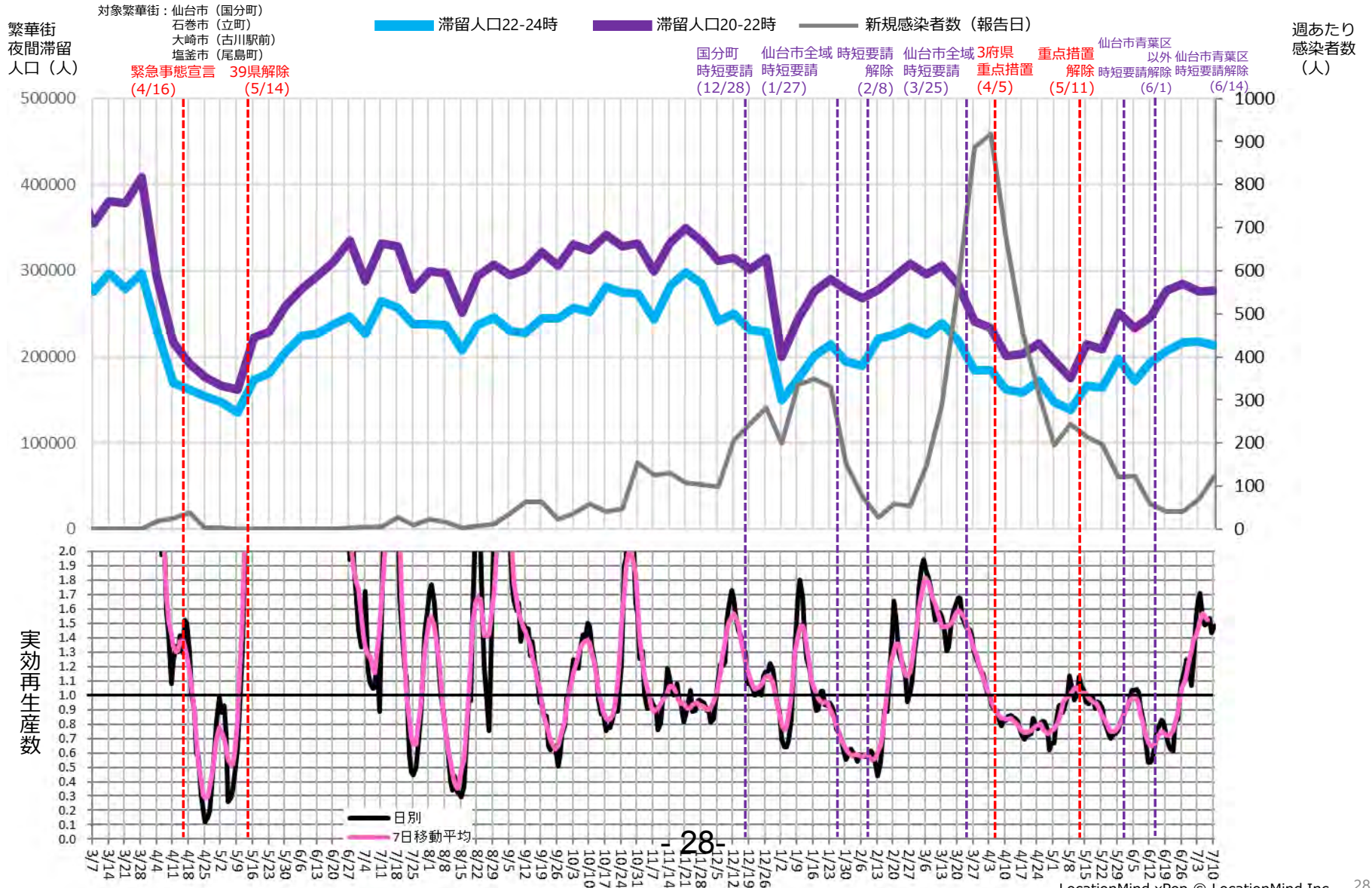
滞留人口12-14時 滞留人口14-16時 滞留人口16-18時 滞留人口18-20時 滞留人口20-22時 滞留人口22-24時

※対象繁華街は塩釜市尾島町・石巻市立町・仙台市国分町・大崎市古川駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:宮城 (2020年3月1日~2021年7月10日)

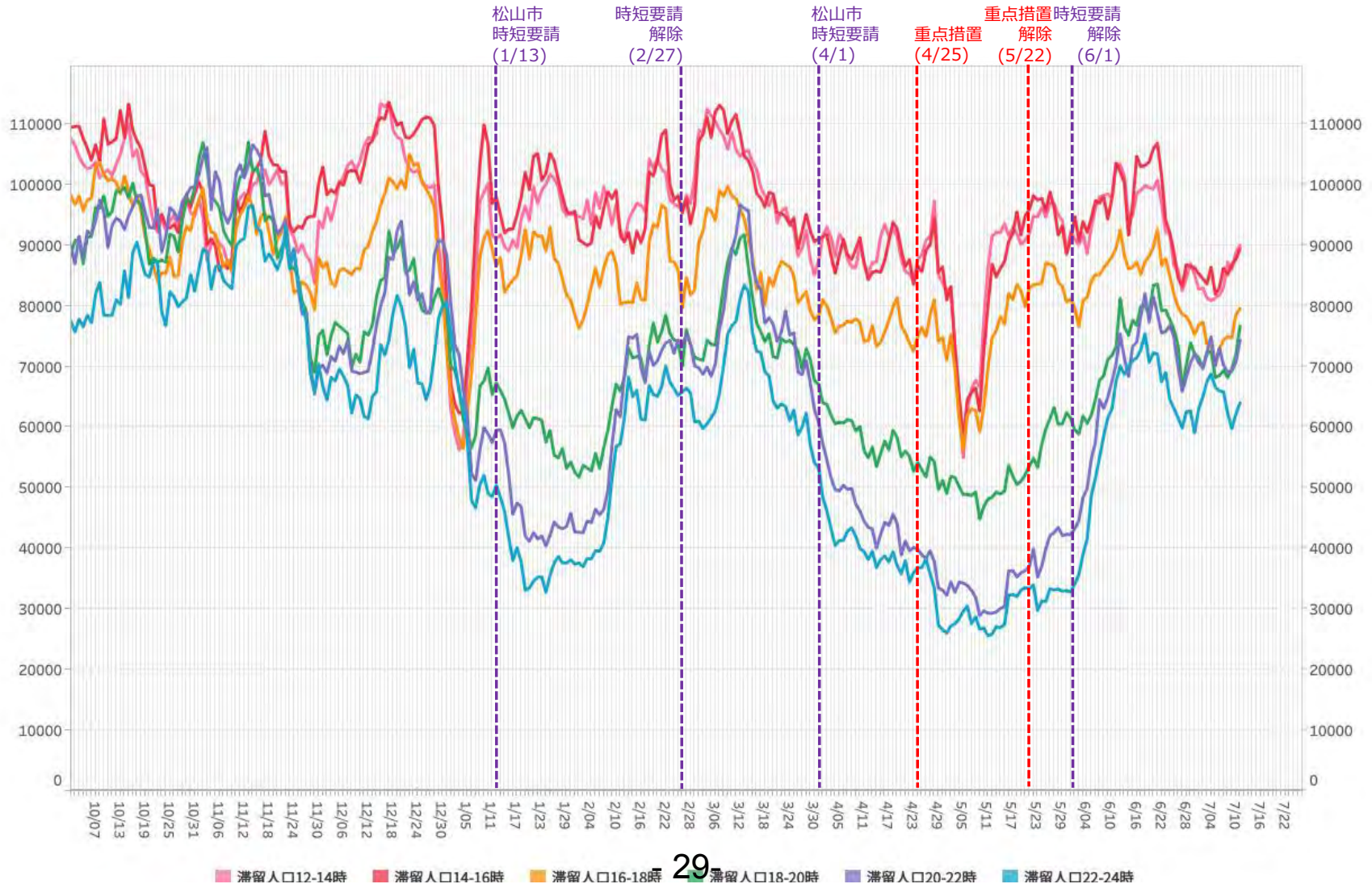
重点措置
4/5-5/11



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：愛媛（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
4/25-5/22

繁華街
滞留
人口
(人)

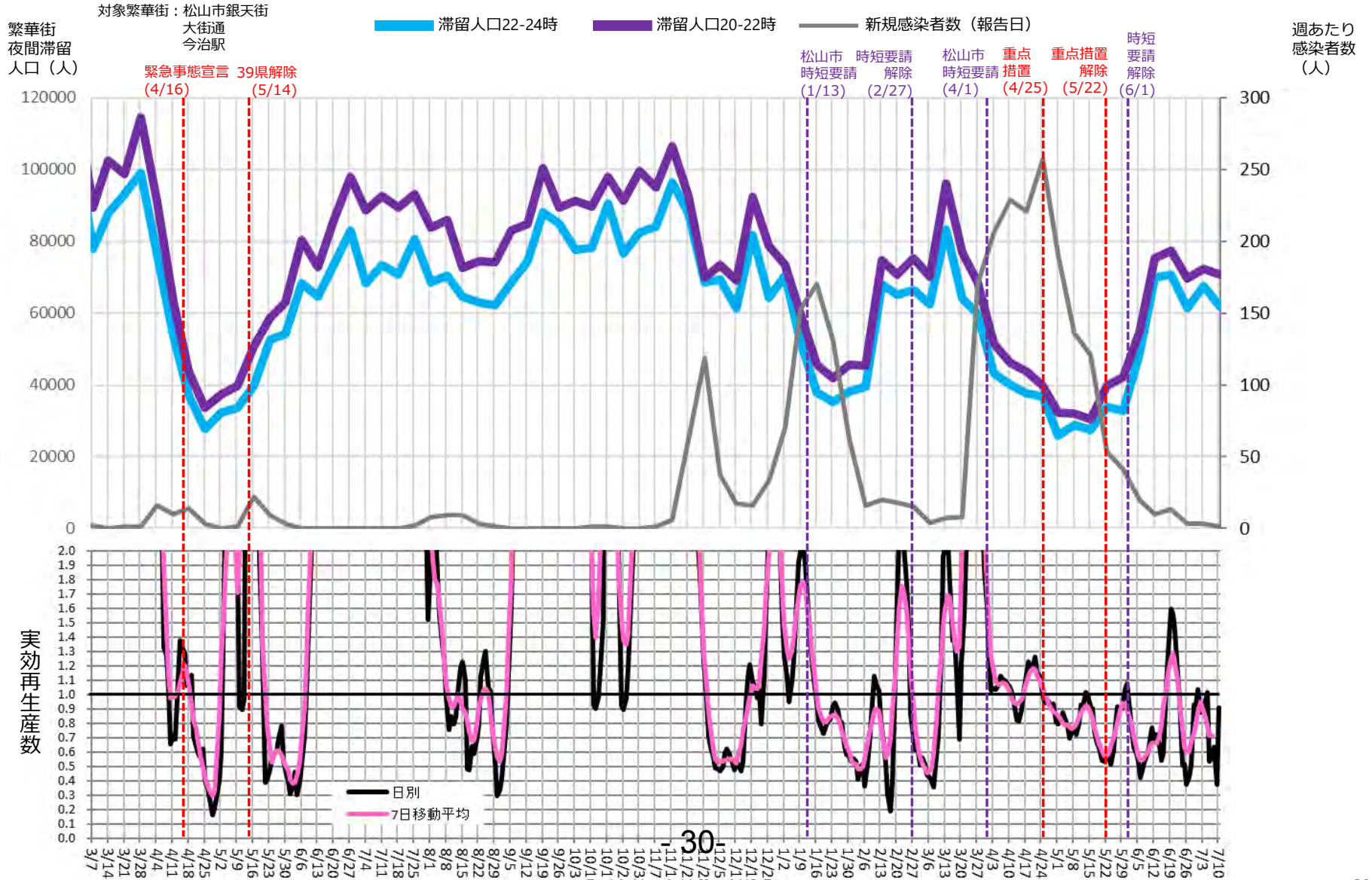


※対象繁華街は今治駅・松山市銀天街・大街道

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:愛媛 (2020年3月1日~2021年7月10日)

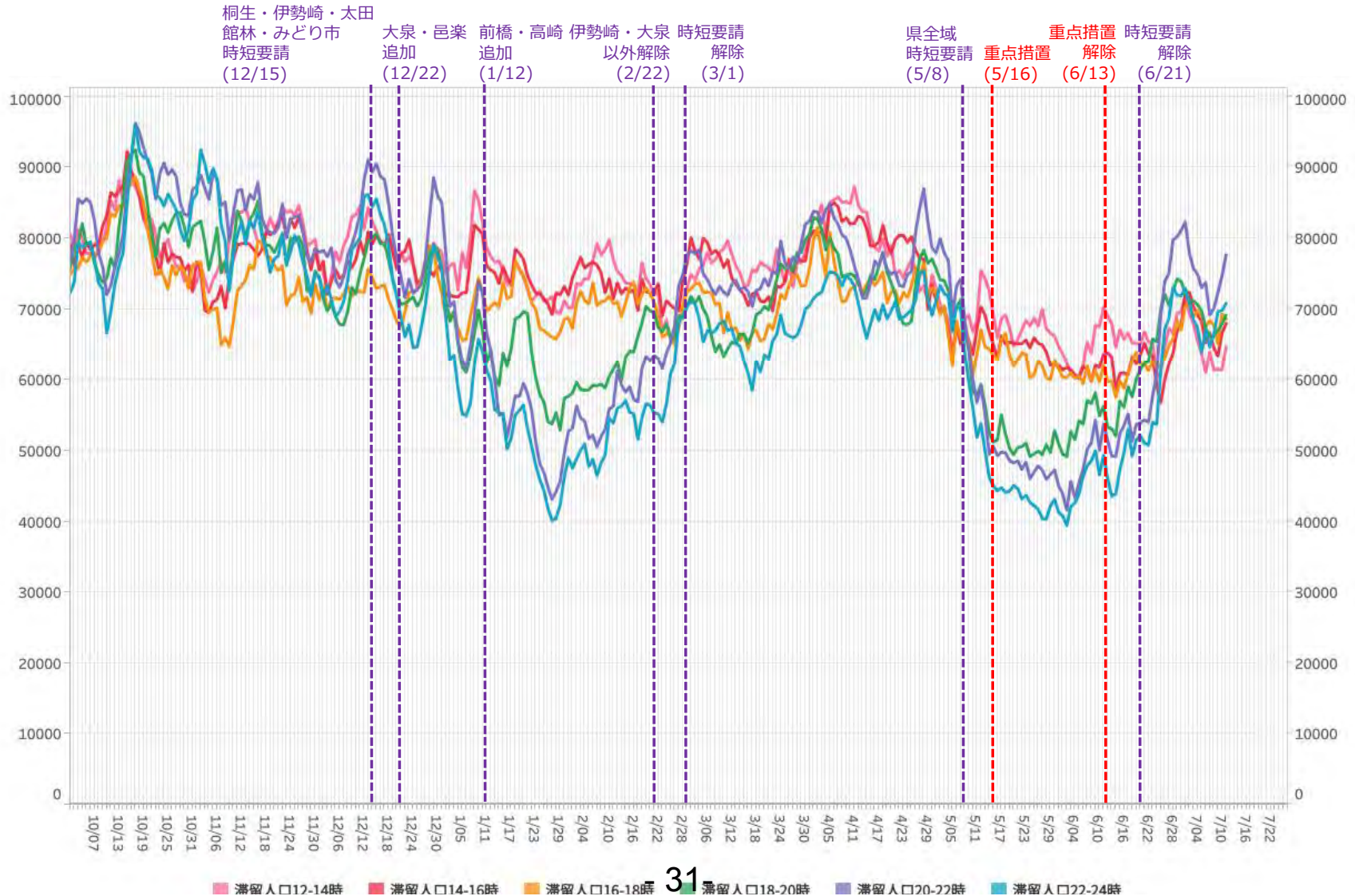
重点措置
4/25-5/22



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：群馬（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
5/16-6/13

繁華街
滞留
人口
(人)



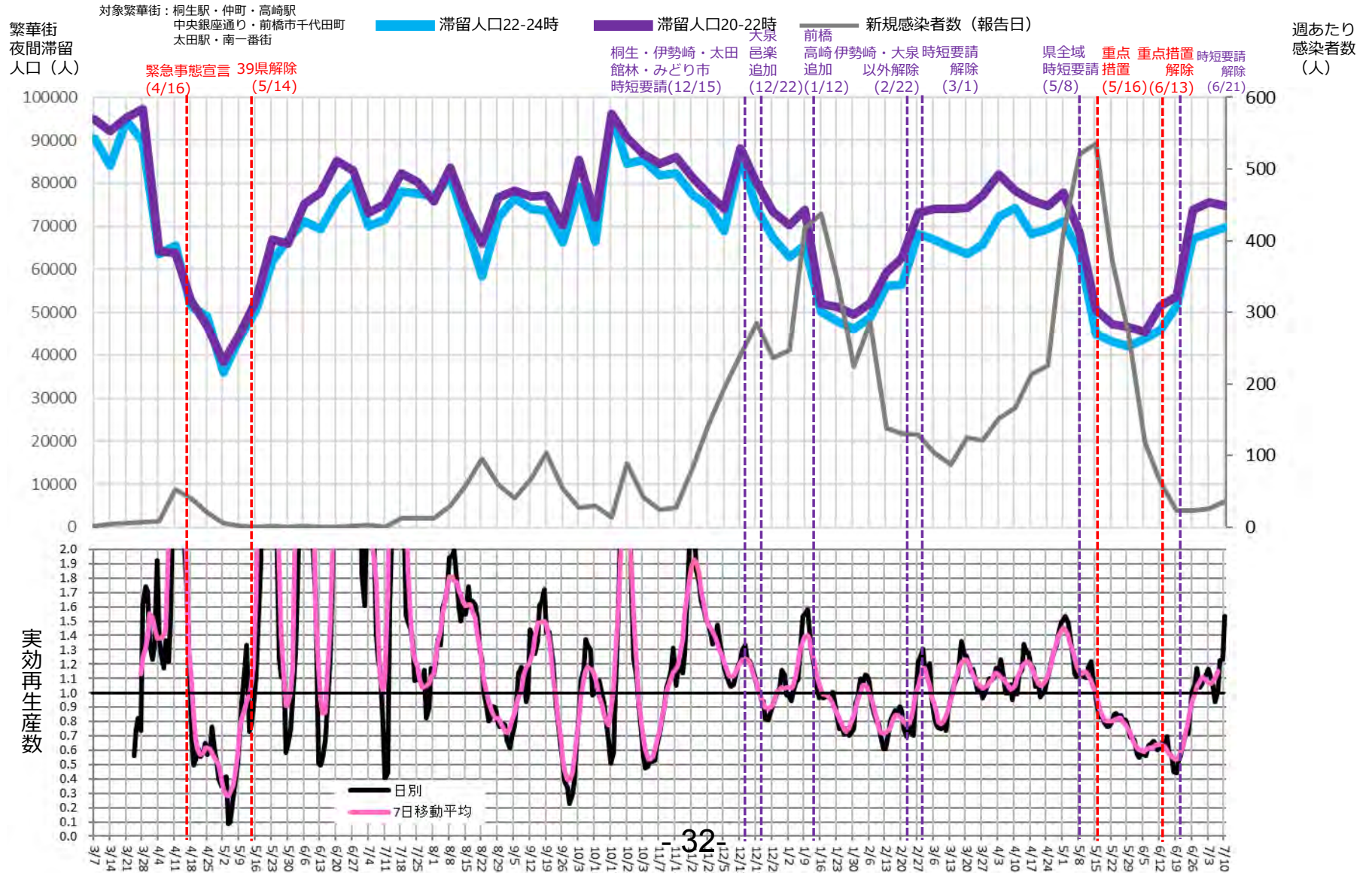
31

※対象繁華街は桐生駅・仲町・高崎駅・中央銀座通り・前橋市千代田町・太田駅・南一番街

LocationMind xPop © LocationMind Inc.1

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:群馬 (2020年3月1日~2021年7月10日)

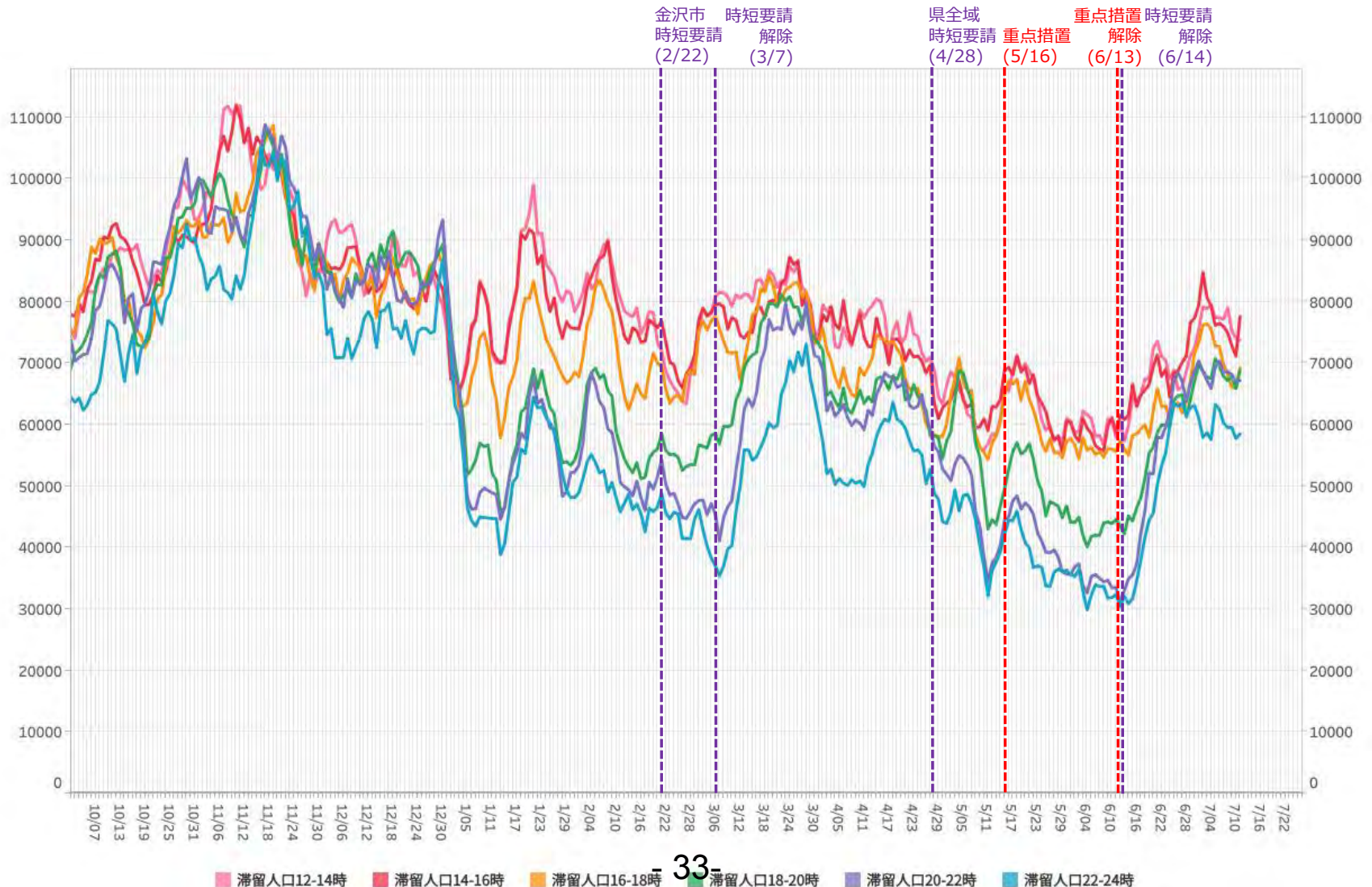
重点措置
5/16-6/13



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：石川（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
5/16-6/13

繁華街
滞留
人口
(人)

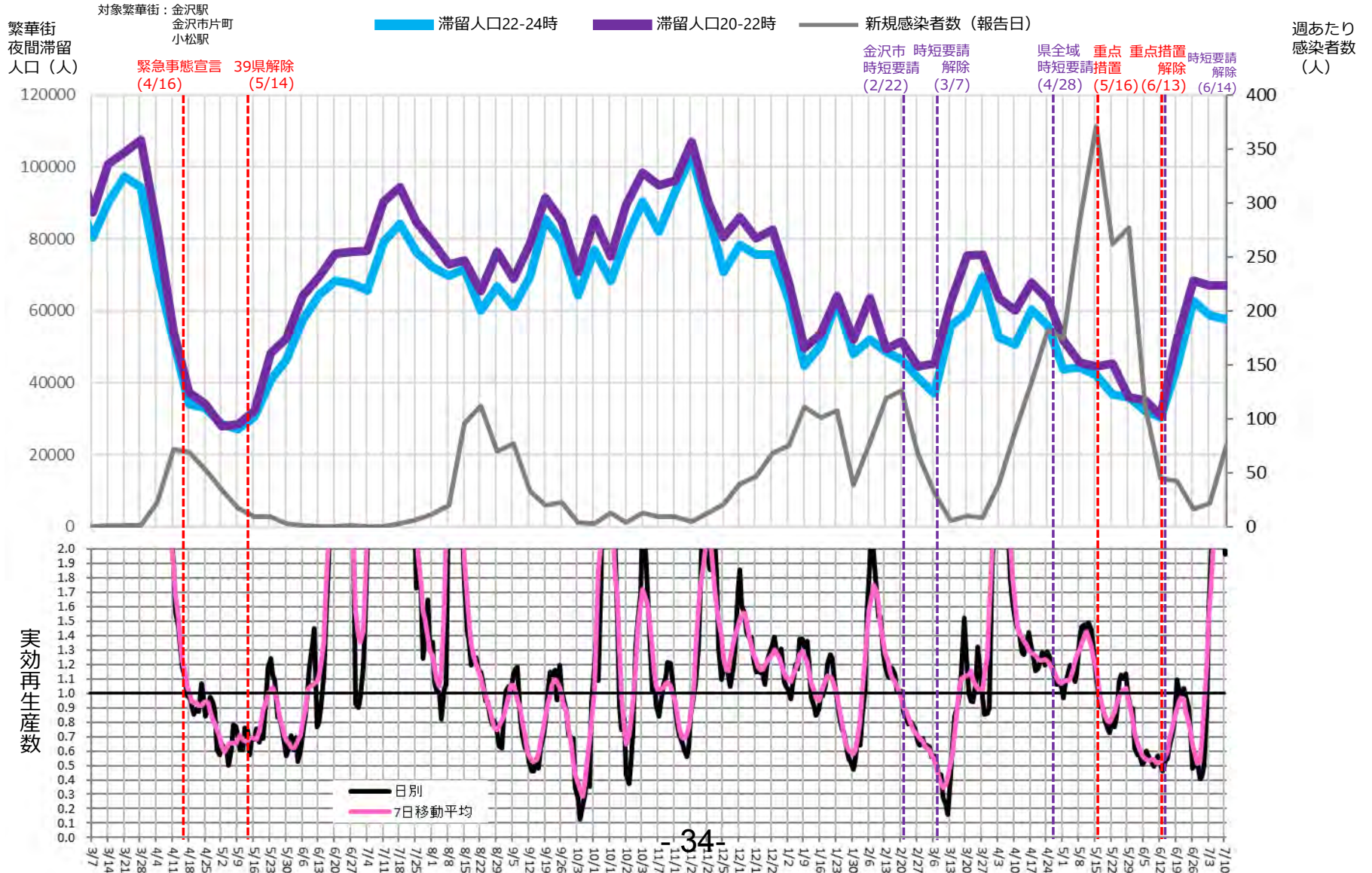


*対象繁華街は金沢駅・金沢市片町・小松駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:石川 (2020年3月1日~2021年7月10日)

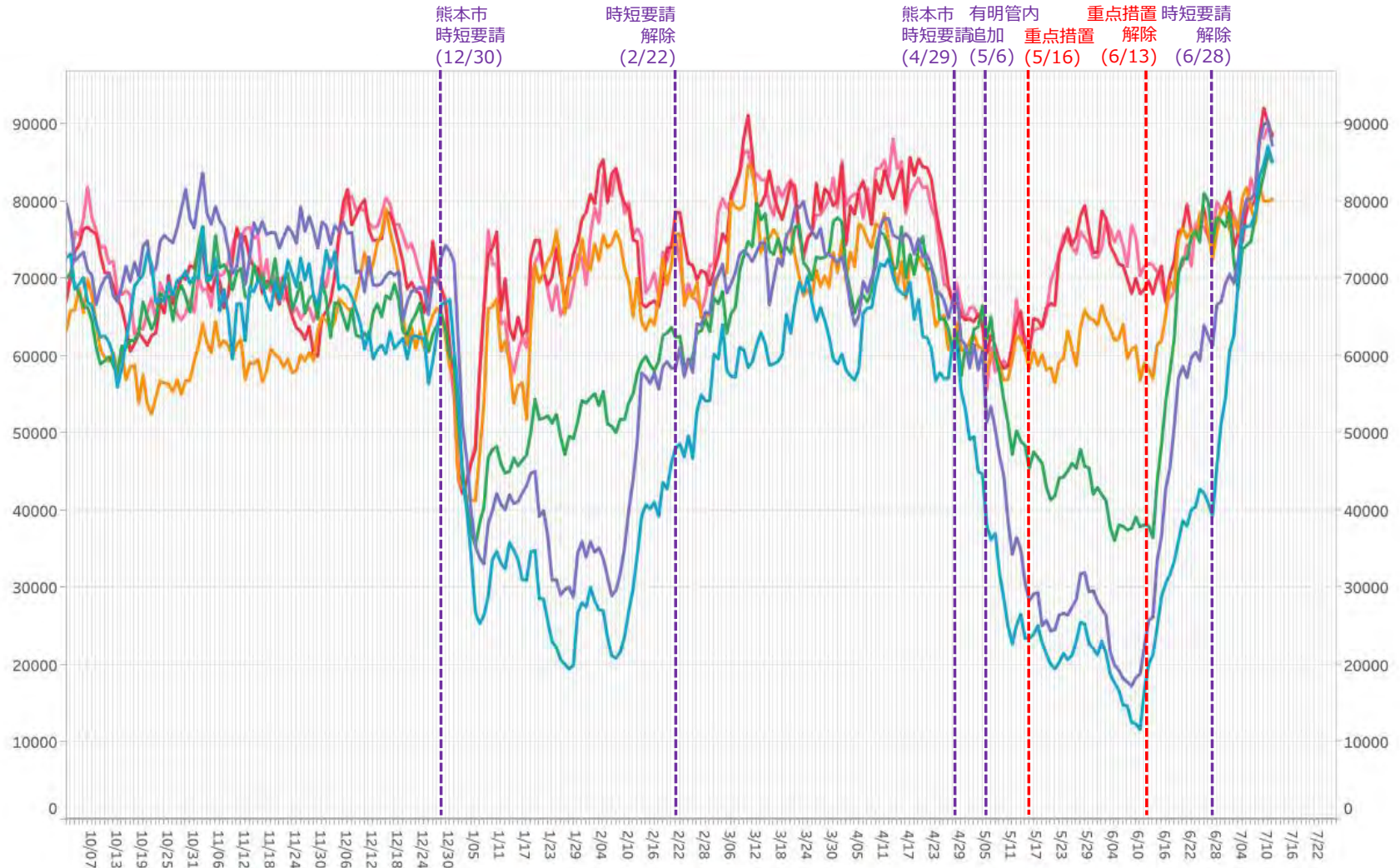
重点措置
5/16-6/13



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：熊本（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
5/16-6/13

繁華街
滞留
人口
(人)



- 35 -

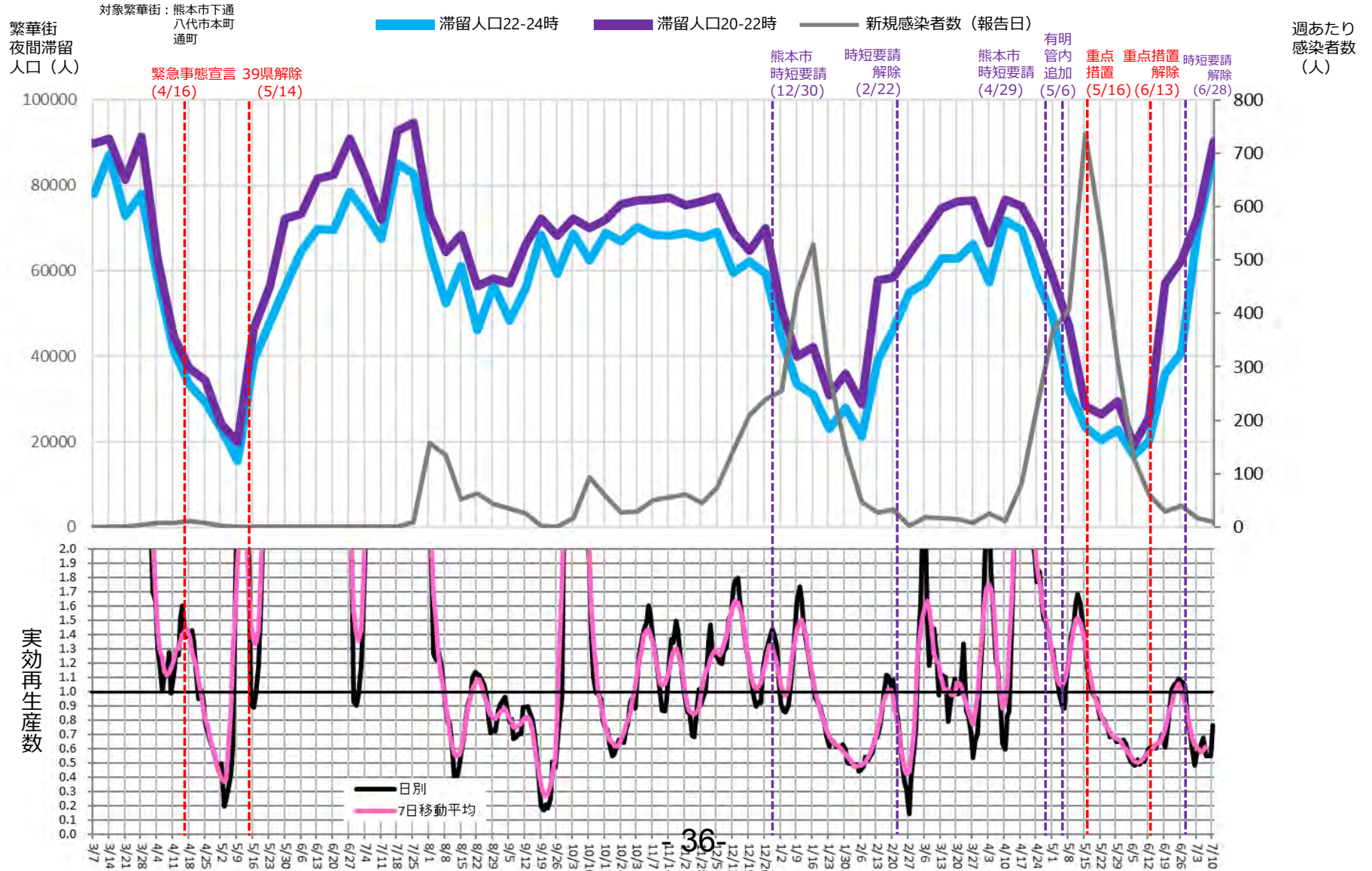
■ 滞留人口12-14時
 ■ 滞留人口14-16時
 ■ 滞留人口16-18時
 ■ 滞留人口18-20時
 ■ 滞留人口20-22時
 ■ 滞留人口22-24時

※対象繁華街は熊本市下通・八代市本町・通町

LocationMind xPop © LocationMind Inc. 25

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:熊本 (2020年3月1日~2021年7月10日)

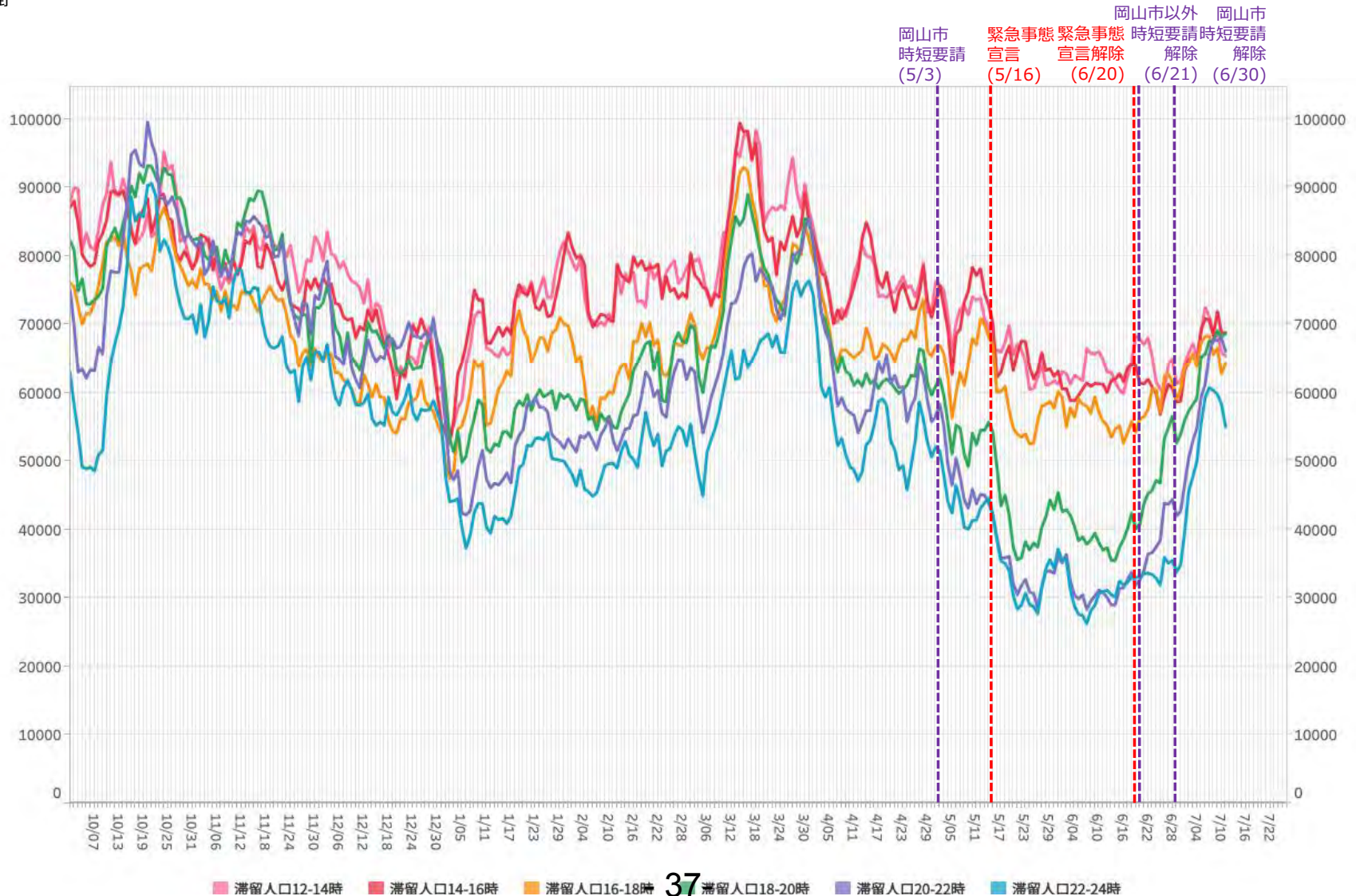
重点措置
5/16-6/13



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：岡山（2020年10月1日～2021年7月11日）

緊急事態
5/16-6/20

繁華街
滞留
人口
(人)



※対象繁華街は岡山駅・倉敷駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

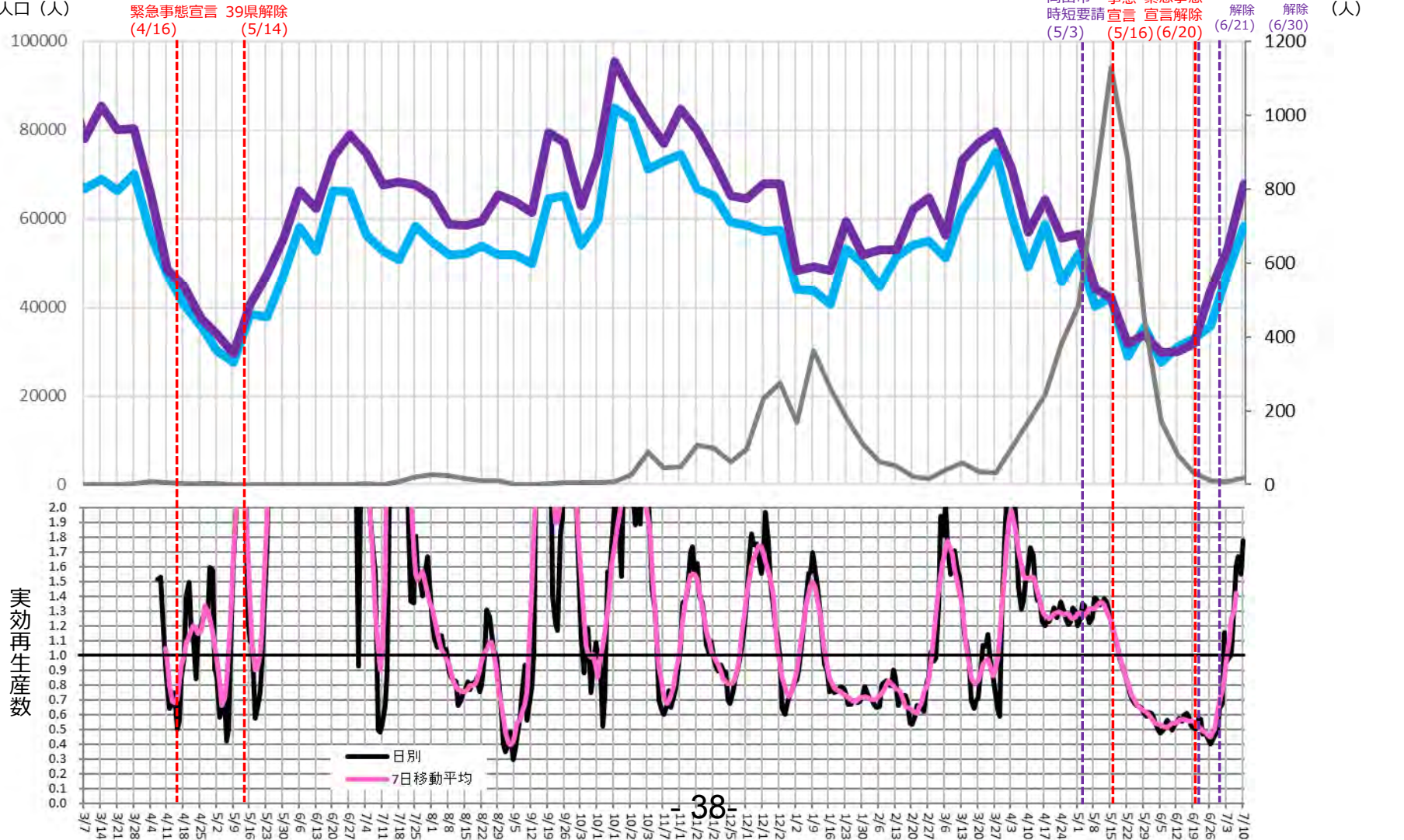
主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:岡山 (2020年3月1日~2021年7月10日)

緊急事態
5/16-6/20

対象繁華街: 岡山駅・倉敷駅

繁華街
夜間滞留
人口 (人)

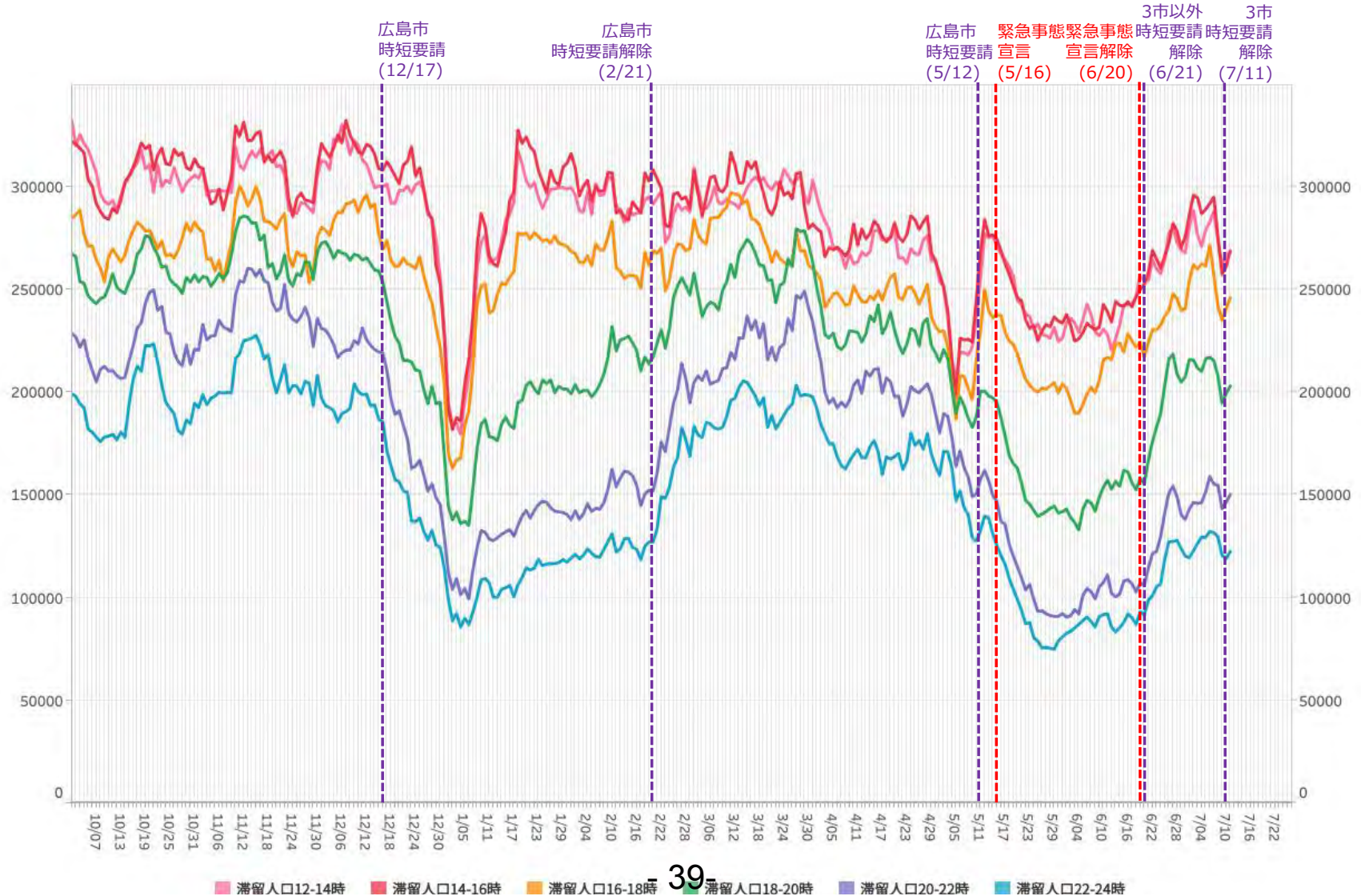
滞留人口22-24時 滞留人口20-22時 新規感染者数 (報告日)



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：広島（2020年10月1日～2021年7月11日）

緊急事態
5/16-6/20

繁華街
滞留
人口
(人)

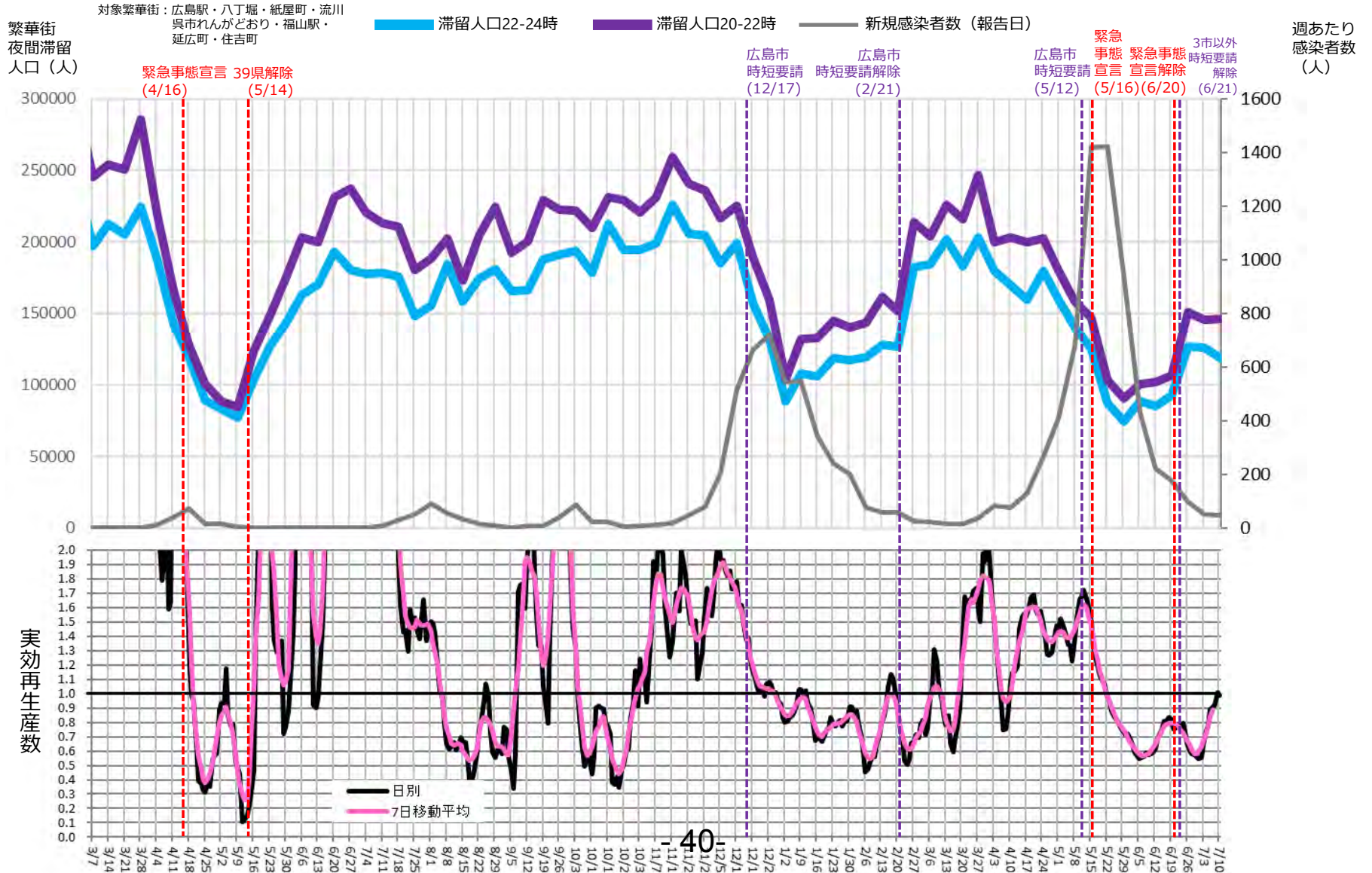


※対象繁華街は呉市れんがどおり・広島駅・広島市八丁堀・紙屋町・流川・福山駅・延広町・住吉町

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:広島 (2020年3月1日~2021年7月10日)

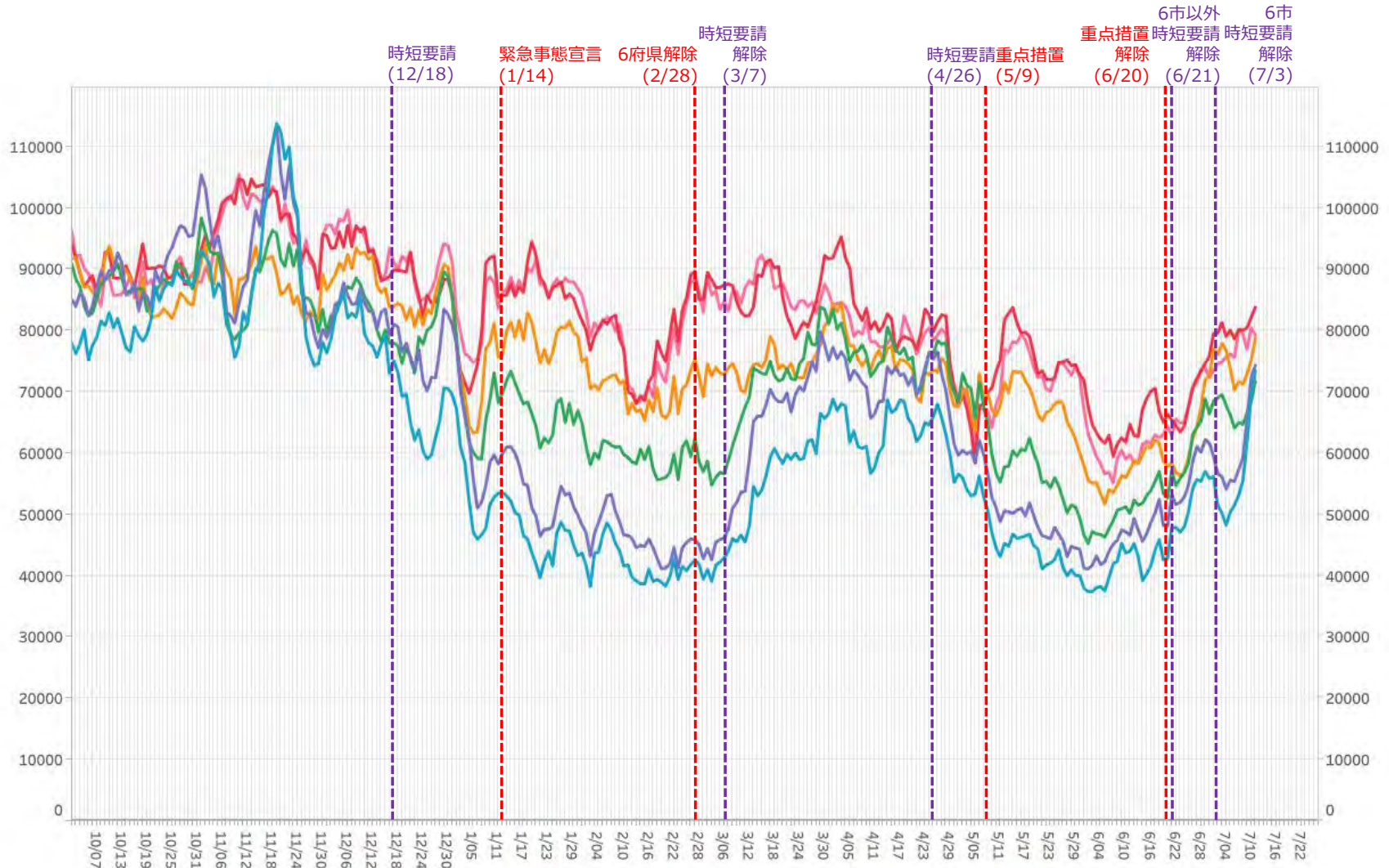
緊急事態
5/16-6/20



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：岐阜（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
5/9-6/20

繁華街
滞留
人口
(人)



■ 滞留人口12-14時
 ■ 滞留人口14-16時
 ■ 滞留人口16-18時
 ■ 滞留人口18-20時
 ■ 滞留人口20-22時
 ■ 滞留人口22-24時

※対象繁華街は岐阜駅・岐阜市柳ヶ瀬・高山駅・大垣駅南

LocationMind xPop © LocationMind Inc. 41

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:岐阜 (2020年3月1日~2021年7月10日)

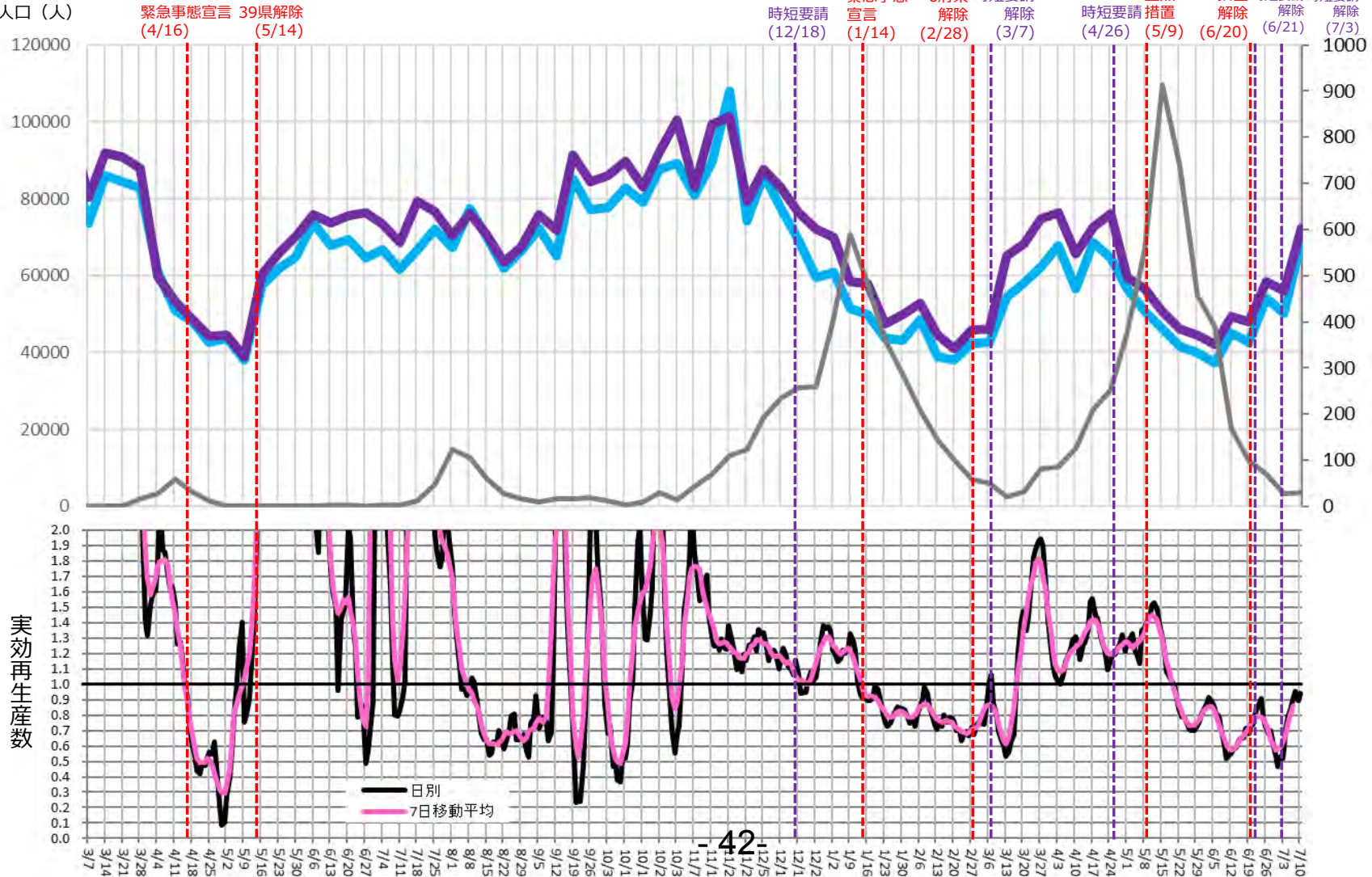
重点措置
5/9-6/20

対象繁華街: 岐阜駅・高山駅

繁華街
夜間滞留
人口 (人)

滞留人口22-24時 (青線) 滞留人口20-22時 (紫線) 新規感染者数 (報告日) (黒線)

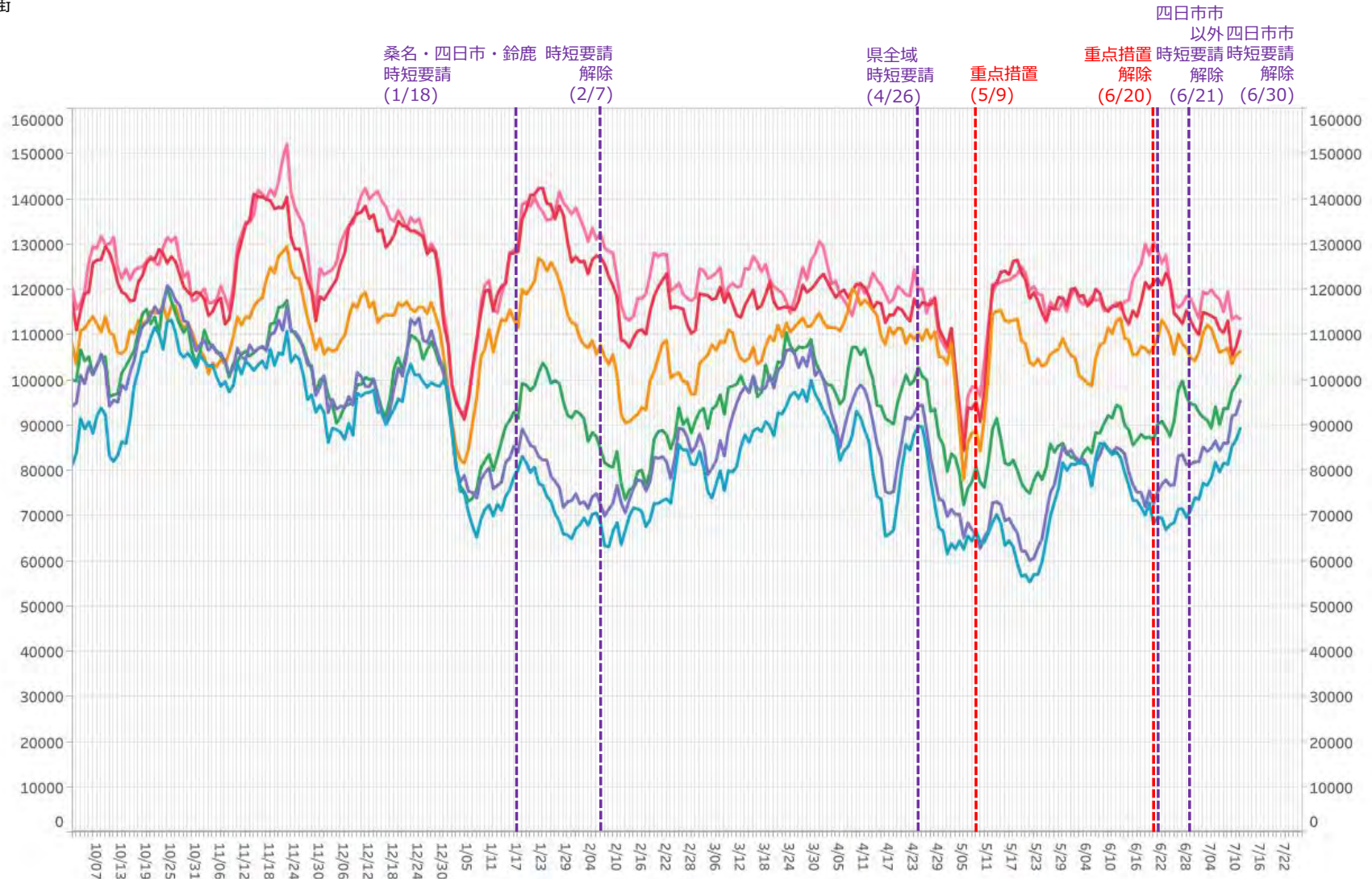
週あたり
感染者数
(人)



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：三重（2020年10月1日～2021年7月11日）

重点措置
5/9-6/20

繁華街
滞留
人口
(人)



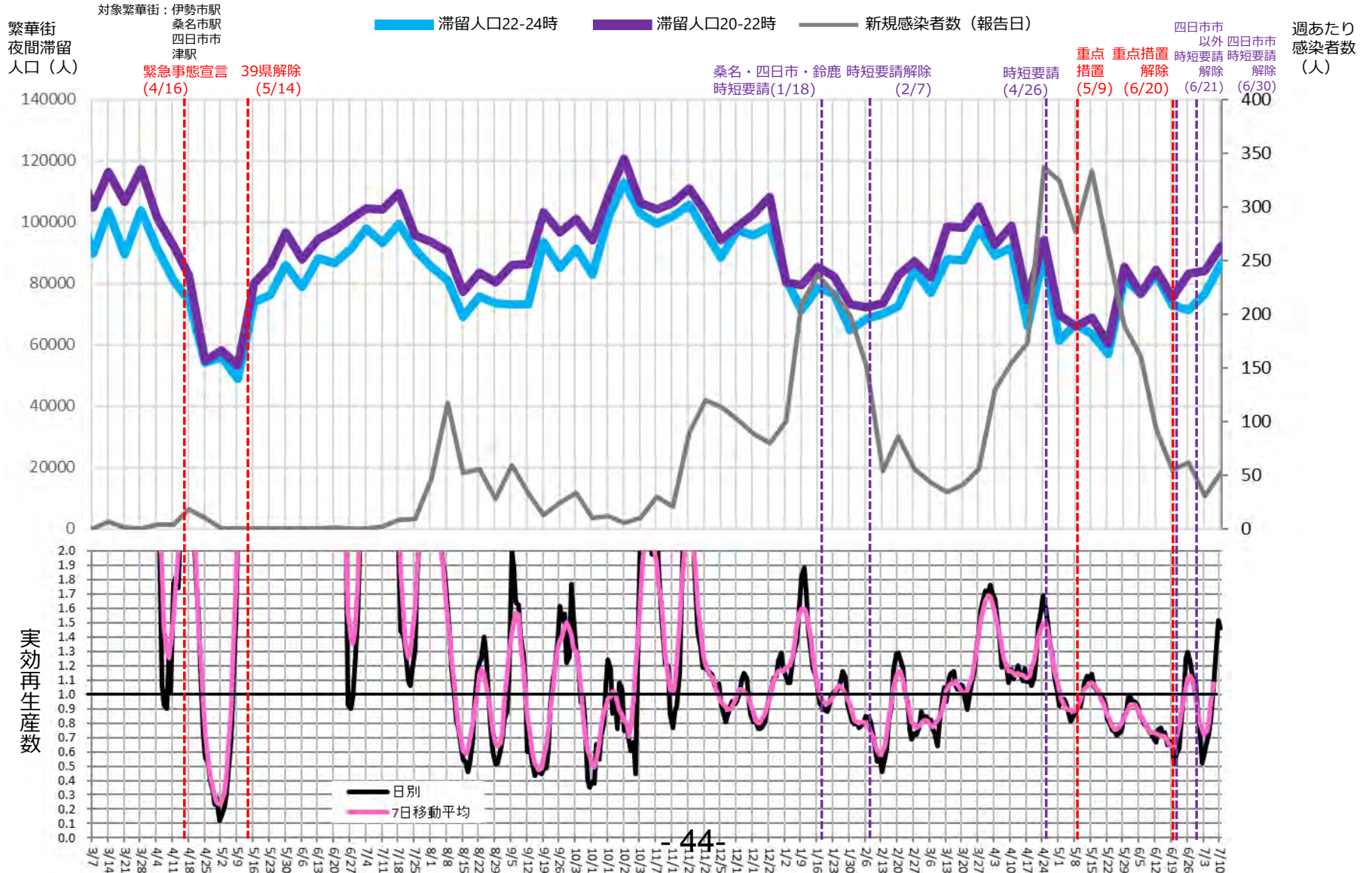
■ 滞留人口12-14時
 ■ 滞留人口14-16時
 ■ 滞留人口16-18時
 ■ 滞留人口18-20時
 ■ 滞留人口20-22時
 ■ 滞留人口22-24時

※対象繁華街は伊勢市駅・桑名市・四日市市・津駅

LocationMind xPop © LocationMind Inc. 43

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:三重 (2020年3月1日~2021年7月10日)

重点措置
5/9-6/20

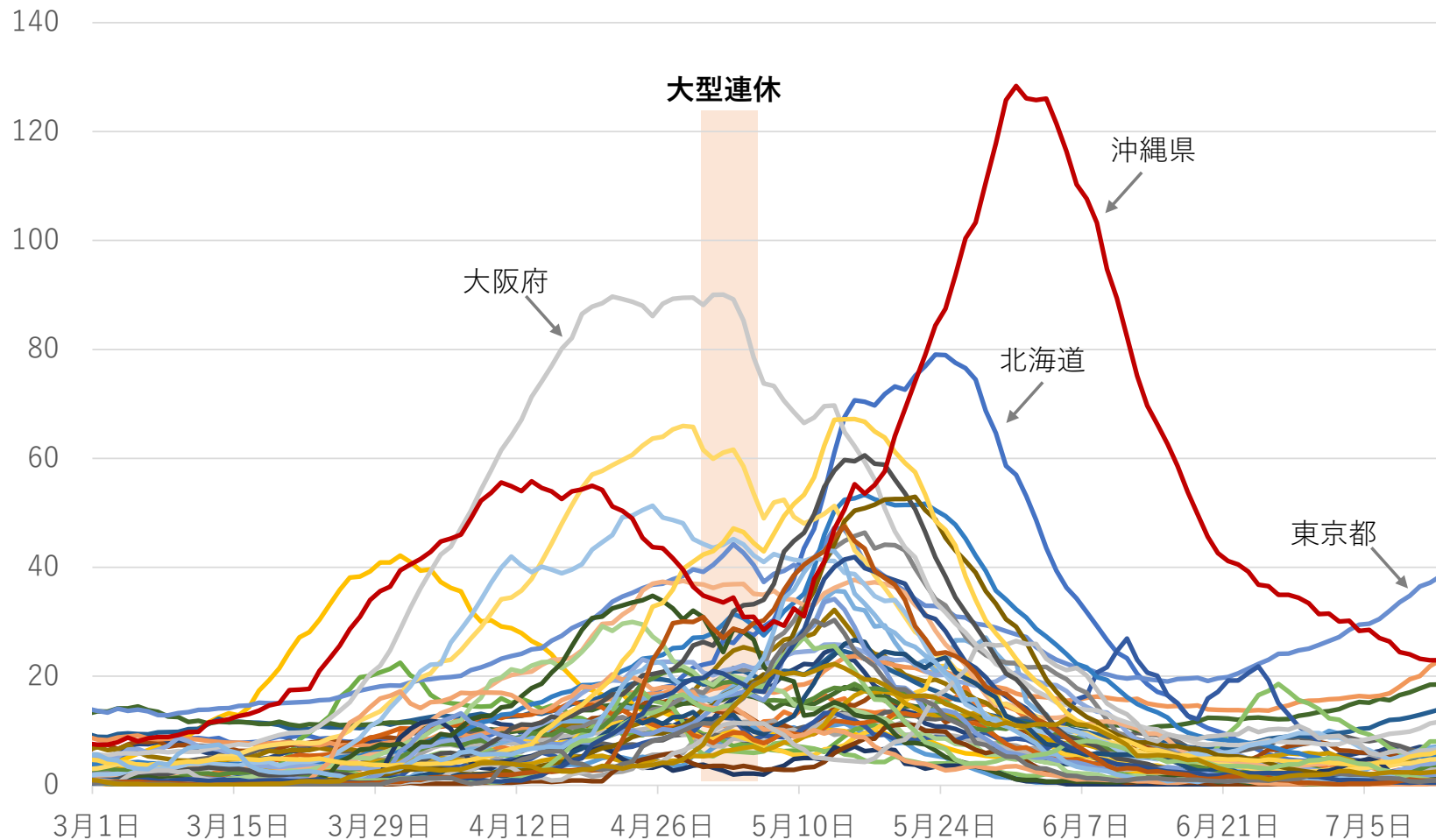


-44-

図1 都道府県別にみる陽性者数の推移

資料3 -

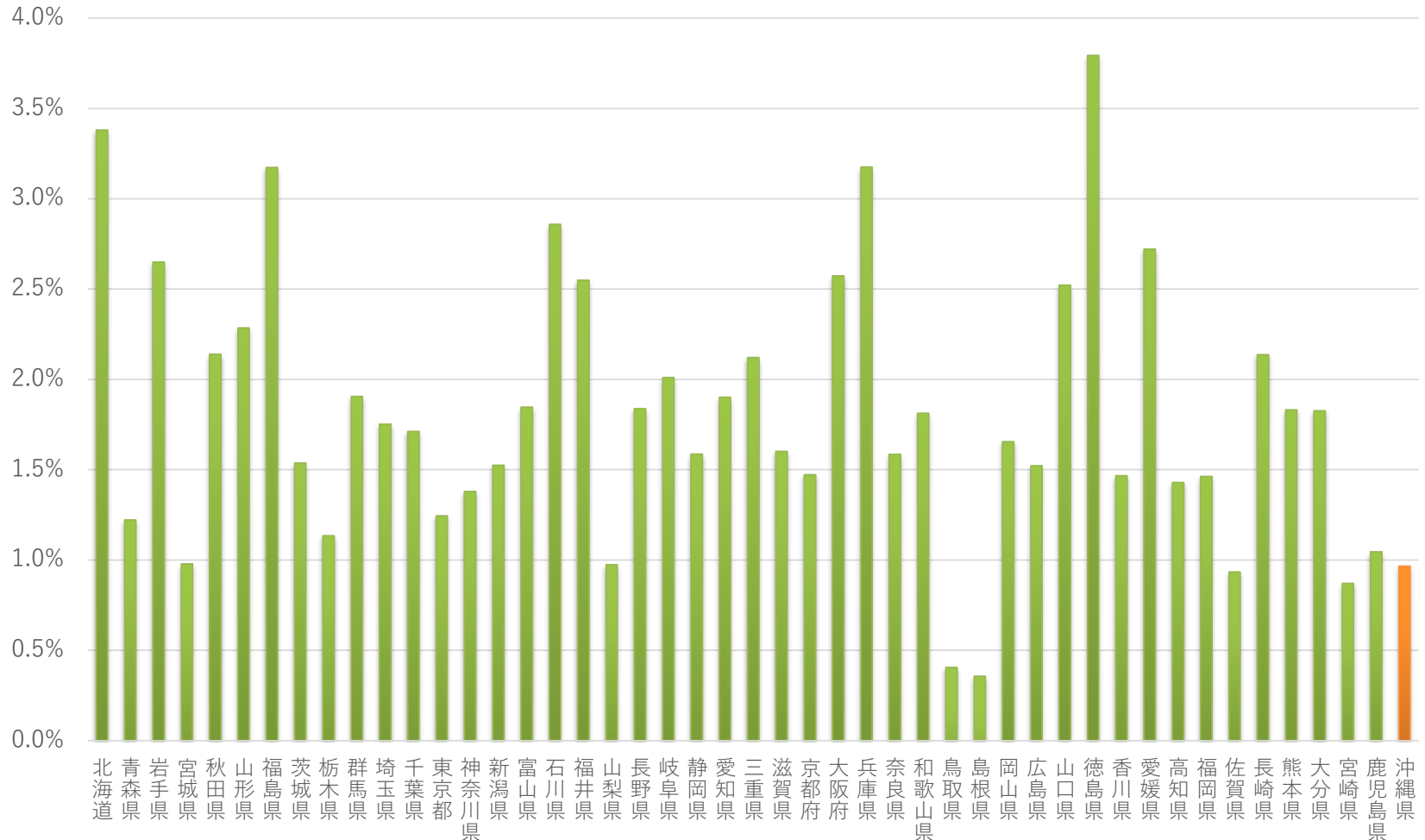
報告された陽性者数の人口10万人あたり7日間合計



出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの陽性者数をもとに筆者作図

図2 都道府県別にみる致死率（陽性者数に占める死亡者数）

2020年1月16日～2021年7月10日



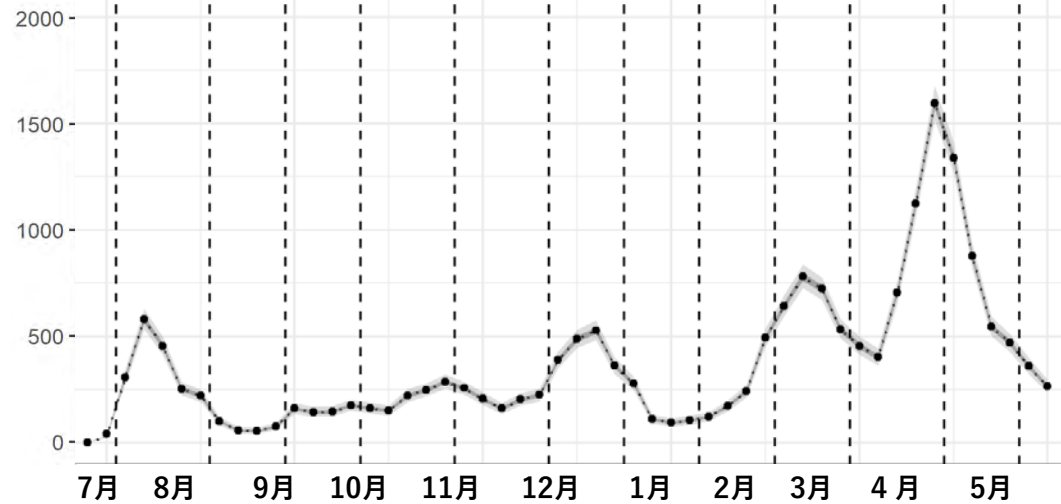
出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの感染者数をもとに筆者作図₂

図3 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）

陽性者数（確定日）

週あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数

週あたり推定値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

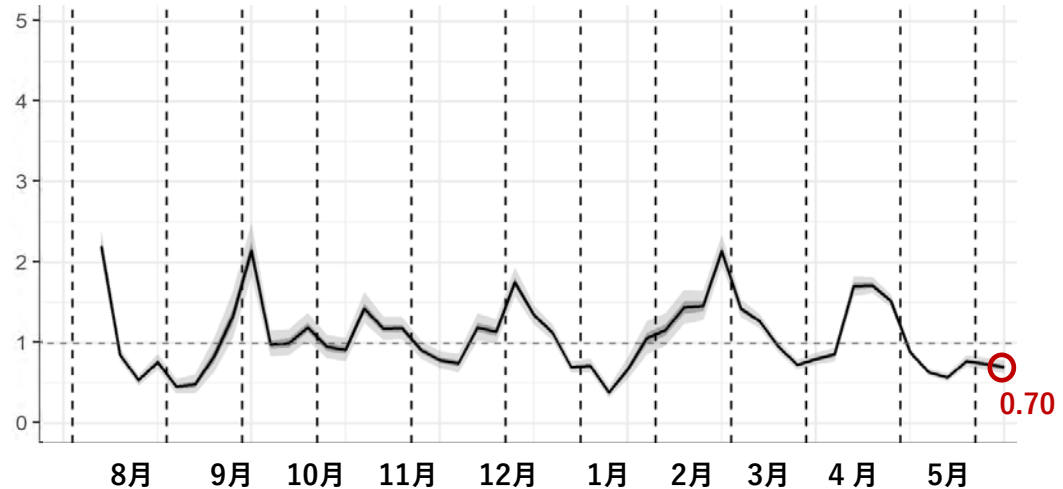


図4 医療圏別に見る新規陽性者数の推移

人口10万人あたり7日間合計

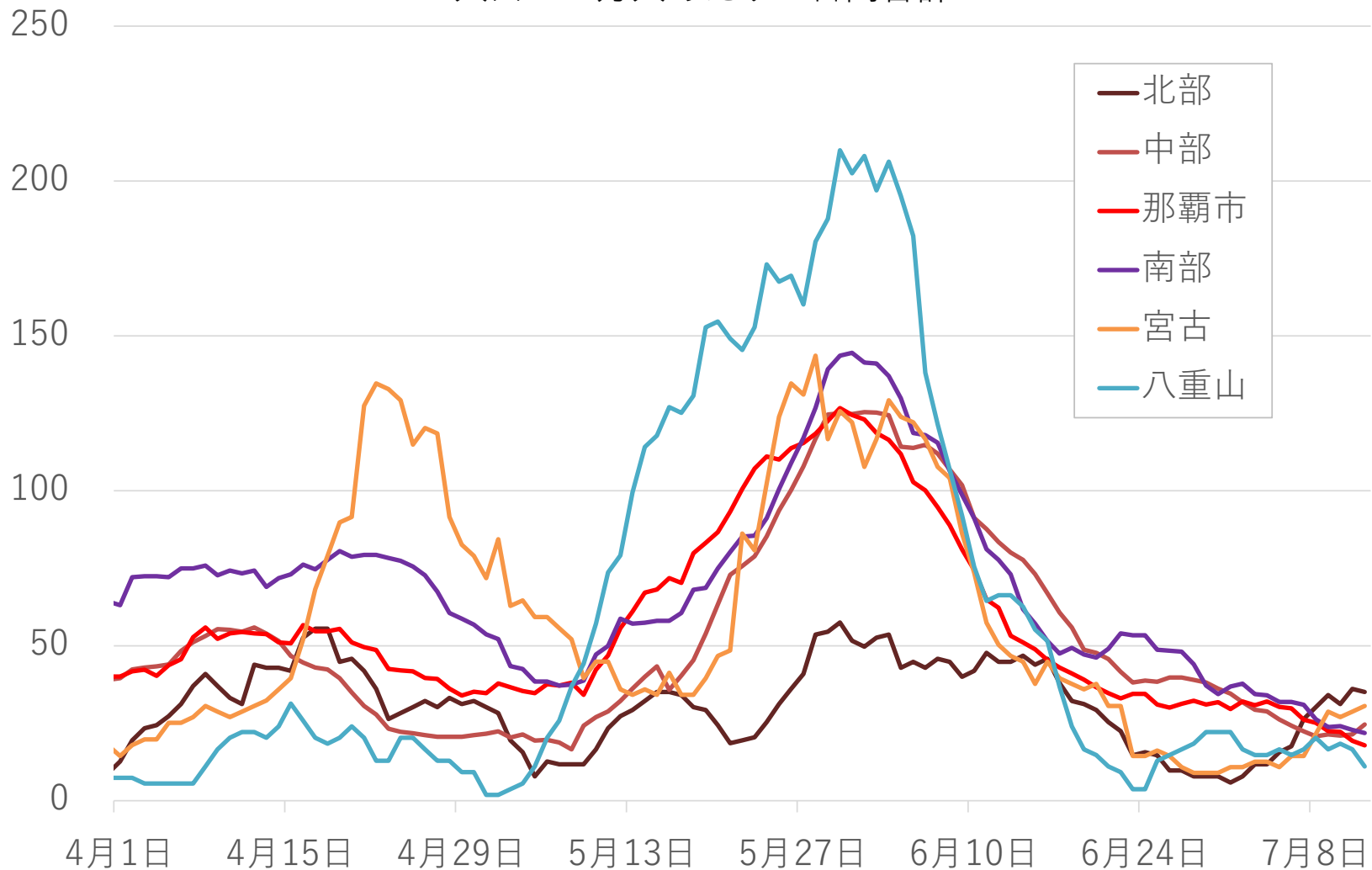


図5 市町村別にみる新規陽性者数（先週の上位10市町村）

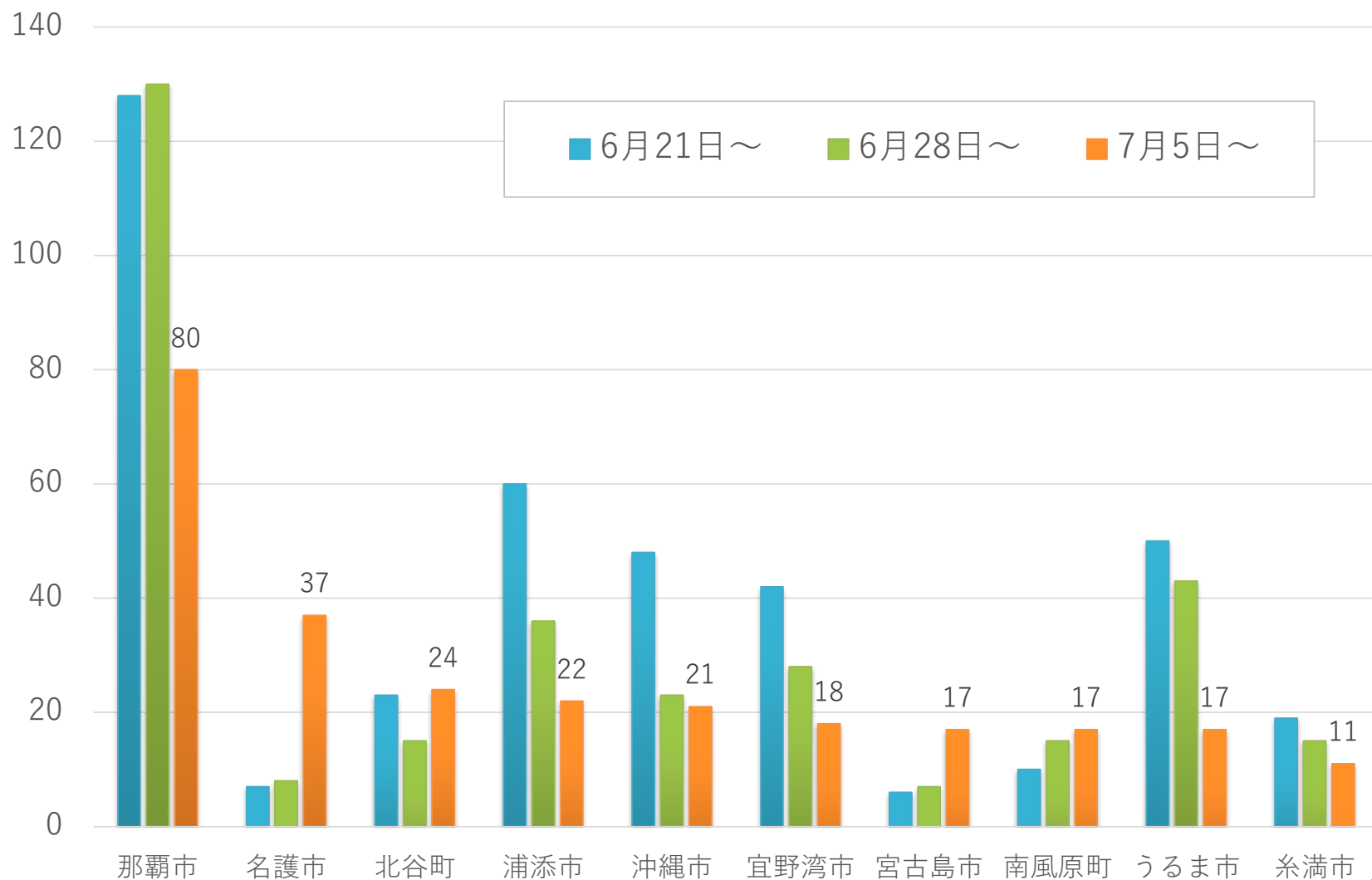


図6 年齢別陽性者数の推移（週あたり）

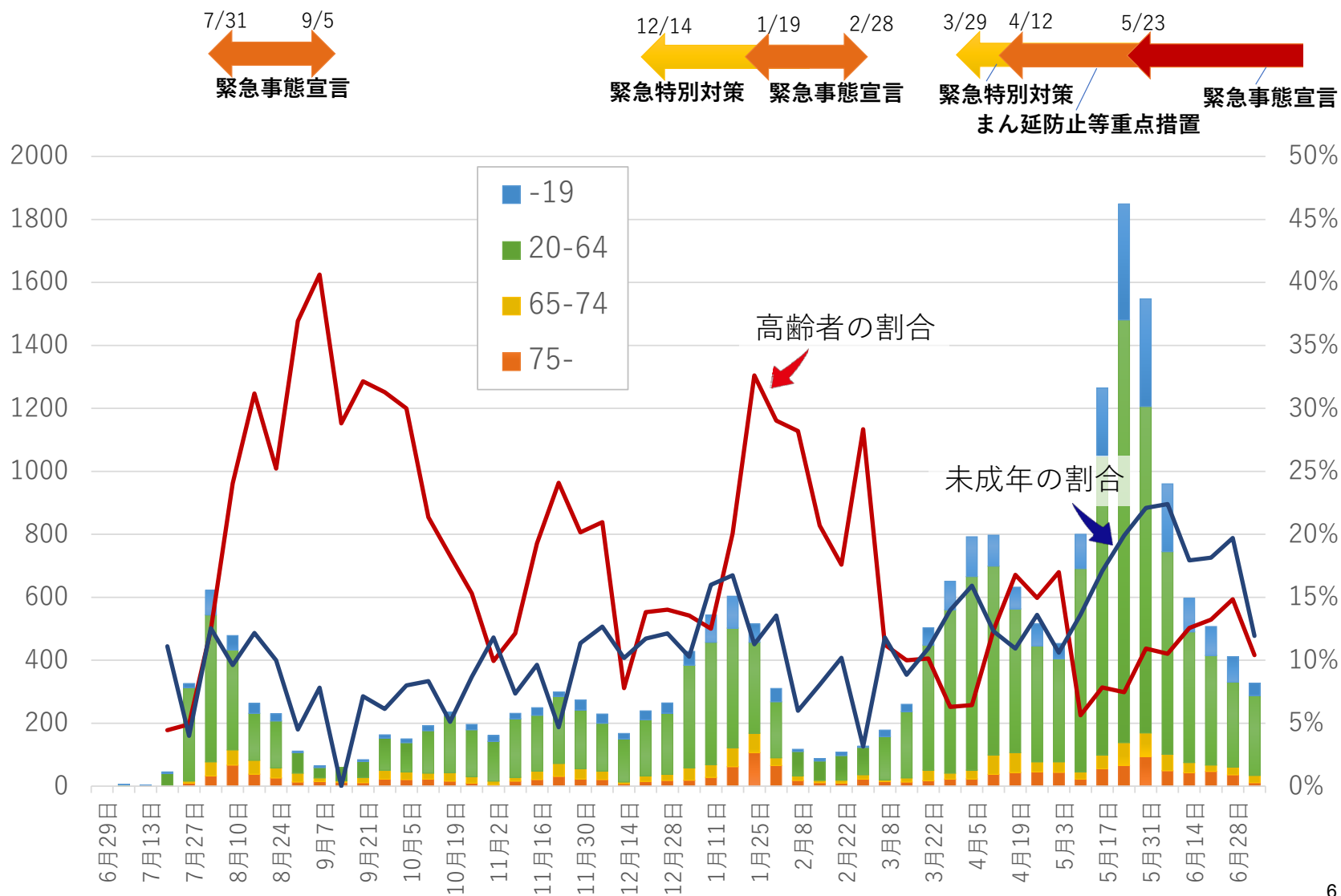
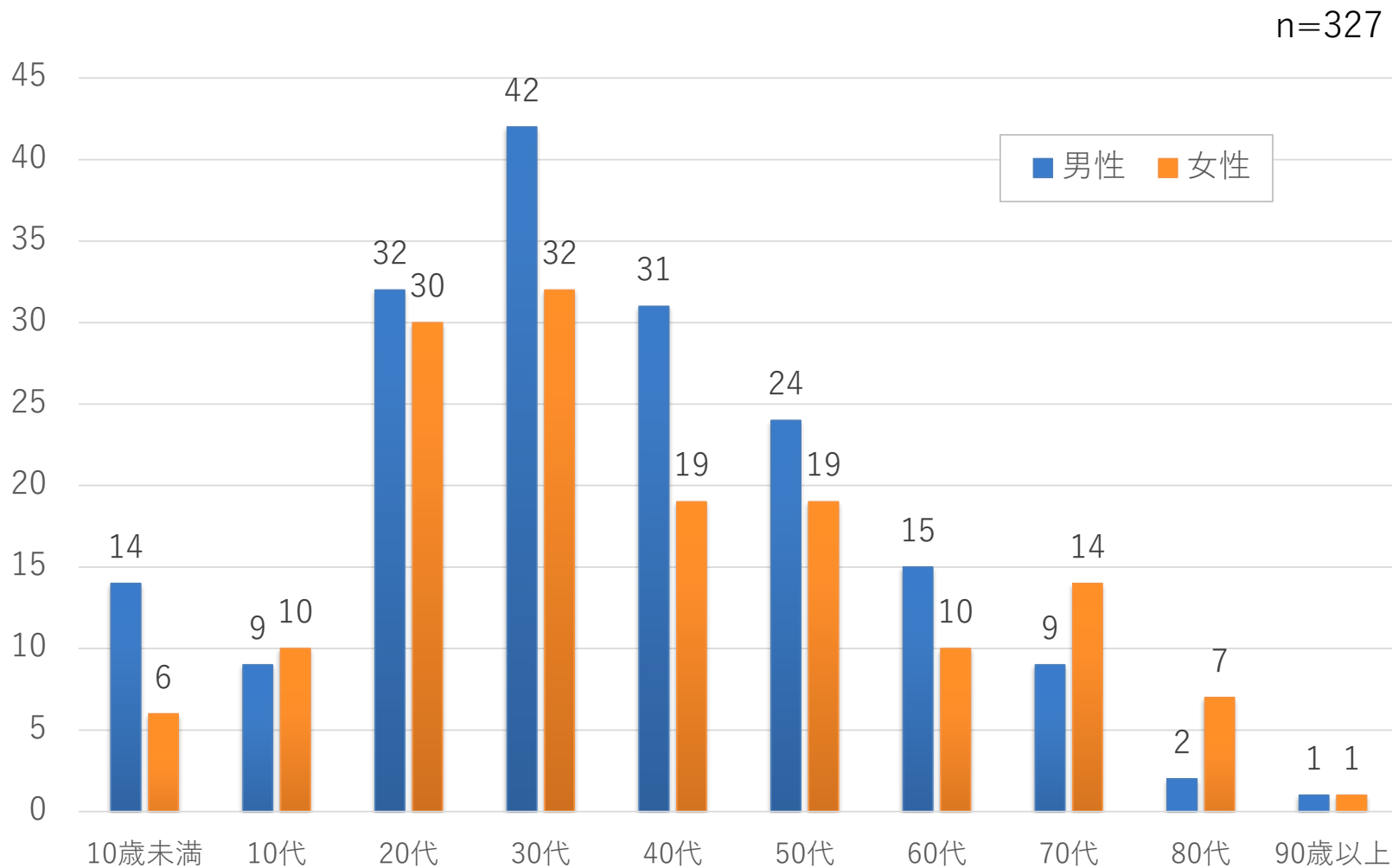


図7 沖縄県における性年齢階級別症例数（7月5日～11日）



沖縄県：沖縄県における新型コロナウイルス感染症発生状況

図8 新規陽性者数および重症度別入院患者数

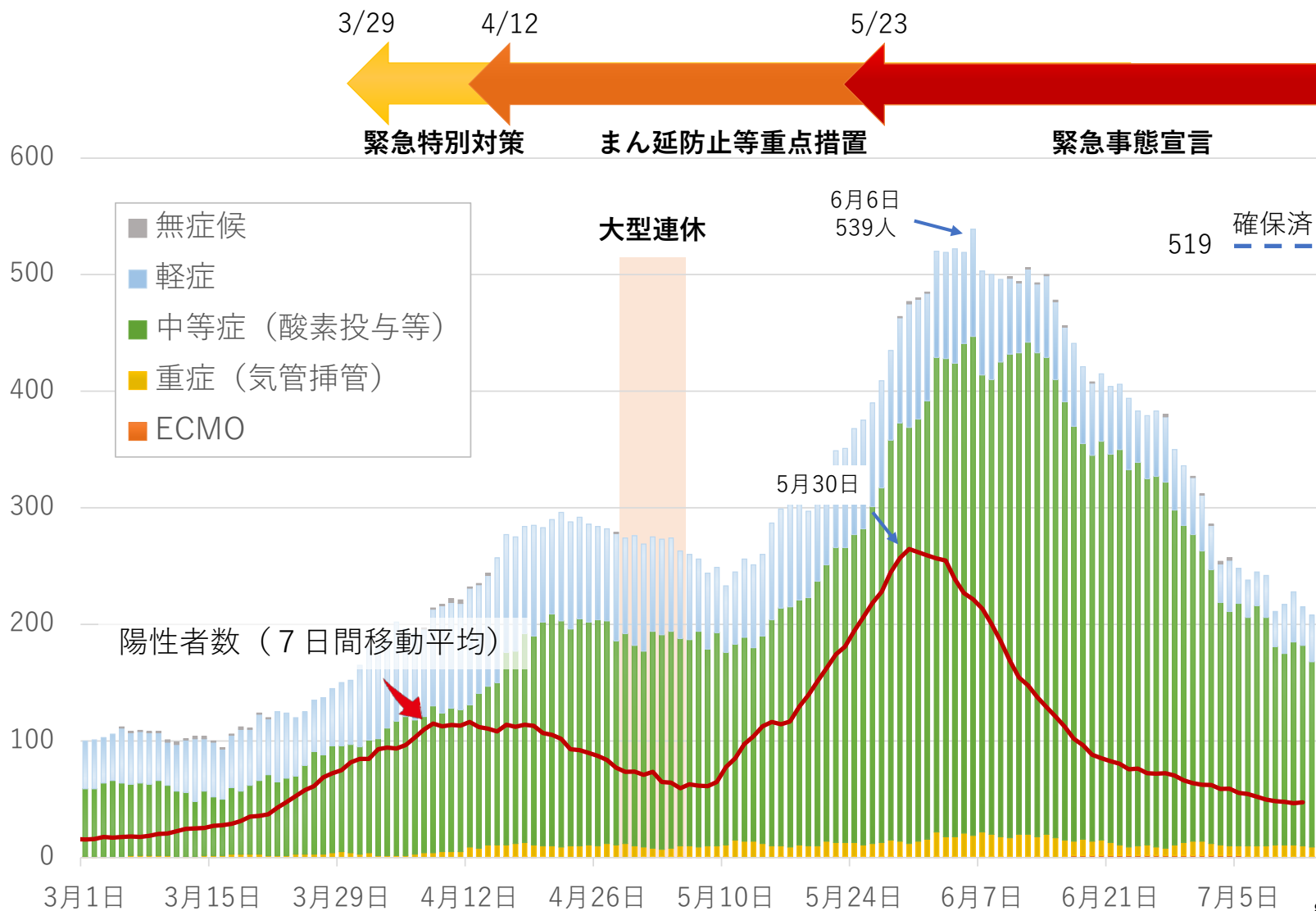


図9 新規陽性者数および重症入院患者数の推移

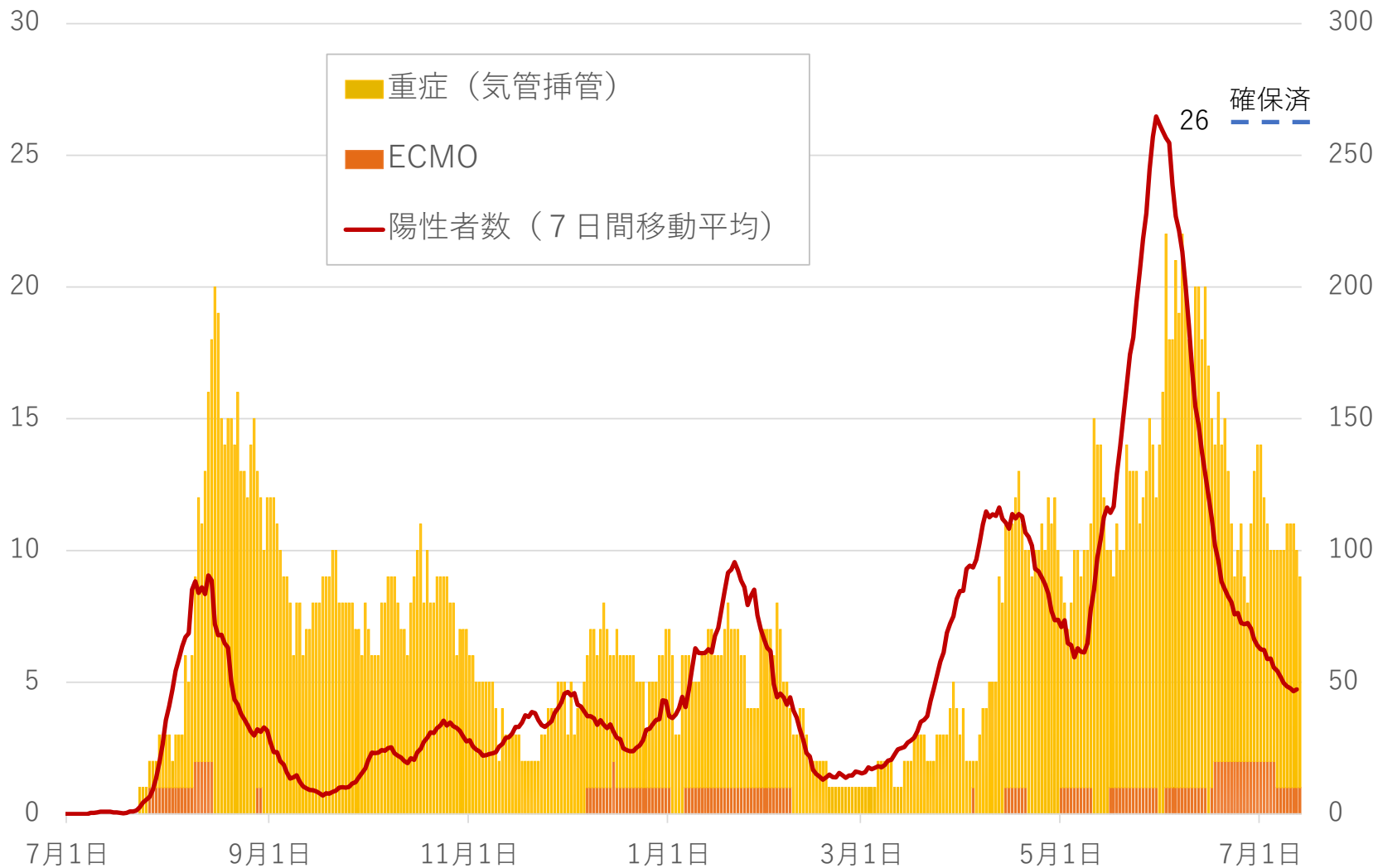
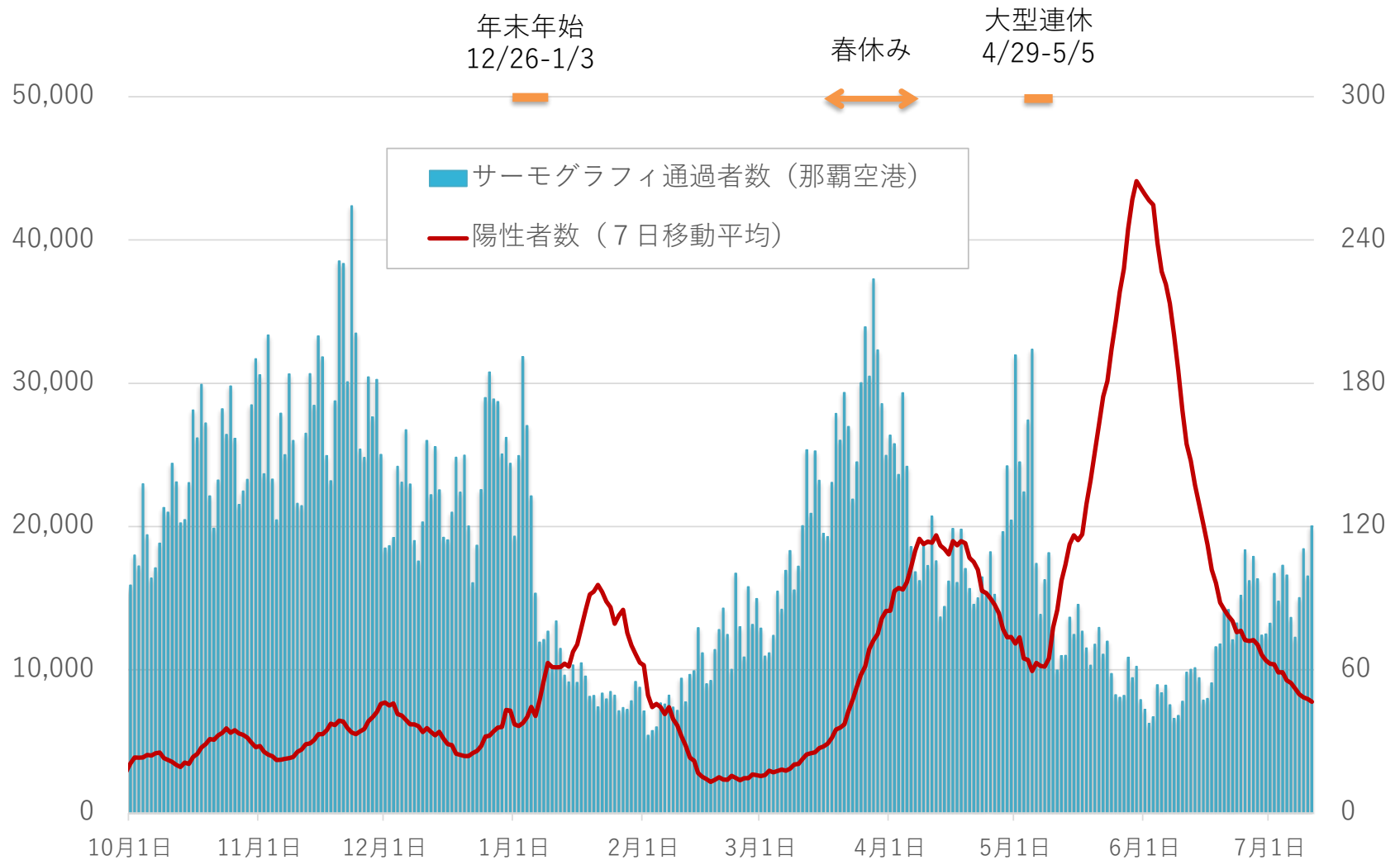
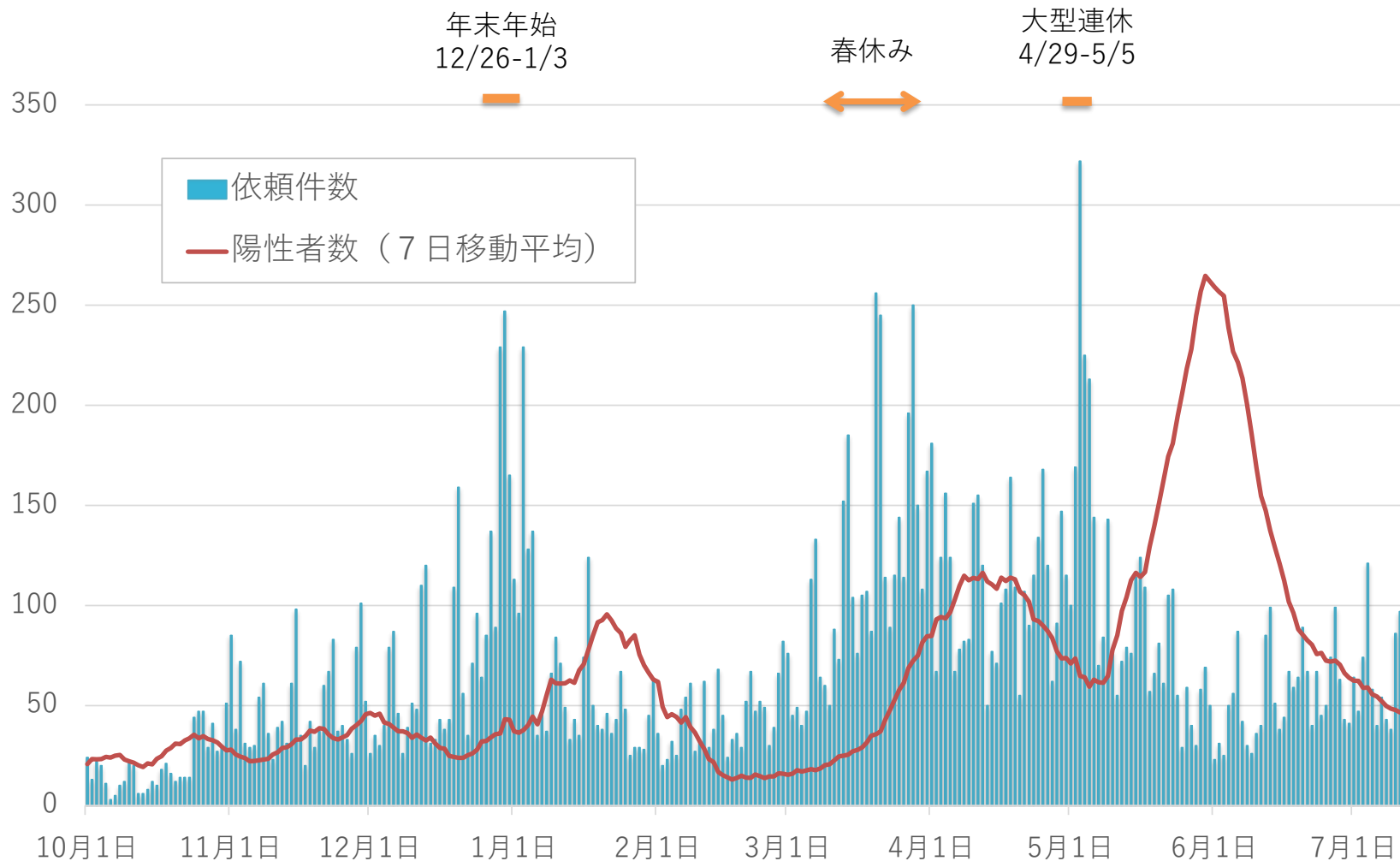


図10 那覇空港乗降客数と新規陽性者数の推移



※ 那覇空港乗降客数は、サーモグラフィ通過者数により推定

図11 運転代行依頼件数と新規陽性者数の推移



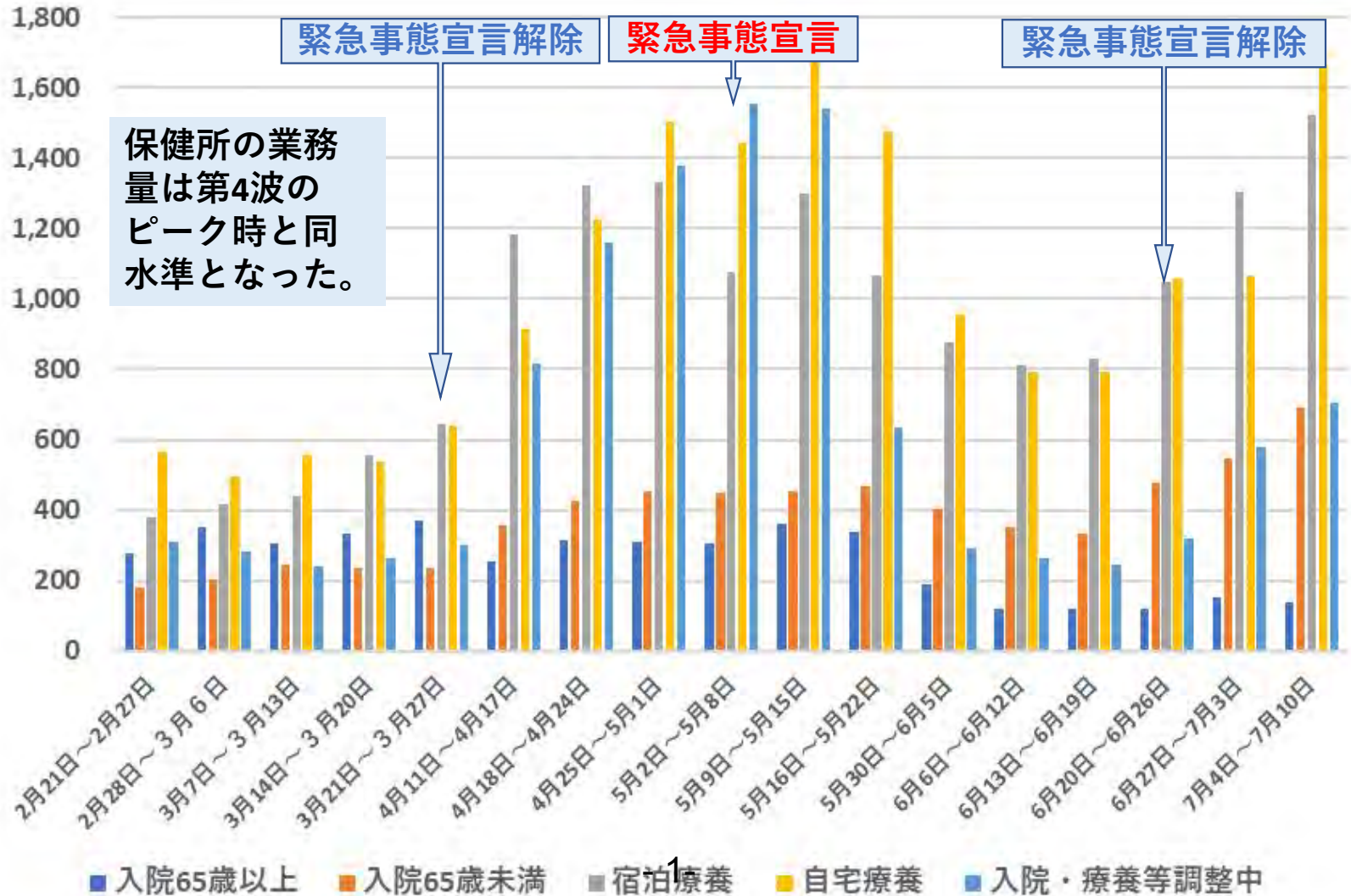
株式会社Alpaca.Lab 提供

図12 沖縄県内における検査事業の実績（7月3日-9日）

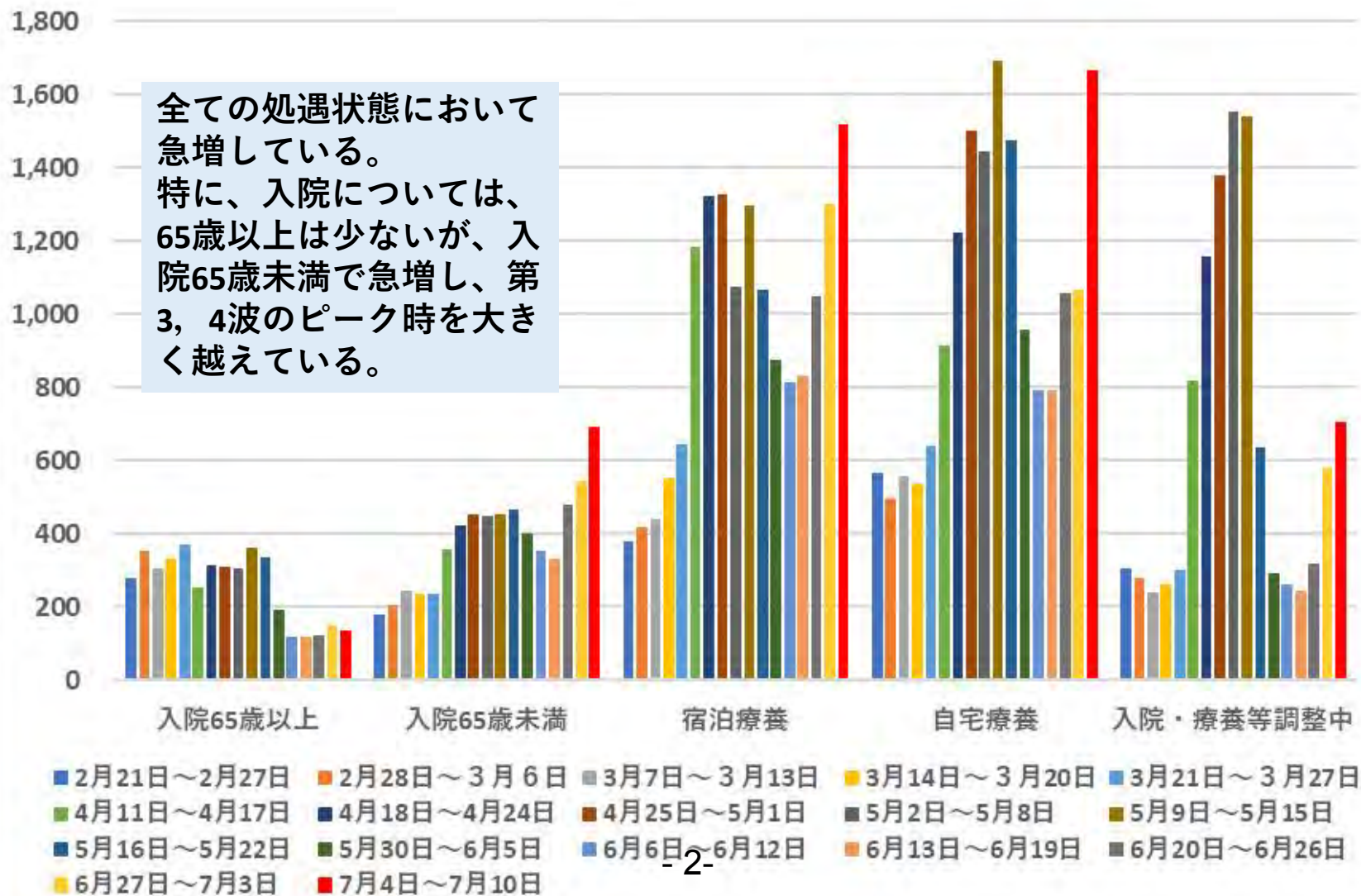
	対象者	本人負担	検査数	陽性数	陽性率
エッセンシャル ワーカー 定期検査事業	介護従事者	無料	9,721人	4	0.04%
	障害者福祉 従事者	無料	1,659人	0	0.00%
	保育従事者	無料	253人	0	0.00%
飲食店従業員 PCR無料検査	飲食店従業員	無料	133人	1	0.75%
安価なPCR検査 補助事業	県内在住希望者	2,000円	5,330人	74	1.39%
学校PCR検査事業	感染者を確認 したクラス全員	無料	17校 537人	2	0.79%
空港PCR検査 プロジェクト (7/5-11のデータ)	県内在住者	3,000円	954人	2	0.21%
	県外在住者	5,000円	477人	0	0.00%
合計			19,064人	83	0.44%

東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

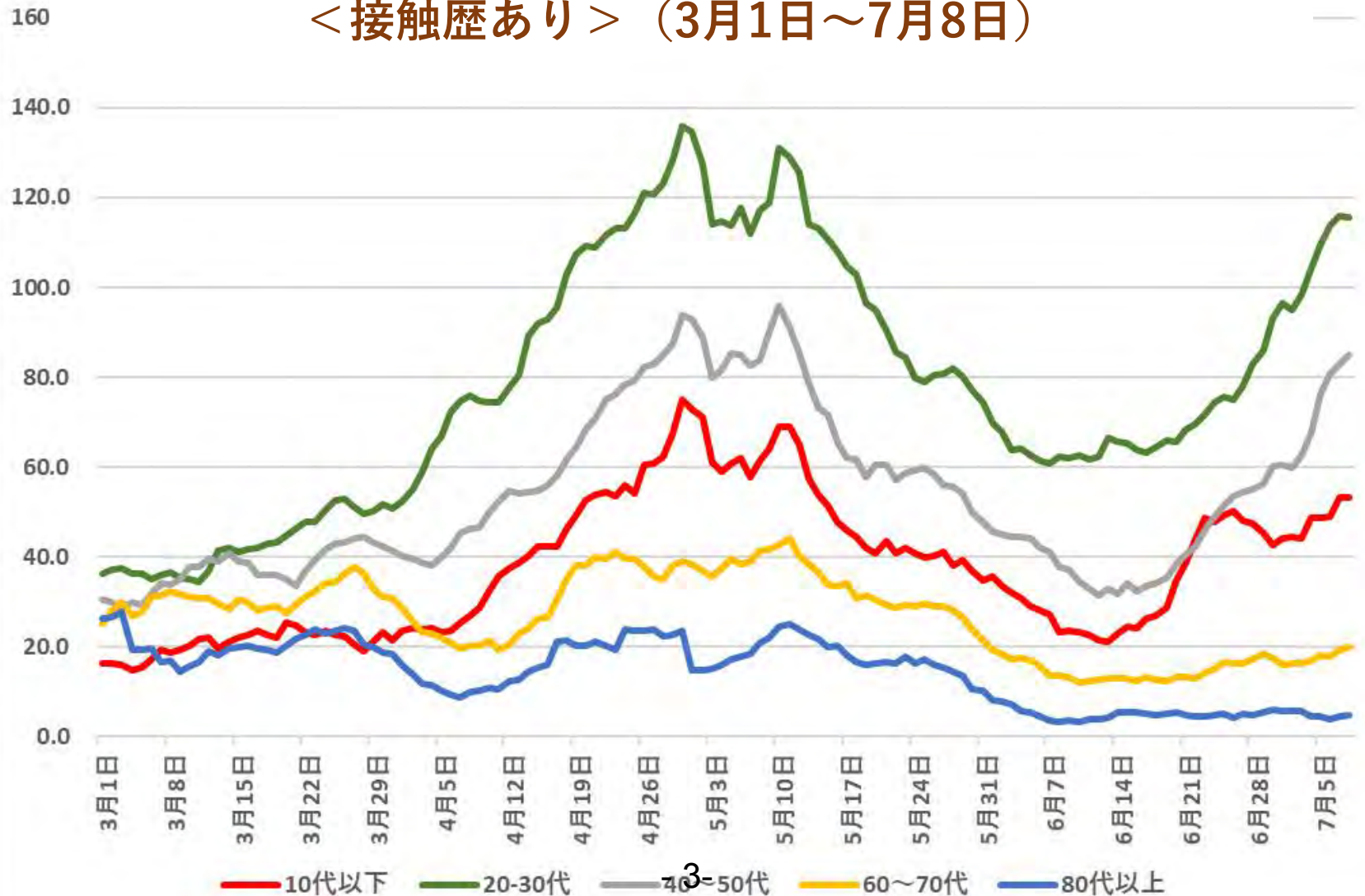
資料 3 - 6



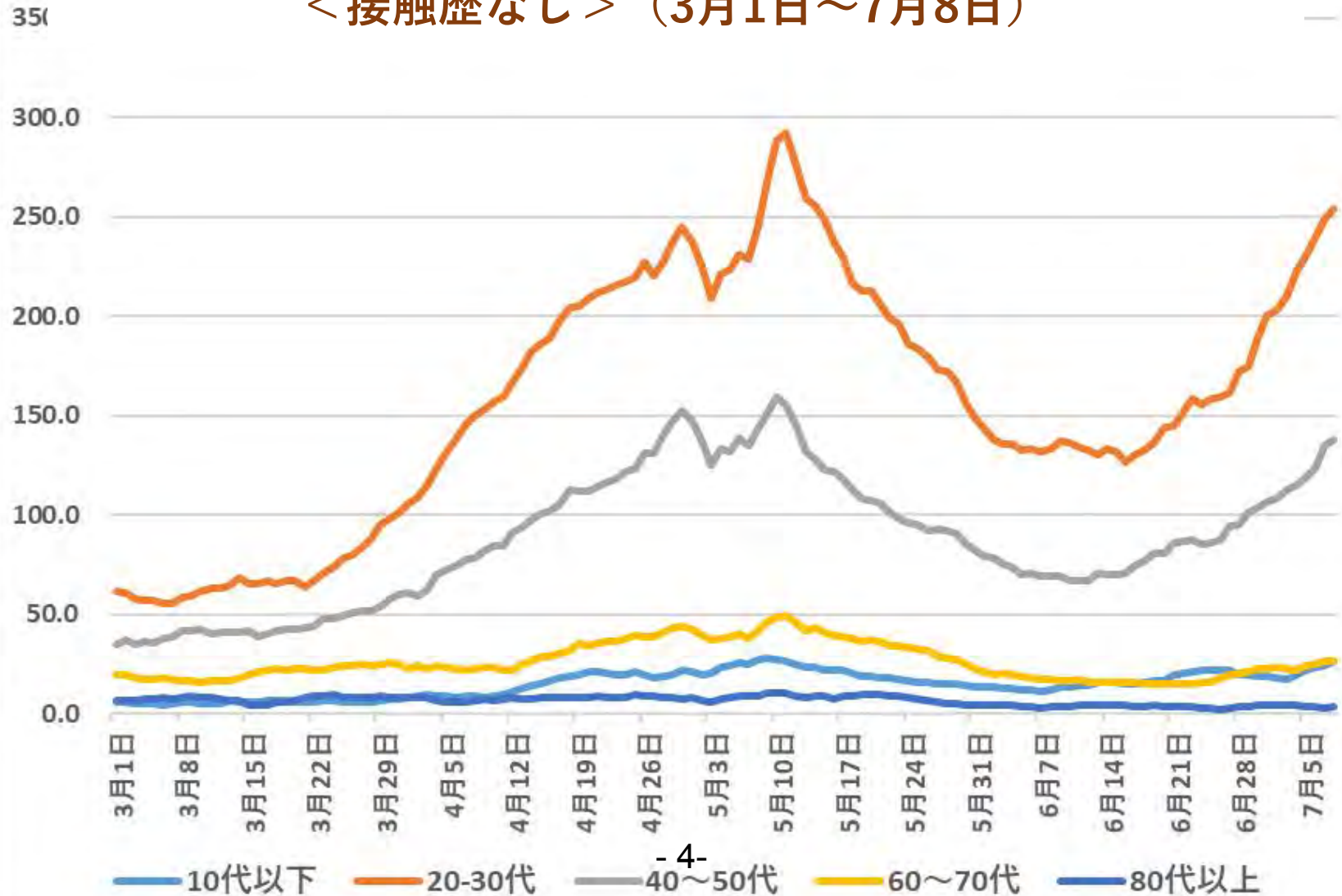
東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）



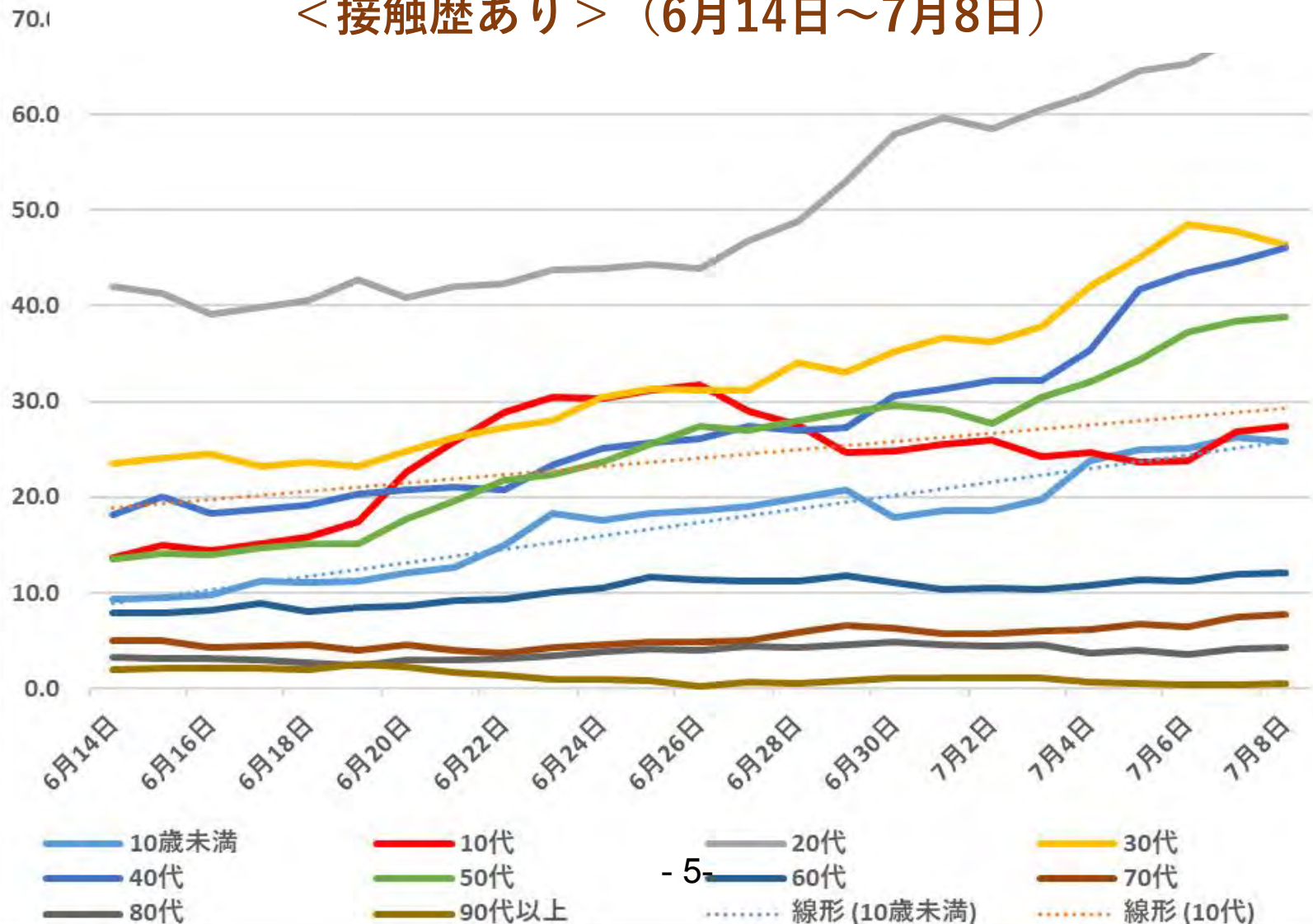
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 <接触歴あり>（3月1日～7月8日）



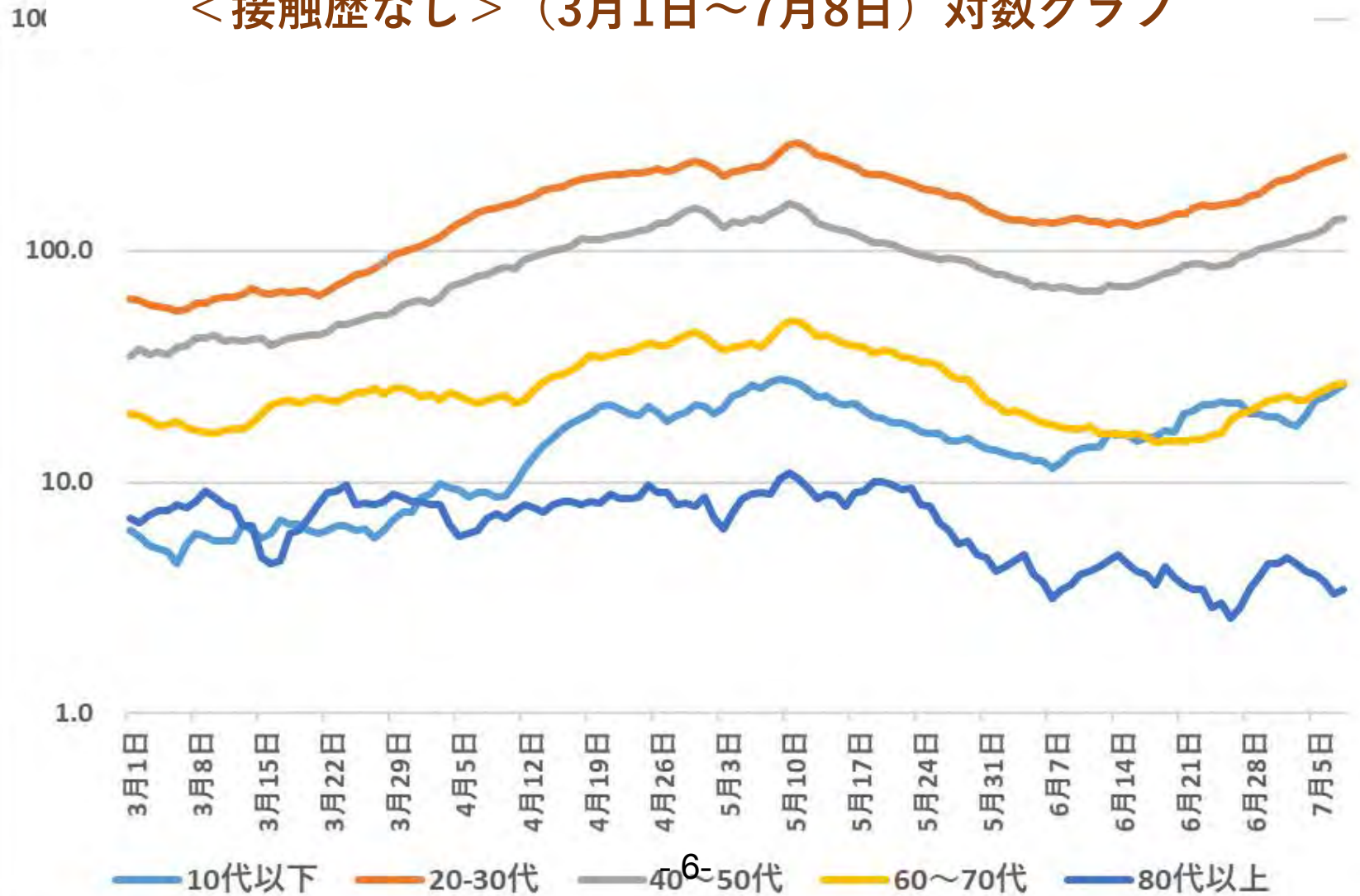
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴なし＞（3月1日～7月8日）



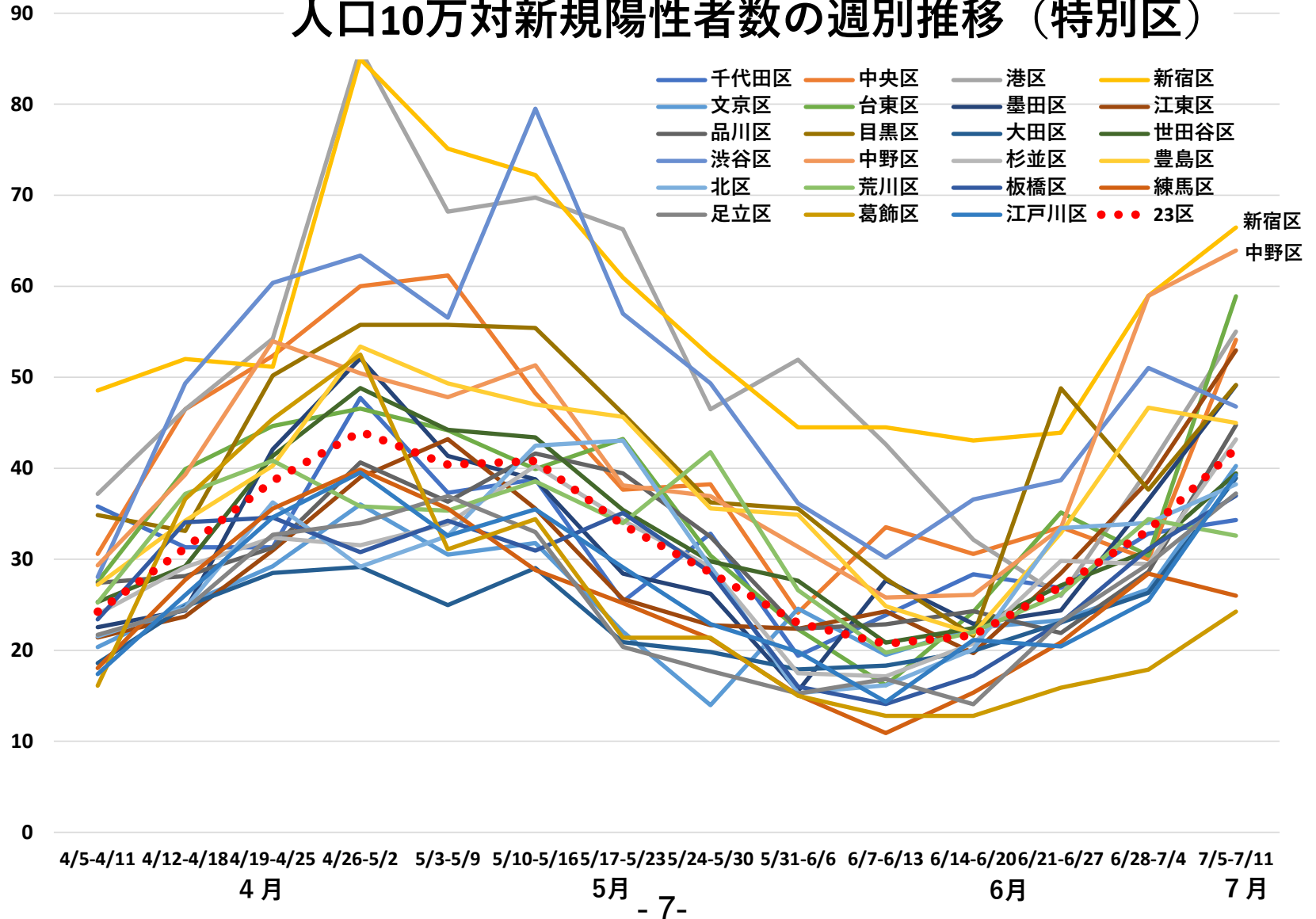
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 接触歴あり >（6月14日～7月8日）



東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 接触歴なし >（3月1日～7月8日）対数グラフ

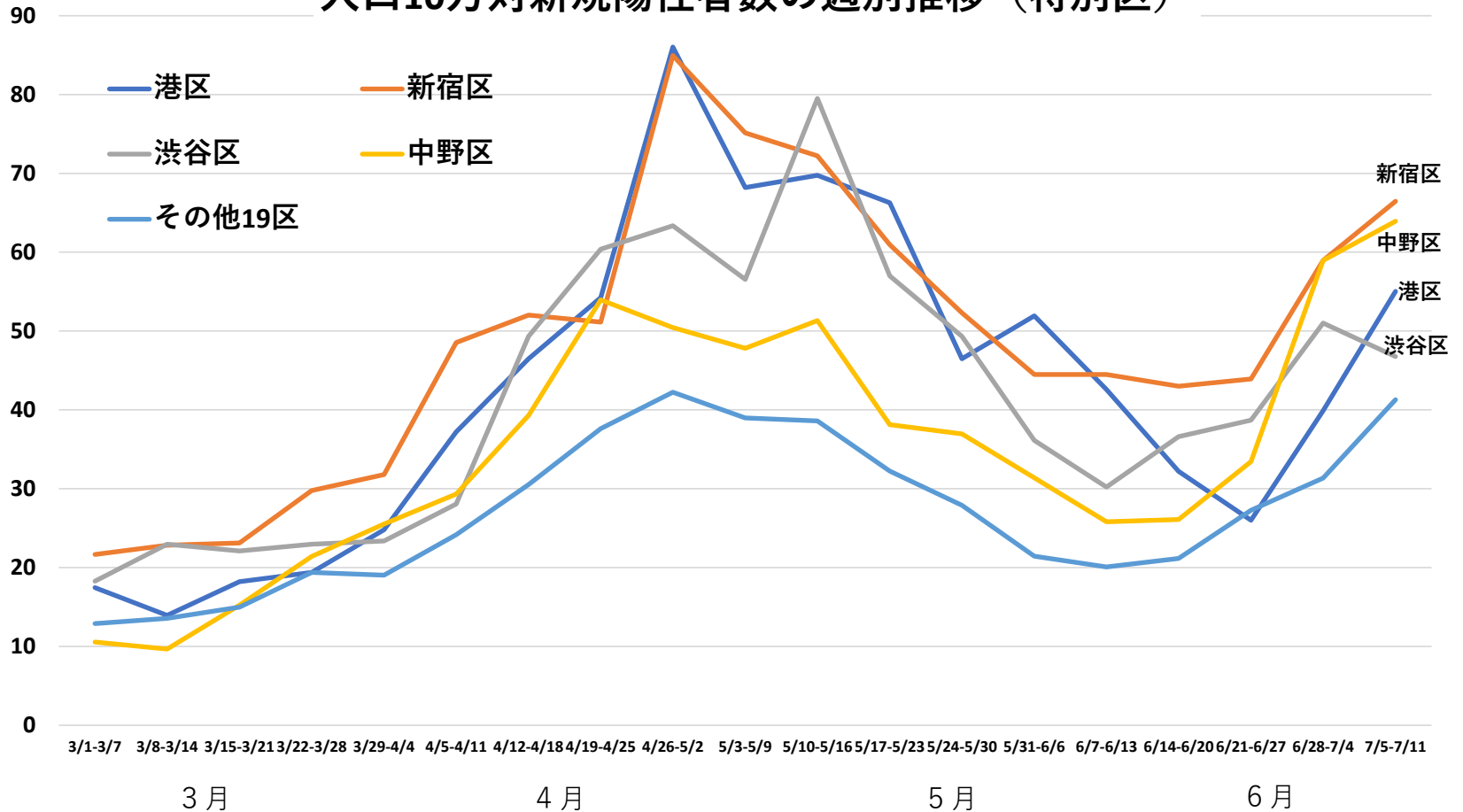


人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）



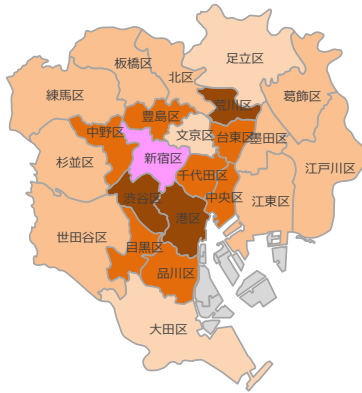
2021年3月の東京都推計人口をもとに算出（東京都総務局統計部）

人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

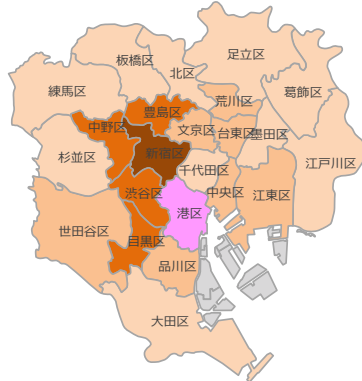


区別人口10万対の新規陽性者数地図 第22～28週(7/5～7/11)

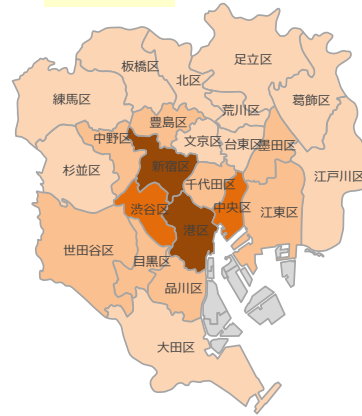
第22週



第23週



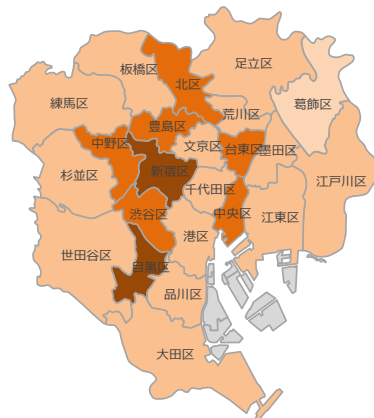
第24週



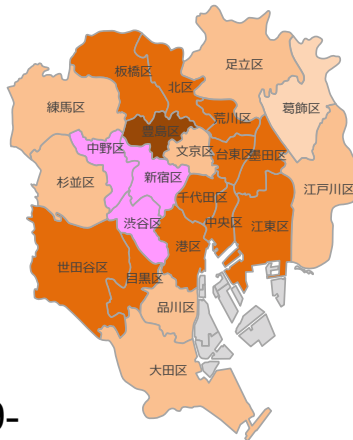
第25週



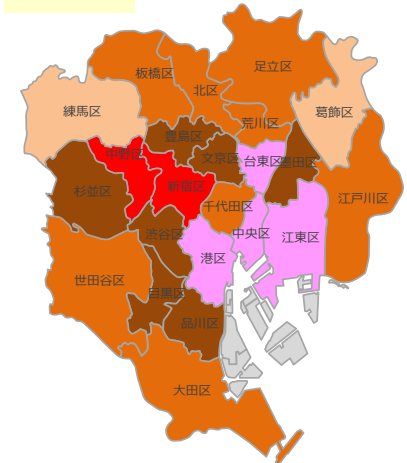
第26週



第27週



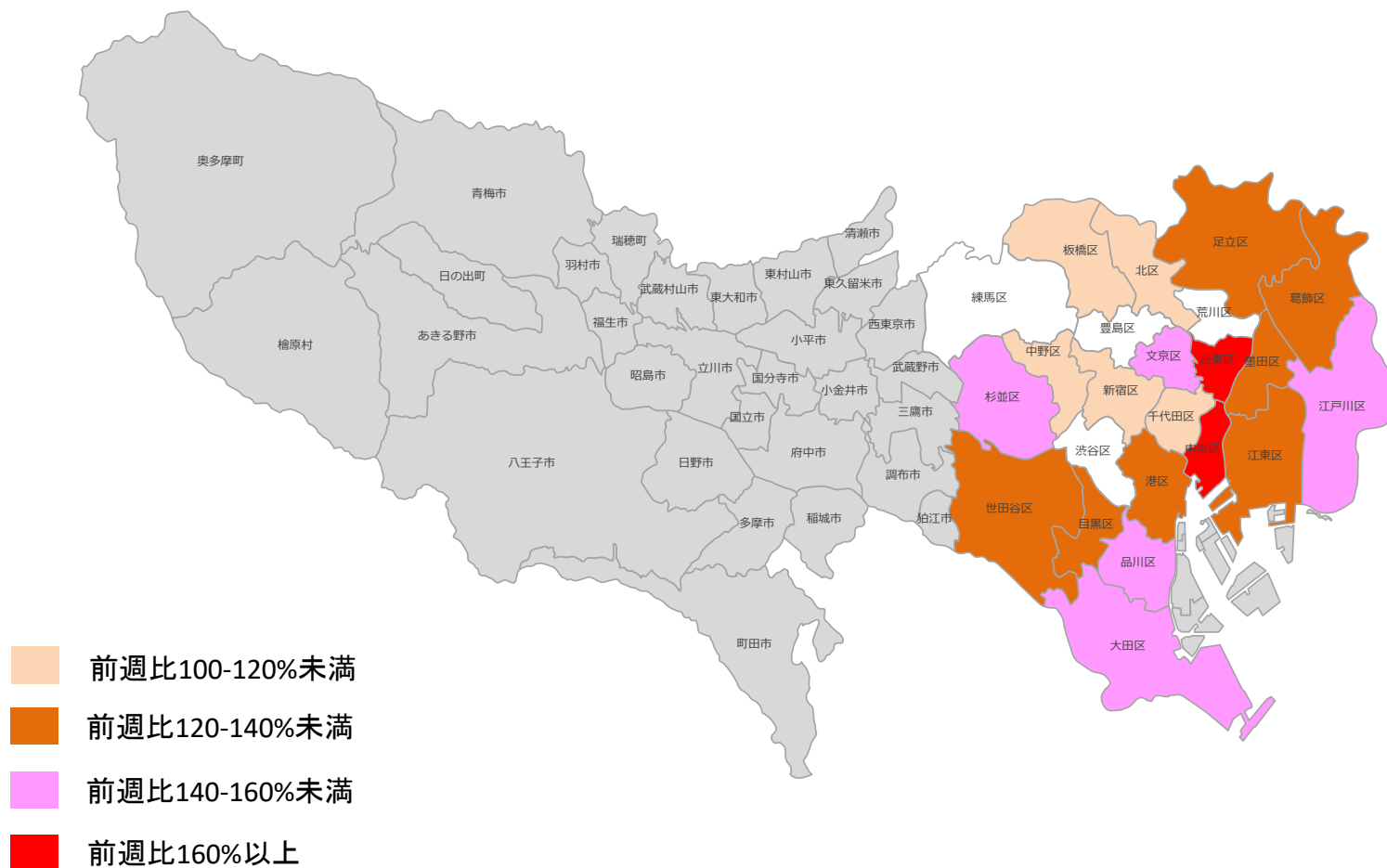
第28週



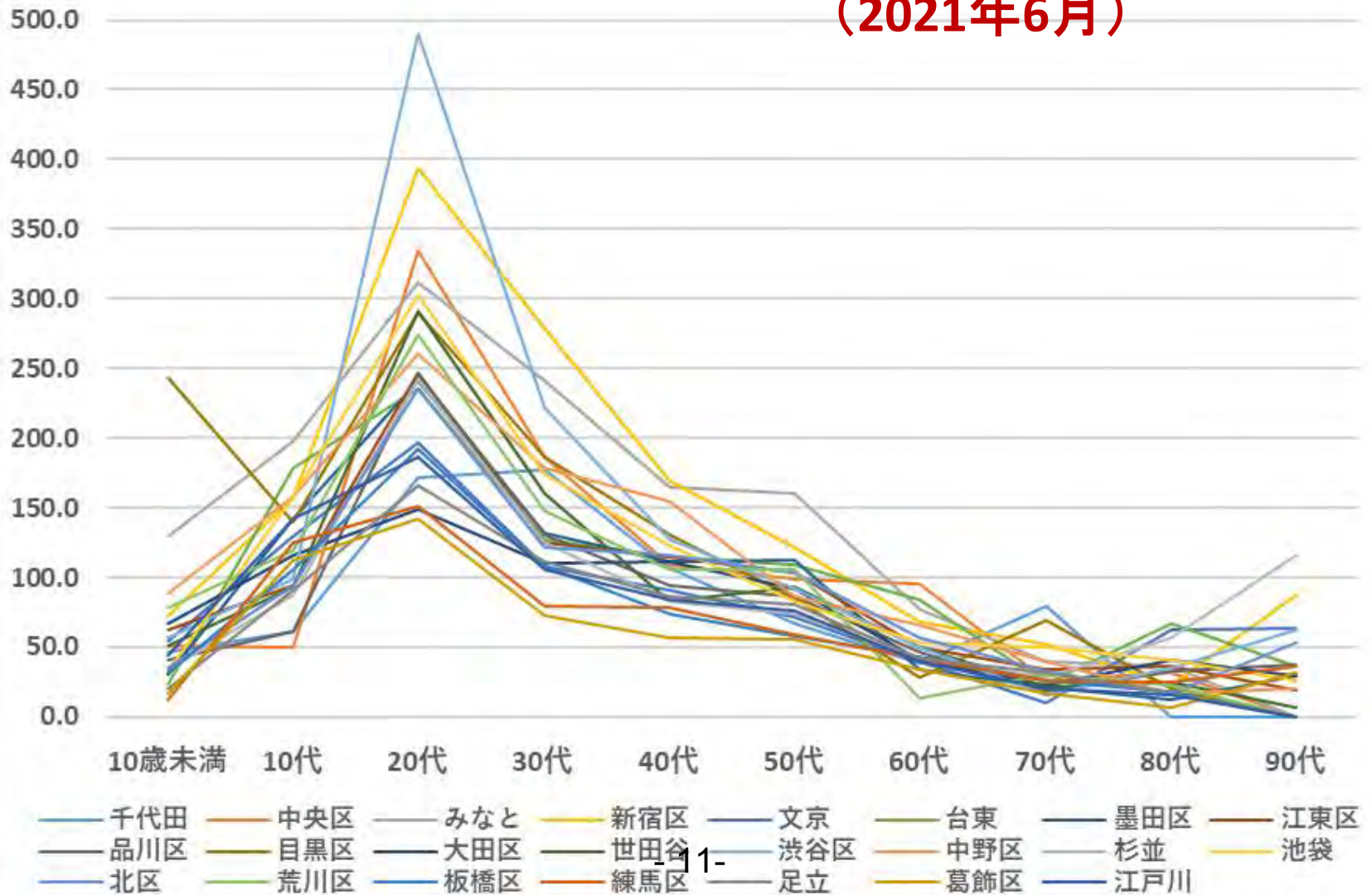
- 9 -

2021年3月の東京都推計人口をもとに算出(東京都総務局統計部)

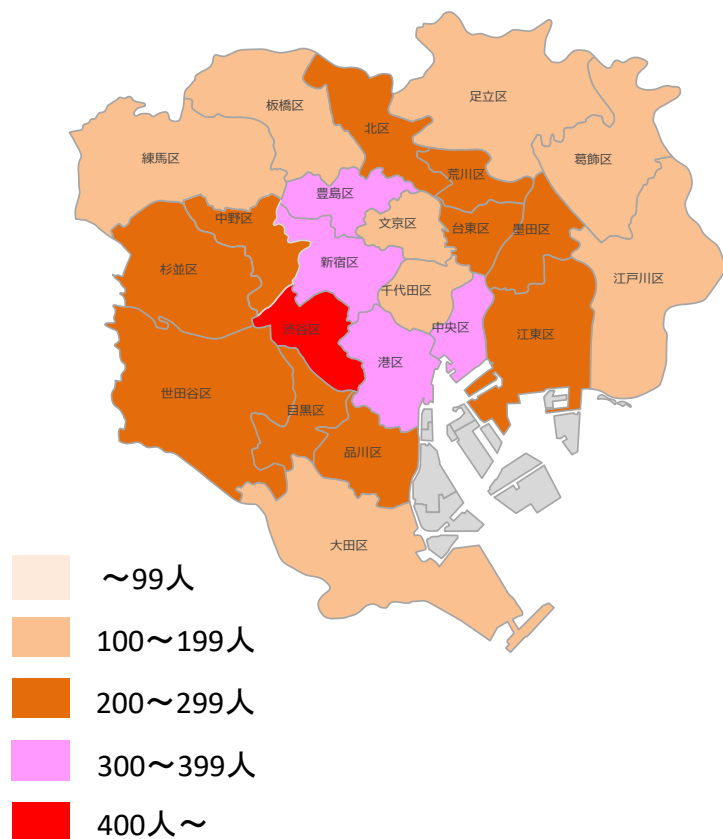
区別人口10万対の新規陽性者数の前週比(第27週と28週)



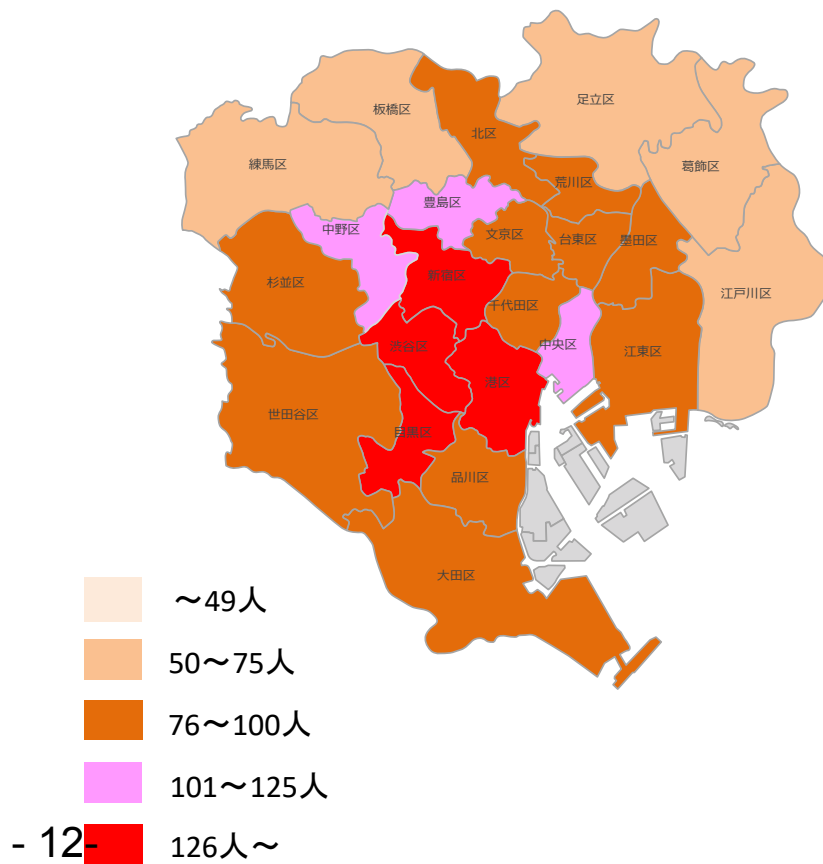
東京都特別区年代別人口十万対陽性者数 (2021年6月)



6月
区別人口10万対新規陽性者数
(20代)



第23~26週 (5/31~6/27)
区別人口10万対新規陽性者数
(全年齡)



新型コロナウイルス感染症（変異株）への対応



厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進本部

Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナウイルス感染症（変異株）のまとめ

一般的にウイルスは増殖や感染を繰り返す中で少しずつ変異していくものであり、新型コロナウイルスも約2週間で一箇所程度の速度で変異していると考えられている。

国立感染症研究所は、こうした変異をリスク分析し、その評価に応じて、変異株を「懸念される変異株（VOC）」と「注目すべき変異株（VOI）」に分類※₁している。

1. 懸念される変異株（Variant of Concern : VOC）

主に感染性や重篤度が増す・ワクチン効果を弱めるなど性質が変化した可能性のある株

- B.1.1.7系統の変異株（アルファ株）※₂
- B.1.351系統の変異株（ベータ株）
- P.1系統の変異株（ガンマ株）
- B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）

2. 注目すべき変異株（Variant of Interest : VOI）

主に感染性や重篤度・ワクチン効果などに影響を与える可能性が示唆される株

- R.1（E484Kがある変異株）※海外から移入したとみられるが起源不明
- B.1.427/B.1.429系統の変異株（イプシロン株）
- P.3系統の変異株（シータ株）
- B.1.617.1系統の変異株（カッパ株）

※₁ 国立感染症研究所では、WHOと同様に、変異株をVOCとVOIに分類している。国内での検出状況等を加味することから、分類は各国によって異なる。※₂ PANGO系統(pango lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。

新型コロナウイルスの懸念される変異株（VOC）

PANGO系統 (WHOラベル)	最初の 検出	主な 変異	感染性 (従来株比)	重篤度 (従来株比)	再感染やワクチン 効果 (従来株比)
B.1.1.7系統の変異株 (アルファ株)	2020年9月 英国	N501Y	1.32倍と推定※ (5～7割程度 高い可能性)	1.4倍 (40-64歳 1.66倍) と推定※ (入院・死亡リスクが高い 可能性)	効果に影響がある 証拠なし
B.1.351 系統の変異株 (ベータ株)	2020年5月 南アフリカ	N501Y E484K	5割程度高い 可能性	入院時死亡リスク が高い可能性	効果を弱める 可能性
P.1系統の変異株 (ガンマ株)	2020年11月 ブラジル	N501Y E484K	1.4-2.2倍高い 可能性	入院リスクが高い 可能性	効果を弱める可能性 従来株感染者の再感染 事例の報告あり
B.1.617.2系統 の変異株 (デルタ株)	2020年10月 インド	L452R	高い可能性 (アルファ株の1.5倍 高い可能性)	入院リスクが高い 可能性	ワクチンと抗体医薬の 効果を弱める可能性

※感染性・重篤度は、国立感染症研究所等による日本国内症例の疫学的分析結果に基づくもの。ただし、重篤度について、本結果のみから変異株の重症度について結論づけることは困難。
※PANGO系統(PANGO Lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。

(出典)国立感染症研究所、WHO

新型コロナウイルスの注目すべき変異株（VOI）

PANGO系統 (WHOラベル)	最初の 検出	主な 変異	概要
R.1系統の変異株 (E484Kがある変異株)	-	E484K	<ul style="list-style-type: none"> 国内で海外から移入したとみられるが起源不明 感染性に影響を与える可能性がある変異は認められない 現在日本で使用されているワクチンの効果を完全に無効化するものとは考えにくい 引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握
B.1.427/B.1.429系 統の変異株 (イプシロン株)	2020年5月 米国	L452R	<ul style="list-style-type: none"> 2割程度の感染性の増加と治療薬（抗体医薬）の効果への影響が示唆されている 引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握
P.3系統の変異株 (シータ株)	2021年1月 フィリピン	N501Y E484K	<ul style="list-style-type: none"> 感染性の増加とワクチンの効果を弱める可能性が示唆されている 引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握
B.1.617.1系統の変 異株 (カッパ株)	2020年10月 インド	L452R E484Q	<ul style="list-style-type: none"> 感染性の増加と治療薬（抗体医薬）の効果への影響が示唆されている 引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握

※件数は暫定値であり、その時点において最新のpango lineageを基に計上しているものであるため、再集計した際に数値が変動する可能性がある。

※PANGO系統(pango lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOラベルである。

(出典) 国立感染症研究所、WHO

国立感染症研究所のゲノム解析の実施状況

2021/7/9公表

国内におけるSARS-CoV-2のゲノム解析

累積:55,918 (7/5時点) (+1,479) 括弧内は6/28時点比

都道府県別・空港等検疫の累積：北海道1,967、青森県99、岩手県369、宮城県1,466、秋田県187、山形県194、福島県1,050、茨城県1,562、栃木県1,265、群馬県734、埼玉県3,093、千葉県2,260、東京都830、神奈川県2,310、新潟県850、富山県485、石川県1,100、福井県553、山梨県329、長野県986、岐阜県300、静岡県988、愛知県583、三重県1,070、滋賀県724、京都府1,424、大阪府2,145、兵庫県6,615、奈良県856、和歌山県1,239、鳥取県244、島根県265、岡山県512、広島県1,553、山口県1,414、徳島県184、香川県421、愛媛県259、高知県353、福岡県5,636、佐賀県477、長崎県551、熊本県952、大分県895、宮崎県303、鹿児島県1,173、沖縄県1,701、空港等検疫1,392

国立感染症研究所等における全ゲノム解析により確認されたVOCs, VOIs

(系統のみを特定できたものも含む) (7/5時点) 括弧内は6/28時点比

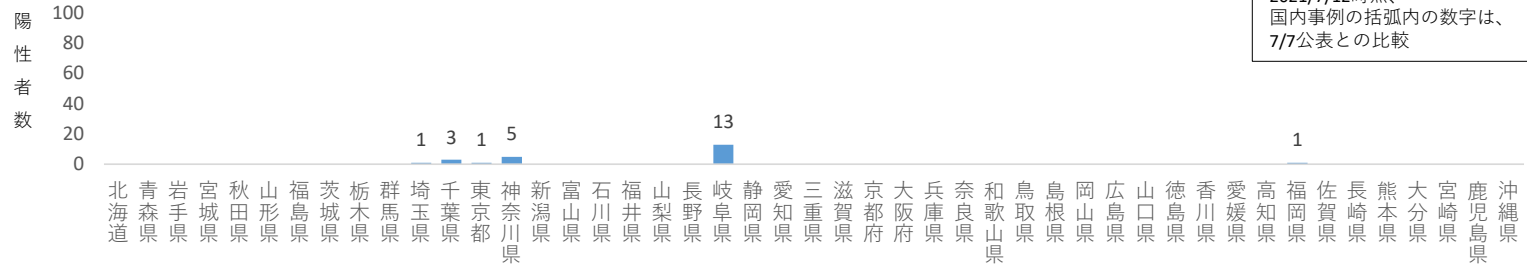
- B.1.1.7系統の変異株（アルファ株）：国内27,086例（+2,727例）、検疫318例（+2例）
- B.1.351系統の変異株（ベータ株）：国内22例（+0例）、検疫80例（+3例）
- P.1系統の変異株（ガンマ株）：国内89例（+0例）、検疫22例（+0例）
- B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）国内481例（+164例）、検疫245例（+23例）
- B.1.427/B.1.429系統の変異株（イプシロン株）：国内1例（+0例）、検疫25例（+0例）
- P.3系統の変異株（シータ株）：国内0例、検疫10例（+2例）
- B.1.617.1系統の変異株（カッパ株）：国内7例（+0例）、検疫20例（+0例）（7/5時点）
- R.1系統の変異株（E484K変異がある変異株）：国内7,053例（+58例）、検疫4例（+0例）

※件数は暫定値であり、その時点において最新のpango lineageを基に計上しているものであるため、再集計した際に数値が変動する可能性がある。
※デルタ株にはB.1.617.2系統と同等の変異を有する系統（AY.1等）が含まれる。

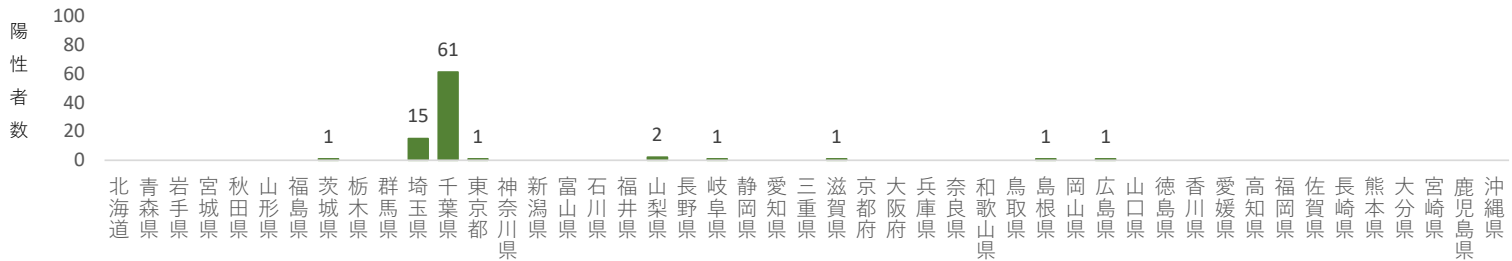
(出典) 感染症発生動向調査 (IDWR)

都道府県別の懸念される変異株の事例数(ゲノム解析) (HER-SYS)

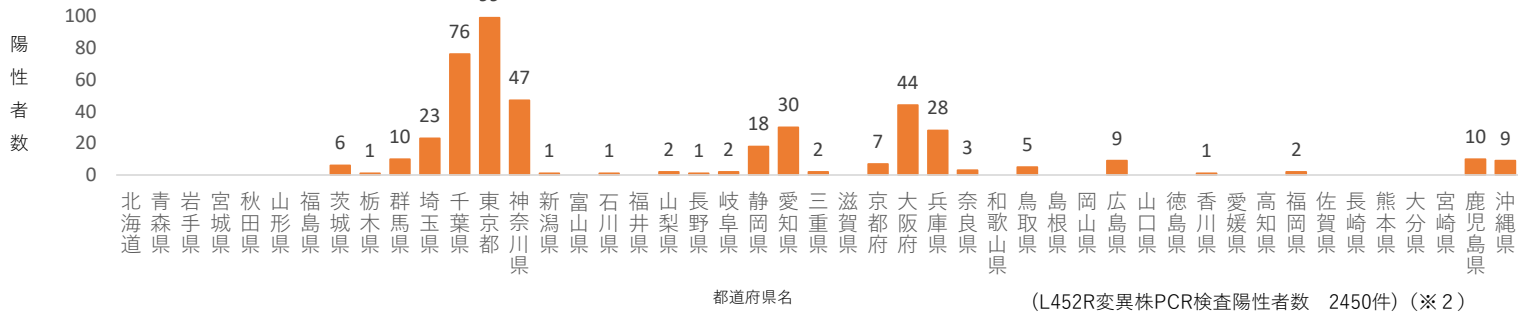
B.1.351系統の変異株 (ベータ株) 国内事例 n=24 (+0) ※1



P.1系統の変異株 (ガンマ株) 国内事例 n=84 (-1) ※1



B.1.617.2系統の変異株 (デルタ株) 国内事例 n=437 (+133) ※1,2



※1. 国内事例は、7月12日までにHER-SYSで把握した累計を計上しており、自治体で公表された数字とは異なる可能性がある。また、ゲノム解析の国内事例数には、自治体等（地方衛生研究所・大学等）でゲノム確定した数が含まれる。公表後にHER-SYS上で事例削除・変更等された事例があることから、先週との事例数の差分については、負の数となっている場合がある。

※2. L452R変異株PCR検査では、L452R変異があるイプシロン株、C.36系統など他の株を検出する可能性があり、地域の感染状況の評価には注意が必要。

L452R変異株スクリーニング検査の実施状況（6/28-7/4）速報値 2021/7/12時点

	都道府県	新規陽性者数	実施件数 ①	陽性者数 ②	陽性率% ②/①
1	北海道	222	223	3	1
2	青森県	43	24	0	0
3	岩手県	46	0	0	-
4	宮城県	79	43	0	0
5	秋田県	72	58	0	0
6	山形県	8	0	0	-
7	福島県	111	51	0	0
8	茨城県	175	140	34	24
9	栃木県	161	212	4	2
10	群馬県	25	16	5	31
11	埼玉県	760	366	50	14
12	千葉県	955	310	68	22
13	東京都	4,074	2,114	390	18
14	神奈川県	1,503	513	39	8
15	新潟県	26	15	1	7
16	富山県	5	13	0	0
17	石川県	26	2	0	0
18	福井県	76	92	0	0
19	山梨県	37	23	0	0
20	長野県	12	6	0	0
21	岐阜県	34	21	2	10
22	静岡県	153	143	2	1
23	愛知県	324	151	2	1
24	三重県	33	15	0	0

	都道府県	新規陽性者数	実施件数 ①	陽性者数 ②	陽性率% ②/①
25	滋賀県	30	23	0	0
26	京都府	113	76	19	25
27	大阪府	716	278	22	8
28	兵庫県	170	74	13	18
29	奈良県	95	50	1	2
30	和歌山県	20	22	3	14
31	鳥取県	26	17	7	41
32	島根県	1	1	0	0
33	岡山県	8	13	1	8
34	広島県	52	88	1	1
35	山口県	27	30	0	0
36	徳島県	2	3	0	0
37	香川県	7	7	0	0
38	愛媛県	3	3	0	0
39	高知県	54	32	0	0
40	福岡県	200	431	5	1
41	佐賀県	11	4	0	0
42	長崎県	53	68	0	0
43	熊本県	16	22	0	0
44	大分県	3	5	0	0
45	宮崎県	21	8	0	0
46	鹿児島県	36	24	11	46
47	沖縄県	410	200	6	3
	全国	11,034	6,030	689	11%

※1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※3 一部の都道府県ではN501Y変異株PCR検査が陰性だった検体に対して、L452R変異株PCR検査を実施。※4 L452R変異があるイプシロン株、C.36系統など他の株を検出する可能性や一部検体を対象に実施したものであり、地域の感染状況の評価には注意が必要。

L452R変異株スクリーニング検査の実施率・陽性率（機械的な試算）速報値

6/28-7/4	新規陽性者数	合計（①+②）		①自治体				②民間検査機関			
		実施率	陽性率	実施件数	陽性者数	実施率	陽性率	実施件数	陽性者数	実施率	陽性率
北海道	222	100%	1%	116	1	52%	1%	107	2	48%	2%
埼玉県	760	48%	14%	44	4	6%	9%	322	46	42%	14%
千葉県	955	32%	22%	126	26	13%	21%	184	42	19%	23%
東京都	4,074	52%	18%	87	22	2%	25%	2,027	368	50%	18%
神奈川	1,503	34%	8%	52	13	3%	25%	461	26	31%	6%
愛知県	324	47%	1%	89	1	27%	1%	62	1	19%	2%
京都府	113	67%	25%	49	16	43%	33%	27	3	24%	11%
大阪府	716	39%	8%	127	16	18%	13%	151	6	21%	4%
兵庫県	170	44%	18%	52	10	31%	19%	22	3	13%	14%
福岡県	200	216%	1%	386	2	193%	1%	45	3	23%	7%
沖縄県	410	49%	3%	130	3	32%	2%	70	3	17%	4%
全国	11,034	55%	11%	2,302	162	21%	7%	3,728	527	34%	14%

※1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※3 一部の都道府県ではN501Y変異株PCR検査が陰性だった検体に対して、L452R変異株PCR検査を実施。※4 L452R変異があるイブシロン株、C.36系統など他の株を検出する可能性や一部検体を対象に実施したものであり、地域の感染状況の評価には注意が必要。

L452R変異株スクリーニング検査の実施率・陽性率（機械的な試算）時系列

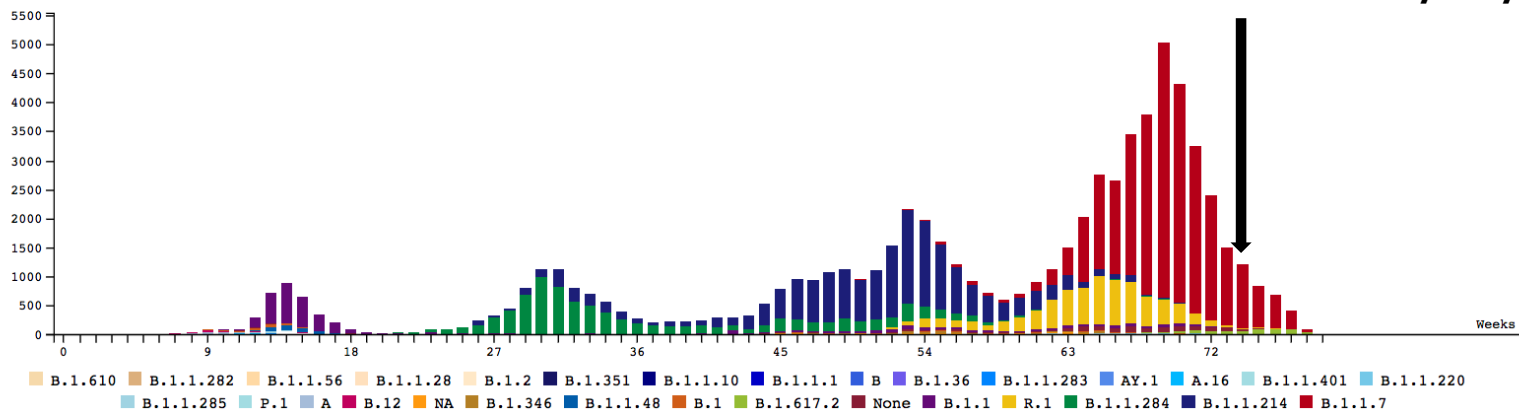
	6/7—6/13		6/14—6/20		6/21—6/27		6/28—7/4	
	実施率	陽性率	実施率	陽性率	実施率	陽性率	実施率	陽性率
北海道	23 %	0 %	113 %	0 %	105 %	0 %	100 %	1 %
埼玉県	18 %	0 %	79 %	5 %	56 %	6 %	48 %	14 %
千葉県	23 %	9 %	39 %	18 %	40 %	13 %	32 %	22 %
東京都	21 %	4 %	54 %	6 %	51 %	14 %	52 %	18 %
神奈川	12 %	10 %	41 %	10 %	41 %	11 %	34 %	8 %
愛知県	49 %	3 %	60 %	3 %	74 %	1 %	47 %	1 %
京都府	16 %	0 %	127 %	0 %	82 %	0 %	67 %	25 %
大阪府	23 %	5 %	57 %	7 %	74 %	4 %	39 %	8 %
兵庫県	38 %	9 %	54 %	10 %	55 %	5 %	44 %	18 %
福岡県	31 %	0 %	125 %	0 %	145 %	1 %	216 %	1 %
沖縄県	36 %	0 %	36 %	0 %	48 %	2 %	49 %	3 %
全国	28 %	3 %	61 %	5 %	59 %	7 %	55 %	11 %

8

国内 新型コロナゲノムの PANGO lineage 変遷（2021/07/09 現在）

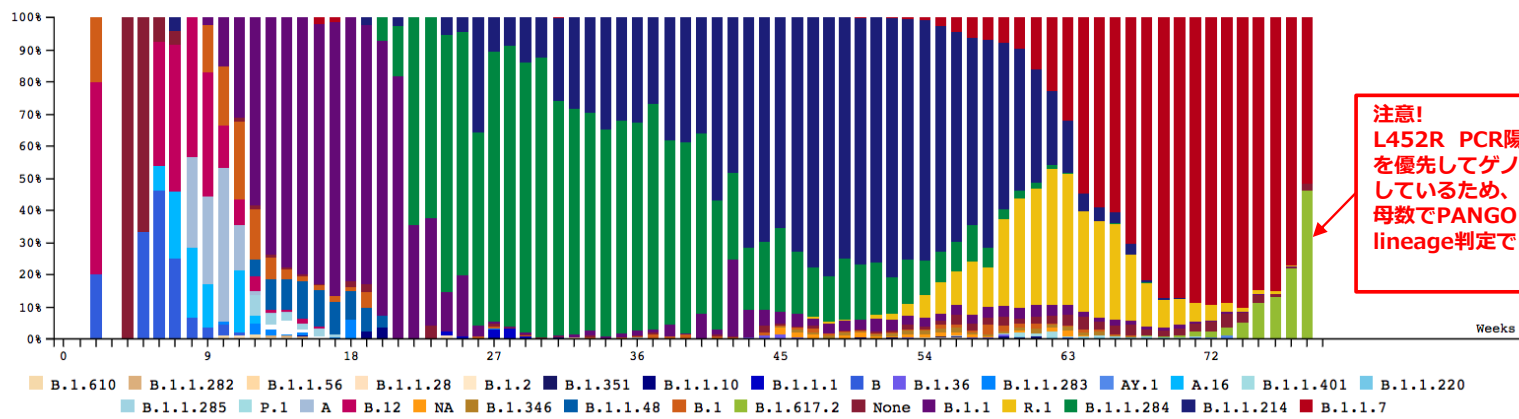
[Only Domestic] Weekly Top 30 Graph (count each week)

74週 2021/06/02 - 06/08



74	
B.1.1.7	1089
B.1.1.214	0
B.1.1.284	0
R.1	18
B.1.1	3
None	36
B.1.617.2	58
B.1	0
B.1.1.48	0
B.1.346	0
NA	0
B.1.2	0
A	0
P.1	0
B.1.1.285	0
B.1.1.220	0
B.1.1.401	0
A.16	0
AY.1	3

[Only Domestic] Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)

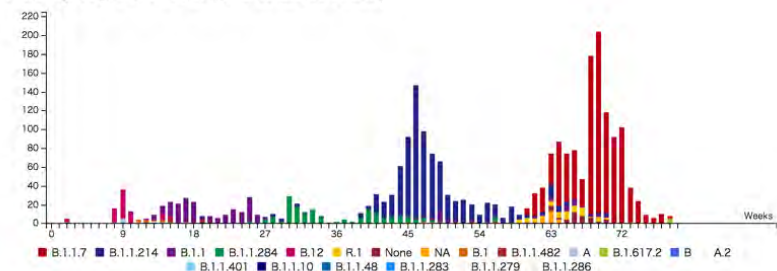


注意!
L452R PCR陽性検体を優先してゲノム解読しているため、正確な母数でPANGO lineage判定できない。

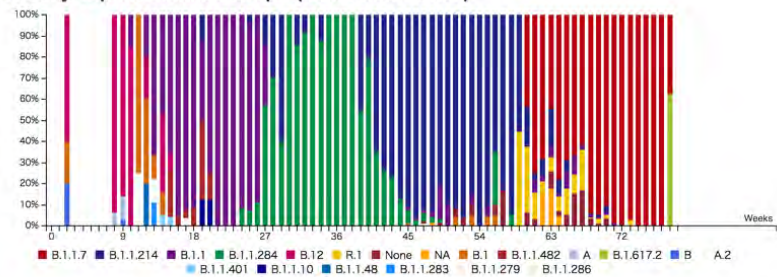
※地方衛生研究所で解析されたゲノム解析結果を含む。

北海道

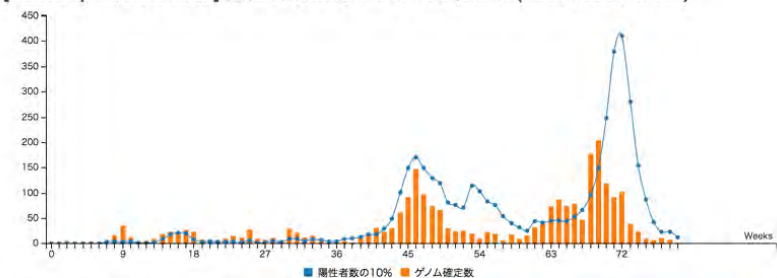
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



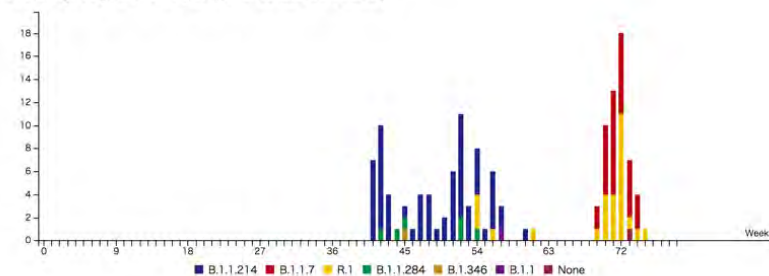
[Asia/Japan/Hokkaido] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



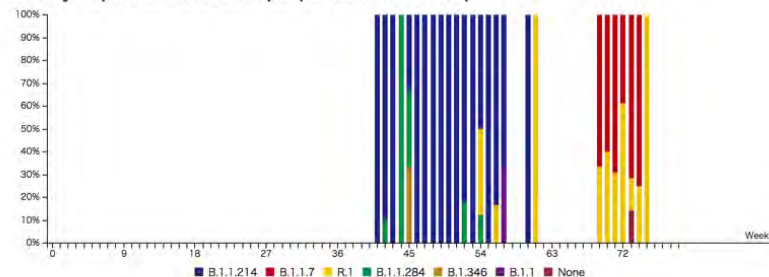
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

青森県

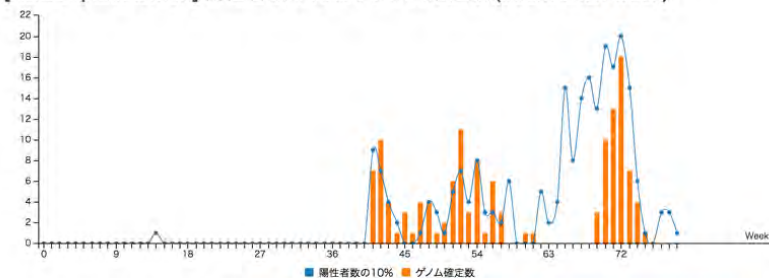
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



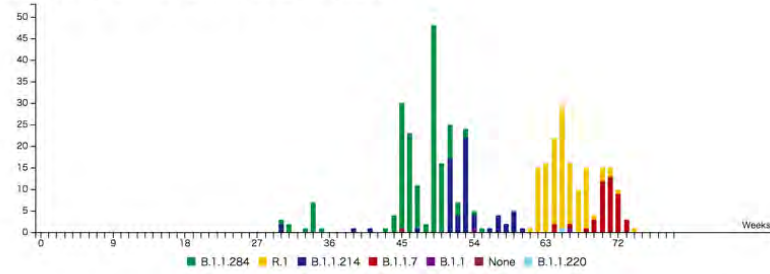
[Asia/Japan/Aomori] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



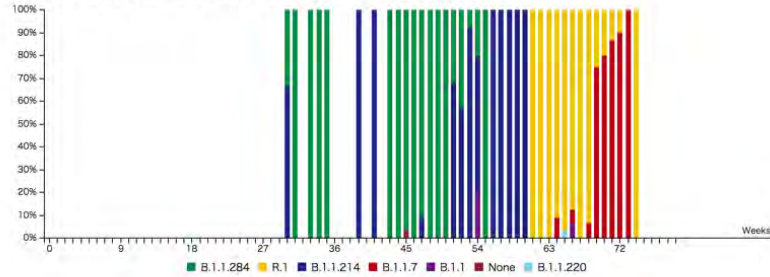
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

岩手県

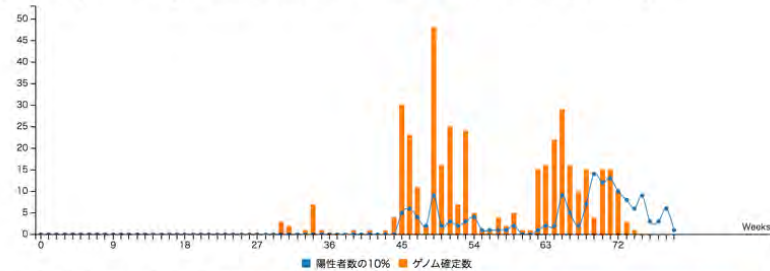
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



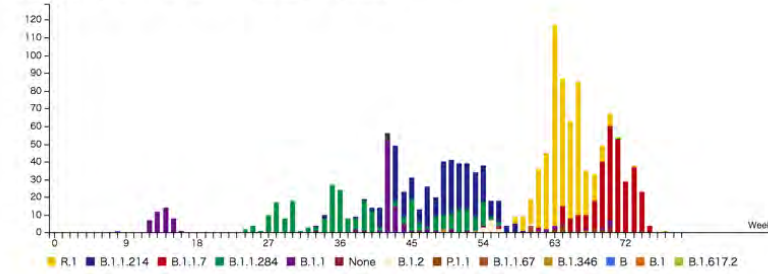
[Asia/Japan/Iwate] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



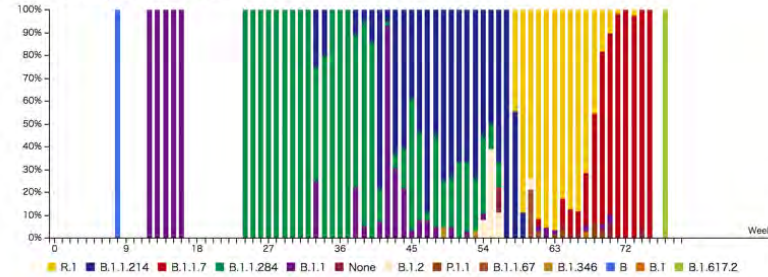
[陽性者数の計算について(集計元)] 情報:NHKまとめ(都道府県別の感染者数より) <https://www.3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分(地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

宮城県

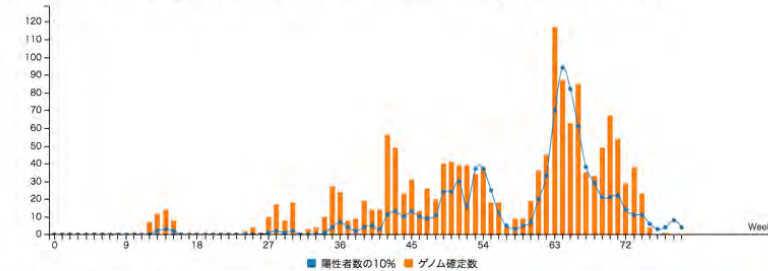
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



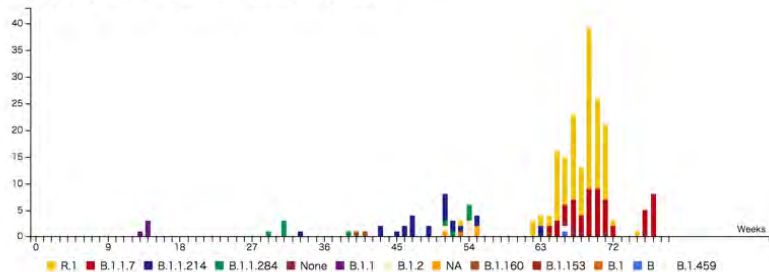
[Asia/Japan/Miyagi] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



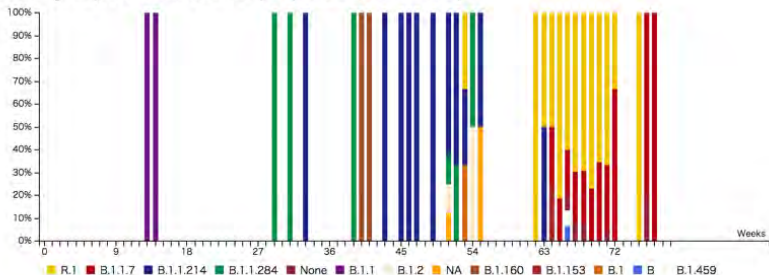
[陽性者数の計算について(集計元)] 情報:NHKまとめ(都道府県別の感染者数より) <https://www.3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分(地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

秋田県

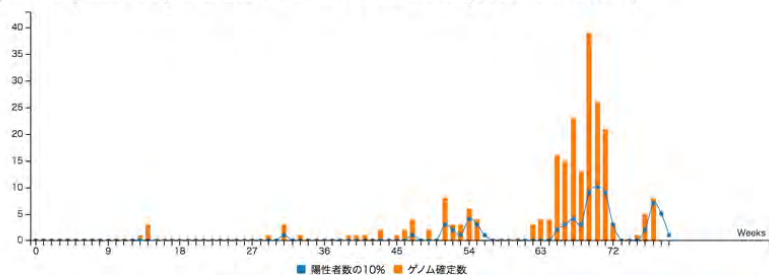
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



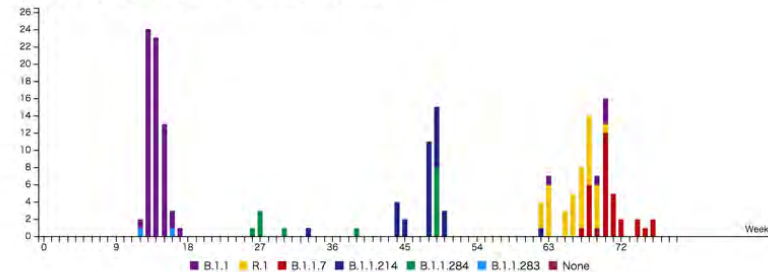
[Asia/Japan/Akita] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



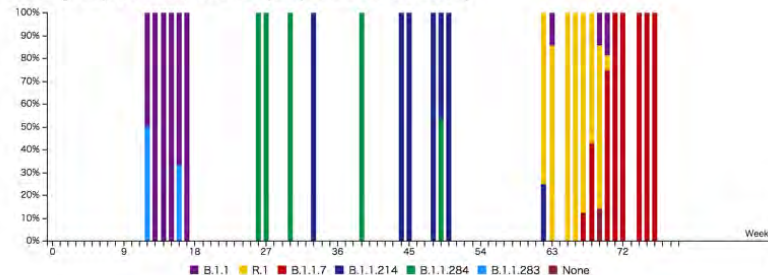
[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

山形県

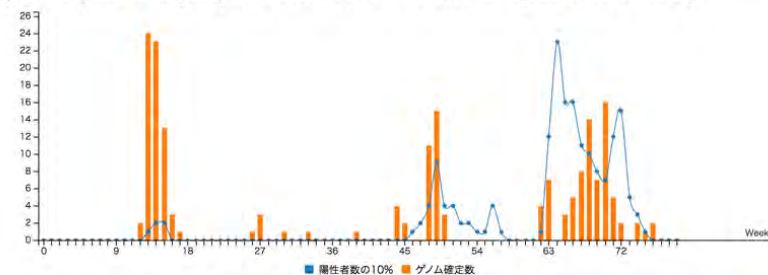
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Yamagata] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

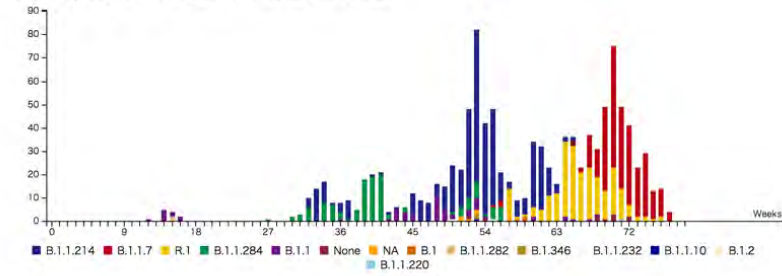


[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

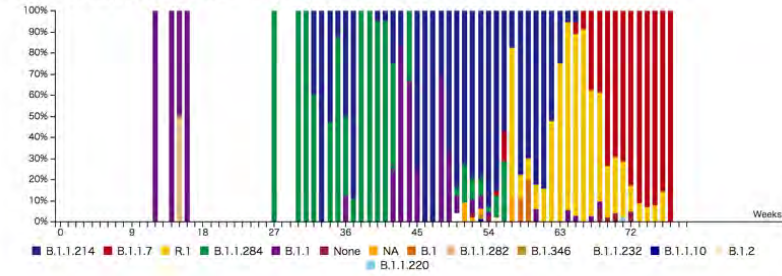
※地方衛生研究所で解析されたゲノム解析結果を含む。

福島県

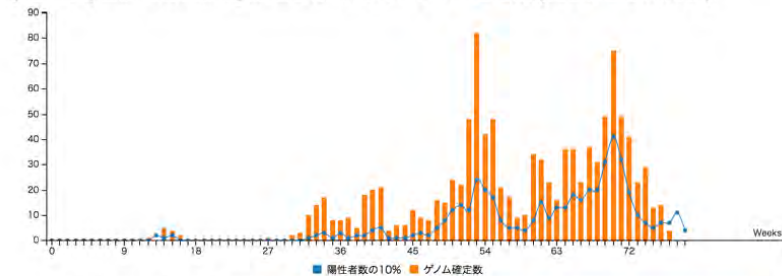
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Fukushima] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

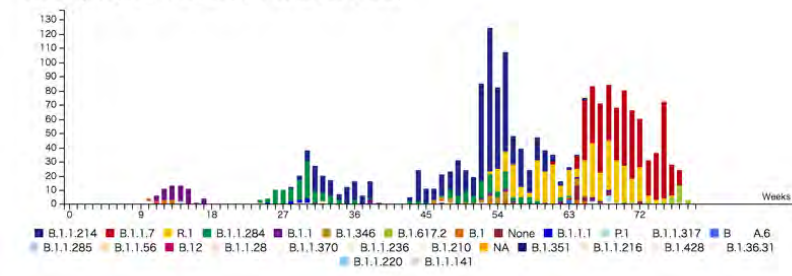


[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

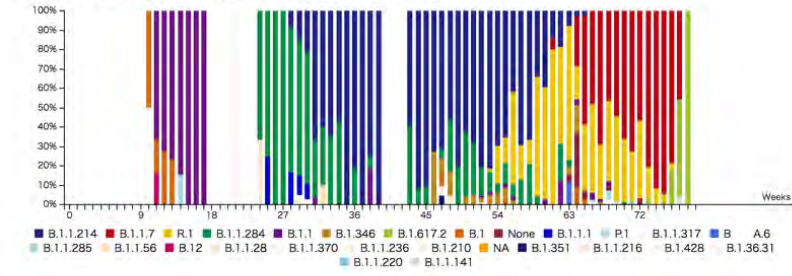
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

茨城県

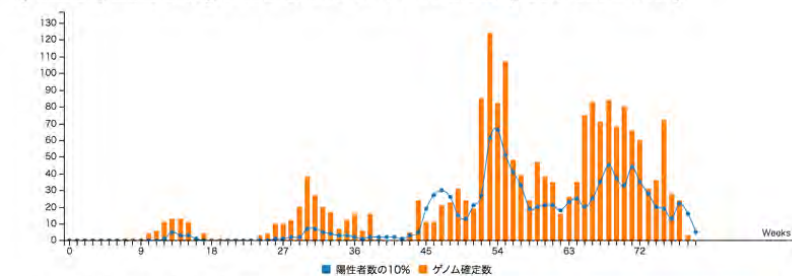
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Ibaraki] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

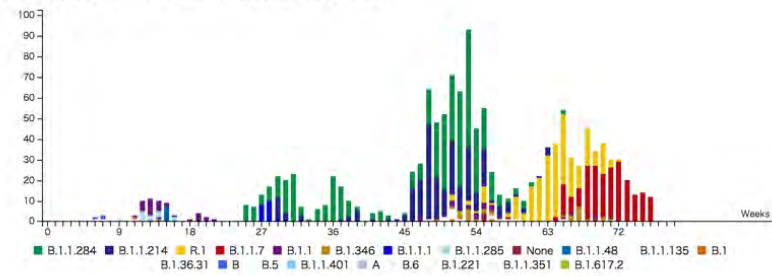


[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

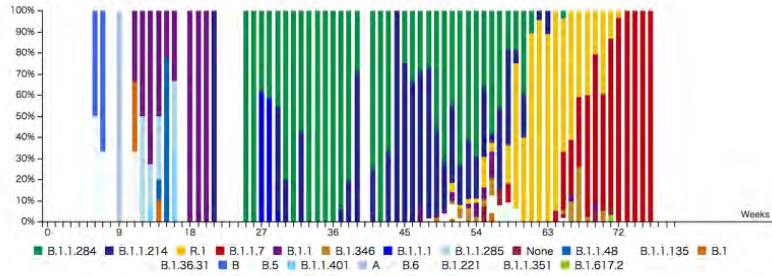
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

栃木県

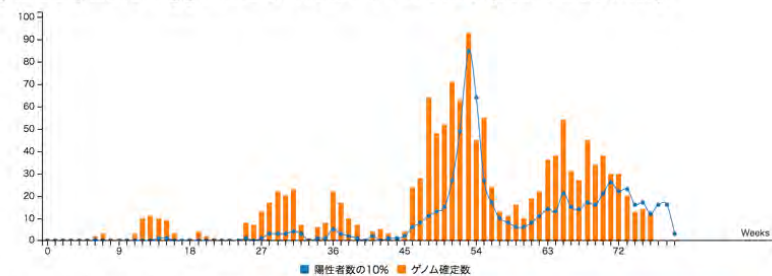
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



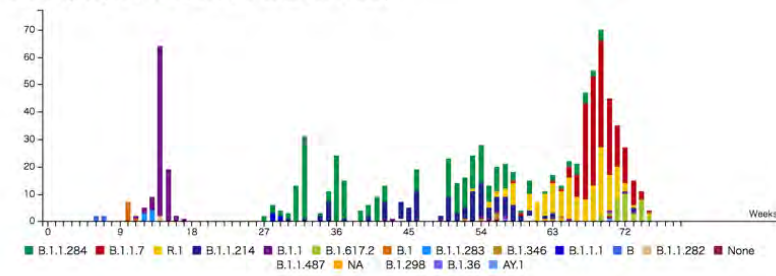
[Asia/Japan/Tochigi] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



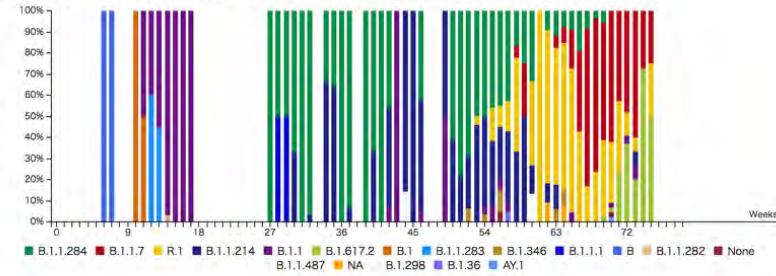
[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

群馬県

Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Gunma] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

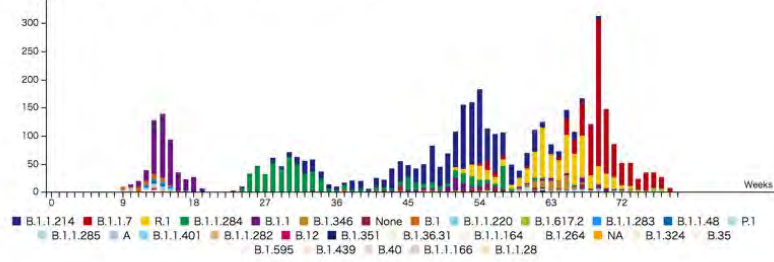


[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

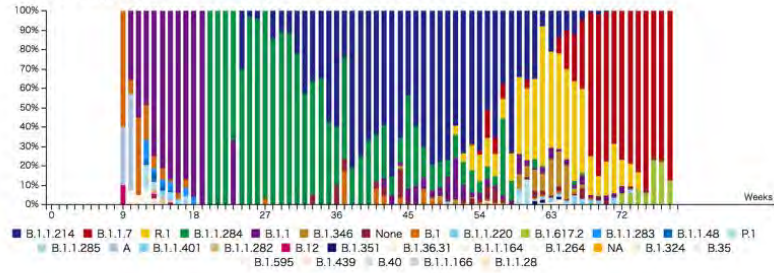
※地方衛生研究所で解析されたゲノム解析結果を含む。

埼玉県

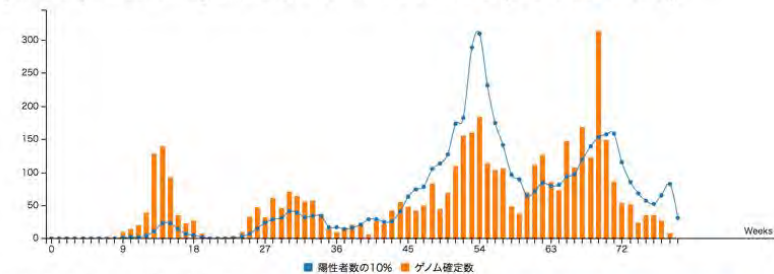
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Saitama] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

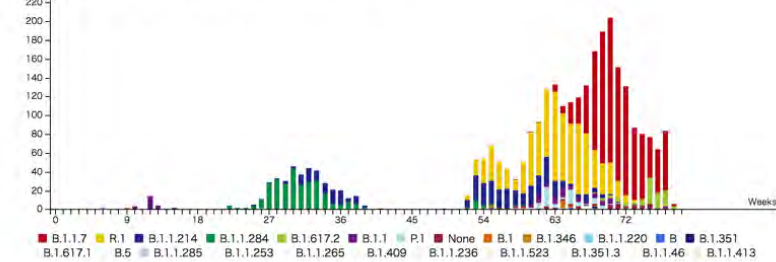


[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

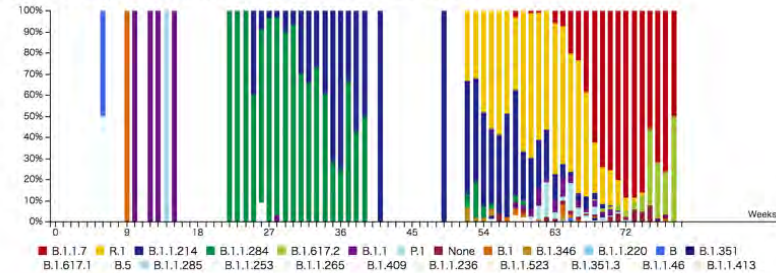
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

千葉県

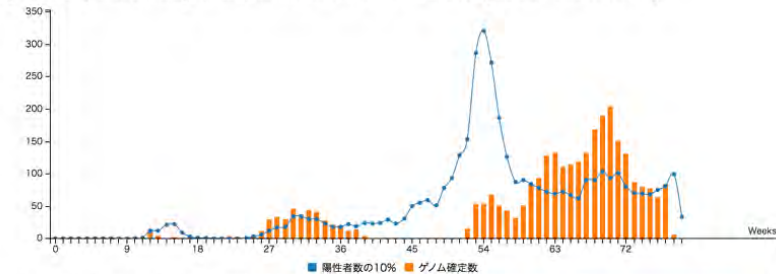
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Chiba] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

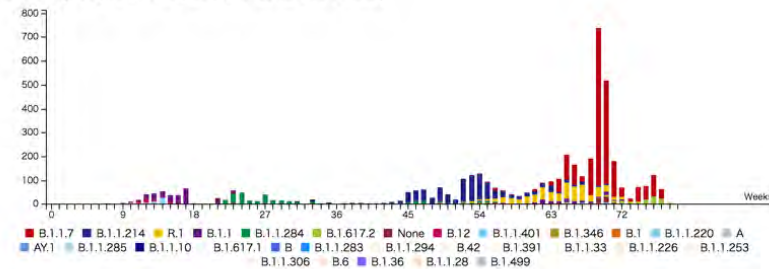


[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

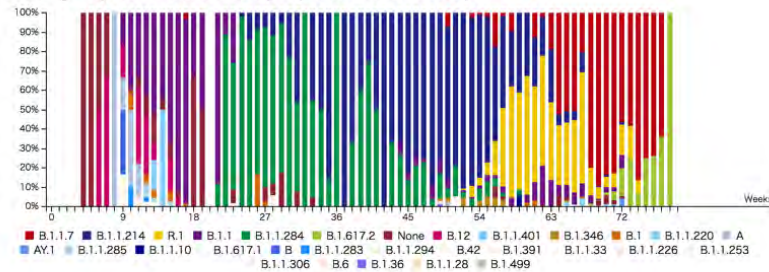
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

東京都

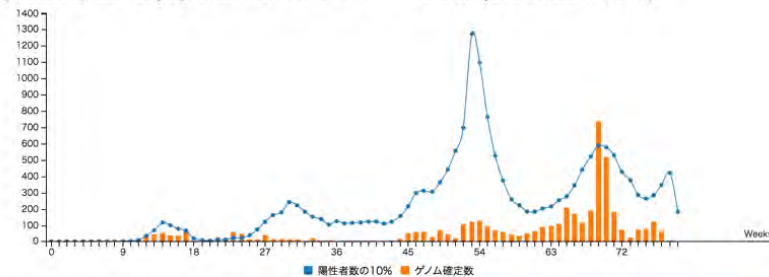
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Tokyo] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

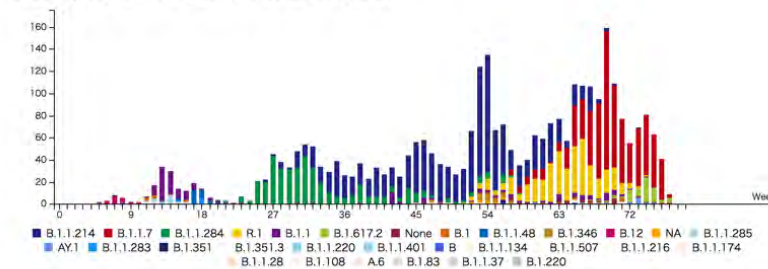


[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

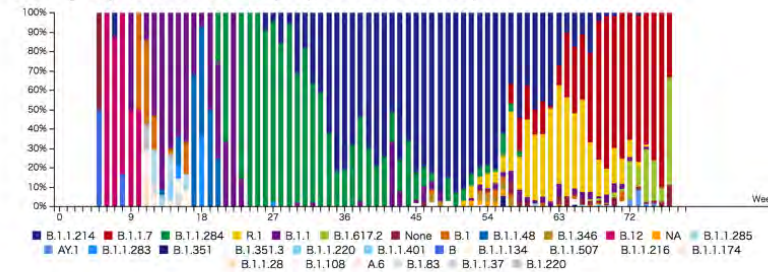
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

神奈川県

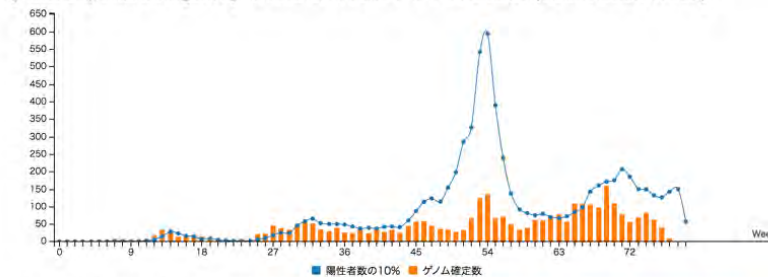
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Kanagawa] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

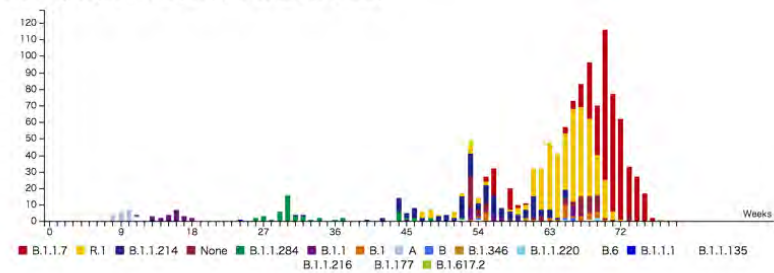


[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

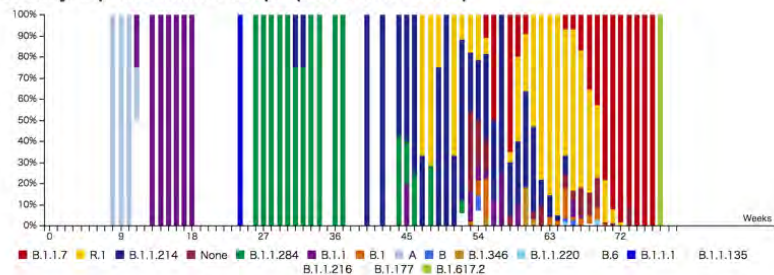
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

新潟県

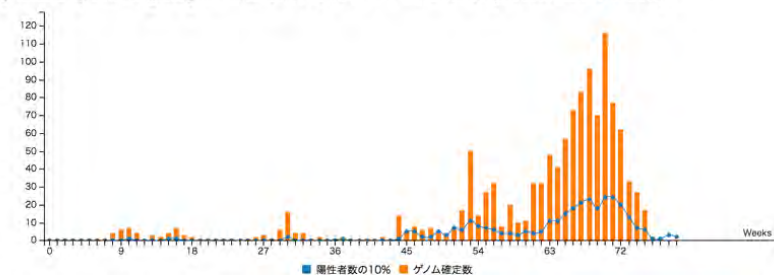
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Niigata] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

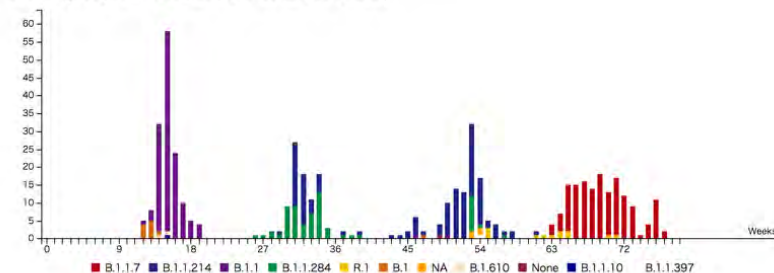


[陽性者数の計算について (集計元) 情報.NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>]

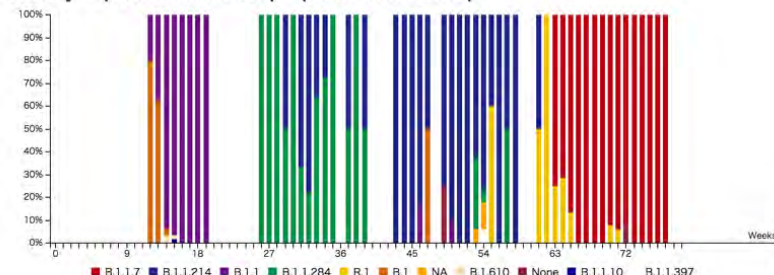
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解説分、自治体での解説分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解説分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

富山県

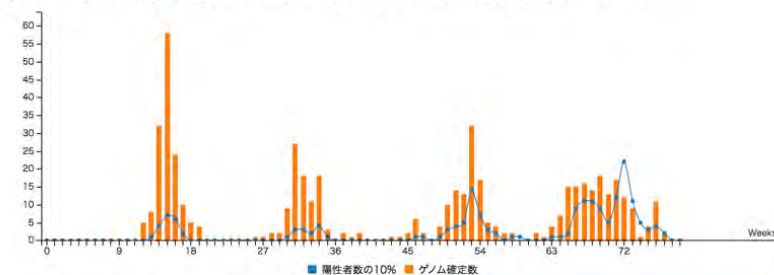
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Toyama] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

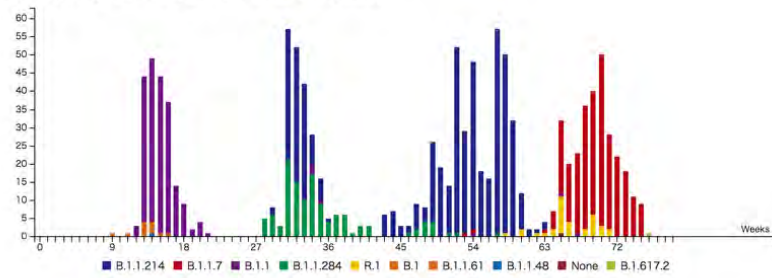


[陽性者数の計算について (集計元) 情報.NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>]

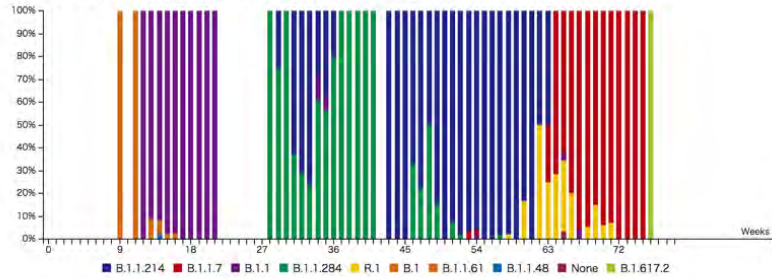
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解説分、自治体での解説分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解説分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

石川県

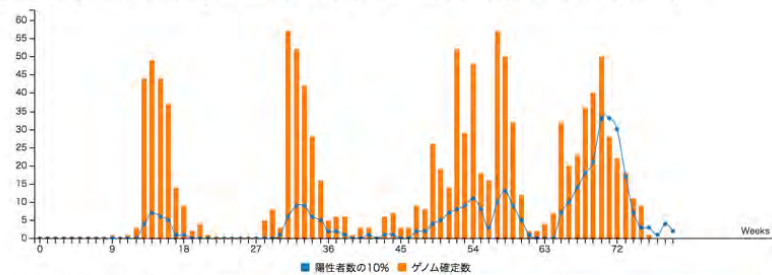
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



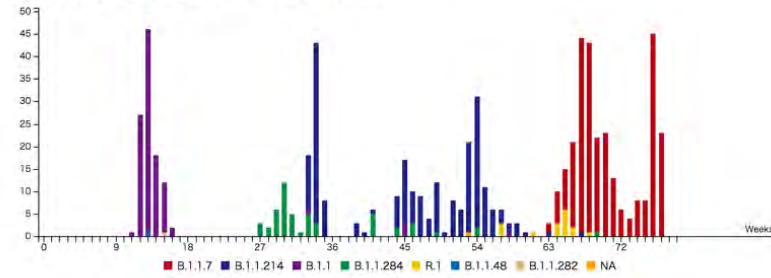
[Asia/Japan/Ishikawa] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



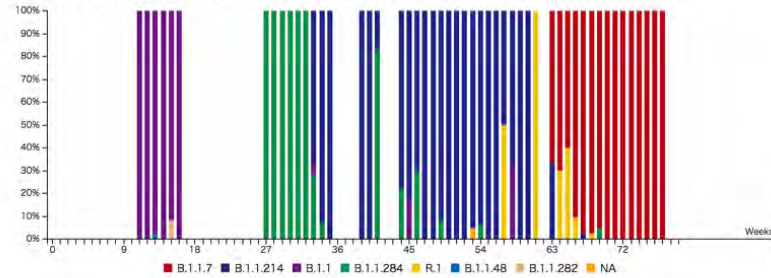
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

福井県

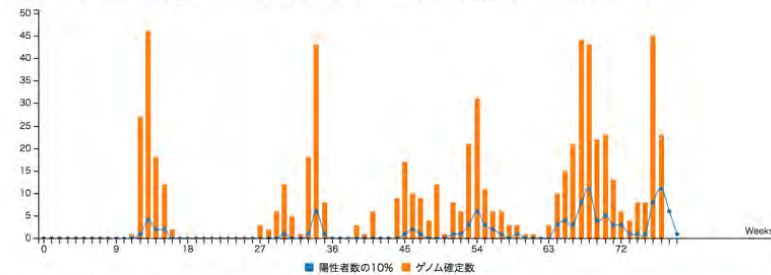
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



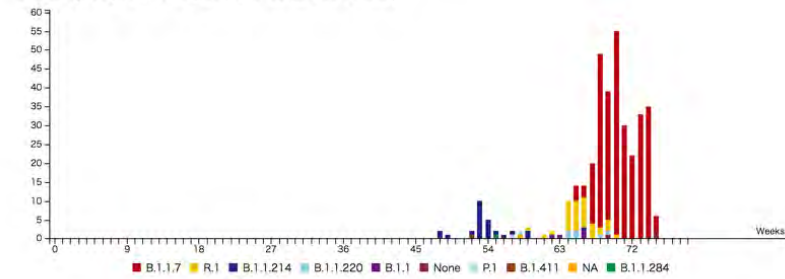
[Asia/Japan/Fukui] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



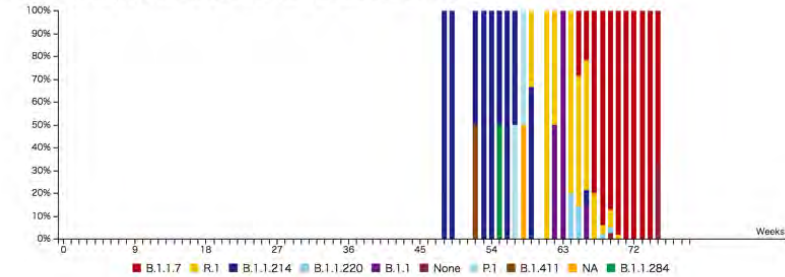
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

山梨県

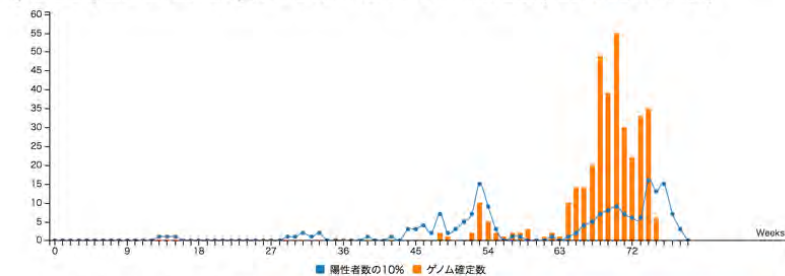
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Yamanashi] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

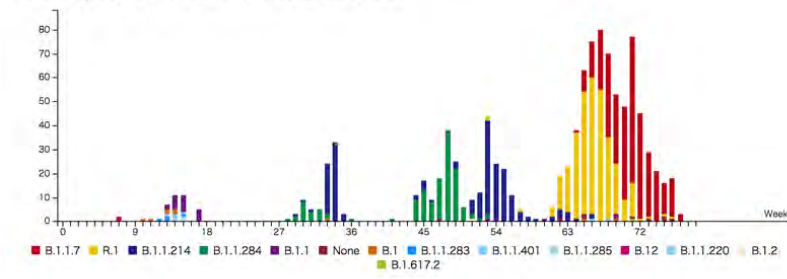


[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

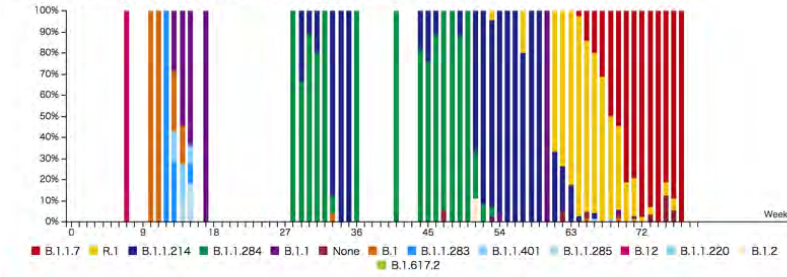
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

長野県

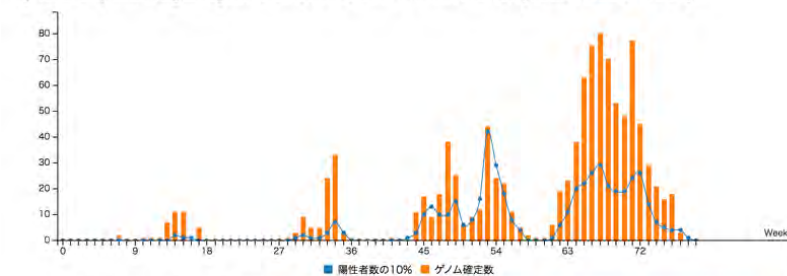
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Nagano] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

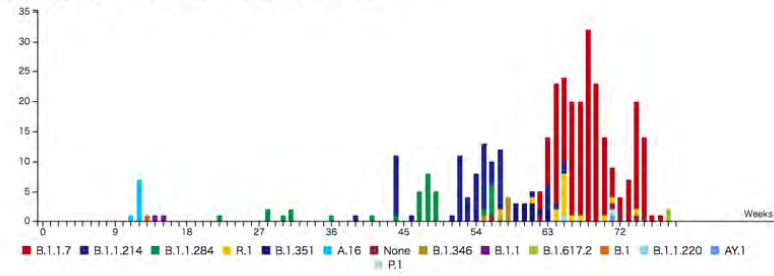


[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

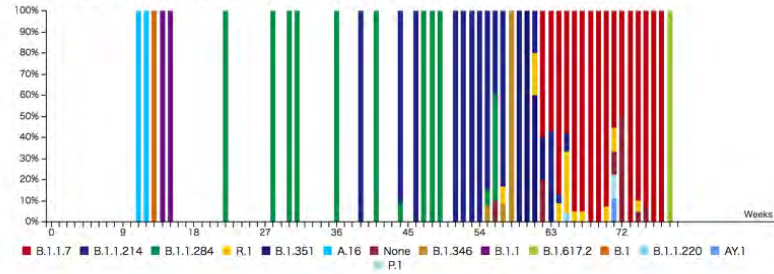
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

岐阜県

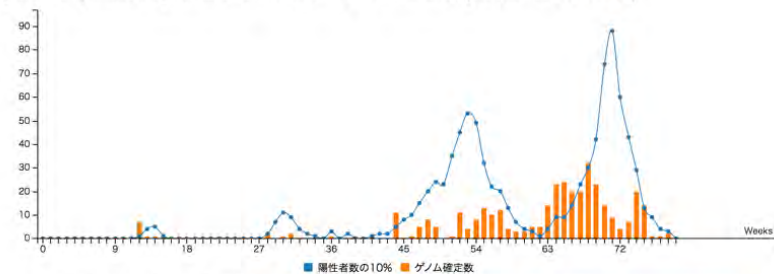
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



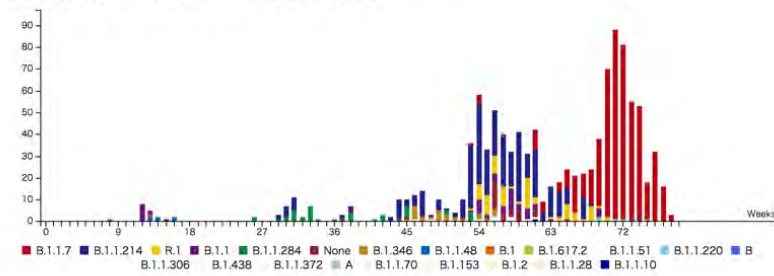
[Asia/Japan/Gifu] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



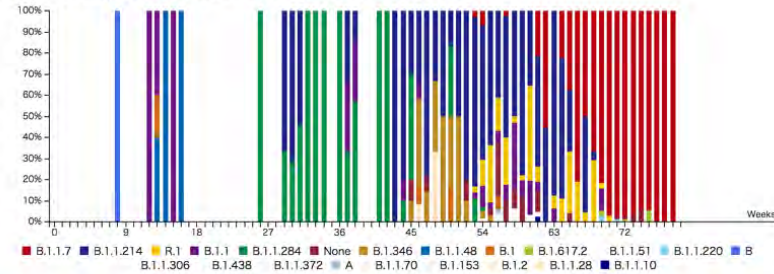
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

静岡県

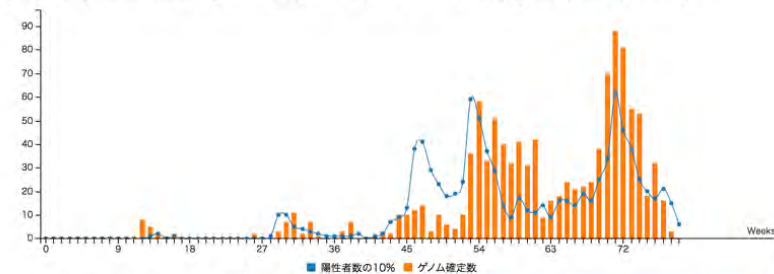
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



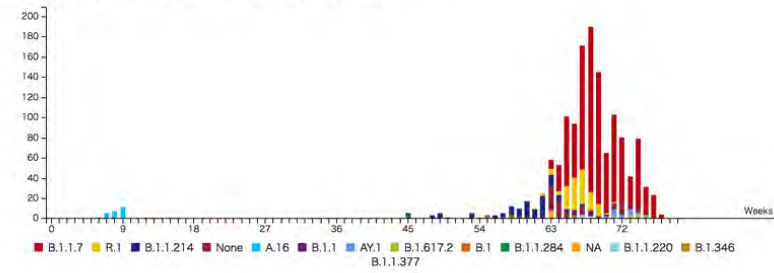
[Asia/Japan/Shizuoka] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



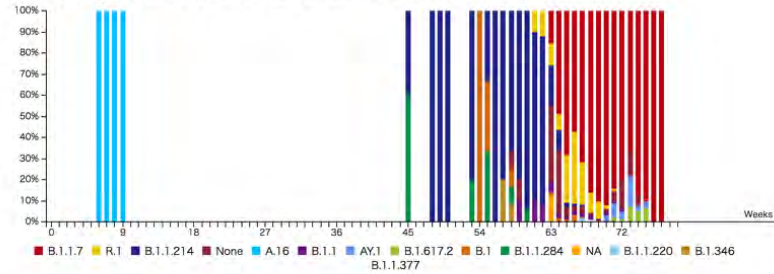
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

愛知県

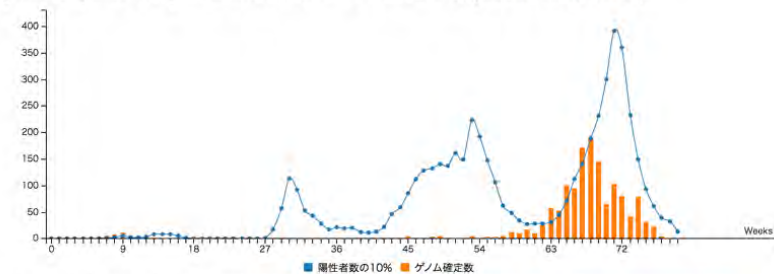
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



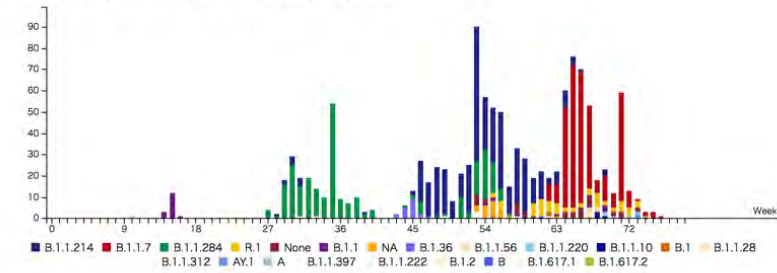
[Asia/Japan/Aichi] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



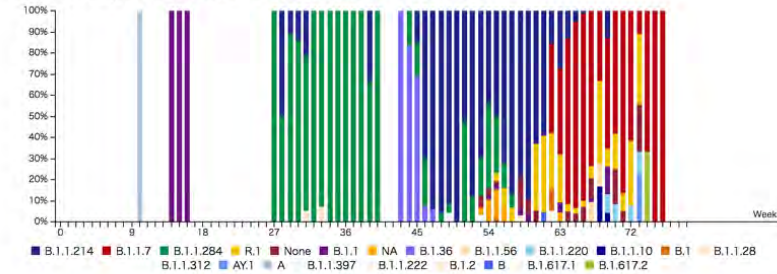
[陽性者数の計算について(集計元) 情報:NHKまとめ(都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分(地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

三重県

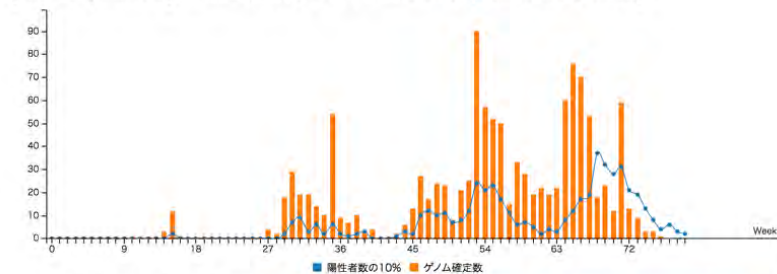
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



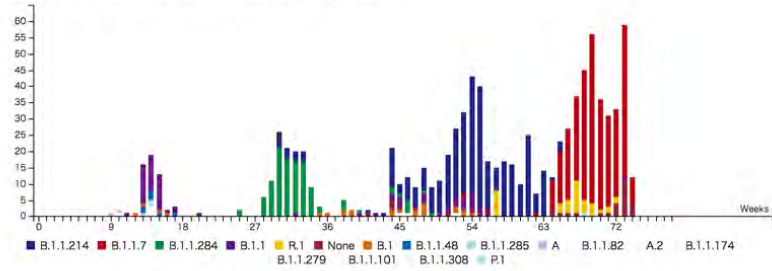
[Asia/Japan/Mie] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



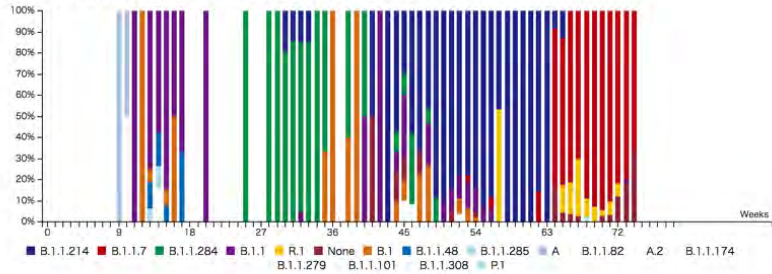
[陽性者数の計算について(集計元) 情報:NHKまとめ(都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分(地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

滋賀県

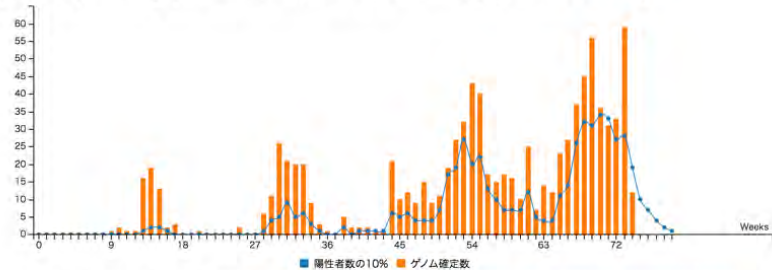
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



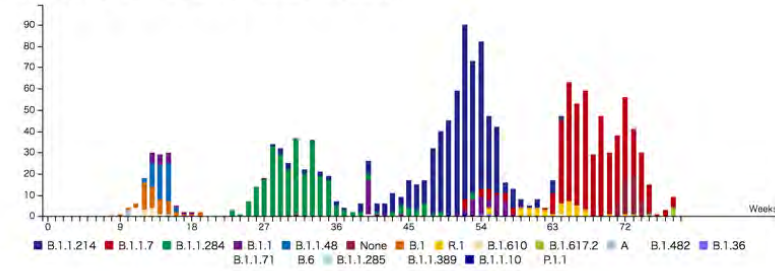
[Asia/Japan/Shiga] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



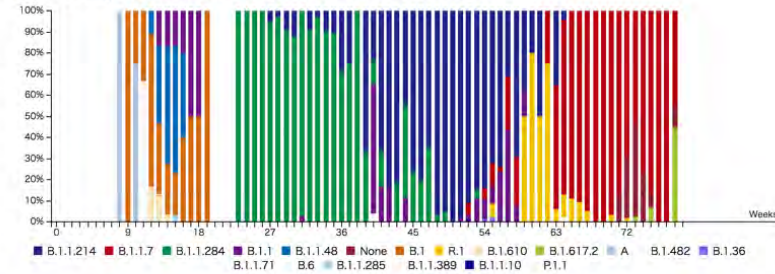
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

京都府

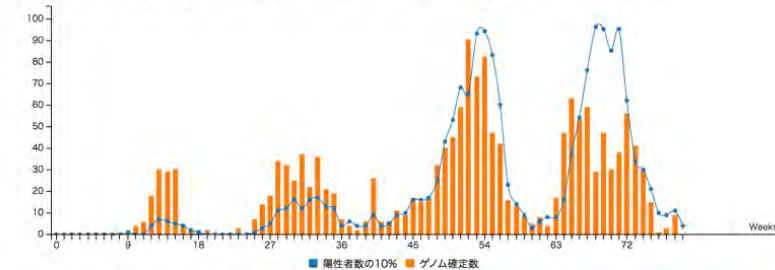
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



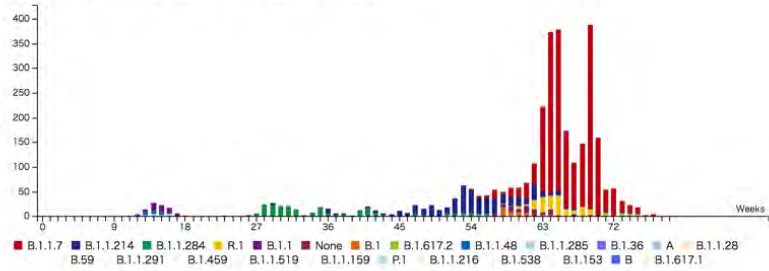
[Asia/Japan/Kyoto] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



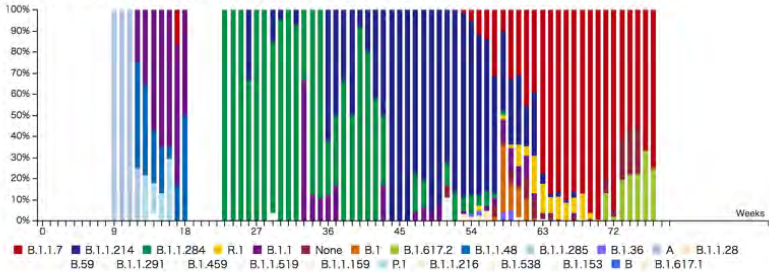
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

大阪府

Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Osaka] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

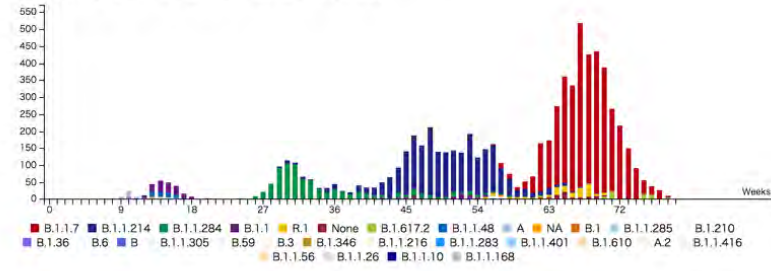


[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

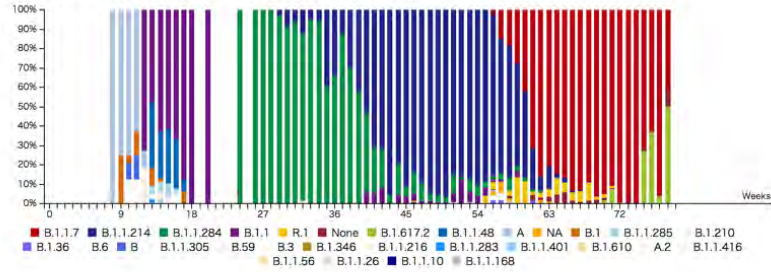
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

兵庫県

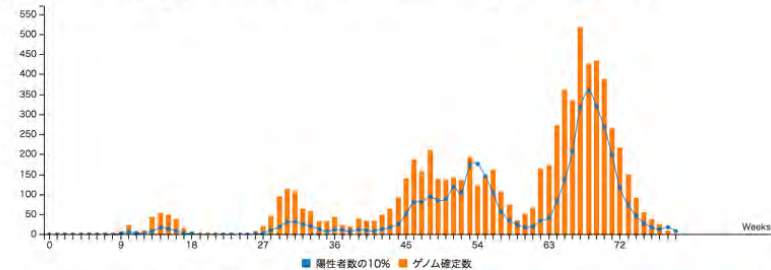
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Hyogo] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

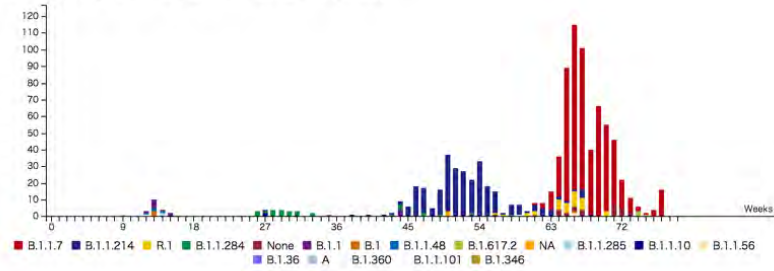


[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

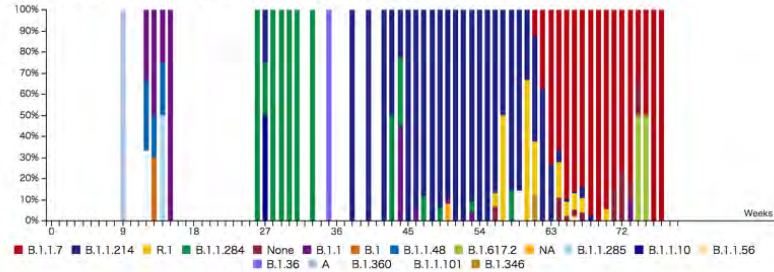
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

奈良県

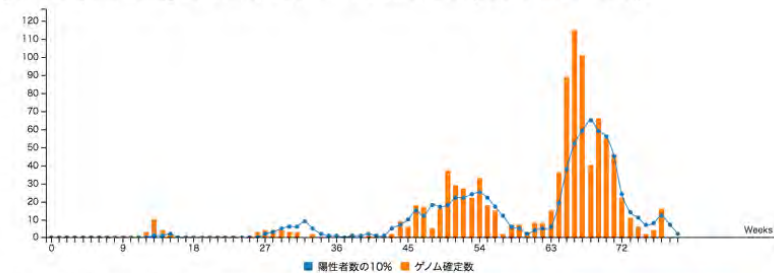
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



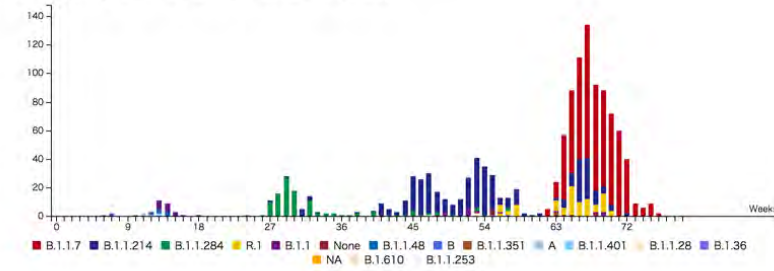
[Asia/Japan/Nara] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



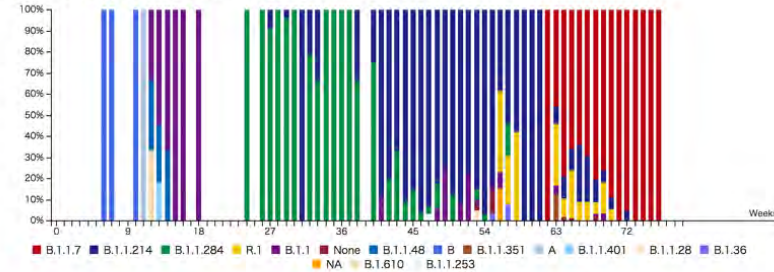
[陽性者数の計算について (集計元) | 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

和歌山県

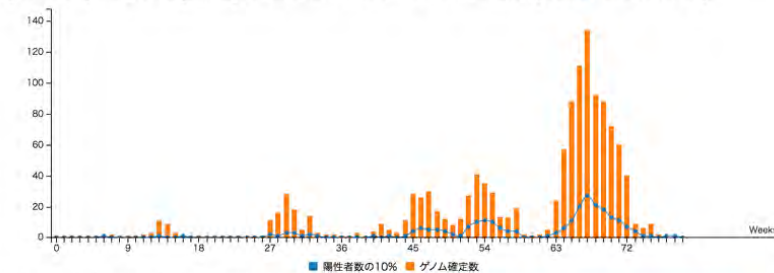
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



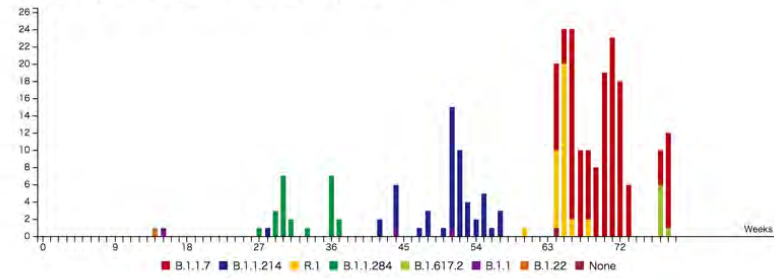
[Asia/Japan/Wakayama] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



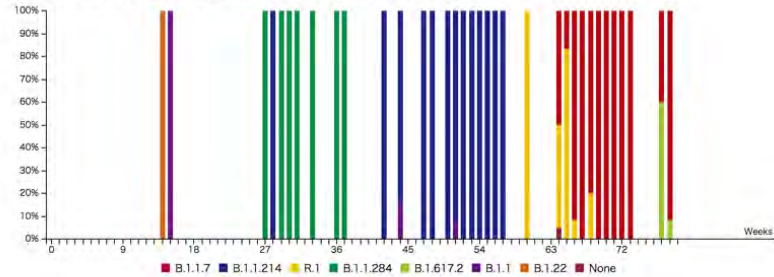
[陽性者数の計算について (集計元) | 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

鳥取県

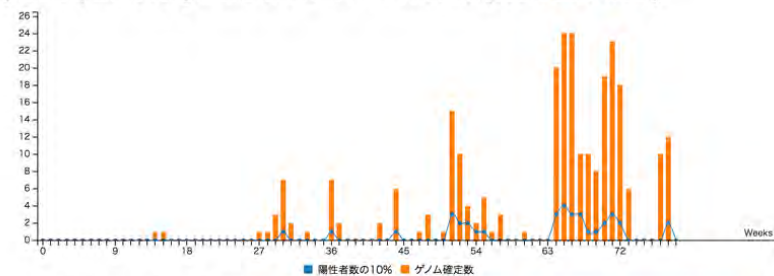
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



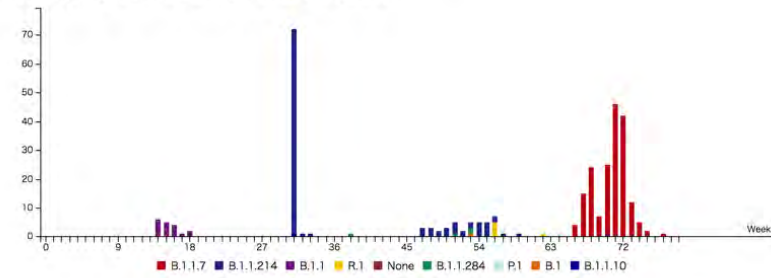
[Asia/Japan/Tottori] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



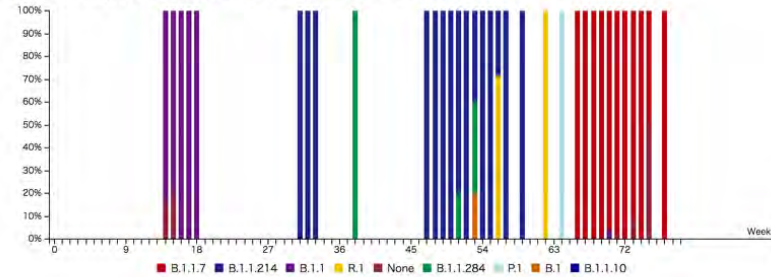
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

島根県

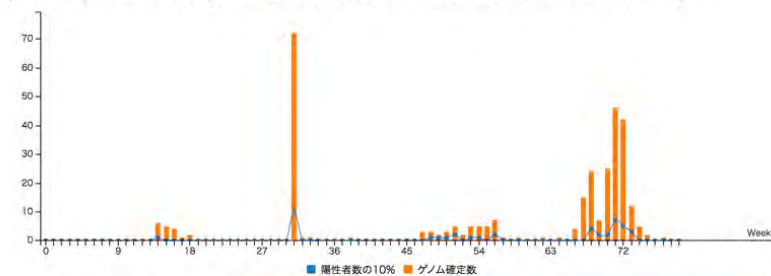
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



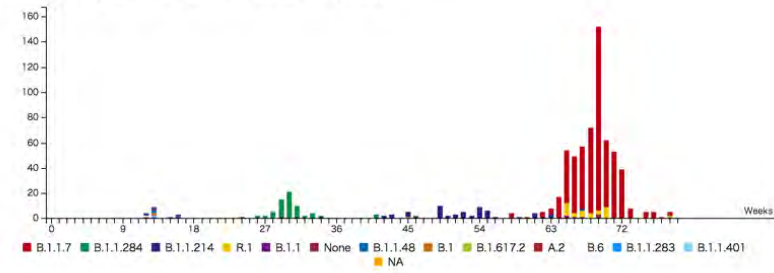
[Asia/Japan/Shimane] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



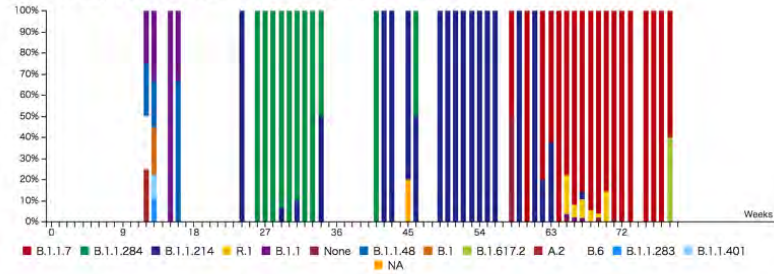
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

岡山県

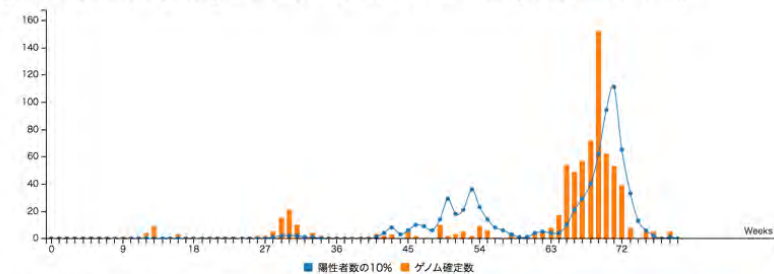
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Okayama] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

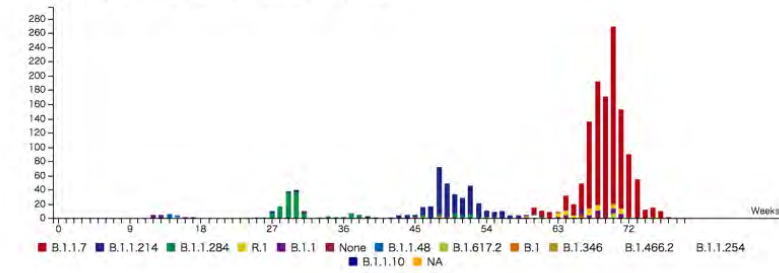


[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

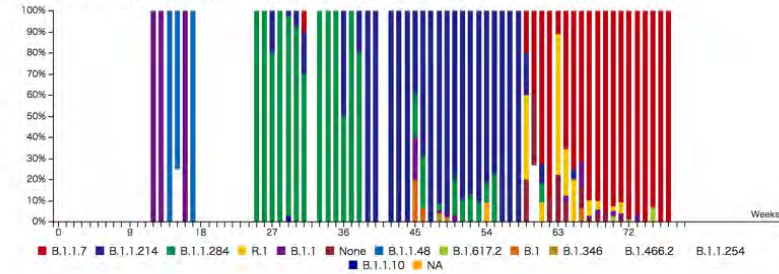
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

広島県

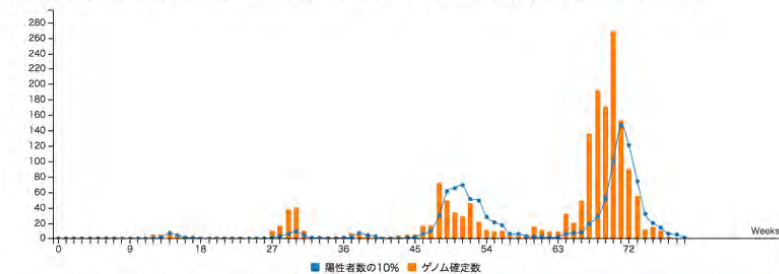
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Hiroshima] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

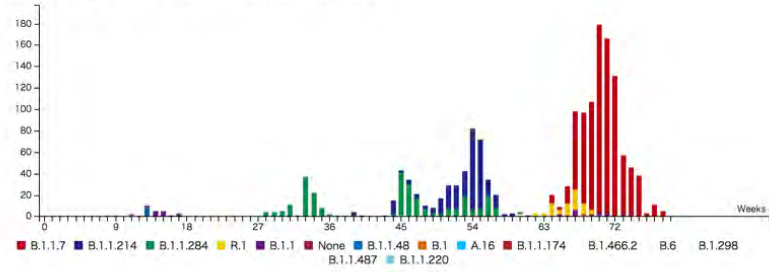


[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

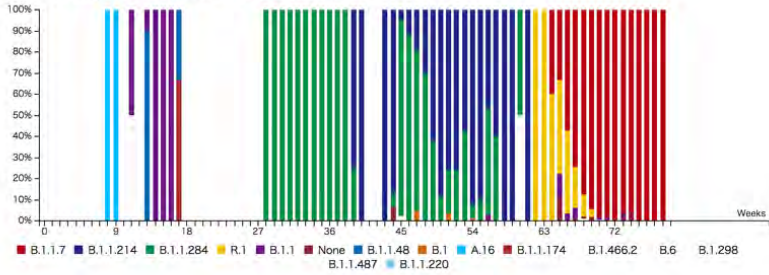
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

山口県

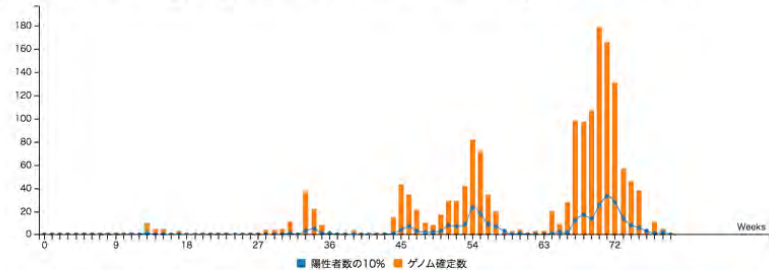
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



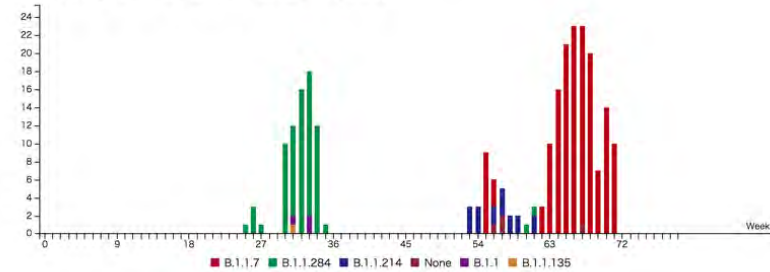
[Asia/Japan/Yamaguchi] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



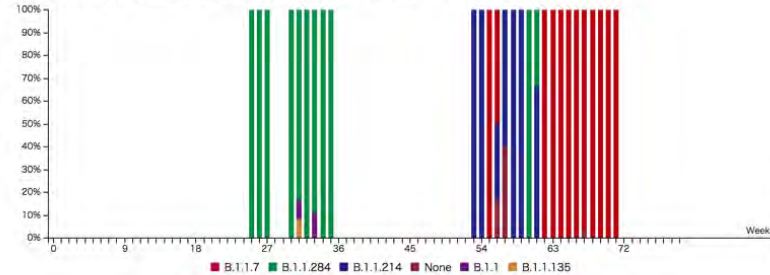
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

徳島県

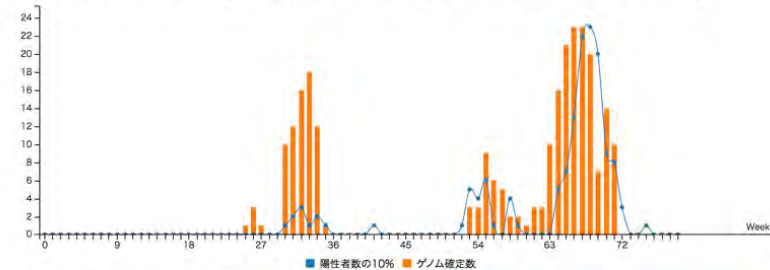
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



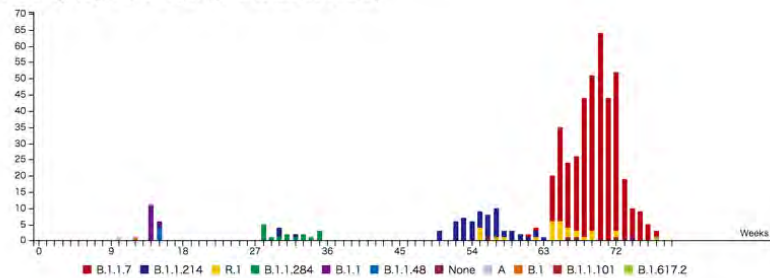
[Asia/Japan/Tokushima] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



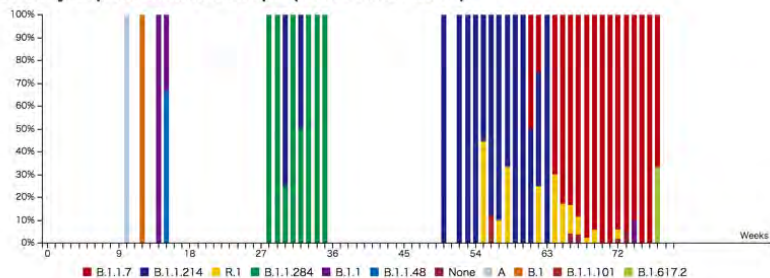
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

香川県

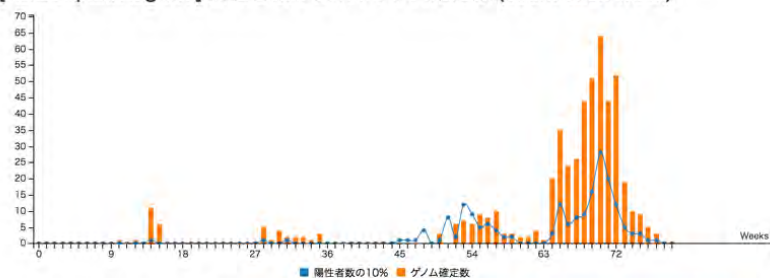
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



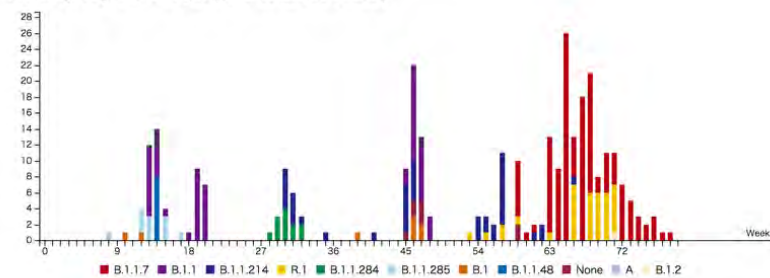
[Asia/Japan/Kagawa] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



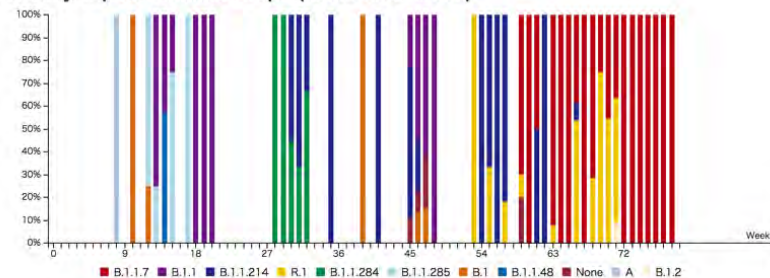
[陽性者数の計算について(集計元) 情報-NHKまとめ(都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分(地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

愛媛県

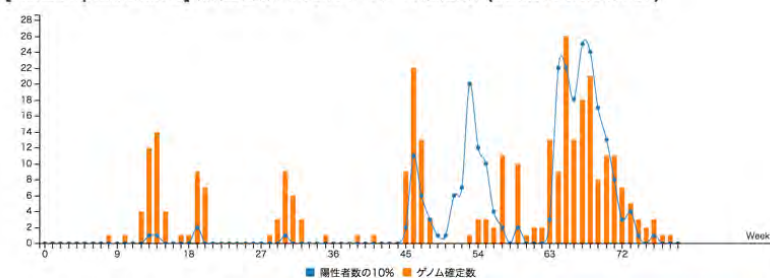
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



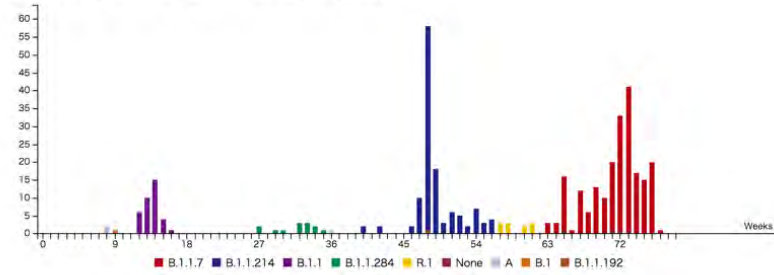
[Asia/Japan/Ehime] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



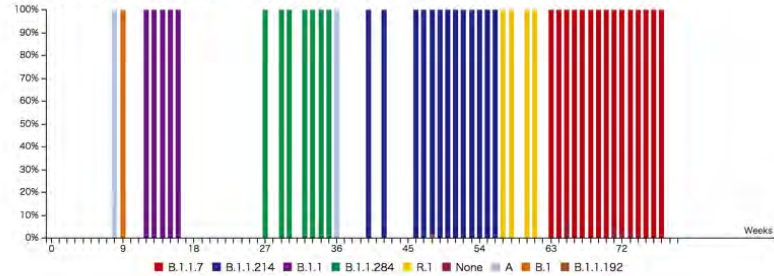
[陽性者数の計算について(集計元) 情報-NHKまとめ(都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分(地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

高知県

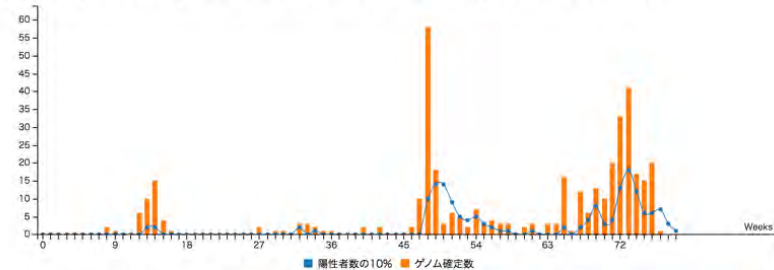
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



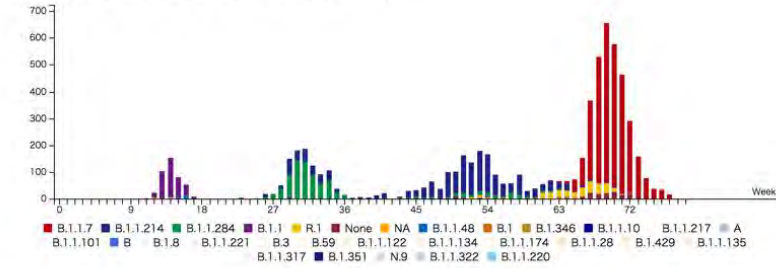
[Asia/Japan/Kochi] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



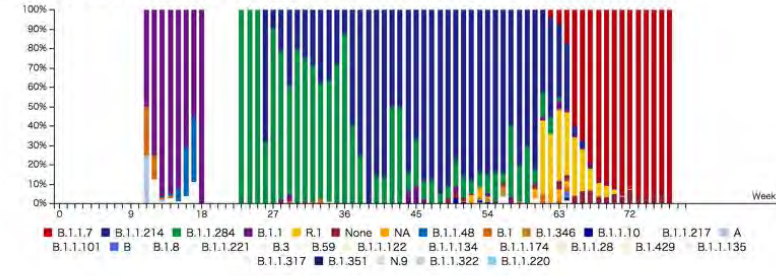
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

福岡県

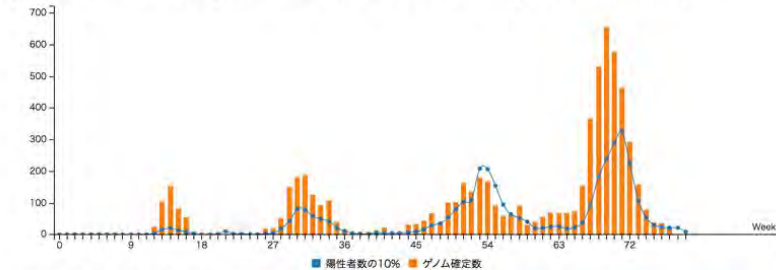
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



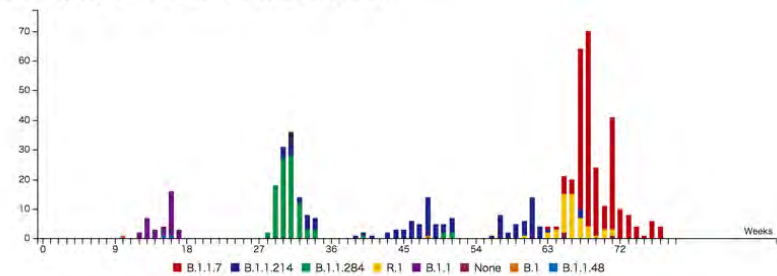
[Asia/Japan/Fukuoka] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



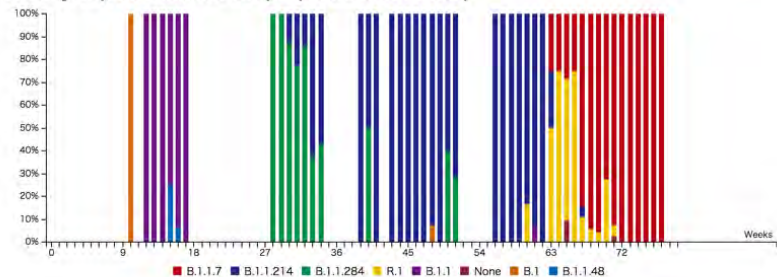
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

佐賀県

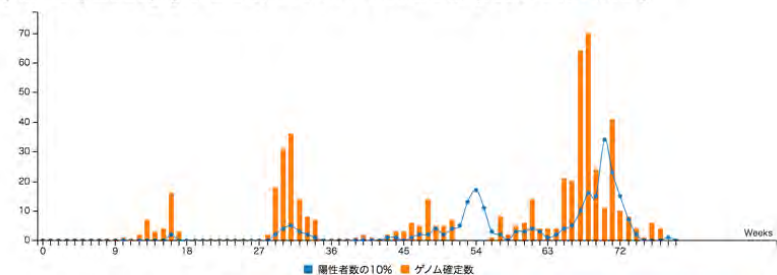
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



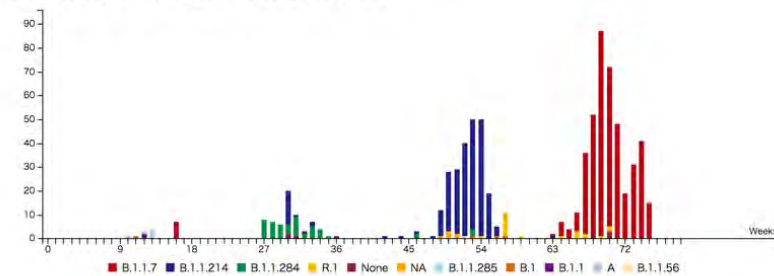
[Asia/Japan/Saga] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



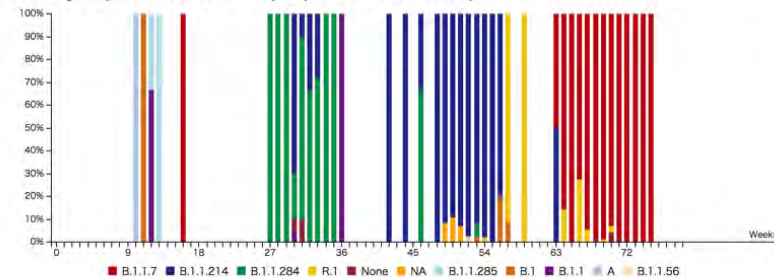
[陽性者数の計算について (集計元) | 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

長崎県

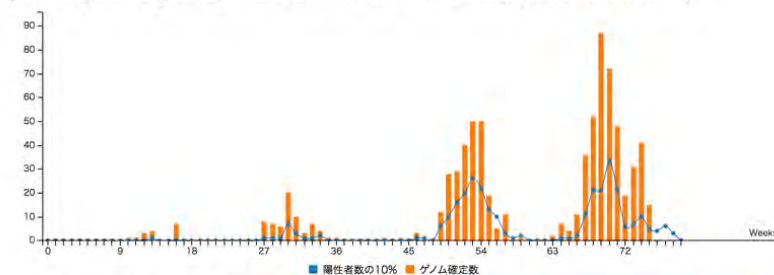
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



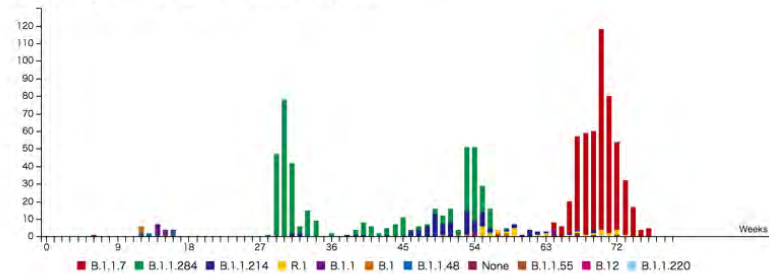
[Asia/Japan/Nagasaki] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



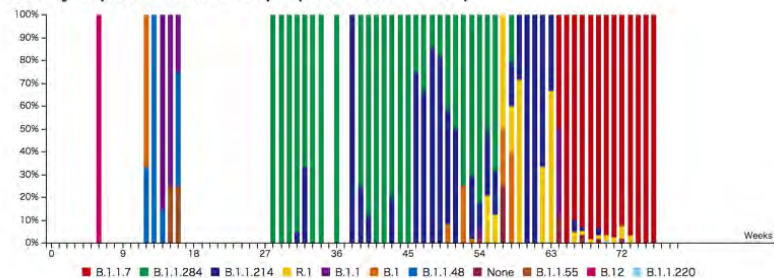
[陽性者数の計算について (集計元) | 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

熊本県

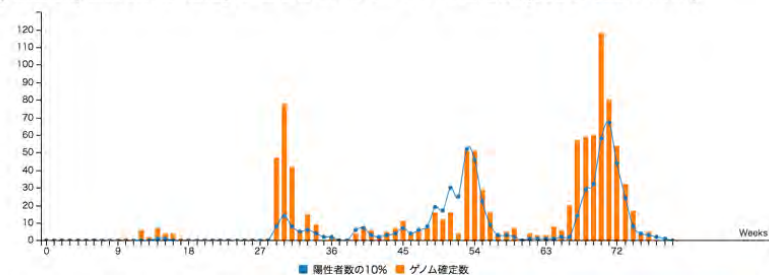
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



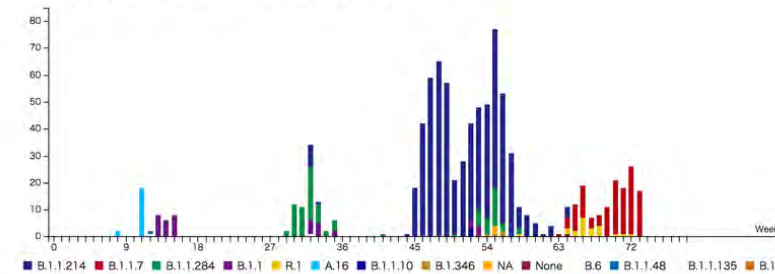
[Asia/Japan/Kumamoto] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



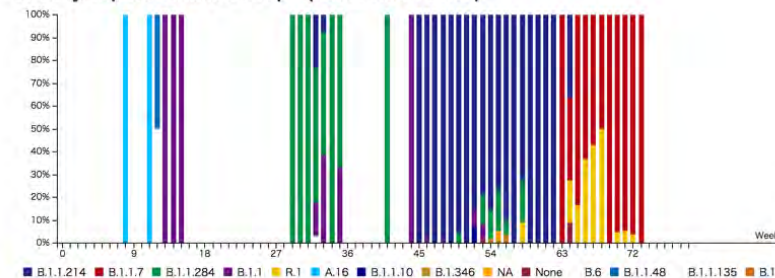
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

大分県

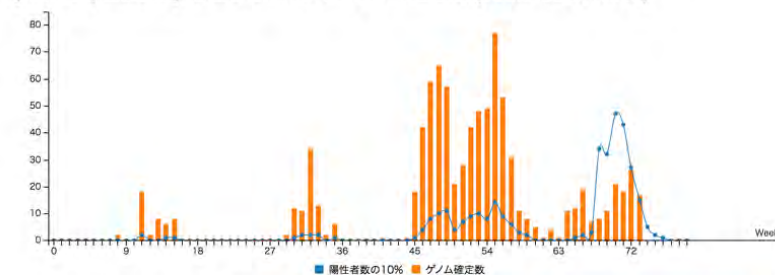
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



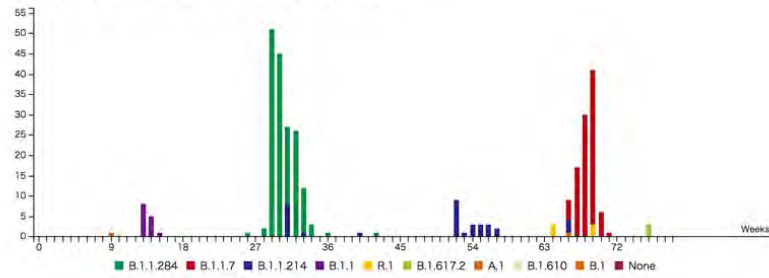
[Asia/Japan/Oita] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



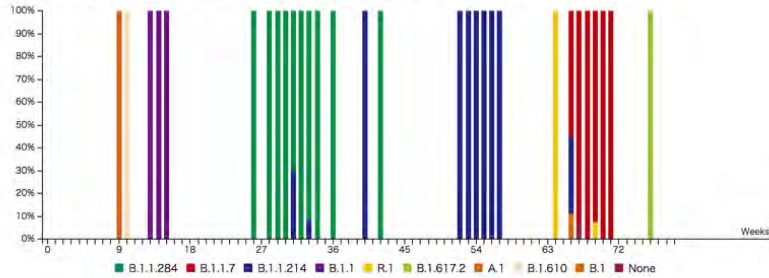
[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>
 [ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
 (いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

宮崎県

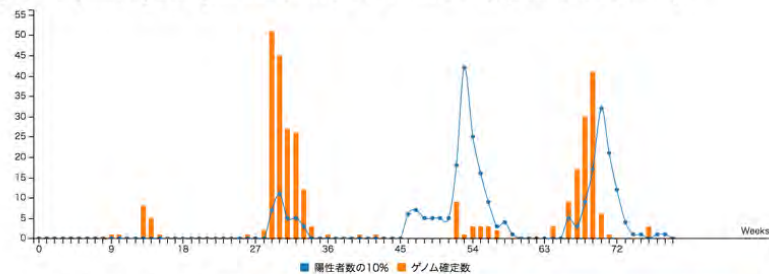
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Miyazaki] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

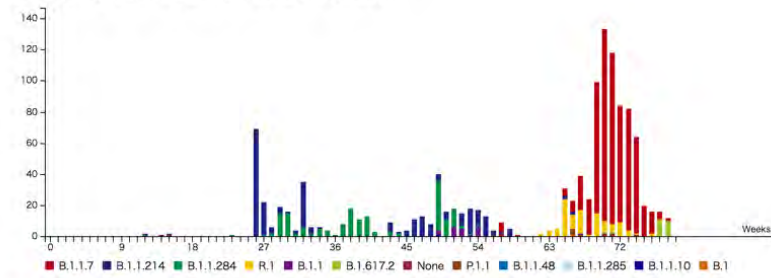


[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

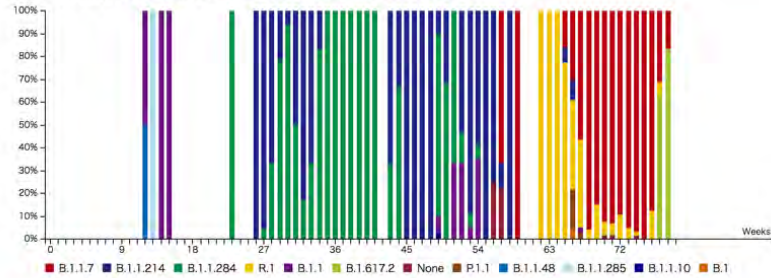
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

鹿児島県

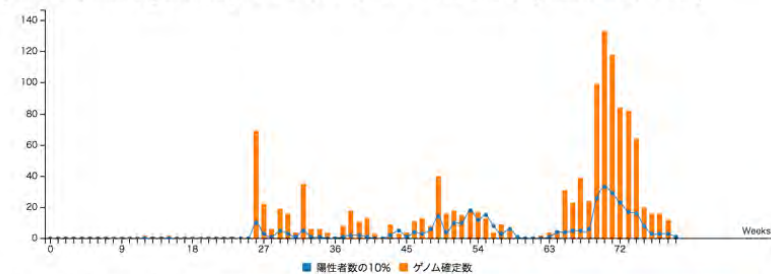
Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Kagoshima] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)

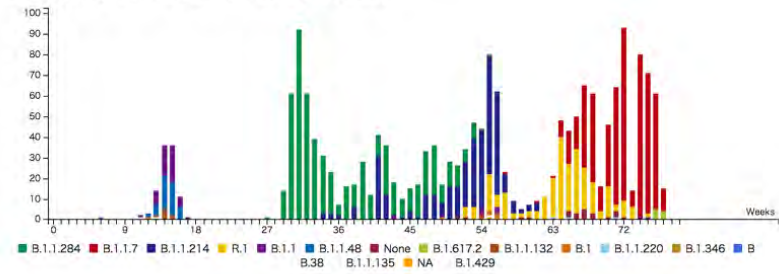


[陽性者数の計算について (集計元) 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

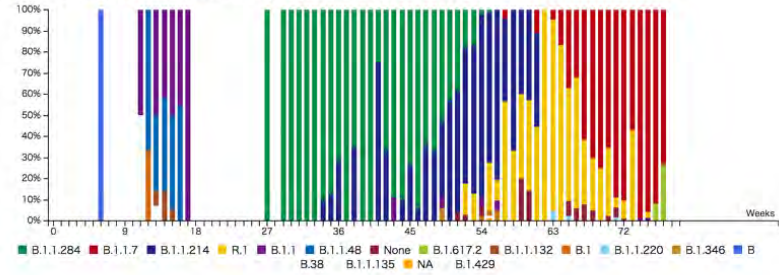
[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

沖縄県

Weekly Top 30 Graph (count each week)



Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



[Asia/Japan/Okinawa] 陽性者数の10% / ゲノム確定数 (count each week)



[陽性者数の計算について (集計元)] 情報:NHKまとめ (都道府県別の感染者数より) <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

[ゲノム確定数の計算] 感染研での解読分、自治体での解読分 (地方衛生研究所)、民間検査会社での解読分の合計。
(いずれも感染研ゲノムセンター把握分を対象として集計実施)

飲食店における感染対策チェックリストの遵守状況と クラスター発生との関連についての調査

資料5

調査概要

新型コロナウイルスの感染リスクが高いと考えられる飲食店において、国の推奨しているチェックリストによる対策が、クラスターとの関連性があるか、詳細な検証を行うもの。

2020年10月～2021年5月にクラスター（※1）の発生した12施設（和歌山県8施設、岐阜県2施設、沖縄県（宮古島）2施設）及びコントロール群（※2）19施設（すべて宮古島）に対し、有症者・接触・飛沫・エアロゾル感染対策を中心として、計18問の質問アンケート調査を実施。

※1 クラスターは、上記期間中に8人以上の感染者が生じた施設とする。

※2 コントロール群は、同期間中に感染者数2人以下の施設で、クラスターの発生した施設と規模や業務形態が同程度の施設を抽出した。

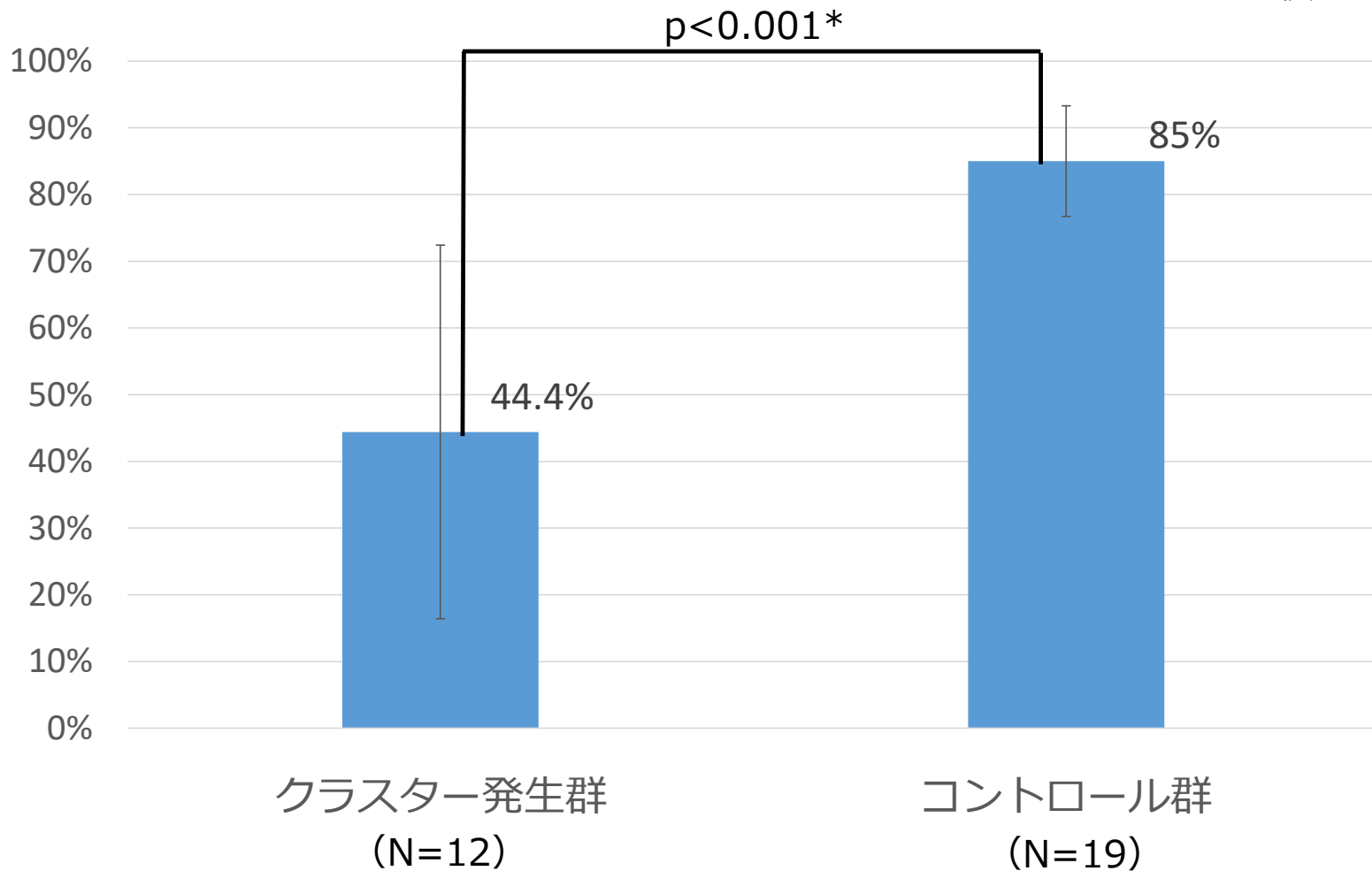
結果・考察

- 感染対策の遵守率は、クラスターが発生した施設で低かった
（遵守率の平均44.4%※） ※ これに対し、コントロール群における感染対策の遵守率の平均は85.0%
 - 遵守率 60%未満：クラスター発生12施設中9施設（75%）
 - 遵守率 80%以上：クラスター発生12施設中1施設（8.3%）
- 飲食店におけるクラスター対策として以下の対応との関連性が高いと考えられる。
 - 他のグループとの間にアクリル板を設置
 - 他のグループとの距離を1メートル以上取る
 - 飲食時以外のマスク着用を促す
 - トイレなどに消毒設備を設置
- その他、就業時の検温、症状がみられる際の検査、手指衛生、マスク着用による接客、定期的な換気など、店舗スタッフ側の対応も有用な可能性が示唆される。¹

クラスターの有無における、感染対策の遵守率 (アンケートで回答のあった質問のうち、対策を行っていると答えた割合)

チェックリストの感染対策遵守率

* t 検定



感染対策の遵守率

(アンケートで回答のあった質問のうち、対策を行っていると感じた割合)

遵守率	クラスターの施設中の割合	コントロール群の割合
60%未満 ※	9/12 (75%)	0/19 (0%)
70%以上	3/12 (25%)	19/19 (100%)
↳ 80%以上	1/12 (8.3%)	13/19 (68.4%)

※ 60%以上70%未満の遵守率の施設がなかったため、同区間の値は表示していない

感染対策の遵守率70%以上かつクラスターの発生した3施設でアンケート18項目のうち、該当対策を行えていなかった項目

(実施していた項目/回答のあったアンケート項目数)

アンケート項目	A施設 (17/18)	B施設 (14/18)	C施設 (14/18)
他のグループとの距離を1メートル以上とっている	○	×	×
他のグループとの間にアクリル板が設置されている	○	×	×
屋外を含めて客に喫煙スペースを提供していない	×	×	○
カラオケを提供していない	○	×	×
2方向の窓やドアを常に開けている	○	○	×

3

【アンケート調査用紙】

※ アンケート項目は、右記の計18問。

※ アンケート調査項目は、2021年4月30日に内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長、厚生労働省生活衛生・食品安全審議官、農林水産省食料産業局長の連名で出された事務連絡を参考にして作成。

※ 各施設でアンケート用紙に記載頂いた上で回収するか、厚生労働省疫学・データ班から該当施設に電話でアンケート調査を実施した。

※ クラスタが発生した施設については、クラスタ発生当時の感染対策について調査。

協力：高山義浩先生

(厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進本部 参与)

飲食店における感染対策チェックリスト

有症者対策

- 入店者に対して体温測定と体調確認をしている。
- スタッフは就業時に体温測定と体調確認をしている。
- スタッフに症状を認めるときは検査を受けさせている/保健所の指示に従っている/休ませている（スタッフに症状が出たことがない場合は空欄とする）

接触感染対策

- 店内入り口に消毒整備を設置している。
- ビュッフェスタイルでの提供は行っていない。
- 客が入れ替わるタイミングでテーブル等を消毒している。
- トイレなど公共の場に消毒整備を設置している。
- トイレにペーパータオルを設置している。
- スタッフは客が触れた物を扱ったあと手指衛生を行っている

飛沫感染対策

- 他のグループとの距離を1メートル以上とっている。
- 他のグループとの間にアクリル板が設置されている。
- 飲食時以外はマスクを着用するよう客に促している。
- スタッフは常にマスクを着用して接客している。
- 屋外を含めて客に喫煙スペースを提供していない。

エアロゾル感染対策

- カラオケを提供していない。
- 2方向の窓やドアを常に開けている。
- 1方向の窓やドアを常に開けている。
- 窓やドアを開けて定期的に換気している

参 考 資 料

クラスターとの関連性が考えられる感染対策

アンケート項目	クラスターの発生した施設の中で、該当対策を行っていた数 (%)	クラスターの発生していない施設の中で、該当対策を行っていた数 (%)	Pearson χ^2 検定のP値
スタッフは就業時に体温測定と体調確認をしている	6/11 (54.5%)	19/19 (100%)	0.001
スタッフに症状を認めるときは検査を受けさせている/保健所の指示に従っている/休ませている	4/10 (40%)	10/11 (90.9%)	0.040
客が入れ替わるタイミングでテーブル等を消毒している	6/10 (60%)	19/19 (100%)	0.003
トイレなど公共の場に消毒整備を設置している	5/10 (50%)	19/19 (100%)	<0.001
トイレにペーパータオルを設置している	8/10 (80%)	19/19 (100%)	0.043
スタッフは客が触れた物を扱ったあと手指衛生を行っている	6/10 (60%)	19/19 (100%)	0.003
他のグループとの距離を1メートル以上とっている	2/11 (18.2%)	18/19 (94.7%)	<0.001
他のグループとの間にアクリル板が設置されている	1/11 (9.1%)	17/19 (89.5%)	<0.001
飲食時以外はマスクを着用するよう客に促している	4/12 (33.3%)	17/19 (89.5%)	0.001
スタッフは常にマスクを着用して接客している	6/12 (50%)	18/19 (94.7%)	0.004
カラオケを提供していない	2/12 (16.7%)	13/19 (68.4%)	0.005
窓やドアを開けて定期的に換気している	6/10 (60%)	18/19 (94.7%)	0.019

6

クラスターとの関連性の可能性がある感染対策

アンケート項目	クラスターの発生した施設の中で、該当対策を行っていた数 (%)	クラスターの発生していない施設の中で、該当対策を行っていた数 (%)	Pearson χ^2 検定のP値
店内入り口に消毒整備を設置している	10/12 (83.3%)	19/19 (100%)	0.066

クラスターとの関連性で有意でなかった感染対策

アンケート項目	クラスターの発生した施設の中で、該当対策を行っていた数 (%)	クラスターの発生していない施設の中で、該当対策を行っていた数 (%)	Pearson χ^2 検定のP値
入店者に対して体温測定と体調確認をしている	7/11 (63.6%)	16/19 (84.2%)	0.20
ビュッフェスタイルでの提供は行っていない (※)	10/10 (100%)	17/19 (89.5%)	0.29
屋外を含めて客に喫煙スペースを提供していない	4/12 (33.3%)	8/19 (42.1%)	0.63
2方向の窓やドアを常に開けている	2/10 (20%)	9/19 (47.4%)	0.15
1方向の窓やドアを常に開けている	4/10 (40%)	9/19 (47.4%)	0.70

※ 今調査におけるクラスターの発生した施設の中では、ビュッフェスタイルの飲食店はなかった

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長及び区域変更

令和 3 年 7 月 8 日
新型コロナウイルス感染症
対 策 本 部 長

新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成 24 年法律第 31 号）第 32 条第 1 項の規定に基づき、令和 3 年 4 月 23 日、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言をしたところであるが、下記のとおり、緊急事態措置を実施すべき期間を延長するとともに区域を変更することとし、令和 3 年 7 月 12 日から適用することとしたため、同条第 3 項の規定に基づき、報告する。

記

1. 緊急事態措置を実施すべき期間

令和 3 年 4 月 25 日（沖縄県については、同年 5 月 23 日、東京都については、同年 7 月 12 日）から 8 月 22 日までとする。ただし、緊急事態措置を実施する必要がなくなつたと認められるときは、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 32 条第 5 項の規定に基づき、速やかに緊急事態を解除することとする。

2. 緊急事態措置を実施すべき区域

東京都及び沖縄県の区域とする。

3. 緊急事態の概要

新型コロナウイルス感染症については、

- ・肺炎の発生頻度が季節性インフルエンザにかかった場合に比して相当程度高いと認められること、かつ、
- ・都道府県を越えて感染が拡大し、又はまん延しており、それに伴い医療提供体制・公衆衛生体制に支障が生じてきていることから、国民の生命及び健康に著しく重大な被害を与えるおそれがあり、かつ、全国的かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある事態が発生したと認められる。

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示の 全部を変更する公示

令和3年7月8日
新型コロナウイルス感染症
対策本部長

新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）第31条の4第3項の規定に基づき、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示（令和3年4月1日）の全部を次のとおり変更し、令和3年7月12日から適用することとしたので、公示する。

記

(1) まん延防止等重点措置を実施すべき期間

令和3年4月20日から8月22日までとする。（2）の各区域におけるまん延防止等重点措置を実施すべき期間は次のとおりである。

- ・埼玉県、千葉県及び神奈川県については、令和3年4月20日から8月22日までとする。
- ・大阪府については、令和3年6月21日から8月22日までとする。

ただし、まん延防止等重点措置を実施する必要がなくなったと認められるときは、新型インフルエンザ等対策特別措置法第31条の4第4項の規定に基づき、速やかにまん延防止等重点措置を集中的に実施する必要がある事態が終了した旨を公示することとする。

(2) まん延防止等重点措置を実施すべき区域

埼玉県、千葉県、神奈川県及び大阪府の区域とする。

(3) まん延防止等重点措置の概要

新型コロナウイルス感染症については、

- ・肺炎の発生頻度が季節性インフルエンザにかかった場合に比して相当程度高いと認められること、かつ、
- ・特定の区域が属する都道府県において感染が拡大するおそれがあり、それに伴い医療提供体制・公衆衛生体制に支障が生ずるおそれがあることから、国民の生命及び健康に著しく重大な被害を与えるおそれがあり、かつ、特定の区域において、国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある当該区域におけるまん延を防止するため、まん延防止等重点措置を集中的に実施する必要がある事態が発生したと認められる。

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針

令和 2 年 3 月 28 日（令和 3 年 7 月 8 日変更）

新型コロナウイルス感染症対策本部決定

政府は、新型コロナウイルス感染症への対策は危機管理上重大な課題であるとの認識の下、国民の生命を守るため、これまで水際での対策、まん延防止、医療の提供等について総力を挙げて講じてきた。国内において、感染経路の不明な患者の増加している地域が散発的に発生し、一部の地域で感染拡大が見られてきたため、令和 2 年 3 月 26 日、新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成 24 年法律第 31 号。以下「法」という。）附則第 1 条の 2 第 1 項及び第 2 項の規定により読み替えて適用する法第 14 条に基づき、新型コロナウイルス感染症のまん延のおそれが高いことが、厚生労働大臣から内閣総理大臣に報告され、同日に、法第 15 条第 1 項に基づく政府対策本部が設置された。

国民の生命を守るためには、感染者数を抑えること及び医療提供体制や社会機能を維持することが重要である。

その上で、まずは、後述する「三つの密」を徹底的に避ける、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を行うことをより一層推進し、さらに、積極的疫学調査等によりクラスター（患者間の関連が認められた集団。以下「クラスター」という。）の発生を抑えることが、いわゆるオーバーシュートと呼ばれる爆発的な感染拡大（以下「オーバーシュート」という。）の発生を防止し、感染者、重症者及び死亡者の発生を最小限に食い止めるためには重要である。

また、必要に応じ、外出自粛の要請等の接触機会の低減を組み合わせることで実施することにより、感染拡大の速度を可能な限り抑制することが、上記の封じ込めを図るためにも、また、医療提供体制を崩壊させないためにも、重要である。

併せて、今後、国内で感染者数が急増した場合に備え、重症者等への対応を中心とした医療提供体制等の必要な体制を整えるよう準備することも必要である。

既に国内で感染が見られる新型コロナウイルス感染症に関しては、

- ・ 肺炎の発生頻度が、季節性インフルエンザにかかった場合に比して相当程度高く、国民の生命及び健康に著しく重大な被害を与えるおそれがあること
- ・ 感染経路が特定できない症例が多数に上り、かつ、急速な増加が確認されており、医療提供体制もひっ迫してきていることから、全国的かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある状況であること

が、総合的に判断されている。

このようなことを踏まえて、令和2年4月7日に、新型コロナウイルス感染症対策本部長（以下「政府対策本部長」という。）は法第32条第1項に基づき、緊急事態宣言を行った。緊急事態措置を実施すべき期間は令和2年4月7日から令和2年5月6日までの29日間であり、緊急事態措置を実施すべき区域（以下「緊急事態措置区域」という。）は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県及び福岡県とした。

以後、4月16日に、各都道府県における感染状況等を踏まえ、全都道府県について緊急事態措置区域とし、5月4日には、全都道府県において緊急事態措置を実施すべき期間を令和2年5月31日まで延長することとした。その後、各都道府県における感染状況等を踏まえ、段階的に緊急事態措置区域を縮小していった。

5月25日に、感染状況等を分析し、総合的に判断した結果、全ての都道府県が緊急事態措置区域に該当しないこととなったため、政府対策本部長は、法第32条第5項に基づき、緊急事態解除宣言を行った。

その後、新規報告数は、10月末以降増加傾向となり、11月以降その傾向が強まっていった。12月には首都圏を中心に新規報告数は過去最多の状況が継続し、医療提供体制がひっ迫している地域が見受けられた。

こうした感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況に鑑み、令和3年1月7日、政府対策本部長は、法第32条第1項に基づき、緊急事態宣言を行った。緊急事態措置を実施すべき期間は令和3年1月8日から令和3年2月7日までの31日間であり、緊急事態措置区域は東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県とした。

令和3年1月13日には、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域に栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県を加える変更を行った。

令和3年2月2日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、2月8日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域を埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県の10都府県に変更するとともに、これらの区域において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年3月7日まで延長することとした。

政府は、新型コロナウイルス感染症に係る対策を強化するため、新型インフルエンザ等まん延防止等重点措置（以下「まん延防止等重点措置」という。）の創設などを含む新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律案を国会に提出し、令和3年2月3日に成立した。これにより改正された法は令和3年2月13日に施行された。

令和3年2月26日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、3月1日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域を埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県の4都県に変更することとした。

令和3年3月5日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、法第32条第3項に基づき、引き続き埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県の4都県を緊急事態措置区域とし、これらの区域において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年3月21日まで延長することとした。

令和3年3月18日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対

する負荷の状況について分析・評価を行い、全ての都道府県が緊急事態措置区域に該当しないこととなったため、緊急事態措置を実施すべき期間とされている3月21日をもって緊急事態措置を終了した。

緊急事態宣言の解除後は、「緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染症への対応」（令和3年3月18日新型コロナウイルス感染症対策本部とりまとめ。以下「緊急事態宣言解除後の対応」という。）を踏まえ、社会経済活動を継続しつつ、再度の感染拡大を防止し、重症者・死亡者の発生を可能な限り抑制するための取組を進めていくこととした。

令和3年4月1日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、感染の再拡大を防止する必要性が高いこと等から、法第31条の4第1項に基づき、まん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月5日から令和3年5月5日までの31日間とし、まん延防止等重点措置を実施すべき区域（以下「重点措置区域」という。）を宮城県、大阪府及び兵庫県とする公示を行った。

令和3年4月9日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、4月12日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域に東京都、京都府及び沖縄県を加える変更を行うとともに、東京都におけるまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月12日から令和3年5月11日までの30日間とし、京都府及び沖縄県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月12日から令和3年5月5日までの24日間とする旨の公示を行った。

令和3年4月16日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、4月20日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域に埼玉県、千葉県、神奈川県及び愛知県を加える変更を行うとともに、埼玉県、千葉県、神奈川県及び愛知県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月20日から令和3年5月11日までの22日間とする旨の公示を行った。

新規報告数は令和3年3月上旬以降、大都市部を中心に増加が続き、重

症者数も増加が見られた。また、B.1.1.7 系統の変異株（アルファ株）の感染者の増加がみられ、急速に従来株からの置き換わりが進みつつある。

こうした状況を踏まえ、令和 3 年 4 月 23 日には、政府対策本部長は、法第 32 条第 1 項に基づき、緊急事態宣言を行った。緊急事態措置を実施すべき期間は令和 3 年 4 月 25 日から令和 3 年 5 月 11 日までの 17 日間であり、緊急事態措置区域は東京都、京都府、大阪府及び兵庫県とした。

また、同じく令和 3 年 4 月 23 日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、法第 31 条の 4 第 3 項に基づき、4 月 25 日以降については、重点措置区域に愛媛県を加え、緊急事態措置区域とされた東京都、京都府、大阪府及び兵庫県を重点措置区域から除外する変更を行うとともに、宮城県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を「令和 3 年 4 月 5 日から令和 3 年 5 月 5 日まで」から「令和 3 年 4 月 5 日から令和 3 年 5 月 11 日まで」、沖縄県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を「令和 3 年 4 月 12 日から令和 3 年 5 月 5 日まで」から「令和 3 年 4 月 12 日から令和 3 年 5 月 11 日まで」と変更し、愛媛県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和 3 年 4 月 25 日から令和 3 年 5 月 11 日までの 17 日間とする旨の公示を行った。

令和 3 年 5 月 7 日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、大都市部を中心に新規陽性者数が高い水準にあり、医療提供体制のひっ迫も見られることなどから、5 月 12 日以降については、法第 32 条第 3 項に基づき、緊急事態措置区域として東京都、京都府、大阪府及び兵庫県に加え、愛知県及び福岡県を追加する変更を行うとともに、これらの区域において緊急事態措置を実施すべき期間を令和 3 年 5 月 31 日まで延長することとした。

また、同じく令和 3 年 5 月 7 日には、5 月 9 日以降については、法第 31 条の 4 第 3 項に基づき、重点措置区域に北海道、岐阜県及び三重県を加え、5 月 12 日以降については、宮城県を除外する変更を行うとともに、北海道、岐阜県及び三重県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を

令和3年5月9日から令和3年5月31日までの23日間とし、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛媛県及び沖縄県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年5月31日まで延長する旨の公示を行った。

令和3年5月14日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、感染が急速に拡大している地域があり、医療提供体制のひっ迫も見られることなどから、5月16日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域として東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県に加え、令和3年5月31日までの期間において、北海道、岡山県及び広島県を追加する変更を行った。

また、同じく令和3年5月14日には、5月16日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域から北海道を除外し、重点措置区域に埼玉県、千葉県、神奈川県、岐阜県、三重県、愛媛県及び沖縄県に加え、群馬県、石川県及び熊本県を追加する変更を行うとともに、群馬県、石川県及び熊本県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年5月16日から令和3年6月13日までの29日間とする旨の公示を行った。

令和3年5月21日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、感染が急速に拡大している地域があり、医療提供体制のひっ迫も見られることなどから、5月23日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域として北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県及び福岡県に加え、沖縄県を追加する変更を行うとともに、沖縄県において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年5月23日から令和3年6月20日までの29日間とする変更を行った。

また、同じく令和3年5月21日には、5月23日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域から愛媛県及び沖縄県を除外する旨の公示を行った。

令和3年5月28日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対

する負荷の状況について分析・評価を行い、新規陽性者数が依然として高い水準にあり、医療提供体制のひっ迫も見られることなどから、法第32条第3項に基づき、北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県及び福岡県において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年6月20日まで延長することとした。

また、同じく令和3年5月28日には、第31条の4第3項に基づき、埼玉県、千葉県、神奈川県、岐阜県及び三重県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年6月20日まで延長する旨の公示を行った。

令和3年6月10日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、群馬県、石川県及び熊本県について、まん延防止等重点措置を実施すべき期間とされている6月13日をもってまん延防止等重点措置を終了する旨の公示を行った。

令和3年6月17日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、法第32条第3項に基づき、新規陽性者数の減少及び医療提供体制等への負荷の軽減が見られる、北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県及び福岡県について、緊急事態措置を実施すべき期間とされている6月20日をもって緊急事態措置区域から除外し、緊急事態措置区域を沖縄県のみに変更するとともに、沖縄県において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年7月11日まで延長することとした。

また、重点措置区域については、同じく令和3年6月17日に、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、岐阜県及び三重県について、まん延防止等重点措置を実施すべき期間とされている6月20日をもってまん延防止等重点措置を終了する旨の公示を行うとともに、法第31条の4第3項に基づき、6月21日以降については、従前、緊急事態措置区域とされていた北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県を追加する変更を行い、また、これらの都道府県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年6月21日から令和3年7月11日までの21日間とし、埼玉県、千葉県及び

神奈川県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年7月11日まで延長する旨の公示を行った。

令和3年7月8日に、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、新規陽性者数が高い水準にあり、増加傾向が見られることなどから、7月12日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域として、東京都を追加する変更を行うとともに、東京都において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年7月12日から令和3年8月22日までの42日間とし、沖縄県については、新規陽性者数が依然として高い水準にあり、医療提供体制のひっ迫も見られることなどから、緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年8月22日まで延長することとした。

また、重点措置区域については、同じく令和3年7月8日に、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、北海道、東京都、愛知県、京都府、兵庫県及び福岡県について、まん延防止等重点措置を実施すべき期間とされている7月11日をもってまん延防止等重点措置を終了する旨の公示を行うとともに、法第31条の4第3項に基づき、埼玉県、千葉県、神奈川県及び大阪府においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年8月22日まで延長する旨の公示を行った。

なお、ワクチン接種が進捗する中で、医療提供体制への負荷の改善等が見られ、緊急事態措置または重点措置を実施する必要がなくなったと認められるときは、期間内であっても措置を解除する。

引き続き、「令和3年6月21日以降における取組」（令和3年6月17日新型コロナウイルス感染症対策本部とりまとめ。以下「令和3年6月21日以降の取組」という。）を踏まえ、感染の再拡大を防止するため、ワクチン接種の円滑化・加速化をはじめ効果的な対策を総合的に進めていくこととする。また、感染の再拡大が見られる場合には、速やかに効果的で強い感染対策等を講じるものとする。

本指針は、国民の生命を守るため、新型コロナウイルス感染症をめぐる状況を的確に把握し、政府や地方公共団体、医療関係者、専門家、事業者を含む国民が気持ちを一つにして、新型コロナウイルス感染症対策をさらに進めていくため、今後講じるべき対策を現時点で整理し、対策を実施するに当たって準拠となるべき統一的指針を示すものである。

一 新型コロナウイルス感染症発生の状況に関する事実

我が国においては、令和2年1月15日に最初の感染者が確認された後、令和3年7月6日までに、合計806,351人の感染者、14,879人の死亡者が確認されている。

令和2年4月から5月にかけての緊急事態宣言下において、東京都、大阪府、北海道、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、石川県、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県及び福岡県の13都道府県については、特に重点的に感染拡大の防止に向けた取組を進めていく必要があったことから、本対処方針において特定都道府県（緊急事態宣言の対象区域に属する都道府県）の中でも「特定警戒都道府県」と位置付けて対策を促してきた。

また、これら特定警戒都道府県以外の県についても、都市部からの人の移動等によりクラスターが都市部以外の地域でも発生し、感染拡大の傾向が見られ、そのような地域においては、医療提供体制が十分に整っていない場合も多いことや、全都道府県が足並みをそろえた取組が行われる必要があったことなどから、全ての都道府県について緊急事態措置区域として感染拡大の防止に向けた対策を促してきた。

その後、5月1日及び4日の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（以下「専門家会議」という。）の見解を踏まえ、引き続き、それまでの枠組みを維持し、全ての都道府県について緊急事態措置区域（特定警戒都道府県は前記の13都道府県とする。）として感染拡大の防止に向けた取組を進めてきた。

その結果、全国的に新規報告数の減少が見られ、また、新型コロナウイルス感染症に係る重症者数も減少傾向にあることが確認され、さらに、病

床等の確保も進み、医療提供体制のひっ迫の状況も改善されてきた。

5月14日には、その時点における感染状況等の分析・評価を行い、総合的に判断したところ、北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府及び兵庫県の8都道府県については、引き続き特定警戒都道府県として、特に重点的に感染拡大の防止に向けた取組を進めていくこととなった。

また、5月21日には、同様に、分析・評価を行い、総合的に判断したところ、北海道、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県の5都道県については、引き続き特定警戒都道府県として、特に重点的に感染拡大の防止に向けた取組を進めていく必要があった。

その後、5月25日に改めて感染状況の変化等について分析・評価を行い、総合的に判断したところ、全ての都道府県が緊急事態措置区域に該当しないこととなったため、同日、緊急事態解除宣言が発出された。

緊急事態宣言解除後、主として7月から8月にかけて、特に大都市部の歓楽街における接待を伴う飲食店を中心に感染が広がり、その後、周辺地域、地方や家庭・職場などに伝播し、全国的な感染拡大につながっていった。

この感染拡大については、政府及び都道府県、保健所設置市、特別区（以下「都道府県等」という。）が連携し、大都市の歓楽街の接待を伴う飲食店等、エリア・業種等の対象を絞った上で、重点的なPCR検査の実施や営業時間短縮要請など、メリハリの効いた対策を講じることにより、新規報告数は減少に転じた。

また、8月7日の新型コロナウイルス感染症対策分科会（以下「分科会」という。）においては、今後想定される感染状況に応じたステージの分類を行うとともに、ステージを判断するための指標（以下「ステージ判断の指標」という。）及び各ステージにおいて講じるべき施策が提言された。その後、2度の緊急事態宣言の経験を通じ、感染の早期探知のための指標及びステージ判断における、よりの確な評価方法が明らかになってきたことを踏まえ、令和3年4

月 15 日の分科会提言において、感染の再拡大防止に向けて、感染の予兆を早期に探知するため、ステージ判断の指標等の精緻化及び補強が行われた。

この提言を踏まえ、今後、緊急事態宣言の発出及び解除（緊急事態措置区域の追加及び除外を含む。）の判断に当たっては、以下を基本として判断することとする。その際、「ステージ判断の指標」は、提言において、あくまで目安であり、これらの指標をもって機械的に判断するのではなく、政府や都道府県はこれらの指標を総合的に判断すべきとされていることに留意する。また、緊急事態措置区域を定めるに当たっては、都道府県間の社会経済的なつながり等を考慮する。

（緊急事態宣言発出の考え方）

国内での感染拡大及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫の状況（特に、分科会提言におけるステージⅣ相当の対策が必要な地域の状況等）を踏まえて、全国的かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがあるか否かについて、政府対策本部長が新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会（以下「基本的対処方針分科会」という。）の意見を十分踏まえた上で総合的に判断する。

（緊急事態宣言解除の考え方）

国内での感染及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫の状況（特に、緊急事態措置区域が、分科会提言におけるステージⅢ相当の対策が必要な地域になっているか等）を踏まえて、政府対策本部長が基本的対処方針分科会の意見を十分踏まえた上で、変異株が拡大する中で、より慎重に総合的に判断する。

なお、緊急事態宣言の解除後の対策の緩和については段階的に行い、必要な対策はステージⅡ相当以下に下がるまで続ける。

令和 2 年 8 月 28 日には政府対策本部において、「新型コロナウイルス感染症に関する今後の取組」がとりまとめられ、重症化するリスクが高い高齢者や基礎疾患がある者への感染防止を徹底するとともに、医療資源を重症者に重点化すること、また、季節性インフルエンザの流行期に備え、検

査体制、医療提供体制を確保・拡充することとなった。

夏以降、減少に転じた新規報告数は、10月末以降増加傾向となり、11月以降その傾向が強まっていったことから、クラスター発生時の大規模・集中的な検査の実施による感染の封じ込めや感染拡大時の保健所支援の広域調整等、政府と都道府県等が密接に連携しながら、対策を講じていった。また、10月23日の分科会においては、「感染リスクが高まる「5つの場面」」を回避することや、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を周知することなどの提言がなされた。12月には首都圏を中心に新規報告数は過去最多の状況が継続し、医療提供体制がひっ迫している地域が見受けられた。

こうした感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況に鑑み、令和3年1月7日、政府対策本部長は、法第32条第1項に基づき、緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年1月8日から令和3年2月7日までの31日間とし、緊急事態措置区域を東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県とする緊急事態宣言を行った。

令和3年1月13日には、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域に栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県を加える変更を行った。

令和3年2月2日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、2月8日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域を埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県の10都府県に変更するとともに、これらの区域において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年3月7日まで延長した。

令和3年2月26日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、3月1日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域を埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県の4都県に変更することとした。

令和3年3月5日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対す

る負荷の状況について分析・評価を行い、法第 32 条第 3 項に基づき、引き続き埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県 の 4 都県を緊急事態措置区域とし、これらの区域において緊急事態措置を実施すべき期間を令和 3 年 3 月 21 日まで延長することとした。

令和 3 年 3 月 18 日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、全ての都道府県が緊急事態措置区域に該当しないこととなったため、緊急事態措置を実施すべき期間とされている 3 月 21 日をもって緊急事態措置を終了することとした。

また、3 月 18 日、政府対策本部において、「緊急事態宣言解除後の対応」がとりまとめられ、社会経済活動を継続しつつ、再度の感染拡大を防止し、重症者・死亡者の発生を可能な限り抑制するための取組を進めていくこととなった。

令和 3 年 2 月 3 日に成立した新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律（令和 3 年法律第 5 号）の施行（以下「改正法の施行」という。）を踏まえ、まん延防止等重点措置の実施及び終了の判断に当たっては、以下を基本として判断する。その際、「ステージ判断の指標」は、分科会提言において、あくまで目安であり、これらの指標をもって機械的に判断するのではなく、政府や都道府県はこれらの指標を総合的に判断すべきとされていることに留意する。また、提言において示された「早期探知のための指標」等も活用し、感染拡大の予兆を早期に探知し、まん延防止等重点措置を含む様々な強い感染対策等を早期に講じるものとする。

（まん延防止等重点措置の実施の考え方）

都道府県の特定の区域において感染が拡大し、当該都道府県全域に感染が拡大するおそれがあり、それに伴い医療提供体制・公衆衛生体制に支障が生ずるおそれがあると認められる事態が発生していること（特に、分科会提言におけるステージⅢ相当の対策が必要な地域の状況になっている等）を踏まえ、政府対策本部長が基本的対処方針分科会の意見を十分踏まえた上で総合的に判断する。

また、都道府県がステージII相当の対策が必要な地域においても、当該都道府県の特定の区域において感染が急速に拡大し、都道府県全域に感染が拡大するおそれがあると認められる場合や、都道府県がステージIII相当の対策が必要な地域において、感染が減少傾向であっても、当該都道府県の特定の区域において感染水準が高い又は感染が拡大しているなど、感染の再拡大を防止する必要性が高い場合に、政府対策本部長が基本的対処方針分科会の意見を十分踏まえた上で総合的に判断する。

(まん延防止等重点措置の終了の考え方)

都道府県の感染及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫の状況(特に、まん延防止等重点措置を実施している区域の感染状況が、都道府県全域に感染を拡大させるおそれがない水準か等)を踏まえて、政府対策本部長が基本的対処方針分科会の意見を十分踏まえた上で総合的に判断する。

令和3年4月1日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、感染の再拡大を防止する必要性が高いこと等から、法第31条の4第1項に基づき、まん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月5日から令和3年5月5日までの31日間とし、重点措置区域を宮城県、大阪府及び兵庫県とする公示を行った。

令和3年4月9日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、4月12日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域に東京都、京都府及び沖縄県を加える変更を行うとともに、東京都におけるまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月12日から令和3年5月11日までの30日間とし、京都府及び沖縄県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月12日から令和3年5月5日までの24日間とする旨の公示を行った。

令和3年4月16日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、4月20日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域に埼玉県、千葉県、神奈川県

及び愛知県を加える変更を行うとともに、埼玉県、千葉県、神奈川県及び愛知県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月20日から令和3年5月11日までの22日間とする旨の公示を行った。

その後、令和3年4月23日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、政府対策本部長は、法第32条第1項に基づき、緊急事態宣言を行った。緊急事態措置を実施すべき期間は令和3年4月25日から令和3年5月11日までの17日間であり、緊急事態措置区域は東京都、京都府、大阪府及び兵庫県とした。

また、同じく令和3年4月23日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、法第31条の4第3項に基づき、4月25日以降については、重点措置区域に愛媛県を加え、緊急事態措置区域とされた東京都、京都府、大阪府及び兵庫県を重点措置区域から除外する変更を行うとともに、宮城県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を「令和3年4月5日から令和3年5月5日まで」から「令和3年4月5日から令和3年5月11日まで」、沖縄県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を「令和3年4月12日から令和3年5月5日まで」から「令和3年4月12日から令和3年5月11日まで」と変更し、愛媛県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年4月25日から令和3年5月11日までの17日間とする旨の公示を行った。

令和3年5月7日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、5月12日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域として東京都、京都府、大阪府及び兵庫県に加え、愛知県及び福岡県を追加する変更を行うとともに、これらの区域において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年5月31日まで延長することとした。

また、同じく令和3年5月7日には、5月9日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域に北海道、岐阜県及び三重県を加え、5月12日以降については、宮城県を除外する変更を行うとともに、北海

道、岐阜県及び三重県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年5月9日から令和3年5月31日までの23日間とし、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛媛県及び沖縄県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年5月31日まで延長する旨の公示を行った。

令和3年5月14日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、5月16日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域として東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県に加え、令和3年5月31日までの期間において、北海道、岡山県及び広島県を追加する変更を行った。

また、同じく令和3年5月14日には、5月16日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域から北海道を除外し、重点措置区域に埼玉県、千葉県、神奈川県、岐阜県、三重県、愛媛県及び沖縄県に加え、群馬県、石川県及び熊本県を追加する変更を行うとともに、群馬県、石川県及び熊本県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年5月16日から令和3年6月13日までの29日間とする旨の公示を行った。

令和3年5月21日に、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、5月23日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域として北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県及び福岡県に加え、沖縄県を追加する変更を行うとともに、沖縄県において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年5月23日から令和3年6月20日までの29日間とする変更を行った。

また、同じく令和3年5月21日に、5月23日以降については、法第31条の4第3項に基づき、重点措置区域から愛媛県及び沖縄県を除外する旨の公示を行った。

令和3年5月28日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、法第32条第3項に基づき、北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県及び福

岡山において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年6月20日まで延長することとした。

また、同じく令和3年5月28日には、第31条の4第3項に基づき、埼玉県、千葉県、神奈川県、岐阜県及び三重県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年6月20日まで延長する旨の公示を行った。

令和3年6月10日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、群馬県、石川県及び熊本県について、まん延防止等重点措置を実施すべき期間とされている6月13日をもってまん延防止等重点措置を終了する旨の公示を行った。

令和3年6月17日には、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、法第32条第3項に基づき、北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県及び福岡県について、緊急事態措置を実施すべき期間とされている6月20日をもって緊急事態措置区域から除外し、緊急事態措置区域を沖縄県のみに変更するとともに、沖縄県において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年7月11日まで延長することとした。

また、重点措置区域については、同じく令和3年6月17日に、岐阜県及び三重県について、まん延防止等重点措置を実施すべき期間とされている6月20日をもってまん延防止等重点措置を終了する旨の公示を行うとともに、法第31条の4第3項に基づき、6月21日以降については、従前、緊急事態措置区域とされていた北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県を追加する変更を行い、また、これらの都道府県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年6月21日から令和3年7月11日までの21日間とし、埼玉県、千葉県及び神奈川県においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年7月11日まで延長する旨の公示を行った。

また、同日の政府対策本部において、「令和3年6月21日以降の取組」がとりまとめられ、感染の再拡大を防止するため、ワクチン接種の円滑化・加速化をはじめ効果的な対策を総合的に進めていくこととなった。

令和3年7月8日に、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、7月12日以降については、法第32条第3項に基づき、緊急事態措置区域として、東京都を追加する変更を行うとともに、東京都において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年7月12日から令和3年8月22日までの42日間とし、沖縄県については、緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年8月22日まで延長することとした。

また、重点措置区域については、同じく令和3年7月8日に、感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行い、北海道、東京都、愛知県、京都府、兵庫県及び福岡県について、まん延防止等重点措置を実施すべき期間とされている7月11日をもってまん延防止等重点措置を終了する旨の公示を行うとともに、法第31条の4第3項に基づき、埼玉県、千葉県、神奈川県及び大阪府においてまん延防止等重点措置を実施すべき期間を令和3年8月22日まで延長する旨の公示を行った。

新型コロナウイルス感染症については、以下のような特徴がある。

- ・ 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人の割合や死亡する人の割合は年齢によって異なり、高齢者は高く、若者は低い傾向にある。令和2年6月から8月に診断された人における重症化する割合や死亡する割合は1月から4月までと比べて低下している。重症化する人の割合は約1.6%（50歳代以下で0.3%、60歳代以上で8.5%）、死亡する人の割合は、約1.0%（50歳代以下で0.06%、60歳代以上で5.7%）となっている。
- ・ 重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある人、妊娠後期の妊婦である。重症化のリスクとなる基礎疾患には、慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満がある。
- ・ 新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させる可能性がある期間は、発症の2日前から発症後7日から10日間程度とされている。

る。また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられている。

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、他の人に感染させているのは2割以下で、多くの方は他の人に感染させていないと考えられている。

- 新型コロナウイルス感染症は、主に飛沫感染や接触感染によって感染し、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら手が届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件（以下「三つの密」という。）の環境で感染リスクが高まる。このほか、飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりといった場面でも感染が起きやすく、注意が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査には、PCR検査、抗原定量検査、抗原定性検査等がある。新たな検査手法の開発により、検査の種類や症状に応じて、鼻咽頭ぬぐい液だけでなく、唾液や鼻腔ぬぐい液を使うことも可能になっている。なお、抗体検査は、過去に新型コロナウイルス感染症にかかったことがあるかを調べるものであるため、検査を受ける時点で感染しているかを調べる目的に使うことはできない。
- 新型コロナウイルス感染症の治療は、軽症の場合は経過観察のみで自然に軽快することが多く、必要な場合に解熱薬などの対症療法を行う。呼吸不全を伴う場合には、酸素投与やステロイド薬（炎症を抑える薬）・抗ウイルス薬の投与を行い、改善しない場合には人工呼吸器や体外式膜型人工肺（Extracorporeal membrane oxygenation：ECMO）等による集中治療を行うことがある。
- 一般的にウイルスは増殖・流行を繰り返す中で少しずつ変異していくものであり、新型コロナウイルスも約2週間で一か所程度の速度でその塩基が変異していると考えられている。現在、新たな変異株が世界各地で確認されてお

り、こうした新たな変異株に対して警戒を強めていく必要がある。国立感染症研究所では、こうした変異をリスク分析し、その評価に応じて、変異株を懸念される変異株 (Variant of Concern : VOC) と注目すべき変異株 (Variant of Interest : VOI) に分類している。国立感染症研究所によると、懸念される変異株は、B.1.1.7 系統の変異株 (アルファ株)、B.1.351 系統の変異株 (ベータ株)、P.1 系統の変異株 (ガンマ株)、B.1.617.2 系統の変異株 (デルタ株) がある。これらの変異株については、従来株よりも感染しやすい可能性がある (B.1.1.7 系統の変異株 (アルファ株) は、実効再生産数の期待値が従来株の 1.32 倍と推定、診断時に肺炎以上の症状を有しているリスクが従来株の 1.4 倍 (40-64 歳では 1.66 倍) と推定)。また、B.1.1.7 系統の変異株 (アルファ株) や B.1.351 系統の変異株 (ベータ株)、B.1.617.2 系統の変異株 (デルタ株) については、重症化しやすい可能性も指摘されている。B.1.617.2 系統の変異株 (デルタ株) については、B.1.1.7 系統の変異株 (アルファ株) よりも感染しやすい可能性も示唆されている。また、B.1.351 系統の変異株 (ベータ株)、P.1 系統の変異株 (ガンマ株)、B.1.617.2 系統の変異株 (デルタ株) は、従来株より、免疫やワクチンの効果を低下させる可能性が指摘されている。我が国では、B.1.1.7 系統の変異株 (アルファ株) の割合が全国で約 8 割となり、一部地域を除き、従来株からほぼ置き換わったと推定されている。B.1.617.2 系統の変異株 (デルタ株) については、クラスターが複数報告され、市中での感染も観察されている。また、注目すべき変異株は、R.1 系統の変異株 (E484K がある変異株)、B.1.427/B.1.429 系統の変異株 (イプシロン株)、P.3 系統の変異株 (シータ株)、B.1.617.1 系統の変異株 (カッパ株) がある。これら注目すべき変異株に対しては、その疫学的特性を分析し、引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握する必要があるとされている。

国立感染症研究所によると、変異株であっても、個人の基本的な感染予防策としては、従来と同様に、特に「感染リスクが高まる「5つの場面」」など「三つの密」の回避、マスクの着用、手洗い等が有効であり、推奨されている。

- ・ 日本国内におけるウイルスの遺伝子的な特徴を調べた研究によると、令和 2 年 1 月から 2 月にかけて、中国武漢から日本国内に侵入した新型コロナウイ

ルスは3月末から4月中旬に封じ込められた一方で、その後、欧米経由で侵入した新型コロナウイルスが日本国内に拡散したものと考えられている。7月、8月の感染拡大は、検体全てが欧州系統から派生した2系統に集約されたものと考えられる。現時点では、国内感染は国内で広がったものが主流と考えられる。

- また、ワクチンについては、これまでモデルナ社、アストラゼネカ社及びファイザー社のワクチンの供給を受けることについて契約締結に至っている。ワクチンの接種を円滑に実施するため、予防接種法（昭和23年法律第68号）の改正を行うとともに、分科会での議論経過等を踏まえ、内閣官房及び厚生労働省において令和3年2月9日に「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について」（以下「ワクチン接種について」という。）をとりまとめた。その後、2月14日にはファイザー社のワクチンが薬事承認され、厚生科学審議会等を経て、2月17日に医療従事者向けの先行接種を開始し、4月12日より高齢者への接種を開始した。また、5月21日にはアストラゼネカ社及びモデルナ社のワクチンが薬事承認された。その後、厚生科学審議会において議論を行い、モデルナ社のワクチンについて、予防接種で使用するワクチンに追加することとなり、5月24日開設の自衛隊大規模接種センター等での接種を開始するとともに、6月21日より職域接種が本格的に開始された。
- さらに、ワクチンについては、発症予防、重症化予防とともに、感染予防効果を示唆する報告もある。また、国内でワクチンの接種が進む中、新規感染者数に占める高齢者の割合が低い水準となるなど、ワクチンの効果が示唆されている。
- 新型コロナウイルス感染症による日本での経済的な影響を調べた研究では、クレジットカードの支出額によれば、人との接触が多い業態や在宅勤務（テレワーク）の実施が困難な業態は、令和2年3月以降、売り上げがより大きく減少しており、影響を受けやすい業態であったことが示されている。また、同年4～6月期の国内総生産（GDP）は実質で

前期比 8.1%減、年率換算で 28.6%減を記録した。

二 新型コロナウイルス感染症の対処に関する全般的な方針

- ① これまでの感染拡大期の経験や国内外の様々な研究等の知見を踏まえ、より効果的な感染防止策等を講じていく。
- ② 緊急事態措置区域においては、感染拡大の主な起点となっている飲食の場面に対する対策の強化を図るとともに、今後 B.1.617.2 系統の変異株（デルタ株）に置き換わりが進むことが想定されること等を踏まえ、人と人との接触機会を減らすために、人の流れを抑制するための取組を行う、積極的な検査戦略を実施するなど、徹底した感染防止策に取り組む。
- ③ 「令和 3 年 6 月 21 日以降の取組」を踏まえ、社会経済活動を継続しつつ、再度の感染拡大を防止し、重症者・死亡者の発生を可能な限り抑制するため、ワクチン接種の円滑化・加速化をはじめ、飲食対策の徹底・人流の抑制、検査・サーベイランスの強化、水際対策を含む変異株対策、医療提供体制等の一層の確保等の取組を総合的に進めていく。
- ④ 緊急事態措置区域から除外された地域（重点措置区域及び重点措置区域以外の地域の双方を含む。）においては、対策の緩和については段階的に行い、必要な対策はステージ II 相当以下に下がるまで継続する。感染の再拡大が見られる場合には、速やかに効果的で強い感染対策等を講じる。
- ⑤ 重点措置区域においては、都道府県が定める期間、区域等において、飲食を伴うものなど感染リスクが高く感染拡大の主な起点となっている場面等に効果的な対策を徹底する。
- ⑥ その他の感染の再拡大が認められる地域では、政府と都道府県が密接に連携しながら、重点的・集中的な PCR 検査や営業時間短縮要請等を実施するとともに、まん延防止等重点措置を機動的に活用するなど、速やかに効果的で強い感染対策等を講じる。

- ⑦ 感染拡大を予防する「新しい生活様式」の定着や「感染リスクが高まる「5つの場面」」を回避すること等を促すとともに、事業者及び関係団体に対して、業種別ガイドライン等の実践と科学的知見等に基づく進化を促していく。
- ⑧ 的確な感染防止策及び経済・雇用対策により、感染拡大の防止と社会経済活動の維持との両立を持続的に可能としていく。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすため、迅速なワクチンの接種を進める。
- ⑩ 緊急事態措置区域及び重点措置区域においては、医療提供体制等の確保に全力をあげて取り組む。その他の地域も併せ、「相談・受診・検査」～「療養先調整・移送」～「転退院・解除」まで、一連の患者対応が目詰まりなく行われ、病床・宿泊療養施設が最大限活用されるよう留意しつつ、感染拡大時に確実に機能する医療提供体制を整備する。また、積極的な検査戦略を実施する。

三 新型コロナウイルス感染症対策の実施に関する重要事項

(1) 情報提供・共有

- ① 政府は、地方公共団体と連携しつつ、以下の点について、国民の共感が得られるようなメッセージを発出するとともに、状況の変化に即応した情報提供や呼びかけを行い、行動変容に資する啓発を進めるとともに、冷静な対応をお願いする。
 - ・ 発生状況や患者の病態等の臨床情報等の正確な情報提供。
 - ・ 国民に分かりやすい疫学解析情報の提供。
 - ・ 医療提供体制及び検査体制に関する分かりやすい形での情報の提供。
 - ・ 変異株についての正確で分かりやすい情報の提供。
 - ・ 「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の徹底等、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の定着に向けた周知。

- ・ 室内で「三つの密」を避けること。特に、日常生活及び職場において、人混みや近距離での会話、多数の者が集まり室内において大きな声を出すことや歌うこと、呼気が激しくなるような運動を行うことを避けるように強く促すこと。
- ・ 令和2年10月23日の分科会で示された、「感染リスクが高まる「5つの場面」」（飲酒を伴う懇親会やマスクなしでの会話など）や、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」（なるべく普段一緒にいる人と少人数、席の配置は斜め向かい、会話の時はマスク着用等）の周知。
- ・ マスクに係る日本産業規格（JIS）の制定も踏まえつつ、ウイルス捕集効率や着用場面等に応じた不織布マスク等の感染予防策の効果や隙間がでないような着用方法の周知。
- ・ 大型連休、お盆、長期休暇等、人の移動が活発化する時期に際して、感染が拡大している地域との往来に関する自粛の要請を含め、感染状況に応じて、必要な注意喚起や呼びかけを行うこと。
- ・ 業種別ガイドライン等の実践。特に、飲食店等について、業種別ガイドラインを遵守している飲食店等を利用するよう、促すこと。
- ・ 風邪症状等体調不良がみられる場合の休暇取得、学校の欠席、外出自粛等の呼びかけ。
- ・ 感染リスクを下げるため、医療機関を受診する時は、あらかじめ厚生労働省が定める方法による必要があることの周知。
- ・ 新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の考え方を分かりやすく周知すること。
- ・ 感染者・濃厚接触者や、診療に携わった医療機関・医療関係者その他の対策に携わった方々に対する誤解や偏見に基づく差別を行わないことの呼びかけ。
- ・ 従業員及び学生の健康管理や感染対策の徹底についての周知。
- ・ 国民の落ち着いた対応（不要不急の帰省や旅行など都道府県をまたいだ移動の自粛等や商店への殺到の回避及び買い占めの防止）の呼びかけ。
- ・ 接触確認アプリ（COVID-19 Contact-Confirming Application：COCO）

A) のインストールを呼びかけるとともに、陽性者との接触があった旨の通知があった場合における適切な機関への受診の相談や陽性者と診断された場合における登録の必要性についての周知。併せて、地域独自の二次元バーコード（以下「QRコード」という。）等による追跡システムの利用の呼びかけ。

- ② 政府は、広報担当官を中心に、官邸のウェブサイトにおいて厚生労働省等関係省庁のウェブサイトへのリンクを紹介するなどして有機的に連携させ、かつ、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）等の媒体も積極的に活用することで、迅速かつ積極的に国民等への情報発信を行う。
- ③ 政府は、民間企業等とも協力して、情報が必ずしも届いていない層に十分な情報が行き届くよう、丁寧な情報発信を行う。
- ④ 厚生労働省は、感染症やクラスターの発生状況について迅速に情報を公開する。
- ⑤ 外務省は、全世界で感染が拡大していることを踏まえ、各国に滞在する邦人等への適切な情報提供、支援を行う。
- ⑥ 政府は、検疫所からの情報提供に加え、企業等の海外出張又は長期の海外滞在のある事業所、留学や旅行機会の多い大学等においても、帰国者への適切な情報提供を行い、渡航の是非の判断・確認や、帰国者に対する14日間の外出自粛の要請等の必要な対策を講じるよう周知を図る。
- ⑦ 政府は、国民、在留外国人、外国人旅行者及び外国政府に対し、帰国時・入国時の手続や目的地までの交通手段の確保等について適切かつ迅速な情報提供を行い、国内でのまん延防止と風評対策につなげる。また、政府は、日本の感染対策や感染状況の十分な理解を醸成するよう、諸外国に対して情報発信に努める。
- ⑧ 地方公共団体は、政府との緊密な情報連携により、様々な手段により住民に対して地域の感染状況に応じたメッセージや注意喚起を行う。
- ⑨ 都道府県等は、厚生労働省や専門家と連携しつつ、積極的疫学調査により得られた情報を分析し、今後の対策に資する知見をまとめて、国民に還元するよう努める。

- ⑩ 政府は、今般の新型コロナウイルス感染症に係る事態が行政文書の管理に関するガイドライン（平成 23 年 4 月 1 日内閣総理大臣決定）に基づく「歴史的緊急事態」と判断されたことを踏まえた対応を行う。地方公共団体も、これに準じた対応に努める。

(2) サーベイランス・情報収集

- ① 感染の広がりを把握するために必要な検査を実施し、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号。以下「感染症法」という。）第 12 条に基づく医師の届出等によりその実態を把握する。
- ② 厚生労働省及び都道府県等は、感染が拡大する傾向が見られる場合はそれを迅速に察知して的確に対応できるよう、戦略的サーベイランス体制を整えておく必要がある。また、感染拡大の防止と社会経済活動の維持との両立を進めるためにも感染状況を的確に把握できる体制をもつことが重要であるとの認識の下、地方衛生研究所や民間の検査機関等の関係機関における検査体制の一層の強化、地域の関係団体と連携した地域外来・検査センターの設置等を迅速に進めるとともに、新しい検査技術についても医療現場に迅速に導入する。都道府県は、医療機関等の関係機関により構成される会議体を設けること等により、民間の検査機関等の活用促進を含め、PCR検査等の実施体制の把握・調整等を図る。さらに、過去最大規模を上回る新規感染者数が生じた場合にも十分に検査ができるよう、厚生労働省及び都道府県等は連携して検査体制整備計画を見直し、通常最大時約 29 万件/日、緊急最大時約 44 万件/日の検査需要を見込んでいるところであり、これらの検査需要に十分対応できるだけの検体採取及び検査分析能力の確保を速やかに進める。特にPCR検査能力については、政府による財政的な支援などのもと、民間検査機関等を最大限活用しつつ、最大時約 36 万件/日の検査能力を速やかに確保する。さらに、厚生労働省は、PCR検査及び抗原検査の役割分担について検討・評価を行う。また、これらを踏まえ、検査が必要な者に、より迅速・円滑に検査を行い、感染が拡大している地域においては、医療・介護従事者、入院・入所者等関係者に対し、PCR検査等

による幅広い検査の実施に向けて取組を進めるとともに、院内・施設内感染対策の強化を図る。令和3年2月8日時点で緊急事態措置区域であった10都府県に対し、感染多数地域における高齢者施設の従事者等の検査の集中的実施計画に基づく検査を、3月中までを目途に着実に実施するよう求めるとともに、さらに、これらの都府県の歓楽街のある大都市はもとより、その他の地方公共団体も地域の感染状況に応じ、当面、新たな集中的実施計画に基づく検査を定期的実施するよう求めつつ、その在り方についてはワクチンの接種状況や感染状況等を踏まえて検討する。併せて、対象を通所系の介護事業所にも拡大するとともに、法第24条第9項に基づく都道府県による高齢者施設等に対する受検の要請や好事例の横展開、当該要請と連携した高齢者施設等に対する施設運営上の指導等を通じ、検査を受ける施設を増加させる。また、政府は、医療機関や高齢者施設等において従事者等に軽度であっても症状が現れた場合に、早期に陽性者を発見することによって感染拡大を防止する観点から、毎日の健康状態を把握するための健康観察アプリも活用しつつ、迅速に検査を実施できるよう、都道府県と連携しつつ抗原簡易キット最大約800万回程度分を確保し、配布を開始したところであり、施設への配布を加速する。さらに、政府は、クラスターの大規模化及び医療のひっ迫を防ぐ観点から、健康観察アプリも活用し、医療機関との連携体制の確立を図りつつ、大学、専門学校、高校、特別支援学校等に対して、最大約80万回程度分の抗原簡易キットの可能な限り早い配布を進め、抗原簡易キットを活用した軽症状者（発熱、せき、のどの痛み等軽い症状を有する者をいう。）に対する積極的検査を速やかに実施し、陽性者発見時には、幅広い接触者に対して、保健所の事務負担の軽減を図りつつ、迅速かつ機動的にPCR検査等を行政検査として実施する。また、職場においても、健康観察アプリも活用しつつ、軽症状者に対する抗原簡易キット等を活用した検査を実施するよう促すとともに、クラスターの発生が懸念される職場に関する重点的な取組を働きかけ、陽性者発見時には、幅広い接触者に対して、保健所の事務負担の軽減を図りつつ、迅速かつ機動的にPCR検査等を行政検査として実施する。これらの検査に用いる抗原簡易キットについては、迅速かつ適切に検査

が実施されるよう、検体採取に関する注意点等を理解した職員等の管理下で検査を実施させる。また、政府は、緊急事態措置区域であった都道府県等と連携しつつ、再度の感染拡大の予兆や感染源を早期に探知するため、幅広いPCR検査等（モニタリング検査）やデータ分析を実施する。政府と都道府県等で協働して今後の感染拡大局面も見据えた準備を進めるため、厚生労働省は、財政的な支援をはじめ必要な支援を行い、都道府県等は、相談・検体採取・検査の一連のプロセスを通じた対策を実施する。また、社会経済活動の中で希望により受ける民間検査については、感染症法第16条の2に基づき、民間検査機関に精度管理や提携医療機関の決定等の協力を求めることなどにより環境整備を進めていく。

- ③ 厚生労働省は、感染症法第12条に基づく医師の届出とは別に、市中での感染状況を含め国内の流行状況等を把握するため、抗体保有状況に関する調査など有効なサーベイランスを実施する。また、いわゆる超過死亡については、新型コロナウイルス感染症における超過死亡を推計し、適切に把握する。国立感染症研究所における新型コロナウイルス検出方法等の検討や下水サーベイランスを活用した新型コロナ調査研究を支援するなど、引き続き、下水サーベイランス活用について検証を加速する。
- ④ 厚生労働省は、医療機関や保健所の事務負担の軽減を図りつつ、患者等に関する情報を関係者で迅速に共有するための情報把握・管理支援システム（Health Center Real-time Information-sharing System on COVID-19：HER-SYS）を活用し、都道府県別の陽性者数等の統計データの収集・分析を行うとともに、その結果を適宜公表し、より効果的・効率的な対策に活用していく。
- ⑤ 政府は、医療機関の空床状況や人工呼吸器・ECMOの保有・稼働状況等を迅速に把握する医療機関等情報支援システム（Gathering Medical Information System：GMIS）を構築・運営し、医療提供状況やPCR検査等の実施状況等を一元的かつ即座に把握するとともに、都道府県等にも提供し、迅速な患者の受入調整等にも活用する。
- ⑥ 文部科学省及び厚生労働省は、学校等での集団発生の把握の強化を図る。

- ⑦ 厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症に関するいわゆる後遺症について、諸外国で報告もあることも踏まえ、調査・研究を進める。
- ⑧ 厚生労働省及び都道府県等は、L452R 変異株 P C R スクリーニングにより、B.1.617.2 系統の変異株（デルタ株）の全国的な監視体制を強化する。厚生労働省及び文部科学省は、国立感染症研究所・都道府県等・民間検査機関や大学等間の連携を一層促進し、B.1.617.2 系統の変異株（デルタ株）など変異株 P C R 検査やゲノム解析を強化する。都道府県等は、B.1.617.2 系統の変異株（デルタ株）など変異株事例が発生した場合には、積極的疫学調査の強化や幅広い関係者への検査を徹底する。これらの取組により、クラスターの迅速な封じ込めを図るとともに、社会全体での変異株の感染拡大の防止を図る。厚生労働省は、国立感染症研究所と連携して、新たな変異株に対して、引き続き、その疫学的特性を分析し、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握する。
- ⑨ 都道府県等は、感染症法第 12 条及び第 15 条に基づき、地方公共団体間での迅速な情報共有を行うとともに、都道府県は、分科会提言で示された「早期探知のための指標」等も参考に、県下の感染状況について、リスク評価を行う。
- ⑩ 遺伝子配列を分析するにあたり、公衆衛生対策を進めていく上で必要な情報を、国立感染症研究所において収集を行う。

(3) まん延防止

1) 外出の自粛（後述する「4）職場への出勤等」を除く）

特定都道府県は、法第 45 条第 1 項に基づき、日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛について協力の要請を行うものとする。特に、20 時以降の不要不急の外出自粛、混雑している場所や時間を避けて行動すること、及び感染対策が徹底されていない飲食店等や休業要請又は営業時間短縮の要請に応じていない飲食店等の利用を厳に控えることについて、住民に徹底する。また、今後 B.1.617.2 系統の変異株（デルタ株）に置き換わりが進むことが想定されることを踏まえ、他の地域への感染拡大を防止する観点から、不要不急の帰省や旅行など都道府県間の移動

は、極力控えるように促すとともに、どうしても避けられない場合は感染防止策の徹底とともに、出発前又は到着地での検査の勧奨等を進める。

医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものについては外出の自粛要請の対象外とする。

また、「三つの密」を徹底的に避けるとともに、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を徹底するとともに、あらゆる機会を捉えて、令和2年4月22日の専門家会議で示された「10のポイント」、5月4日の専門家会議で示された「新しい生活様式の実践例」、10月23日の分科会で示された、「感染リスクが高まる「5つの場面」」等を活用して住民に周知を行うものとする。

また、特定都道府県は、人の流れの抑制につなげる観点から、地下鉄、バス等の交通事業者に対して、終電の繰上げや主要ターミナルにおける検温の実施等、必要な協力の依頼等を行うものとする。また、事業者に対して、屋外照明（防犯対策上、必要なもの等を除く）の夜間消灯等、必要な協力の依頼等を行うものとする。

2) 催物（イベント等）の開催制限

特定都道府県は、当該地域で開催される催物（イベント等）について、観客の広域的な移動や催物前後の活動などで生じる、催物に係る感染拡大リスクを抑制し、また、催物における感染防止対策等を徹底する観点などから、主催者等に対して、法第24条第9項に基づき、別途通知する目安を踏まえた規模要件等（人数上限5,000人かつ収容率50%等）を設定し、その要件に沿った開催の要請を行うとともに、開催を21時までとするよう要請を行うものとする。併せて、開催に当たっては、業種別ガイドラインの遵守の徹底や催物前後の「三つの密」及び飲食を回避するための方策を徹底するよう、主催者等に求めるものとする。

また、スマートフォンを活用した接触確認アプリ（COCOA）について、検査の受診等保健所のサポートを早く受けられることやプライバシーに最大限配慮した仕組みであることを周知し、民間企業・団体等の

幅広い協力を得て引き続き普及を促進する。

3) 施設の使用制限等（前述の「2）催物（イベント等）の開催制限」、後述する「7）学校等の取扱い」を除く）

- ① 特定都道府県は、法第 45 条第 2 項等に基づき、感染リスクが高いと指摘されている飲食の場を避ける観点から、酒類又はカラオケ設備を提供する飲食店等（飲食業の許可を受けていないカラオケ店及び利用者による酒類の店内持込みを認めている飲食店を含む。酒類及びカラオケ設備の提供（利用者による酒類の店内持込みを含む。）を取り止める場合を除く。）に対して休業要請を行うとともに、上記以外の飲食店（宅配・テイクアウトを除く。）に対して、営業時間の短縮（20 時までとする。）の要請を行うものとする。その際、改正法の施行により、命令、過料の規定が設けられたことを踏まえ、その手続に関しては、別途通知する手続に沿って行うことに留意しつつ、要請に応じている店舗との公平性を保つことができるよう、命令等の適切な運用を図るものとする。

特定都道府県は、人の流れを抑制する観点から、法第 24 条第 9 項に基づき、別途通知するところにより、飲食店以外の新型インフルエンザ等対策特別措置法施行令（平成 25 年政令第 122 号。以下「令」という。）第 11 条第 1 項各号に規定する施設のうち、多数の者が利用する施設で、建築物の床面積の合計が千平方メートルを超える施設に対して、営業時間の短縮（20 時までとする。）を要請するものとする。

また、特定都道府県は、前述「2）催物（イベント等）の開催制限」の取扱いを踏まえ、法第 24 条第 9 項に基づき、別途通知する施設の管理者に対して、別途通知する目安を踏まえた規模要件等（人数上限 5,000 人かつ収容率 50%等）を設定し、その要件に沿った施設の使用及び 21 時までの開催を要請するものとする。

以上のほか、特定都道府県は、地域の感染状況等を踏まえ、都道府県知事の判断により、令第 11 条第 1 項各号に規定する施設のうち、多数の者が利用する施設に対する使用制限等を含めて、施設管理者等

に対して必要な協力を要請できるものとする。その際、地域の感染状況等に応じて、新規陽性者数が増加又は高止まりしている場合には、都道府県が独自に行う協力要請の徹底等を行う一方、感染状況の改善が見られる場合には、都道府県が独自に行う協力要請を段階的に緩和し、効果的な取組を講じていくものとする。また、施設の使用制限の要請等を検討するに当たっては、地域の感染状況等に応じて、各都道府県知事が適切に判断するものとし、要請を行う判断の考え方、必要性等について、対象となる事業者等への丁寧な説明に努めるものとする（前述「2）催物（イベント等）の開催制限」についても同じ。）。要請を行う場合は、あらかじめ政府と迅速に情報共有を行う。

特定都道府県は、法第 24 条第 9 項に基づき、事業者に対して、業種別ガイドラインを遵守するよう要請を行うものとする。

また、地域の感染状況等に応じて、都道府県知事の判断により、法第 45 条第 2 項等に基づき、「入場者の整理等」「入場者に対するマスクの着用の周知」「感染防止措置を実施しない者の入場の禁止」「会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置（飛沫を遮ることができる板等の設置又は利用者の適切な距離の確保等）」等、令第 12 条に規定される各措置について事業者に対して要請を行うものとする。なお、人が密集すること等を防ぐため、「入場者の整理等」を行う場合は、別途通知する取扱いを踏まえ、事業者に要請を行うとともに、事業者に対して、入場整理等の実施状況をホームページ等を通じて広く周知するよう働きかけるものとする。

以上の要請に当たっては、関係機関とも連携し、休業要請及び営業時間の短縮等を徹底するための対策・体制の更なる強化を行い、原則として全ての施設に対して実地に働きかけを行うとともに、当該取組について適切に情報発信を行う。その際、併せて、事業者に対して、業種別ガイドラインの遵守を働きかける。また、特定都道府県は、法第 45 条第 1 項に基づき、路上・公園等における集団での飲酒など、感染リスクが高い行動に対して必要な注意喚起や自粛の要請等を行

うものとする。

特定都道府県は、公立の施設等について、地域の感染状況等に応じて、措置期間における閉館や閉園等を検討するものとする。

- ② 政府は、地方創生臨時交付金に設けた「協力要請推進枠」により、営業時間短縮要請等と協力金の支払いを行う都道府県を支援する。都道府県は、協力金支給に係る体制の強化等を図り、支給の迅速化に努めるとともに、政府は、飲食店に対する協力金の先渡しが可能となる仕組みの導入など、支給の迅速化に向けて必要な環境整備を図るものとする。
- ③ 事業者及び関係団体は、今後の持続的な対策を見据え、業種別ガイドライン等を実践するなど、自主的な感染防止のための取組を進める。その際、政府は、専門家の知見を踏まえ、関係団体等に必要な情報提供や助言等を行う。

4) 職場への出勤等

- ① 政府及び特定都道府県は、事業者に対して、以下の取組を行うよう働きかけを行うものとする。
 - ・ 職場への出勤について、人の流れを抑制する観点から、在宅勤務（テレワーク）の活用や休暇取得の促進等により、出勤者数の7割削減を目指すこと。
 - ・ 20時以降の不要不急の外出自粛を徹底することを踏まえ、事業の継続に必要な場合を除き、20時以降の勤務を抑制すること。
 - ・ 職場に出勤する場合でも、時差出勤、自転車通勤等の人との接触を低減する取組を強力に推進すること。
 - ・ 職場においては、感染防止のための取組（手洗いや手指消毒、咳エチケット、職員同士の距離確保、事業場の換気励行、複数人が触る箇所の消毒、発熱等の症状が見られる従業員の出勤自粛、出張による従業員の移動を減らすためのテレビ会議の活用、昼休みの時差取得、社員寮等の集団生活の場での対策等）や「三つの密」や「感染リスクが高まる「5つの場面」」等を避ける行動を徹底するよう、実践例

も活用しながら促すこと。特に職場での「居場所の切り替わり」（休憩室、更衣室、喫煙室等）に注意するよう周知すること。

- ・ 感染防止策の徹底のため、二酸化炭素濃度測定器等の設置を支援するとともに、ビル管理者等に対して、換気の状態を二酸化炭素濃度測定器により確認する場合の留意点等を周知すること。
- ・ さらに、職場や店舗等に関して、業種別ガイドライン等を実践するよう働きかけること。
- ・ 高齢者や基礎疾患を有する者など重症化リスクのある労働者及び妊娠している労働者や同居家族にそうした者がいる労働者については、本人の申出等を踏まえ、テレワークや時差出勤等の感染予防のための就業上の配慮を行うこと。
- ・ 別添に例示する国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者及びこれらの業務を支援する事業者においては、「三つの密」を避けるために必要な対策を含め、十分な感染防止策を講じつつ、事業の特性を踏まえ、業務を継続すること。

② 政府及び地方公共団体は、在宅勤務（テレワーク）、ローテーション勤務、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組を自ら進めるとともに、事業者に対して必要な支援等を行う。

③ 政府は、上記①に示された感染防止のための取組等を働きかけるため、特に留意すべき事項を提示し、事業場への訪問など事業者と接する機会等をとらえ、事業者自らが当該事項の遵守状況を確認するよう促す。また、遵守している事業者に、対策実施を宣言させるなど、感染防止のための取組が勧奨されるよう促す。さらに、経済団体に対し、在宅勤務（テレワーク）の活用等による出勤者数の7割削減の実施状況を各事業者が自ら積極的に公表し、取組を促進するよう要請するとともに、公表された情報の幅広い周知について、関連する事業者と連携して取り組む。

5) 高齢者施設等従業者の検査等

特定都道府県等は、感染多数地域の高齢者施設等の従業者等に対する検査の頻回実施や、面会に関する感染防止策の徹底（オンライン面会の活用

等)、高齢者施設等や医療機関で感染が発生した場合における保健所による感染管理体制の評価や支援チームの派遣、検査の実施等による感染制御・業務継続支援の徹底を行うとともに、政府が行う、検査前確率が比較的高いと考えられる場所（例えば、密になりやすい、又は、多くの人が入り出し接触するような事務所・作業所、寮、大学等）等に対するモニタリング検査拡充への積極的な協力や、区域内の歓楽街等で陽性者が出た場合の重点的検査の実施を行うものとする。

6) 緊急事態宣言下における医療提供体制の確保等

- ① 特定都道府県等は、政府による医療人材の応援派遣の支援の要請や、感染急拡大時の時限的緊急避難としての不急の一般医療の制限も含め、新型コロナウイルス感染症対応に必要な病床・宿泊療養施設を速やかに確保するものとする。また、健康観察業務の業務委託等により、宿泊療養者・自宅療養者に対する健康管理体制を確保するものとする。
- ② 政府は、感染拡大が顕著な都道府県において、当該地域では対応困難な深刻な看護師不足が生じた場合、当該都道府県の要請を踏まえ、緊急的な看護師派遣に取り組むものとする。
- ③ 政府及び特定都道府県は、診療所の役割強化（感染症対応能力の向上、自宅療養者・宿泊療養者への健康管理・医療的対応の拡大）を進めるとともに、現下の状況は災害医療的な対応が求められるとの認識の下、公的病院等でのコロナ対応の一層の取組、都道府県域を超えた重症患者の広域移送など、都道府県の病床・人材の確保に対する政府の支援を更に強化する。

7) 学校等の取扱い

- ① 文部科学省は、学校設置者及び大学等に対して一律に臨時休業を求めるのではなく、地域の感染状況に応じた感染防止策の徹底を要請する。幼稚園、小学校、中学校、高等学校等については、子供の健やかな学びの保障や心身への影響の観点から、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等を踏まえた対応を要請する。また、大学等については、感染防止と面接授業・遠隔授業の

効果的实施等による学修機会の確保の両立に向けて適切に対応することを要請する（緊急事態措置区域においては、大学等の感染対策の徹底とともに、遠隔授業も活用した学修者本位の授業の効果的な実施による学生等の学修機会の確保を図る）。部活動、課外活動、学生寮における感染防止策、懇親会や飲み会などについては、学生等への注意喚起の徹底（緊急事態措置区域及び重点措置区域においては、部活動や課外活動における感染リスクの高い活動の制限又は自粛）を要請する。特に、発熱等の症状がある学生等が登校や活動参加を控えるよう周知徹底を図る。都道府県は、学校設置者に対し、保健管理等の感染症対策について指導するとともに、地域の感染状況や学校関係者の感染者情報について速やかに情報共有を行うものとする。

② 厚生労働省は、保育所や放課後児童クラブ等について、感染防止策の徹底を行いつつ、原則開所することを要請する。

8) 緊急事態措置区域から除外された都道府県（除外後、重点措置区域とされた都道府県を含む。）における取組等

① 緊急事態措置区域から除外された都道府県においては、前述したように「対策の緩和については段階的に行い、必要な対策はステージⅡ相当以下に下がるまで続ける」ことを基本とし、後述 10) に掲げる基本的な感染防止策等（重点措置区域である都道府県においては後述 9) に掲げる感染防止策等を含む。）に加え、「緊急事態宣言解除後の対応」及び「令和 3 年 6 月 21 日以降の取組」を踏まえるとともに、住民や事業者に対して、以下の取組を行うものとする。その際、地域の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、対策の緩和は段階的に行う。また、再度、感染拡大の傾向が見られる場合には、地域における感染状況や公衆衛生体制・医療提供体制への負荷の状況について十分、把握・分析を行いつつ、速やかに効果的で強い感染対策等を講じるものとする。

・ 当面、法第 24 条第 9 項に基づき、日中も含めた不要不急の外出の自粛について協力の要請を行うこと。その後、地域の感染状況等

を踏まえながら、段階的に緩和すること。また、今後 B.1.617.2 系統の変異株（デルタ株）に置き換わりが進むことが想定されることを踏まえ、都道府県間の不要不急の移動は、極力控えるように促すこと。

- ・ 当該地域で開催される催物（イベント等）に係る規模要件等（人数上限・収容率、飲食を伴わないこと等）については、観客の広域的な移動や催物前後の活動などで生じる、催物に係る感染拡大リスクを抑制し、また、催物における感染防止対策等を徹底する観点などから、主催者等に対して、法第 24 条第 9 項に基づき、別途通知する目安を踏まえた規模要件等（重点措置区域である都道府県においては、人数上限 5,000 人等。重点措置区域以外の都道府県においては、緊急事態宣言解除後 1 か月程度の経過措置として人数上限 5,000 人又は収容定員 50%以内（ただし、10,000 人を上限）のいずれか大きい方等。）を設定し、その要件に沿った開催の要請を行うこと。また、地域の感染状況等を踏まえ、都道府県知事の判断により、開催時間制限の要請を行うこと。
- ・ 重点措置区域である都道府県においては、法第 31 条の 6 第 1 項等に基づき、飲食店（宅配・テイクアウトを除く。）に対する営業時間の短縮（20 時までとする。）の要請を行うとともに、酒類の提供を行わないよう要請すること。ただし、地域の感染状況等に応じ、都道府県知事の判断で、別途通知する「一定の要件」を満たした店舗において 19 時まで提供できることとするなど、緩和を行うことができるものとする。政府は、「一定の要件」について、第三者認証制度の普及を図る観点から、同制度の普及状況を踏まえて定めるものとし、都道府県は、第三者認証制度の普及と適用店舗の拡大に努めること。

その際、改正法の施行により、命令、過料の規定が設けられたことを踏まえ、その手続に関しては、別途通知する手続に沿って行うことに留意しつつ、要請に応じている店舗との公平性を保つことが

できるよう、命令等の適切な運用を図ること。

- ・ 地域の感染状況等に応じて、都道府県知事の判断により、上記の重点措置を講じるべき区域（以下「措置区域」という。）以外の地域において、法第 24 条第 9 項に基づき、飲食店等に対する営業時間の短縮の要請を行うこと。
- ・ 重点措置区域以外の都道府県においては、法第 24 条第 9 項に基づき飲食店に対する営業時間の短縮の要請については、当面、継続することとし、その後、地域の感染状況等を踏まえながら、段階的に緩和すること。なお、営業時間及び対象地域等については、地域の感染状況等に応じ、各都道府県知事が適切に判断すること。
- ・ 法第 31 条の 6 第 1 項又は法第 24 条第 9 項に基づき、飲食を主として業としている店舗において、カラオケを行う設備を提供している場合、当面、当該設備の利用自粛を要請すること。その上で、地域における感染状況やワクチン接種の状況を踏まえながら、都道府県知事の判断で緩和を検討すること。
- ・ 重点措置区域である都道府県においては、地域の感染状況等に応じて、都道府県知事の判断により、法第 31 条の 6 第 1 項等に基づき、「入場をする者の整理等」「入場をする者に対するマスクの着用の周知」「感染防止措置を実施しない者の入場の禁止」「会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置（飛沫を遮ることができる板等の設置又は利用者の適切な距離の確保等）」等、令第 5 条の 5 に規定される各措置について事業者に対して要請を行うこと。なお、人が密集すること等を防ぐため、「入場をする者の整理等」を行う場合は、別途通知する取扱いを踏まえ、事業者に要請を行うこと。
- ・ 上記の各要請に当たっては、関係機関とも連携し、営業時間の短縮等を徹底するための対策・体制の更なる強化を行い、原則として全ての施設に対して実地に働きかけを行うとともに、当該取組について適切に情報発信を行うこと。その際、併せて、事業者に対し

て、業種別ガイドラインの遵守を働きかけること。また、法第 24 条第 9 項に基づき、路上・公園等における集団での飲酒など、感染リスクが高い行動に対して必要な注意喚起や自粛の要請等を行うこと。

- ・ 重点措置区域である都道府県においては、地域の感染状況等に応じ、都道府県知事の判断により、措置区域において、法第 24 条第 9 項等に基づき、別途通知する飲食店以外の令第 11 条第 1 項に規定する施設に対する営業時間の短縮等を要請等すること。
- ・ 職場への出勤等については、引き続き「出勤者数の 7 割削減」を目指し、在宅勤務（テレワーク）や、出勤が必要となる職場でもローテーション勤務等を強力に推進すること。

② 政府は、地方創生臨時交付金に設けた「協力要請推進枠」により、飲食店に対して営業時間短縮要請と協力金の支払いを行う都道府県を支援する。都道府県は、協力金支給に係る体制の強化等を図り、支給の迅速化に努めるとともに、政府は、協力金の先渡しが可能となる仕組みの導入など、支給の迅速化に向けて必要な環境整備を図るものとする。

③ 都道府県は、①の取組を行うに当たっては、あらかじめ政府と迅速に情報共有を行う。

9) 重点措置区域における取組等

① 重点措置区域である都道府県においては、「緊急事態宣言解除後の対応」及び「令和 3 年 6 月 21 日以降の取組」を踏まえるとともに、まん延防止等重点措置が、地域の感染状況に応じて、期間・区域、業態を絞った措置を機動的に実施できる仕組みであり、発生の動向等を踏まえた集中的な対策により、地域的に感染を抑え込み、都道府県全域への感染拡大、更には全国的かつ急速なまん延を防ぐ趣旨で創設されたものであることを踏まえ、感染リスクが高く感染拡大の主な起点となっている場面に効果的な対策を徹底するため、後述 10) に掲げる基本的な感染防止策等に加え、以下の取組を行うものとする。

また、都道府県知事は、区域を指定するに当たって市町村単位や一定の区画を原則とするなど、区域、期間及び業態を定めるに当たっては、効果的な対策となるよう留意する。

- ・ 感染リスクが高いと指摘されている飲食の場を避ける観点から、都道府県知事が定める期間及び区域において、法第 31 条の 6 第 1 項等に基づき、飲食店（宅配・テイクアウトを除く。）に対する営業時間の短縮（20 時までとする。）の要請を行うとともに、酒類の提供を行わないよう要請すること。ただし、地域の感染状況等に応じ、都道府県知事の判断で、別途通知する「一定の要件」を満たした店舗において 19 時まで提供できることとするなど、緩和を行うことができるものとする。政府は、「一定の要件」について、第三者認証制度の普及を図る観点から、同制度の普及状況を踏まえて定めるものとし、都道府県は、第三者認証制度の普及と適用店舗の拡大に努めること。

その際、改正法の施行により、命令、過料の規定が設けられたことを踏まえ、その手続に関しては、別途通知する手続に沿って行うことに留意しつつ、要請に応じている店舗との公平性を保つことができるよう、命令等の適切な運用を図ること。

- ・ 地域の感染状況等に応じて、都道府県知事の判断により措置区域以外の地域において、法第 24 条第 9 項に基づき、飲食店等に対する営業時間の短縮の要請を行うこと。
- ・ いわゆる昼カラオケ等でクラスターが多発している状況に鑑み、法第 31 条の 6 第 1 項に基づき、飲食を主として業としている店舗において、カラオケを行う設備を提供している場合、当面、当該設備の利用自粛を要請すること。その上で、地域における感染状況やワクチン接種の状況を踏まえながら、都道府県知事の判断で緩和を検討すること。
- ・ 地域の感染状況等に応じて、都道府県知事の判断により、法第 31 条の 6 第 1 項等に基づき、「入場をする者の整理等」「入場をす

る者に対するマスクの着用の周知」「感染防止措置を実施しない者の入場の禁止」「会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置（飛沫を遮ることができる板等の設置又は利用者の適切な距離の確保等）」等、令第5条の5に規定される各措置について事業者に対して要請を行うこと。なお、人が密集すること等を防ぐため、「入場をする者の整理等」を行う場合は、別途通知する取扱いを踏まえ、事業者に要請を行うこと。

- ・ 不要不急の外出自粛を徹底すること及び施設に人が集まり、飲食につながることを防止する必要があること等を踏まえ、都道府県知事の判断により、措置区域において、法第24条第9項に基づき、別途通知する飲食店等以外の令第11条第1項に規定する施設（特に、大規模な集客施設）について、営業時間の短縮を要請するとともに、入場整理等について働きかけを行うこと。
- ・ 法第24条第9項に基づき、業種別ガイドラインを遵守するよう要請を行うこと。その際、ガイドラインを遵守していない飲食店等については、個別に要請を行うことを検討すること。
- ・ 上記の各要請に当たっては、関係機関とも連携し、営業時間の短縮等や業種別ガイドラインの遵守を徹底するための対策・体制の更なる強化を行い、原則として措置区域内の全ての飲食店等に対して実地に働きかけを行うとともに、当該取組について適切に情報発信を行うこと。また、法第24条第9項に基づき、路上・公園等における集団での飲酒など、感染リスクが高い行動に対して必要な注意喚起や自粛の要請等を行うこと。
- ・ 法第31条の6第2項に基づき、上記により営業時間の変更を要請した時間以降、飲食店にみだりに出入りしないよう、住民に対して要請等を行うこと。併せて、法第24条第9項に基づき、日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛、混雑している場所や時間を避けて行動すること、及び感染対策が徹底されていない飲食店等や営業時間短縮の要請に応じていない飲食店等の利用を自粛すること

等について、住民に対して協力の要請を行うこと。その際、今後 B.1.617.2 系統の変異株（デルタ株）に置き換わりが進むことが想定されることを踏まえ、感染拡大を防止する観点から、不要不急の都道府県間の移動、特に緊急事態措置区域との往来は、極力控えるように促すこと。

- 都道府県知事が定める期間及び区域で行われる催物（イベント等）について、観客の広域的な移動や催物前後の活動などで生じる、催物に係る感染拡大リスクを抑制し、また、催物における感染防止対策等を徹底する観点などから、主催者等に対して、法第 24 条第 9 項等に基づき、別途通知する目安を踏まえた規模要件等（人数上限 5,000 人等）を設定し、その要件に沿った開催の要請を行うこと。また、地域の感染状況等を踏まえ、都道府県知事の判断により、開催時間を制限する要請を行うこと。

なお、まん延防止等重点措置解除後 1 か月程度の経過措置として、主催者等に対して、法第 24 条第 9 項等に基づき、別途通知する目安を踏まえた規模要件等（人数上限 5,000 人又は収容定員 50%以内（ただし、10,000 人を上限）のいずれか大きい方等。）を設定し、その要件に沿った開催の要請を行うこと。また、地域の感染状況等を踏まえ、都道府県知事の判断により、開催時間を制限する要請を行うこと。

- 事業者に対して、職場への出勤等について、「出勤者数の 7 割削減」を目指すことも含め接触機会の低減に向け、在宅勤務（テレワーク）や、出勤が必要となる職場でもローテーション勤務等を更に徹底するよう働きかけること。
- 措置区域内における、高齢者施設等の従業者等に対する検査の頻回実施や、高齢者施設等や医療機関で感染が発生した場合における保健所による感染管理体制の評価や支援チームの派遣、検査の実施等による感染制御・業務継続支援の徹底を行うとともに、政府が行う、検査前確率が比較的高いと考えられる場所（例えば、密になり

やすい、又は、多くの人が入りし接触するような事務所・作業所、寮、大学等)等に対するモニタリング検査拡充への積極的な協力や、措置区域内の歓楽街等で陽性者が出た場合の重点的検査の実施を行うこと。

- ・ 病床・宿泊療養施設確保計画に沿って、すぐに患者を受け入れられる病床・居室を計画上の最大数に速やかに移行するとともに、感染者急増時の緊急的患者対応への切り替えに向けた準備（医療提供体制への負荷が高まった場合の入院基準の明確化、パルスオキシメーターの活用や健康観察業務の外部委託等による自宅療養における健康観察体制の確保等）を行うこと。

② 政府は、地方創生臨時交付金に設けた「協力要請推進枠」により、飲食店に対して営業時間短縮要請と協力金の支払いを行う都道府県を支援する。都道府県は、協力金支給に係る体制の強化等を図り、支給の迅速化に努めるとともに、政府は、協力金の先渡しが可能となる仕組みの導入など、支給の迅速化に向けて必要な環境整備を図るものとする。

③ 重点措置区域である都道府県は、①の取組を行うに当たっては、あらかじめ政府と迅速に情報共有を行う。

10) 緊急事態措置区域及び重点措置区域以外の都道府県における取組等

① 都道府県は、「緊急事態宣言解除後の対応」及び「令和3年6月21日以降の取組」を踏まえるとともに、住民や事業者に対して、以下の取組を行うものとする。その際、感染拡大の防止と社会経済活動の維持との両立を持続的に可能としていくため、「新しい生活様式」の社会経済全体への定着を図るとともに、地域の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、必要に応じて、後述③等のとおり、外出の自粛、催物（イベント等）の開催制限、施設の使用制限等の要請等を機動的に行うものとする。

（外出の自粛等）

- ・ 「三つの密」、「感染リスクが高まる「5つの場面」」等の回避や、

「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の徹底等、感染拡大を防止する「新しい生活様式」の定着が図られるよう、あらゆる機会を捉えて、令和2年4月22日の専門家会議で示された「10のポイント」、5月4日の専門家会議で示された「新しい生活様式の実践例」、10月23日の分科会で示された「感染リスクが高まる「5つの場面」」等について住民や事業者に周知を行うこと。

- ・ 帰省や旅行など、都道府県をまたぐ移動は、「三つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底するとともに、特に大人数の会食を控える等注意を促すこと。また、今後 B.1.617.2 系統の変異株（デルタ株）に置き換わりが進むことが想定されることを踏まえ、感染が拡大している地域への不要不急の移動は、極力控えるように促すこと。

感染が拡大している地域において、こうした対応が難しいと判断される場合は、帰省や旅行について慎重な検討を促すこと。特に発熱等の症状がある場合は、帰省や旅行を控えるよう促すこと。

- ・ 業種別ガイドライン等を遵守している施設等の利用を促すこと。
- ・ 感染拡大の兆候や施設等におけるクラスターの発生があった場合、政府と連携して、外出の自粛に関して速やかに住民に対して必要な協力の要請等を行うこと。

（催物（イベント等）の開催）

- ・ 催物等の開催については、「新しい生活様式」や業種別ガイドライン等に基づく適切な感染防止策が講じられることを前提に、地域の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、必要な規模要件（人数上限や収容率）の目安を示すこと。その際、観客の広域的な移動や催物前後の活動などで生じる、催物に係る感染拡大リスクを抑制し、また、催物における感染防止対策等を徹底する観点などから、適切な要件を設定するとともに、事業者及び関係団体において、エビデンスに基づきガイドラインが進化、改訂された場合は、それに基づき適切に要件を見直すこと。

また、催物等の態様（屋内であるか、屋外であるか、また、全国的なものであるか、地域的なものであるかなど）や種別（コンサート、展示会、スポーツの試合や大会、お祭りなどの行事等）に応じて、開催の要件や主催者において講じるべき感染防止策を検討し、主催者に周知すること。

催物等の開催に当たっては、その規模に関わらず、「三つの密」が発生しない席の配置や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、催物の開催中や前後における選手、出演者や参加者等に係る主催者による行動管理等、基本的な感染防止策が講じられるよう、主催者に対して強く働きかけるとともに、参加者名簿を作成して連絡先等を把握しておくことや、接触確認アプリ（COCOA）等の活用等について、主催者に周知すること。

- ・ 感染拡大の兆候や催物等におけるクラスターの発生があった場合、政府と連携して、人数制限の強化、催物等の無観客化、中止又は延期等を含めて、速やかに主催者に対して必要な協力の要請等を行うこと。（職場への出勤等）
- ・ 事業者に対して、在宅勤務（テレワーク）、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組を働きかけること。
- ・ 事業者に対して、職場における、感染防止のための取組（手洗いや手指消毒、咳エチケット、職員同士の距離確保、事業場の換気励行、複数人が触る箇所の消毒、発熱等の症状が見られる従業員の出勤自粛、出張による従業員の移動を減らすためのテレビ会議の活用、昼休みの時差取得、社員寮等の集団生活の場での対策等）や「三つの密」や「感染リスクが高まる「5つの場面」」等を避ける行動を徹底するよう、実践例も活用しながら促すこと。特に職場での「居場所の切り替わり」（休憩室、更衣室、喫煙室等）に注意するよう周知すること。感染防止策の徹底のため、二酸化炭素濃度測定器等の設置を支援するとともに、ビル管理者等に対して、換気状況を二酸化炭素濃度測定器により確認する場合の留意点等を周知すること。さら

に、職場や店舗等に関して、業種別ガイドライン等を実践するよう働きかけること。その際には、特に留意すべき事項を提示し、事業場への訪問など事業者と接する機会等をとらえ、事業者自らが当該事項の遵守状況を確認するよう促すこと。また、遵守している事業者には対策実施を宣言させる等、感染防止のための取組を強く勧奨すること。

(施設の使用制限等)

- ・ これまでにクラスターが発生しているような施設や、「三つの密」のある施設については、地域の感染状況等を踏まえ、施設管理者等に対して必要な協力を依頼すること。
 - ・ 感染拡大の兆候や施設等におけるクラスターの発生があった場合、政府と連携して、施設の使用制限等を含めて、速やかに施設管理者等に対して必要な協力の要請等を行うこと。
- ② 都道府県は、感染の状況等を継続的に監視し、その変化が認められた場合、住民に適切に情報提供を行い、感染拡大への警戒を呼びかけるものとする。
- ③ 都道府県は、感染拡大の傾向が見られる場合には、地域における感染状況や公衆衛生体制・医療提供体制への負荷の状況について十分、把握・分析を行い、8月7日の分科会の提言で示された指標を目安としつつ総合的に判断し、同提言に示された各ステージにおいて「講ずべき施策」や累次の分科会提言（12月11日「今後の感染の状況を踏まえた対応についての分科会から政府への提言」等）等を踏まえ、地域の実情に応じて、迅速かつ適切に法第24条第9項に基づく措置等を講じるものとする。特に、ステージⅢ相当の対策が必要な地域等にあっては、速やかにステージⅡ相当の対策が必要な地域へ移行するよう、取り組むものとする。
- ④ 都道府県は、①③の取組を行うに当たっては、あらかじめ政府と迅速に情報共有を行う。
- ⑤ 政府は、関係団体や地方公共団体に対して、飲食店に係る業種別ガイドラインの遵守徹底のための見回り調査、遵守状況に関する情報の

表示や第三者認証による認証制度の普及を促すとともに、関係団体等と連携しつつ、クラスターが発生している分野等（飲食・職場など）を対象とした業種別ガイドラインについて、見直し・強化を図り、徹底する。

- ⑥ 都道府県は、飲食店の見回りを進めるとともに、第三者認証による認証制度へのインセンティブ措置の付与により、同制度の確実な運用を図る。

11) 予防接種

政府、都道府県及び市町村は、以下のように新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種を行うものとする。

- ① 新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種目的は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすことであること。
- ② 関係機関と連携し、迅速にワクチンの開発等を進めるとともに、承認申請された際には審査を行った上で、安全性及び有効性を確認し、できるだけ早期の実用化、国民への供給を目指すこと。
- ③ 予防接種については、予防接種法及び検疫法の一部を改正する法律（令和2年法律第75号）による改正後の予防接種法に基づく臨時接種の特例として、厚生労働大臣の指示のもと、都道府県の協力により市町村において実施すること。
- ④ 予防接種の実施体制や接種順位等については、令和3年2月9日の「ワクチン接種について」を踏まえ接種を円滑かつ効率的に実施する観点に立つて行うこと。
- ⑤ 予防接種により健康被害が生じた場合の救済措置や副反応疑い報告等については、予防接種法の現行の規定を適用し適切に実施すること。
- ⑥ 予防接種は最終的には個人の判断で接種されるものであることから、予防接種に当たっては、リスクとベネフィットを総合的に勘案し接種の判断ができる情報を提供することが必要であること。

その上で、政府は、国民に対して、ワクチンの安全性及び有効性についての情報を提供するなど、的確で丁寧なコミュニケーション等を進め、幅広く予防接種への理解を得るとともに、国民が自らの意思で接種の判断を行うことができるよう取り組むこと。

- ⑦ このような原則の下、政府は、各地方公共団体の接種会場に加え自衛隊大規模接種センターも活用した接種を実施しつつ、職域（大学等を含む）による接種を実施するとともに、地域接種・職域接種のいずれにもつながりにくい者のワクチン接種を推進すること。加えて、接種を実施する医療機関、医療関係者の確保に向けて、必要な取組を総動員し、ワクチン接種の円滑化・加速化を進めること。

12) 水際対策

- ① 政府は、水際対策について、変異株を含め、国内への感染者の流入及び国内での感染拡大を防止する観点から、入国制限、渡航中止勧告、帰国者の検査・健康観察等の検疫の強化、査証の制限等の措置等を引き続き実施する。今後も新たな変異株が発生しうることを見据え、「水際対策上特に懸念すべき変異株」と従来株を含むそれ以外の新型コロナウイルスに分類し、当該国の変異株の流行状況、日本への流入状況などのリスク評価に基づき、機動的かつ適時に水際強化措置等を講ずる。なお、厚生労働省は、関係省庁と連携し、健康観察について、保健所の業務負担の軽減や体制強化等を支援する。
- ② 諸外国での新型コロナウイルス感染症の発生の状況を踏まえて、必要に応じ、国土交通省は、航空機の到着空港の限定の要請、港湾の利用調整や水際・防災対策連絡会議等を活用した対応力の強化等を行うとともに、厚生労働省は、特定検疫港等の指定を検討する。
- ③ 厚生労働省は、停留に利用する施設が不足する場合には、法第 29 条の適用も念頭に置きつつも、必要に応じ、関係省庁と連携して、停留に利用可能な施設の管理者に対して丁寧な説明を行うことで停留施設の確保に努める。

13) クラスター対策の強化

- ① 都道府県等は、厚生労働省や専門家と連携しつつ、積極的疫学調査により、個々の濃厚接触者を把握し、健康観察、外出自粛の要請等を行うとともに、感染拡大の規模を適確に把握し、適切な感染対策を行う。その際、より効果的な感染拡大防止につなげるため、厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）による地方公共団体間の一元的な情報共有・分析を支援する。都道府県等は、積極的疫学調査の結果等の地方公共団体間の情報連携を徹底するとともに、積極的疫学調査を実施する際に優先度も考慮する。積極的疫学調査に対して正当な理由がなく協力しない場合の命令、この命令に正当な理由がなく応じない場合の罰則の適用については、対象者の人権に十分に配慮し、慎重に運用すること。
- ② 政府は、関係機関と協力して、クラスター対策に当たる専門家の確保及び育成を行う。
- ③ 厚生労働省及び都道府県等は、関係機関と協力して、特に、感染拡大の兆候が見られた場合には、専門家やその他人員を確保し、その地域への派遣を行う。

なお、感染拡大が顕著な地域において、保健所における積極的疫学調査に係る人員体制が不足するなどの問題が生じた場合には、都道府県は関係学会・団体等の専門人材派遣の仕組みである IHEAT（Infectious disease Health Emergency Assistance Team）の活用や、厚生労働省と調整し、他の都道府県からの応援派遣職員の活用等の人材・体制確保のための対策を行う。感染拡大に伴う優先度を踏まえた積極的疫学調査については、感染状況の改善に伴い改めて対応を強化する。その際には、IHEATの積極的な活用も図りながら、変異株への対応といった観点も踏まえつつ、感染源の推定のための調査を含めた強化を図る。

また、都道府県等が連携し、積極的疫学調査等の専門的業務を十分に実施できるよう保健所の業務の重点化や人材育成等を行うこと、保健所業務の外部委託の活用、地域のネットワークと連携したIHEA

Tの積極的な活用、人材確保・人材育成の好事例の横展開等により、保健所の体制を強化し、感染拡大時に即応できる人員体制を平時から整備する。

- ④ 政府及び都道府県等は、クラスター対策を抜本強化するという観点から、保健所の体制強化に迅速に取り組む。これに関連し、特定都道府県は、管内の市町村と迅速な情報共有を行い、また、対策を的確かつ迅速に実施するため必要があると認めるときは、法第24条に基づく総合調整を行う。さらに、都道府県等は、クラスターの発見に資するよう、地方公共団体間の迅速な情報共有に努めるとともに、政府は、対策を的確かつ迅速に実施するため必要があると認めるときは、法第20条に基づく総合調整を行う。
- ⑤ 政府及び都道府県等は、クラスター対策を強化する観点から、以下の取組を行う。
 - ・ 大規模な歓楽街については、令和2年10月29日の分科会における「大都市の歓楽街における感染拡大防止対策ワーキンググループ当面の取組方策に関する報告書」に示された取組を踏まえ、通常時から相談・検査体制の構築に取り組むとともに、早期に予兆を探知し、介入時には、速やかに重点的（地域集中的）なPCR検査等の実施や、必要に応じ、エリア・業種を絞った営業時間短縮要請等を機動的に行うこと。
 - ・ 「三つの密」等濃厚接触が生じやすい環境にある職場でクラスターが発生した場合には、幅広く検査を実施する。また、あらかじめ、事業者に対し、職場でのクラスター対策の徹底を呼びかけるとともに、上記の検査について労働者への受検勧奨の実施等を促すこと。
 - ・ 言語の壁や生活習慣の違いがある在留外国人を支援する観点から、政府及び都道府県等が提供する情報の一層の多言語化、大使館のネットワーク等を活用したきめ細かな情報提供、相談体制の整備等により、検査や医療機関の受診に早期につなげる仕組みを構築すること。

- ⑥ 政府は、接触確認アプリ（COCOA）について、機能の向上を図るとともに、検査の受診等保健所のサポートを早く受けられることやプライバシーに最大限配慮した仕組みであることを周知し、その幅広い活用や、感染拡大防止のための陽性者としての登録を行うよう、呼びかけを行い、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）及び保健所等と連携した積極的疫学調査で活用することにより、効果的なクラスター対策につなげていく。
- ⑦ 政府は、QRコードを活用した地方公共団体独自の取組を踏まえ、クラスター対策のための効果的な情報収集・分析・共有の在り方及び実効性を上げるためのインセンティブ等の仕組みについて、パイロット的に特定の地域で実証することも含め、検討を行う。

14) その他共通的事項等

- ① 特定都道府県又は重点措置区域である都道府県は、地域の特性に応じた実効性のある緊急事態措置又はまん延防止等重点措置を講じる。特定都道府県又は重点措置区域である都道府県は、緊急事態措置又はまん延防止等重点措置を講じるに当たっては、法第5条を踏まえ、必要最小限の措置とするとともに、講じる措置の内容及び必要性等について、国民に対し丁寧に説明する。
- ② 政府及び特定都道府県は、緊急事態措置を講じること等に伴い、食料・医薬品や生活必需品の買い占め等の混乱が生じないように、国民に冷静な対応を促す。
- ③ 政府及び地方公共団体は、緊急事態措置の実施に当たっては、事業者の円滑な活動を支援するため、事業者からの相談窓口の設置、物流体制の確保、ライフラインの万全の体制の確保等に努める。
- ④ 政府は、関係機関と協力して、公共交通機関その他の多数の人が集まる施設における感染対策を徹底する。

(4) 医療等

- ① 重症者等に対する医療提供に重点を置いた入院医療の提供体制の確保

を進めるため、厚生労働省と都道府県等は、関係機関と協力して、次のような対策を講じる。

- ・ 重症者や重症化リスクのある者に医療資源の重点をシフトする観点から、令和2年10月14日の新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和2年政令第11号）の改正（令和2年10月24日施行）により、高齢者や基礎疾患のある者等入院勧告・措置の対象の明確化を行っており、改正法の施行により、この取扱いが法定化された。都道府県等は、関係法令に基づき、地域の感染状況等を踏まえ、適切に入院勧告・措置を運用すること。また、改正法の施行により、入院措置に正当な理由なく応じない場合や入院先から逃げた場合の罰則が設けられたが、都道府県等は、その運用に当たって、患者の人権に十分に配慮し、慎重に運用するとともに、患者への偏見・差別につながらないよう、（6）で後述する取組の一層の強化を図ること。

重症者等に対する医療提供に重点を置くべき地域では、特に病床確保や都道府県全体の入院調整に最大限努力した上で、なお病床がひっ迫する場合には、高齢者等も含め入院治療が必要ない無症状病原体保有者及び軽症患者（以下「軽症者等」という。）については、感染症法第44条の3第2項に基づき宿泊施設（適切な場合は自宅）での療養を要請することで、入院治療が必要な患者への医療提供体制の確保を図ること。丁寧な健康観察を実施すること。

特に、家庭内での感染防止や症状急変時の対応のため、宿泊施設が十分に確保されているような地域では、軽症者等は宿泊療養を基本とすること。そのため、都道府県は、患者の病状、数その他感染症の発生及びまん延の状況を勘案して、ホテル等の一時的な宿泊療養施設の確保に努めるとともに、都道府県等は、宿泊療養施設の運営体制を確保すること。政府は、都道府県等と密接に連携し、これらの取組を支援すること。

自宅療養等を行う際には、自宅療養や宿泊療養中に症状が悪化し、

亡くなる方もいることを踏まえ、都道府県等は電話等情報通信機器や情報把握・管理支援システム（HER-SYS）の自動架電等の機能を用いて遠隔で健康状態を把握するとともに、医師が必要とした場合には電話等情報通信機器を用いて診療を行う体制を整備すること。また、パルスオキシメーターの確保や、往診・オンライン診療・訪問看護等の活用など、適切な療養環境を確保するための取組を推進すること。

- ・ 都道府県等は、患者が入院、宿泊療養、自宅療養をする場合に、その家族に要介護者や障害者、子供等がいる場合は、市町村福祉部門の協力を得て、ケアマネジャー、相談支援専門員、児童相談所等と連携し、必要なサービスや支援を行うこと。
- ・ 都道府県等は、変異株が確認された患者等について、適切に入院措置・勧告を行うこと。また、地域の感染状況等を踏まえ、変異株が確認された軽症者等について、丁寧に健康観察を実施のうえ、宿泊施設での療養を要請すること。さらに、国立感染症研究所の評価・分析を踏まえ改定された退院基準等に基づき、入院措置・勧告、宿泊療養等の措置を適切に講ずること。厚生労働省は、国立感染症研究所と連携して、変異株の国内症例の評価・分析を行うこと。
- ・ 都道府県は、関係機関の協力を得て、新型コロナウイルス感染症の患者専用の病院や病棟を設定する重点医療機関の指定等、地域の医療機関の役割分担を行うとともに、病床・宿泊療養施設確保計画に沿って、段階的に病床・宿泊療養施設を確保すること。

特に、病床がひっ迫している場合、令和2年12月28日の政府対策本部で示された「感染拡大に伴う入院患者増加に対応するための医療提供体制パッケージ」を活用しつつ、地域の実情に応じ、重点医療機関以外の医療機関に働きかけを行うなど病床の確保を進めること。

その際、地域の関係団体の協力のもと、地域の会議体を活用して医療機能（重症者病床、中等症病床、回復患者の受け入れ、宿泊療養、自宅療養）に応じた役割分担を明確化した上で、病床の確保を進める

こと。

また、医療機関は、業務継続計画（BCP）も踏まえ、必要に応じ、医師の判断により延期が可能と考えられる予定手術や予定入院の延期を検討し、空床確保に努めること。

さらに、都道府県は、仮設の診療所や病棟の設置、非稼働病床の利用の取組を推進するとともに、それでもなお病床が不足すると見込まれる場合には、法第 31 条の 2 に基づく臨時の医療施設の開設についてその活用を十分に考慮すること。臨時の医療施設の開設に当たっては、あらかじめ政府と協議し、迅速な情報共有を行うとともに、開設後は定期的に運営状況を報告する。厚生労働省は、それらの活用にあたって、必要な支援を行うこと。また、都道府県等が感染症法第 16 条の 2 に基づく協力要請等及び法第 31 条に基づく医療等の実施の要請等を行う場合には、当該医療等が適切に実施されるよう、必要な支援を行うこと。

- ・ 各都道府県において感染拡大局面で認識された課題を点検し、「相談・受診・検査」～「療養先調整・移送」～「転退院・解除」まで一連の患者対応が目詰まりなく行われ、病床・宿泊療養施設が最大限活用されるよう留意しつつ、最近の感染状況を踏まえた感染者急増時の緊急的な患者対応方針や病床・宿泊療養施設確保計画に基づき、政府と都道府県が連携して、感染拡大時に確実に機能する医療提供体制の整備に引き続き取り組むこと。
- ・ 政府及び都道府県等において、病床確保・活用の状況及び感染状況を適切にモニタリングするとともに、感染拡大防止策の実施に適時適切に反映させること。その際、例えば 40 代・50 代の重症者数が特に増加するような地域もあり、年齢別の動向についても注視し、ワクチンの接種も含め地域の状況を踏まえた適切な対策を講じること。
- ・ 都道府県は、患者受入調整や移送調整を行う体制を整備し、患者の医療提供に関する必要な総合調整を行うとともに、医療機関等情報支援システム（G-MIS）も活用し、患者受入調整に必要な医療

機関の情報の見える化を行うこと。また、厚生労働省は、都道府県が患者搬送コーディネーターの配置を行うことについて、必要な支援を行うこと。

- ・ さらに、感染拡大に伴う患者の急増に備え、都道府県は、都道府県域を越える場合も含めた広域的な患者の受入れ体制を確保すること。
- ・ 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関の病床を効率的に活用するため、回復患者の転院先となる後方支援医療機関の確保を更に進めること。
- ・ また、効率的な転院調整が行われるよう、地域の実情に応じた、転院支援の仕組みを検討すること。
- ・ 退院基準を満たした患者について、高齢者施設等における受入れを促進すること。

② 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者への外来診療・検査体制の確保のため、厚生労働省と都道府県等は、連携して検査体制整備計画を見直すとともに、関係機関と協力して、次のような対策を講じる。

- ・ かかりつけ医等の地域で身近な医療機関や受診・相談センターを通じて、診療・検査医療機関を受診することにより、適切な感染管理を行った上で、新型コロナウイルス感染症が疑われる患者への外来医療を提供すること。
- ・ 都道府県等は、関係機関と協力して、集中的に検査を実施する機関（地域外来・検査センター）の設置を行うこと。

また、大型テントやプレハブを活用した、いわゆるドライブスルー方式やウォークスルー方式による診療を行うことで、効率的な診療・検査体制を確保すること。併せて、検査結果を踏まえて、患者の振り分けや受け入れが適切に行われるようにすること。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等を踏まえ、診療・検査医療機関の指定や地域外来・検査センターの設置を柔軟かつ積極的に行うこと。

- ・ 都道府県は、重症化しやすい方が来院するがんセンター、透析医療機関及び産科医療機関等について、必要に応じ、新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる方への外来診療を原則行わない医療機関として設定すること。
- ③ 新型コロナウイルス感染症患者のみならず、他の疾患等の患者への対応も踏まえて地域全体の医療提供体制を整備するため、厚生労働省と都道府県は、関係機関と協力して、次のような対策を講じる。
- ・ 都道府県は、地域の医療機能を維持する観点から、新型コロナウイルス感染症以外の疾患等の患者受入れも含めて、地域の医療機関の役割分担を推進すること。
 - ・ 患者と医療従事者双方の新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、初診を含めて、電話等情報通信機器を用いた診療体制の整備を推進すること。
- ④ 医療従事者の確保のため、厚生労働省と都道府県等は、関係機関と協力して、次のような対策を講じる。
- ・ 都道府県等は、現場で従事している医療従事者の休職・離職防止策や潜在有資格者の現場復帰、医療現場の人材配置の転換等を推進すること。また、検査を含め、直接の医療行為以外に対しては、有資格者以外の民間の人材等の活用を進めること。
 - ・ 厚生労働省は、今般の新型コロナウイルス感染症の対応に伴い、全国の医療機関等の医療人材募集情報を掲載する Web サイト「医療のお仕事 Key-Net」の運営等を通じて、医療関係団体、ハローワーク、ナースセンター等と連携し、医療人材の確保を支援すること。
- ⑤ 医療物資の確保のため、政府と都道府県、関係機関は協力して、次のような対策を講じる。
- ・ 政府及び都道府県は、医療提供体制を支える医薬品や医療機器、医療資材の製造体制を確保し、医療機関等情報支援システム（G-MIS）も活用し、必要な医療機関に迅速かつ円滑に提供できる体制を確保するとともに、専門性を有する医療従事者や人工呼吸器等の必

要な医療機器・物資・感染防止に必要な資材等を迅速に確保し、適切な感染対策の下での医療提供体制を整備すること。

- ・ 政府及び都道府県は、特に新型コロナウイルス感染症を疑う患者にPCR検査等や入院の受入れを行う医療機関等に対しては、マスク等の個人防護具を優先的に確保すること。

⑥ 医療機関及び高齢者施設等における施設内感染を徹底的に防止するため、厚生労働省と地方公共団体は、関係機関と協力して、次の事項について周知徹底を図る。

- ・ 医療機関及び高齢者施設等の設置者において、
 - ▶ 従事者等が感染源とならないよう、「三つの密」が生じる場を徹底して避けるとともに、
 - ▶ 症状がなくても患者や利用者とは接する際にはマスクを着用する、
 - ▶ 手洗い・手指消毒の徹底、
 - ▶ パソコンやエレベーターのボタン等複数の従事者が共有するものは定期的に消毒する、
 - ▶ 食堂や詰め所でマスクを外して飲食をする場合、他の従事者と一定の距離を保つ、
 - ▶ 日々の体調を把握して少しでも調子が悪ければ自宅待機する、
 - ▶ 感染多数地域における従事者等に対する定期的検査を実施する、等の対策に万全を期すこと。
- ・ 医療機関及び高齢者施設等において、面会者からの感染を防ぐため、面会は、地域における発生状況等も踏まえ、患者、家族のQOLを考慮しつつ、緊急の場合を除き制限するなどの対応を検討すること。
- ・ 医療機関及び高齢者施設等において、患者、利用者からの感染を防ぐため、感染が流行している地域では、患者、家族のQOLを考慮しつつ、施設での通所サービス等の一時利用を中止又は制限する、入院患者、利用者の外出、外泊を制限するなどの対応を検討すること。
- ・ 医療機関及び高齢者施設等において、入院患者、利用者等について、

新型コロナウイルス感染症を疑った場合は、早急に個室隔離し、保健所の指導の下、感染対策を実施し、標準予防策、接触予防策、飛沫感染予防策を実施すること。

- ⑦ 都道府県は、感染者と非感染者の空間を分けることなどを含む感染防止策の更なる徹底等を通して、医療機関及び施設内での感染の拡大に特に注意を払う。

高齢者施設等の発熱等の症状を呈する従事者・入所者に対する健康観察アプリ、抗原簡易キット等も活用した検査や陽性者が発生した場合の当該施設の入所者等への検査が速やかに行われるようにする。また、感染者が多数発生している地域における医療機関、高齢者施設等への積極的な検査が行われるようにする。

また、都道府県は、高齢者施設等において感染者が一例でも確認された場合に、感染制御・業務継続支援チームが支援を行う体制を構築するとともに政府は、この体制を構築するに当たり、各都道府県を支援することに併せて、研修の実施や実践例の展開により、対応力を強化する。

また、高齢者施設等において、感染対策マニュアルを活用した感染対策等の対応力強化の取組を、事例集の展開や業務継続計画の策定支援などにより一層進める。

加えて、手術や医療的処置前等において、当該患者について医師の判断により、PCR検査等が実施できる体制をとる。

- ⑧ この他、適切な医療提供・感染管理の観点で、厚生労働省と都道府県は、関係機関と協力して、次の事項に取り組む。

- ・ 妊産婦に対する感染を防止する観点から、医療機関における動線分離等の感染防止策を徹底するとともに、妊産婦が感染した場合であっても、安心して出産し、産後の生活が送れるよう、関係機関との協力体制を構築し、適切な支援を実施すること。また、関係機関と協力して、感染が疑われる妊産婦への早めの相談の呼びかけや、妊娠中の女性労働者に配慮した休みやすい環境整備等の取組を推進すること。

- ・ 小児医療について、関係学会等の意見を聞きながら、診療体制を検討し、地方公共団体と協力して体制整備を進めること。
 - ・ 関係機関と協力して、外国人が医療を適切に受けることができるよう、医療通訳の整備等を、引き続き、強化すること。
 - ・ レムデシビル、デキサメタゾン及びバリシチニブについて、必要な患者への供給の確保を図るとともに、関係省庁・関係機関とも連携し、有効な治療薬等の開発を加速すること。特に、他の治療で使用されている薬剤のうち、効果が期待されるものについて、その効果を検証するための臨床研究・治験等を速やかに実施すること。また、重症化マーカーを含めた重症化リスクに関する臨床情報・検査や、重症患者等への治療方法について、現場での活用に向けた周知、普及等に努めること。
 - ・ 法令に基づく健康診断及び予防接種については、適切な感染対策の下で実施されるよう、実施時期や実施時間等に配慮すること。
 - ・ 政府及び都道府県等は、実費でPCR検査が行われる場合にも、医療と結びついた検査が行われるよう、周知を行うとともに、精度管理についても推進すること。
- ⑨ 政府は、令和2年度第1次補正予算・第2次補正予算・第3次補正予算、予備費等も活用し、地方公共団体等に対する必要な支援を行うとともに、医療提供体制の更なる強化に向け、対策に万全を期す。

(5) 経済・雇用対策

現下の感染拡大の状況に応じ、その防止を最優先とし、予備費を活用するなど臨機応変に対応することとする。昨年春と夏の感染拡大の波を経験する中、感染対策とバランスをとりつつ、地域の感染状況や医療提供体制の確保状況等を踏まえながら、感染拡大の防止と社会経済活動の維持との両立を図ってきた。具体的には、政府は、令和2年度第1次補正予算を含む「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）及び令和2年度第2次補正予算の各施策を、国・地方を挙げて迅速か

つ着実に実行することにより、感染拡大を防止するとともに、雇用の維持、事業の継続、生活の下支えに万全を期してきた。今後、令和2年度第3次補正予算を含む「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」（令和2年12月8日閣議決定）や「新たな雇用・訓練パッケージ」（令和3年2月12日策定）、「非正規雇用労働者等に対する緊急支援策」（令和3年3月16日新型コロナに影響を受けた非正規雇用労働者等に対する緊急対策関係閣僚会議決定）、「新型コロナの影響を特に受けている飲食・宿泊等の企業向けの金融支援等について」（令和3年3月23日策定）を含む各種の経済支援策、更には令和3年度当初予算を、国・地方を挙げて迅速かつ着実に実行することにより、医療提供体制の確保やワクチンの接種体制等の整備をはじめとする新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に全力を挙げ、感染症の厳しい影響に対し、雇用調整助成金や実質無利子・無担保融資等により雇用・事業・生活をしっかり守っていく。その上で、成長分野への民間投資を大胆に呼び込みながら、生産性を高め、賃金の継続的な上昇を促し、民需主導の成長軌道の実現につなげる。今後も感染状況や経済・国民生活への影響を注意深く見極め、公平性の観点や円滑な執行等が行われることにも配慮しつつ、引き続き、状況に応じて、新型コロナウイルス感染症対策予備費の活用により臨機応変に必要な対策を講じていくとともに、我が国経済の自律的な経済成長に向けて、躊躇なく機動的なマクロ経済政策運営を行っていく。

(6) その他重要な留意事項

1) 偏見・差別等への対応、社会課題への対応等

- ① 政府及び地方公共団体は、新型コロナウイルス感染症へのり患は誰にでも生じ得るものであり、感染者やその家族、勤務先等に対する差別的な取扱いや誹謗中傷、名誉・信用を毀損する行為等は、人権侵害に当たり得るのみならず、体調不良時の受診遅れや検査回避、保健所の積極的疫学調査への協力拒否等につながり、結果として感染防止策に支障を生じさせかねないことから、分科会の偏見・差別とプライバ

シーに関するワーキンググループが行った議論のとりまとめ（令和2年11月6日）や法第13条第2項の規定を踏まえ、感染者等の人権が尊重され、何人も差別的な取扱い等を受けることのないよう、以下のような取組を行う。

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識の普及に加え、政府の統一的なホームページ（corona.go.jp）等を活用し、地方公共団体や関係団体等の取組の横展開にも資するよう、偏見・差別等の防止等に向けた啓発・教育に資する発信を強化すること。
 - ・ 感染者やその家族、勤務先等に対する偏見・差別等の実態の把握に努めるとともに、偏見・差別等への相談体制を、研修の充実、NPOを含めた関係機関の連携、政府による支援、SNSの活用等により強化すること。
 - ・ 悪質な行為には法的責任が伴うことについて、政府の統一的なホームページ等を活用して、幅広く周知すること。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の特徴を踏まえた行政による情報公表の在り方に関して、改めて政府としての統一的な考え方を整理すること。また、情報の公表に当たっては、個人情報の保護に留意すること。
 - ・ クラスタ発生等の有事対応中においては、感染症に関する正しい知識に加えて、感染者等を温かく見守るべきこと等を発信すること。
- ② 政府は、新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療関係者が偏見・差別等による風評被害等を受けないよう、国民への普及啓発等必要な取組を実施する。
- ③ 政府は、ワクチンを接種していない者及び接種できない者が不当な偏見・差別等を受けないよう、国民への普及啓発等必要な取組を実施する。
- ④ 政府は、海外から一時帰国した児童生徒等への学校の受入れ支援やいじめ防止等の必要な取組を実施する。

- ⑤ 政府及び関係機関は、各種対策を実施する場合において、国民の自由と権利の制限を必要最小限のものとする。特に、罰則が設けられている措置については、患者や関係者の人権に十分に配慮し、まずは当該措置の趣旨や必要性を患者等に丁寧に説明し、理解・協力を得られるようにすることを基本とするとともに、罰則の適用は、慎重に行うものとする。また、女性の生活や雇用への影響が深刻なものとなっていることに留意し、女性や子供、障害者等に与える影響を十分配慮するとともに、必要な支援を適時適切に実施する。
- ⑥ 政府及び地方公共団体は、マスク、個人防護具、医薬品、医薬部外品、食料品等に係る物価の高騰や買占め、売り惜しみを未然に回避し又は沈静化するため、必要な措置を講じる。
- ⑦ 政府は、地方公共団体と連携し、対策が長期化する中で生ずる様々な社会課題に対応するため、適切な支援を行う。
- ・ 長期間にわたる外出自粛等によるメンタルヘルスへの影響、配偶者暴力、性犯罪・性暴力や児童虐待等。
 - ・ 情報公開と人権との協調への配慮。
 - ・ 営業自粛等による倒産、失業、自殺等。
 - ・ 社会的に孤立しがちな一人暮らしの高齢者、休業中のひとり親家庭等の生活。
 - ・ 外出自粛等の下で、高齢者等がフレイル状態等にならないよう、コミュニティにおける支援を含め、健康維持・介護サービスの確保。
- ⑧ 政府及び地方公共団体は、新型コロナウイルス感染症により亡くなった方に対して尊厳をもってお別れ、火葬等が行われるよう、適切な方法について、周知を行う。
- ⑨ 政府は、ワクチン接種に便乗した詐欺被害等の防止のため注意喚起や相談体制を強化する。

2) 物資・資材等の供給

- ① 政府は、国民や地方公共団体の要望に応じ、マスク、個人防護具、消毒薬、食料品等の増産や円滑な供給を関連事業者に要請する。また、

政府は、感染防止や医療提供体制の確保のため、マスク、個人防護具、人工呼吸器等の必要な物資を政府の責任で確保する。例えば、マスク等を政府で購入し、必要な医療機関や介護施設等に優先配布するとともに、感染拡大に備えた備蓄を強化する。

- ② 政府は、マスクや消毒薬等の国民が必要とする物資が安定的に供給されるよう、これらの物資の需給動向を注視するとともに、過剰な在庫を抱えることのないよう消費者や事業者に冷静な対応を呼びかける。
- ③ 政府は、事態の長期化も念頭に、マスクや抗菌薬及び抗ウイルス薬の原薬を含む医薬品、医療機器等の医療の維持に必要な資材の安定確保に努めるとともに、国産化の検討を進める。

3) 関係機関との連携の推進

- ① 政府は、地方公共団体を含む関係機関等との双方向の情報共有を強化し、対策の方針の迅速な伝達と、対策の現場における状況の把握を行う。
- ② 政府は、対策の推進に当たっては、地方公共団体、経済団体等の関係者の意見を十分聴きながら進める。
- ③ 地方公共団体は、保健部局のみならず、危機管理部局も含め全ての部局が協力して対策に当たる。
- ④ 政府は、国際的な連携を密にし、WHOや諸外国・地域の対応状況等に関する情報収集に努める。また、日本で得られた知見を積極的にWHO等の関係機関や諸外国・地域と共有し、今後の対策に活かすとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受ける国・地域に対する国際社会全体としての対策に貢献する。
- ⑤ 政府は、基礎医学研究及び臨床医学研究、疫学研究を含む社会医学研究等の研究体制に対する支援を通して、新型コロナウイルス感染症への対策の推進を図る。
- ⑥ 都道府県等は、近隣の都道府県等が感染拡大防止に向けた様々な措置や取組を行うに当たり、相互に連携するとともに、その要請に応じ、必要な支援を行う。

- ⑦ 特定都道府県又は重点措置区域である都道府県等は、緊急事態措置又はまん延防止等重点措置等を実施するに当たっては、あらかじめ政府と協議し、迅速な情報共有を行う。政府対策本部長は、特定都道府県又は重点措置区域である都道府県等が適切に緊急事態措置又はまん延防止等重点措置を講じることができるよう、専門家の意見を踏まえつつ、総合調整を行うとともに、特に必要があると認めるときは、都道府県知事に対して、必要な指示を行うものとする。
- ⑧ 緊急事態宣言の期間中に様々な措置を実施した際には、特定都道府県知事及び指定行政機関の長は政府対策本部長に、特定市町村長及び指定地方公共機関の長はその所在する特定都道府県知事に、指定公共機関の長は所管の指定行政機関に、その旨及びその理由を報告する。政府対策本部長は国会に、特定都道府県知事及び指定行政機関の長は政府対策本部長に、報告を受けた事項を報告する。

4) 社会機能の維持

- ① 政府、地方公共団体、指定公共機関及び指定地方公共機関は、職員における感染を防ぐよう万全を尽くすとともに、万が一職員において感染者又は濃厚接触者が確認された場合にも、職務が遅滞なく行えるように対策をあらかじめ講じる。特に、テレビ会議及びテレワークの積極的な実施に努める。
- ② 地方公共団体、指定公共機関及び指定地方公共機関は、電気、ガス、水道、公共交通、通信、金融業等の維持を通して、国民生活及び国民経済への影響が最小となるよう公益的事業を継続する。
- ③ 政府は、指定公共機関の公益的事業の継続に支障が生じることがないように、必要な支援を行う。
- ④ 国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者は、国民生活及び国民経済安定のため、事業の継続を図る。
- ⑤ 政府は、事業者のサービス提供水準に係る状況の把握に努め、必要に応じ、国民への周知を図る。
- ⑥ 政府は、空港、港湾、医療機関等におけるトラブル等を防止するため、

必要に応じ、警戒警備を実施する。

- ⑦ 警察は、混乱に乗じた各種犯罪を抑止するとともに、取締りを徹底する。

5) 緊急事態宣言解除後の取組

政府は、緊急事態宣言の解除を行った後も、都道府県等や基本的対処方針分科会、分科会等との定期的な情報交換等を通じ、国内外の感染状況の変化、施策の実施状況等を定期的に分析・評価・検証を行う。その上で、最新の情報に基づいて適切に、国民や関係者へ情報発信を行うとともに、それまでの知見に基づき、より有効な対策を実施する。

6) その他

- ① 政府は、必要に応じ、他法令に基づく対応についても講じることとする。
- ② 今後の状況が、緊急事態宣言の要件等に該当するか否かについては、海外での感染者の発生状況とともに、感染経路の不明な患者やクラスターの発生状況等の国内での感染拡大及び医療提供体制の逼迫の状況を踏まえて、国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがあるか否かについて、政府対策本部長が基本的対処方針分科会の意見を十分踏まえた上で総合的に判断することとする。
- ③ 政府は、基本的対処方針を変更し、又は、緊急事態を宣言、継続若しくは終了するに当たっては、新たな科学的知見、感染状況、施策の実行状況等を考慮した上で、基本的対処方針分科会の意見を十分踏まえた上で臨機応変に対応する。

(別添)緊急事態宣言時に事業の継続が求められる事業者

以下、事業者等については、「三つの密」を避けるための取組を講じていただきつつ、事業の継続を求める。

1. 医療体制の維持

- ・新型コロナウイルス感染症の治療はもちろん、その他の重要疾患への対応もあるため、全ての医療関係者の事業継続を要請する。
- ・医療関係者には、病院・薬局等のほか、医薬品・医療機器の輸入・製造・販売、献血を実施する採血業、入院者への食事提供等、患者の治療に必要な全ての物資・サービスに関わる製造業、サービス業を含む。

2. 支援が必要な方々の保護の継続

- ・高齢者、障害者等特に支援が必要な方々の居住や支援に関する全ての関係者（生活支援関係事業者）の事業継続を要請する。
- ・生活支援関係事業者には、介護老人福祉施設、障害者支援施設等の運営関係者のほか、施設入所者への食事提供など、高齢者、障害者等が生活する上で必要な物資・サービスに関わる全ての製造業、サービス業を含む。

3. 国民の安定的な生活の確保

- ・自宅等で過ごす国民が、必要最低限の生活を送るために不可欠なサービスを提供する関係事業者の事業継続を要請する。
- ① インフラ運営関係（電力、ガス、石油・石油化学・LPガス、上下水道、通信・データセンター等）
 - ② 飲食料品供給関係（農業・林業・漁業、飲食料品の輸入・製造・加工・流通・ネット通販等）
 - ③ 生活必需物資供給関係（家庭用品の輸入・製造・加工・流通・ネット通販等）
 - ④ 宅配・テイクアウト、生活必需物資の小売関係（百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター等）
 - ⑤ 家庭用品のメンテナンス関係（配管工・電気技師等）
 - ⑥ 生活必需サービス（ホテル・宿泊、銭湯、理美容、ランドリー、獣医等）
 - ⑦ ごみ処理関係（廃棄物収集・運搬、処分等）
 - ⑧ 冠婚葬祭業関係（火葬の実施や遺体の死後処置に係る事業者等）
 - ⑨ メディア（テレビ、ラジオ、新聞、ネット関係者等）
 - ⑩ 個人向けサービス（ネット配信、遠隔教育、ネット環境維持に係る設備・サービス、自家用車等の整備等）

4. 社会の安定の維持

・社会の安定の維持の観点から、緊急事態宣言の期間中にも、企業の活動を維持するために不可欠なサービスを提供する関係事業者の最低限の事業継続を要請する。

- ① 金融サービス（銀行、信金・信組、証券、保険、クレジットカードその他決済サービス等）
- ② 物流・運送サービス（鉄道、バス・タクシー・トラック、海運・港湾管理、航空・空港管理、郵便等）
- ③ 国防に必要な製造業・サービス業の維持（航空機、潜水艦等）
- ④ 企業活動・治安の維持に必要なサービス（ビルメンテナンス、セキュリティ関係等）
- ⑤ 安全安心に必要な社会基盤（河川や道路等の公物管理、公共工事、廃棄物処理、個別法に基づく危険物管理等）
- ⑥ 行政サービス等（警察、消防、その他行政サービス）
- ⑦ 育児サービス（託児所等）

5. その他

・医療、製造業のうち、設備の特性上、生産停止が困難なもの（高炉や半導体工場等）、医療・支援が必要な人の保護・社会基盤の維持等に不可欠なもの（サプライチェーン上の重要物を含む。）を製造しているものについては、感染防止に配慮しつつ、継続する。また、医療、国民生活・国民経済維持の業務を支援する事業者等にも、事業継続を要請する。

1. 飲食対策の徹底・人流抑制

参考資料4

- 緊急事態措置区域においては、酒類提供する飲食店に対する休業要請を含め、これまでの取組を継続・徹底
- まん延防止等重点措置区域においては、以下の取組を実施
 - ・ 飲食店に対し20時までの時短要請を行い、徹底を図る
 - ・ 酒類提供は、一定の要件（※）を満たした店舗において19時まで提供可。ただし、感染状況に応じ、知事の判断でさらに制限を行うことができる
 - ※いわゆる4項目（アクリル板等+換気+消毒+マスク会食）の感染防止策等
 - ・ 飲食店における感染防止策の第三者認証の普及と適用店舗の拡大に努める
 - ・ 協力飲食店等への協力金支給の迅速化促進
 - ・ 催物・イベントの収容率及び人数上限
 - 収容率：大声なし100%/大声あり50%
 - 人数上限：まん延防止等重点措置区域である都道府県は5000人
解除後1か月間の地域は10,000人 等

- 全ての特定都道府県において、関係機関と連携し、外部委託を活用するなどして、ほぼ全ての飲食店に対して見回りを実施。非協力店に対して個別要請862件、命令318件。
- 全てのまん延防止等重点措置区域において、関係機関と連携し、外部委託を活用するなどして、ほぼ全ての飲食店に対して見回りを実施。非協力店に対して個別の要請744件、命令181件。
- 47都道府県中37の自治体において第三者認証制度を導入済み。
- 協力金支給の迅速化に向けて、各自治体における迅速化のための様々な優良事例を周知する事務連絡（6月8日）、各要請期間後の速やかな申請受付開始や、これまで不正等なかった者からの申請について簡素な審査に基づき支給決定すること等の取扱いを自治体に求める事務連絡（6月17日）を発出。

2. ワクチン接種の円滑化・加速化

現在、我が国ではファイザー社及びモデルナ社のワクチンの接種が進められているが、両社だけで本年9月までに合計で2.2億回（1.1億人分）の供給を受けることとなっている。ワクチン接種に関して、10月から11月にかけて、希望する国民への接種を完了することを目指す。

- 高齢者へのワクチン接種の推進
 - ・ 6月最終週までに、高齢者約3600万人2回分のファイザー社ワクチンの配布を完了
 - ・ 希望する高齢者に対する接種の終了時期の見込みについて、全ての自治体が7月末までと回答(6月16日時点)
 - ・ モデルナ社ワクチンの承認に伴い、大規模接種会場における接種も含め、高齢者向け接種を更に強力に促進

→ 医療従事者等について約1121万回（7月6日時点）、高齢者を含めた一般接種について約4143万回（7月6日時点）接種が実施済み。

- 青壮年層へのワクチン接種の推進
 - ・ 都道府県等の大型接種会場の設置を引き続き推進するとともに、自治体による一般住民への接種券配送を促し、青壮年層への接種にも活用
 - ・ 医療従事者や会場等は企業等が自ら確保した上で、職域（大学等を含む）による接種を実施。大企業においては、下請け先や取引先、派遣労働者、当該企業の職員の家族を含めて広く接種を行うよう働きかけるとともに、中小企業においては、業界団体等で共同で接種会場の設置を進められるよう、好事例の提供等を実施

→ 一般接種の対象者への接種券の送付については、4月21日の厚生労働省から自治体への事務連絡において、標準的には6月中旬に接種券を送付できるよう準備を進めていただく必要がある旨を示し、6月1日にも、厚生労働省から自治体への事務連絡において、改めてこの点を周知。
→ 職域接種については、6月21日から本格的に開始。大学拠点接種についても、6月21日から開始。7月5日の週末までに1,857会場（うち大学は125大学）で接種を開始（一部キャンセルが発生する場合を含む）。

- 地域接種・職域接種のいずれにもつながりにくい者のワクチン接種の推進
 - ・ 歓楽街を抱える自治体等と連携し、接待を伴う飲食店など、企業における接種が行われることが想定されにくく、従業員が地域の接種にもつながりにくいと考えられる業種に着目した接種会場の設置を支援

→ 自治体独自の優先接種対象に位置づけるなどにより、歓楽街で働く者等の接種の推進に取り組む自治体の先行事例の周知等を行う予定。

- 接種会場における医療従事者の確保
 - ・ 歯科医師等の接種会場での活用が可能となったこと等も踏まえ、接種会場での医療従事者の確保に向けた取組を引き続き推進

→ 平日の体制の強化に加え、時間外や休日における接種の促進、接種回数の底上げ等のため、医療機関に対し各種財政支援等を実施。

3. 検査・サーベイランスの強化

＜検査の拡充による学校、職場等クラスターの多様化対策＞

- 医療機関、高齢者施設、大学、高校等に対して、都道府県や大学等の希望を踏まえ、必要な抗原簡易キットを6月以降順次配布。
健康観察アプリも活用し、軽症状者に速やかに検査

- 医療機関、高齢者施設等への抗原簡易キットの配布について、キットの使用方法や、健康観察アプリの活用等について6月9日に事務連絡を発出。都道府県と配布量及び配布先について調整がついたものから順次配送することとしており、7月7日現在、都道府県と調整がついた約300万回分の配送を指示したところであり、引き続き都道府県と調整がついたものから順次配送を実施。
- 大学・高校等における抗原簡易キットの活用を促すため、文部科学省において6月10日より順次ニーズ把握を実施。7月7日現在、約4,700校から、約45万回分の需要が上がっており、順次配布予定（7月中目途）。加えて、内閣官房が紹介している健康観察アプリについて、各大学等にも周知を実施。複数の陽性疑い者が判明した団体に対しては導入を推奨。

- 職場において、健康観察アプリの活用や軽症状者に抗原簡易キット等を活用した速やかな検査の促進

- 職場における検査の促進について、6月1日に、各省庁に対し、所管団体等に対する文書等による一般的な周知を依頼するとともに、クラスターの懸念される職場への重点的な取組の働きかけや、都道府県に対する重点的な個別の働きかけを依頼。
各省庁から所管団体に対し、6月16日までに計2765団体に文書等による周知を図るとともに、個別に説明や働きかけを行うなどの所管団体への重点的な取組に関する周知を、7月7日までに計1213団体に対して実施。
- さらに、6月25日に内閣官房・厚生労働省連名で事務連絡を発出し、抗原簡易キットも活用した職場における積極的検査についての実施手順等を改訂。この改訂により以下を措置。
 - ① 連携医療機関を持つ事業者はキットを直接入手することが可能
 - ② 検体採取に関する注意点を理解した職員の管理下で、自己検体採取が可能
 - ③ 陽性者が出た場合に、事業者側で幅広い接触者等を特定し、行政検査として検査実施が可能
- 健康観察アプリの活用について、内閣官房HPにおいて、民間事業者等が開発・提供している健康観察アプリのうち一定の要件を満たしたものを紹介するページを新設（6月21日）。幅広いニーズに応えられるよう、現在紹介しているアプリと類似のアプリの募集を開始するなど、活用を促進。 3

3. 検査・サーベイランスの強化（続き）

<検査の拡充による学校、職場等クラスターの多様化対策>

- **高齢者施設等の集中的検査**について、当面継続することとし、そのあり方について、ワクチンの接種状況や感染状況等を踏まえつつ検討

→ 4～6月において、27都府県、60市、23特別区の区域で68計画が策定され、集中的検査が進められているところ（6月16日時点で延べ6.3万施設で約230万件の検査が実施され、658件の陽性（陽性率0.029%）を確認）。7月以降も、当面の間、地域の感染状況に応じて当該計画に基づく集中検査を継続するよう6月17日に事務連絡を発出。

- 陽性が確認された場合の**周囲の者への迅速な行政検査の実施**によるクラスター大規模化の防止、**高齢者施設**等で陽性者が見つかった場合の**支援体制の構築**

→ 感染拡大地域において、保健所の事務負担の軽減を図りつつ、迅速かつ機動的にPCR検査等を実施するため、積極的疫学調査における濃厚接触者の特定等の考え方について6月4日に事務連絡を発出。

→ 高齢者施設等で陽性者が見つかった場合の支援として、感染管理の専門家やDMAT等による「感染制御・業務継続支援チーム」を全都道府県に設置し、ゾーニング等の感染管理に関する相談支援を実施。

また、介護職員の応援体制を全都道府県で構築し、陽性者が発生した施設等へ随時派遣。

- 検査体制整備計画に基づき、**PCR検査能力の向上**等を目指し、設備増強、民間検査機関や診療・検査医療機関との協力等

→ 検査体制整備計画に基づき、PCR検査能力が確保できるよう、民間検査機関宛てに、補助金等の活用について周知する事務連絡を5月31日に発出。

3. 検査・サーベイランスの強化（続き）

- 不要不急の都道府県間の移動は極力控えるよう促し、地域の事情に応じて、都道府県知事の判断により、遠隔地からの帰省・旅行等について、感染防止策の徹底とともに、出発前又は到着地での検査の勧奨等を促進
- 航空会社・旅行会社に対し、地域の事情に応じて、都道府県知事の判断により、旅行に際して事前のPCR等検査が勧奨されている旨や旅行者が利用可能な検査機会について、旅行者への周知・情報提供の協力を依頼

- 各都道府県に対し、不要不急の都道府県間の移動等は極力控えるよう促すとともに、都道府県知事の判断により、出発前又は到着地での検査の勧奨等を促進（6月17日事務連絡）。
- 航空会社・旅行会社の業界団体に対し、都道府県知事から国内線の利用に際して事前のPCR等検査が勧奨されている場合は、その旨旅行者に周知・情報提供するよう協力を依頼（6月18日事務連絡）。
- 沖縄県において、宮古空港、新石垣空港等ではPCR検査を開始しており、那覇空港では検査拡充に向けて準備中。
- 夏休み期間中、羽田空港、伊丹空港等から北海道、沖縄へ向かう利用者のうち希望者に対して、無料のPCR検査・抗原定量検査を行う。

その他（モニタリング検査）

- モニタリング検査については、これまで14都道府県において計約53万件（一日最大約一万件）のPCR検査キットを配布し、約38万件の検査を実施、約340件の陽性疑い者が判明。今後は、新規陽性者数が高い水準となっている首都圏等に重点を置いて実施するほか、大学、幼稚園・保育園等の若い世代の感染拡大が懸念される場所や、クラスター発生が懸念される密な環境の現場等のリスクのある現場での検査に重点をおいて実施。

3. 検査・サーベイランスの強化（続き）

＜サーベイランスの強化＞

○ ICT技術を駆使した疫学情報の迅速な分析

- ・ 改正感染症法に基づく積極的疫学調査の結果等の自治体間の情報連携の徹底を要請
- ・ ハーシスによる 自治体間の一元的な情報共有・分析を引き続き支援
- ・ QRコードを活用した自治体独自の取組を踏まえ、クラスター対策のための効果的な情報収集・分析・共有の在り方及び実効性を上げるためのインセンティブ等の仕組みについて、パイロット的に特定の地域で実証することも含め、検討。

- HER-SYSによる一元的な情報共有・分析を支援するとともに、様々な機会を活用して、自治体等に積極的疫学調査の結果等の自治体間の情報連携の徹底を要請。
- QRコードの活用については、ライブハウス等における実証実験並びにクラスター対策のための効果的な情報収集・分析・共有の在り方等に関して関係省庁等と調整開始。

○ 下水サーベイランスの体制整備

- ・ 国立感染症研究所における新型コロナウイルス検出方法等の検討や下水サーベイランスを活用した新型コロナ調査研究を支援するなど、引き続き、下水サーベイランス活用について検証を加速
(国土交通省の検討会で自治体や大学等と連携して下水道のウイルス濃度の測定の在り方について検討)

- 国立感染症研究所で下水検体からの新型コロナウイルス検出方法等の検討や下水サーベイランスを活用した新型コロナ調査研究の支援を行っており、引き続き、下水サーベイランスを新型コロナの監視体制の強化にどのように活用していくか検討を推進。
- 7月から関係省庁と連携し、内外調査等を行い、推進計画を検討中。

4. 水際対策を含む変異株対策

<水際対策・検査体制等の強化>

○ B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）への水際対策の強化（10日間の施設待機等や在留資格保持者の再入国拒否の対象国・地域及び入国者数制限についての検討を継続）

- 6月21日、6月28日、7月6日に、水際対策強化措置に係る指定国・地域の追加等。
- 7月7日現在、検疫所の宿泊施設での待機期間について、インド等9か国を10日間、英国等5か国を6日間、その他38の国・地域を3日間と指定。

※ 6月28日に、（1）「水際対策上特に懸念すべき変異株」と（2）それ以外の新型コロナウイルスに分類し、（1）の変異株として、ベータ株、ガンマ株及びデルタ株を指定。（1）は、我が国への当該変異株の流入リスクを総合的に判断し、入国後10日間、6日間、3日間の待機と検査等の水際強化措置を、（2）は、新型コロナウイルスの流入リスクが高いと判断される場合、入国後3日間の待機と検査等の水際強化措置を講じるもの。

○ 民間検査機関や大学等と連携したゲノム解析や変異株PCR検査による国内監視体制の強化。変異株事例に対する積極的疫学調査や検査の徹底

- 新型コロナウイルスに関するウイルスサーベイランスのゲノム解析として、体制整備を実施。国立感染症研究所からゲノム解析の民間検査会社への外部委託、全国の地方衛生研究所への技術移転（24自治体）、大学等での実施による体制整備を推進。多くの都道府県等で実施可能となるよう、国立感染症研究所からのゲノム機器の22の地方衛生研究所への無償供与を行い、技術移転を実施。
- 国委託の一部民間検査機関で（デルタ株の主要変異である）L452R変異を検出するPCR検査（L452R変異株PCR検査）を用いたスクリーニングを先行的に実施（5月28日開始）。6月4日に、全ての都道府県に対し、L452R変異株スクリーニングを全陽性者の約4割の実施割合を目指して実施するよう要請し、現在、全ての都道府県でL452R変異株スクリーニングを実施（6月21日から27日までの実施率は全国で約59%）。変異株事例が確認された場合には、検査や積極的疫学調査を強化して、感染拡大防止に取り組む。

4. 水際対策を含む変異株対策（続き）

<科学技術を活用した対策の推進>

○ 二酸化炭素濃度測定器等を活用した換気の徹底

- ・感染防止策の徹底に係る二酸化炭素濃度測定器等の設置を支援
- ・ビル管理者等に対して、換気の状態を二酸化炭素濃度測定器により確認する場合の留意点等を周知

- 内閣官房より事務連絡「感染対策の適切な実施について」（4月1日）及び「飲食店における感染症防止対策を徹底するための第三者認証制度」（4月30日）を都道府県知事宛に発出。飲食店等の施設に対し、換気等を含めた適切な感染対策の実施を促すとともに、第三者認証制度の基準案では、二酸化炭素濃度測定器の使用等による換気状況の把握に努める旨を規定。
- IBEC（建築省エネ機構）では、二酸化炭素濃度による換気の状態把握の留意点等を特設サイトにて周知。
- アクリル板の導入や二酸化炭素濃度測定器の設置に活用可能な持続化補助金や、高機能換気設備や空調の導入を支援する補助金、業態転換や新規事業展開等を支援する事業再構築補助金等といった各種支援策を用意しており、飲食店等の店舗や各事業所等での感染対策を推進。
- 6月17日に、地方自治体、ビルメンテナンス業界団体及びビルオーナー団体に対し事務連絡を発出し、換気の徹底及び二酸化炭素濃度測定器を使用する際の留意点の再度周知を実施。

<変異株への対応のために求められる行動様式の周知>

- 変異株に対応するため、基本的な感染対策をこれまで以上に徹底すること（密閉・密集・密接の一つだけでも集団感染リスクは高まること、すき間なく正しくマスクを着用すること、おしゃべりは短くすること等）について、動画、ポスター等を作成し、テレビCM、SNS、ホームページ等を通じて国民向けに周知
- 国民の多くがワクチン接種を終えるまでは、ワクチン接種後も、マスクの着用などの感染対策を継続する必要があることについて、ポスターやホームページ等で周知

- 6月以降、メッセージ動画を新たに2種類、ポスターを新たに2種類作成する等し、様々な媒体（テレビCM、新型コロナウイルス感染症対策の特別サイト、Yahoo、You Tube、Twitter、街頭大型ビジョン、広報誌等）を活用し、基本的な感染対策の徹底等を周知。

（例）若手タレントが出演するコロナ対策CM「私たちが未来を守ろう」を発信

梨田昌孝元監督によるメッセージ動画を発信

広報誌「厚生労働7月号」等

- HP等において、ワクチン接種後も、マスクの着用などの感染対策を継続していただくよう周知。

8

5. 医療提供体制等の一層の確保

○ 病床・宿泊療養施設確保計画に基づく、実効的な医療提供体制の確保の推進

- 5月中を期限として各都道府県において病床・宿泊療養施設確保計画の見直しを行い、6月17日に取りまとめて公表。見直し後の計画に基づく確保病床数は全国で35,196床、宿泊療養施設の確保居室数は全国で38,159室（なお、感染者急増時の緊急的な患者対応方針に基づき確保を予定する病床数は全国で37,827床、宿泊療養施設の居室数は全国で41,260室）。
同時に、病床の効率的な活用（入院基準の明確化や、地域内の医療機関間の役割分担の徹底による回復患者の転院先確保等）や目詰まり防止（患者対応フローの定期的な確認・分析、適時の改善）等の対応について、見直し後の計画に盛り込み、これに基づき実施。

○ 診療所の役割強化（感染症対応能力の向上、宿泊療養・自宅療養患者への関与拡大）

- 医療機関等における感染拡大防止等の取組に対する財政支援を実施。
また、見直し後の病床・宿泊療養施設確保計画に基づき、各都道府県において、宿泊療養施設における医師の定期訪問等の体制・人材確保や、自宅療養者への往診、オンライン診療等の拡充を進める等、健康管理体制の強化の取組を実施。

5. 医療提供体制等の一層の確保（続き）

- 公的病院等でのコロナ対応の一層の取り組み、緊急的な看護師派遣、都道府県域を超えた重症患者の広域移送など、災害医療ととらえた都道府県の病床・人材の確保に対する政府の支援の更なる強化

- 見直し後の病床・宿泊療養施設確保計画に基づき、地域内の医療機関間の役割分担に従って、一般医療と両立したコロナ医療の提供体制を着実に構築。医療提供体制がひっ迫した地域に対し、公的病院等の協力を得て、国が都道府県を超えた看護師の緊急的な派遣調整を実施（関係省庁が連携して4月以降に大阪府、兵庫県、沖縄県等へ計約200名の派遣調整を行ったほか、厚生労働省では関連する公的医療機関で6、7月に約180名の看護師派遣リストを調整）。
- 重症患者の広域搬送について、日本集中治療医学会に委託して、重症者対応を行う専門家の派遣や必要な場合の患者の広域搬送の支援等を行う「重症者治療搬送調整等支援事業」を実施しており、自治体からの求めに応じ、国が必要な支援を行う体制を構築（6月に沖縄県に専門家を派遣）。

- 保健所の機能強化（感染状況に応じた保健所業務の重点化、情報管理等のデジタル化の向上、地域のネットワークと連携したIHEATの活用等）に対する政府の支援の更なる強化

- 保健所における健康観察業務のデジタル化を推進するため、7月1日から、自動架電の利便性向上（本人が希望する時間帯に健康状態を登録できる仕組みの整備）、家族全員分の健康状態をスマホで登録できるようにするなど、HER-SYSの健康観察機能の一層の充実・強化を実施。上記内容をウェブ会議等で全国の保健所へ周知。
- IHEATの活用について、学会・関係団体等から派遣可能な保健師、医師、看護師等を、3月までに全国で3,000人以上確保し、5月31日から名簿管理システムの運用を開始。複数の都道府県で、地域の医療系や看護系のネットワークとIHEATが連携し、保健所の機能強化を実施。IHEATを含めた保健所の機能強化の好事例をウェブ会議等で全国の保健所へ周知。

医療機関・高齢者施設等への抗原簡易キット配布事業の状況
(令和3年7月13日時点)

<事業概要>

重症化リスクの高い者が多い医療機関や高齢者施設等の従事者等に症状が現れた場合に、早期に陽性者を発見することによって感染拡大を防止する観点から、迅速に抗原定性検査を実施できるよう、都道府県と調整して希望のあった医療機関や高齢者施設等に昨年増産した抗原簡易キットの配布を進める。

配送指示済みの抗原簡易キット (単位：回分)

都道府県名	合計	都道府県名	合計	都道府県名	合計
北海道	375,750	石川県	1,000	島根県	53,560
青森県	66,600	福井県	3,000	岡山県	153,330
岩手県	90,160	山梨県	32,060	広島県	30,580
宮城県	43,750	長野県	81,190	山口県	21,590
秋田県	22,840	岐阜県	30,520	徳島県	69,400
山形県	70,330	静岡県	227,680	香川県	57,050
福島県	87,700	愛知県	74,370	高知県	29,560
栃木県	41,000	三重県	103,640	福岡県	53,810
群馬県	108,190	滋賀県	54,640	佐賀県	65,140
埼玉県	343,530	京都府	122,870	長崎県	133,900
千葉県	160,070	大阪府	132,000	熊本県	28,040
東京都	138,310	兵庫県	107,210	大分県	89,720
神奈川県	50,000	奈良県	21,850	宮崎県	74,600
新潟県	86,670	和歌山県	34,420	鹿児島県	171,280
富山県	80,890	鳥取県	21,390	沖縄県	69,040
				合計	3,914,230

※都道府県を經由して配布する場合と施設等に直接配布する場合がある。

※都道府県からの修正等で数値が変わることがあり得る。

※今後も都道府県等と調整がついたものから順次配送を行う。